

八尾市
高齢者実態調査及び
要介護認定者等実態調査
報告書

令和5（2023）年3月

 八尾市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査設計	1
3 回収状況	2
4 報告書の見方	2
第2章 高齢者実態調査	4
1 回答者の属性	4
2 家族や生活状況について	7
3 からだを動かすことについて	29
4 食べることについて	53
5 毎日の生活について	75
6 地域での活動について	96
7 日常生活における不安や相談について	124
8 たすけあいについて	155
9 健康について	171
10 お住まいの地域について	222
11 介護保険制度などについて	228
12 災害への対応について	237
13 高齢者施策全般について	248
14 リスク判定	260
第3章 要介護認定者実態調査	278
1 回答者の属性	278
2 あなたのご家族や生活状況について	282
3 日常生活、社会参加について	301
4 日常生活における不安や相談について	313
5 介護保険制度について	335
6 お住まいの地域について	364
7 災害への対応について	384
8 高齢者施策全般について	395
9 主な介護者について	407

第4章 在宅介護実態調査	438
1 単純集計結果	438
2 クロス集計結果	462
第5章 サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホームの運営事業者に対する 実態調査	546
1 回答者の属性	546
2 住宅の情報	547
3 入居者の状況	552
4 退去者について	571
5 今後の事業展開	574
6 運営・建設上の課題	578
7 介護保険サービスの提供について	579
8 災害発生時について	582
参考資料	583
1 調査票	583

第1章 調査の概要

1 調査の目的

八尾市では、計画期間が令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までの第9期八尾市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定する予定としており、この調査は、次期計画策定における基礎的な資料を作成することを目的に実施しました。

2 調査設計

(1) 高齢者実態調査

調査対象：本市に在住され、令和4(2022)年11月10日現在で要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の人の中から7,500人を無作為に抽出

調査期間：令和4(2022)年12月16日(金)～令和5(2023)年1月13日(金)

調査方法：郵送配布、郵送回収(回収率向上のための礼状兼督促はがきを郵送)

(2) 要介護認定者実態調査

調査対象：本市に在住され、令和4(2022)年11月10日現在で要介護1～5の認定を受けている人の中から3,000人を無作為に抽出

調査期間：令和4(2022)年12月16日(金)～令和5(2023)年1月13日(金)

調査方法：郵送配布、郵送回収(回収率向上のための礼状兼督促はがきを郵送)

(3) 在宅介護実態調査

調査対象：本市に在住され、令和4(2022)年11月10日現在で要支援・要介護の認定を受けている在宅の人の中から600人を無作為に抽出

調査期間：令和5(2023)年1月13日(金)～令和5(2023)年2月3日(金)

調査方法：郵送配布、郵送回収

(4) サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホームの運営事業者に対する実態調査

調査対象：令和4(2022)年12月1日現在で入居者が入所し、かつ令和4(2022)年12月1日現在で八尾市の登録を受けているサービス付き高齢者向け住宅及び有料老人ホームに係る登録事業者90事業者

調査期間：令和4(2022)年12月23日(金)～令和5(2023)年1月20日(金)

調査方法：郵送配布、郵送回収(回収率向上のための礼状兼督促はがきを郵送)

3 回収状況

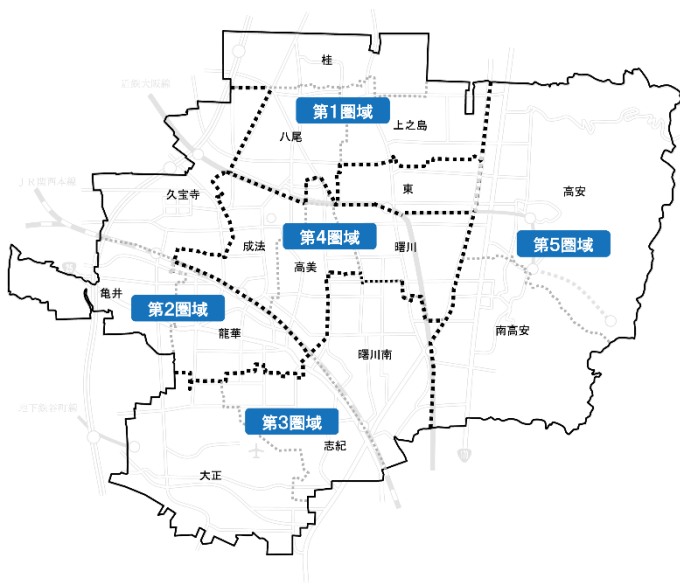
図表 1-3-1 調査の配布数と回収状況

	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
(1) 高齢者実態調査	7,500 件	5,326 件	71.0%	5,322 件	71.0%
(2) 要介護認定者実態調査	3,000 件	1,638 件	54.6%	1,636 件	54.5%
(3) 在宅介護実態調査	600 件	349 件	58.2%	349 件	58.2%
(4) サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホームの運営事業者に対する実態調査	90 件	53 件	58.9%	53 件	58.9%

4 報告書の見方

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。
- 図表中の「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 集計は、回答者数(該当質問においては該当者数)を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。また、複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 本文、グラフ及び集計表における選択肢の文章は、一部省略している場合があります。
- サービス付き高齢者向け住宅を「サ高住」と略して記載しています。
- 性別について、「男性・女性と答えることに抵抗を感じる」という回答は、各調査いずれもサンプル数が少ないため、クロス集計では対象外としています。
- 本市では、第8期八尾市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画において、3つの中学校を1つの圏域とする5つの日常生活圏域を設定しています。

図表 1-4-1 日常生活圏域



日常生活圏域	中学校区	小学校区
第1圏域	八尾中学校	用和小学校 長池小学校
	桂中学校	桂小学校 北山本小学校
	上之島中学校	山本小学校 上之島小学校
第2圏域	久宝寺中学校	久宝寺小学校 美園小学校
	龍華中学校	龍華小学校 永畑小学校
	亀井中学校	竹淵小学校 亀井小学校
第3圏域	大正中学校	大正小学校 大正北小学校
	志紀中学校	志紀小学校
	曙川南中学校	曙川小学校 刑部小学校 曙川東小学校
第4圏域	成法中学校	八尾小学校 安中小学校
	曙川中学校	南山本小学校 高安西小学校
	高美中学校	高美小学校 高美南小学校
第5圏域	高安中学校	高安小学校
	南高安中学校	南高安小学校
	東中学校	東山本小学校 西山本小学校

第2章 高齢者実態調査

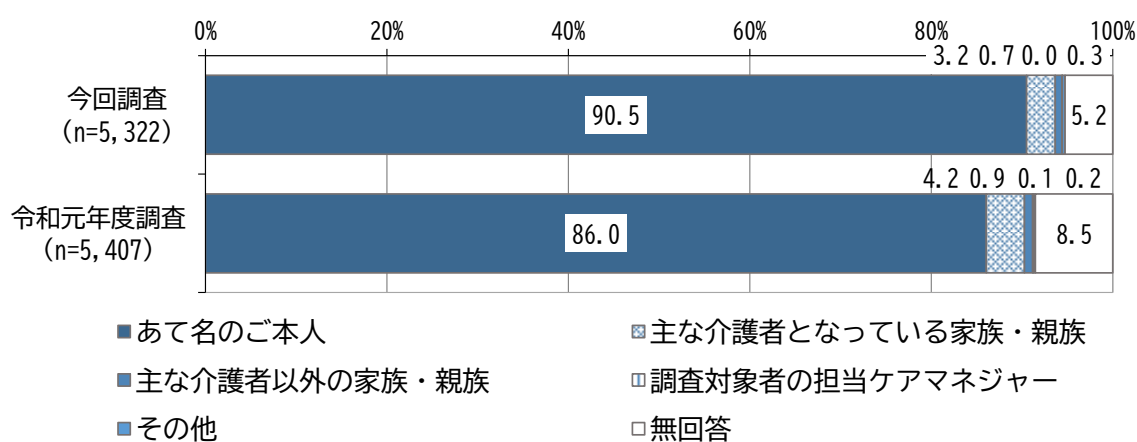
1 回答者の属性

(1) 調査票の記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

調査票の記入者については、「あて名のご本人」が90.5%で最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が3.2%、「主な介護者以外の家族・親族」が0.7%と続いています。

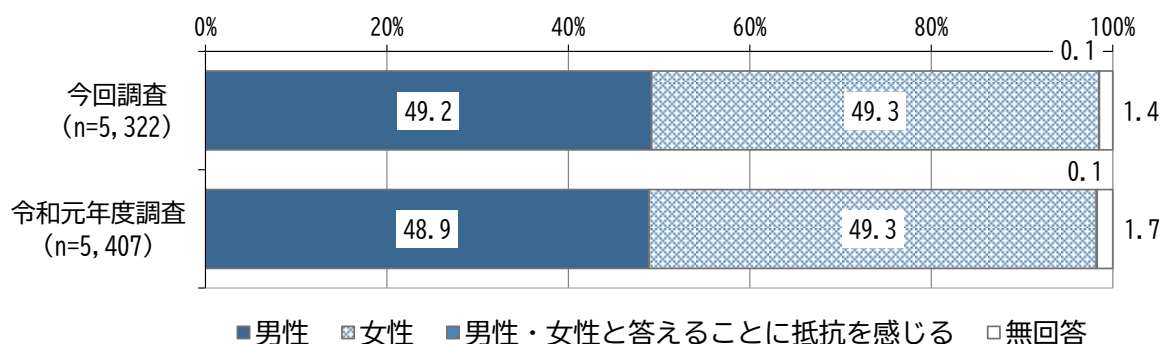
図表 2-1-1 調査票の記入者



(2) 性別

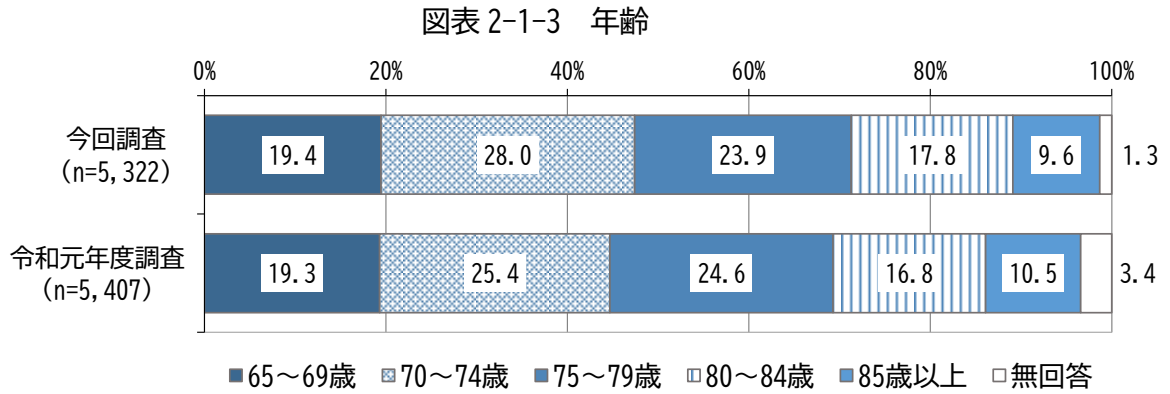
性別については、「女性」が49.3%で最も高く、次いで「男性」が49.2%、「男性・女性と答えることに抵抗を感じる」が0.1%となっています。

図表 2-1-2 性別



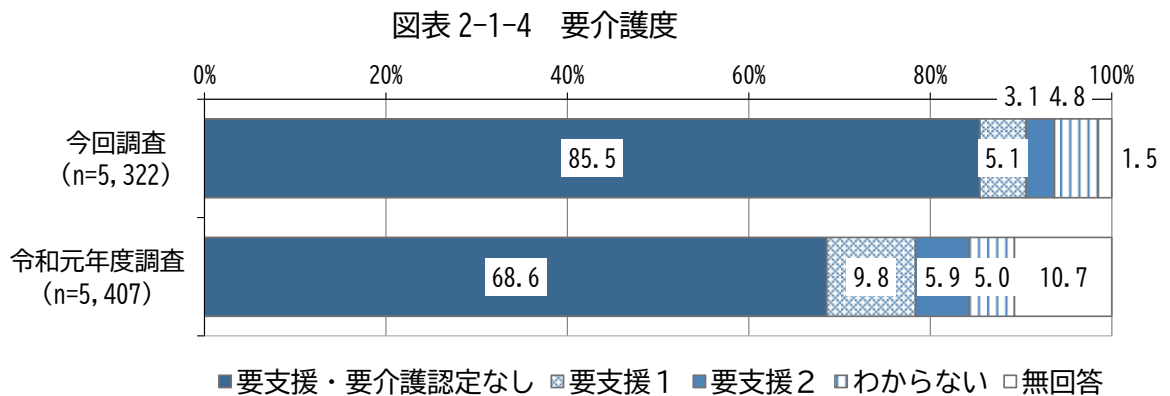
(3) 年齢

年齢については、「70～74歳」が28.0%で最も高く、次いで「75～79歳」が23.9%、「65～69歳」が19.4%と続いています。



(4) 要介護度

要介護度については、「要支援・要介護認定なし」が85.5%で最も高く、次いで「要支援1」が5.1%、「わからない」が4.8%と続いています。



(5) 居住地域

居住地域については、「八尾」が6.8%で最も高く、次いで「志紀」が5.7%、「南高安」が5.6%と続いています。

図表 2-1-5 居住地域（小学校区）

		全体 (n=5,322)	
小学校区	構成比(%)	小学校区	構成比(%)
八尾	6.8	高美	3.9
山本	4.9	長池	3.3
用和	3.9	東山本	3.2
久宝寺	4.2	美園	2.1
龍華	4.9	永畑	3.4
大正	3.4	刑部	3.9
桂	1.2	高美南	1.6
安中	4.1	西山本	2.3
竹湊	1.6	高安西	3.1
南高安	5.6	曙川東	2.6
高安	3.9	亀井	2.6
曙川	2.7	上之島	3.0
北山本	1.7	大正北	2.2
南山本	3.6	小学校区がわからない	0.9
志紀	5.7	無回答	3.7
		合計	100.0

図表 2-1-6 居住地域（中学校区）

		全体 (n=5,322)	
中学校区	構成比(%)	中学校区	構成比(%)
八尾	7.1	曙川南	9.2
桂	3.0	成法	10.8
上之島	8.0	曙川	6.7
久宝寺	6.3	高美	5.5
龍華	8.3	高安	3.9
亀井	4.2	南高安	5.6
大正	5.6	東	5.5
志紀	5.7	無回答	4.5
		合計	100.0

2 家族や生活状況について

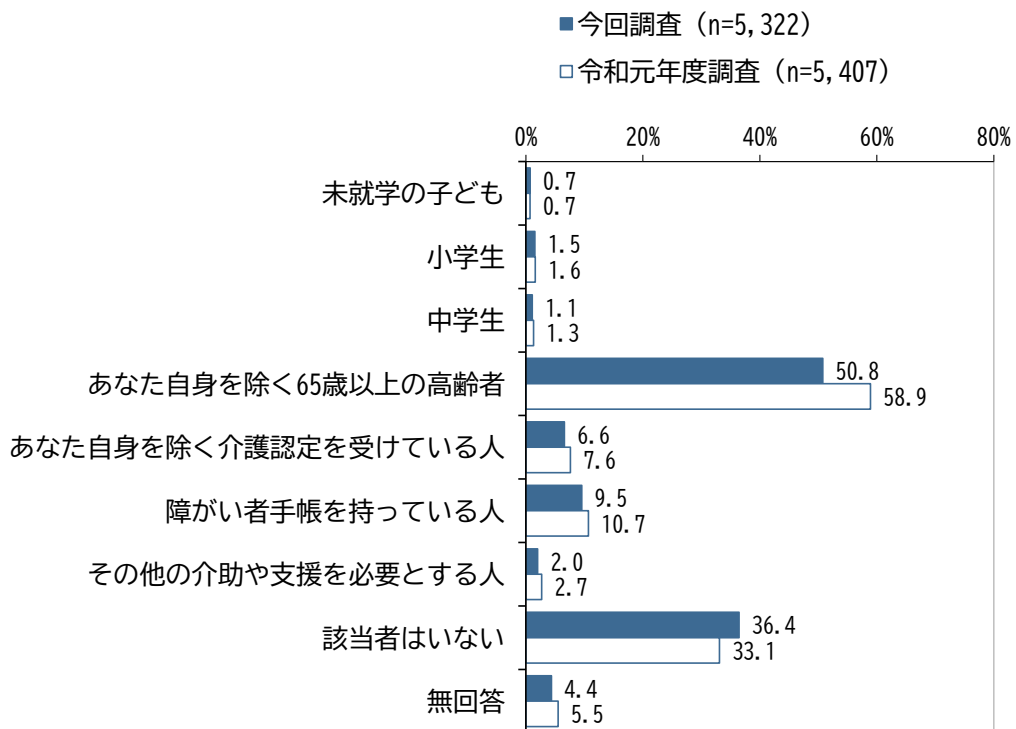
(1) 同居家族

問1-1 あなたが現在一緒に住んでいるご家族に次のような人（あなた自身も含みます）はおられますか。（いくつでも）

同居家族については、「あなた自身を除く65歳以上の高齢者」が50.8%で最も高く、次いで「該当者はいない」が36.4%、「障がい者手帳を持っている人」が9.5%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「該当者はいない」（36.4%）では、令和元（2019）年度調査（33.1%）より3.3ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-2-1 同居家族



性別でみると、男性・女性いずれも「あなた自身を除く 65 歳以上の高齢者」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「あなた自身を除く 65 歳以上の高齢者」では、75～79 歳が 56.1%で最も高くなっています。

認定状況別でみると、一般高齢者、要支援 1 では「あなた自身を除く 65 歳以上の高齢者」の割合が最も高く、要支援 2 では「あなた自身を除く 65 歳以上の高齢者」、「該当者はいない」が同率で最も高くなっています。

中学校区別でみると、全ての中学校区で「あなた自身を除く 65 歳以上の高齢者」の割合が最も高くなっています。

図表 2-2-2 同居家族 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	未就学の子ども	小学生	中学生	あなた自身を除く 65 歳以上の高齢者	あなた自身を除く介護認定を受けている人	障がい者手帳を持っている人	その他の介助や支援を必要とする人	該当者はいない	無回答	
全体		5,322	0.7	1.5	1.1	50.8	6.6	9.5	2.0	36.4	4.4	
性別	男性	2,616	0.8	1.4	0.9	55.9	7.3	10.1	2.1	33.3	2.3	
	女性	2,625	0.7	1.7	1.3	46.3	6.1	9.0	1.9	39.7	5.7	
年齢別	65～69歳	1,035	1.3	1.6	1.0	47.1	5.7	9.3	1.2	44.1	1.2	
	70～74歳	1,488	1.1	1.8	1.9	56.0	4.5	7.2	1.1	33.5	3.4	
	75～79歳	1,272	0.4	1.3	0.4	56.1	6.0	10.0	1.9	31.8	3.9	
	80～84歳	947	0.3	1.5	1.0	45.6	8.0	11.2	3.7	37.8	6.9	
	85歳以上	510	0.2	1.4	1.0	41.6	13.9	12.5	3.7	40.0	6.5	
認定状況別	一般高齢者	4,883	0.8	1.6	1.1	51.7	5.6	8.9	1.6	36.5	4.2	
	要支援 1	271	0.4	0.7	0.7	41.3	18.1	17.7	8.9	34.7	7.0	
	要支援 2	167	0.6	1.2	0.0	37.7	15.6	15.0	3.6	37.7	6.0	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	0.5	2.1	1.8	43.7	6.1	9.5	3.9	42.1	4.2
		桂中学校区	157	0.0	1.3	0.0	45.9	2.5	10.8	1.3	41.4	5.7
		上之島中学校区	424	0.9	0.9	0.7	53.5	6.8	7.8	1.9	36.3	2.8
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	1.2	2.1	1.5	51.2	6.8	8.9	1.5	35.7	3.6
		龍華中学校区	440	0.5	2.5	1.1	52.5	6.4	9.3	1.1	35.2	3.9
		亀井中学校区	222	0.5	0.9	0.5	56.8	7.2	12.6	1.4	33.8	2.7
	第3圏域	大正中学校区	297	1.0	0.7	0.7	54.9	8.1	7.4	1.7	36.0	2.4
		志紀中学校区	304	0.7	1.3	1.6	50.3	8.6	7.6	1.3	36.5	4.6
		曙川南中学校区	492	0.6	2.0	1.8	54.3	7.9	11.0	2.4	31.7	3.5
	第4圏域	成法中学校区	576	0.7	1.4	1.0	48.4	6.1	10.8	1.7	38.5	5.2
		曙川中学校区	358	0.8	1.1	0.3	49.4	4.2	8.4	2.2	39.7	3.9
		高美中学校区	292	0.3	0.7	1.4	55.1	4.8	9.6	2.4	32.5	4.5
	第5圏域	高安小中学校区	210	3.3	4.3	1.9	59.5	6.7	9.0	3.3	29.0	1.9
		南高安中学校区	299	0.7	2.0	1.0	53.2	5.4	8.7	1.3	37.1	2.0
		東中学校区	294	0.0	1.0	0.3	52.7	11.2	12.2	3.4	31.3	5.8

※網掛け■は最も割合が高いもの

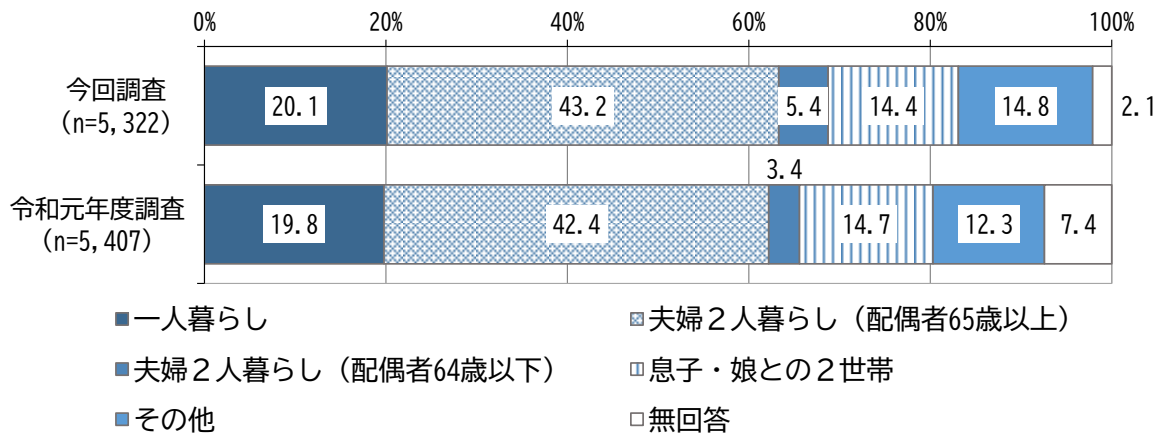
(2) 家族構成

問1-2 家族構成をお教えてください。(1つだけ)

家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が43.2%で最も高く、次いで「一人暮らし」が20.1%、「その他」が14.8%と続いています。

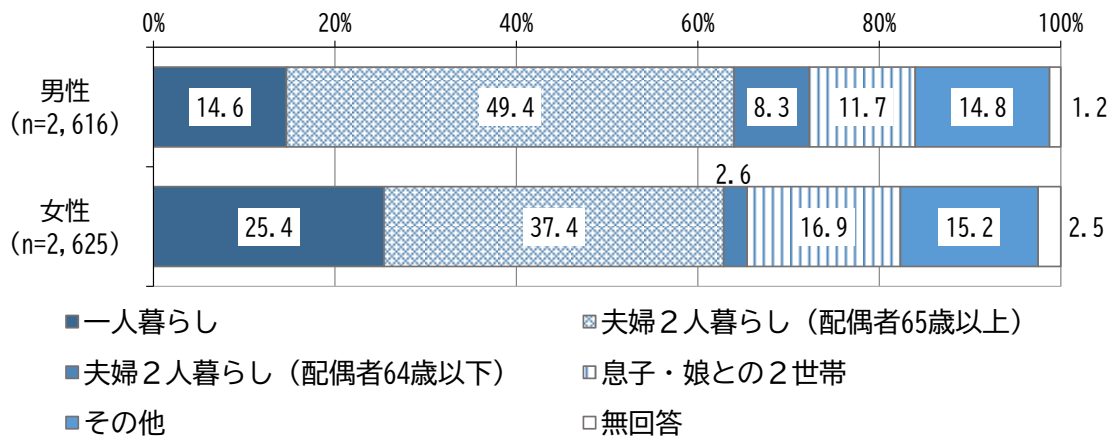
令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-2-3 家族構成



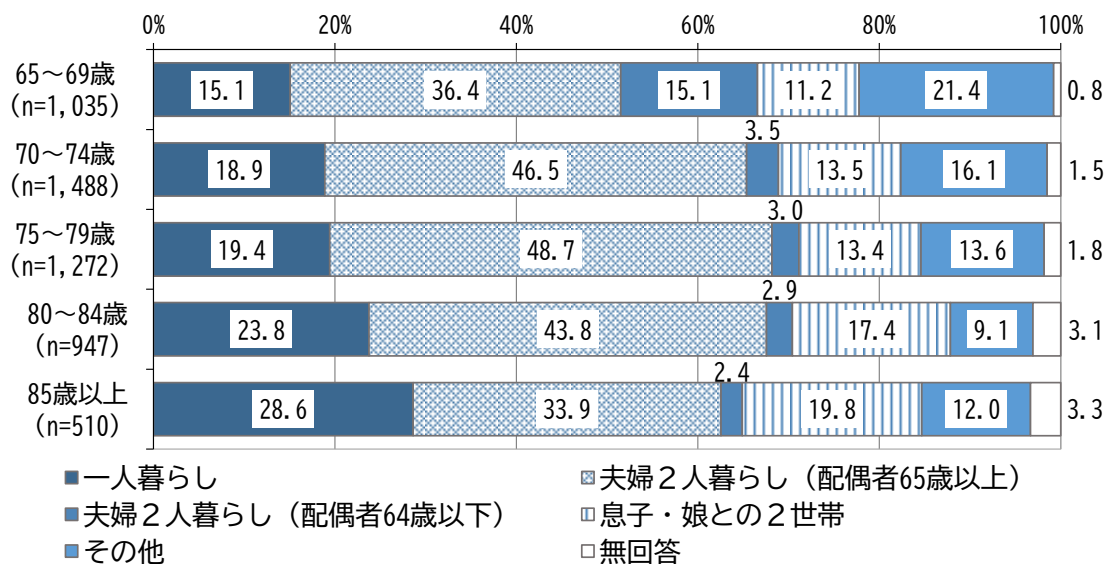
性別でみると、男性・女性いずれも「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が最も高く、「一人暮らし」では、女性が25.4%で、男性（14.6%）より10.8ポイント高くなっています。

図表 2-2-4 家族構成 性別



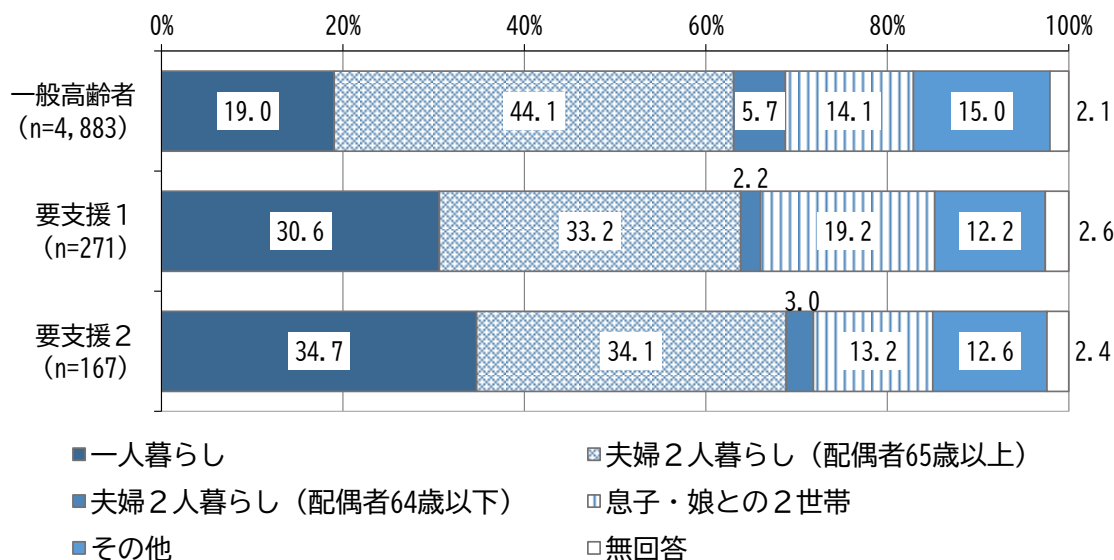
年齢別でみると、「一人暮らし」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が28.6%で最も高くなっています。

図表 2-2-5 家族構成 年齢別



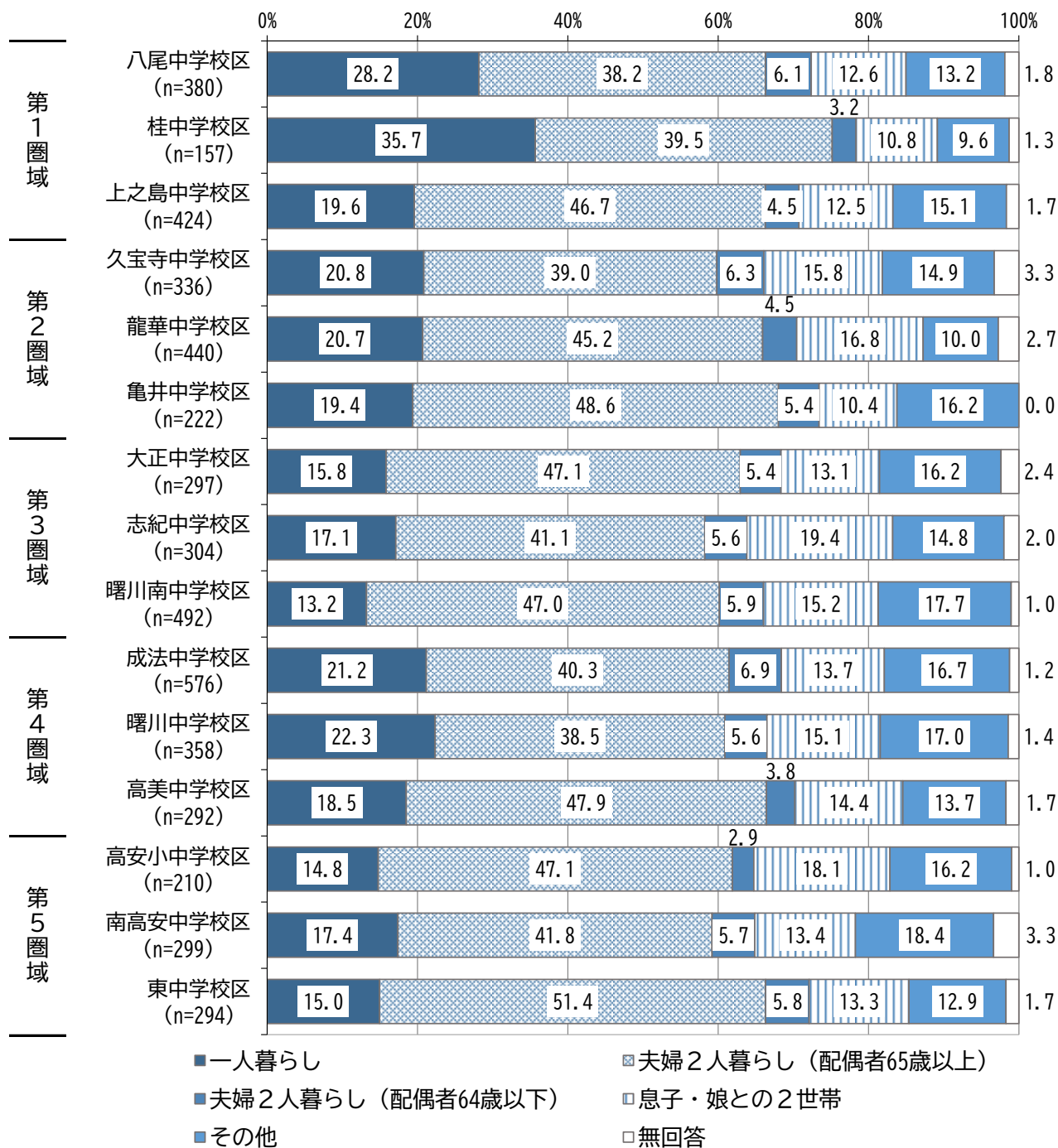
認定状況別でみると、「一人暮らし」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が34.7%で最も高くなっています。

図表 2-2-6 家族構成 認定状況別



中学校区別でみると、「一人暮らし」では、桂中学校区が35.7%で最も高く、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」では、東中学校区が51.4%で最も高くなっています。

図表 2-2-7 家族構成 中学校区別



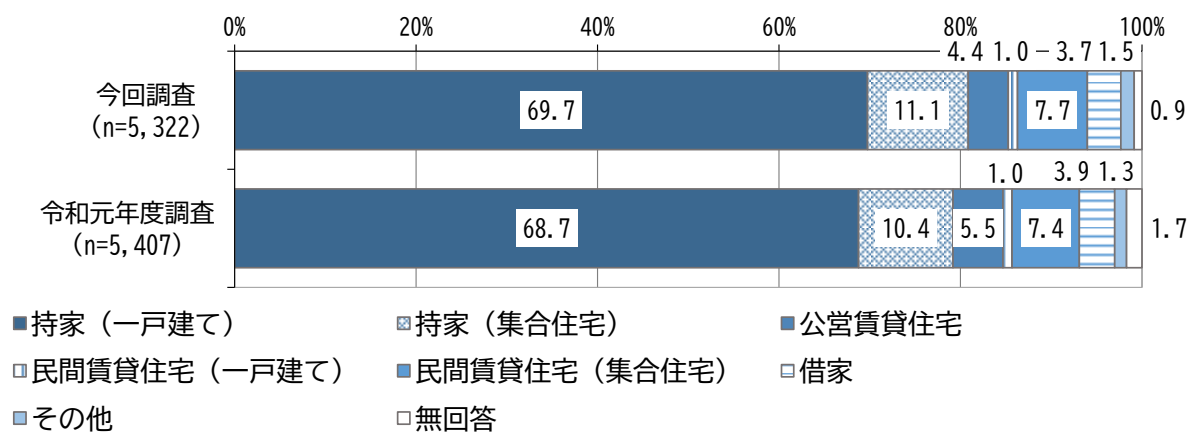
(3) 居住形態

問1-3 お住まいは一人暮らし、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ)

居住形態については、「持家（一人暮らし）」が69.7%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が11.1%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が7.7%と続いています。

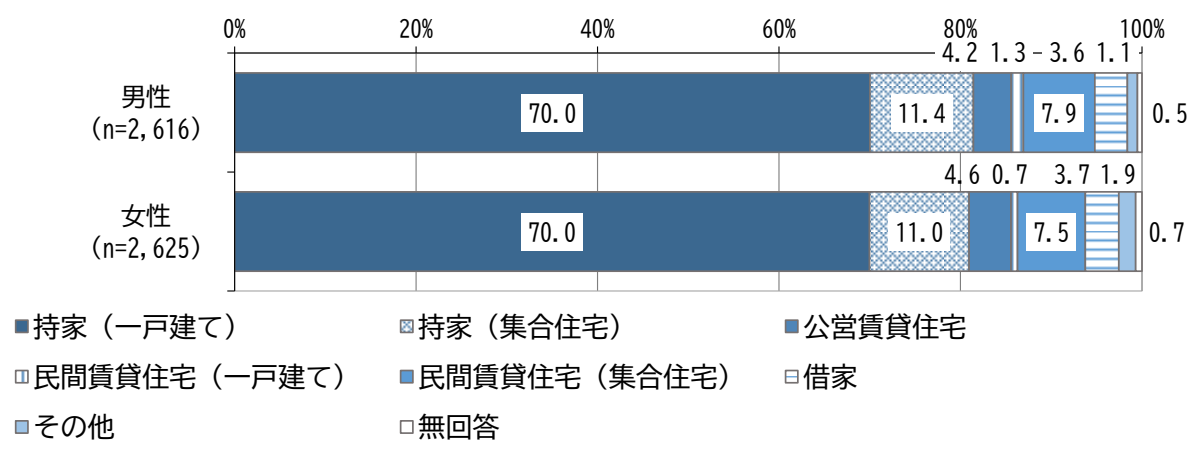
令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-2-8 居住形態



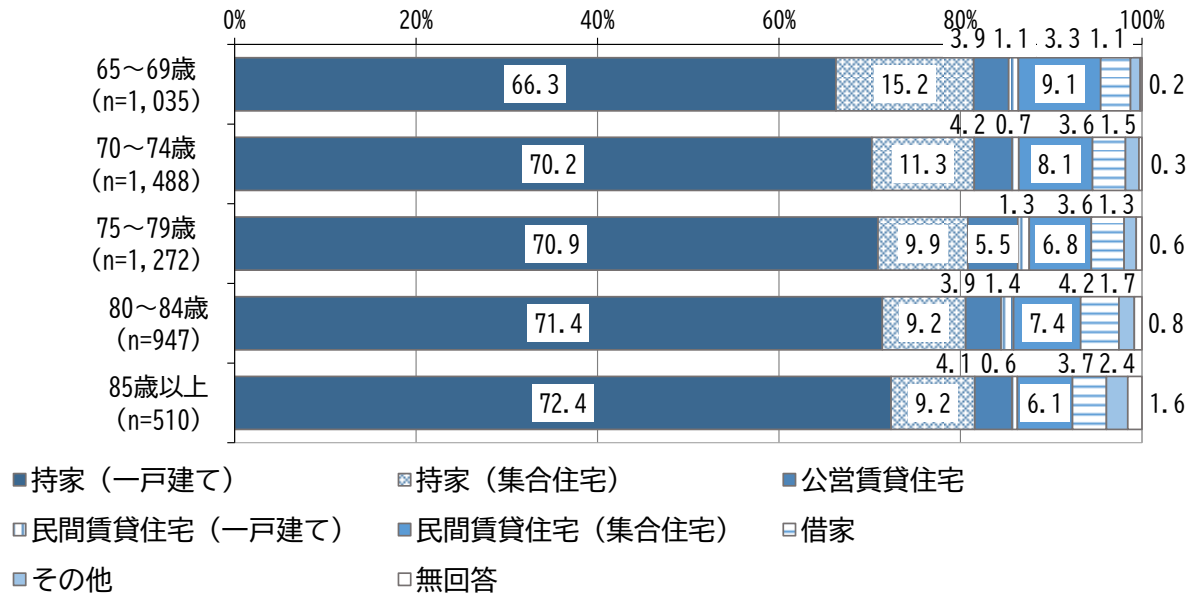
性別でみると、男性・女性いずれも「持家（一人暮らし）」の割合が最も高くなっています。

図表 2-2-9 居住形態 性別



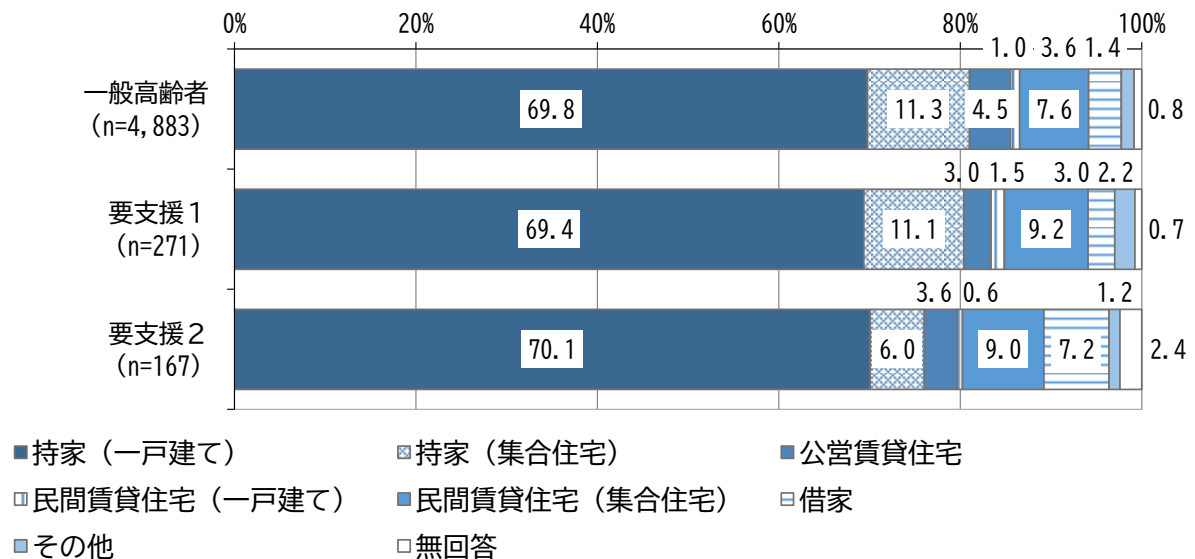
年齢別でみると、『持家』（「持家（一戸建て）」と「持家（集合住宅）」の合計）では、85歳以上が81.6%で最も高く、『賃貸』（「公営賃貸住宅」と「民間賃貸住宅（一戸建て）」、「民間賃貸住宅（集合住宅）」、「借家」の合計）では、65～69歳が17.4%で最も高くなっています。

図表 2-2-10 居住形態 年齢別



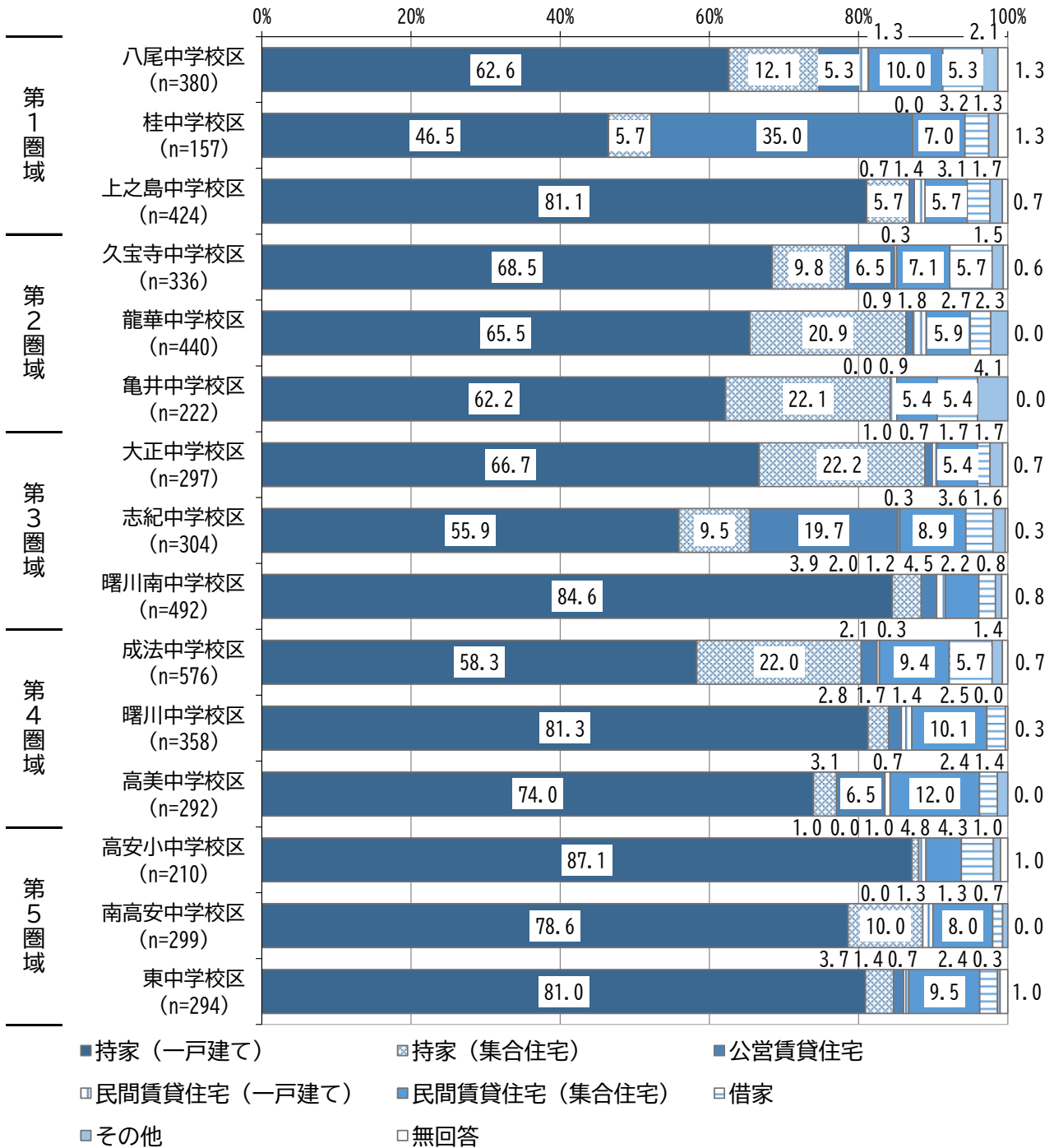
認定状況別でみると、『賃貸』では、要支援2が20.4%で最も高くなっています。

図表 2-2-11 居住形態 認定状況別



中学校区別でみると、『持家』では、大正中学校区が88.9%で最も高く、『賃貸』では、桂中学校区が45.2%で最も高くなっています。

図表 2-2-12 居住形態 中学校区別



(4) よく利用する駅とその駅への移動手段

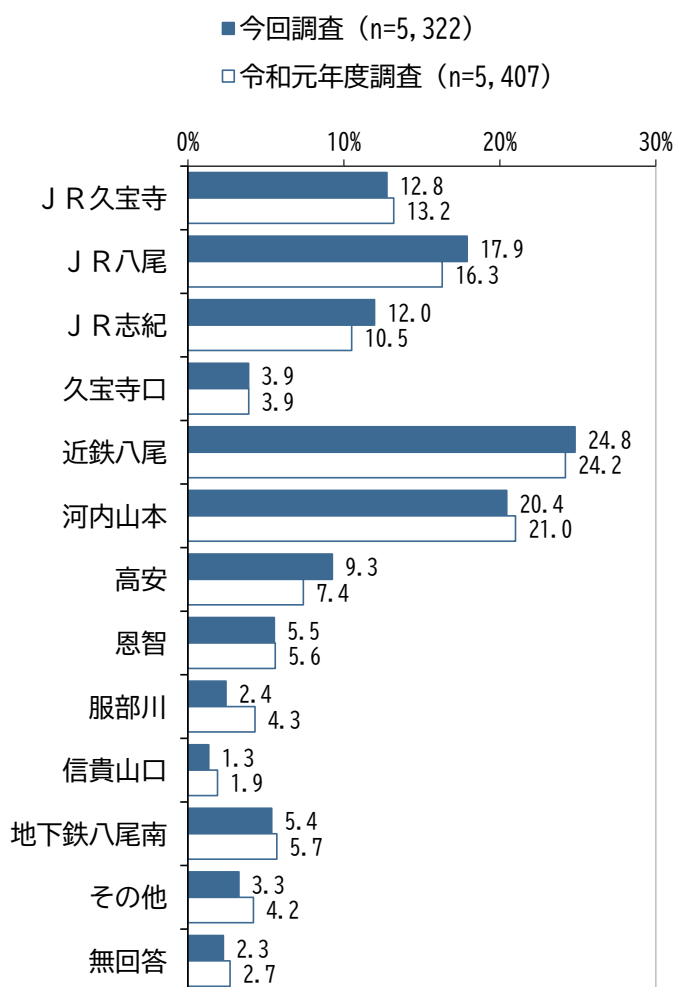
問1-4 ご自宅からよくご利用される駅と、その駅への移動手段をお教えてください。
(いくつでも)

① よく利用する駅

よく利用する駅については、「近鉄八尾」が24.8%で最も高く、次いで「河内山本」が20.4%、「JR八尾」が17.9%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-2-13 よく利用する駅



中学校区別でみると、「その他」では、亀井中学校区が27.9%で最も高くなっています。

図表 2-2-14 よく利用する駅 中学校区別

単位：実数（人）、構成比（%）

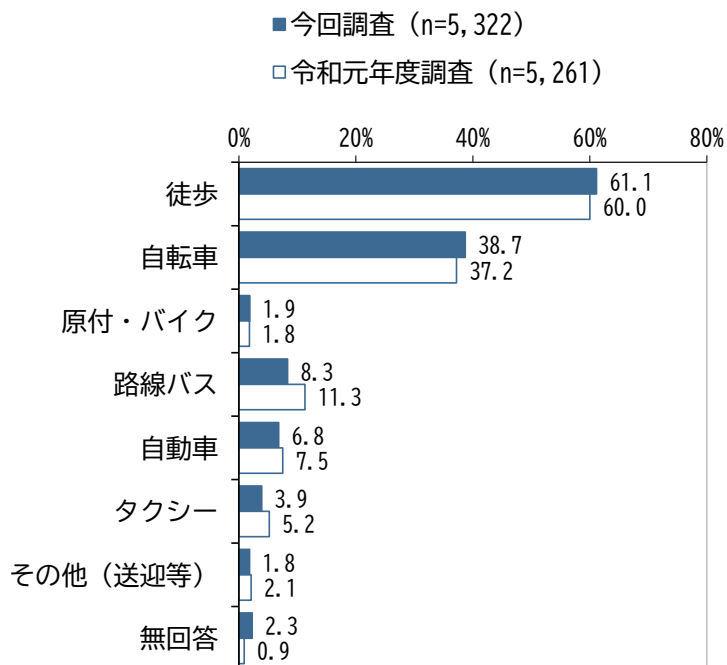
		合計	J R 久宝寺	J R 八尾	J R 志紀	久宝寺口	近鉄八尾	河内山本	高安	恩智	服部川	信貴山口	
全体		5,322	12.8	17.9	12.0	3.9	24.8	20.4	9.3	5.5	2.4	1.3	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	1.1	4.2	0.0	1.3	93.2	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
		桂中学校区	157	1.3	1.9	0.0	1.3	54.8	53.5	0.0	0.0	0.0	0.0
		上之島中学校区	424	0.5	1.7	0.2	0.0	26.2	86.6	1.2	0.0	0.0	0.0
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	44.6	3.9	0.3	50.0	22.9	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0
		龍華中学校区	440	39.5	67.7	1.1	0.5	4.8	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
		亀井中学校区	222	68.5	0.5	0.0	1.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	第3圏域	大正中学校区	297	16.2	16.8	5.1	0.7	8.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
		志紀中学校区	304	4.3	8.2	91.1	0.7	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
		曙川南中学校区	492	3.0	8.5	53.9	0.4	8.1	2.2	37.2	15.4	0.0	0.0
	第4圏域	成法中学校区	576	11.1	47.7	3.3	1.9	44.8	2.8	2.1	0.9	0.3	0.5
		曙川中学校区	358	1.1	1.4	0.6	0.8	10.6	59.8	40.5	1.4	0.6	0.0
		高美中学校区	292	6.2	62.0	0.7	0.7	61.0	4.8	1.7	0.3	0.0	0.0
	第5圏域	高安小中学校区	210	0.5	0.0	0.0	0.0	8.6	23.8	12.9	1.9	56.7	14.3
		南高安中学校区	299	1.0	0.3	9.4	0.0	2.7	2.7	28.4	63.2	0.3	8.4
東中学校区		294	0.0	0.3	0.0	0.0	12.9	93.5	0.7	0.0	0.0	0.0	
		合計	地下鉄八尾南	その他	無回答								
全体		5,322	5.4	3.3	2.3								
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	0.0	0.8	2.9							
		桂中学校区	157	0.0	9.6	5.1							
		上之島中学校区	424	0.0	1.2	1.7							
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	0.3	8.3	1.2							
		龍華中学校区	440	1.1	0.5	2.3							
		亀井中学校区	222	0.9	27.9	3.2							
	第3圏域	大正中学校区	297	84.8	4.7	3.4							
		志紀中学校区	304	1.3	2.3	3.6							
		曙川南中学校区	492	0.0	2.2	1.0							
	第4圏域	成法中学校区	576	1.0	0.9	2.3							
		曙川中学校区	358	0.0	0.3	1.1							
		高美中学校区	292	0.0	0.3	2.1							
	第5圏域	高安小中学校区	210	0.0	3.3	2.4							
		南高安中学校区	299	0.7	1.0	1.0							
東中学校区		294	0.0	0.3	1.0								

※網掛け■は最も割合が高いもの

② よく利用する駅への移動手段

よく利用する駅への移動手段については、「徒歩」が61.1%で最も高く、次いで「自転車」が38.7%、「路線バス」が8.3%と続いています。

図表 2-2-15 よく利用する駅への移動手段



※ 令和元（2019）年度調査の集計は、よく利用する駅を回答した人のみ。

性別でみると、男性・女性いずれも「徒歩」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「徒歩」では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳が66.8%で最も高く、「タクシー」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が11.2%で最も高くなっています。

認定状況別でみると、「徒歩」、「自転車」、「自動車」では、要介護度が上がるにつれて割合が減少しており、「路線バス」、「タクシー」、「その他（送迎等）」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しています。

中学校区別でみると、桂中学校区では「路線バス」の割合が最も高く、上之島中学校区、大正中学校区、高美中学校区では「自転車」の割合が最も高く、それ以外の中学校区では「徒歩」の割合が最も高くなっています。

図表 2-2-16 駅への移動手段 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	徒歩	自転車	原付・バイク	路線バス	自動車	タクシー	その他（送迎等）	無回答	
全体		5,322	61.1	38.7	1.9	8.3	6.8	3.9	1.8	2.3	
性別	男性	2,616	64.3	34.6	1.5	8.4	7.3	3.2	1.5	2.0	
	女性	2,625	58.6	42.9	2.3	8.4	6.2	4.5	2.1	2.4	
年齢別	65～69歳	1,035	66.8	39.2	2.8	6.4	8.2	1.4	1.2	0.8	
	70～74歳	1,488	62.8	41.6	1.9	7.3	7.6	2.1	1.0	1.4	
	75～79歳	1,272	59.4	42.1	2.0	8.3	6.1	3.5	1.3	2.4	
	80～84歳	947	58.5	37.0	1.5	11.2	5.1	5.9	1.7	3.4	
	85歳以上	510	56.9	24.5	0.2	10.6	5.9	11.2	6.7	4.7	
認定状況別	一般高齢者	4,883	62.1	40.1	2.0	7.9	6.9	2.8	1.4	1.8	
	要支援1	271	52.8	26.2	0.0	10.7	5.9	14.8	4.4	8.1	
	要支援2	167	46.1	16.8	0.0	16.2	5.4	19.2	10.2	6.6	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	60.0	47.6	1.8	5.0	4.7	5.5	0.3	3.2
		桂中学校区	157	8.3	39.5	2.5	56.1	18.5	2.5	1.3	3.8
		上之島中学校区	424	34.9	48.1	2.4	37.7	7.5	5.9	2.1	1.7
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	73.8	39.6	0.0	0.9	3.3	2.4	1.2	0.6
		龍華中学校区	440	61.4	45.5	0.7	3.9	4.5	4.1	0.7	2.0
		亀井中学校区	222	58.6	43.2	1.4	4.1	9.0	4.1	0.5	2.7
	第3圏域	大正中学校区	297	42.8	45.5	2.0	22.6	15.2	3.4	4.7	2.7
		志紀中学校区	304	66.1	36.5	2.3	1.0	5.9	3.3	1.6	3.6
		曙川南中学校区	492	67.5	40.2	0.6	0.8	5.5	3.5	4.1	1.6
	第4圏域	成法中学校区	576	75.9	27.1	0.5	3.6	3.6	2.8	0.7	1.7
		曙川中学校区	358	77.9	32.1	0.3	0.3	3.1	5.0	0.3	0.6
		高美中学校区	292	48.3	60.3	1.4	2.4	5.8	4.8	2.1	2.4
	第5圏域	高安小中学校区	210	67.1	13.8	11.0	4.3	11.9	1.9	3.3	3.8
南高安中学校区		299	75.6	23.1	6.4	0.3	14.0	3.0	2.0	1.7	
東中学校区		294	68.7	39.1	0.7	3.7	2.7	5.1	1.7	1.7	

※網掛け■は最も割合が高いもの

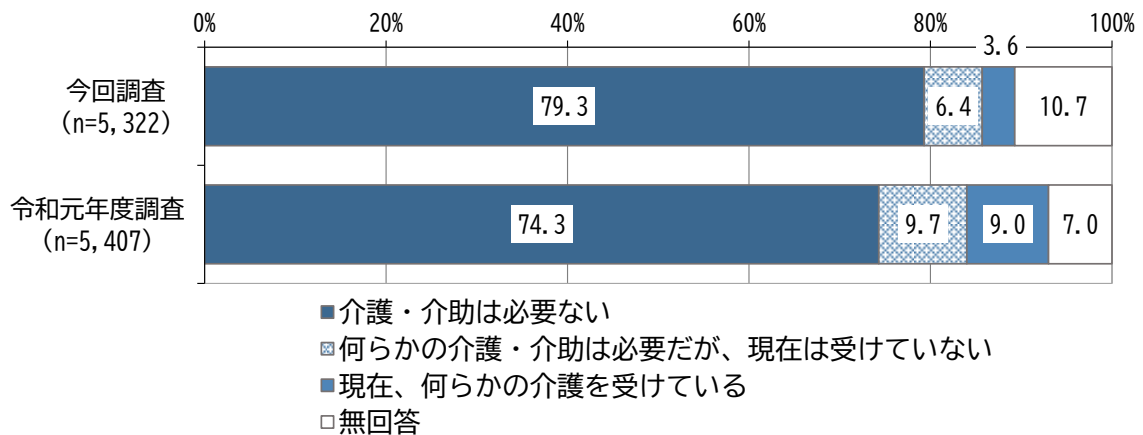
(5) 介護・介助の必要性

問1-5 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ)

介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が79.3%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.4%、「現在、何らかの介護を受けている」が3.6%となっています。

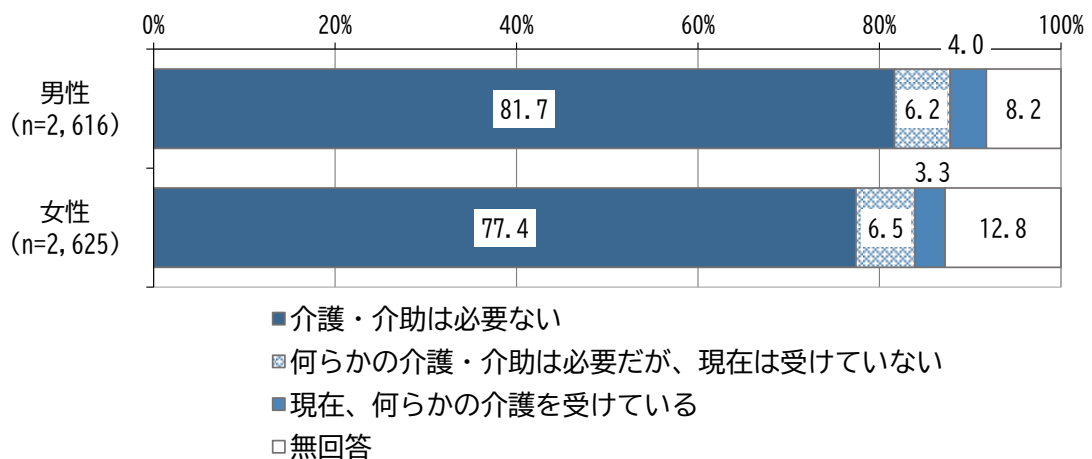
令和元(2019)年度調査と比較すると、「介護・介助は必要ない」(79.3%)では、令和元(2019)年度調査(74.3%)より5.0ポイント増加しています。

図表 2-2-17 介護・介助の必要性



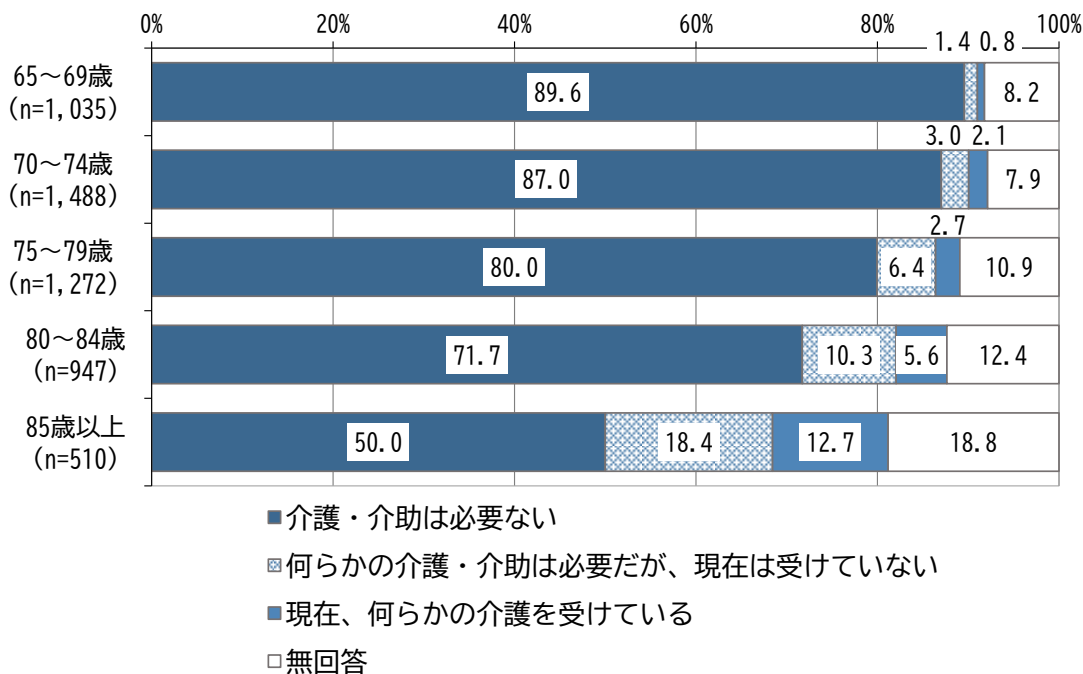
性別でみると、『何らかの介護・介助が必要』(「介護・介助は必要ない」と「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の合計)では、男性が10.2%、女性が9.8%となっています。

図表 2-2-18 介護・介助の必要性 性別



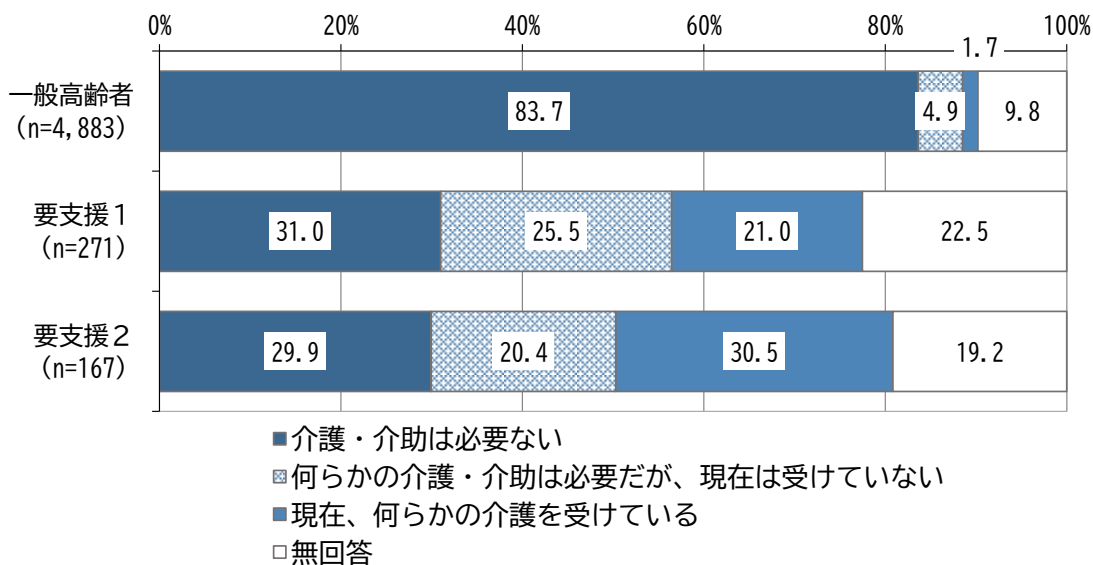
年齢別でみると、『何らかの介護・介助が必要』では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が31.1%で最も高くなっています。

図表 2-2-19 介護・介助の必要性 年齢別



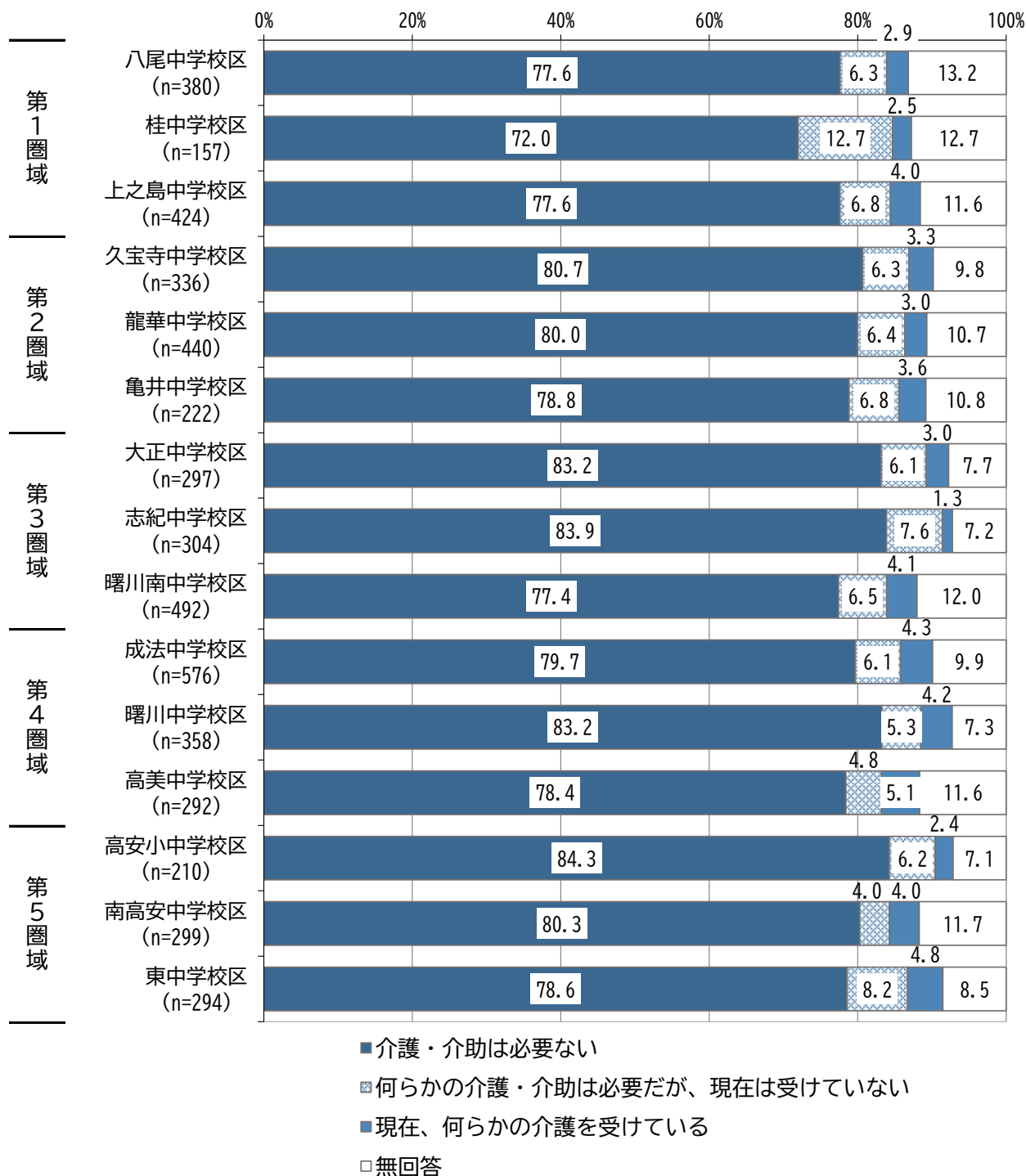
認定状況別でみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」では、要支援1が25.5%、要支援2が20.4%となっています。

図表 2-2-20 介護・介助の必要性 認定状況別



中学校区別でみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」では、桂中学校区が12.7%で最も高くなっています。

図表 2-2-21 介護・介助の必要性 中学校区別



(6) 介護・介助が必要になった原因

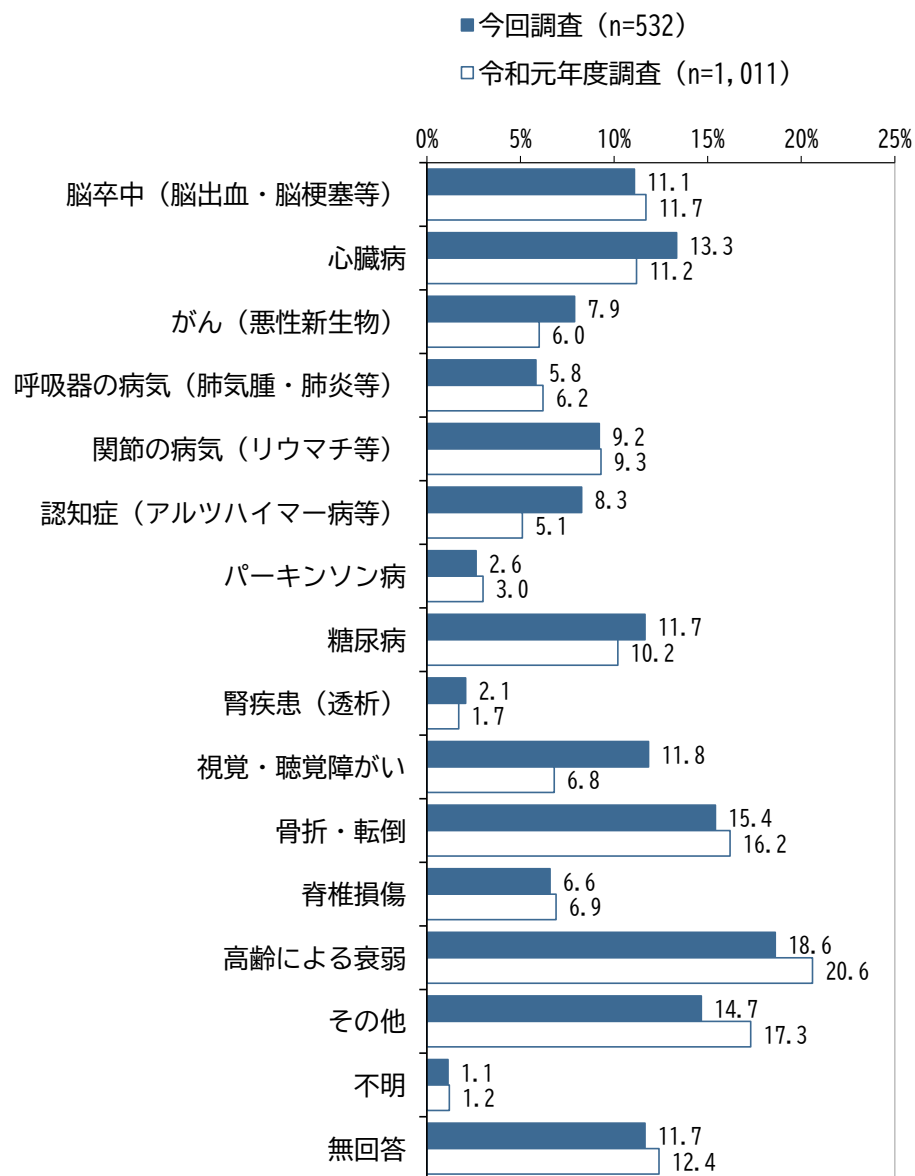
問1-5で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている」と答えた人（介護・介助が必要な人）のみ、お答えください。

問1-5-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（いくつでも）

介護・介助が必要になった原因については、「高齢による衰弱」が18.6%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が15.4%、「その他」が14.7%と続いています。

「視覚・聴覚障がい」（11.8%）では、令和元（2019）年度調査（6.8%）より5.0ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-2-22 介護・介助が必要になった原因



性別でみると、男性では「高齢による衰弱」の割合が最も高く、女性では「骨折・転倒」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「骨折・転倒」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が18.9%で最も高くなっています。

図表 2-2-23 介護・介助が必要になった原因 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	脳卒中 (脳梗塞・ 脳出血)	心臓病	がん (悪性新生 物)	呼吸器の病 気(肺炎・ 気腫)	関節の病 気(リウ マチ等)	認知症 (アルツハ イマー病等)	パーキン ソン病	糖尿病	腎疾患 (透析)	視覚・ 聴覚障 がい	
全体		532	11.1	13.3	7.9	5.8	9.2	8.3	2.6	11.7	2.1	11.8	
性別	男性	265	14.0	14.7	7.9	7.9	6.0	9.4	3.0	13.2	3.4	13.2	
	女性	258	8.1	12.4	6.6	3.9	12.0	7.4	2.3	10.5	0.8	10.1	
年齢別	65～69歳	23	30.4	8.7	4.3	4.3	8.7	17.4	4.3	13.0	4.3	8.7	
	70～74歳	76	15.8	7.9	10.5	1.3	5.3	5.3	5.3	18.4	2.6	10.5	
	75～79歳	116	15.5	8.6	9.5	5.2	13.8	11.2	3.4	9.5	3.4	10.3	
	80～84歳	151	9.3	17.2	6.0	8.6	9.3	6.6	2.0	13.9	2.0	15.9	
	85歳以上	159	5.0	17.0	5.7	6.3	6.9	8.2	1.3	8.2	0.6	10.1	
		合計	骨折・ 転倒	脊椎損 傷	高齢に よる衰 弱	その他	不明	無回 答					
全体		532	15.4	6.6	18.6	14.7	1.1	11.7					
性別	男性	265	9.4	9.1	22.3	9.4	1.5	10.9					
	女性	258	20.9	4.3	15.5	20.2	0.8	12.4					
年齢別	65～69歳	23	4.3	0.0	4.3	17.4	0.0	4.3					
	70～74歳	76	9.2	7.9	3.9	14.5	0.0	15.8					
	75～79歳	116	15.5	4.3	14.7	13.8	1.7	13.8					
	80～84歳	151	15.9	10.6	17.2	18.5	1.3	9.3					
	85歳以上	159	18.9	5.0	32.1	11.3	1.3	11.9					

※網掛け■は最も割合が高いもの

(7) 主な介護者

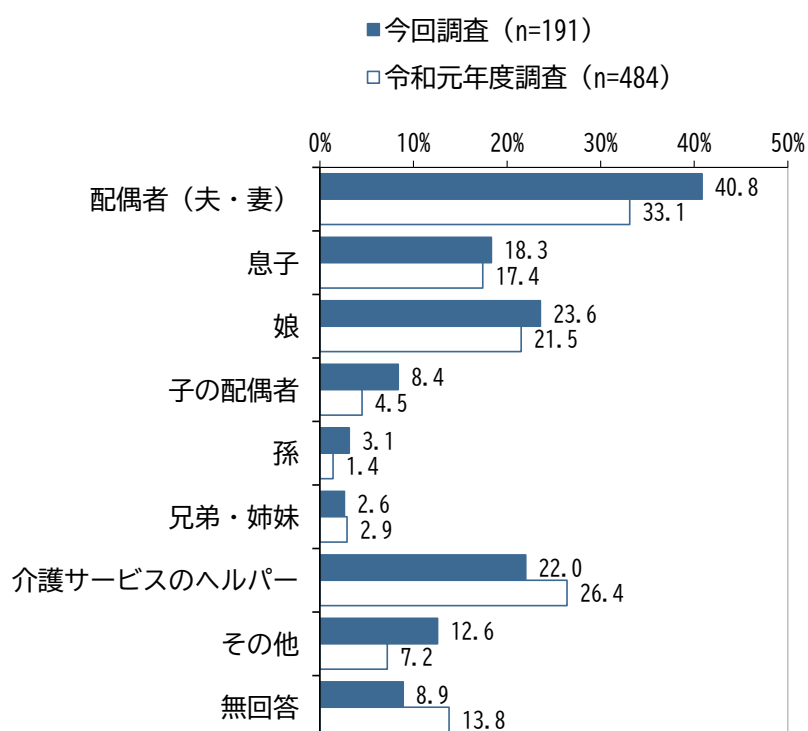
問1-5で「現在、何らかの介護を受けている」と答えた人のみ、お答えください。

問1-5-2 “主に” 誰の介護・介助を受けていますか。(いくつでも)

現在、何らかの介護を受けている人の主な介護者については、「配偶者（夫・妻）」が40.8%で最も高く、次いで「娘」が23.6%、「介護サービスのヘルパー」が22.0%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「配偶者（夫・妻）」（40.8%）では、令和元（2019）年度調査（33.1%）より7.7ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-2-24 主な介護者



性別でみると、男性では「配偶者（夫・妻）」の割合が最も高く、女性では「娘」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、65～69歳では「その他」の割合が最も高く、85歳以上では「娘」の割合が最も高く、それ以外の年齢層では「配偶者（夫・妻）」の割合が最も高くなっています。

認定別でみると、「介護サービスのヘルパー」では、要支援1が35.1%で最も高くなっています。

図表 2-2-25 主な介護者 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体		191	40.8	18.3	23.6	8.4	3.1	2.6	22.0	12.6	8.9
性別	男性	104	51.0	18.3	14.4	8.7	4.8	2.9	24.0	11.5	8.7
	女性	87	28.7	18.4	34.5	8.0	1.1	2.3	19.5	13.8	9.2
年齢別	65～69歳	8	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	37.5	12.5
	70～74歳	31	67.7	9.7	0.0	0.0	0.0	6.5	16.1	6.5	9.7
	75～79歳	34	44.1	20.6	11.8	5.9	0.0	2.9	14.7	17.6	5.9
	80～84歳	53	39.6	13.2	24.5	3.8	3.8	0.0	28.3	11.3	9.4
	85歳以上	65	29.2	26.2	43.1	18.5	6.2	1.5	23.1	10.8	9.2
認定別	一般高齢者	83	47.0	19.3	15.7	4.8	3.6	4.8	10.8	14.5	8.4
	要支援1	57	36.8	19.3	29.8	15.8	3.5	0.0	35.1	7.0	8.8
	要支援2	51	35.3	15.7	29.4	5.9	2.0	2.0	25.5	15.7	9.8

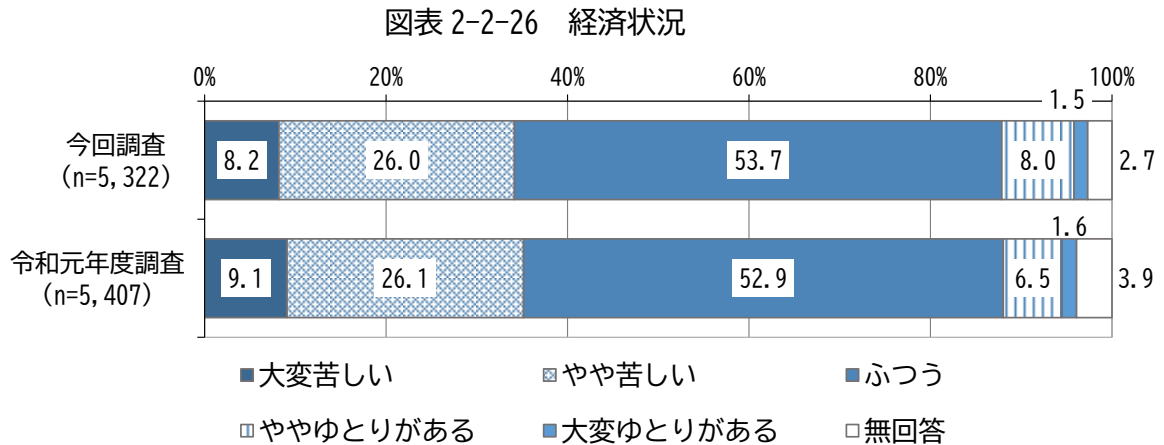
※網掛け■は最も割合が高いもの

(8) 経済状況

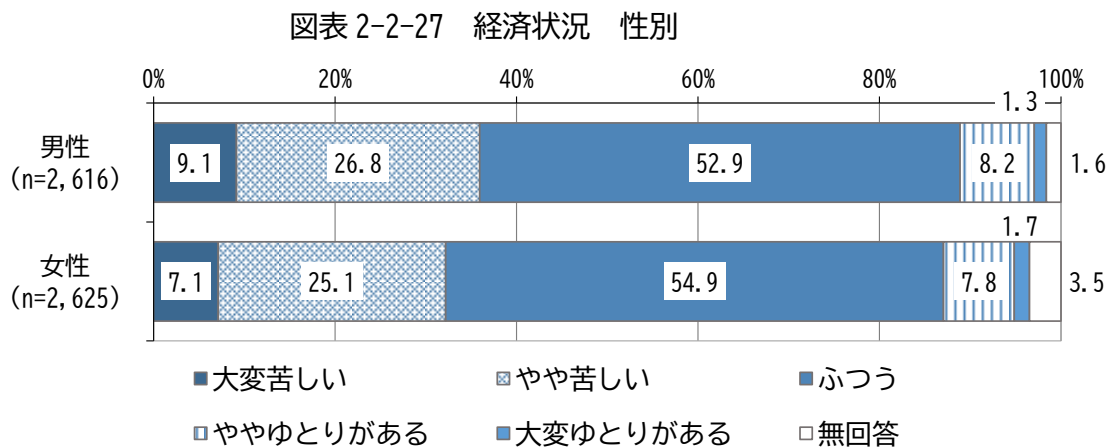
問1-6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ)

経済状況については、「ふつう」が53.7%で最も高く、次いで「やや苦しい」が26.0%、「大変苦しい」が8.2%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

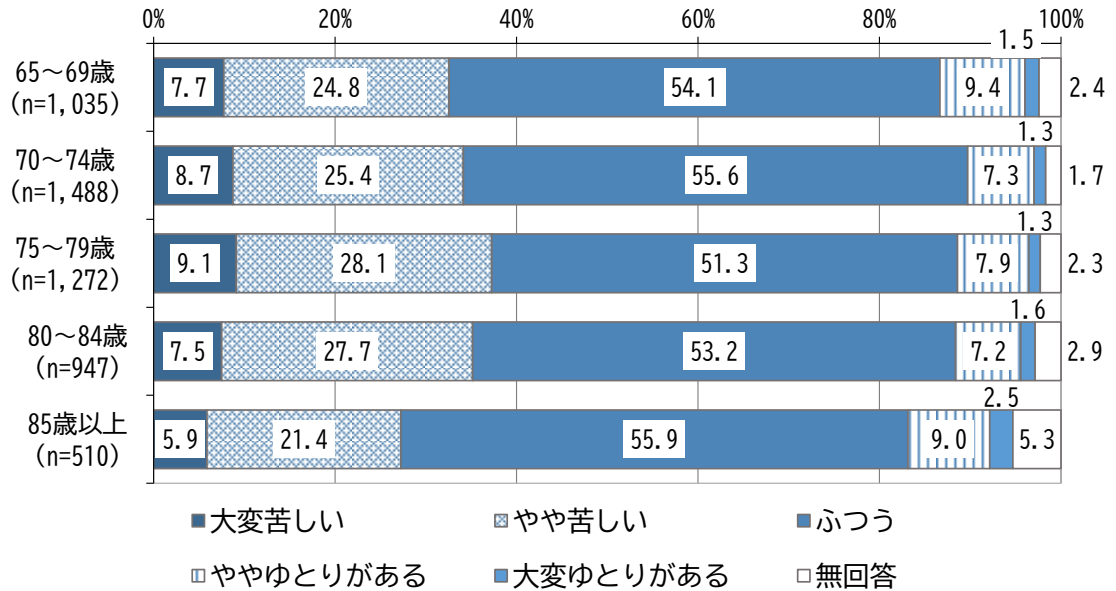


性別でみると、男性・女性いずれも「ふつう」の割合が最も高く、『苦しい』（「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計）では、男性が35.9%で、女性（32.2%）より3.7ポイント高くなっています。



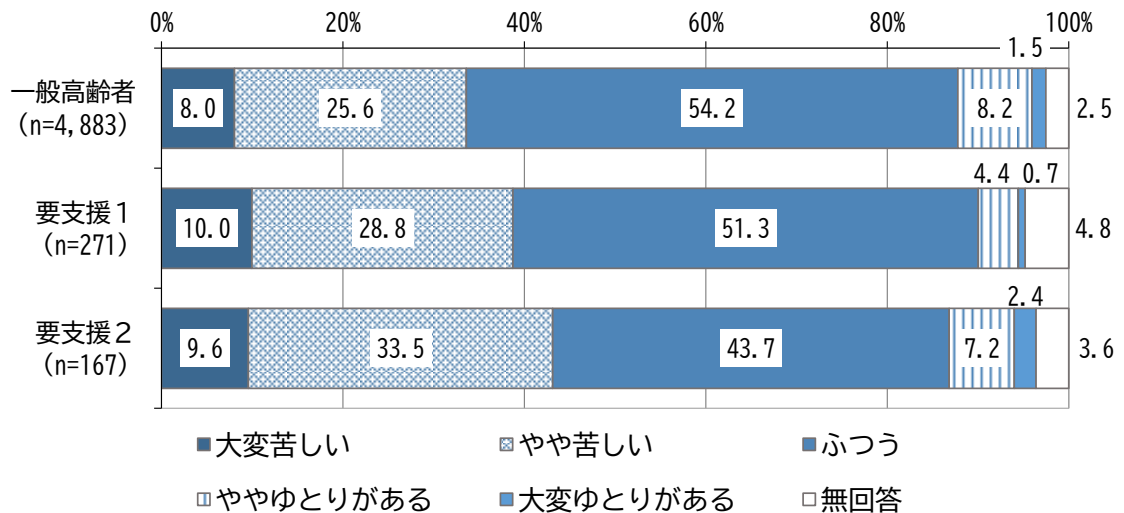
年齢別でみると、『苦しい』では、75～79歳が37.2%で最も高く、『ゆとりがある』（「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」の合計）では、85歳以上が11.5%で最も高くなっています。

図表 2-2-28 経済状況 年齢別



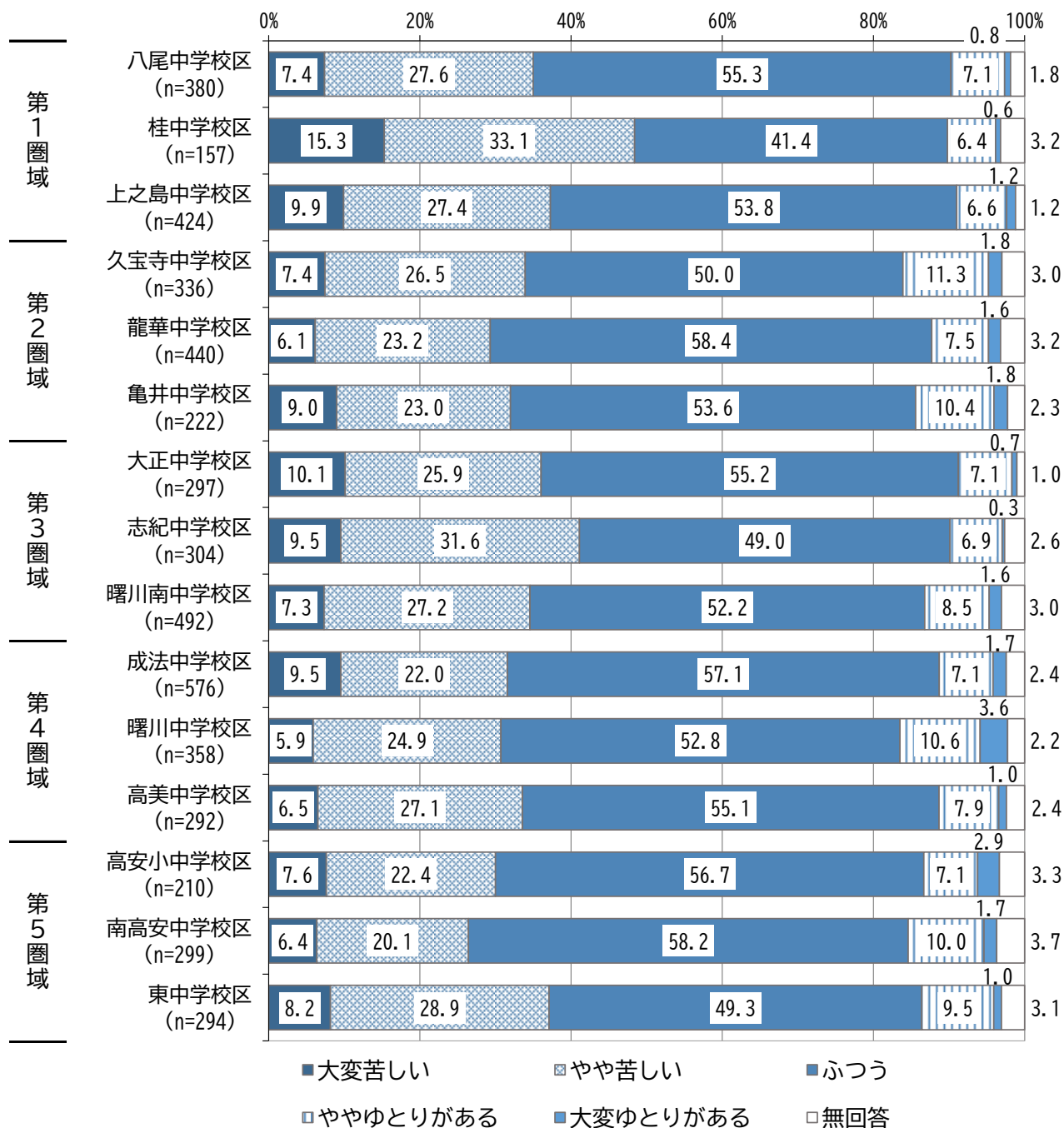
認定状況別でみると、『苦しい』では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が43.1%で最も高くなっています。

図表 2-2-29 経済状況 認定状況別



中学校区別でみると、『苦しい』では、桂中学校区が48.4%で最も高く、『ゆとりがある』では、曙川中学校区が14.2%で最も高くなっています。

図表 2-2-30 経済状況 中学校区別



3 からだを動かすことについて

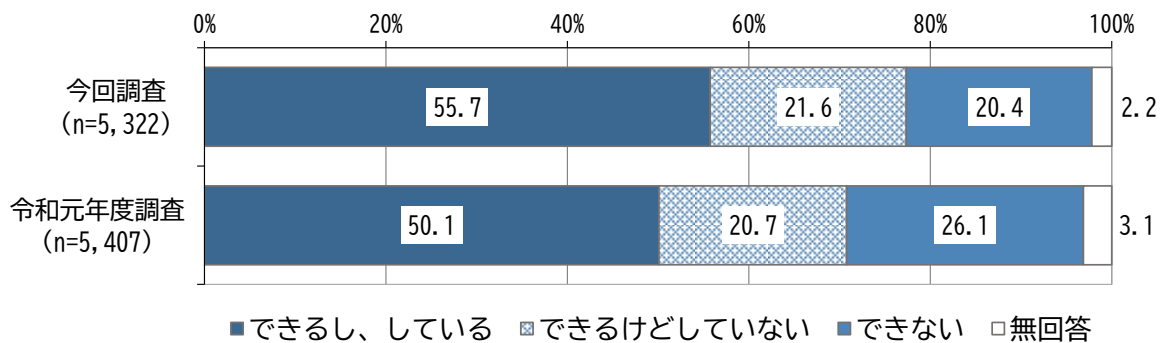
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか

問2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ)

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」が55.7%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が21.6%、「できない」が20.4%となっています。

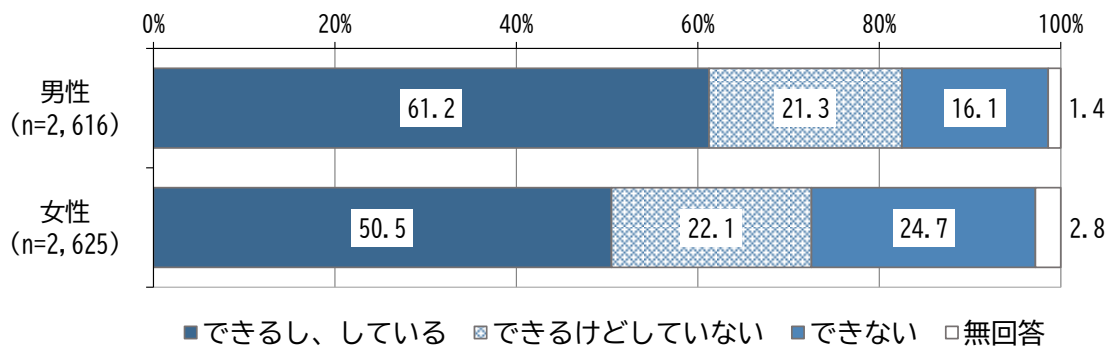
令和元(2019)年度調査と比較すると、「できるし、している」(55.7%)では、令和元(2019)年度調査(50.1%)より5.6ポイント増加しています。

図表 2-3-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか



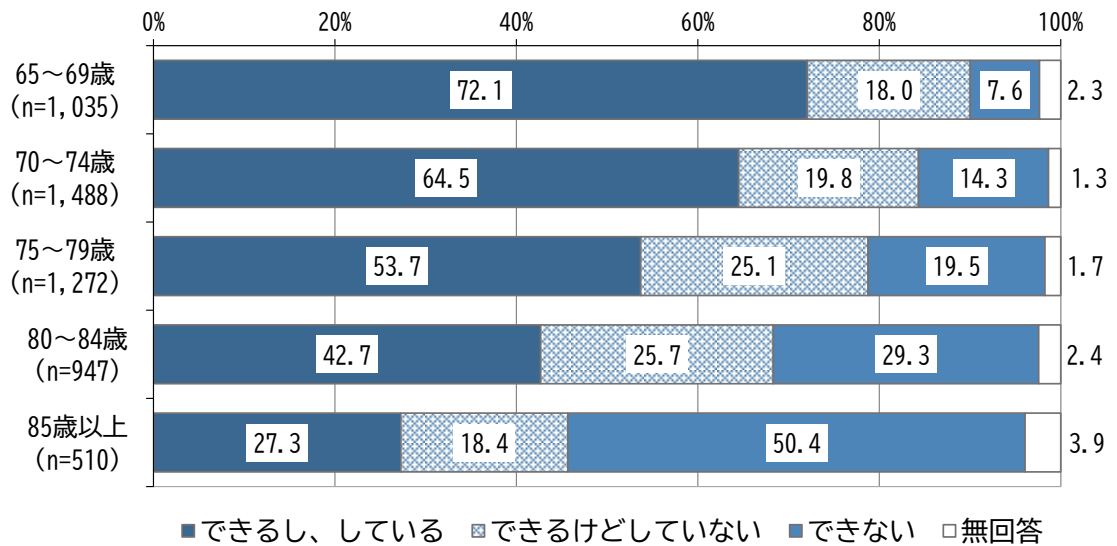
性別で見ると、「できない」では、女性が24.7%で、男性(16.1%)より8.6ポイント高くなっています。

図表 2-3-2 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか 性別



年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が50.4%で最も高くなっています。

図表 2-3-3 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか 年齢別



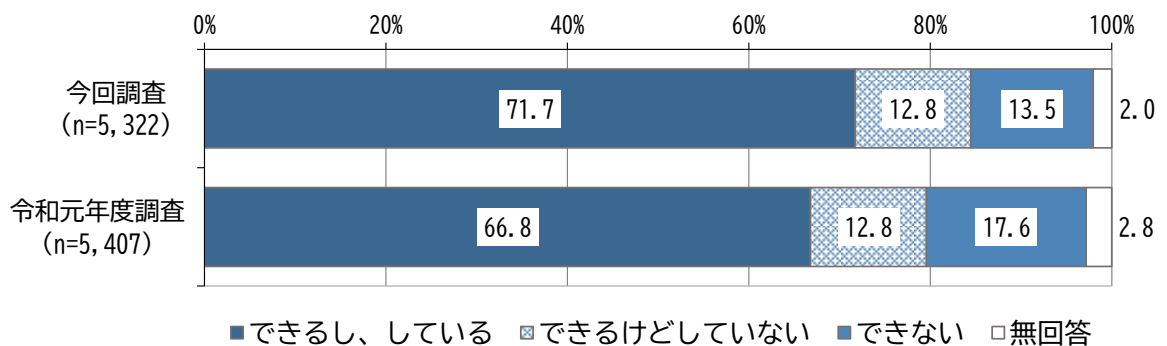
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか

問2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が71.7%で最も高く、次いで「できない」が13.5%、「できるけどしていない」が12.8%となっています。

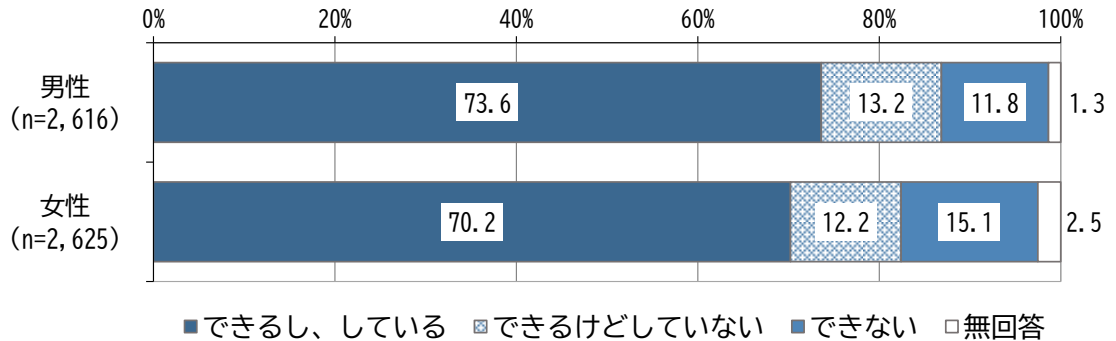
令和元(2019)年度調査と比較すると、「できるし、している」(71.7%)では、令和元(2019)年度調査(66.8%)より4.9ポイント増加しています。

図表 2-3-4 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか



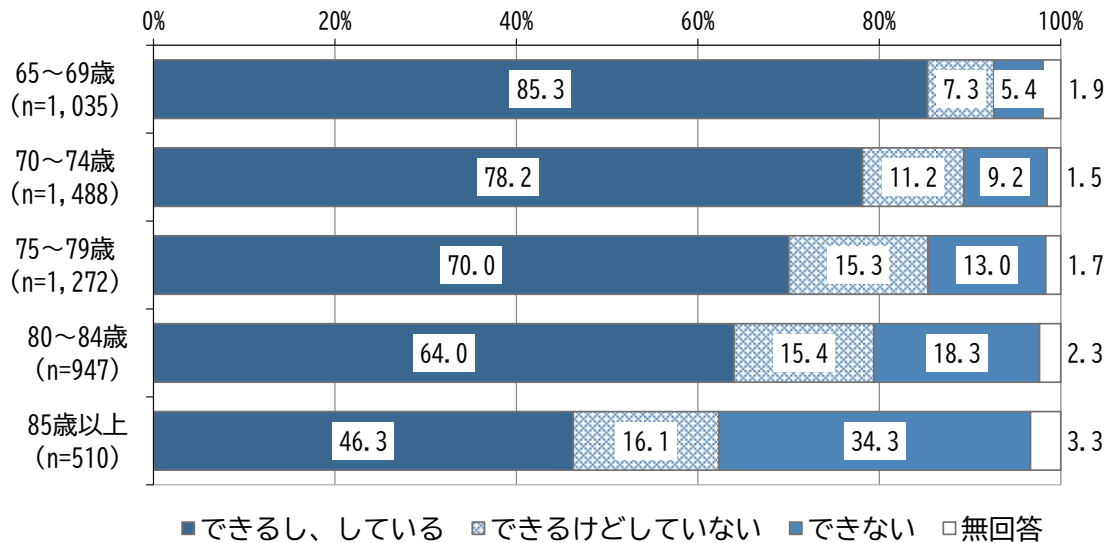
性別でみると、「できない」では、女性が15.1%で、男性（11.8%）より3.3ポイント高くなっています。

図表 2-3-5 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか 性別



年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が34.3%で最も高くなっています。

図表 2-3-6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか 年齢別

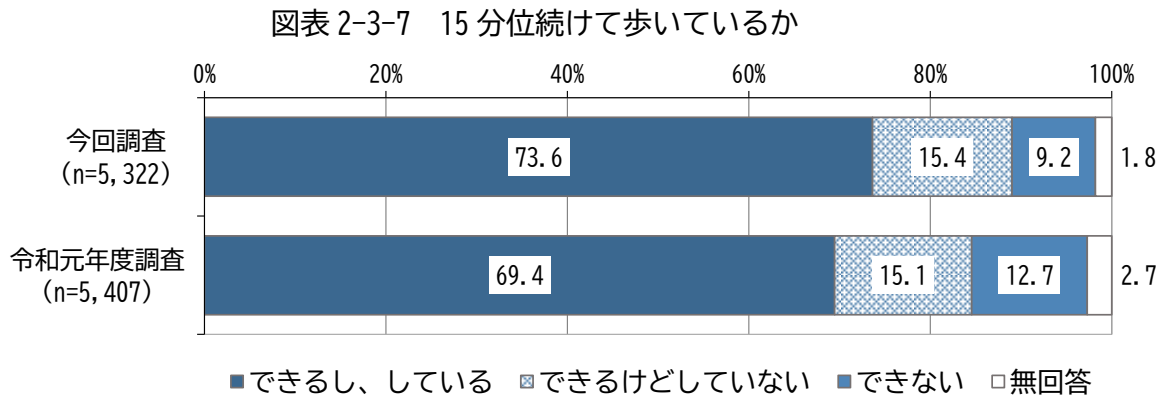


(3) 15分位続けて歩いているか

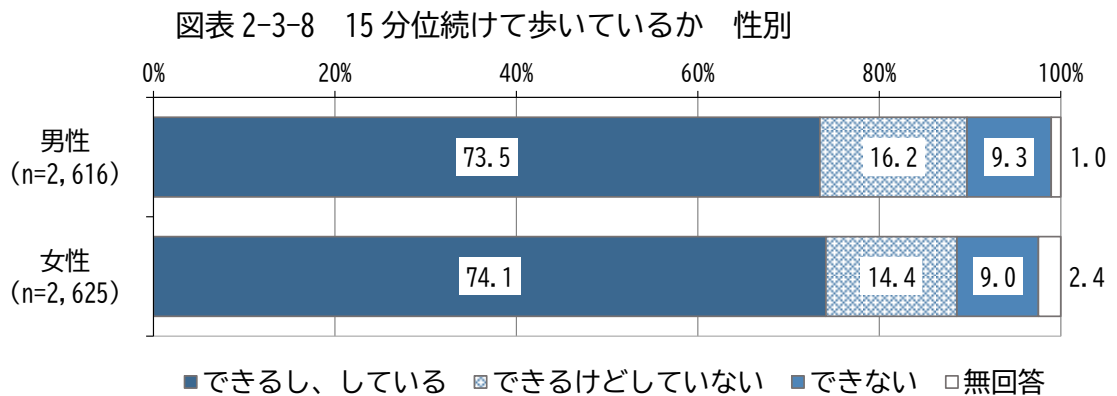
問2-3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ)

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が73.6%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が15.4%、「できない」が9.2%となっています。

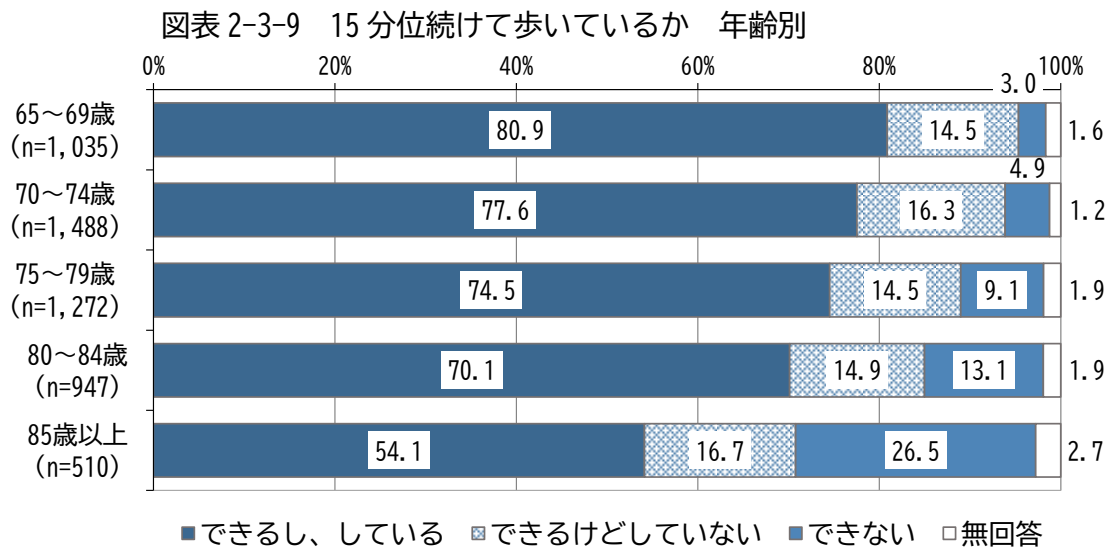
令和元（2019）年度調査と比較すると、「できるし、している」（73.6%）では、令和元（2019）年度調査（69.4%）より4.2ポイント増加しています。



性別でみると、「できない」では、男性が9.3%、女性が9.0%となっています。



年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が26.5%で最も高くなっています。

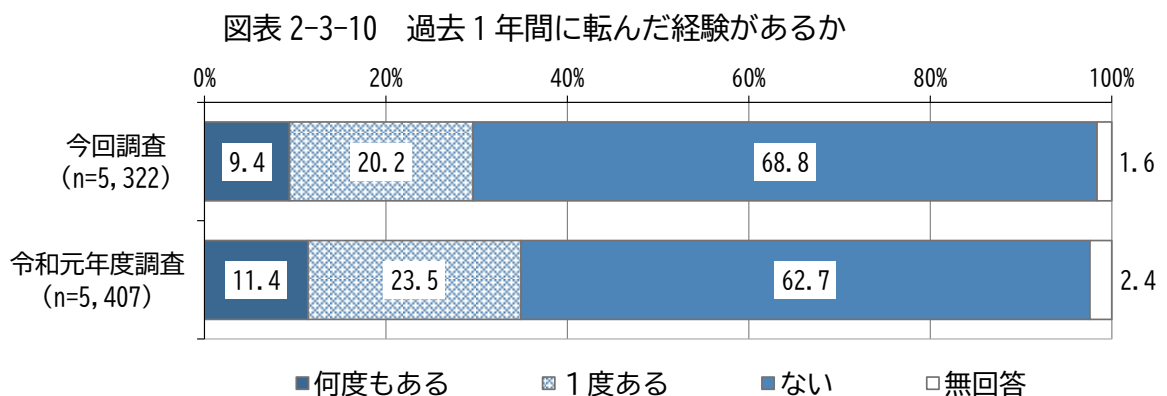


(4) 過去1年間に転んだ経験があるか

問2-4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ)

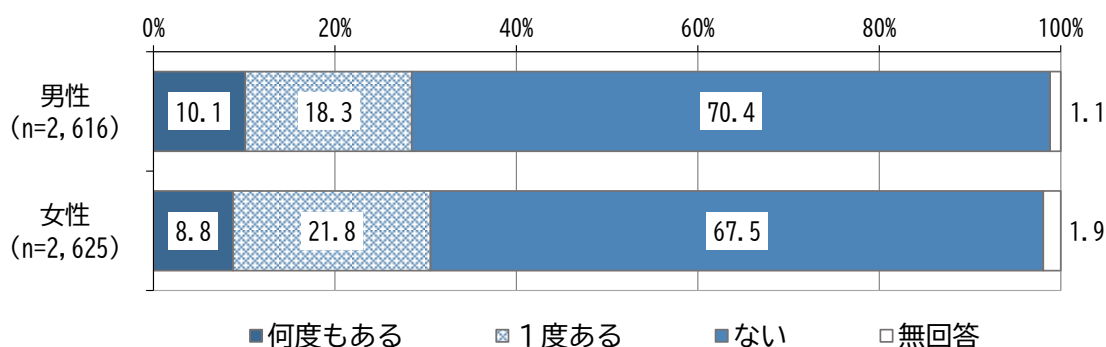
過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」が68.8%で最も高く、次いで「1度ある」が20.2%、「何度もある」が9.4%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「ない」(68.8%)では、令和元(2019)年度調査(62.7%)より6.1ポイント増加しています。



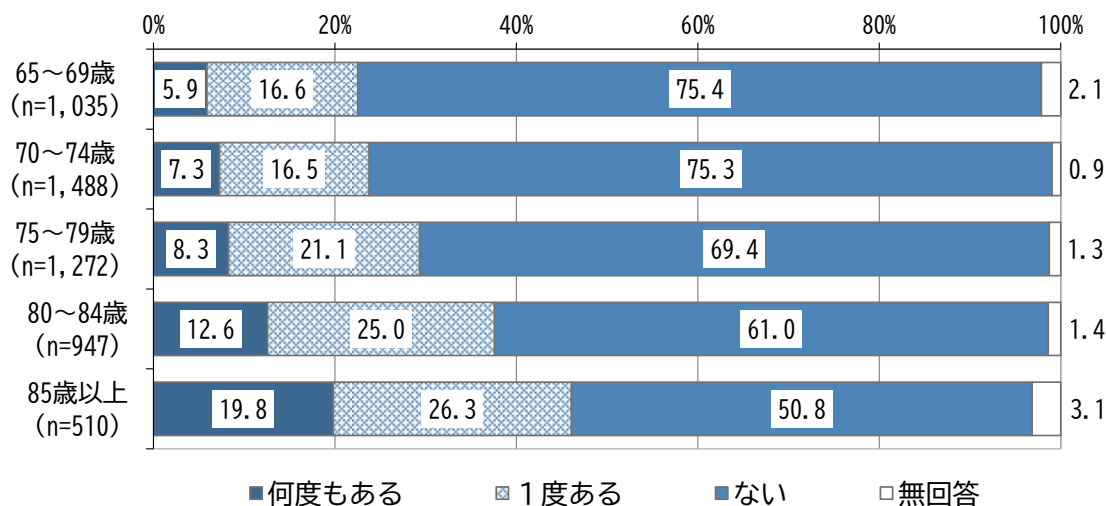
性別でみると、「何度もある」では、男性が10.1%、女性が8.8%となっています。

図表 2-3-11 過去1年間に転んだ経験があるか 性別



年齢別でみると、「何度もある」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が19.8%で最も高くなっています。

図表 2-3-12 過去1年間に転んだ経験があるか 年齢別

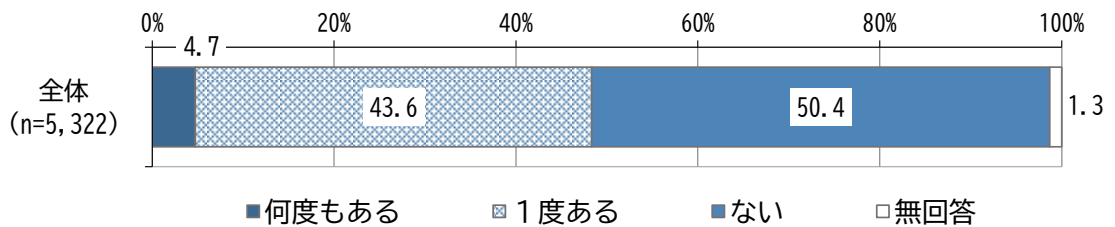


(5) 家の中でつまづいたり滑ったりするか

問2-5 家の中でよくつまづいたり、滑ったりしますか。(1つだけ)

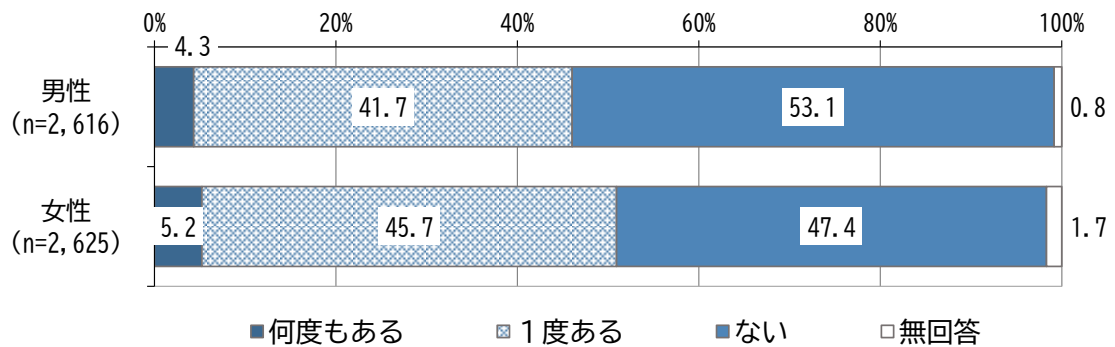
家の中でつまづいたり滑ったりするかについては、「ない」が50.4%で最も高く、次いで「1度ある」が43.6%、「何度もある」が4.7%となっています。

図表 2-3-13 家の中でつまづいたり滑ったりするか



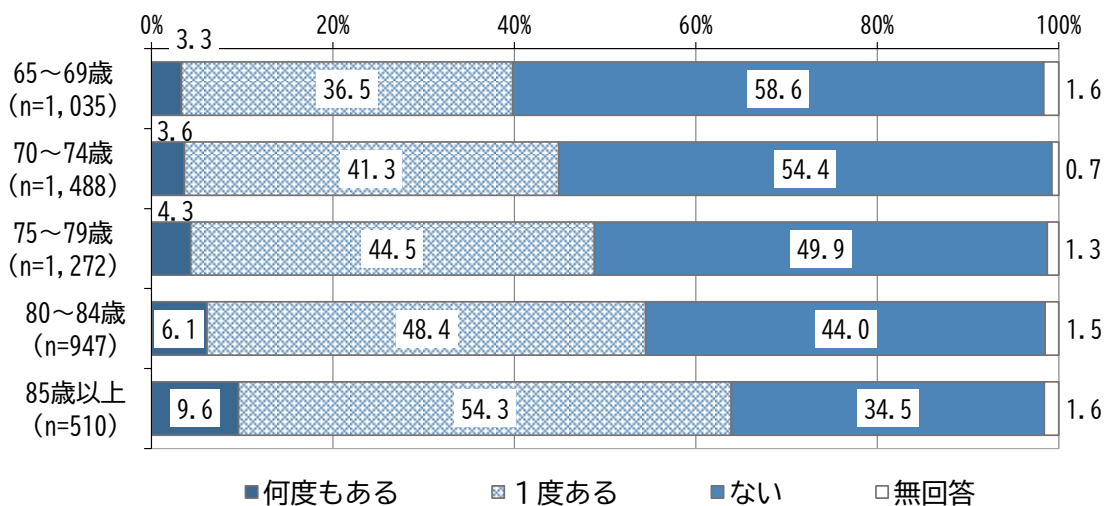
性別でみると、「何度もある」では、男性が4.3%、女性が5.2%となっています。

図表 2-3-14 家の中でつまづいたり滑ったりするか 性別



年齢別でみると、「何でもある」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が9.6%で最も高くなっています。

図表 2-3-15 家の中でつまづいたり滑ったりするか 年齢別



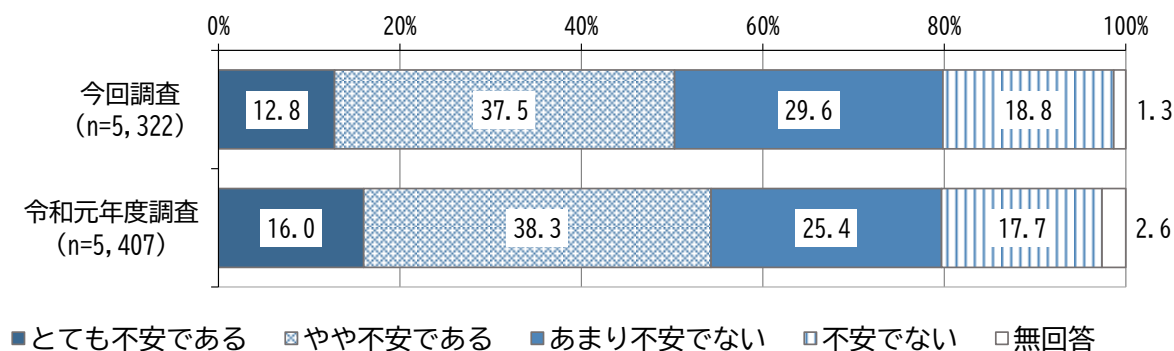
(6) 転倒に対する不安は大きいか

問2-6 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ)

転倒に対する不安は大きいかについては、「やや不安である」が37.5%で最も高く、次いで「あまり不安でない」が29.6%、「不安でない」が18.8%と続いています。

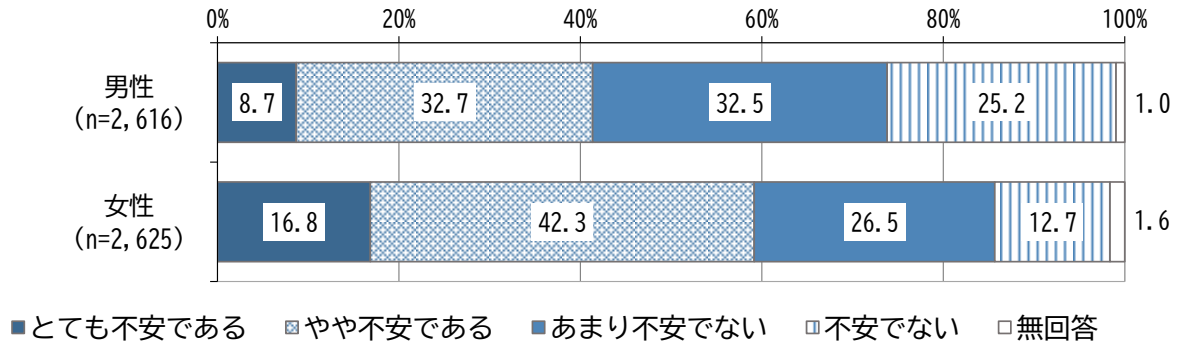
令和元(2019)年度調査と比較すると、『不安である』(「とても不安である」と「やや不安である」の合計)(50.3%)では、令和元(2019)年度調査(54.3%)より4.0ポイント減少しています。

図表 2-3-16 転倒に対する不安は大きいか



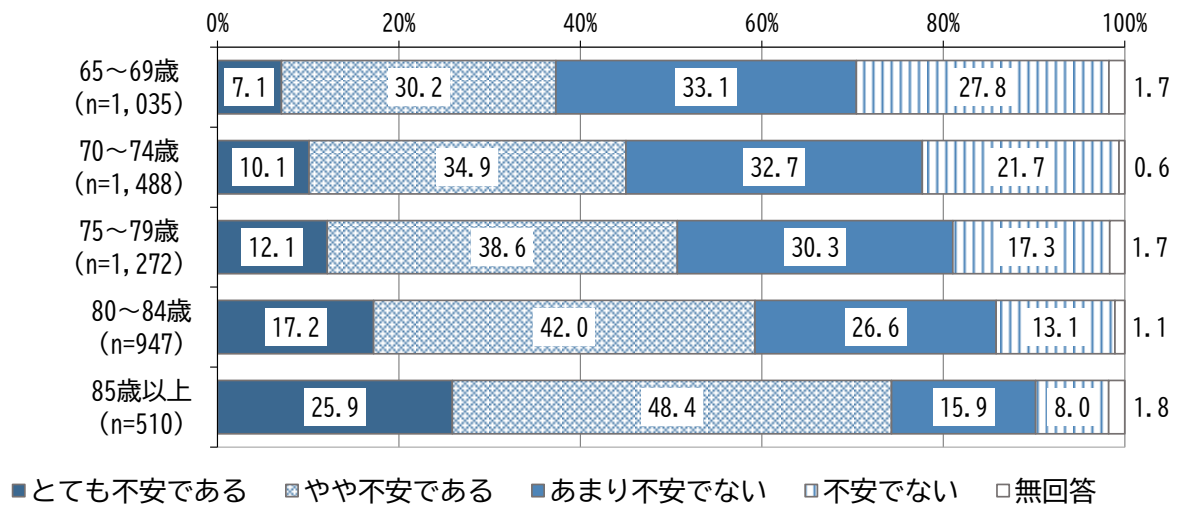
性別でみると、『不安である』では、女性が59.1%で、男性（41.4%）より17.7ポイント高くなっています。

図表 2-3-17 転倒に対する不安は大きいか 性別



年齢別でみると、『不安である』では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が74.3%で最も高くなっています。

図表 2-3-18 転倒に対する不安は大きいか

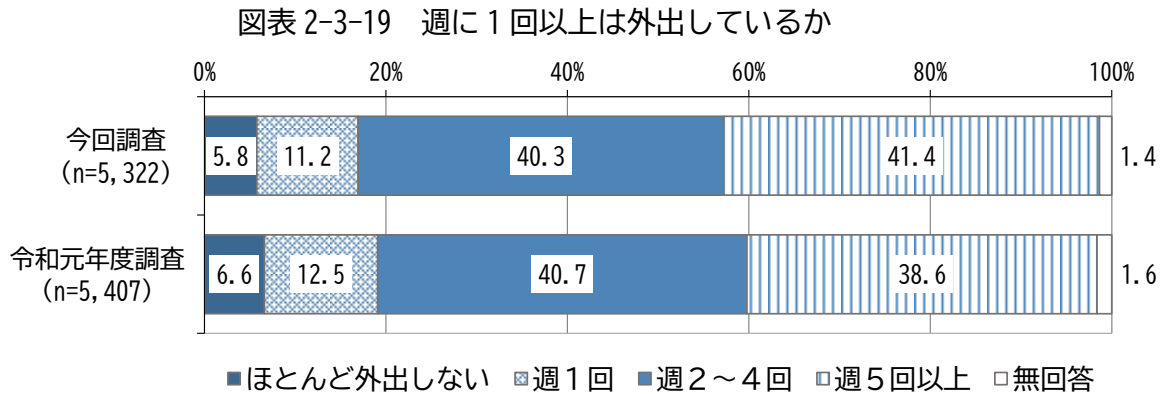


(7) 週に1回以上は外出しているか

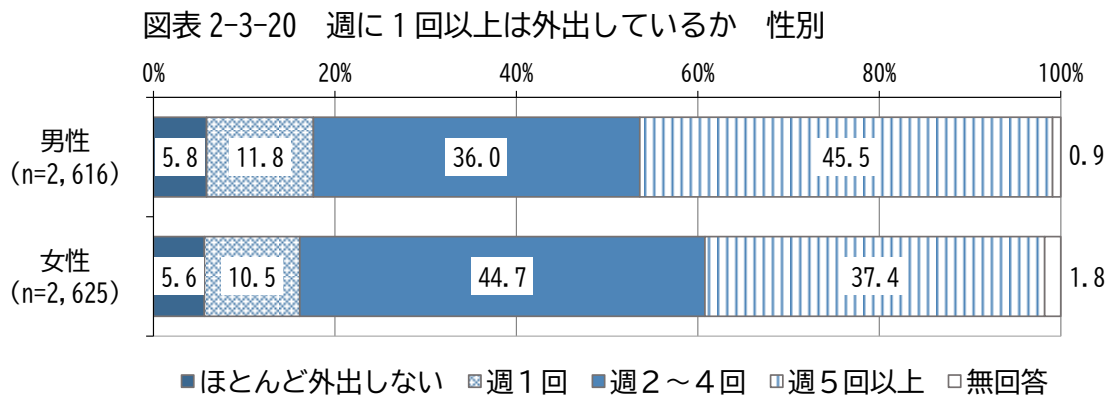
問2-7 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ)

週に1回以上は外出しているかについては、「週5回以上」が41.4%で最も高く、次いで「週2～4回」が40.3%、「週1回」が11.2%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

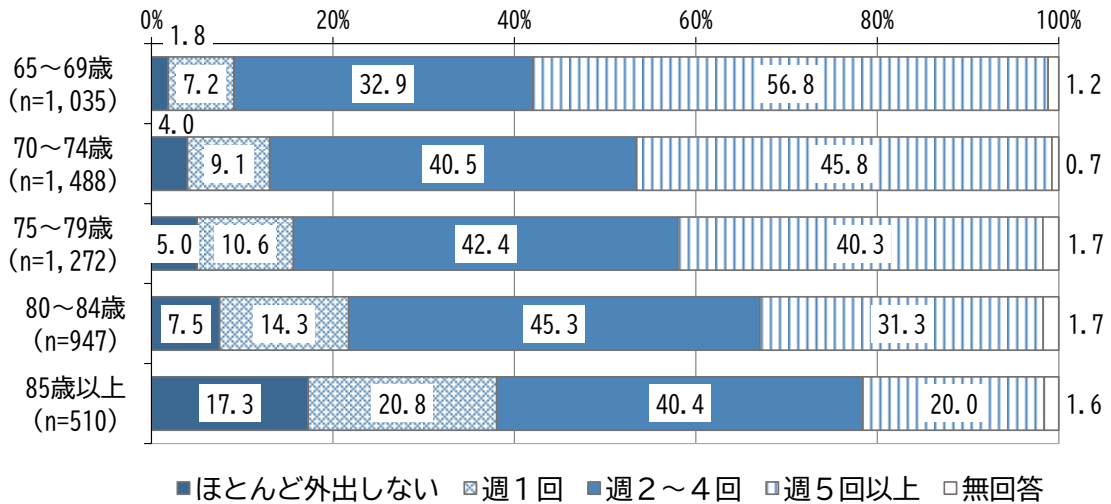


性別でみると、「ほとんど外出しない」では、男性が5.8%、女性が5.6%となっています。



年齢別でみると、「ほとんど外出しない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が17.3%で最も高くなっています。

図表 2-3-21 週に1回以上は外出しているか 年齢別



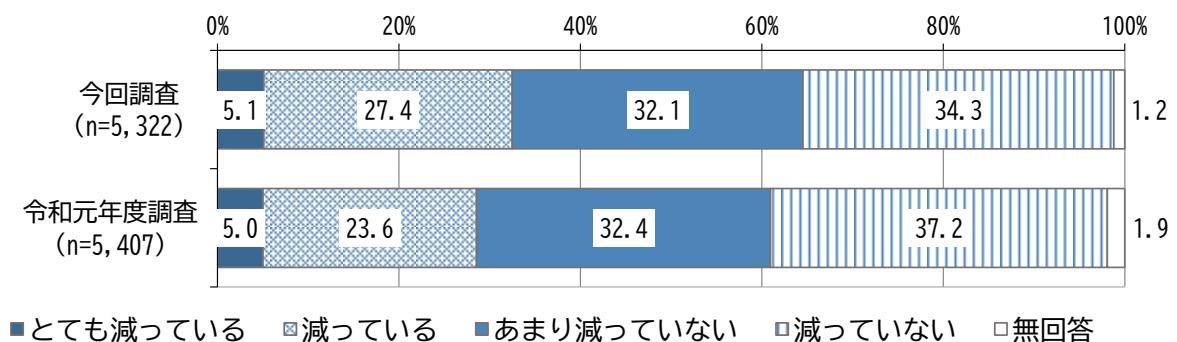
(8) 昨年と比べて外出の回数が減っているか

問2-8 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ)

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「減っていない」が34.3%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が32.1%、「減っている」が27.4%と続いています。

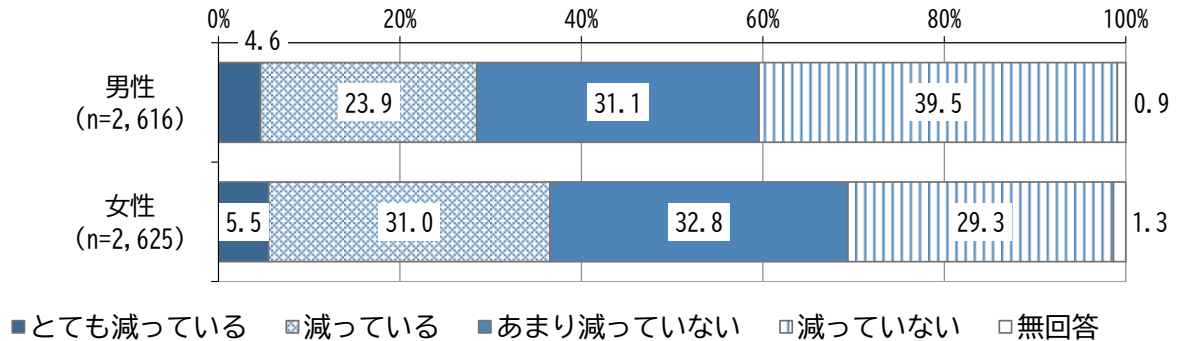
令和元(2019)年度調査と比較すると、『減っている』(「とても減っている」と「減っている」の合計)(32.5%)では、令和元(2019)年度調査(28.6%)より3.9ポイント増加しています。

図表 2-3-22 昨年と比べて外出の回数が減っているか



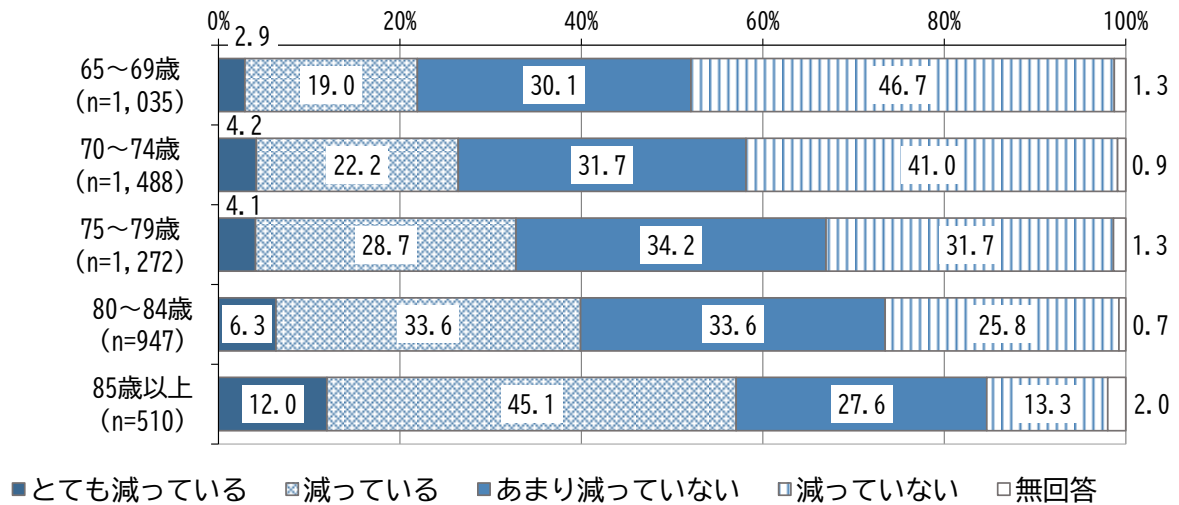
性別でみると、『減っている』では、女性が36.5%で、男性（28.5%）より8.0ポイント高くなっています。

図表 2-3-23 昨年と比べて外出の回数が減っているか 性別



年齢別でみると、『減っている』では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が57.1%で最も高くなっています。

図表 2-3-24 昨年と比べて外出の回数が減っているか 年齢別

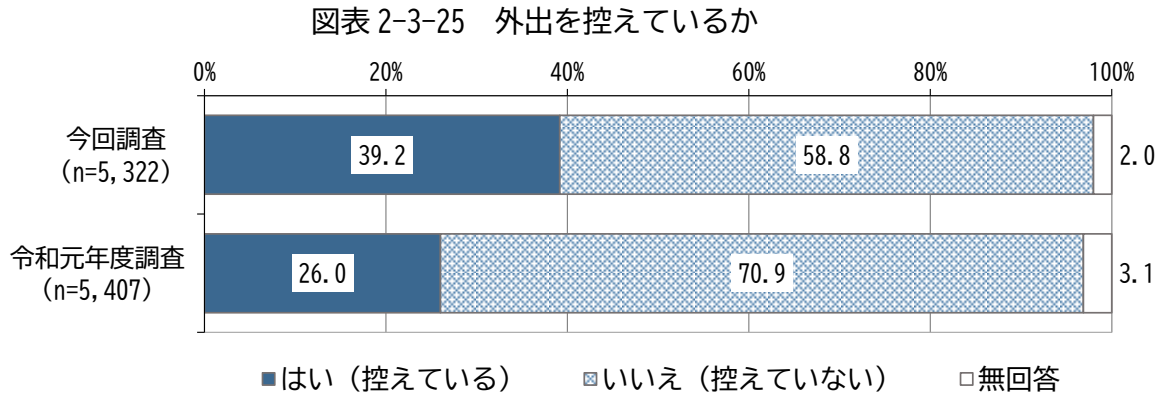


(9) 外出を控えているか

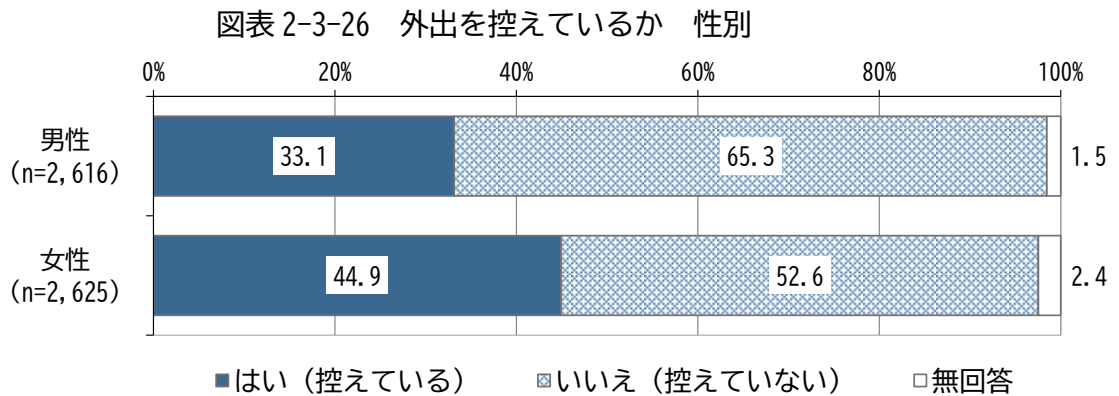
問2-9 外出を控えていますか。(1つだけ)

外出を控えているかについては、「はい（控えている）」が39.2%、「いいえ（控えていない）」が58.8%となっています。

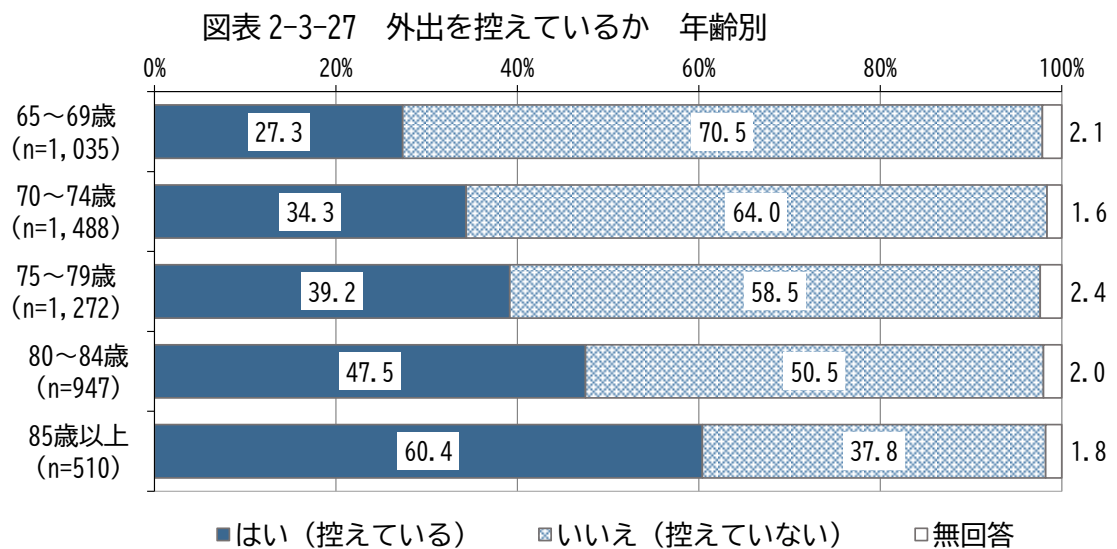
令和元（2019）年度調査と比較すると、「はい（控えている）」（39.2%）では、令和元（2019）年度調査（26.0%）より13.2ポイント増加しています。



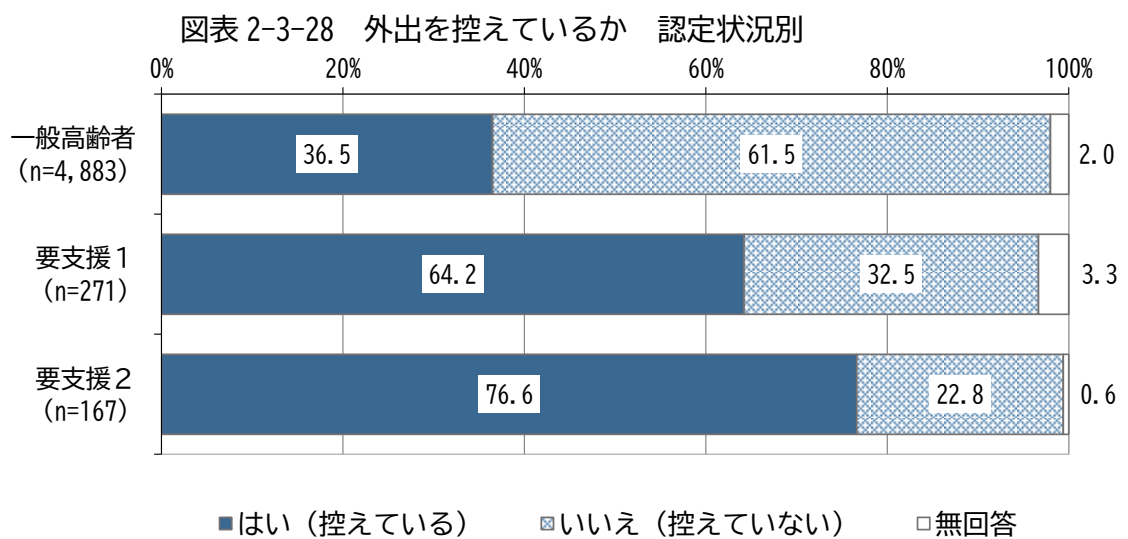
性別で見ると、「はい（控えている）」では、女性が44.9%で、男性（33.1%）より11.8ポイント高くなっています。



年齢別でみると、「はい（控えている）」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が60.4%で最も高くなっています。

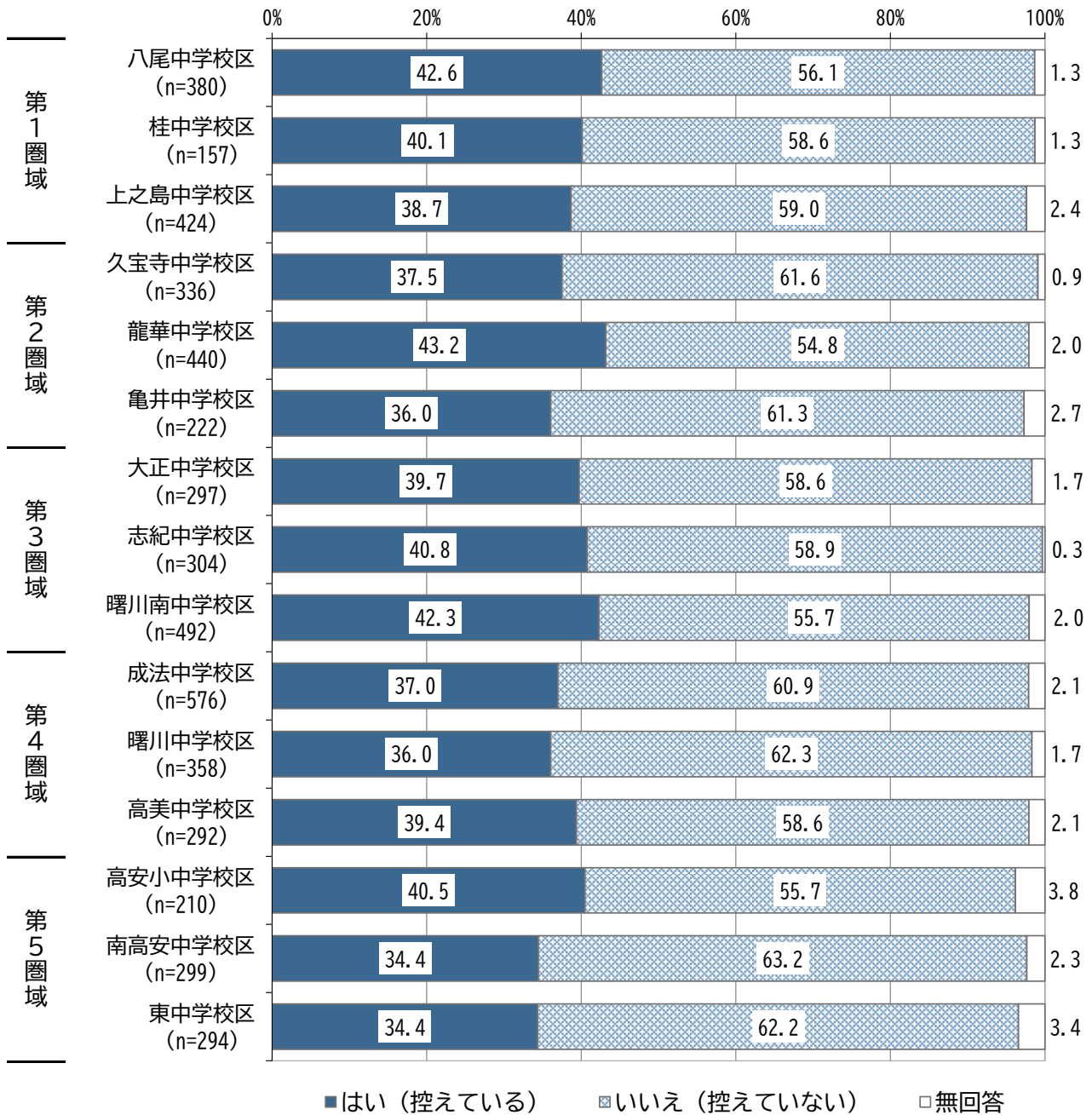


認定状況別でみると、「はい（控えている）」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が76.6%で最も高くなっています。



中学校区別でみると、「はい（控えている）」では、龍華中学校区が43.2%で最も高くなっています。

図表 2-3-29 外出を控えているか 中学校区別



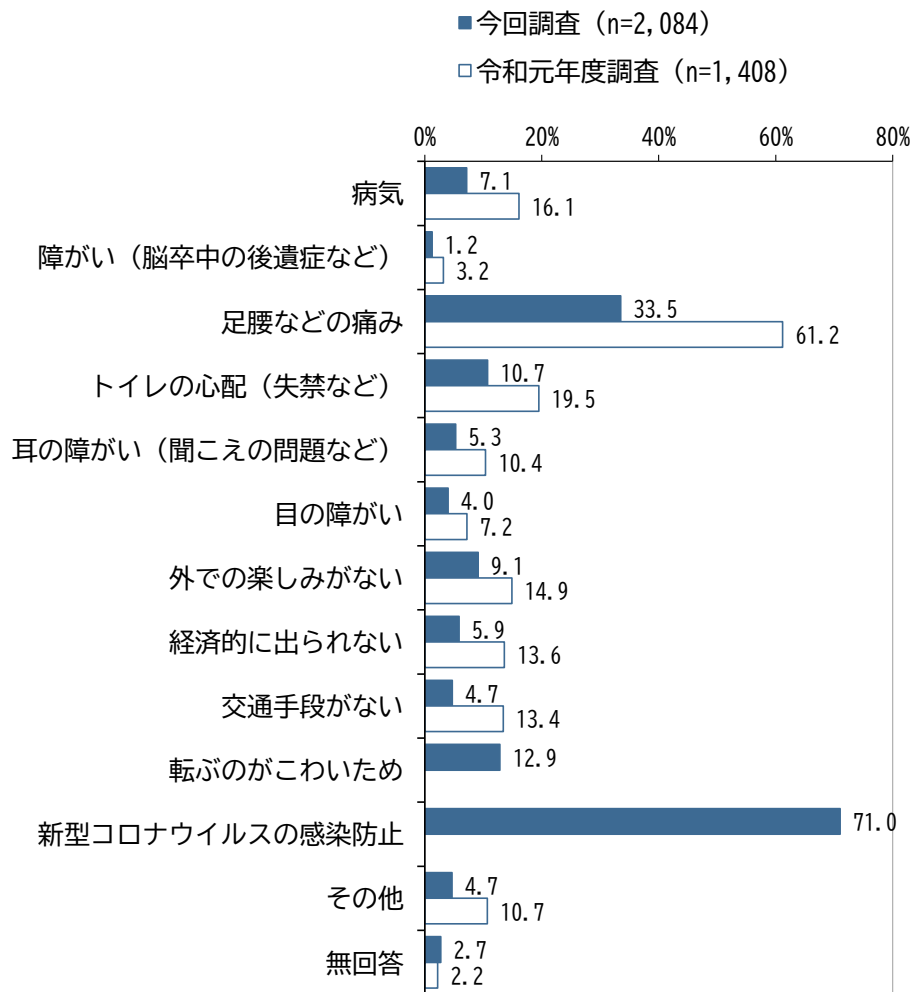
(10) 外出を控えている理由

問2-9で「はい（控えている）」と答えた人（外出を控えている人）のみ、お答えください。

問2-9-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。（いくつでも）

外出を控えている理由については、「新型コロナウイルスの感染防止」が71.0%で最も高く、次いで「足腰などの痛み」が33.5%、「転ぶのがこわいため」が12.9%と続いています。

図表 2-3-30 外出を控えている理由



※ 「転ぶのがこわいため」「新型コロナウイルスの感染防止」については今回調査からの選択肢。

性別でみると、男性・女性いずれも「新型コロナウイルスの感染防止」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「足腰などの痛み」、「耳の障がい（聞こえの問題など）」、「交通手段がない」、「転ぶのがこわいため」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、「新型コロナウイルスの感染防止」では、年齢が上がるにつれて割合が減少しています。

認定状況別でみると、一般高齢者、要支援1では「新型コロナウイルスの感染防止」の割合が最も高く、要支援2では「足腰などの痛み」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「交通手段がない」では、大正中学校区が7.6%で最も高くなっています。

図表 2-3-31 外出を控えている理由 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	病 気	障 が い (脳 卒 中 の 後 遺 症 な ど)	足 腰 な ど の 痛 み	ト イ レ の 心 配 (失 禁 な ど)	耳 の 障 が い (聞 こ え の 問 題 な ど)	目 の 障 が い	外 で の 楽 し み が な い	経 済 的 に 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	転 ぶ の が こ わ い た め	
全体		2,084	7.1	1.2	33.5	10.7	5.3	4.0	9.1	5.9	4.7	12.9	
性 別	男性	867	9.0	2.0	31.5	13.1	7.7	4.6	12.3	6.0	5.4	11.9	
	女性	1,179	5.7	0.7	34.6	9.2	3.6	3.3	6.9	5.8	4.2	13.6	
年 齢 別	65～69歳	283	4.9	1.1	17.7	4.9	0.4	1.1	10.6	6.7	1.4	1.8	
	70～74歳	511	7.4	1.6	26.0	6.8	2.3	3.1	9.4	7.6	3.7	7.0	
	75～79歳	498	7.6	0.8	34.9	11.8	4.4	3.0	8.8	5.6	4.0	11.4	
	80～84歳	450	8.4	1.8	40.0	15.6	7.6	5.1	7.3	5.3	5.6	17.6	
	85歳以上	308	5.5	0.6	47.1	14.6	13.3	7.5	10.4	3.2	9.1	27.6	
状 況 別 認 定	一般高齢者	1,781	6.3	1.0	29.6	9.5	4.4	3.4	9.3	6.2	3.9	9.5	
	要支援1	174	10.9	0.6	51.7	16.1	10.9	6.9	8.0	4.6	7.5	27.6	
	要支援2	128	13.3	5.5	63.3	20.3	10.2	7.8	7.8	3.1	12.5	39.1	
中 学 校 区 別	第1圏域	八尾中学校区	162	6.8	1.9	37.7	9.9	6.2	5.6	10.5	8.0	1.2	9.9
		桂中学校区	63	1.6	3.2	49.2	17.5	11.1	1.6	22.2	19.0	4.8	22.2
	第2圏域	上之島中学校区	164	4.9	1.8	30.5	12.2	4.9	3.7	6.1	3.0	7.3	17.1
		久宝寺中学校区	126	10.3	1.6	33.3	12.7	6.3	2.4	9.5	4.8	3.2	16.7
		龍華中学校区	190	7.9	1.1	33.2	12.6	2.6	2.1	7.9	3.2	2.6	11.6
	第3圏域	亀井中学校区	80	8.8	0.0	26.3	10.0	1.3	3.8	6.3	5.0	5.0	7.5
		大正中学校区	118	5.9	1.7	30.5	5.9	7.6	4.2	12.7	9.3	7.6	11.0
		志紀中学校区	124	8.1	0.8	36.3	12.1	4.0	6.5	12.1	11.3	7.3	13.7
	第4圏域	曙川南中学校区	208	7.2	1.4	31.7	12.0	5.8	4.3	8.7	4.3	5.3	14.4
		成法中学校区	213	6.6	1.9	33.3	8.9	7.5	4.7	8.9	6.1	4.2	11.7
		曙川中学校区	129	8.5	0.0	30.2	8.5	1.6	3.1	8.5	2.3	6.2	11.6
	第5圏域	高美中学校区	115	10.4	0.9	29.6	10.4	8.7	2.6	7.8	2.6	5.2	10.4
		高安小中学校区	85	10.6	1.2	29.4	4.7	1.2	4.7	7.1	8.2	3.5	7.1
南高安中学校区		103	1.9	0.0	35.9	14.6	3.9	1.9	6.8	1.9	5.8	11.7	
	東中学校区	101	4.0	2.0	40.6	11.9	9.9	6.9	8.9	6.9	2.0	13.9	

		合計	新型コロナウイルスの 感染防止	その他	無回答	
全体		2,084	71.0	4.7	2.7	
性別	男性	867	68.1	5.4	2.2	
	女性	1,179	74.1	4.2	3.0	
年齢別	65～69歳	283	86.9	5.3	2.8	
	70～74歳	511	79.5	5.1	1.8	
	75～79歳	498	69.5	3.4	3.4	
	80～84歳	450	66.7	4.0	2.7	
	85歳以上	308	53.9	6.8	2.9	
状況別 認定	一般高齢者	1,781	74.2	4.5	2.9	
	要支援1	174	54.6	6.3	1.1	
	要支援2	128	49.2	3.9	3.1	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	162	72.2	4.9	3.1
		桂中学校区	63	66.7	4.8	1.6
		上之島中学校区	164	73.2	6.7	1.2
	第2圏域	久宝寺中学校区	126	69.8	4.8	5.6
		龍華中学校区	190	68.9	2.1	4.2
		亀井中学校区	80	77.5	6.3	5.0
	第3圏域	大正中学校区	118	74.6	1.7	1.7
		志紀中学校区	124	66.1	6.5	2.4
		曙川南中学校区	208	70.7	7.7	1.0
	第4圏域	成法中学校区	213	75.6	3.3	1.9
		曙川中学校区	129	68.2	7.8	2.3
		高美中学校区	115	78.3	3.5	0.9
	第5圏域	高安小中学校区	85	64.7	5.9	2.4
		南高安中学校区	103	74.8	1.9	1.0
		東中学校区	101	70.3	2.0	4.0

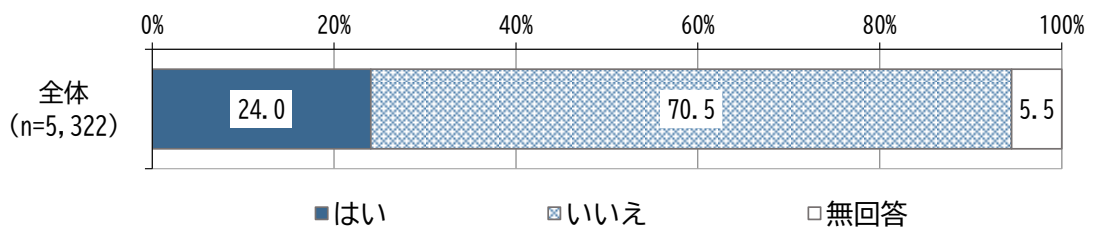
※網掛け■は最も割合が高いもの

(11) 1日中家の中で過ごすことが多いか

問2-10 1日中家の外には出ず、家の中で過ごすことが多いですか。(1つだけ)

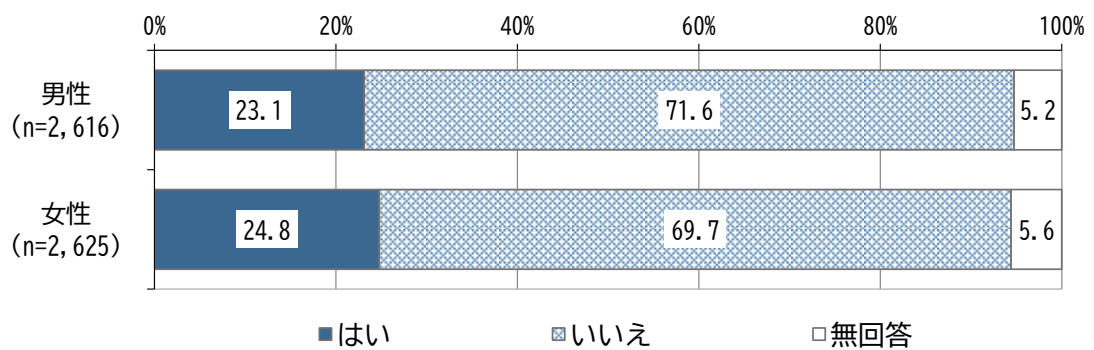
1日中家の中で過ごすことが多いかについては、「はい」が24.0%、「いいえ」が70.5%となっています。

図表 2-3-32 1日中家の中で過ごすことが多いか



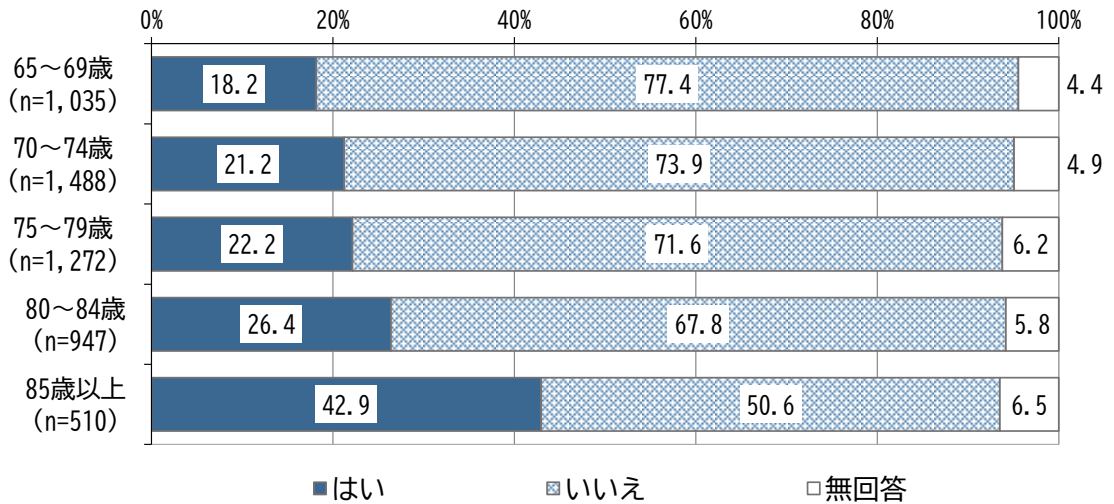
性別で見ると、「はい」では、男性が23.1%、女性が24.8%となっています。

図表 2-3-33 1日中家の中で過ごすことが多いか 性別



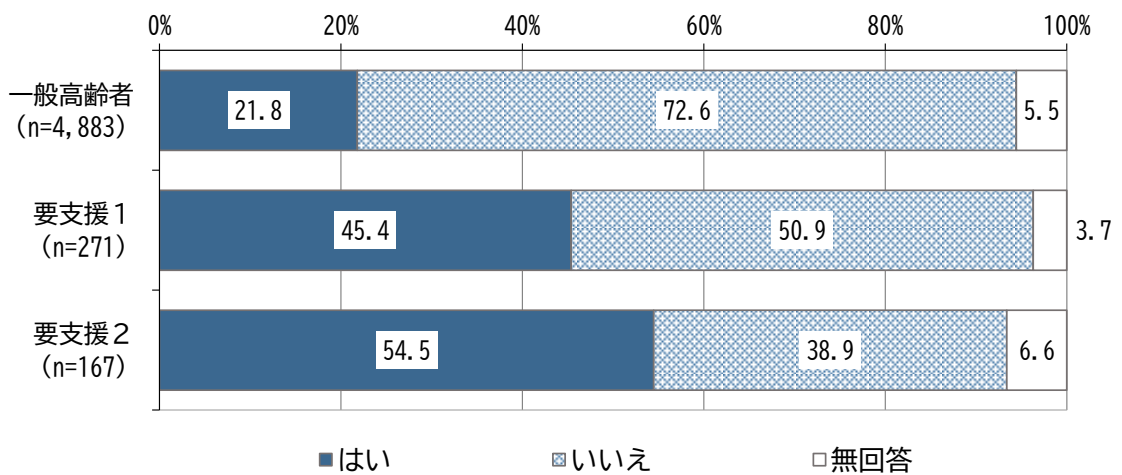
年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が42.9%で最も高くなっています。

図表 2-3-34 1日中家の中で過ごすことが多いか 年齢別



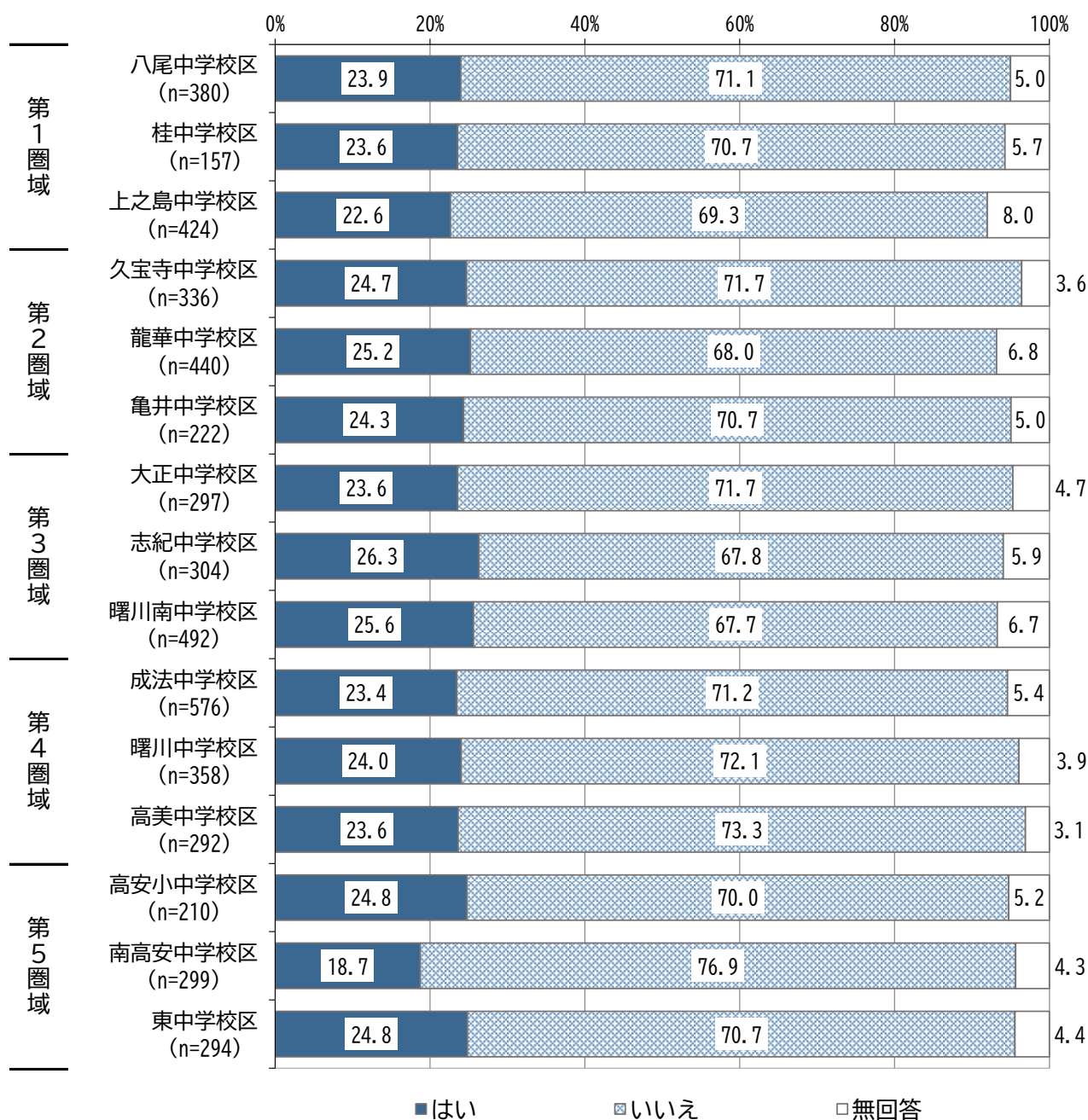
認定状況別でみると、「はい」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が54.5%で最も高くなっています。

図表 2-3-35 1日中家の中で過ごすことが多いか 認定状況別



中学校区別でみると、「はい」では、志紀中学校区が26.3%で最も高くなっています。

図表 2-3-36 1日中家の中で過ごすことが多いか 中学校区別



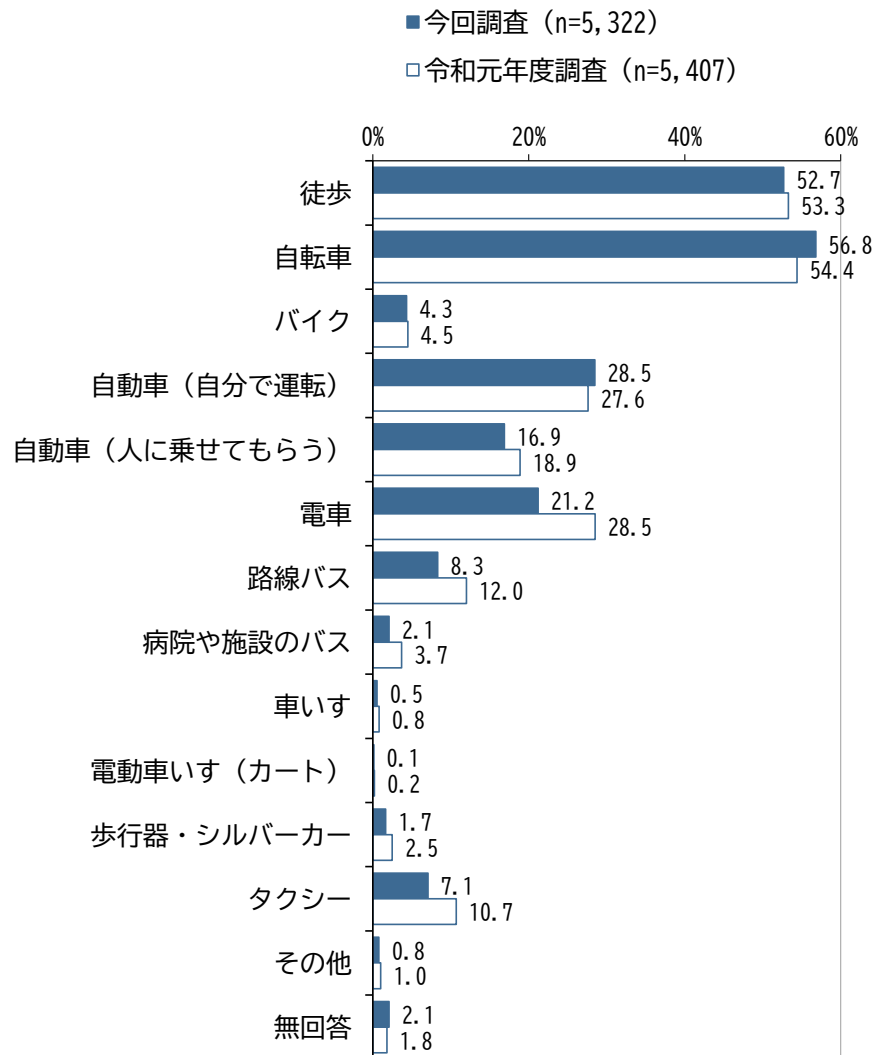
(12) 外出する際の移動手段

問2-11 外出（買物・通院等）する際の移動手段は何ですか。（いくつでも）

外出する際の移動手段については、「自転車」が56.8%で最も高く、次いで「徒歩」が52.7%、「自動車（自分で運転）」が28.5%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「電車」（21.2%）では、令和元（2019）年度調査（28.5%）より7.3ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

図表 2-3-37 外出する際の移動手段



性別でみると、男性・女性いずれも「自転車」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、79歳以下では「自転車」の割合が最も高く、80歳以上では「徒歩」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、一般高齢者では「自転車」の割合が最も高く、要支援1、要支援2では「徒歩」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、志紀中学校区、成法中学校区、曙川中学校区、高安小中学校区、南高安中学校区では「徒歩」の割合が最も高く、それ以外の中学校区では「自転車」の割合が最も高くなっています。

図表 2-3-38 外出する際の移動手段 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	徒歩	自転車	バイク	転自動車 （自分で運	て自動車 （人に乗せ	電車	路線バス	病院や施設 のバス	車いす	ト自動車 いす（カー	
全体		5,322	52.7	56.8	4.3	28.5	16.9	21.2	8.3	2.1	0.5	0.1	
性別	男性	2,616	51.6	56.2	5.1	46.1	8.8	19.4	6.9	2.0	0.4	0.2	
	女性	2,625	54.4	57.6	3.6	11.1	25.0	23.2	9.9	2.1	0.7	0.1	
年齢別	65～69歳	1,035	54.6	60.2	6.8	41.7	16.2	24.9	5.9	0.9	0.1	0.0	
	70～74歳	1,488	52.8	61.2	5.5	35.1	16.7	24.5	7.7	1.6	0.3	0.1	
	75～79歳	1,272	50.5	60.7	3.8	25.9	15.0	17.9	7.4	2.0	0.1	0.1	
	80～84歳	947	55.5	52.7	2.7	18.6	16.1	20.4	12.2	3.3	1.1	0.3	
	85歳以上	510	51.8	36.5	0.2	7.8	25.5	14.7	11.0	3.9	2.4	0.4	
状況別 認定	一般高齢者	4,883	53.1	59.1	4.6	30.4	15.7	21.9	8.0	1.5	0.4	0.0	
	要支援1	271	49.8	35.8	1.1	6.6	29.5	14.8	10.0	5.9	1.8	1.1	
	要支援2	167	45.5	22.8	0.6	7.2	29.9	13.2	15.6	11.4	2.4	1.2	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	57.1	67.9	3.9	18.4	12.9	17.4	8.2	1.6	0.3	0.3
		桂中学校区	157	27.4	57.3	7.6	31.8	12.1	9.6	28.7	5.7	0.0	0.0
		上之島中学校区	424	45.3	61.6	4.2	28.8	17.7	15.6	19.1	1.2	0.5	0.0
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	55.1	66.7	0.0	24.1	14.0	21.4	3.3	3.6	0.6	0.0
		龍華中学校区	440	51.4	60.0	2.5	24.5	18.4	24.5	10.0	0.7	0.9	0.2
		亀井中学校区	222	55.4	56.8	2.3	31.5	14.9	23.4	13.1	2.7	0.5	0.5
	第3圏域	大正中学校区	297	48.1	54.2	3.4	38.7	24.2	17.2	16.5	2.7	0.0	0.0
		志紀中学校区	304	52.6	52.0	5.9	29.9	18.4	20.4	3.9	2.3	0.7	0.0
		曙川南中学校区	492	53.7	59.6	3.3	31.5	18.1	20.3	3.7	1.6	0.4	0.0
	第4圏域	成法中学校区	576	61.5	54.7	3.1	25.0	15.5	20.8	9.4	2.1	0.5	0.3
		曙川中学校区	358	60.1	58.7	3.4	29.6	17.6	30.4	3.1	1.7	1.7	0.0
		高美中学校区	292	56.8	71.2	3.1	21.6	13.7	14.0	3.1	2.1	1.0	0.0
	第5圏域	高安小中学校区	210	41.9	21.9	14.3	38.1	22.9	32.4	6.2	1.9	0.0	1.0
南高安中学校区		299	54.5	42.8	9.4	36.1	19.7	31.4	2.7	3.0	0.3	0.0	
東中学校区		294	54.4	58.8	4.4	29.6	16.0	20.7	4.1	1.4	0.0	0.0	

		合計	カー 歩 行 器 ・ シルバ ー	タク シ ー	そ の 他	無 回 答	
全体		5,322	1.7	7.1	0.8	2.1	
性別	男性	2,616	0.7	5.9	0.8	2.0	
	女性	2,625	2.6	8.3	0.8	2.0	
年齢別	65～69歳	1,035	0.1	2.3	0.7	2.4	
	70～74歳	1,488	0.7	3.6	0.5	1.8	
	75～79歳	1,272	0.9	5.6	0.2	2.4	
	80～84歳	947	3.6	11.5	1.5	1.7	
	85歳以上	510	5.5	22.4	1.8	1.6	
状況別 認定	一般高齢者	4,883	0.8	5.3	0.6	2.1	
	要支援1	271	9.2	25.5	1.8	0.7	
	要支援2	167	14.4	28.7	4.2	3.0	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	1.1	6.6	1.3	1.8
		桂中学校区	157	0.0	5.1	1.9	1.3
		上之島中学校区	424	1.2	7.1	0.9	3.1
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	2.4	5.4	0.6	1.2
		龍華中学校区	440	2.0	7.5	0.7	2.0
		亀井中学校区	222	2.3	7.7	0.0	0.9
	第3圏域	大正中学校区	297	0.0	3.4	1.7	0.7
		志紀中学校区	304	2.3	8.2	0.0	2.3
		曙川南中学校区	492	2.0	6.5	0.4	2.8
	第4圏域	成法中学校区	576	2.4	6.4	0.9	2.4
		曙川中学校区	358	1.4	9.2	0.0	2.5
		高美中学校区	292	2.4	6.5	0.7	0.7
	第5圏域	高安小中学校区	210	1.0	9.0	1.4	2.4
		南高安中学校区	299	1.7	8.0	0.7	2.0
		東中学校区	294	1.7	8.2	0.7	1.7

※網掛け■は最も割合が高いもの

4 食べることについて

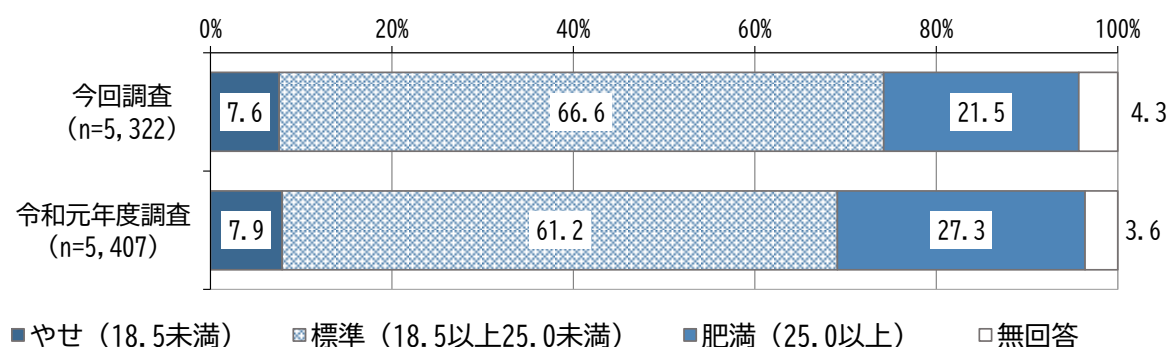
(1) BMI

問3-1 身長・体重をお教えてください。

BMI (体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}) については、「標準 (18.5 以上 25.0 未満)」が 66.6% で最も高く、次いで「肥満 (25.0 以上)」が 21.5%、「やせ (18.5 未満)」が 7.6% となっています。

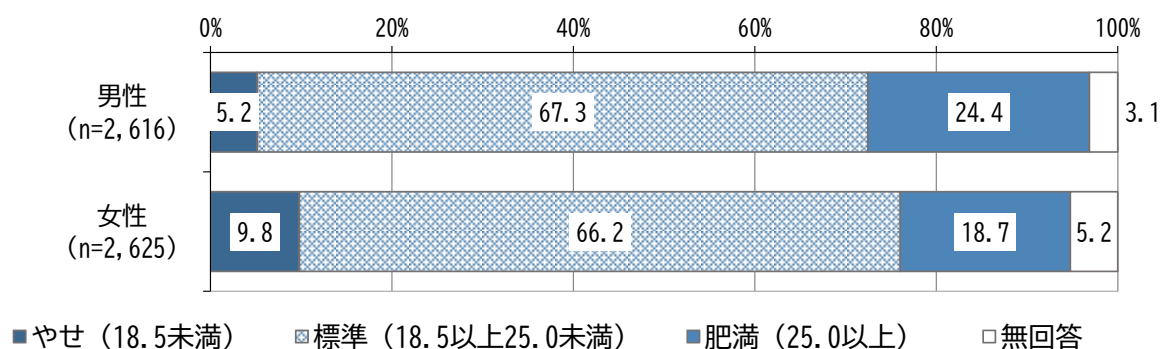
令和元 (2019) 年度調査と比較すると、「肥満 (25.0 以上)」(21.5%) では、令和元 (2019) 年度調査 (27.3%) より 5.8 ポイント減少しています。

図表 2-4-1 BMI



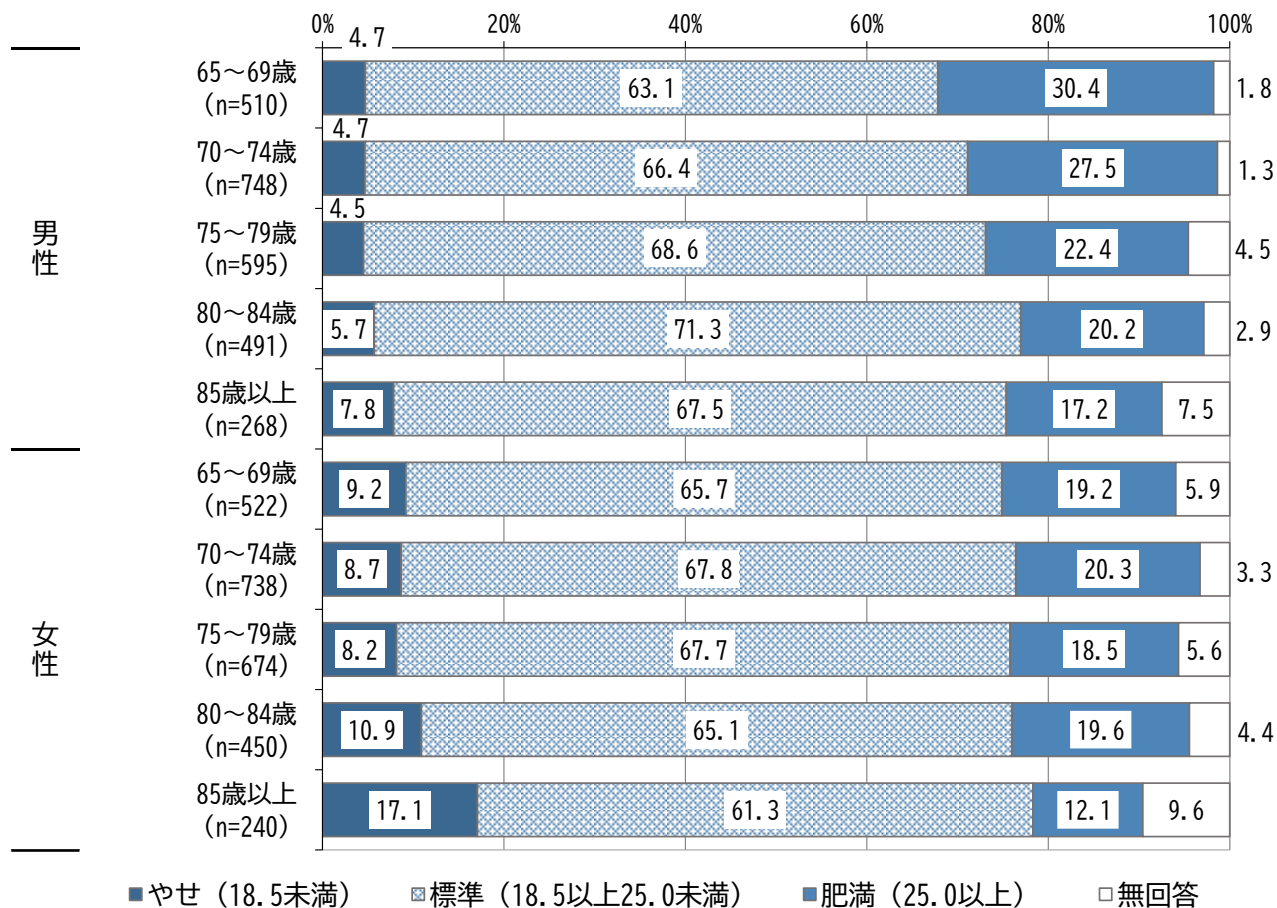
性別でみると、「肥満 (25.0 以上)」では、男性が 24.4% で、女性 (18.7%) より 5.7 ポイント高く、「やせ (18.5 未満)」では、女性が 9.8% で、男性 (5.2%) より 4.6 ポイント高くなっています。

図表 2-4-2 BMI 性別



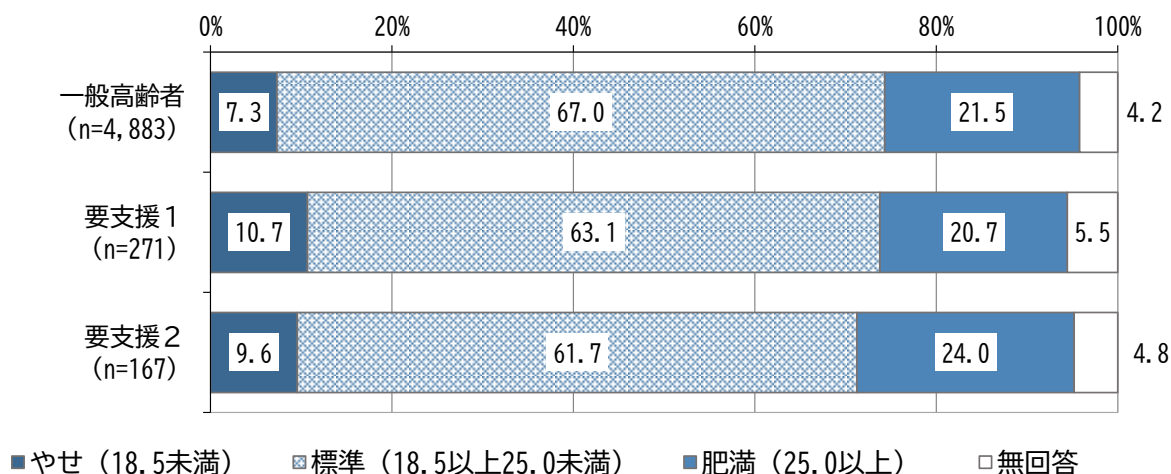
性別・年齢別でみると、男性の「肥満（25.0以上）」では、65～69歳が30.4%で最も高く、女性の「やせ（18.5未満）」では、85歳以上が17.1%で最も高くなっています。

図表 2-4-3 BMI 性別・年齢別



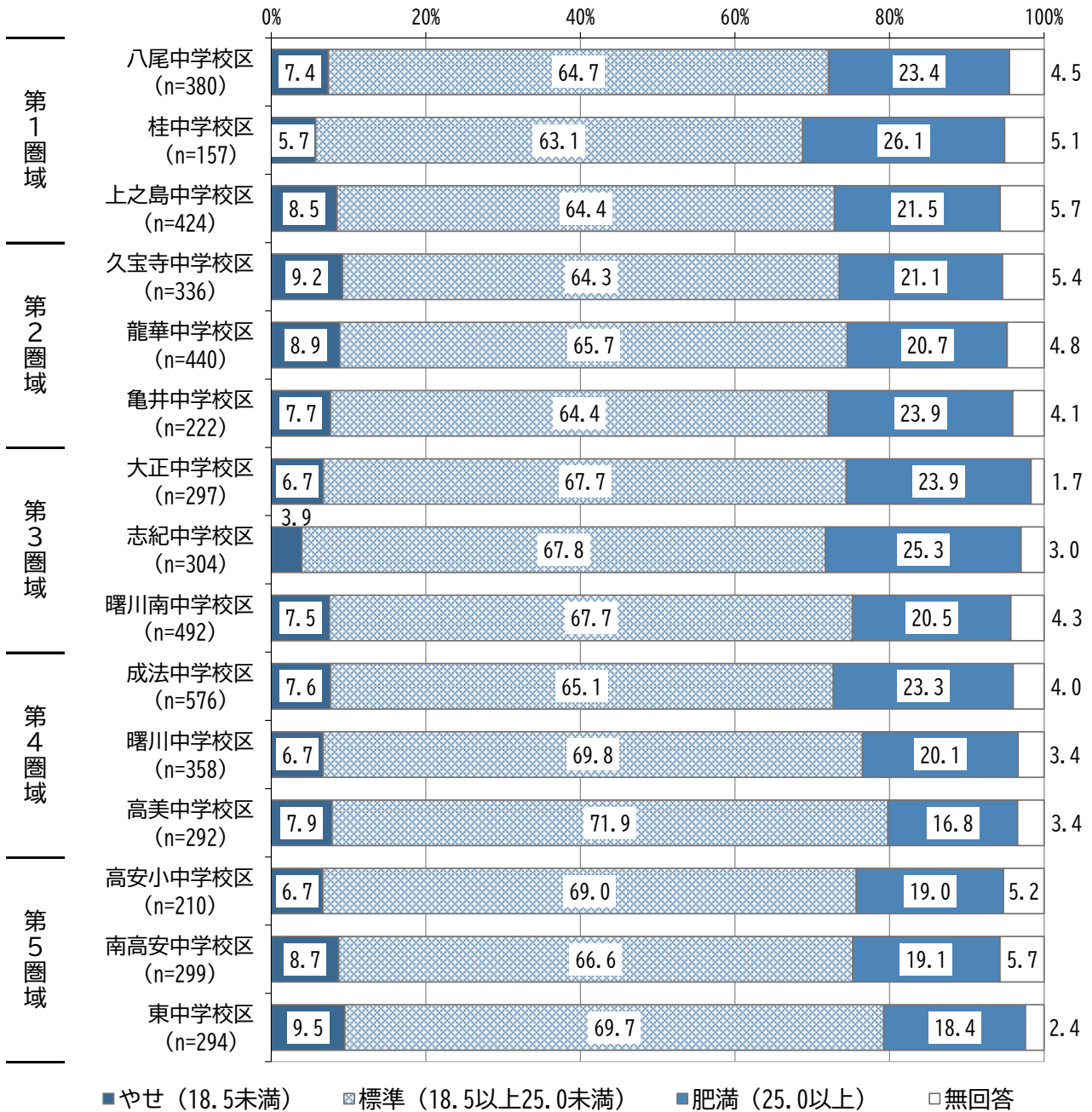
認定状況別でみると、「肥満（25.0以上）」では、要支援2が24.0%で最も高くなっています。

図表 2-4-4 BMI 認定状況別



中学校区別でみると、「やせ (18.5 未満)」では、東中学校区が 9.5% で最も高く、「肥満 (25.0 以上)」では、桂中学校区が 26.1% で最も高くなっています。

図表 2-4-5 BMI 中学校区別

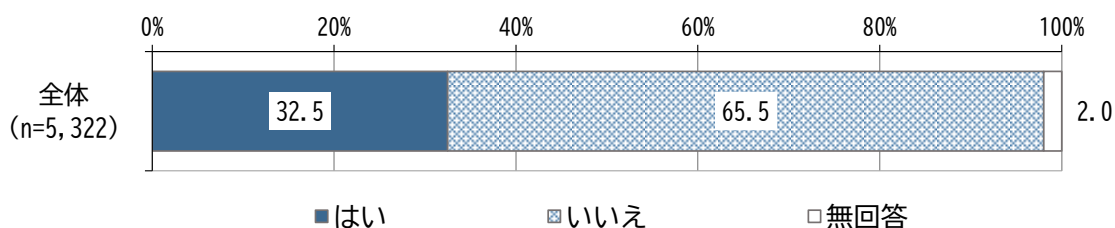


(2) 食欲はないか

問3-2 最近食欲はありませんか。(1つだけ)

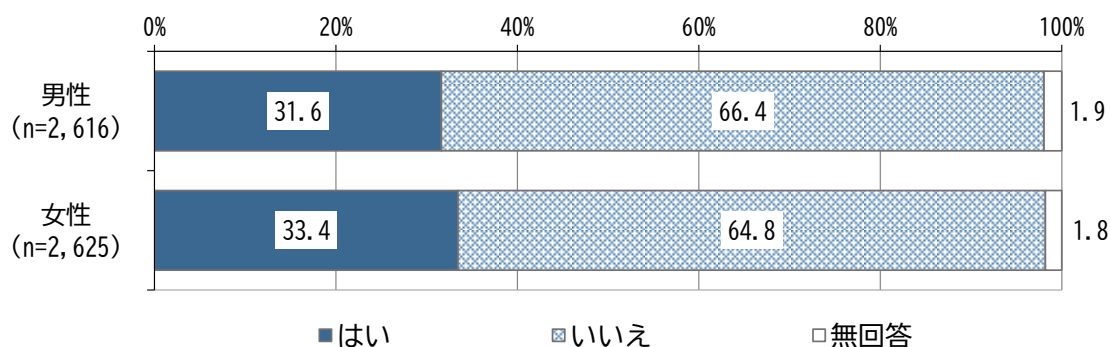
食欲はないかについては、「はい」が32.5%、「いいえ」が65.5%となっています。

図表 2-4-6 食欲はないか



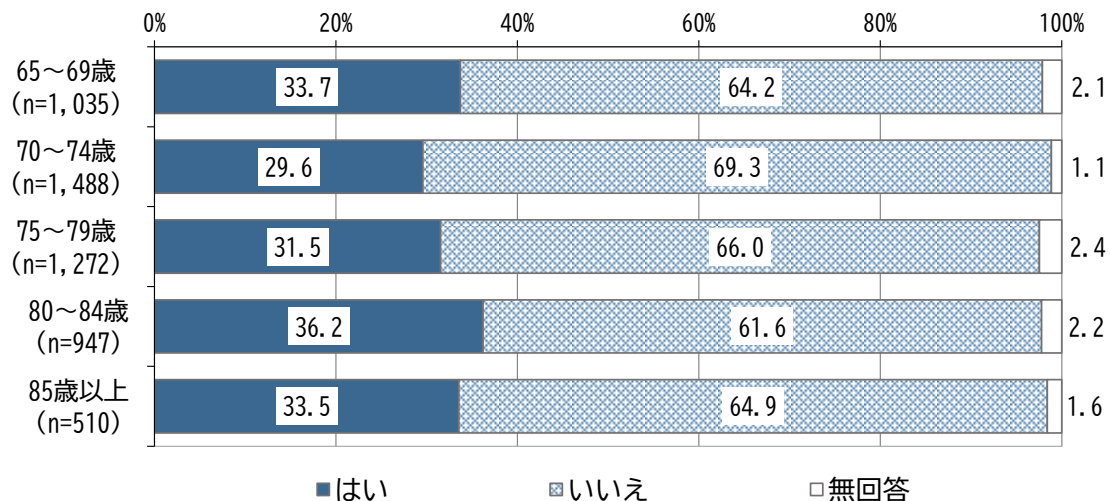
性別でみると、「はい」では、男性が31.6%、女性が33.4%となっています。

図表 2-4-7 食欲はないか 性別



年齢別でみると、「はい」では、80~84歳が36.2%で最も高くなっています。

図表 2-4-8 食欲はないか 年齢別



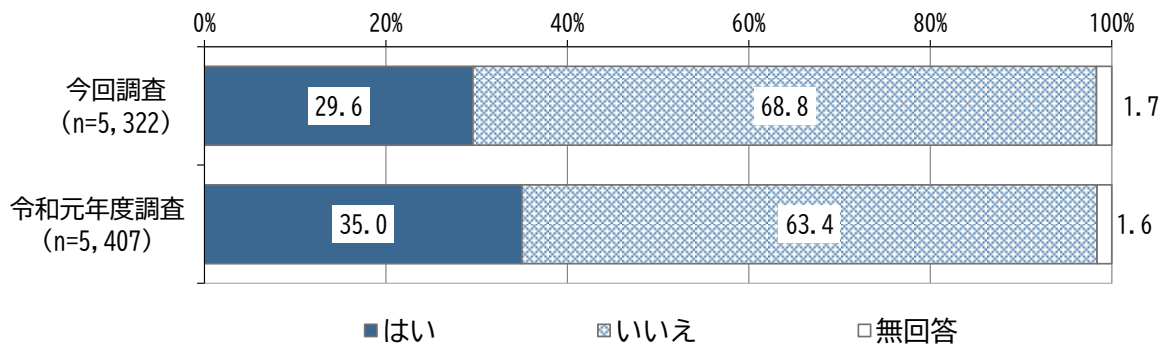
(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

問3-3 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が29.6%、「いいえ」が68.8%となっています。

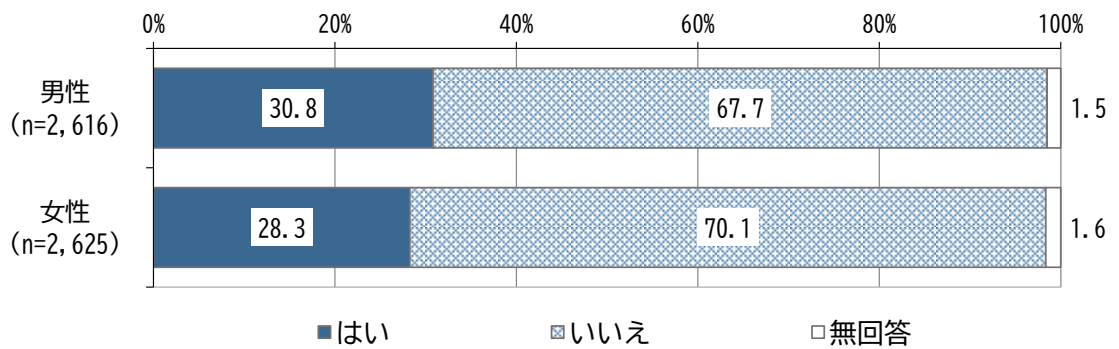
令和元(2019)年度調査と比較すると、「はい」(29.6%)では、令和元(2019)年度調査(35.0%)より5.4ポイント減少しています。

図表 2-4-9 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか



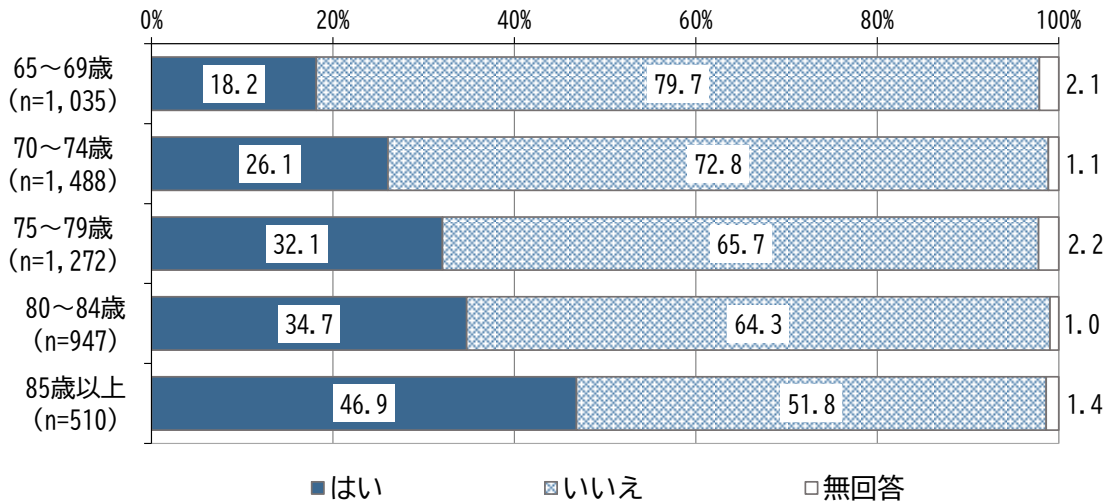
性別でみると、「はい」では、男性が30.8%、女性が28.3%となっています。

図表 2-4-10 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか 性別



年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が46.9%で最も高くなっています。

図表 2-4-11 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか 年齢別



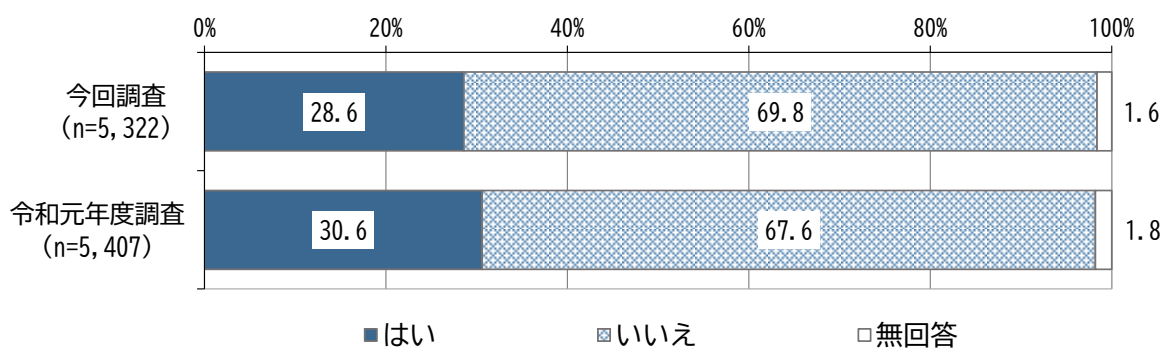
(4) お茶や汁物等でむせることがあるか

問3-4 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ)

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「はい」が28.6%、「いいえ」が69.8%となっています。

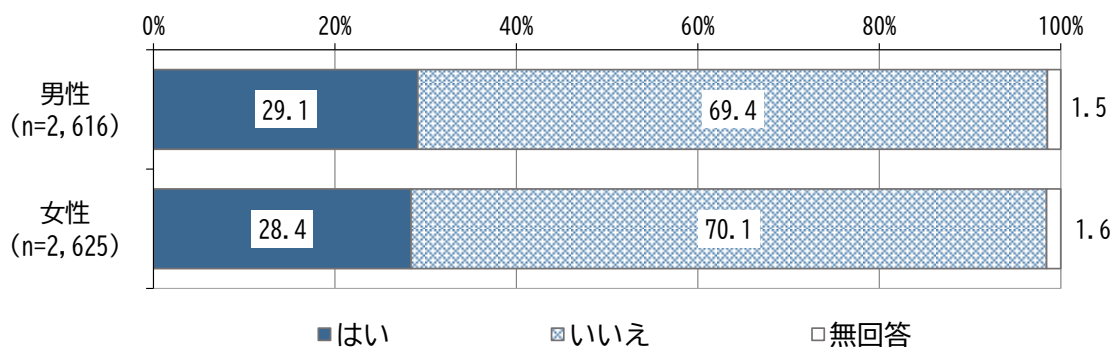
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-4-12 お茶や汁物等でむせることがあるか



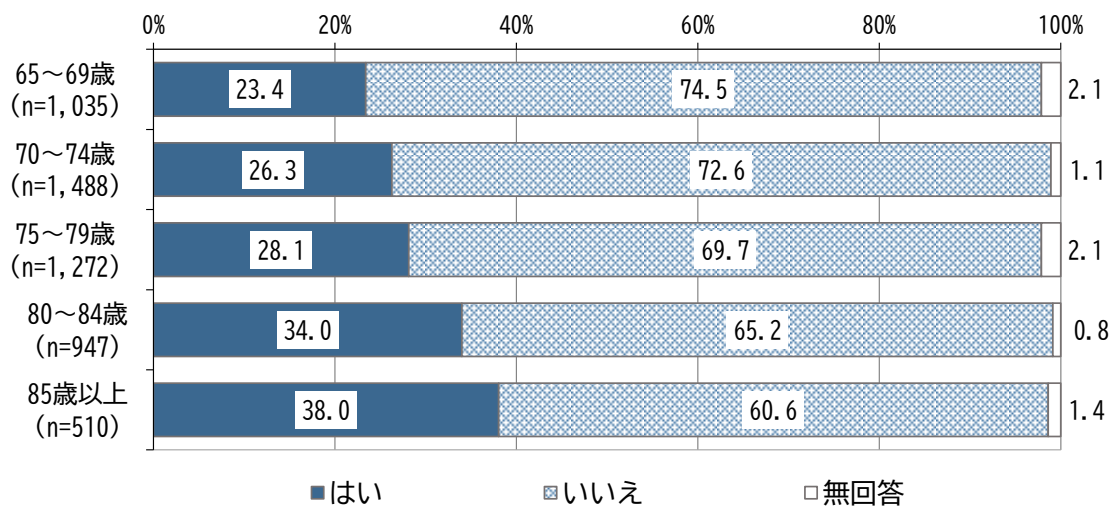
性別でみると、「はい」では、男性が29.1%、女性が28.4%となっています。

図表 2-4-13 お茶や汁物等でむせることがあるか 性別



年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が38.0%で最も高くなっています。

図表 2-4-14 お茶や汁物等でむせることがあるか 年齢別

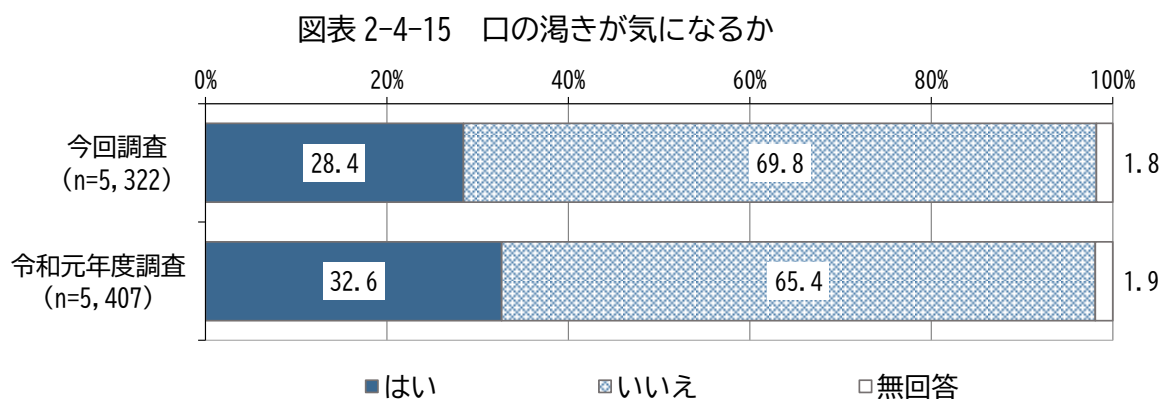


(5) 口の渇きが気になるか

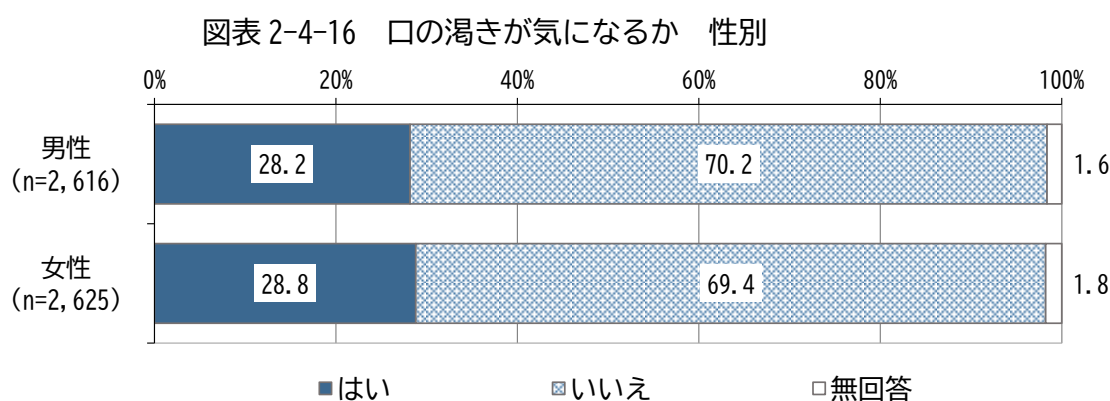
問3-5 口の渇きが気になりますか。(1つだけ)

口の渇きが気になるかについては、「はい」が28.4%、「いいえ」が69.8%となっています。

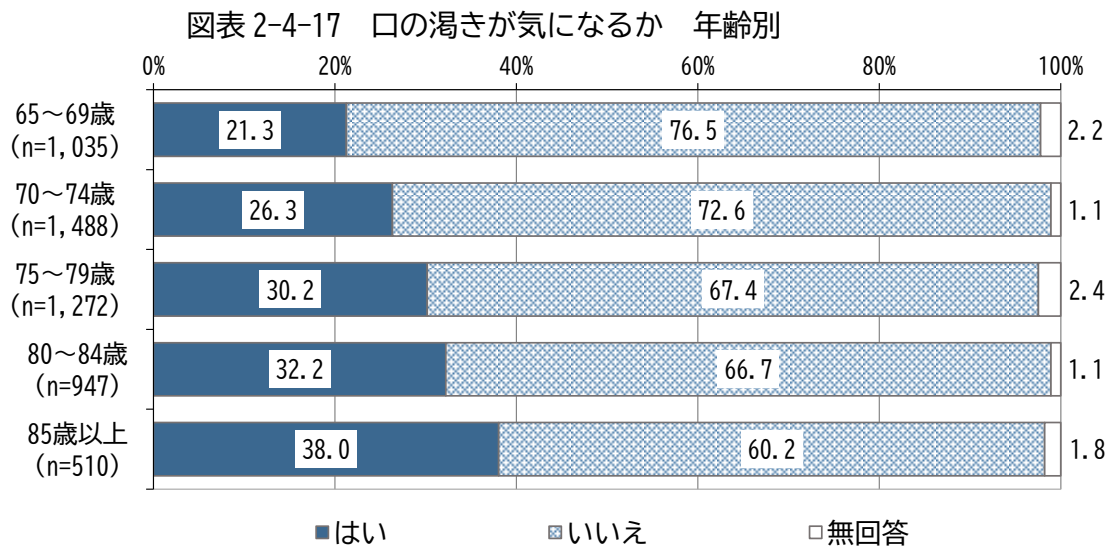
令和元(2019)年度調査と比較すると、「はい」(28.4%)では、令和元(2019)年度調査(32.6%)より4.2ポイント減少しています。



性別でみると、「はい」では、男性が28.2%、女性が28.8%となっています。



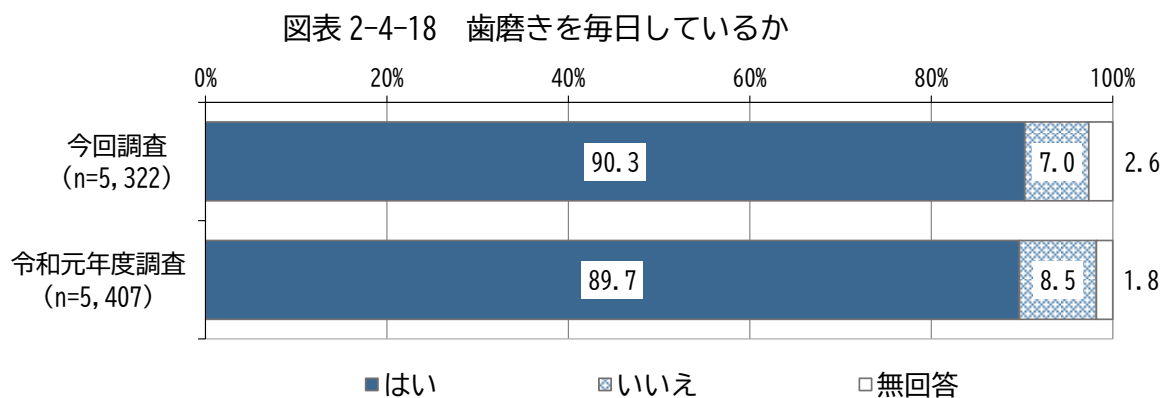
年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が38.0%で最も高くなっています。



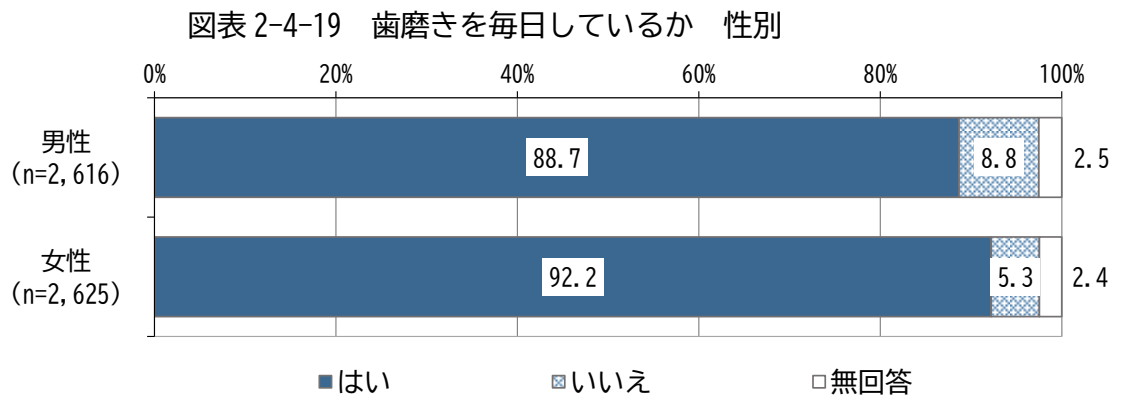
(6) 歯磨きを毎日しているか

問3-6 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つだけ）

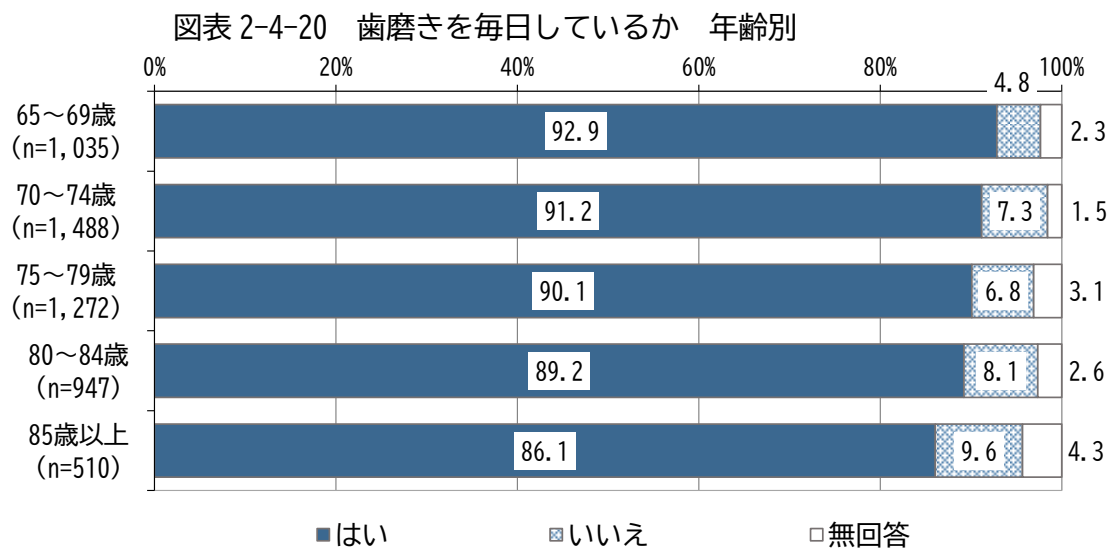
歯磨きを毎日しているかについては、「はい」が90.3%、「いいえ」が7.0%となっています。令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



性別でみると、「いいえ」では、男性が8.8%で、女性（5.3%）より3.5ポイント高くなっています。



年齢別でみると、「いいえ」では、85歳以上が9.6%で最も高くなっています。



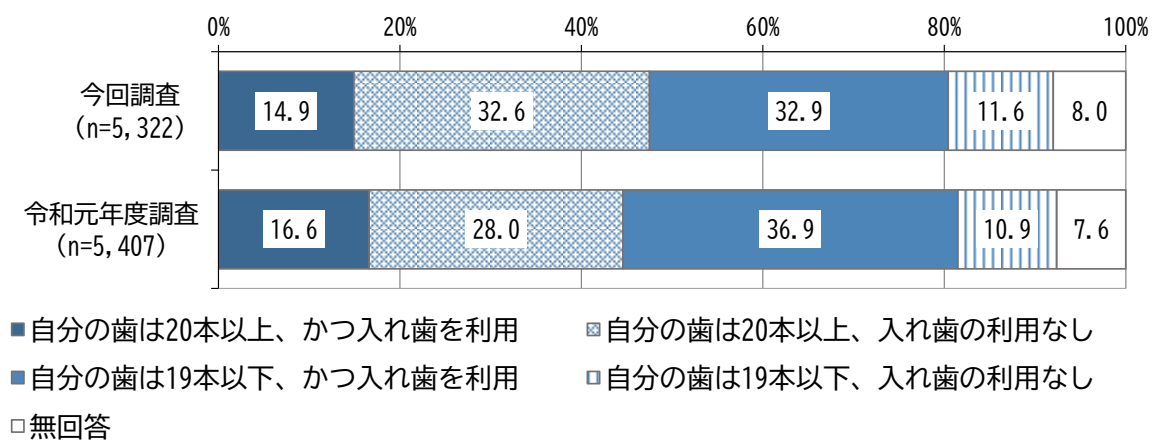
(7) 歯の数と入れ歯の利用状況

問3-7 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つだけ)

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が32.9%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が32.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が14.9%と続いています。

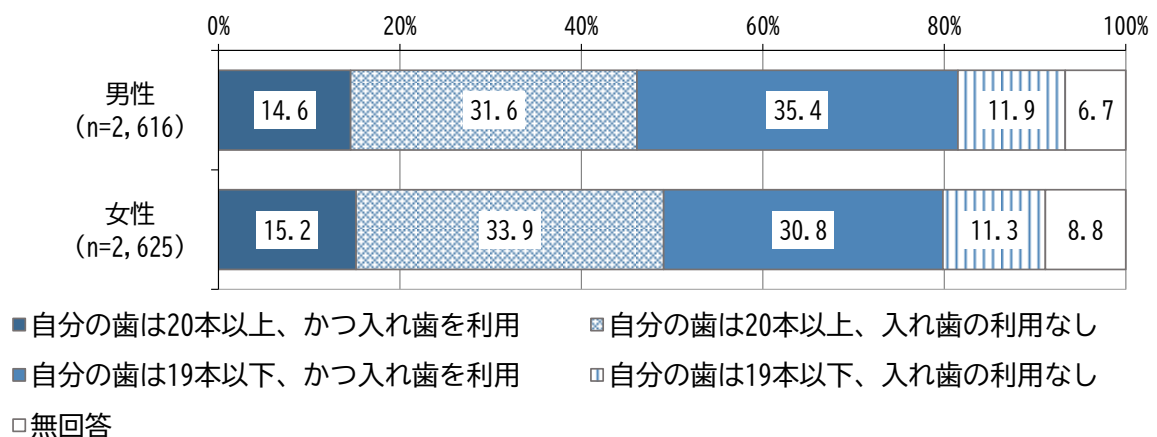
令和元(2019)年度調査と比較すると、『入れ歯を利用』(「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の合計)(47.8%)では、令和元(2019)年度調査(53.5%)より5.7ポイント減少しています。

図表 2-4-21 歯の数と入れ歯の利用状況



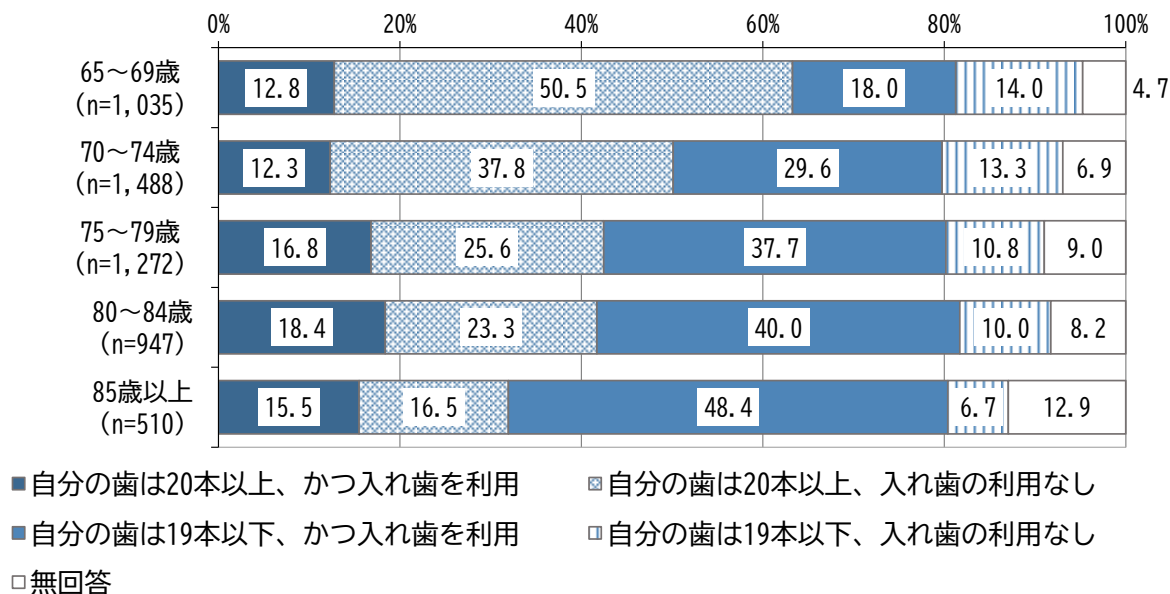
性別でみると、『入れ歯を利用』では、男性が50.0%で、女性(46.0%)より4.0ポイント高くなっています。

図表 2-4-22 歯の数と入れ歯の利用状況 性別



年齢別でみると、『入れ歯を利用』では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が63.9%で最も高くなっています。

図表 2-4-23 歯の数と入れ歯の利用状況 年齢別



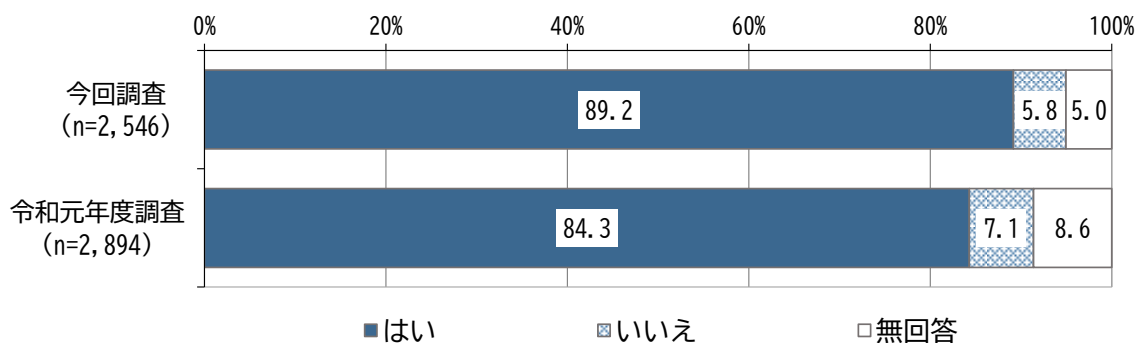
(8) 入れ歯の手入れをしているか

問3-7で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と答えた人(入れ歯ありの人)のみ、お答えください。

問3-7-1 毎日、入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけ)

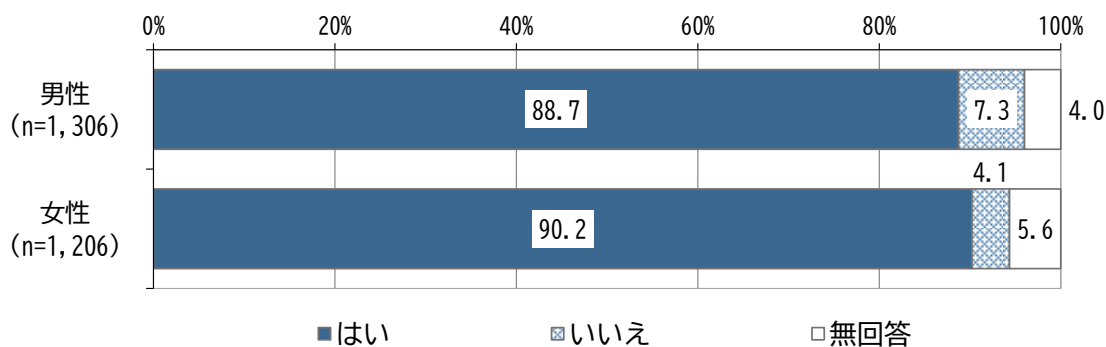
入れ歯の手入れをしているかについては、「はい」が89.2%、「いいえ」が5.8%となっています。令和元(2019)年度調査と比較すると、「はい」(89.2%)では、令和元(2019)年度調査(84.3%)より4.9ポイント増加しています。

図表 2-4-24 入れ歯の手入れをしているか



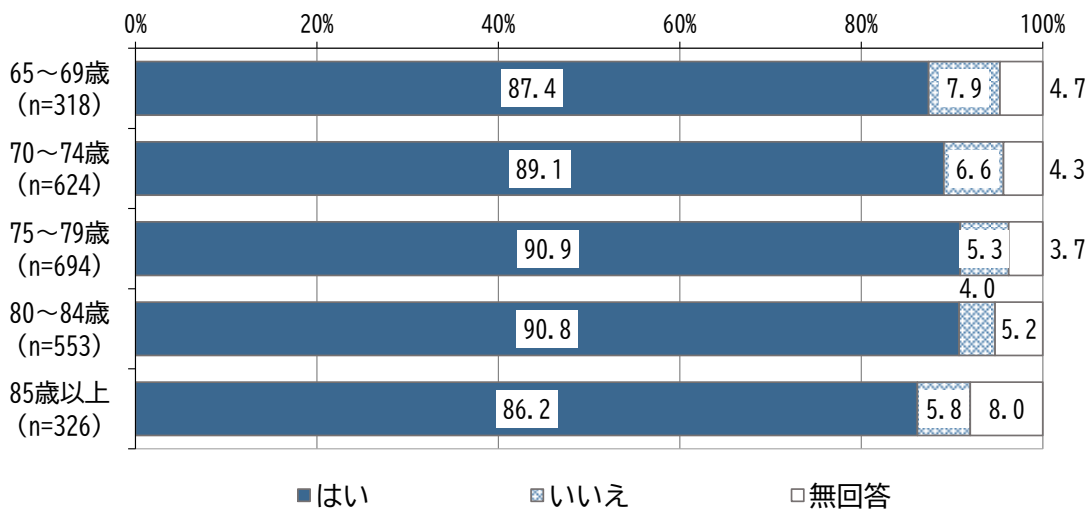
性別でみると、「いいえ」では、男性が7.3%、女性が4.1%となっています。

図表 2-4-25 入れ歯の手入れをしているか 性別



年齢別でみると、「いいえ」では、65～69歳が7.9%で最も高くなっています。

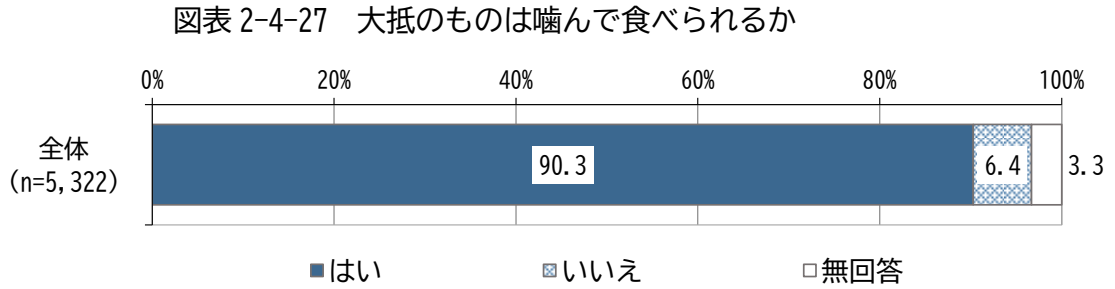
図表 2-4-26 入れ歯の手入れをしているか 年齢別



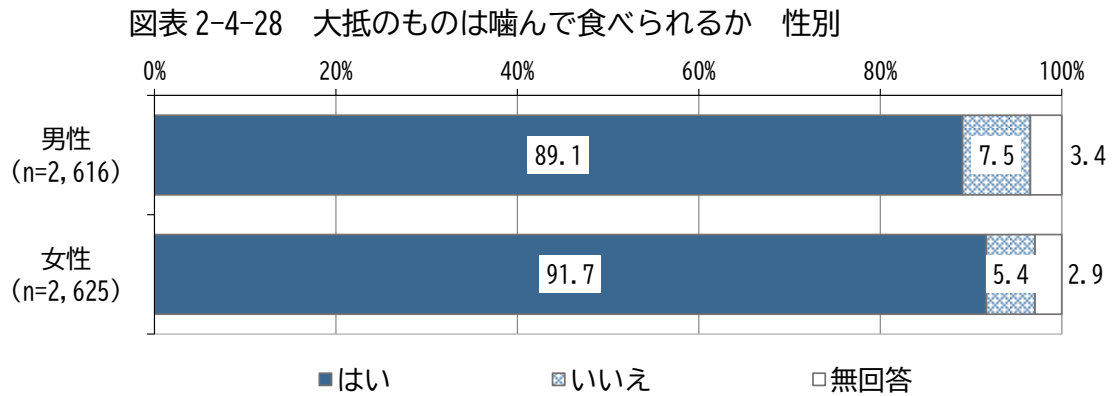
(9) 大抵のものは噛んで食べられるか

問3-8 現在、大抵のものは噛んで食べられますか。(入れ歯を使った状態も含みます)
(1つだけ)

大抵のものは噛んで食べられるかについては、「はい」が90.3%、「いいえ」が6.4%となっています。

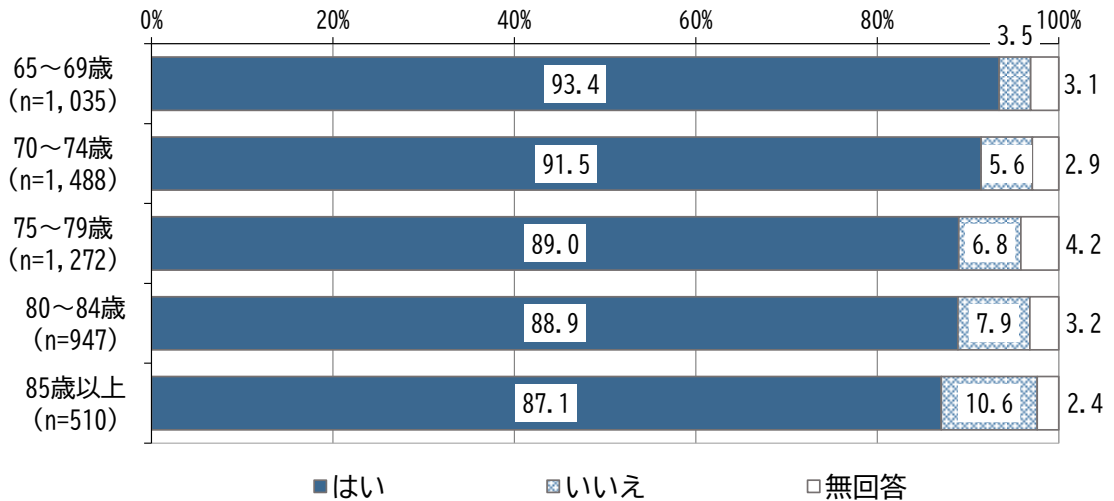


性別でみると、「いいえ」では、男性が7.5%、女性が5.4%となっています。



年齢別でみると、「いいえ」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が10.6%で最も高くなっています。

図表 2-4-29 大抵のものは噛んで食べられるか 年齢別



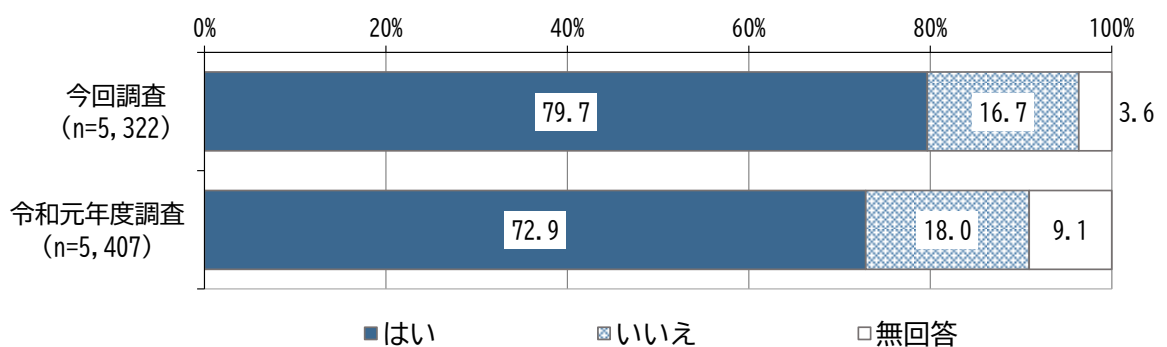
(10) 噛み合わせは良いか

問3-9 噛み合わせは良いですか。(1つだけ)

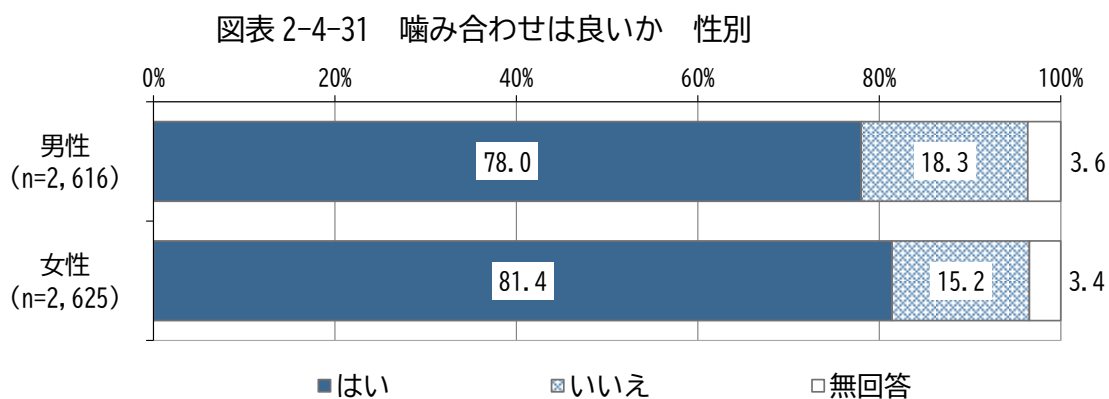
噛み合わせは良いかについては、「はい」が79.7%、「いいえ」が16.7%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「はい」(79.7%)では、令和元(2019)年度調査(72.9%)より6.8ポイント増加しています。

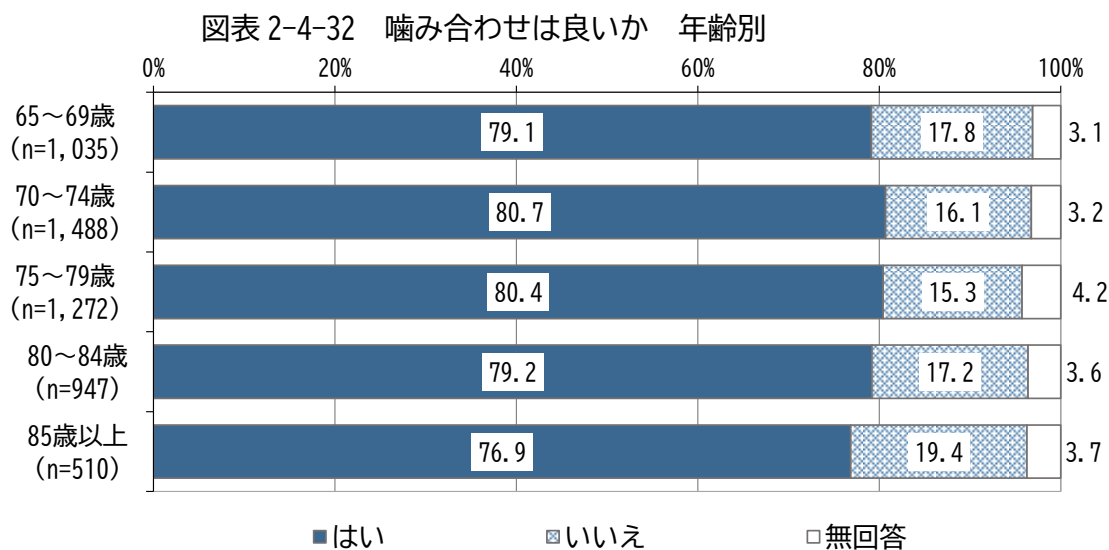
図表 2-4-30 噛み合わせは良いか



性別でみると、「いいえ」では、男性が18.3%、女性が15.2%となっています。



年齢別でみると、「いいえ」では、85歳以上が19.4%で最も高くなっています。



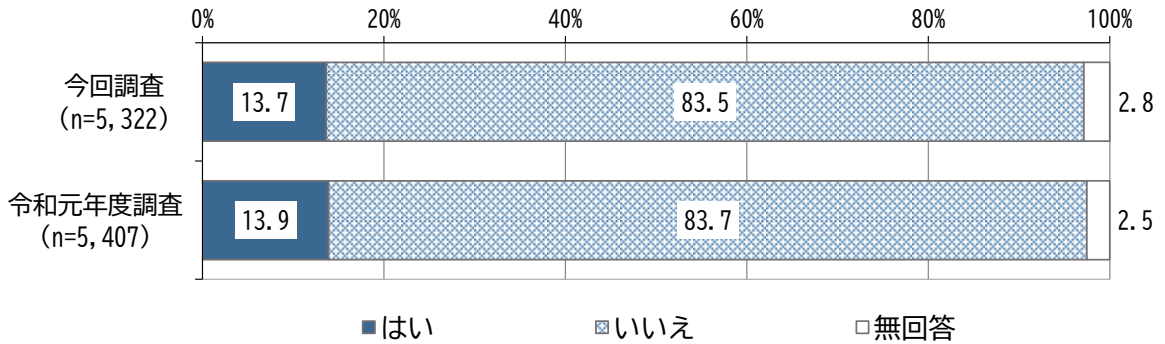
(11) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか

問3-10 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ)

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「はい」が13.7%、「いいえ」が83.5%となっています。

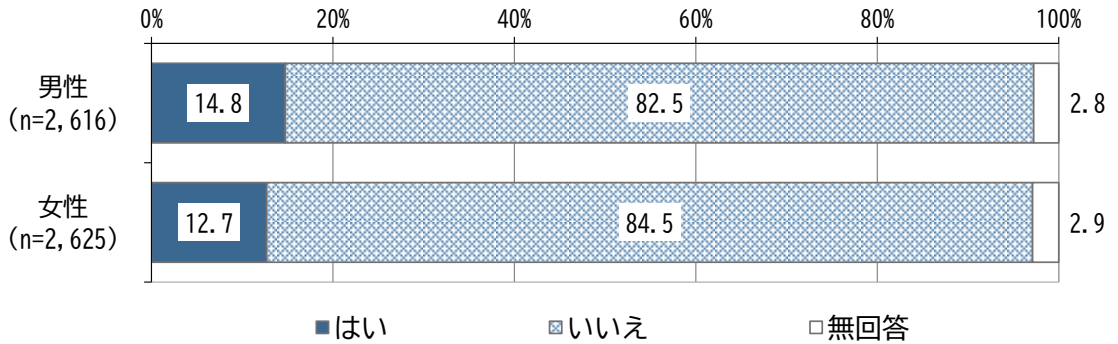
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-4-33 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか



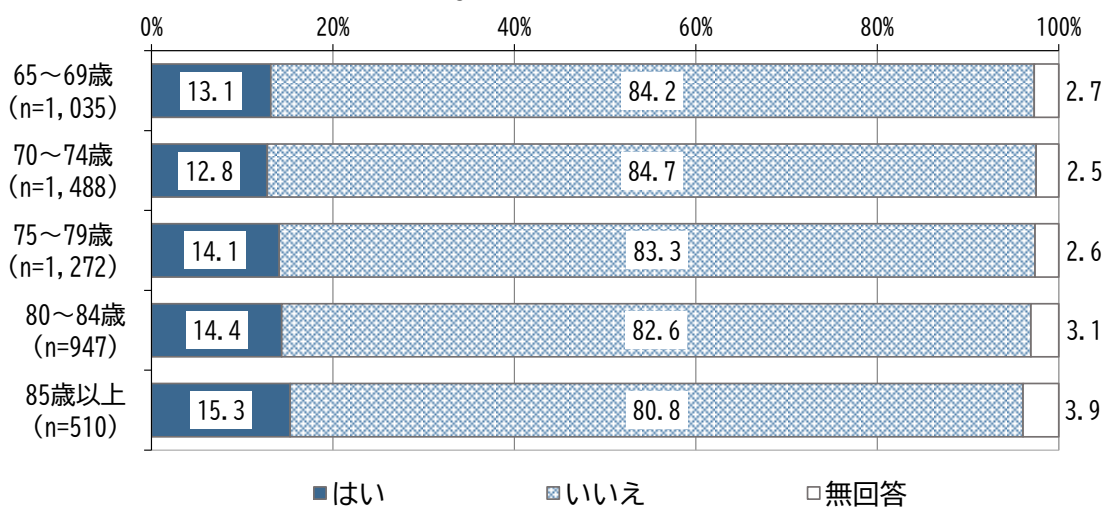
性別でみると、「はい」では、男性が14.8%、女性が12.7%となっています。

図表 2-4-34 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか 性別



年齢別でみると、「はい」では、85歳以上が15.3%で最も高くなっています。

図表 2-4-35 6か月間で2～3 kg以上の体重減少があったか 年齢別

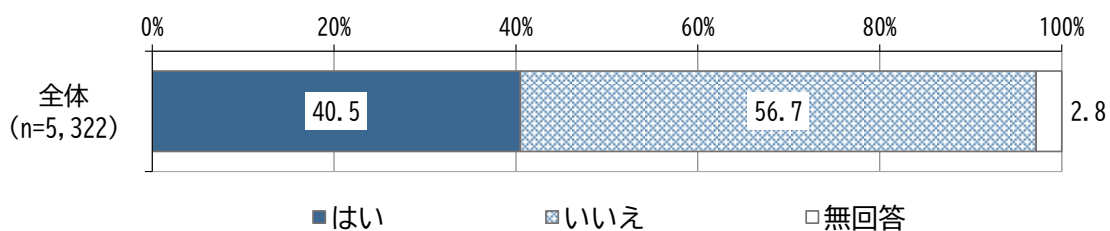


(12) この6か月間に以前に比べて体の筋肉や脂肪が落ちてきたと思うか

問3-11 この6か月間に以前に比べて体の筋肉や脂肪が落ちてきたと思いますか。(1つだけ)

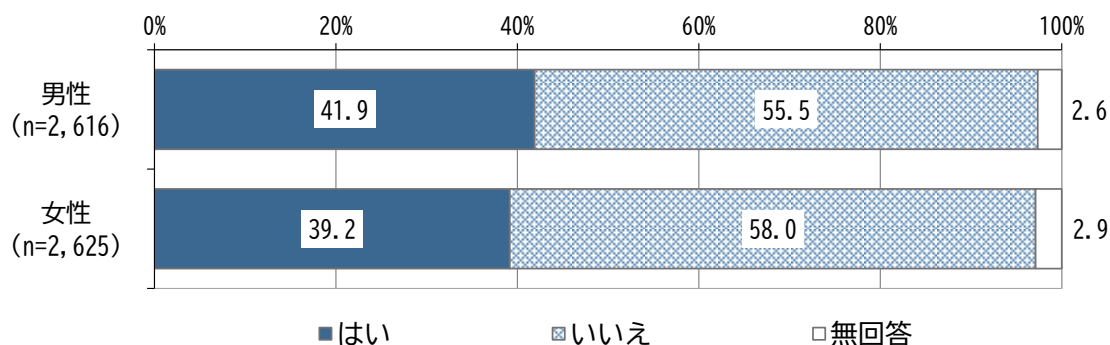
この6か月間に以前に比べて体の筋肉や脂肪が落ちてきたと思うかについては、「はい」が40.5%、「いいえ」が56.7%となっています。

図表 2-4-36 この6か月間に以前に比べて体の筋肉や脂肪が落ちてきたと思うか



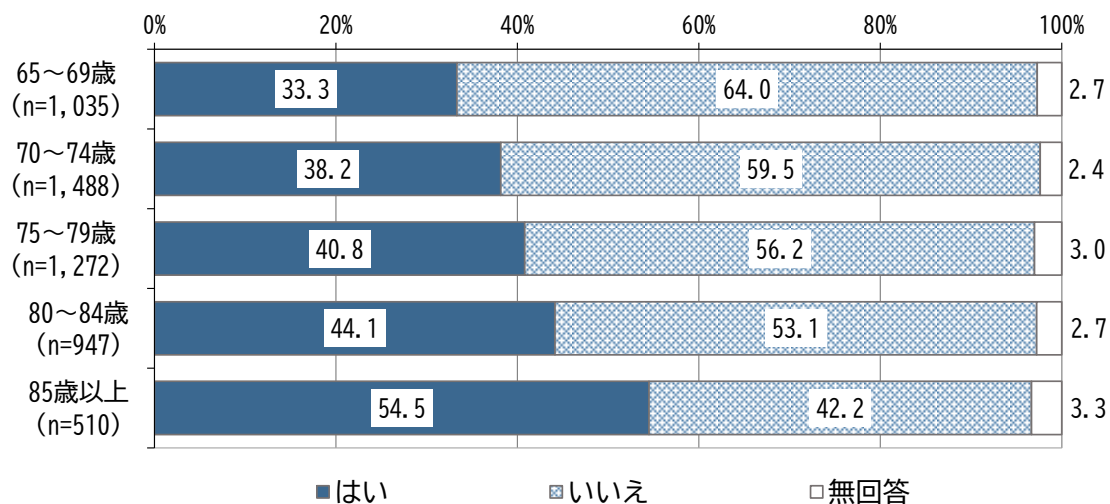
性別でみると、「はい」では、男性が41.9%、女性が39.2%となっています。

図表 2-4-37 この6か月間に以前に比べて体の筋肉や脂肪が落ちてきたと思うか 性別



年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が54.5%で最も高くなっています。

図表 2-4-38 この6か月間に以前に比べて体の筋肉や脂肪が落ちてきたと思うか 年齢別



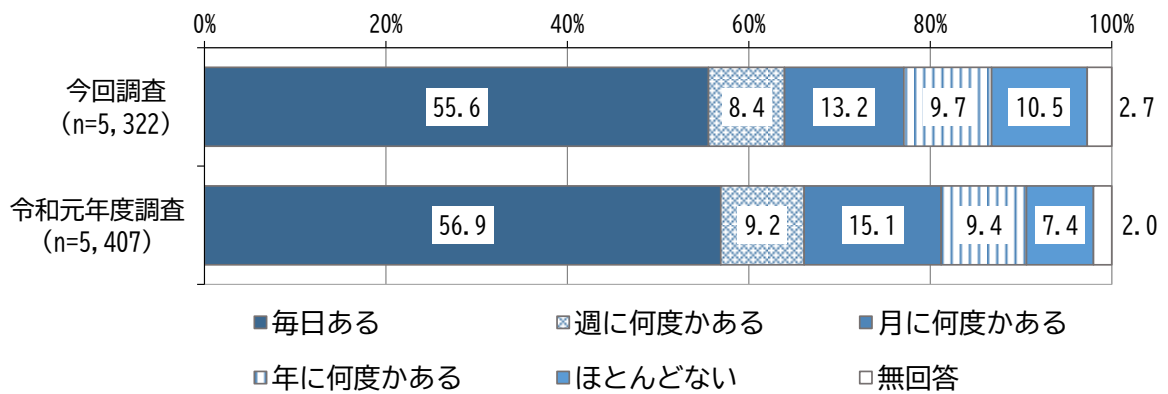
(13) 食事を共にする機会の有無

問3-12 どなたかと食事をともにする機会がありますか。(1つだけ)

食事を共にする機会の有無については、「毎日ある」が55.6%で最も高く、次いで「月に何度かある」が13.2%、「ほとんどない」が10.5%と続いています。

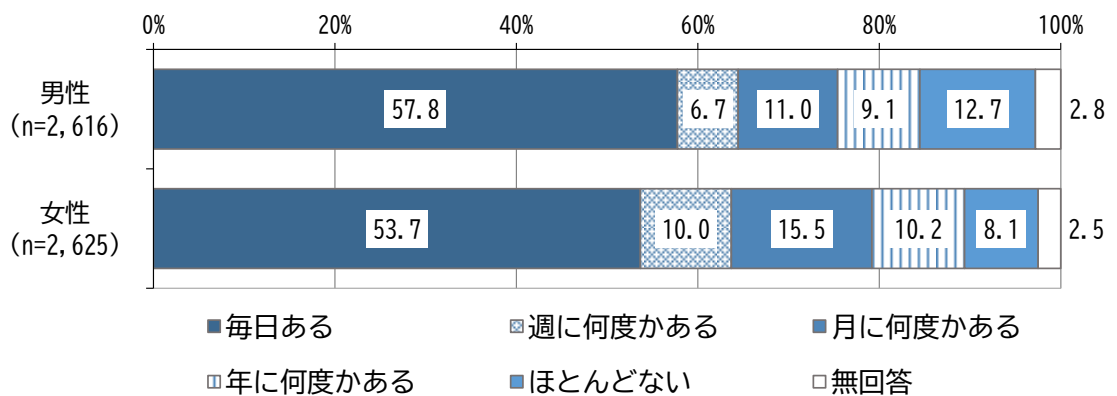
令和元(2019)年度調査と比較すると、「ほとんどない」(10.5%)では、令和元(2019)年度調査(7.4%)より3.1ポイント増加しています。

図表 2-4-39 食事を共にする機会の有無



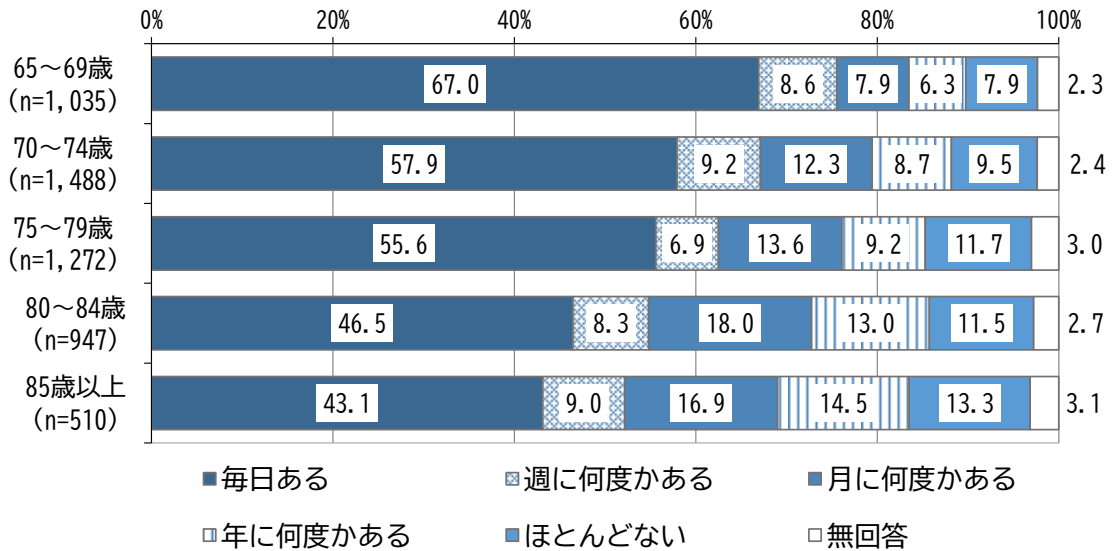
性別でみると、「ほとんどない」では、男性が12.7%で、女性(8.1%)より4.6ポイント高くなっています。

図表 2-4-40 食事を共にする機会の有無 性別



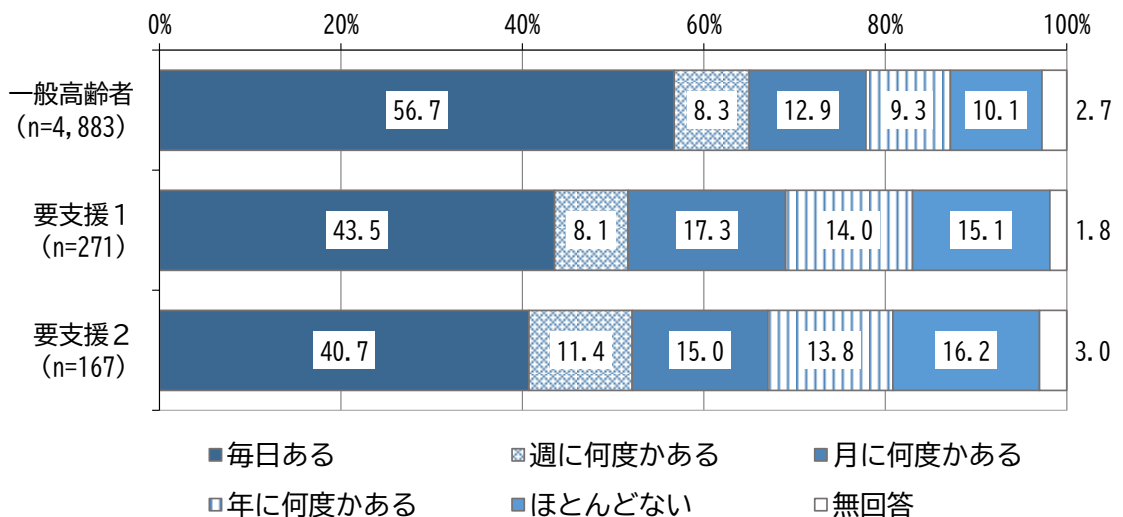
年齢別でみると、「毎日ある」では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳が67.0%で最も高く、「ほとんどない」では、85歳以上が13.3%で最も高くなっています。

図表 2-4-41 食事を共にする機会の有無 年齢別



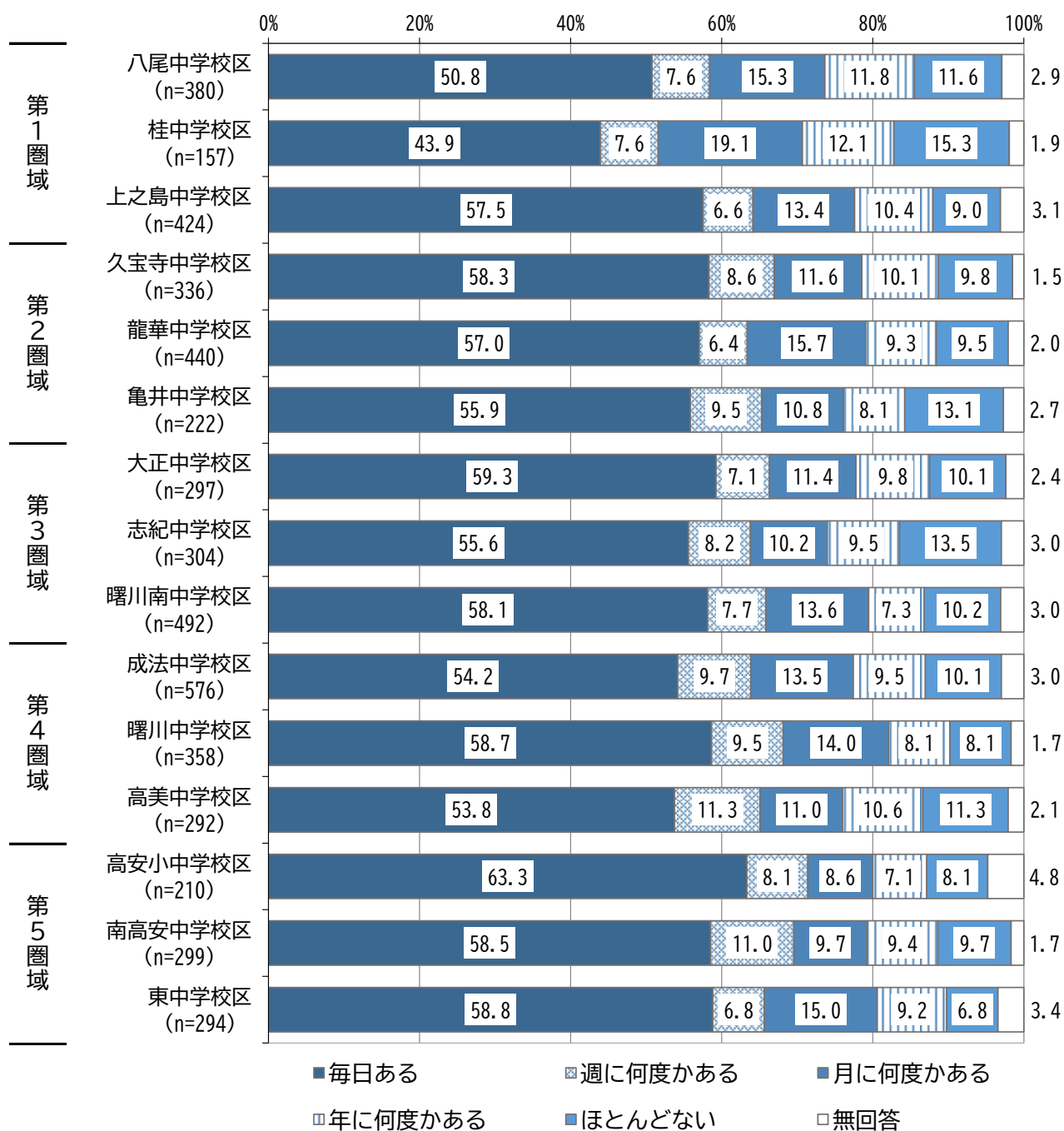
認定状況別でみると、「ほとんどない」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が16.2%で最も高くなっています。

図表 2-4-42 食事を共にする機会の有無 認定状況別



中学校区別でみると、「ほとんどない」では、桂中学校区が15.3%で最も高くなっています。

図表 2-4-43 食事を共にする機会の有無 中学校区別

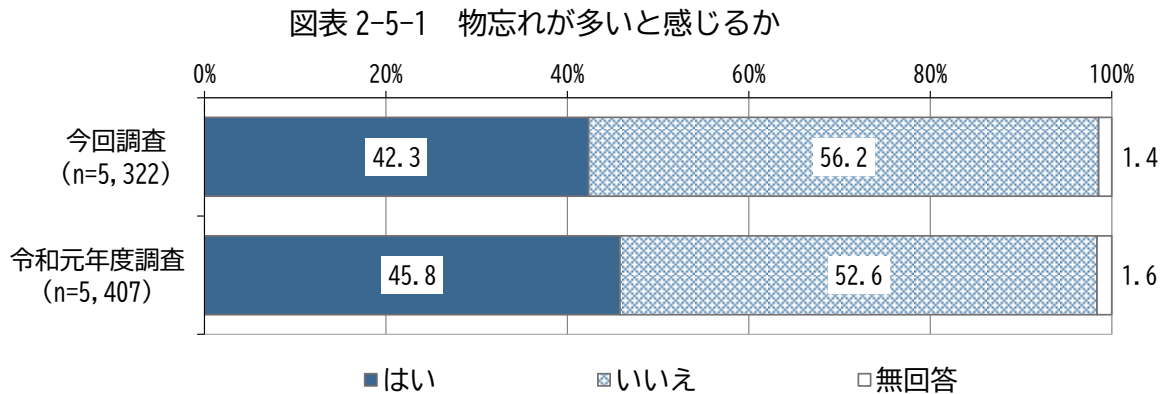


5 毎日の生活について

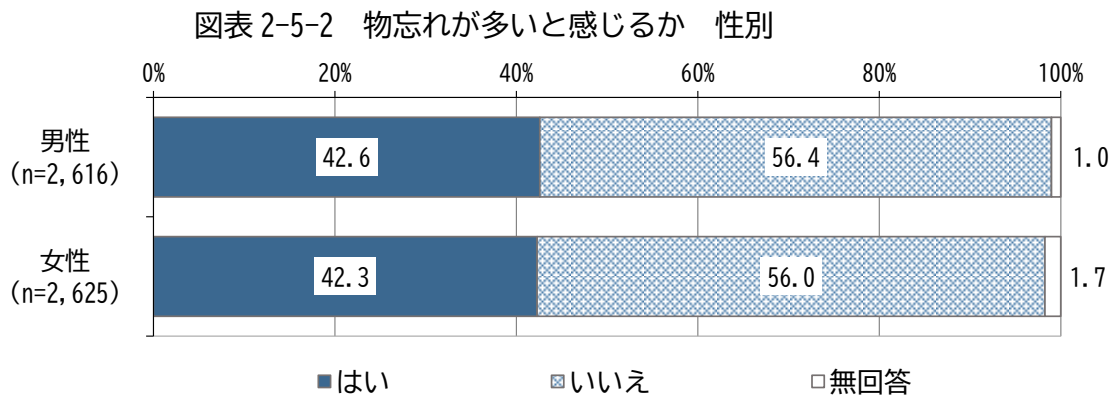
(1) 物忘れが多いと感じるか

問4-1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ)

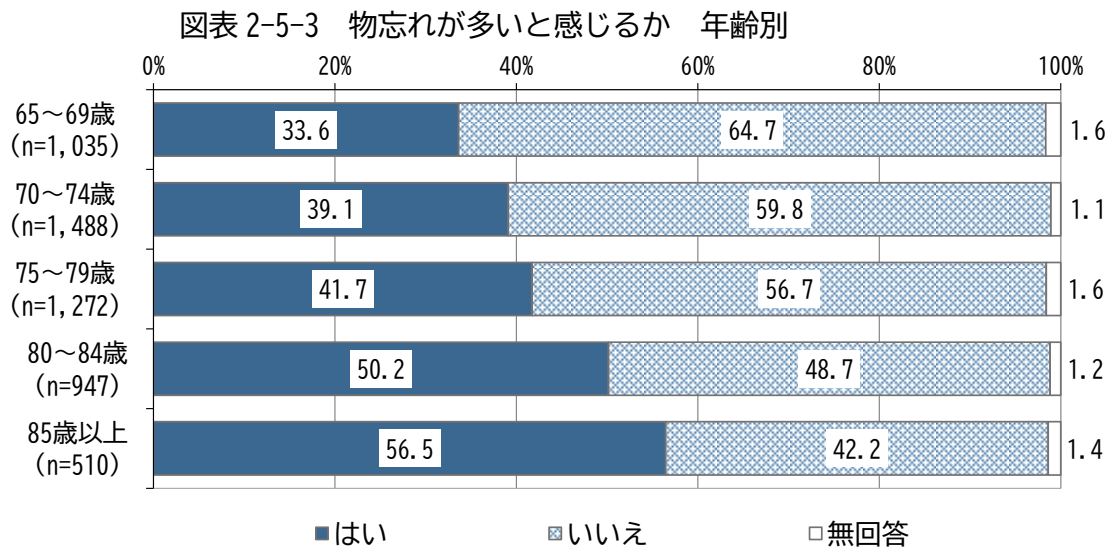
物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が42.3%、「いいえ」が56.2%となっています。令和元(2019)年度調査と比較すると、「はい」(42.3%)では、令和元(2019)年度調査(45.8%)より3.5ポイント減少しています。



性別でみると、「はい」では、男性が42.6%、女性が42.3%となっています。



年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が56.5%で最も高くなっています。



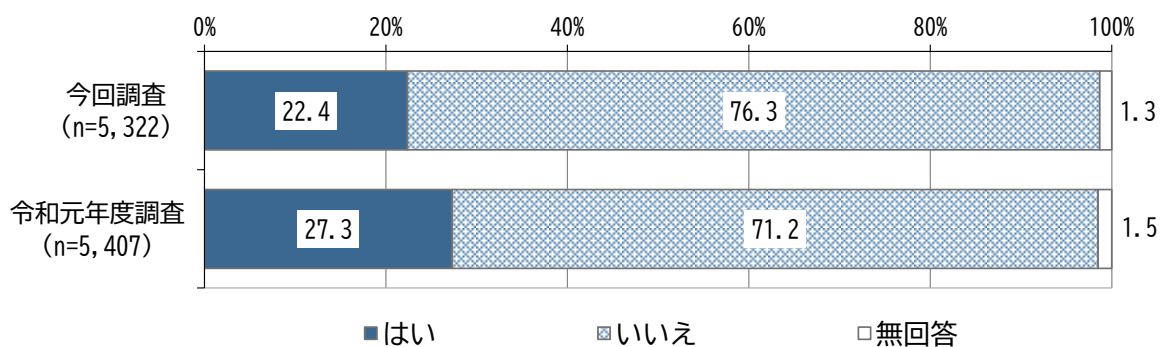
(2) 今日が何月何日かわからない時があるか

問4-2 今日が何月何日か、わからない時がありますか。(1つだけ)

今日が何月何日かわからない時があるかについては、「はい」が22.4%、「いいえ」が76.3%となっています。

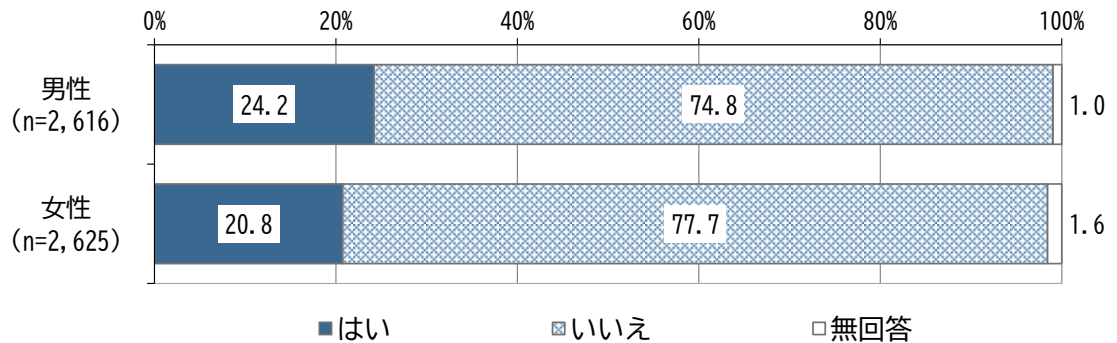
令和元(2019)年度調査と比較すると、「はい」(22.4%)では、令和元(2019)年度調査(27.3%)より4.9ポイント減少しています。

図表 2-5-4 今日が何月何日かわからない時があるか



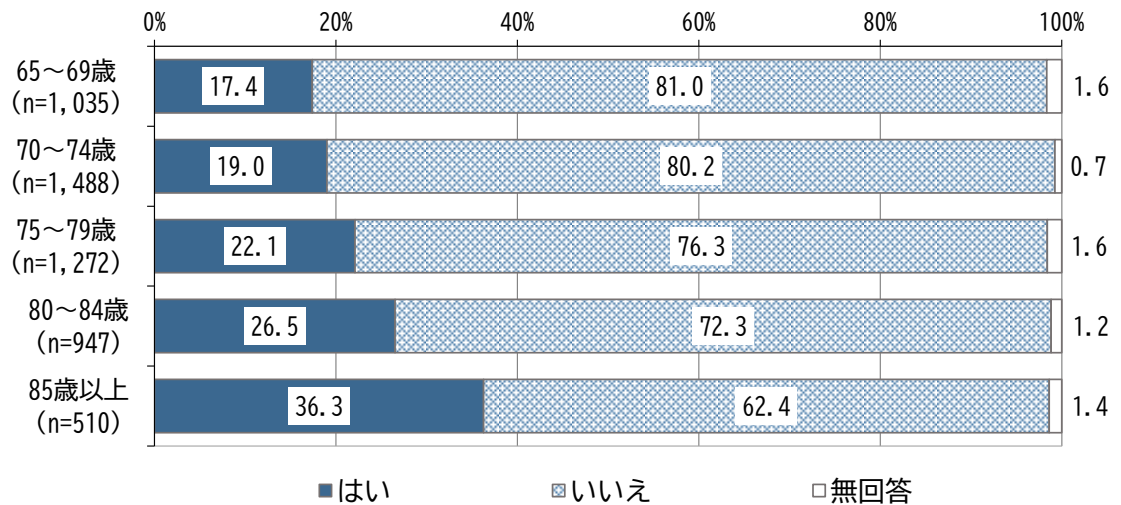
性別でみると、「はい」では、男性が24.2%で、女性（20.8%）より3.4ポイント高くなっています。

図表 2-5-5 今日が何月何日かわからない時があるか 性別



年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が36.3%で最も高くなっています。

図表 2-5-6 今日が何月何日かわからない時があるか 年齢別



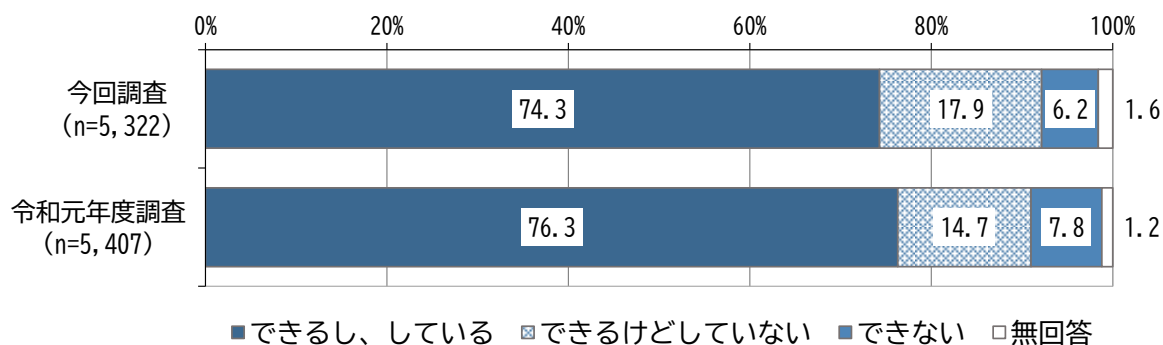
(3) バスや電車を使って一人で外出しているか

問4-3 バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）。（1つだけ）

バスや電車を使って一人で外出しているかについては、「できるし、している」が74.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が17.9%、「できない」が6.2%となっています。

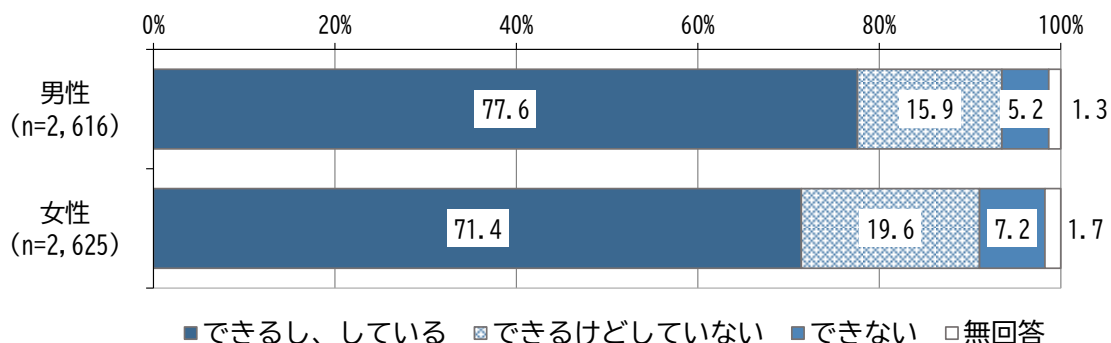
令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-5-7 バスや電車を使って一人で外出しているか



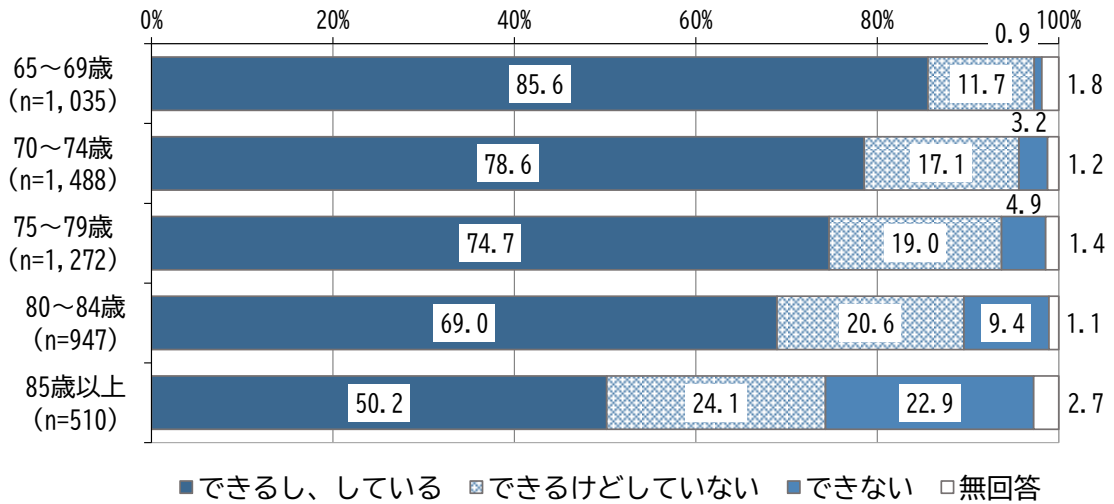
性別でみると、「できない」では、男性が5.2%、女性が7.2%となっています。

図表 2-5-8 バスや電車を使って一人で外出しているか 性別



年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が22.9%で最も高くなっています。

図表 2-5-9 バスや電車を使って一人で外出しているか 年齢別



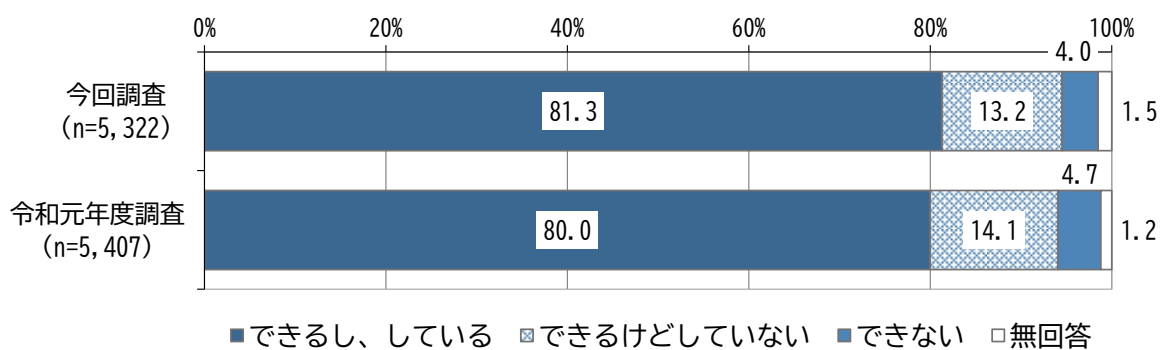
(4) 自分で食品・日用品の買物をしているか

問4-4 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ)

自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が81.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.2%、「できない」が4.0%となっています。

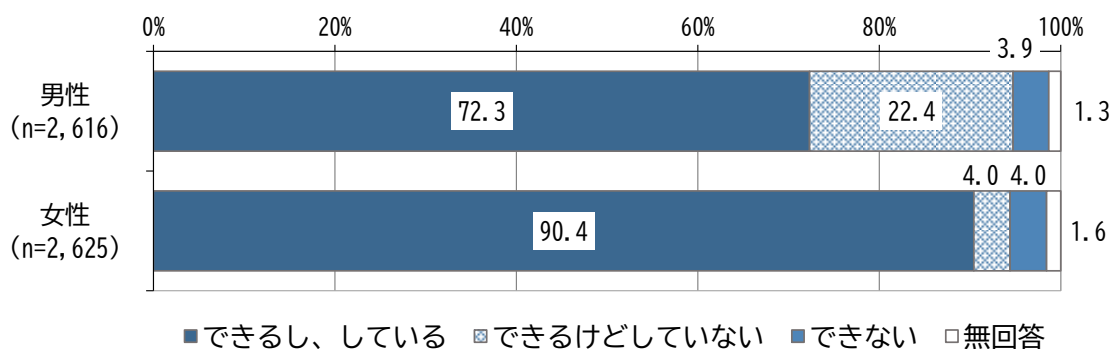
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-5-10 自分で食品・日用品の買物をしているか



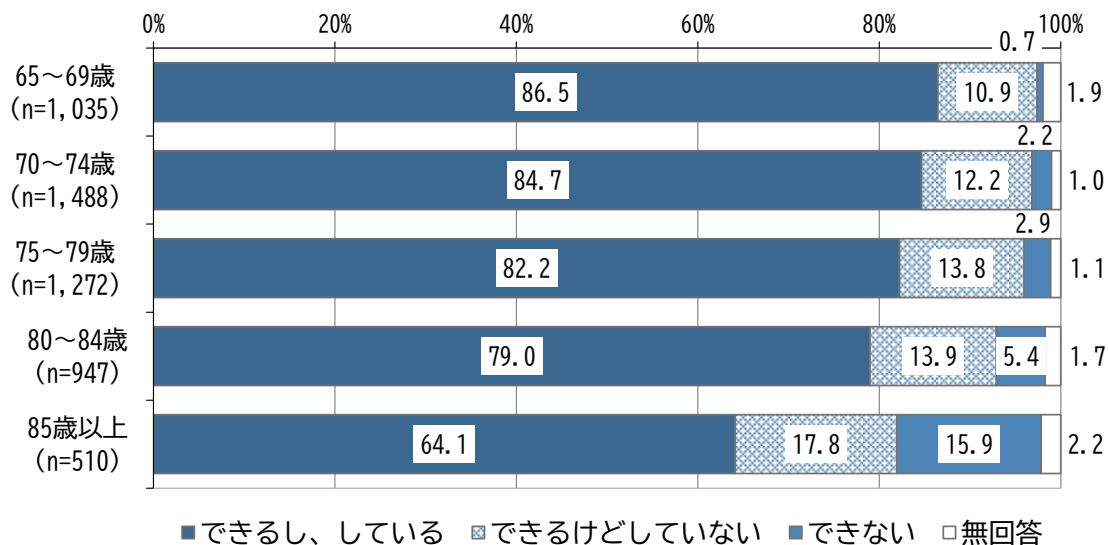
性別でみると、「できない」では、男性が3.9%、女性が4.0%となっています。

図表 2-5-11 自分で食品・日用品の買物をしているか 性別



年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が15.9%で最も高くなっています。

図表 2-5-12 自分で食品・日用品の買物をしているか 年齢別

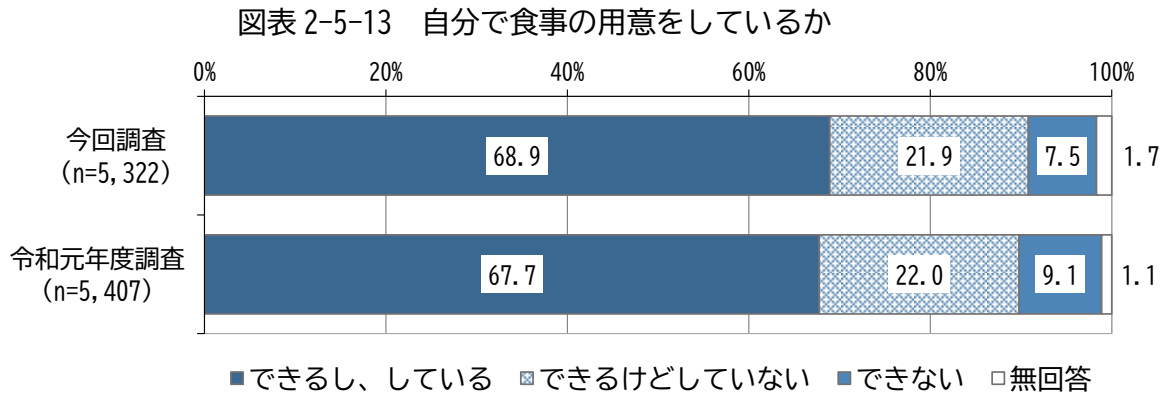


(5) 自分で食事の用意をしているか

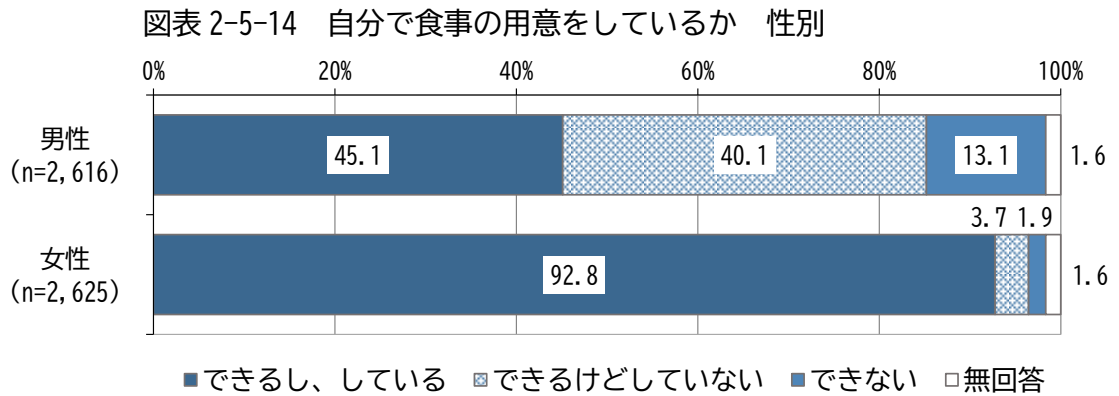
問4-5 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ)

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が68.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が21.9%、「できない」が7.5%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

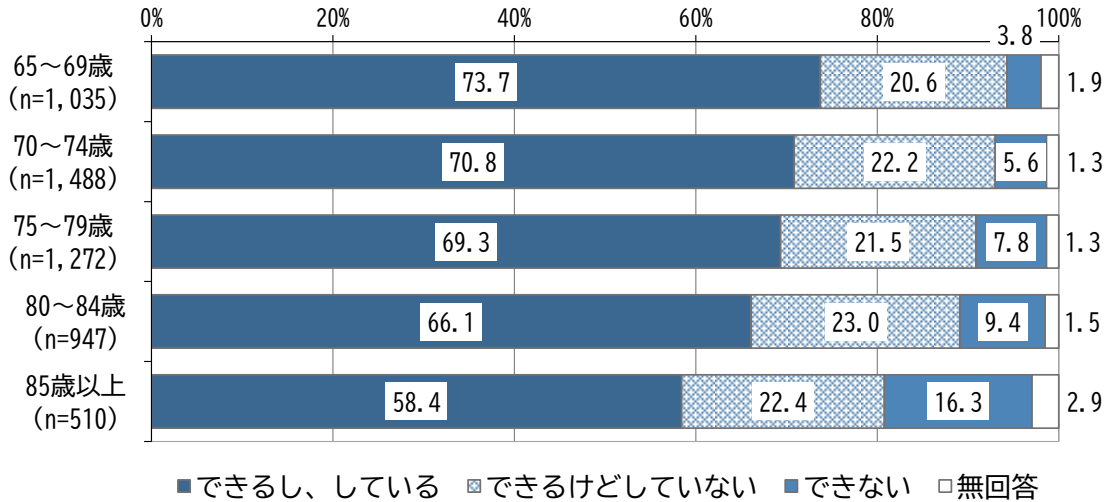


性別でみると、「できない」では、男性が13.1%で、女性（1.9%）より11.2ポイント高くなっています。



年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が16.3%で最も高くなっています。

図表 2-5-15 自分で食事の用意をしているか 年齢別



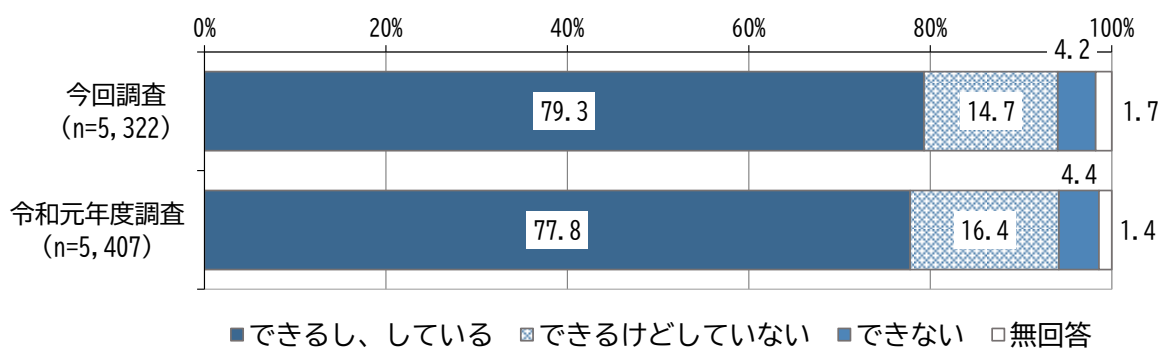
(6) 自分で請求書の支払いをしているか

問4-6 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ)

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が79.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.7%、「できない」が4.2%となっています。

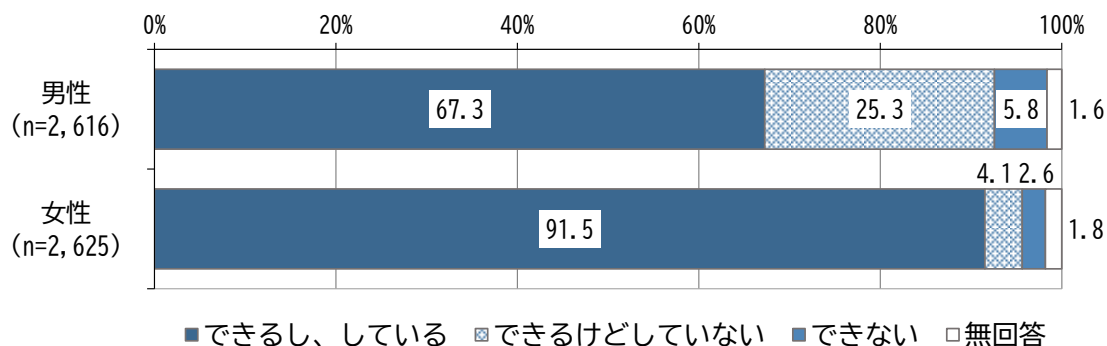
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-5-16 自分で請求書の支払いをしているか



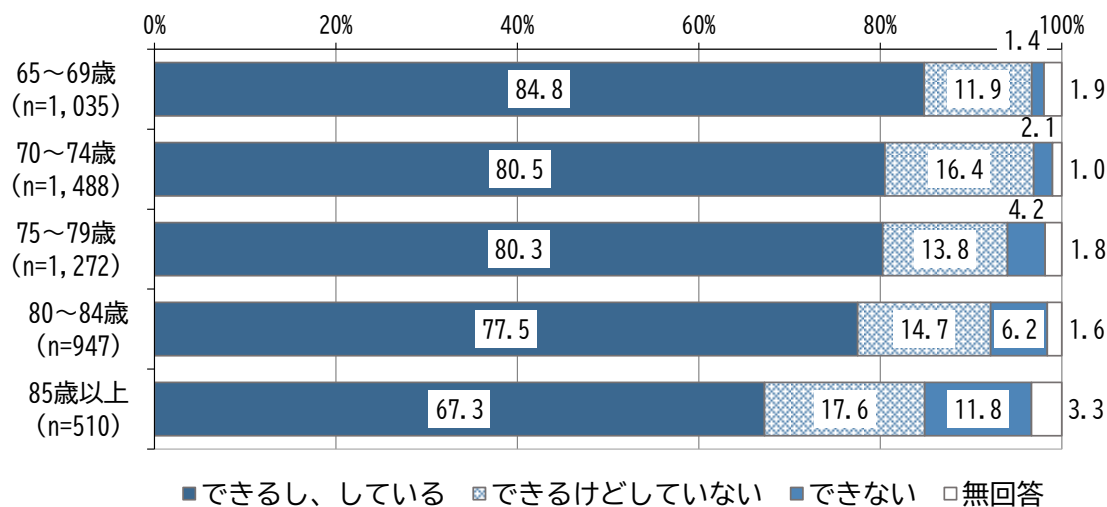
性別でみると、「できない」では、男性が5.8%で、女性（2.6%）より3.2ポイント高くなっています。

図表 2-5-17 自分で請求書の支払いをしているか 性別



年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が11.8%で最も高くなっています。

図表 2-5-18 自分で請求書の支払いをしているか 年齢別



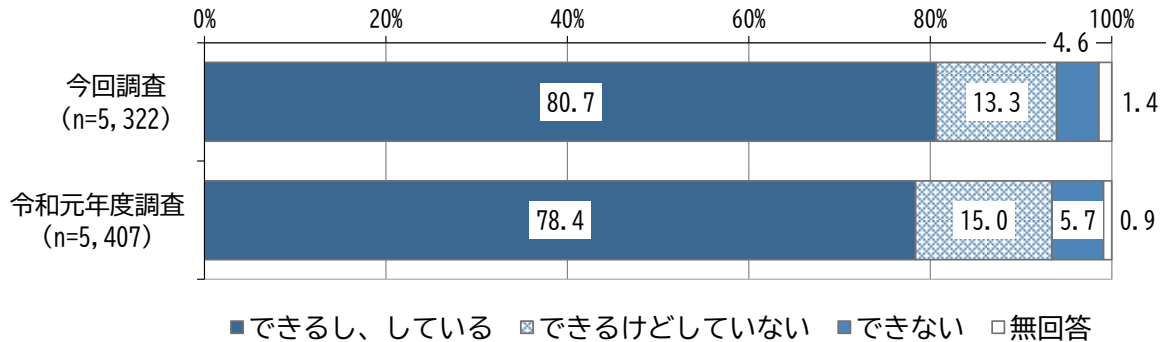
(7) 自分で預貯金の出し入れをしているか

問4-7 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ)

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が80.7%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.3%、「できない」が4.6%となっています。

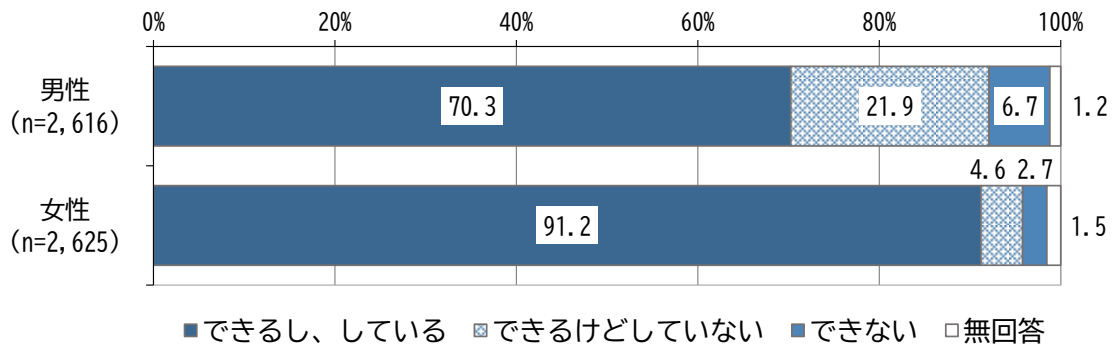
令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-5-19 自分で預貯金の出し入れをしているか



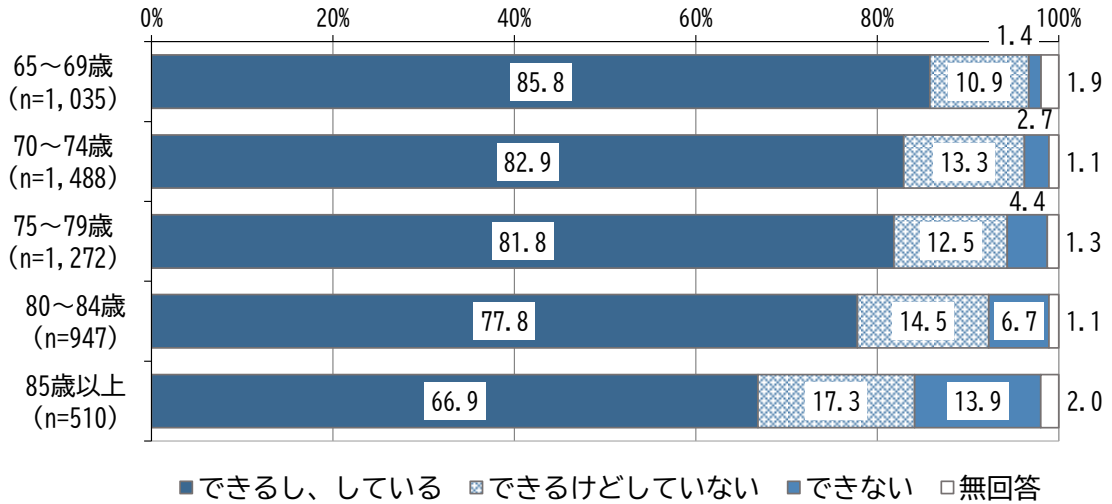
性別でみると、「できない」では、男性が6.7%で、女性（2.7%）より4.0ポイント高くなっています。

図表 2-5-20 自分で預貯金の出し入れをしていますか 性別



年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が13.9%で最も高くなっています。

図表 2-5-21 自分で預貯金の出し入れをしているか 年齢別

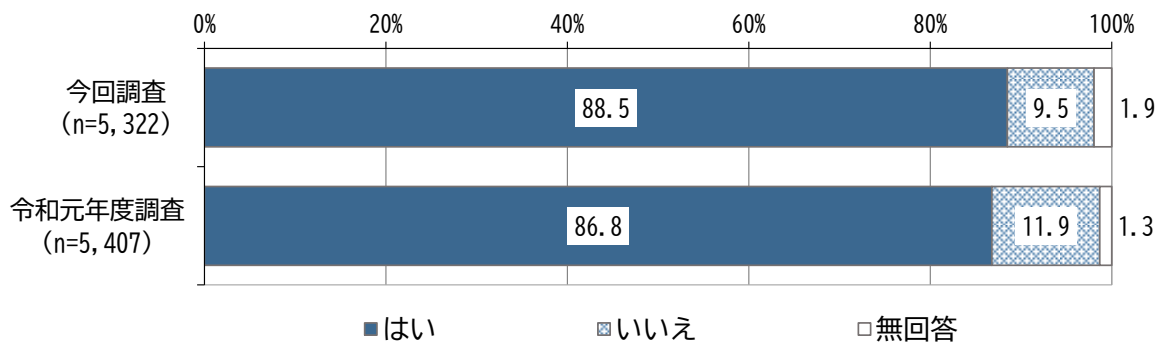


(8) 年金などの書類が書けるか

問4-8 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（1つだけ）

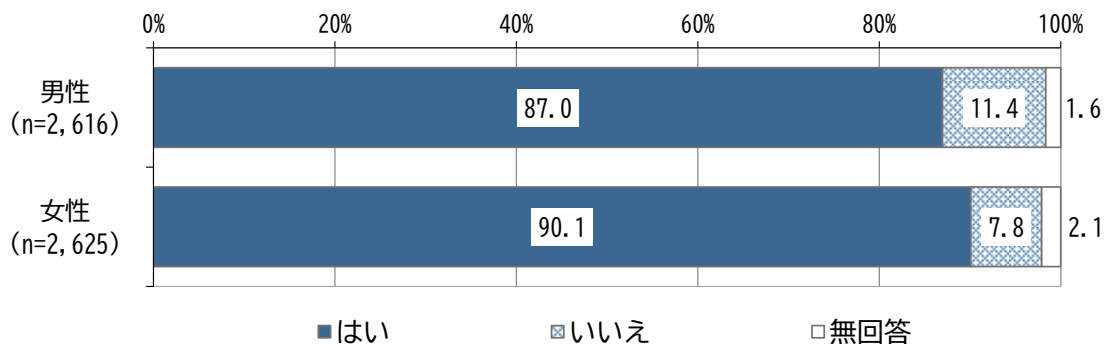
年金などの書類が書けるかについては、「はい」が88.5%、「いいえ」が9.5%となっています。令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-5-22 年金などの書類が書けるか



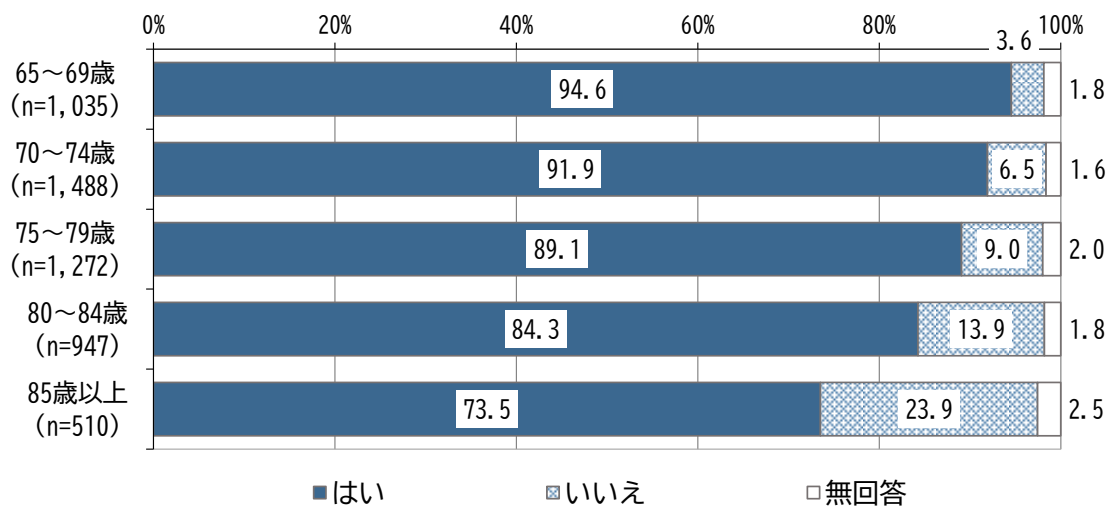
性別でみると、「いいえ」では、男性が11.4%で、女性（7.8%）より3.6ポイント高くなっています。

図表 2-5-23 年金などの書類が書けるか 性別



年齢別でみると、「いいえ」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が23.9%で最も高くなっています。

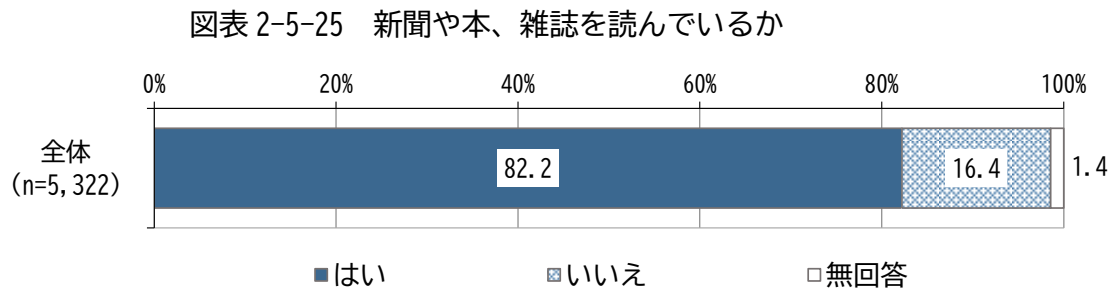
図表 2-5-24 年金などの書類が書けるか 年齢別



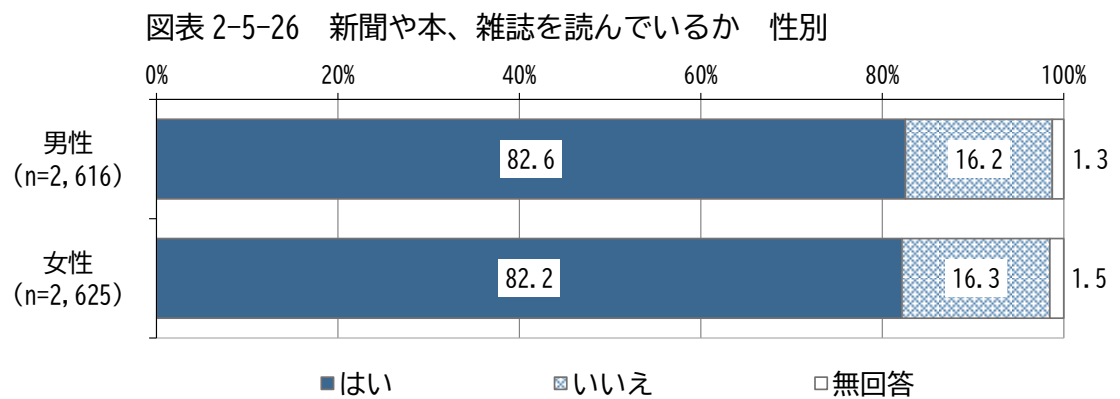
(9) 新聞や本、雑誌を読んでいるか

問4-9 新聞や本、雑誌を読んでいますか。(1つだけ)

新聞や本、雑誌を読んでいるかについては、「はい」が82.2%、「いいえ」が16.4%となっています。

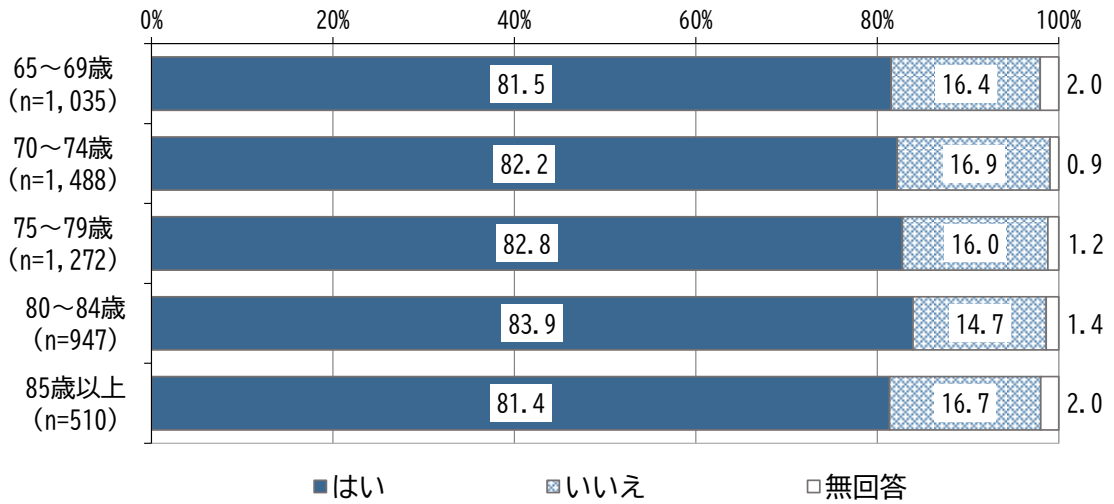


性別でみると、「はい」では、男性が82.6%、女性が82.2%となっています。



年齢別でみると、「はい」では、80～84歳が83.9%で最も高く、「いいえ」では、70～74歳が16.9%で最も高くなっています。

図表 2-5-27 新聞や本、雑誌を読んでいるか 年齢別



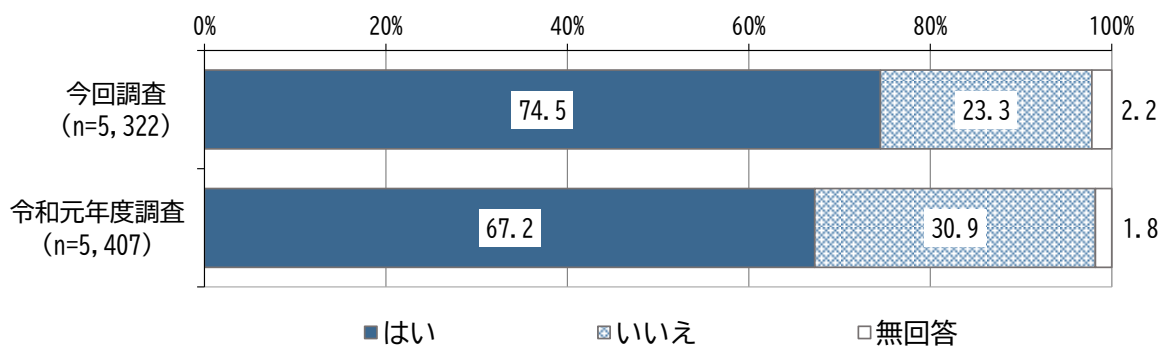
(10) 家族や友人の相談にのっているか

問4-10 家族や友人の相談にのっていますか。(1つだけ)

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が74.5%、「いいえ」が23.3%となっています。

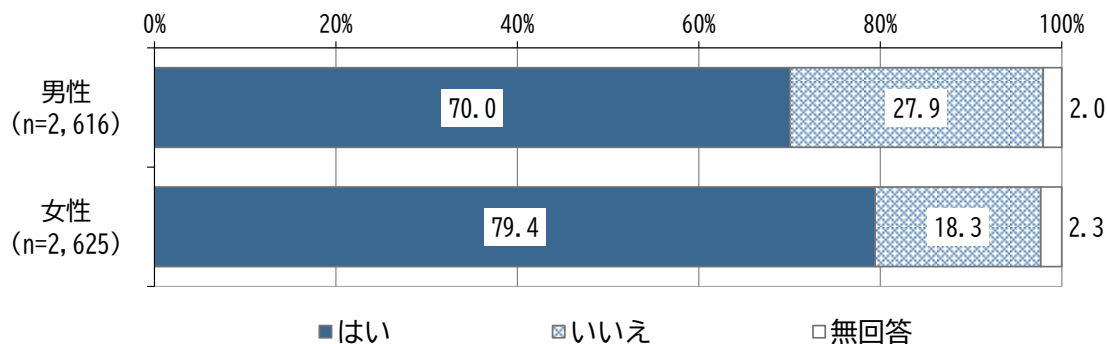
令和元(2019)年度調査と比較すると、「はい」(74.5%)では、令和元(2019)年度調査(67.2%)より7.3ポイント増加しています。

図表 2-5-28 家族や友人の相談にのっているか



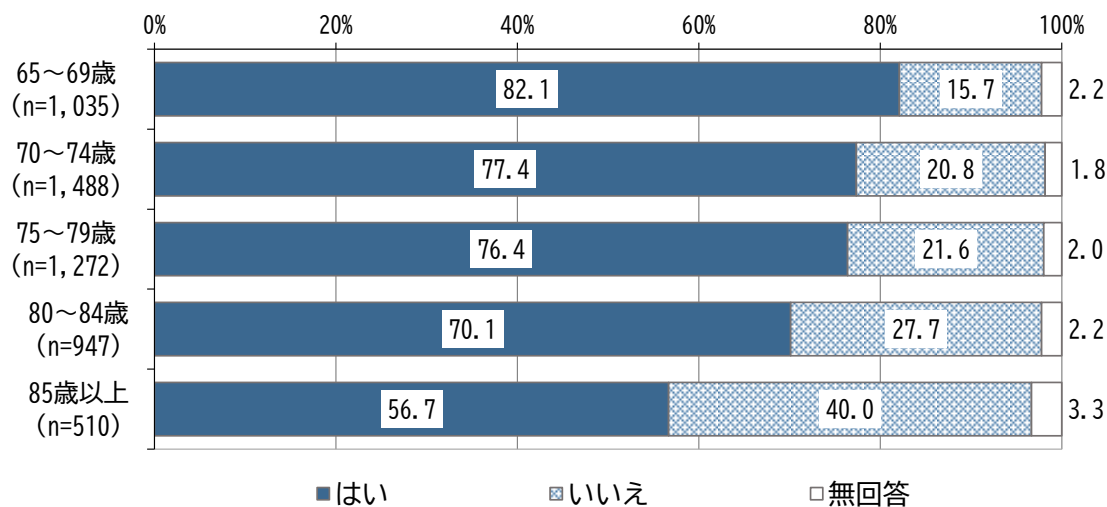
性別でみると、「はい」では、女性が79.4%で、男性（70.0%）より9.4ポイント高くなっています。

図表 2-5-29 家族や友人の相談にのっているか 性別



年齢別でみると、「いいえ」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が40.0%で最も高くなっています。

図表 2-5-30 家族や友人の相談にのっているか 年齢別



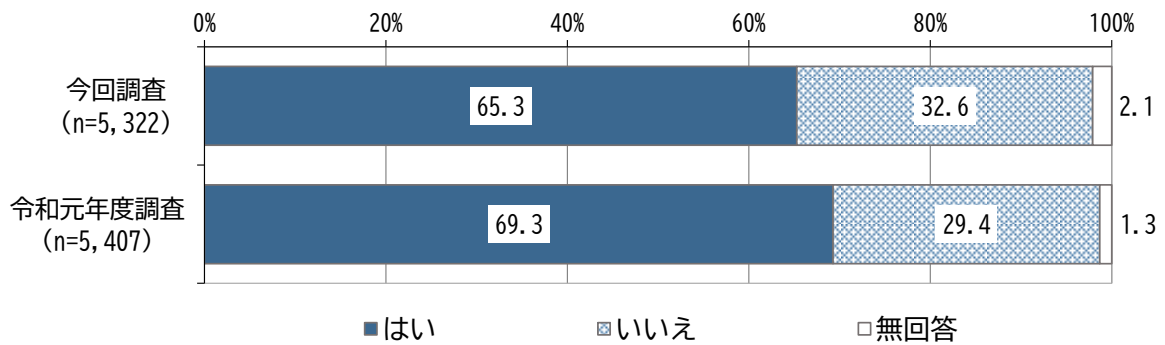
(11) 若い人に自分から話しかけることがあるか

問4-11 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つだけ)

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」が65.3%、「いいえ」が32.6%となっています。

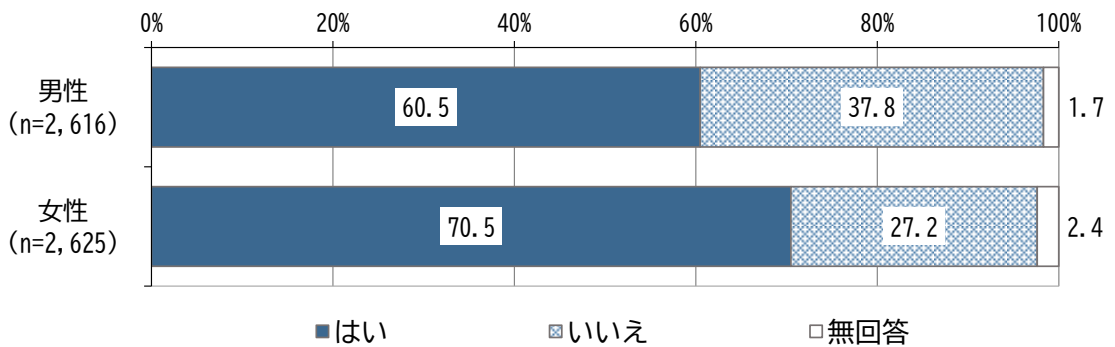
令和元(2019)年度調査と比較すると、「いいえ」(32.6%)では、令和元(2019)年度調査(29.4%)より3.2ポイント増加しています。

図表 2-5-31 若い人に自分から話しかけることがあるか



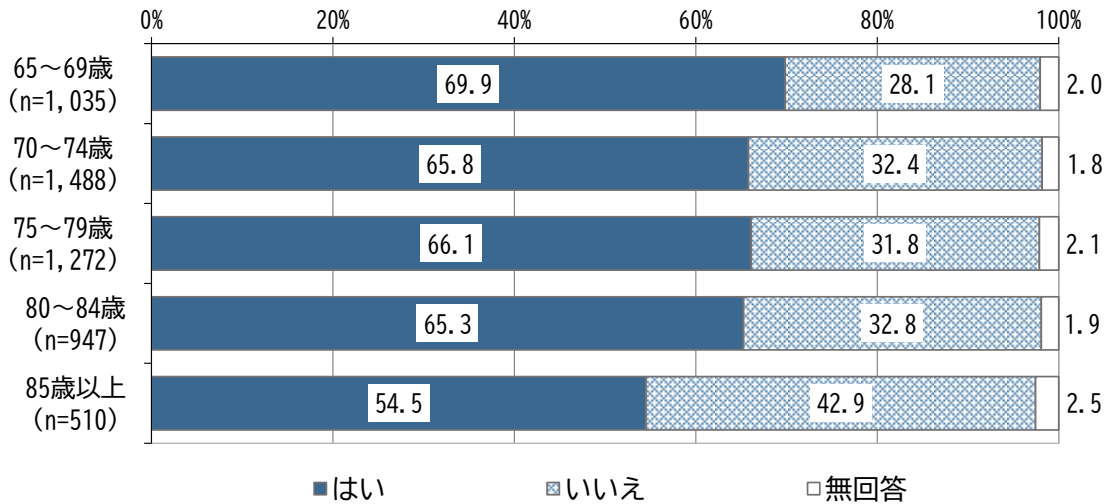
性別でみると、「はい」では、女性が70.5%で、男性(60.5%)より10.0ポイント高くなっています。

図表 2-5-32 若い人に自分から話しかけることがあるか 性別



年齢別でみると、「はい」では、65～69歳が69.9%で最も高く、「いいえ」では、85歳以上が42.9%で最も高くなっています。

図表 2-5-33 若い人に自分から話しかけることがあるか 年齢別

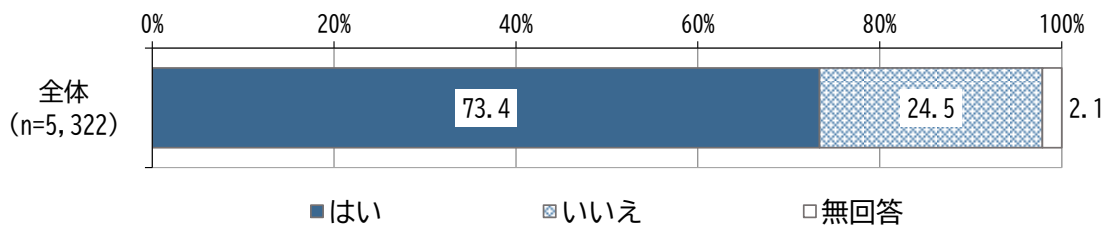


(12) 趣味・楽しみ・好きでやっていることはあるか

問4-12 家の中あるいは家の外で、趣味・楽しみ・好きでやっていることはありますか。
(1つだけ)

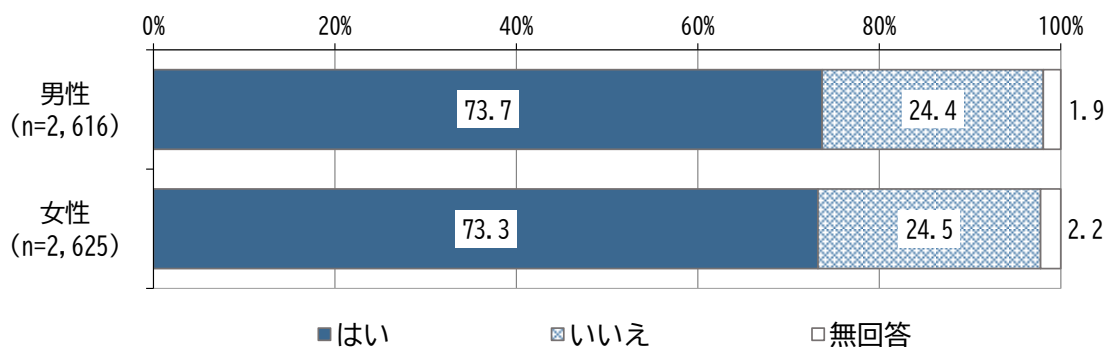
趣味・楽しみ・好きでやっていることはあるかについては、「はい」が73.4%、「いいえ」が24.5%となっています。

図表 2-5-34 趣味・楽しみ・好きでやっていることはあるか



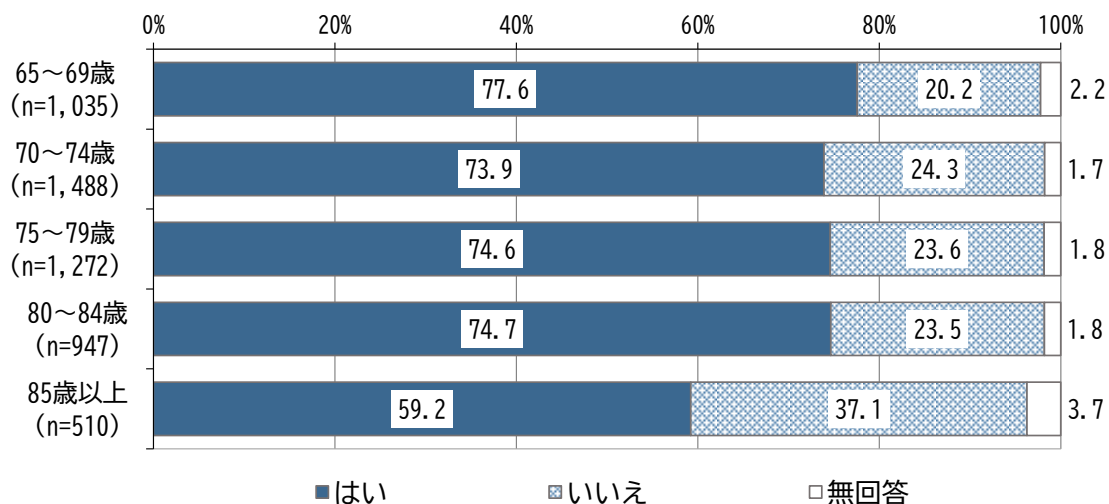
性別でみると、「はい」では、男性が73.7%、女性が73.3%となっています。

図表 2-5-35 趣味・楽しみ・好きでやっていることはあるか 性別



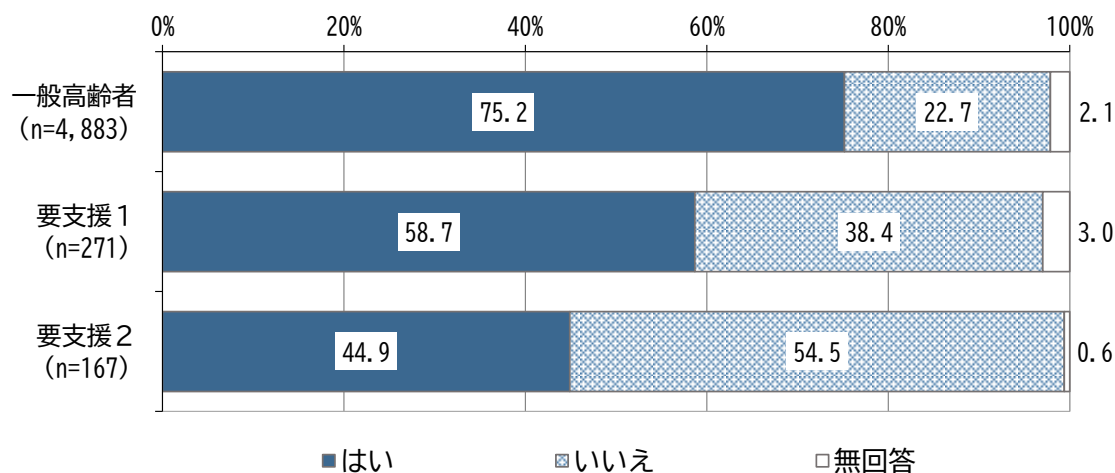
年齢別でみると、「はい」では、65～69歳が77.6%で最も高く、「いいえ」では、85歳以上が37.1%で最も高くなっています。

図表 2-5-36 趣味・楽しみ・好きでやっていることはあるか 年齢別



認定状況別でみると、「いいえ」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が54.5%で最も高くなっています。

図表 2-5-37 趣味・楽しみ・好きでやっていることはあるか 認定状況別



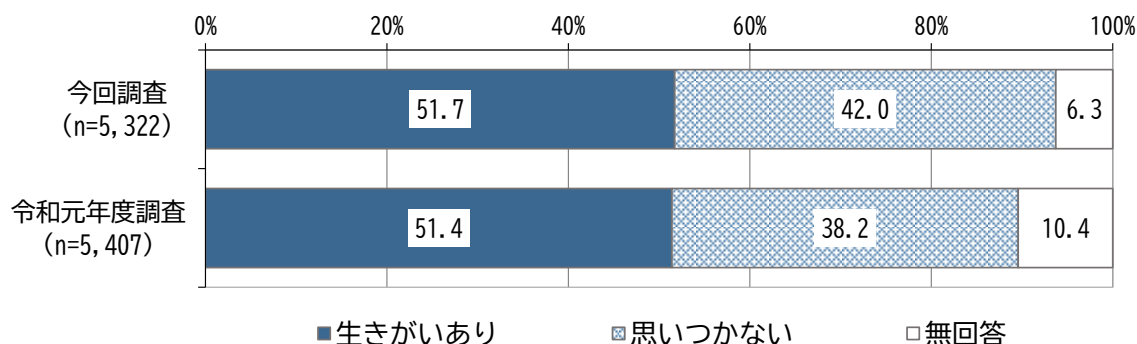
(13) 生きがいと感じていることはあるか

問4-13 生きがいと感じていることはありますか。(1つだけ)

生きがいと感じていることはあるかについては、「生きがいあり」が51.7%、「思いつかない」が42.0%となっています。

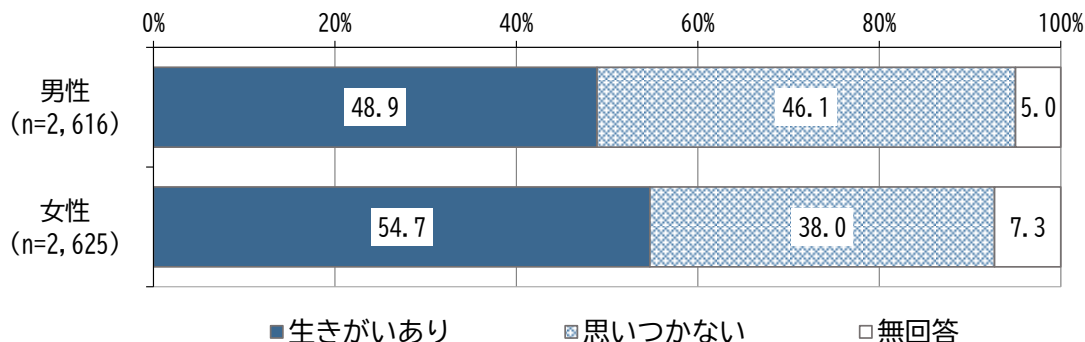
令和元(2019)年度調査と比較すると、「思いつかない」(42.0%)では、令和元(2019)年度調査(38.2%)より3.8ポイント増加しています。

図表 2-5-38 生きがいと感じていることはあるか



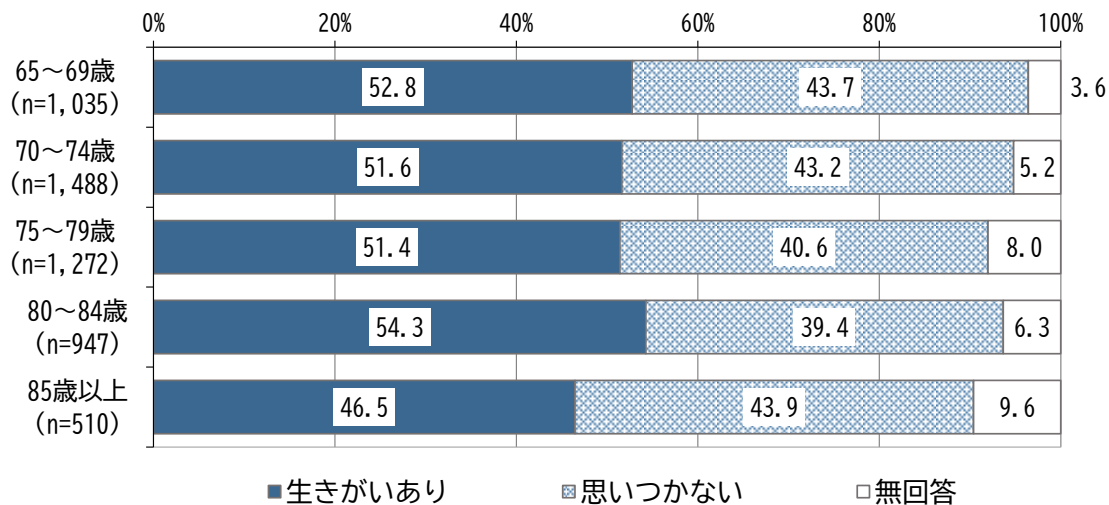
性別でみると、「生きがいあり」では、女性が54.7%で、男性（48.9%）より5.8ポイント高くなっています。

図表 2-5-39 生きがいと感じていることはあるか 性別



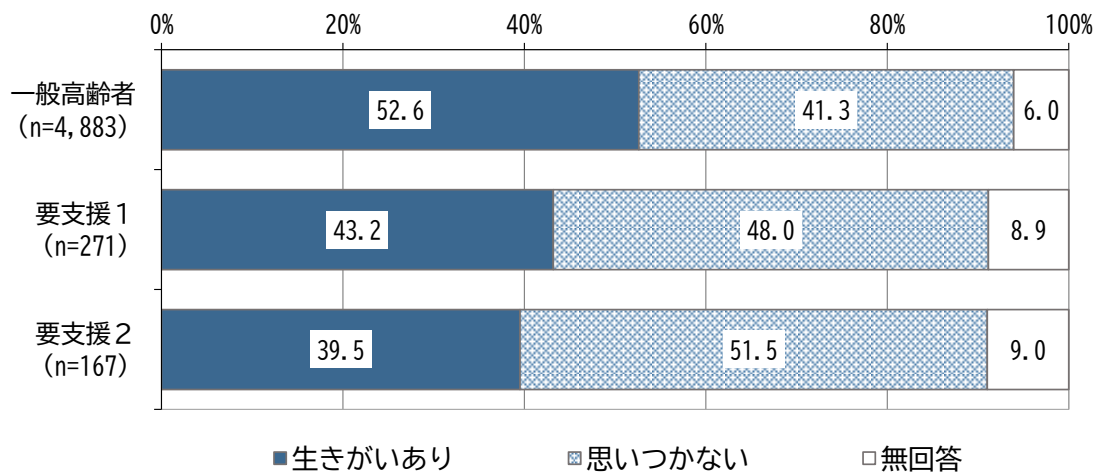
年齢別でみると、「生きがいあり」では、80～84歳が54.3%で最も高く、「思いつかない」では、85歳以上が43.9%で最も高くなっています。

図表 2-5-40 生きがいと感じていることはあるか 年齢別



認定状況別でみると、「思いつかない」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が51.5%で最も高くなっています。

図表 2-5-41 生きがいと感じていることはあるか 認定状況別



6 地域での活動について

(1) 地域の会・グループへの参加頻度

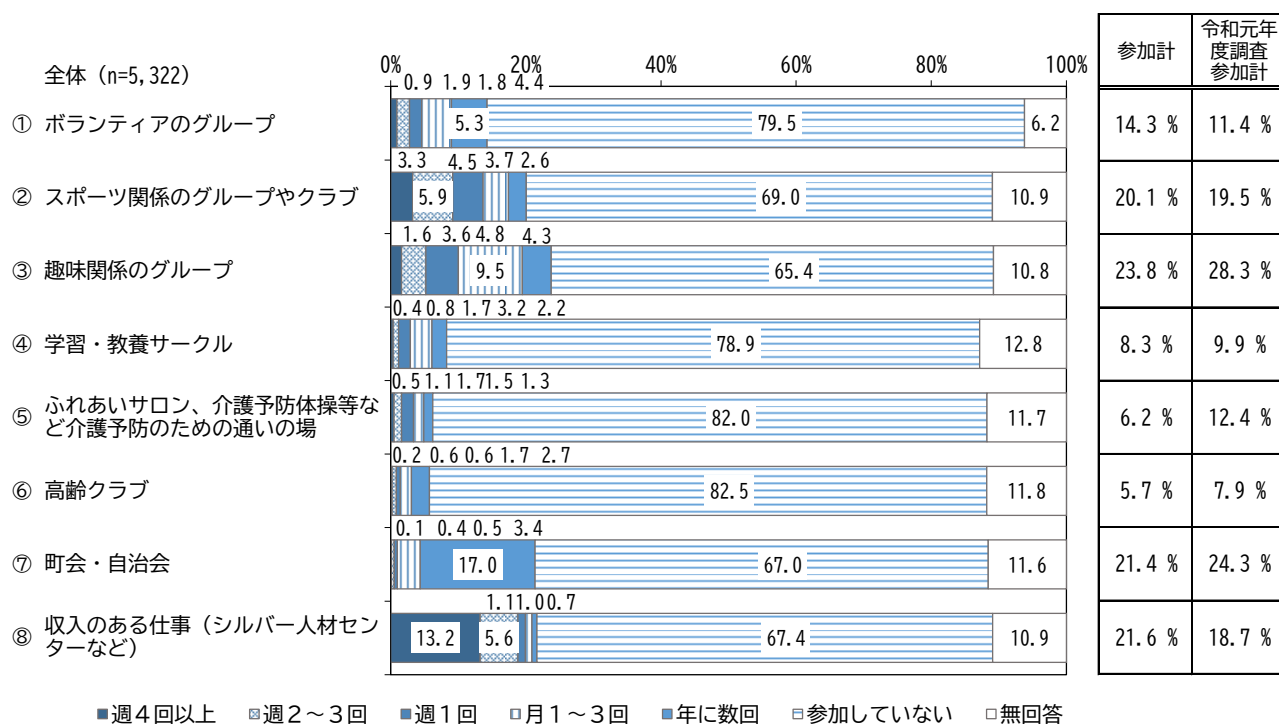
問5-1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。

地域の会・グループへの参加頻度について、『参加計』（「週4回以上」から「年に数回」までの合計）で見ると、「③ 趣味関係のグループ」が23.8%で最も高く、次いで「⑧ 収入のある仕事（シルバー人材センターなど）」が21.6%、「⑦ 町会・自治会」が21.4%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、『参加計』では、「① ボランティアのグループ」、「② スポーツ関係のグループやクラブ」、「⑧ 収入のある仕事（シルバー人材センターなど）」で令和元（2019）年度調査より割合が増加しています。

図表 2-6-1 地域の会・グループへの参加頻度



① ボランティアのグループ

図表 2-6-2 地域の会・グループへの参加頻度 ①ボランティアのグループ

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	参加頻度					参加計	参加していない	無回答	
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体		5,322	0.9	1.9	1.8	4.4	5.3	14.3	79.5	6.2	
令和元年度調査		5,407	0.9	1.5	1.4	3.6	4.0	11.4	72.7	15.8	
性別	男性	2,616	0.8	1.7	1.5	4.4	6.2	14.5	80.5	4.9	
	女性	2,625	1.1	2.1	2.1	4.4	4.5	14.1	78.7	7.2	
年齢別	65～69歳	1,035	0.6	1.4	1.3	3.9	4.0	11.1	84.3	4.5	
	70～74歳	1,488	1.0	1.7	1.3	5.3	5.4	14.9	81.0	4.1	
	75～79歳	1,272	0.9	1.7	2.2	4.6	5.6	15.1	78.4	6.5	
	80～84歳	947	1.7	2.7	2.5	4.2	6.9	18.1	74.2	7.7	
	85歳以上	510	0.2	2.0	1.8	2.7	4.1	10.8	78.4	10.8	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	0.5	2.4	1.6	5.3	3.4	13.2	81.3	5.5
		桂中学校区	157	0.6	1.3	3.8	1.3	8.9	15.9	80.3	3.8
		上之島中学校区	424	1.2	1.2	0.9	6.1	6.4	15.8	78.5	5.7
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	1.2	2.1	1.2	3.6	8.3	16.4	77.7	6.0
		龍華中学校区	440	0.7	2.0	1.8	3.9	6.6	15.0	77.5	7.5
		亀井中学校区	222	1.4	2.3	0.9	4.1	7.2	15.8	82.0	2.3
	第3圏域	大正中学校区	297	0.3	2.4	1.3	7.1	7.7	18.9	78.1	3.0
		志紀中学校区	304	0.7	1.3	1.0	3.9	3.6	10.5	83.9	5.6
		曙川南中学校区	492	0.6	2.0	1.2	5.7	4.5	14.0	79.3	6.7
	第4圏域	成法中学校区	576	0.9	2.4	2.6	2.8	4.2	12.8	80.4	6.8
		曙川中学校区	358	0.8	1.4	2.5	3.9	4.7	13.4	82.4	4.2
		高美中学校区	292	2.4	1.7	2.1	4.5	3.1	13.7	79.1	7.2
	第5圏域	高安中学校区	210	0.5	1.0	1.9	6.7	4.8	14.8	79.0	6.2
		南高安中学校区	299	1.0	2.3	2.0	4.3	5.0	14.7	77.9	7.4
		東中学校区	294	1.4	2.0	2.0	4.1	5.1	14.6	79.3	6.1

※網掛け■は最も割合が高いもの

② スポーツ関係のグループやクラブ

図表 2-6-3 地域の会・グループへの参加頻度 ②スポーツ関係のグループやクラブ

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	参加頻度					参加計	参加していない	無回答	
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体		5,322	3.3	5.9	4.5	3.7	2.6	20.1	69.0	10.9	
令和元年度調査		5,407	3.6	5.8	4.3	3.5	2.3	19.5	65.6	15.0	
性別	男性	2,616	2.8	4.2	3.0	3.6	4.2	17.9	73.0	9.1	
	女性	2,625	3.7	7.5	6.1	3.8	1.0	22.2	65.4	12.4	
年齢別	65～69歳	1,035	3.0	6.8	4.3	5.1	3.4	22.6	70.9	6.5	
	70～74歳	1,488	3.9	5.9	4.8	3.7	1.7	20.1	73.3	6.7	
	75～79歳	1,272	3.2	6.4	4.7	3.9	2.5	20.8	67.7	11.6	
	80～84歳	947	3.6	5.6	4.9	3.1	4.0	21.1	64.8	14.0	
	85歳以上	510	1.8	2.9	3.1	2.2	1.2	11.2	65.3	23.5	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	2.6	5.3	7.1	3.7	0.8	19.5	71.3	9.2
		桂中学校区	157	0.6	3.8	3.2	3.8	1.9	13.4	77.7	8.9
		上之島中学校区	424	1.7	6.4	3.8	4.5	3.5	19.8	71.0	9.2
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	4.2	6.5	3.9	3.6	3.0	21.1	68.5	10.4
		龍華中学校区	440	4.3	5.9	4.3	4.1	4.3	23.0	66.6	10.5
		亀井中学校区	222	4.1	5.0	2.7	3.2	2.3	17.1	77.0	5.9
	第3圏域	大正中学校区	297	4.0	6.1	3.7	2.4	3.7	19.9	73.4	6.7
		志紀中学校区	304	3.0	8.2	2.6	3.6	0.3	17.8	67.8	14.5
		曙川南中学校区	492	3.5	5.9	6.5	4.1	2.0	22.0	65.9	12.2
	第4圏域	成法中学校区	576	3.8	6.1	3.6	3.8	1.7	19.1	68.6	12.3
		曙川中学校区	358	5.0	6.7	5.6	5.6	3.9	26.8	65.4	7.8
		高美中学校区	292	4.1	5.5	3.4	2.1	3.1	18.2	68.2	13.7
	第5圏域	高安中学校区	210	2.4	4.3	5.7	2.4	2.9	17.6	71.4	11.0
		南高安中学校区	299	2.7	5.0	5.7	5.0	3.7	22.1	66.9	11.0
		東中学校区	294	1.7	6.8	5.4	4.4	3.7	22.1	67.0	10.9

※網掛け■は最も割合が高いもの

③ 趣味関係のグループ

図表 2-6-4 地域の会・グループへの参加頻度 ③趣味関係のグループ

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	参加頻度					参加計	参加していない	無回答	
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体		5,322	1.6	3.6	4.8	9.5	4.3	23.8	65.4	10.8	
令和元年度調査		5,407	1.9	5.3	5.3	11.3	4.5	28.3	57.9	13.9	
性別	男性	2,616	1.7	3.1	4.2	6.9	6.0	21.9	69.0	9.1	
	女性	2,625	1.5	4.2	5.5	12.1	2.7	25.9	62.2	11.8	
年齢別	65～69歳	1,035	1.4	3.0	4.1	9.1	5.1	22.6	70.7	6.7	
	70～74歳	1,488	1.3	3.5	4.2	11.0	4.4	24.4	69.0	6.6	
	75～79歳	1,272	1.7	3.7	6.2	9.7	5.0	26.3	62.2	11.6	
	80～84歳	947	2.2	5.0	5.8	9.0	4.1	26.1	60.5	13.4	
	85歳以上	510	1.6	2.7	3.1	6.5	1.2	15.1	62.7	22.2	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	1.8	3.4	7.1	9.5	3.7	25.5	65.8	8.7
		桂中学校区	157	2.5	1.9	4.5	6.4	1.3	16.6	73.9	9.6
		上之島中学校区	424	1.7	4.2	5.0	8.3	5.7	24.8	65.3	9.9
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	2.4	2.1	3.0	8.6	4.2	20.2	69.9	9.8
		龍華中学校区	440	1.4	3.4	5.9	10.5	5.2	26.4	64.1	9.5
		亀井中学校区	222	1.8	2.7	7.7	5.9	3.6	21.6	71.2	7.2
	第3圏域	大正中学校区	297	1.7	3.0	5.4	9.8	6.1	25.9	67.3	6.7
		志紀中学校区	304	1.3	3.3	2.0	8.6	3.0	18.1	68.8	13.2
		曙川南中学校区	492	1.0	3.7	4.9	11.6	3.9	25.0	64.4	10.6
	第4圏域	成法中学校区	576	1.7	3.8	4.7	8.5	3.6	22.4	64.9	12.7
		曙川中学校区	358	1.7	3.6	5.3	11.5	5.9	27.9	64.2	7.8
		高美中学校区	292	1.4	6.5	4.8	7.9	4.1	24.7	62.0	13.4
	第5圏域	高安中学校区	210	2.9	3.3	5.2	11.9	5.7	29.0	59.5	11.4
		南高安中学校区	299	1.7	1.3	5.0	12.0	4.0	24.1	65.2	10.7
		東中学校区	294	0.7	6.8	3.4	10.9	4.8	26.5	61.6	11.9

※網掛け■は最も割合が高いもの

④ 学習・教養サークル

図表 2-6-5 地域の会・グループへの参加頻度 ④学習・教養サークル

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	参加頻度					参加計	参加していない	無回答	
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体		5,322	0.4	0.8	1.7	3.2	2.2	8.3	78.9	12.8	
令和元年度調査		5,407	0.5	1.0	1.8	3.9	2.7	9.9	73.4	16.6	
性別	男性	2,616	0.3	0.4	1.3	1.6	2.4	6.1	83.4	10.5	
	女性	2,625	0.4	1.3	2.2	4.8	1.9	10.5	74.9	14.6	
年齢別	65～69歳	1,035	0.5	0.7	2.0	3.3	2.0	8.5	84.1	7.4	
	70～74歳	1,488	0.1	1.1	2.0	4.1	2.2	9.6	82.6	7.8	
	75～79歳	1,272	0.5	0.7	1.9	3.2	2.4	8.6	76.8	14.5	
	80～84歳	947	0.6	1.1	1.4	2.4	2.3	7.8	75.8	16.4	
	85歳以上	510	0.0	0.2	0.8	1.8	1.6	4.3	70.6	25.1	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	0.8	1.1	2.4	3.7	1.3	9.2	80.3	10.5
		桂中学校区	157	0.6	0.0	3.2	2.5	1.3	7.6	81.5	10.8
		上之島中学校区	424	0.2	0.7	2.8	2.1	2.1	8.0	81.8	10.1
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	0.6	0.3	0.9	4.2	1.5	7.4	80.7	11.9
		龍華中学校区	440	0.2	0.7	2.0	3.6	2.0	8.6	79.1	12.3
		亀井中学校区	222	0.5	0.0	4.1	3.6	1.8	9.9	83.8	6.3
	第3圏域	大正中学校区	297	0.0	0.3	1.3	3.4	2.7	7.7	83.8	8.4
		志紀中学校区	304	0.0	0.3	0.7	2.6	1.6	5.3	79.6	15.1
		曙川南中学校区	492	0.0	0.4	1.0	3.9	2.4	7.7	78.5	13.8
	第4圏域	成法中学校区	576	0.5	1.4	1.6	2.8	2.6	8.9	74.7	16.5
		曙川中学校区	358	0.3	1.1	1.7	2.5	3.1	8.7	81.3	10.1
		高美中学校区	292	0.3	1.4	1.4	2.4	2.4	7.9	76.0	16.1
	第5圏域	高安中学校区	210	1.4	1.9	1.4	5.7	1.9	12.4	73.3	14.3
		南高安中学校区	299	0.3	1.0	1.7	3.0	2.3	8.4	79.9	11.7
		東中学校区	294	0.3	1.7	2.4	3.1	3.4	10.9	75.9	13.3

※網掛け■は最も割合が高いもの

⑤ ふれあいサロン、介護予防体操等など介護予防のための通いの場

図表 2-6-6 地域の会・グループへの参加頻度 ⑤ふれあいサロン、介護予防体操等など
介護予防のための通いの場

単位：実数（人）、構成比（％）

	合計	参加頻度					参加計	参加していない	無回答		
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回					
全体	5,322	0.5	1.1	1.7	1.5	1.3	6.2	82.0	11.7		
令和元年度調査	5,407	0.8	2.8	3.3	3.2	2.3	12.4	73.3	14.4		
性別	男性	2,616	0.5	1.0	1.1	0.7	1.3	4.7	85.6	9.8	
	女性	2,625	0.5	1.3	2.4	2.4	1.3	7.9	79.0	13.1	
年齢別	65～69歳	1,035	0.3	0.2	1.2	0.2	0.4	2.2	90.6	7.1	
	70～74歳	1,488	0.5	0.7	0.8	1.1	0.7	3.9	88.3	7.8	
	75～79歳	1,272	0.6	0.9	1.4	2.0	2.0	6.9	80.7	12.4	
	80～84歳	947	0.4	2.3	3.3	2.7	2.4	11.2	73.9	14.9	
	85歳以上	510	0.6	2.5	3.7	2.2	1.4	10.4	66.9	22.7	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	0.5	1.6	1.3	1.6	1.6	6.6	83.4	10.0
		桂中学校区	157	0.0	0.0	3.2	1.9	2.5	7.6	82.8	9.6
		上之島中学校区	424	0.0	0.7	1.4	2.8	1.7	6.6	82.8	10.6
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	0.6	0.6	1.5	0.9	1.5	5.1	83.9	11.0
		龍華中学校区	440	0.5	1.4	2.0	1.4	0.7	5.9	82.5	11.6
		亀井中学校区	222	0.5	1.4	1.4	1.4	0.5	5.0	89.2	5.9
	第3圏域	大正中学校区	297	1.0	0.0	1.0	2.0	4.4	8.4	84.5	7.1
		志紀中学校区	304	0.3	1.0	1.0	1.6	1.3	5.3	80.3	14.5
		曙川南中学校区	492	0.2	0.8	1.0	1.6	0.8	4.5	83.9	11.6
	第4圏域	成法中学校区	576	0.9	1.4	2.3	1.4	1.0	6.9	78.8	14.2
		曙川中学校区	358	1.4	1.7	0.8	1.7	1.4	7.0	83.5	9.5
		高美中学校区	292	0.3	1.0	2.1	0.7	1.7	5.8	79.8	14.4
	第5圏域	高安中学校区	210	0.0	1.4	2.9	1.0	1.0	6.2	80.5	13.3
		南高安中学校区	299	0.3	1.3	3.0	0.3	0.0	5.0	83.9	11.0
		東中学校区	294	0.7	3.1	3.1	2.0	1.7	10.5	77.2	12.2

※網掛け■は最も割合が高いもの

⑥ 高齢クラブ

図表 2-6-7 地域の会・グループへの参加頻度 ⑥高齢クラブ

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	参加頻度					参加計	参加していない	無回答	
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体		5,322	0.2	0.6	0.6	1.7	2.7	5.7	82.5	11.8	
令和元年度調査		5,407	0.1	0.8	0.9	2.6	3.5	7.9	77.2	14.9	
性別	男性	2,616	0.3	0.6	0.8	1.7	2.9	6.3	84.3	9.3	
	女性	2,625	0.2	0.6	0.4	1.6	2.4	5.1	81.2	13.6	
年齢別	65～69歳	1,035	0.1	0.0	0.1	0.5	0.5	1.2	91.3	7.5	
	70～74歳	1,488	0.1	0.6	0.2	1.0	1.5	3.4	89.3	7.3	
	75～79歳	1,272	0.2	0.4	1.0	1.9	3.4	6.8	80.3	12.9	
	80～84歳	947	0.6	1.4	1.0	2.6	5.0	10.6	74.4	15.0	
	85歳以上	510	0.2	1.2	1.0	3.3	4.5	10.2	67.6	22.2	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	0.3	0.3	1.1	1.1	2.6	5.3	84.2	10.5
		桂中学校区	157	0.6	1.3	0.0	1.3	5.7	8.9	81.5	9.6
		上之島中学校区	424	0.0	0.9	0.0	2.1	2.4	5.4	84.4	10.1
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	0.3	0.6	0.3	0.3	2.1	3.6	84.8	11.6
		龍華中学校区	440	0.5	0.5	0.9	3.0	3.0	7.7	80.9	11.4
		亀井中学校区	222	0.0	0.0	0.9	1.8	5.9	8.6	85.6	5.9
	第3圏域	大正中学校区	297	0.7	1.3	0.0	3.4	4.7	10.1	82.8	7.1
		志紀中学校区	304	0.0	0.7	0.0	1.0	1.6	3.3	82.6	14.1
		曙川南中学校区	492	0.0	0.4	1.0	1.8	1.2	4.5	83.9	11.6
	第4圏域	成法中学校区	576	0.3	0.7	1.2	2.4	1.7	6.4	79.3	14.2
		曙川中学校区	358	0.3	0.3	0.3	1.4	2.0	4.2	87.2	8.7
		高美中学校区	292	0.0	0.3	0.7	0.0	2.1	3.1	80.8	16.1
	第5圏域	高安中学校区	210	0.5	1.4	0.5	0.5	2.4	5.2	82.4	12.4
		南高安中学校区	299	0.0	1.0	1.0	1.0	4.3	7.4	81.9	10.7
		東中学校区	294	0.0	0.0	0.3	2.4	3.4	6.1	81.6	12.2

※網掛け■は最も割合が高いもの

⑦ 町会・自治会

図表 2-6-8 地域の会・グループへの参加頻度 ⑦町会・自治会

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	参加頻度					参加計	参加していない	無回答	
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体		5,322	0.1	0.4	0.5	3.4	17.0	21.4	67.0	11.6	
令和元年度調査		5,407	0.2	0.2	0.7	4.5	18.7	24.3	61.1	14.5	
性別	男性	2,616	0.1	0.6	0.6	3.8	16.4	21.6	69.3	9.1	
	女性	2,625	0.2	0.2	0.3	3.0	17.6	21.3	65.1	13.6	
年齢別	65～69歳	1,035	0.1	0.5	0.2	3.0	19.2	23.0	69.9	7.1	
	70～74歳	1,488	0.1	0.3	0.4	4.0	17.6	22.4	70.4	7.2	
	75～79歳	1,272	0.2	0.4	0.7	3.8	18.5	23.6	63.8	12.6	
	80～84歳	947	0.2	0.2	0.6	2.6	14.8	18.5	66.6	14.9	
	85歳以上	510	0.0	0.8	0.2	3.1	11.0	15.1	62.2	22.7	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	0.0	0.3	0.8	3.7	16.8	21.6	67.9	10.5
		桂中学校区	157	0.6	0.6	1.9	4.5	15.9	23.6	66.2	10.2
		上之島中学校区	424	0.2	0.0	0.0	4.2	17.2	21.7	68.6	9.7
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	0.0	0.3	0.6	4.2	23.2	28.3	59.8	11.9
		龍華中学校区	440	0.0	0.7	0.2	3.0	20.9	24.8	63.9	11.4
		亀井中学校区	222	0.5	0.9	0.5	2.3	15.3	19.4	73.4	7.2
	第3圏域	大正中学校区	297	0.0	0.0	0.7	6.7	21.2	28.6	65.7	5.7
		志紀中学校区	304	0.3	0.0	0.3	2.0	16.1	18.8	67.8	13.5
		曙川南中学校区	492	0.2	0.0	0.2	3.3	16.7	20.3	67.9	11.8
	第4圏域	成法中学校区	576	0.0	1.0	0.5	3.0	13.7	18.2	67.9	13.9
		曙川中学校区	358	0.3	0.0	0.0	2.0	15.1	17.3	74.0	8.7
		高美中学校区	292	0.0	0.7	0.3	3.8	15.1	19.9	65.1	15.1
	第5圏域	高安中学校区	210	0.0	0.5	0.5	2.9	21.9	25.7	62.9	11.4
		南高安中学校区	299	0.0	0.7	0.3	4.0	18.7	23.7	65.6	10.7
		東中学校区	294	0.0	0.7	0.7	2.7	13.6	17.7	71.4	10.9

※網掛け■は最も割合が高いもの

⑧ 収入のある仕事（シルバー人材センターなど）

図表 2-6-9 地域の会・グループへの参加頻度 ⑧収入のある仕事（シルバー人材センターなど）

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	参加頻度					参加計	参加していない	無回答	
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体		5,322	13.2	5.6	1.1	1.0	0.7	21.6	67.4	10.9	
令和元年度調査		5,407	11.5	4.6	0.8	0.9	0.9	18.7	67.5	13.8	
性別	男性	2,616	17.5	6.3	1.1	1.0	0.6	26.5	64.3	9.2	
	女性	2,625	9.0	5.0	1.2	1.0	0.8	16.9	70.9	12.2	
年齢別	65～69歳	1,035	28.9	8.1	1.2	1.4	0.6	40.1	54.4	5.5	
	70～74歳	1,488	17.1	8.2	1.7	1.1	1.1	29.4	63.6	7.1	
	75～79歳	1,272	6.6	4.9	0.8	0.9	0.6	13.8	74.3	11.9	
	80～84歳	947	5.5	2.4	1.0	0.7	0.3	9.9	75.8	14.3	
	85歳以上	510	1.0	0.6	0.4	0.4	0.8	3.1	74.3	22.5	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	11.6	5.8	1.3	1.3	0.3	20.3	69.7	10.0
		桂中学校区	157	10.8	5.7	1.9	1.3	0.0	19.7	69.4	10.8
		上之島中学校区	424	13.4	5.9	1.9	0.9	0.7	22.9	67.2	9.9
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	15.2	4.8	0.6	0.6	1.2	22.3	68.8	8.9
		龍華中学校区	440	12.5	5.2	1.4	1.1	0.7	20.9	68.6	10.5
		亀井中学校区	222	12.6	5.4	0.9	0.9	0.9	20.7	73.4	5.9
	第3圏域	大正中学校区	297	16.2	6.4	1.0	1.0	0.3	24.9	67.3	7.7
		志紀中学校区	304	14.8	5.3	0.3	0.3	1.6	22.4	64.8	12.8
		曙川南中学校区	492	11.2	7.1	1.4	0.8	1.6	22.2	67.3	10.6
	第4圏域	成法中学校区	576	12.5	5.2	0.7	0.9	0.3	19.6	67.2	13.2
		曙川中学校区	358	16.8	3.9	2.5	2.0	0.8	26.0	66.8	7.3
		高美中学校区	292	14.7	6.8	0.7	0.7	0.0	22.9	64.4	12.7
	第5圏域	高安中学校区	210	15.2	3.8	0.5	1.4	0.5	21.4	66.7	11.9
		南高安中学校区	299	11.4	7.4	1.3	1.7	1.0	22.7	67.2	10.0
		東中学校区	294	10.2	5.8	0.0	0.3	1.0	17.3	71.1	11.6

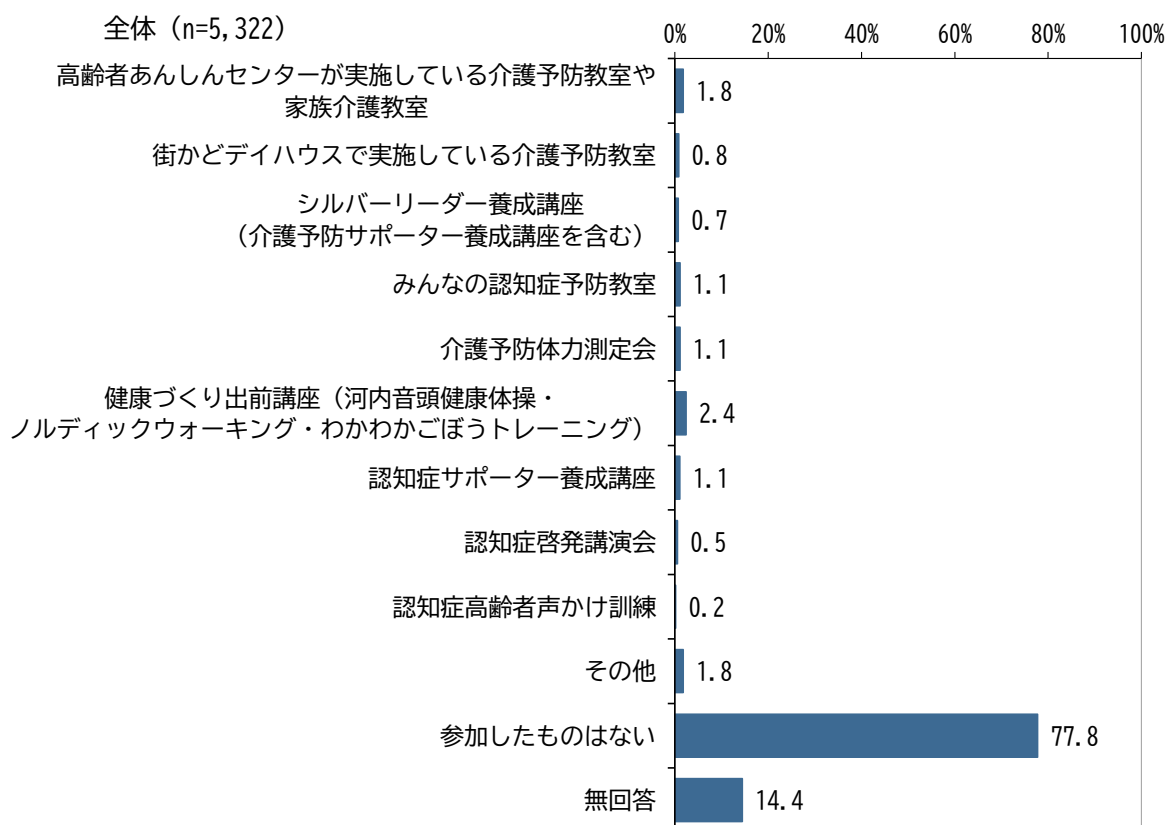
※網掛け■は最も割合が高いもの

(2) 市や高齢者あんしんセンターが実施する講座や教室について参加したことがあるもの

問5-2 市や高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)が実施する講座や教室について、あなたが参加したことがあるものがありますか。

市や高齢者あんしんセンターが実施する講座や教室について参加したことがあるものについては、「参加したものはない」が77.8%で最も高く、次いで「健康づくり出前講座(河内音頭健康体操・ノルディックウォーキング・わかわかごぼうトレーニング)」が2.4%、「その他」が1.8%と続いています。

図表 2-6-10 市や高齢者あんしんセンターが実施する講座や教室について参加したことがあるもの



性別でみると、男性・女性いずれも「参加したものはなし」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「健康づくり出前講座（河内音頭健康体操・ノルディックウォーキング・わかわかごぼうトレーニング）」では、80～84歳が3.4%で最も高くなっています。

認定状況別でみると、「街かどデイハウスで実施している介護予防教室」では、要支援2が5.4%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、「健康づくり出前講座（河内音頭健康体操・ノルディックウォーキング・わかわかごぼうトレーニング）」では、高安小中学校区が5.2%で最も高くなっています。

図表 2-6-11 市や高齢者あんしんセンターが実施する講座や教室について参加したことがあるもの 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	や実施して 家族介護 教室	高齢者 あんしん センター が	街かど デイハウ スで実 施し	シ ルバ ーリ ーダ ー （介 護予 防サ ポー ター 養成 講座 を含 む）	み ん な の 認 知 症 予 防 教 室	介 護 予 防 体 力 測 定 会	こ ぼ う ト レ ー ニ ン グ ）	健 康 づ く り 出 前 講 座 （河 内 音 頭 健 康 体 操 ・ノ ル デ ィ ッ ク ワ ォ ー キ ン グ ・わ か わ か ）	認 知 症 サ ポ ー タ ー 養 成 講 座	認 知 症 啓 発 講 演 会	認 知 症 高 齢 者 声 か け 訓 練	そ の 他
全体		5,322	1.8	0.8	0.7	1.1	1.1	2.4	1.1	0.5	0.2	1.8		
性別	男性	2,616	1.1	0.5	0.8	0.9	0.5	1.0	0.8	0.5	0.1	1.4		
	女性	2,625	2.4	1.1	0.6	1.3	1.6	3.8	1.3	0.6	0.2	2.2		
年齢別	65～69歳	1,035	0.7	0.2	0.6	0.3	0.4	0.6	1.1	0.1	0.1	1.3		
	70～74歳	1,488	1.5	0.3	0.7	0.9	1.3	1.8	1.0	0.5	0.3	1.4		
	75～79歳	1,272	2.1	0.8	0.6	1.3	0.8	3.4	1.3	0.9	0.1	1.6		
	80～84歳	947	2.6	1.6	1.1	1.7	1.8	3.7	1.1	0.4	0.0	3.1		
	85歳以上	510	2.2	2.0	0.6	1.4	1.4	2.7	0.6	0.6	0.2	2.4		
状況別 認定	一般高齢者	4,883	1.7	0.6	0.7	1.0	1.0	2.3	1.1	0.5	0.2	1.6		
	要支援1	271	3.0	2.6	0.7	3.0	3.0	4.1	0.7	0.7	0.0	2.6		
	要支援2	167	1.2	5.4	0.0	0.6	1.2	1.8	0.0	0.0	0.0	5.4		
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	1.3	0.8	0.5	1.3	1.1	2.1	0.5	0.5	0.0	2.9	
		桂中学校区	157	3.2	0.6	0.6	1.9	1.3	3.2	1.9	0.6	0.0	1.3	
		上之島中学校区	424	2.1	1.2	1.2	2.1	1.2	3.1	2.4	1.2	0.0	1.2	
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	1.8	0.6	0.6	0.9	0.3	0.9	1.2	0.9	0.0	1.8	
		龍華中学校区	440	1.8	1.1	0.5	1.6	1.8	1.1	0.9	0.5	0.0	1.1	
		亀井中学校区	222	1.8	0.9	0.0	0.5	1.4	3.2	0.9	0.0	1.4	0.9	
	第3圏域	大正中学校区	297	2.0	0.0	1.0	1.7	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	1.3	
		志紀中学校区	304	2.0	0.7	0.3	0.7	2.3	3.6	0.0	0.3	0.3	1.6	
		曙川南中学校区	492	1.6	1.0	0.6	1.0	1.2	2.6	1.2	0.8	0.2	1.4	
	第4圏域	成法中学校区	576	1.7	1.7	1.2	0.7	0.5	2.1	0.5	0.2	0.2	1.7	
		曙川中学校区	358	0.6	0.0	0.6	0.6	1.1	2.0	1.7	0.3	0.3	2.5	
		高美中学校区	292	1.4	0.3	0.3	1.4	0.7	1.7	1.0	0.3	0.0	0.7	
第5圏域	高安小中学校区	210	1.9	1.0	0.5	0.5	0.0	5.2	0.5	0.0	0.0	2.9		
	南高安中学校区	299	1.3	0.3	1.0	0.7	1.7	4.0	1.0	0.0	0.0	1.7		
	東中学校区	294	4.1	1.0	0.7	1.4	1.0	2.7	2.0	0.7	0.3	4.1		

		合計	参加したものはない	無回答	
全体		5,322	77.8	14.4	
性別	男性	2,616	81.3	13.3	
	女性	2,625	74.6	15.0	
年齢別	65～69歳	1,035	88.0	8.2	
	70～74歳	1,488	80.8	13.2	
	75～79歳	1,272	75.6	15.6	
	80～84歳	947	69.2	18.1	
	85歳以上	510	71.6	18.8	
状況別 認定	一般高齢者	4,883	78.8	14.0	
	要支援1	271	66.8	18.5	
	要支援2	167	64.7	22.2	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	79.5	12.4
		桂中学校区	157	66.2	21.7
		上之島中学校区	424	76.7	12.3
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	80.4	14.0
		龍華中学校区	440	77.5	14.8
		亀井中学校区	222	79.7	12.6
	第3圏域	大正中学校区	297	82.2	12.1
		志紀中学校区	304	76.6	16.4
		曙川南中学校区	492	79.3	14.6
	第4圏域	成法中学校区	576	76.0	16.0
		曙川中学校区	358	83.5	8.7
		高美中学校区	292	75.3	19.5
	第5圏域	高安小中学校区	210	80.0	11.4
		南高安中学校区	299	79.6	11.4
		東中学校区	294	79.3	10.5

※網掛け■は最も割合が高いもの

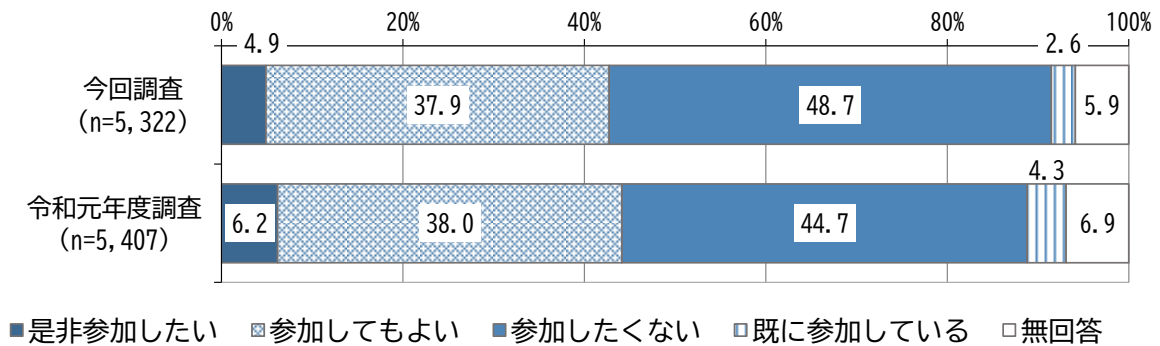
(3) 参加者としての地域活動への参加意向

問5-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

参加者としての地域活動への参加意向については、「参加したくない」が48.7%で最も高く、次いで「参加してもよい」が37.9%、「是非参加したい」が4.9%と続いています。

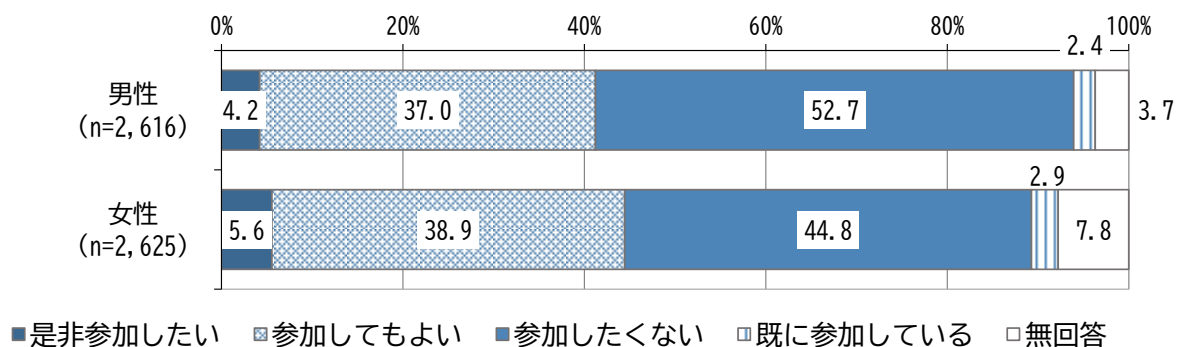
令和元(2019)年度調査と比較すると、『参加意向がある』(「是非参加したい」と「参加してもよい」)、「既に参加している」の合計(45.4%)では、令和元(2019)年度調査(48.5%)より3.1ポイント減少しています。

図表 2-6-12 参加者としての地域活動への参加意向



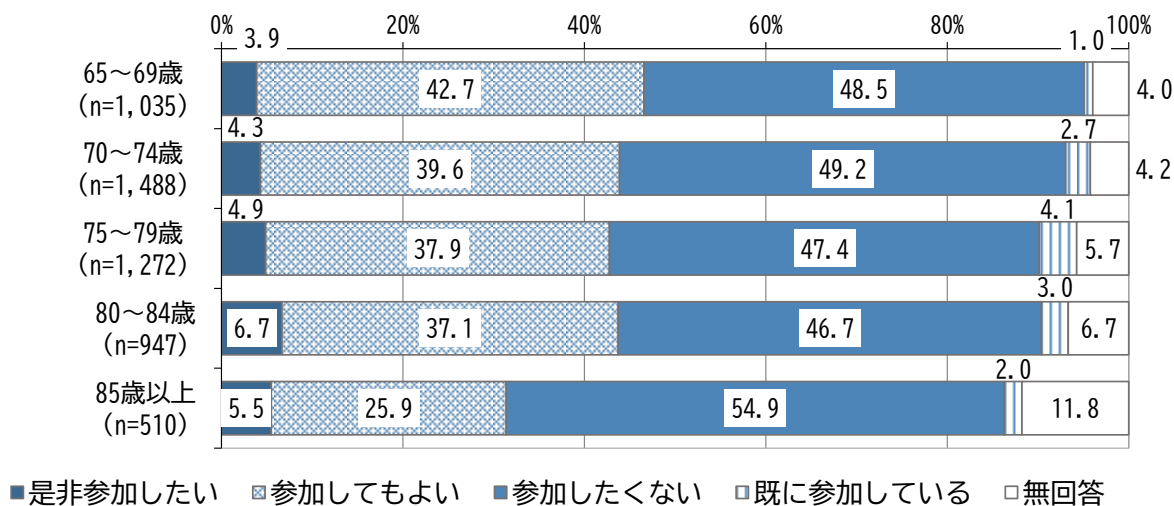
性別でみると、『参加意向がある』では、女性が47.4%で、男性(43.6%)より3.8ポイント高くなっています。

図表 2-6-13 参加者としての地域活動への参加意向 性別



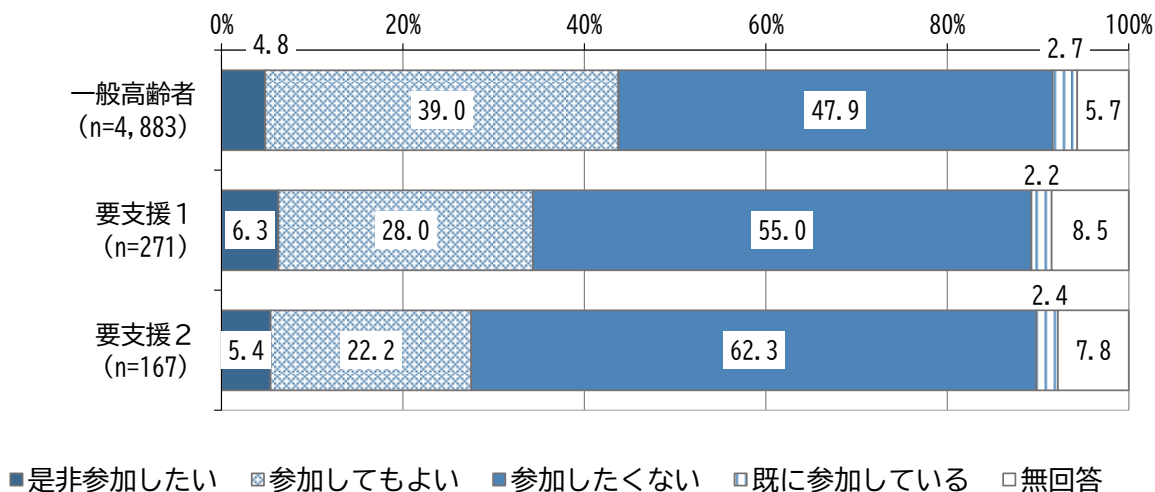
年齢別でみると、『参加意向がある』では、65～69歳が47.6%で最も高く、「参加したくない」では、85歳以上が54.9%で最も高くなっています。

図表 2-6-14 参加者としての地域活動への参加意向 年齢別



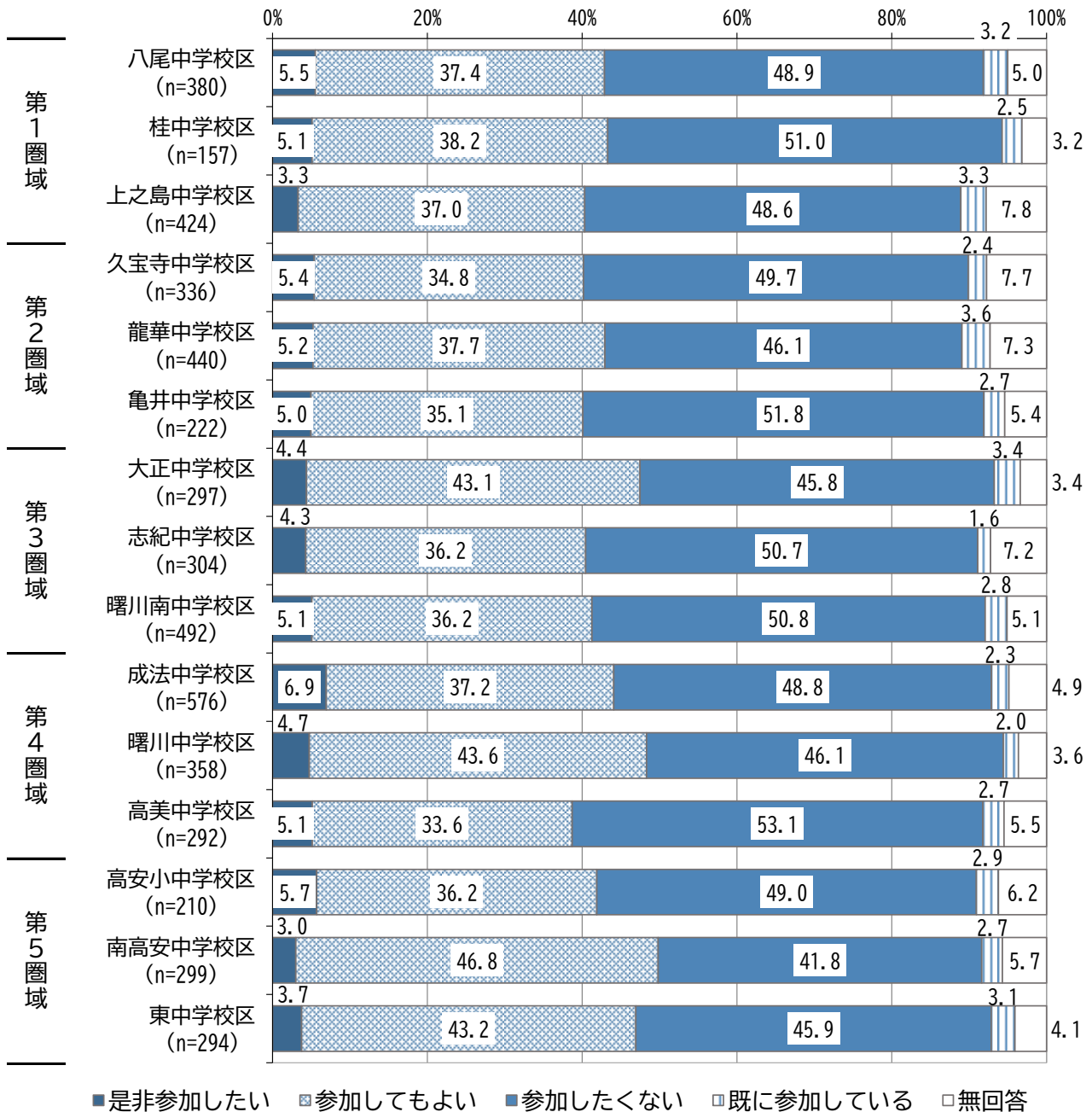
認定状況別でみると、「参加したくない」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が62.3%で最も高くなっています。

図表 2-6-15 参加者としての地域活動への参加意向 認定状況別



中学校区別でみると、『参加意向がある』では、南高安中学校区が52.5%で最も高く、「参加したくない」では、高美中学校区が53.1%で最も高くなっています。

図表 2-6-16 参加者としての地域活動への参加意向 中学校区別



(4) 参加者として地域活動に参加するために必要な行政の支援

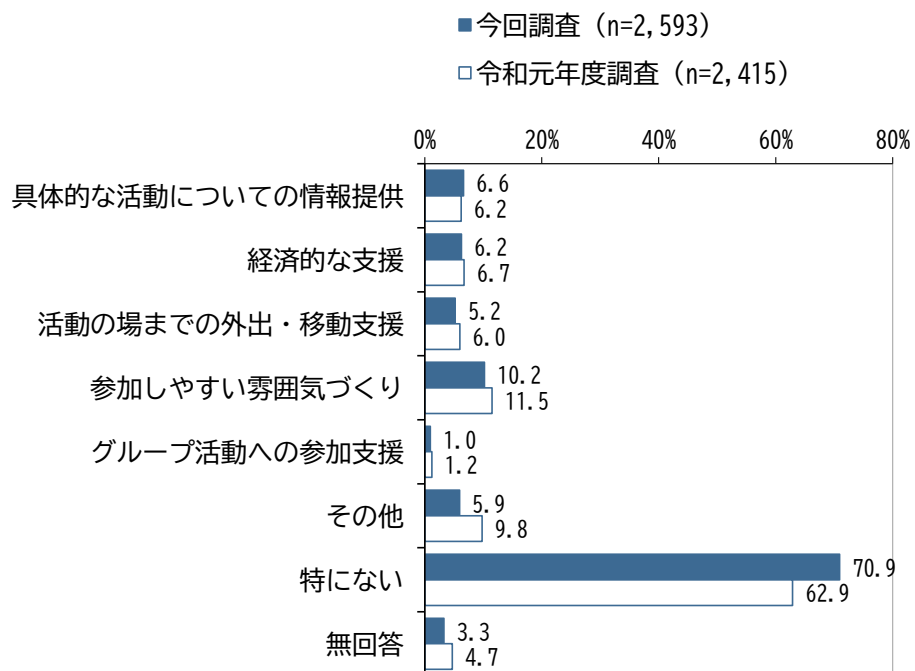
問5-3で「参加したくない」と答えた人のみ、お答えください。

問5-3-1 どのような行政からの支援があれば活動に参加したいと思いますか。(いくつでも)

地域活動に参加するために必要な行政の支援については、「特にない」が70.9%で最も高く、次いで「参加しやすい雰囲気づくり」が10.2%、「具体的な活動についての情報提供」が6.6%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「特にない」(70.9%)では、令和元(2019)年度調査(62.9%)より8.0ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-6-17 参加者として地域活動に参加するために必要な行政の支援



性別でみると、男性・女性いずれも「特にない」の割合が最も高く、次いで「参加しやすい雰囲気づくり」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「特にない」の割合が最も高く、84歳以下では次いで「参加しやすい雰囲気づくり」の割合が高く、85歳以上では次いで「活動の場までの外出・移動支援」の割合が高くなっています。

認定状況別でみると、「活動の場までの外出・移動支援」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が19.2%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、「活動の場までの外出・移動支援」では、志紀中学校区が9.1%で最も高くなっています。

図表 2-6-18 参加者として地域活動に参加するために必要な行政の支援 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	具体的な活動についての情報提供	経済的な支援	活動の場までの外出・移動支援	参加しやすい雰囲気づくり	グループ活動への参加支援	その他	特にない	無回答	
全体		2,593	6.6	6.2	5.2	10.2	1.0	5.9	70.9	3.3	
性別	男性	1,379	7.4	6.9	4.1	8.8	0.9	5.2	73.2	2.5	
	女性	1,177	5.8	5.5	6.5	11.8	0.9	6.9	68.2	4.2	
年齢別	65～69歳	502	10.4	9.0	3.0	12.5	0.4	6.2	68.3	2.0	
	70～74歳	732	7.4	6.7	3.3	10.4	1.0	6.0	72.5	2.0	
	75～79歳	603	5.3	5.3	4.8	9.3	0.8	6.3	71.3	4.6	
	80～84歳	442	5.4	5.7	7.9	9.0	0.7	4.8	70.1	4.8	
	85歳以上	280	2.9	3.2	10.0	8.9	1.8	6.4	71.4	3.9	
認定状況別	一般高齢者	2,339	7.0	6.5	4.0	10.1	0.9	5.8	72.0	3.1	
	要支援1	149	4.7	2.7	14.8	8.7	0.7	6.7	65.1	4.7	
	要支援2	104	1.0	4.8	19.2	14.4	1.9	8.7	56.7	5.8	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	186	8.1	7.0	4.8	10.2	1.6	7.0	68.3	2.2
		桂中学校区	80	2.5	8.8	2.5	11.3	1.3	2.5	73.8	5.0
		上之島中学校区	206	7.3	5.3	5.3	10.2	2.4	5.8	71.8	1.5
	第2圏域	久宝寺中学校区	167	6.6	5.4	3.0	8.4	1.2	6.0	77.2	3.0
		龍華中学校区	203	4.9	3.9	5.9	10.3	0.0	6.9	73.4	2.5
		亀井中学校区	115	11.3	9.6	6.1	14.8	0.0	9.6	61.7	4.3
	第3圏域	大正中学校区	136	5.1	6.6	7.4	9.6	1.5	4.4	73.5	2.9
		志紀中学校区	154	7.1	9.1	9.1	13.0	0.0	5.8	65.6	4.5
		曙川南中学校区	250	9.6	5.2	5.6	10.8	1.6	7.2	66.8	4.0
	第4圏域	成法中学校区	281	7.1	6.8	2.1	8.9	0.4	5.0	73.0	2.8
		曙川中学校区	165	3.0	6.1	6.1	8.5	1.2	8.5	73.3	1.2
		高美中学校区	155	5.8	1.9	3.2	7.7	0.6	5.8	74.8	3.9
	第5圏域	高安小中学校区	103	1.9	7.8	4.9	10.7	1.0	3.9	71.8	3.9
		南高安中学校区	125	8.0	4.8	6.4	12.0	1.6	4.8	70.4	4.0
		東中学校区	135	8.1	7.4	8.9	10.4	0.0	2.2	70.4	3.7

※網掛け■は最も割合が高いもの

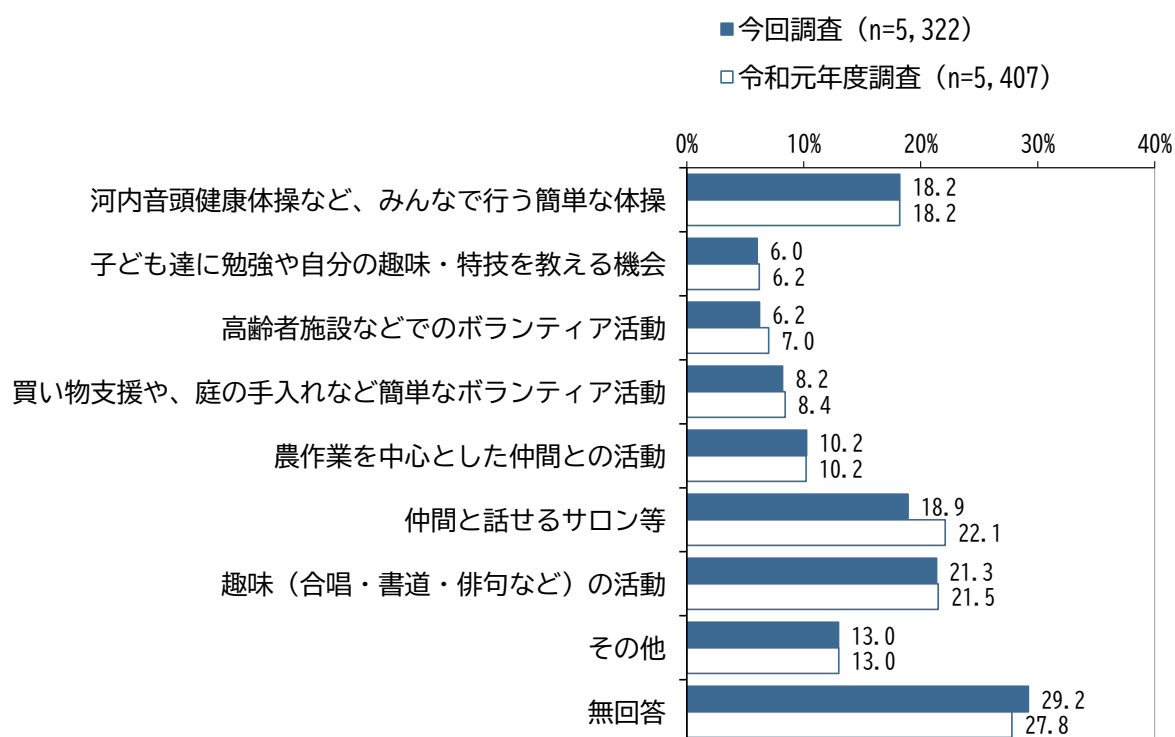
(5) 地域にあれば良いと思うグループ活動

問5-4 健康づくりや趣味等のグループ活動として、地域の中にあると良いと思うものはなんですか。(いくつでも)

地域にあれば良いと思うグループ活動については、「趣味（合唱・書道・俳句など）の活動」が21.3%で最も高く、次いで「仲間と話せるサロン等」が18.9%、「河内音頭健康体操など、みんなで行う簡単な体操」が18.2%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「仲間と話せるサロン等」（18.9%）では、令和元（2019）年度調査（22.1%）より3.2ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

図表 2-6-19 地域にあれば良いと思うグループ活動



性別でみると、男性・女性いずれも「趣味（合唱・書道・俳句など）の活動」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、74歳以下では「趣味（合唱・書道・俳句など）の活動」の割合が最も高く、75歳以上では「仲間と話せるサロン等」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、「仲間と話せるサロン等」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が26.3%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、上之島中学校区、志紀中学校区では「河内音頭健康体操など、みんなでやる簡単な体操」の割合が最も高く、桂中学校区では「仲間と話せるサロン等」の割合が最も高く、それ以外の中学校区では「趣味（合唱・書道・俳句など）の活動」の割合が最も高くなっています。

図表 2-6-20 地域にあれば良いと思うグループ活動 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	河内音頭健康体操など、みんなでやる簡単な体操	子ども達に勉強や自分の趣味・特技を教える機会	高齢者施設などでのボランティア活動	買い物支援や、庭の手入れなど簡単なボランティア活動	農作業を中心とした仲間との活動	仲間と話せるサロン等	趣味（合唱・書道・俳句など）の活動	その他	無回答	
全体		5,322	18.2	6.0	6.2	8.2	10.2	18.9	21.3	13.0	29.2	
性別	男性	2,616	12.0	7.4	6.0	7.8	15.1	15.6	17.6	16.3	28.0	
	女性	2,625	24.5	4.7	6.6	8.6	5.3	22.4	25.4	9.6	29.9	
年齢別	65～69歳	1,035	17.9	11.5	7.0	10.5	12.0	17.1	30.6	13.0	19.7	
	70～74歳	1,488	19.2	7.4	7.0	9.7	10.0	16.7	22.1	14.0	27.9	
	75～79歳	1,272	19.2	3.4	5.6	6.1	10.4	20.3	18.4	11.7	31.4	
	80～84歳	947	19.4	3.3	6.1	6.3	9.3	22.0	18.7	12.5	32.6	
	85歳以上	510	12.0	3.1	4.7	7.5	8.8	20.4	13.7	13.5	38.4	
状況別	一般高齢者	4,883	18.4	6.3	6.3	8.2	10.7	18.6	22.0	12.9	28.6	
	要支援1	271	18.5	2.6	4.1	7.0	5.9	20.3	14.8	13.3	36.9	
	要支援2	167	13.2	2.4	6.6	10.8	4.2	26.3	14.4	13.8	34.7	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	18.9	5.0	5.8	7.9	10.8	18.7	20.5	13.2	28.9
		桂中学校区	157	14.0	2.5	2.5	7.6	15.3	22.9	15.3	14.0	26.1
		上之島中学校区	424	20.0	8.3	6.1	6.1	10.8	19.1	19.8	11.6	30.2
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	14.3	4.8	6.3	8.6	8.0	16.4	20.2	14.3	33.6
		龍華中学校区	440	18.6	5.2	6.4	8.4	10.7	16.4	19.5	14.1	29.3
		亀井中学校区	222	17.1	7.2	5.9	7.2	11.3	18.5	23.9	14.9	27.9
	第3圏域	大正中学校区	297	15.8	6.7	6.7	10.8	8.1	23.9	25.9	12.1	23.6
		志紀中学校区	304	21.1	5.3	7.6	7.6	14.1	19.7	19.1	10.9	29.6
		曙川南中学校区	492	17.9	5.5	6.3	7.5	10.8	18.3	22.6	12.8	30.5
	第4圏域	成法中学校区	576	18.4	6.4	7.8	8.7	8.7	20.0	21.5	13.7	26.2
		曙川中学校区	358	19.0	7.0	7.5	8.9	6.4	20.4	24.6	13.7	26.0
		高美中学校区	292	18.2	5.5	5.5	7.5	10.3	18.8	20.5	11.3	30.5
	第5圏域	高安小中学校区	210	21.0	5.2	5.7	6.7	11.4	16.2	21.4	15.2	32.4
南高安中学校区		299	22.1	9.0	5.7	12.4	14.4	21.4	23.4	9.7	26.4	
東中学校区		294	19.0	5.4	6.5	9.5	6.8	17.7	25.5	11.9	32.3	

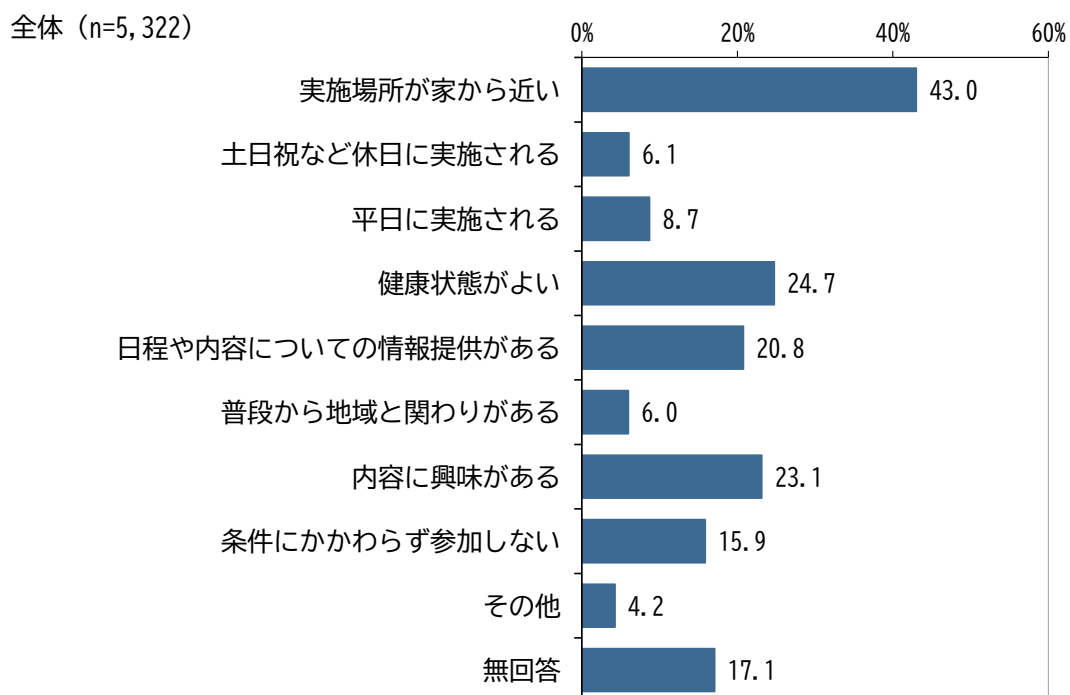
※網掛け■は最も割合が高いもの

(6) 地域活動へ参加するために必要な条件

問5-5 参加するためには、どのような条件が必要ですか。(いくつでも)

地域活動へ参加するために必要な条件については、「実施場所が家から近い」が43.0%で最も高く、次いで「健康状態がよい」が24.7%、「内容に興味がある」が23.1%と続いています。

図表 2-6-21 地域活動へ参加するために必要な条件



性別でみると、男性・女性いずれも「実施場所が家から近い」の割合が最も高く、次いで「健康状態がよい」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「実施場所が家から近い」の割合が最も高くなっており、65～69歳では次いで「内容に興味がある」の割合が高く、70～84歳では次いで「健康状態がよい」の割合が高く、85歳以上では次いで「健康状態がよい」、「条件にかかわらず参加しない」が同率で高くなっています。

認定状況別でみると、「条件にかかわらず参加しない」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が21.0%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、「普段から地域と関わりがある」では、南高安中学校区が8.0%で最も高くなっています。

図表 2-6-22 地域活動へ参加するために必要な条件 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	実施場所が家から近い	土日祝など休日に実施される	平日に実施される	健康状態がよい	日程や内容についての情報提供がある	普段から地域と関わりがある	内容に興味がある	条件にかかわらず参加しない	その他	無回答	
全体		5,322	43.0	6.1	8.7	24.7	20.8	6.0	23.1	15.9	4.2	17.1	
性別	男性	2,616	36.2	8.0	6.9	22.8	18.7	6.2	22.1	18.0	5.3	15.8	
	女性	2,625	50.3	4.1	10.5	26.8	22.9	5.8	24.5	13.6	3.1	18.0	
年齢別	65～69歳	1,035	47.1	8.8	10.3	25.9	28.8	5.5	34.0	13.2	4.8	10.8	
	70～74歳	1,488	43.3	6.9	9.3	26.1	23.2	6.5	24.7	17.1	4.4	13.8	
	75～79歳	1,272	41.6	5.3	8.4	23.2	17.4	4.8	20.0	15.4	3.7	20.0	
	80～84歳	947	44.7	4.4	8.2	26.0	17.5	6.7	19.1	14.5	4.1	20.8	
	85歳以上	510	36.5	2.9	5.1	20.4	12.4	7.6	13.3	20.4	3.9	24.1	
認定状況別	一般高齢者	4,883	43.8	6.4	8.9	24.9	21.5	6.0	24.0	15.6	4.1	16.4	
	要支援1	271	37.3	2.2	5.9	25.1	15.5	5.5	12.9	17.7	5.2	24.4	
	要支援2	167	29.9	2.4	8.4	20.4	9.0	6.0	13.8	21.0	6.0	24.6	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	45.8	5.3	10.3	26.8	24.7	4.7	23.9	13.7	4.2	17.9
		桂中学校区	157	40.1	5.1	3.8	18.5	12.7	6.4	16.6	15.9	2.5	19.1
		上之島中学校区	424	41.0	6.6	9.7	23.3	21.0	7.5	21.7	13.7	5.0	18.4
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	36.6	6.8	7.1	20.2	22.6	7.1	24.7	16.4	3.0	20.5
		龍華中学校区	440	42.3	8.2	8.2	24.5	19.5	5.9	22.0	15.9	4.3	17.0
		亀井中学校区	222	47.7	5.4	7.2	31.5	19.4	4.1	24.8	16.2	4.5	14.9
	第3圏域	大正中学校区	297	49.5	9.4	10.4	23.9	21.9	7.7	23.9	16.2	2.7	11.4
		志紀中学校区	304	43.1	6.3	7.6	23.4	17.1	5.3	19.7	17.4	3.0	19.1
		曙川南中学校区	492	43.7	6.1	8.5	25.8	22.2	5.7	24.0	16.3	4.7	16.7
	第4圏域	成法中学校区	576	44.3	5.9	10.8	23.6	20.1	6.6	23.6	16.0	5.2	16.5
		曙川中学校区	358	45.8	5.3	7.0	28.8	25.1	5.3	27.7	17.3	4.5	11.7
		高美中学校区	292	41.1	5.8	8.9	25.7	17.8	4.8	21.2	16.8	4.1	19.2
	第5圏域	高安小中学校区	210	41.4	3.3	8.6	28.6	18.6	7.1	20.0	16.2	5.2	18.6
南高安中学校区		299	45.8	5.4	12.4	28.4	25.1	8.0	31.1	13.0	3.3	14.7	
東中学校区		294	44.9	2.7	8.5	23.8	22.8	6.8	23.1	17.3	3.1	16.7	

※網掛け■は最も割合が高いもの

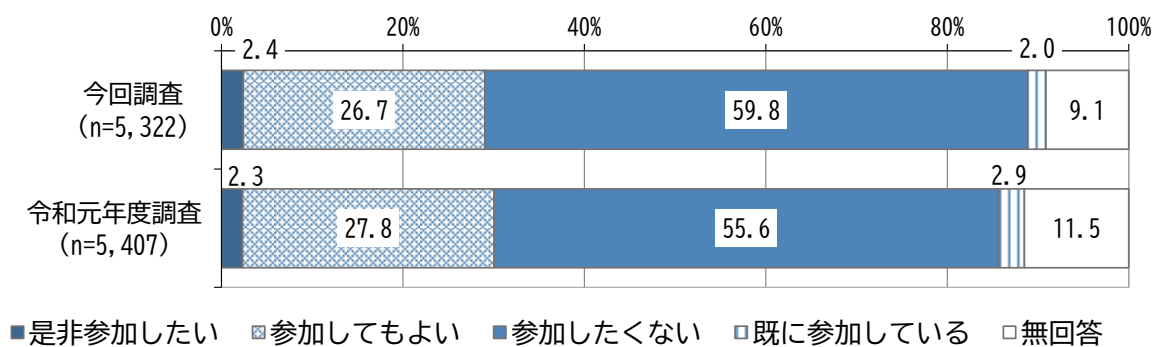
(7) 企画・運営としての地域活動への参加意向

問5-6 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ）

企画・運営としての地域活動への参加意向については、「参加したくない」が59.8%で最も高く、次いで「参加してもよい」が26.7%、「是非参加したい」が2.4%と続いています。

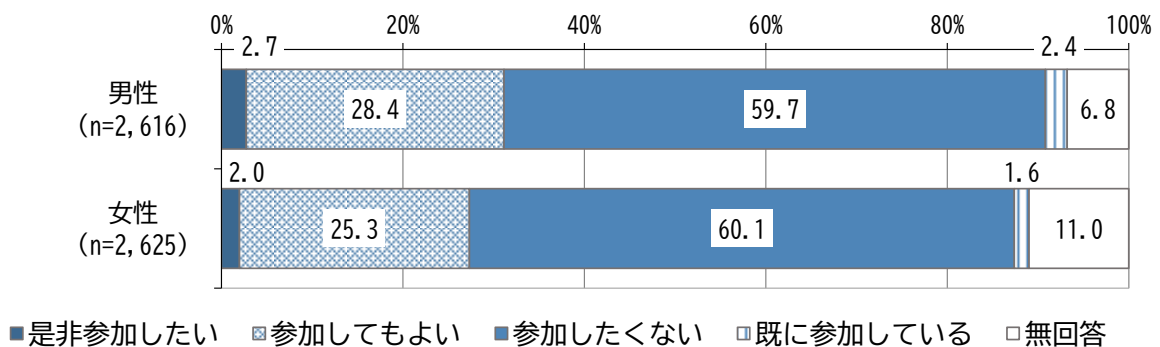
令和元（2019）年度調査と比較すると、「参加したくない」（59.8%）では、令和元（2019）年度調査（55.6%）より4.2ポイント増加しています。

図表 2-6-23 企画・運営としての地域活動への参加意向



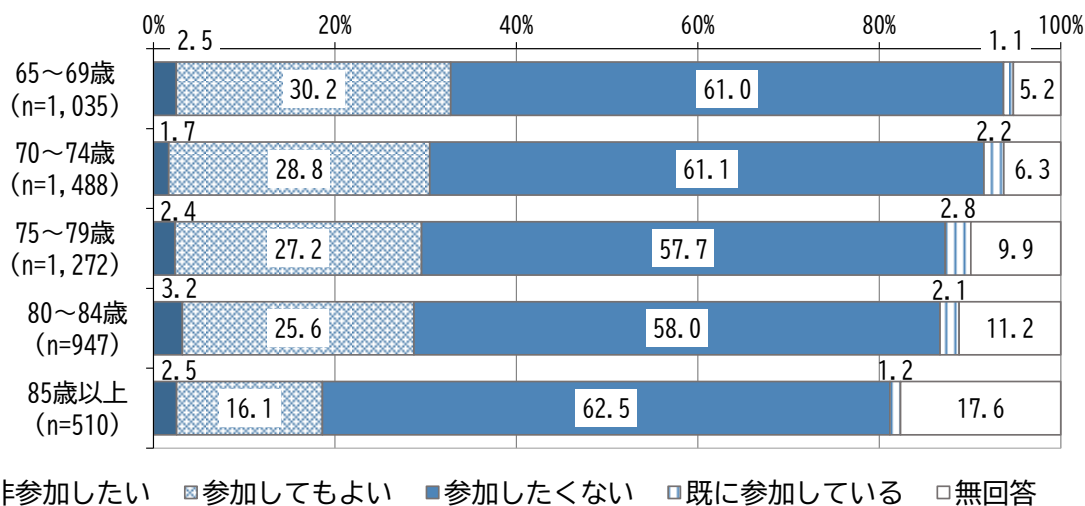
性別でみると、『参加意向がある』では、男性が33.5%で、女性（28.9%）より4.6ポイント高くなっています。

図表 2-6-24 企画・運営としての地域活動への参加意向 性別



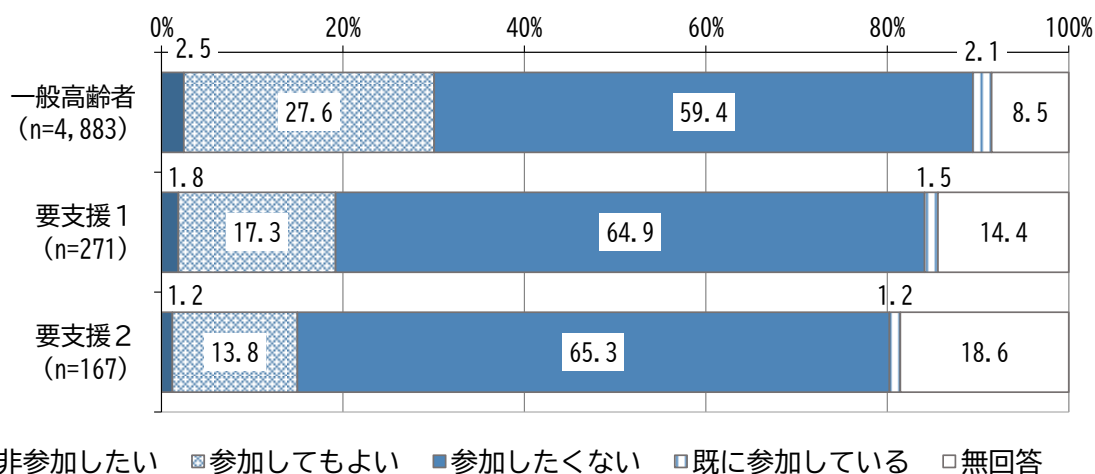
年齢別でみると、『参加意向がある』では、65～69歳が33.8%で最も高く、「参加したくない」では、85歳以上が62.5%で最も高くなっています。

図表 2-6-25 企画・運営としての地域活動への参加意向 年齢別



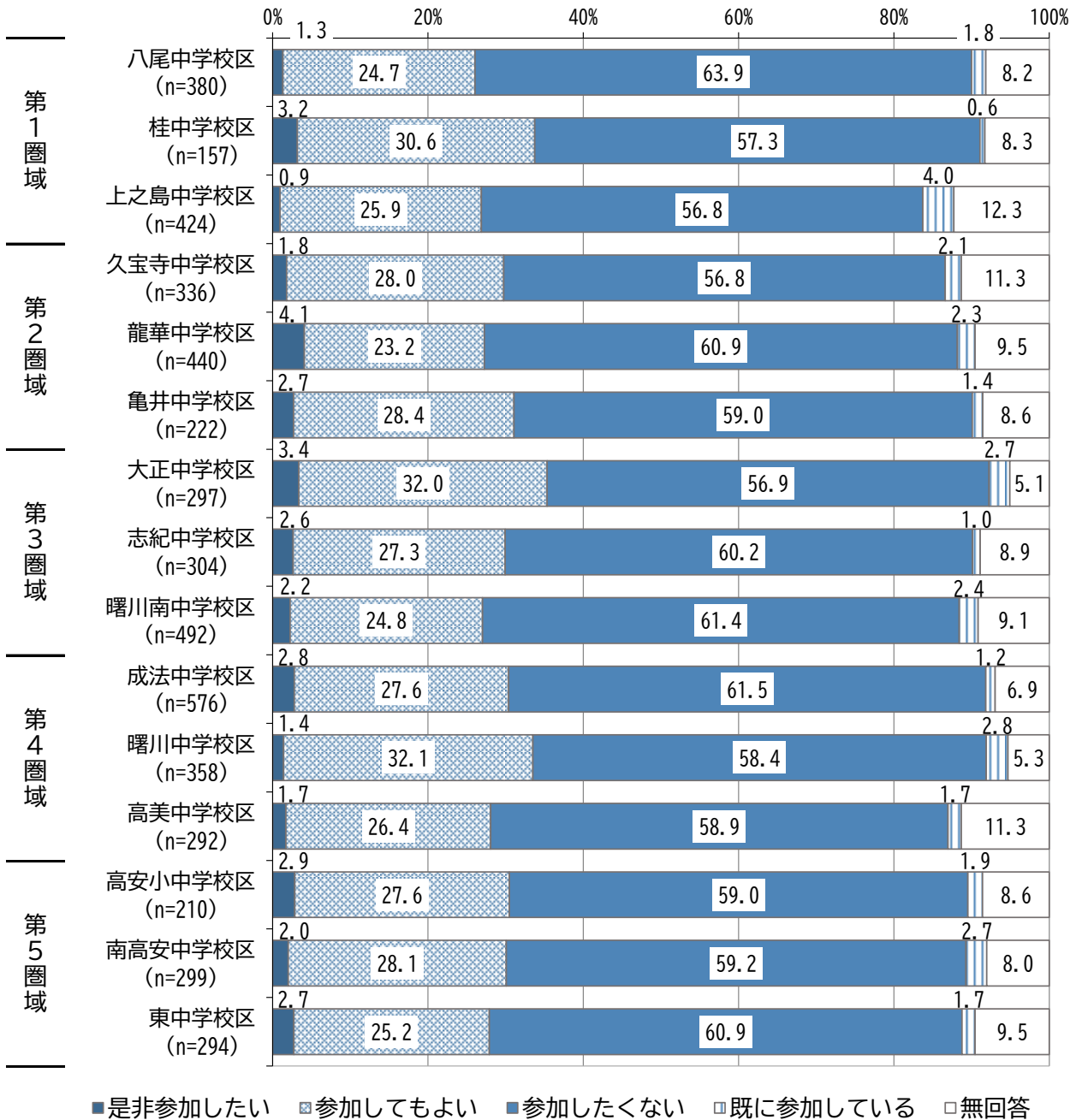
認定状況別でみると、「参加したくない」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が65.3%で最も高くなっています。

図表 2-6-26 企画・運営としての地域活動への参加意向 認定状況別



中学校区別でみると、『参加意向がある』では、大正中学校区が38.1%で最も高く、「参加したくない」では、八尾中学校区が63.9%で最も高くなっています。

図表 2-6-27 企画・運営としての地域活動への参加意向 中学校区別



(8) 企画・運営として地域活動に参加するために必要な行政の支援

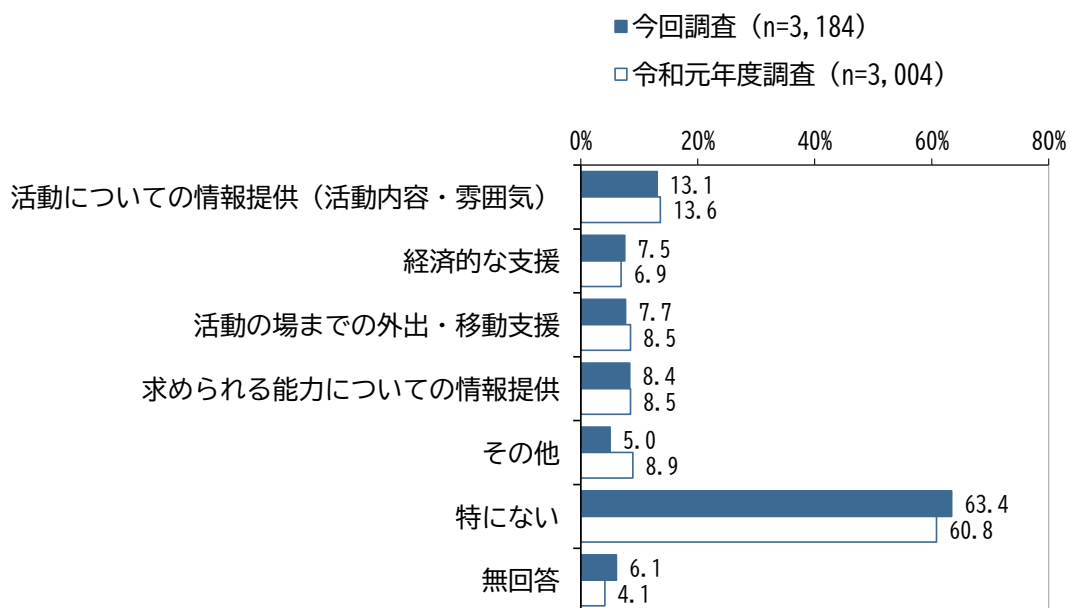
問5-6で「参加したくない」と答えた人のみ、お答えください。

問5-6-1 どのような行政からの支援があれば活動に参加したいと思いますか。(いくつでも)

企画・運営として地域活動に参加するために必要な行政の支援については、「特にない」が63.4%で最も高く、次いで「活動についての情報提供（活動内容・雰囲気）」が13.1%、「求められる能力についての情報提供」が8.4%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「その他」（5.0%）では、令和元（2019）年度調査（8.9%）より3.9ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

図表 2-6-28 企画・運営として地域活動に参加するために必要な行政の支援



性別でみると、男性・女性いずれも「特にない」の割合が最も高く、次いで「活動についての情報提供（活動内容・雰囲気）」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「特にない」の割合が最も高く、79歳以下では次いで「活動についての情報提供（活動内容・雰囲気）」の割合が高く、80歳以上では次いで「活動の場までの外出・移動支援」の割合が高くなっています。

認定状況別でみると、「活動の場までの外出・移動支援」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が24.8%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、「活動の場までの外出・移動支援」では、東中学校区が11.2%で最も高くなっています。

図表 2-6-29 企画・運営として地域活動に参加するために必要な行政の支援 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	活動についての情報提供（活動内容・雰囲気）	経済的な支援	活動の場までの外出・移動支援	求められる情報提供能力について	その他	特にない	無回答	
全体		3,184	13.1	7.5	7.7	8.4	5.0	63.4	6.1	
性別	男性	1,561	11.9	8.9	5.3	8.1	4.5	66.6	4.5	
	女性	1,577	14.3	6.1	9.9	8.8	5.6	60.4	7.4	
年齢別	65～69歳	631	16.3	10.1	3.6	11.1	4.8	62.1	5.2	
	70～74歳	909	14.5	8.6	6.2	10.1	5.1	64.1	4.7	
	75～79歳	734	13.1	6.0	7.4	6.3	5.3	64.7	5.7	
	80～84歳	549	11.1	6.2	11.8	7.1	4.7	60.3	9.1	
	85歳以上	319	6.0	4.7	12.9	5.3	5.6	66.8	6.9	
認定状況別	一般高齢者	2,899	13.6	7.7	6.5	8.7	5.0	64.2	5.6	
	要支援1	176	4.5	7.4	17.0	4.5	4.5	59.1	9.7	
	要支援2	109	12.8	2.8	24.8	6.4	5.5	48.6	13.8	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	243	14.4	7.8	6.2	12.3	4.9	61.3	7.0
		桂中学校区	90	14.4	8.9	4.4	4.4	1.1	68.9	3.3
		上之島中学校区	241	14.9	8.7	7.5	9.5	5.0	63.5	5.8
	第2圏域	久宝寺中学校区	191	15.2	8.4	3.1	6.3	6.3	65.4	5.8
		龍華中学校区	268	13.1	5.6	9.7	8.6	6.3	62.7	5.6
		亀井中学校区	131	10.7	6.1	6.9	8.4	6.1	70.2	4.6
	第3圏域	大正中学校区	169	10.7	6.5	8.3	7.7	2.4	65.7	6.5
		志紀中学校区	183	12.6	7.1	7.1	9.3	3.3	65.0	6.6
		曙川南中学校区	302	14.9	7.6	8.3	8.3	5.6	59.3	6.0
	第4圏域	成法中学校区	354	11.6	8.8	7.6	7.1	3.7	63.6	7.1
		曙川中学校区	209	11.5	7.7	9.1	7.7	4.8	65.1	4.8
		高美中学校区	172	11.6	5.8	5.8	7.6	5.2	69.2	3.5
	第5圏域	高安小中学校区	124	8.1	8.1	8.1	6.5	4.8	62.9	8.1
		南高安中学校区	177	16.9	6.2	9.0	9.6	7.9	55.9	7.3
		東中学校区	179	13.4	7.3	11.2	8.4	5.0	63.1	6.1

※網掛け■は最も割合が高いもの

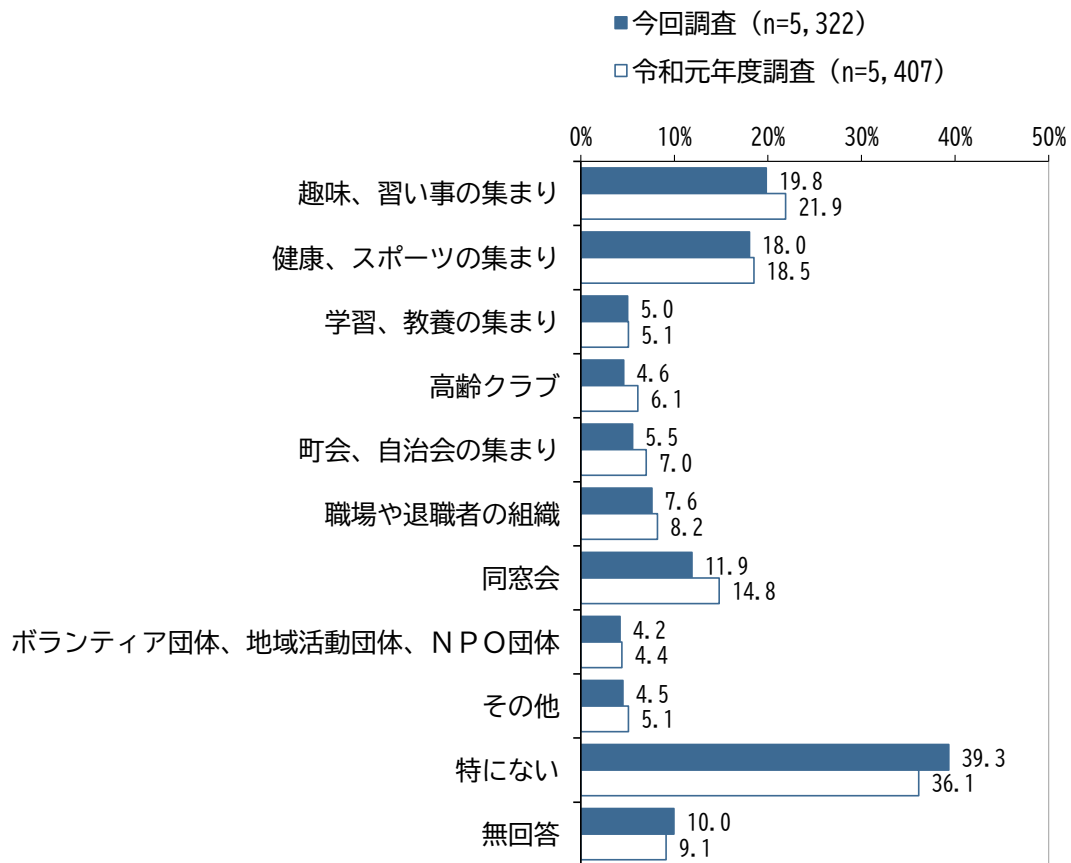
(9) 居場所を感じる事ができる集まりはあるか

問5-7 あなたが「居場所」を感じる事ができる集まりはありますか。(いくつでも)

居場所を感じる事ができる集まりはあるかについては、「特にない」が39.3%で最も高く、次いで「趣味、習い事の集まり」が19.8%、「健康、スポーツの集まり」が18.0%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「特にない」(39.3%)では、令和元(2019)年度調査(36.1%)より3.2ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-6-30 居場所を感じる事ができる集まりはあるか



性別でみると、男性・女性いずれも「特にない」の割合が最も高く、男性では次いで「健康、スポーツの集まり」の割合が高く、女性では次いで「趣味、習い事の集まり」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「特にない」の割合が最も高く、65～69歳では次いで「健康、スポーツの集まり」の割合が高く、70歳以上では次いで「趣味、習い事の集まり」の割合が高くなっています。

認定状況別でみると、全ての認定状況で「特にない」の割合が最も高く、一般高齢者、要支援1では次いで「趣味、習い事の集まり」の割合が高く、要支援2では次いで「健康、スポーツの集まり」の割合が高くなっています。

中学校区別でみると、「趣味、習い事の集まり」、「健康、スポーツの集まり」では、いずれも曙川中学校区の割合が最も高くなっています。

図表 2-6-31 居場所を感じる事ができる集まりはあるか 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	趣味、 習い事の 集まり	健康、 スポーツの 集まり	学習、 教養の 集まり	高齢 クラブ	町会、 自治会の 集まり	職場 や退職者 の組織	同窓 会	地域 活動 団体、 NPO 団体	ボラン ティア 団体、 P O 団地	その他	特にな い	無回 答
全体		5,322	19.8	18.0	5.0	4.6	5.5	7.6	11.9	4.2	4.5	39.3	10.0	
性別	男性	2,616	13.4	17.7	4.3	5.2	7.0	10.2	14.1	4.6	3.6	42.6	8.0	
	女性	2,625	26.6	18.6	5.8	4.0	3.9	5.1	9.6	3.8	5.5	36.3	11.2	
年齢別	65～69歳	1,035	19.4	20.5	6.6	0.8	3.3	13.4	13.1	4.8	5.7	36.7	7.4	
	70～74歳	1,488	21.4	19.2	5.0	1.8	5.1	9.0	10.7	5.5	4.0	41.7	8.2	
	75～79歳	1,272	21.9	19.6	4.7	5.4	6.7	6.4	12.6	3.5	3.9	37.1	9.5	
	80～84歳	947	19.1	16.6	4.8	9.6	6.0	3.8	13.1	3.9	4.5	38.5	12.1	
	85歳以上	510	13.5	9.0	3.5	8.8	7.6	2.2	8.6	2.0	5.3	45.1	14.9	
認定 状況別	一般高齢者	4,883	20.5	18.6	5.2	4.3	5.6	8.1	12.1	4.3	4.3	39.1	9.4	
	要支援1	271	15.9	12.2	3.0	8.9	6.3	2.6	8.5	4.1	6.3	42.1	15.5	
	要支援2	167	7.8	9.6	3.6	7.2	2.4	0.6	9.0	1.2	7.8	42.5	18.0	
中学校 区別	第1 圏域	八尾中学校区	380	19.2	15.3	5.8	5.8	3.7	8.2	10.3	5.0	3.4	38.7	11.6
		桂中学校区	157	10.8	12.7	4.5	3.8	9.6	3.8	8.9	3.2	2.5	52.9	8.3
		上之島中学校区	424	20.0	18.6	3.8	4.2	7.8	6.6	10.4	5.2	5.2	36.1	11.1
	第2 圏域	久宝寺中学校区	336	20.2	18.5	4.2	3.0	7.1	7.4	10.1	3.9	4.5	41.1	11.9
		龍華中学校区	440	23.0	15.7	5.7	5.7	6.1	8.0	11.6	2.7	4.3	35.0	11.4
	第3 圏域	亀井中学校区	222	23.0	16.2	3.2	6.8	4.1	10.4	14.0	3.6	5.9	40.1	7.2
		大正中学校区	297	20.2	18.9	5.4	8.1	10.8	9.4	15.2	4.7	5.1	38.7	4.4
		志紀中学校区	304	16.4	20.1	3.9	2.3	4.6	5.9	10.9	2.6	3.0	45.1	9.2
	第4 圏域	曙川南中学校区	492	18.3	19.7	3.0	4.9	3.7	7.5	11.4	5.3	5.7	38.0	10.6
		成法中学校区	576	17.7	16.0	4.9	6.1	5.6	8.3	10.9	3.8	5.6	41.8	8.9
		曙川中学校区	358	24.0	24.6	6.7	2.5	2.2	8.1	15.4	7.0	5.6	36.9	6.4
		高美中学校区	292	19.2	19.2	6.5	1.7	4.1	6.2	9.6	4.1	2.7	44.5	8.9
		第5 圏域	高安小中学校区	210	21.9	17.1	8.1	3.8	11.0	5.7	15.7	4.8	5.7	34.3
南高安中学校区	299		23.1	19.4	5.0	6.0	5.0	9.7	15.4	3.3	5.7	31.8	10.0	
東中学校区	294		22.8	19.7	7.5	5.1	4.1	7.1	13.3	5.1	2.4	39.5	9.5	

※網掛け■は最も割合が高いもの

7 日常生活における不安や相談について

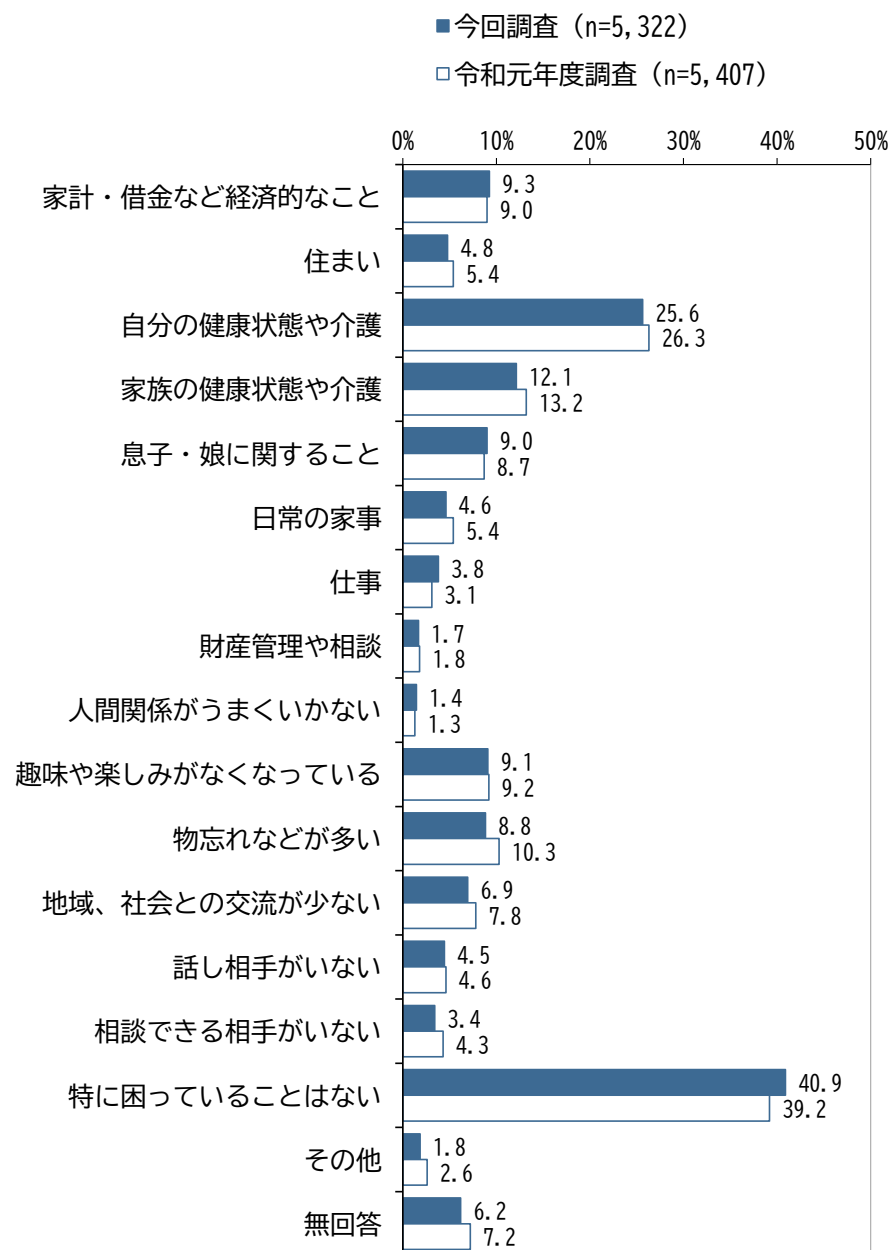
(1) 日常生活での困りごと・悩みはあるか

問6-1 あなたは、日常生活を送るうえで、困っていることや悩み（不安）はありますか。
（いくつでも）

日常生活での困りごと・悩みはあるかについては、「特に困っていることはない」が40.9%で最も高く、次いで「自分の健康状態や介護」が25.6%、「家族の健康状態や介護」が12.1%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-7-1 日常生活での困りごと・悩みはあるか



性別でみると、男性・女性いずれも「特に困っていることはない」の割合が最も高く、次いで「自分の健康状態や介護」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、84歳以下では「特に困っていることはない」の割合が最も高く、85歳以上では「自分の健康状態や介護」の割合が最も高くなっています。

認定状況でみると、一般高齢者では「特に困っていることはない」の割合が最も高く、要支援1、要支援2では「自分の健康状態や介護」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「地域、社会との交流が少ない」では、大正中学校区が9.4%で最も高くなっています。

図表 2-7-2 日常生活での困りこと・悩みはあるか 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	な 家 計 ・ 借 金 な ど 経 済 的 な こ と	住 ま い	自 分 の 健 康 状 態 や 介 護	家 族 の 健 康 状 態 や 介 護	息 子 ・ 娘 に 関 す る こ と	日 常 の 家 事	仕 事	財 産 管 理 や 相 談	な い 人 間 関 係 が う ま く い か	な 趣 味 や 楽 し み が な く	
全体		5,322	9.3	4.8	25.6	12.1	9.0	4.6	3.8	1.7	1.4	9.1	
性別	男性	2,616	11.1	5.1	26.4	13.3	9.1	4.7	5.8	2.1	1.6	9.6	
	女性	2,625	7.4	4.5	25.2	11.3	9.0	4.5	1.8	1.3	1.3	8.7	
年齢別	65～69歳	1,035	15.5	7.1	23.8	13.5	11.7	3.0	9.3	3.0	1.8	6.1	
	70～74歳	1,488	9.5	5.3	23.9	11.4	11.0	3.0	4.4	1.2	1.3	7.9	
	75～79歳	1,272	7.5	3.4	23.4	11.9	8.2	3.8	2.0	1.1	1.3	8.8	
	80～84歳	947	7.1	3.9	28.9	12.6	7.1	7.4	1.2	2.0	1.2	13.1	
	85歳以上	510	4.5	3.7	35.5	12.4	4.1	9.0	0.4	1.2	2.0	12.4	
状況別 認定	一般高齢者	4,883	9.4	4.7	23.4	11.9	9.2	3.9	4.1	1.6	1.4	8.4	
	要支援1	271	7.0	7.0	51.3	16.6	8.5	8.9	1.1	2.6	1.8	17.0	
	要支援2	167	8.4	3.6	49.7	12.0	4.2	18.0	0.0	1.2	1.2	15.6	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	10.8	5.5	28.9	14.7	10.3	5.5	4.2	1.6	1.6	10.8
		桂中学校区	157	15.3	7.0	31.2	10.8	8.3	6.4	7.0	2.5	1.9	12.7
	第2圏域	上之島中学校区	424	8.5	4.7	23.1	14.9	9.0	5.2	3.3	1.4	1.4	9.2
		久宝寺中学校区	336	10.7	4.5	28.6	10.1	11.0	2.1	2.4	0.6	0.9	8.9
		龍華中学校区	440	7.5	3.9	26.1	10.5	8.2	4.8	3.9	2.3	1.4	9.1
	第3圏域	亀井中学校区	222	7.7	5.0	28.4	17.1	9.0	4.5	3.2	1.8	2.3	9.9
		大正中学校区	297	9.4	6.1	23.6	10.8	7.1	6.1	5.1	2.0	1.3	9.4
		志紀中学校区	304	10.9	7.2	24.3	10.5	9.2	3.0	3.9	0.7	0.7	11.8
	第4圏域	曙川南中学校区	492	6.5	3.0	26.6	11.8	9.3	3.3	2.6	1.4	2.0	8.7
		成法中学校区	576	9.5	4.5	26.0	12.3	10.2	4.5	5.6	2.4	1.0	8.0
		曙川中学校区	358	8.4	7.8	27.4	12.3	10.9	8.1	2.2	1.4	2.0	6.7
	第5圏域	高美中学校区	292	7.9	2.7	23.6	11.3	7.9	3.1	5.1	0.3	1.4	8.2
		高安小中学校区	210	9.5	4.3	21.4	9.0	6.2	5.2	3.3	3.8	0.0	7.6
		南高安中学校区	299	8.0	4.7	23.4	13.4	12.4	3.7	3.7	1.7	1.3	8.0
		東中学校区	294	11.2	4.8	25.5	14.3	5.4	5.1	2.0	2.7	1.4	10.2

		合計	物忘れなどが多い	地域、社会との交流が少ない	話し相手がない	相談できる相手がない	特に困っていることはない	その他	無回答	
全体		5,322	8.8	6.9	4.5	3.4	40.9	1.8	6.2	
性別	男性	2,616	10.3	7.8	5.5	4.2	38.4	1.6	5.1	
	女性	2,625	7.4	6.1	3.4	2.5	43.4	2.1	6.9	
年齢別	65～69歳	1,035	4.6	4.3	3.6	3.0	42.8	1.7	4.1	
	70～74歳	1,488	6.2	6.2	3.6	3.0	45.0	2.4	5.1	
	75～79歳	1,272	9.9	6.9	4.6	2.5	42.2	1.6	7.1	
	80～84歳	947	11.6	10.0	5.0	4.2	35.3	2.0	7.2	
	85歳以上	510	17.5	9.0	7.1	5.7	32.7	0.8	7.8	
状況別 認定	一般高齢者	4,883	8.1	6.7	3.9	3.1	42.8	1.9	6.0	
	要支援1	271	15.9	11.4	10.3	7.4	17.7	1.5	8.9	
	要支援2	167	19.2	7.2	10.2	7.2	22.8	1.2	6.6	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	9.5	8.9	6.1	3.9	37.1	1.8	4.5
		桂中学校区	157	11.5	5.7	3.8	3.2	35.7	0.6	5.7
		上之島中学校区	424	10.1	5.7	3.1	3.8	41.7	1.9	7.5
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	8.9	6.3	4.2	2.4	38.7	2.1	7.1
		龍華中学校区	440	10.7	6.6	4.5	4.3	41.8	1.4	6.6
		亀井中学校区	222	8.1	7.2	3.6	1.8	38.3	1.4	4.5
	第3圏域	大正中学校区	297	6.7	9.4	4.4	2.7	43.1	2.7	4.4
		志紀中学校区	304	8.2	6.6	5.6	4.6	41.8	1.6	6.9
		曙川南中学校区	492	7.5	8.1	4.9	2.6	41.5	2.0	5.3
	第4圏域	成法中学校区	576	10.1	7.3	5.6	3.8	41.1	1.2	5.7
		曙川中学校区	358	7.5	7.0	3.1	5.0	43.0	3.4	4.7
		高美中学校区	292	8.6	3.8	2.7	2.7	46.6	1.7	6.2
	第5圏域	高安小中学校区	210	6.7	8.6	3.3	3.3	45.7	2.9	6.2
南高安中学校区		299	8.7	5.0	4.3	1.7	41.8	1.7	5.4	
東中学校区		294	8.5	7.5	3.1	3.1	44.2	0.7	4.8	

※網掛け■は最も割合が高いもの

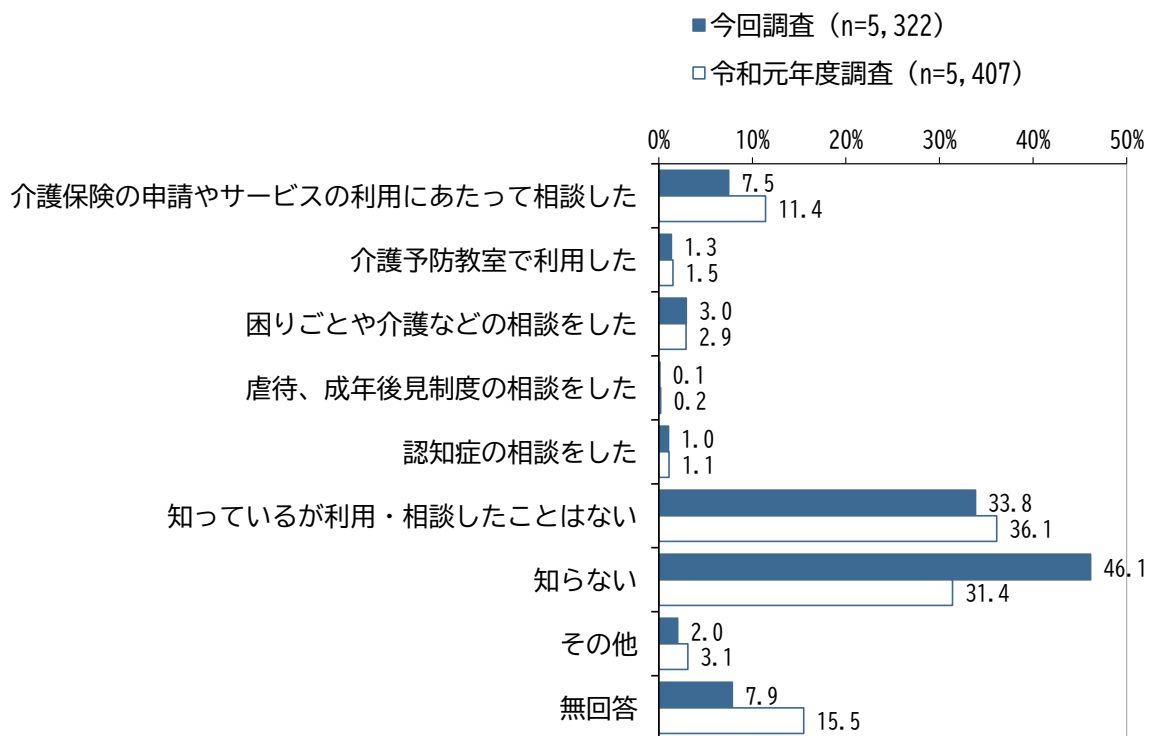
(2) 高齢者あんしんセンターの認知度と利用経験

問6-2 高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）を知っていますか。また、相談や利用をしたことがありますか。（いくつでも）

高齢者あんしんセンターの認知度と利用経験については、「知らない」が46.1%で最も高く、次いで「知っているが利用・相談したことはない」が33.8%、「介護保険の申請やサービスの利用にあたって相談した」が7.5%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「知らない」(46.1%)では、令和元(2019)年度調査(31.4%)より14.7ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-7-3 高齢者あんしんセンターの認知度と利用経験



性別でみると、「知らない」では、男性が52.8%で、女性（39.7%）より13.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「知らない」では、65～69歳が53.9%で最も高くなっています。

認定状況別でみると、一般高齢者では「知らない」の割合が最も高く、要支援1、要支援2では「介護保険の申請やサービスの利用にあたって相談した」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「知らない」では、亀井中学校区が51.8%で最も高くなっています。

図表 2-7-4 高齢者あんしんセンターの認知度と利用経験 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	介護保険の申請やサービスの利用にあたって相談した	介護予防教室で利用した	困りごとや介護などの相談をした	虐待、成年後見制度の相談をした	認知症の相談をした	知っているが利用・相談したことはない	知らない	その他	無回答	
全体		5,322	7.5	1.3	3.0	0.1	1.0	33.8	46.1	2.0	7.9	
性別	男性	2,616	5.4	1.0	2.6	0.2	1.0	31.6	52.8	1.5	6.1	
	女性	2,625	9.6	1.6	3.3	0.0	1.0	36.3	39.7	2.6	9.1	
年齢別	65～69歳	1,035	4.4	0.3	2.2	0.2	0.6	34.3	53.9	1.4	3.9	
	70～74歳	1,488	5.0	1.0	2.1	0.1	0.6	32.1	53.8	1.8	5.5	
	75～79歳	1,272	7.0	1.3	2.8	0.2	1.3	36.8	42.3	2.4	8.7	
	80～84歳	947	10.6	2.7	5.4	0.0	1.5	35.1	36.9	2.4	10.9	
	85歳以上	510	16.9	1.8	3.1	0.0	1.8	29.4	34.7	2.2	13.5	
認定状況別	一般高齢者	4,883	5.1	1.2	2.2	0.1	0.9	35.0	48.0	1.9	7.6	
	要支援1	271	34.3	2.2	12.2	0.0	2.6	19.9	26.6	2.2	10.3	
	要支援2	167	32.3	4.2	9.0	0.0	1.2	21.6	24.6	4.2	12.0	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	9.2	1.8	3.7	0.0	0.5	31.1	48.2	2.9	6.1
		桂中学校区	157	3.8	3.2	1.9	0.0	0.6	35.7	51.0	0.6	3.2
		上之島中学校区	424	8.7	2.6	3.8	0.2	1.7	33.0	43.9	2.1	8.5
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	4.2	1.5	2.4	0.0	1.2	32.4	48.2	1.8	9.5
		龍華中学校区	440	6.1	0.2	3.0	0.2	0.2	38.0	43.9	2.0	8.6
		亀井中学校区	222	8.1	0.5	2.7	0.0	0.0	27.9	51.8	2.3	8.6
	第3圏域	大正中学校区	297	4.7	1.0	2.7	0.0	1.0	39.1	47.8	0.7	5.4
		志紀中学校区	304	7.6	2.0	4.9	0.0	1.3	29.9	51.3	1.6	6.3
		曙川南中学校区	492	8.1	1.2	2.2	0.6	0.6	32.5	44.7	2.6	8.7
	第4圏域	成法中学校区	576	8.5	1.0	2.1	0.0	0.9	31.6	47.6	1.6	8.9
		曙川中学校区	358	8.9	0.6	3.1	0.0	0.6	35.5	48.3	1.7	4.2
		高美中学校区	292	8.2	0.3	3.1	0.0	2.1	37.3	43.8	0.0	8.6
	第5圏域	高安小中学校区	210	4.3	2.4	1.4	0.0	1.0	38.6	45.2	1.9	7.6
		南高安中学校区	299	9.7	1.7	4.0	0.3	2.7	34.4	41.1	3.3	6.7
		東中学校区	294	8.2	2.4	3.1	0.0	1.7	38.1	41.5	3.1	5.8

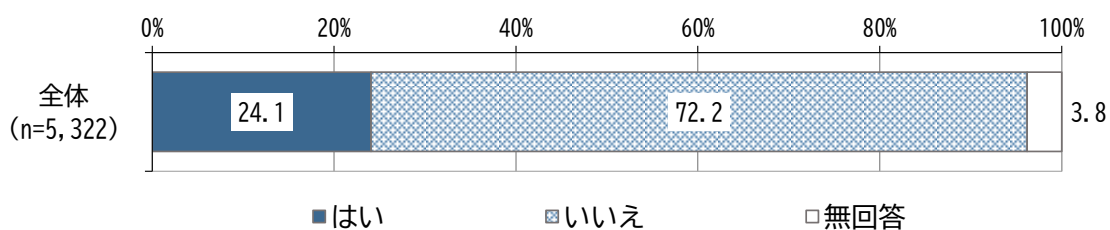
※網掛け■は最も割合が高いもの

(3) 健康上の問題で日常生活に何か影響があったか

問6-3 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。(1つだけ)

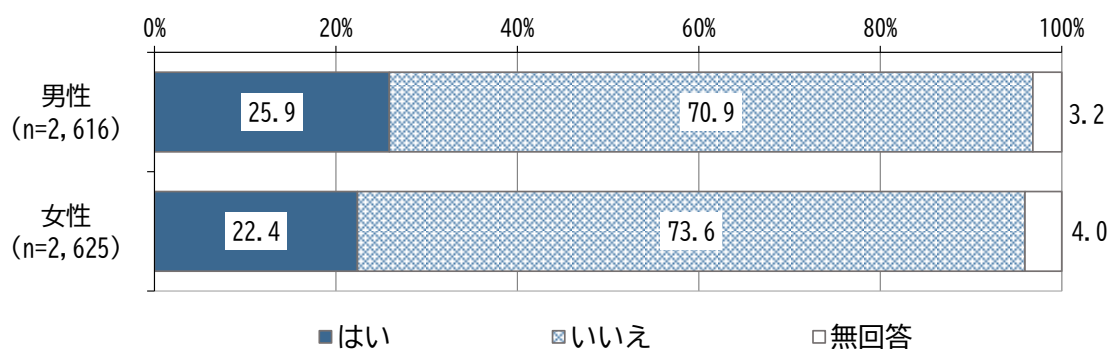
健康上の問題で日常生活に何か影響があったかについては、「はい」が24.1%、「いいえ」が72.2%となっています。

図表 2-7-5 健康上の問題で日常生活に何か影響があったか



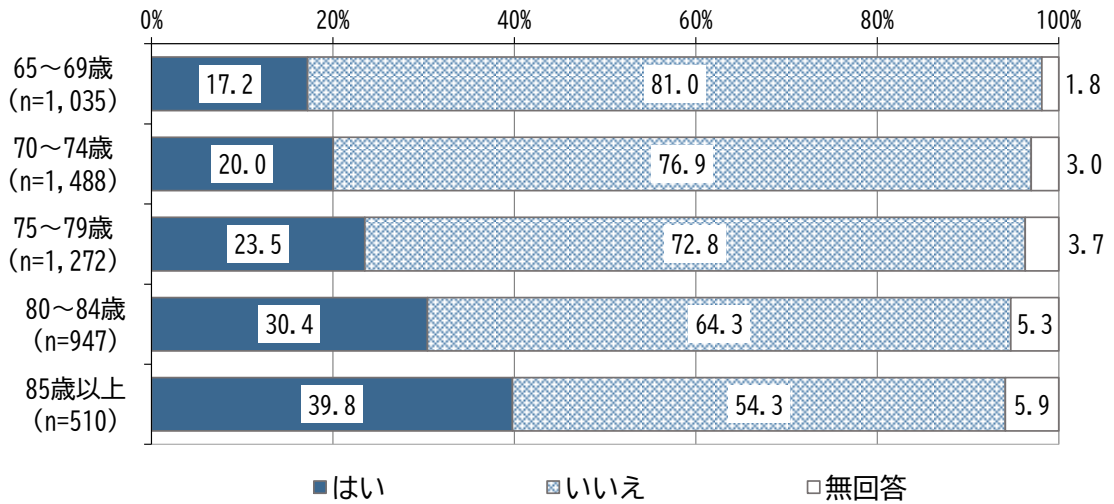
性別でみると、「はい」では、男性が25.9%、女性が22.4%となっています。

図表 2-7-6 健康上の問題で日常生活に何か影響があったか 性別



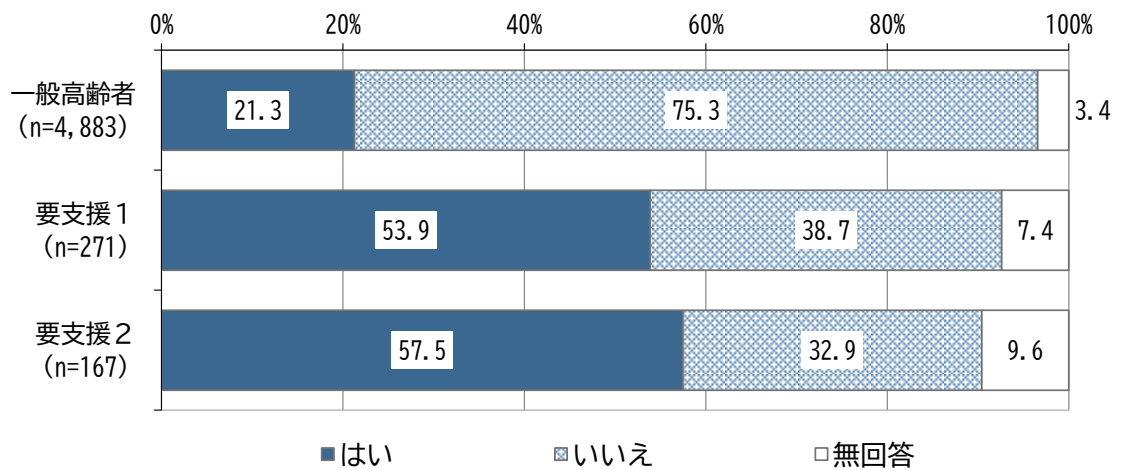
年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が39.8%で最も高くなっています。

図表 2-7-7 健康上の問題で日常生活に何か影響があったか 年齢別



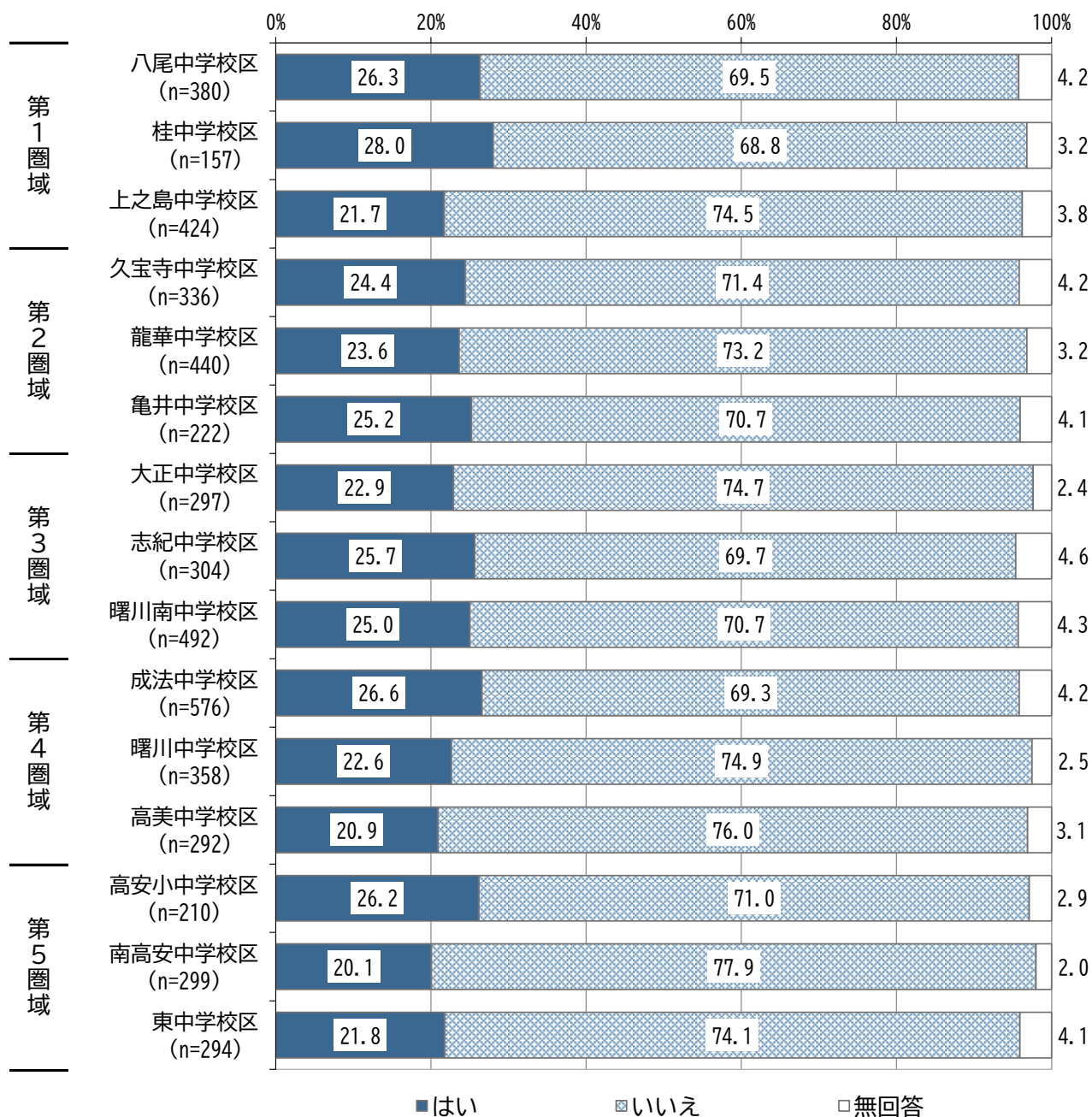
認定状況別でみると、「はい」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が57.5%で最も高くなっています。

図表 2-7-8 健康上の問題で日常生活に何か影響があったか 認定状況



中学校区別でみると、「はい」では、桂中学校区が28.0%で最も高くなっています。

図表 2-7-9 健康上の問題で日常生活に何か影響があったか 中学校区別



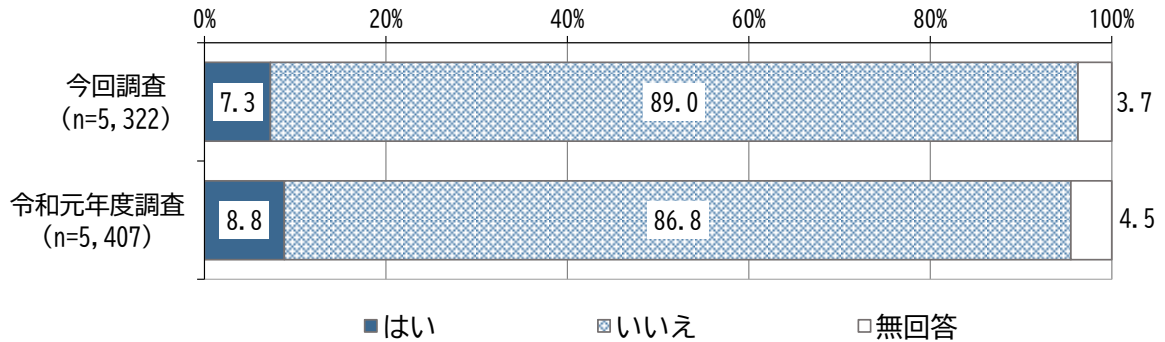
(4) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

問6-4 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについては、「はい」が7.3%、「いいえ」が89.0%となっています。

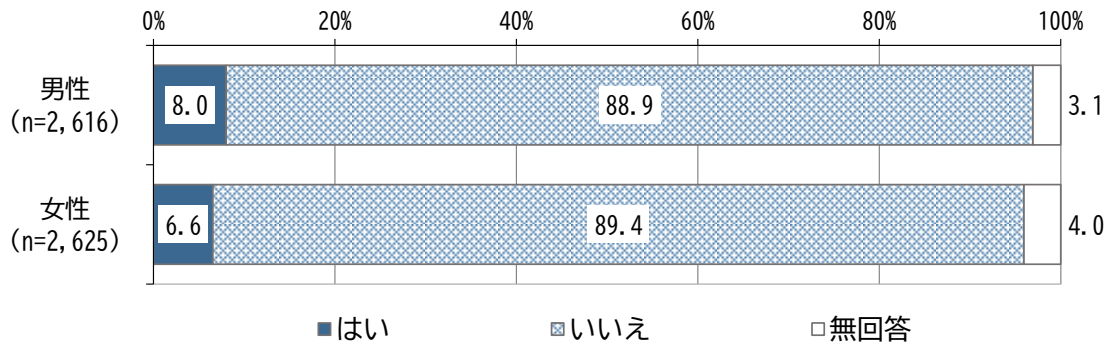
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-7-10 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか



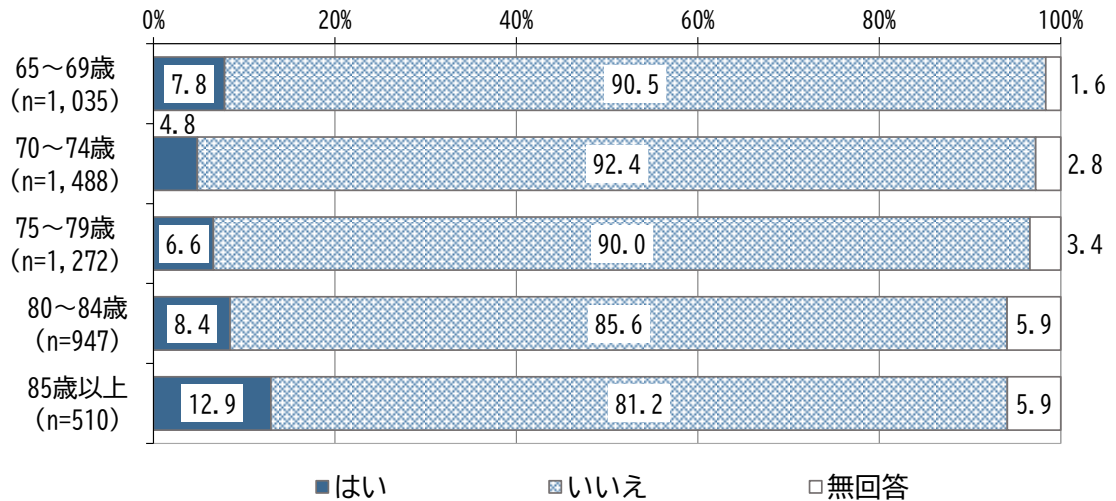
性別でみると、「はい」では、男性が8.0%、女性が6.6%となっています。

図表 2-7-11 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか 性別



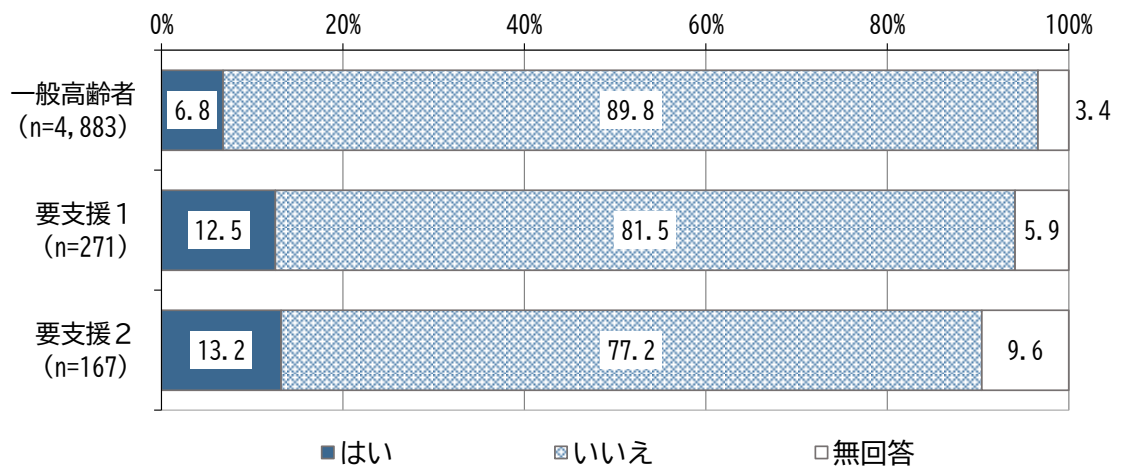
年齢別でみると、「はい」では、70歳以上で年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が12.9%で最も高くなっています。

図表 2-7-12 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか 年齢別



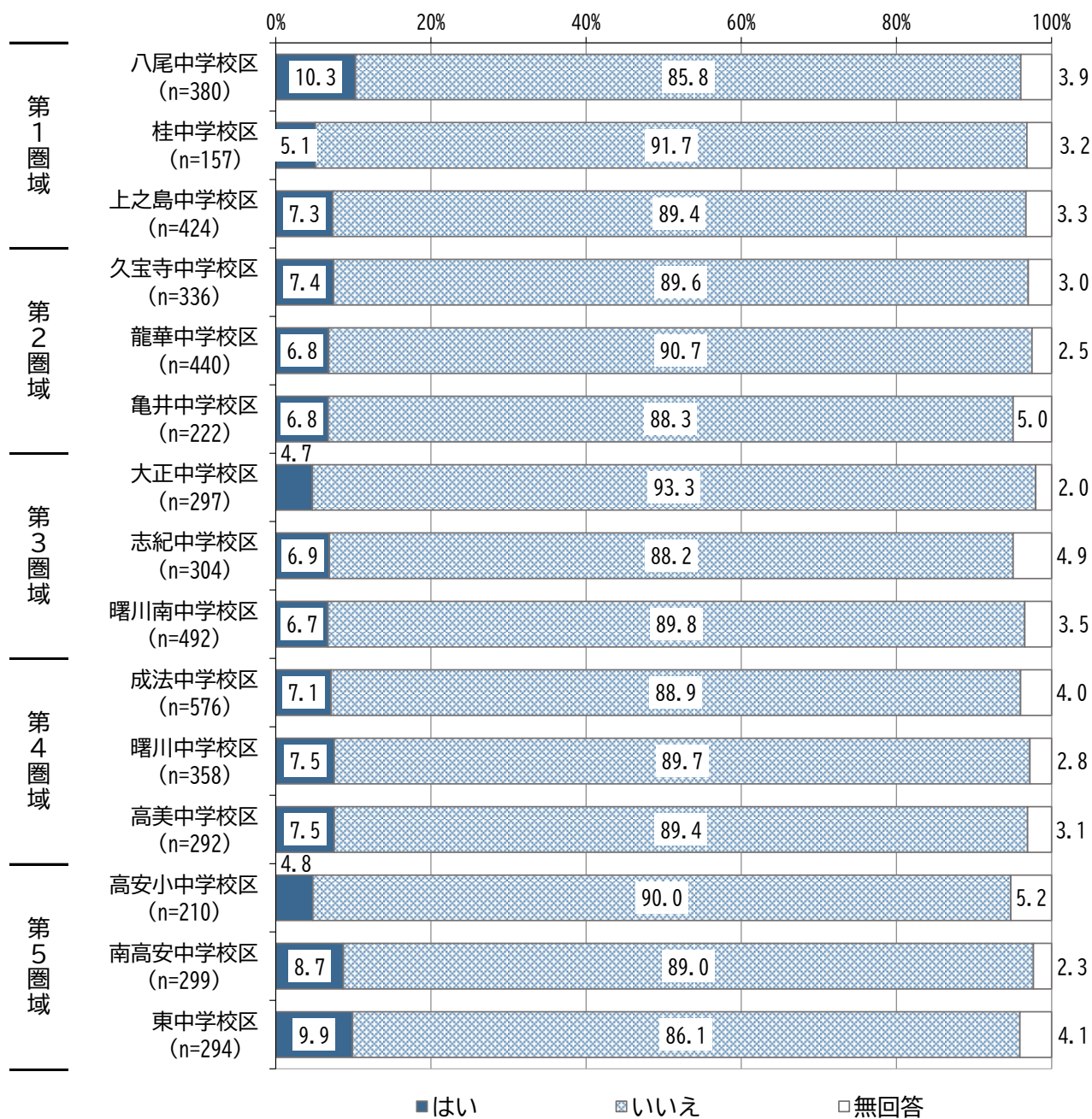
認定状況別でみると、「はい」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が13.2%で最も高くなっています。

図表 2-7-13 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか 認定状況別



中学校区別でみると、「はい」では、八尾中学校区が10.3%で最も高くなっています。

図表 2-7-14 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか 中学校区別



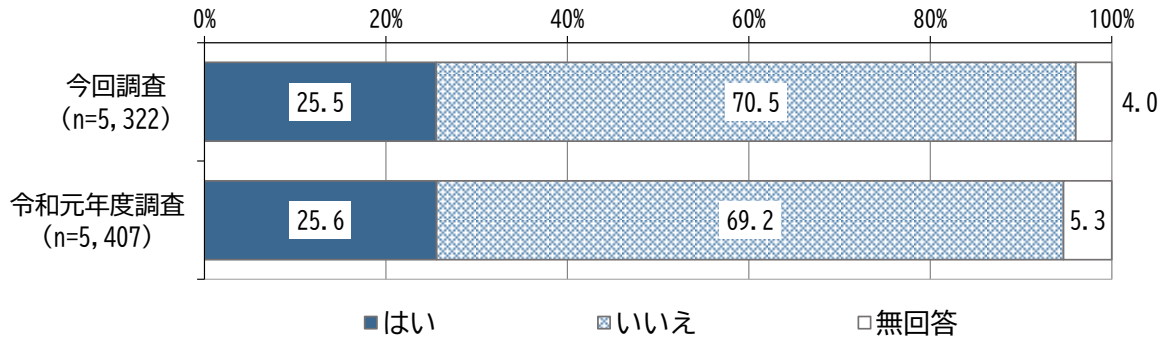
(5) 認知症に関する相談窓口を知っているか

問6-5 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ)

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が25.5%、「いいえ」が70.5%となっています。

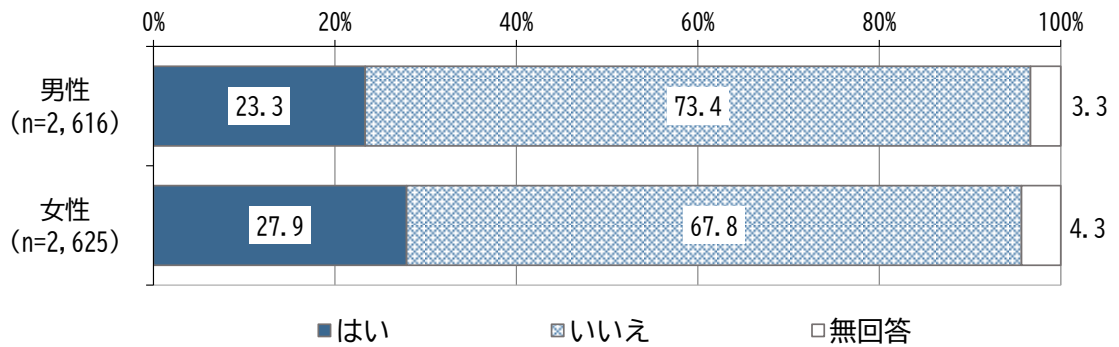
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-7-15 認知症に関する相談窓口を知っているか



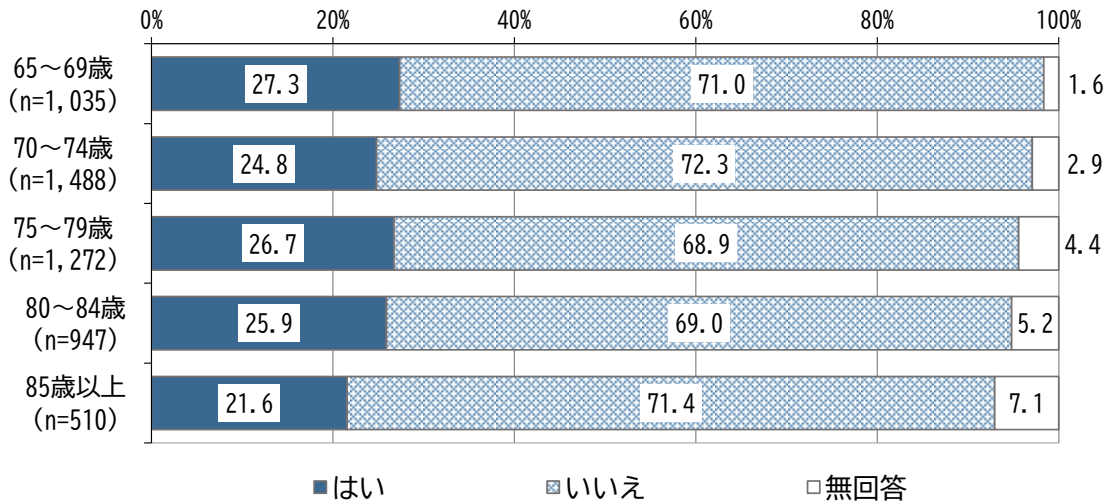
性別で見ると、「はい」では、女性が27.9%で、男性(23.3%)より4.6ポイント高くなっています。

図表 2-7-16 認知症に関する相談窓口を知っているか 性別



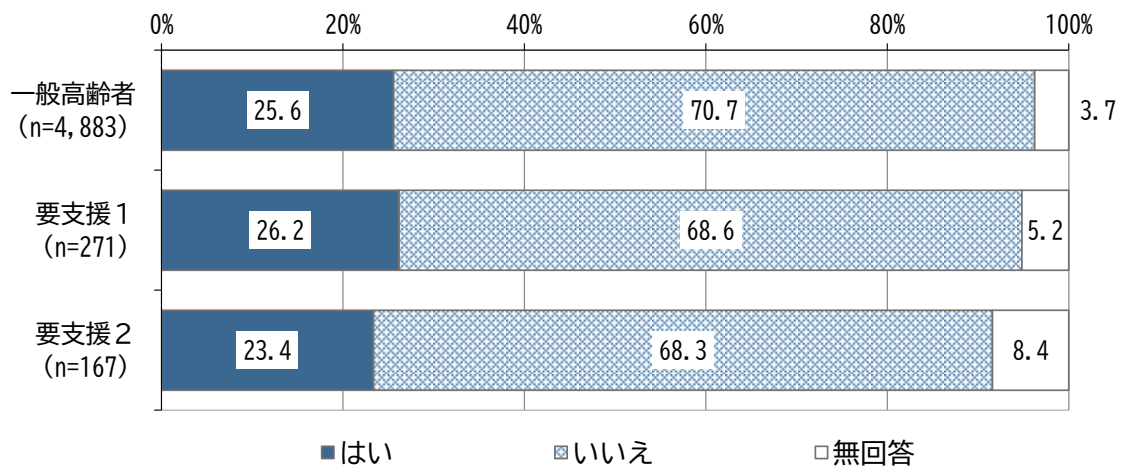
年齢別でみると、「はい」では、65～69歳が27.3%で最も高く、「いいえ」では、70～74歳が72.3%で最も高くなっています。

図表 2-7-17 認知症に関する相談窓口を知っているか 年齢別



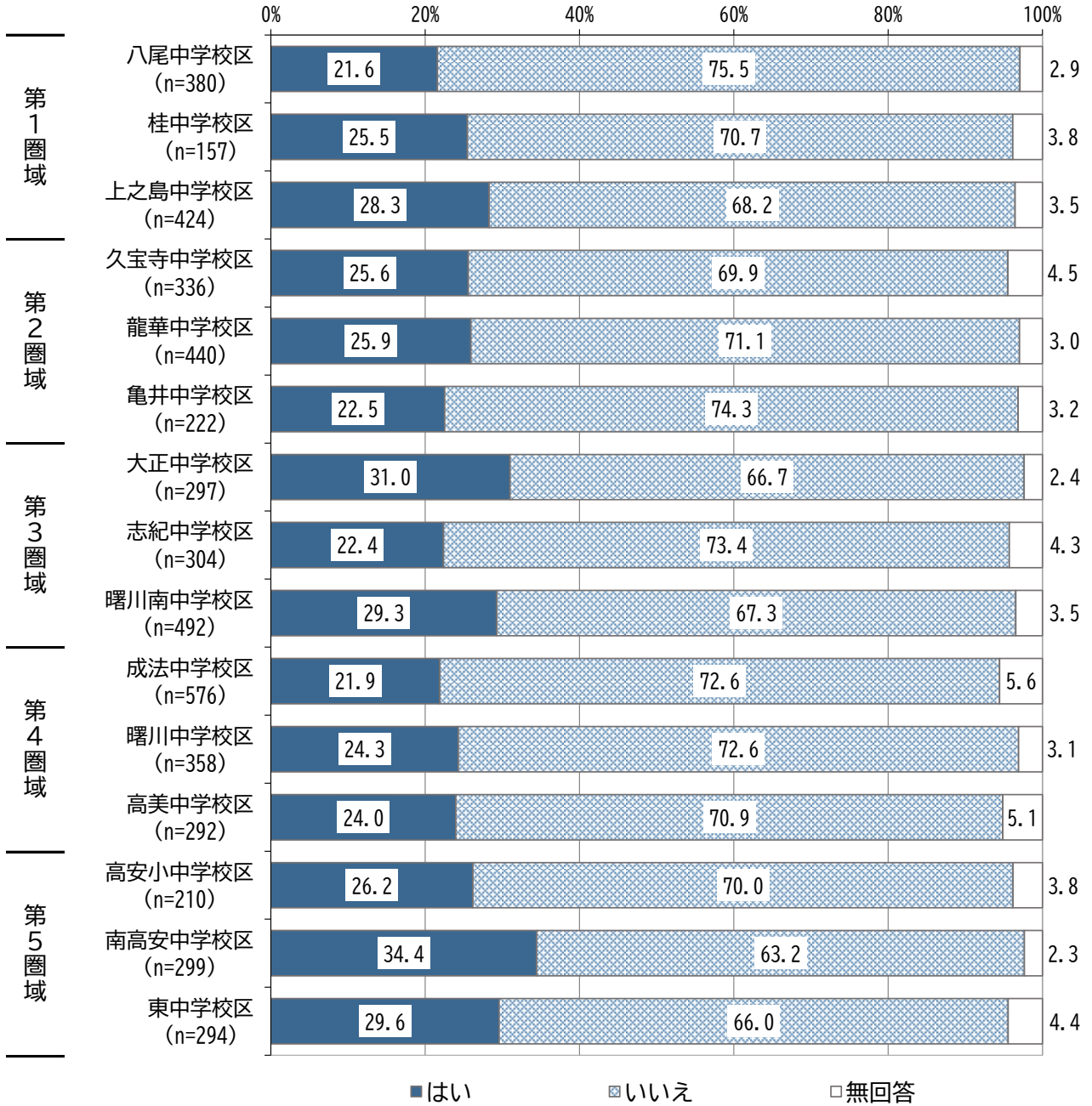
認定状況別でみると、「はい」では、要支援1が26.2%で最も高く、「いいえ」では、一般高齢者が70.7%で最も高くなっています。

図表 2-7-18 認知症に関する相談窓口を知っているか 認定状況別



中学校区別でみると、「はい」では、南高安中学校区が34.4%で最も高く、「いいえ」では、八尾中学校区が75.5%で最も高くなっています。

図表 2-7-19 認知症に関する相談窓口を知っているか 中学校区別



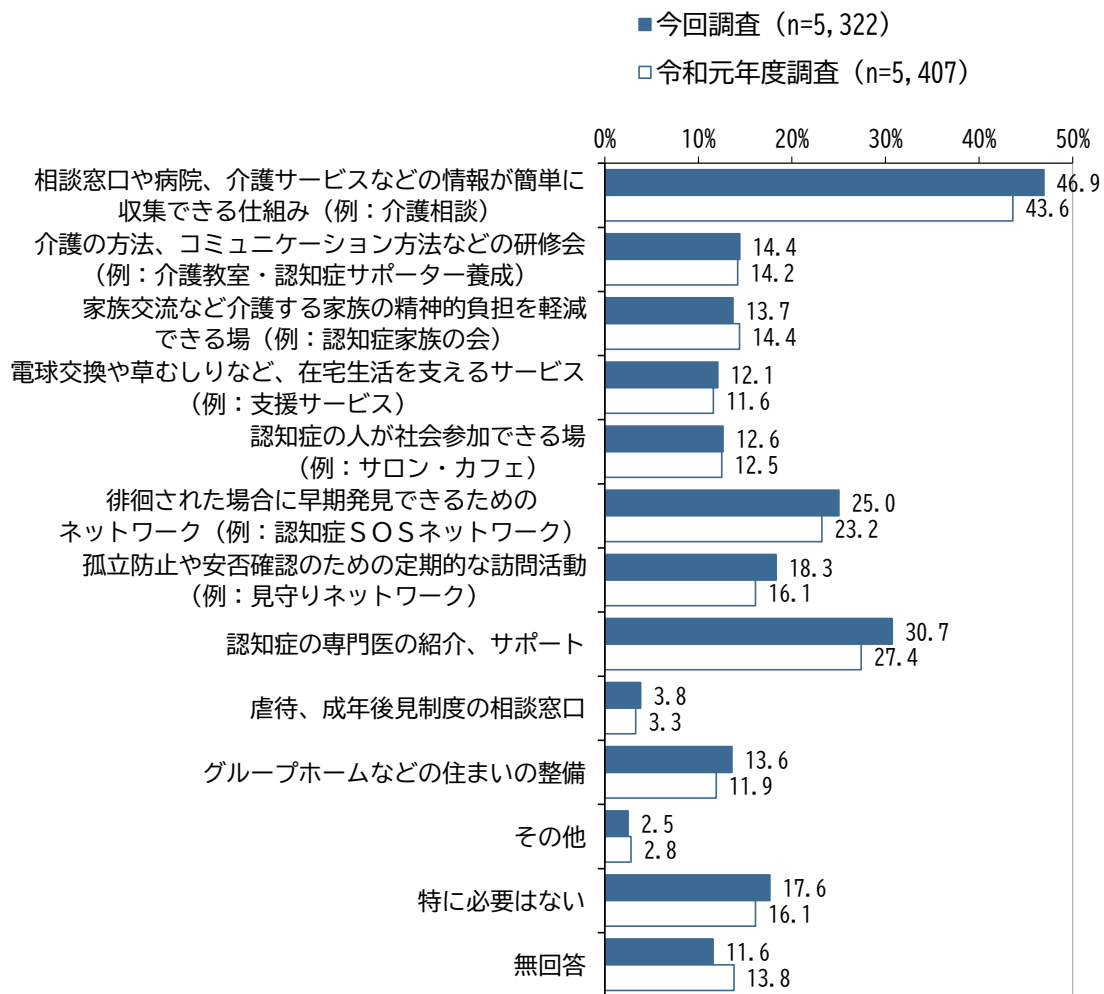
(6) 認知症についてあればよいと思う支援

問6-6 認知症について、どのような支援があればよいと思いますか。(いくつでも)

認知症についてあればよいと思う支援については、「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み(例:介護相談)」が46.9%で最も高く、次いで「認知症の専門医の紹介、サポート」が30.7%、「徘徊された場合に早期発見できるためのネットワーク(例:認知症SOSネットワーク)」が25.0%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み(例:介護相談)」(46.9%)では、令和元(2019)年度調査(43.6%)より3.3ポイント増加し、「認知症の専門医の紹介、サポート」(30.7%)では、令和元(2019)年度調査(27.4%)より3.3ポイント増加し、いずれも最も増加した項目となっています。

図表 2-7-20 認知症についてあればよいと思う支援



性別でみると、男性・女性いずれも「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み（例：介護相談）」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み（例：介護相談）」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、全ての認定状況で「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み（例：介護相談）」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「徘徊された場合に早期発見できるためのネットワーク（例：認知症 SOS ネットワーク）」では、上之島中学校区が 30.9% で最も高くなっています。

図表 2-7-21 認知症についてあればよいと思う支援 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み（例：介護相談）	介護の方法、コミュニケーションなどの研修会（例：介護教室・認知症サポーター養成）	家族交流など介護する家族の精神的負担を軽減できる場（例：認知症家族の会）	電球交換や草むしりなど、在宅生活を支えるサービス（例：支援サービス）	認知症の人が社会参加できる場（例：サロン・カフェ）	SOS ネットワーク（例：認知症のためのネットワーキング）	徘徊された場合に早期発見できるためのネットワーク（例：認知症のための定期訪問活動（例：見守りネットワーク））	孤立防止や安否確認のための定期的な訪問活動（例：見守りネットワーク）	認知症の専門医の紹介、サポート	虐待、成年後見制度の相談窓口	グループホームなどの住まいの整備
全体		5,322	46.9	14.4	13.7	12.1	12.6	25.0	18.3	30.7	3.8	13.6	
性別	男性	2,616	45.9	14.3	12.0	9.2	10.5	23.2	16.7	28.6	3.1	10.7	
	女性	2,625	48.3	14.4	15.4	15.0	14.9	27.1	20.1	33.1	4.6	16.6	
年齢別	65～69歳	1,035	58.4	19.9	19.0	14.6	16.3	32.2	21.9	36.9	6.7	21.7	
	70～74歳	1,488	51.0	15.9	15.5	10.6	13.8	28.3	19.8	33.2	4.2	14.7	
	75～79歳	1,272	42.2	13.1	12.0	12.9	12.2	22.1	17.8	28.2	3.1	11.2	
	80～84歳	947	41.8	11.2	10.6	12.9	11.2	21.1	15.9	27.1	2.9	10.1	
	85歳以上	510	35.3	8.2	8.4	8.4	6.3	16.7	12.9	25.5	1.4	6.3	
認定状況別	一般高齢者	4,883	48.1	14.9	14.0	12.1	13.0	25.6	18.5	31.3	4.0	14.2	
	要支援1	271	35.8	9.2	10.7	12.2	8.1	19.6	17.0	25.8	1.8	6.6	
	要支援2	167	30.5	8.4	8.4	12.6	9.0	16.8	14.4	22.8	2.4	8.4	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	45.0	15.5	13.9	13.7	13.2	23.4	19.7	31.8	3.4	13.2
		桂中学校区	157	47.1	12.7	8.9	10.8	12.1	28.0	18.5	19.7	1.3	8.3
		上之島中学校区	424	48.8	17.5	16.0	13.7	14.4	30.9	20.5	33.0	4.7	17.5
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	49.1	12.8	16.1	8.0	11.9	23.2	17.9	32.4	3.9	14.0
		龍華中学校区	440	47.7	13.0	13.0	10.7	12.0	24.3	16.4	33.2	3.0	13.6
		亀井中学校区	222	45.5	17.6	13.5	14.4	12.6	25.7	19.4	27.9	4.1	14.9
	第3圏域	大正中学校区	297	46.1	10.8	14.1	10.8	15.2	22.2	19.5	30.0	3.4	10.8
		志紀中学校区	304	50.0	13.5	16.4	10.2	10.9	27.0	19.1	31.9	5.3	9.9
		曙川南中学校区	492	48.8	14.6	10.2	10.8	12.2	23.6	19.3	28.7	4.7	15.4
	第4圏域	成法中学校区	576	47.9	13.4	14.1	12.5	12.5	25.2	16.7	31.4	4.0	14.8
		曙川中学校区	358	50.0	16.5	14.8	13.7	13.7	28.5	20.7	31.8	3.9	13.1
	第5圏域	高美中学校区	292	46.6	14.4	12.3	14.0	11.3	24.7	17.5	26.4	3.1	14.0
		高安小中学校区	210	42.9	12.4	15.2	9.5	10.0	19.5	16.2	28.1	1.9	10.5
南高安中学校区		299	49.8	17.7	16.4	12.0	15.1	26.8	19.1	35.8	4.3	16.7	
	東中学校区	294	45.2	17.0	16.0	20.4	13.6	28.6	19.4	35.0	4.4	14.3	

		合計	その他	特に必要はない	無回答	
全体		5,322	2.5	17.6	11.6	
性別	男性	2,616	2.2	21.1	9.7	
	女性	2,625	2.7	14.1	13.0	
年齢別	65～69歳	1,035	1.8	12.8	5.2	
	70～74歳	1,488	2.7	18.0	8.2	
	75～79歳	1,272	1.9	19.1	13.6	
	80～84歳	947	3.3	19.0	15.7	
	85歳以上	510	3.1	20.0	19.6	
状況別 認定	一般高齢者	4,883	2.4	17.5	10.9	
	要支援1	271	2.2	17.7	18.5	
	要支援2	167	4.2	20.4	21.0	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	3.2	18.4	10.5
		桂中学校区	157	1.3	17.8	15.3
		上之島中学校区	424	2.6	16.0	9.4
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	1.5	17.3	12.2
		龍華中学校区	440	3.2	16.8	12.0
		亀井中学校区	222	1.8	17.1	11.7
	第3圏域	大正中学校区	297	2.4	18.9	8.8
		志紀中学校区	304	2.3	16.8	11.5
		曙川南中学校区	492	1.6	19.5	12.8
	第4圏域	成法中学校区	576	3.1	14.4	12.0
		曙川中学校区	358	3.6	15.9	6.4
		高美中学校区	292	2.4	18.5	14.4
	第5圏域	高安小中学校区	210	1.9	18.6	13.3
		南高安中学校区	299	1.7	20.1	9.4
		東中学校区	294	1.4	17.3	10.5

※網掛け■は最も割合が高いもの

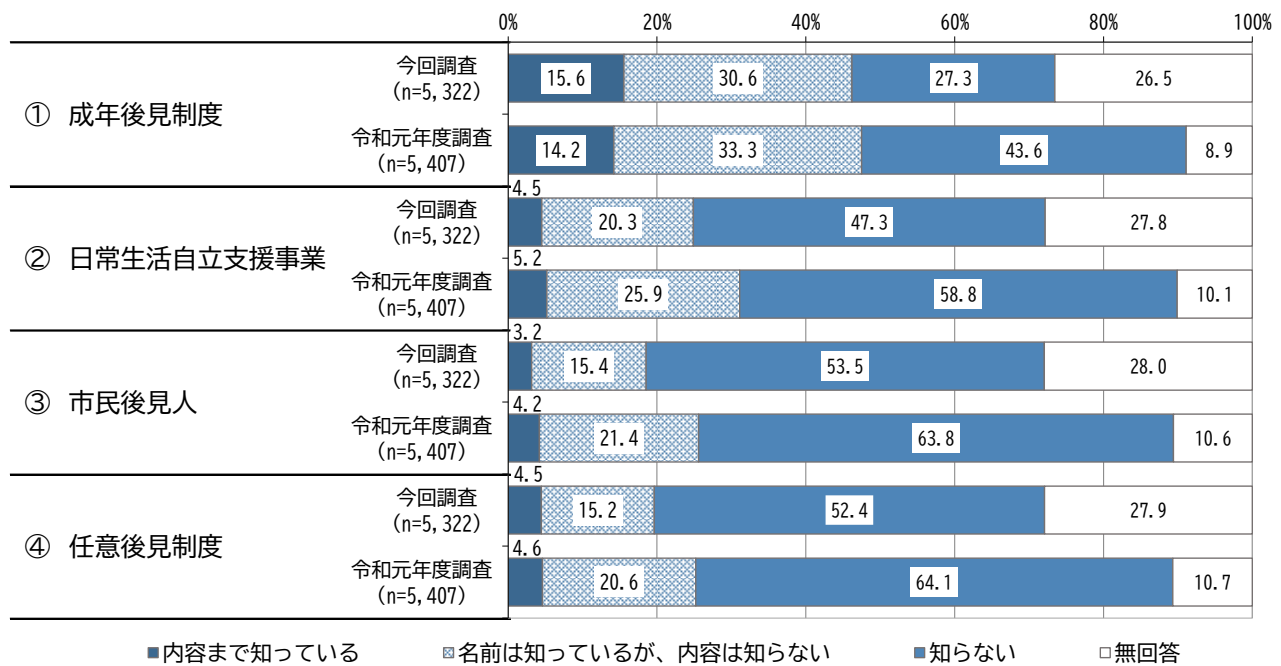
(7) 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度

問6-7 あなたは、権利擁護に関する以下の相談機関や制度についてご存知ですか。(1つずつ)

権利擁護に関する相談機関や制度の認知度について、「内容まで知っている」では、「① 成年後見制度」が15.6%で最も高く、次いで「② 日常生活自立支援事業」、「④ 任意後見制度」がいずれも4.5%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「内容まで知っている」では、大きな差はみられません。

図表 2-7-22 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度

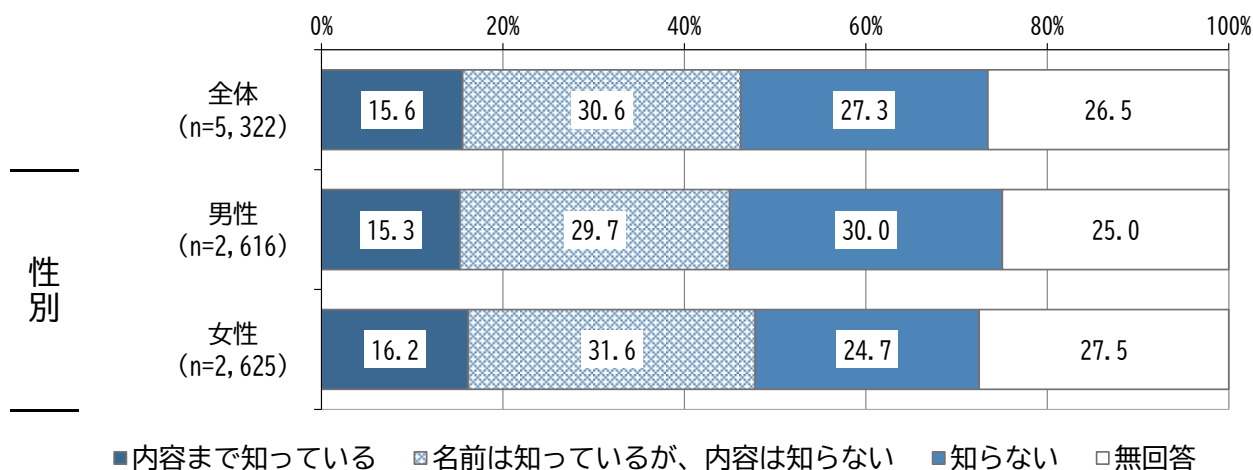


① 成年後見制度

成年後見制度の認知度については、「名前は知っているが、内容は知らない」が30.6%で最も高く、次いで「知らない」が27.3%、「内容まで知っている」が15.6%となっています。

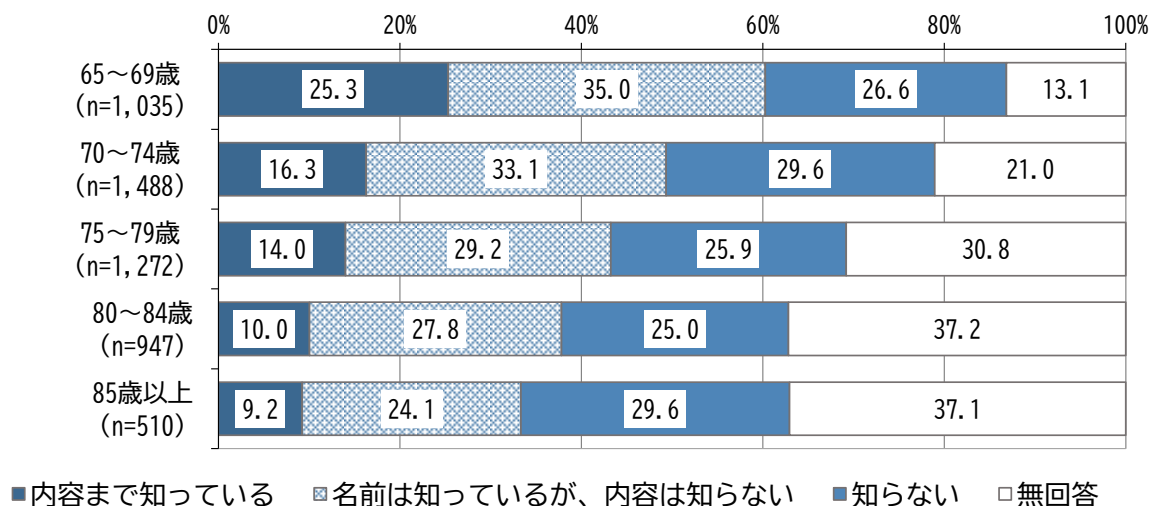
性別でみると、「内容まで知っている」では、男性が15.3%、女性が16.2%となっています。

図表 2-7-23 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ①成年後見制度



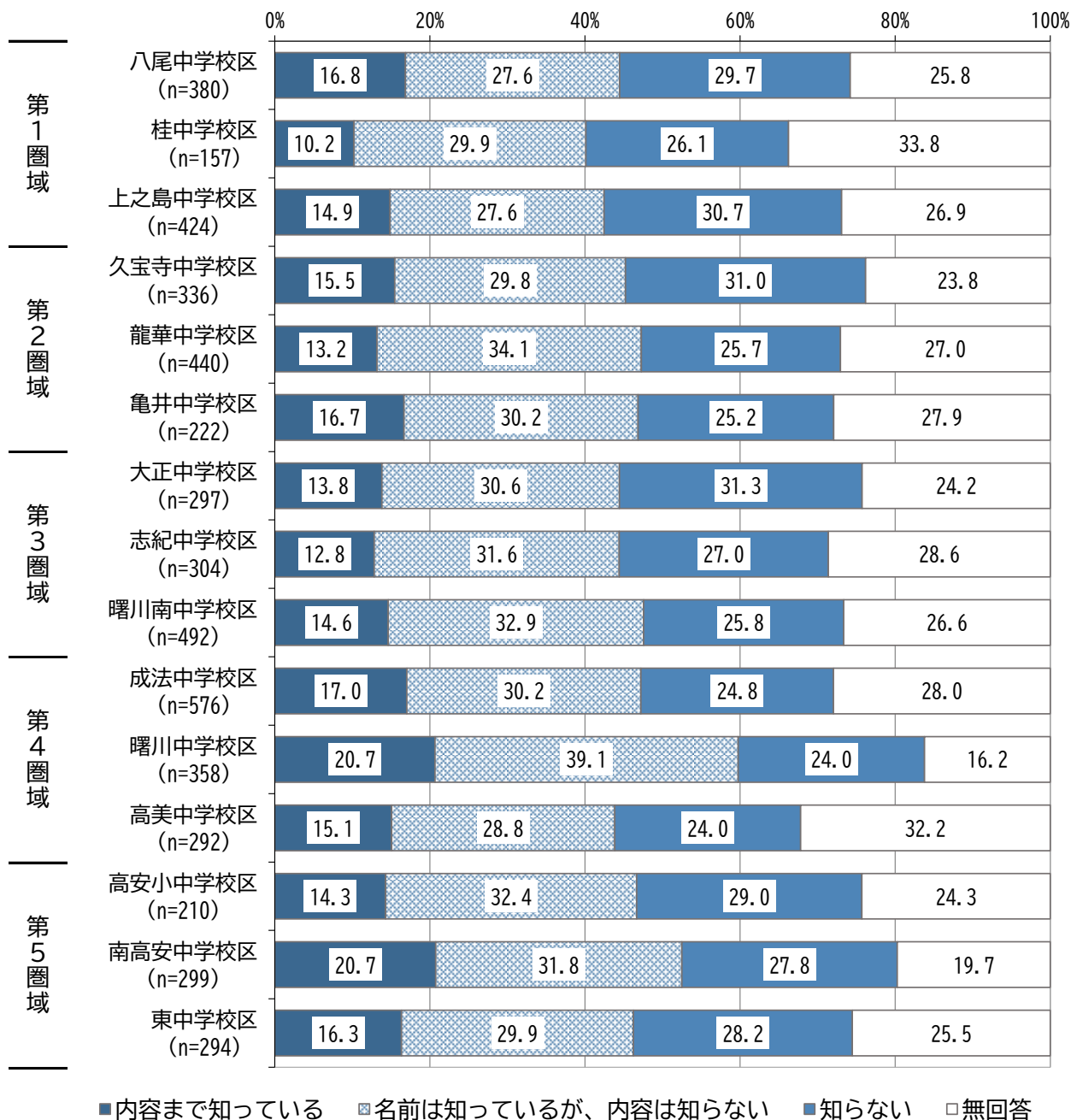
年齢別でみると、「内容まで知っている」では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳が25.3%で最も高くなっています。

図表 2-7-24 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ①成年後見制度 年齢別



中学校区別でみると、「内容まで知っている」では、曙川中学校区、南高安中学校区がいずれも20.7%で最も高くなっています。

図表 2-7-25 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ①成年後見制度 中学校区別

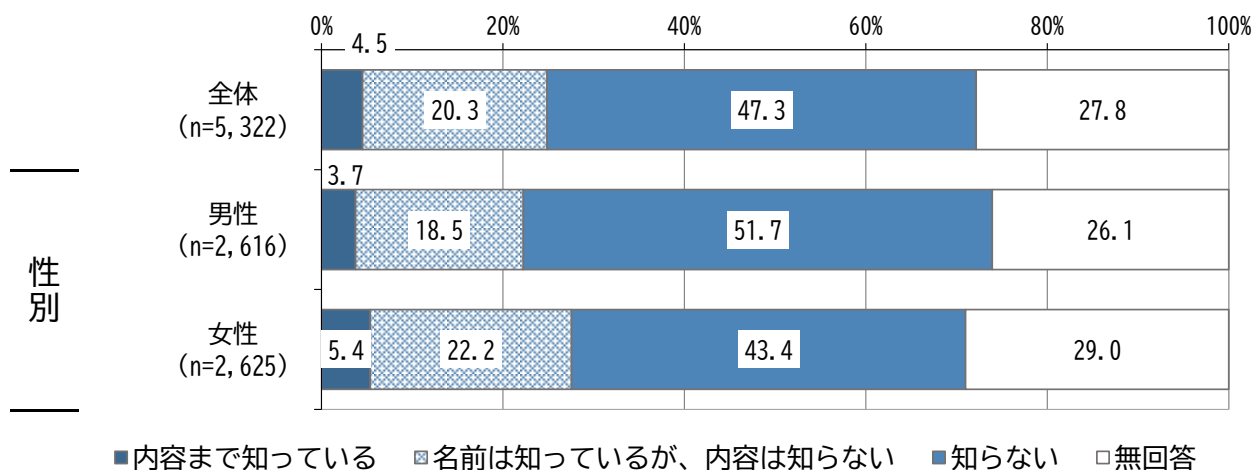


② 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業の認知度については、「知らない」が47.3%で最も高く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」が20.3%、「内容まで知っている」が4.5%となっています。

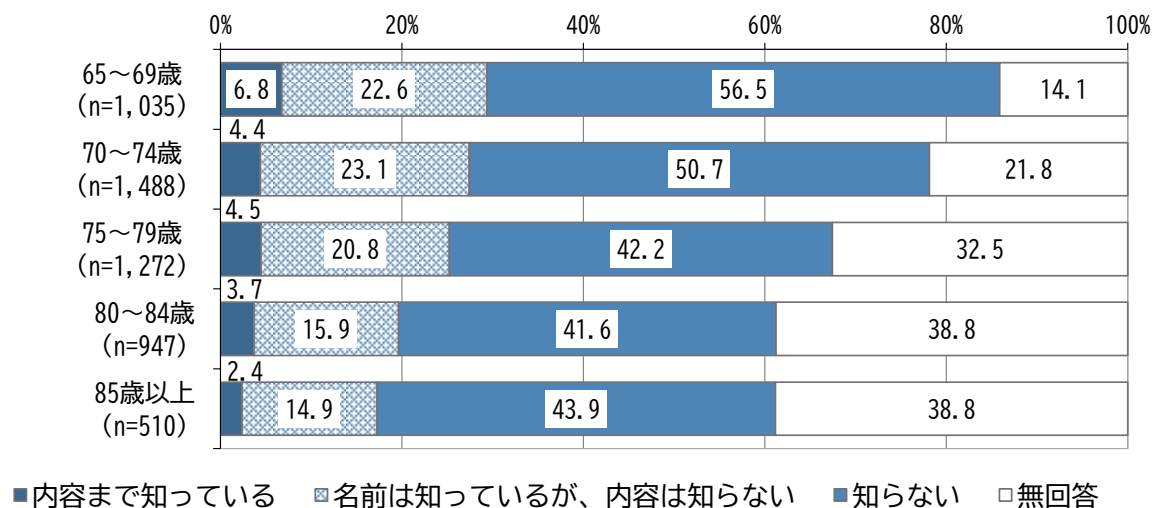
性別でみると、「内容まで知っている」では、男性が3.7%、女性が5.4%となっています。

図表 2-7-26 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ②日常生活自立支援事業



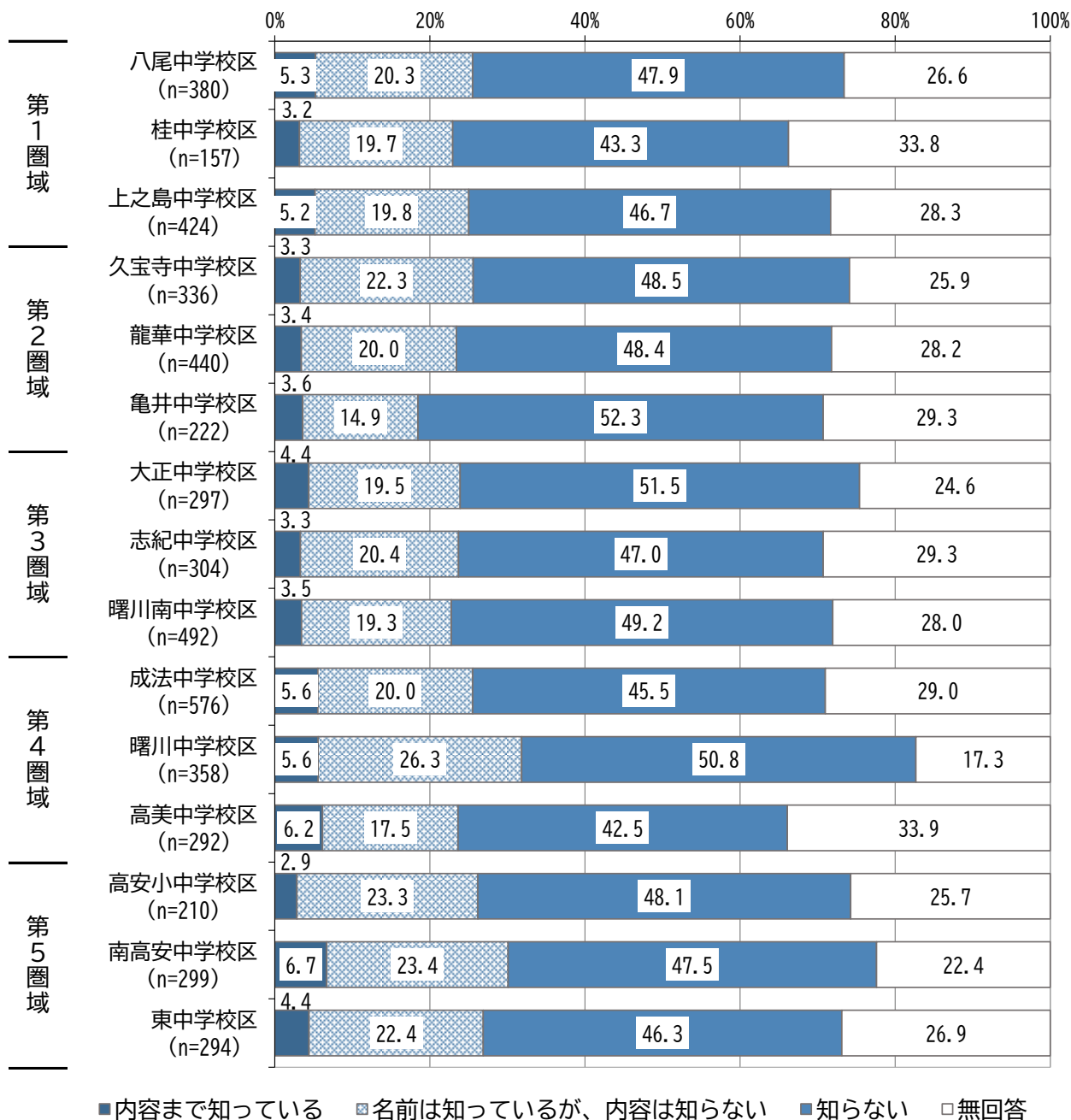
年齢別でみると、「内容まで知っている」では、年齢が上がるにつれて概ね割合が減少しており、65～69歳が6.8%で最も高くなっています。

図表 2-7-27 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ②日常生活自立支援事業 年齢別



中学校区別でみると、「内容まで知っている」では、南高安中学校区が6.7%で最も高くなっています。

図表 2-7-28 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ②日常生活自立支援事業 中学校区別

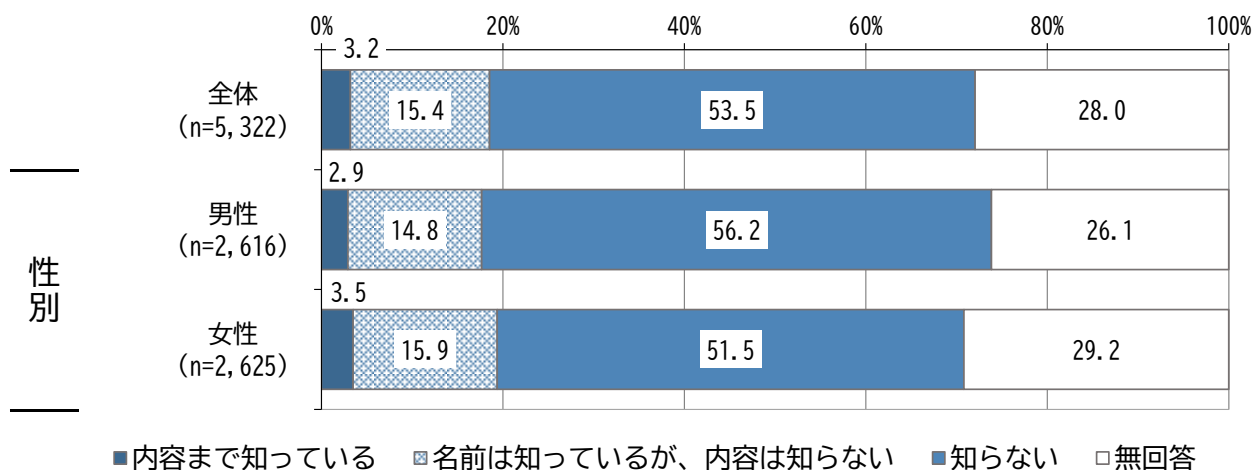


③ 市民後見人

市民後見人の認知度については、「知らない」が53.5%で最も高く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」が15.4%、「内容まで知っている」が3.2%となっています。

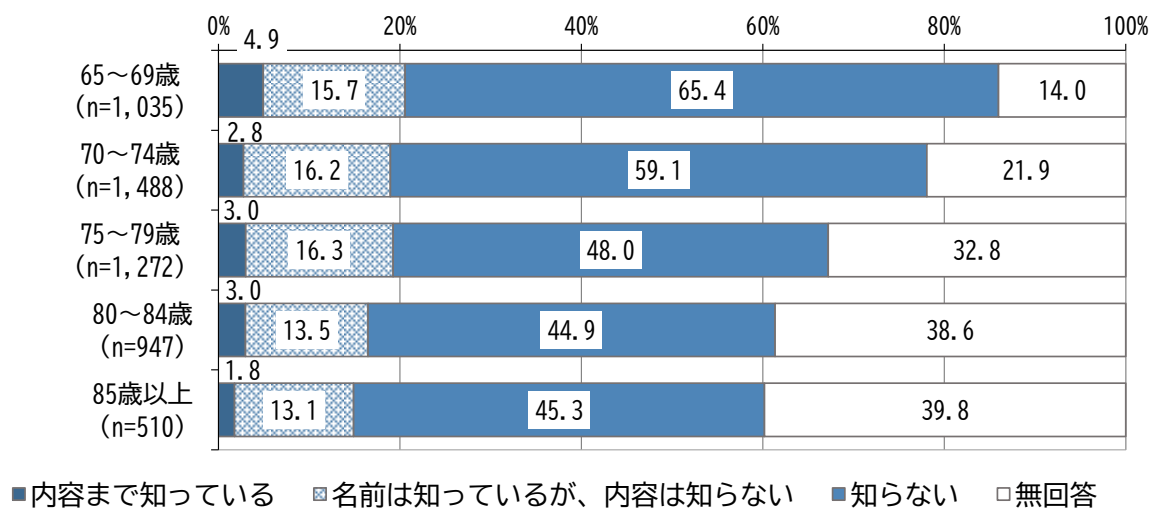
性別でみると、「内容まで知っている」では、男性が2.9%、女性が3.5%となっています。

図表 2-7-29 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ③市民後見人



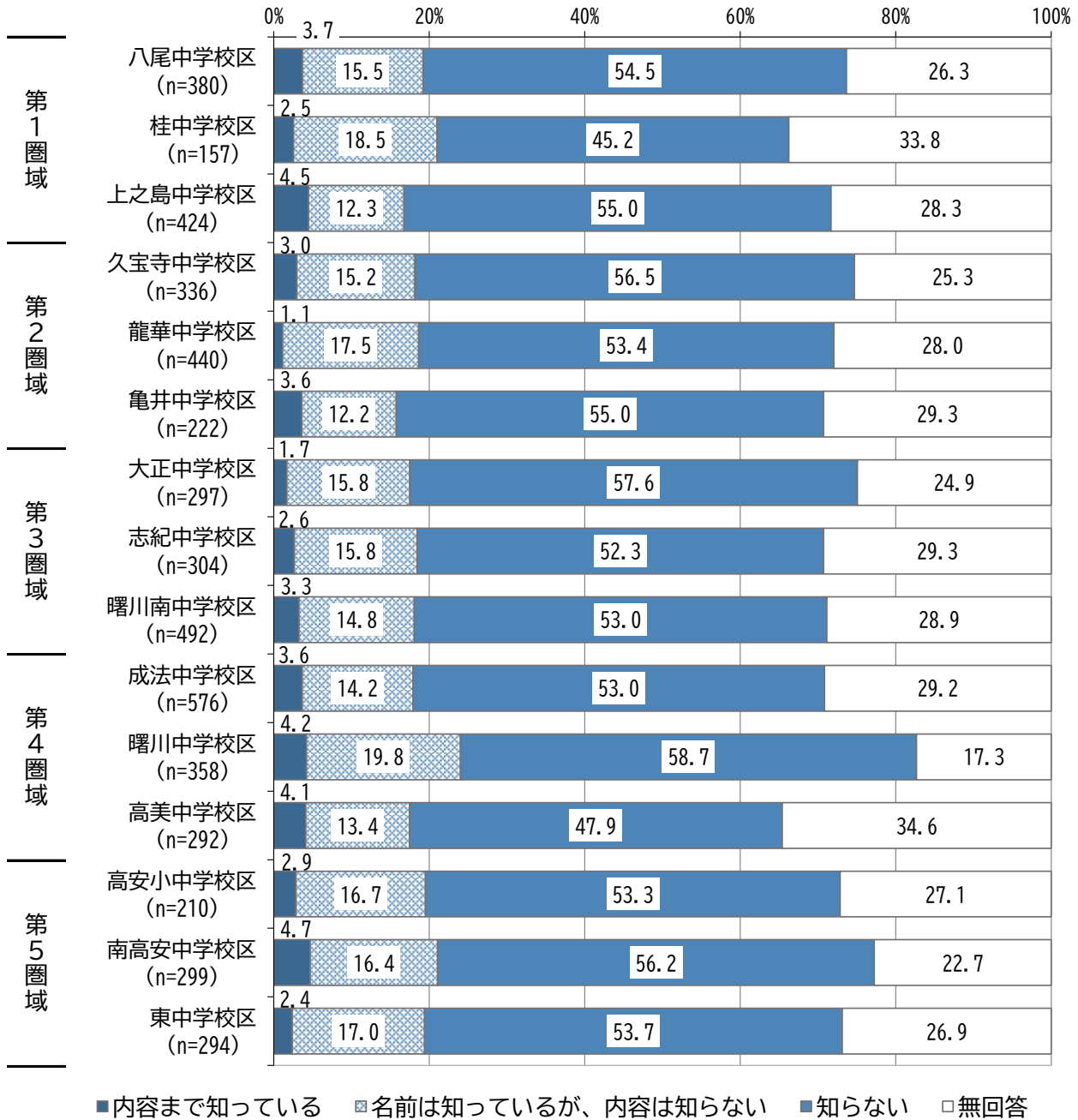
年齢別でみると、「内容まで知っている」では、65～69歳が4.9%で最も高くなっています。

図表 2-7-30 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ③市民後見人 年齢別



中学校区別でみると、「内容まで知っている」では、南高安中学校区が4.7%で最も高くなっています。

図表 2-7-31 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ③市民後見人 中学校区別

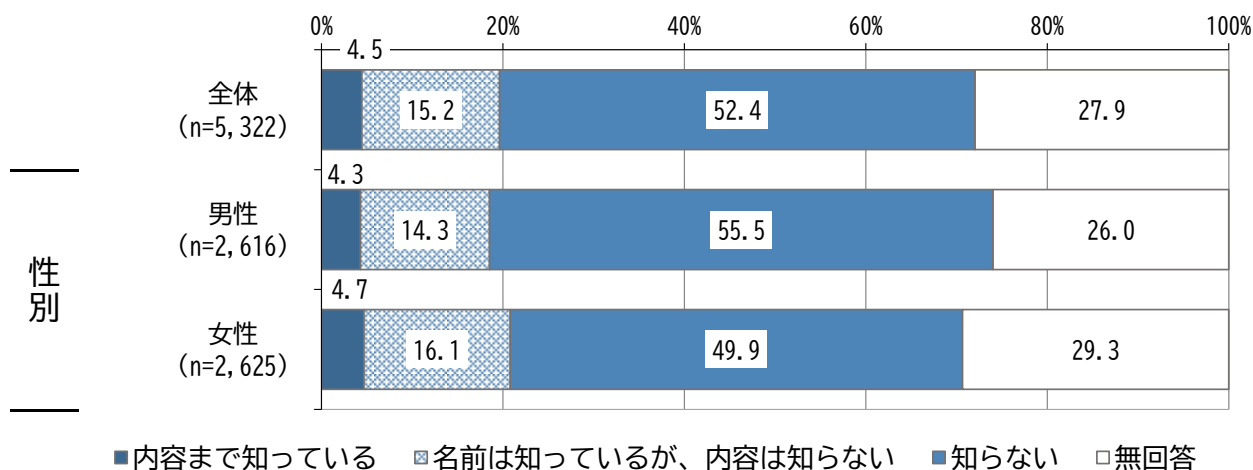


④ 任意後見制度

任意後見制度の認知度については、「知らない」が52.4%で最も高く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」が15.2%、「内容まで知っている」が4.5%となっています。

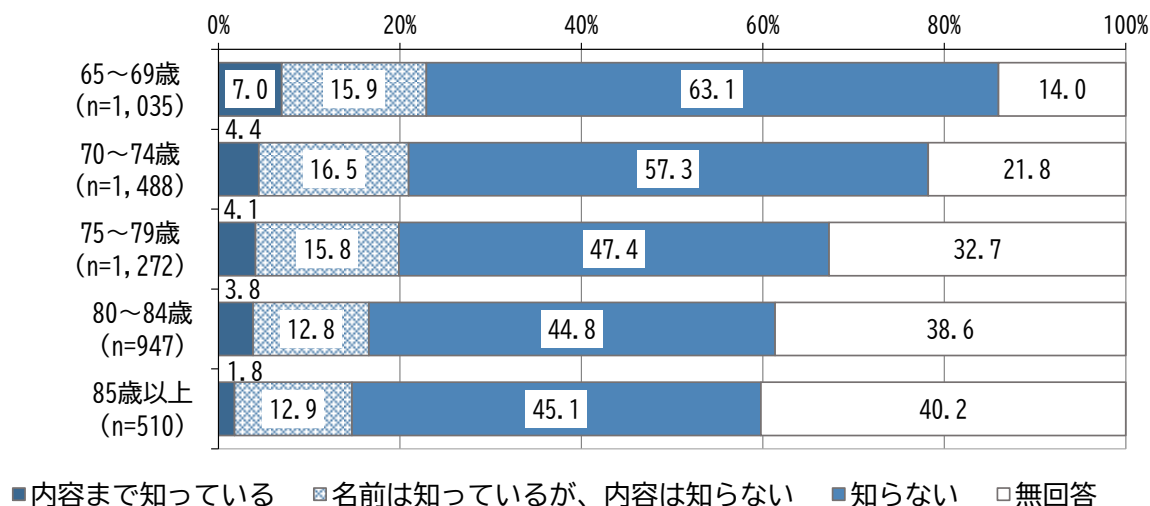
性別でみると、「内容まで知っている」では、男性が4.3%、女性が4.7%となっています。

図表 2-7-32 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ④任意後見制度



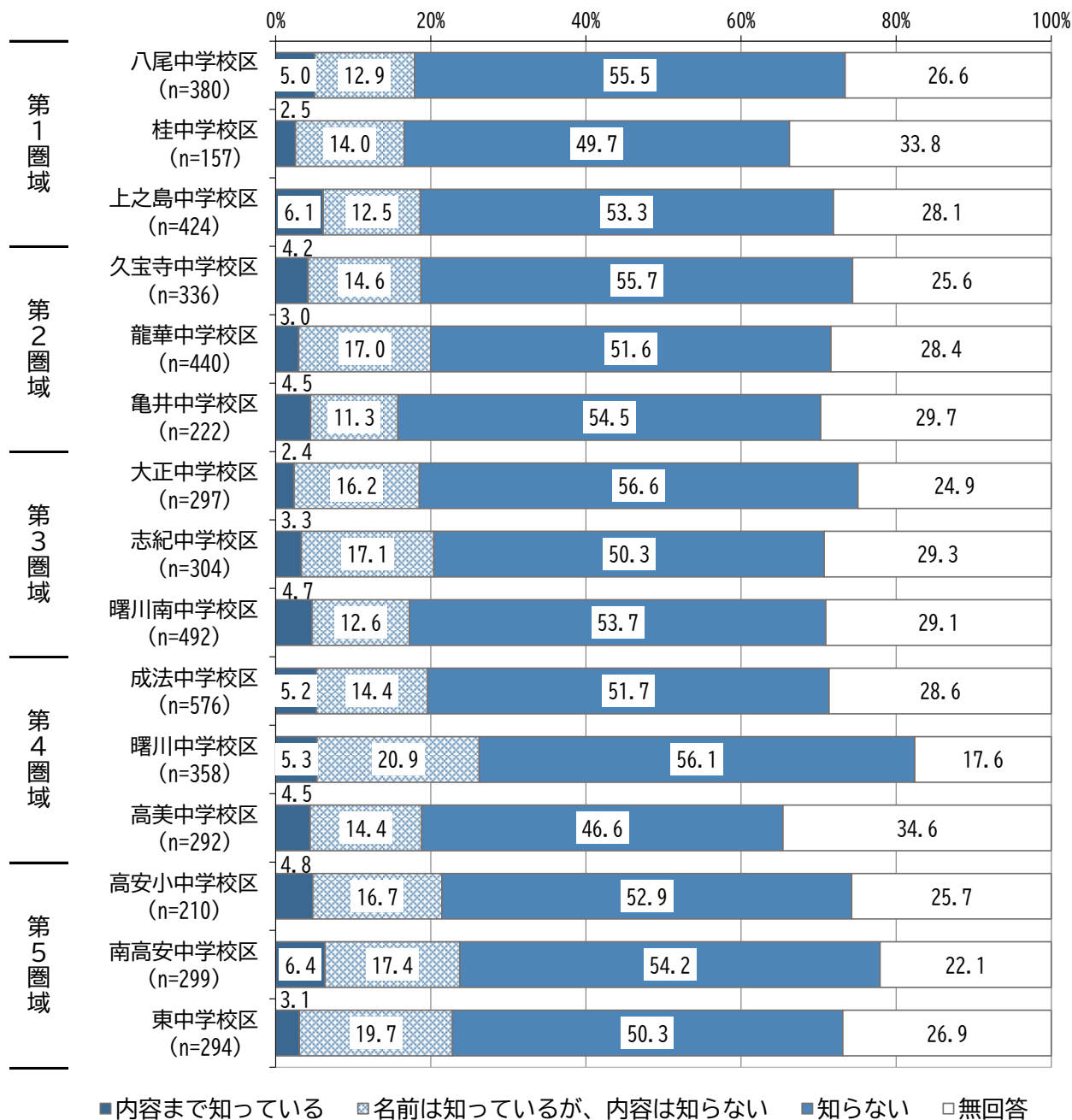
年齢別でみると、「内容まで知っている」では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳が7.0%で最も高くなっています。

図表 2-7-33 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ④任意後見制度 年齢別



中学校区別でみると、「内容まで知っている」では、南高安中学校区が6.4%で最も高くなっています。

図表 2-7-34 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ④任意後見制度 中学校区別



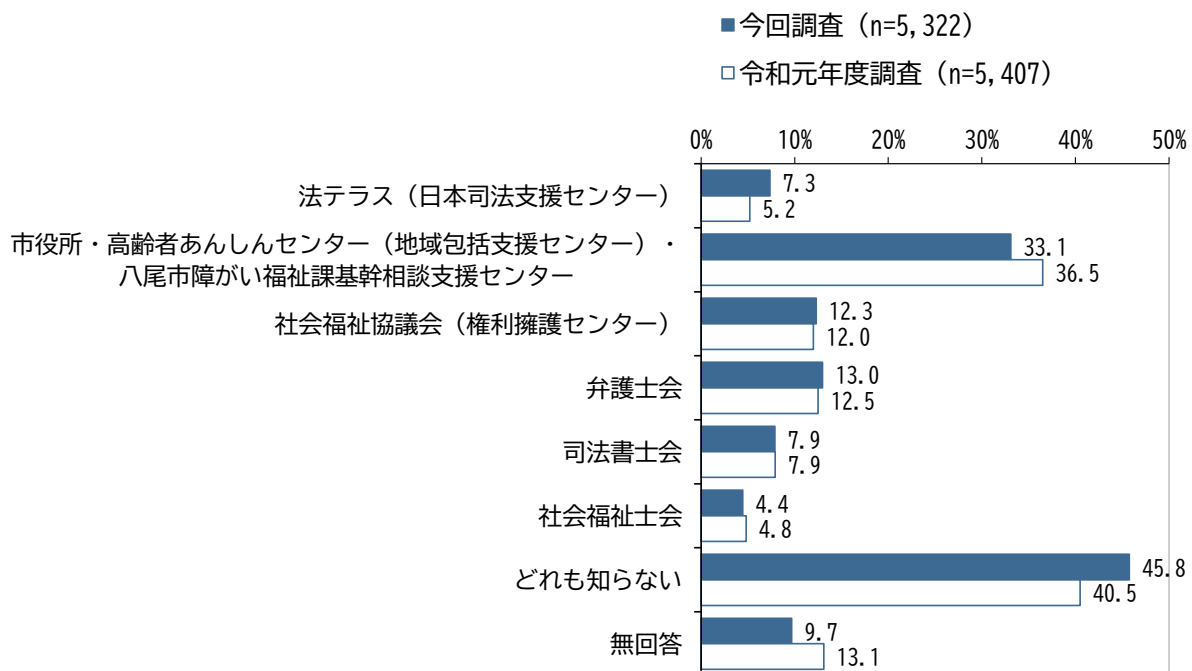
(8) 成年後見制度の相談窓口の認知度

問6-8 「成年後見制度」について知りたいときは、以下の相談窓口で相談を行っていますが、この中で知っているものはありますか。(いくつでも)

成年後見制度の相談窓口の認知度については、「どれも知らない」が45.8%で最も高く、次いで「市役所・高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)・八尾市障がい福祉課基幹相談支援センター」が33.1%、「弁護士会」が13.0%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「どれも知らない」(45.8%)では、令和元(2019)年度調査(40.5%)より5.3ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-7-35 成年後見制度の相談窓口の認知度



性別でみると、男性・女性いずれも「どれも知らない」の割合が最も高くなっています。
 年齢別でみると、全ての年齢層で「どれも知らない」の割合が最も高くなっています。
 認定状況別でみると、一般高齢者、要支援1では「どれも知らない」の割合が最も高く、要支援2では「市役所・高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）・八尾市障がい福祉課基幹相談支援センター」の割合が最も高くなっています。
 中学校区別でみると、「市役所・高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）・八尾市障がい福祉課基幹相談支援センター」では、南高安中学校区が40.5%で最も高くなっています。

図表 2-7-36 成年後見制度の相談窓口の認知度 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	法テラス（日本司法支援センター）	市役所・高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）・八尾市障がい福祉課基幹相談支援センター	社会福祉協議会（権利擁護センター）	弁護士会	司法書士会	社会福祉士会	どれも知らない	無回答	
全体		5,322	7.3	33.1	12.3	13.0	7.9	4.4	45.8	9.7	
性別	男性	2,616	7.4	29.1	12.2	13.6	7.4	3.8	49.4	8.6	
	女性	2,625	7.3	37.1	12.5	12.3	8.3	5.1	42.4	10.3	
年齢別	65～69歳	1,035	13.9	34.8	15.1	20.4	11.1	5.9	44.5	3.3	
	70～74歳	1,488	8.4	32.4	13.6	12.9	7.7	4.1	47.9	7.5	
	75～79歳	1,272	5.0	33.4	12.5	10.1	7.2	4.3	45.0	11.4	
	80～84歳	947	4.3	34.2	11.1	11.2	7.4	4.5	44.5	13.1	
	85歳以上	510	2.4	29.4	5.1	8.8	5.1	2.7	47.5	15.9	
状況別	一般高齢者	4,883	7.6	32.6	12.6	13.4	8.0	4.4	46.4	9.1	
	要支援1	271	5.5	36.9	9.2	5.9	4.4	3.3	39.9	17.3	
	要支援2	167	4.2	40.7	7.8	12.6	9.6	7.2	35.9	14.4	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	6.6	31.6	11.1	12.6	8.7	4.5	47.6	8.7
		桂中学校区	157	5.7	33.1	11.5	10.2	5.7	4.5	43.9	15.3
		上之島中学校区	424	9.0	35.1	15.1	11.8	9.2	5.0	44.3	9.2
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	6.3	33.0	11.3	11.0	5.1	3.6	45.8	10.7
		龍華中学校区	440	5.2	34.3	13.2	12.7	6.8	4.5	44.1	10.5
		亀井中学校区	222	8.6	23.0	11.7	16.2	9.5	5.0	53.2	8.1
	第3圏域	大正中学校区	297	5.7	28.3	12.1	14.8	9.4	6.7	47.5	8.8
		志紀中学校区	304	7.2	32.2	11.2	12.5	7.9	2.0	47.4	9.5
		曙川南中学校区	492	6.7	34.3	9.8	9.8	6.1	3.3	49.2	9.1
	第4圏域	成法中学校区	576	8.5	36.5	14.2	12.8	7.3	4.3	42.4	9.7
		曙川中学校区	358	8.7	32.4	15.9	20.1	12.0	3.9	44.4	4.5
		高美中学校区	292	8.6	30.1	11.6	12.7	10.3	6.5	45.9	11.0
	第5圏域	高安小中学校区	210	3.8	32.9	15.7	14.8	5.7	4.8	49.0	10.5
南高安中学校区		299	10.4	40.5	13.4	15.7	10.0	4.3	38.8	7.0	
東中学校区		294	7.1	35.7	9.9	9.2	5.4	4.4	48.0	8.5	

※網掛け■は最も割合が高いもの

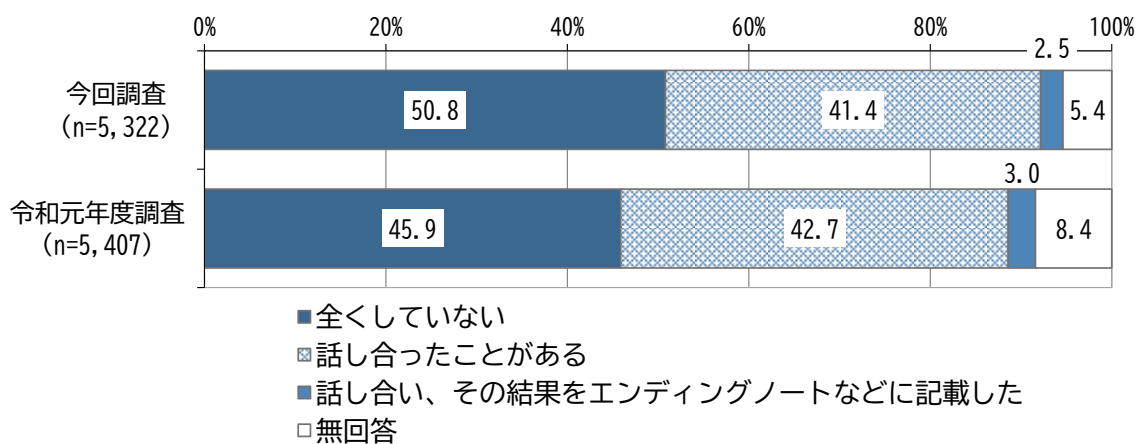
(9) 人生会議を行っているか

問6-9 人生の最終章を迎えるにあたりご自身の思いや希望をご家族など誰かと話し合っていますか。(「人生会議」を行っていますか。)(1つだけ)

人生会議を行っているかについては、「全くしていない」が50.8%で最も高く、次いで「話し合ったことがある」が41.4%、「話し合い、その結果をエンディングノートなどに記載した」が2.5%となっています。

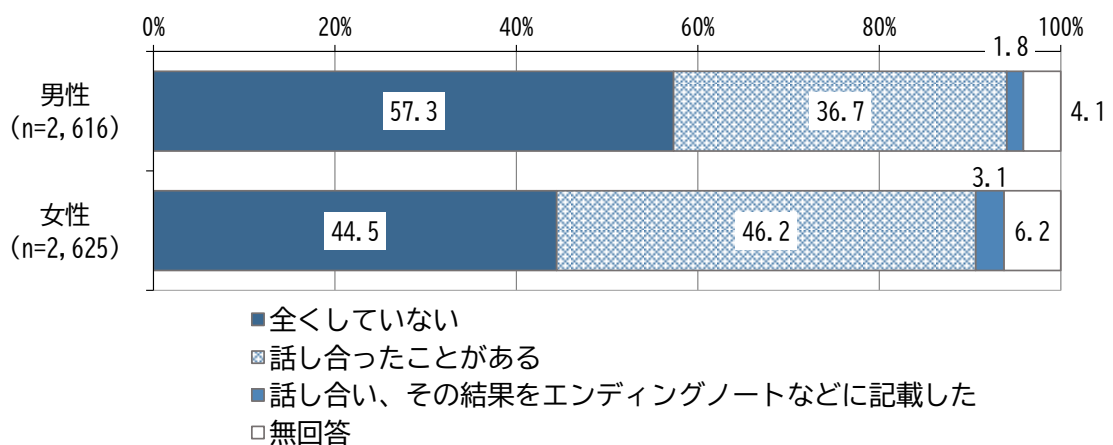
令和元(2019)年度調査と比較すると、「全くしていない」(50.8%)では、令和元(2019)年度調査(45.9%)より4.9ポイント増加しています。

図表 2-7-37 人生会議を行っているか



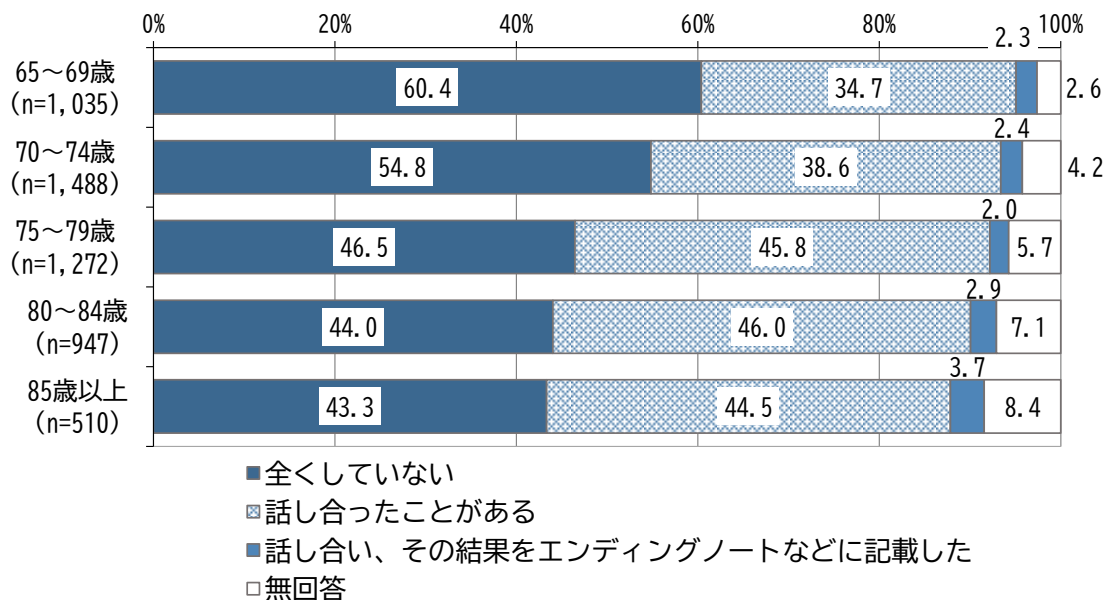
性別でみると、『話し合ったことがある』(「話し合ったことがある」と「話し合い、その結果をエンディングノートなどに記載した」の合計)では、女性が49.3%で、男性(38.5%)より10.8ポイント高くなっています。

図表 2-7-38 人生会議を行っているか 性別



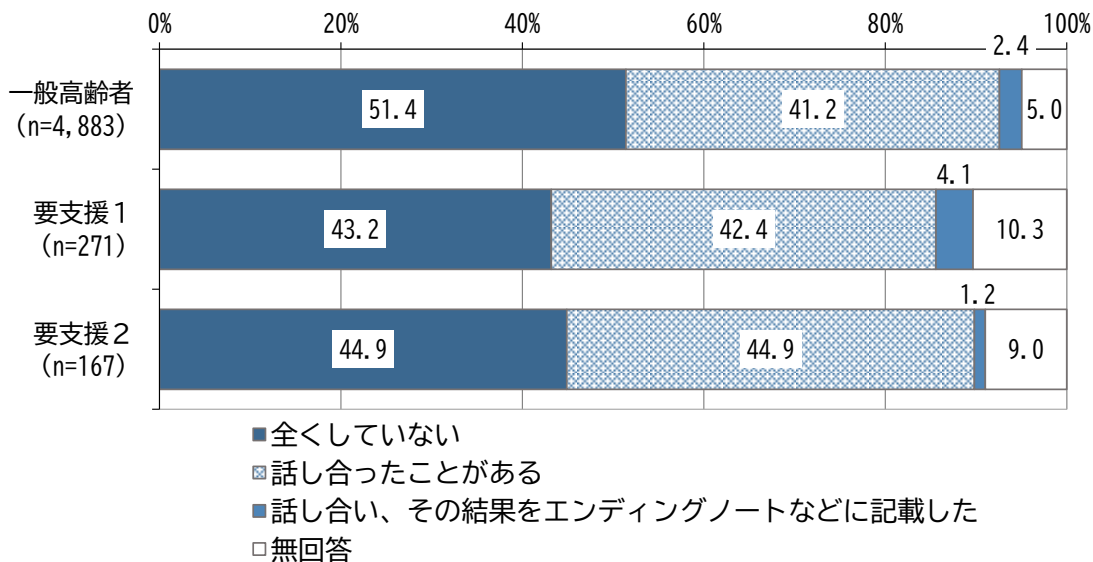
年齢別でみると、『話し合ったことがある』では、84歳以下で年齢が上がるにつれて割合が増加しており、80～84歳が47.8%で最も高くなっています。

図表 2-7-39 人生会議を行っているか 年齢別



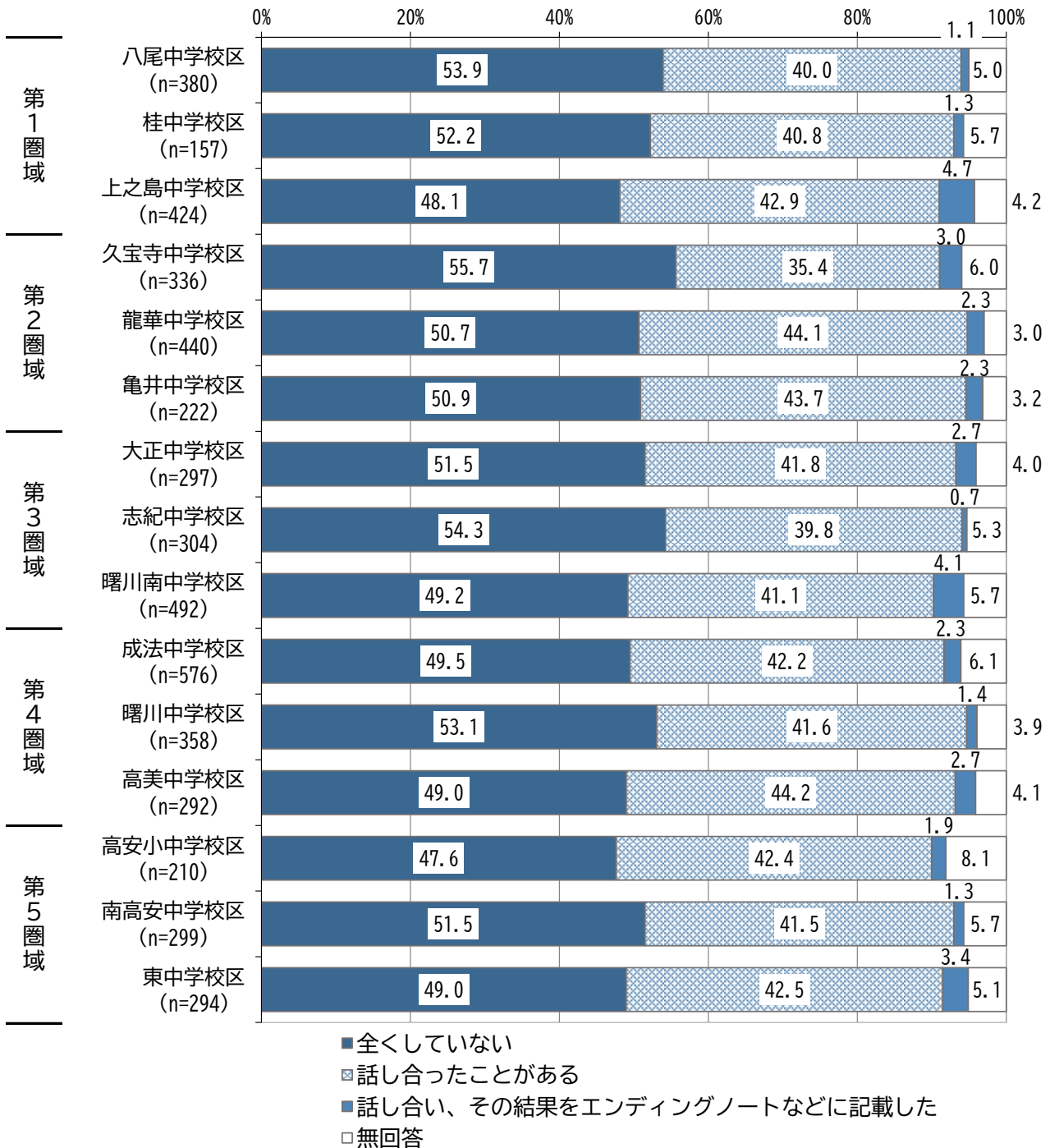
認定状況別でみると、「話し合い、その結果をエンディングノートなどに記載した」では、要支援1が4.1%で最も高くなっています。

図表 2-7-40 人生会議を行っているか 認定状況別



中学校区別でみると、『話し合ったことがある』では、上之島中学校区が47.6%で最も高くなっています。

図表 2-7-41 人生会議を行っているか 中学校区別

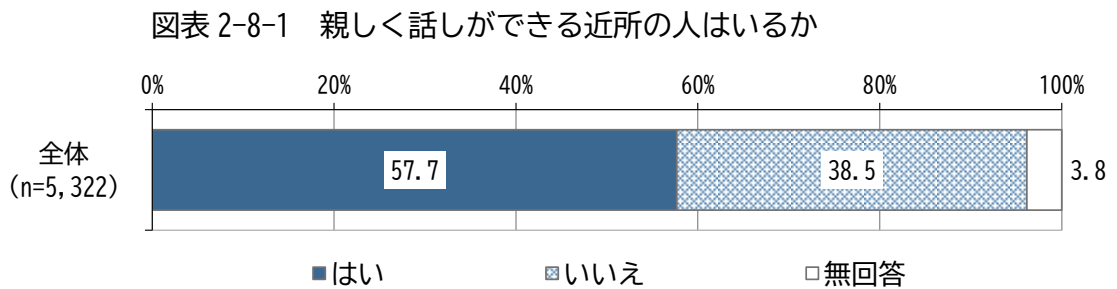


8 たすけあいについて

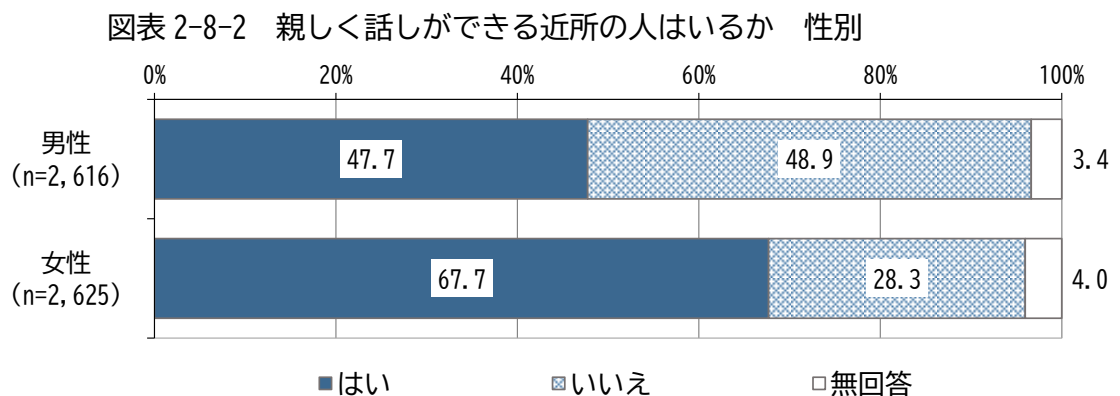
(1) 親しく話しができる近所の人はいるか

問7-1 親しくお話しできる近所の人はいますか。(1つだけ)

親しく話しができる近所の人はいるかについては、「はい」が 57.7%、「いいえ」が 38.5%となっています。

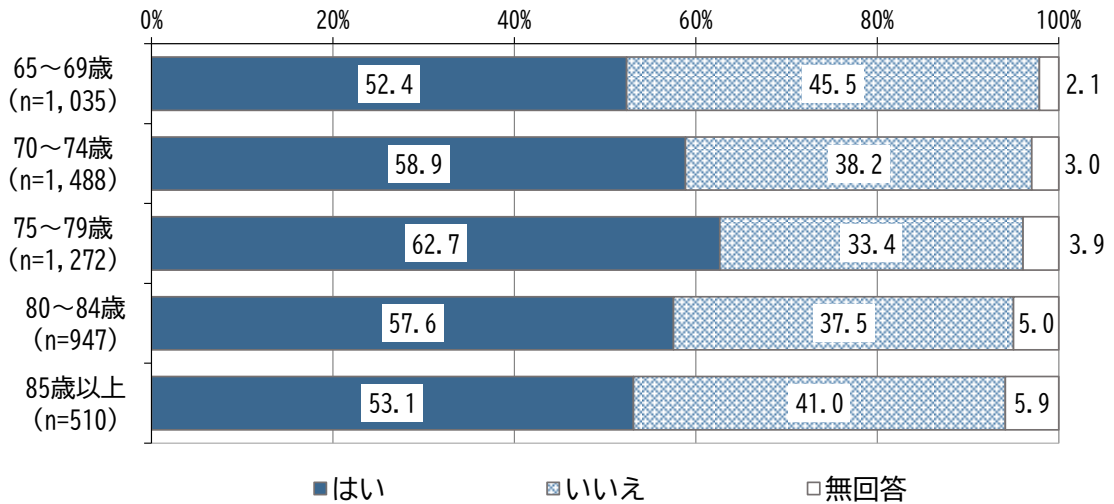


性別でみると、「はい」では、女性が 67.7%で、男性 (47.7%) より 20.0 ポイント高くなっています。



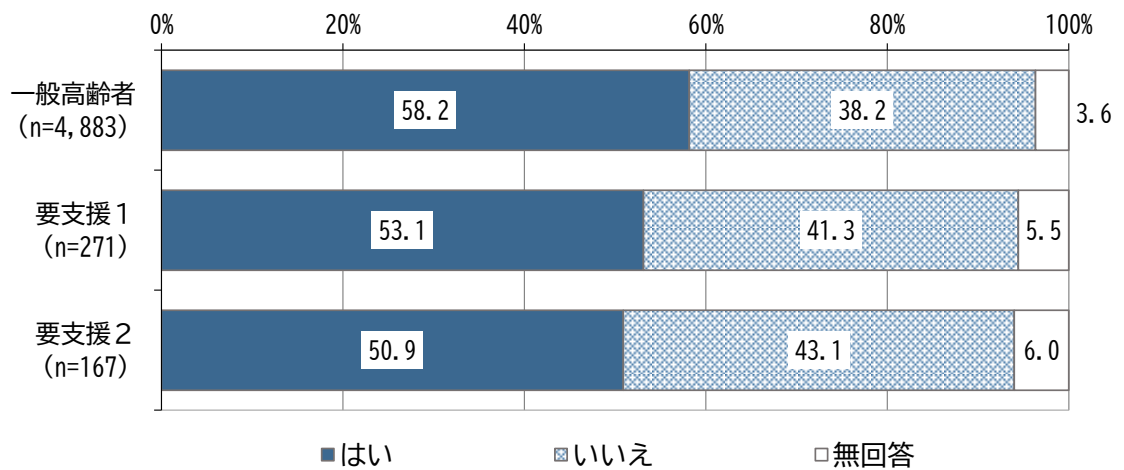
年齢別でみると、「はい」では、75～79歳が62.7%で最も高く、「いいえ」では、65～69歳が45.5%で最も高くなっています。

図表 2-8-3 親しく話しができる近所の人はいるか 年齢別



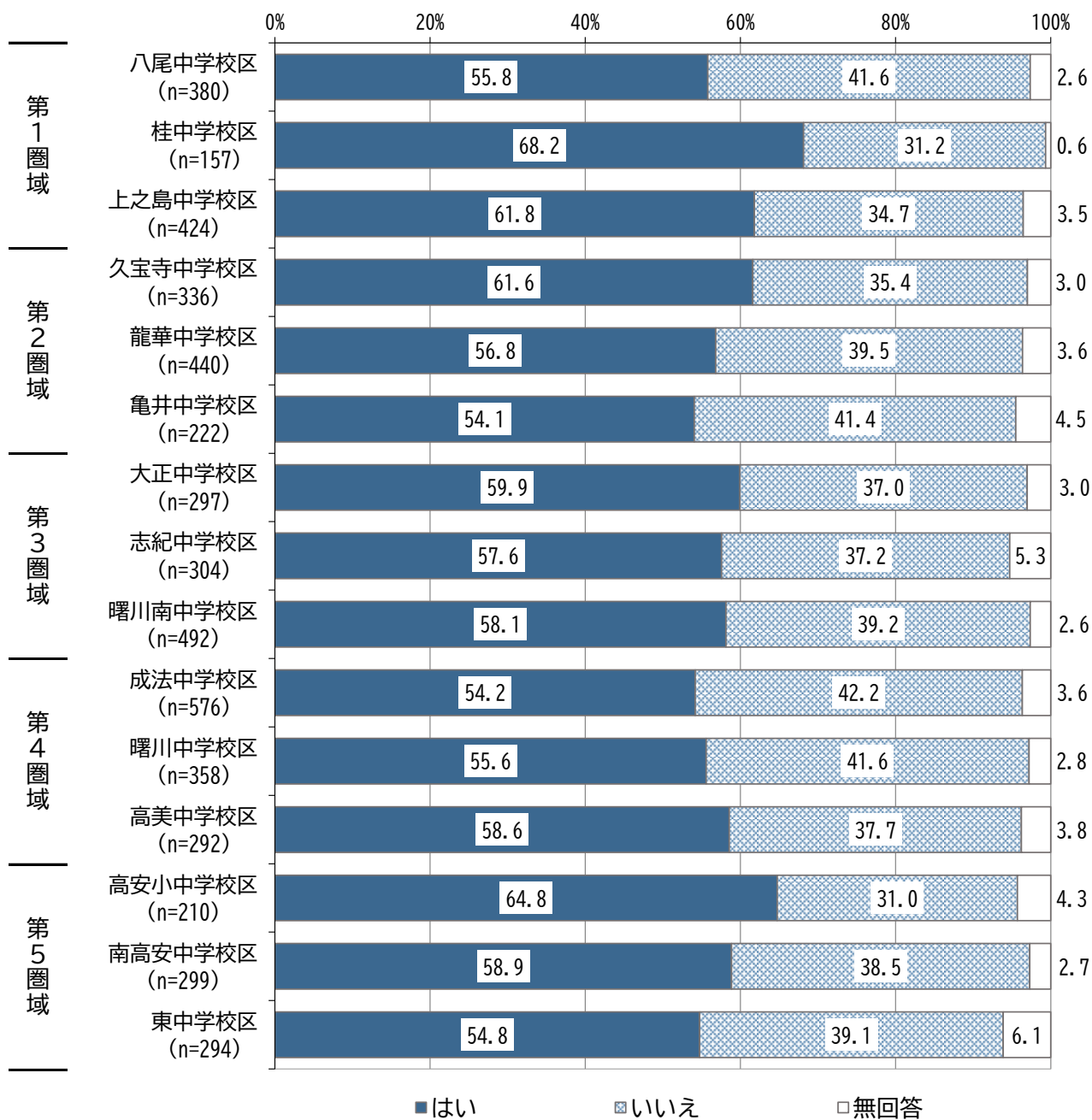
認定状況別でみると、「いいえ」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が43.1%で最も高くなっています。

図表 2-8-4 親しく話しができる近所の人はいるか 認定状況別



中学校区別でみると、「はい」では、桂中学校区が68.2%で最も高く、「いいえ」では、成法中学校区が42.2%で最も高くなっています。

図表 2-8-5 親しく話しができる近所の人はいるか 中学校区別

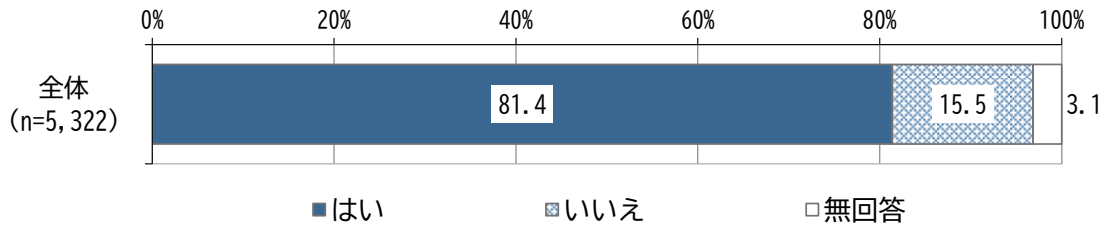


(2) 近所の人以外で親しく行き来するような友達、別居家族または親類はいるか

問7-2 近所の人以外で、親しく行き来するような友達、別居家族または親類はいますか。
(1つだけ)

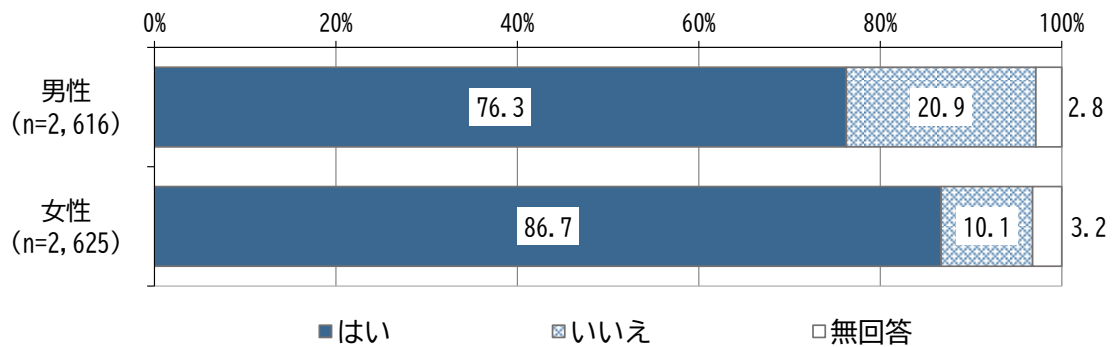
近所の人以外で親しく行き来するような友達、別居家族または親類はいるかについては、「はい」が81.4%、「いいえ」が15.5%となっています。

図表 2-8-6 近所の人以外で親しく行き来するような友達、別居家族または親類はいるか



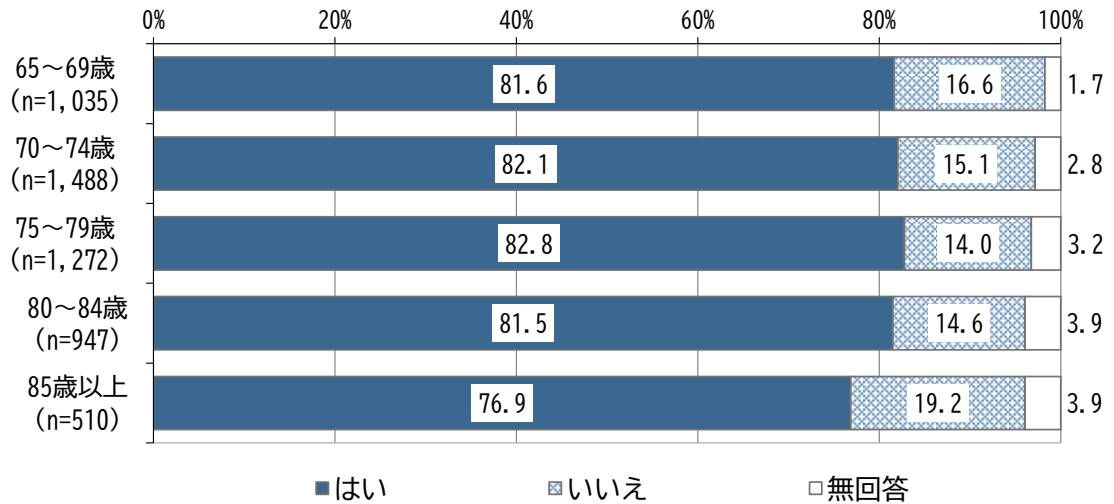
性別で見ると、「はい」では、女性が86.7%で、男性(76.3%)より10.4ポイント高くなっています。

図表 2-8-7 近所の人以外で親しく行き来するような友達、別居家族または親類はいるか 性別



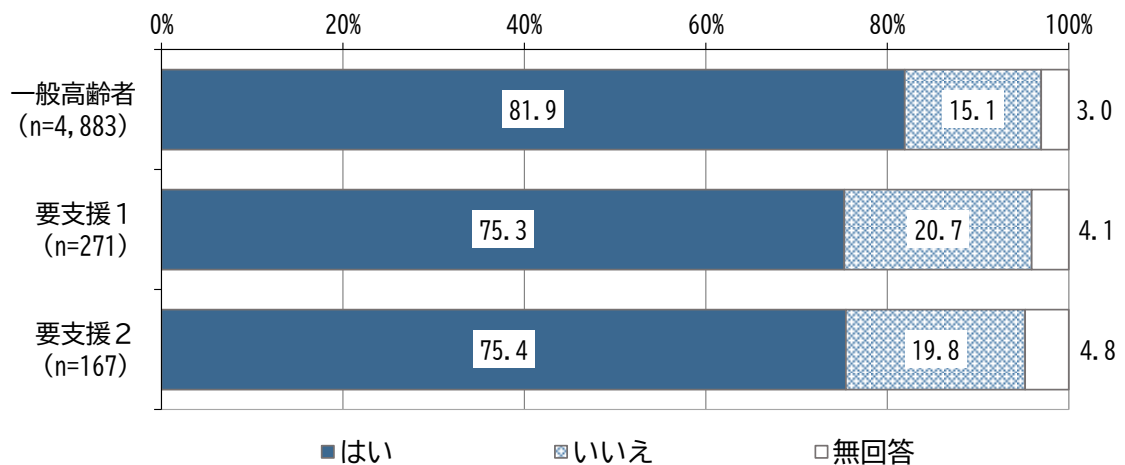
年齢別でみると、「はい」では、75～79歳が82.8%で最も高く、「いいえ」では、85歳以上が19.2%で最も高くなっています。

図表 2-8-8 近所の人以外で親しく行き来するような友達、別居家族または親類はいるか 年齢別



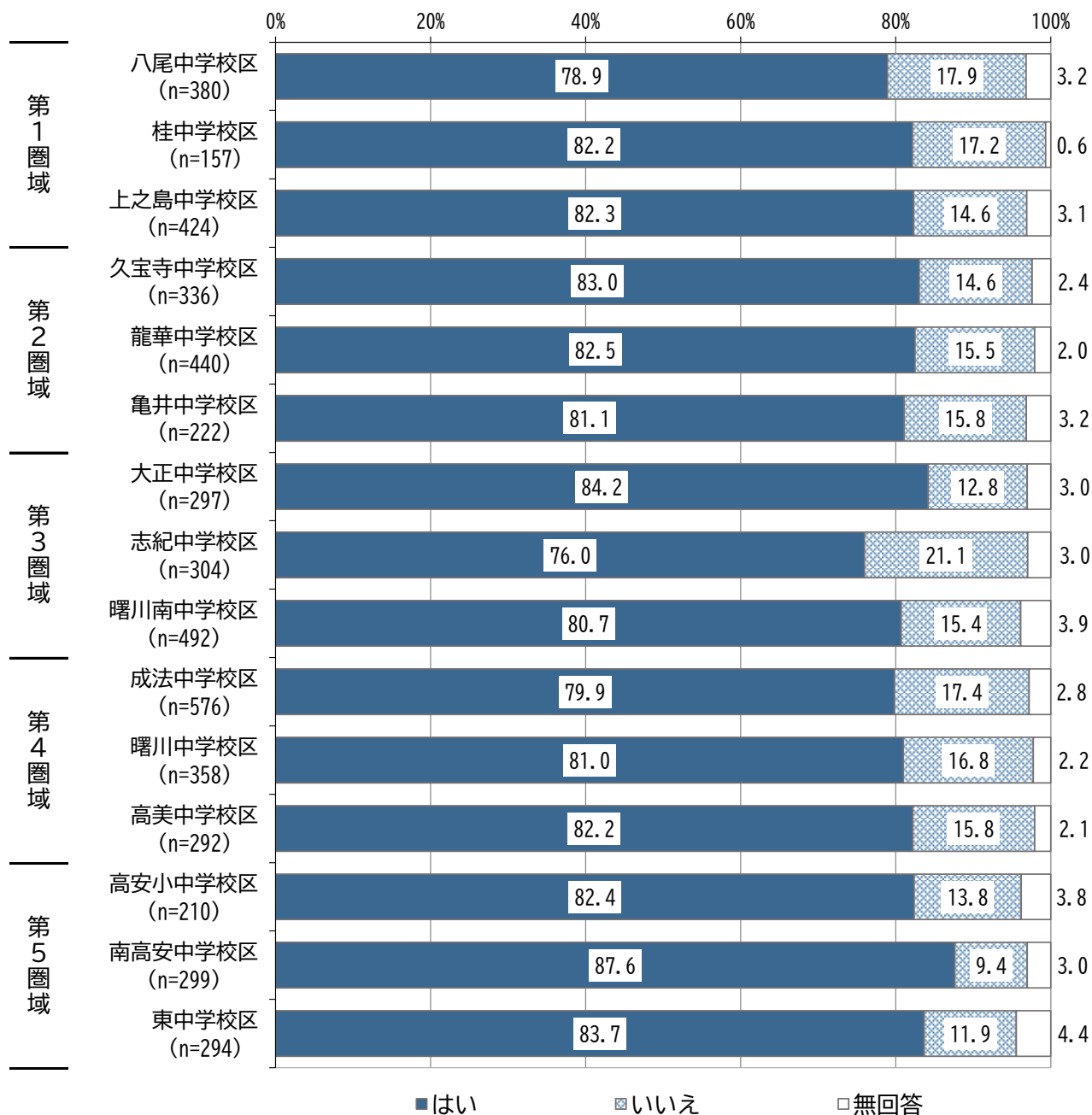
認定状況別でみると、「はい」では、一般高齢者が81.9%で最も高く、「いいえ」では、要支援1が20.7%で最も高くなっています。

図表 2-8-9 近所の人以外で親しく行き来するような友達、別居家族または親類はいるか 認定状況別



中学校区別でみると、「はい」では、南高安中学校区が87.6%で最も高く、「いいえ」では、志紀中学校区が21.1%で最も高くなっています。

図表 2-8-10 近所の人以外で親しく行き来するような友達、別居家族または親類はいるか
中学校区別



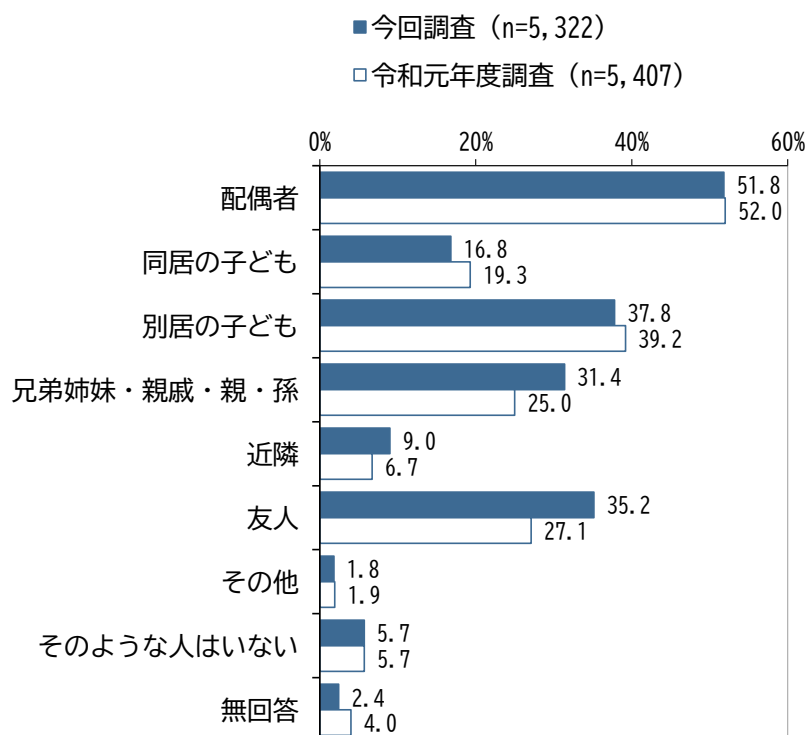
(3) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問7-3 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。(いくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が51.8%で最も高く、次いで「別居の子ども」が37.8%、「友人」が35.2%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「友人」(35.2%)では、令和元(2019)年度調査(27.1%)より8.1ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-8-11 心配事や愚痴を聞いてくれる人



性別でみると、男性では「配偶者」の割合が最も高く、女性では「友人」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、84歳以下では「配偶者」の割合が最も高く、85歳以上では「別居の子ども」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、一般高齢者、要支援1では「配偶者」の割合が最も高く、要支援2では「別居の子ども」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「そのような人はいない」では、八尾中学校区が8.2%で最も高くなっています。

図表 2-8-12 心配事や愚痴を聞いてくれる人 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体		5,322	51.8	16.8	37.8	31.4	9.0	35.2	1.8	5.7	2.4	
性別	男性	2,616	65.4	12.3	29.8	23.5	4.4	23.5	1.9	8.8	2.3	
	女性	2,625	38.8	21.3	46.4	39.3	13.6	47.0	1.7	2.6	2.4	
年齢別	65～69歳	1,035	59.6	15.0	36.3	33.3	6.6	46.0	2.4	5.9	1.4	
	70～74歳	1,488	56.0	16.5	35.7	33.4	11.2	41.1	1.9	6.4	2.0	
	75～79歳	1,272	53.9	16.0	38.7	29.6	8.6	33.8	1.2	4.5	2.8	
	80～84歳	947	44.9	17.7	40.4	31.3	9.5	25.9	1.6	5.0	2.7	
	85歳以上	510	34.3	22.0	42.5	26.9	8.2	17.6	2.2	7.6	3.5	
認定状況別	一般高齢者	4,883	53.2	16.9	37.9	31.7	9.0	36.3	1.7	5.4	2.4	
	要支援1	271	36.2	15.1	34.7	26.6	8.9	21.4	2.2	10.7	3.3	
	要支援2	167	35.9	18.6	41.3	29.3	9.0	25.1	4.2	6.0	1.8	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	42.9	16.8	41.8	26.8	8.4	37.6	2.1	8.2	1.8
		桂中学校区	157	40.8	11.5	38.9	28.0	14.6	35.7	1.3	5.1	0.6
		上之島中学校区	424	53.1	15.8	40.1	32.8	12.3	38.2	1.2	4.7	1.2
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	52.1	19.3	37.8	34.5	10.1	35.1	2.7	5.4	2.4
		龍華中学校区	440	53.4	16.8	38.6	29.3	8.4	31.4	0.9	4.1	2.5
	第3圏域	亀井中学校区	222	55.0	14.0	39.6	28.4	9.9	35.6	2.3	4.5	2.7
		大正中学校区	297	60.3	14.8	38.7	26.3	11.1	36.7	1.0	4.4	1.7
		志紀中学校区	304	52.0	20.4	35.9	34.5	7.9	32.9	2.3	5.3	3.3
		曙川南中学校区	492	56.9	18.1	39.0	32.3	10.0	35.0	2.2	4.9	2.2
	第4圏域	成法中学校区	576	51.6	16.0	35.8	34.7	6.9	34.7	1.9	6.9	2.8
		曙川中学校区	358	48.3	18.4	39.4	30.4	7.3	39.1	1.4	8.1	2.5
		高美中学校区	292	52.1	13.0	36.3	31.5	7.9	36.3	2.1	6.2	1.4
	第5圏域	高安小中学校区	210	56.7	21.9	42.9	32.9	10.5	30.5	1.0	4.3	2.9
南高安中学校区		299	56.2	18.4	38.1	32.4	8.4	38.5	2.7	2.7	3.0	
	東中学校区	294	54.1	17.3	35.4	28.6	6.8	31.6	1.7	6.1	2.4	

※網掛け■は最も割合が高いもの

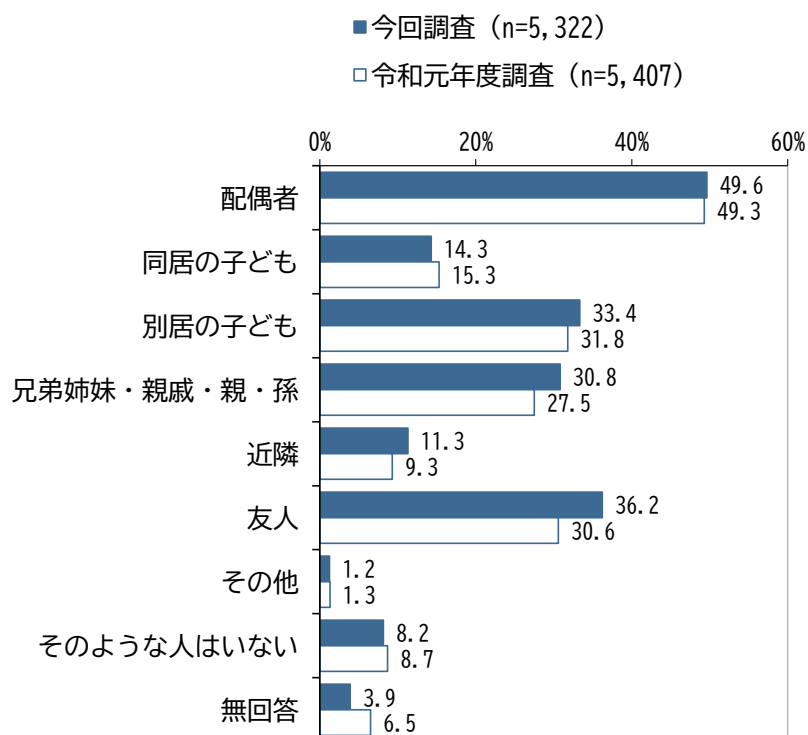
(4) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問7-4 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(いくつでも)

心配事や愚痴を聞いてあげる人「配偶者」が49.6%で最も高く、次いで「友人」が36.2%、「別居の子ども」が33.4%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「友人」(36.2%)では、令和元(2019)年度調査(30.6%)より5.6ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-8-13 心配事や愚痴を聞いてあげる人



性別でみると、男性では「配偶者」の割合が最も高く、女性では「友人」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「配偶者」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、全ての認定状況別で「配偶者」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「そのような人はいない」では、八尾中学校区が12.6%で最も高くなっています。

図表 2-8-14 心配事や愚痴を聞いてあげる人 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体		5,322	49.6	14.3	33.4	30.8	11.3	36.2	1.2	8.2	3.9	
性別	男性	2,616	63.6	11.3	27.9	25.1	5.8	23.9	1.4	10.4	3.5	
	女性	2,625	36.2	17.4	39.4	36.8	16.8	48.7	1.1	5.9	4.0	
年齢別	65～69歳	1,035	59.6	15.0	36.9	34.6	7.9	45.2	1.5	7.1	1.7	
	70～74歳	1,488	53.6	15.6	34.3	33.6	12.4	41.3	1.7	7.3	2.6	
	75～79歳	1,272	49.8	12.9	33.1	28.9	12.2	35.4	0.7	7.1	3.9	
	80～84歳	947	42.8	13.4	31.4	28.5	12.6	29.5	1.0	8.2	5.4	
	85歳以上	510	32.7	15.1	30.0	25.1	10.6	18.6	1.2	15.3	7.8	
状況別	一般高齢者	4,883	51.3	14.7	34.1	31.4	11.4	37.3	1.2	7.5	3.5	
	要支援1	271	31.4	8.5	24.4	24.0	8.9	24.0	1.5	16.6	7.4	
	要支援2	167	32.3	12.6	24.6	26.3	12.0	25.1	1.2	14.4	9.6	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	41.8	16.6	34.2	26.3	12.1	37.4	1.8	12.6	2.6
		桂中学校区	157	42.0	12.1	32.5	28.7	16.6	31.8	1.3	8.3	1.3
		上之島中学校区	424	50.5	13.7	37.3	32.1	14.9	39.4	0.2	7.3	2.6
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	51.2	15.2	37.8	29.8	12.5	35.7	1.5	7.4	3.6
		龍華中学校区	440	51.6	13.6	33.2	30.2	10.0	33.4	0.9	7.0	4.3
		亀井中学校区	222	52.7	12.6	33.8	31.1	10.8	33.8	0.5	6.8	5.4
	第3圏域	大正中学校区	297	56.2	13.8	35.0	28.6	13.5	35.0	1.0	7.1	3.0
		志紀中学校区	304	51.6	16.4	34.5	35.5	9.9	33.6	1.3	9.2	3.0
		曙川南中学校区	492	52.4	15.2	35.0	32.5	12.8	36.2	1.2	7.3	4.1
	第4圏域	成法中学校区	576	48.4	12.5	32.5	32.5	7.5	37.2	1.2	7.3	3.8
		曙川中学校区	358	46.9	14.5	32.4	32.7	10.1	41.1	2.0	10.1	4.5
		高美中学校区	292	50.0	10.3	32.5	24.3	11.6	36.3	1.7	9.2	4.1
	第5圏域	高安小中学校区	210	52.4	21.9	31.9	31.9	12.9	35.2	0.5	10.5	3.3
		南高安中学校区	299	55.9	16.4	35.1	32.4	11.7	40.8	1.0	4.7	4.0
		東中学校区	294	52.4	13.6	28.9	29.9	9.5	34.0	1.7	7.5	4.4

※網掛け■は最も割合が高いもの

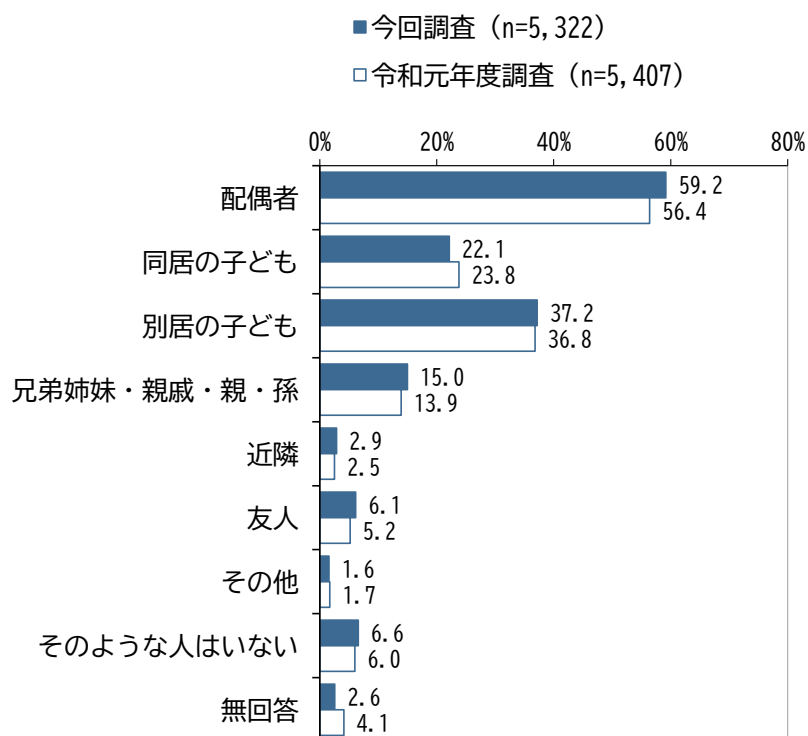
(5) 病気で看病や世話をしてくれる人

問7-5 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(いくつでも)

病気で看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が59.2%で最も高く、次いで「別居の子ども」が37.2%、「同居の子ども」が22.1%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-8-15 病気で看病や世話をしてくれる人



性別でみると、男性・女性いずれも「配偶者」の割合が最も高く、男性が74.0%で、女性(44.8%)より29.2ポイント高くなっています。

年齢別でみると、84歳以下では「配偶者」の割合が最も高く、85歳以上では「別居の子ども」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、「そのような人はいない」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が14.4%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、「そのような人はいない」では、桂中学校区が10.2%で最も高くなっています。

図表 2-8-16 病気で看病や世話をしてくれる人 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体		5,322	59.2	22.1	37.2	15.0	2.9	6.1	1.6	6.6	2.6	
性別	男性	2,616	74.0	17.4	30.4	12.0	1.3	3.0	1.1	7.0	2.1	
	女性	2,625	44.8	26.7	44.3	18.2	4.3	9.4	1.9	6.1	2.7	
年齢別	65～69歳	1,035	70.8	18.9	32.2	14.6	1.9	7.3	1.3	6.3	1.4	
	70～74歳	1,488	63.9	21.0	35.3	16.3	2.8	7.2	1.4	7.1	2.1	
	75～79歳	1,272	59.8	21.7	37.5	14.5	3.3	6.8	1.3	6.0	2.8	
	80～84歳	947	50.7	24.2	42.8	15.0	3.0	3.8	1.7	6.5	3.2	
	85歳以上	510	37.8	29.0	43.3	14.1	3.3	3.7	3.1	6.9	3.3	
認定状況別	一般高齢者	4,883	61.0	22.1	37.0	15.1	2.8	6.4	1.3	5.9	2.5	
	要支援1	271	39.1	22.1	40.6	14.4	3.7	3.3	3.7	13.7	3.3	
	要支援2	167	37.7	24.0	38.3	14.4	3.6	3.6	6.6	14.4	2.4	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	51.8	21.8	38.4	11.1	2.6	5.8	3.2	9.2	1.6
		桂中学校区	157	51.6	15.3	36.9	18.5	3.2	7.0	1.3	10.2	1.3
		上之島中学校区	424	61.6	20.3	39.9	13.9	3.1	8.3	2.1	4.7	1.7
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	58.6	27.1	39.3	17.0	3.6	6.0	1.5	6.3	2.4
		龍華中学校区	440	61.8	21.8	38.4	13.4	2.5	4.5	1.1	5.2	2.5
		亀井中学校区	222	60.8	18.9	40.5	15.8	5.0	8.6	1.4	3.6	3.2
	第3圏域	大正中学校区	297	66.0	21.5	43.8	13.1	1.3	6.1	1.7	4.0	1.7
		志紀中学校区	304	58.2	27.0	36.5	13.8	4.3	6.6	1.3	6.6	3.6
		曙川南中学校区	492	61.0	22.0	37.0	13.2	2.4	4.5	2.0	5.1	2.4
	第4圏域	成法中学校区	576	56.9	21.4	35.4	18.2	2.3	5.6	1.0	8.7	2.4
		曙川中学校区	358	58.9	23.5	38.0	12.6	2.5	6.4	1.1	8.1	2.2
		高美中学校区	292	63.0	21.2	33.9	14.7	3.1	7.2	1.0	5.5	0.7
	第5圏域	高安小中学校区	210	65.7	28.1	40.5	19.5	3.8	4.8	1.9	4.8	2.9
南高安中学校区		299	63.9	20.4	36.8	17.4	2.7	7.0	1.3	6.4	3.0	
	東中学校区	294	61.2	21.8	33.7	15.0	2.0	7.1	1.4	6.8	3.1	

※網掛け■は最も割合が高いもの

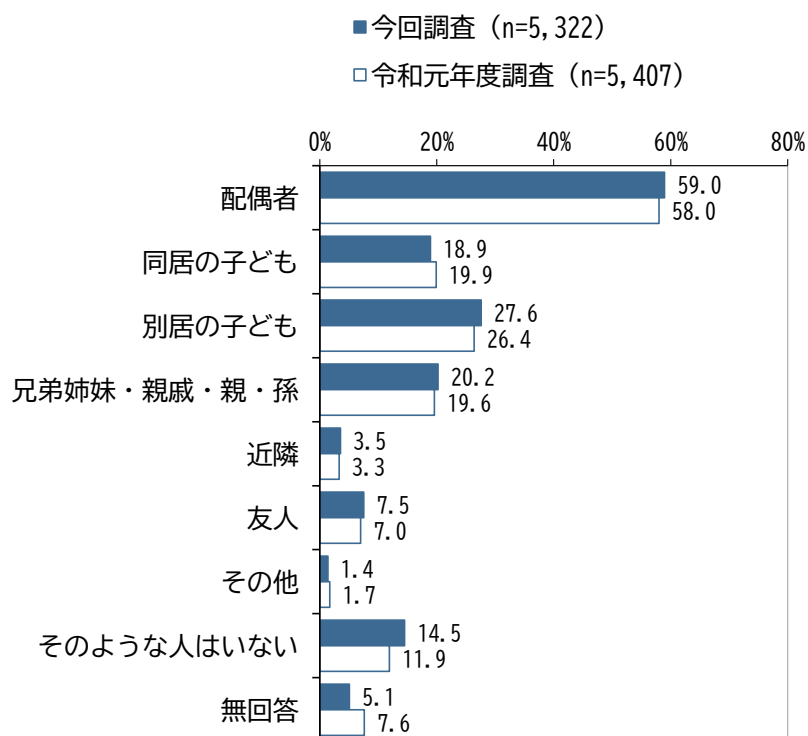
(6) 病気で看病や世話をしあける人

問7-6 反対に、看病や世話をしあける人。(いくつでも)

病気で看病や世話をしあける人については、「配偶者」が59.0%で最も高く、次いで「別居の子ども」が27.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が20.2%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-8-17 病気で看病や世話をしあける人



性別でみると、男性・女性いずれも「配偶者」の割合が最も高く、男性が69.7%で、女性(48.8%)より20.9ポイント高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「配偶者」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、「そのような人はいない」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が37.7%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、「そのような人はいない」では、桂中学校区が17.8%で最も高くなっています。

図表 2-8-18 病気で看病や世話をしあける人 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体		5,322	59.0	18.9	27.6	20.2	3.5	7.5	1.4	14.5	5.1	
性別	男性	2,616	69.7	15.9	21.7	15.8	1.7	3.7	1.3	15.4	4.0	
	女性	2,625	48.8	22.1	33.8	25.0	5.3	11.3	1.4	13.5	5.6	
年齢別	65～69歳	1,035	68.6	19.9	31.4	28.0	2.6	7.6	1.2	10.4	2.0	
	70～74歳	1,488	63.0	20.4	32.1	24.1	3.9	8.7	1.2	12.3	3.3	
	75～79歳	1,272	61.4	18.5	27.9	17.4	3.9	7.9	0.9	13.4	4.8	
	80～84歳	947	51.4	18.1	23.0	16.3	4.1	6.8	1.9	18.0	6.4	
	85歳以上	510	37.6	15.5	15.7	9.2	2.2	3.9	2.5	25.1	12.5	
状況別 認定	一般高齢者	4,883	60.9	19.7	29.1	21.3	3.6	7.7	1.2	12.9	4.4	
	要支援1	271	39.5	11.4	12.5	8.5	2.2	5.5	3.7	29.2	10.7	
	要支援2	167	32.3	7.8	8.4	6.6	3.6	3.6	3.6	37.7	14.4	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	54.7	21.8	29.5	15.8	3.4	7.6	2.1	16.3	3.7
		桂中学校区	157	53.5	16.6	22.9	21.7	7.6	8.9	1.3	17.8	5.1
		上之島中学校区	424	61.8	17.7	31.6	20.5	4.2	7.5	0.5	13.0	5.0
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	57.1	18.8	30.1	22.3	3.3	6.5	1.8	15.5	5.1
		龍華中学校区	440	60.2	19.3	27.5	19.5	2.7	6.4	0.7	14.1	5.2
		亀井中学校区	222	61.3	15.8	27.5	23.4	5.9	9.9	0.5	13.5	5.4
	第3圏域	大正中学校区	297	66.7	18.5	27.6	18.9	3.4	8.1	1.3	11.4	3.7
		志紀中学校区	304	55.6	21.1	24.7	20.4	3.3	8.2	1.3	14.5	7.6
		曙川南中学校区	492	62.6	17.7	29.9	21.1	3.0	6.3	2.0	13.4	4.7
	第4圏域	成法中学校区	576	56.8	19.6	28.3	20.3	2.6	6.9	1.6	14.9	4.0
		曙川中学校区	358	58.7	19.6	28.8	16.5	2.0	6.1	1.7	16.2	3.6
		高美中学校区	292	58.9	15.4	24.7	14.7	5.5	9.2	1.7	16.4	3.8
	第5圏域	高安小中学校区	210	62.4	24.3	26.7	31.0	6.2	7.1	0.5	12.4	5.7
南高安中学校区		299	62.2	19.7	34.4	25.4	4.0	8.4	1.7	13.7	3.0	
東中学校区		294	66.3	19.4	22.8	17.0	2.4	8.2	1.0	10.2	6.1	

※網掛け■は最も割合が高いもの

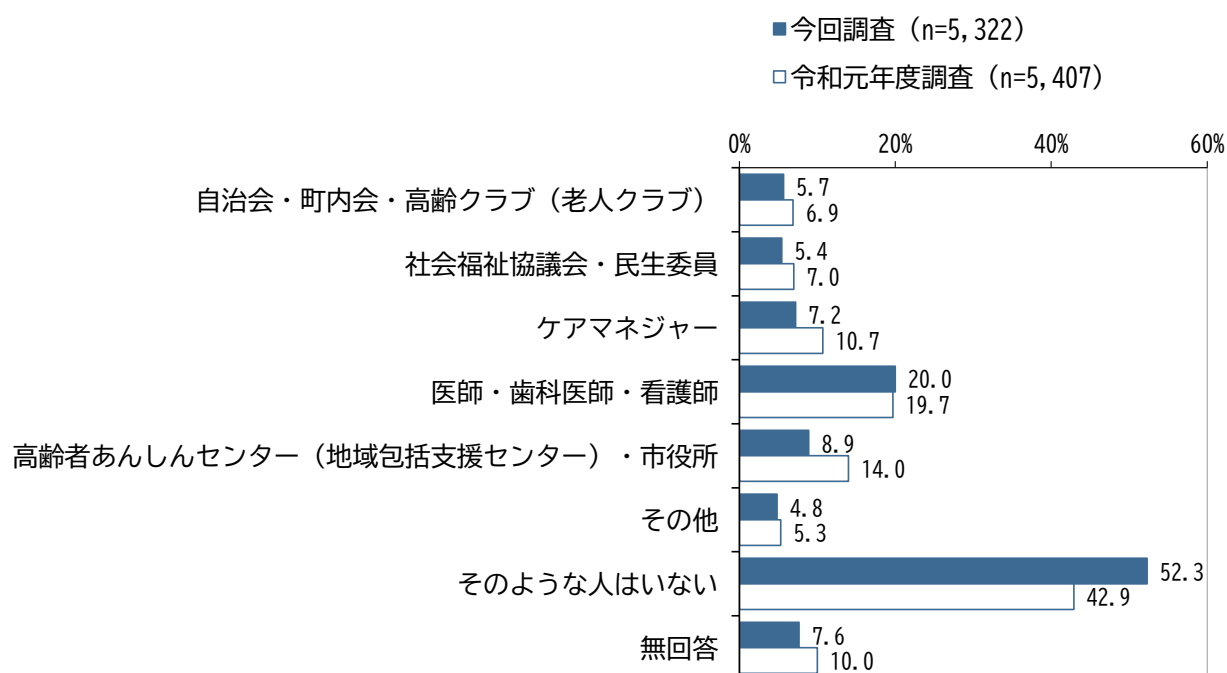
(7) 家族や友人・知人以外の相談相手

問7-7 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも)

家族や友人・知人以外の相談相手については、「そのような人はいない」が52.3%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が20.0%、「高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）・市役所」が8.9%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「そのような人はいない」（52.3%）では、令和元（2019）年度調査（42.9%）より9.4ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-8-19 家族や友人・知人以外の相談相手



性別でみると、「そのような人はいない」では、男性が55.1%で、女性（49.8%）より5.3ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「そのような人はいない」では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳が63.8%で最も高くなっています。

認定状況別でみると、一般高齢者では、「そのような人はいない」の割合が最も高く、要支援1では「ケアマネジャー」、「そのような人はいない」が同率で最も高く、要支援2では「ケアマネジャー」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「そのような人はいない」では、八尾中学校区が61.1%で最も高くなっています。

図表 2-8-20 家族や友人・知人以外の相談相手 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	自治会・町内会・高齢クラブ（老人クラブ）	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）・市役所	その他	そのような人はいない	無回答	
全体		5,322	5.7	5.4	7.2	20.0	8.9	4.8	52.3	7.6	
性別	男性	2,616	6.4	5.5	6.7	18.6	8.4	5.0	55.1	6.6	
	女性	2,625	5.0	5.4	7.7	21.4	9.6	4.8	49.8	8.2	
年齢別	65～69歳	1,035	2.9	3.5	4.0	16.6	5.4	7.0	63.8	3.9	
	70～74歳	1,488	4.6	5.2	4.2	18.2	8.5	5.4	58.5	5.4	
	75～79歳	1,272	7.2	5.7	6.2	19.9	11.4	4.3	48.0	9.4	
	80～84歳	947	7.6	8.0	11.2	23.5	10.5	4.2	42.1	10.0	
	85歳以上	510	7.3	4.7	17.5	26.1	8.8	2.0	41.2	11.2	
状況別	一般高齢者	4,883	5.8	5.4	4.6	19.8	8.3	5.0	54.4	7.5	
	要支援1	271	5.2	4.8	31.0	22.5	14.4	4.4	31.0	10.7	
	要支援2	167	4.2	7.8	44.9	21.6	19.2	1.2	24.6	6.0	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	5.0	4.7	5.8	16.3	8.9	2.1	61.1	4.5
		桂中学校区	157	9.6	13.4	6.4	23.6	9.6	3.2	49.0	6.4
		上之島中学校区	424	6.1	4.7	8.7	18.2	9.4	5.2	54.0	7.1
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	6.5	7.4	6.5	19.3	8.0	4.2	52.4	9.5
		龍華中学校区	440	6.1	3.2	8.0	19.1	8.4	4.5	52.3	8.9
		亀井中学校区	222	5.0	2.3	5.4	24.3	9.0	3.6	50.9	8.1
	第3圏域	大正中学校区	297	9.4	7.1	6.7	22.9	10.1	5.4	47.5	5.7
		志紀中学校区	304	4.9	5.3	6.9	20.7	8.2	5.3	55.3	8.6
		曙川南中学校区	492	5.1	6.3	9.6	19.3	10.0	4.9	52.0	5.9
	第4圏域	成法中学校区	576	5.6	4.7	8.9	21.5	7.5	5.7	50.2	7.6
		曙川中学校区	358	2.0	3.9	6.1	23.5	8.1	5.0	54.5	5.9
		高美中学校区	292	4.5	3.8	5.5	18.2	11.0	4.1	55.5	8.6
	第5圏域	高安小中学校区	210	9.0	7.6	6.7	21.4	5.2	5.2	49.0	7.6
南高安中学校区		299	4.3	8.7	5.4	18.1	12.0	5.0	51.8	5.4	
	東中学校区	294	6.1	5.1	8.2	21.8	10.2	6.5	47.3	9.2	

※網掛け■は最も割合が高いもの

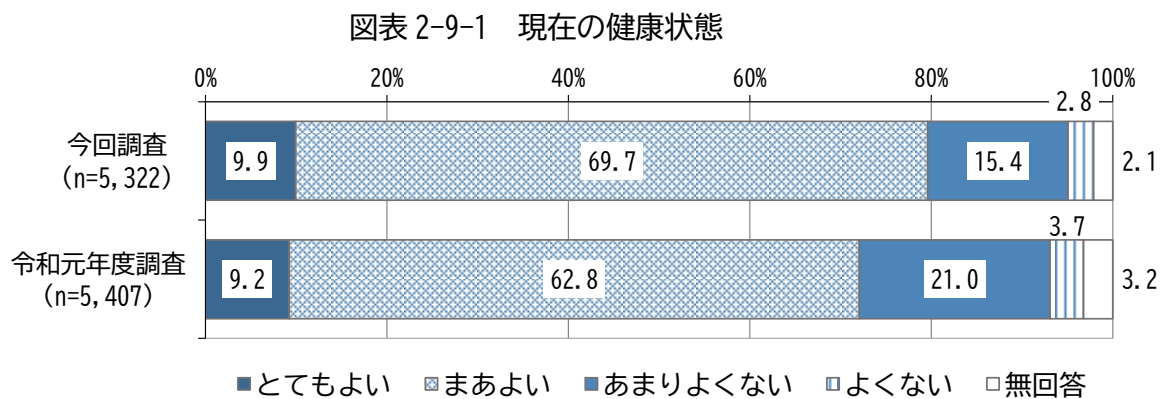
9 健康について

(1) 現在の健康状態

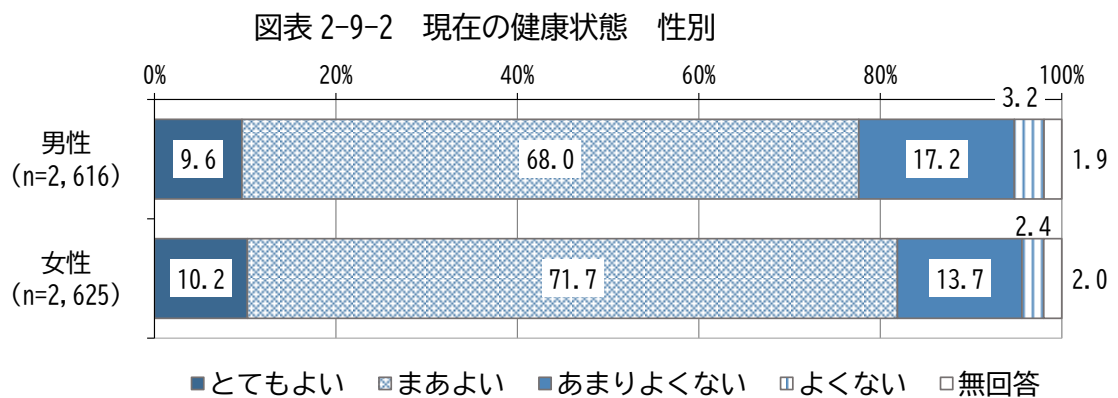
問8-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ)

現在の健康状態については、「まあよい」が69.7%で最も高く、次いで「あまりよくない」が15.4%、「とてもよい」が9.9%と続いています。

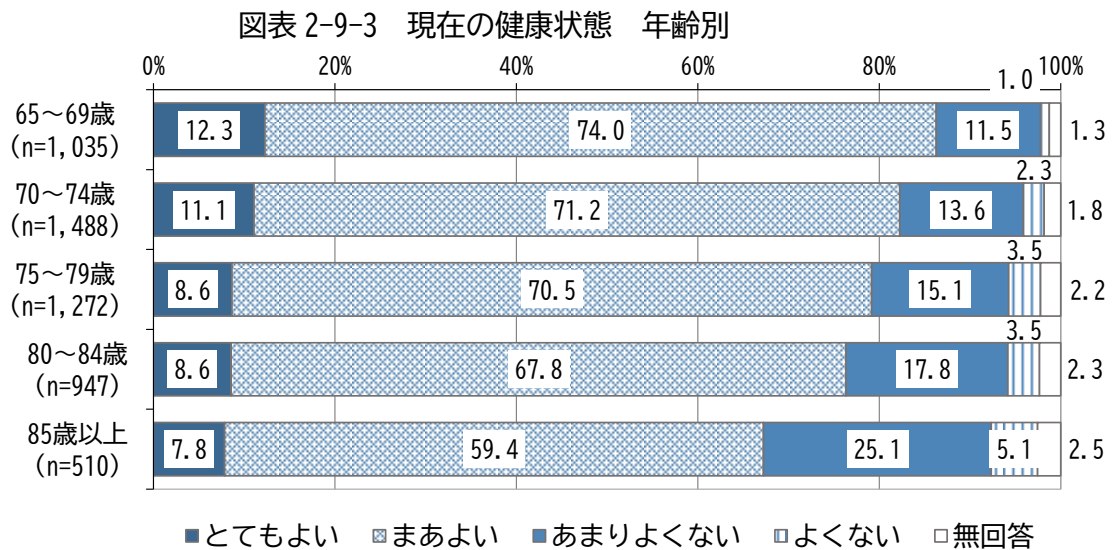
令和元(2019)年度調査と比較すると、『よい』(「とてもよい」と「まあよい」の合計)(79.6%)では、令和元(2019)年度調査(72.0%)より7.6ポイント増加しています。



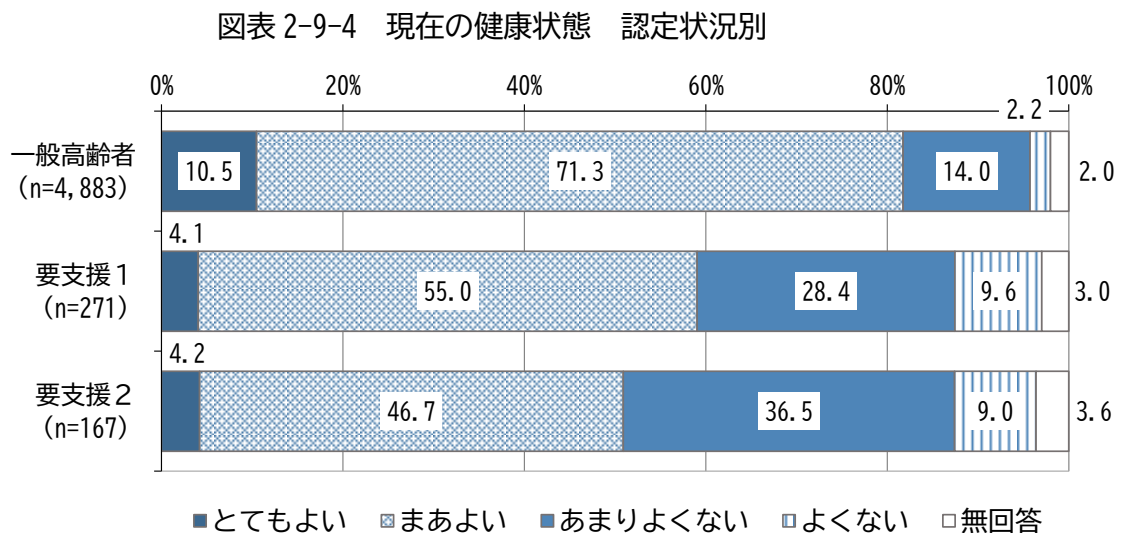
性別でみると、『よい』では、女性が81.9%で、男性(77.6%)より4.3ポイント高くなっています。



年齢別でみると、『よくない』（「あまりよくない」と「よくない」の合計）では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が30.2%で最も高くなっています。

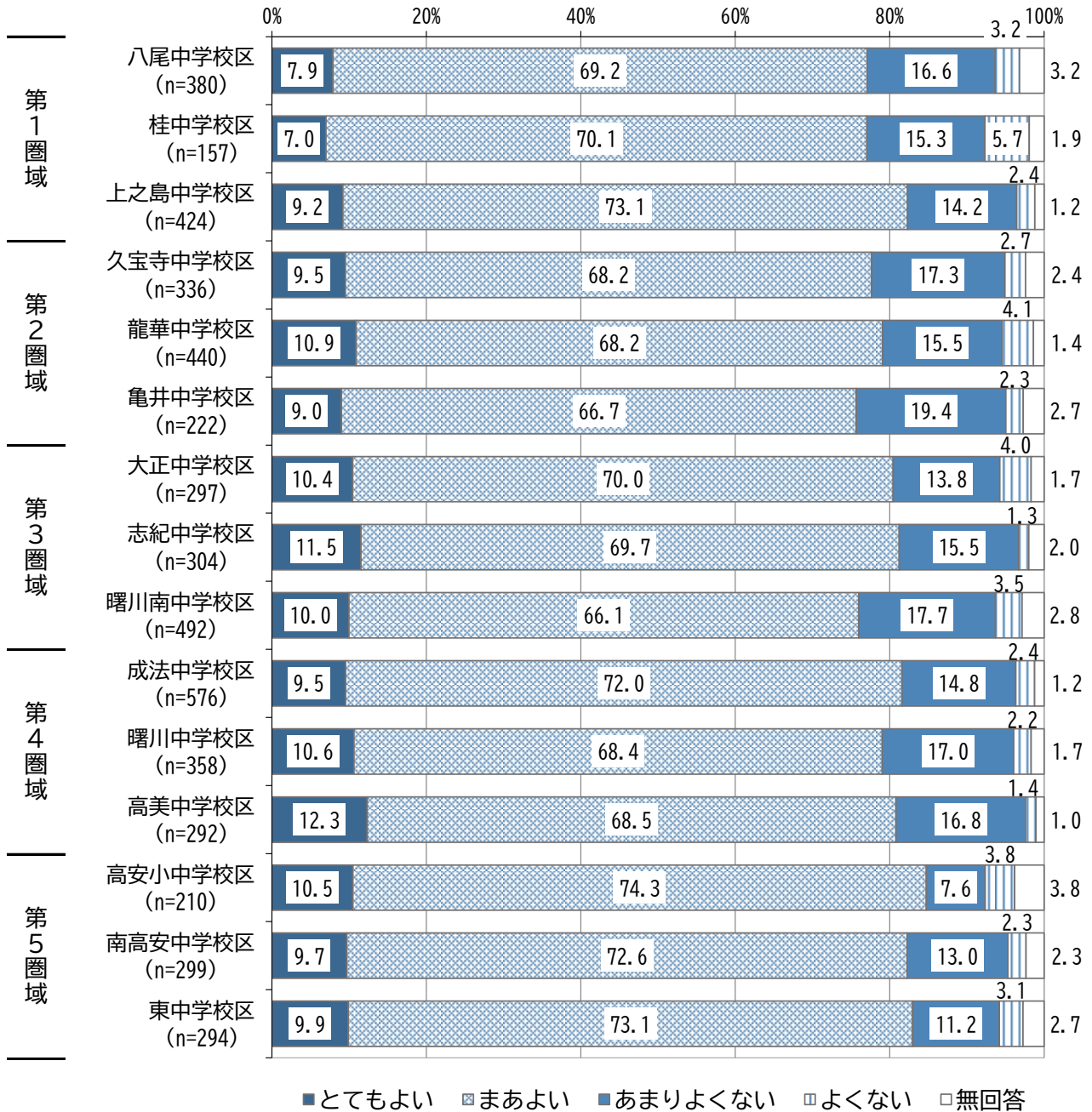


認定状況別でみると、『よくない』では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が45.5%で最も高くなっています。

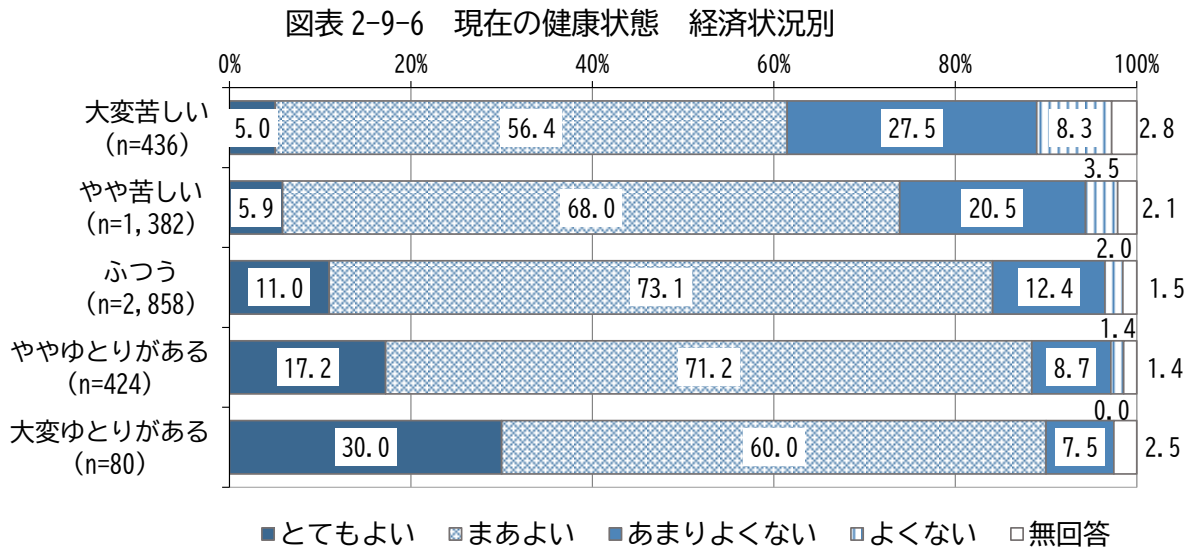


中学校区別でみると、『よい』では、高安小中学校区が84.8%で最も高く、『よくない』では、亀井中学校区が21.7%で最も高くなっています。

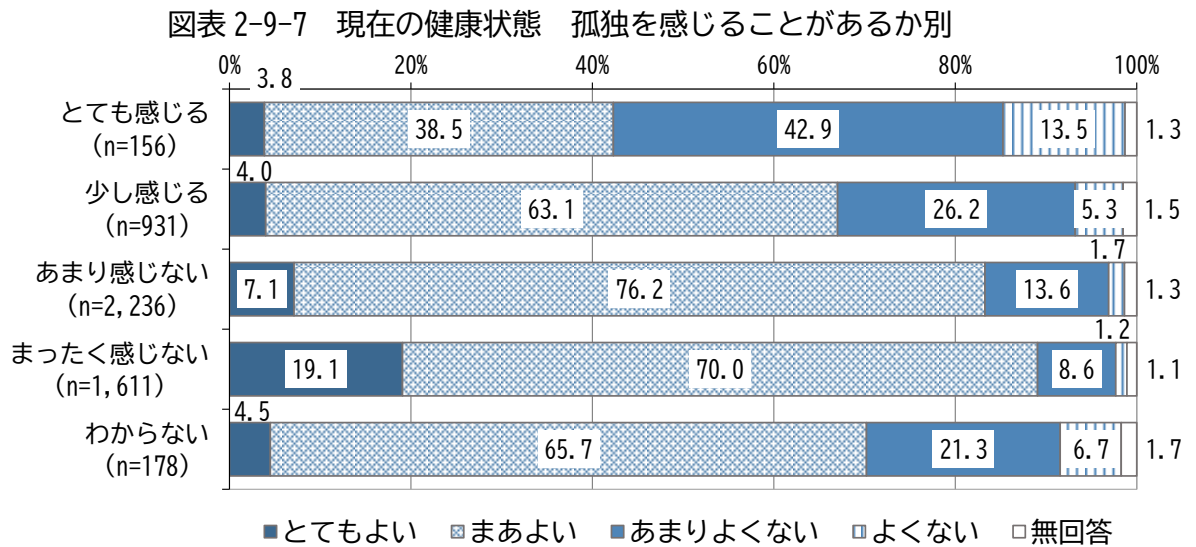
図表 2-9-5 現在の健康状態 中学校区別



経済状況別でみると、『よくない』では、経済状況を苦しいと感じる度合いが強くなるにつれて割合が増加しており、経済状況を「大変苦しい」と感じる人が35.8%で最も高くなっています。



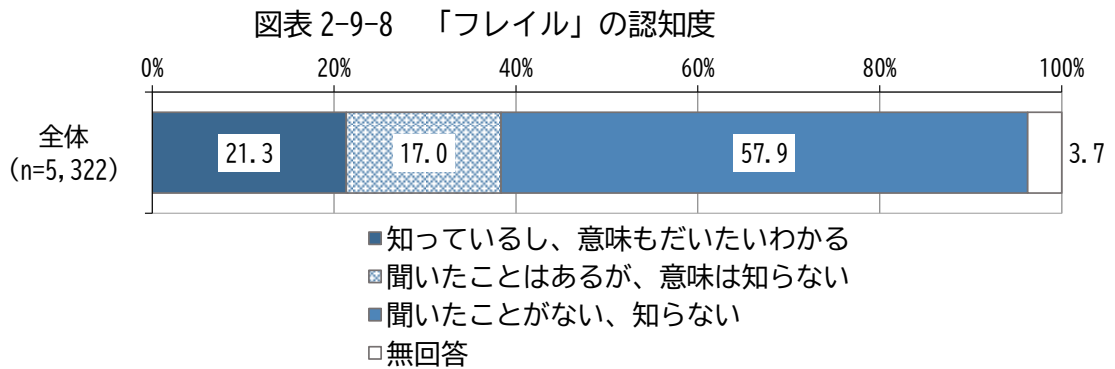
孤独を感じることがあるか（問8-10）別でみると、『よくない』では、孤独を感じる度合いが強くなるにつれて割合が増加しており、孤独を「とても感じる」人が56.4%で最も高くなっています。



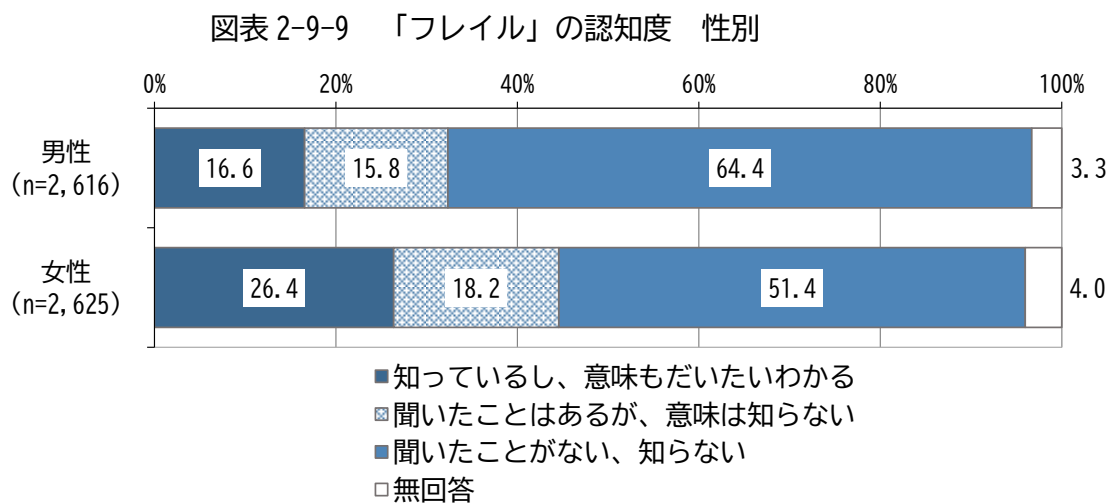
(2) 「フレイル」の認知度

問8-2 「フレイル」という言葉を知っていますか。(1つだけ)。

「フレイル」の認知度については、「聞いたことがない、知らない」が57.9%で最も高く、次いで「知っているし、意味もだいたいわかる」が21.3%、「聞いたことはあるが、意味は知らない」が17.0%となっています。

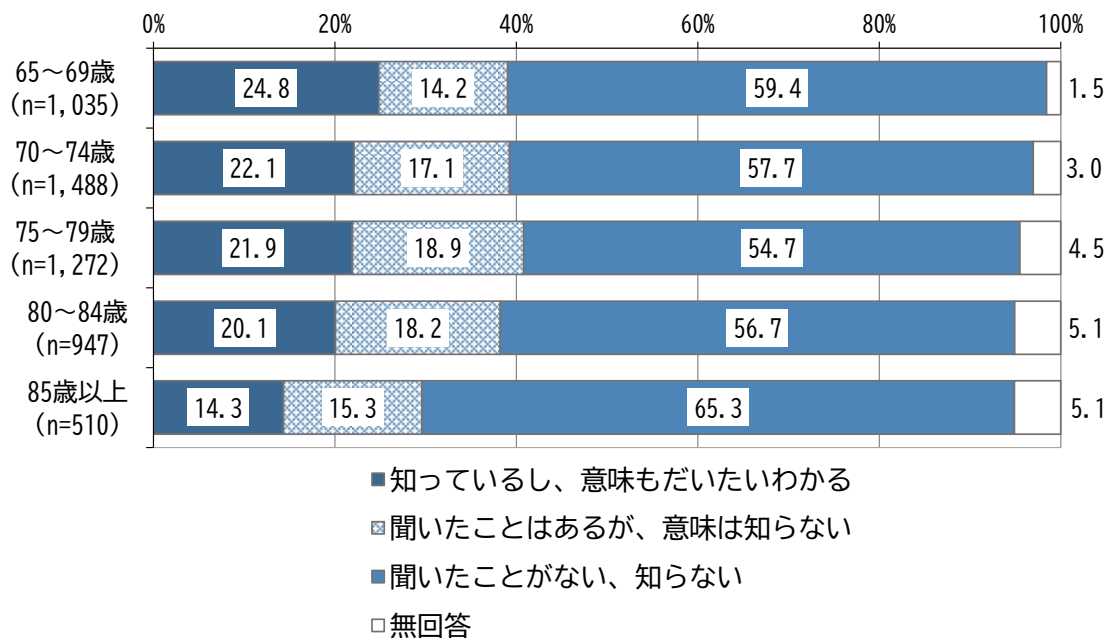


性別でみると、「知っているし、意味もだいたいわかる」では、女性が26.4%で、男性(16.6%)より9.8ポイント高くなっています。



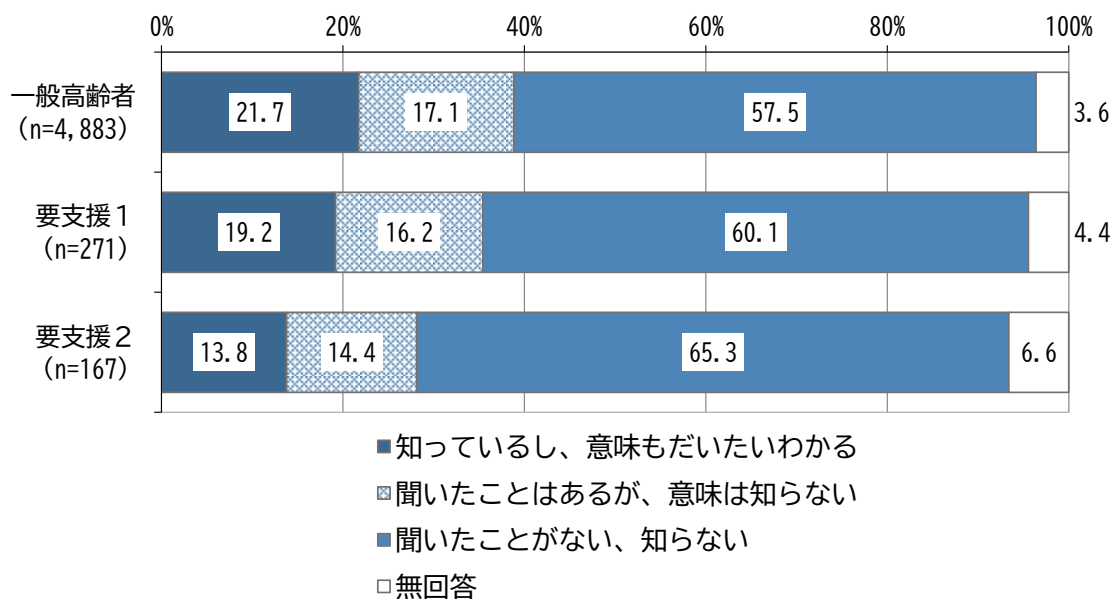
年齢別でみると、「知っているし、意味もだいたいわかる」では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳が24.8%で最も高くなっています。

図表 2-9-10 「フレイル」の認知度 年齢別



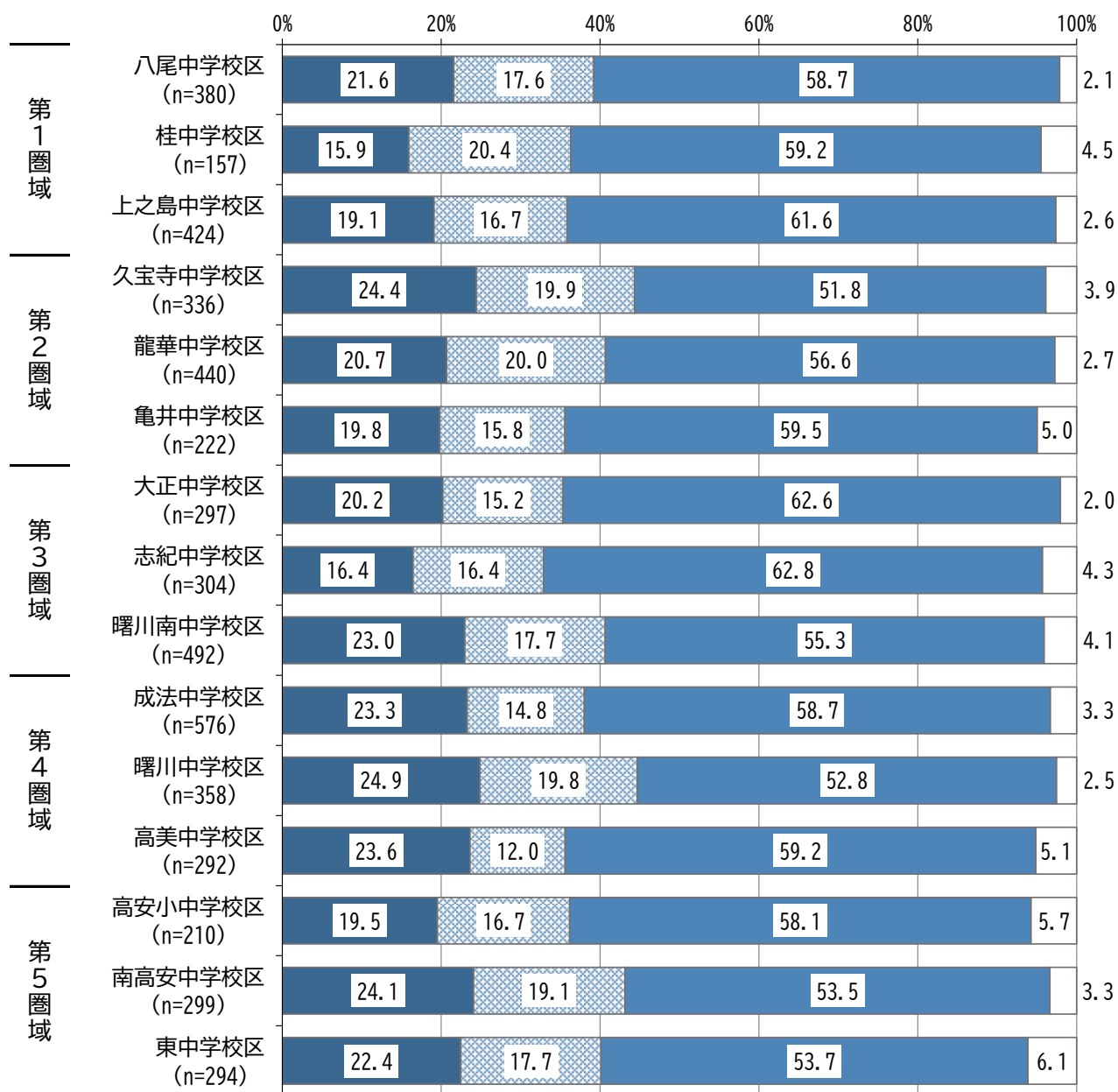
認定状況別でみると、「聞いたことがない、知らない」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が65.3%で最も高くなっています。

図表 2-9-11 「フレイル」の認知度 認定状況



中学校区別でみると、「知っているし、意味もだいたいわかる」では、曙川中学校区が24.9%で最も高くなっています。

図表 2-9-12 「フレイル」の認知度 中学校区別

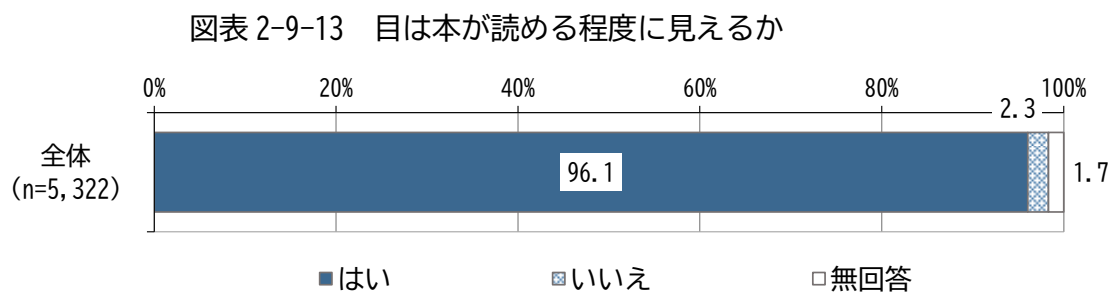


- 知っているし、意味もだいたいわかる
- ▨ 聞いたことはあるが、意味は知らない
- 聞いたことがない、知らない
- 無回答

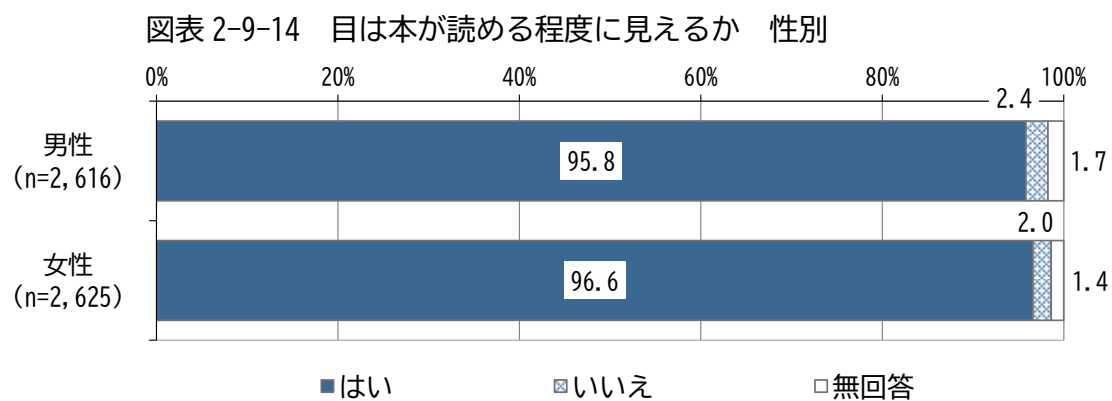
(3) 目は本が読める程度に見えるか

問8-3 目は、本が読める程度（眼鏡を使った状態も含む）に見えますか。（1つだけ）

目は本が読める程度に見えるかについては、「はい」が96.1%、「いいえ」が2.3%となっています。

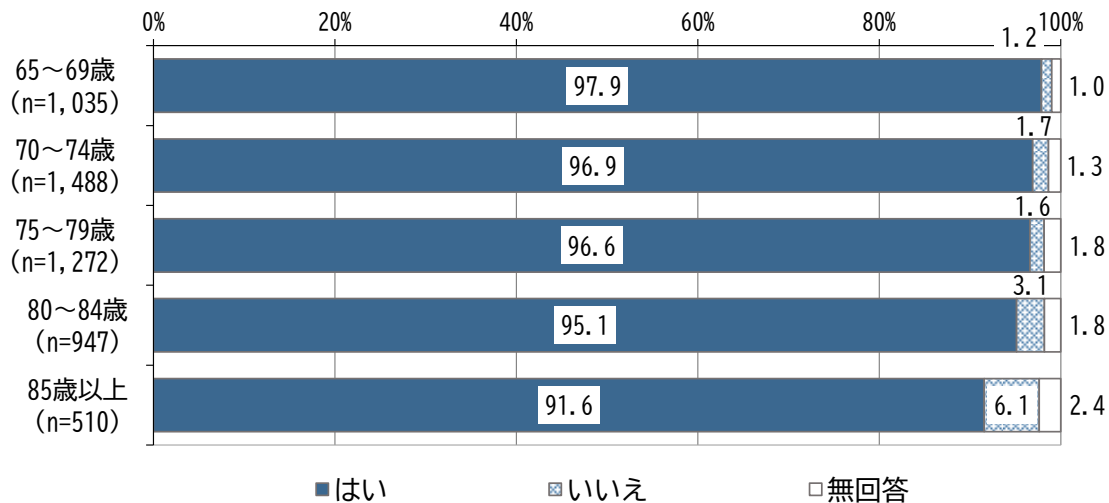


性別でみると、「はい」では、男性が95.8%、女性が96.6%となっています。



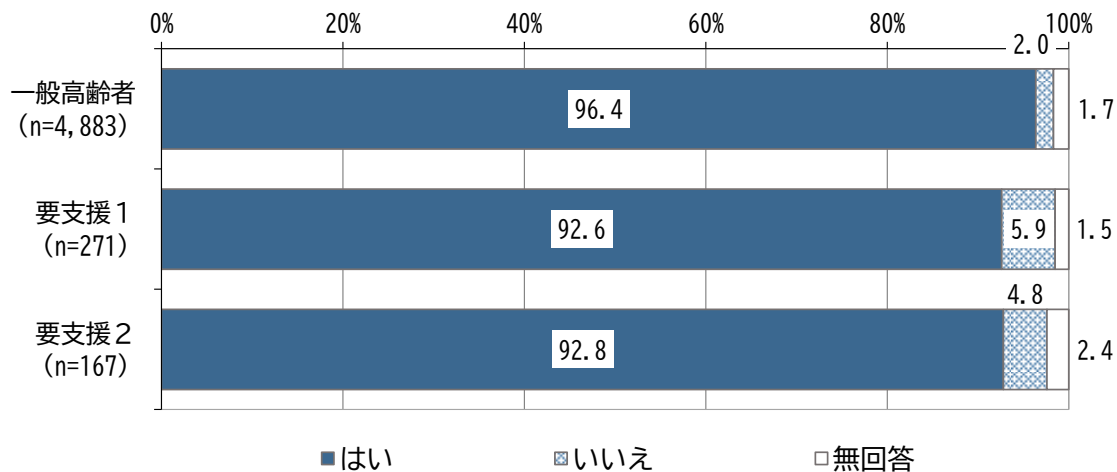
年齢別でみると、「いいえ」では、年齢が上がるにつれて概ね割合が増加しており、85歳以上が6.1%で最も高くなっています。

図表 2-9-15 目は本が読める程度に見えるか 年齢別



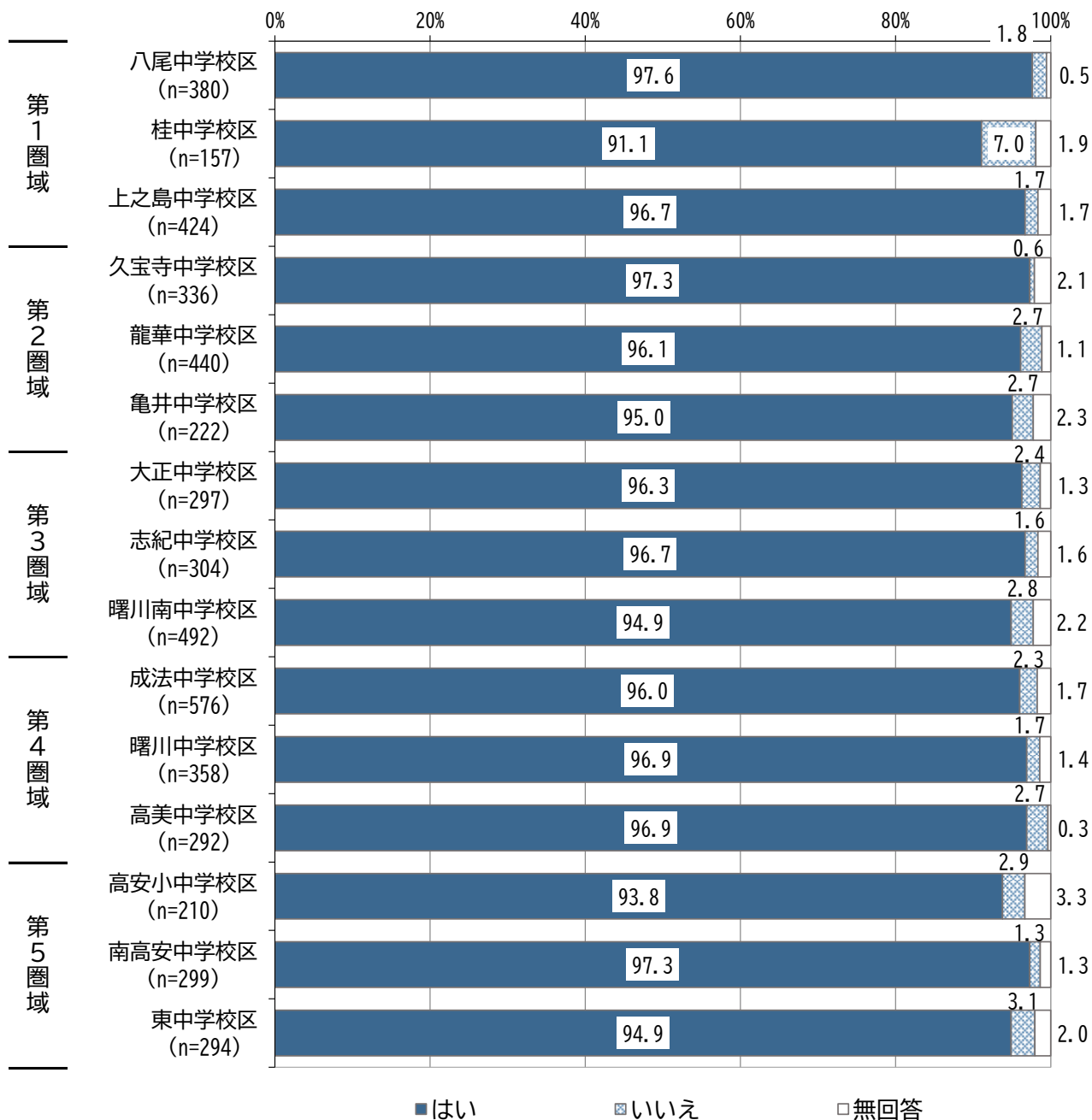
認定状況別でみると、「いいえ」では、要支援1が5.9%で最も高くなっています。

図表 2-9-16 目は本が読める程度に見えるか 認定状況別



中学校区別でみると、「はい」では、八尾中学校区が97.6%で最も高く、「いいえ」では、桂中学校区が7.0%で最も高くなっています。

図表 2-9-17 目は本が読める程度に見えるか 中学校区別

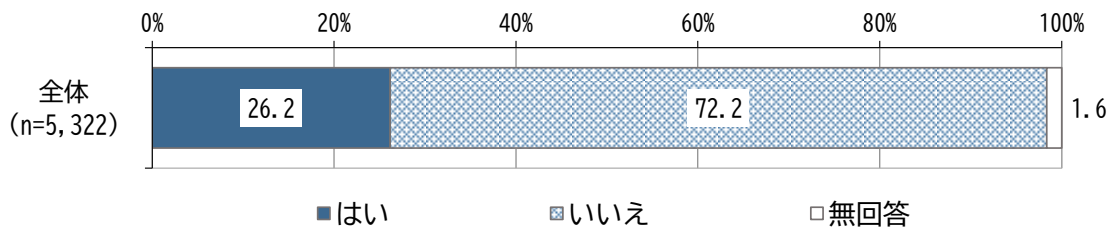


(4) 話し声が聞こえづらく会話に困ったことがあるか

問8-4 話し声が聞こえづらく、会話に困ったことがありますか。(1つだけ)

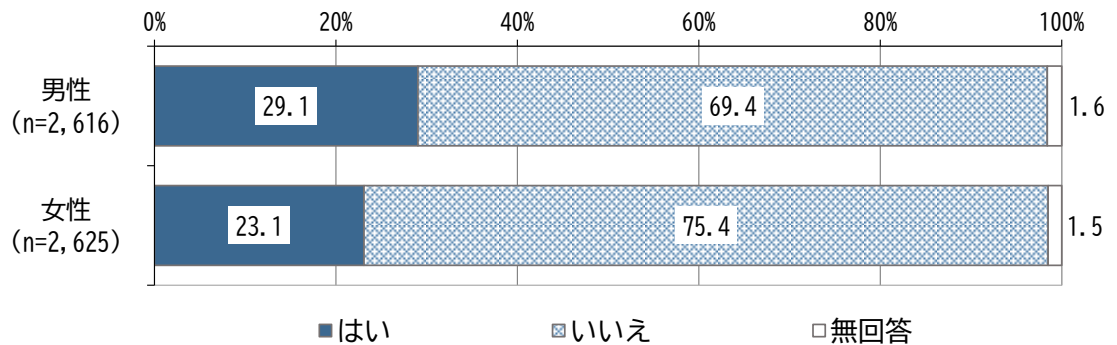
話し声が聞こえづらく会話に困ったことがあるかについては、「はい」が26.2%、「いいえ」が72.2%となっています。

図表 2-9-18 話し声が聞こえづらく会話に困ったことがあるか



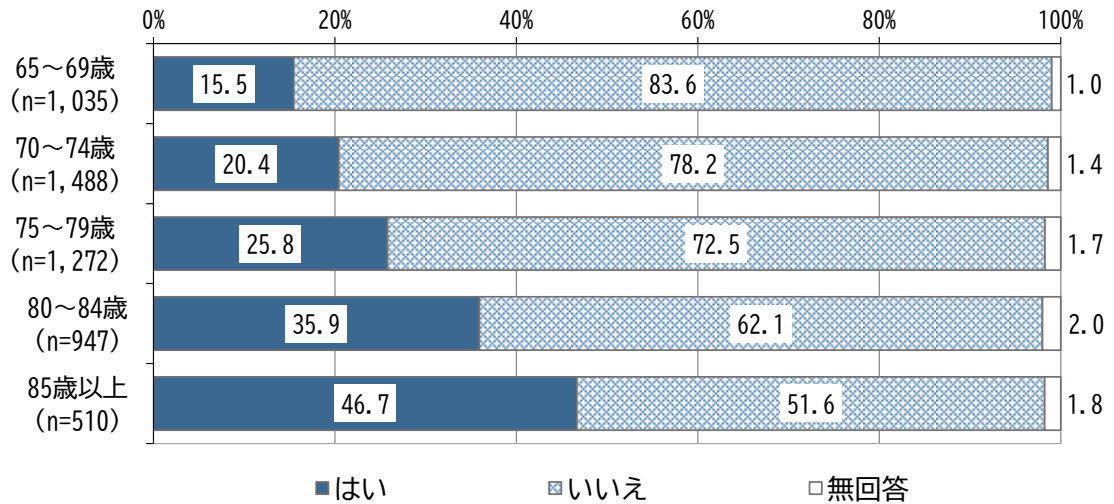
性別でみると、「はい」では、男性が29.1%で、女性(23.1%)より6.0ポイント高くなっています。

図表 2-9-19 話し声が聞こえづらく会話に困ったことがあるか 性別



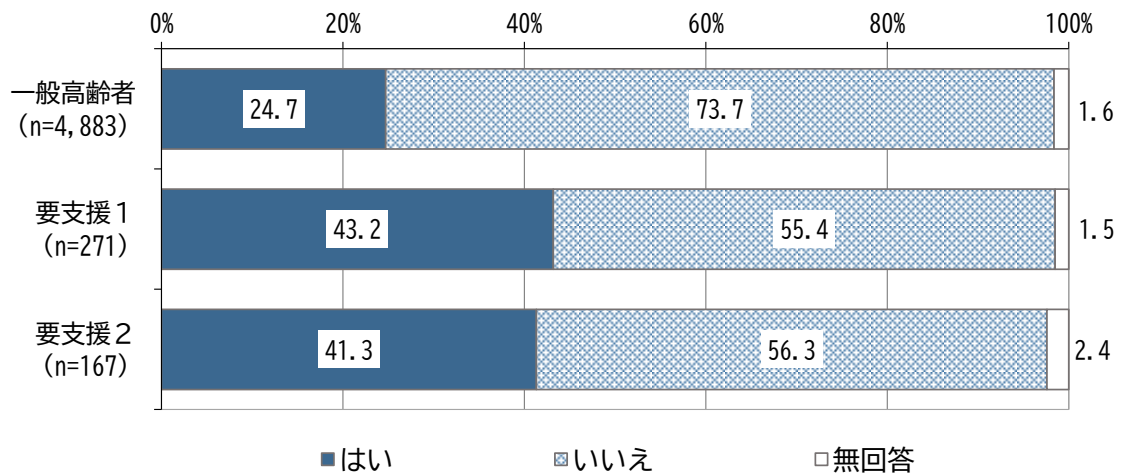
年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が46.7%で最も高くなっています。

図表 2-9-20 話し声が聞こえづらく会話に困ったことがあるか 年齢別



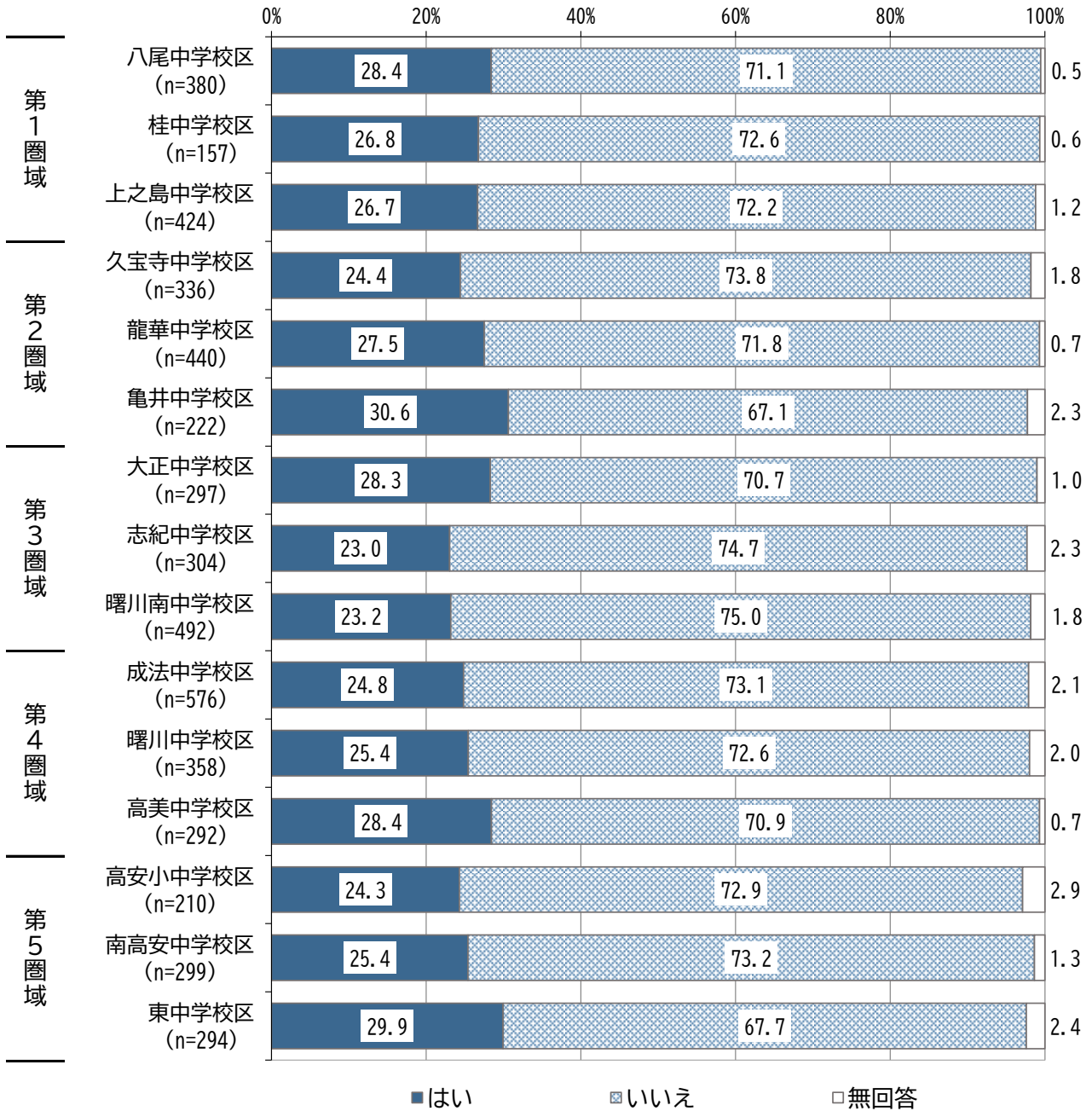
認定状況別でみると、「はい」では、要支援1が43.2%で最も高くなっています。

図表 2-9-21 話し声が聞こえづらく会話に困ったことがあるか 認定状況別



中学校区別でみると、「はい」では、亀井中学校区が30.6%で最も高く、「いいえ」では、曙川南中学校区が75.0%で最も高くなっています。

図表 2-9-22 話し声が聞こえづらく会話に困ったことがあるか 中学校区別

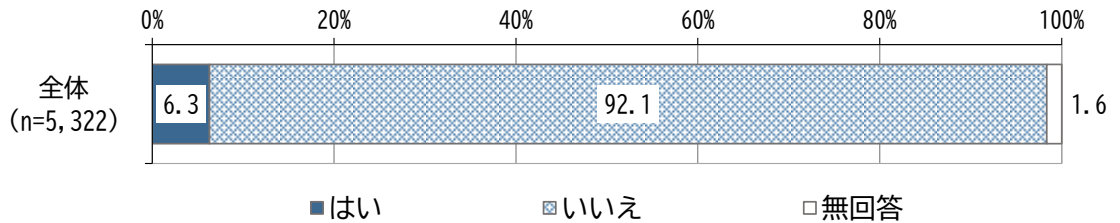


(5) 補聴器を使用しているか

問8-5 補聴器を使用していますか。(1つだけ)

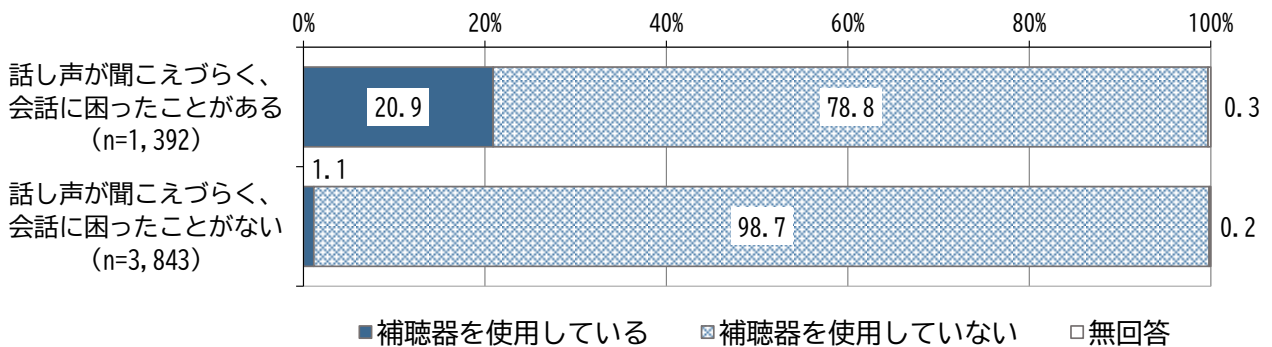
補聴器を使用しているかについては、「はい」が6.3%、「いいえ」が92.1%となっています。

図表 2-9-23 補聴器を使用しているか



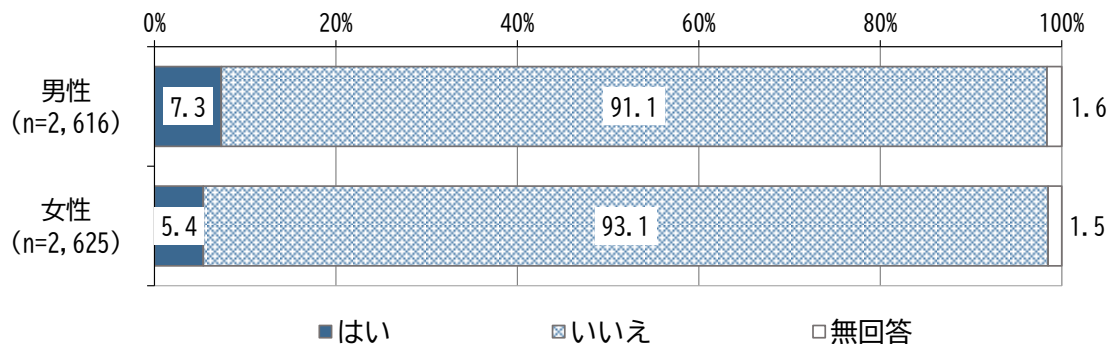
話し声が聞こえづらく会話に困ったことがあるか別でみると、話し声が聞こえづらく、会話に困ったことがある人で「補聴器を使用している」割合は20.9%となっています。

図表 2-9-24 補聴器を使用しているか 話し声が聞こえづらく会話に困ったことがあるか別

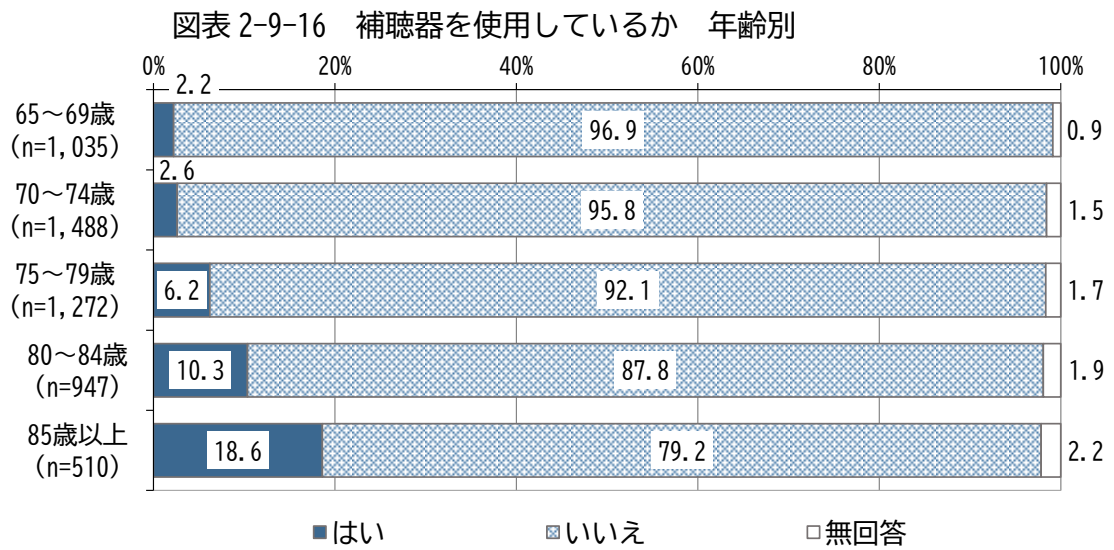


性別でみると、「はい」では、男性が7.3%、女性が5.4%となっています。

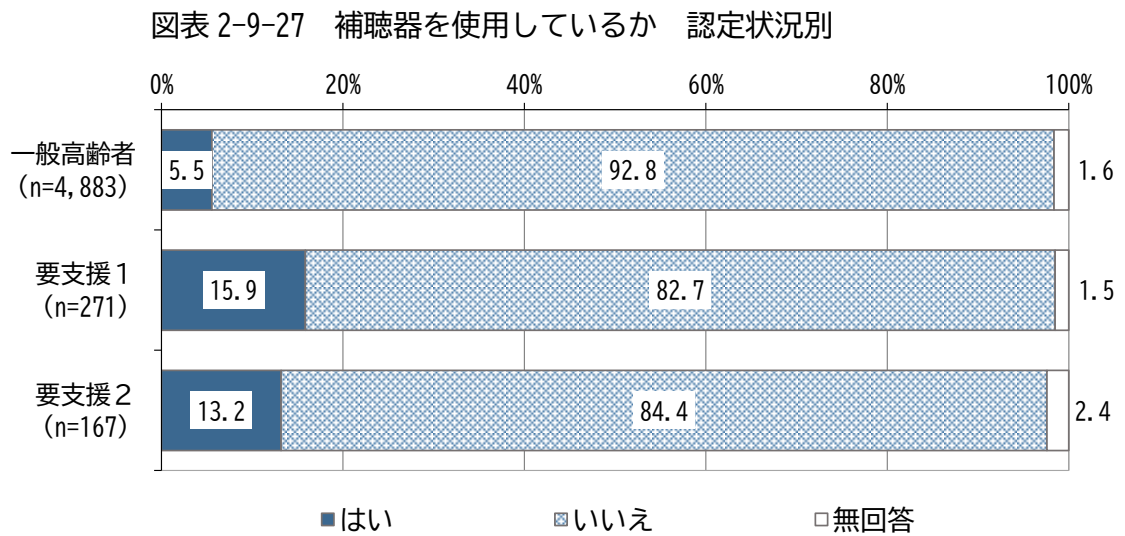
図表 2-9-25 補聴器を使用しているか 性別



年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が18.6%で最も高くなっています。

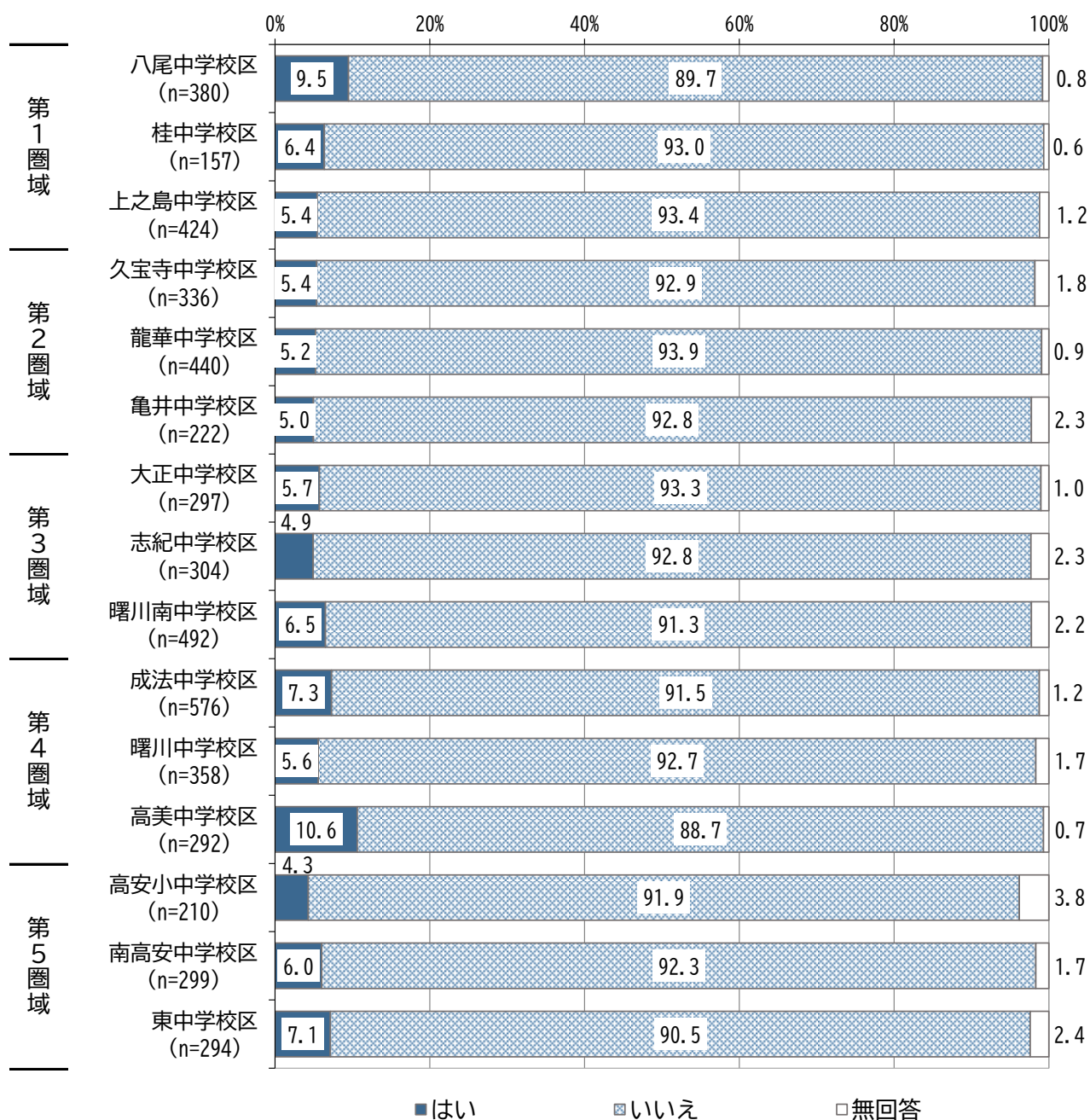


認定状況別でみると、「はい」では、要支援1が15.9%で最も高くなっています。



中学校区別でみると、「はい」では、高美中学校区が10.6%で最も高くなっています。

図表 2-9-28 補聴器を使用しているか 中学校区別

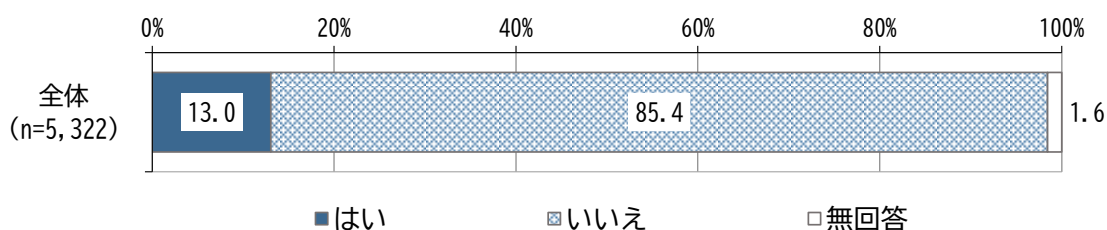


(6) この1年間での入院したことがあるか

問8-6 この1年間で入院したことはありますか。(1つだけ)

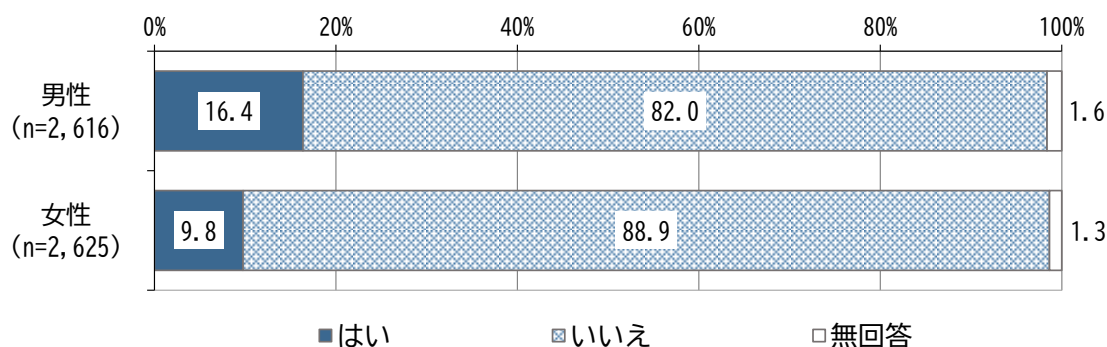
この1年間での入院したことがあるかについては、「はい」が13.0%、「いいえ」が85.4%となっています。

図表 2-9-29 この1年間での入院したことがあるか



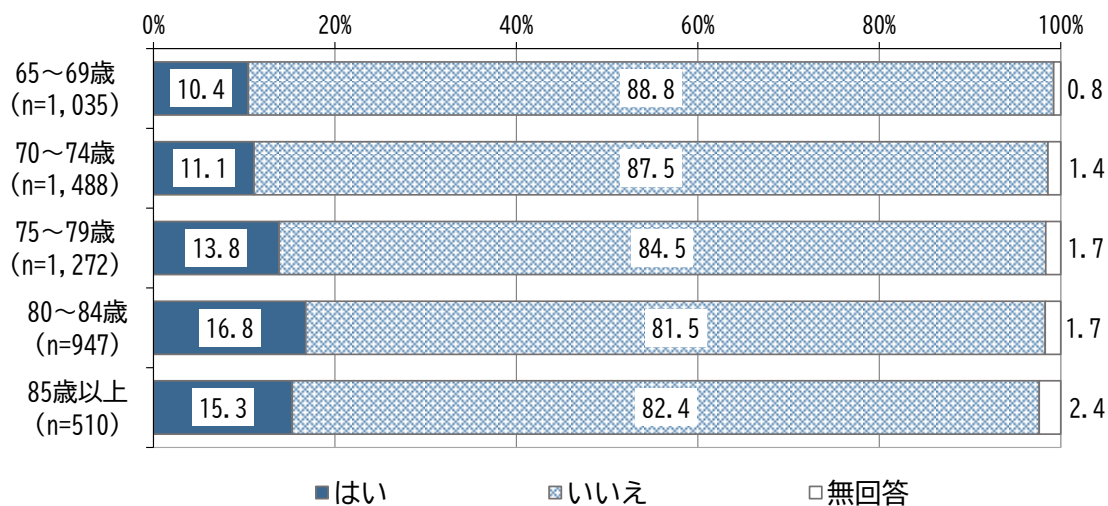
性別で見ると、「はい」では、男性が16.4%で、女性(9.8%)より6.6ポイント高くなっています。

図表 2-9-30 この1年間での入院したことがあるか 性別



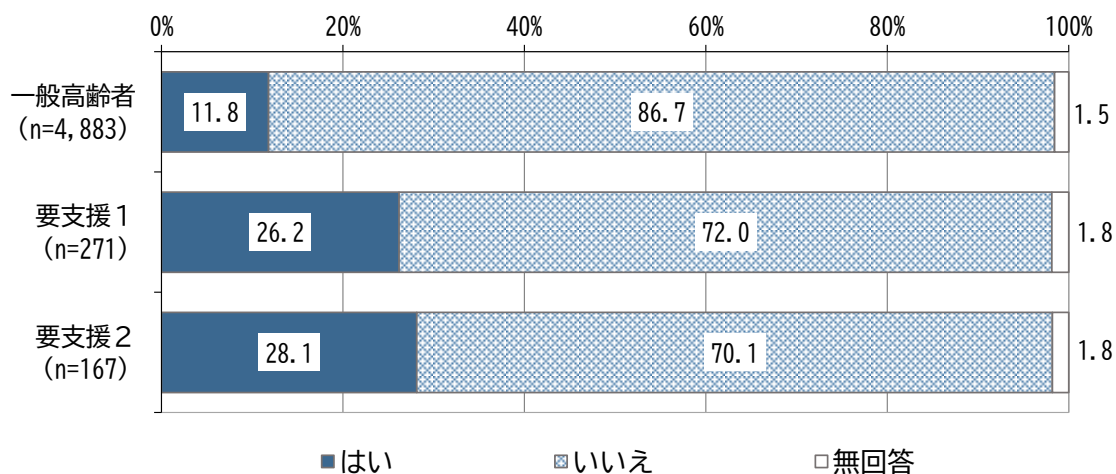
年齢別でみると、「はい」では、84歳以下で年齢が上がるにつれて割合が増加しており、80～84歳が16.8%で最も高くなっています。

図表 2-9-31 この1年間の入院したことがあるか 年齢別



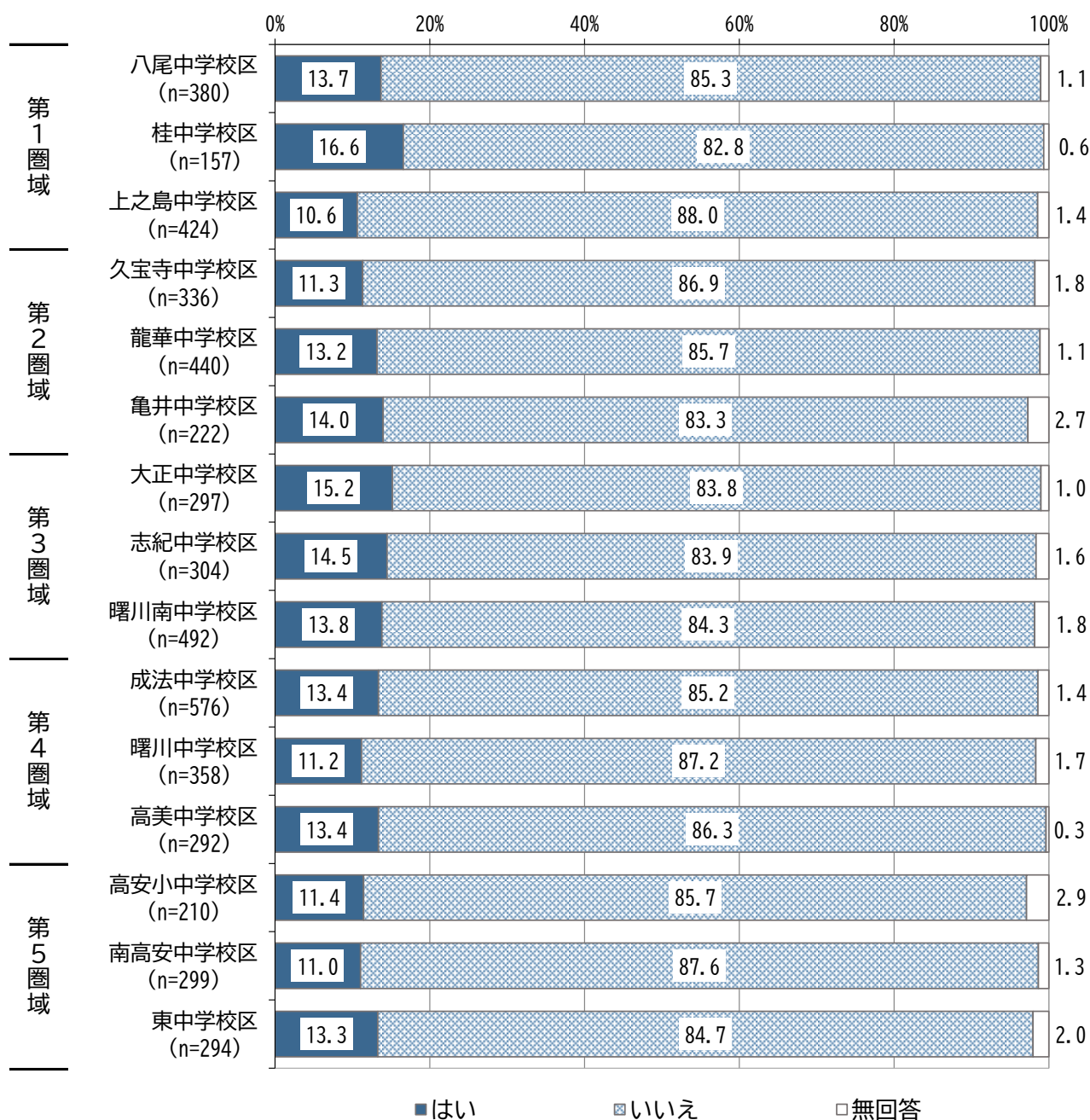
認定状況別でみると、「はい」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が28.1%で最も高くなっています。

図表 2-9-32 この1年間の入院したことがあるか 認定状況別



中学校区別でみると、「はい」では、桂中学校区が16.6%で最も高くなっています。

図表 2-9-33 この1年間での入院したことがあるか 中学校区別



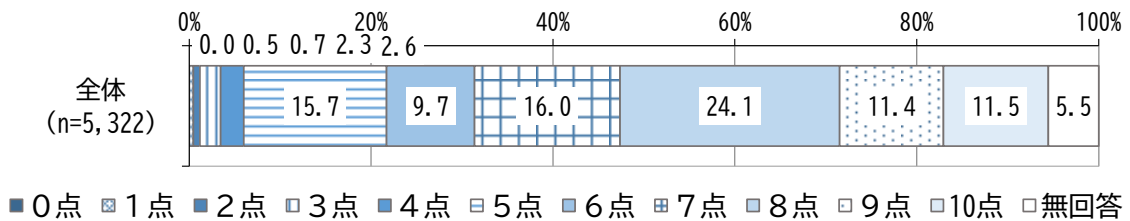
(7) 現在どの程度幸せか

問8-7 あなたは、現在どの程度幸せですか。1つだけ点数に○を入れてください。
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)。

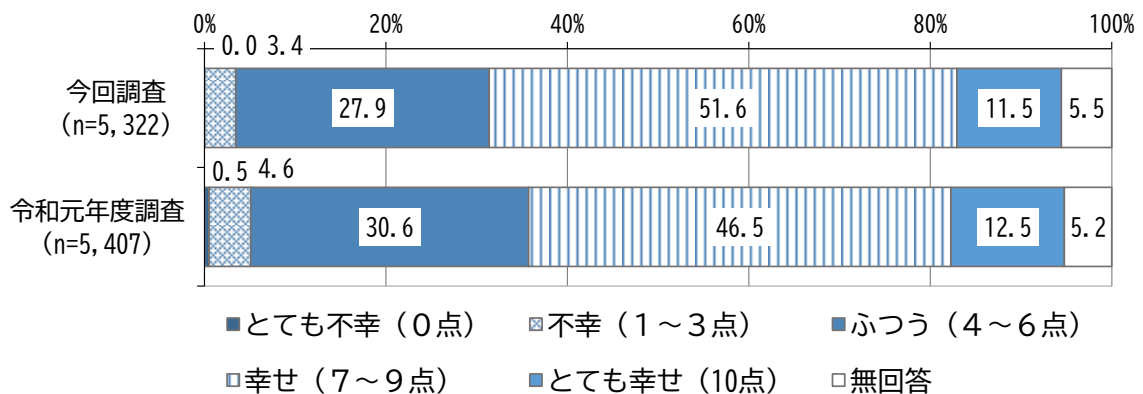
現在どの程度幸せかについては、「8点」が24.1%で最も高く、次いで「7点」が16.0%、「5点」が15.7%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「幸せ(7~9点)」(51.6%)では、令和元(2019)年度調査(46.5%)より5.1ポイント増加しています。

図表 2-9-34 現在どの程度幸せか

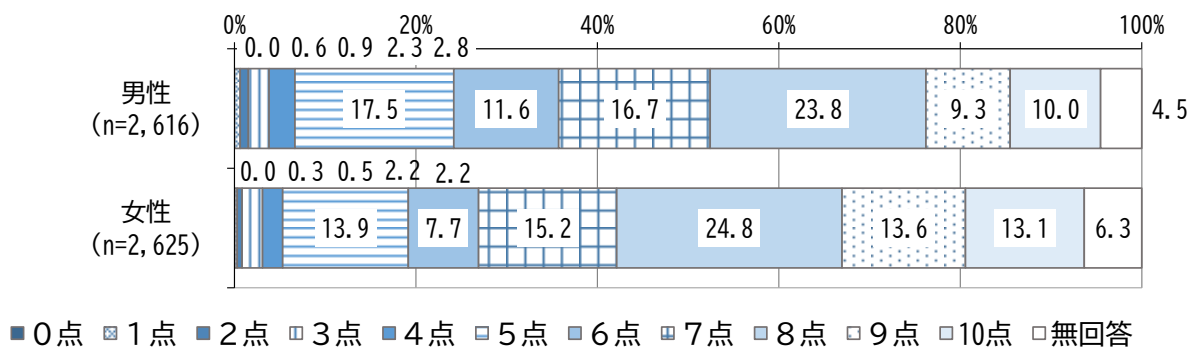


図表 現在どの程度幸せか 令和元年度調査比較



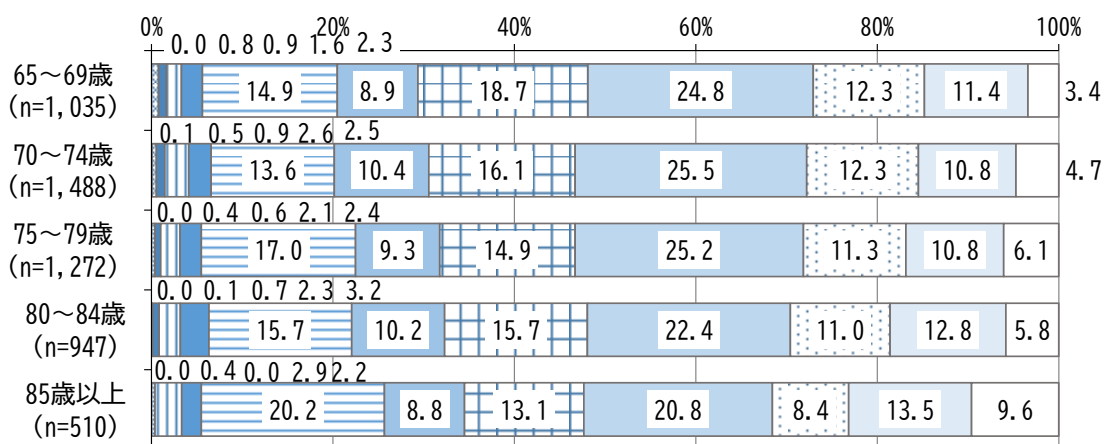
性別でみると、「10点」では、女性が13.1%で、男性(10.0%)より3.1ポイント高くなっています。

図表 2-9-35 現在どの程度幸せか 性別



年齢別でみると、「10点」では、85歳以上が13.5%で最も高くなっています。

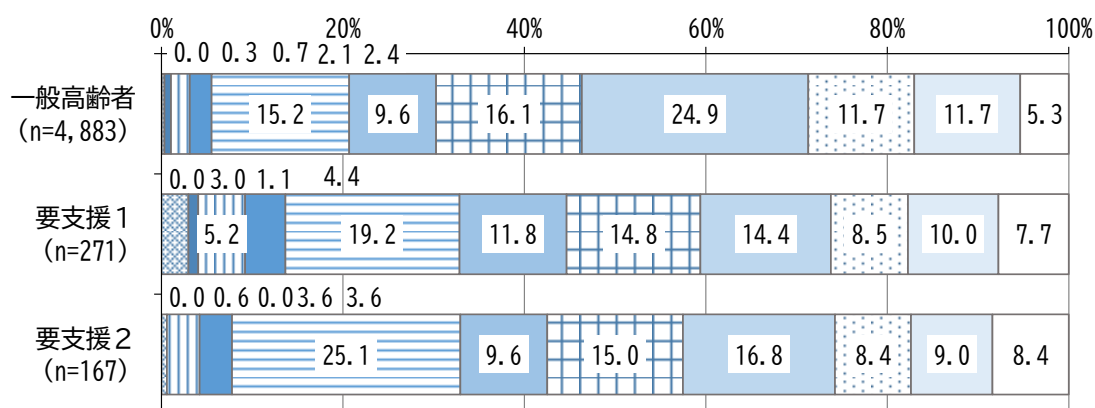
図表 2-9-36 現在どの程度幸せか 年齢別



■ 0点 ■ 1点 ■ 2点 ■ 3点 ■ 4点 ■ 5点 ■ 6点 ■ 7点 ■ 8点 ■ 9点 ■ 10点 □ 無回答

認定状況別でみると、「10点」では、一般高齢者が11.7%で最も高くなっています。

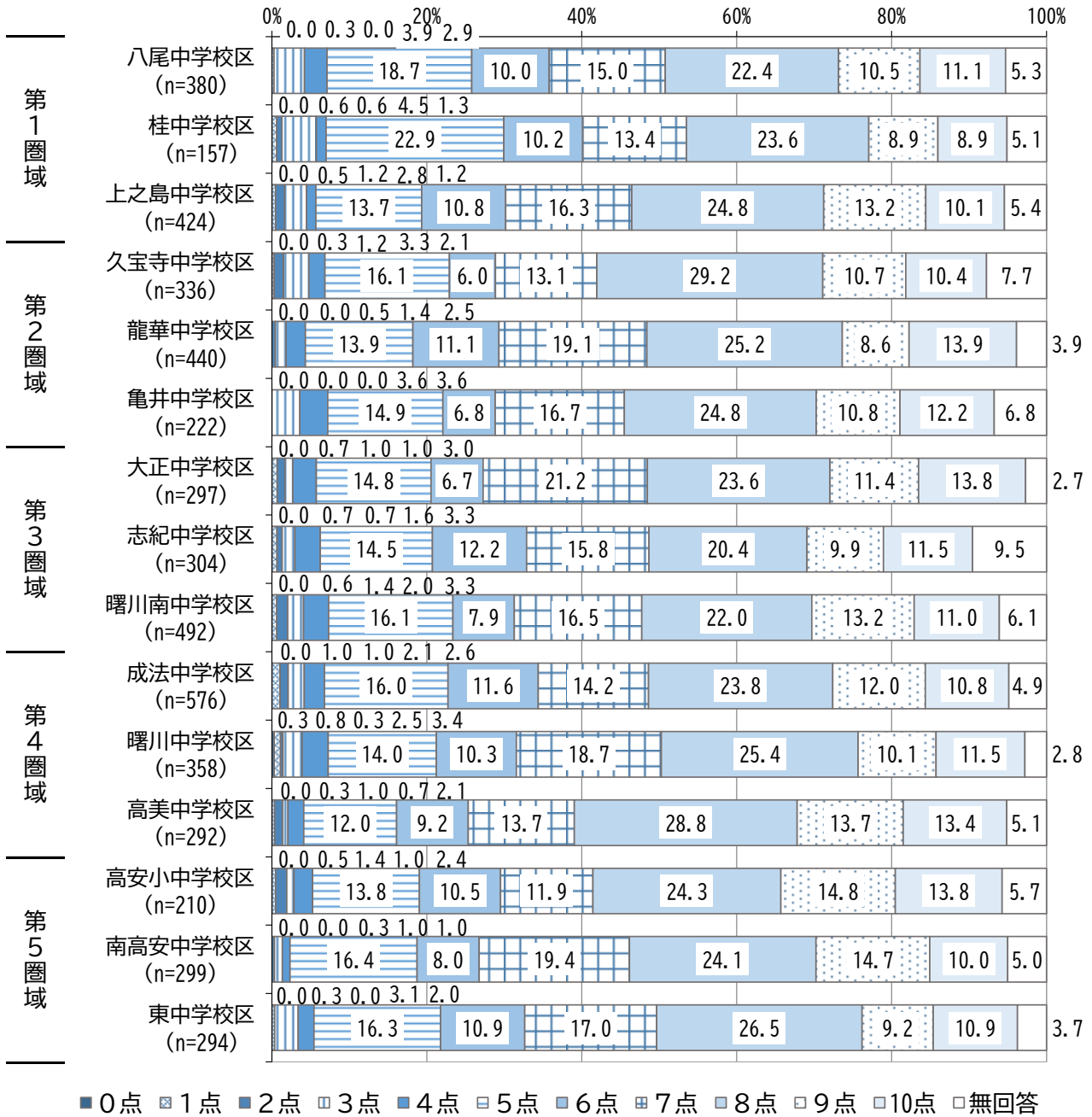
図表 2-9-37 現在どの程度幸せか 認定状況別



■ 0点 ■ 1点 ■ 2点 ■ 3点 ■ 4点 ■ 5点 ■ 6点 ■ 7点 ■ 8点 ■ 9点 ■ 10点 □ 無回答

中学校区別でみると、「10点」では、龍華中学校区が13.9%で最も高くなっています。

図表 2-9-38 現在どの程度幸せか 中学校区別



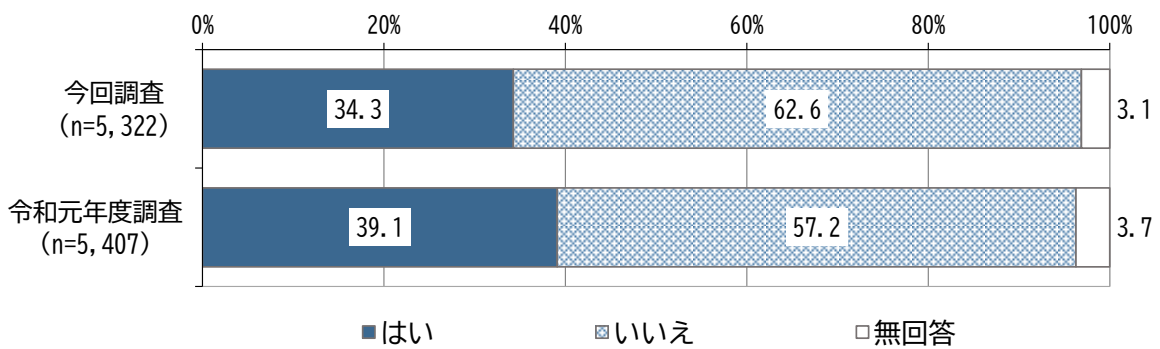
(8) この1か月間で気分が沈んだり、ゆううつになったことがあるか

問8-8 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(1つだけ)

この1か月間で気分が沈んだり、ゆううつになったことがあるかについては、「はい」が34.3%、「いいえ」が62.6%となっています。

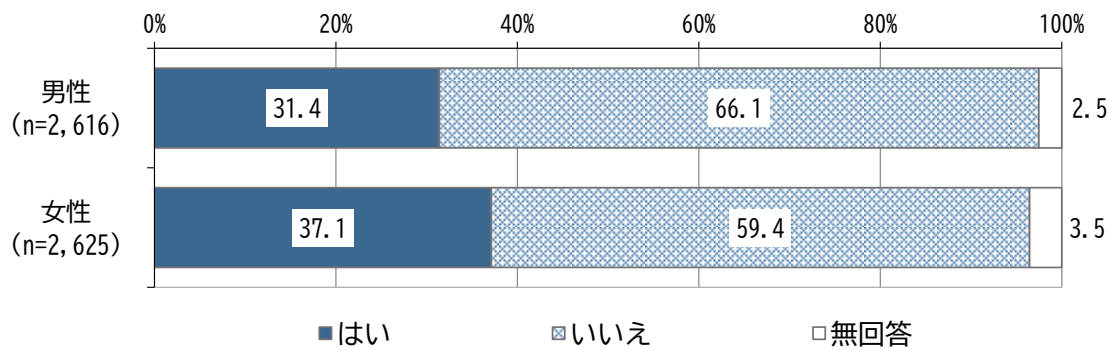
令和元(2019)年度調査と比較すると、「はい」(34.3%)では、令和元(2019)年度調査(39.1%)より4.8ポイント減少しています。

図表 2-9-39 この1か月間で気分が沈んだり、ゆううつになったことがあるか



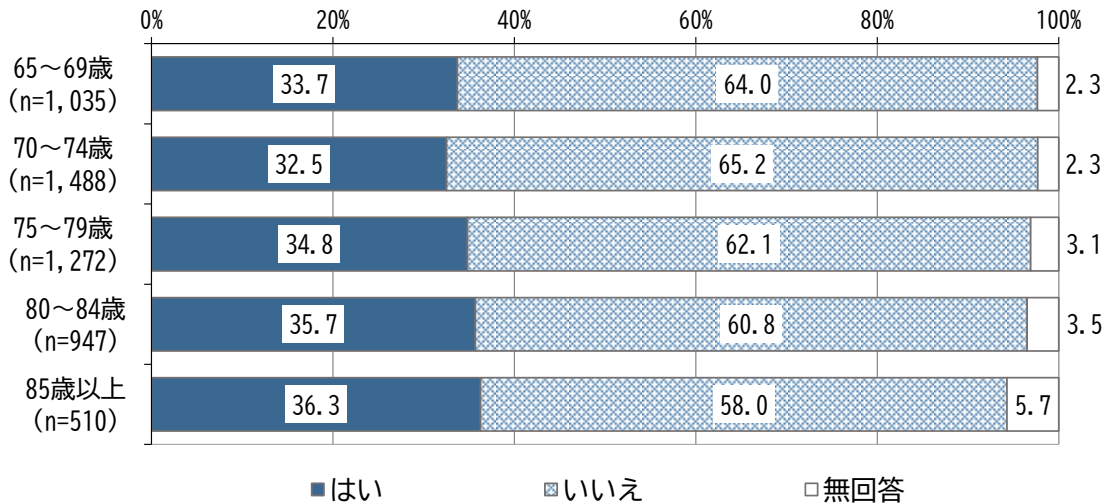
性別でみると、「はい」では、女性が37.1%で、男性(31.4%)より5.7ポイント高くなっています。

図表 2-9-40 この1か月間で気分が沈んだり、ゆううつになったことがあるか 性別



年齢別でみると、「はい」では、70歳以上で年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が36.3%で最も高くなっています。

図表 2-9-41 この1か月間で気分が沈んだり、ゆううつになったことがあるか 年齢別



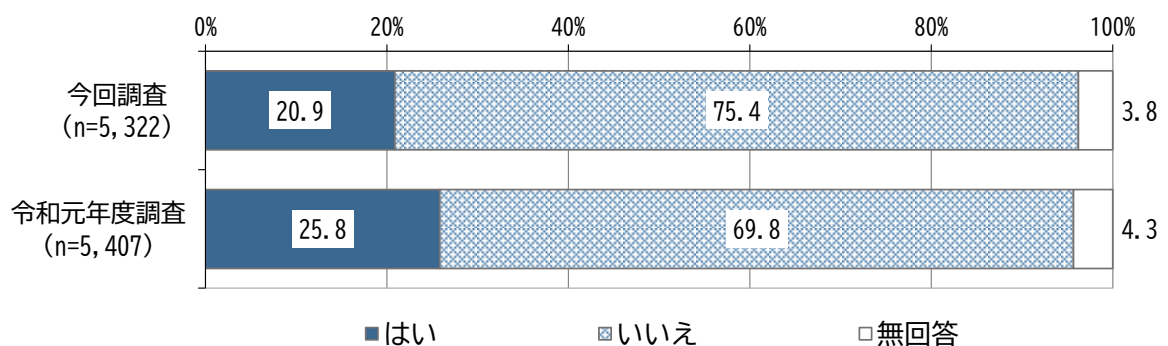
(9) この1か月間で物事に興味がわかない、心から楽しめない感じが良くあったか

問8-9 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ)

この1か月間で物事に興味がわかない、心から楽しめない感じが良くあったかについては、「はい」が20.9%、「いいえ」が75.4%となっています。

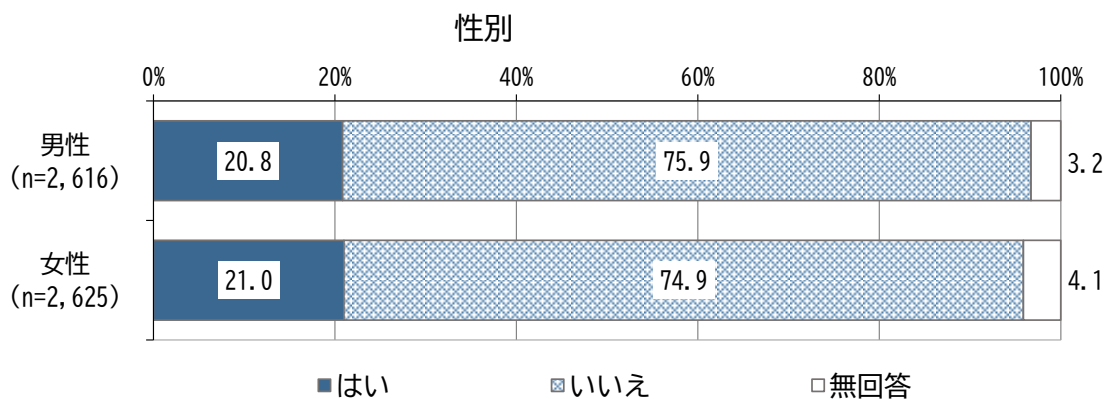
令和元(2019)年度調査と比較すると、「はい」(20.9%)では、令和元(2019)年度調査(25.8%)より4.9ポイント減少しています。

図表 2-9-42 この1か月間で物事に興味がわかない、心から楽しめない感じが良くあったか



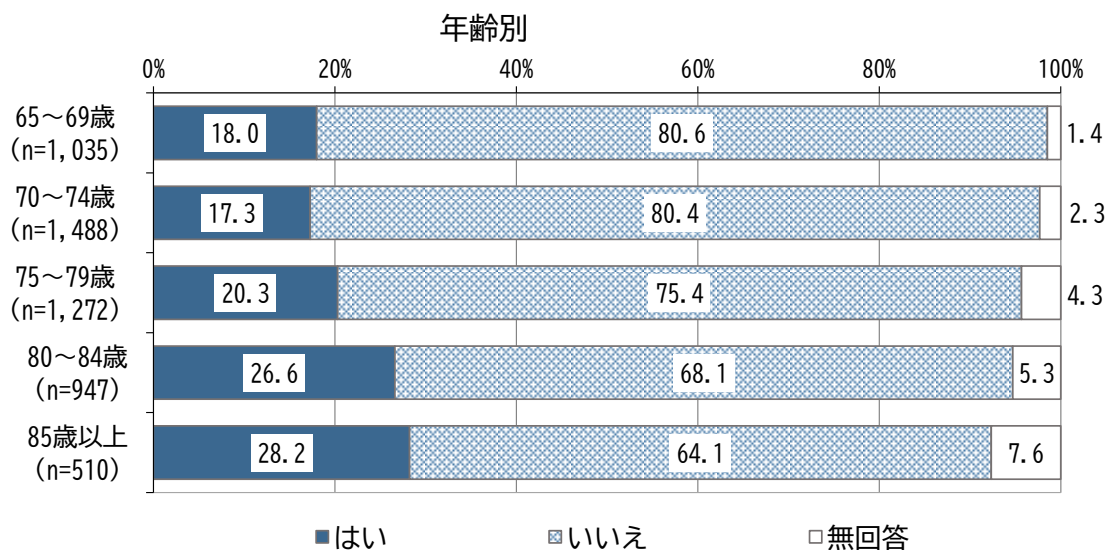
性別でみると、「はい」では、男性が20.8%、女性が21.0%となっています。

図表 2-9-43 この1か月間で物事に興味がわかない、心から楽しめない感じが良くあったか



年齢別でみると、「はい」では、70歳以上で年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が28.2%で最も高くなっています。

図表 2-9-44 この1か月間で物事に興味がわかない、心から楽しめない感じが良くあったか



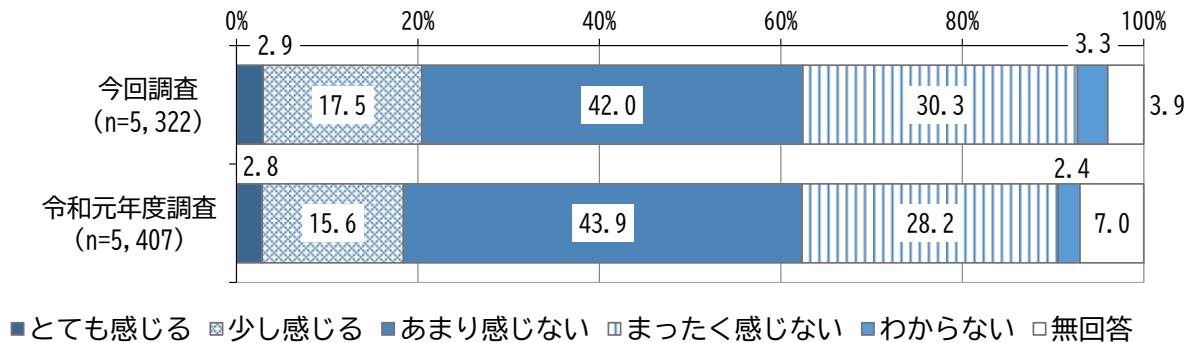
(10) 孤独を感じることもあるか

問8-10 あなたは、普段「孤独だ」と感じることはありますか。(1つだけ)

孤独を感じることはあるかについては、「あまり感じない」が42.0%で最も高く、次いで「まったく感じない」が30.3%、「少し感じる」が17.5%と続いています。

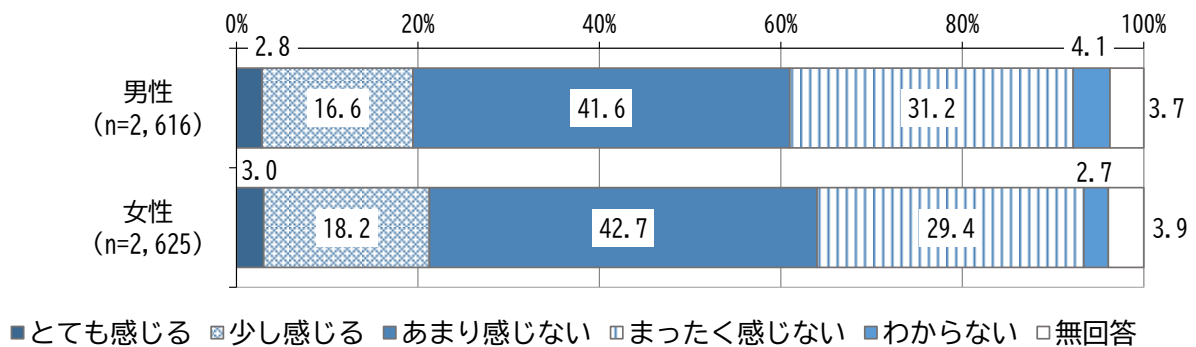
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-9-45 孤独を感じることもあるか



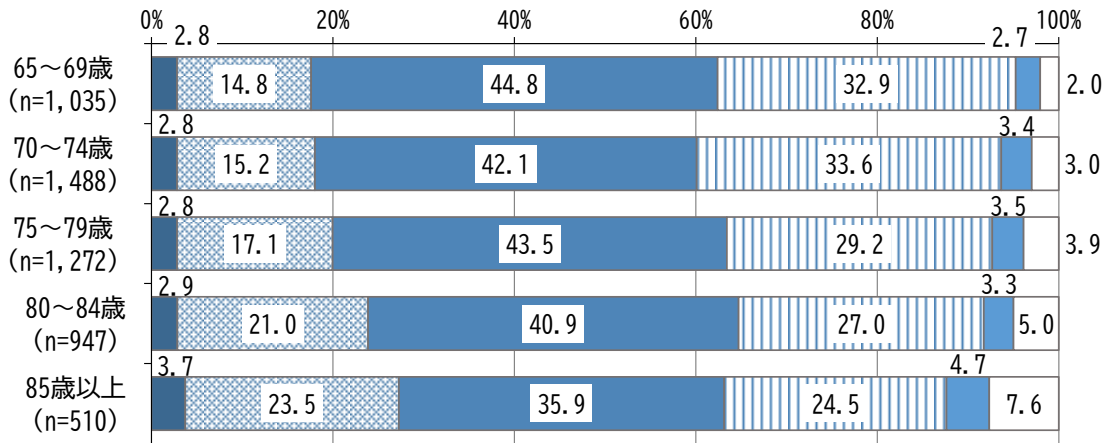
性別でみると、『感じる』（「とても感じる」と「少し感じる」の合計）では、男性が19.4%、女性が21.2%となっています。

図表 2-9-46 孤独を感じることもあるか 性別



年齢別でみると、『感じる』では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が27.2%で最も高くなっています。

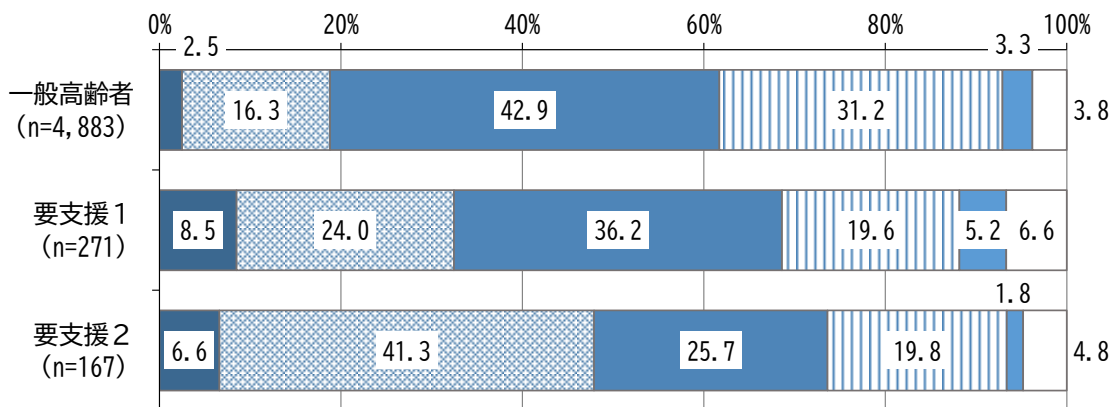
図表 2-9-47 孤独を感じることもあるか 年齢別



■とても感じる □少し感じる ■あまり感じない □まったく感じない ■わからない □無回答

認定状況別でみると、『感じる』では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が47.9%で最も高くなっています。

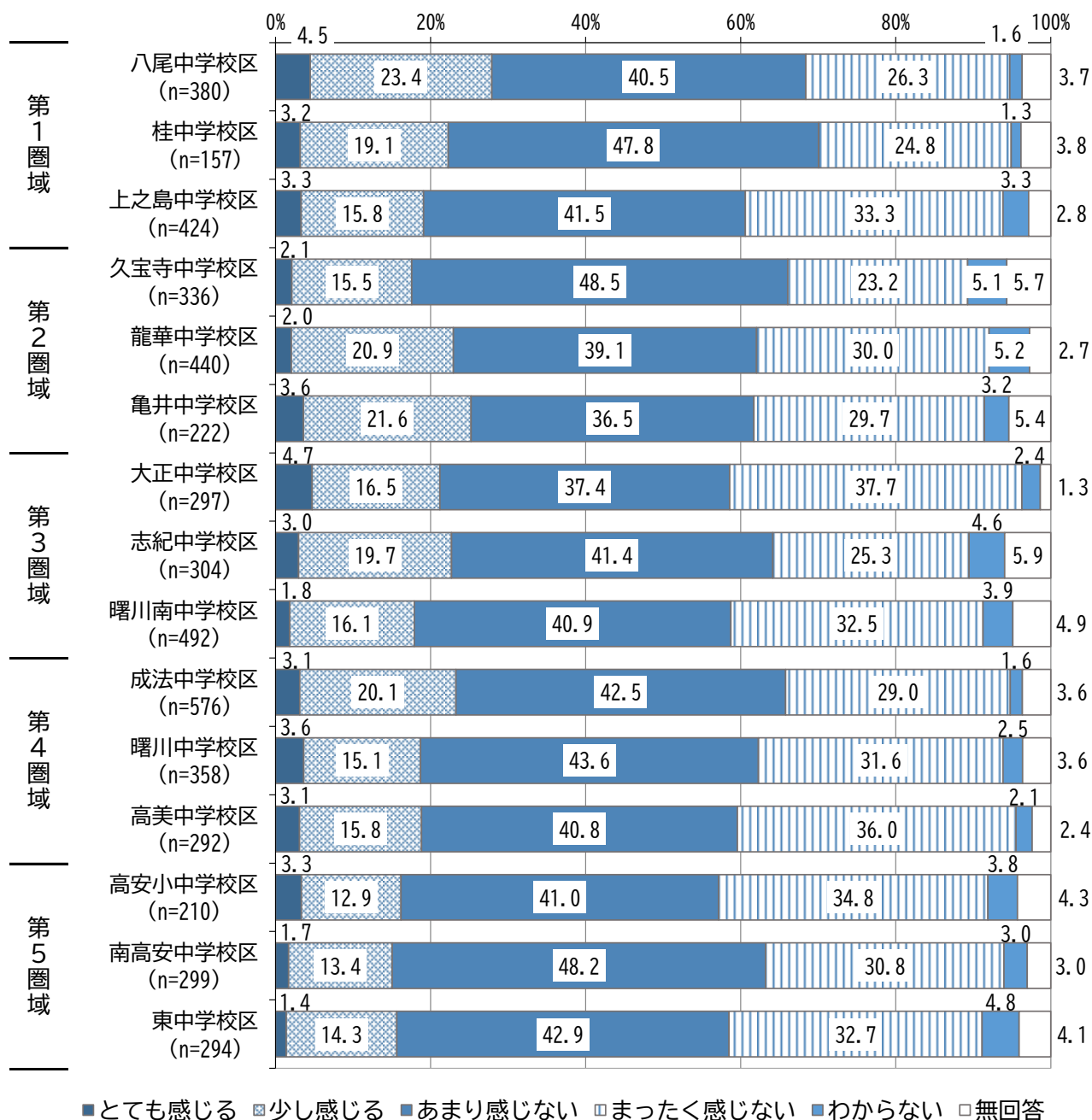
図表 2-9-48 孤独を感じることもあるか 認定状況別



■とても感じる □少し感じる ■あまり感じない □まったく感じない ■わからない □無回答

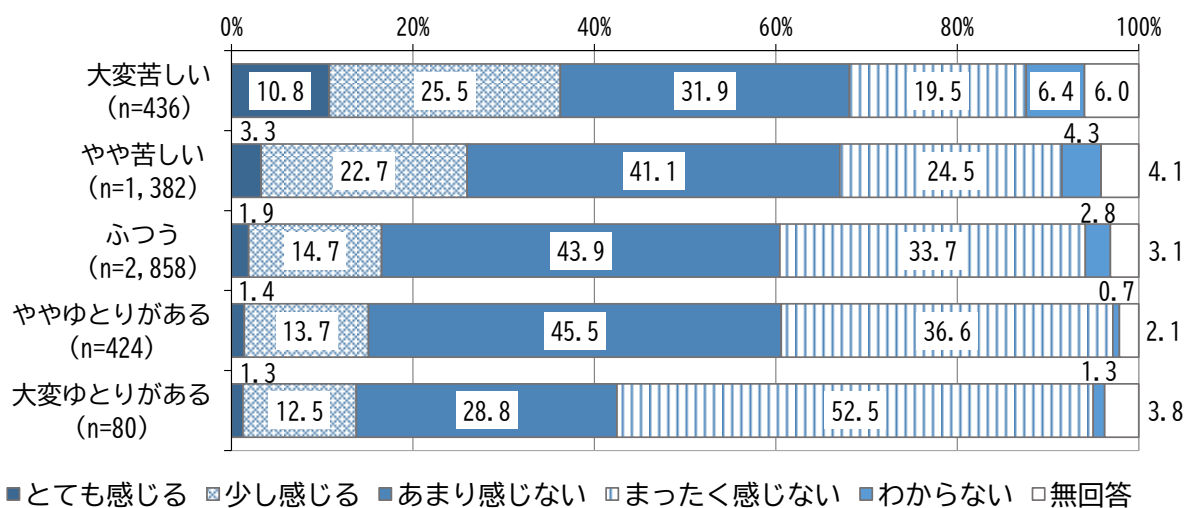
中学校区別でみると、『感じる』では、八尾中学校区が27.9%で最も高くなっています。

図表 2-9-49 孤独を感じることもあるか 中学校区別



経済状況別でみると、『感じる』では、経済状況を苦しいと感じる度合いが強くなるにつれて割合が増加しており、経済状況を「大変苦しい」と感じる人が36.3%で最も高くなっています。

図表 2-9-50 孤独を感じることもあるか 経済状況別



(11) 孤独だと感じる理由

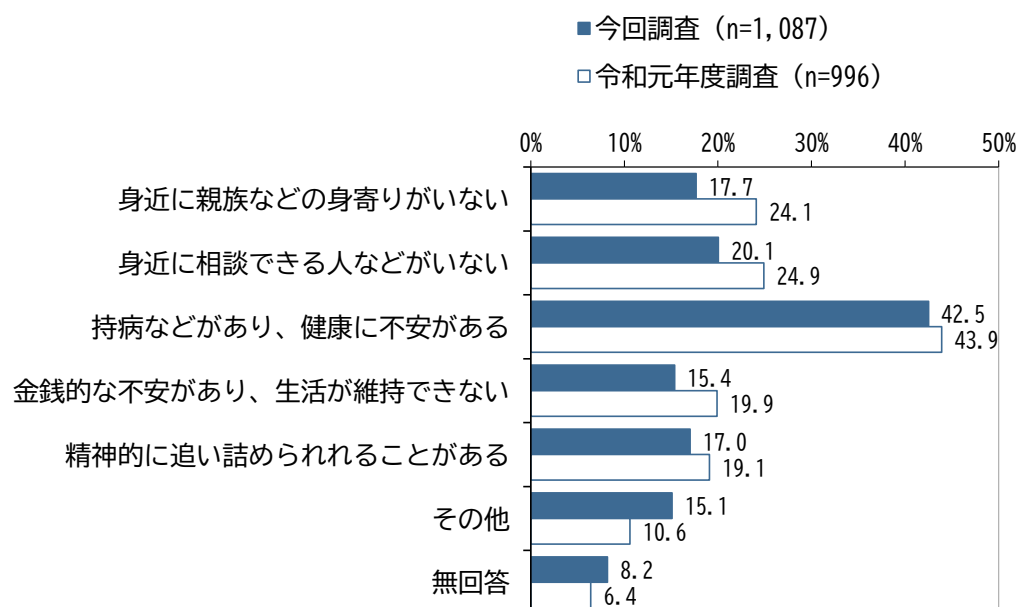
問8-10で「とても感じる」、「少し感じる」と答えた人（孤独だと感じることもある人）のみ、お答えください。

問8-10-1 普段「孤独」だと感じる理由は何ですか（いくつでも）

孤独だと感じる理由については、「持病などがあり、健康に不安がある」が42.5%で最も高く、次いで「身近に相談できる人などがない」が20.1%、「身近に親族などの身寄りがない」が17.7%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「その他」を除く全ての項目で令和元（2019）年度調査より割合が減少しています。

図表 2-9-51 孤独だと感じる理由



性別でみると、男性・女性いずれも「持病などがあり、健康に不安がある」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「持病などがあり、健康に不安がある」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、「持病などがあり、健康に不安がある」では、要支援1が65.9%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、東中学校区では「身近に相談できる人などがない」の割合が最も高く、それ以外の中学校区では「持病などがあり、健康に不安がある」の割合が最も高くなっています。

図表 2-9-52 孤独だと感じる理由 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	り身 近に 親族 など の身 寄	ど身 近に 相談 でき る人	に持 病な どが あり 、健 康	生金 銭的 な不 安が あり 、	れ精 神的 こと が追 い詰 めら れ	そ 他	無 回 答	
全体		1,087	17.7	20.1	42.5	15.4	17.0	15.1	8.2	
性別	男性	509	17.5	27.9	45.8	17.7	14.7	9.8	7.3	
	女性	558	18.1	12.9	38.7	13.3	19.2	20.1	9.0	
年齢別	65～69歳	182	22.0	26.9	33.5	20.3	23.1	18.7	2.7	
	70～74歳	268	17.2	20.5	41.8	16.4	19.8	16.0	7.8	
	75～79歳	254	17.3	19.3	40.2	16.5	13.0	11.0	11.0	
	80～84歳	226	17.3	16.4	48.7	13.3	15.5	14.2	6.2	
	85歳以上	139	15.1	17.3	46.8	7.9	13.7	18.0	14.4	
状況別 認定	一般高齢者	918	17.4	20.5	38.5	15.7	16.9	16.1	8.4	
	要支援1	88	22.7	23.9	65.9	15.9	20.5	9.1	4.5	
	要支援2	80	15.0	11.3	62.5	11.3	15.0	10.0	10.0	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	106	21.7	25.5	45.3	9.4	12.3	18.9	8.5
		桂中学校区	35	20.0	22.9	34.3	25.7	22.9	11.4	11.4
		上之島中学校区	81	19.8	19.8	39.5	14.8	14.8	13.6	12.3
	第2圏域	久宝寺中学校区	59	10.2	16.9	35.6	20.3	15.3	22.0	13.6
		龍華中学校区	101	15.8	15.8	43.6	10.9	12.9	18.8	7.9
		亀井中学校区	56	17.9	16.1	48.2	16.1	14.3	23.2	3.6
	第3圏域	大正中学校区	63	14.3	19.0	57.1	19.0	17.5	11.1	6.3
		志紀中学校区	69	14.5	15.9	37.7	21.7	21.7	13.0	10.1
		曙川南中学校区	88	11.4	17.0	47.7	6.8	19.3	17.0	6.8
	第4圏域	成法中学校区	134	25.4	20.1	41.0	18.7	17.9	9.7	6.7
		曙川中学校区	67	19.4	26.9	41.8	10.4	19.4	20.9	3.0
		高美中学校区	55	14.5	21.8	47.3	10.9	10.9	10.9	9.1
	第5圏域	高安小中学校区	34	8.8	14.7	47.1	23.5	23.5	17.6	5.9
		南高安中学校区	45	8.9	15.6	42.2	22.2	20.0	6.7	11.1
		東中学校区	46	19.6	28.3	26.1	17.4	21.7	8.7	10.9

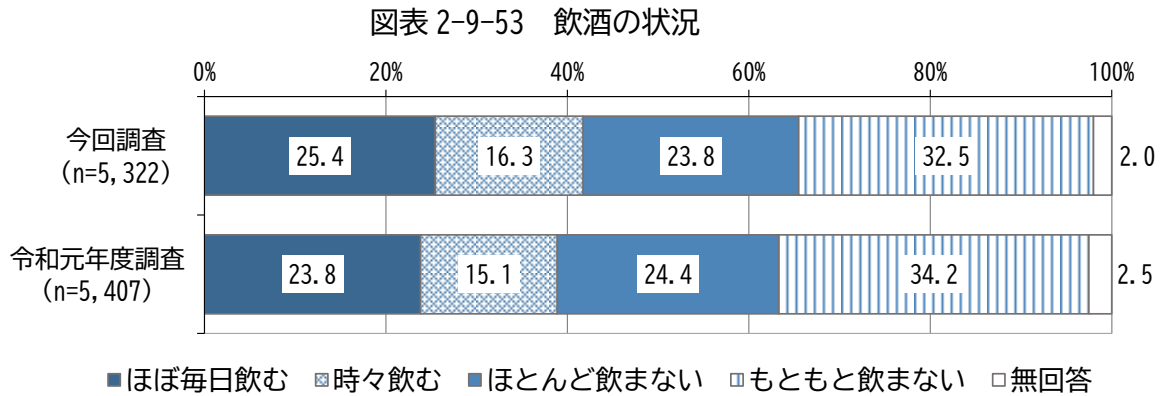
※網掛け■は最も割合が高いもの

(12) 飲酒の状況

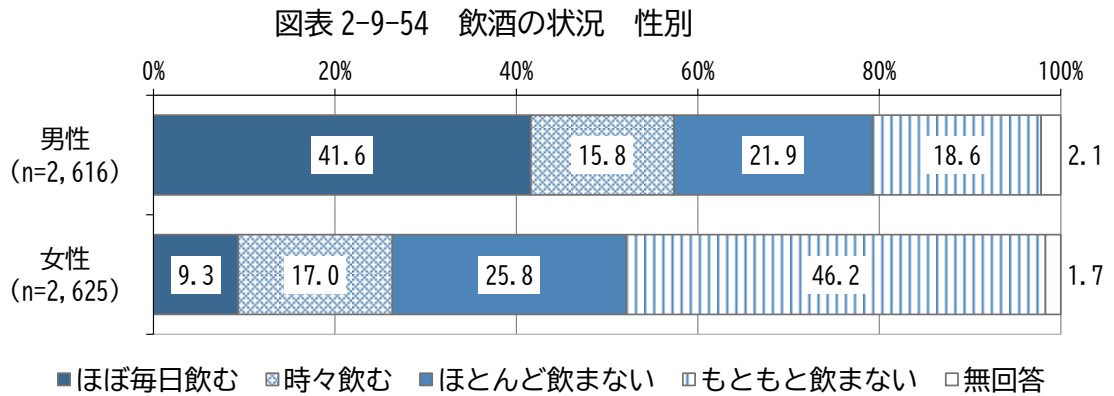
問8-11 お酒は飲みますか。(1つだけ)

飲酒の状況については、「もともと飲まない」が32.5%で最も高く、次いで「ほぼ毎日飲む」が25.4%、「ほとんど飲まない」が23.8%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

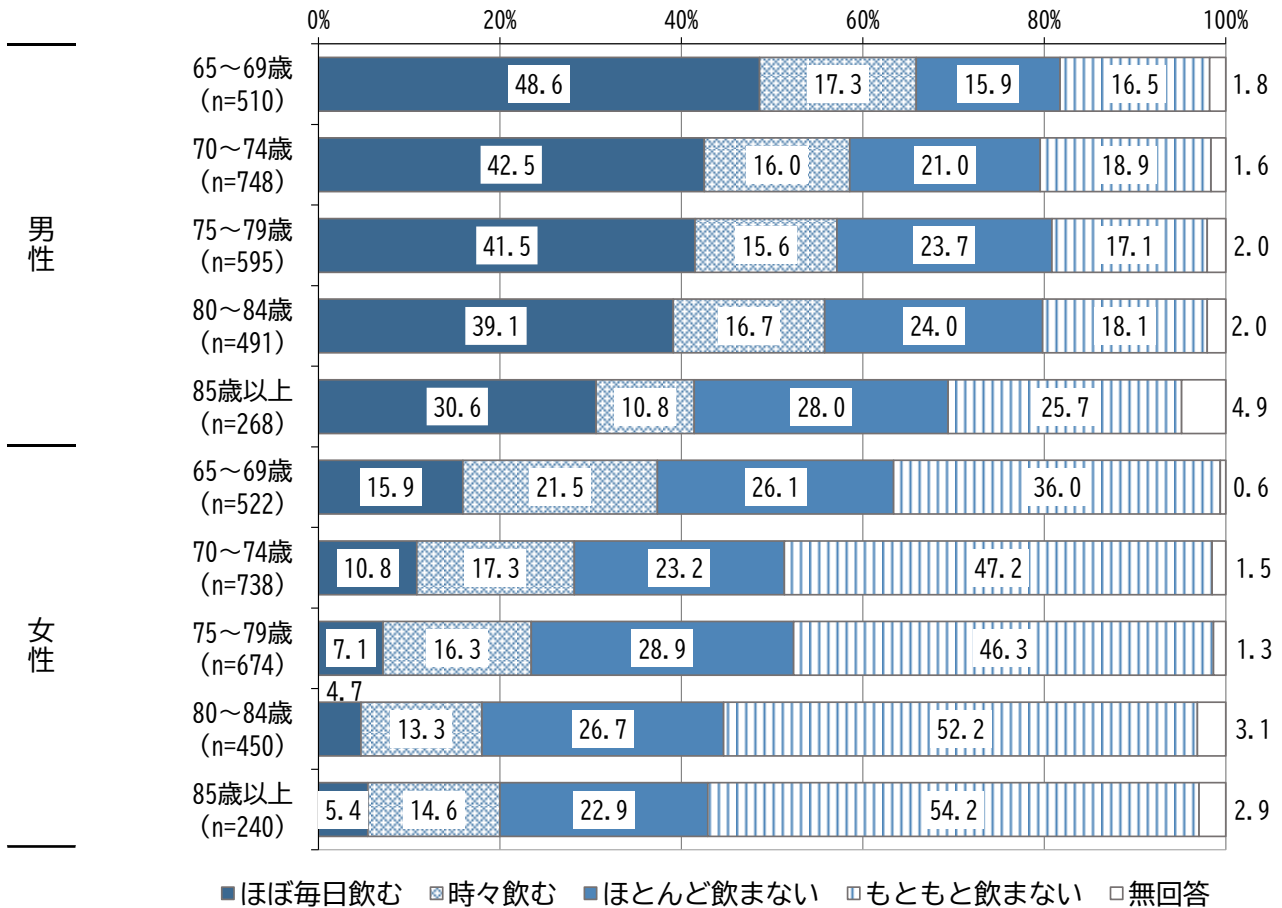


性別でみると、「ほぼ毎日飲む」では、男性が41.6%で、女性（9.3%）より32.3ポイント高くなっています。



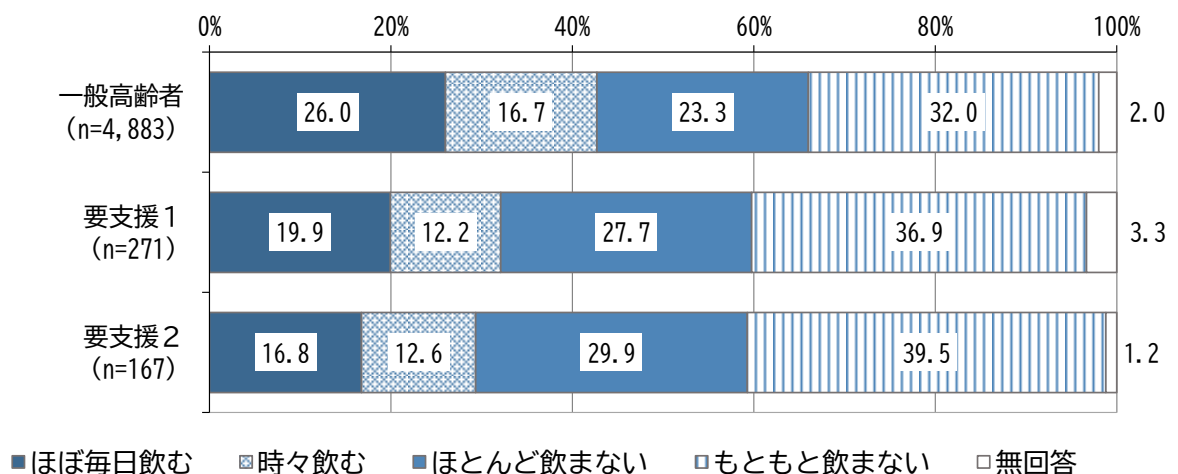
性別・年齢別でみると、「ほぼ毎日飲む」では、男性・女性いずれも65～69歳の割合が最も高くなっています。

図表 2-9-55 飲酒の状況 性別・年齢別



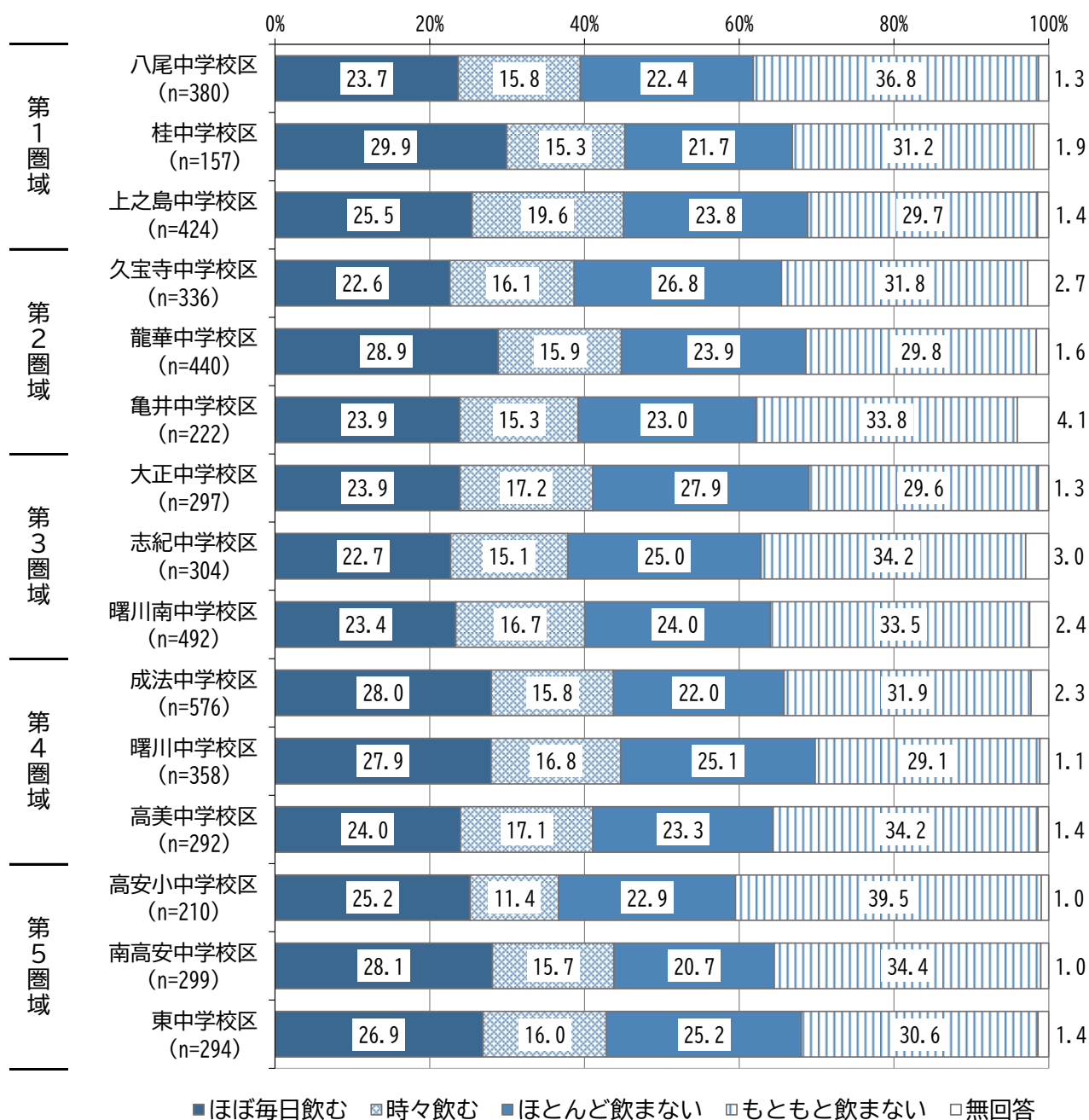
認定状況別でみると、「ほぼ毎日飲む」では、一般高齢者が26.0%で最も高くなっています。

図表 2-9-56 飲酒の状況 認定状況別



中学校区別でみると、「ほぼ毎日飲む」では、桂中学校区が29.9%で最も高くなっています。

図表 2-9-57 飲酒の状況 中学校区別

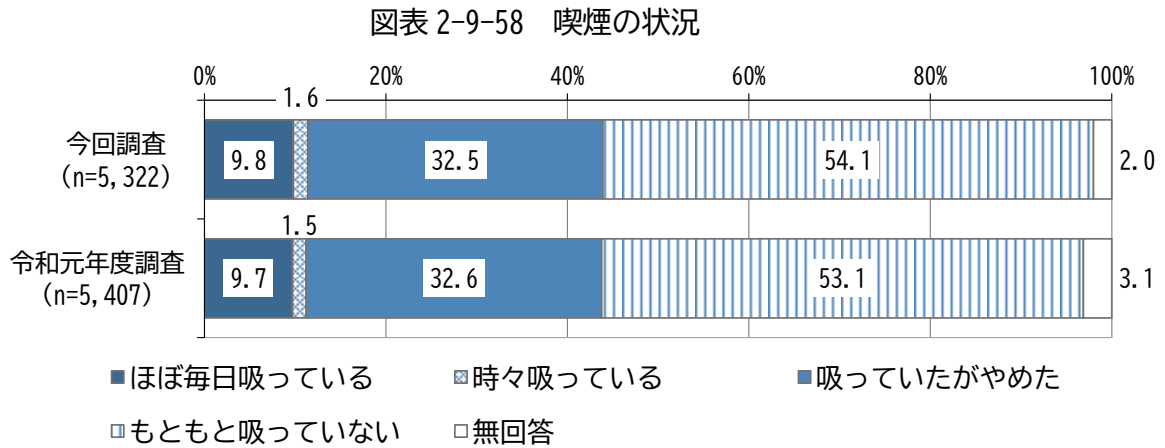


(13) 喫煙の状況

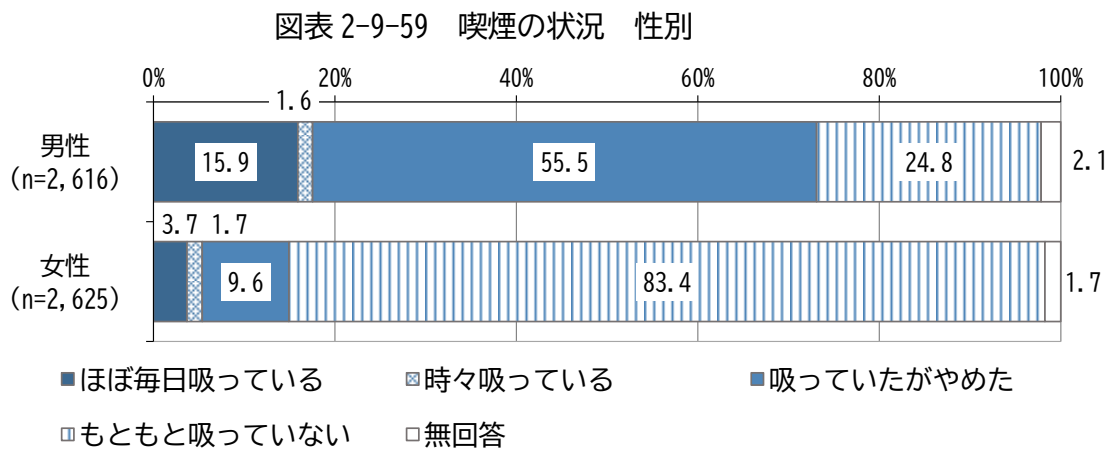
問8-12 タバコは吸っていますか。(1つだけ)

喫煙の状況については、「もともと吸っていない」が54.1%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が32.5%、「ほぼ毎日吸っている」が9.8%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

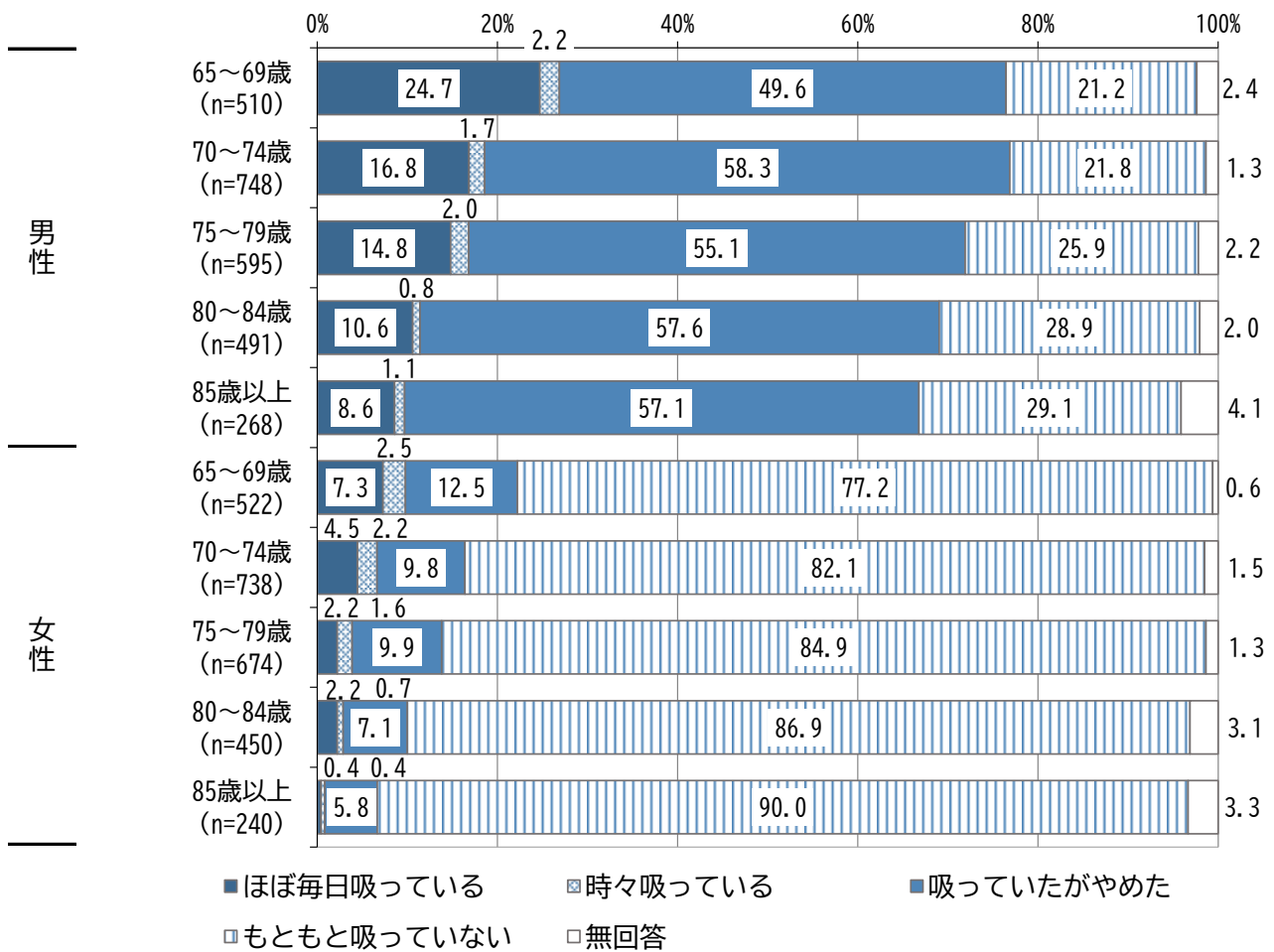


性別でみると、『吸っている』（「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」の合計）では、男性が17.5%、女性が5.4%となっています。



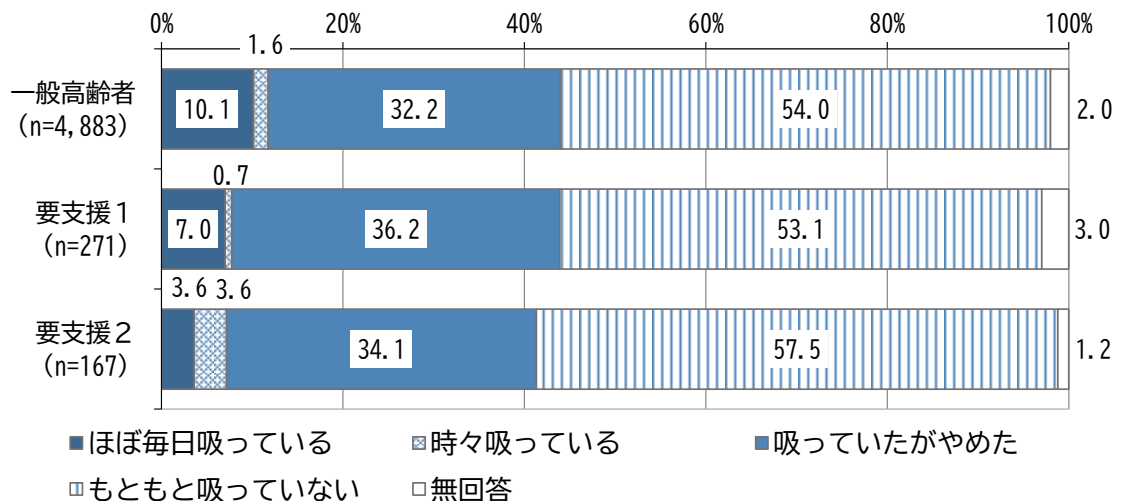
性別・年齢別でみると、『吸っている』では、男性・女性いずれも 65～69 歳の割合が最も高くなっています。

図表 2-9-60 喫煙の状況 性別・年齢別



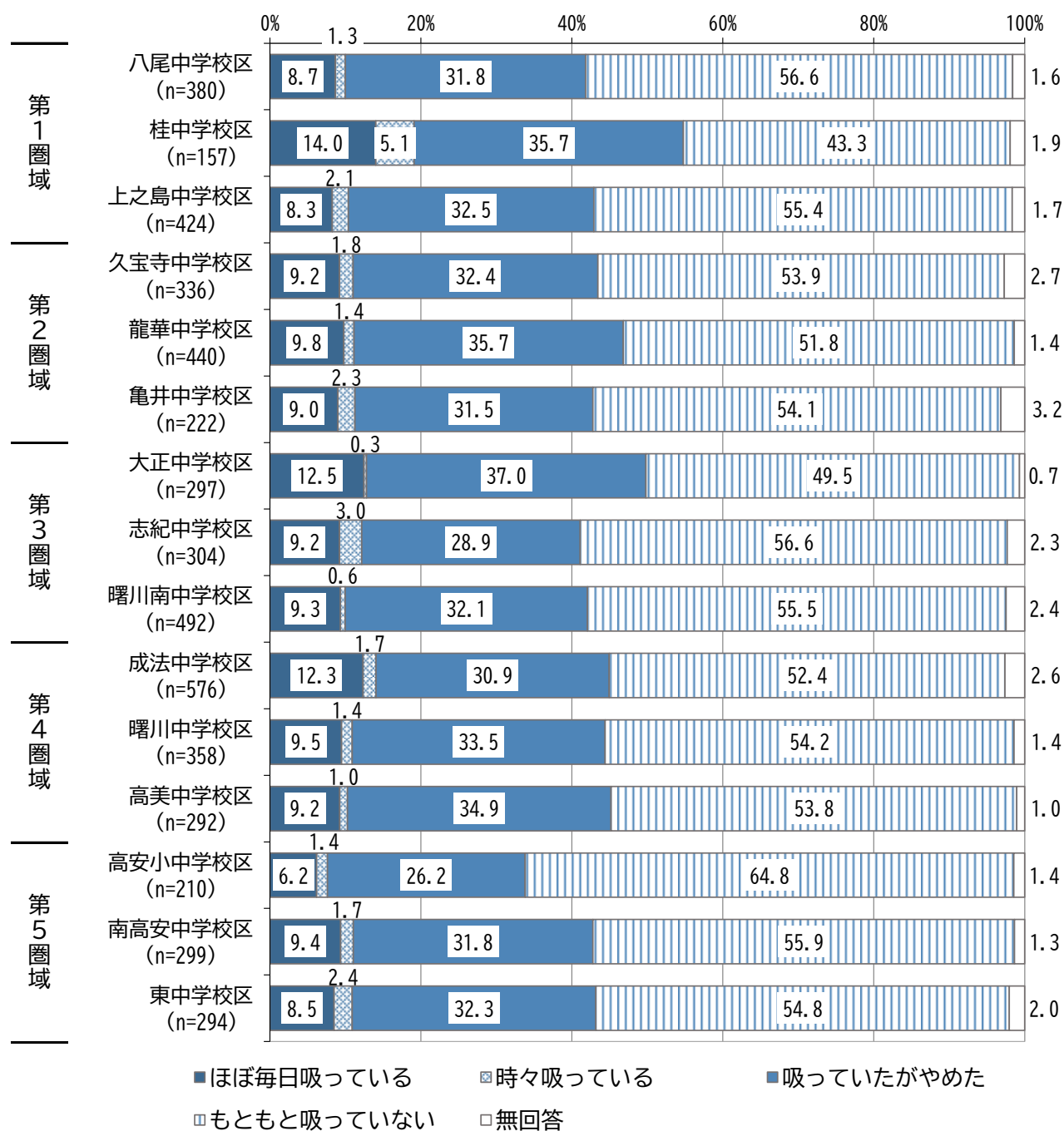
認定状況別でみると、『吸っている』では、一般高齢者が 11.7% で最も高くなっています。

図表 2-9-61 喫煙の状況 認定状況別



中学校区別でみると、『吸っている』では、桂中学校区が19.1%で最も高くなっています。

図表 2-9-62 喫煙の状況 中学校区別



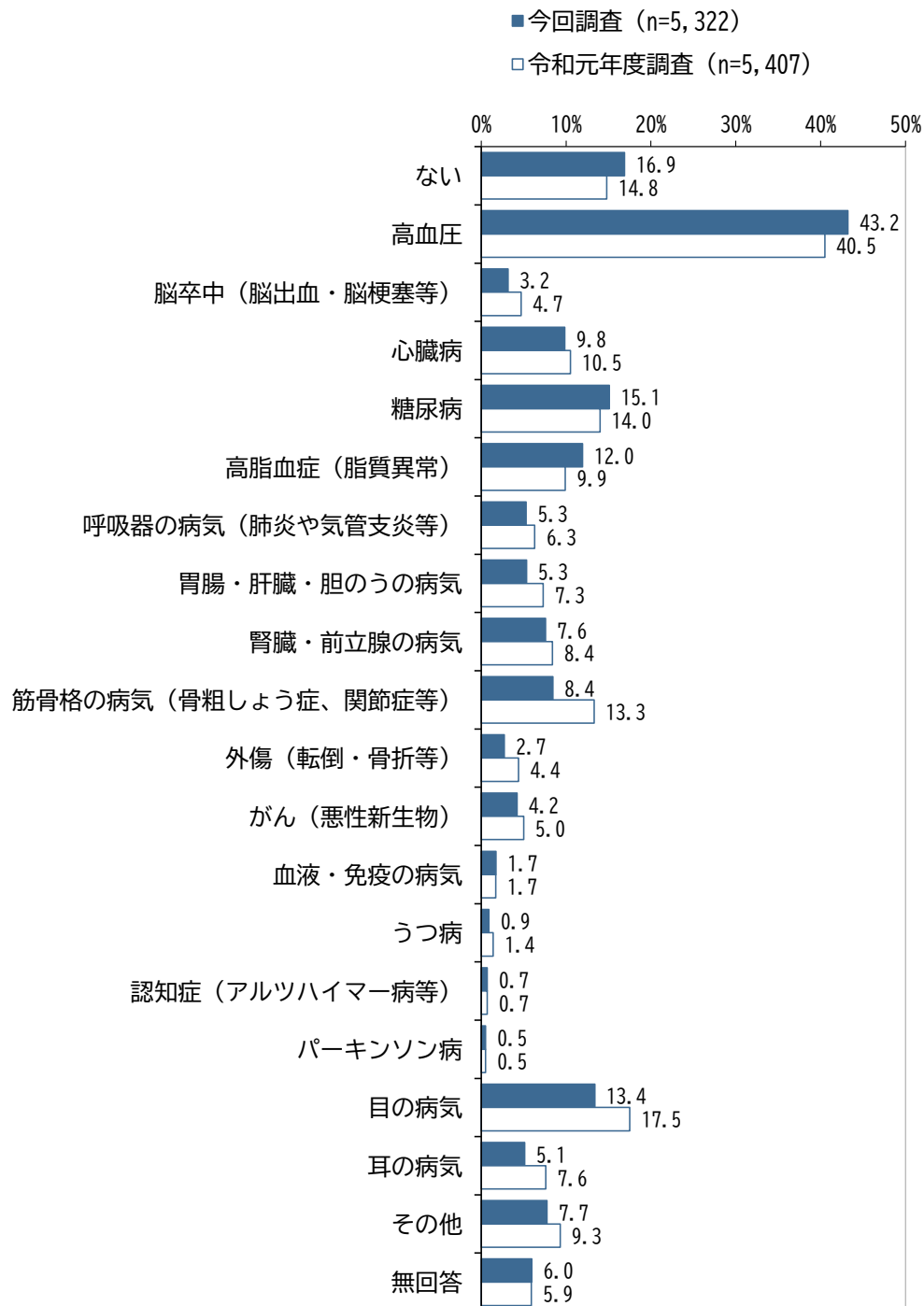
(14) 現在治療中または後遺症のある病気

問8-13 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

現在治療中または後遺症のある病気については、「高血圧」が43.2%で最も高く、次いで「ない」が16.9%、「糖尿病」が15.1%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」（8.4%）では、令和元（2019）年度調査（13.3%）より4.9ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

図表 2-9-63 現在治療中または後遺症のある病気



性別でみると、男性・女性いずれも「高血圧」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「心臓病」、「腎臓・前立腺の病気」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しています。

認定状況別でみると、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「腎臓・前立腺の病気」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」、「外傷（転倒・骨折等）」、「がん（悪性新生物）」、「がん（悪性新生物）」、「パーキンソン病」、「目の病気」、「耳の病気」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しています。

中学校区別でみると、「ない」では、東中学校区が21.8%で最も高くなっています。

図表 2-9-64 現在治療中または後遺症のある病気 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や 気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの 病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、 関節症等)	
全体		5,322	16.9	43.2	3.2	9.8	15.1	12.0	5.3	5.3	7.6	8.4	
性別	男性	2,616	16.0	44.5	4.4	12.6	19.1	9.9	6.2	5.6	13.6	3.8	
	女性	2,625	17.7	42.1	1.9	7.1	11.0	14.1	4.4	4.9	1.6	13.2	
年齢別	65～69歳	1,035	24.4	35.9	2.8	4.8	12.7	15.3	4.1	4.4	3.3	6.0	
	70～74歳	1,488	19.2	43.1	2.6	8.2	16.4	13.9	3.8	4.8	6.7	6.6	
	75～79歳	1,272	14.6	45.6	3.3	10.0	15.4	11.5	5.7	5.6	8.1	9.0	
	80～84歳	947	10.8	47.2	4.1	14.3	15.3	9.0	7.1	6.8	10.9	11.0	
	85歳以上	510	11.6	45.5	3.1	16.3	14.5	6.3	7.8	4.7	11.8	12.9	
状況別 認定	一般高齢者	4,883	18.0	43.0	2.6	9.2	14.6	12.2	4.9	5.2	7.0	7.6	
	要支援1	271	4.8	42.4	8.1	18.1	21.0	9.6	11.1	7.7	12.2	15.9	
	要支援2	167	2.4	49.1	12.6	15.6	18.6	8.4	8.4	5.4	15.6	21.6	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	16.1	42.4	2.9	14.2	13.7	9.5	5.0	8.4	8.9	8.4
		桂中学校区	157	17.2	48.4	4.5	6.4	20.4	13.4	3.2	7.0	10.8	6.4
		上之島中学校区	424	21.2	39.9	4.2	9.7	14.4	13.7	5.2	5.7	7.1	7.8
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	14.9	43.8	2.1	11.6	15.8	11.6	6.0	4.8	6.8	8.3
		龍華中学校区	440	17.0	44.1	1.8	11.1	16.8	10.7	4.5	5.9	9.5	9.3
		亀井中学校区	222	11.7	45.5	3.2	10.8	14.0	9.0	6.8	7.2	8.6	9.9
	第3圏域	大正中学校区	297	17.5	43.1	2.4	6.4	17.8	11.4	4.7	5.7	6.1	7.7
		志紀中学校区	304	17.1	47.4	3.6	12.8	13.5	10.5	5.3	4.3	5.9	7.2
		曙川南中学校区	492	17.3	41.7	3.0	10.2	15.4	15.7	5.5	6.9	8.7	7.9
	第4圏域	成法中学校区	576	15.5	45.0	3.5	9.5	14.6	15.1	5.6	4.2	6.4	9.4
		曙川中学校区	358	15.6	44.1	4.2	8.7	13.1	10.9	5.9	5.6	8.4	11.2
		高美中学校区	292	19.2	43.2	2.7	10.6	14.4	11.6	4.5	3.8	9.2	8.9
	第5圏域	高安小中学校区	210	17.6	37.6	2.9	10.0	16.7	7.6	5.2	2.9	7.6	8.6
		南高安中学校区	299	15.4	45.5	2.0	7.0	14.0	13.0	6.0	3.0	6.7	7.4
		東中学校区	294	21.8	39.5	5.4	8.2	12.6	11.2	4.4	4.8	2.7	8.5

		合計	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイ マー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答	
全体		5,322	2.7	4.2	1.7	0.9	0.7	0.5	13.4	5.1	7.7	6.0	
性別	男性	2,616	1.5	4.9	1.6	0.6	0.8	0.5	12.6	5.1	7.1	5.1	
	女性	2,625	3.8	3.6	1.8	1.2	0.7	0.5	13.9	5.2	8.5	6.7	
年齢別	65～69歳	1,035	1.7	2.9	1.0	1.3	0.3	0.2	9.1	3.9	8.5	4.3	
	70～74歳	1,488	1.5	4.6	2.1	1.0	0.3	0.3	11.1	3.6	8.9	5.6	
	75～79歳	1,272	3.3	4.7	1.6	0.7	0.6	0.8	14.3	5.2	6.6	6.3	
	80～84歳	947	3.9	4.8	2.1	0.7	0.8	0.6	18.2	7.0	8.1	7.1	
	85歳以上	510	4.3	3.5	1.6	0.6	2.7	0.8	16.7	9.0	5.1	7.1	
状況別 認定	一般高齢者	4,883	2.3	4.0	1.7	0.8	0.5	0.4	13.0	4.8	7.7	6.0	
	要支援1	271	4.1	5.5	1.5	2.6	3.3	1.5	14.4	8.1	9.2	6.3	
	要支援2	167	13.2	8.4	4.2	1.8	2.4	3.0	23.4	8.4	7.2	5.4	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	1.8	6.1	1.6	1.1	1.1	0.0	13.9	6.6	8.7	4.7
		桂中学校区	157	0.6	3.8	2.5	0.0	1.3	0.0	12.1	7.6	4.5	4.5
		上之島中学校区	424	2.8	3.5	1.9	1.2	0.0	0.0	10.8	2.6	6.6	5.9
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	2.1	3.3	2.7	1.5	1.5	2.1	14.0	4.2	7.7	4.8
		龍華中学校区	440	2.3	3.9	2.3	0.9	0.7	0.7	13.6	5.0	5.9	5.5
		亀井中学校区	222	3.2	3.2	2.3	0.9	0.0	0.5	18.0	6.3	10.4	6.8
	第3圏域	大正中学校区	297	4.4	6.1	1.0	0.7	0.7	1.0	13.8	7.1	8.4	5.7
		志紀中学校区	304	2.3	3.0	1.6	1.3	0.7	0.7	15.1	6.3	7.6	5.3
		曙川南中学校区	492	2.6	5.1	1.2	0.2	1.0	0.2	16.3	3.5	8.5	5.3
	第4圏域	成法中学校区	576	3.6	4.3	1.7	0.9	0.9	0.3	12.0	4.2	8.7	6.4
		曙川中学校区	358	2.5	4.5	2.0	0.8	0.0	0.6	13.4	3.9	7.0	5.3
		高美中学校区	292	3.4	3.8	1.7	0.7	0.7	0.0	12.7	5.8	6.8	5.1
	第5圏域	高安小中学校区	210	1.9	2.9	2.9	0.5	1.0	1.0	15.7	7.6	8.1	7.1
南高安中学校区		299	2.3	3.7	0.7	1.0	1.0	1.0	11.4	8.0	9.7	5.0	
東中学校区		294	3.4	4.1	1.0	1.4	0.7	0.3	11.2	5.4	5.8	7.1	

※網掛け■は最も割合が高いもの

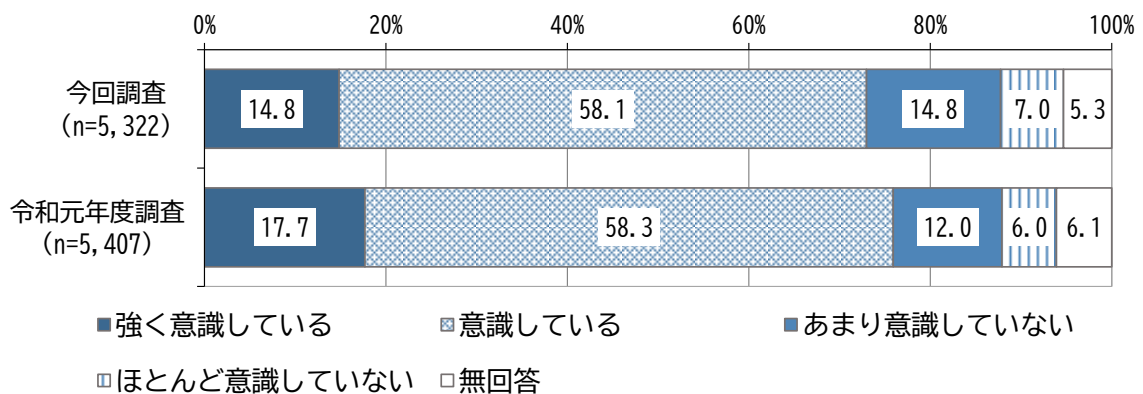
(15) 普段から介護予防のために健康維持・増進を意識しているか

問8-14 普段から介護予防のために、ご自身の健康維持、増進を意識していますか。(1つだけ)

普段から介護予防のために健康維持・増進を意識しているかについては、「意識している」が58.1%で最も高く、次いで「強く意識している」が14.8%、「あまり意識していない」が14.8%と続いています。

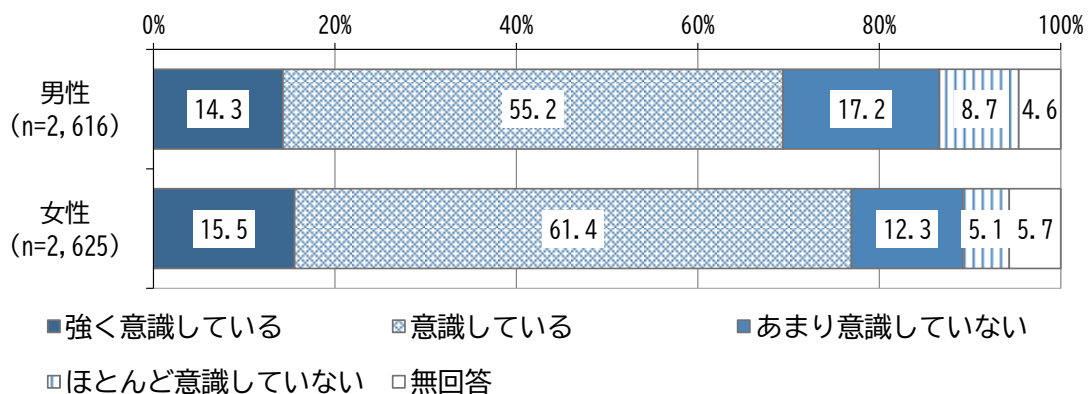
令和元(2019)年度調査と比較すると、『意識していない』(「あまり意識していない」と「ほとんど意識していない」の合計)(21.8%)では、令和元(2019)年度調査(18.0%)より3.8ポイント増加しています。

図表 2-9-65 普段から介護予防のために健康維持・増進を意識しているか



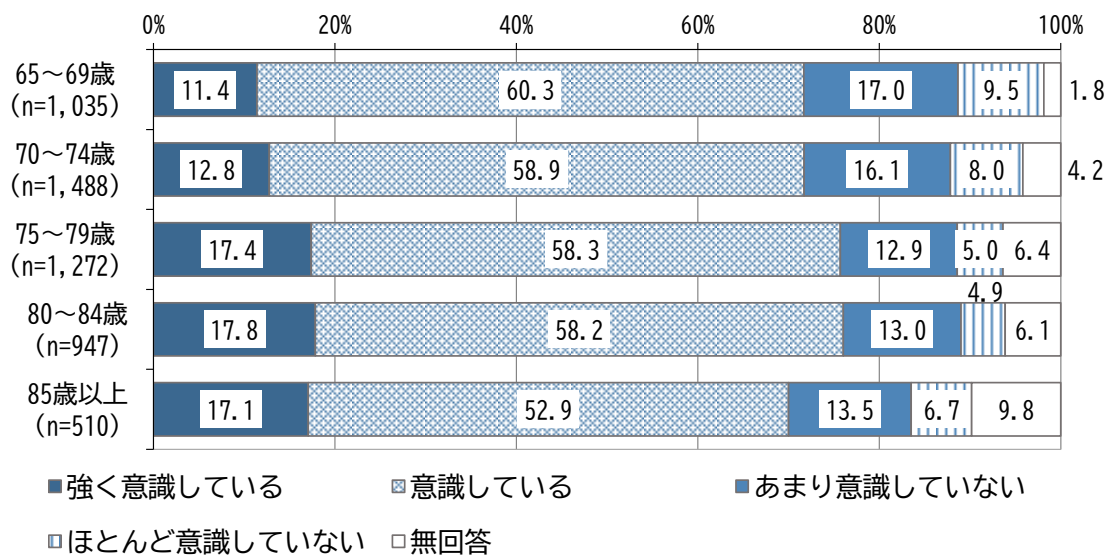
性別でみると、『意識している』(「強く意識している」と「意識している」の合計)では、女性が76.9%で、男性(69.5%)より7.4ポイント高くなっています。

図表 2-9-66 普段から介護予防のために健康維持・増進を意識しているか 性別



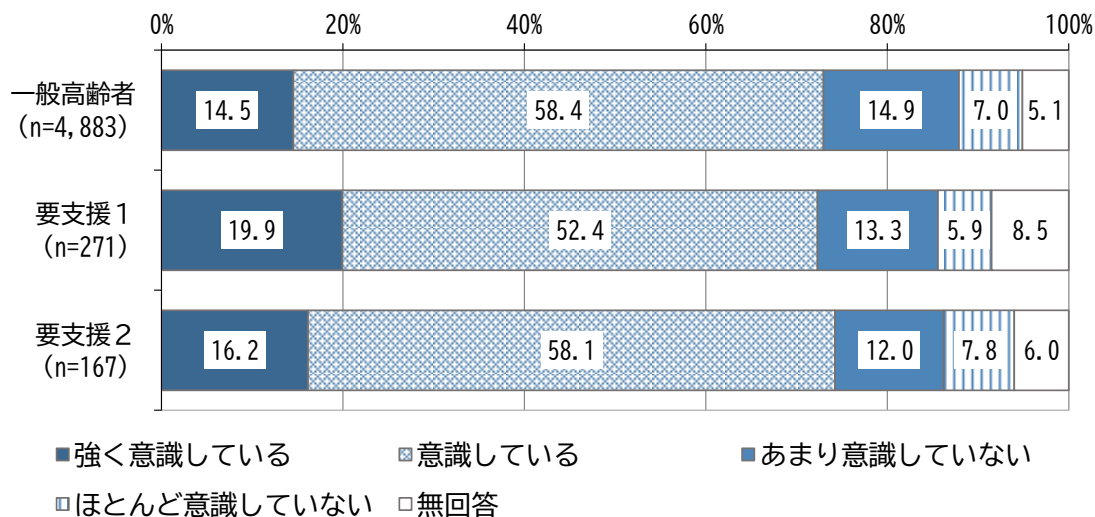
年齢別でみると、『意識している』では、80～84歳が76.0%で最も高く、『意識していない』では、65～69歳が26.5%で最も高くなっています。

図表 2-9-67 普段から介護予防のために健康維持・増進を意識しているか 年齢別



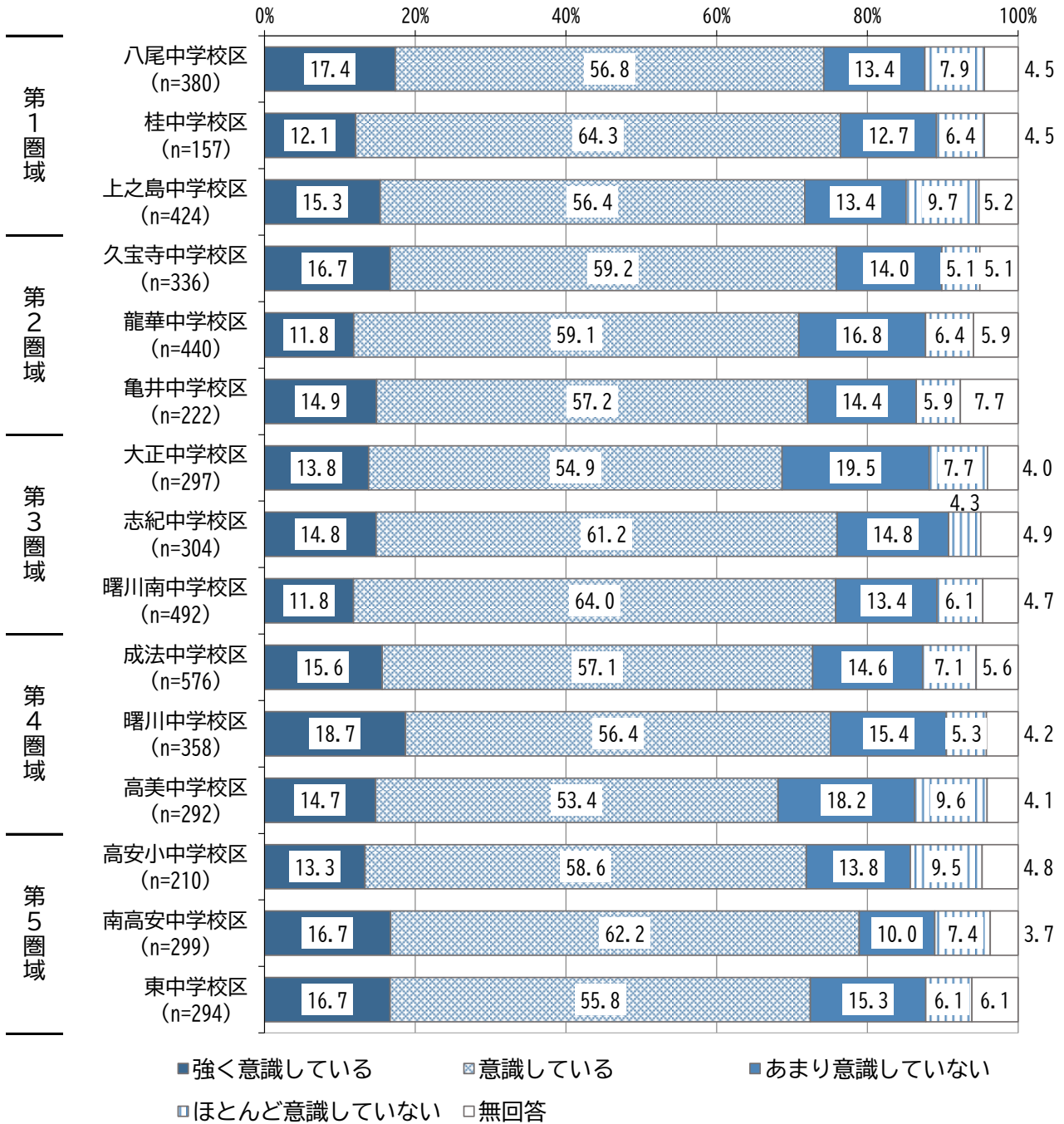
認定状況別でみると、『意識している』では、要支援2が74.3%で最も高くなっています。

図表 2-9-68 普段から介護予防のために健康維持・増進を意識しているか 認定状況別



中学校区別でみると、『意識している』では、南高安中学校区が78.9%で最も高く、『意識していない』では、高美中学校区が27.8%で最も高くなっています。

図表 2-9-69 普段から介護予防のために健康維持・増進を意識しているか 中学校区別



(16) 健康維持・増進を意識していない理由

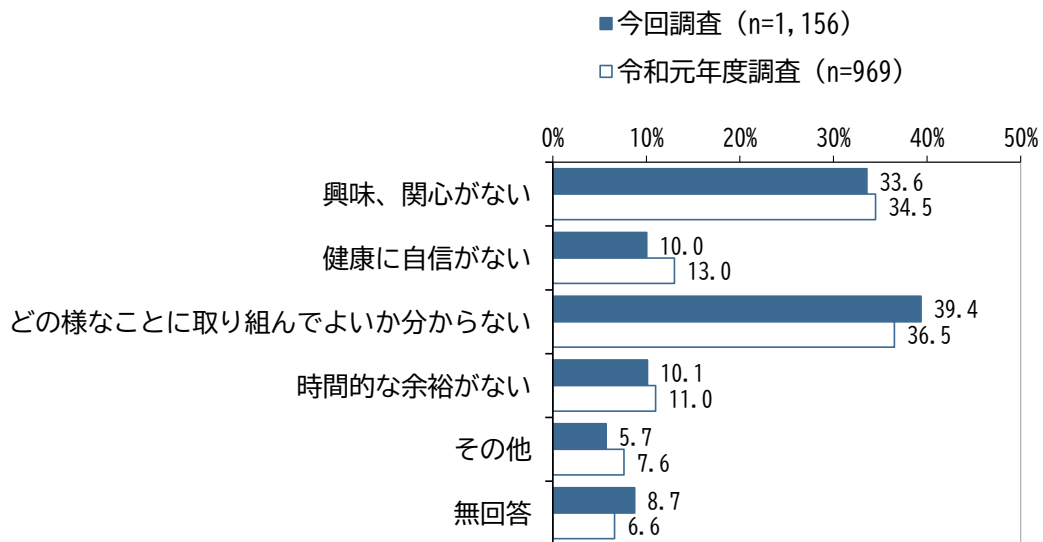
問8-14で「あまり意識していない」、「ほとんど意識していない」と答えた人（意識していない人）のみ、お答えください。

問8-14-1 その理由は何ですか。（いくつでも）

健康維持・増進を意識していない理由については、「どの様なことに取り組んでよいか分からない」が39.4%で最も高く、次いで「興味、関心がない」が33.6%、「時間的な余裕がない」が10.1%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「健康に自信がない」（10.0%）では、令和元（2019）年度調査（13.0%）より3.0ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

図表 2-9-70 健康維持・増進を意識していない理由



性別でみると、男性では「興味、関心がない」の割合が最も高く、女性では「どの様なことに取り組んでよいか分からない」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「どの様なことに取り組んでよいか分からない」、「興味、関心がない」では、いずれも80～84歳の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、「どの様なことに取り組んでよいか分からない」では、一般高齢者の割合が最も高く、「興味、関心がない」では、要支援1の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「どの様なことに取り組んでよいか分からない」では、龍華中学校区が50.0%で最も高くなっています。

図表 2-9-71 健康維持・増進を意識していない理由 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	興味、 関心がない	健康に 自信がない	どの様な ことに取り 組んでよ いか分 からない	時間的 な余裕が ない	その他	無 回 答	
全体		1,156	33.6	10.0	39.4	10.1	5.7	8.7	
性別	男性	679	39.8	9.7	37.4	7.5	5.3	7.2	
	女性	456	24.6	10.5	42.3	13.8	6.4	11.0	
年齢別	65～69歳	274	33.6	4.7	42.3	16.4	5.8	5.8	
	70～74歳	359	33.4	11.4	37.3	11.4	7.0	7.8	
	75～79歳	228	32.5	11.8	37.7	9.2	4.4	11.0	
	80～84歳	169	36.1	10.1	43.2	2.4	4.1	10.1	
	85歳以上	103	34.0	15.5	34.0	2.9	6.8	12.6	
状況別 認定	一般高齢者	1,071	33.1	9.2	40.0	10.6	5.6	8.7	
	要支援1	52	40.4	21.2	28.8	5.8	5.8	9.6	
	要支援2	33	36.4	18.2	36.4	3.0	9.1	9.1	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	81	25.9	11.1	42.0	12.3	6.2	12.3
		桂中学校区	30	33.3	20.0	33.3	6.7	6.7	6.7
		上之島中学校区	98	39.8	10.2	37.8	10.2	6.1	6.1
	第2圏域	久宝寺中学校区	64	32.8	10.9	37.5	6.3	7.8	6.3
		龍華中学校区	102	27.5	8.8	50.0	11.8	4.9	6.9
		亀井中学校区	45	26.7	17.8	37.8	11.1	8.9	2.2
	第3圏域	大正中学校区	81	37.0	8.6	45.7	6.2	3.7	8.6
		志紀中学校区	58	36.2	10.3	36.2	1.7	1.7	13.8
		曙川南中学校区	96	33.3	10.4	38.5	6.3	9.4	10.4
	第4圏域	成法中学校区	125	38.4	8.0	39.2	12.0	4.8	5.6
		曙川中学校区	74	36.5	6.8	37.8	21.6	1.4	8.1
		高美中学校区	81	30.9	11.1	35.8	8.6	7.4	11.1
	第5圏域	高安小中学校区	49	36.7	16.3	26.5	14.3	8.2	6.1
		南高安中学校区	52	28.8	3.8	38.5	11.5	5.8	13.5
		東中学校区	63	38.1	6.3	47.6	7.9	1.6	6.3

※網掛け■は最も割合が高いもの

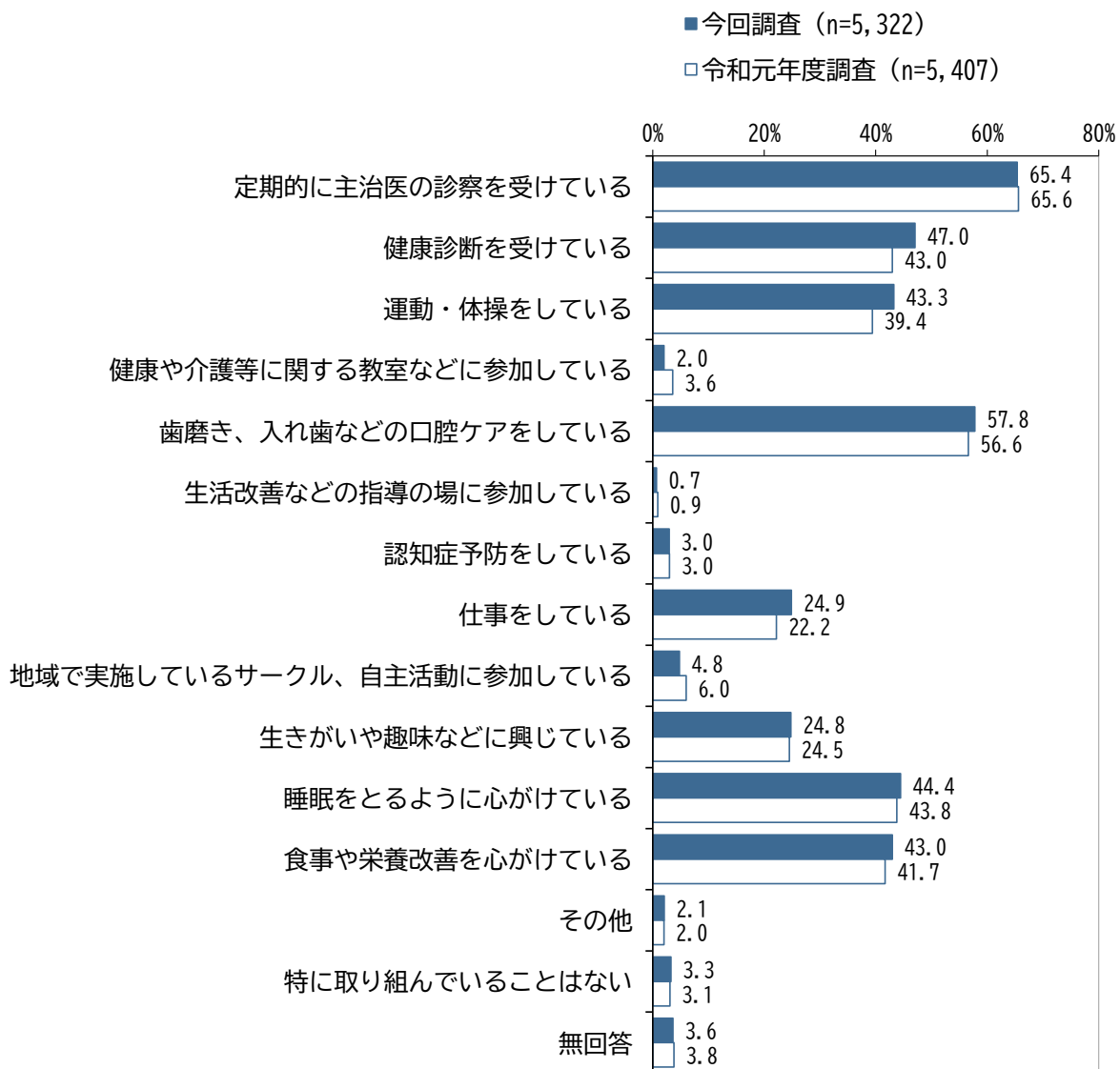
(17) 健康や体力維持のために普段から取り組んでいること

問8-15 健康や体力を維持するために、普段から取り組んでいることは何ですか。(いくつでも)

健康や体力維持のために普段から取り組んでいることについては、「定期的に主治医の診察を受けている」が65.4%で最も高く、次いで「歯磨き、入れ歯などの口腔ケアをしている」が57.8%、「健康診断を受けている」が47.0%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「健康診断を受けている」(47.0%)では、令和元(2019)年度調査(43.0%)より4.0ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-9-72 健康や体力維持のために普段から取り組んでいること



性別でみると、男性・女性いずれも「定期的に主治医の診察を受けている」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、65～69歳では「健康診断を受けている」の割合が最も高く、70歳以上では「定期的に主治医の診察を受けている」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、「定期的に主治医の診察を受けている」、「健康や介護等に関する教室などに参加している」、「認知症予防をしている」、「その他」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しています。

中学校区別でみると、「特に取り組んでいることはない」では、東中学校区が5.4%で最も高くなっています。

図表 2-9-73 健康や体力維持のために普段から取り組んでいること 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	定期的に主治医の診察を受けている	健康診断を受けている	運動・体操をしている	健康や介護等に関する教室などに参加している	歯磨き、入れ歯などのケアをしている	生活改善などの指導の場に参加している	認知症予防をしている	仕事をしている	地域で実施している自主活動に参加している	生きがいや趣味などに興じている	
全体		5,322	65.4	47.0	43.3	2.0	57.8	0.7	3.0	24.9	4.8	24.8	
性別	男性	2,616	65.9	46.2	42.7	1.5	53.0	0.7	1.9	30.7	4.2	24.4	
	女性	2,625	64.9	48.3	44.0	2.5	63.0	0.6	4.1	19.2	5.4	25.5	
年齢別	65～69歳	1,035	53.5	54.6	46.7	1.3	53.9	0.6	1.4	43.7	3.1	26.0	
	70～74歳	1,488	61.7	47.8	45.4	1.7	55.6	0.7	2.8	31.9	5.2	27.3	
	75～79歳	1,272	67.8	46.3	44.2	1.6	61.7	0.6	3.0	17.8	5.1	25.6	
	80～84歳	947	74.1	43.6	40.5	3.3	62.7	0.6	4.4	14.1	5.8	23.2	
	85歳以上	510	77.5	38.8	33.5	2.9	54.5	1.0	4.3	4.5	4.5	17.1	
状況別 認定	一般高齢者	4,883	64.0	47.9	44.0	1.7	58.3	0.6	2.8	26.7	4.9	25.7	
	要支援1	271	80.1	41.3	34.3	5.5	53.5	1.5	4.4	5.5	4.4	15.5	
	要支援2	167	80.8	32.9	35.9	7.2	51.5	1.2	6.0	3.0	2.4	12.0	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	70.3	46.1	48.2	1.8	60.8	0.8	3.4	21.6	4.2	26.6
		桂中学校区	157	63.7	42.0	30.6	2.5	49.0	1.3	0.6	24.2	3.8	15.9
		上之島中学校区	424	61.3	50.9	46.0	2.8	59.4	1.2	5.0	25.7	7.1	27.6
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	65.8	43.8	43.2	2.7	55.1	0.6	3.6	24.7	6.0	25.9
		龍華中学校区	440	68.6	46.8	42.3	2.0	62.7	0.7	2.3	24.8	6.1	24.1
		亀井中学校区	222	64.9	44.1	43.2	1.8	63.1	0.5	2.3	26.6	3.6	23.9
	第3圏域	大正中学校区	297	63.3	41.8	42.1	1.7	57.9	0.0	2.7	28.3	5.1	28.6
		志紀中学校区	304	64.1	48.0	44.7	2.0	59.9	1.0	3.0	27.0	4.3	17.4
		曙川南中学校区	492	67.7	52.4	40.7	1.0	59.1	0.0	2.6	22.8	5.1	25.2
	第4圏域	成法中学校区	576	67.4	49.3	40.3	2.1	57.5	0.9	2.6	24.7	3.8	24.1
		曙川中学校区	358	63.1	46.9	46.9	1.4	56.1	0.3	3.1	29.1	4.2	27.1
		高美中学校区	292	61.3	47.3	41.8	1.4	54.8	0.7	1.0	25.0	4.5	29.1
	第5圏域	高安小中学校区	210	62.9	40.0	42.4	3.3	52.9	0.5	2.4	27.6	4.3	25.2
南高安中学校区		299	67.6	53.5	48.5	2.3	60.9	1.7	5.0	25.8	4.7	27.4	
東中学校区		294	61.6	46.3	48.6	3.1	59.5	0.7	2.7	18.7	6.1	25.5	

		合計	い る 睡 眠 を と る よ う に 心 が け て	い る 食 事 や 栄 養 改 善 を 心 が け て	そ の 他	な 特 に 取 り 組 ん で い る こ と は	無 回 答	
全体		5,322	44.4	43.0	2.1	3.3	3.6	
性別	男性	2,616	41.1	33.6	1.6	4.0	3.7	
	女性	2,625	47.7	52.3	2.5	2.5	3.4	
年齢別	65～69歳	1,035	39.4	39.3	1.4	4.2	2.5	
	70～74歳	1,488	44.2	42.4	2.2	3.5	3.4	
	75～79歳	1,272	45.4	45.0	2.0	3.0	3.2	
	80～84歳	947	47.8	45.2	2.5	2.3	4.3	
	85歳以上	510	46.5	42.9	2.9	2.7	5.7	
状況別 認定	一般高齢者	4,883	44.8	43.2	2.0	3.2	3.6	
	要支援1	271	41.7	41.0	2.2	2.6	4.1	
	要支援2	167	36.5	38.9	2.4	4.8	4.2	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	42.9	39.2	3.2	4.2	3.2
		桂中学校区	157	42.7	44.6	1.9	3.2	5.7
		上之島中学校区	424	46.2	47.6	2.1	1.9	5.0
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	45.5	47.3	1.2	4.2	2.7
		龍華中学校区	440	45.0	43.0	2.0	1.8	3.9
		亀井中学校区	222	41.0	40.5	2.3	3.2	5.4
	第3圏域	大正中学校区	297	45.8	41.4	2.0	4.7	2.0
		志紀中学校区	304	51.0	45.4	1.6	3.0	3.6
		曙川南中学校区	492	43.9	41.3	1.6	3.0	4.3
	第4圏域	成法中学校区	576	44.6	40.3	2.4	3.1	3.6
		曙川中学校区	358	44.1	45.8	2.5	3.1	2.0
		高美中学校区	292	39.4	41.8	2.1	4.5	2.1
	第5圏域	高安小中学校区	210	44.8	42.4	1.9	3.8	2.4
		南高安中学校区	299	45.2	43.8	2.0	1.3	1.7
		東中学校区	294	44.6	44.6	1.4	5.4	4.1

※網掛け■は最も割合が高いもの

(18) 介護予防実施の際に最も重視するポイント

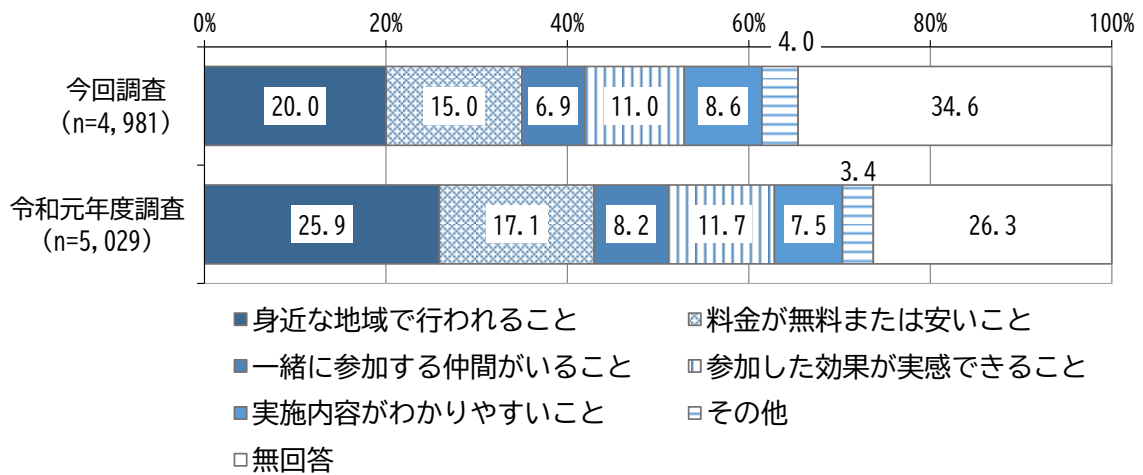
問8-15で「定期的に主治医の診察を受けている」～「その他」と答えた人（取り組んでいる人）のみ、お答えください。

問8-15-1 介護予防を実施する際に、最も重視するポイントは何ですか。（1つだけ）

介護予防実施の際に最も重視するポイントについては、「身近な地域で行われること」が20.0%で最も高く、次いで「料金が無料または安いこと」が15.0%、「参加した効果が実感できること」が11.0%と続いています。

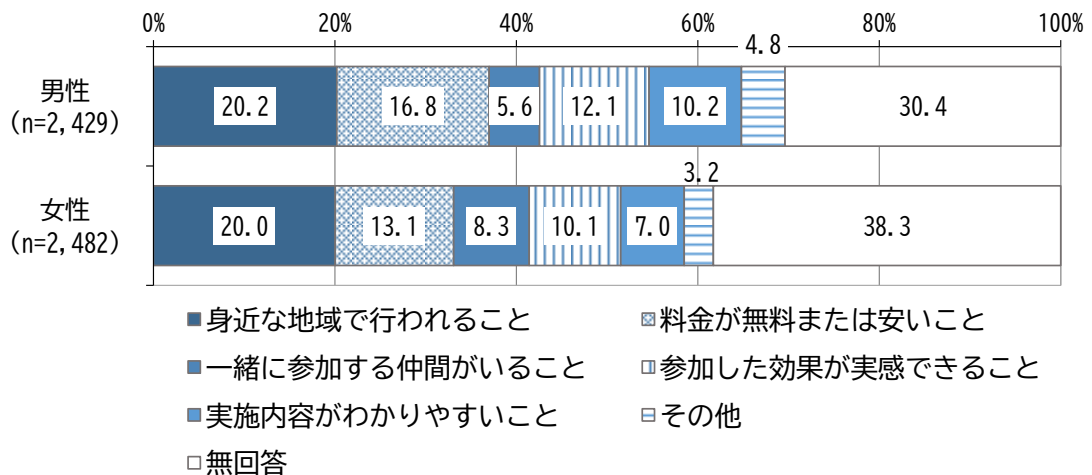
令和元（2019）年度調査と比較すると、今回調査、令和元（2019）年度調査いずれも「身近な地域で行われること」の割合が最も高くなっています。

図表 2-9-74 介護予防実施の際に最も重視するポイント



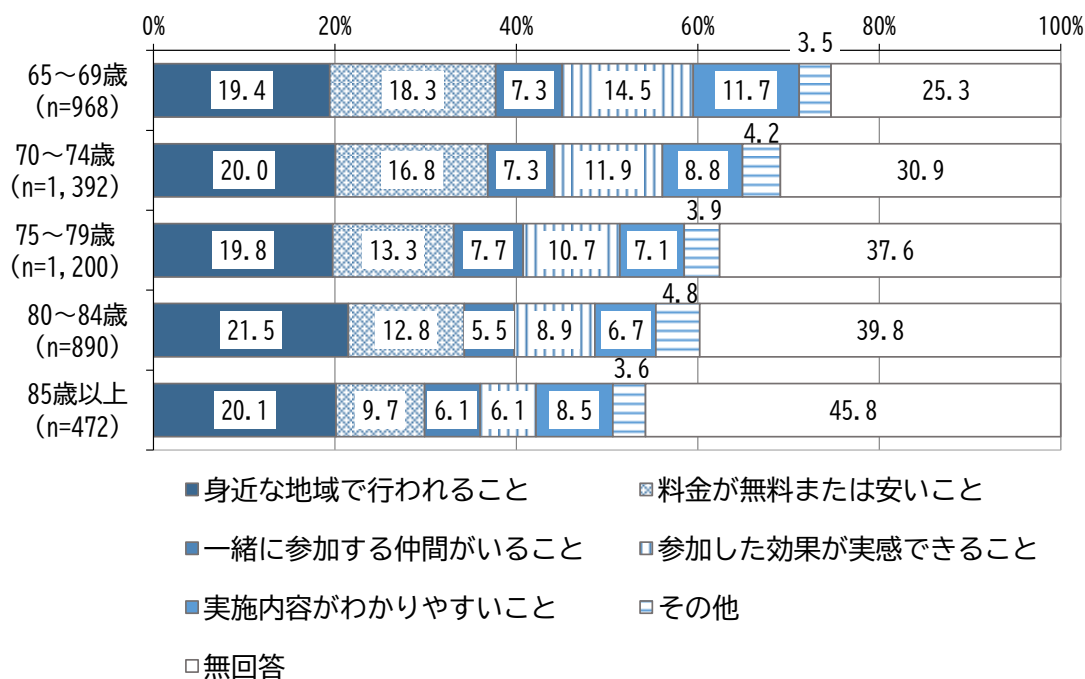
性別でみると、男性・女性いずれも「身近な地域で行われること」の割合が最も高くなっています。

図表 2-9-75 介護予防実施の際に最も重視するポイント 性別



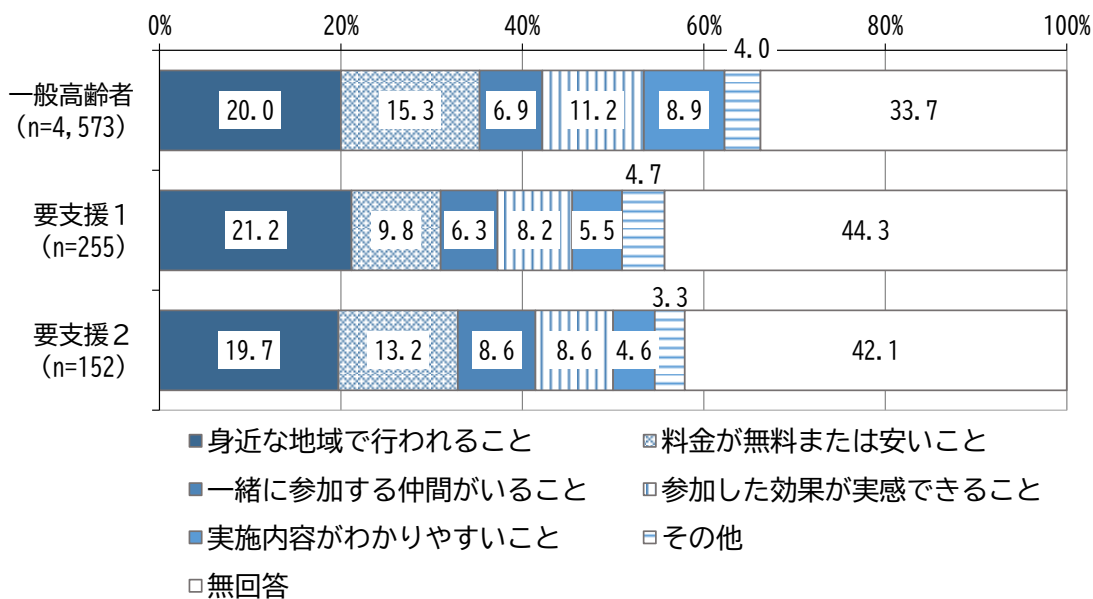
年齢別でみると、全ての年齢層で「身近な地域で行われること」の割合が最も高くなっています。

図表 2-9-76 介護予防実施の際に最も重視するポイント 年齢別



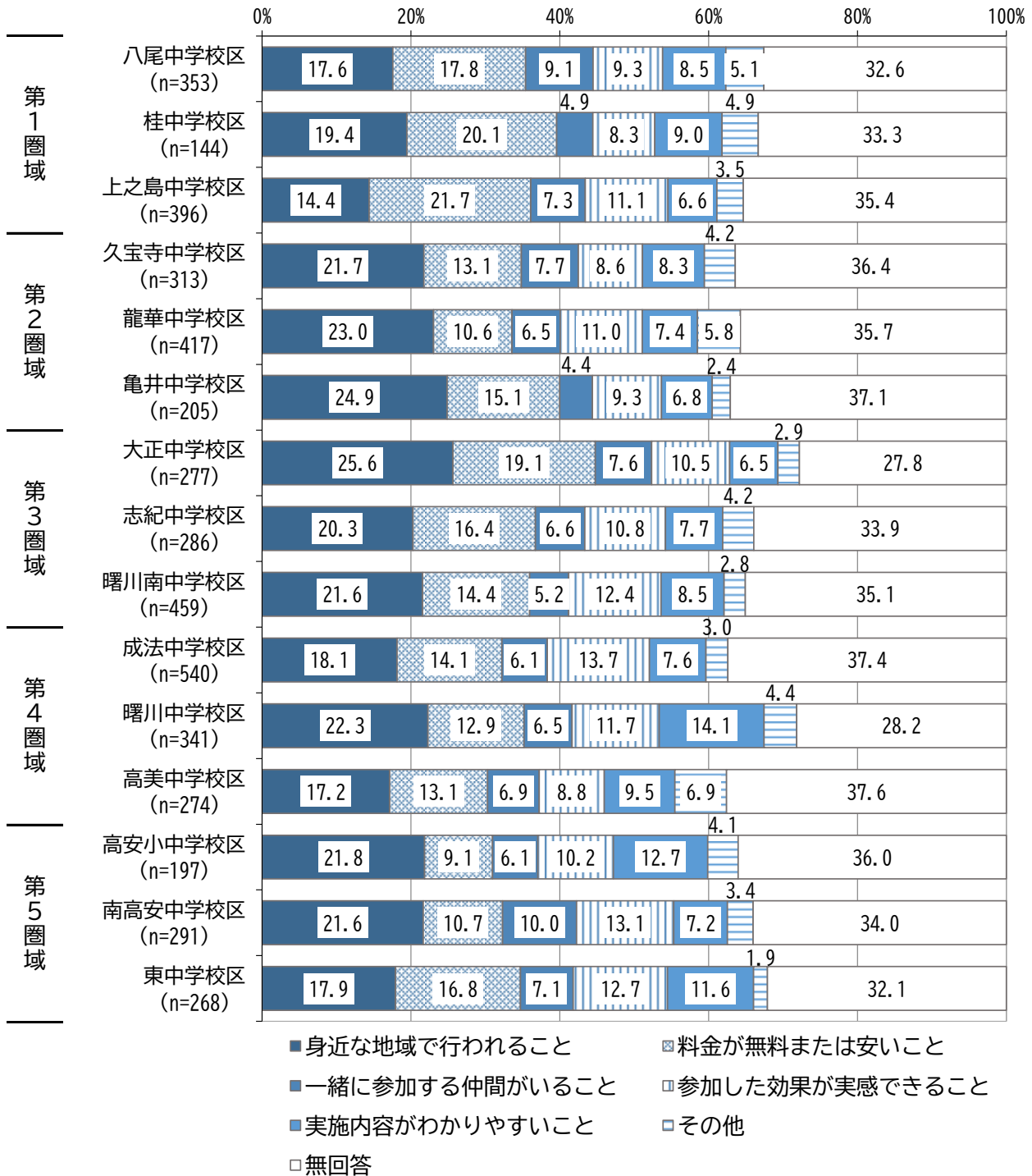
認定状況別でみると、全ての認定状況で「身近な地域で行われること」の割合が最も高くなっています。

図表 2-9-77 介護予防実施の際に最も重視するポイント 認定状況別



中学校区別でみると、「身近な地域で行われること」では、大正中学校区が 25.6%で最も高くなっています。

図表 2-9-78 介護予防実施の際に最も重視するポイント 中学校区別



10 お住まいの地域について

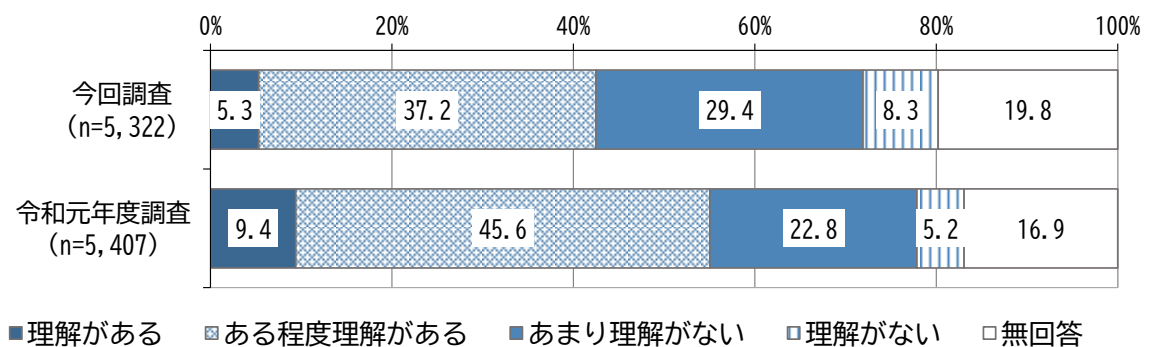
(1) 居住地域は認知症の高齢者に対して理解があると感じるか

問9-1 お住まいの地域は認知症の高齢者に対して理解があると感じますか。(1つだけ)

居住地域は認知症の高齢者に対して理解があると感じるかについては、「ある程度理解がある」が37.2%で最も高く、次いで「あまり理解がない」が29.4%、「理解がない」が8.3%と続いています。

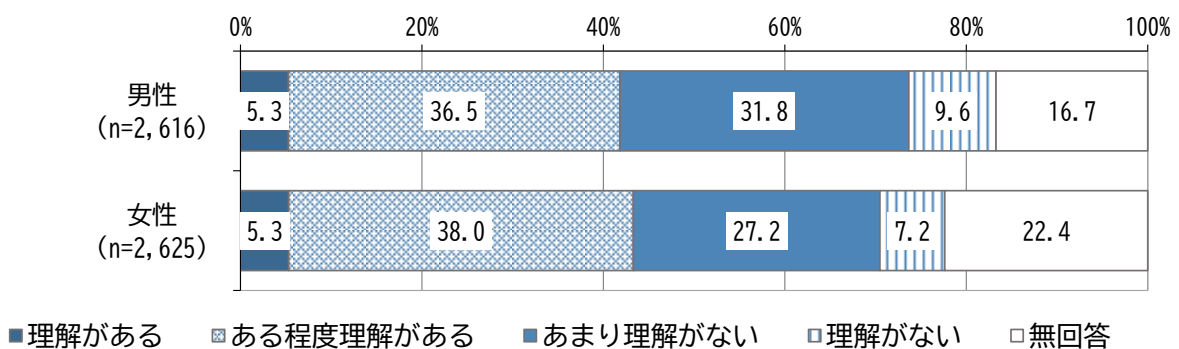
令和元(2019)年度調査と比較すると、『理解がない』(「あまり理解がない」と「理解がない」の合計)(37.7%)では、令和元(2019)年度調査(28.0%)より9.7ポイント増加しています。

図表 2-10-1 居住地域は認知症の高齢者に対して理解があると感じるか



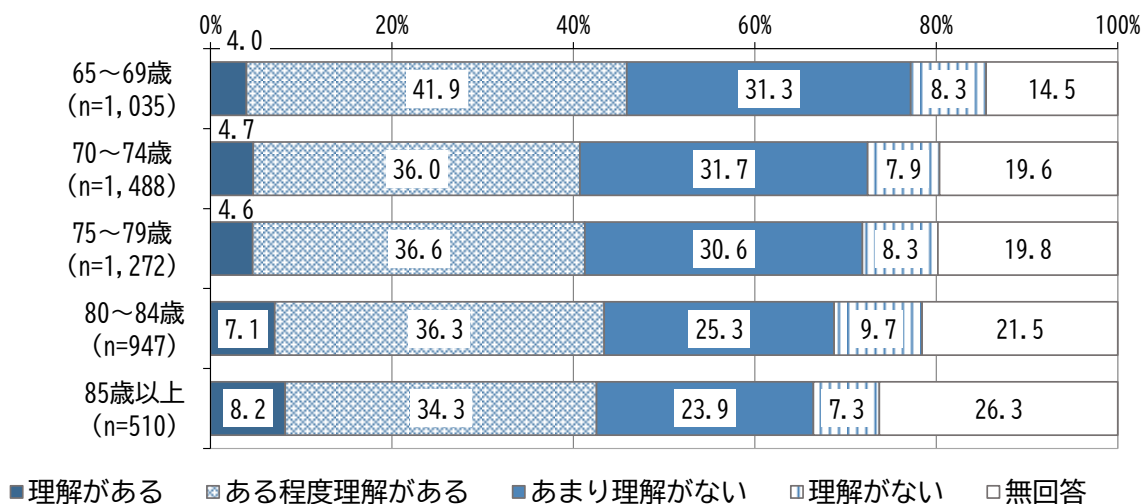
性別でみると、『理解がない』では、男性が41.4%で、女性(34.4%)より7.0ポイント高くなっています。

図表 2-10-2 居住地域は認知症の高齢者に対して理解があると感じるか 性別



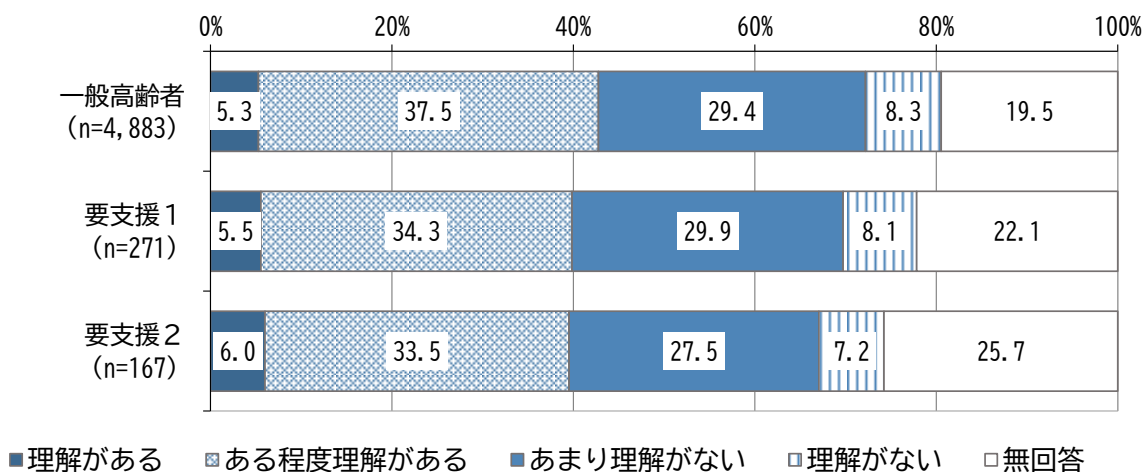
年齢別でみると、『理解がある』（「理解がある」と「ある程度理解がある」の合計）では、65～69歳が45.9%で最も高くなっています。

図表 2-10-3 居住地は認知症の高齢者に対して理解があると感じるか 年齢別



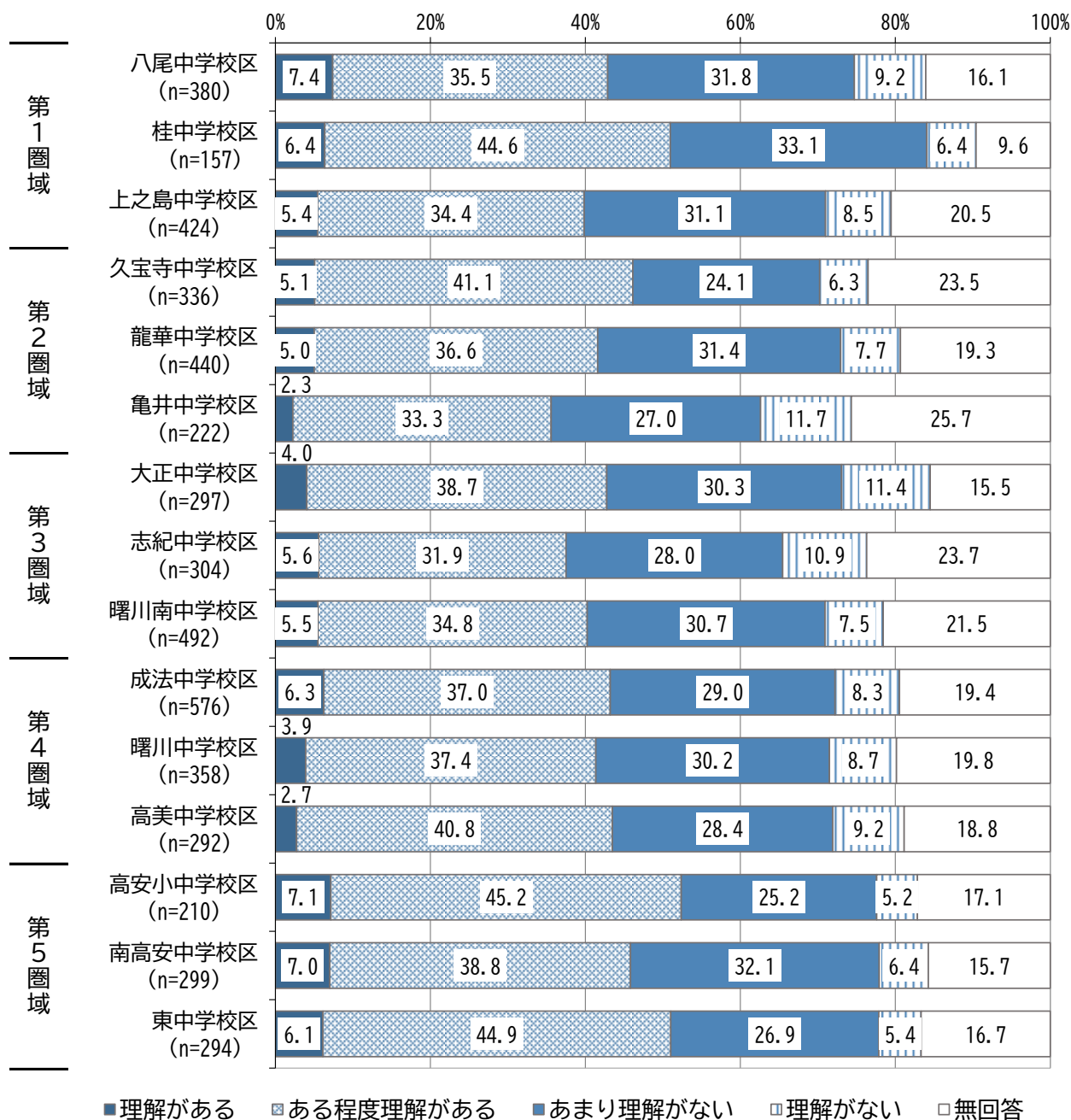
認定状況別でみると、『理解がある』では、一般高齢者が42.8%で最も高くなっています。

図表 2-10-4 居住地は認知症の高齢者に対して理解があると感じるか 認定状況別



中学校区別でみると、『理解がある』では、高安小中学校区が52.3%で最も高くなっています。

図表 2-10-5 居住地は認知症の高齢者に対して理解があると感じるか 中学校区別



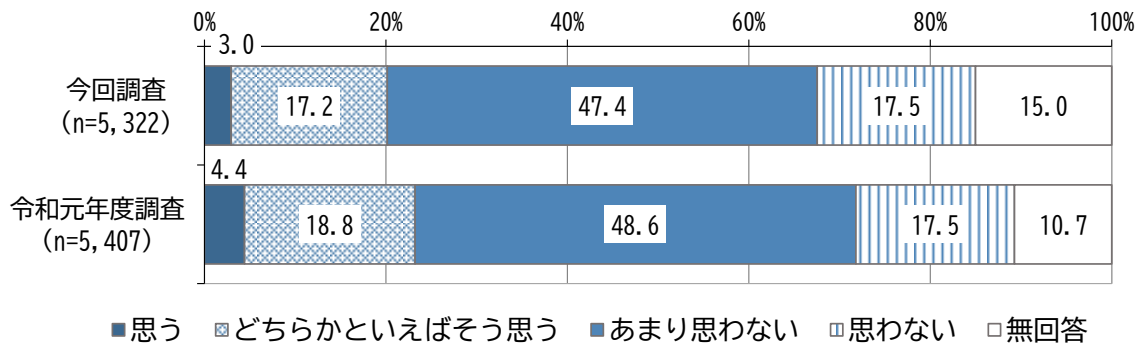
(2) 居住地域はボランティア活動が活発だと思うか

問9-2 お住まいの地域はボランティア活動が活発だと思いますか。(1つだけ)

居住地域はボランティア活動が活発だと思うかについては、「あまり思わない」が47.4%で最も高く、次いで「思わない」が17.5%、「どちらかといえばそう思う」が17.2%と続いています。

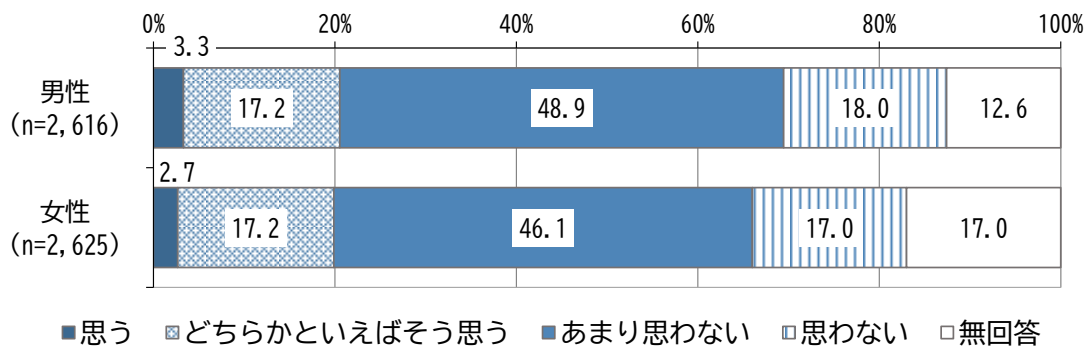
令和元(2019)年度調査と比較すると、『思う』(「思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)(20.2%)では、令和元(2019)年度調査(23.2%)より3.0ポイント減少しています。

図表 2-10-6 居住地域はボランティア活動が活発だと思うか



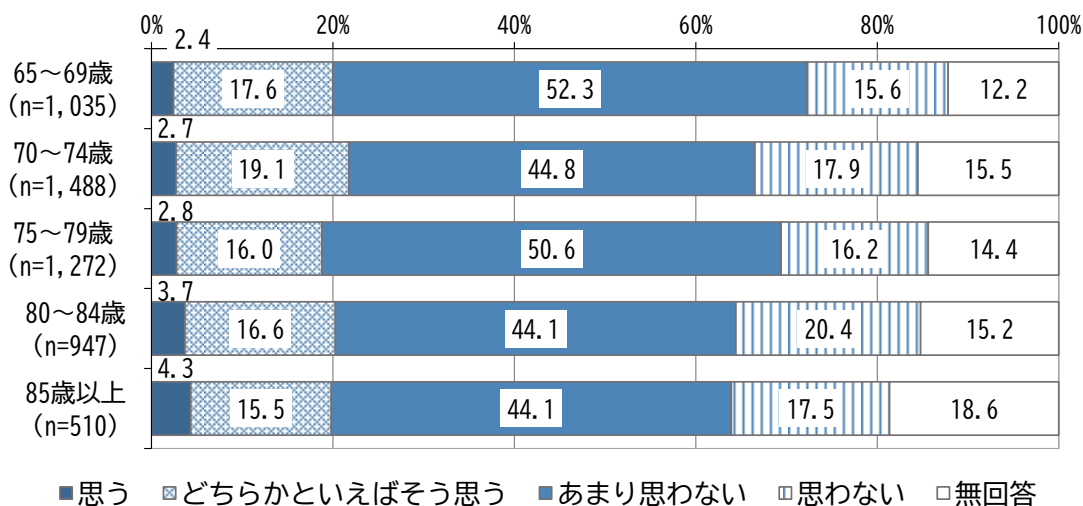
性別でみると、男性・女性いずれも「あまり思わない」の割合が最も高くなっています。

図表 2-10-7 居住地域はボランティア活動が活発だと思うか 性別



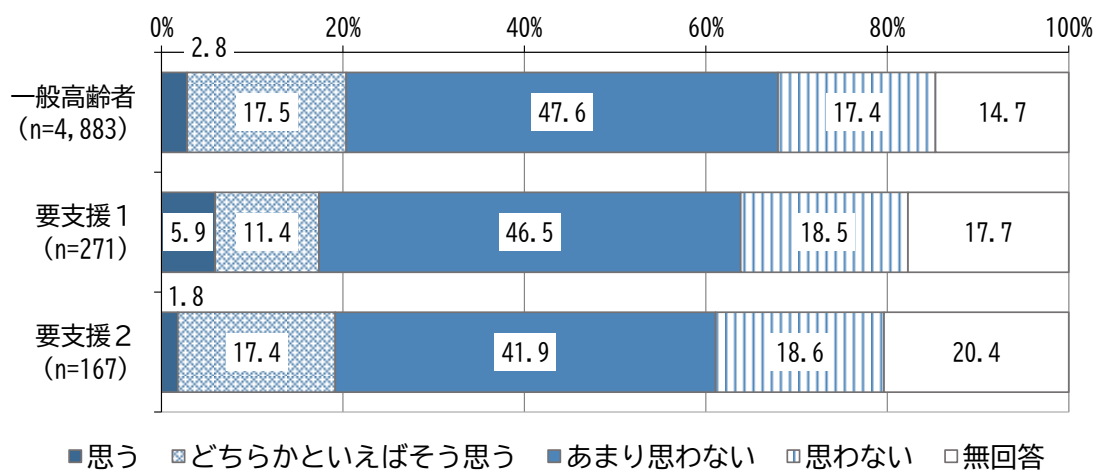
年齢別でみると、『思う』では、70～74歳が21.8%で最も高く、『思わない』（「あまり思わない」と「思わない」の合計）では、65～69歳が67.9%で最も高くなっています。

図表 2-10-8 居住地はボランティア活動が活発だと思うか 年齢別



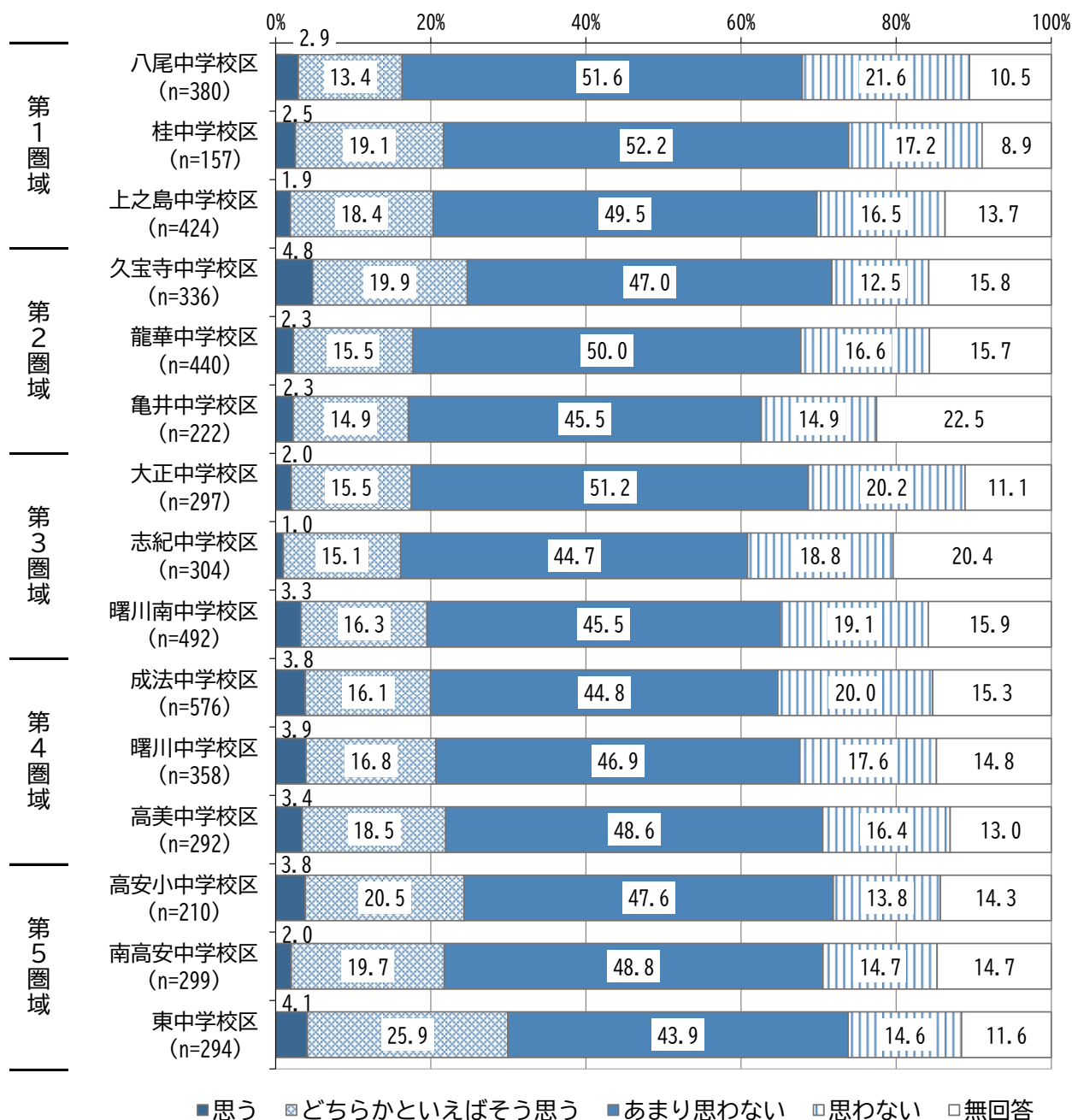
認定状況別でみると、「思わない」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が18.6%で最も高くなっています。

図表 2-10-9 居住地はボランティア活動が活発だと思うか 認定状況別



中学校区別でみると、『思う』では、東中学校区が30.0%で最も高く、『思わない』では、八尾中学校区が73.2%で最も高くなっています。

図表 2-10-10 居住地域はボランティア活動が活発だと思うか 中学校区別



11 介護保険制度などについて

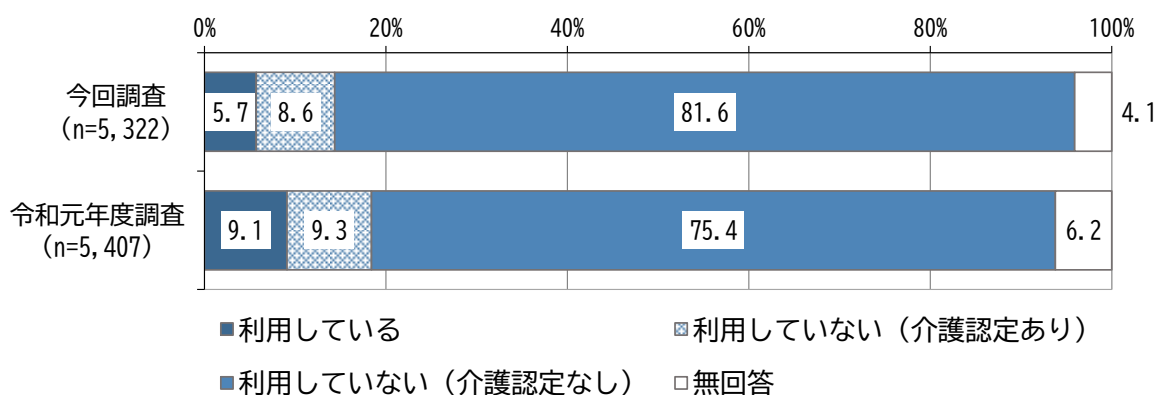
(1) 介護保険サービスの利用状況

問 10-1 あなたは、介護保険サービスを利用していますか。(1つだけ)

介護保険サービスの利用状況については、「利用していない(介護認定なし)」が81.6%で最も高く、次いで「利用していない(介護認定あり)」が8.6%、「利用している」が5.7%となっています。

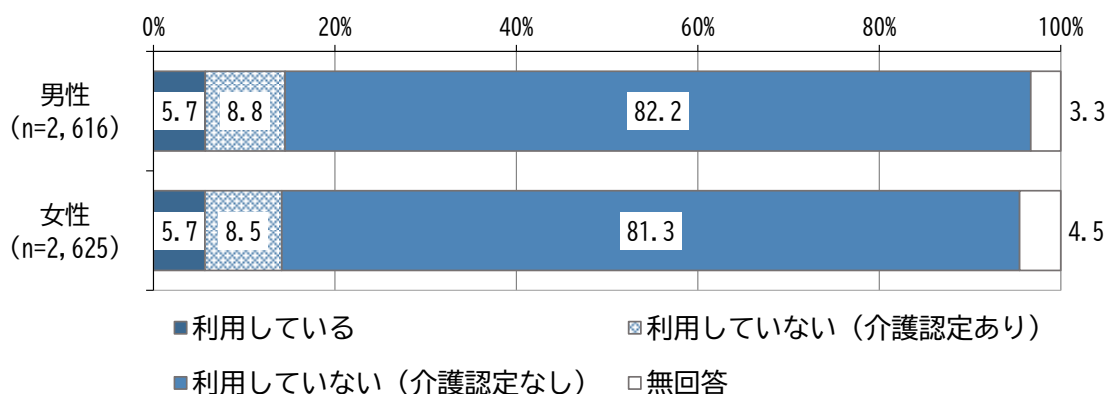
令和元(2019)年度調査と比較すると、「利用している」(5.7%)では、令和元(2019)年度調査(9.1%)より3.4ポイント減少しています。

図表 2-11-1 介護保険サービスの利用状況



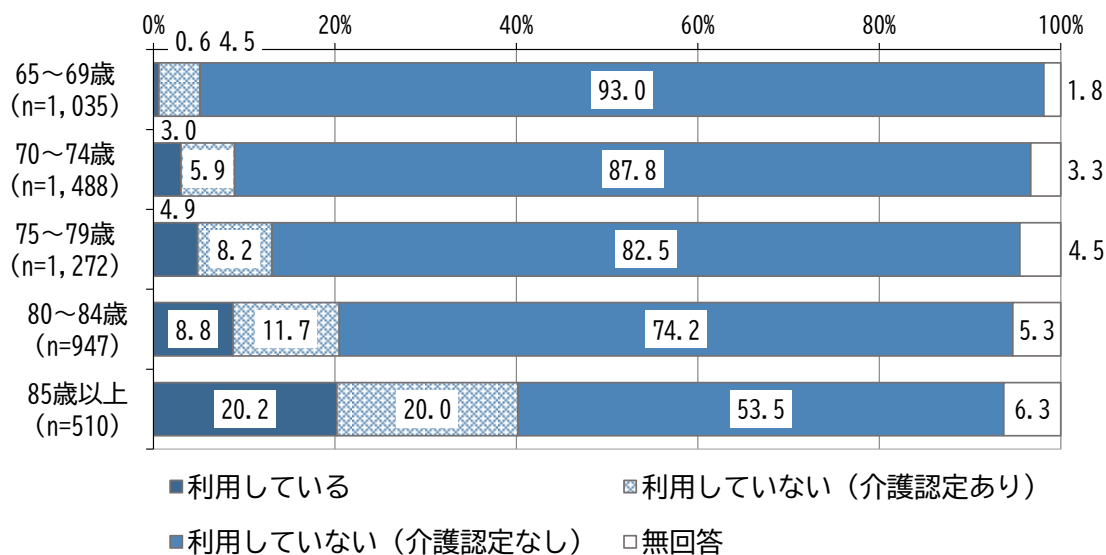
性別で見ると、「利用している」では、男性・女性いずれも5.7%となっています。

図表 2-11-2 介護保険サービスの利用状況 性別



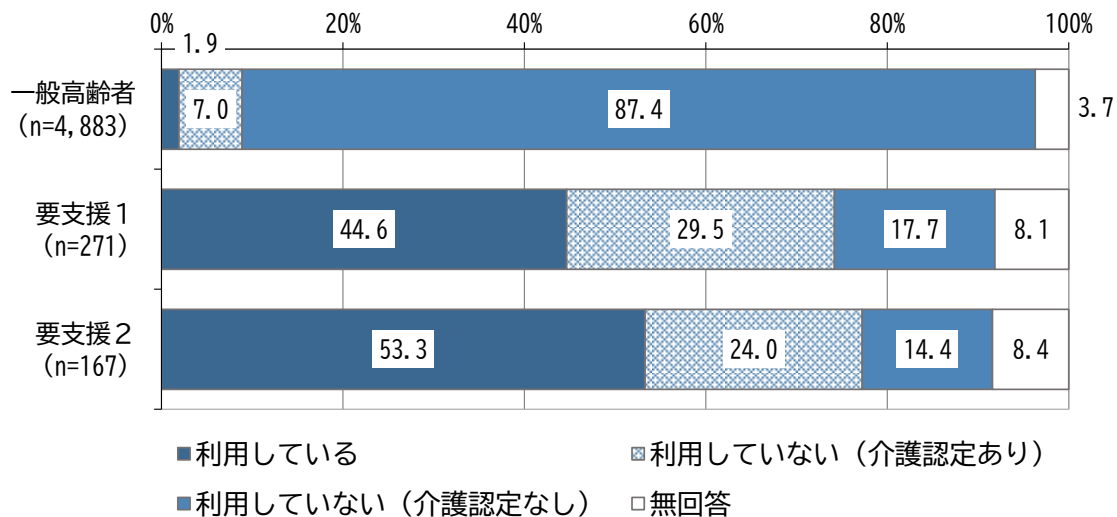
年齢別でみると、「利用している」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が20.2%で最も高くなっています。

図表 2-11-3 介護保険サービスの利用状況 年齢別



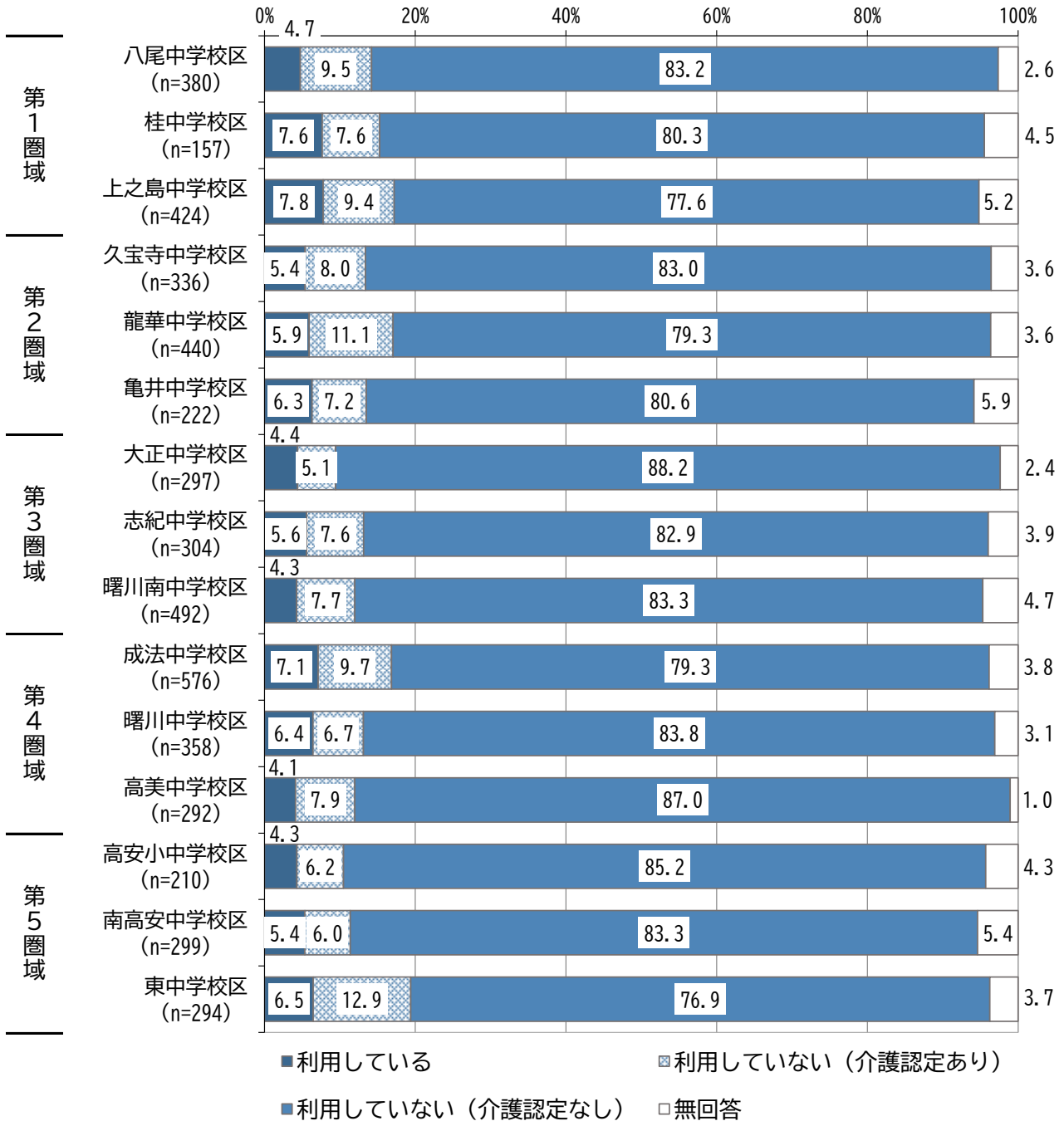
認定状況別でみると、「利用している」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が53.3%で最も高くなっています。

図表 2-11-4 介護保険サービスの利用状況 認定状況別



中学校区別でみると、「利用している」では、上之島中学校区が7.8%で最も高く、「利用していない（介護認定あり）」では、東中学校区が12.9%で最も高くなっています。

図表 2-11-5 介護保険サービスの利用状況 中学校区別



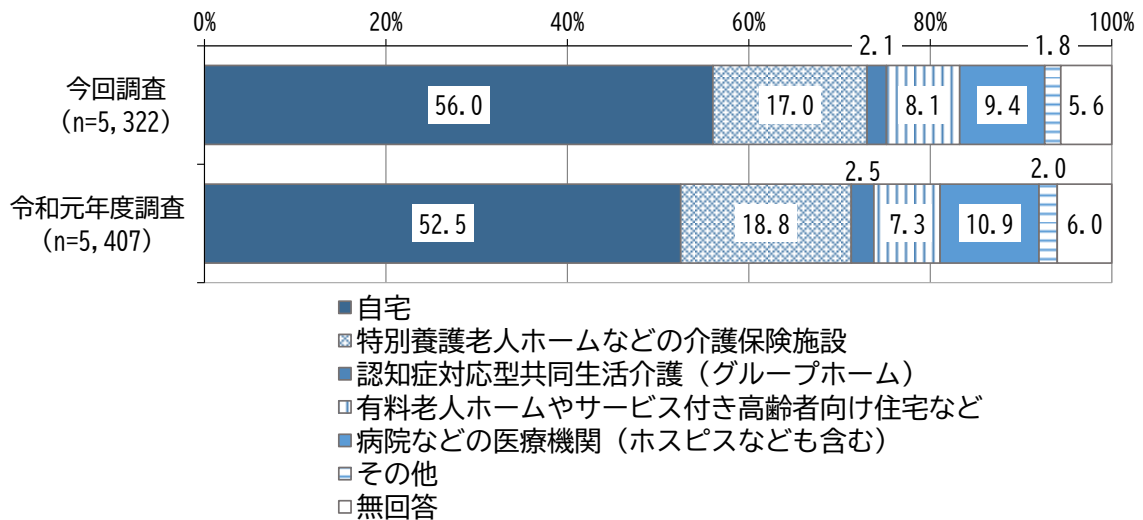
(2) 医療・介護が必要となったときに暮らしたい場所

問 10-2 あなたは今後、病気などの後遺症で医療、介護が必要となったとき、主にどこで暮らしたいと思いますか。(1つだけ)

医療・介護が必要となったときに暮らしたい場所については、「自宅」が56.0%で最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が17.0%、「病院などの医療機関（ホスピスなども含む）」が9.4%と続いています。

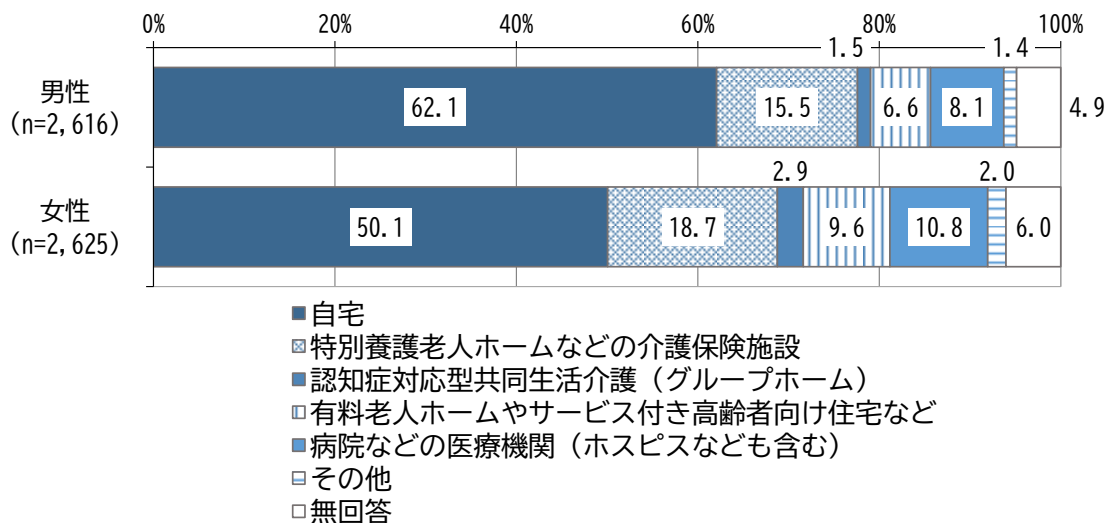
令和元(2019)年度調査と比較すると、「自宅」(56.0%)では、令和元(2019)年度調査(52.5%)より3.5ポイント増加しています。

図表 2-11-6 医療・介護が必要となったときに暮らしたい場所



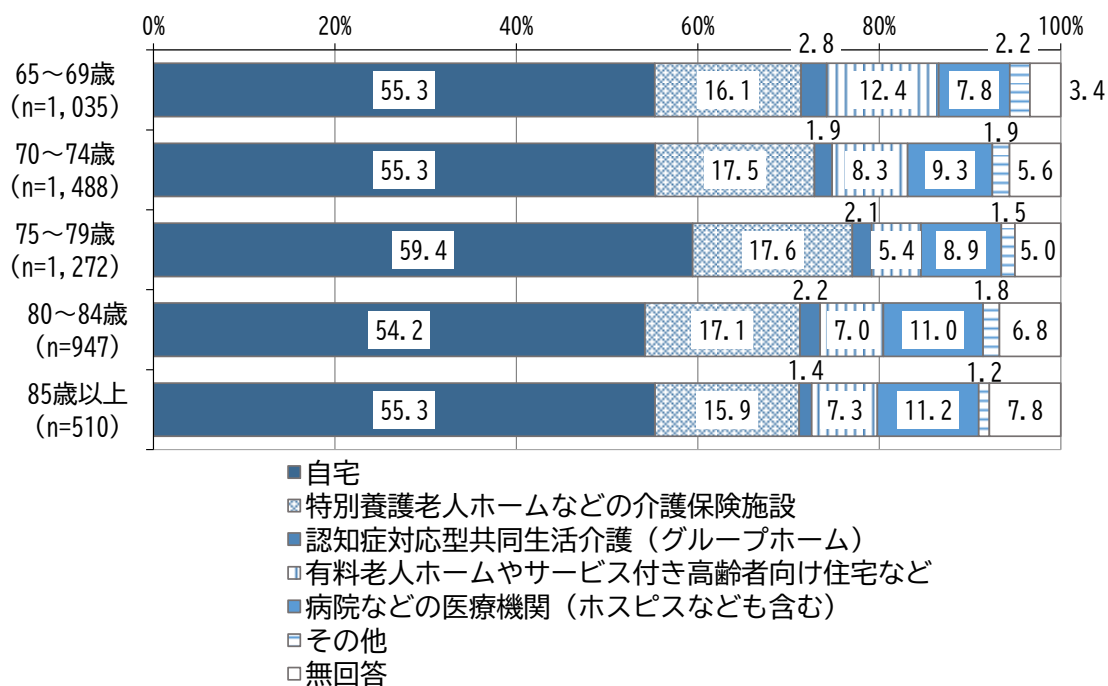
性別でみると、「自宅」では、男性が62.1%で、女性(50.1%)より12.0ポイント高くなっています。

図表 2-11-7 医療・介護が必要となったときに暮らしたい場所 性別



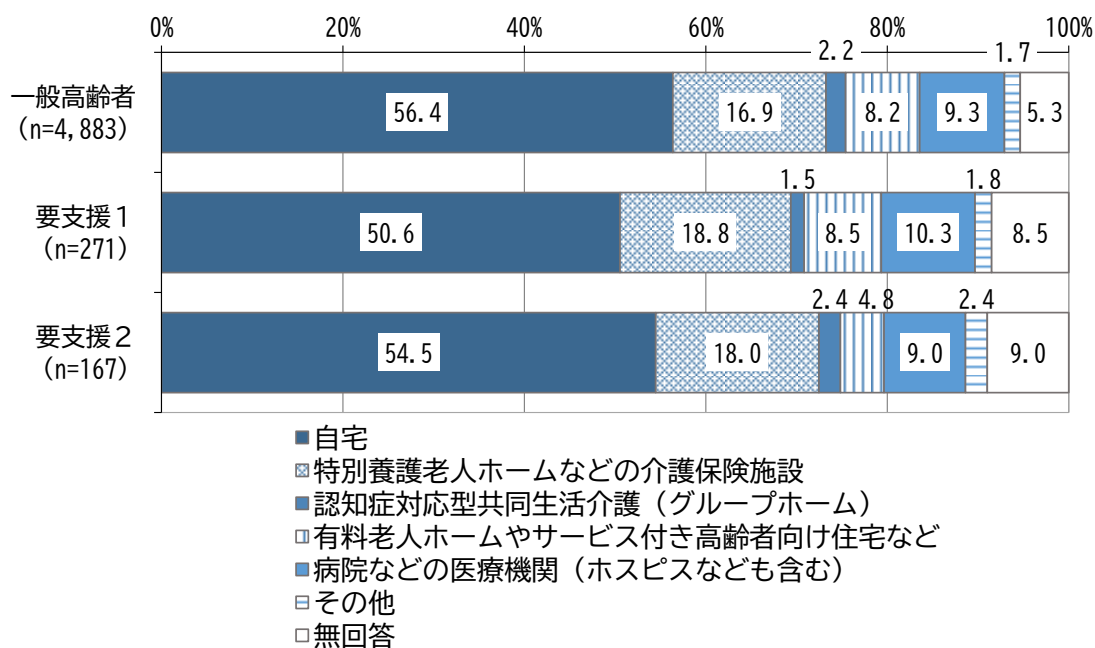
年齢別でみると、「自宅」では、75～79歳が59.4%で最も高くなっています。

図表 2-11-8 医療・介護が必要となったときに暮らしたい場所 年齢別



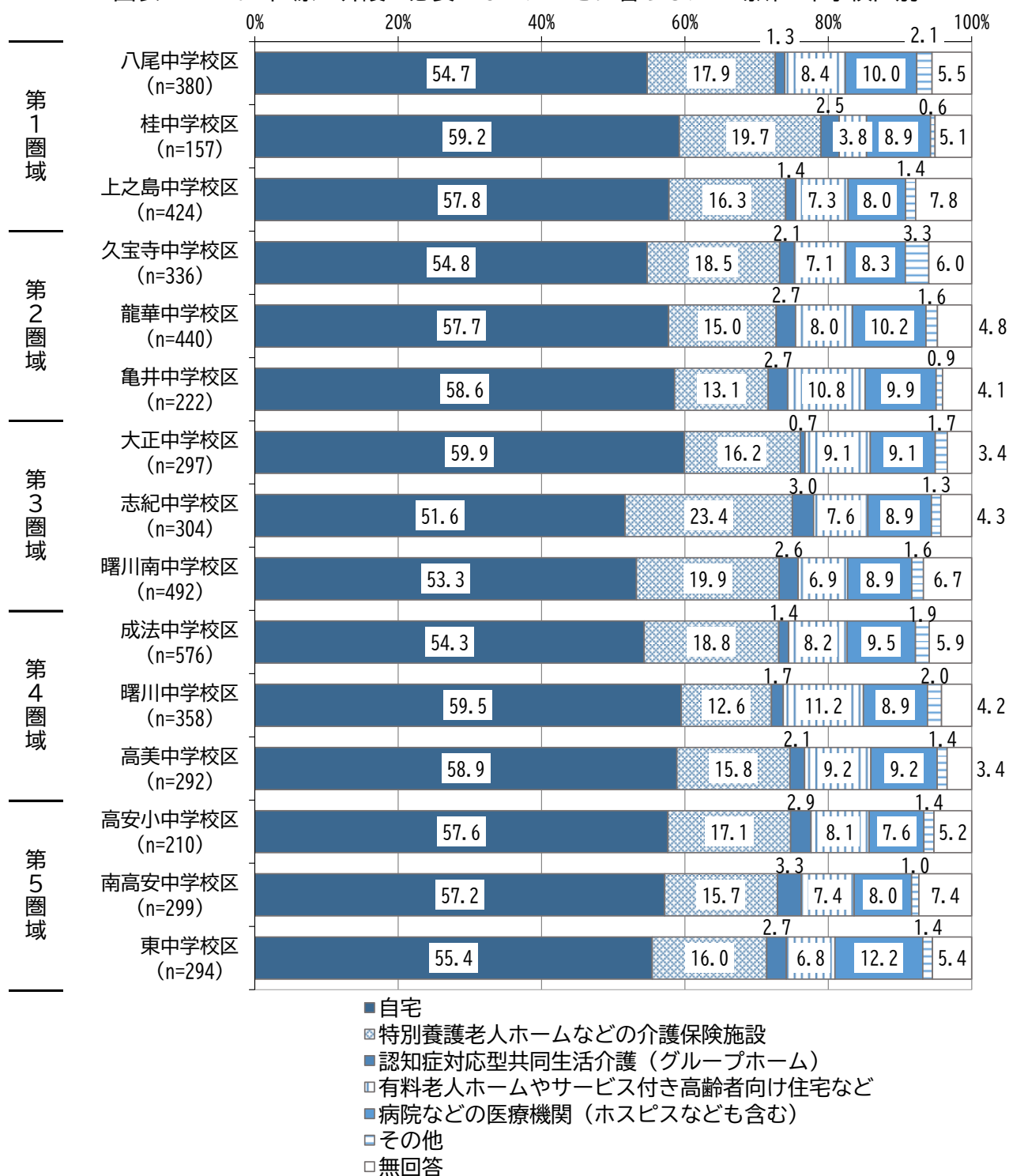
認定状況別でみると、「自宅」では、一般高齢者が56.4%で最も高くなっています。

図表 2-11-9 医療・介護が必要となったときに暮らしたい場所 認定状況別



中学校区別でみると、「自宅」では、大正中学校区が59.9%で最も高くなっています。

図表 2-11-10 医療・介護が必要となったときに暮らしたい場所 中学校区別



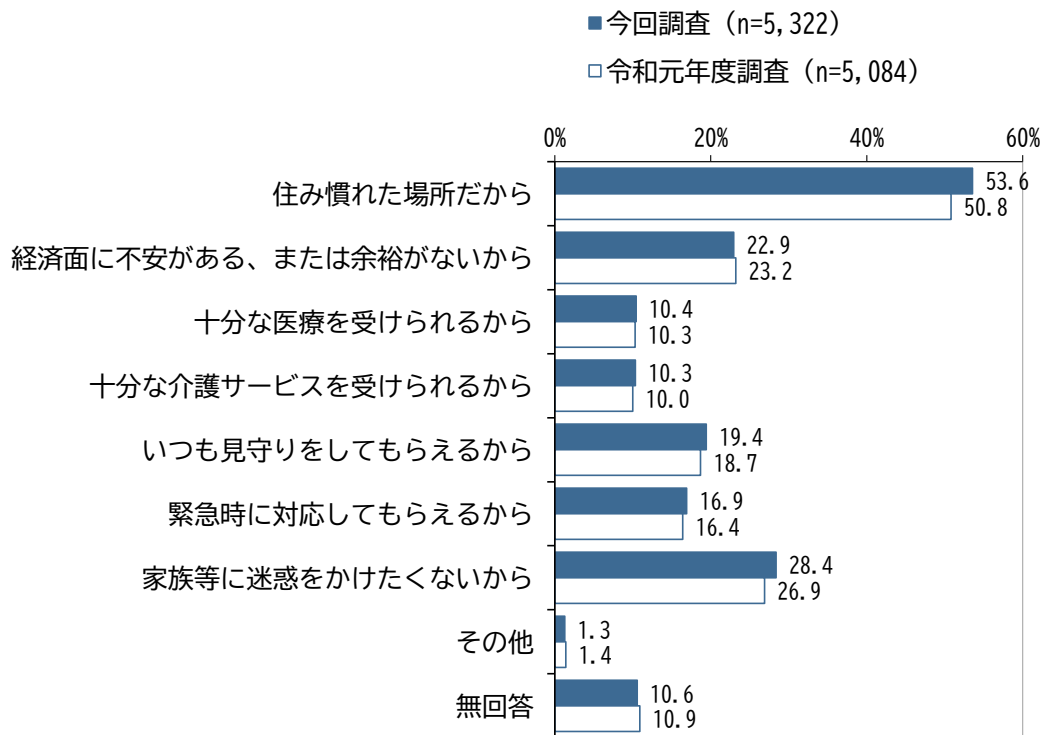
(3) 医療・介護が必要となったときに暮らしたい場所を選んだ理由

問 10-2-1 その理由をお教えてください。(いくつでも)

医療・介護が必要となったときに暮らしたい場所を選んだ理由については、「住み慣れた場所だから」が53.6%で最も高く、次いで「家族等に迷惑をかけたくないから」が28.4%、「経済面に不安がある、または余裕がないから」が22.9%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-11-11 医療・介護が必要となったときに暮らしたい場所を選んだ理由



性別でみると、男性・女性いずれも「住み慣れた場所だから」の割合が最も高くなっています。年齢別でみると、全ての年齢層で「住み慣れた場所だから」の割合が最も高くなっています。認定状況別でみると、全ての認定状況で「住み慣れた場所だから」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「住み慣れた場所だから」では、高美中学校区が 58.6%で最も高くなっています。

図表 2-11-12 医療・介護が必要となったときに暮らしたい場所を選んだ理由 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	住み慣れた場所だから	経済面には余裕がないから、または余裕がないから	十分な医療を受けられないから	十分な介護サービスを受けられないから	いつも見守りをしてもらえないから	緊急時に対応してもらえないから	家族等に迷惑をかけた	その他	無回答	
全体		5,322	53.6	22.9	10.4	10.3	19.4	16.9	28.4	1.3	10.6	
性別	男性	2,616	58.8	23.1	10.2	10.2	19.0	15.7	22.6	1.1	9.1	
	女性	2,625	48.4	23.0	10.7	10.6	20.1	18.3	34.3	1.4	11.6	
年齢別	65～69歳	1,035	52.7	23.1	9.1	11.2	18.4	16.2	30.6	2.2	8.1	
	70～74歳	1,488	53.7	24.4	10.3	10.1	17.6	16.0	29.2	1.3	10.6	
	75～79歳	1,272	55.9	23.6	9.7	8.3	18.6	16.7	26.3	0.8	9.7	
	80～84歳	947	51.4	23.7	12.4	11.9	23.1	19.2	30.1	1.1	12.4	
	85歳以上	510	54.1	16.1	11.6	11.2	22.7	18.0	33.7	0.8	12.4	
状況別	一般高齢者	4,883	53.7	23.0	10.1	10.0	19.1	16.6	28.7	1.3	10.4	
	要支援1	271	49.8	23.2	12.9	13.7	22.9	21.0	24.7	0.7	12.2	
	要支援2	167	55.1	21.0	16.2	14.4	22.2	19.8	24.6	2.4	13.8	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	50.3	27.4	12.6	9.7	17.4	18.4	29.7	2.4	10.5
		桂中学校区	157	52.2	31.8	8.9	5.7	16.6	12.7	28.0	1.3	12.1
		上之島中学校区	424	54.7	21.5	9.0	9.4	17.7	17.9	24.1	0.7	13.2
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	52.7	21.7	12.5	11.6	21.7	17.9	28.0	1.5	11.0
		龍華中学校区	440	55.9	21.1	10.5	10.9	19.8	17.7	26.6	0.5	9.3
		亀井中学校区	222	55.4	24.8	13.1	9.0	18.0	15.8	28.8	0.5	7.2
	第3圏域	大正中学校区	297	56.2	26.3	7.7	8.4	22.6	15.8	27.6	1.0	11.4
		志紀中学校区	304	46.7	26.0	9.5	10.9	20.4	14.1	31.6	1.3	10.9
		曙川南中学校区	492	52.8	22.0	12.6	14.4	24.0	19.7	31.1	2.0	8.5
	第4圏域	成法中学校区	576	51.7	20.1	11.6	12.0	19.6	17.2	27.8	1.2	12.7
		曙川中学校区	358	56.4	21.2	8.7	10.1	21.2	16.2	28.2	2.0	8.1
		高美中学校区	292	58.6	19.2	7.9	9.6	16.4	17.8	28.1	1.7	8.9
	第5圏域	高安小中学校区	210	56.2	23.3	10.0	9.0	22.4	16.7	29.0	0.5	8.1
南高安中学校区		299	54.8	21.4	9.0	8.7	16.7	13.4	28.4	1.7	10.7	
東中学校区		294	57.5	22.8	10.9	10.2	16.7	17.3	29.9	0.3	8.8	

※網掛け■は最も割合が高いもの

医療・介護が必要となったとき暮らしたい場所別でみると、自宅では、「住み慣れた場所だから」の割合が最も高く、それ以外の場所では「家族等に迷惑をかけたくないから」の割合が最も高くなっています。

図表 2-11-13 医療・介護が必要となったときに暮らしたい場所を選んだ理由

医療・介護が必要となったときに暮らしたい場所別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	住み慣れた場所だから	経済面に不安がある、または余裕がないから	十分な医療を受けられないから	十分な介護サービスを受けられないから	いつも見守りをしても	緊急時に対応してもらえないから	家族等に迷惑をかけた	その他	無回答
医療・介護が必要となったときに暮らしたい場所別	自宅	2,982	90.6	25.4	4.1	2.8	14.0	8.1	8.8	1.3	2.3
	特別養護老人ホームなどの介護保険施設	905	4.1	33.6	10.4	23.6	27.5	23.8	62.9	0.8	13.1
	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	114	8.8	24.6	7.0	14.9	45.6	31.6	58.8	0.9	15.8
	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅など	429	2.6	4.0	15.9	35.0	36.6	33.6	66.7	0.2	11.4
	病院などの医療機関（ホスピスなども含む）	499	3.4	13.6	45.5	11.4	24.4	43.5	51.3	0.4	13.8
	その他	94	9.6	20.2	4.3	5.3	6.4	6.4	21.3	19.1	45.7

※網掛け■は最も割合が高いもの

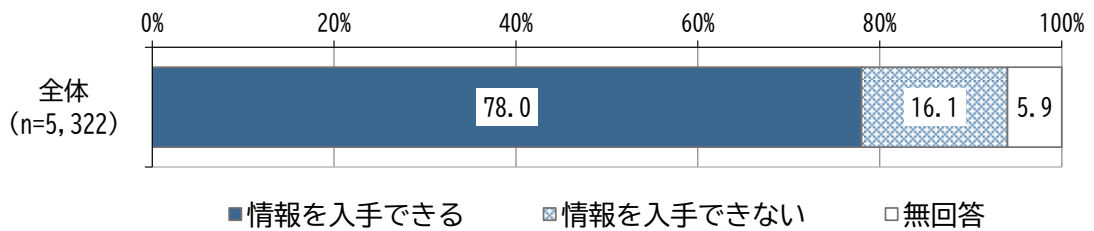
12 災害への対応について

(1) 災害に関する避難情報や緊急情報を入手できるか

問 11-1 あなたは、災害（台風や地震等）に関する避難情報や緊急情報を入手できますか。
(1つだけ)

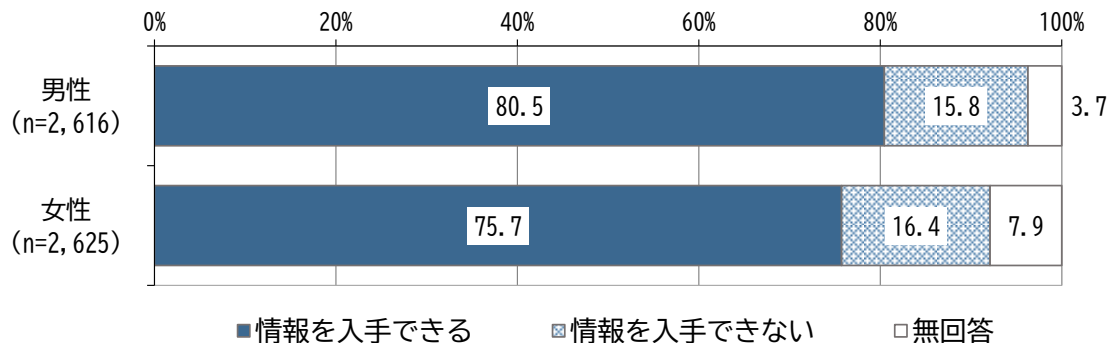
災害に関する避難情報や緊急情報を入手できるかについては、「情報を入手できる」が78.0%、「情報を入手できない」が16.1%となっています。

図表 2-12-1 災害に関する避難情報や緊急情報を入手できるか



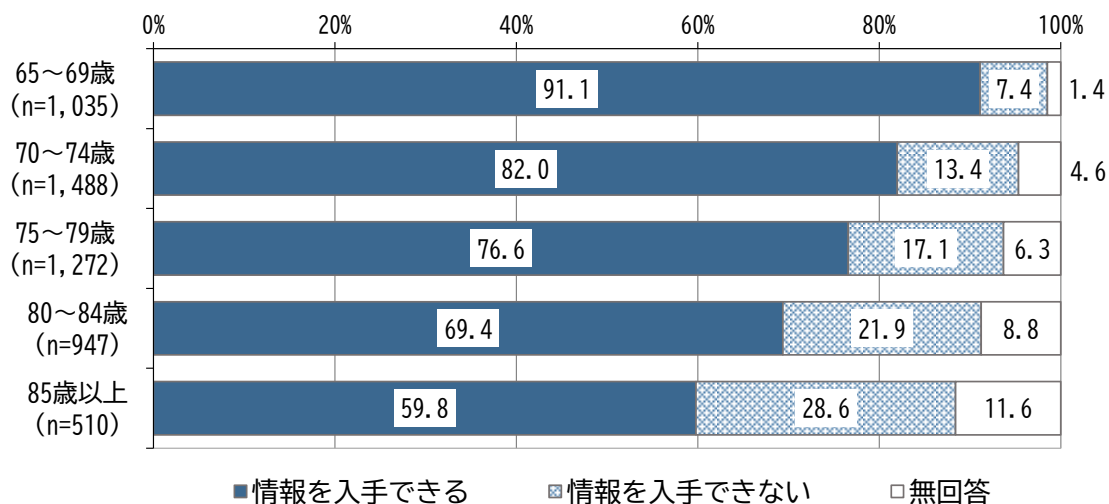
性別でみると、「情報を入手できる」では、男性が80.5%、女性が75.7%となっています。

図表 2-12-2 災害に関する避難情報や緊急情報を入手できるか 性別



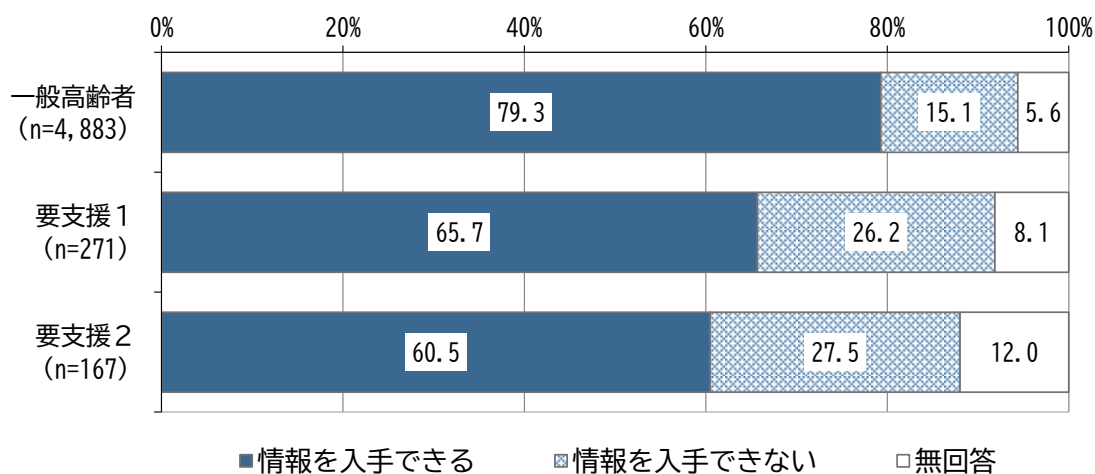
年齢別でみると、「情報を入手できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が28.6%で最も高くなっています。

図表 2-12-3 災害に関する避難情報や緊急情報を入手できるか 年齢別



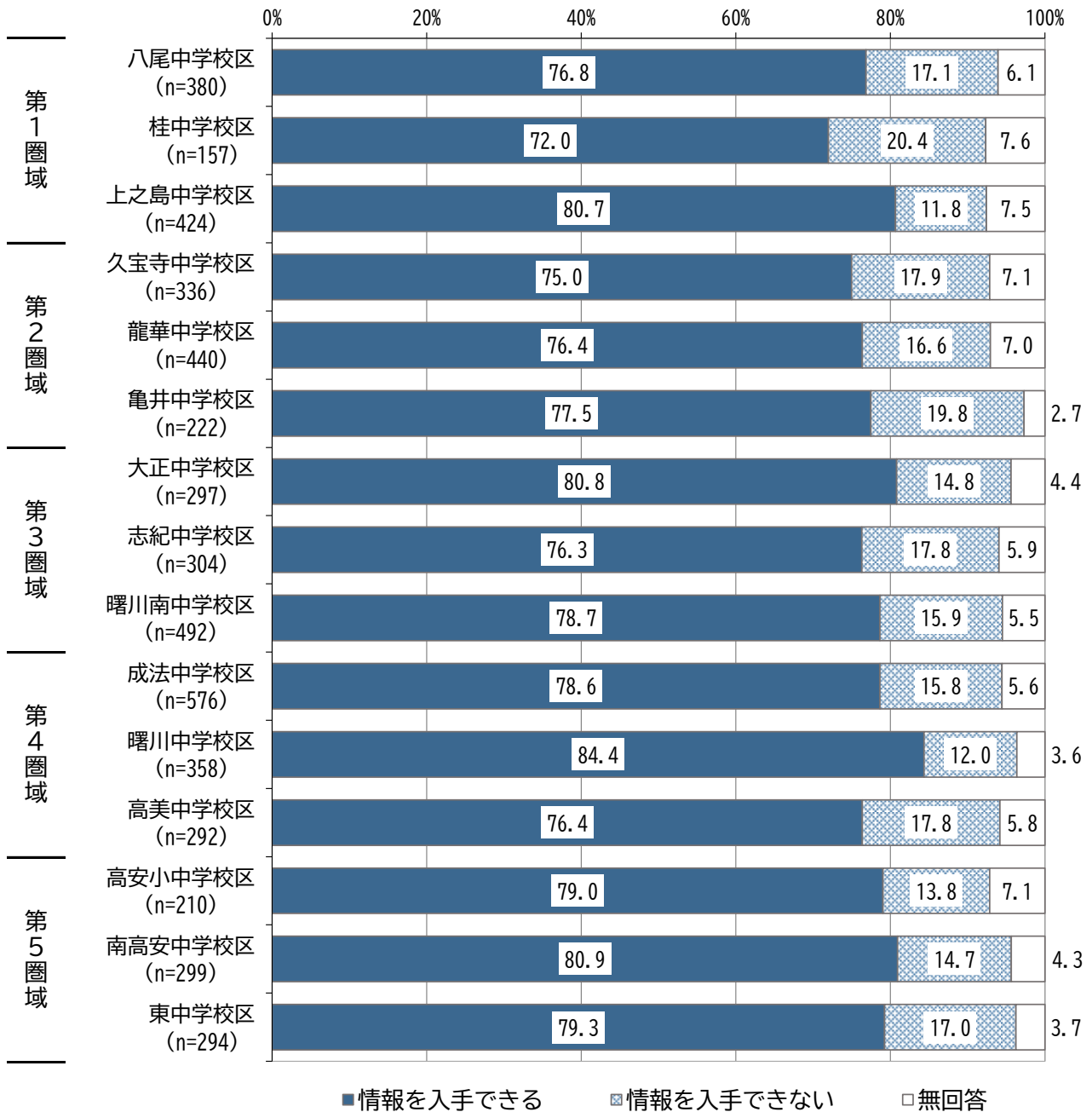
認定状況別でみると、「情報を入手できない」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が27.5%で最も高くなっています。

図表 2-12-4 災害に関する避難情報や緊急情報を入手できるか 認定状況別



中学校区別でみると、「情報を入手できない」では、桂中学校区が20.4%で最も高くなっています。

図表 2-12-5 災害に関する避難情報や緊急情報を入手できるか 中学校区別



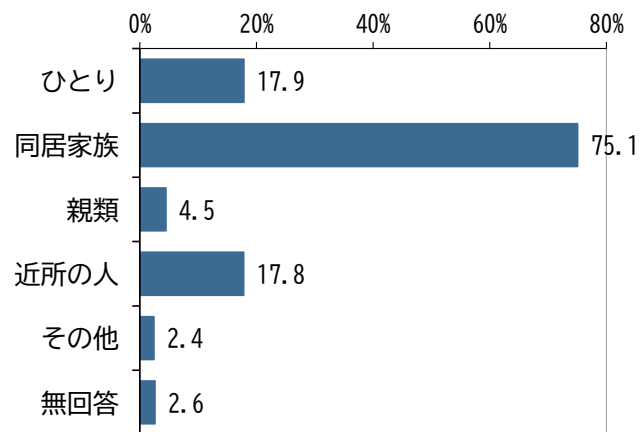
(2) 災害時に一緒に避難する相手

問 11-2 災害（台風や地震等）が起こったとき、あなたは誰と避難しますか。（いくつでも）

災害時に一緒に避難する相手については、「同居家族」が75.1%で最も高く、次いで「ひとり」が17.9%、「近所の人」が17.8%と続いています。

図表 2-12-6 災害時に一緒に避難する相手

全体（n=5,322）



性別でみると、男性・女性いずれも「同居家族」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「同居家族」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、「ひとり」では、85歳以上が20.8%で最も高くなっています。

認定状況でみると、「ひとり」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が26.9%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、「ひとり」では、桂中学校区が25.5%で最も高くなっています。

図表 2-12-7 災害時に一緒に避難する相手 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	ひとり	同居家族	親類	近所の人	その他	無回答	
全体		5,322	17.9	75.1	4.5	17.8	2.4	2.6	
性別	男性	2,616	14.6	81.0	4.2	14.6	1.6	2.2	
	女性	2,625	21.0	69.6	4.8	21.1	3.2	2.8	
年齢別	65～69歳	1,035	18.3	81.4	3.1	9.5	1.4	0.9	
	70～74歳	1,488	17.1	77.6	4.6	17.3	2.1	2.3	
	75～79歳	1,272	17.3	74.9	4.6	20.4	2.4	2.4	
	80～84歳	947	17.6	71.0	5.3	24.3	3.7	3.1	
	85歳以上	510	20.8	64.5	5.1	17.6	3.1	5.5	
状況別 認定	一般高齢者	4,883	17.3	76.6	4.5	17.5	2.3	2.3	
	要支援1	271	22.9	58.7	4.4	21.8	4.4	6.6	
	要支援2	167	26.9	58.1	4.8	19.8	1.8	4.8	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	22.1	67.9	3.7	17.6	3.4	2.9
		桂中学校区	157	25.5	60.5	3.8	24.8	3.2	2.5
		上之島中学校区	424	17.0	74.8	5.2	20.3	2.4	2.8
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	17.0	74.1	2.7	18.2	3.0	2.7
		龍華中学校区	440	20.0	75.7	3.9	16.6	1.4	2.0
		亀井中学校区	222	15.3	77.0	2.7	13.5	2.7	2.7
	第3圏域	大正中学校区	297	15.5	78.8	5.7	19.9	1.7	3.0
		志紀中学校区	304	19.4	76.3	4.6	17.1	3.0	3.0
		曙川南中学校区	492	11.8	82.3	4.7	18.9	1.6	3.0
	第4圏域	成法中学校区	576	18.4	73.1	5.0	14.8	2.4	2.4
		曙川中学校区	358	20.1	75.1	4.5	17.6	2.2	1.4
		高美中学校区	292	18.2	77.7	5.5	18.2	2.4	1.0
	第5圏域	高安小中学校区	210	13.8	80.0	6.7	20.0	1.9	2.9
		南高安中学校区	299	16.4	78.6	4.7	14.7	3.7	2.0
		東中学校区	294	16.0	79.9	4.1	19.7	1.4	1.7

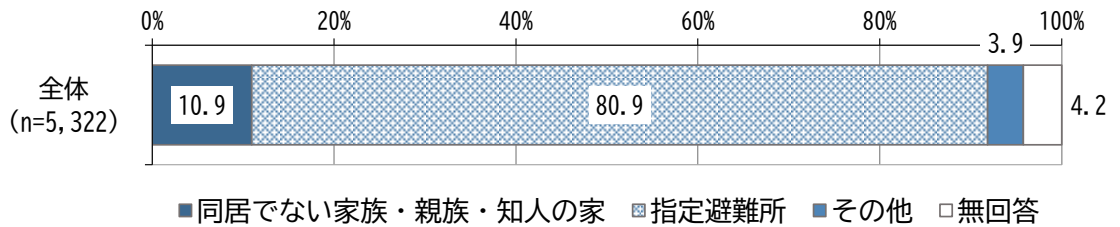
※網掛け■は最も割合が高いもの

(3) 災害時の避難場所

問 11-3 災害（台風や地震等）が起こったとき、あなたはどこへ避難しますか。（1つだけ）

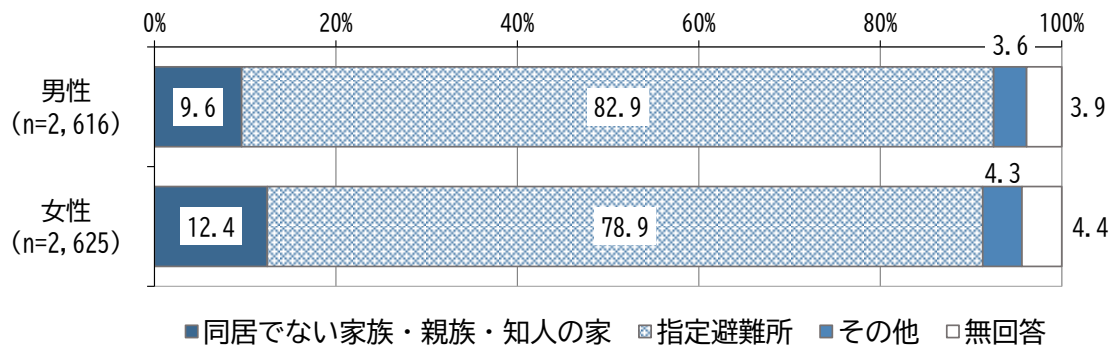
災害時の避難場所については、「指定避難所」が80.9%で最も高く、次いで「同居でない家族・親族・知人の家」が10.9%、「その他」が3.9%となっています。

図表 2-12-8 災害時の避難場所

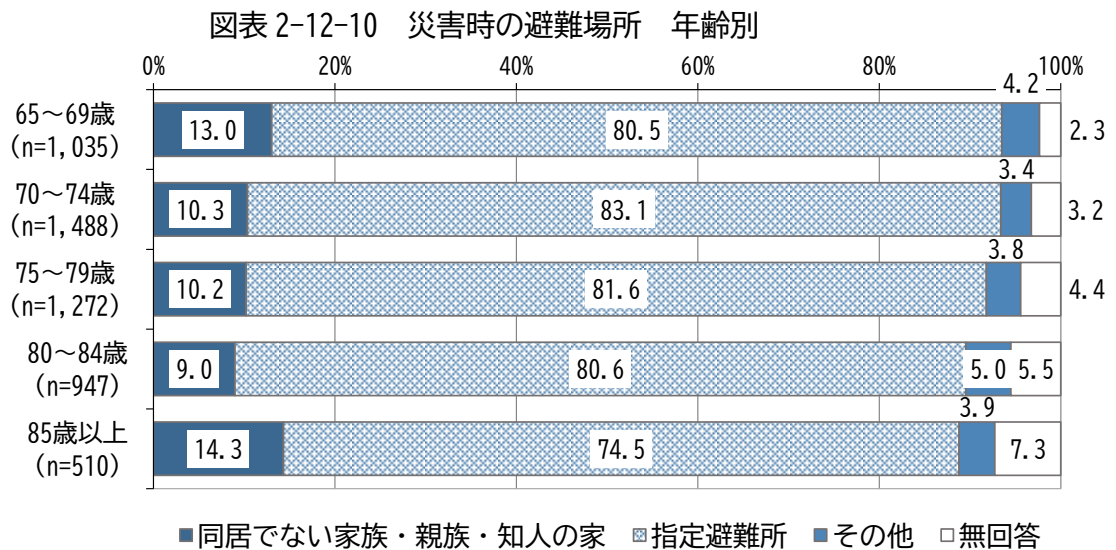


性別でみると、「指定避難所」では、男性が82.9%、女性が78.9%となっています。

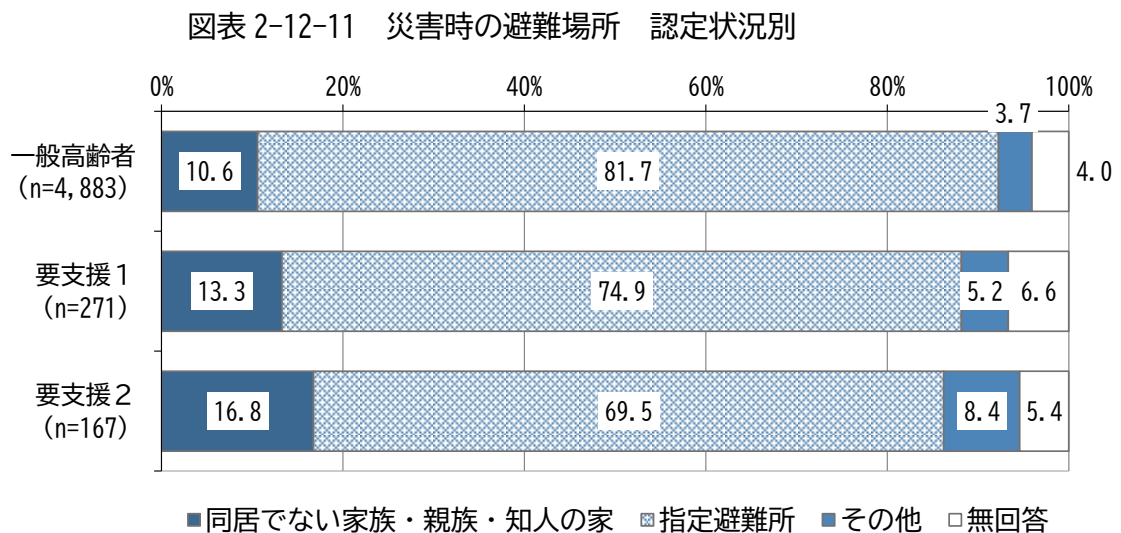
図表 2-12-9 災害時の避難場所 性別



年齢別でみると、「同居でない家族・親族・知人の家」では、85歳以上が14.3%で最も高くなっています。

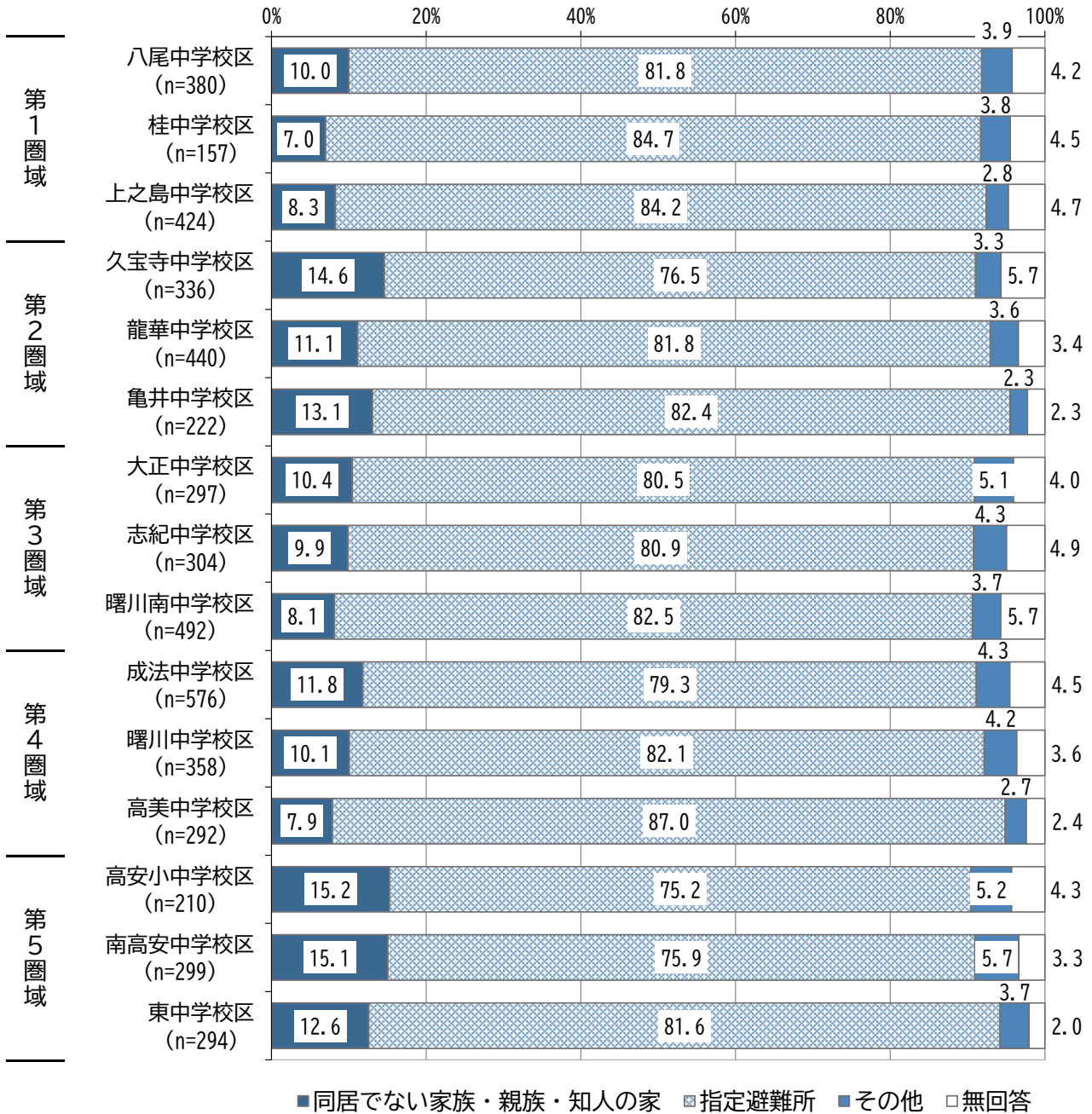


認定状況別でみると、「同居でない家族・親族・知人の家」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が16.8%で最も高くなっています。



中学校区別でみると、「同居でない家族・親族・知人の家」では、高安小中学校区が15.2%で最も高くなっています。

図表 2-12-12 災害時の避難場所 中学校区別

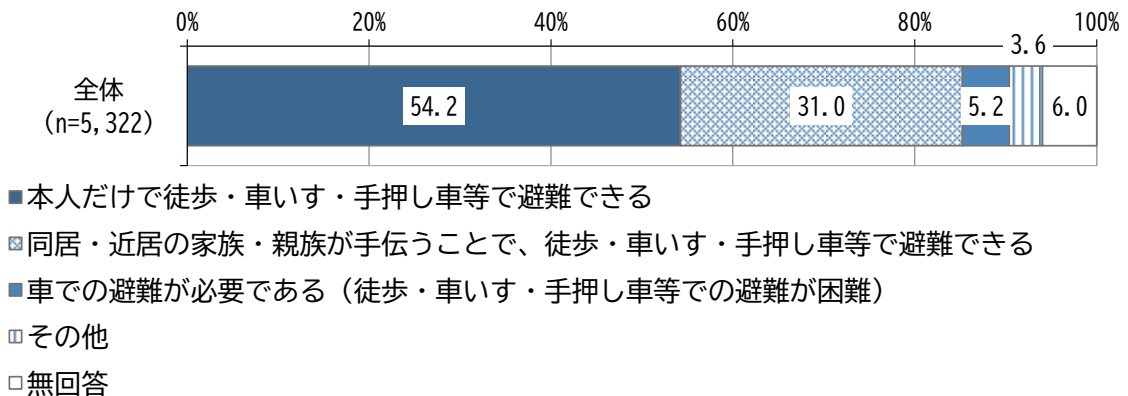


(4) 災害時の避難方法

問 11-4 災害（台風や地震等）が起こったとき、あなたはどのようにして避難しますか。
（1つだけ）

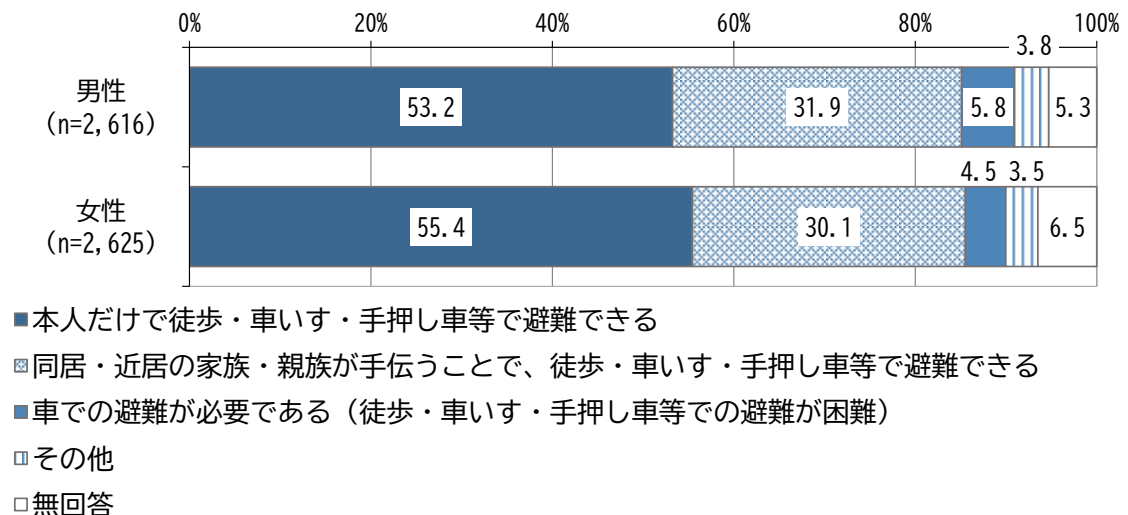
災害時の避難方法については、「本人だけで徒歩・車いす・手押し車等で避難できる」が 54.2%で最も高く、次いで「同居・近居の家族・親族が手伝うことで、徒歩・車いす・手押し車等で避難できる」が 31.0%、「車での避難が必要である（徒歩・車いす・手押し車等での避難が困難）」が 5.2%と続いています。

図表 2-12-13 災害時の避難方法



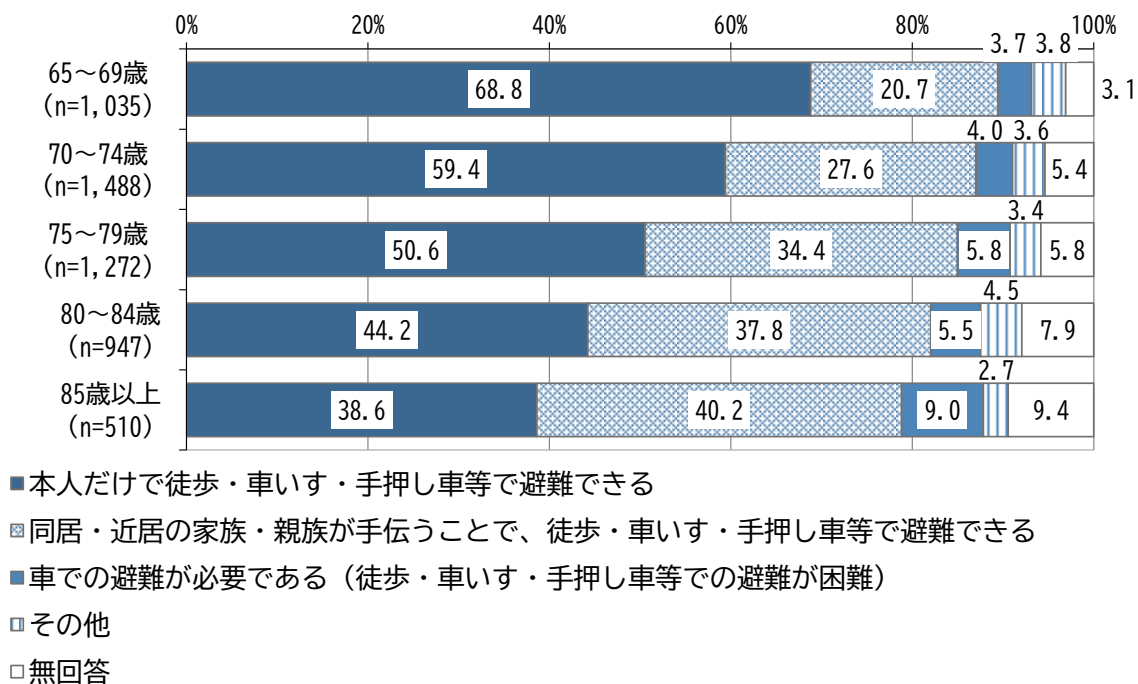
性別でみると、「車での避難が必要である。（徒歩・車いす・手押し車等での避難が困難）」では、男性が 5.8%、女性が 4.5%となっています。

図表 2-12-14 災害時の避難方法 性別



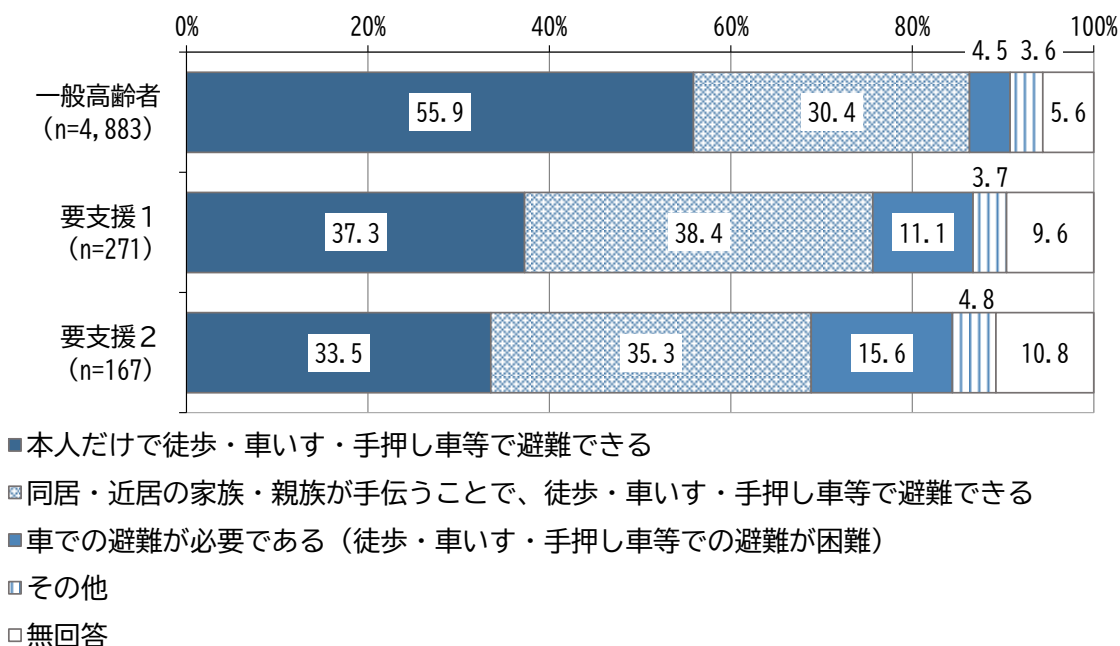
年齢別でみると、「本人だけで徒歩・車いす・手押し車等で避難できる」では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、「同居・近居の家族・親族が手伝うことで、徒歩・車いす・手押し車等で避難できる」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しています。

図表 2-12-15 災害時の避難方法 年齢別



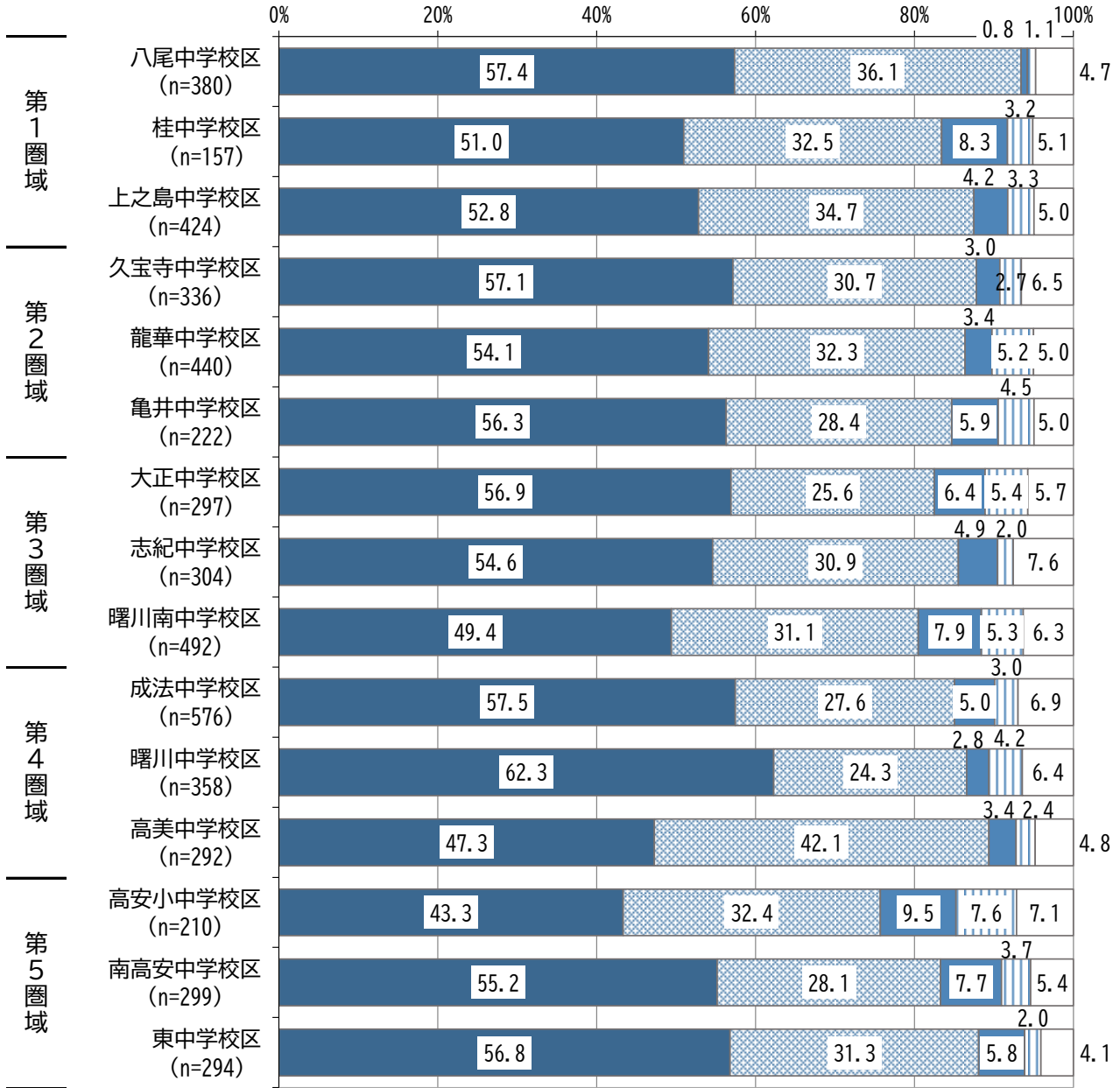
認定状況別でみると、「車での避難が必要である（徒歩・車いす・手押し車等での避難が困難）」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要支援2が 15.6%で最も高くなっています。

図表 2-12-16 災害時の避難方法 認定状況別



中学校区別でみると、「車での避難が必要である（徒歩・車いす・手押し車等での避難が困難）」では、高安小中学校区が9.5%で最も高くなっています。

図表 2-12-17 災害時の避難方法 中学校区別



- 本人だけで徒歩・車いす・手押し車等で避難できる
- ▣ 同居・近居の家族・親族が手伝うことで、徒歩・車いす・手押し車等で避難できる
- 車での避難が必要である（徒歩・車いす・手押し車等での避難が困難）」
- ▣ その他
- 無回答

13 高齢者施策全般について

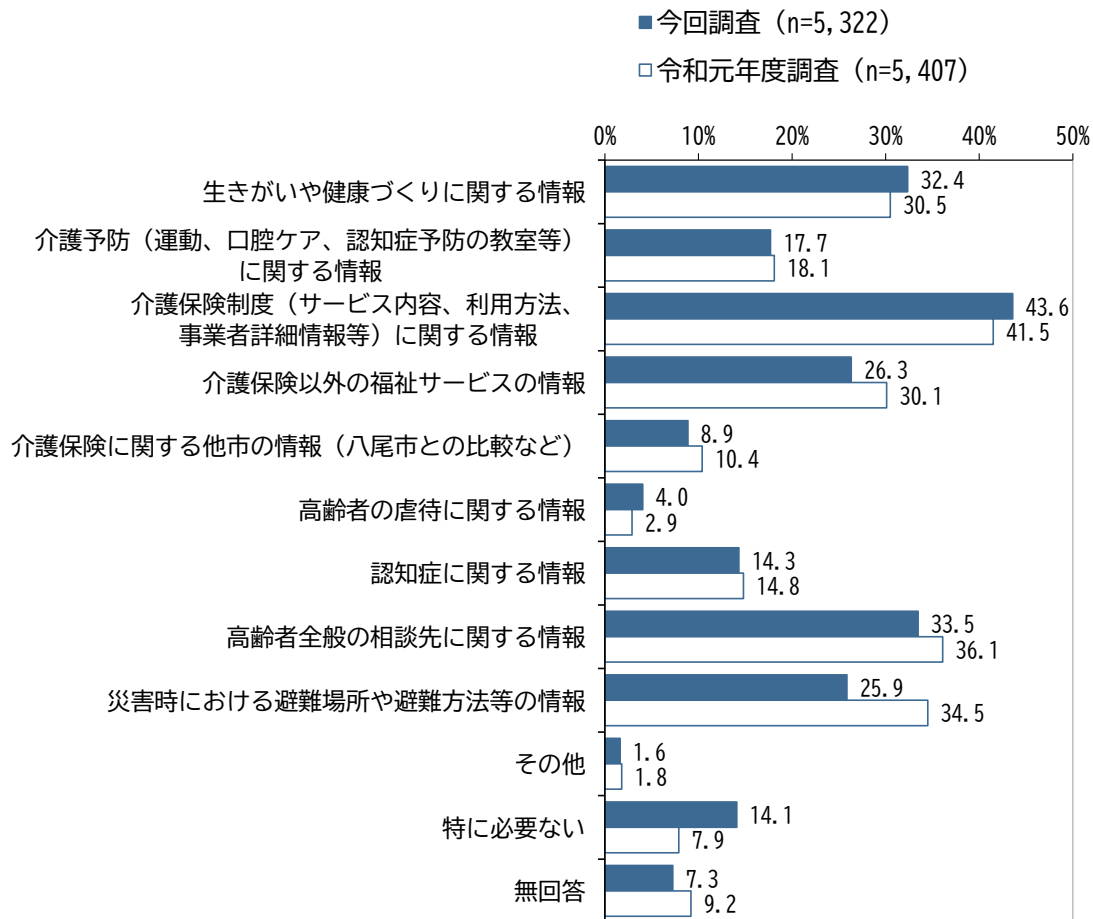
(1) 介護や福祉サービスでほしい情報

問 12-1 あなたは、介護や福祉サービスなどについて、どのような情報がほしいと思いますか。
(いくつでも)

介護や福祉サービスでほしい情報については、「介護保険制度（サービス内容、利用方法、事業者詳細情報等）に関する情報」が43.6%で最も高く、次いで「高齢者全般の相談先に関する情報」が33.5%、「生きがいや健康づくりに関する情報」が32.4%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「特に必要ない」（14.1%）では、令和元（2019）年度調査（7.9%）より6.2ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-13-1 介護や福祉サービスでほしい情報



性別でみると、男性・女性いずれも「介護保険制度（サービス内容、利用方法、事業者詳細情報等）に関する情報」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「介護保険制度（サービス内容、利用方法、事業者詳細情報等）に関する情報」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、全ての認定状況で「介護保険制度（サービス内容、利用方法、事業者詳細情報等）に関する情報」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「介護保険制度（サービス内容、利用方法、事業者詳細情報等）に関する情報」では、東中学校区が52.0%で最も高くなっています。

図表 2-13-2 介護や福祉サービスでほしい情報 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

属性	合計	生きがいや健康づくりに関する情報	介護予防（運動、口腔ケア、認知症予防）に関する情報	介護保険制度（サービス内容、利用方法、事業者詳細情報等）に関する情報	介護保険以外の福祉サービスの情報	介護保険に関する他市の情報（八尾市との比較など）	高齢者の虐待に関する情報	認知症に関する情報	高齢者全般の相談先に関する情報	災害時における避難場所や避難方法等の情報	その他		
												全体	
全体	5,322	32.4	17.7	43.6	26.3	8.9	4.0	14.3	33.5	25.9	1.6		
性別	男性	2,616	33.3	17.9	41.5	23.4	9.2	3.8	14.0	29.9	23.3	1.6	
	女性	2,625	31.6	17.6	45.8	29.4	8.6	4.3	14.7	37.0	28.1	1.7	
年齢別	65～69歳	1,035	31.3	19.6	51.3	30.7	9.4	4.2	13.7	36.8	21.1	1.6	
	70～74歳	1,488	33.5	18.5	45.5	29.2	9.4	3.8	14.0	31.5	24.5	1.4	
	75～79歳	1,272	31.7	16.7	39.9	22.6	8.3	4.3	15.7	33.3	26.6	1.7	
	80～84歳	947	34.7	18.1	41.6	24.2	10.2	4.8	15.9	33.3	29.5	1.7	
	85歳以上	510	29.4	13.7	35.9	22.7	5.7	2.7	10.8	33.7	29.6	2.2	
認定状況別	一般高齢者	4,883	32.9	17.9	44.2	26.7	8.9	4.1	14.4	33.7	25.5	1.5	
	要支援1	271	25.5	17.0	37.6	21.4	8.5	4.1	14.0	32.5	30.3	2.2	
	要支援2	167	26.9	12.0	34.1	22.8	8.4	2.4	12.6	27.5	27.5	3.6	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	32.1	18.7	45.8	31.1	9.7	5.5	14.7	36.3	23.4	2.6
		桂中学校区	157	31.2	13.4	41.4	22.3	8.3	3.8	10.8	34.4	19.1	3.2
		上之島中学校区	424	34.0	17.2	43.6	28.8	9.7	5.2	18.9	34.9	24.1	1.4
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	31.8	15.5	42.0	25.3	7.4	3.9	17.3	31.8	24.1	2.1
		龍華中学校区	440	29.3	17.5	44.1	23.9	7.7	4.5	15.2	35.7	28.4	1.8
		亀井中学校区	222	31.1	14.9	45.0	22.5	10.8	2.7	10.4	35.1	27.5	1.8
	第3圏域	大正中学校区	297	36.0	15.5	40.4	22.2	7.1	4.4	14.1	34.3	23.2	0.3
		志紀中学校区	304	32.6	17.8	42.4	27.3	10.5	5.3	13.2	34.2	31.9	1.6
		曙川南中学校区	492	34.6	18.7	43.1	27.8	8.5	4.5	13.6	32.9	25.2	1.6
	第4圏域	成法中学校区	576	34.0	18.2	43.8	26.6	7.6	3.1	15.5	31.8	27.1	1.4
		曙川中学校区	358	33.8	21.5	44.7	24.0	8.1	3.6	13.4	38.3	26.8	2.5
		高美中学校区	292	32.5	16.1	44.9	24.7	11.6	3.4	12.0	31.2	28.8	1.4
	第5圏域	高安小中学校区	210	32.4	19.5	44.3	22.4	9.5	2.4	10.5	30.5	23.8	0.0
南高安中学校区		299	32.8	21.4	46.2	28.8	8.0	4.3	16.1	30.8	23.4	1.3	
東中学校区		294	30.3	20.7	52.0	33.7	13.3	3.4	13.9	33.3	28.2	1.0	

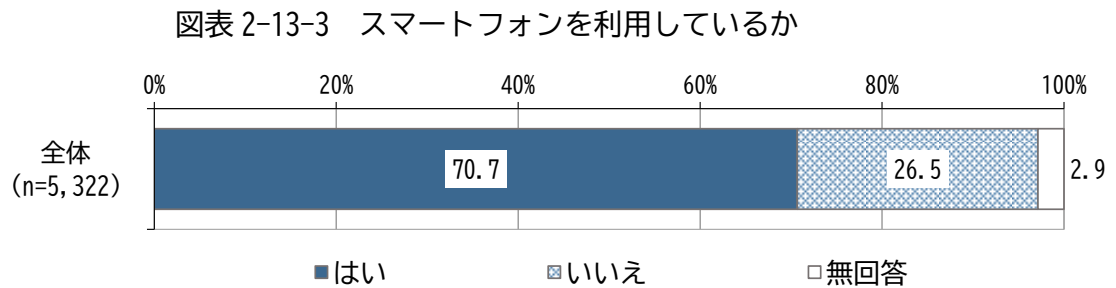
		合計	特に 必要ない	無 回答	
全体		5,322	14.1	7.3	
性別	男性	2,616	17.8	6.4	
	女性	2,625	10.5	7.7	
年齢別	65～69歳	1,035	16.3	3.8	
	70～74歳	1,488	15.6	6.3	
	75～79歳	1,272	13.6	7.9	
	80～84歳	947	10.9	9.6	
	85歳以上	510	12.5	9.8	
状況別 認定	一般高齢者	4,883	14.3	6.9	
	要支援1	271	11.1	11.8	
	要支援2	167	12.6	10.2	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	380	13.7	4.7
		桂中学校区	157	11.5	7.6
		上之島中学校区	424	13.9	5.9
	第2圏域	久宝寺中学校区	336	15.2	10.4
		龍華中学校区	440	16.1	5.9
		亀井中学校区	222	10.8	9.9
	第3圏域	大正中学校区	297	17.2	5.1
		志紀中学校区	304	13.5	8.6
		曙川南中学校区	492	14.0	7.9
	第4圏域	成法中学校区	576	11.8	7.3
		曙川中学校区	358	14.8	5.3
		高美中学校区	292	15.8	7.2
	第5圏域	高安小中学校区	210	15.2	7.6
		南高安中学校区	299	16.4	6.7
		東中学校区	294	11.2	4.1

※網掛け■は最も割合が高いもの

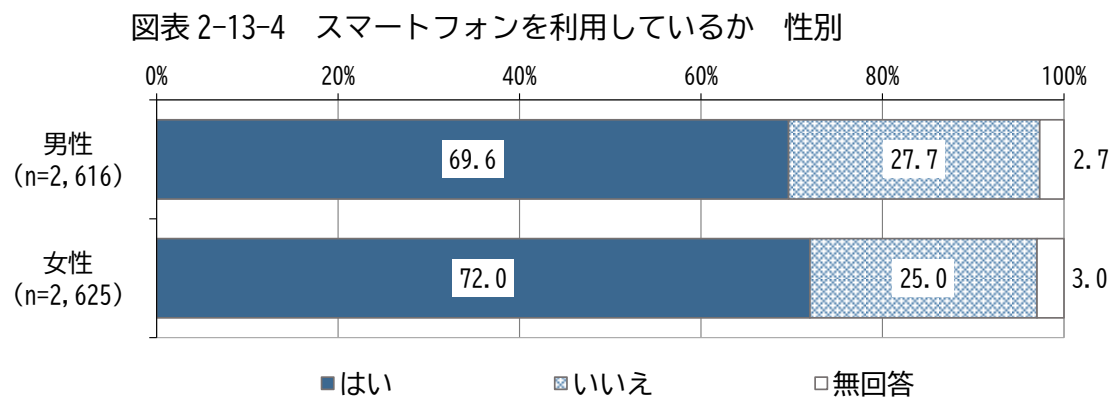
(2) スマートフォンを利用しているか

問 12-2 あなたは、スマートフォンを利用していますか。(1つだけ)

スマートフォンを利用しているかについては、「はい」が70.7%、「いいえ」が26.5%となっています。

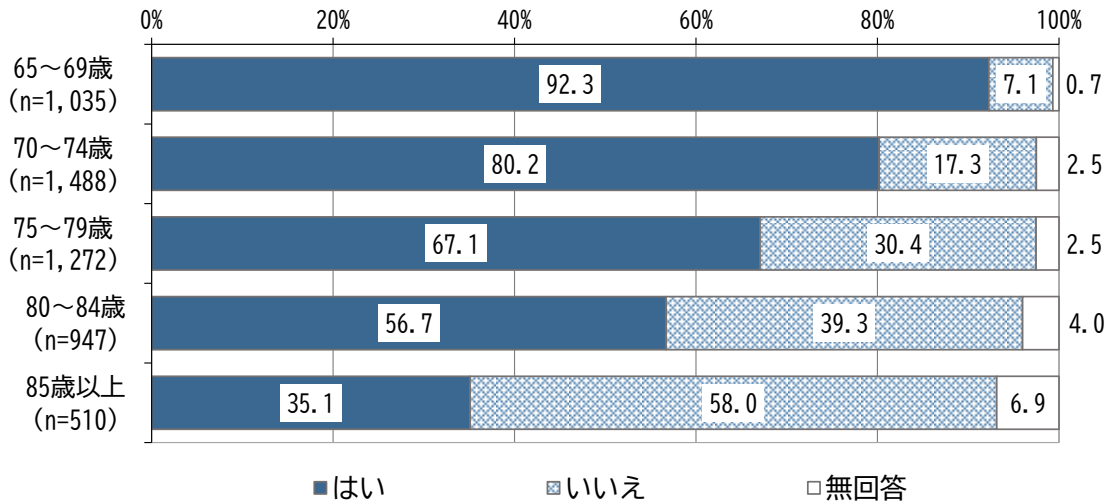


性別で見ると、「はい」では、男性が69.6%、女性が72.0%となっています。



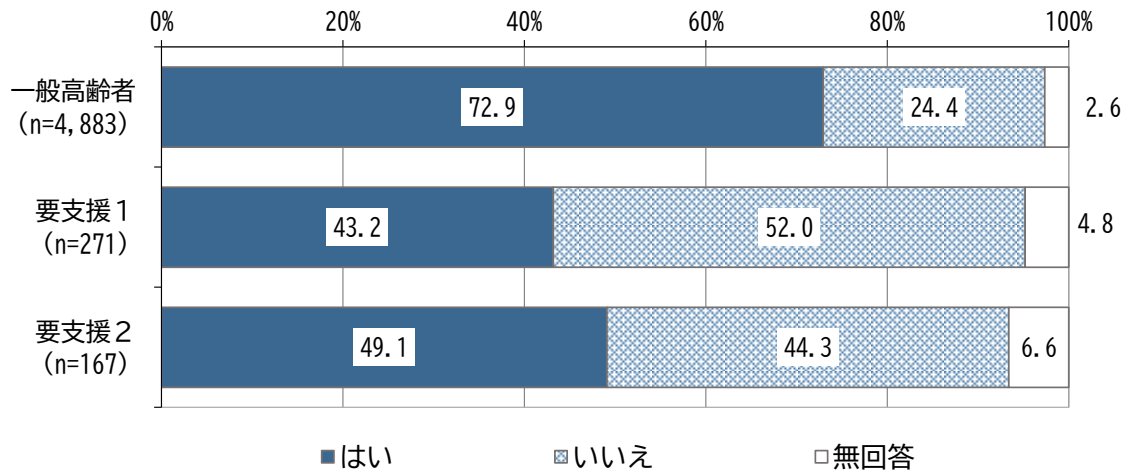
年齢別でみると、「いいえ」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が58.0%で最も高くなっています。

図表 2-13-5 スマートフォンを利用しているか 年齢別



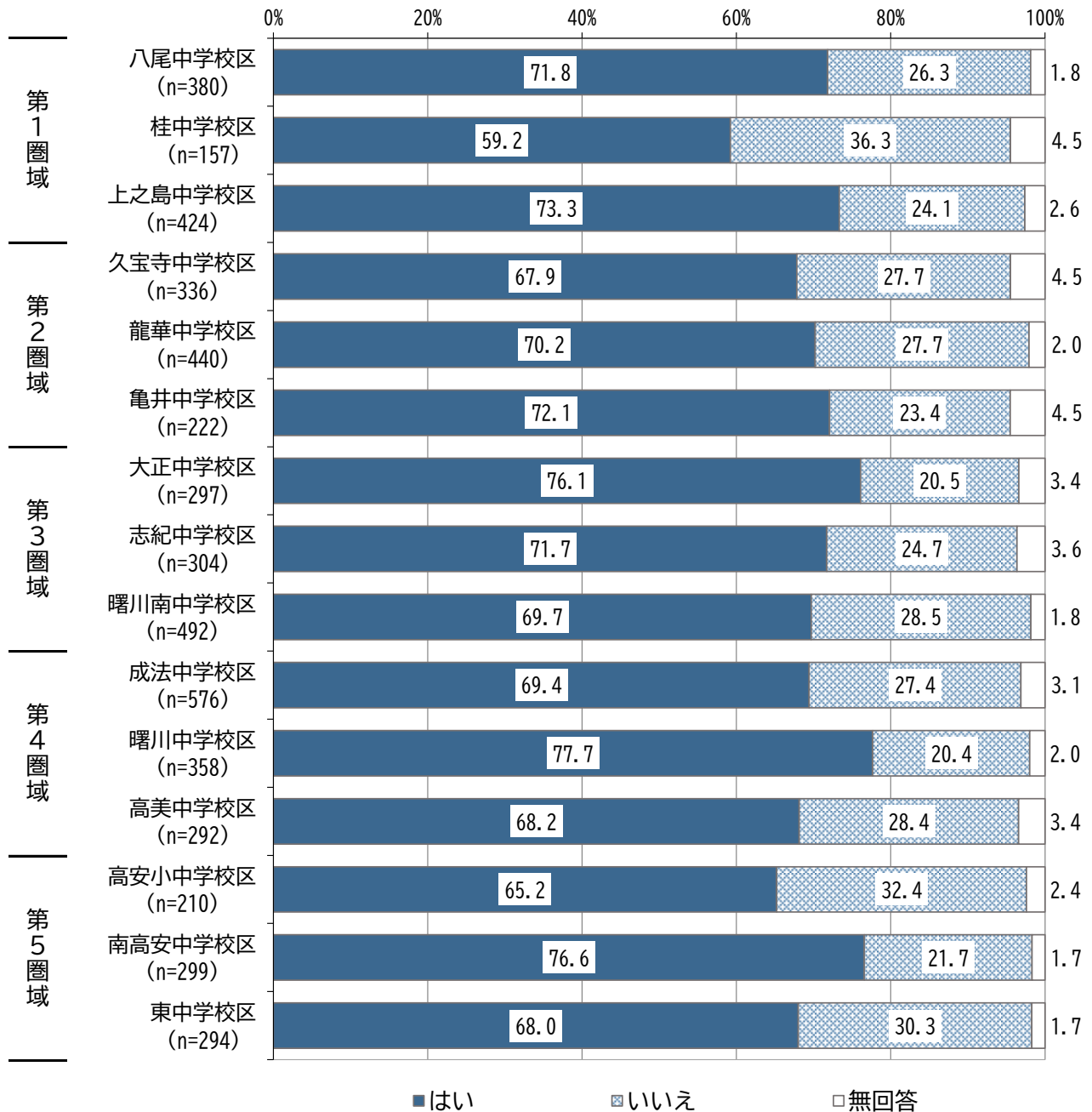
認定状況別でみると、「いいえ」では、要支援1が52.0%で最も高くなっています。

図表 2-13-6 スマートフォンを利用しているか 認定状況別



中学校区別でみると、「はい」では、曙川中学校区が77.7%で最も高く、「いいえ」では、桂中学校区が36.3%で最も高くなっています。

図表 2-13-7 スマートフォンを利用しているか 中学校区別



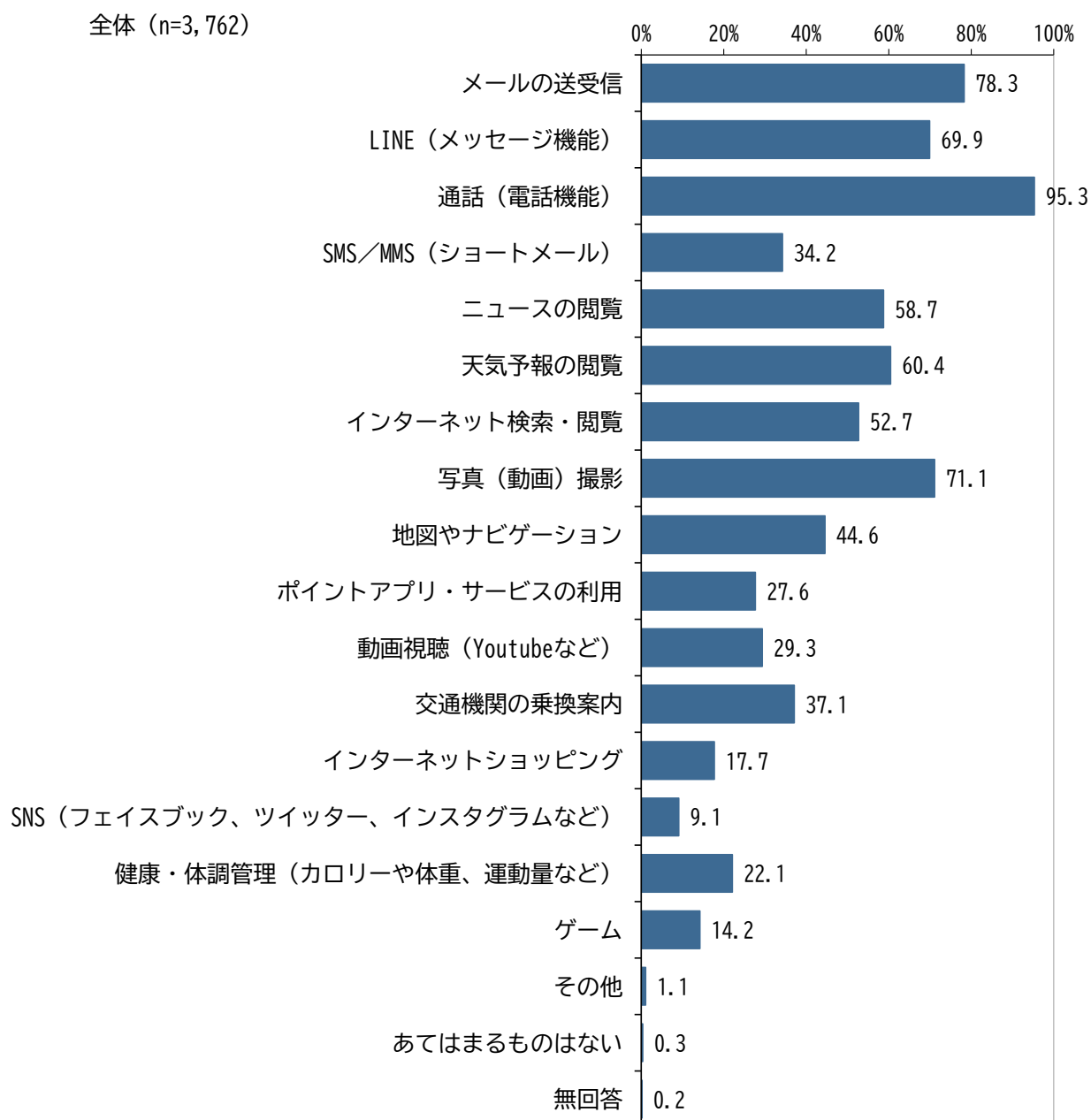
(3) スマートフォンの利用目的

問 12-2 で「はい」と答えた人（利用している人）のみ、お答えください。

問 12-2-1 スマートフォンをどういうことに利用していますか。（いくつでも）

スマートフォンの利用目的については、「通話（電話機能）」が 95.3% で最も高く、次いで「メールの送受信」が 78.3%、「写真（動画）撮影」が 71.1% と続いています。

図表 2-13-8 スマートフォンの利用目的



性別でみると、男性・女性いずれも「通話（電話機能）」の割合が最も高く、次いで「メールの送受信」が高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「通話（電話機能）」の割合が最も高く、次いで「メールの送受信」が高くなっています。

中学校区別でみると、「健康・体調管理（カロリーや体重、運動量など）」では、曙川中学校区が28.8%で最も高くなっています。

図表 2-13-9 スマートフォンの利用目的 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	メールの送受信	LINE（メッセージ機能）	通話（電話機能）	SMS／MMS（ショートメール）	ニュースの閲覧	天気予報の閲覧	インターネット検索・閲覧	写真（動画）撮影	地図やナビゲーション	ポイントアプリ・サービスの利用	
全体		3,762	78.3	69.9	95.3	34.2	58.7	60.4	52.7	71.1	44.6	27.6	
性別	男性	1,822	74.6	63.3	94.8	32.9	61.0	62.6	56.5	65.7	51.0	26.5	
	女性	1,890	82.2	76.7	95.9	36.0	57.2	58.7	49.7	76.8	38.8	29.2	
年齢別	65～69歳	955	87.1	84.3	96.2	48.1	75.8	75.2	77.8	79.9	63.6	47.7	
	70～74歳	1,193	81.0	74.6	96.1	36.5	62.7	65.2	57.8	74.7	48.3	28.3	
	75～79歳	853	75.6	64.7	95.8	28.1	50.4	54.2	40.0	67.9	36.9	18.5	
	80～84歳	537	69.6	53.4	93.1	22.0	44.1	43.6	30.7	61.1	26.4	12.5	
	85歳以上	179	57.5	41.3	91.1	16.8	31.3	34.1	17.3	50.8	13.4	8.4	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	273	76.9	68.9	95.6	32.6	57.5	60.1	48.7	72.2	42.5	29.7
		桂中学校区	93	66.7	58.1	94.6	24.7	52.7	54.8	39.8	64.5	36.6	20.4
		上之島中学校区	311	80.1	71.4	94.9	34.4	57.2	62.4	51.8	70.7	48.2	32.2
	第2圏域	久宝寺中学校区	228	81.6	71.1	95.6	41.2	61.0	64.5	54.4	70.6	44.3	26.3
		龍華中学校区	309	78.3	70.6	94.8	33.7	58.3	63.4	54.0	68.6	42.4	25.6
		亀井中学校区	160	79.4	74.4	95.0	38.8	63.8	61.3	58.8	78.1	48.8	34.4
	第3圏域	大正中学校区	226	77.9	73.0	96.0	28.8	61.1	65.9	56.2	70.8	48.2	27.9
		志紀中学校区	218	76.1	68.8	95.9	33.5	56.9	57.8	49.5	69.3	46.3	28.0
		曙川南中学校区	343	77.6	68.5	95.6	32.9	61.2	60.1	54.2	71.4	44.6	27.7
	第4圏域	成法中学校区	400	79.5	70.5	95.3	37.3	57.8	57.8	59.0	68.0	45.0	29.3
		曙川中学校区	278	81.7	73.4	96.4	41.0	63.7	61.5	59.4	74.1	46.0	29.1
		高美中学校区	199	80.9	70.4	93.5	27.1	54.3	57.3	46.2	71.9	41.2	23.6
	第5圏域	高安小中学校区	137	76.6	67.2	97.8	27.7	53.3	56.9	46.7	70.8	43.8	21.2
		南高安中学校区	229	85.2	73.8	93.4	39.7	65.9	67.2	55.5	76.9	50.7	27.9
東中学校区		200	78.0	67.5	96.0	38.5	59.0	62.0	49.0	75.0	42.5	29.0	

		合計	動画視聴 (YouTube など)	交通機関の乗換案内	インターネットショッピング	SNS(フェイスブック、 ツイッター、インスタグラ ムなど)	健康・体調管理(カロリー や体重、運動量など)	ゲーム	その他	あてはまるものはない	無回答	
全体		3,762	29.3	37.1	17.7	9.1	22.1	14.2	1.1	0.3	0.2	
性別	男性	1,822	28.4	36.0	19.4	9.9	23.3	12.3	0.7	0.3	0.3	
	女性	1,890	30.6	38.5	16.3	8.4	21.1	16.3	1.4	0.4	0.1	
年齢別	65～69歳	955	45.0	55.4	34.0	17.3	27.2	21.7	0.4	0.0	0.0	
	70～74歳	1,193	31.0	40.8	18.8	8.8	21.8	17.1	1.2	0.2	0.2	
	75～79歳	853	22.5	27.7	8.2	5.2	19.2	9.3	1.3	0.2	0.1	
	80～84歳	537	16.6	19.2	6.5	3.5	19.7	6.1	1.5	1.3	0.4	
	85歳以上	179	8.9	16.8	5.0	3.9	19.0	6.1	0.6	1.1	0.6	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	273	28.2	35.9	16.1	6.6	23.1	12.8	1.1	1.1	0.0
		桂中学校区	93	24.7	22.6	10.8	4.3	11.8	5.4	1.1	0.0	1.1
		上之島中学校区	311	29.6	39.9	19.6	7.1	23.8	17.4	0.6	0.3	0.6
	第2圏域	久宝寺中学校区	228	37.7	37.3	15.4	14.5	21.1	16.2	1.3	0.4	0.0
		龍華中学校区	309	29.4	39.5	16.2	6.8	23.6	15.2	0.0	1.3	0.0
		亀井中学校区	160	29.4	40.6	23.1	9.4	21.3	17.5	1.9	0.6	0.0
	第3圏域	大正中学校区	226	34.1	31.9	19.5	10.2	19.9	13.7	1.3	0.0	0.0
		志紀中学校区	218	28.0	32.1	13.8	5.0	22.5	17.4	1.4	0.9	0.0
		曙川南中学校区	343	28.3	37.9	14.6	8.7	21.3	14.9	0.6	0.0	0.0
	第4圏域	成法中学校区	400	29.8	40.0	18.8	9.8	20.5	12.5	1.0	0.0	0.3
		曙川中学校区	278	32.0	42.1	21.2	13.3	28.8	13.7	2.5	0.0	0.0
		高美中学校区	199	27.1	30.2	18.1	12.1	21.1	12.1	0.5	0.0	0.5
	第5圏域	高安小中学校区	137	19.7	39.4	14.6	5.8	15.3	13.9	1.5	0.7	0.0
		南高安中学校区	229	27.5	43.7	21.0	11.4	25.3	15.3	1.3	0.0	0.4
		東中学校区	200	31.5	38.0	20.5	10.5	22.5	13.5	0.5	0.0	0.5

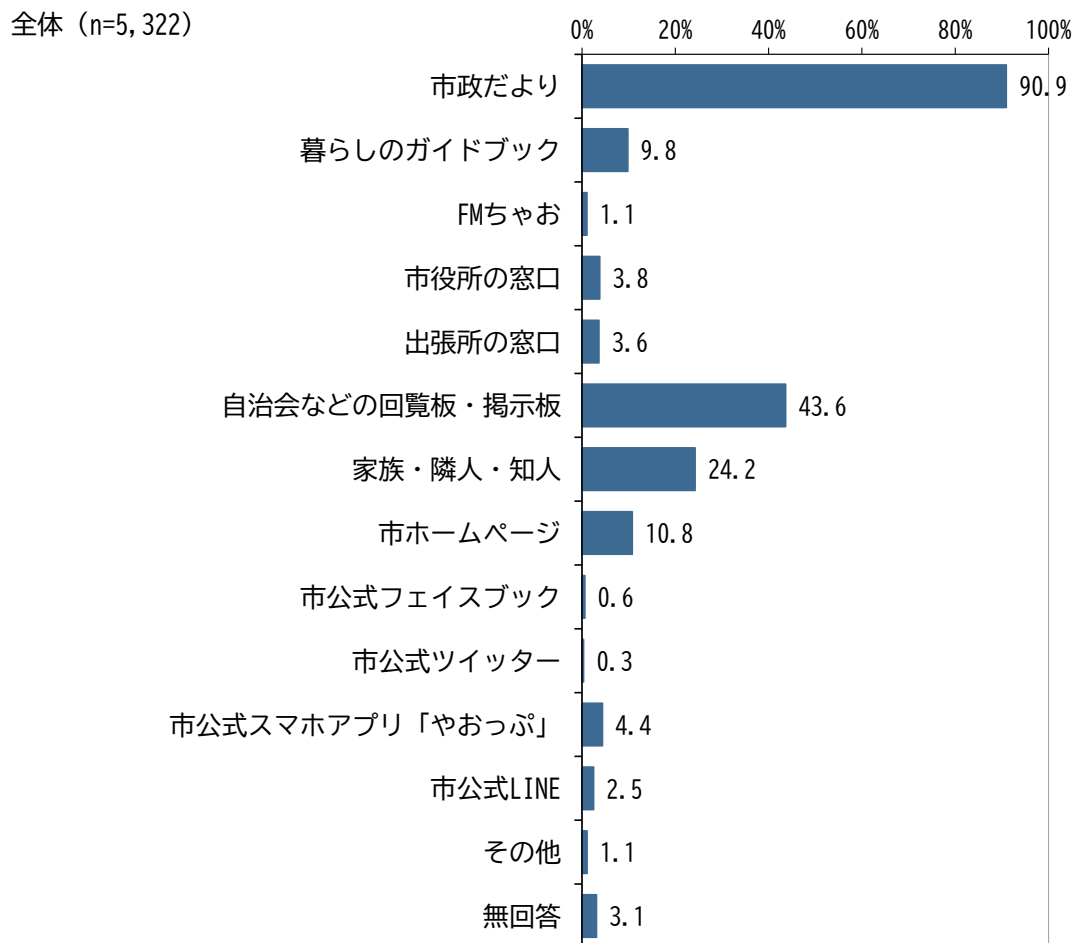
※網掛け■は最も割合が高いもの

(4) 市の情報の入手方法

問 12-3 あなたは、市からの情報はどこから得ていますか。(いくつでも)

市の情報の入手方法については、「市政だより」が90.9%で最も高く、次いで「自治会などの回覧板・掲示板」が43.6%、「家族・隣人・知人」が24.2%と続いています。

図表 2-13-10 市の情報の入手方法



性別でみると、男性・女性いずれも「市政だより」の割合が最も高く、次いで「自治会などの回覧板・掲示板」が高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「市政だより」の割合が最も高く、次いで「自治会などの回覧板・掲示板」が高くなっています。

中学校区別でみると、「自治会などの回覧板・掲示板」では、高安小中学校区が52.4%で最も高くなっています。

図表 2-13-11 市の情報の入手方法 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	市政だより	暮らしのガイドブック	F M ちゃお	市役所の窓口	出張所の窓口	自治会などの回覧板・掲示板	家族・隣人・知人	市ホームページ	市公式フェイスブック	市公式ツイッター	
全体		5,322	90.9	9.8	1.1	3.8	3.6	43.6	24.2	10.8	0.6	0.3	
性別	男性	2,616	88.7	9.2	1.3	3.7	3.9	39.2	20.9	13.7	0.6	0.4	
	女性	2,625	93.1	10.5	0.8	3.7	3.4	48.2	27.7	8.1	0.5	0.3	
年齢別	65～69歳	1,035	89.7	10.0	1.2	3.9	2.4	35.3	18.4	22.0	0.8	0.8	
	70～74歳	1,488	92.1	10.5	1.1	3.9	3.2	43.5	23.0	12.0	0.5	0.3	
	75～79歳	1,272	92.0	10.0	0.7	3.5	3.9	45.7	25.3	7.9	0.5	0.1	
	80～84歳	947	90.2	10.1	2.0	4.4	4.8	49.0	28.0	5.7	0.6	0.2	
	85歳以上	510	89.2	6.9	0.2	2.4	4.5	46.9	30.4	2.0	1.0	0.4	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校	380	92.9	7.9	1.3	3.9	1.6	44.5	26.3	10.3	0.8	0.0
		桂中学校	157	90.4	9.6	0.6	3.2	8.3	39.5	25.5	5.1	0.0	0.0
		上之島中学校	424	92.5	9.2	0.7	3.8	4.0	48.6	25.9	13.9	1.4	0.2
	第2圏域	久宝寺中学校	336	89.6	11.3	1.5	4.8	3.9	47.6	27.4	9.2	1.2	0.6
		龍華中学校	440	91.6	8.4	2.0	4.5	3.6	45.2	24.8	9.8	0.7	0.5
		亀井中学校	222	89.2	6.3	0.5	2.3	5.0	48.2	19.8	10.8	0.0	0.0
	第3圏域	大正中学校	297	89.2	9.1	0.3	1.7	2.7	47.1	17.8	13.8	0.3	0.3
		志紀中学校	304	91.8	10.2	0.7	2.3	4.9	48.0	25.0	8.9	0.0	0.3
		曙川南中学校	492	91.9	10.0	1.0	2.2	3.0	44.1	26.8	11.4	0.4	0.2
	第4圏域	成法中学校	576	89.8	10.2	1.6	6.6	1.7	34.9	24.3	11.3	0.2	0.5
		曙川中学校	358	90.2	12.6	1.4	3.1	3.4	39.9	23.2	13.4	1.1	1.1
		高美中学校	292	94.5	7.9	1.0	4.1	1.7	40.1	22.9	10.6	1.0	0.7
	第5圏域	高安小中学校	210	89.0	11.4	1.9	1.9	4.3	52.4	27.6	5.7	0.0	0.0
		南高安中学校	299	90.0	11.0	0.0	1.7	5.4	48.2	23.4	12.4	0.0	0.3
東中学校		294	94.6	10.9	0.7	5.4	6.5	42.9	25.5	11.9	1.4	0.0	

		合計	市公式スマホアプリ「や おつぷ」	市公式LINE	その他	無回答	
全体		5,322	4.4	2.5	1.1	3.1	
性別	男性	2,616	4.1	2.3	1.5	3.4	
	女性	2,625	4.7	2.7	0.8	2.7	
年齢別	65～69歳	1,035	7.7	4.6	1.0	3.0	
	70～74歳	1,488	5.4	2.8	1.0	2.9	
	75～79歳	1,272	3.2	2.1	0.9	3.2	
	80～84歳	947	2.5	1.4	1.3	3.6	
	85歳以上	510	1.0	0.4	1.8	2.5	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校	380	5.3	4.2	1.6	2.4
		桂中学校	157	3.2	2.5	0.0	3.2
		上之島中学校	424	5.9	3.1	0.9	2.4
	第2圏域	久宝寺中学校	336	2.1	2.4	1.5	3.0
		龍華中学校	440	5.0	2.3	0.9	3.4
		亀井中学校	222	3.6	1.8	1.4	3.2
	第3圏域	大正中学校	297	4.0	1.0	0.7	4.0
		志紀中学校	304	2.0	2.6	0.7	3.6
		曙川南中学校	492	5.3	2.4	1.0	2.4
	第4圏域	成法中学校	576	4.2	1.7	0.9	3.8
		曙川中学校	358	5.0	2.8	1.4	3.4
		高美中学校	292	6.5	3.1	2.4	1.7
	第5圏域	高安小中学校	210	3.8	2.4	0.5	3.8
		南高安中学校	299	4.3	2.7	1.3	4.0
		東中学校	294	3.7	2.4	0.7	1.4

※網掛け■は最も割合が高いもの

14 リスク判定

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」は、要介護状態になる前の高齢者について、要介護状態になるリスクの発生状況と、各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の抱える課題を特定することを目的に実施しています。

ここでは、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を使用し、各種リスクの判定を行っています。

(1) 運動器機能の低下

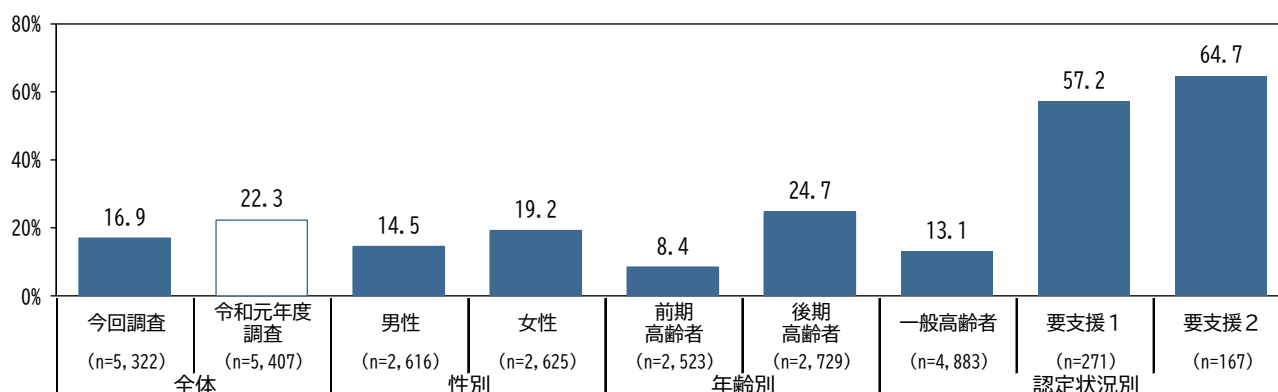
下記の5設問について、3問以上該当する選択肢が回答された場合、運動器機能の低下している高齢者として判定しました。

図表 2-14-1 運動器機能の低下を判定するための項目

設問番号	設問	該当する選択肢
問2-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	「3. できない」
問2-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	「3. できない」
問2-3	15分位続けて歩いていますか。	「3. できない」
問2-4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	「1. 何度もある」 「2. 1度ある」
問2-6	転倒に対する不安は大きいですか。	「1. とても不安である」 「2. やや不安である」

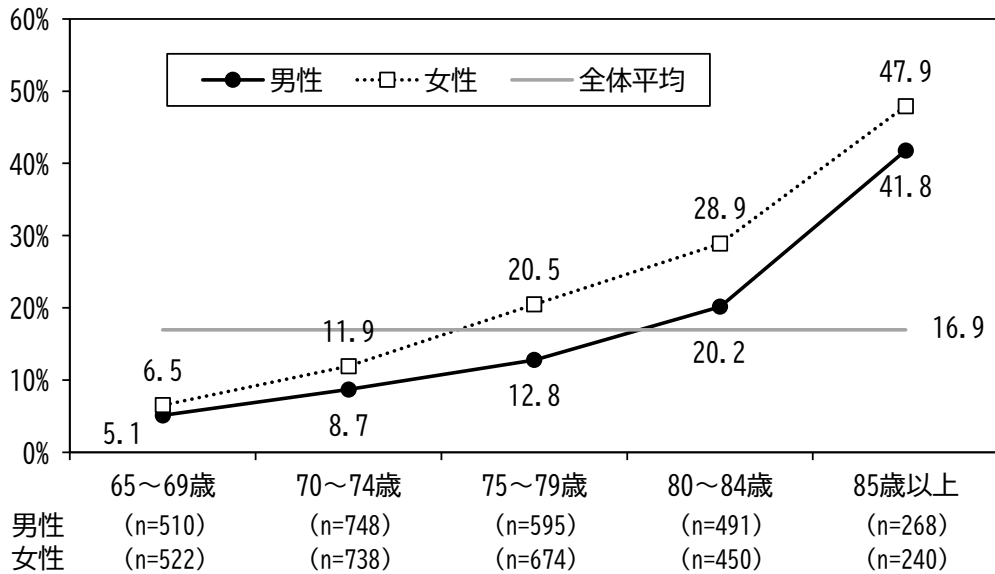
運動器機能が低下していると判定された高齢者の割合は、全体で16.9%となっています。令和元（2019）年度調査（22.3%）と比較すると、5.4ポイント減少しています。

図表 2-14-2 運動器機能の低下 該当者の割合



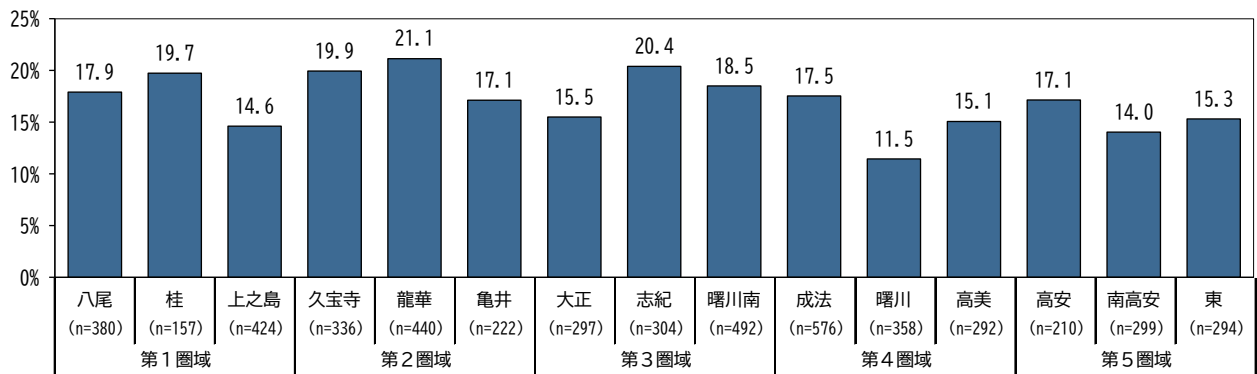
性別・年齢別でみると、全ての年齢層で女性の割合が男性より高く、男性・女性いずれも年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上の割合が最も高くなっています。

図表 2-14-3 運動器機能の低下 性別・年齢別



中学校区別でみると、龍華中学校区が21.1%で最も高くなっています。

図表 2-14-4 運動器機能の低下 中学校区別



(2) 低栄養状態

下記の2設問について、2設問ともに該当した場合、低栄養状態の高齢者として判定しました。

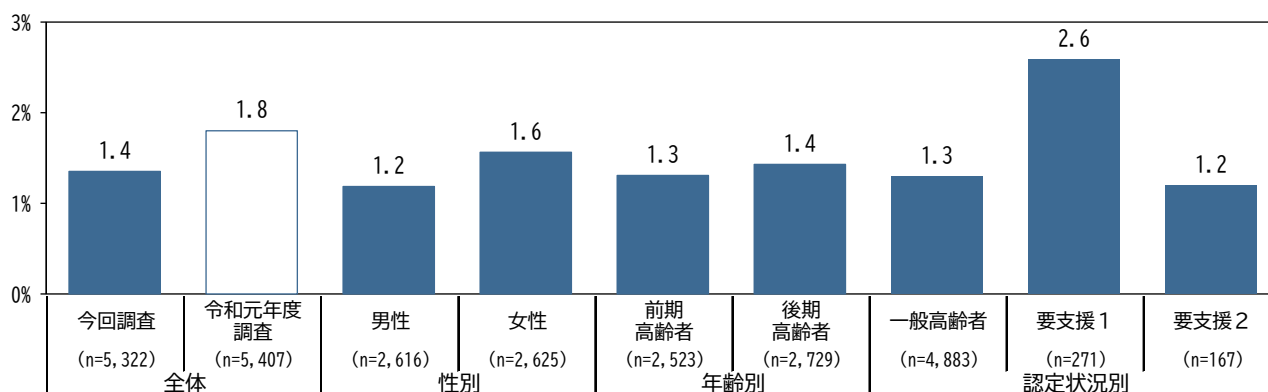
図表 2-14-5 低栄養状態を判定するための項目

設問番号	設問	該当する選択肢
問3-1	身長・体重を教えてください。	身長・体重から算出されるBMI (体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}) が18.5以下
問3-10	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	「1. はい」

低栄養状態と判定された高齢者の割合は、全体で1.4%となっています。

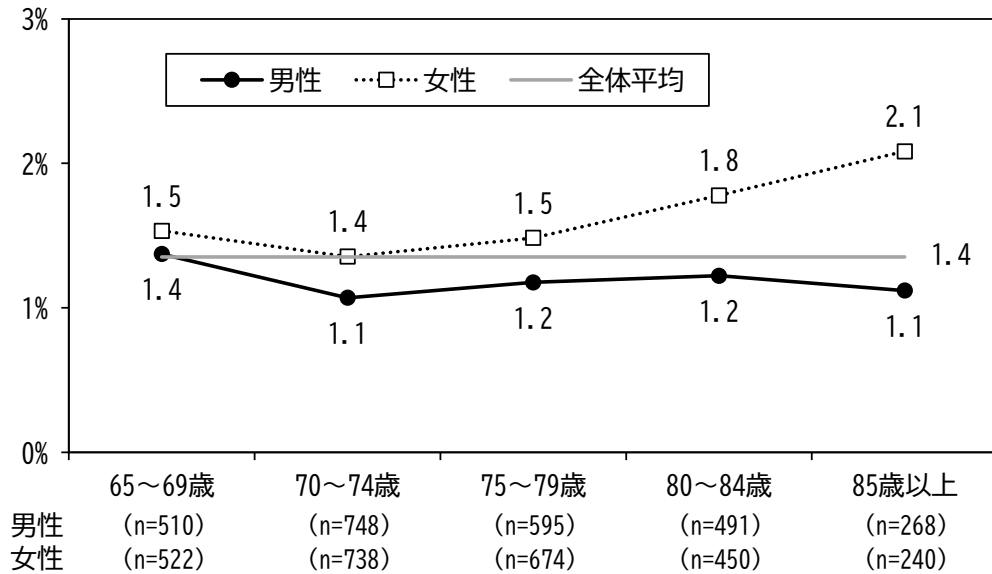
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-14-6 低栄養状態 該当者の割合



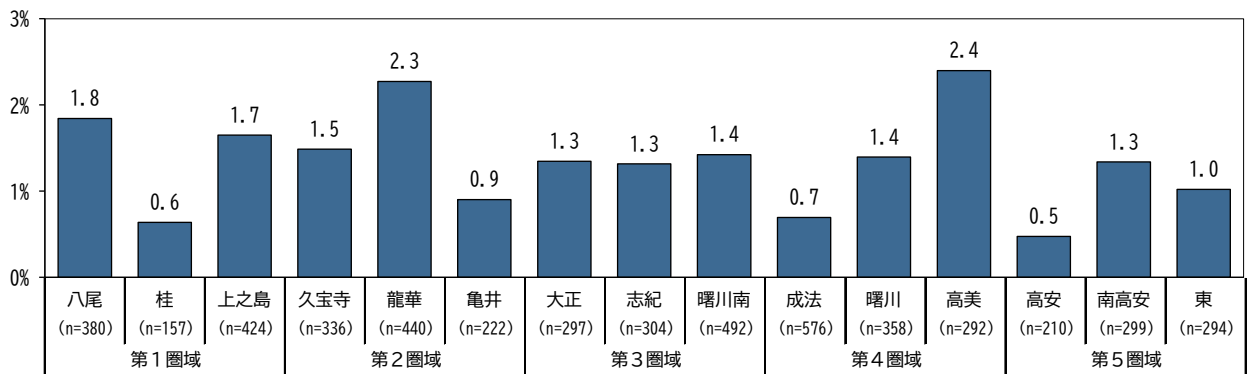
性別・年齢別でみると、全ての年齢層で女性の割合が男性より高く、男性は65～69歳が1.4%で最も高く、女性は85歳以上が2.1%で最も高くなっています。

図表 2-14-7 低栄養状態 性別・年齢別



中学校区別でみると、高美中学校区が2.4%で最も高くなっています。

図表 2-14-8 低栄養状態 中学校区別



(3) 口腔機能の低下

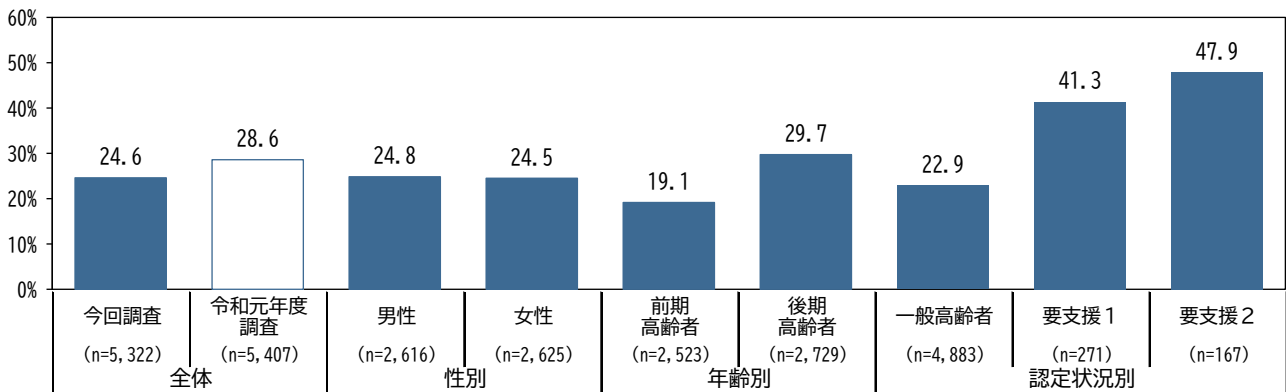
下記の3設問について、2問以上該当する選択肢が回答された場合、口腔機能が低下している高齢者として判定しました。

図表 2-14-9 口腔機能の低下を判定するための項目

設問番号	設問	該当する選択肢
問3-3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	「1. はい」
問3-4	お茶や汁物等でむせることがありますか。	「1. はい」
問3-5	口の渇きが気になりますか。	「1. はい」

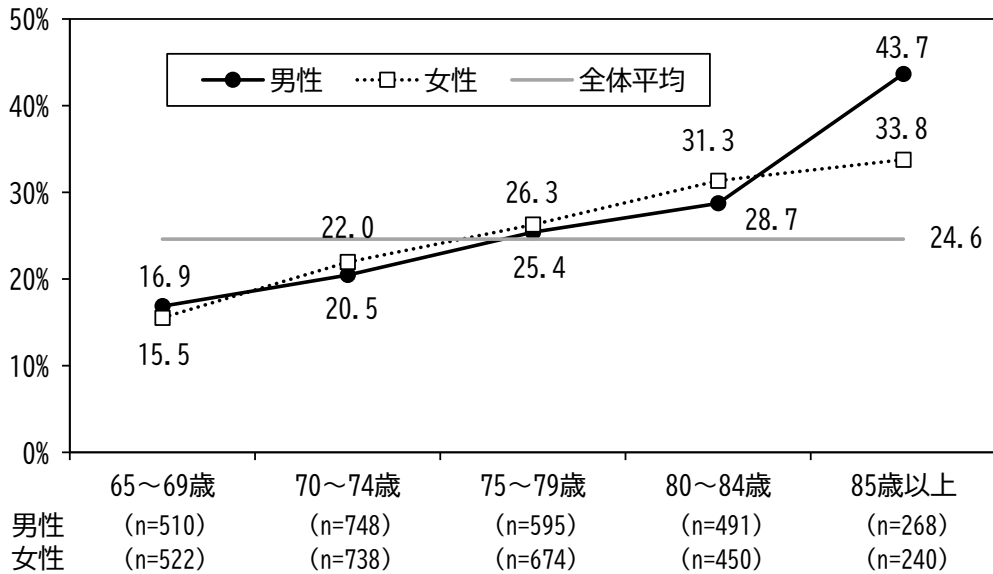
口腔機能が低下していると判定された高齢者の割合は、全体で 24.6%となっています。令和元（2019）年度調査（28.6%）と比較すると、4.0 ポイント減少しています。

図表 2-14-10 口腔機能の低下 該当者の割合



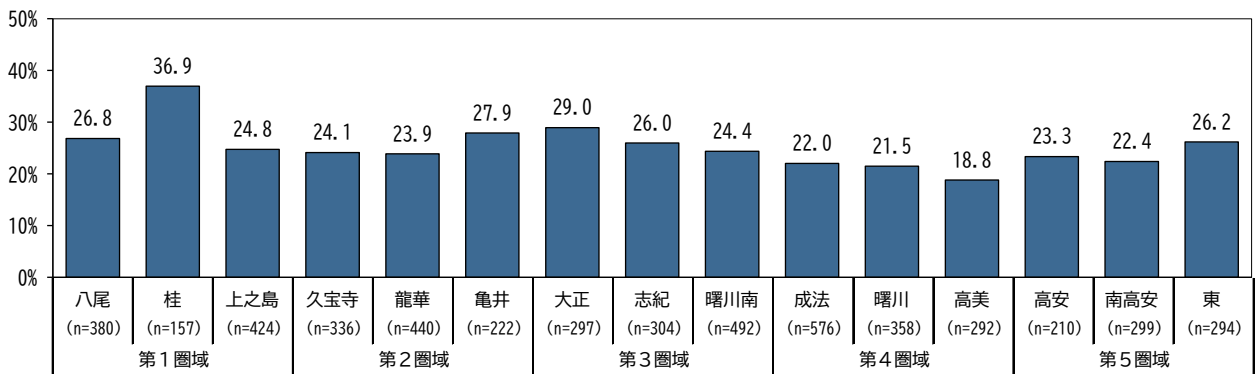
性別・年齢別で見ると、男性・女性いずれも年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上の割合が最も高くなっています。

図表 2-14-11 口腔機能の低下 性別・年齢別



中学校区別で見ると、桂中学校区が36.9%で最も高くなっています。

図表 2-14-12 口腔機能の低下 中学校区別



(4) 閉じこもり傾向

下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、閉じこもり傾向の高齢者として判定しました。

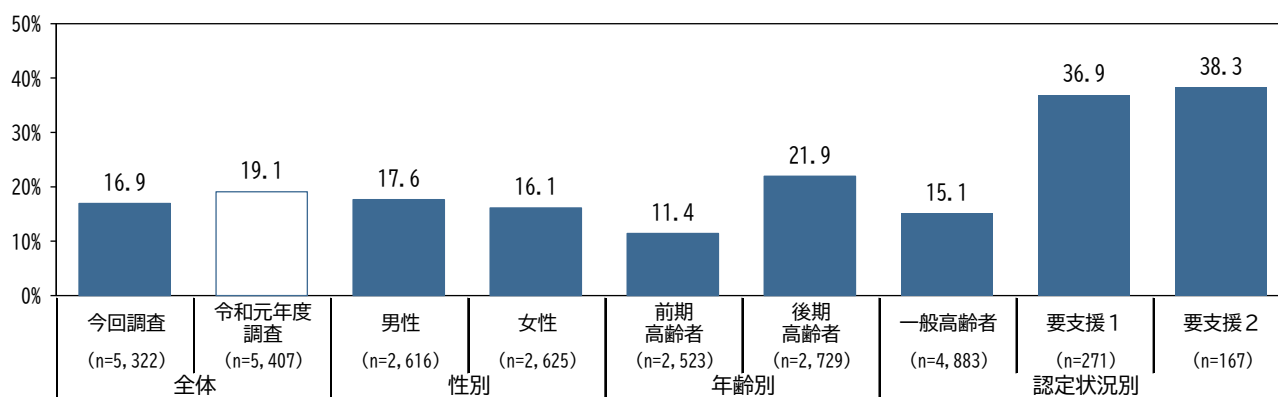
図表 2-14-13 閉じこもり傾向を判定するための項目

設問番号	設問	該当する選択肢
問2-7	週に1回以上は外出していますか。	「1. ほとんど外出しない」 「2. 週1回」

閉じこもり傾向と判定された高齢者の割合は、全体で16.9%となっています。

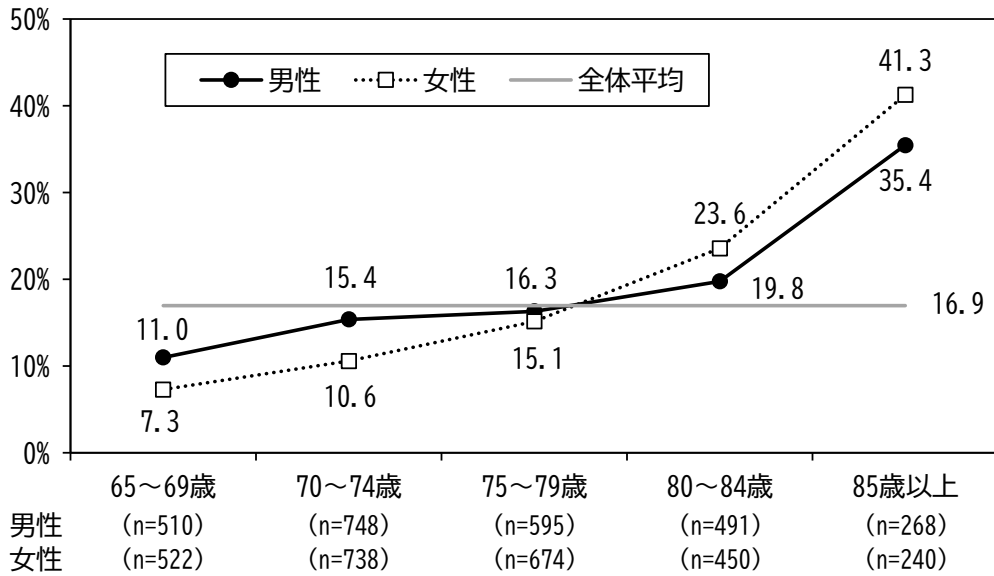
令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-14-14 閉じこもり傾向 該当者の割合



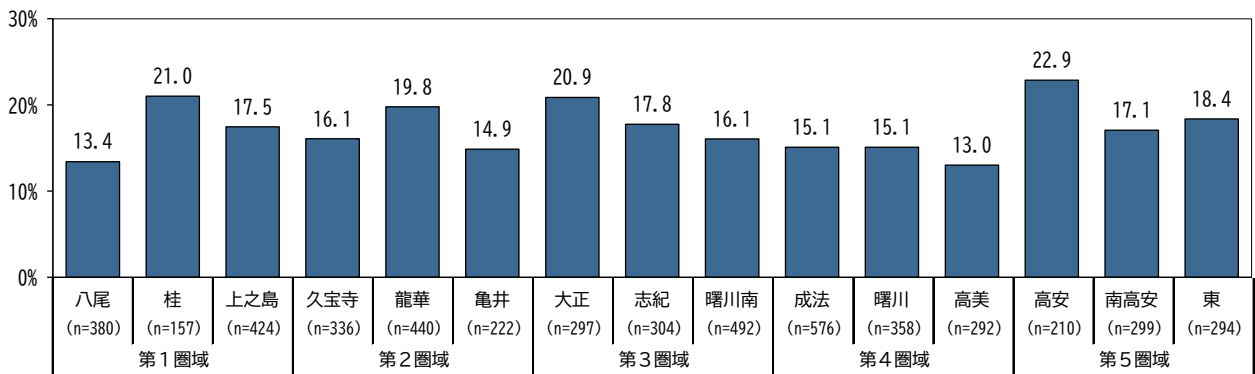
性別・年齢別でみると、男性・女性いずれも年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上の割合が最も高くなっています。

図表 2-14-15 閉じこもり傾向 性別・年齢別



中学校区別でみると、高安中学校区が22.9%で最も高くなっています。

図表 2-14-16 閉じこもり傾向 中学校区別



(5) 認知機能の低下

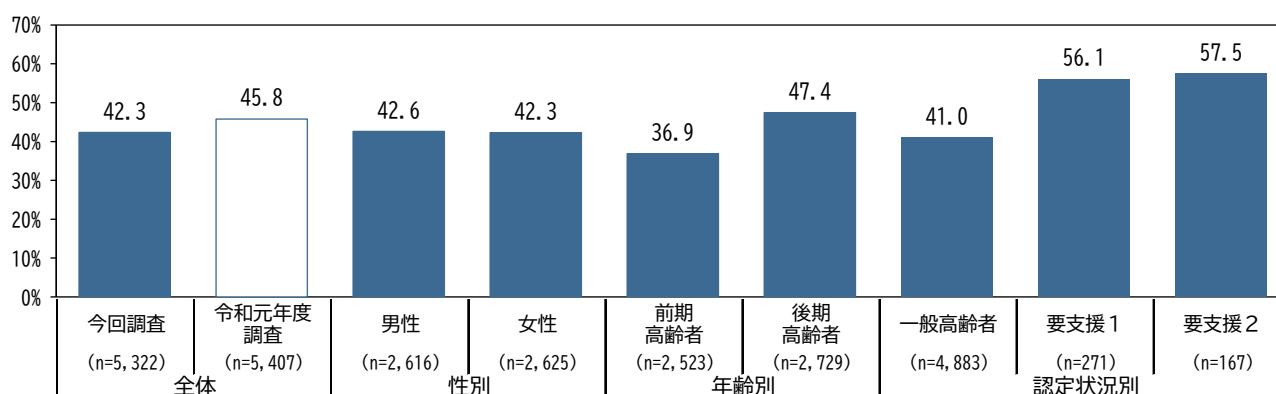
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、認知機能の低下がみられる高齢者として判定しました。

図表 2-14-17 認知機能の低下を判定するための項目

設問番号	設問	該当する選択肢
問4-1	物忘れが多いと感じますか。	「1. はい」

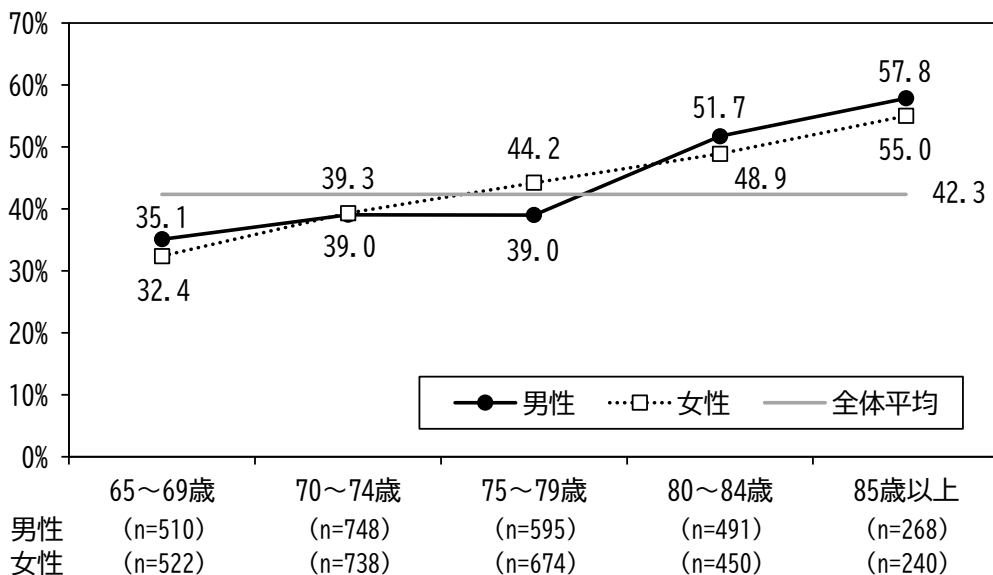
認知機能の低下がみられると判定された高齢者の割合は、全体で42.3%となっています。令和元（2019）年度調査（45.8%）と比較すると、3.5ポイント減少しています。

図表 2-14-18 認知機能の低下 該当者の割合



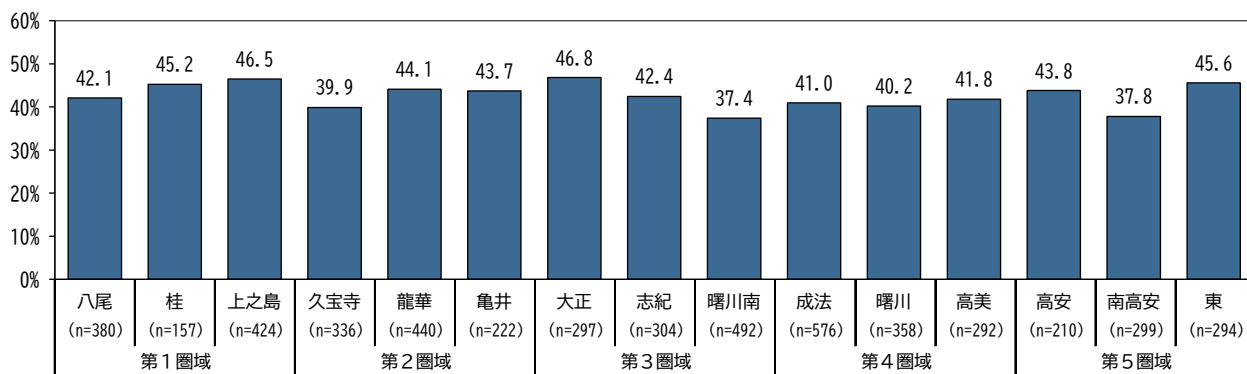
性別・年齢別でみると、男性・女性いずれも年齢が上がるにつれて概ね割合が増加しており、85歳以上の割合が最も高くなっています。

図表 2-14-19 認知機能の低下 性別・年齢別



中学校区別でみると、大正中学校区が46.8%で最も高くなっています。

図表 2-14-20 認知機能の低下 中学校区別



(6) うつ傾向

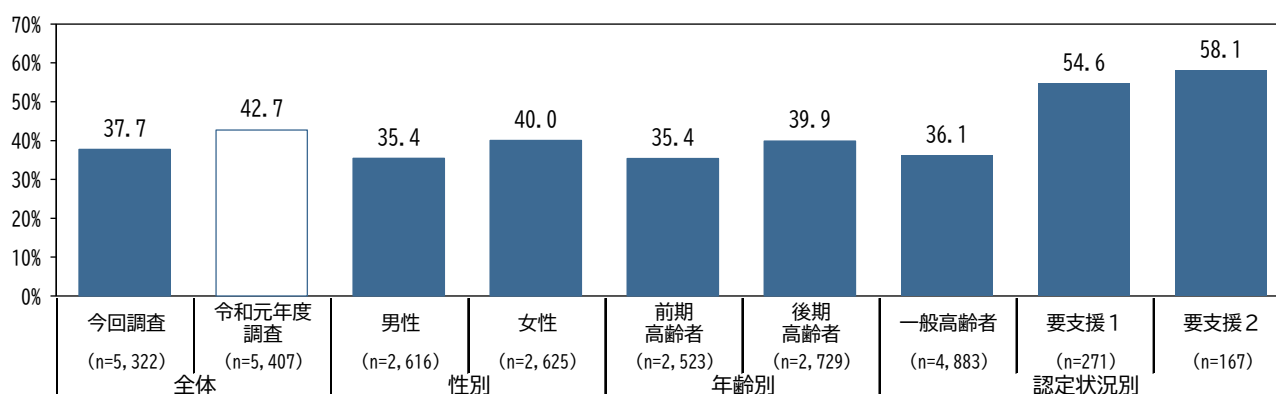
下記の2設問について、いずれか1つでも該当する選択肢が回答された場合、うつ傾向の高齢者として判定しました。

図表 2-14-21 うつ傾向を判定するための項目

設問番号	設問	該当する選択肢
問8-8	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	「1. はい」
問8-9	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	「1. はい」

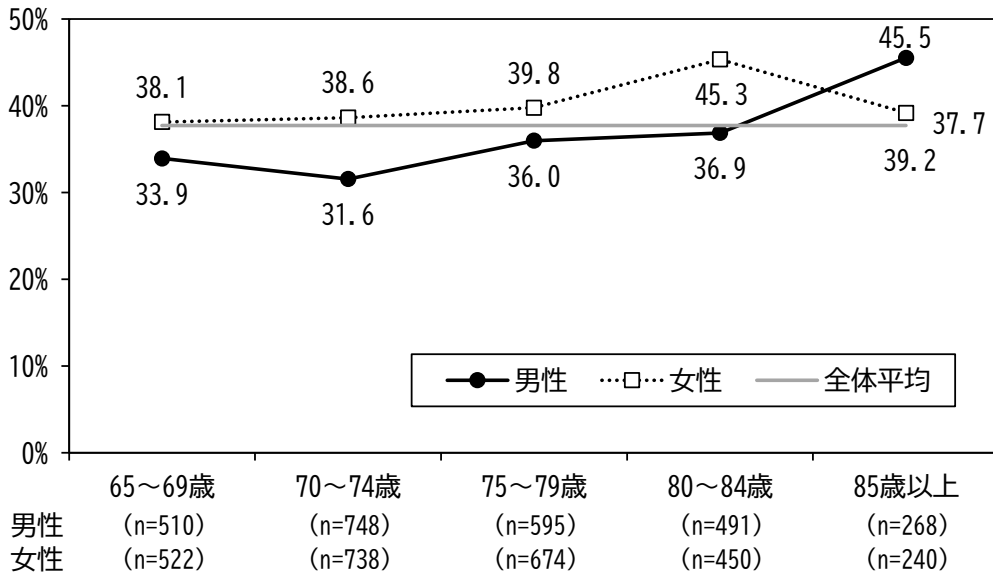
うつ傾向と判定された高齢者の割合は、全体で37.7%となっています。
令和元（2019）年度調査（42.7%）と比較すると、5.0ポイント減少しています。

図表 2-14-22 うつ傾向 該当者の割合



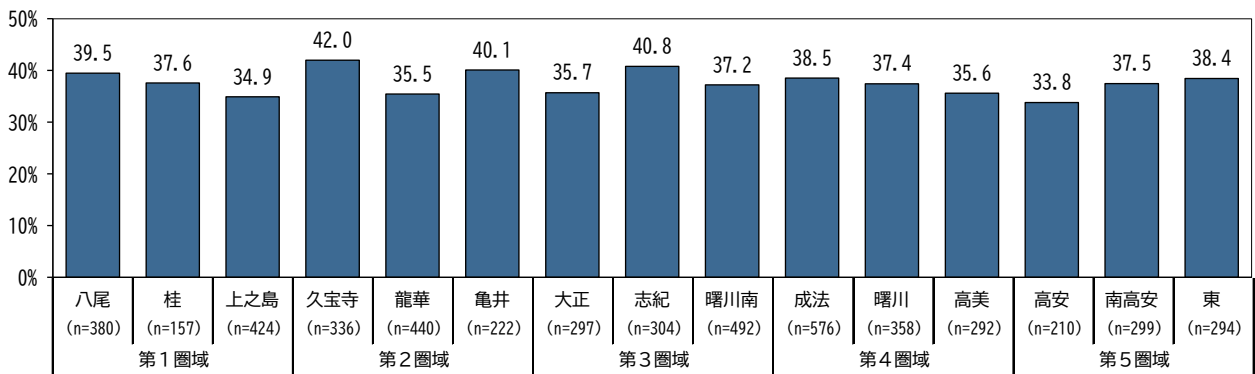
性別・年齢別でみると、男性では85歳以上が45.5%で最も高く、女性では80～84歳が45.3%で最も高くなっています。

図表 2-14-23 うつ傾向 性別・年齢別



中学校区別でみると、久宝寺中学校区が42.0%で最も高くなっています。

図表 2-14-24 うつ傾向 中学校区別



(7) 転倒リスク

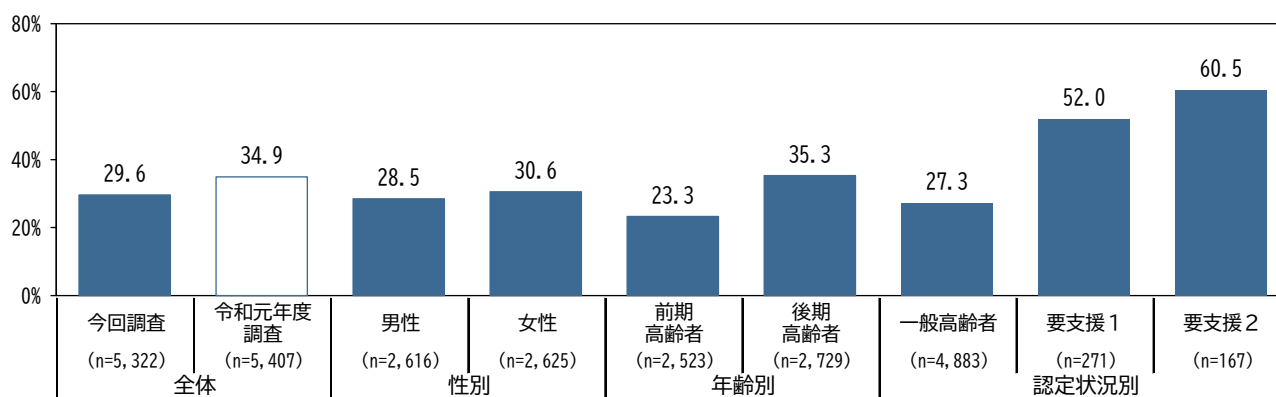
下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、転倒リスクのある高齢者として判定しました。

図表 2-14-25 転倒リスクを判定するための項目

設問番号	設問	該当する選択肢
問2-4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	「1. 何度もある」 「2. 1度ある」

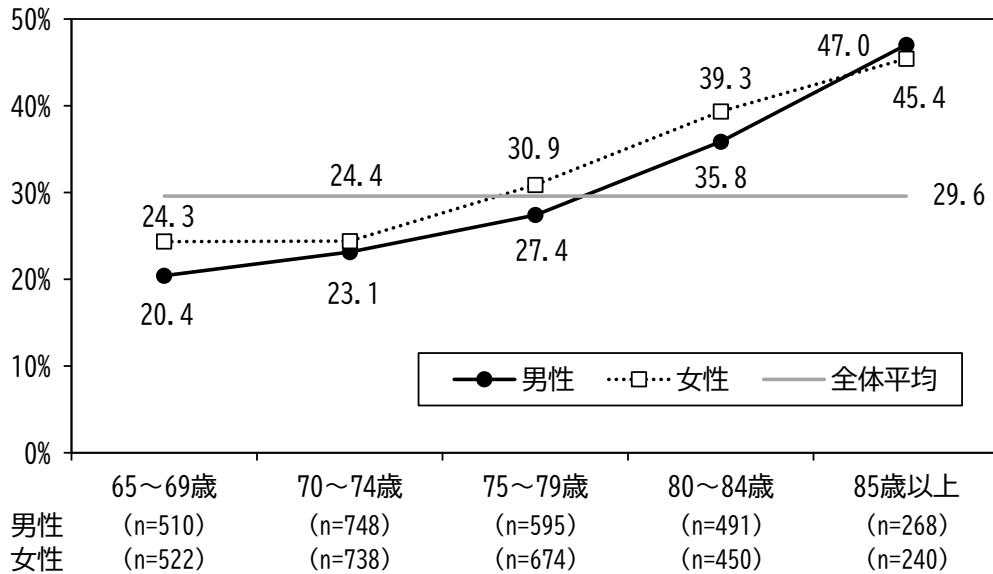
転倒リスクがあると判定された高齢者の割合は、全体で29.6%となっています。
令和元（2019）年度調査（34.9%）と比較すると、5.3ポイント減少しています。

図表 2-14-26 転倒リスク 該当者の割合



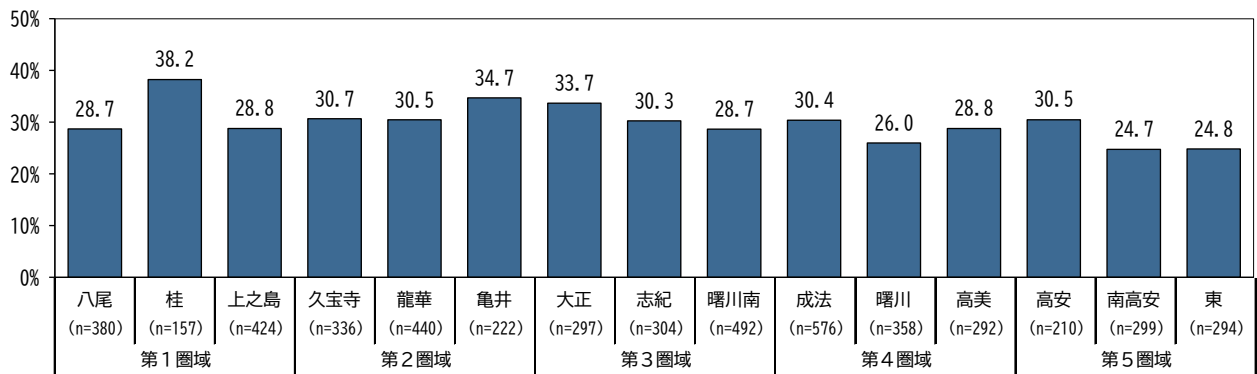
性別・年齢別でみると、男性・女性いずれも年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上の割合が最も高くなっています。

図表 2-14-27 転倒リスク 性別・年齢別



中学校区別でみると、桂中学校区が38.2%で最も高くなっています。

図表 2-14-28 転倒リスク 中学校区別



(8) IADLの低下

老研式活動能力指標に基づき、下記の5設問について、該当する選択肢を回答した場合を1点として、5点満点で評価し、4点以下の場合、IADL（手段的日常生活自立度）が低下している高齢者として判定しました。

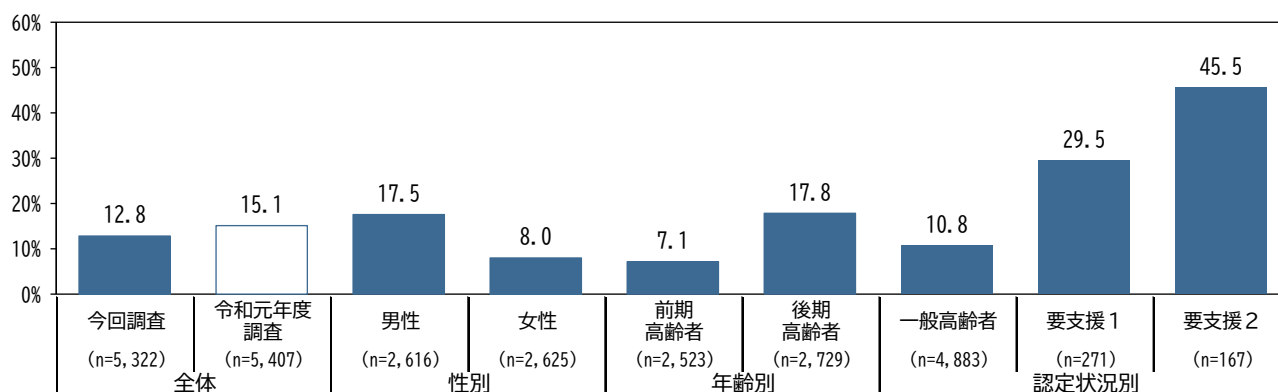
※ IADL（手段的日常生活自立度）とは、買物、電話、外出等、ADL（日常生活動作：起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容）よりも高い自立した日常生活を送る能力をいいます。

図表 2-14-29 IADLの低下を判定するための項目

設問番号	設問	該当する選択肢
問4-3	バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）。	「1. できるし、している」 「2. できるけどしていない」
問4-4	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	「1. できるし、している」 「2. できるけどしていない」
問4-5	自分で食事の用意をしていますか。	「1. できるし、している」 「2. できるけどしていない」
問4-6	自分で請求書の支払いをしていますか。	「1. できるし、している」 「2. できるけどしていない」
問4-7	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	「1. できるし、している」 「2. できるけどしていない」

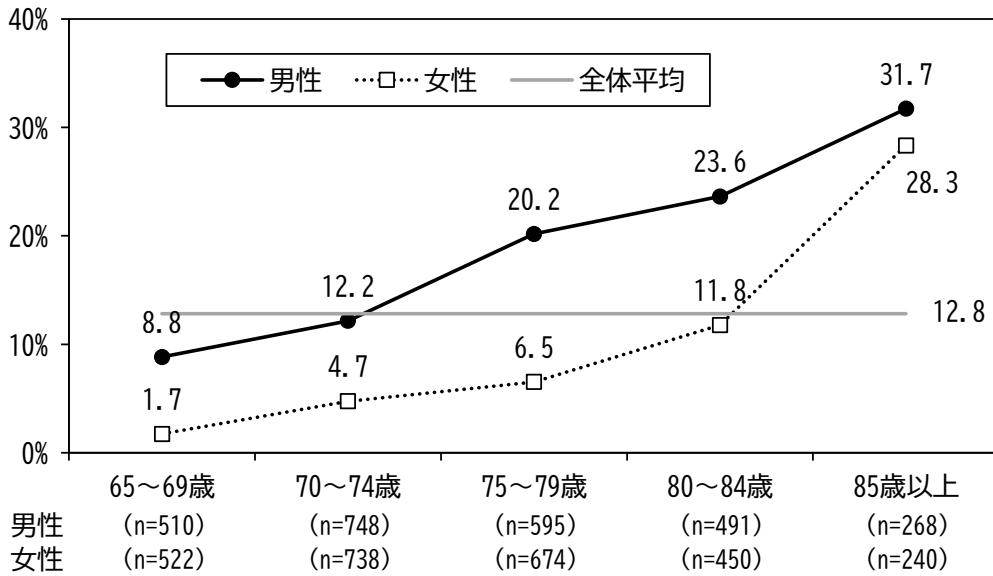
IADLが低下していると判定された高齢者の割合は、全体で12.8%となっています。令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-14-30 IADLの低下 該当者の割合



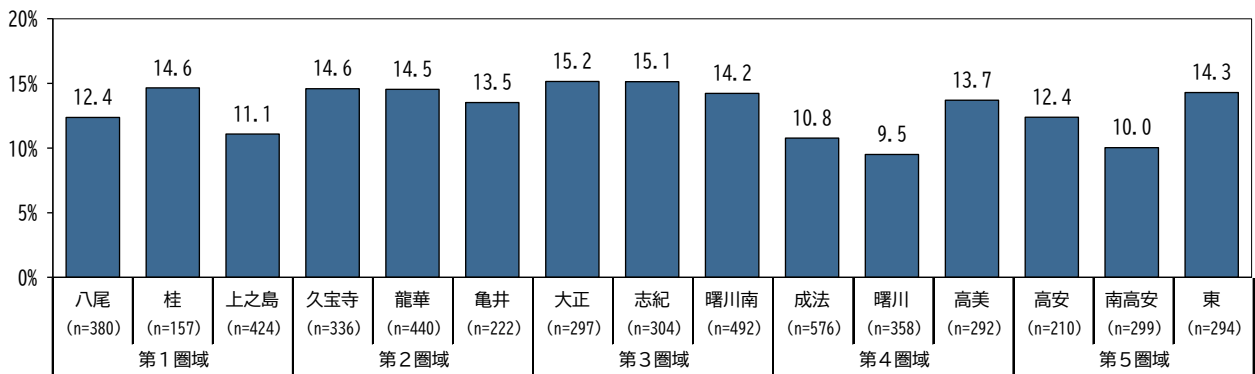
性別・年齢別でみると、全ての年齢層で男性の割合が女性より高く、男性・女性いずれも年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上の割合が最も高くなっています。

図表 2-14-31 IADLの低下 性別・年齢別



中学校区別でみると、大正中学校区が15.2%で最も高くなっています。

図表 2-14-32 IADLの低下 中学校区別

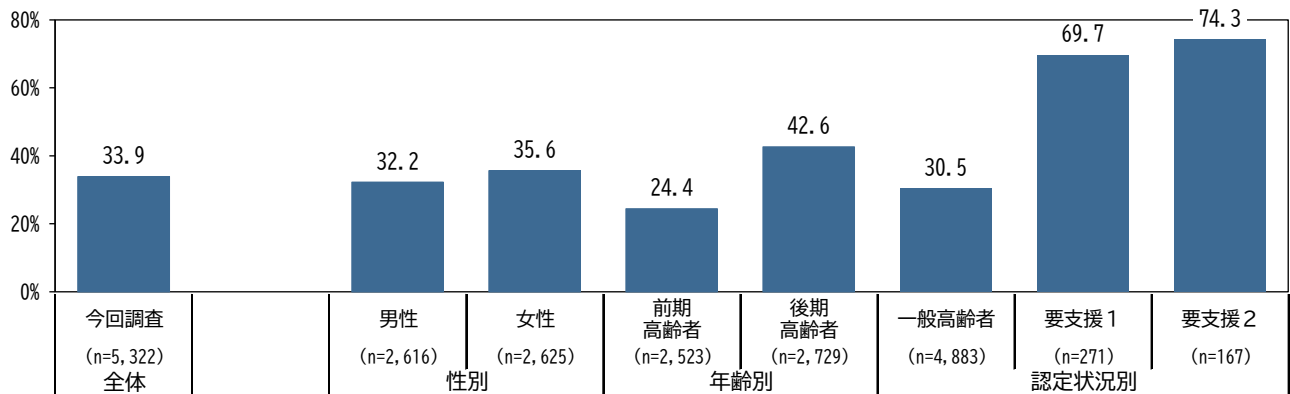


(9) 事業対象者

運動器機能の低下、低栄養状態、口腔機能の低下のいずれかに該当している場合、事業対象者として判定しました。

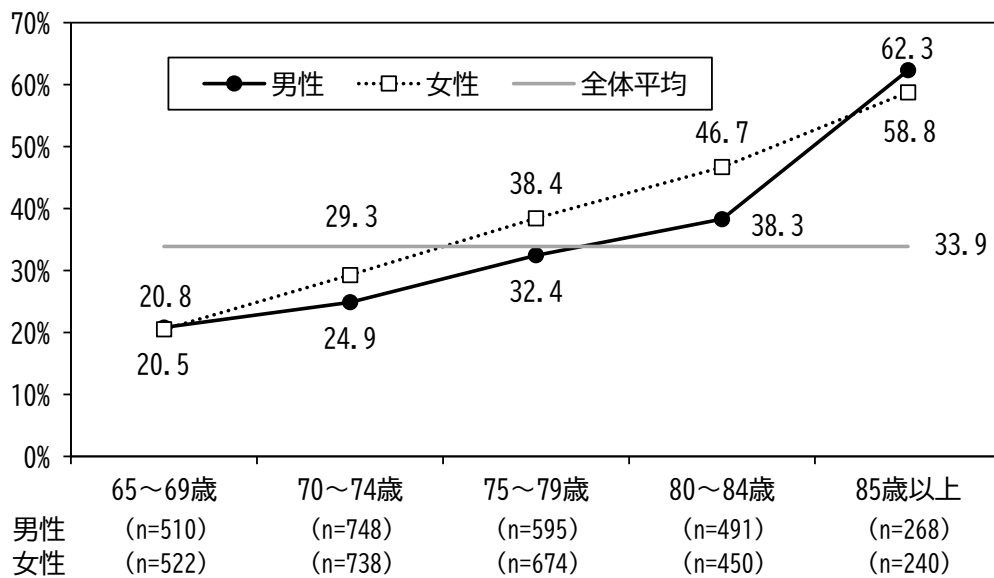
事業対象者と判定された高齢者の割合は、全体で 33.9% となっています。

図表 2-14-33 事業対象者 該当者の割合



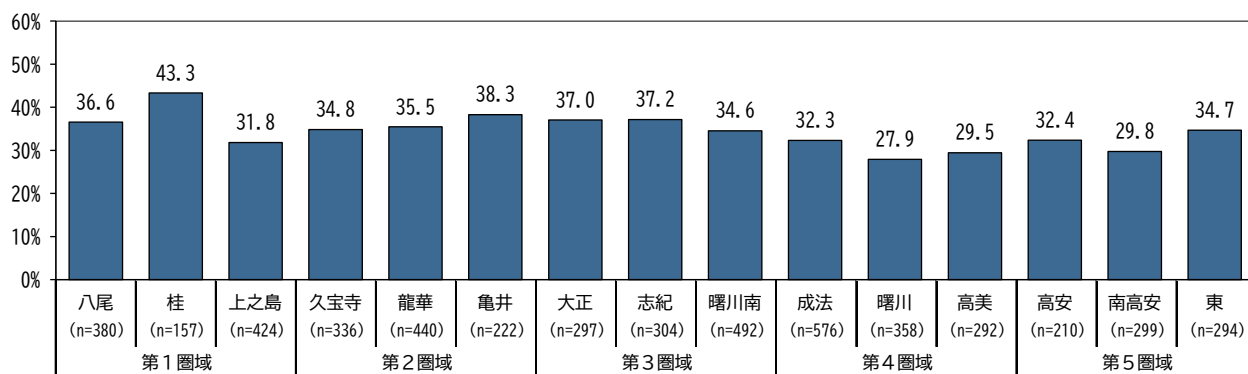
性別・年齢別で見ると、男性・女性いずれも年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上の割合が最も高くなっています。

図表 2-14-34 事業対象者 性別・年齢別



中学校区別でみると、桂中学校区が43.3%で最も高くなっています。

図表 2-14-35 事業対象者 中学校区別



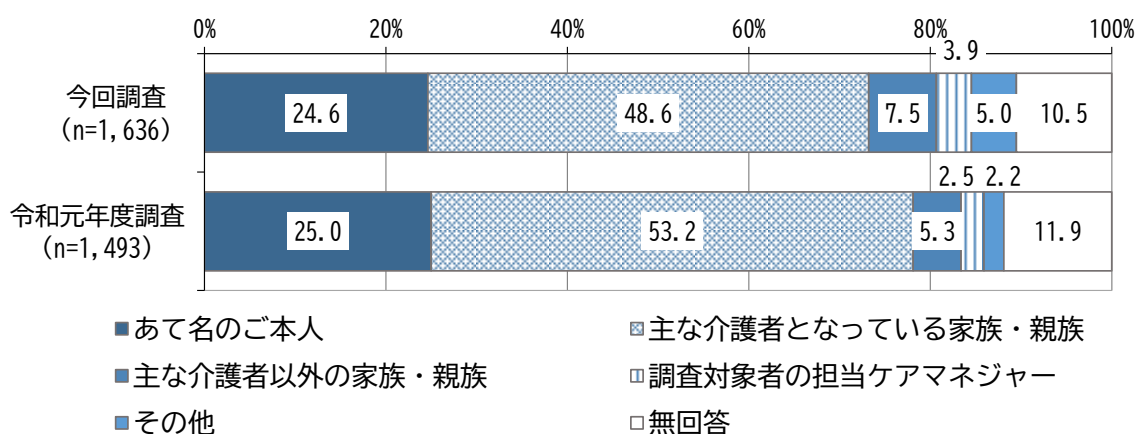
第3章 要介護認定者実態調査

1 回答者の属性

(1) 調査票の記入者

調査票の記入者については、「主な介護者となっている家族・親族」が48.6%で最も高く、次いで「あて名のご本人」が24.6%、「主な介護者以外の家族・親族」が7.5%と続いています。

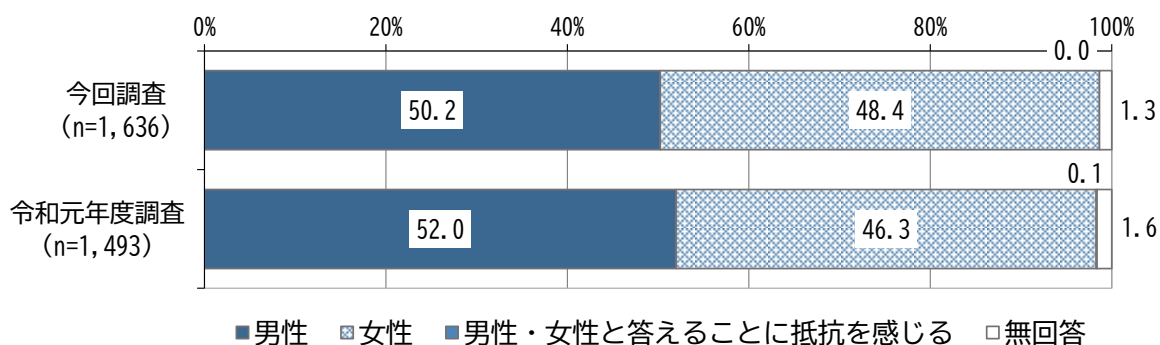
図表 3-1-1 調査票の記入者



(2) 性別

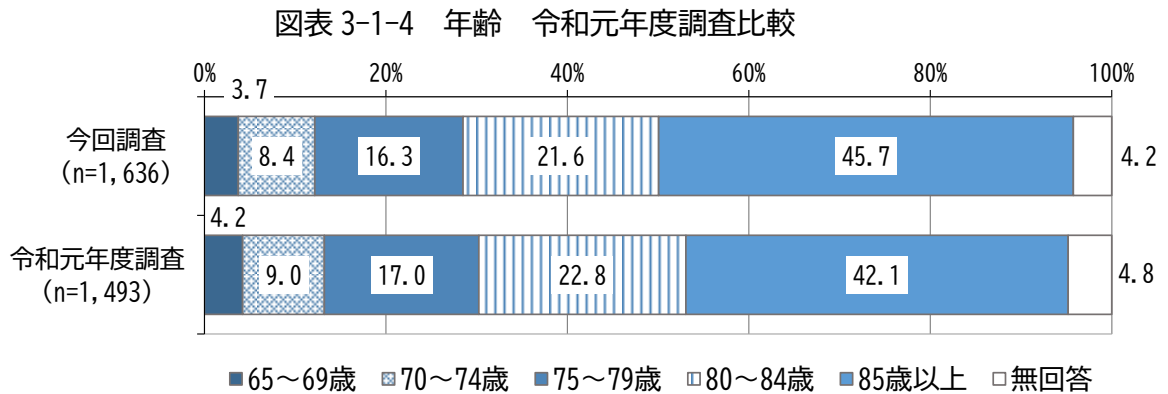
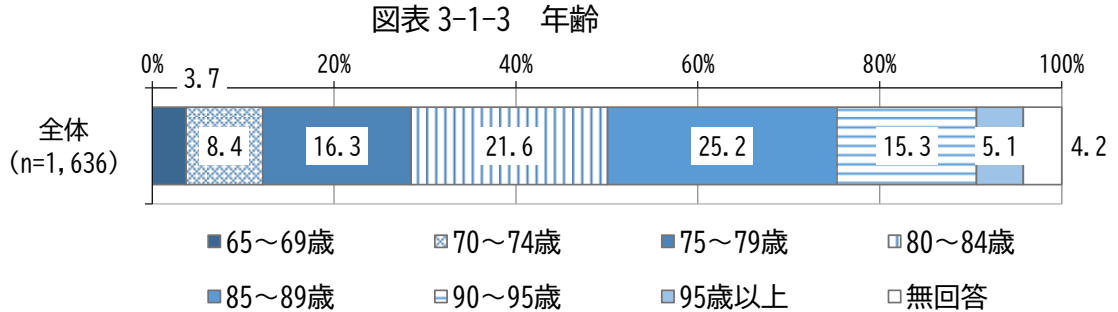
性別については、「男性」が50.2%、「女性」が48.4%となっています。

図表 3-1-2 性別



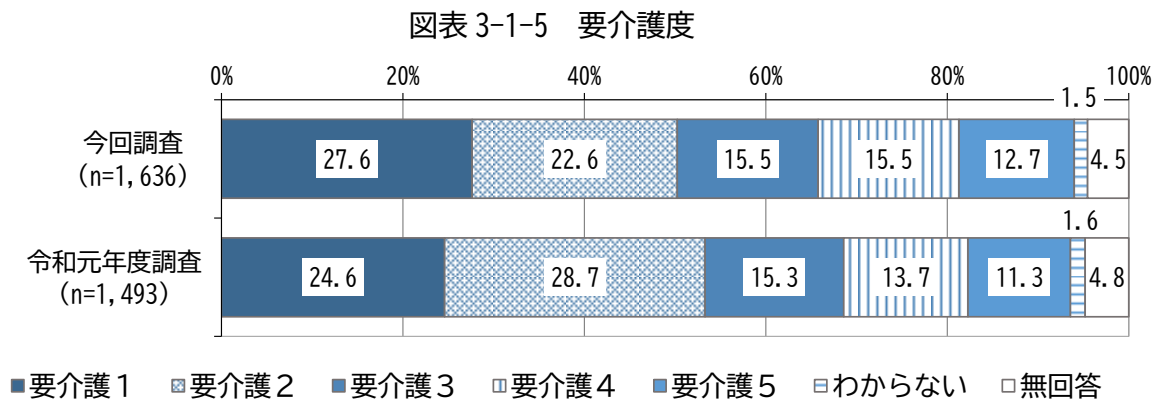
(3) 年齢

年齢については、「85～89歳」が25.2%で最も高く、次いで「80～84歳」が21.6%、「75～79歳」が16.3%と続いています。



(4) 要介護度

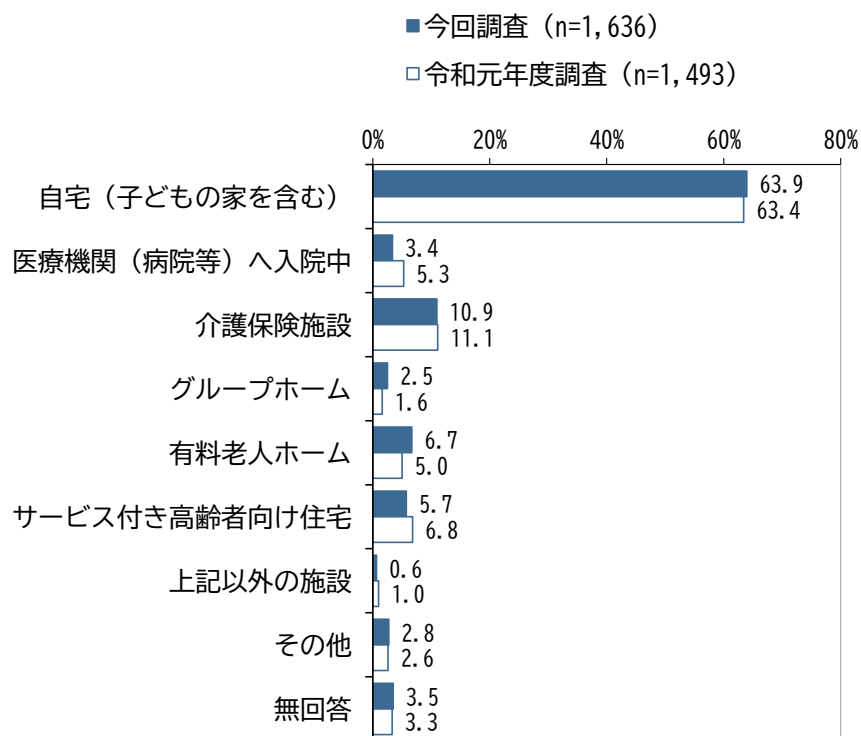
要介護度については、「要介護1」が27.6%で最も高く、次いで「要介護2」が22.6%、「要介護3」、「要介護4」がいずれも15.5%と続いています。



(5) 生活の場所

生活の場所については、「自宅（子どもの家を含む）」が63.9%で最も高く、次いで「介護保険施設」が10.9%、「有料老人ホーム」が6.7%と続いています。

図表 3-1-6 生活の場所



※ 以下、生活の場所別に分析する際、以下に分類しています。

自宅…「自宅（子どもの家を含む）」

施設等…「介護保険施設」、「グループホーム」、「有料老人ホーム」、「サービス付き高齢者向け住宅」、「上記以外の施設」

(6) 居住地域

居住地域については、「八尾」が9.5%で最も高く、次いで「志紀」が6.1%、「南高安」が5.0%と続いています。

図表 3-1-7 居住地域（小学校区）

		全体 (n=1,636)	
小学校区	構成比(%)	小学校区	構成比(%)
八尾	9.5	高美	3.5
山本	4.5	長池	2.6
用和	3.4	東山本	3.5
久宝寺	4.7	美園	2.1
龍華	4.9	永畑	2.7
大正	3.7	刑部	3.4
桂	2.0	高美南	1.5
安中	3.4	西山本	2.2
竹湊	1.7	高安西	2.7
南高安	5.0	曙川東	2.4
高安	4.2	亀井	2.6
曙川	2.8	上之島	1.9
北山本	2.0	大正北	2.2
南山本	3.4	小学校区がわからない	1.5
志紀	6.1	無回答	3.7
		合計	100.0

図表 3-1-8 居住地域（中学校区）

		全体 (n=1,636)	
中学校区	構成比(%)	中学校区	構成比(%)
八尾	6.1	曙川南	8.6
桂	4.0	成法	12.8
上之島	6.4	曙川	6.1
久宝寺	6.8	高美	5.1
龍華	7.6	高安	4.2
亀井	4.3	南高安	5.0
大正	5.9	東	5.7
志紀	6.1	無回答	5.3
		合計	100.0

2 あなたのご家族や生活状況について

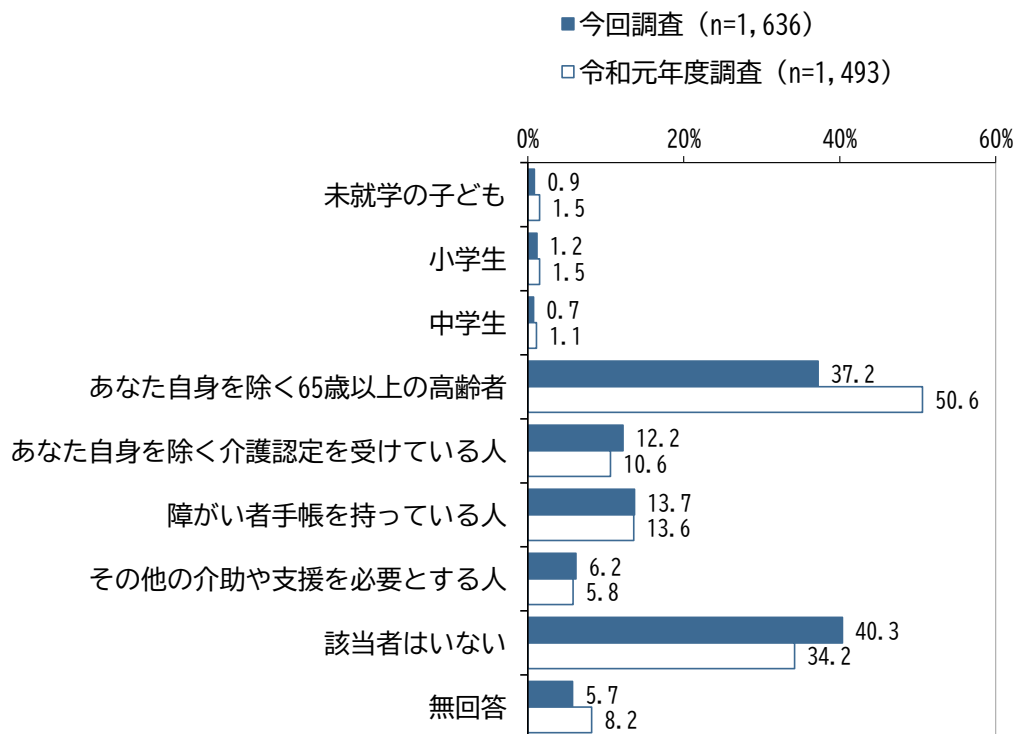
(1) 同居家族

問1-1 あなたが現在一緒に住んでいるご家族に次のような人（あなた自身も含みます）はおられますか。（いくつでも）

同居家族については、「該当者はいない」が40.3%で最も高く、次いで「あなた自身を除く65歳以上の高齢者」が37.2%、「障がい者手帳を持っている人」が13.7%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「該当者はいない」（40.3%）では、令和元（2019）年度調査（34.2%）より6.1ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 3-2-1 同居家族



生活の場所別でみると、自宅では「あなた自身を除く 65 歳以上の高齢者」が 44.8%で最も高く、施設等では「該当者はいない」が 56.1%で最も高くなっています。

年齢別でみると、「あなた自身を除く 65 歳以上の高齢者」では、75～79 歳が 50.6%で最も高くなっています。

認定状況別でみると、「あなた自身を除く介護認定を受けている人」では、要介護 2 が 14.3%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、「あなた自身を除く介護認定を受けている人」では、亀井中学校区が 18.3%で最も高くなっています。

図表 3-2-2 同居家族 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	未就学の子ども	小学生	中学生	あなた自身を除く 65 歳以上の高齢者	あなた自身を除く介護認定を受けている人	障がい者手帳を持っている人	その他の介助や支援を必要とする人	該当者はいない	無回答	
全体		1,636	0.9	1.2	0.7	37.2	12.2	13.7	6.2	40.3	5.7	
生活の場所別	自宅	1,046	1.1	1.4	0.9	44.8	12.6	14.9	5.9	34.9	3.6	
	施設等	433	0.7	0.7	0.5	18.2	11.1	9.5	6.0	56.1	9.0	
年齢別	65～69歳	61	3.3	0.0	0.0	31.1	6.6	16.4	4.9	47.5	8.2	
	70～74歳	138	3.6	2.2	2.2	50.0	9.4	22.5	6.5	26.8	0.7	
	75～79歳	267	0.7	1.9	2.2	50.6	12.4	17.6	6.0	31.1	4.9	
	80～84歳	353	0.6	1.1	0.6	45.3	11.9	13.3	5.1	34.6	6.5	
	85歳以上	748	0.4	0.5	0.1	27.5	14.0	11.1	7.2	47.9	5.7	
認定状況別	要介護 1	452	0.7	1.3	0.2	34.1	11.3	13.1	5.5	44.2	4.6	
	要介護 2	370	1.1	1.1	0.8	39.5	14.3	16.8	5.7	35.4	5.7	
	要介護 3	254	2.0	1.2	0.8	47.2	14.2	15.0	5.5	32.7	4.7	
	要介護 4	254	0.4	0.4	1.2	35.0	10.2	11.4	6.3	47.2	5.9	
	要介護 5	208	0.5	1.9	1.0	31.7	11.5	12.0	8.2	42.8	7.7	
中学校区別	第 1 圏域	八尾中学校区	99	0.0	1.0	0.0	33.3	13.1	12.1	6.1	47.5	3.0
		桂中学校区	65	0.0	0.0	1.5	27.7	7.7	16.9	0.0	53.8	7.7
		上之島中学校区	105	0.0	1.9	0.0	46.7	6.7	13.3	3.8	37.1	4.8
	第 2 圏域	久宝寺中学校区	112	0.9	0.9	0.0	26.8	12.5	14.3	6.3	42.0	8.0
		龍華中学校区	124	0.0	0.0	0.0	39.5	10.5	16.9	4.8	36.3	8.1
		亀井中学校区	71	1.4	1.4	2.8	40.8	18.3	14.1	5.6	45.1	2.8
	第 3 圏域	大正中学校区	97	1.0	1.0	2.1	50.5	14.4	14.4	9.3	26.8	4.1
		志紀中学校区	99	2.0	2.0	0.0	28.3	9.1	13.1	4.0	45.5	9.1
		曙川南中学校区	141	0.7	0.7	0.7	44.0	17.7	6.4	7.1	34.8	5.0
	第 4 圏域	成法中学校区	210	1.0	1.4	1.0	31.9	10.5	14.8	7.6	45.7	5.2
		曙川中学校区	100	1.0	1.0	0.0	38.0	11.0	11.0	9.0	38.0	6.0
		高美中学校区	83	0.0	1.2	0.0	34.9	13.3	13.3	4.8	44.6	6.0
	第 5 圏域	高安小中学校区	69	2.9	0.0	1.4	39.1	11.6	17.4	4.3	39.1	4.3
		南高安中学校区	81	0.0	3.7	1.2	45.7	13.6	13.6	4.9	34.6	3.7
		東中学校区	94	2.1	1.1	2.1	41.5	18.1	14.9	7.4	39.4	2.1

※網掛け■は最も割合が高いもの

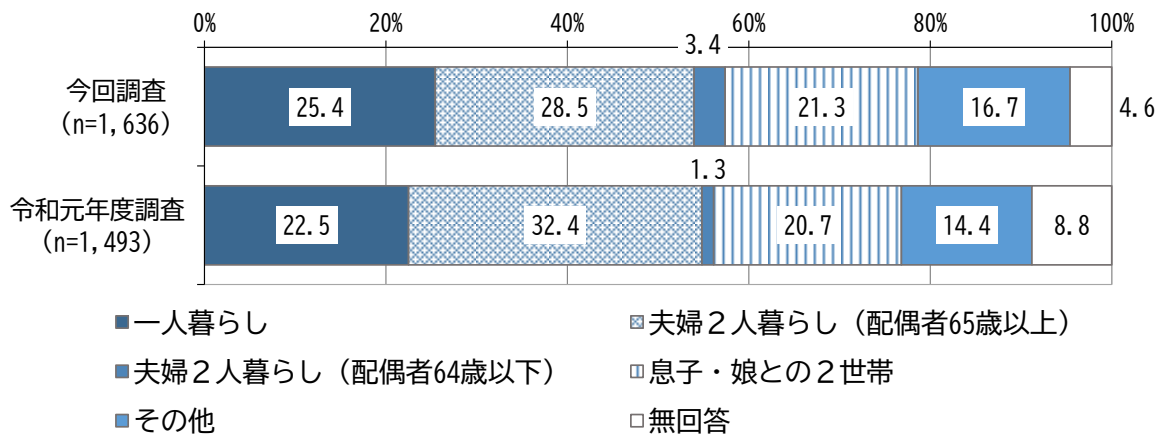
(2) 家族構成

問1-2 家族構成をお教えてください。(1つだけ)

家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が28.5%で最も高く、次いで「一人暮らし」が25.4%、「息子・娘との2世帯」が21.3%と続いています。

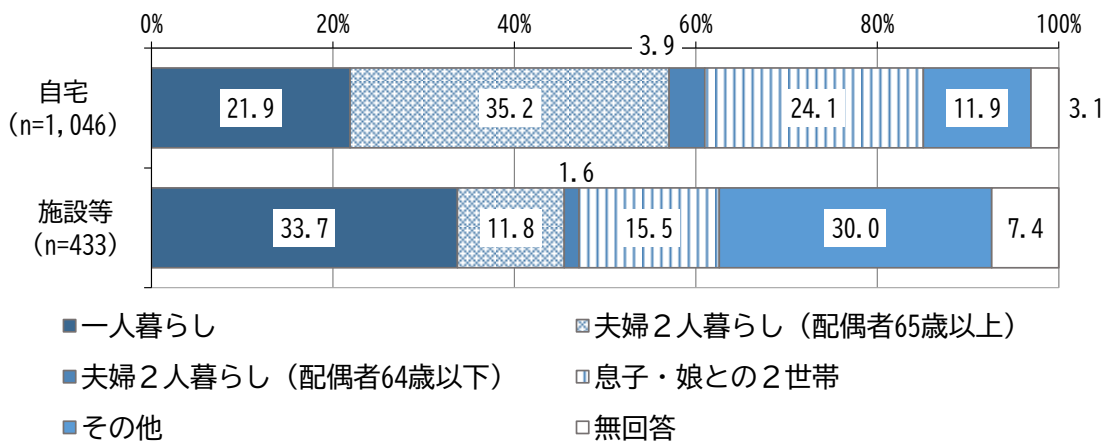
令和元（2019）年度調査と比較すると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（28.5%）では、令和元（2019）年度調査（32.4%）より3.9ポイント減少しています。

図表 3-2-3 家族構成



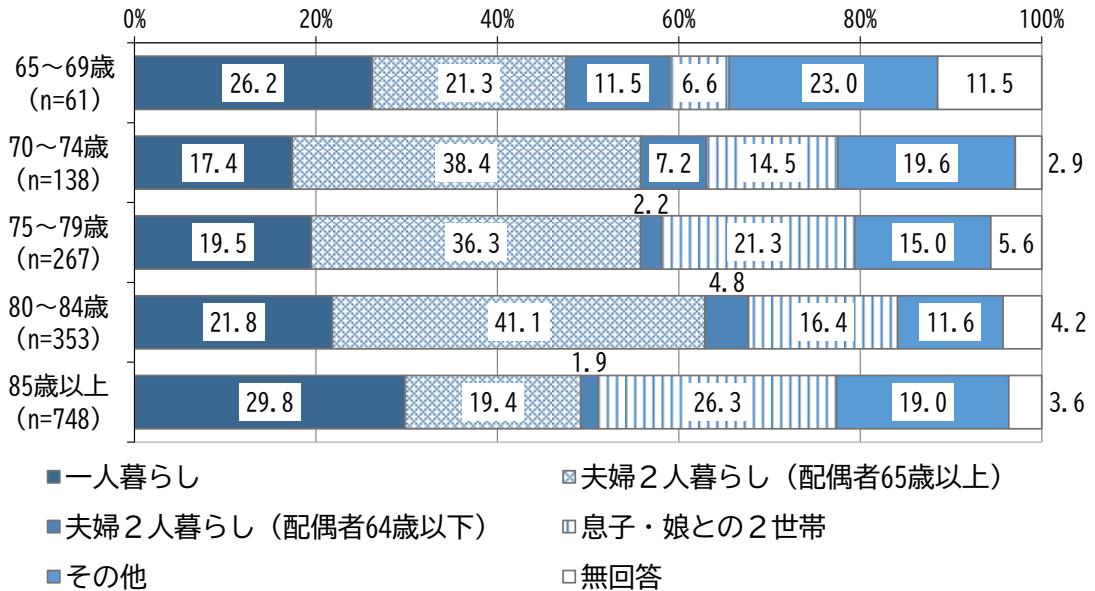
生活の場所別で見ると、自宅では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が35.2%で最も高く、施設等では、「一人暮らし」が33.7%で最も高くなっています。

図表 3-2-4 家族構成 生活の場所別



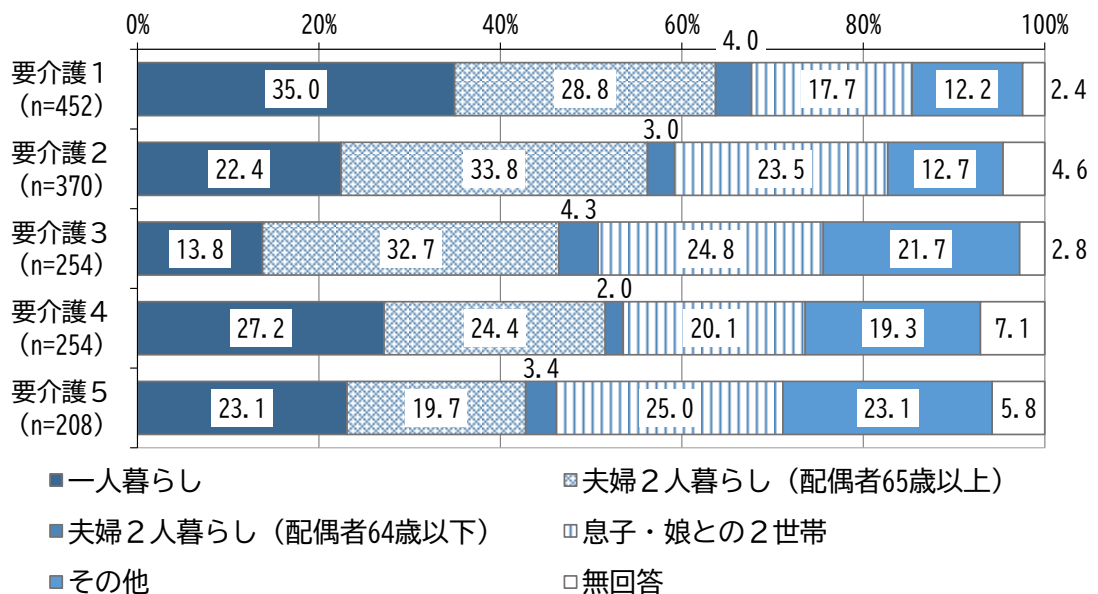
年齢別でみると、「一人暮らし」では、85歳以上が29.8%で最も高く、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」では、80～84歳が41.1%で最も高くなっています。

図表 3-2-5 家族構成 年齢別



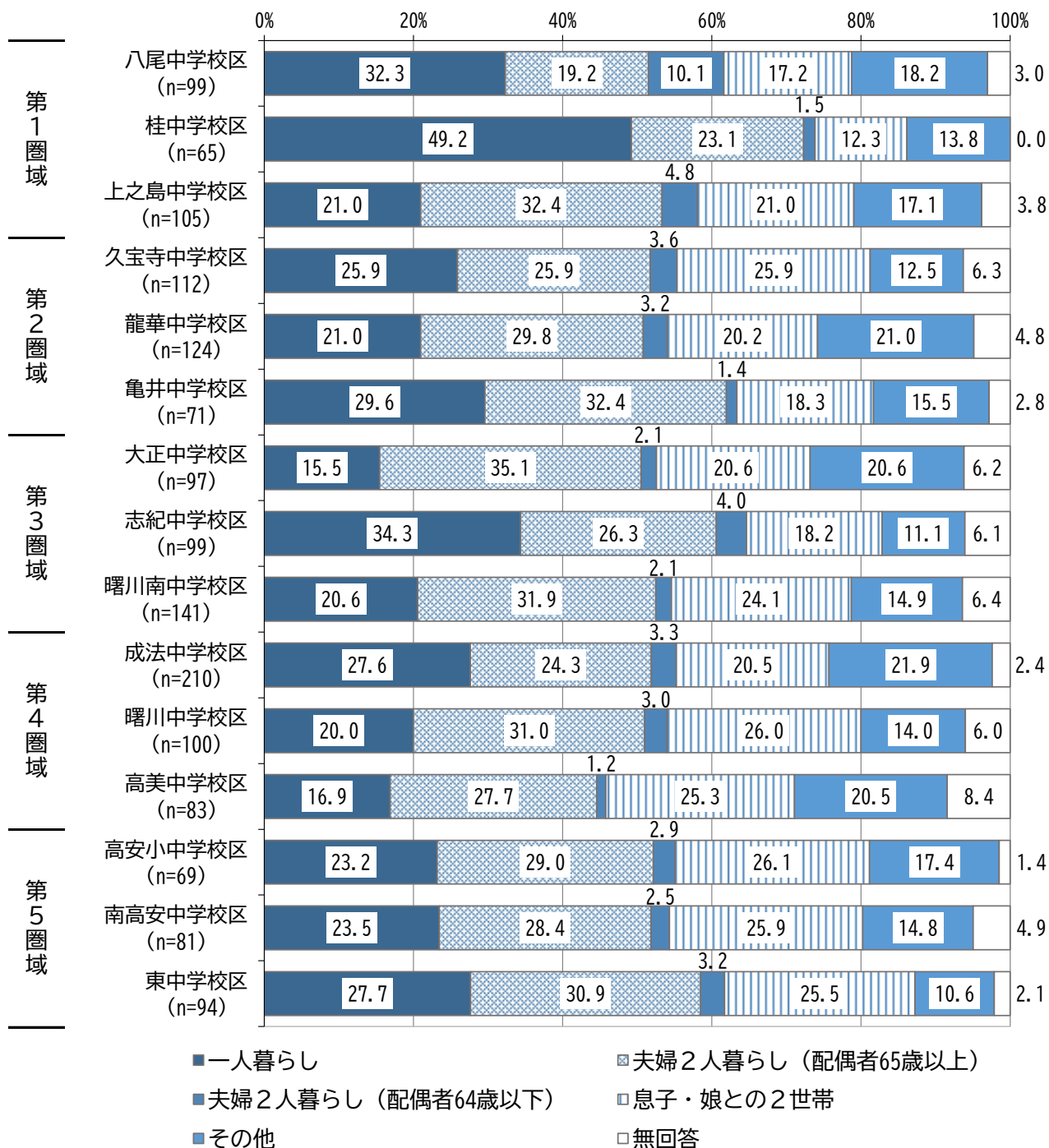
認定状況別でみると、「一人暮らし」では、要介護1が29.8%で最も高く、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」では、要介護2が33.8%で最も高くなっています。

図表 3-2-6 家族構成 認定状況別



中学校区別でみると、「一人暮らし」では、桂中学校区が49.2%で最も高く、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」では、大正中学校区が35.1%で最も高くなっています。

図表 3-2-7 家族構成 中学校区別



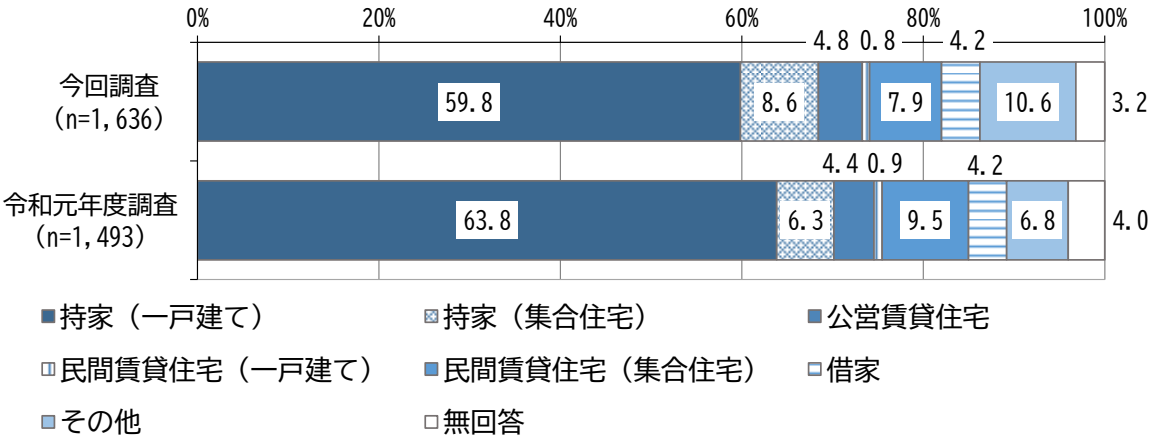
(3) 居住形態

問1-3 お住まいは一人建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ)

居住形態については、「持家（一人建て）」が59.8%で最も高く、次いで「その他」が10.6%、「持家（集合住宅）」が8.6%と続いています。

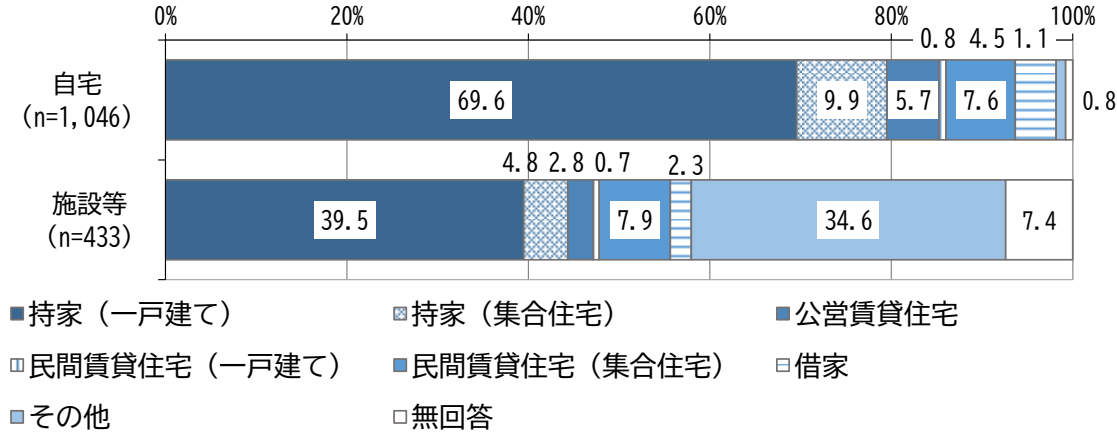
令和元(2019)年度調査と比較すると、「その他」(10.6%)では、令和元(2019)年度調査(6.8%)より3.8ポイント増加しています。

図表 3-2-8 居住形態



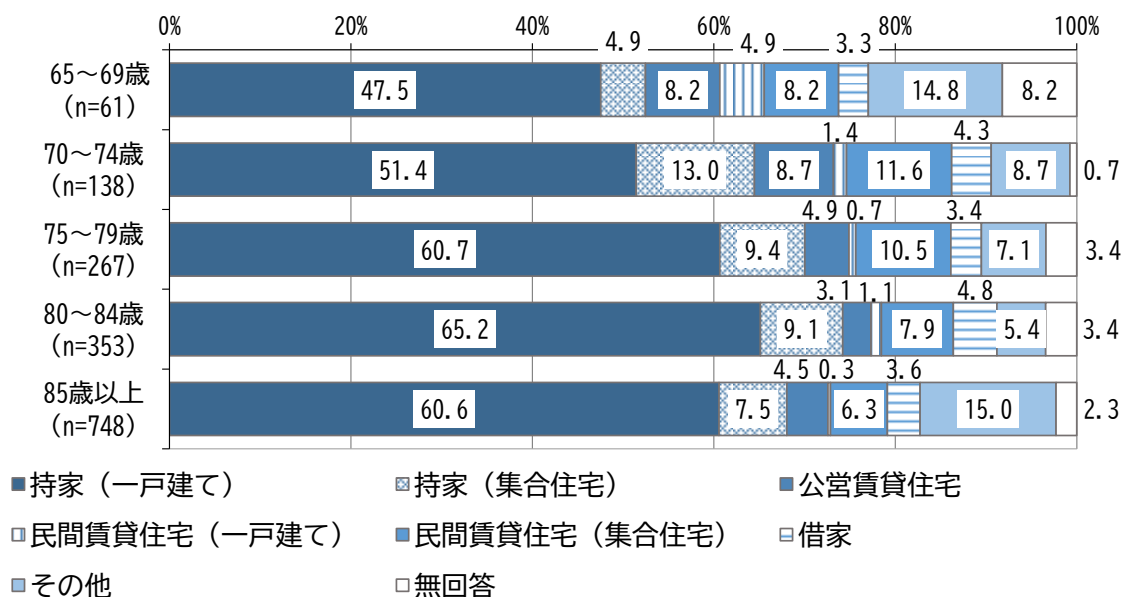
生活の場所別でみると、自宅では、「持家（一人建て）」が69.6%で最も高くなっています。

図表 3-2-9 居住形態 生活の場所別



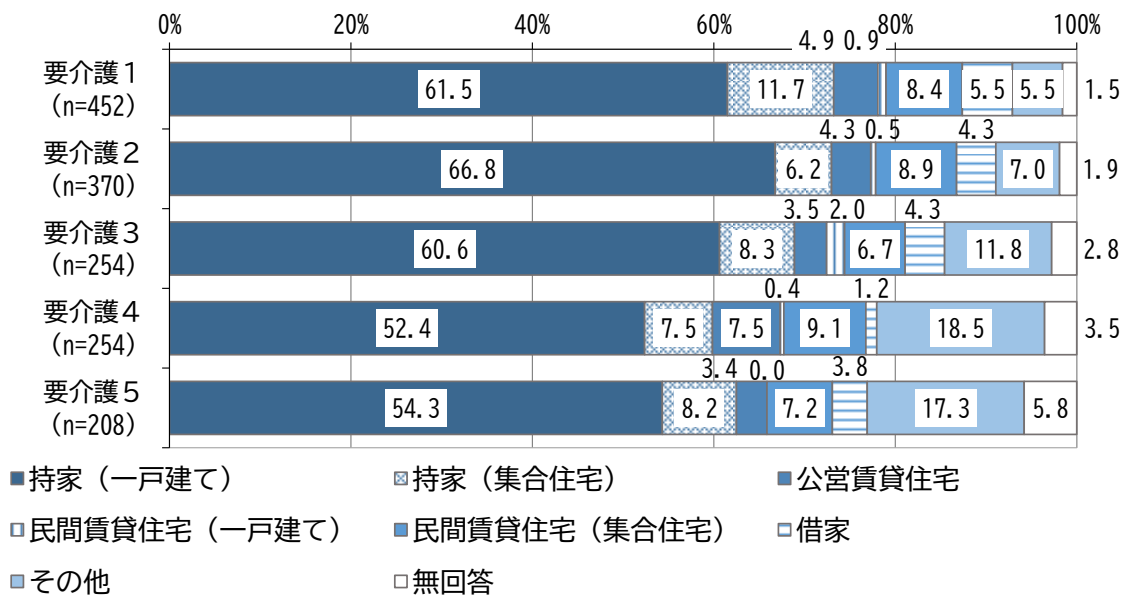
年齢別でみると、「持家（一戸建て）」では、80～84歳が65.2%で最も高くなっています。

図表 3-2-10 居住形態 年齢別



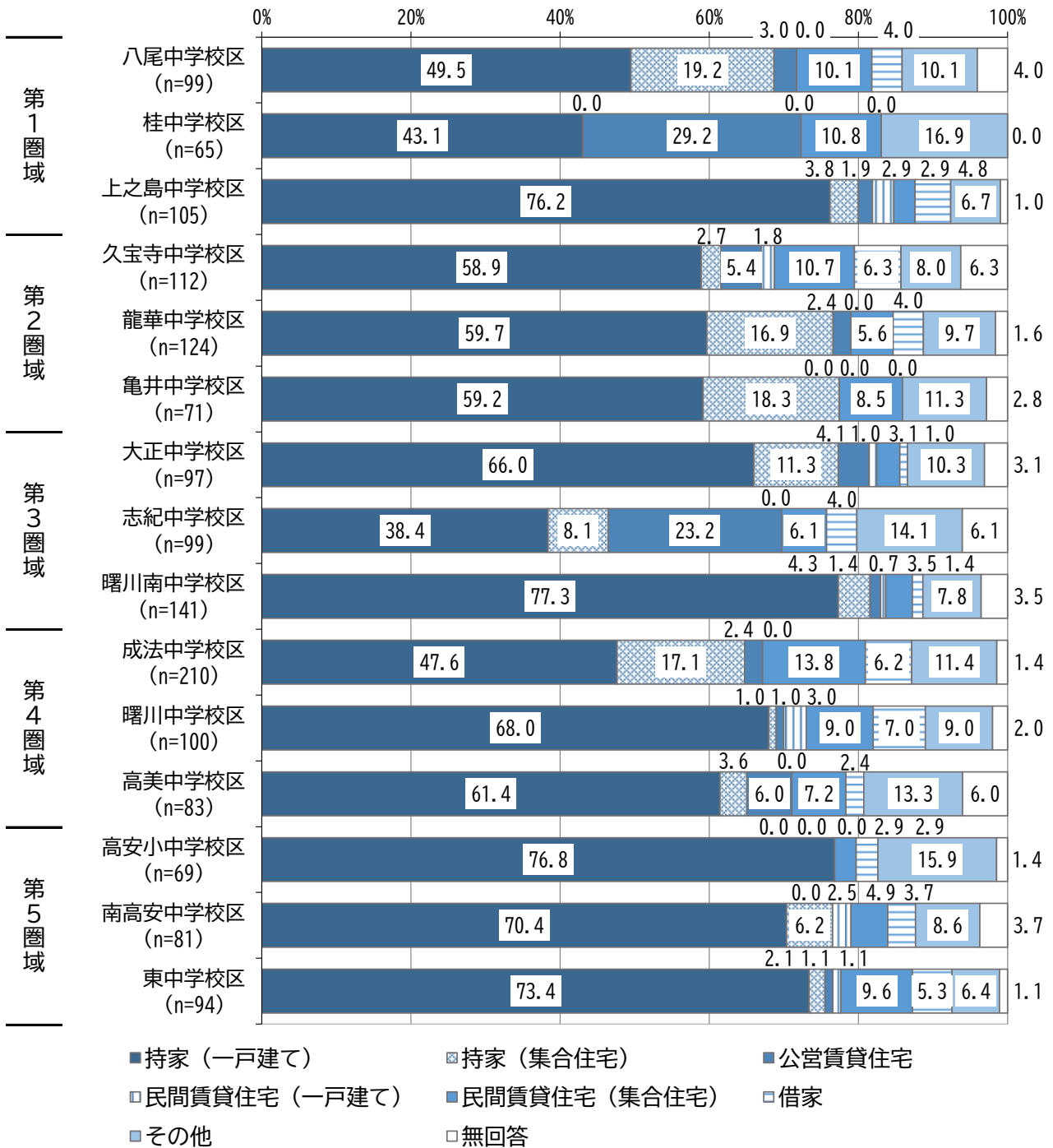
認定状況別でみると、「持家（一戸建て）」では、要介護2が66.8%で最も高くなっています。

図表 3-2-11 居住形態 認定状況別



中学校区別でみると、「持家（一戸建て）」では、曙川南中学校区が77.3%で最も高くなっています。

図表 3-2-12 居住形態 中学校区別



(4) よく利用する駅とその駅への移動手段

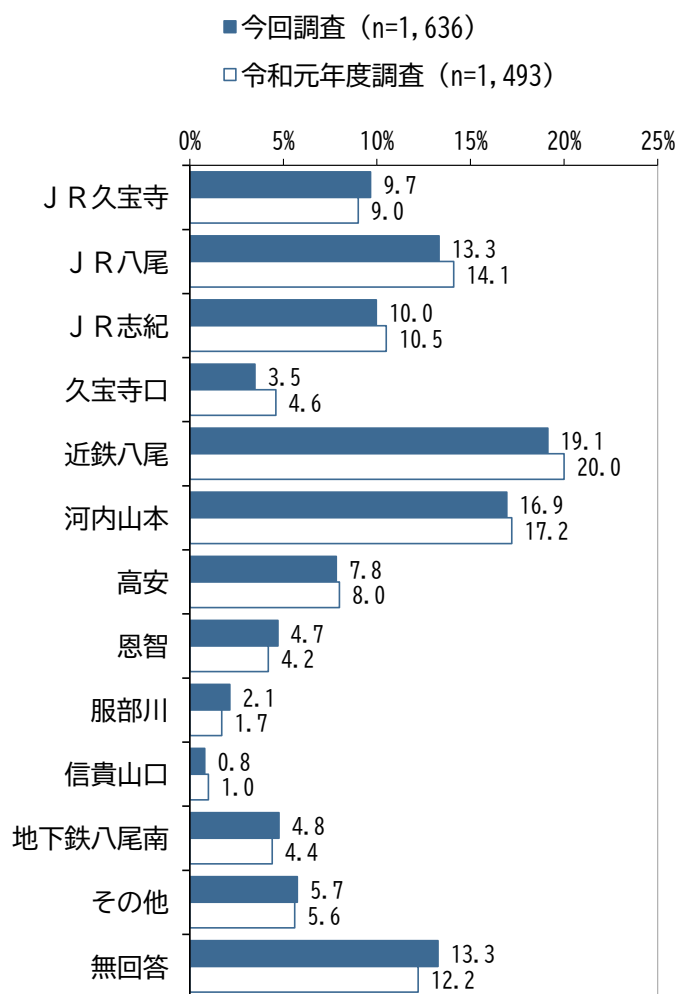
問1-4 ご自宅からよくご利用される駅と、その駅への移動手段をお教えてください。
(いくつでも)

① よく利用する駅

よく利用する駅については、「近鉄八尾」が19.1%で最も高く、次いで「河内山本」が16.9%、「JR八尾」が13.3%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 3-2-13 よく利用する駅



中学校区別でみると、「近鉄八尾」では、八尾中学校区が83.8%で最も高くなっています。

図表 3-2-14 よく利用する駅 中学校区別

単位：実数（人）、構成比（%）

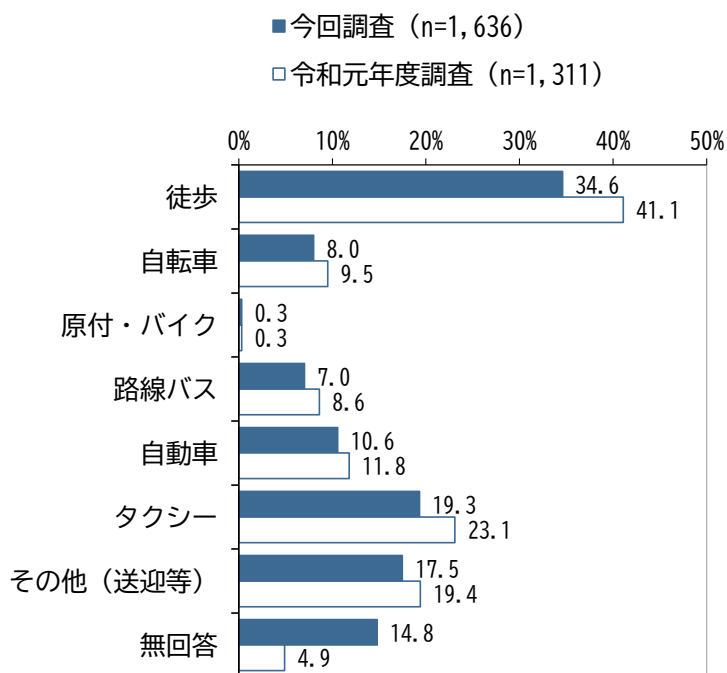
		合計	J R 久宝寺	J R 八尾	J R 志紀	久宝寺口	近鉄八尾	河内山本	高安	恩智	服部川	信貴山口	地下鉄八尾南	その他	無回答	
全体		1,636	9.7	13.3	10.0	3.5	19.1	16.9	7.8	4.7	2.1	0.8	4.8	5.7	13.3	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	0.0	2.0	0.0	1.0	83.8	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	8.1
		桂中学校区	65	0.0	3.1	0.0	1.5	35.4	40.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	9.2	21.5
		上之島中学校区	105	1.9	1.9	0.0	0.0	18.1	75.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	10.5
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	37.5	0.9	0.0	41.1	16.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	10.7
		龍華中学校区	124	32.3	55.6	0.8	0.0	0.8	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	15.3
		亀井中学校区	71	56.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	28.2	15.5
	第3圏域	大正中学校区	97	9.3	9.3	3.1	1.0	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.0	5.2	16.5
		志紀中学校区	99	0.0	1.0	83.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	4.0	12.1
		曙川南中学校区	141	0.0	8.5	41.8	0.0	7.8	2.8	30.5	17.7	0.0	0.0	0.0	4.3	12.1
	第4圏域	成法中学校区	210	7.1	35.2	5.7	2.9	40.0	2.9	1.0	4.3	0.5	0.0	1.9	5.7	8.6
		曙川中学校区	100	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	54.0	33.0	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	10.0
		高美中学校区	83	1.2	43.4	0.0	0.0	39.8	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	1.2	4.8	27.7
	第5圏域	高安小中学校区	69	1.4	0.0	0.0	0.0	5.8	17.4	18.8	0.0	44.9	10.1	0.0	0.0	14.5
		南高安中学校区	81	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	2.5	30.9	50.6	0.0	4.9	0.0	1.2	12.3
		東中学校区	94	0.0	0.0	0.0	0.0	8.5	86.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4

※網掛け■は最も割合が高いもの

② よく利用する駅への移動手段

よく利用する駅への移動手段については、「徒歩」が34.6%で最も高く、次いで「タクシー」が19.3%、「その他（送迎等）」が17.5%と続いています。

図表 3-2-15 よく利用する駅への移動手段



※ 令和元（2019）年度調査の集計は、よく利用する駅を回答した人のみ。

生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「徒歩」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「徒歩」では、80～84歳が41.9%で最も高くなっています。

認定状況別でみると、全ての認定状況で「徒歩」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、桂中学校区では「路線バス」が、上之島中学校区、高美中学校区では「タクシー」が、大正中学校区では「その他（送迎等）」の割合が最も高く、それ以外の中学校区では「徒歩」の割合が最も高くなっています。

図表 3-2-16 よく利用する駅への移動手段 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	徒歩	自転車	原付・バイク	路線バス	自動車	タクシー	等その他（送迎）	無回答	
全体		1,636	34.6	8.0	0.3	7.0	10.6	19.3	17.5	14.8	
生活の場所別	自宅	1,046	37.2	8.4	0.0	8.4	11.8	22.9	16.0	10.0	
	施設等	433	29.6	6.0	0.9	3.5	8.5	12.5	22.2	23.8	
年齢別	65～69歳	61	31.1	9.8	1.6	8.2	9.8	11.5	21.3	19.7	
	70～74歳	138	37.0	13.8	0.0	10.9	11.6	15.2	18.8	14.5	
	75～79歳	267	29.6	10.5	0.0	6.4	11.6	22.8	15.7	15.7	
	80～84歳	353	41.9	9.3	0.0	7.9	9.6	20.7	13.0	11.3	
	85歳以上	748	32.6	5.1	0.4	5.6	10.4	19.8	20.1	15.8	
認定状況別	要介護1	452	46.2	11.3	0.4	10.2	8.6	20.1	10.8	8.2	
	要介護2	370	30.8	6.2	0.3	7.0	12.2	21.9	18.9	14.1	
	要介護3	254	28.7	5.5	0.4	5.9	14.2	21.7	22.0	16.1	
	要介護4	254	26.4	7.1	0.0	5.9	12.2	17.7	19.7	20.9	
	要介護5	208	29.3	7.7	0.5	3.4	7.7	13.5	24.5	20.2	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	34.3	8.1	0.0	4.0	10.1	24.2	15.2	13.1
		桂中学校区	65	0.0	6.2	1.5	40.0	1.5	20.0	24.6	13.8
		上之島中学校区	105	21.0	8.6	0.0	21.0	17.1	27.6	7.6	17.1
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	41.1	5.4	0.0	1.8	11.6	16.1	23.2	9.8
		龍華中学校区	124	41.1	11.3	0.0	5.6	10.5	19.4	19.4	11.3
		亀井中学校区	71	38.0	8.5	0.0	5.6	11.3	16.9	12.7	15.5
	第3圏域	大正中学校区	97	19.6	10.3	0.0	20.6	15.5	16.5	21.6	17.5
		志紀中学校区	99	35.4	11.1	0.0	0.0	9.1	24.2	17.2	16.2
		曙川南中学校区	141	39.0	9.2	0.7	1.4	10.6	24.1	16.3	14.2
	第4圏域	成法中学校区	210	52.4	8.1	1.0	4.8	7.1	11.9	16.7	10.0
		曙川中学校区	100	41.0	3.0	0.0	1.0	4.0	22.0	25.0	12.0
		高美中学校区	83	13.3	12.0	0.0	1.2	12.0	25.3	12.0	30.1
	第5圏域	高安小中学校区	69	44.9	0.0	0.0	2.9	17.4	10.1	17.4	11.6
		南高安中学校区	81	37.0	7.4	0.0	0.0	22.2	13.6	19.8	11.1
	東中学校区	94	31.9	10.6	0.0	8.5	7.4	26.6	17.0	12.8	

※網掛け■は最も割合が高いもの

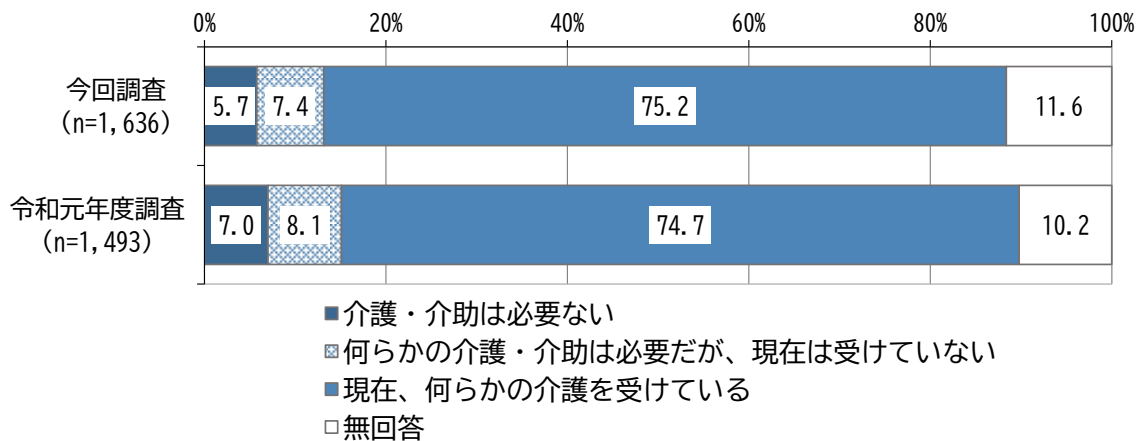
(5) 介護・介助の必要性

問1-5 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ)

介護・介助の必要性については、「現在、何らかの介護を受けている」が75.2%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が7.4%、「介護・介助は必要ない」が5.7%となっています。

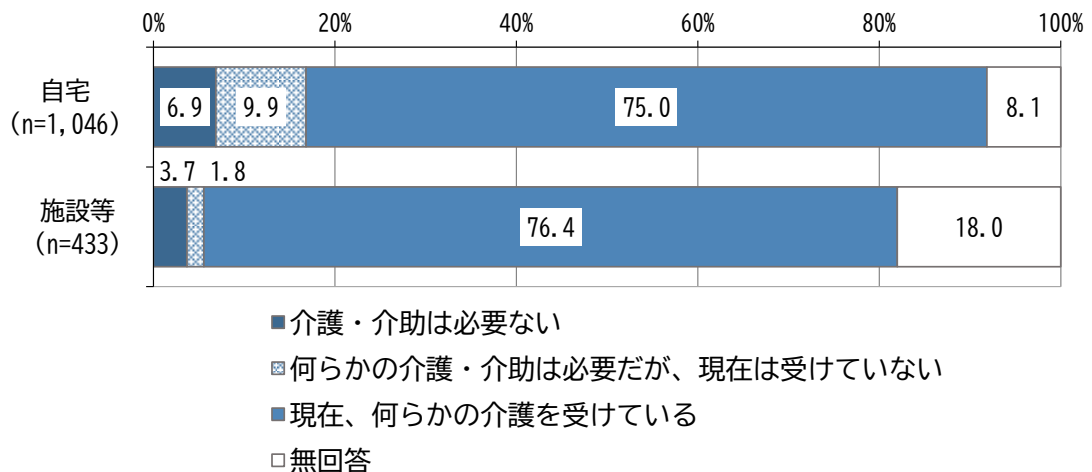
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 3-2-17 介護・介助の必要性



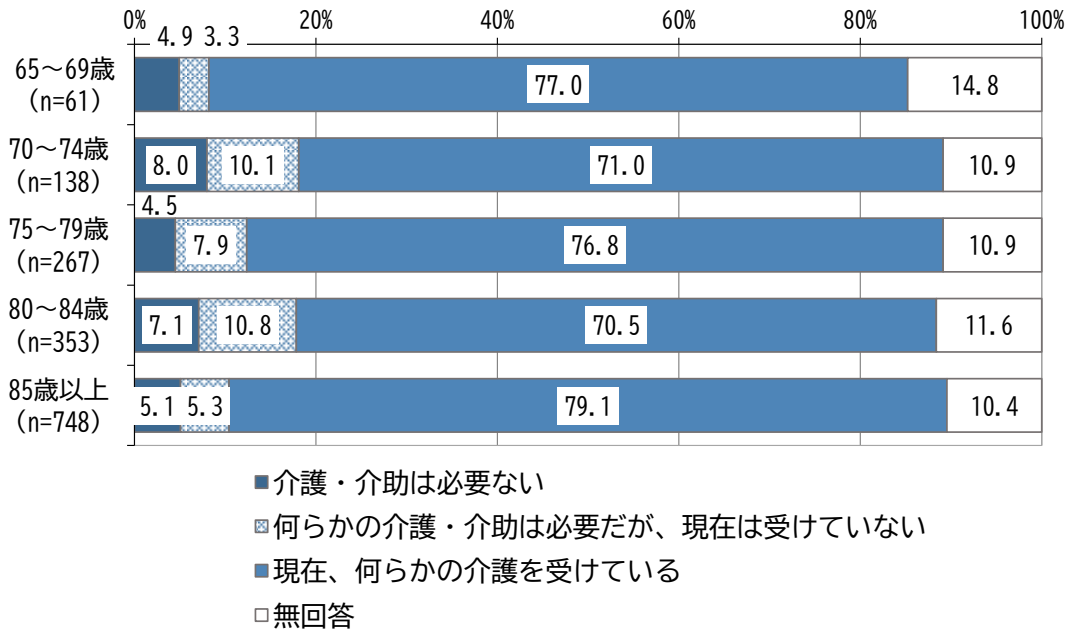
生活の場所別でみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」では、自宅が9.9%、施設等が1.8%となっています。

図表 3-2-18 介護・介助の必要性 生活の場所別



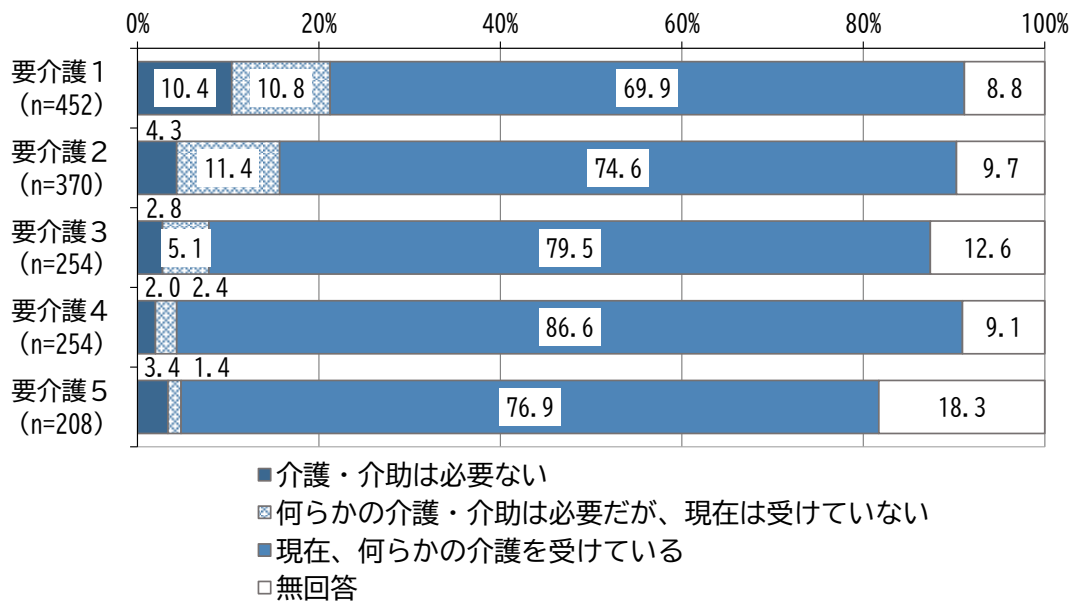
年齢別でみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」では、80～84歳が10.8%で最も高くなっています。

図表 3-2-19 介護・介助の必要性 年齢別



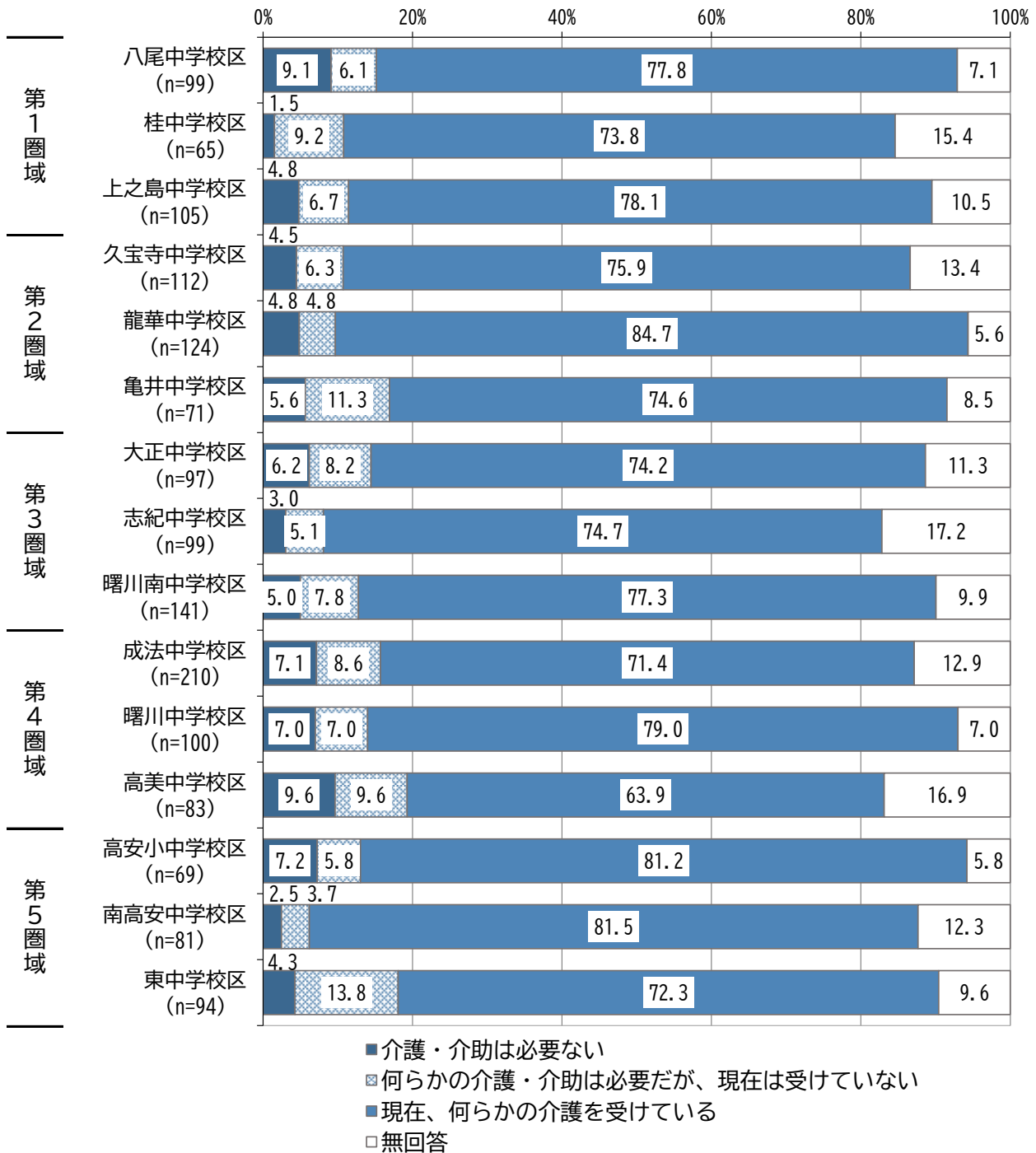
認定状況別でみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」では、要介護2が11.4%で最も高くなっています。

図表 3-2-20 介護・介助の必要性 認定状況別



中学校区別でみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」では、東中学校区が13.8%で最も高くなっています。

図表 3-2-21 介護・介助の必要性 中学校区別



(6) 介護・介助が必要になった原因

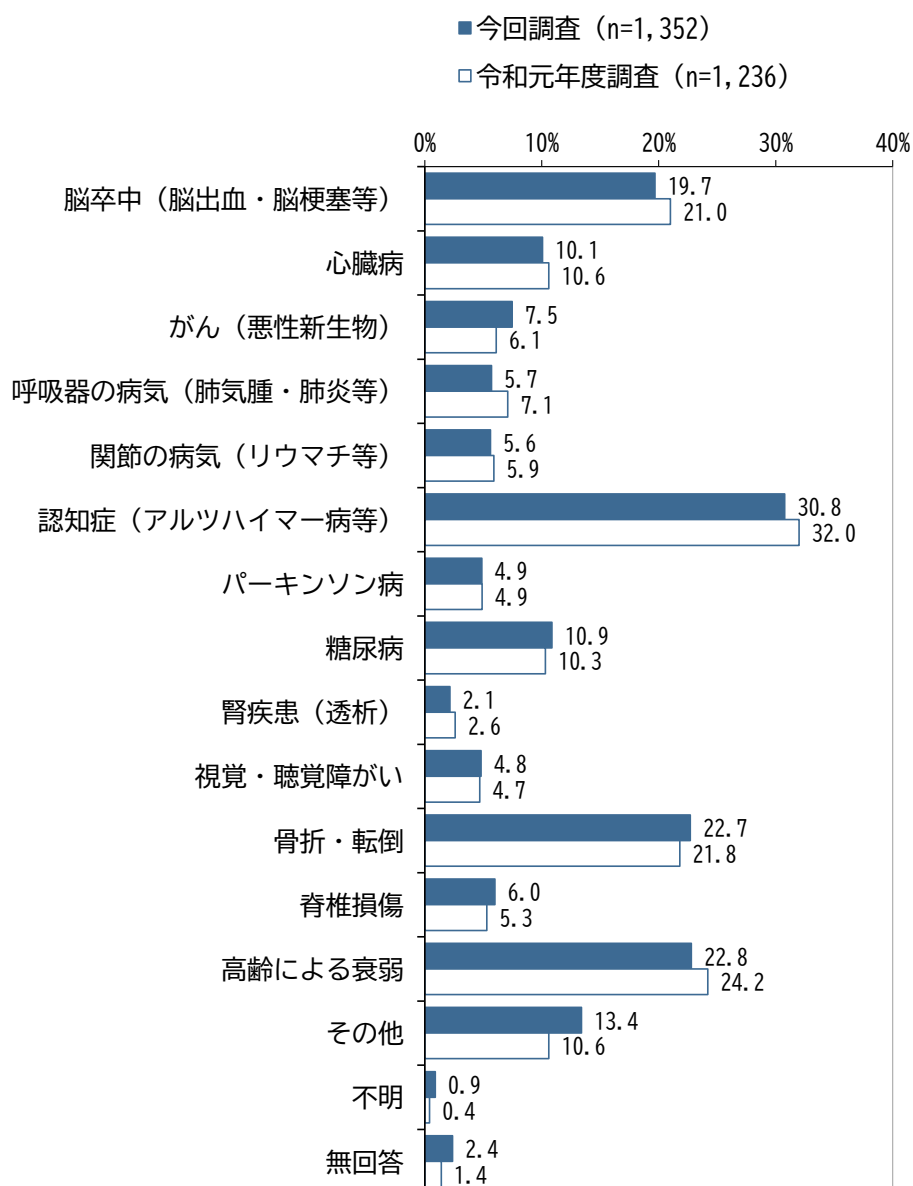
問1-5で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている」と答えた人（介護・介助が必要な人）のみ、お答えください。

問1-5-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（いくつでも）

介護・介助が必要になった原因については、「認知症（アルツハイマー病等）」が30.8%で最も高く、次いで「高齢による衰弱」が22.8%、「骨折・転倒」が22.7%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 3-2-22 介護・介助が必要になった原因



生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、79歳以下では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が最も高く、80～84歳では「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が最も高く、85歳以上では「高齢による衰弱」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、要介護2では「高齢による衰弱」が、要介護4では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が最も高く、それ以外の認定状況では「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が最も高くなっています。

図表 3-2-23 介護・介助が必要になった原因 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

	合計	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	腫呼吸器の病 気(肺炎等)	関節の病 気(リウマチ等)	認知症 (アルツハイ マー病等)	パー キンソン 病	糖尿 病	腎疾 患 (透析)	視 覚・ 聴 覚障 がい	
		骨折・ 転倒	脊 椎 損 傷	高 齢 に よ る 衰 弱	そ の 他	不 明	無 回 答					
全体	1,352	19.7	10.1	7.5	5.7	5.6	30.8	4.9	10.9	2.1	4.8	
生活の 場所別	自宅	889	19.7	10.6	9.0	6.5	6.5	24.3	5.5	12.3	2.1	5.6
	施設等	339	18.0	8.0	3.5	3.8	2.9	47.2	3.5	5.9	2.1	2.4
年 齢 別	65～69歳	49	34.7	12.2	10.2	8.2	6.1	12.2	16.3	16.3	4.1	4.1
	70～74歳	112	38.4	7.1	11.6	4.5	6.3	20.5	4.5	15.2	4.5	1.8
	75～79歳	226	29.2	8.0	10.2	7.5	6.2	18.6	8.8	12.8	2.7	4.9
	80～84歳	287	20.2	12.2	8.4	5.9	5.9	35.9	5.6	12.9	1.7	3.8
	85歳以上	632	11.6	10.3	5.5	5.4	5.2	37.0	2.5	8.4	1.7	5.7
認 定 状 況 別	要介護1	365	13.7	9.9	5.8	6.8	5.5	32.9	3.8	10.1	1.9	5.8
	要介護2	318	17.0	10.1	9.7	6.0	8.8	20.4	6.0	10.7	2.8	5.0
	要介護3	215	18.6	13.0	7.4	6.5	3.7	38.6	5.6	13.5	1.4	4.2
	要介護4	226	28.8	8.8	7.1	4.4	4.4	25.7	5.3	11.1	3.1	2.7
	要介護5	163	26.4	6.7	7.4	5.5	3.1	45.4	4.3	8.0	1.2	5.5
全体	1,352	22.7	6.0	22.8	13.4	0.9	2.4					
生活の 場所別	自宅	889	22.4	6.7	22.3	15.4	0.2	2.1				
	施設等	339	22.7	3.2	22.7	10.3	2.4	3.2				
年 齢 別	65～69歳	49	6.1	4.1	6.1	12.2	2.0	4.1				
	70～74歳	112	14.3	8.9	5.4	18.8	0.9	2.7				
	75～79歳	226	15.9	8.0	8.4	13.7	0.4	2.2				
	80～84歳	287	22.6	7.0	12.5	13.6	1.0	2.4				
	85歳以上	632	28.3	4.3	37.2	12.0	0.8	2.1				
認 定 状 況 別	要介護1	365	21.9	4.7	23.0	14.5	1.1	1.4				
	要介護2	318	18.6	9.1	22.6	15.4	0.3	4.1				
	要介護3	215	26.5	6.0	19.5	13.5	0.9	2.8				
	要介護4	226	28.3	4.0	23.0	10.6	1.3	1.8				
	要介護5	163	22.1	5.5	22.7	12.3	0.6	0.0				

※網掛け■は最も割合が高いもの

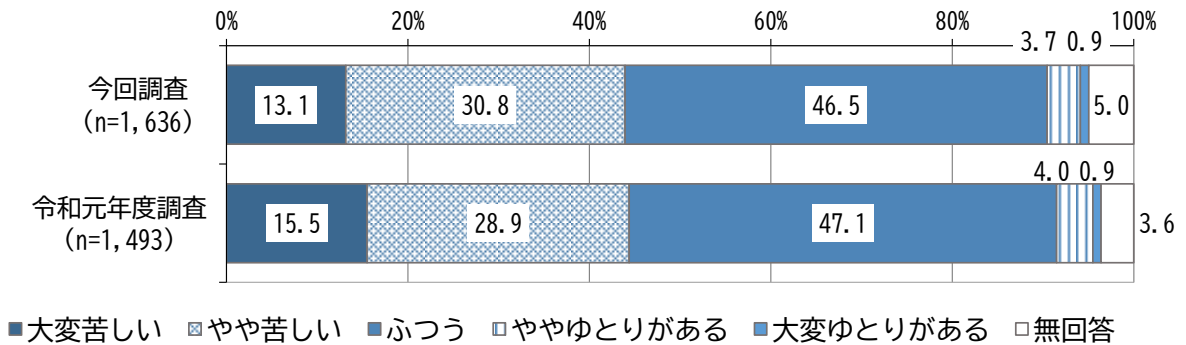
(7) 経済状況

問1-6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ)

経済状況については、「ふつう」が46.5%で最も高く、次いで「やや苦しい」が30.8%、「大変苦しい」が13.1%と続いています。

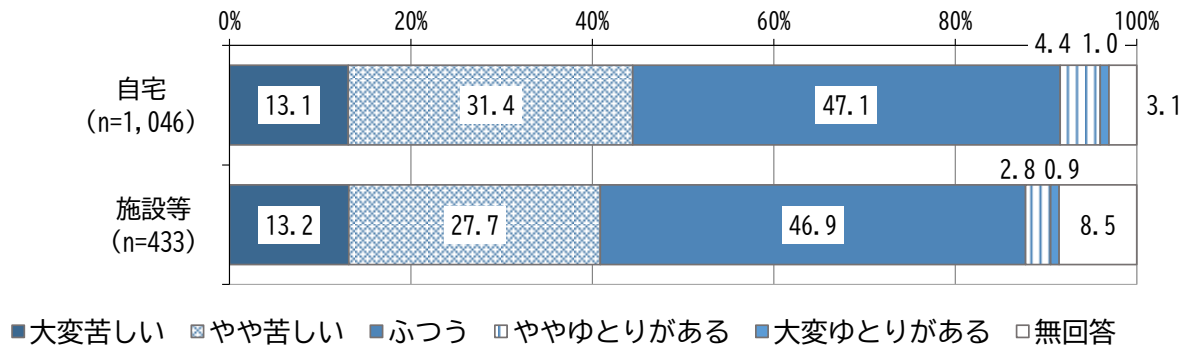
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 3-2-24 経済状況



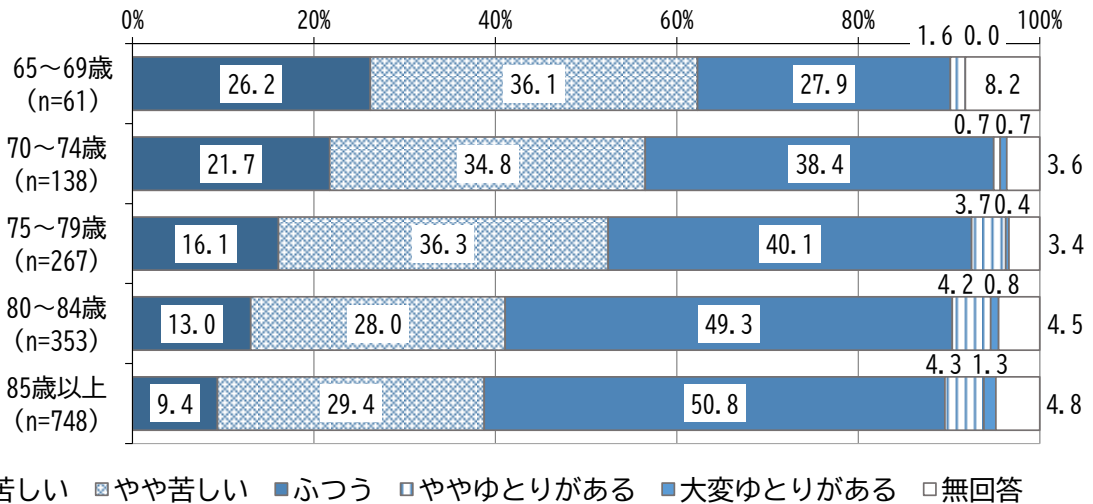
生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「ふつう」の割合が最も高くなっています。

図表 3-2-25 経済状況 生活の場所別



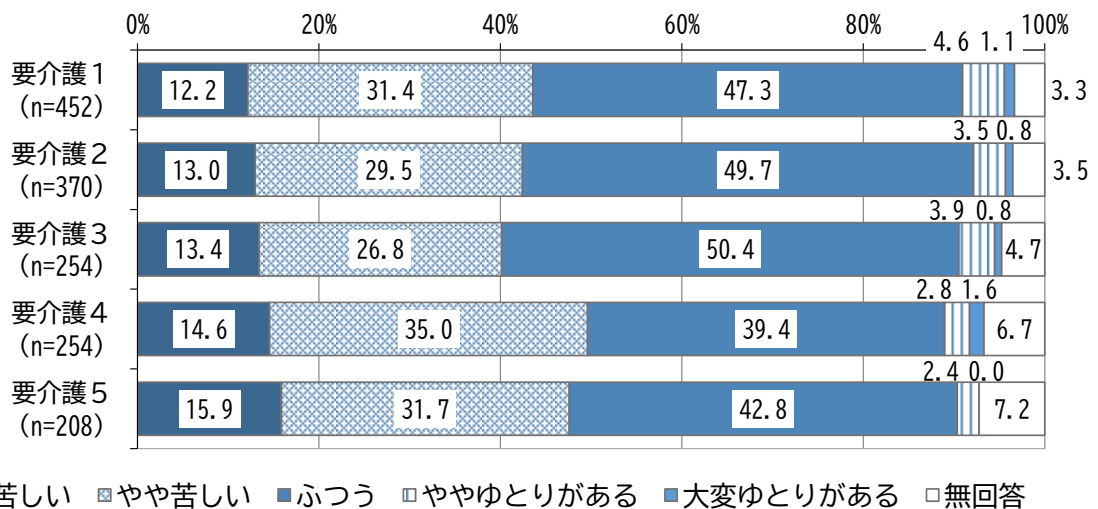
年齢別でみると、『苦しい』（「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計）では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳が62.3%で最も高くなっています。

図表 3-2-26 経済状況 年齢別



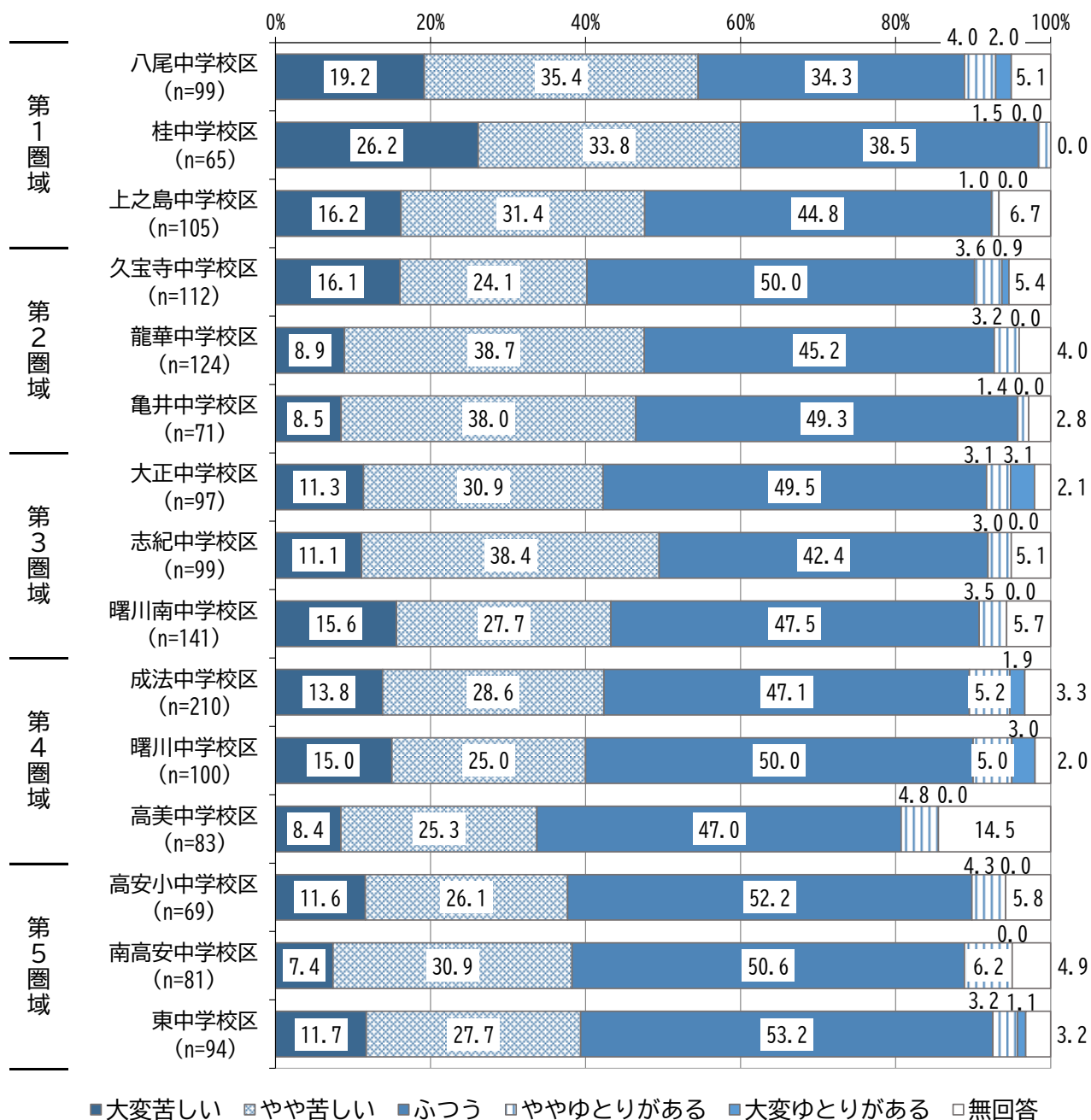
認定状況別でみると、『苦しい』では、要介護4が49.6%で最も高くなっています。

図表 3-2-27 経済状況 認定状況別



中学校区別でみると、『苦しい』では、桂中学校区が60.0%で最も高くなっています。

図表 3-2-28 経済状況 中学校区別



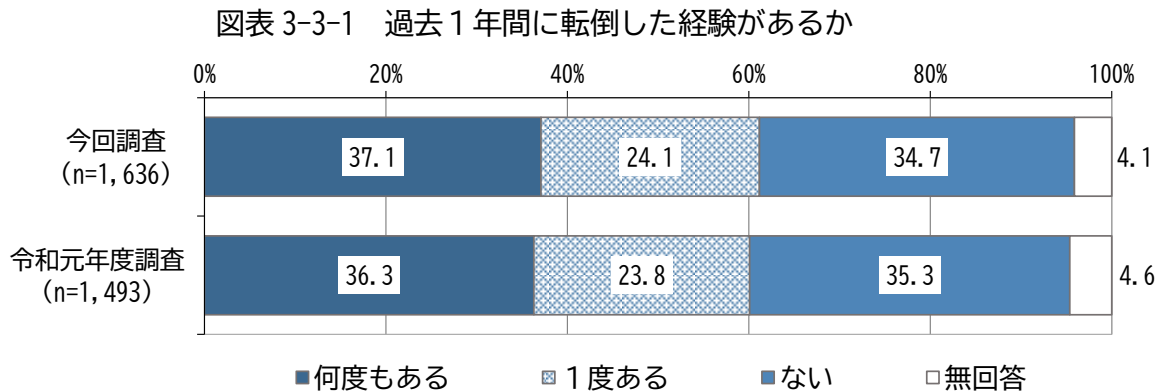
3 日常生活、社会参加について

(1) 過去1年間に転倒した経験があるか

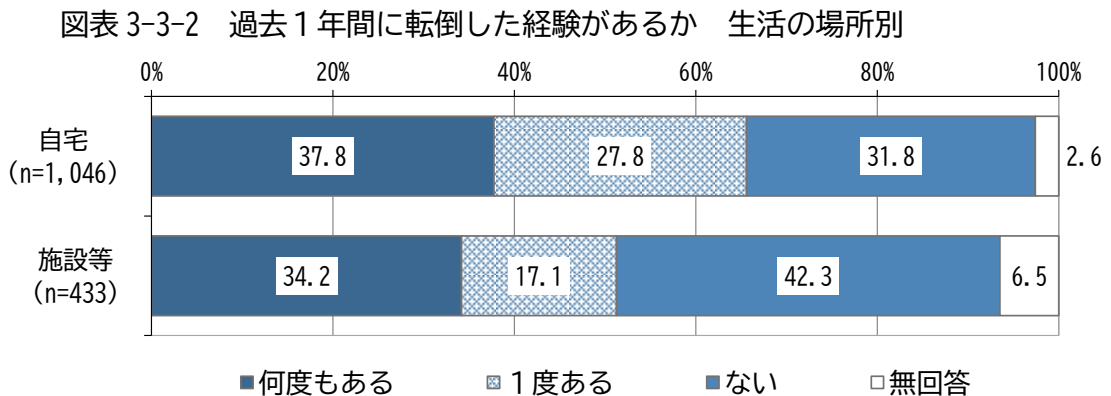
問2-1 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ)

過去1年間に転倒した経験があるかについては、「何でもある」が37.1%で最も高く、次いで「ない」が34.7%、「1度ある」が24.1%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

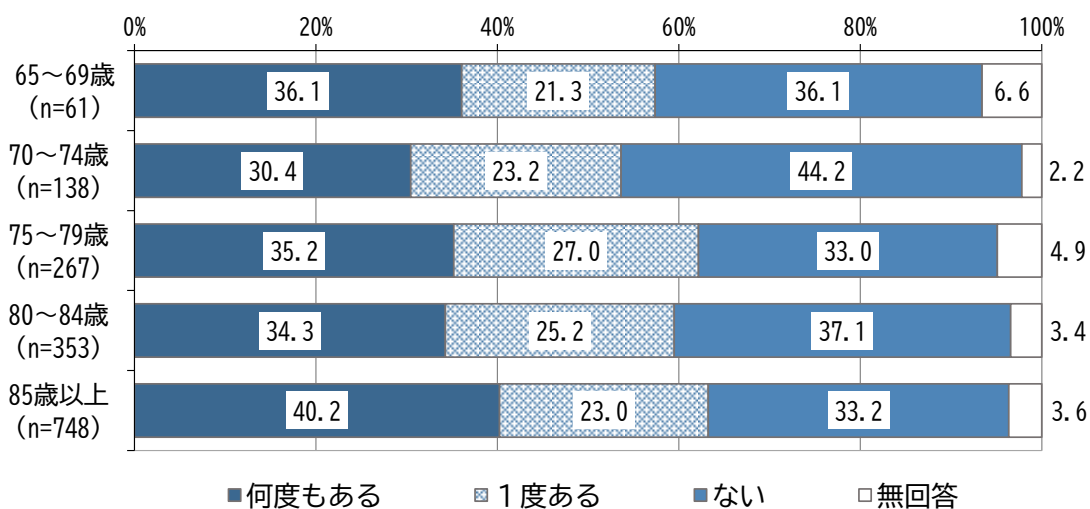


生活の場所別でみると、『ある』(「何でもある」と「1度ある」の合計)では、自宅が65.6%で、施設等(51.3%)より14.3ポイント高くなっています。



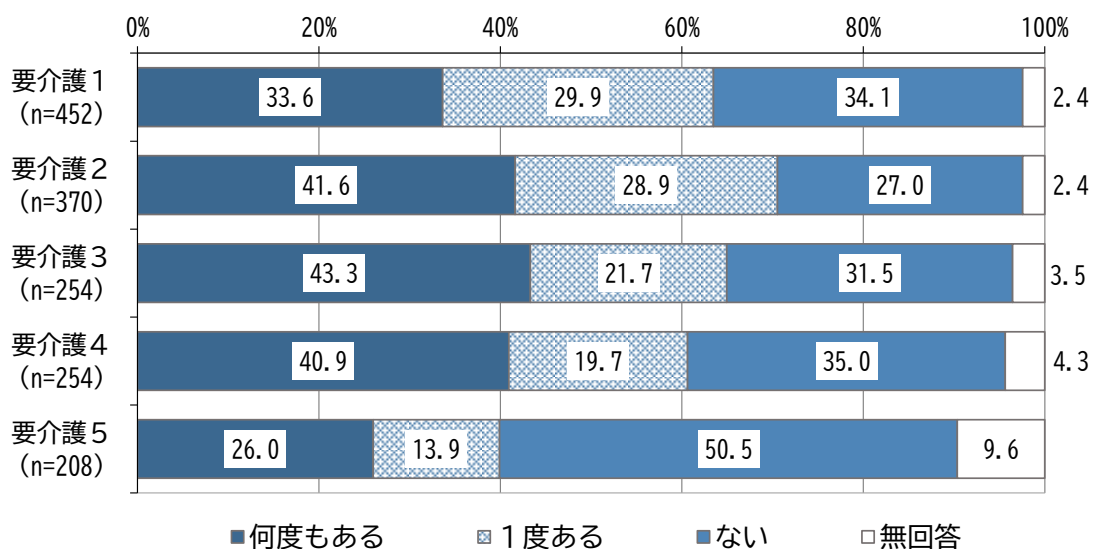
年齢別でみると、『ある』では、85歳以上が63.2%で最も高くなっています。

図表 3-3-3 過去1年間に転倒した経験があるか 年齢別



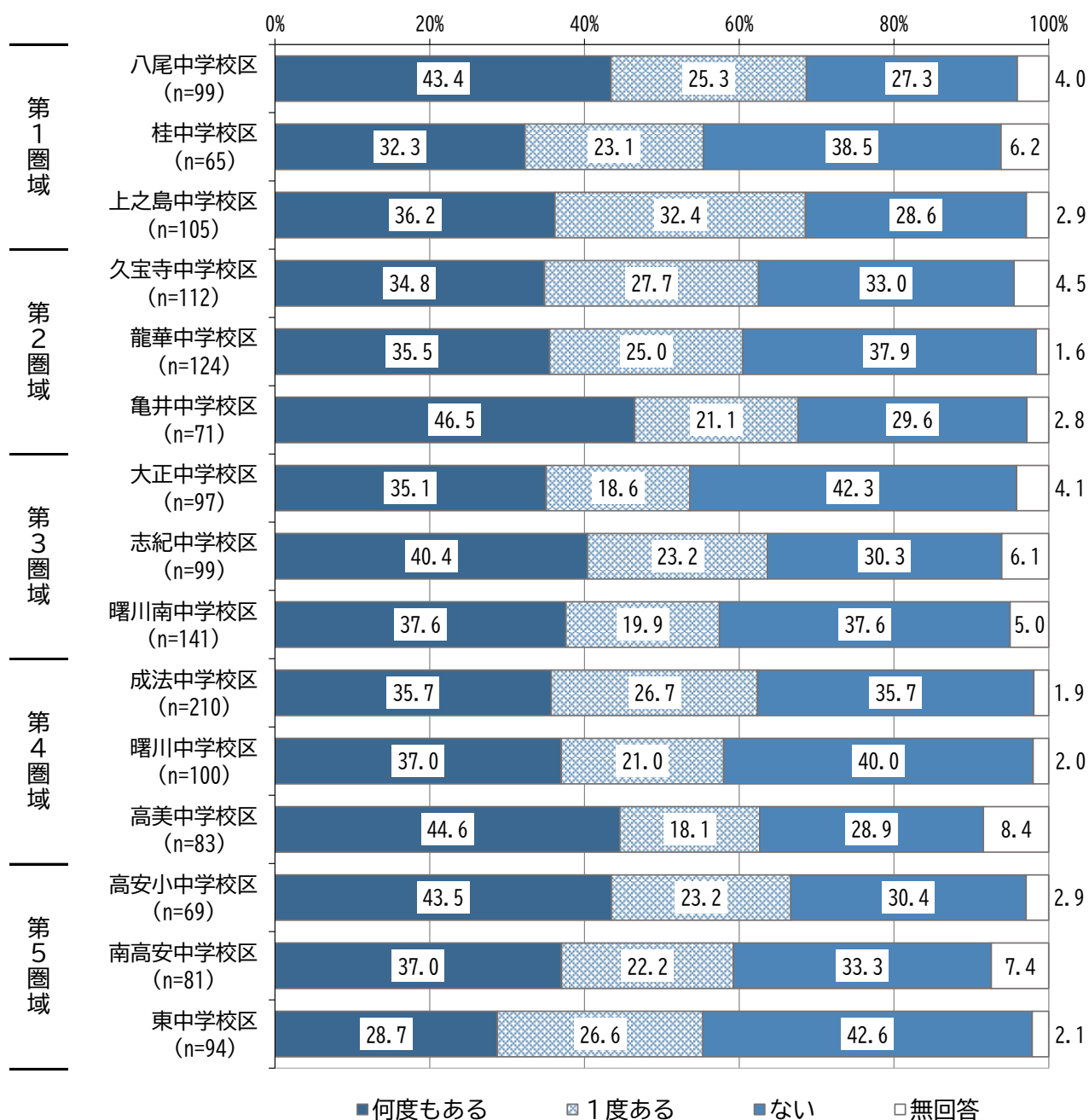
認定状況別でみると、『ある』では、要介護2が70.5%で最も高くなっています。

図表 3-3-4 過去1年間に転倒した経験があるか 認定状況別



中学校区別でみると、『ある』では、八尾中学校区が68.7%で最も高くなっています。

図表 3-3-5 過去1年間に転倒した経験があるか 中学校区別



(2) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

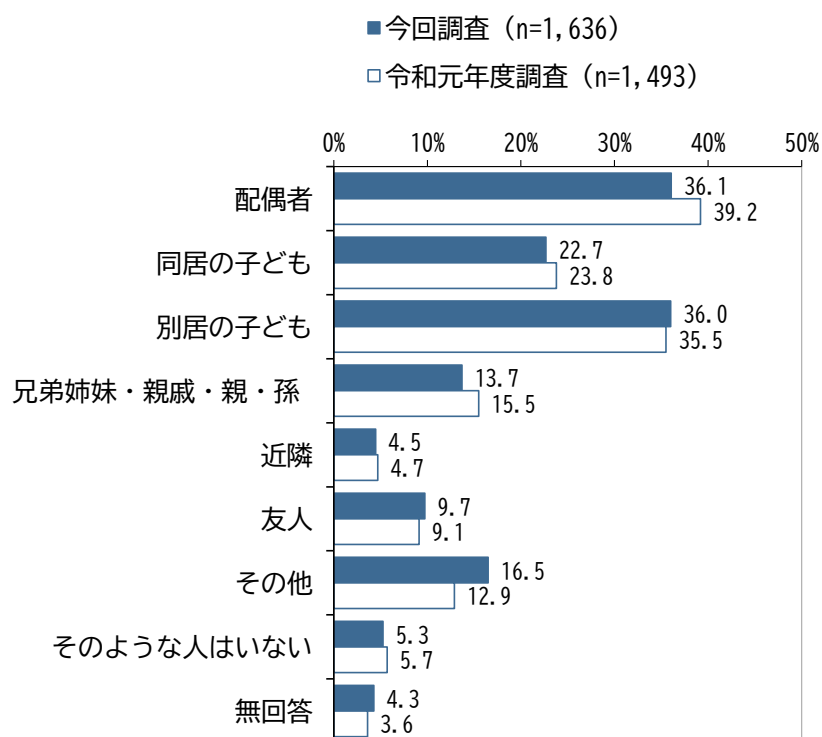
問2-2 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

① あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 (いくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が36.1%で最も高く、次いで「別居の子ども」が36.0%、「同居の子ども」が22.7%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「その他」(16.5%)では、令和元(2019)年度調査(12.9%)より3.6ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 3-3-6 心配事や愚痴を聞いてくれる人



生活の場所別でみると、自宅では「配偶者」が45.6%で最も高く、施設等では「その他」が33.9%で最も高くなっています。

年齢別でみると、84歳以下では「配偶者」の割合が最も高く、85歳以上では「別居の子ども」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、「そのような人はいない」では、要介護2が7.0%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、「そのような人はいない」では、志紀中学校区が9.1%で最も高くなっています。

図表 3-3-7 心配事や愚痴を聞いてくれる人 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答	
全体		1,636	36.1	22.7	36.0	13.7	4.5	9.7	16.5	5.3	4.3	
生活の場所別	自宅	1,046	45.6	27.2	38.3	14.3	5.0	10.6	9.5	4.2	1.6	
	施設等	433	14.8	12.7	32.6	12.2	2.8	7.2	33.9	6.0	9.5	
年齢別	65～69歳	61	36.1	11.5	19.7	23.0	0.0	13.1	9.8	9.8	8.2	
	70～74歳	138	55.8	13.8	25.4	18.8	2.2	10.1	11.6	7.2	1.4	
	75～79歳	267	48.7	21.3	28.8	15.7	5.2	12.4	12.4	6.4	4.1	
	80～84歳	353	48.7	17.3	39.9	13.6	4.5	12.5	11.9	4.5	3.1	
	85歳以上	748	23.4	28.1	40.1	11.4	5.1	7.4	21.9	4.7	4.4	
認定状況別	要介護1	452	35.8	21.2	45.4	14.8	5.3	15.3	11.1	4.6	1.5	
	要介護2	370	41.4	24.6	38.1	12.4	5.4	8.1	12.7	7.0	1.9	
	要介護3	254	41.3	26.0	27.2	15.4	3.1	7.5	20.1	3.9	3.5	
	要介護4	254	31.1	22.0	34.3	13.0	3.5	8.3	22.8	4.3	6.3	
	要介護5	208	28.4	21.2	27.9	11.1	3.4	4.8	24.0	5.8	10.6	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	33.3	25.3	35.4	15.2	5.1	7.1	17.2	5.1	2.0
		桂中学校区	65	24.6	10.8	35.4	16.9	7.7	4.6	23.1	6.2	4.6
		上之島中学校区	105	47.6	20.0	31.4	13.3	3.8	9.5	15.2	2.9	4.8
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	35.7	24.1	33.0	11.6	8.0	11.6	18.8	2.7	2.7
		龍華中学校区	124	37.9	32.3	41.9	12.9	4.8	9.7	12.9	4.8	4.8
		亀井中学校区	71	46.5	19.7	36.6	15.5	4.2	8.5	14.1	2.8	1.4
	第3圏域	大正中学校区	97	41.2	20.6	30.9	11.3	2.1	10.3	12.4	7.2	3.1
		志紀中学校区	99	27.3	16.2	36.4	11.1	3.0	9.1	18.2	9.1	6.1
		曙川南中学校区	141	39.0	26.2	40.4	12.1	3.5	6.4	17.0	5.0	5.7
	第4圏域	成法中学校区	210	31.9	24.8	34.8	15.7	6.2	8.6	17.1	6.2	1.4
		曙川中学校区	100	35.0	28.0	39.0	14.0	3.0	10.0	16.0	7.0	2.0
		高美中学校区	83	36.1	28.9	30.1	15.7	3.6	9.6	12.0	3.6	14.5
	第5圏域	高安小中学校区	69	30.4	18.8	30.4	17.4	4.3	14.5	24.6	4.3	1.4
		南高安中学校区	81	40.7	23.5	37.0	11.1	3.7	16.0	14.8	3.7	4.9
		東中学校区	94	41.5	20.2	40.4	13.8	2.1	9.6	14.9	3.2	2.1

※網掛け■は最も割合が高いもの

(3) 病気で看病や世話をしてくれる人

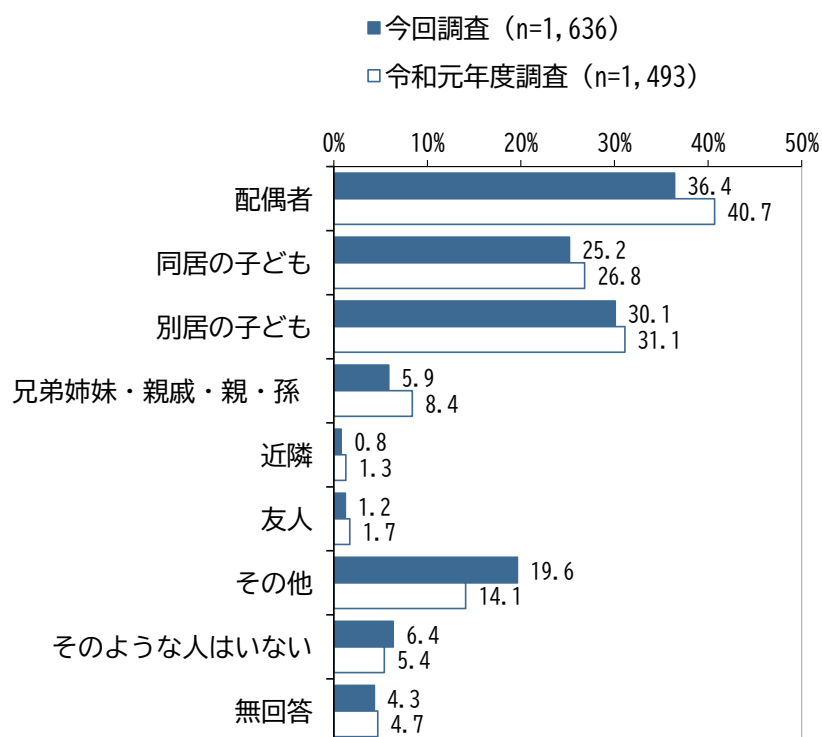
問2-2 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

② あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

病気で看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が36.4%で最も高く、次いで「別居の子ども」が30.1%、「同居の子ども」が25.2%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「その他」(19.6%)では、令和元(2019)年度調査(14.1%)より5.5ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 3-3-8 病気で看病や世話をしてくれる人



生活の場所別でみると、自宅では「配偶者」が47.4%で最も高く、施設等では「その他」が52.7%で最も高くなっています。

年齢別でみると、84歳以下では「配偶者」の割合が最も高く、85歳以上では「別居の子ども」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、「そのような人はいない」では、要介護1が9.3%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、「そのような人はいない」では、龍華中学校区、志紀中学校区がいずれも8.1%で最も高くなっています。

図表 3-3-9 病気で看病や世話をしてくれる人 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体		1,636	36.4	25.2	30.1	5.9	0.8	1.2	19.6	6.4	4.3	
生活の場所別	自宅	1,046	47.4	30.4	33.7	6.5	1.0	1.2	5.8	6.7	1.8	
	施設等	433	11.5	13.6	21.9	3.5	0.5	0.9	52.7	4.6	9.7	
年齢別	65～69歳	61	39.3	13.1	13.1	8.2	0.0	1.6	24.6	6.6	8.2	
	70～74歳	138	52.9	15.2	23.2	7.2	0.7	2.9	18.1	7.2	1.4	
	75～79歳	267	52.8	25.1	24.0	6.0	1.1	0.4	11.6	7.1	4.5	
	80～84歳	353	49.3	21.2	32.3	6.5	1.4	1.7	11.6	7.1	3.1	
	85歳以上	748	22.3	29.5	33.7	4.7	0.5	0.9	26.6	5.5	4.4	
認定状況別	要介護1	452	37.6	23.2	38.5	6.0	1.1	2.2	9.5	9.3	1.8	
	要介護2	370	43.5	26.8	31.1	5.9	0.8	0.5	14.9	6.5	2.4	
	要介護3	254	40.6	26.0	24.4	7.9	0.4	1.2	20.1	4.3	3.5	
	要介護4	254	30.7	24.0	25.6	5.1	0.8	0.8	32.7	4.7	4.7	
	要介護5	208	23.6	27.4	24.0	3.8	0.0	0.5	33.7	3.8	11.5	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	33.3	27.3	25.3	8.1	0.0	2.0	22.2	7.1	3.0
		桂中学校区	65	24.6	12.3	40.0	10.8	1.5	1.5	21.5	4.6	3.1
		上之島中学校区	105	46.7	19.0	24.8	4.8	2.9	1.0	18.1	6.7	4.8
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	34.8	27.7	28.6	6.3	1.8	1.8	21.4	4.5	6.3
		龍華中学校区	124	41.9	34.7	32.3	4.8	0.0	1.6	12.9	8.1	2.4
		亀井中学校区	71	40.8	21.1	29.6	7.0	0.0	0.0	19.7	4.2	4.2
	第3圏域	大正中学校区	97	44.3	23.7	25.8	6.2	0.0	2.1	16.5	3.1	6.2
		志紀中学校区	99	28.3	17.2	36.4	5.1	2.0	1.0	21.2	8.1	5.1
		曙川南中学校区	141	39.0	30.5	35.5	5.7	2.1	2.8	20.6	3.5	5.0
	第4圏域	成法中学校区	210	31.0	27.6	29.0	8.1	0.0	1.4	21.4	7.6	2.4
		曙川中学校区	100	40.0	32.0	31.0	3.0	0.0	0.0	18.0	7.0	2.0
		高美中学校区	83	33.7	33.7	27.7	4.8	0.0	1.2	10.8	6.0	10.8
	第5圏域	高安小中学校区	69	33.3	18.8	27.5	7.2	1.4	1.4	27.5	7.2	0.0
		南高安中学校区	81	35.8	27.2	28.4	3.7	0.0	0.0	16.0	7.4	4.9
		東中学校区	94	43.6	22.3	29.8	5.3	1.1	0.0	20.2	5.3	1.1

※網掛け■は最も割合が高いもの

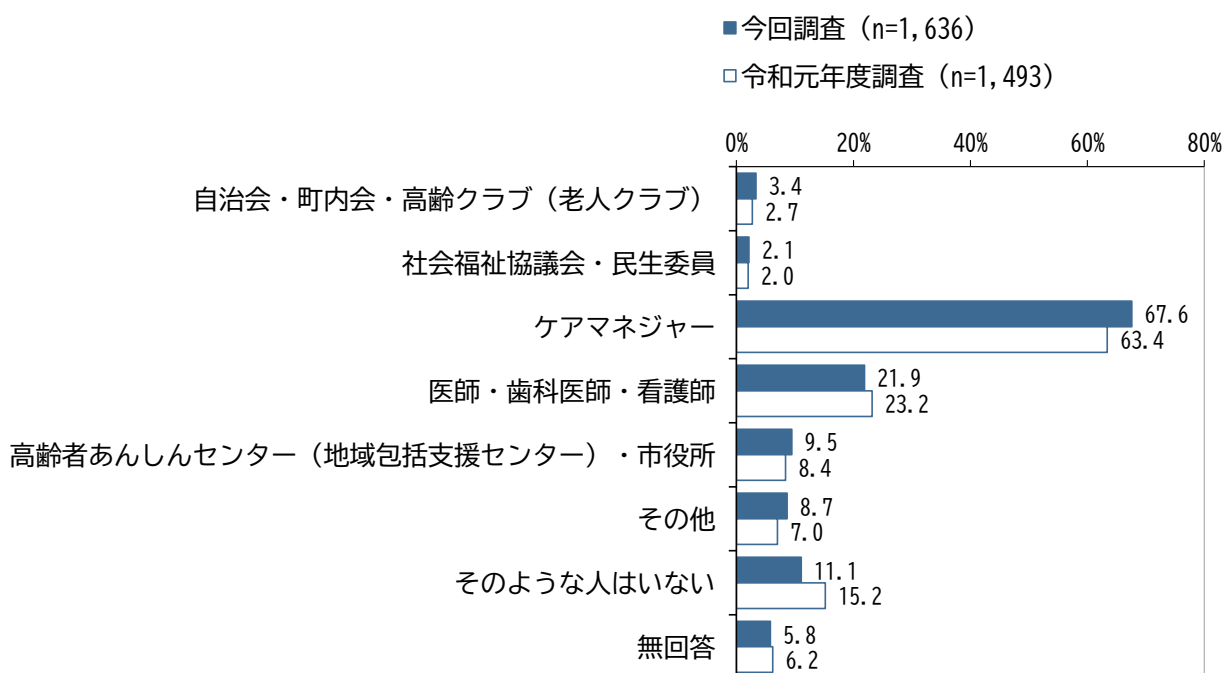
(4) 家族や友人・知人以外の相談相手

問2-3 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも)

家族や友人・知人以外の相談相手については、「ケアマネジャー」が67.6%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が21.9%、「そのような人はいない」が11.1%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「ケアマネジャー」（67.6%）では、令和元（2019）年度調査（63.4%）より4.2ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 3-3-10 家族や友人・知人以外の相談相手



生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「ケアマネジャー」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「ケアマネジャー」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、全ての認定状況で「ケアマネジャー」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「そのような人はいない」では、亀井中学校区が15.5%で最も高くなっています。

図表 3-3-11 家族や友人・知人以外の相談相手 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	自治会・町内会・高齢クラブ（老人クラブ）	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）・市役所	その他	そのような人はいない	無回答	
全体		1,636	3.4	2.1	67.6	21.9	9.5	8.7	11.1	5.8	
生活の場所別	自宅	1,046	4.0	2.6	72.9	25.5	10.0	4.3	11.5	2.7	
	施設等	433	2.1	1.2	58.0	14.1	7.6	19.2	10.9	11.8	
年齢別	65～69歳	61	4.9	3.3	62.3	19.7	6.6	13.1	9.8	8.2	
	70～74歳	138	2.9	1.4	74.6	18.1	8.0	6.5	12.3	1.4	
	75～79歳	267	1.5	1.9	66.3	23.2	10.1	3.0	13.9	6.0	
	80～84歳	353	4.0	2.0	68.3	24.9	10.8	7.6	9.9	5.4	
	85歳以上	748	3.9	2.5	68.3	21.8	9.1	11.4	9.8	6.0	
認定状況別	要介護1	452	4.6	2.7	68.6	21.2	11.7	6.0	14.8	2.9	
	要介護2	370	3.5	3.2	72.7	22.2	7.0	7.0	10.0	3.8	
	要介護3	254	2.8	0.8	71.3	25.2	9.8	13.0	6.7	4.7	
	要介護4	254	1.6	0.8	70.1	16.5	8.7	10.6	8.7	7.5	
	要介護5	208	2.4	1.4	58.2	26.9	8.2	10.6	12.0	10.6	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	2.0	5.1	75.8	15.2	4.0	11.1	8.1	4.0
		桂中学校区	65	3.1	3.1	69.2	26.2	3.1	10.8	12.3	1.5
		上之島中学校区	105	2.9	0.0	69.5	21.0	8.6	11.4	10.5	5.7
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	4.5	2.7	71.4	25.9	8.9	8.0	7.1	3.6
		龍華中学校区	124	3.2	2.4	74.2	18.5	13.7	12.1	9.7	1.6
		亀井中学校区	71	2.8	1.4	64.8	22.5	7.0	5.6	15.5	8.5
	第3圏域	大正中学校区	97	3.1	2.1	68.0	22.7	9.3	5.2	8.2	8.2
		志紀中学校区	99	2.0	1.0	63.6	14.1	7.1	7.1	12.1	10.1
		曙川南中学校区	141	2.1	2.1	66.7	24.1	7.8	7.8	11.3	6.4
	第4圏域	成法中学校区	210	3.3	1.9	67.6	20.5	13.3	9.0	12.9	2.9
		曙川中学校区	100	5.0	2.0	64.0	30.0	9.0	9.0	11.0	4.0
		高美中学校区	83	1.2	0.0	59.0	18.1	13.3	7.2	14.5	15.7
	第5圏域	高安小中学校区	69	8.7	2.9	71.0	27.5	7.2	10.1	8.7	5.8
南高安中学校区		81	4.9	6.2	60.5	23.5	8.6	7.4	12.3	8.6	
東中学校区		94	5.3	1.1	75.5	22.3	14.9	6.4	8.5	3.2	

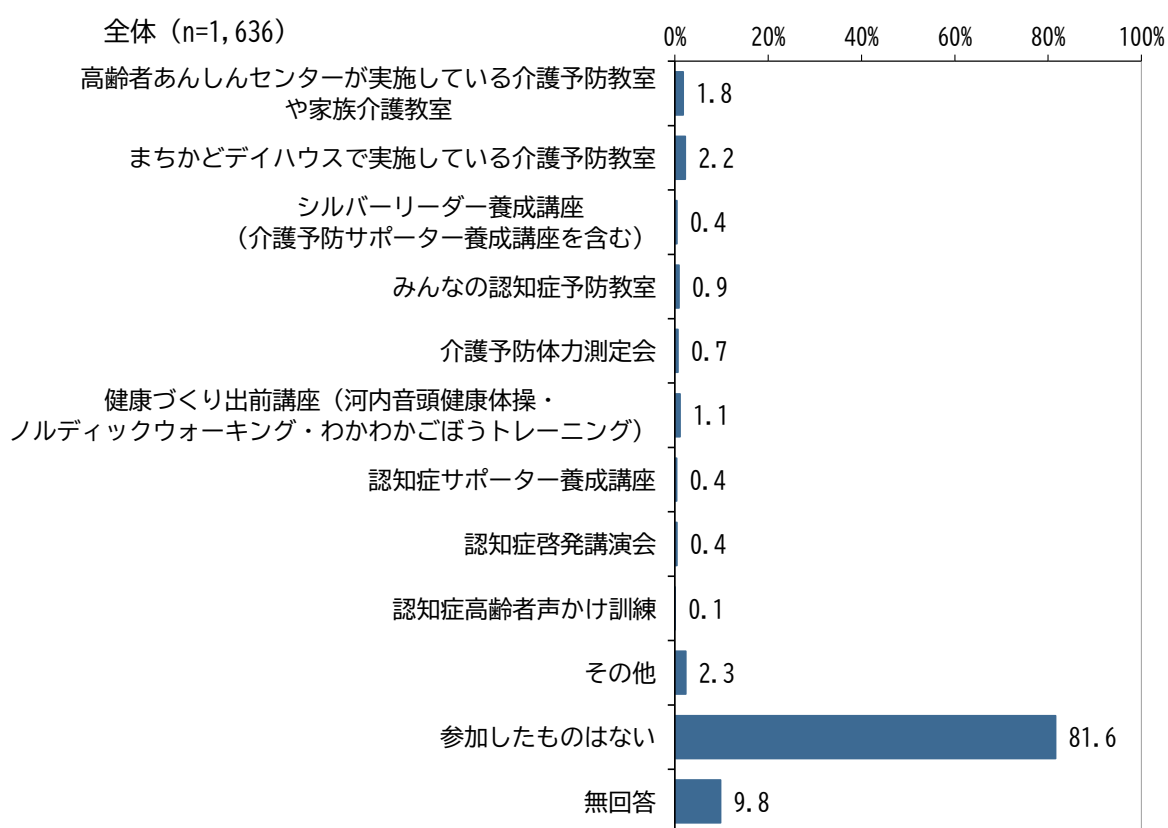
※網掛け■は最も割合が高いもの

(5) 市や高齢者あんしんセンターが実施する講座や教室について参加したことがあるもの

問2-4 市や高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)が実施する講座や教室について、あなたが参加したことがあるものがありますか。(いくつでも)

市や高齢者あんしんセンターが実施する講座や教室について参加したことがあるものについては、「参加したものはない」が81.6%で最も高く、次いで「その他」が2.3%、「まちかどデイハウスで実施している介護予防教室」が2.2%と続いています。

図表 3-3-12 市や高齢者あんしんセンターが実施する講座や教室について参加したことがあるもの



生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「参加したものはなし」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「参加したものはなし」では、65～69歳が91.8%で最も高くなっています。

認定状況別でみると、「参加したものはなし」では、要介護3が85.0%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、「参加したものはなし」では、亀井中学校区が87.3%で最も高くなっています。

図表 3-3-13 市や高齢者あんしんセンターが実施する講座や教室について参加したことがあるもの 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	や実施高 家族施者 介護あ 教室し センター が	まちかど している 介護予 防教室	シルバ ーリ ーダー 養成 講座 (介 護予 防サ ー ター 養成 講座 を含む)	みんな の認 知症 予 防教室	介 護予 防体 力測 定会	音健康 頭づ く り 出 前 講座 (河 内 音頭 健康 体操 ・ノ ル デ イ ツ ク ボ ウ ト レ ー ニ ン グ)	認 知 症 サ ポ ー ター 養 成 講座	認 知 症 啓 発 講 演 会	認 知 症 高 齢 者 声 か け 訓 練	そ の 他	
全体		1,636	1.8	2.2	0.4	0.9	0.7	1.1	0.4	0.4	0.1	2.3	
生活の 場所別	自宅	1,046	2.1	2.0	0.4	0.9	0.4	1.1	0.2	0.4	0.0	2.4	
	施設等	433	1.2	1.8	0.0	0.7	0.5	0.9	0.5	0.7	0.0	1.4	
年齢別	65～69歳	61	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	70～74歳	138	0.7	0.7	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	1.4	
	75～79歳	267	1.5	1.5	0.0	0.7	0.4	1.1	1.1	0.0	0.0	0.7	
	80～84歳	353	2.0	3.7	0.6	1.4	0.8	1.4	0.0	1.1	0.0	3.4	
	85歳以上	748	2.1	2.4	0.7	0.9	0.8	0.9	0.4	0.4	0.1	2.7	
認定 状況 別	要介護1	452	1.8	2.7	0.7	0.9	0.9	1.8	0.7	0.4	0.2	4.0	
	要介護2	370	1.6	2.4	0.3	0.5	0.0	0.5	0.3	0.5	0.0	1.6	
	要介護3	254	2.4	1.6	0.4	1.6	0.8	1.2	0.4	0.0	0.0	2.0	
	要介護4	254	0.8	2.4	0.0	0.4	0.4	0.8	0.4	0.0	0.0	1.6	
	要介護5	208	1.4	0.5	0.0	0.5	1.0	0.5	0.0	0.5	0.0	1.4	
中学校 区別	第1圏 域	八尾中学校区	99	3.0	1.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
		桂中学校区	65	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0	1.5	0.0	3.1
		上之島中学校区	105	2.9	4.8	0.0	1.0	1.0	2.9	0.0	0.0	0.0	1.9
	第2圏 域	久宝寺中学校区	112	1.8	0.9	0.9	0.9	0.0	1.8	0.9	0.9	0.0	2.7
		龍華中学校区	124	0.8	3.2	0.0	0.0	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	3.2
		亀井中学校区	71	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	2.8
	第3圏 域	大正中学校区	97	3.1	4.1	1.0	1.0	0.0	2.1	2.1	0.0	1.0	3.1
		志紀中学校区	99	1.0	3.0	0.0	1.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	3.0
		曙川南中学校区	141	0.0	2.1	0.0	1.4	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	4.3
	第4圏 域	成法中学校区	210	1.4	2.9	0.0	1.4	0.0	1.4	0.5	1.0	0.0	0.5
		曙川中学校区	100	1.0	4.0	1.0	1.0	2.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0
	第5圏 域	高美中学校区	83	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	1.2
		高安小中学校区	69	2.9	0.0	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
南高安中学校区		81	1.2	0.0	2.5	1.2	2.5	1.2	0.0	1.2	0.0	2.5	
	東中学校区	94	4.3	1.1	0.0	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	

※網掛け■は最も割合が高いもの

		合計	参加したものはない	無回答	
全体		1,636	81.6	9.8	
生活の場所別	自宅	1,046	83.8	7.2	
	施設等	433	79.0	14.3	
年齢別	65～69歳	61	91.8	8.2	
	70～74歳	138	87.0	8.7	
	75～79歳	267	85.8	8.2	
	80～84歳	353	77.6	10.5	
	85歳以上	748	81.1	9.2	
認定状況別	要介護1	452	81.2	7.3	
	要介護2	370	84.1	8.4	
	要介護3	254	85.0	6.7	
	要介護4	254	83.9	9.8	
	要介護5	208	79.3	15.4	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	81.8	9.1
		桂中学校区	65	86.2	6.2
		上之島中学校区	105	79.0	8.6
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	79.5	9.8
		龍華中学校区	124	85.5	7.3
		亀井中学校区	71	87.3	2.8
	第3圏域	大正中学校区	97	79.4	9.3
		志紀中学校区	99	76.8	14.1
		曙川南中学校区	141	80.1	12.1
	第4圏域	成法中学校区	210	82.9	9.0
		曙川中学校区	100	86.0	5.0
		高美中学校区	83	80.7	16.9
	第5圏域	高安小中学校区	69	84.1	10.1
		南高安中学校区	81	81.5	9.9
		東中学校区	94	79.8	9.6

※網掛け■は最も割合が高いもの

4 日常生活における不安や相談について

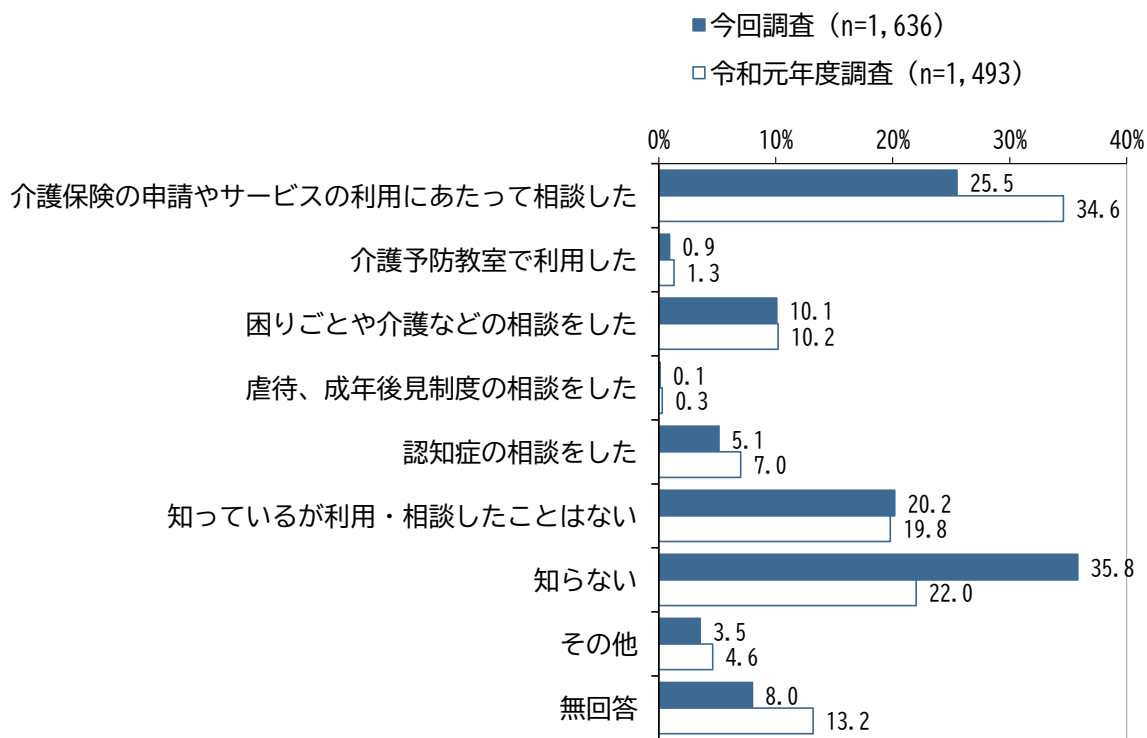
(1) 高齢者あんしんセンターの認知度と利用経験

問3-1 高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）を知っていますか。また、相談や利用をしたことがありますか。（いくつでも）

高齢者あんしんセンターの認知度と利用経験については、「知らない」が35.8%で最も高く、次いで「介護保険の申請やサービスの利用にあたって相談した」が25.5%、「知っているが利用・相談したことはない」が20.2%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「知らない」(35.8%)では、令和元(2019)年度調査(22.0%)より13.8ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 3-4-1 高齢者あんしんセンターの認知度と利用経験



生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「知らない」の割合が最も高くなっています。
 年齢別でみると、全ての年齢層で「知らない」の割合が最も高くなっています。
 認定状況別でみると、要介護1では「介護保険の申請やサービスの利用にあたって相談した」、
 「知らない」がいずれも31.9%で最も高く、それ以外の認定状況では「知らない」の割合が最も高
 くなっています。
 中学校区別でみると、「知らない」では、志紀中学校区が47.5%で最も高くなっています。

図表 3-4-2 高齢者あんしんセンターの認知度と利用経験 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	相 談 し た	介 護 保 険 の 申 請 や サ ー ビ ス の 利 用 に あ た っ て	た 介 護 予 防 教 室 で 利 用 し	相 困 り ご と や 介 護 な ど の 相 談 を し た	相 虐 待 を し た 成 年 後 見 制 度 の	認 知 症 の 相 談 を し た	知 っ て い る が 利 用 ・ 相 談 し た こ と は な い	知 ら な い	そ の 他	無 回 答	
全体		1,636	25.5	0.9	10.1	0.1	5.1	20.2	35.8	3.5	8.0		
生活の 場所別	自宅	1,046	27.8	1.1	9.6	0.1	4.5	23.7	34.3	2.7	5.1		
	施設等	433	20.6	0.5	11.3	0.2	6.5	13.2	41.1	5.1	12.9		
年 齢 別	65～69歳	61	23.0	0.0	13.1	1.6	3.3	23.0	34.4	4.9	9.8		
	70～74歳	138	23.9	0.0	6.5	0.0	5.8	20.3	44.2	1.4	8.0		
	75～79歳	267	24.3	0.7	10.5	0.4	4.1	22.5	34.1	2.6	9.0		
	80～84歳	353	27.8	1.7	8.8	0.0	6.2	21.5	31.2	2.8	9.1		
	85歳以上	748	25.5	0.9	10.7	0.0	4.9	18.7	37.7	4.5	6.1		
認 定 状 況 別	要介護1	452	31.9	0.9	10.6	0.2	7.3	20.6	31.9	2.9	5.1		
	要介護2	370	23.8	1.4	8.6	0.0	4.1	21.1	39.5	4.6	5.4		
	要介護3	254	24.8	0.8	12.2	0.4	6.3	20.1	35.0	3.1	8.3		
	要介護4	254	24.0	0.4	8.3	0.0	4.3	20.5	38.6	2.8	9.4		
	要介護5	208	21.2	1.0	12.5	0.0	3.4	17.8	37.0	5.3	10.6		
中 学 校 区 別	第1圏域	八尾中学校区	99	25.3	3.0	12.1	1.0	4.0	18.2	37.4	5.1	6.1	
		桂中学校区	65	18.5	1.5	9.2	0.0	3.1	26.2	41.5	6.2	4.6	
		上之島中学校区	105	24.8	1.0	10.5	0.0	4.8	22.9	33.3	4.8	9.5	
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	24.1	2.7	7.1	0.0	5.4	22.3	33.9	2.7	8.9	
		龍華中学校区	124	31.5	0.8	11.3	0.0	5.6	18.5	30.6	5.6	4.8	
		亀井中学校区	71	29.6	0.0	9.9	0.0	8.5	15.5	38.0	2.8	7.0	
	第3圏域	大正中学校区	97	29.9	0.0	7.2	0.0	3.1	17.5	39.2	2.1	6.2	
		志紀中学校区	99	21.2	1.0	8.1	0.0	4.0	14.1	47.5	2.0	10.1	
		曙川南中学校区	141	28.4	0.7	12.1	0.0	7.1	19.9	29.8	5.7	8.5	
	第4圏域	成法中学校区	210	23.3	1.4	13.8	0.5	4.8	20.5	38.6	2.9	6.2	
		曙川中学校区	100	25.0	0.0	9.0	0.0	7.0	25.0	35.0	5.0	4.0	
		高美中学校区	83	27.7	0.0	4.8	0.0	2.4	19.3	31.3	2.4	16.9	
	第5圏域	高安小中学校区	69	26.1	0.0	8.7	0.0	5.8	21.7	30.4	2.9	8.7	
		南高安中学校区	81	27.2	1.2	8.6	0.0	2.5	17.3	42.0	1.2	4.9	
		東中学校区	94	26.6	0.0	13.8	0.0	5.3	26.6	28.7	1.1	9.6	

※網掛け■は最も割合が高いもの

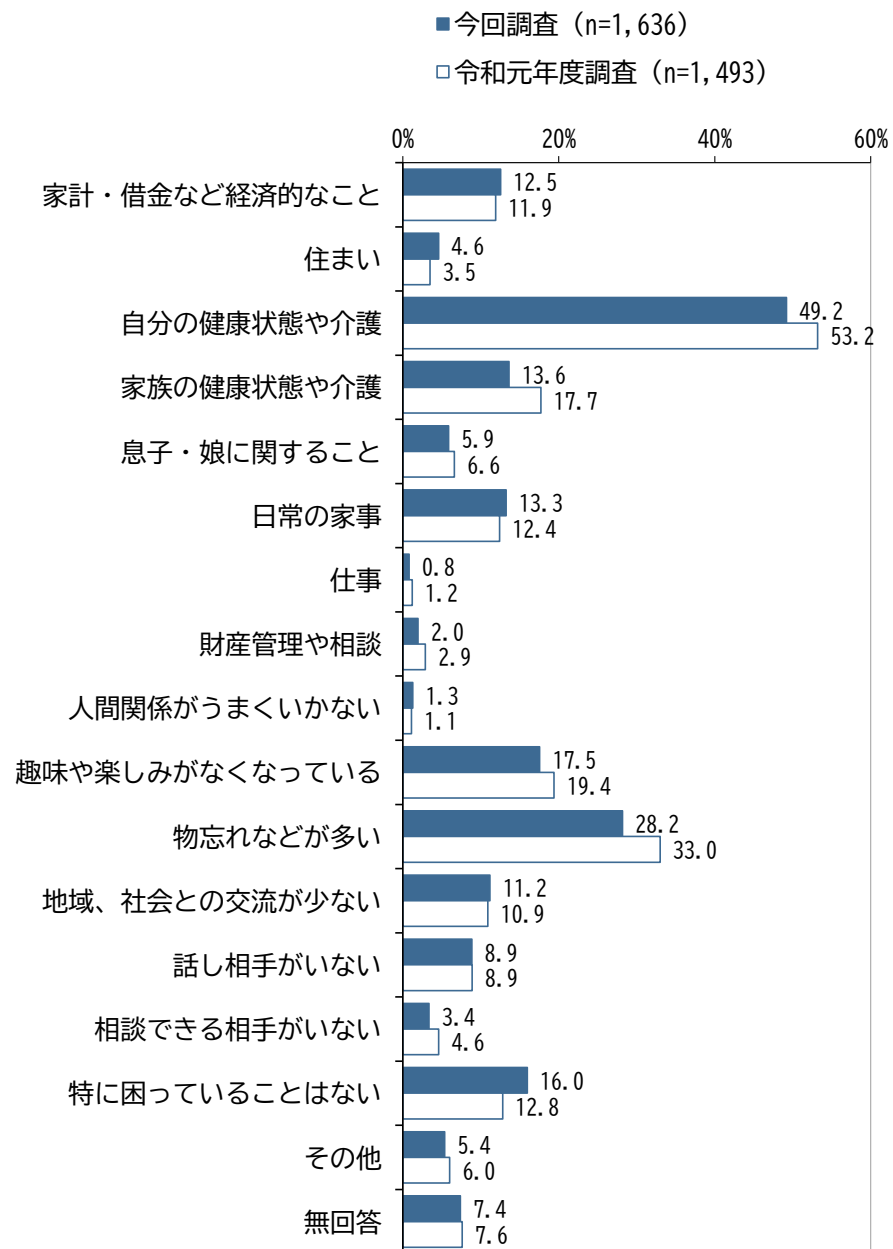
(2) 日常生活での困りこと・悩みはあるか

問3-2 あなたは、日常生活を送るうえで、困っていることや悩み(不安)はありますか。
(いくつでも)

日常生活での困りこと・悩みはあるかについては、「自分の健康状態や介護」が49.2%で最も高く、次いで「物忘れなどが多い」が28.2%、「趣味や楽しみがなくなっている」が17.5%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「特に困っていることはない」(16.0%)では、令和元(2019)年度調査(12.8%)より3.2ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 3-4-3 日常生活での困りこと・悩みはあるか



生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「自分の健康状態や介護」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「自分の健康状態や介護」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、「家計・借金など経済的なこと」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要介護5が15.4%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、「地域、社会との交流が少ない」では、亀井中学校区が22.5%で最も高くなっています。

図表 3-4-4 日常生活での困りこと・悩みはあるか 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	経済的なこと 家計・借金など	住まい	介護 自分の健康状態や	家族の健康状態や 介護	息子・娘に関する こと	日常の家事	仕事	財産管理や相談	人間関係がうまく いかない	趣味や楽しみがな く	
全体		1,636	12.5	4.6	49.2	13.6	5.9	13.3	0.8	2.0	1.3	17.5	
生活の 場所別	自宅	1,046	11.8	4.7	56.2	16.3	6.0	16.9	0.7	1.9	1.2	20.0	
	施設等	433	14.1	3.7	35.1	7.6	5.3	5.1	1.2	2.3	1.8	13.4	
年齢別	65～69歳	61	29.5	4.9	50.8	11.5	8.2	6.6	4.9	0.0	0.0	21.3	
	70～74歳	138	13.0	3.6	46.4	18.1	6.5	8.0	0.0	2.9	0.7	17.4	
	75～79歳	267	14.2	6.0	51.7	16.5	5.2	13.9	0.4	1.1	1.5	14.6	
	80～84歳	353	11.9	5.9	52.1	15.3	6.5	12.5	0.6	2.8	1.1	20.1	
	85歳以上	748	11.0	3.5	48.1	12.3	5.5	15.6	0.9	1.6	1.6	17.4	
認定 状況別	要介護1	452	10.4	5.8	51.3	13.1	5.8	17.9	1.1	1.8	1.5	20.8	
	要介護2	370	13.0	4.6	56.5	13.0	7.3	17.8	0.3	2.4	0.5	20.0	
	要介護3	254	13.4	2.8	47.2	21.7	5.1	11.0	0.8	0.8	2.0	15.7	
	要介護4	254	14.2	4.7	53.5	12.6	6.7	8.7	1.2	1.6	2.4	16.9	
	要介護5	208	15.4	3.8	37.0	9.6	4.3	6.7	0.5	3.4	0.5	13.0	
中学校 区別	第1 圏域	八尾中学校区	99	15.2	7.1	55.6	13.1	5.1	19.2	0.0	4.0	0.0	19.2
		桂中学校区	65	10.8	1.5	50.8	7.7	3.1	18.5	1.5	1.5	4.6	15.4
		上之島中学校区	105	14.3	2.9	45.7	13.3	7.6	6.7	1.0	1.0	1.0	18.1
	第2 圏域	久宝寺中学校区	112	11.6	3.6	47.3	8.9	4.5	14.3	0.0	1.8	0.0	16.1
		龍華中学校区	124	11.3	5.6	53.2	13.7	8.9	15.3	0.8	1.6	3.2	19.4
		亀井中学校区	71	8.5	1.4	49.3	9.9	5.6	16.9	0.0	0.0	1.4	19.7
	第3 圏域	大正中学校区	97	9.3	5.2	42.3	13.4	4.1	11.3	0.0	3.1	2.1	16.5
		志紀中学校区	99	18.2	9.1	43.4	15.2	6.1	14.1	2.0	0.0	1.0	16.2
		曙川南中学校区	141	13.5	1.4	51.8	12.8	6.4	8.5	0.0	0.0	2.1	14.9
	第4 圏域	成法中学校区	210	13.3	4.8	48.6	13.8	6.2	12.4	2.9	1.9	1.4	18.1
		曙川中学校区	100	17.0	6.0	60.0	19.0	12.0	11.0	0.0	3.0	0.0	20.0
		高美中学校区	83	6.0	3.6	41.0	16.9	7.2	10.8	2.4	4.8	1.2	21.7
	第5 圏域	高安小中学校区	69	13.0	2.9	46.4	13.0	4.3	15.9	0.0	2.9	0.0	20.3
南高安中学校区		81	11.1	3.7	51.9	13.6	3.7	13.6	0.0	1.2	0.0	13.6	
	東中学校区	94	11.7	3.2	54.3	16.0	1.1	14.9	0.0	2.1	0.0	14.9	

		合計	物忘れなどが多い	地域、社会との交流が少ない	話し相手がない	相談できる相手がいない	特に困っていることはない	その他	無回答	
全体		1,636	28.2	11.2	8.9	3.4	16.0	5.4	7.4	
生活の場所別	自宅	1,046	33.2	13.0	9.1	3.9	13.5	3.4	3.7	
	施設等	433	19.2	7.9	8.8	1.8	22.2	9.0	13.9	
年齢別	65～69歳	61	19.7	14.8	8.2	3.3	16.4	3.3	11.5	
	70～74歳	138	26.8	9.4	8.0	5.1	15.9	8.0	5.1	
	75～79歳	267	20.2	9.7	7.1	2.2	15.4	4.9	6.0	
	80～84歳	353	35.1	14.4	9.9	5.4	11.9	4.5	7.9	
	85歳以上	748	30.2	10.8	9.6	2.4	18.0	5.7	7.4	
認定状況別	要介護1	452	41.2	15.3	12.6	3.8	11.1	3.1	4.0	
	要介護2	370	25.1	11.6	7.8	3.8	17.3	3.5	3.8	
	要介護3	254	27.2	8.3	7.5	2.4	18.1	6.3	7.5	
	要介護4	254	20.5	11.0	8.7	0.8	16.1	5.5	9.1	
	要介護5	208	15.9	7.2	5.8	3.8	18.3	12.5	15.9	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	26.3	15.2	6.1	6.1	17.2	3.0	6.1
		桂中学校区	65	21.5	9.2	9.2	3.1	20.0	3.1	6.2
		上之島中学校区	105	25.7	6.7	4.8	1.9	11.4	5.7	10.5
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	25.0	8.0	9.8	3.6	18.8	5.4	5.4
		龍華中学校区	124	29.8	9.7	12.1	4.0	12.9	5.6	5.6
		亀井中学校区	71	39.4	22.5	14.1	4.2	12.7	7.0	8.5
	第3圏域	大正中学校区	97	24.7	9.3	11.3	2.1	22.7	5.2	9.3
		志紀中学校区	99	27.3	13.1	8.1	4.0	21.2	9.1	8.1
		曙川南中学校区	141	34.0	8.5	9.2	2.8	14.2	2.8	7.8
	第4圏域	成法中学校区	210	30.0	12.9	12.4	3.3	13.8	4.8	5.7
		曙川中学校区	100	33.0	13.0	4.0	2.0	10.0	6.0	3.0
		高美中学校区	83	20.5	8.4	3.6	1.2	15.7	6.0	16.9
	第5圏域	高安小中学校区	69	37.7	10.1	5.8	1.4	15.9	4.3	7.2
		南高安中学校区	81	22.2	9.9	6.2	4.9	19.8	4.9	8.6
		東中学校区	94	27.7	11.7	7.4	3.2	22.3	4.3	3.2

※網掛け■は最も割合が高いもの

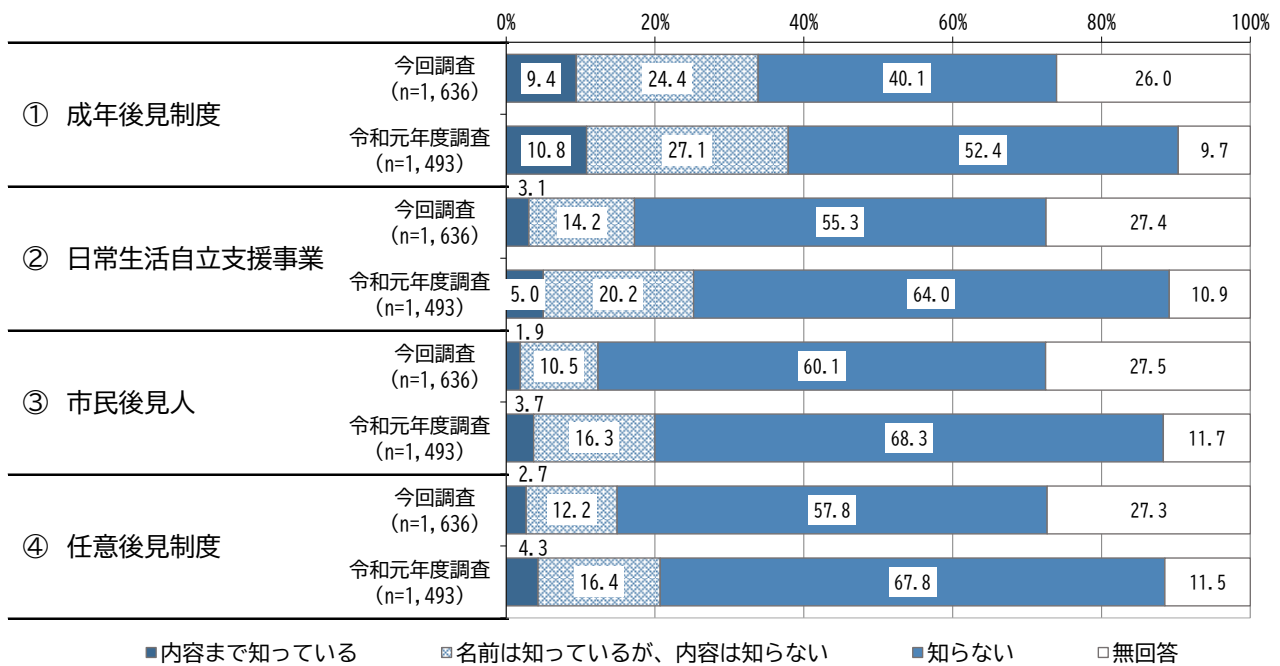
(3) 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度

問3-3 あなたは、権利擁護に関する以下の相談機関や制度についてご存知ですか。(1つずつ)

権利擁護に関する相談機関や制度の認知度について、「内容まで知っている」では、「① 成年後見制度」が9.4%で最も高く、次いで「② 日常生活自立支援事業」が3.1%、「④ 任意後見制度」が2.7%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「内容まで知っている」では、大きな差はみられません。

図表 3-4-5 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度

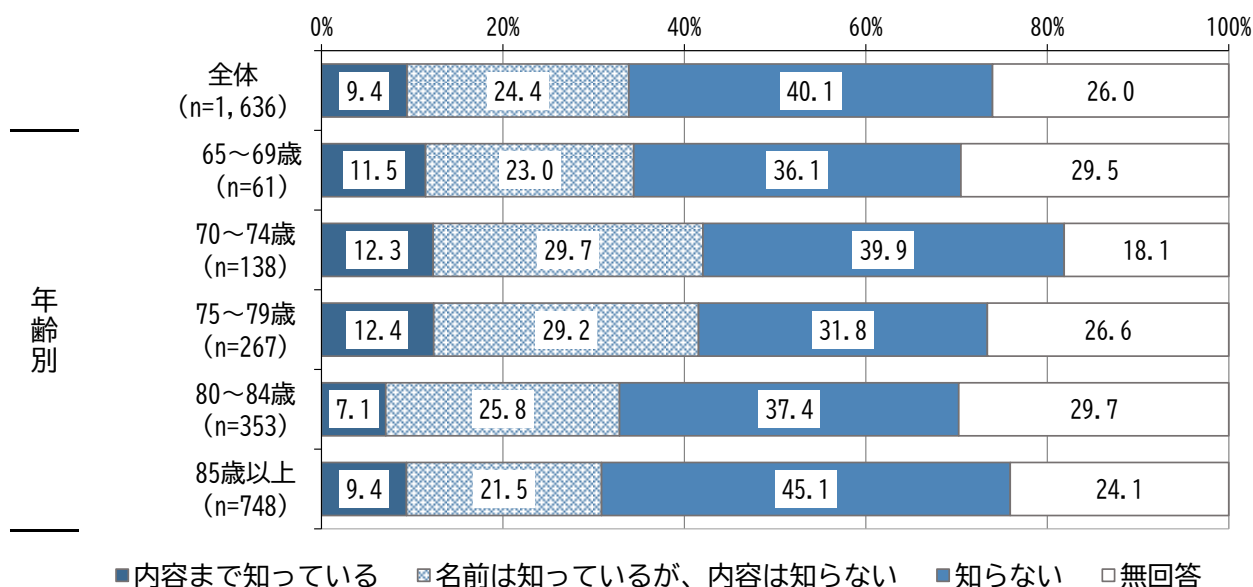


① 成年後見制度

成年後見制度の認知度については、「知らない」が40.1%で最も高く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」が24.4%、「内容まで知っている」が9.4%となっています。

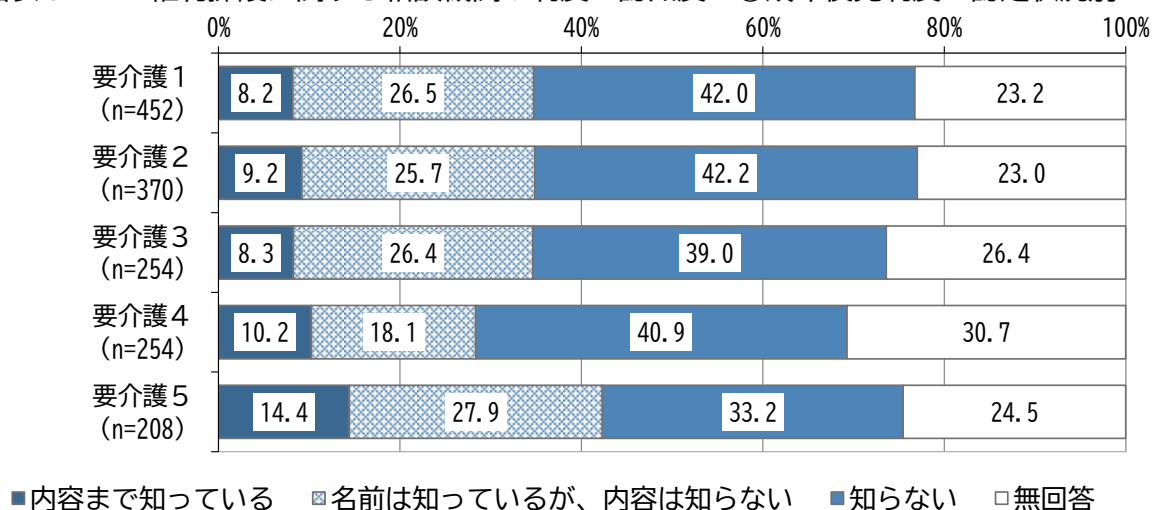
年齢別でみると、「内容まで知っている」では、75～79歳が12.4%で最も高くなっています。

図表 3-4-6 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ①成年後見制度



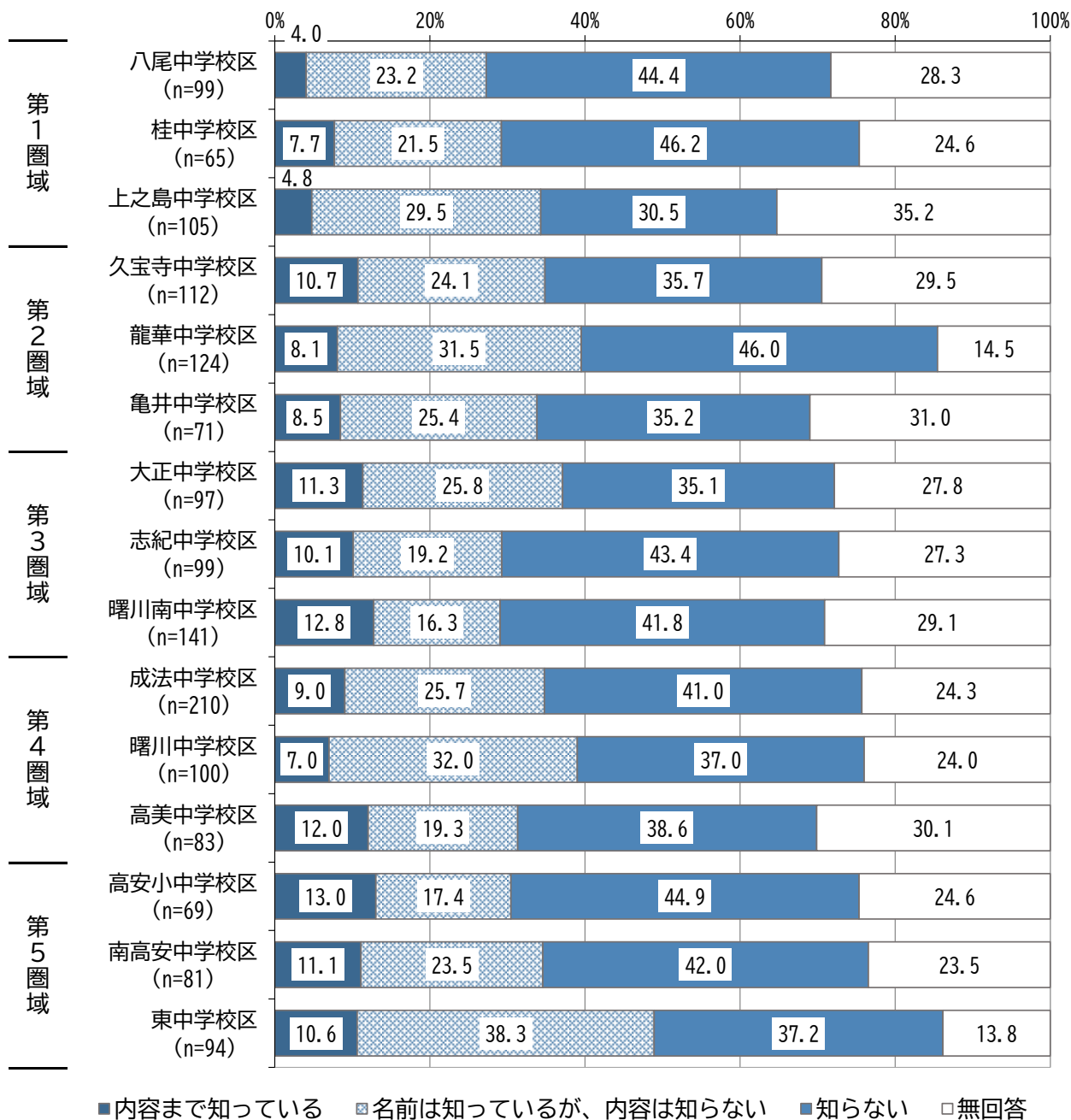
認定状況別でみると、「内容まで知っている」では、要介護5が14.4%で最も高くなっています。

図表 3-4-7 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ①成年後見制度 認定状況別



中学校区別でみると、「内容まで知っている」では、高安小中学校区が13.0%で最も高くなっています。

図表 3-4-8 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ①成年後見制度 中学校区別

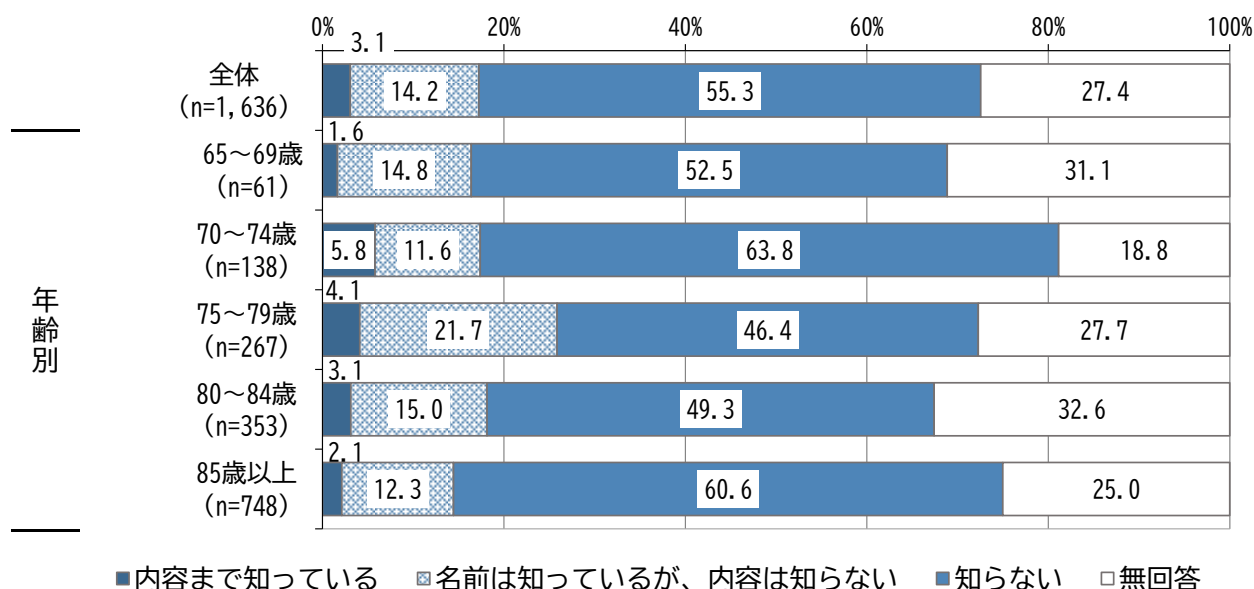


② 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業の認知度については、「知らない」が55.3%で最も高く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」が14.2%、「内容まで知っている」が3.1%となっています。

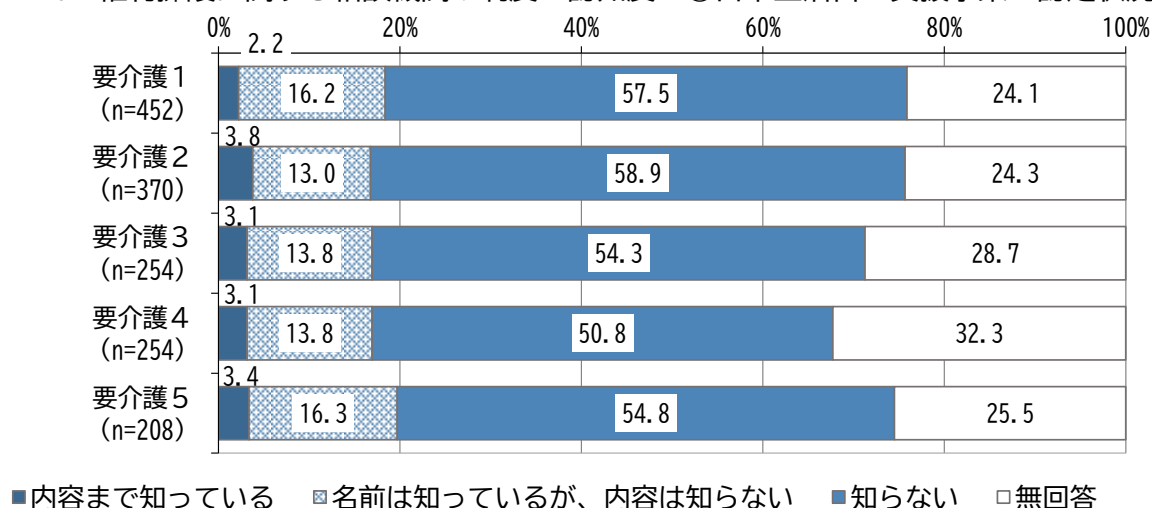
年齢別でみると、「内容まで知っている」では、70～74歳が5.8%で最も高くなっています。

図表 3-4-9 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ②日常生活自立支援事業



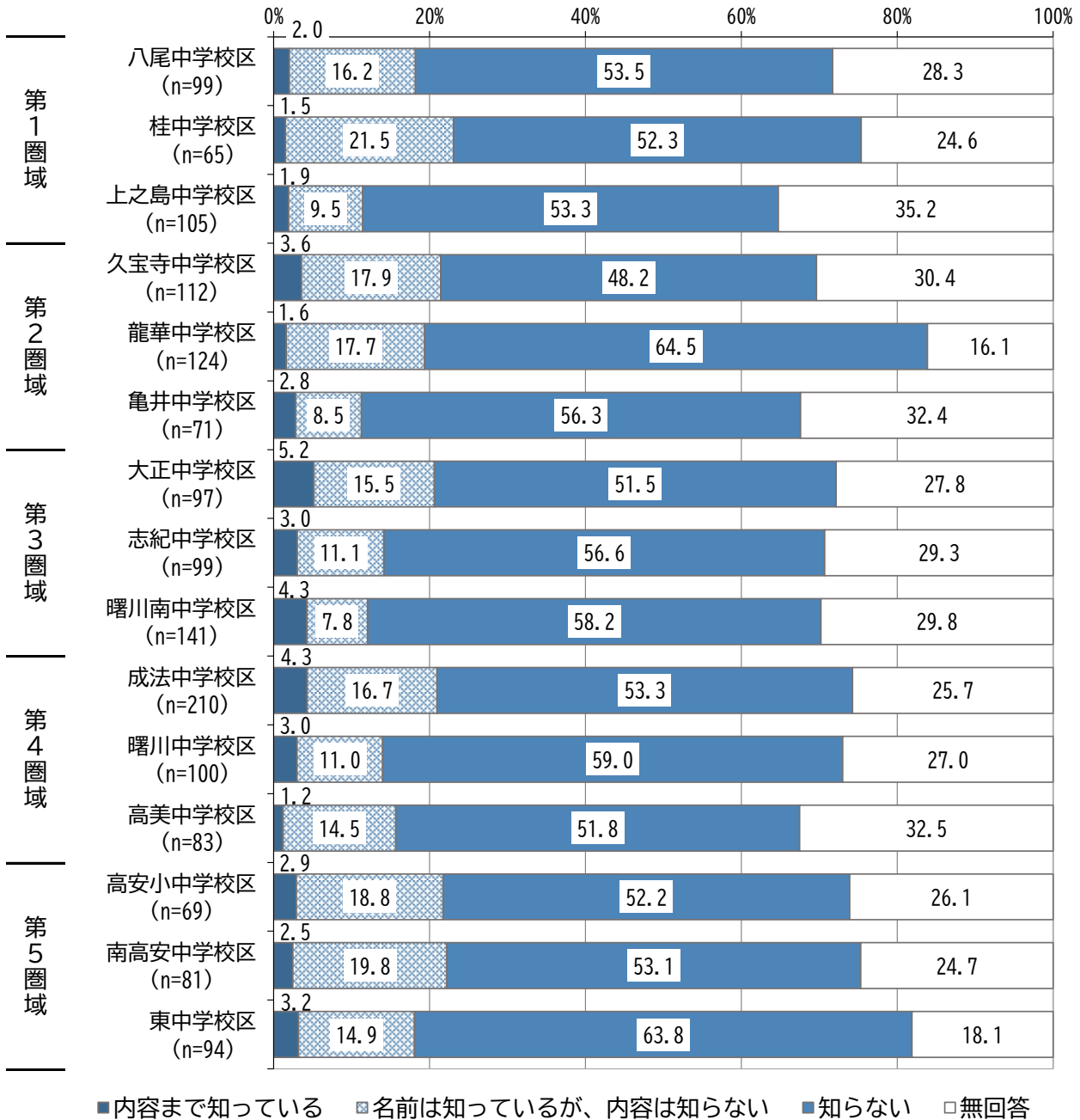
認定状況別でみると、「内容まで知っている」では、要介護2が3.8%で最も高くなっています。

図表 3-4-10 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ②日常生活自立支援事業 認定状況別



中学校区別でみると、「内容まで知っている」では、大正中学校区が5.2%で最も高くなっています。

図表 3-4-11 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ②日常生活自立支援事業 中学校区別

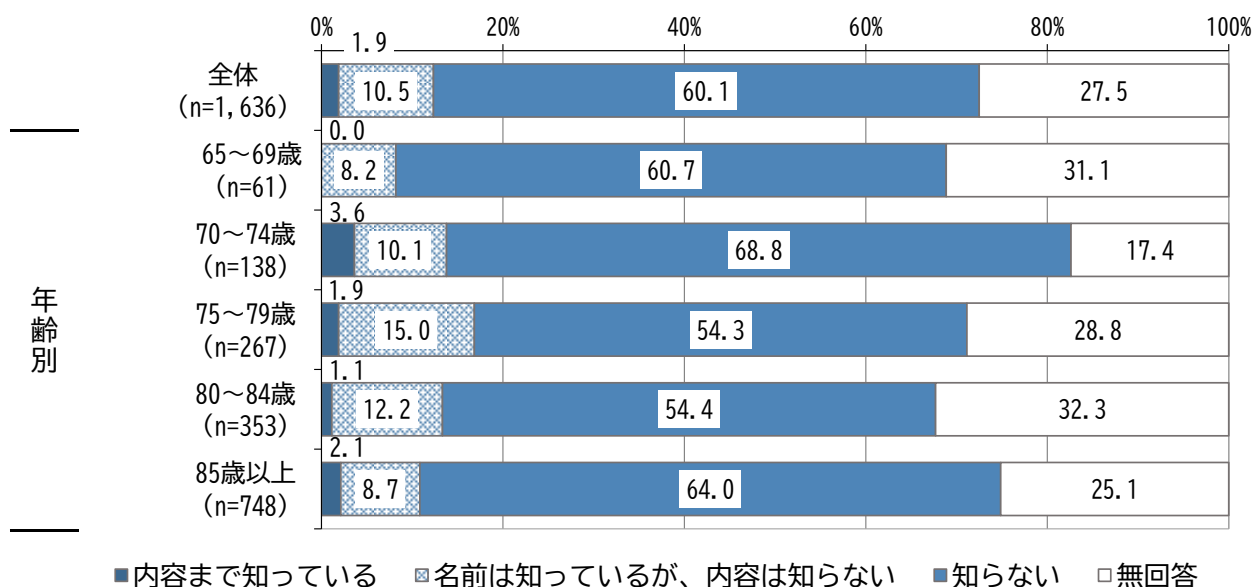


③ 市民後見人

市民後見人の認知度については、「知らない」が60.1%で最も高く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」が10.5%、「内容まで知っている」が1.9%となっています。

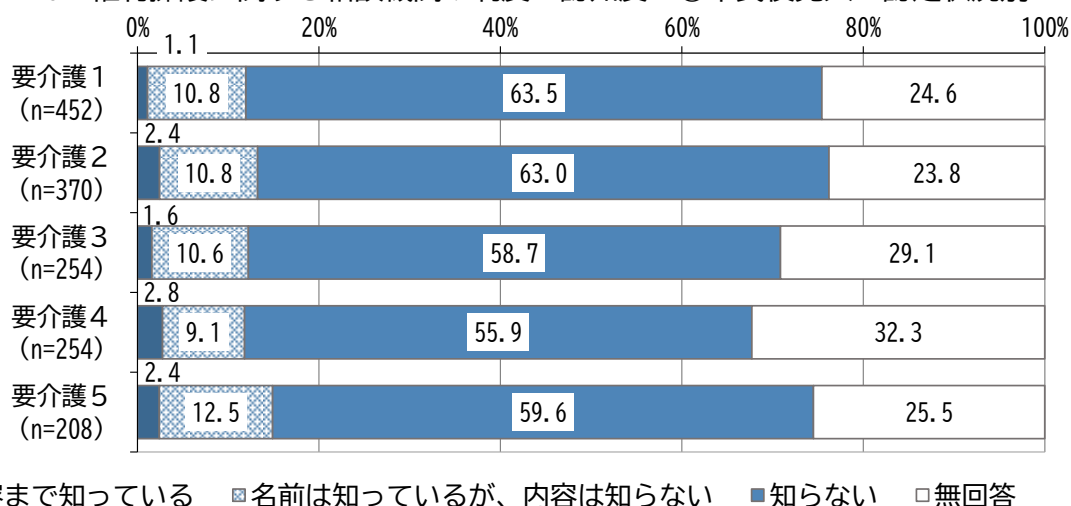
年齢別でみると、「内容まで知っている」では、70～74歳が3.6%で最も高くなっています。

図表 3-4-12 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ③市民後見人



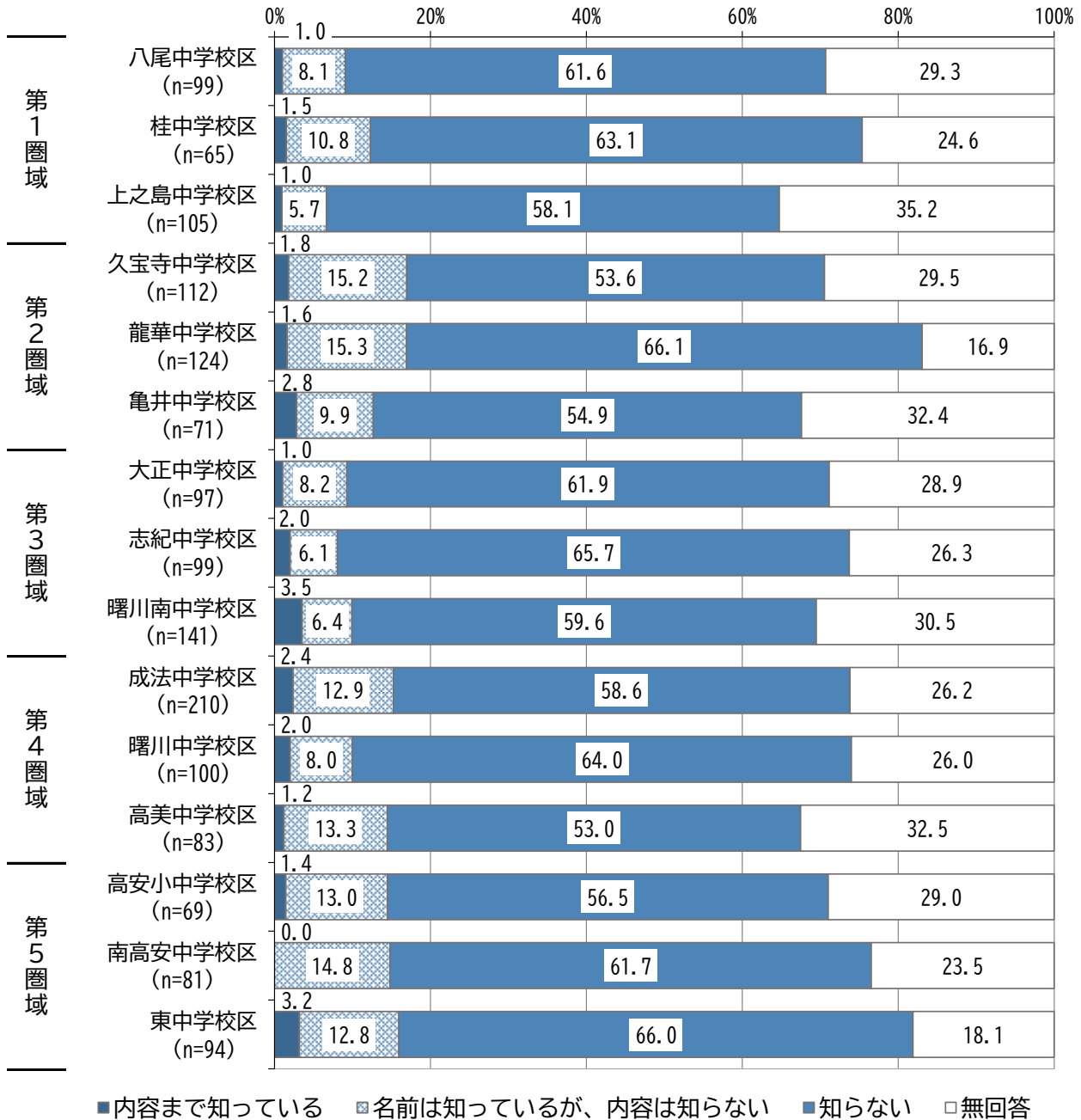
認定状況別でみると、「内容まで知っている」では、要介護4が2.8%で最も高くなっています。

図表 3-4-13 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ③市民後見人 認定状況別



中学校区別でみると、「内容まで知っている」では、曙川南中学校区が3.5%で最も高くなっています。

図表 3-4-14 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ③市民後見人 中学校区別

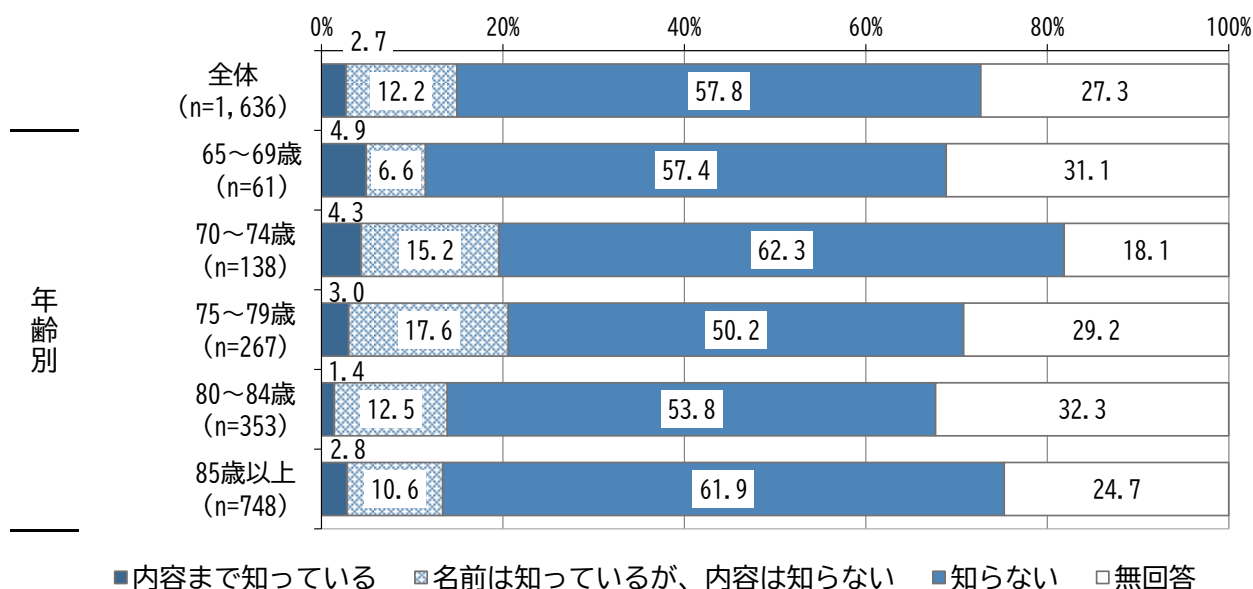


④ 任意後見制度

任意後見制度の認知度については、「知らない」が57.8%で最も高く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」が12.2%、「内容まで知っている」が2.7%となっています。

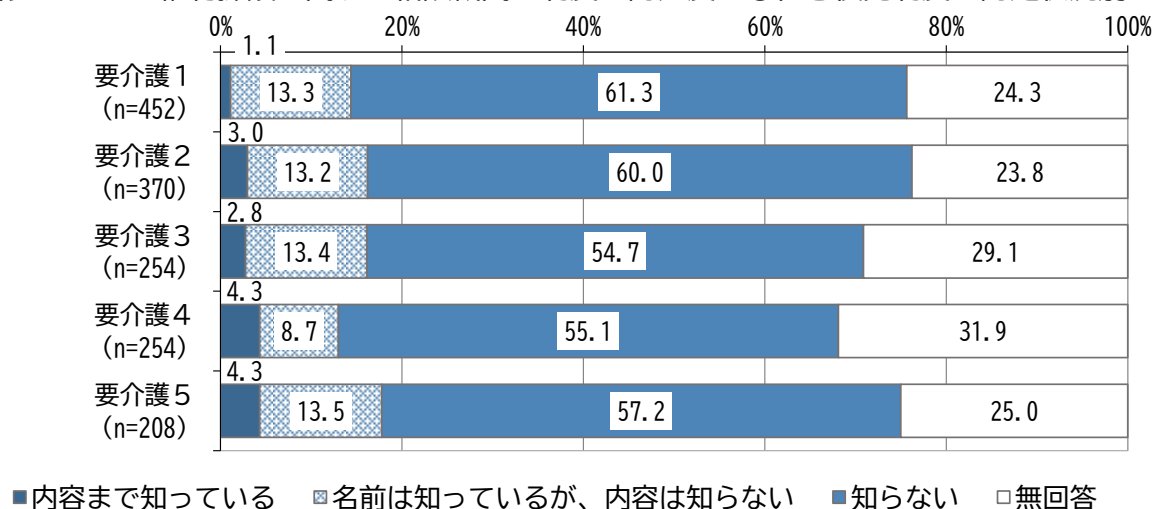
年齢別でみると、「内容まで知っている」では、65～69歳が4.9%で最も高くなっています。

図表 3-4-15 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ④任意後見制度



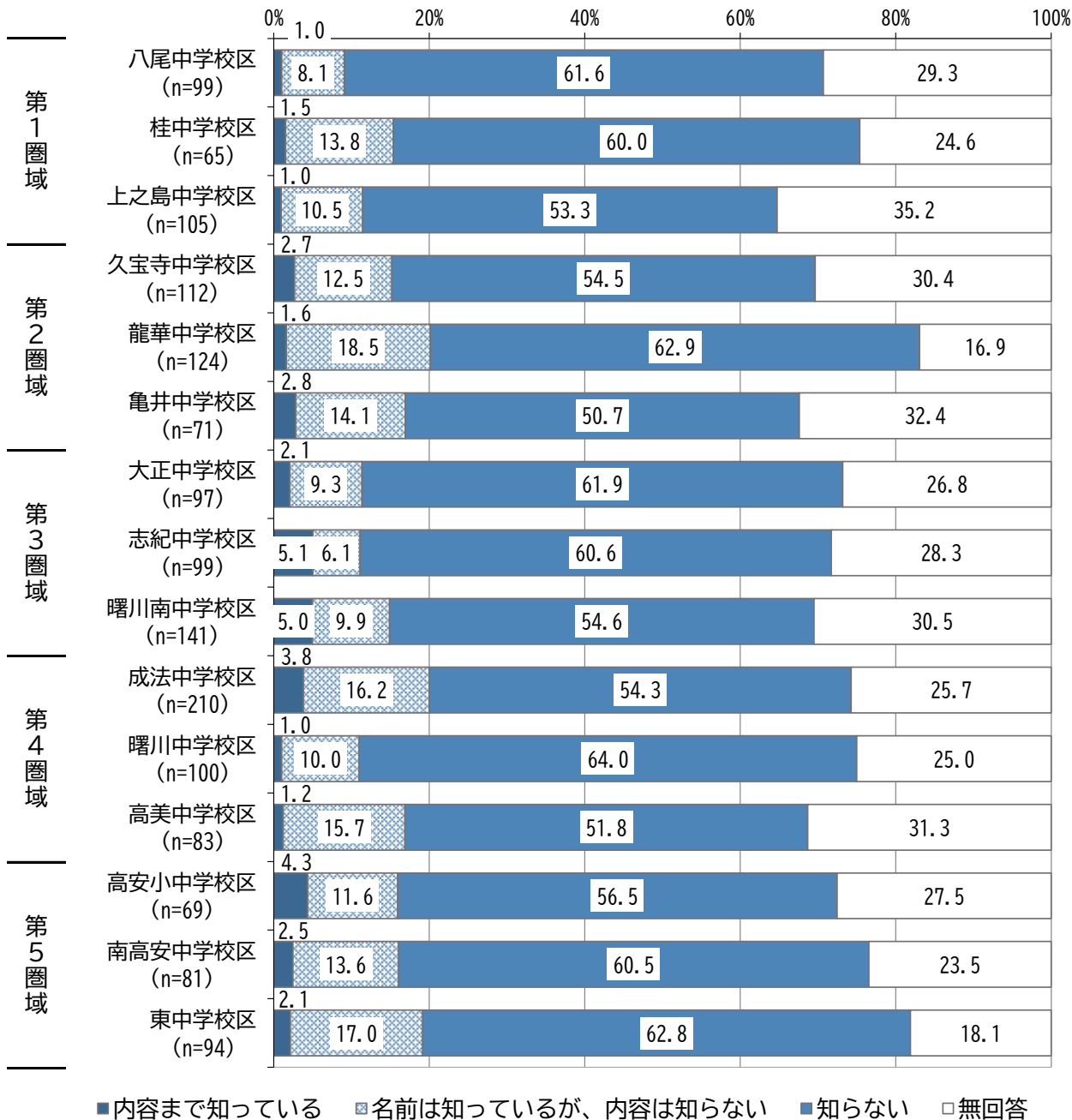
認定状況別でみると、「内容まで知っている」では、要介護4、要介護5がいずれも4.3%で最も高くなっています。

図表 3-4-16 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ④任意後見制度 認定状況別



中学校区別でみると、「内容まで知っている」では、志紀中学校区が5.1%で最も高くなっています。

図表 3-4-17 権利擁護に関する相談機関や制度の認知度 ④任意後見制度 中学校区別



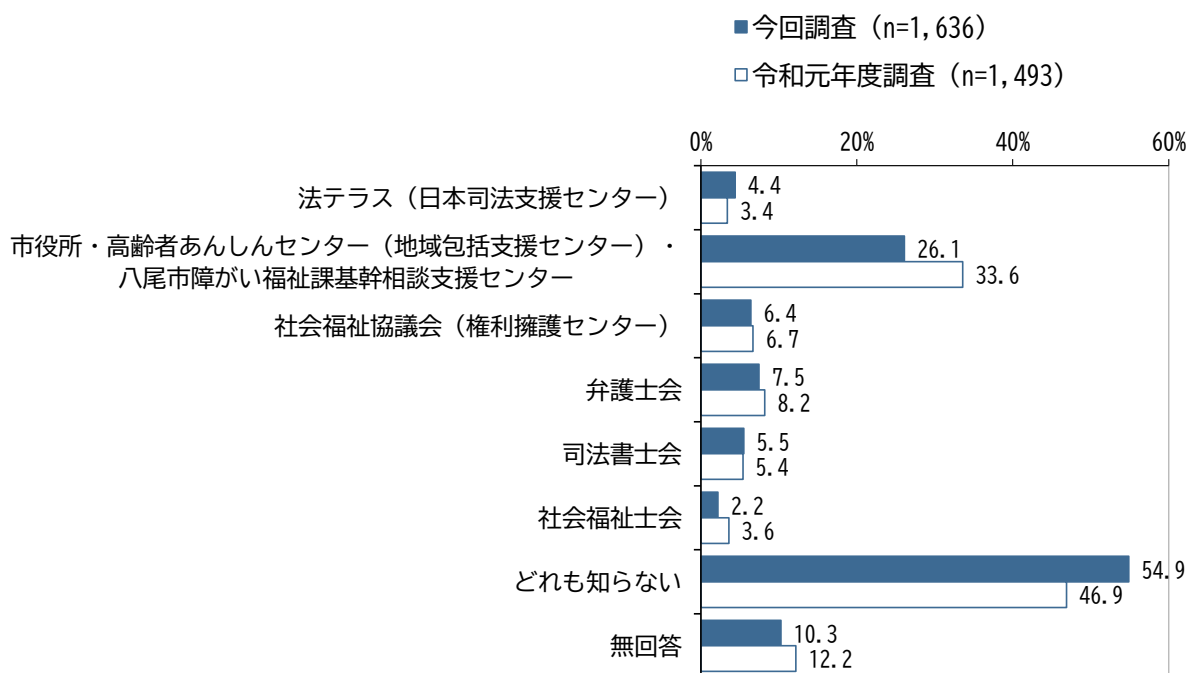
(4) 成年後見制度の相談窓口の認知度

問3-4 「成年後見制度」について知りたいときは、以下の相談窓口で相談を行っていますが、この中で知っているものはありますか。(いくつでも)

成年後見制度の相談窓口の認知度については、「どれも知らない」が54.9%で最も高く、次いで「市役所・高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)・八尾市障がい福祉課基幹相談支援センター」が26.1%、「弁護士会」が7.5%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「どれも知らない」(54.9%)では、令和元(2019)年度調査(46.9%)より8.0ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 3-4-18 成年後見制度の相談窓口の認知度



生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「どれも知らない」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「どれも知らない」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、全ての認定状況で「どれも知らない」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「どれも知らない」では、亀井中学校区が62.0%で最も高くなっています。

図表 3-4-19 成年後見制度の相談窓口の認知度 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

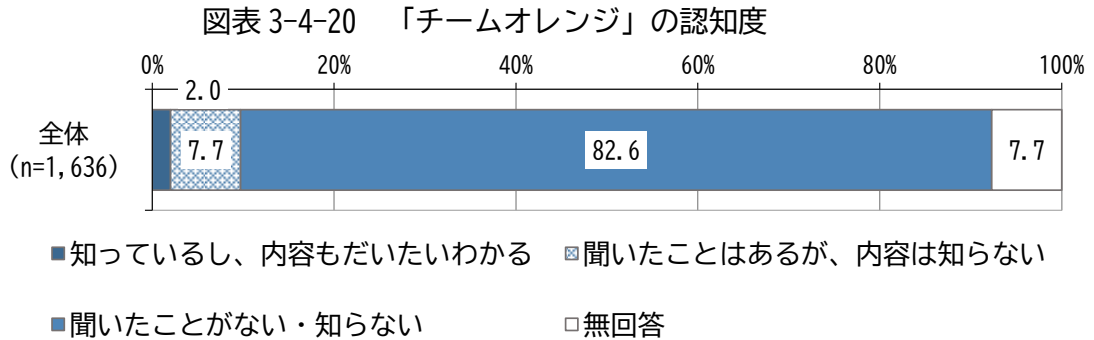
		合計	法テラス（日本司法支援センター）	市役所・高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）・八尾市障がい福祉課基幹相談支援センター	社会福祉協議会（権利擁護センター）	弁護士会	司法書士会	社会福祉士会	どれも知らない	無回答	
全体		1,636	4.4	26.1	6.4	7.5	5.5	2.2	54.9	10.3	
生活の場所別	自宅	1,046	4.7	28.5	7.3	8.2	5.7	2.2	55.6	6.5	
	施設等	433	3.5	22.9	5.3	6.0	5.5	2.1	54.0	15.7	
年齢別	65～69歳	61	8.2	19.7	11.5	3.3	4.9	0.0	52.5	11.5	
	70～74歳	138	8.0	26.1	7.2	12.3	9.4	2.2	55.1	5.8	
	75～79歳	267	4.9	26.6	7.5	7.1	5.6	2.6	53.2	11.6	
	80～84歳	353	4.5	27.8	6.5	6.2	4.5	2.0	53.0	11.3	
	85歳以上	748	3.3	26.7	5.7	7.5	5.3	2.3	56.3	9.2	
認定状況別	要介護1	452	4.0	30.1	6.4	7.3	5.1	1.8	54.9	6.9	
	要介護2	370	4.9	25.9	8.6	7.3	4.9	2.4	57.6	7.0	
	要介護3	254	6.3	28.3	8.3	6.7	7.5	3.5	53.9	9.8	
	要介護4	254	3.5	20.9	3.5	7.9	4.3	2.0	57.1	15.0	
	要介護5	208	3.8	26.9	5.3	10.1	6.3	1.4	48.1	13.0	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	4.0	29.3	5.1	7.1	6.1	3.0	52.5	12.1
		桂中学校区	65	0.0	26.2	3.1	7.7	3.1	0.0	56.9	9.2
		上之島中学校区	105	3.8	24.8	3.8	6.7	4.8	2.9	56.2	13.3
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	5.4	33.0	6.3	6.3	4.5	0.9	54.5	8.0
		龍華中学校区	124	2.4	25.8	7.3	7.3	5.6	2.4	59.7	4.8
		亀井中学校区	71	2.8	21.1	7.0	5.6	4.2	2.8	62.0	11.3
	第3圏域	大正中学校区	97	5.2	20.6	8.2	8.2	8.2	3.1	60.8	7.2
		志紀中学校区	99	6.1	20.2	6.1	6.1	5.1	3.0	55.6	11.1
		曙川南中学校区	141	6.4	26.2	7.8	10.6	6.4	2.8	51.1	12.8
	第4圏域	成法中学校区	210	7.6	24.3	5.2	8.6	5.7	1.4	55.7	8.6
		曙川中学校区	100	4.0	29.0	6.0	4.0	3.0	0.0	58.0	7.0
	第5圏域	高美中学校区	83	1.2	27.7	4.8	6.0	3.6	4.8	49.4	18.1
		高安小中学校区	69	0.0	26.1	11.6	7.2	8.7	5.8	55.1	8.7
南高安中学校区		81	4.9	29.6	8.6	12.3	7.4	1.2	51.9	8.6	
	東中学校区	94	4.3	39.4	8.5	7.4	5.3	2.1	39.4	11.7	

※網掛け■は最も割合が高いもの

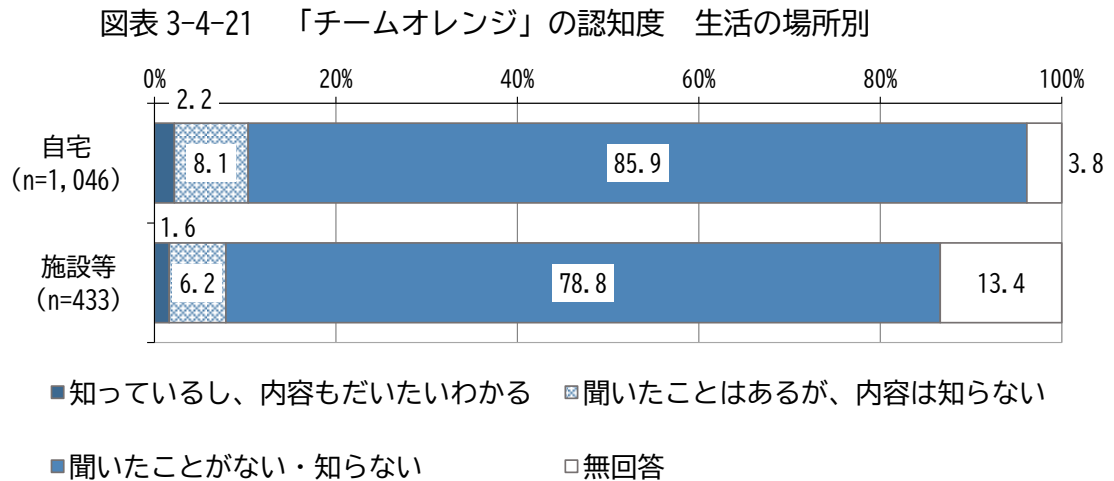
(5) 「チームオレンジ」の認知度

問3-5 本市の認知症に関する取り組みである「チームオレンジ」を知っていますか。
(1つだけ)

「チームオレンジ」の認知度については、「聞いたことがない・知らない」が82.6%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が7.7%、「知っているし、内容もだいたいわかる」が2.0%となっています。

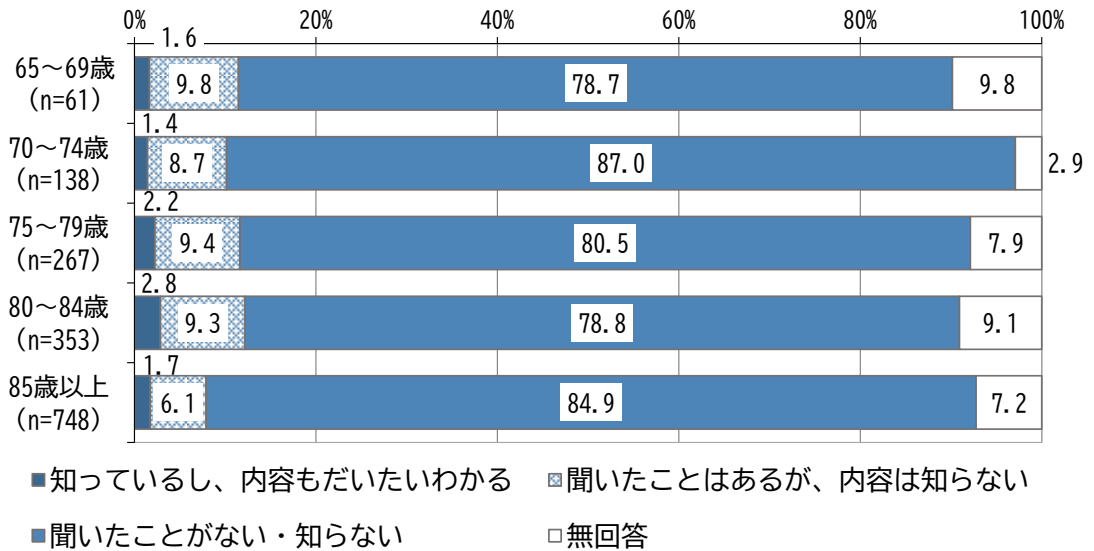


生活の場所別でみると、「知っているし、内容もだいたいわかる」では、自宅が2.2%、施設等が1.6%となっています。



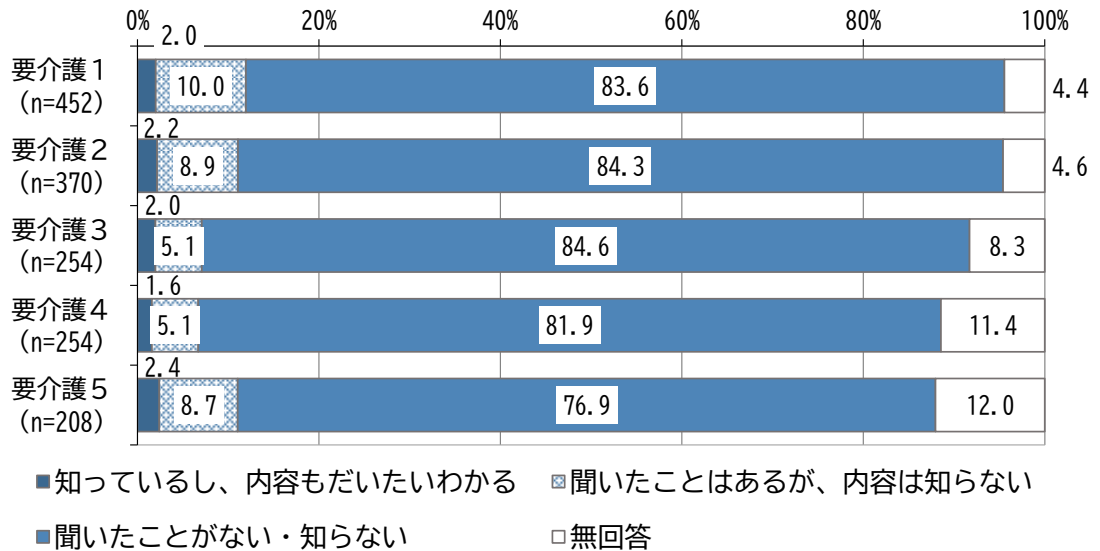
年齢別でみると、「知っているし、内容もだいたいわかる」では、80～84歳が2.8%で最も高くなっています。

図表 3-4-22 「チームオレンジ」の認知度 年齢別



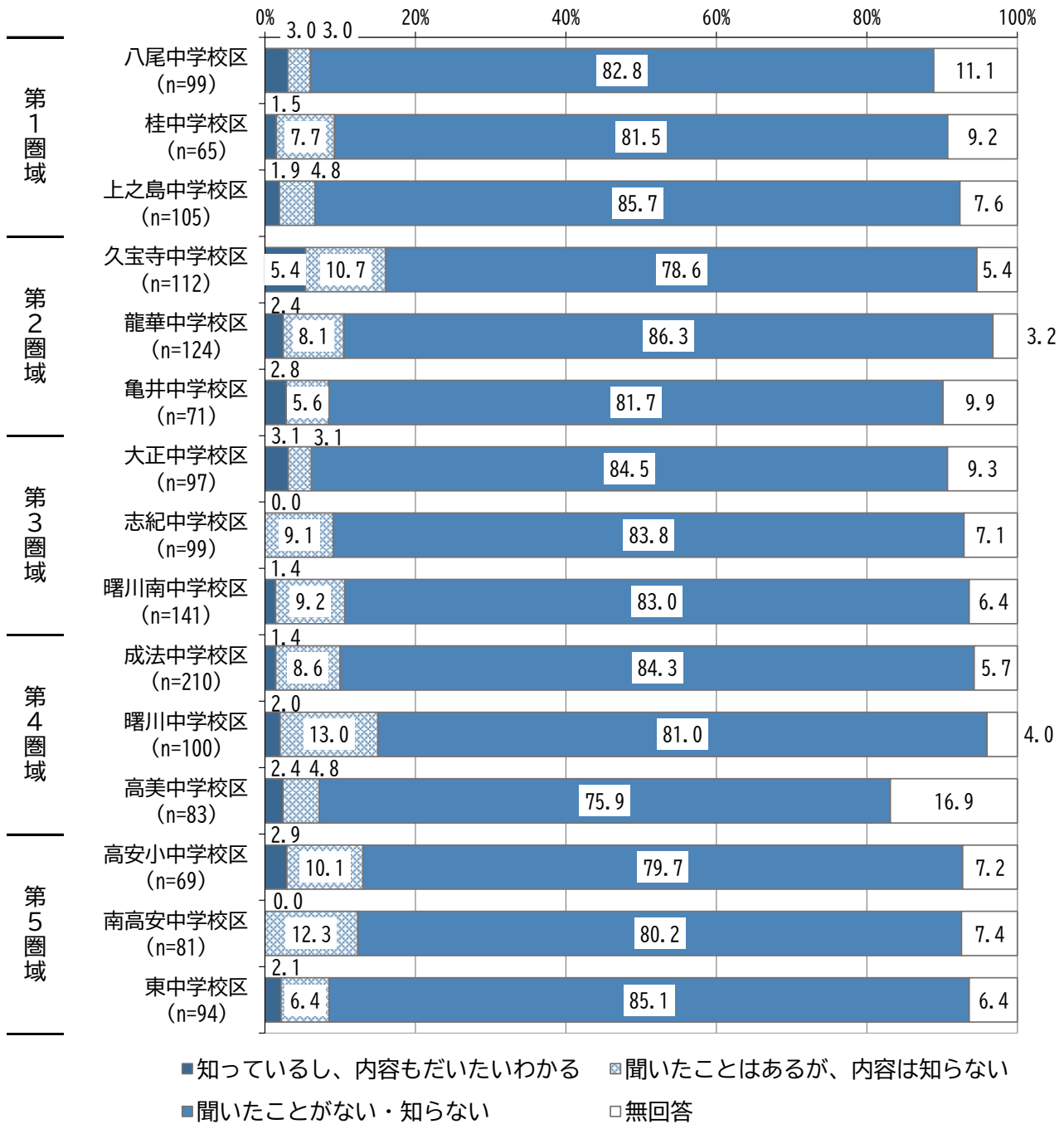
認定状況別でみると、「知っているし、内容もだいたいわかる」では、要介護5が2.4%で最も高くなっています。

図表 3-4-23 「チームオレンジ」の認知度 認定状況別



中学校区別でみると、「知っているし、内容もだいたいわかる」では、久宝寺中学校区が5.4%で最も高くなっています。

図表 3-4-24 「チームオレンジ」の認知度 中学校区別



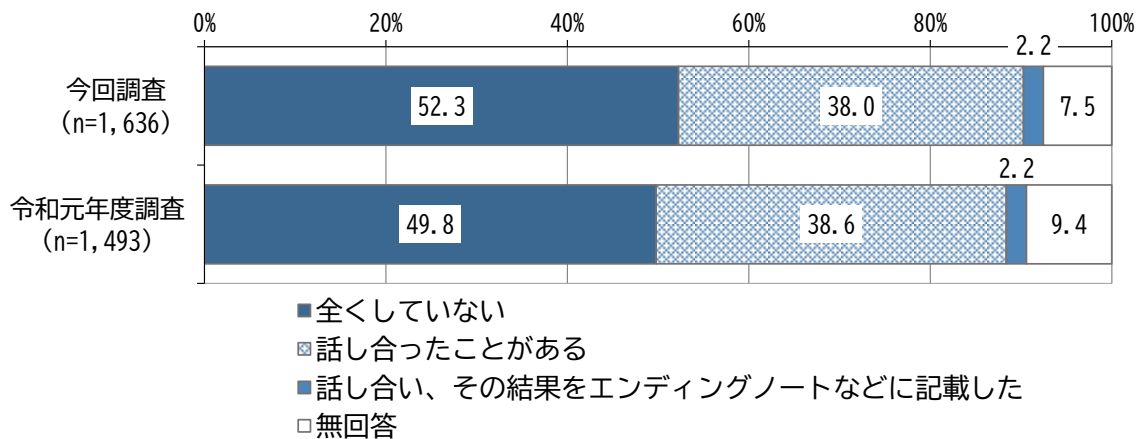
(6) 人生会議を行っているか

問3-6 人生の最終章を迎えるにあたりご自身の思いや希望をご家族など誰かと話し合っていますか。(「人生会議」を行っていますか。)(1つだけ)

人生会議を行っているかについては、「全くしていない」が52.3%で最も高く、次いで「話し合ったことがある」が38.0%、「話し合い、その結果をエンディングノートなどに記載した」が2.2%となっています。

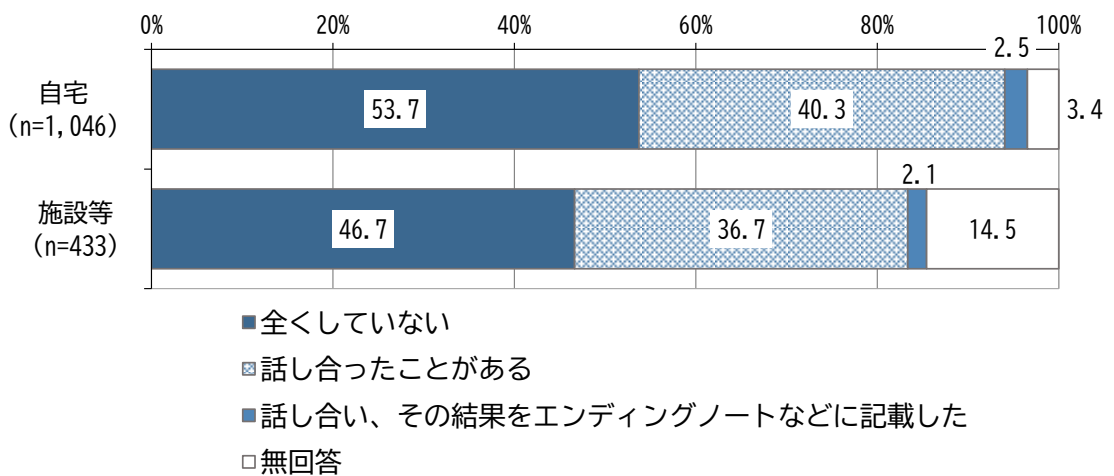
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 3-4-25 人生会議を行っているか



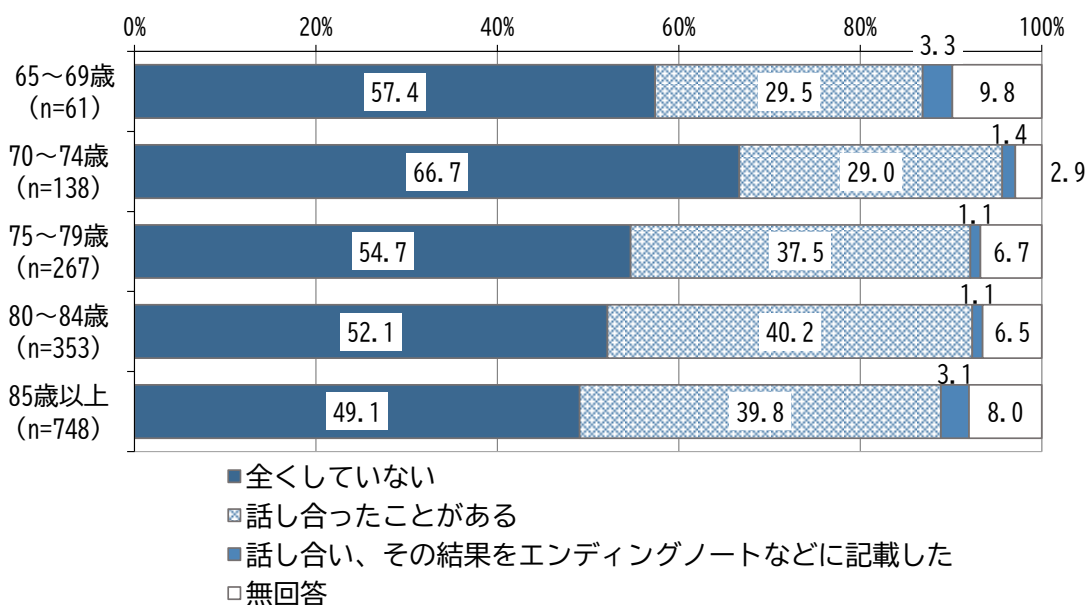
生活の場所別でみると、『話し合ったことがある』(「話し合ったことがある」と「話し合い、その結果をエンディングノートなどに記載した」の合計)では、自宅が42.8%、施設等が38.8%となっています。

図表 3-4-26 人生会議を行っているか 生活の場所別



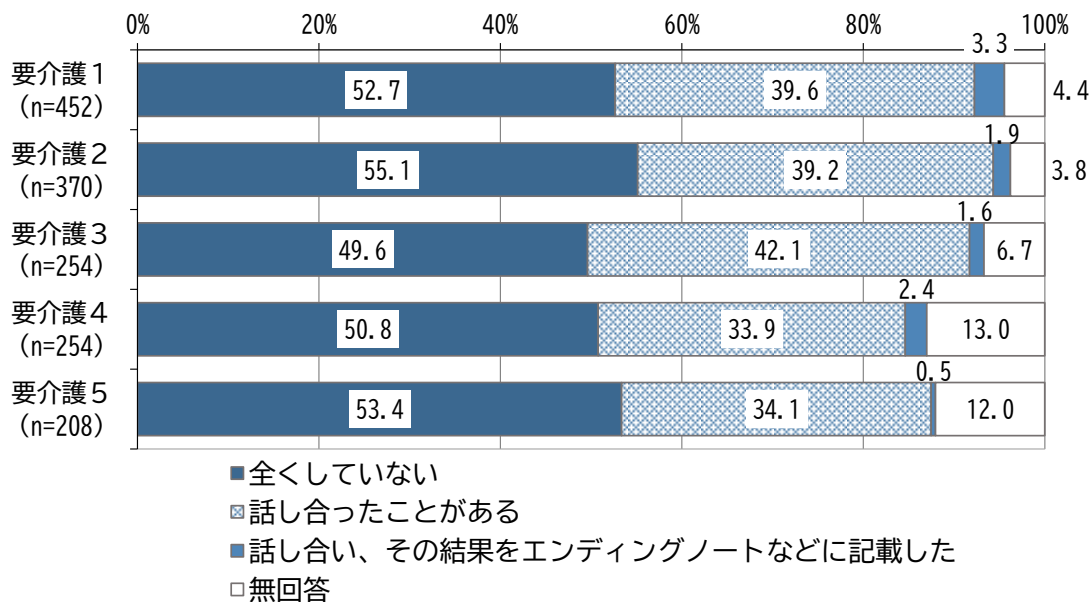
年齢別でみると、『話し合ったことがある』では、85歳以上が42.9%で最も高くなっています。

図表 3-4-27 人生会議を行っているか 年齢別



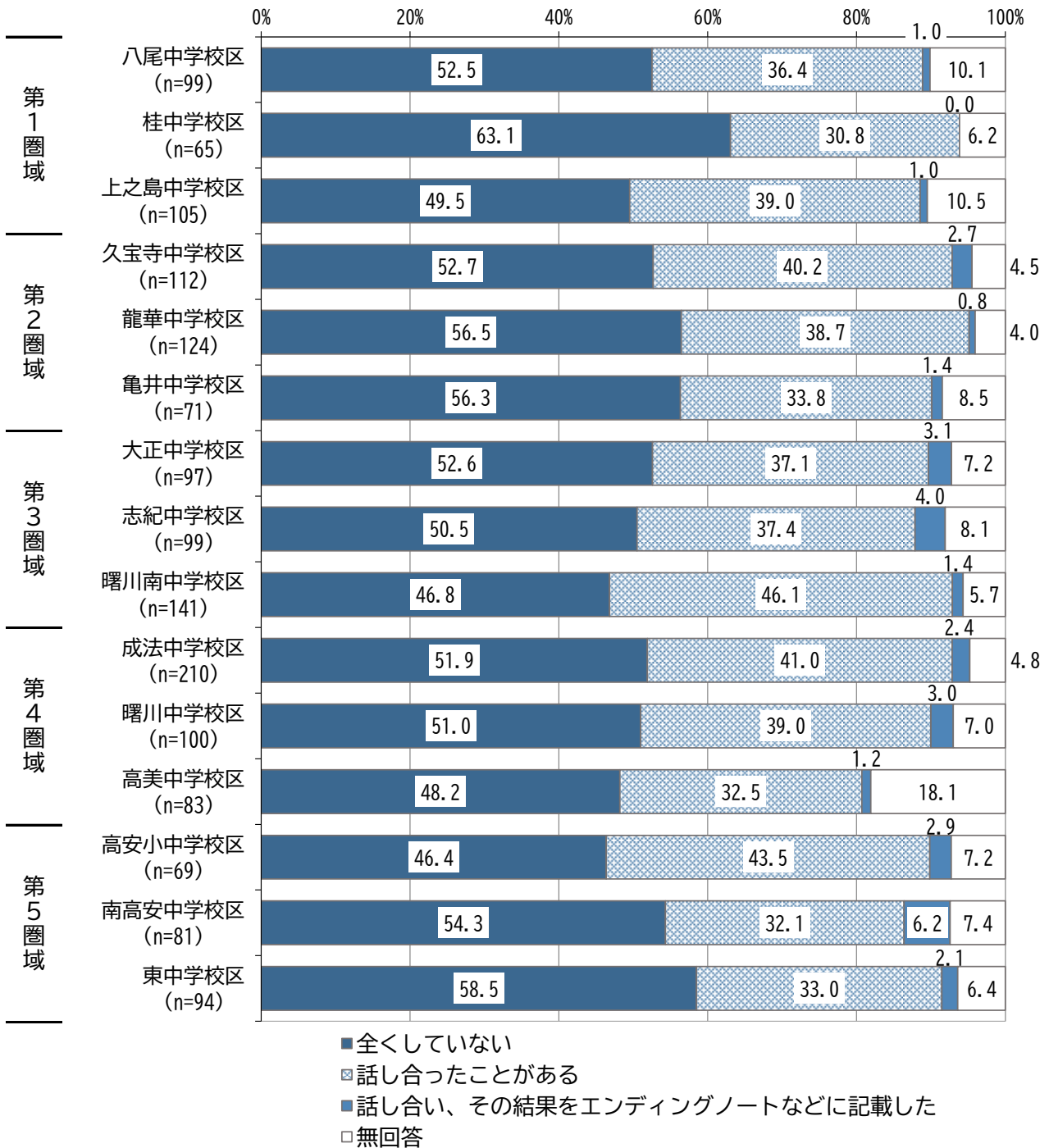
認定状況別でみると、『話し合ったことがある』では、要介護3が43.7%で最も高くなっています。

図表 3-4-28 人生会議を行っているか 認定状況別



中学校区別でみると、『話し合ったことがある』では、曙川南中学校区が47.5%で最も高くなっています。

図表 3-4-29 人生会議を行っているか 中学校区別



5 介護保険制度について

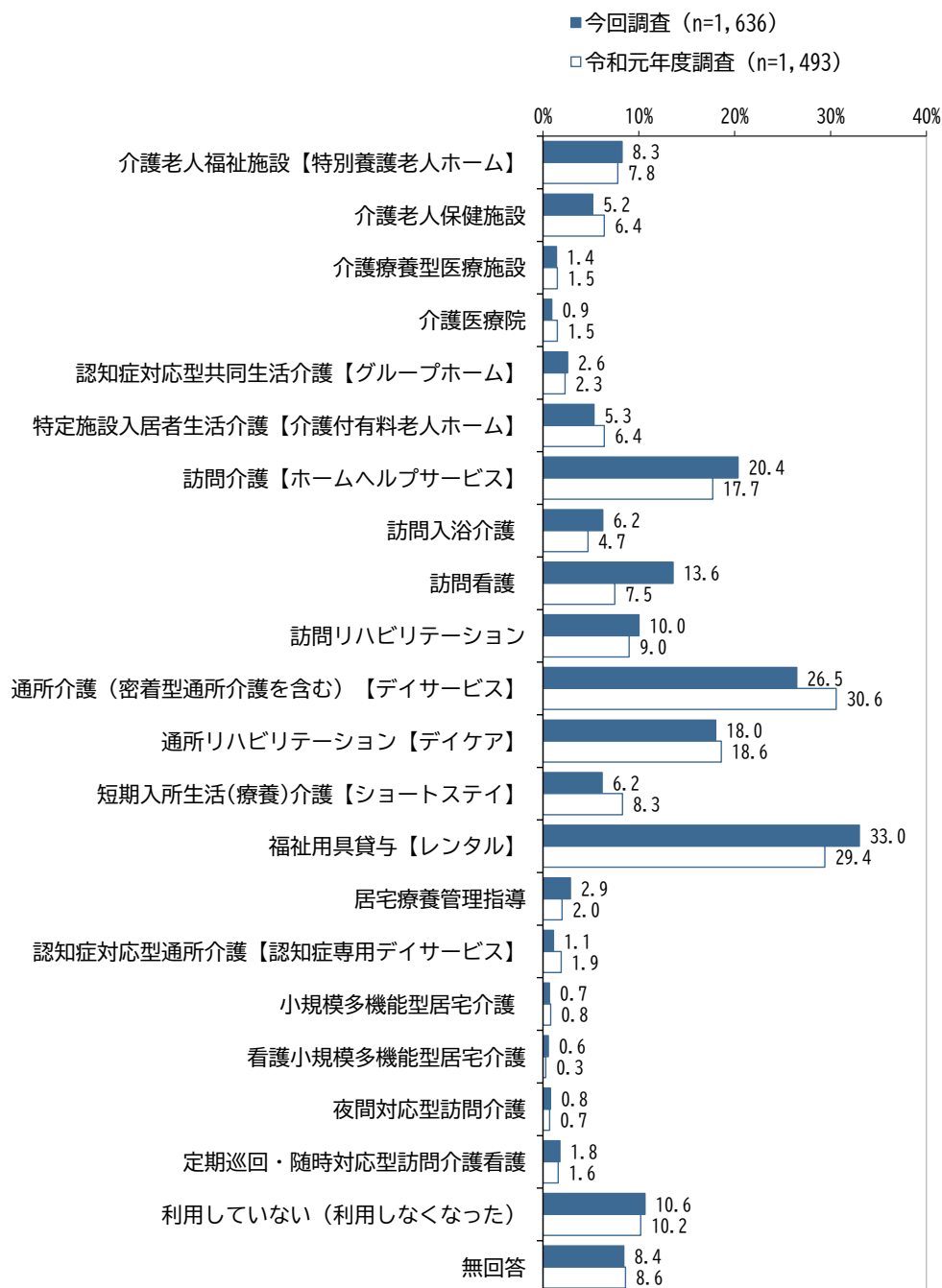
(1) 介護保険サービスの利用状況

問4-1 あなたは、介護保険サービスを利用していますか。(いくつでも)

介護保険サービスの利用状況については、「福祉用具貸与【レンタル】」が33.0%で最も高く、次いで「通所介護（密着型通所介護を含む）【デイサービス】」が26.5%、「訪問介護【ホームヘルプサービス】」が20.4%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「訪問看護」(13.6%)では、令和元(2019)年度調査(7.5%)より6.1ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 3-5-1 介護保険サービスの利用状況



生活の場所別でみると、自宅では「福祉用具貸与【レンタル】」の割合が最も高く、施設等では「介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「利用していない（利用しなくなった）」では、75～79歳が14.6%で最も高くなっています。

認定状況別でみると、要介護1では「通所介護（密着型通所介護を含む）【デイサービス】」の割合が最も高く、それ以外の認定状況では「福祉用具貸与【レンタル】」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「利用していない（利用しなくなった）」では、上之島中学校区が14.3%で最も高くなっています。

図表 3-5-2 介護保険サービスの利用状況 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	介護医療院	認知症対応型共同生活介護【グループホーム】	特定施設入居者生活介護【介護付有料老人ホーム】	訪問介護【ホームヘルプサービス】	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護【密着型通所介護を含む】【デイサービス】	
全体		1,636	8.3	5.2	1.4	0.9	2.6	5.3	20.4	6.2	13.6	10.0	26.5	
生活の場所別	自宅	1,046	1.6	2.5	0.3	0.6	0.3	0.4	21.9	7.6	14.6	13.0	34.2	
	施設等	433	22.4	11.5	1.8	0.7	8.8	18.2	18.5	3.2	12.0	3.9	9.7	
年齢別	65～69歳	61	6.6	3.3	3.3	3.3	0.0	4.9	23.0	6.6	23.0	24.6	26.2	
	70～74歳	138	7.2	2.2	0.7	0.0	2.9	3.6	21.7	6.5	14.5	12.3	25.4	
	75～79歳	267	5.6	4.1	1.9	0.4	1.1	1.9	18.7	7.1	17.2	15.7	23.2	
	80～84歳	353	5.4	3.7	1.4	1.1	2.0	2.3	19.3	6.2	10.5	8.8	27.8	
	85歳以上	748	11.0	6.8	1.2	0.8	3.3	8.6	20.6	5.9	13.2	7.5	27.4	
認定状況別	要介護1	452	3.3	2.9	0.7	0.4	1.1	4.2	18.8	4.4	9.1	6.2	32.1	
	要介護2	370	1.6	4.6	0.3	0.8	2.2	4.3	21.9	7.8	13.0	9.7	30.0	
	要介護3	254	9.4	6.7	2.0	0.4	3.1	6.3	16.9	5.5	13.4	11.4	26.8	
	要介護4	254	19.7	9.1	0.8	0.4	3.5	6.3	20.9	8.3	18.5	14.6	22.8	
	要介護5	208	16.3	4.3	5.3	1.9	4.8	8.2	28.4	7.7	22.1	14.9	16.3	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	9.1	6.1	2.0	1.0	2.0	7.1	25.3	7.1	15.2	8.1	27.3
		桂中学校区	65	9.2	4.6	1.5	0.0	1.5	1.5	38.5	9.2	24.6	13.8	26.2
		上之島中学校区	105	7.6	8.6	1.9	1.0	0.0	5.7	15.2	1.0	8.6	10.5	25.7
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	3.6	3.6	0.9	0.0	4.5	8.0	21.4	8.9	17.9	10.7	26.8
		龍華中学校区	124	6.5	5.6	1.6	3.2	4.8	7.3	12.9	3.2	7.3	7.3	29.0
		亀井中学校区	71	9.9	11.3	0.0	0.0	1.4	7.0	21.1	2.8	11.3	15.5	21.1
	第3圏域	大正中学校区	97	5.2	8.2	5.2	2.1	4.1	3.1	19.6	5.2	12.4	10.3	22.7
		志紀中学校区	99	5.1	4.0	0.0	0.0	4.0	6.1	27.3	6.1	16.2	11.1	22.2
		曙川南中学校区	141	7.8	5.7	0.7	0.7	2.8	6.4	19.9	4.3	8.5	6.4	28.4
	第4圏域	成法中学校区	210	6.7	3.8	2.4	1.4	2.4	7.1	23.8	9.0	19.0	10.5	28.1
		曙川中学校区	100	8.0	5.0	1.0	0.0	2.0	5.0	15.0	11.0	15.0	15.0	19.0
		高美中学校区	83	8.4	7.2	0.0	1.2	1.2	1.2	16.9	10.8	15.7	9.6	25.3
	第5圏域	高安小中学校区	69	24.6	2.9	0.0	0.0	2.9	5.8	10.1	2.9	8.7	10.1	33.3
		南高安中学校区	81	13.6	2.5	1.2	0.0	1.2	2.5	19.8	3.7	11.1	6.2	28.4
		東中学校区	94	4.3	3.2	0.0	1.1	2.1	2.1	16.0	7.4	10.6	11.7	38.3

		合計	通所リハビリテーション 〔デイケア〕	短期入所生活（療養）介護 〔ショートステイ〕	福祉用具貸与（レンタル）	居宅療養管理指導	認知症対応型通所介護（認知症専用デイサービス）	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	利用していない（利用しなかった）	無回答	
全体		1,636	18.0	6.2	33.0	2.9	1.1	0.7	0.6	0.8	1.8	10.6	8.4	
生活の場所別	自宅	1,046	24.0	7.3	39.6	2.6	1.1	0.4	0.5	0.8	1.9	13.4	5.3	
	施設等	433	4.8	3.5	19.9	4.4	0.9	1.2	0.5	0.9	1.6	2.8	13.2	
年齢別	65～69歳	61	18.0	3.3	37.7	3.3	1.6	1.6	0.0	1.6	4.9	4.9	8.2	
	70～74歳	138	24.6	5.8	41.3	0.7	0.7	0.0	0.7	2.9	0.7	13.0	6.5	
	75～79歳	267	23.2	5.6	34.8	2.6	2.2	0.4	0.7	0.7	1.1	14.6	5.6	
	80～84歳	353	19.8	5.7	33.1	2.5	1.1	0.3	0.8	0.0	2.5	12.7	10.2	
	85歳以上	748	14.2	7.1	30.7	3.5	0.7	0.9	0.3	0.7	1.6	8.2	8.7	
認定状況別	要介護1	452	23.0	3.1	28.8	1.8	2.0	0.2	0.4	0.9	3.1	15.9	4.2	
	要介護2	370	20.3	4.6	37.0	2.7	0.3	0.0	0.3	0.5	0.8	9.2	8.9	
	要介護3	254	21.3	9.8	39.8	2.4	0.8	0.8	0.4	0.8	1.6	7.1	7.1	
	要介護4	254	14.6	9.8	33.5	4.3	1.2	2.0	1.2	0.4	2.4	5.9	7.5	
	要介護5	208	7.7	8.2	33.2	5.8	1.4	1.4	0.5	1.9	1.0	6.3	13.9	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	13.1	3.0	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	11.1	6.1
		桂中学校区	65	16.9	7.7	35.4	3.1	0.0	0.0	0.0	1.5	3.1	9.2	3.1
		上之島中学校区	105	22.9	4.8	36.2	3.8	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	14.3	5.7
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	21.4	6.3	31.3	2.7	2.7	0.0	0.0	0.9	1.8	12.5	8.9
		龍華中学校区	124	14.5	3.2	29.0	2.4	0.8	0.0	1.6	1.6	1.6	9.7	5.6
	第3圏域	亀井中学校区	71	12.7	1.4	36.6	2.8	1.4	0.0	2.8	0.0	2.8	12.7	7.0
		大正中学校区	97	21.6	7.2	33.0	5.2	2.1	2.1	1.0	0.0	2.1	8.2	5.2
		志紀中学校区	99	13.1	5.1	22.2	3.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	13.1	13.1
	第4圏域	曙川南中学校区	141	24.8	12.1	29.1	1.4	1.4	2.1	0.7	0.7	0.7	8.5	12.8
		成法中学校区	210	19.0	4.3	38.1	2.9	1.0	0.5	0.5	1.0	1.4	10.0	8.1
		曙川中学校区	100	18.0	7.0	35.0	6.0	1.0	0.0	0.0	0.0	2.0	13.0	6.0
		高美中学校区	83	12.0	2.4	25.3	2.4	0.0	1.2	0.0	1.2	2.4	12.0	9.6
	第5圏域	高安小中学校区	69	11.6	8.7	21.7	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	4.3	8.7	5.8
		南高安中学校区	81	19.8	6.2	34.6	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	12.3
	東中学校区		94	24.5	13.8	47.9	2.1	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	6.4	9.6

※網掛け■は最も割合が高いもの

(2) 利用している施設サービスの満足度

問4-1で「介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】」～「特定施設入居者生活介護【介護付有料老人ホーム】」と答えた人（施設サービスを利用している人）のみ、お答えください。

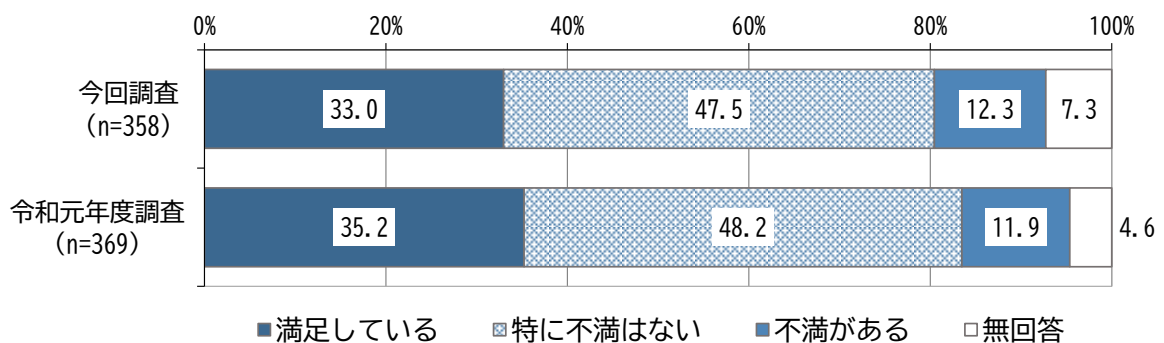
問4-1-1 あなたは現在、利用している施設サービスに満足していますか。（1つだけ）
また、「3. 不満がある」人は、理由をお答えください。

① 利用している施設サービスの満足度

利用している施設サービスの満足度については、「特に不満はない」が47.5%で最も高く、次いで「満足している」が33.0%、「不満がある」が12.3%となっています。

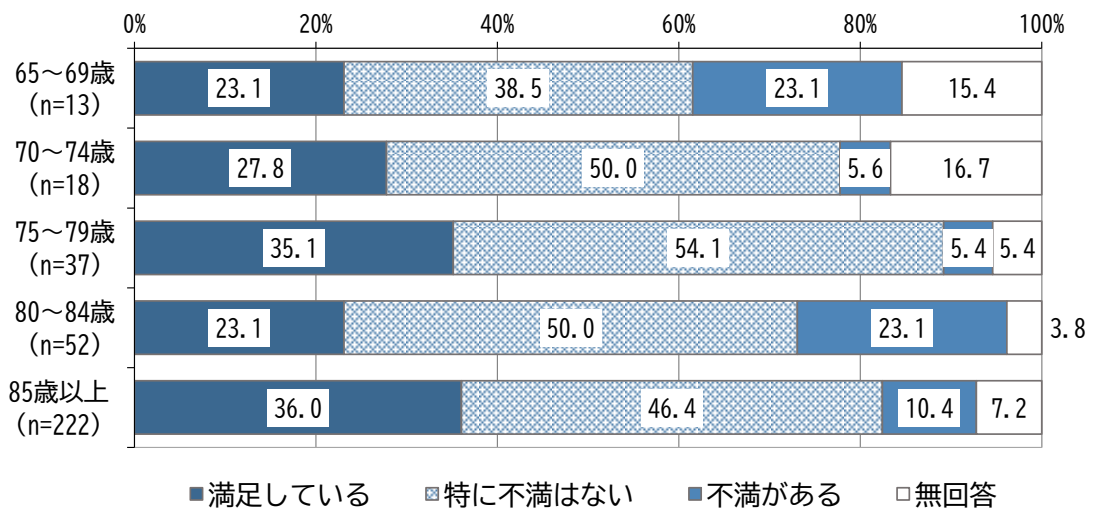
令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 3-5-3 利用している施設サービスの満足度



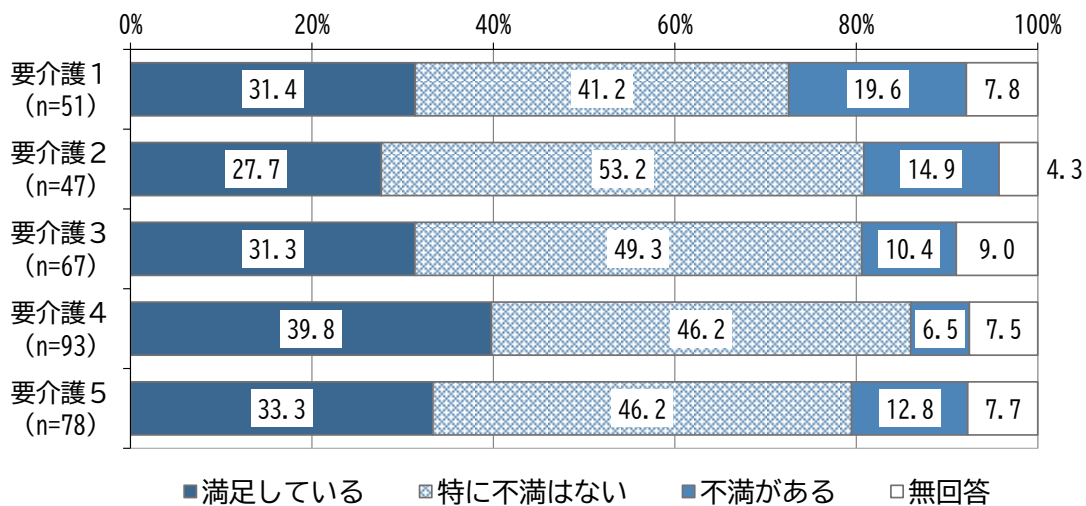
年齢別でみると、「満足している」では、85歳以上が36.0%で最も高く、「不満がある」では、65～69歳、80～84歳がいずれも23.1%で最も高くなっています。

図表 3-5-4 利用している施設サービスの満足度 年齢別



認定状況別でみると、「満足している」では、要介護4が39.8%で最も高く、「不満がある」では、要介護1が19.6%で最も高くなっています。

図表 3-5-5 利用している施設サービスの満足度 認定状況別

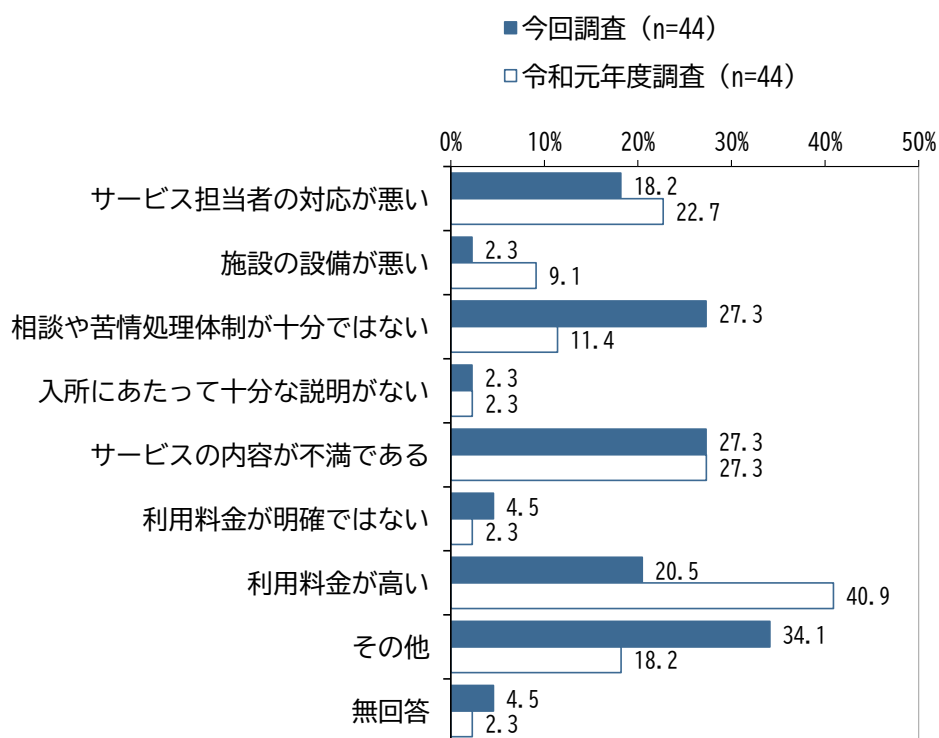


② 利用している居宅サービスの不満の理由

利用している居宅サービスの不満の理由については、「その他」が34.1%で最も高く、次いで「相談や苦情処理体制が十分ではない」、「サービスの内容が不満である」がいずれも27.3%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「相談や苦情処理体制が十分ではない」（27.3%）では、令和元（2019）年度調査（11.4%）より15.9ポイント増加しています。

図表 3-5-6 利用している居宅サービスの不満の理由



(3) ケアプランの満足度

問4-1で「訪問介護【ホームヘルプサービス】」～「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」と答えた人（居宅サービスを利用している人）のみ、お答えください。

問4-1-2 あなたは現在のケアプランに、満足していますか。（1つだけ）

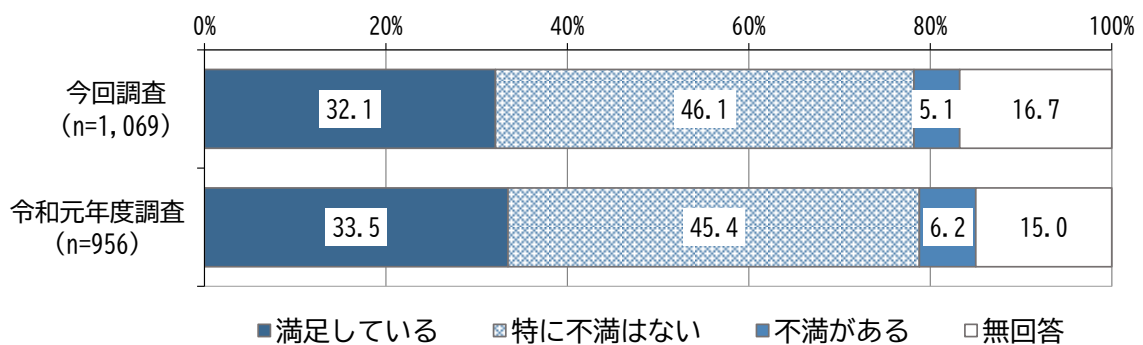
また、「3. 不満がある」人は、理由をお答えください。

① ケアプランの満足度

ケアプランの満足度については、「特に不満はない」が46.1%で最も高く、次いで「満足している」が32.1%、「不満がある」が5.1%となっています。

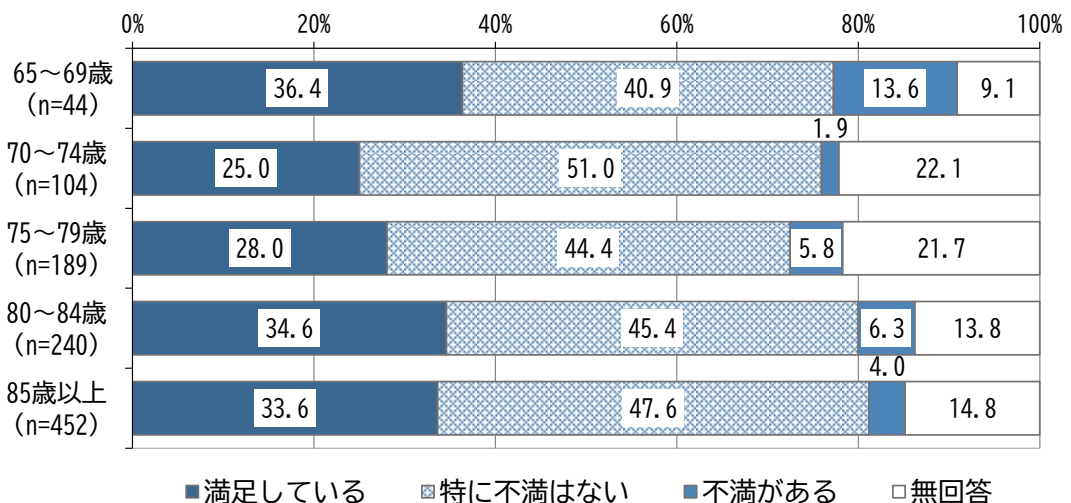
令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 3-5-7 ケアプランの満足度

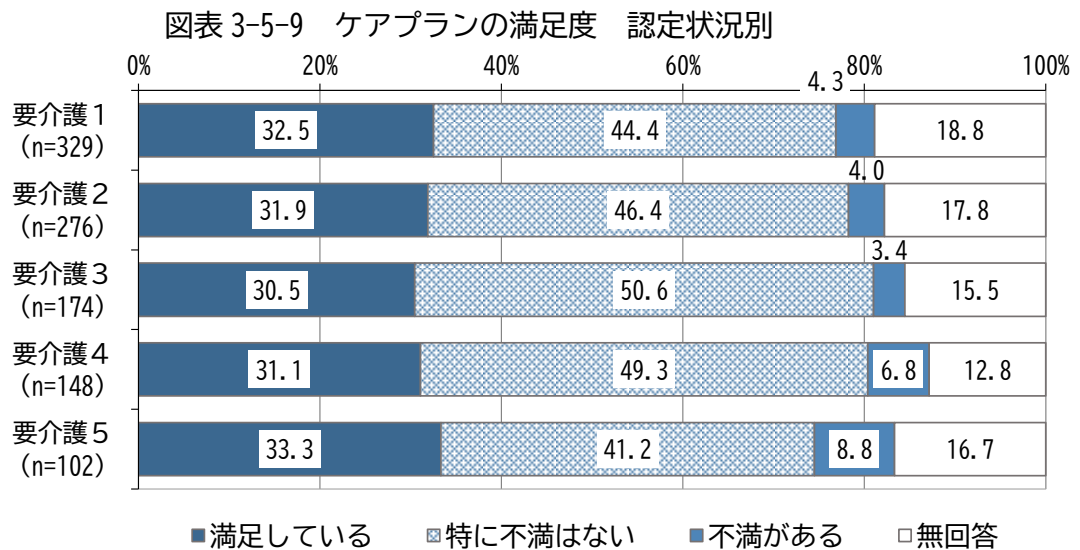


年齢別でみると、「満足している」では、65～69歳が36.4%で最も高く、「不満がある」についても65～69歳が13.6%で最も高くなっています。

図表 3-5-8 ケアプランの満足度 年齢別

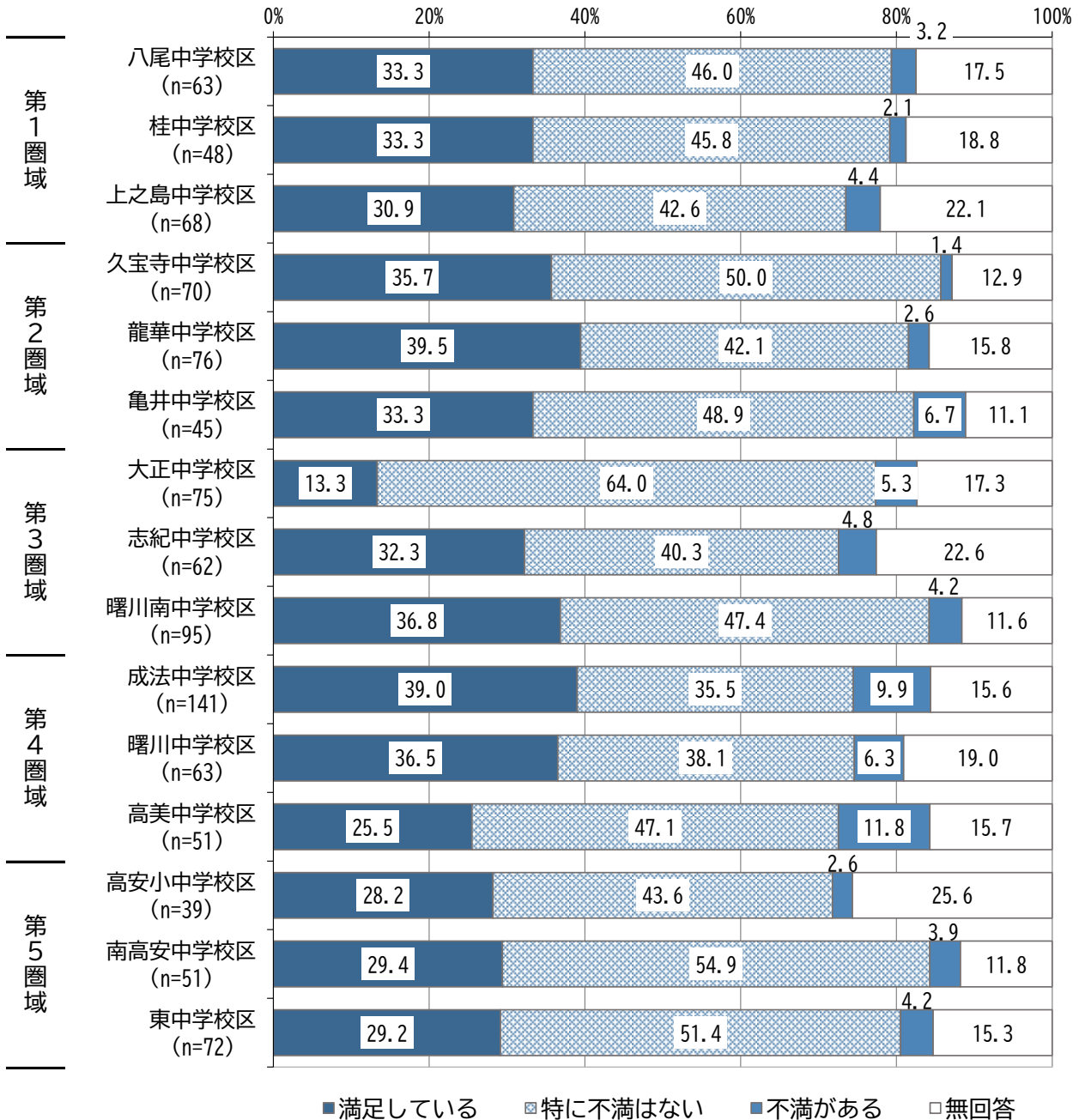


認定状況別でみると、「満足している」では、要介護5が33.3%で最も高く、「不満がある」についても要介護5が8.8%で最も高くなっています。



中学校区別でみると、「満足している」では、龍華中学校区が39.5%で最も高く、「不満がある」では、高美中学校区が11.8%で最も高くなっています。

図表 3-5-10 ケアプランの満足度 中学校区別

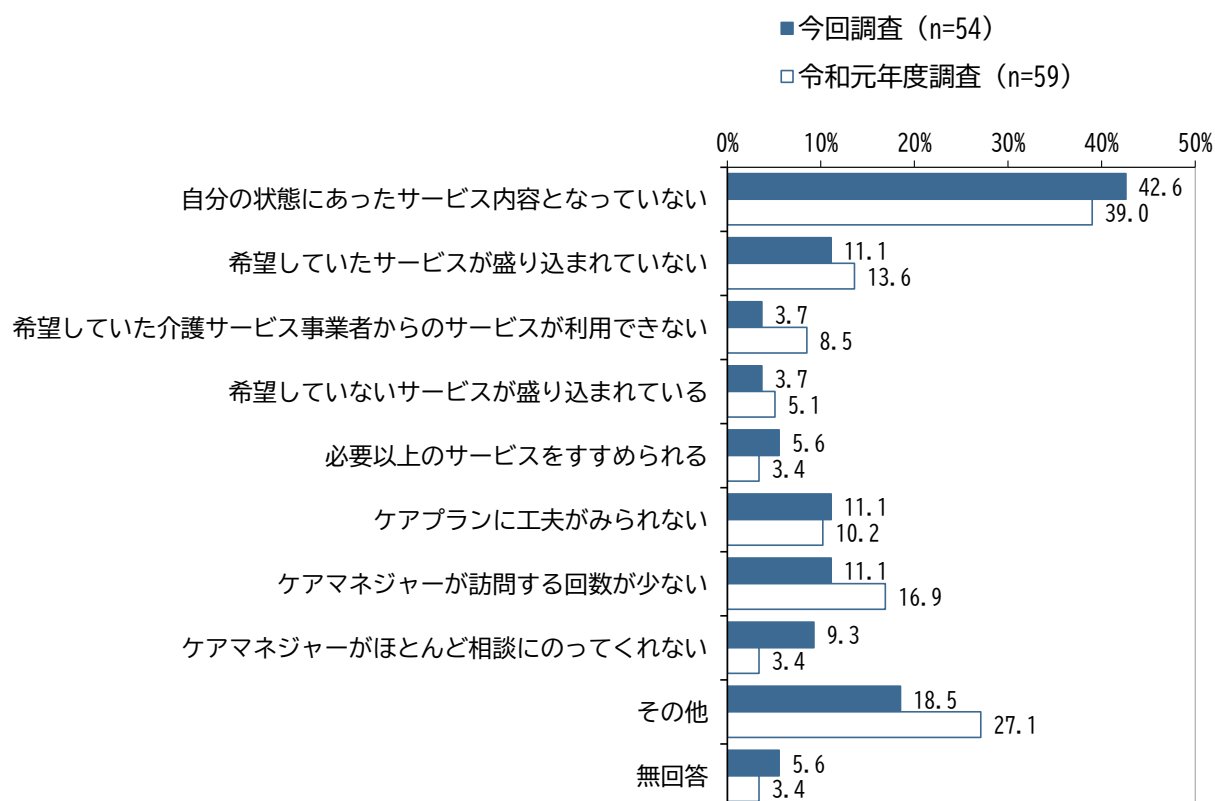


② ケアプランの不満の理由

ケアプランの不満の理由については、「自分の状態にあったサービス内容となっていない」が42.6%で最も高く、次いで「その他」が18.5%、「希望していたサービスが盛り込まれていない」、「ケアプランに工夫がみられない」、「ケアマネジャーが訪問する回数が少ない」がいずれも11.1%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「ケアマネジャーがほとんど相談にのってくれない」(9.3%)では、令和元(2019)年度調査(3.4%)より5.9ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 3-5-11 ケアプランの不満の理由



(4) 利用している居宅サービスの満足度

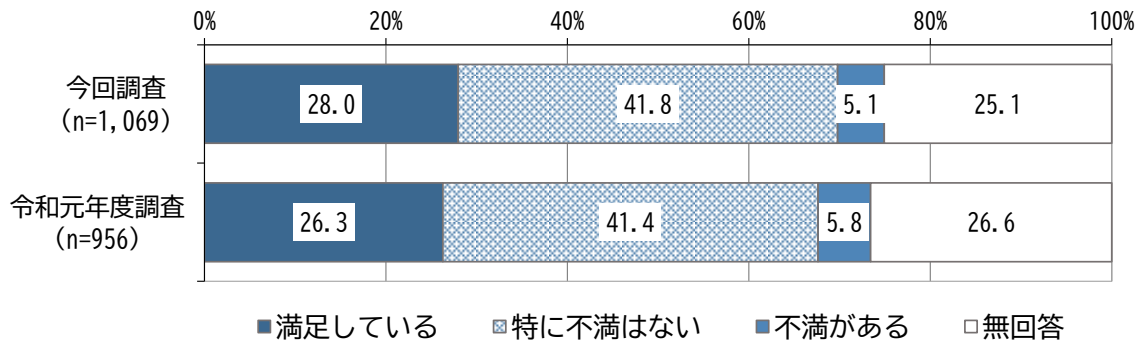
問4-1-3 あなたは現在、利用されている居宅サービスに、満足していますか。(1つだけ)
また、「3. 不満がある」人は、理由をお答えください。

① 利用している居宅サービスの満足度

利用している居宅サービスの満足度については、「特に不満はない」が41.8%で最も高く、次いで「満足している」が28.0%、「不満がある」が5.1%となっています。

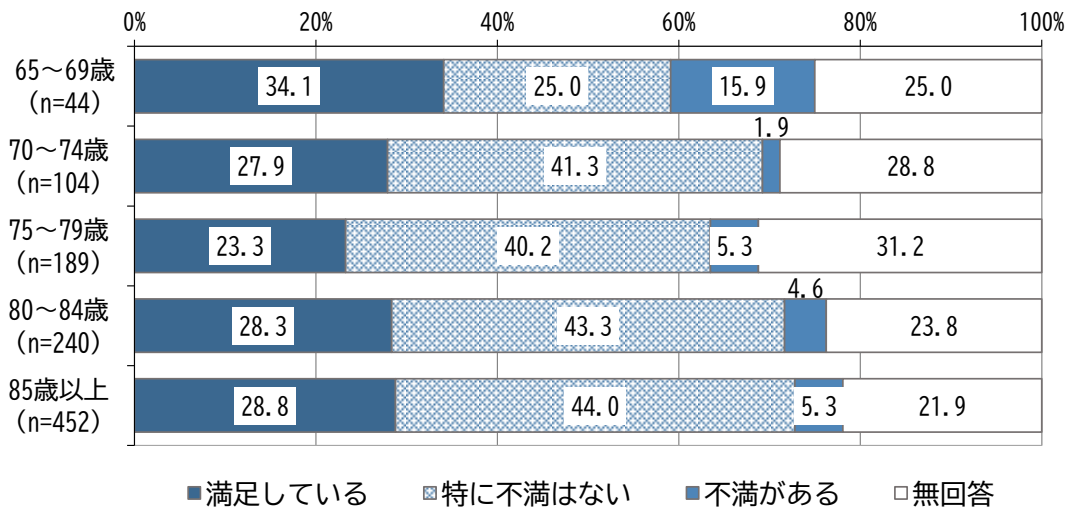
令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 3-5-12 利用している居宅サービスの満足度



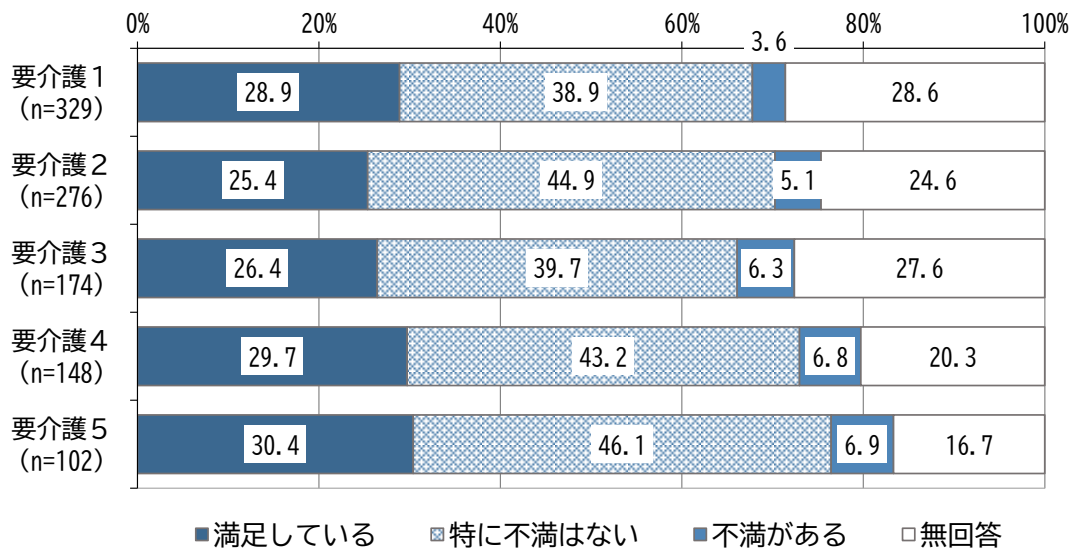
年齢別でみると、「満足している」では、65～69歳が34.1%で最も高く、「不満がある」についても65～69歳が15.9%で最も高くなっています。

図表 3-5-13 利用している居宅サービスの満足度 年齢別



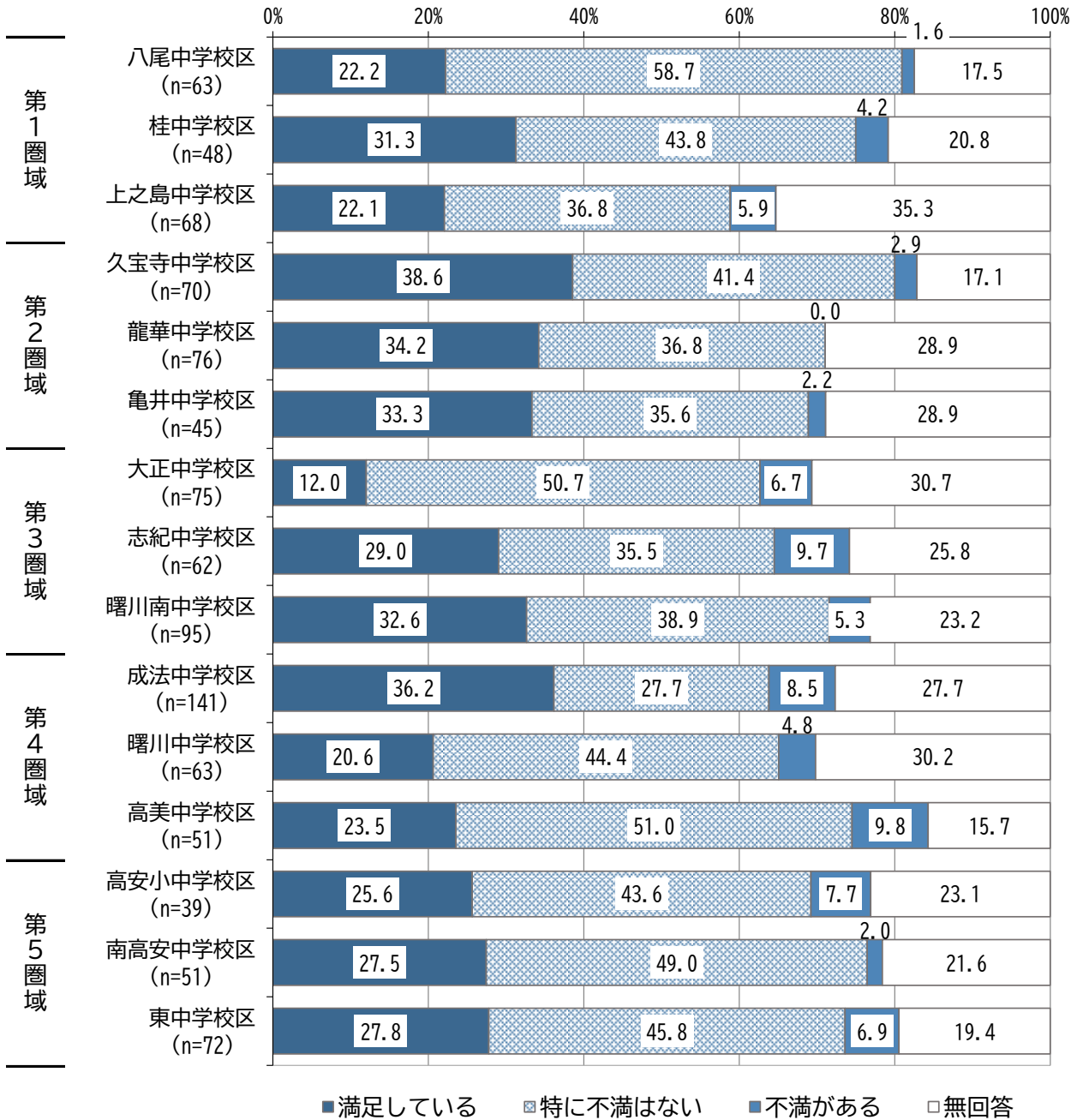
認定状況別でみると、「満足している」では、要介護5が30.4%で最も高く、「不満がある」についても要介護5が6.9%で最も高くなっています。

図表 3-5-14 利用している居宅サービスの満足度 認定状況別



中学校区別でみると、「満足している」では、久宝寺中学校区が38.6%で最も高く、「不満がある」では、高美中学校区が9.8%で最も高くなっています。

図表 3-5-15 利用している居宅サービスの満足度 中学校区別

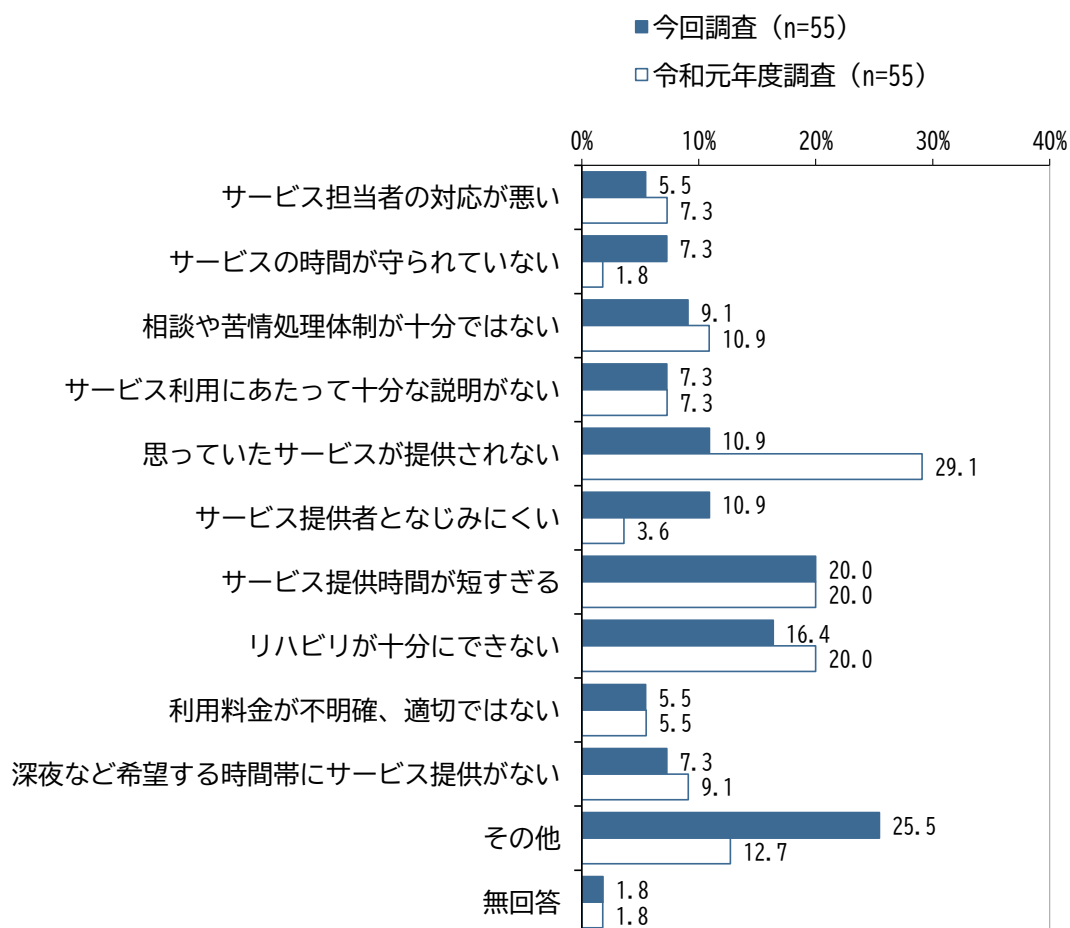


② 利用している居宅サービスの不満の理由

利用している居宅サービスの不満の理由については、「その他」が25.5%で最も高く、次いで「サービス提供時間が短すぎる」が20.0%、「リハビリが十分にできない」が16.4%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「サービス提供者となじみにくい」（10.9%）では、令和元（2019）年度調査（3.6%）より7.3ポイント増加しています。

図表 3-5-16 利用している居宅サービスの満足度 不満理由



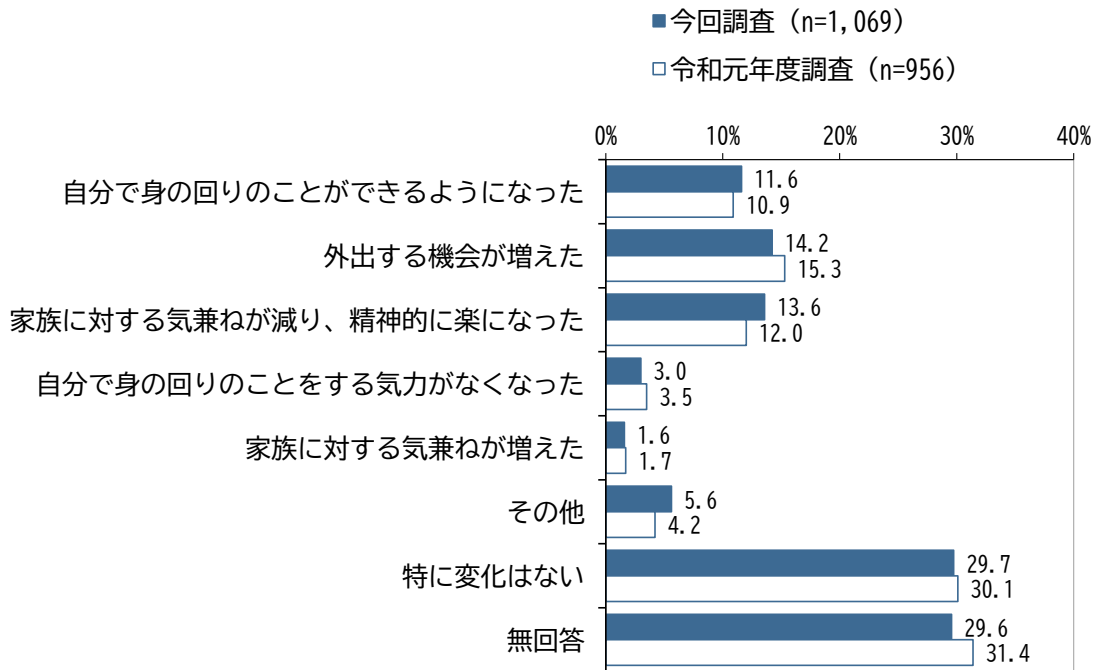
(5) 居宅サービスを利用したことによる生活の変化

問4-1-4 居宅サービスを利用することにより、あなたの生活にどのような変化がありましたか。(いくつでも)

居宅サービスを利用したことによる生活の変化については、「特に変化はない」が29.7%で最も高く、次いで「外出する機会が増えた」が14.2%、「家族に対する気兼ねが減り、精神的に楽になった」が13.6%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 3-5-17 居宅サービスを利用したことによる生活の変化



年齢別でみると、全ての年齢層で「特に変化はない」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、「特に変化はない」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要介護5が36.3%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、「自分で身の回りのことをする気力がなくなった」では、高安小中学校区が10.3%で最も高くなっています。

図表 3-5-18 居宅サービスを利用したことによる生活の変化 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	自分で身の回りのことができなくなった	外出する機会が増えた	家族に対する気兼ねが減り、精神的に楽になった	自分で身の回りのことをする気力がなくなった	家族に対する気兼ねが増えた	その他	特に変化はない	無回答	
全体		1,069	11.6	14.2	13.6	3.0	1.6	5.6	29.7	29.6	
年齢別	65～69歳	44	15.9	13.6	20.5	6.8	2.3	2.3	25.0	27.3	
	70～74歳	104	14.4	10.6	12.5	2.9	0.0	6.7	26.9	33.7	
	75～79歳	189	15.9	11.6	11.6	2.6	2.6	3.7	24.9	38.1	
	80～84歳	240	11.3	17.1	11.7	2.9	1.7	6.7	28.3	27.9	
	85歳以上	452	9.5	15.5	15.0	3.1	1.5	5.8	33.2	25.4	
認定状況別	要介護1	329	13.4	18.2	10.0	3.3	0.9	5.2	25.5	32.5	
	要介護2	276	13.8	13.4	14.1	2.5	1.8	6.5	29.7	29.0	
	要介護3	174	9.2	16.1	10.9	4.0	2.3	3.4	31.0	30.5	
	要介護4	148	8.8	10.8	16.9	2.7	2.0	5.4	33.8	28.4	
	要介護5	102	6.9	5.9	20.6	2.0	2.0	10.8	36.3	21.6	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	63	15.9	17.5	15.9	3.2	0.0	9.5	27.0	19.0
		桂中学校区	48	8.3	20.8	12.5	2.1	0.0	4.2	31.3	29.2
		上之島中学校区	68	8.8	17.6	13.2	0.0	0.0	4.4	22.1	41.2
	第2圏域	久宝寺中学校区	70	10.0	15.7	11.4	1.4	4.3	4.3	35.7	27.1
		龍華中学校区	76	11.8	17.1	15.8	2.6	5.3	3.9	23.7	28.9
		亀井中学校区	45	20.0	13.3	6.7	0.0	0.0	4.4	33.3	33.3
	第3圏域	大正中学校区	75	8.0	13.3	6.7	1.3	1.3	5.3	34.7	37.3
		志紀中学校区	62	11.3	8.1	24.2	1.6	1.6	8.1	22.6	30.6
		曙川南中学校区	95	8.4	15.8	17.9	8.4	1.1	4.2	29.5	23.2
	第4圏域	成法中学校区	141	15.6	13.5	11.3	2.1	0.0	6.4	29.8	31.9
		曙川中学校区	63	7.9	15.9	12.7	3.2	4.8	12.7	28.6	30.2
		高美中学校区	51	9.8	11.8	17.6	2.0	5.9	0.0	37.3	23.5
	第5圏域	高安小中学校区	39	12.8	7.7	12.8	10.3	0.0	5.1	23.1	35.9
南高安中学校区		51	17.6	15.7	17.6	2.0	0.0	3.9	21.6	27.5	
東中学校区		72	11.1	15.3	9.7	4.2	1.4	4.2	40.3	20.8	

※網掛け■は最も割合が高いもの

(6) 今後の介護保険サービスの利用意向

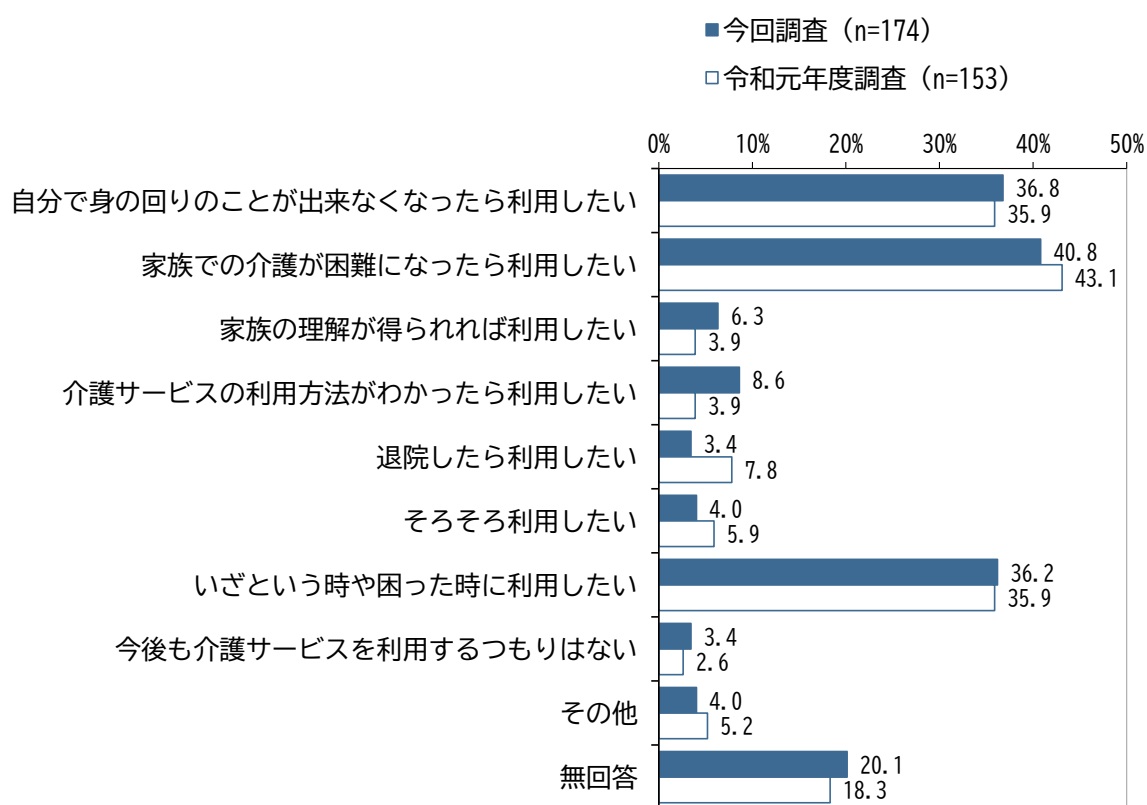
問4-1で「利用していない（利用しなくなった）」と答えた人のみ

問4-1-5 今後の介護サービスの利用について、どのようにお考えですか。（いくつでも）

今後の介護保険サービスの利用意向については、「家族での介護が困難になったら利用したい」が40.8%で最も高く、次いで「自分で身の回りのことが出来なくなったら利用したい」が36.8%、「いざという時や困った時に利用したい」が36.2%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「介護サービスの利用方法がわかったら利用したい」(8.6%)では、令和元(2019)年度調査(3.9%)より4.7ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 3-5-19 今後の介護保険サービスの利用意向



年齢別でみると、「家族での介護が困難になったら利用したい」では、80～84歳が51.1%で最も高くなっています。

認定状況別でみると、「家族での介護が困難になったら利用したい」では、要介護1が50.0%で最も高くなっています。

図表 3-5-20 今後の介護保険サービスの利用意向 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

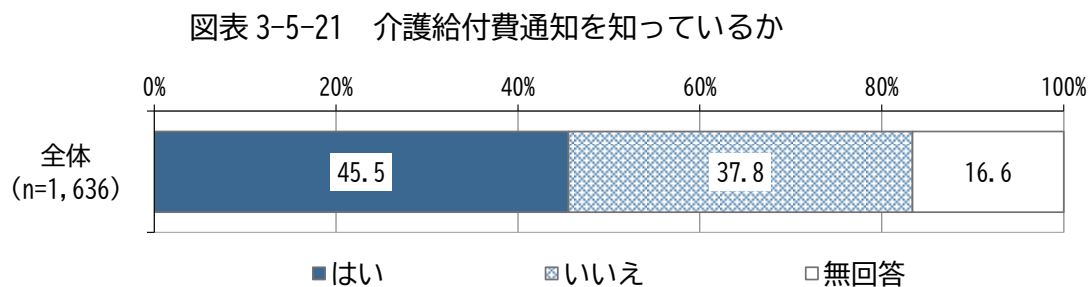
	合計	来 自 な く な 身 の 回 り の 事 が 出 る こ と が 出 る	家 族 で の 介 護 が 困 難 に な っ た ら 利 用 し た い	家 族 の 理 解 が 得 ら れ ば 利 用 し た い	介 護 サ ー ビ ス の 利 用 方 法 が わ か つ た ら 利 用 し た い	退 院 し た ら 利 用 し た い	そ ろ そ ろ 利 用 し た い	利 用 し た い と い う 時 や 困 っ た 時 に	今 後 も 介 護 サ ー ビ ス を 利 用 す る も ち ろ ろ	そ の 他	無 回 答
全体	174	36.8	40.8	6.3	8.6	3.4	4.0	36.2	3.4	4.0	20.1
年 齢 別	65～69歳	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0
	70～74歳	18	38.9	33.3	5.6	11.1	0.0	5.6	61.1	5.6	16.7
	75～79歳	39	43.6	33.3	5.1	10.3	0.0	5.1	30.8	0.0	23.1
	80～84歳	45	35.6	51.1	8.9	11.1	2.2	2.2	40.0	6.7	22.2
	85歳以上	61	32.8	42.6	6.6	4.9	6.6	3.3	26.2	3.3	19.7
認 定 状 況 別	要介護1	72	40.3	50.0	6.9	8.3	0.0	2.8	37.5	5.6	15.3
	要介護2	34	29.4	35.3	2.9	5.9	0.0	2.9	35.3	2.9	23.5
	要介護3	18	44.4	44.4	5.6	11.1	5.6	11.1	44.4	0.0	16.7
	要介護4	15	26.7	33.3	6.7	6.7	13.3	0.0	26.7	6.7	26.7
	要介護5	13	23.1	23.1	0.0	15.4	23.1	0.0	38.5	0.0	15.4

※網掛け■は最も割合が高いもの

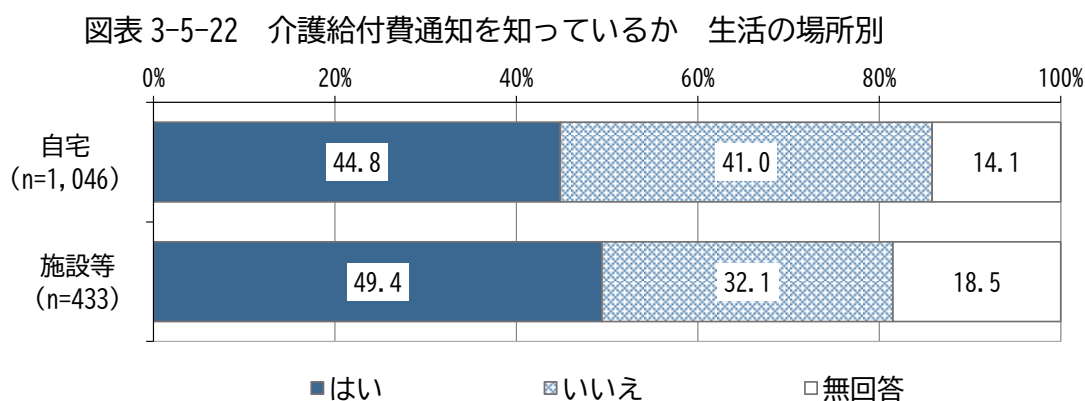
(7) 介護給付費通知を知っているか

問4-1-6 あなたは、半年ごとの介護サービス利用実績を記載した「介護給付費通知」を知っていますか。(1つだけ)

介護給付費通知を知っているかについては、「はい」が45.5%、「いいえ」が37.8%となっています。

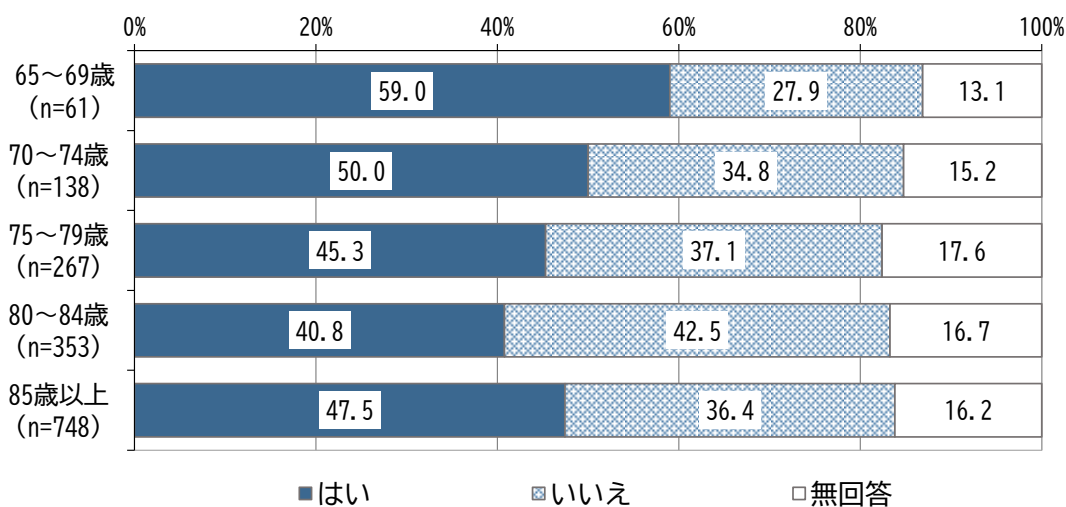


生活の場所別でみると、「はい」では、自宅が44.8%、施設等が49.4%で最も高くなっています。



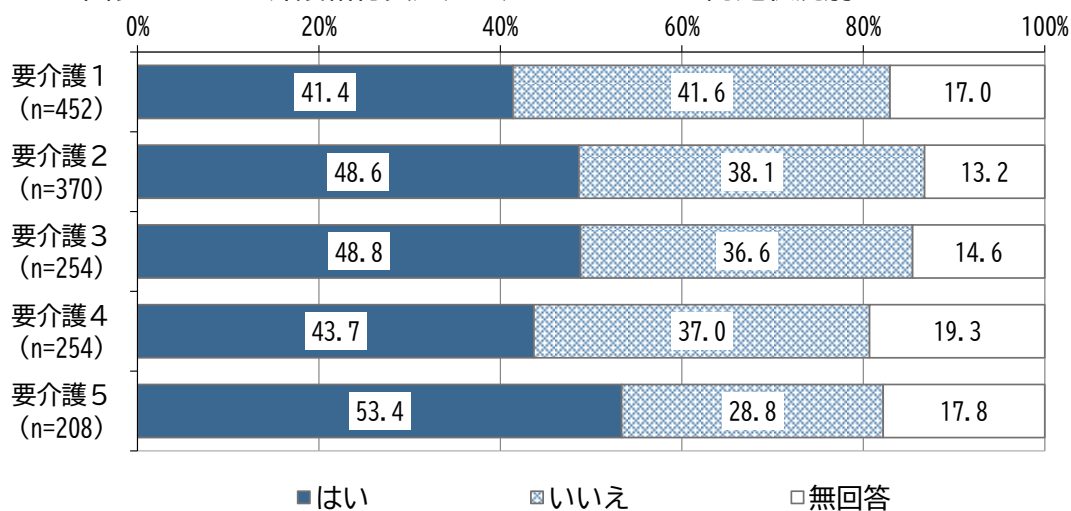
年齢別でみると、「はい」では、65～69歳が59.0%で最も高くなっています。

図表 3-5-23 介護給付費通知を知っているか 年齢別



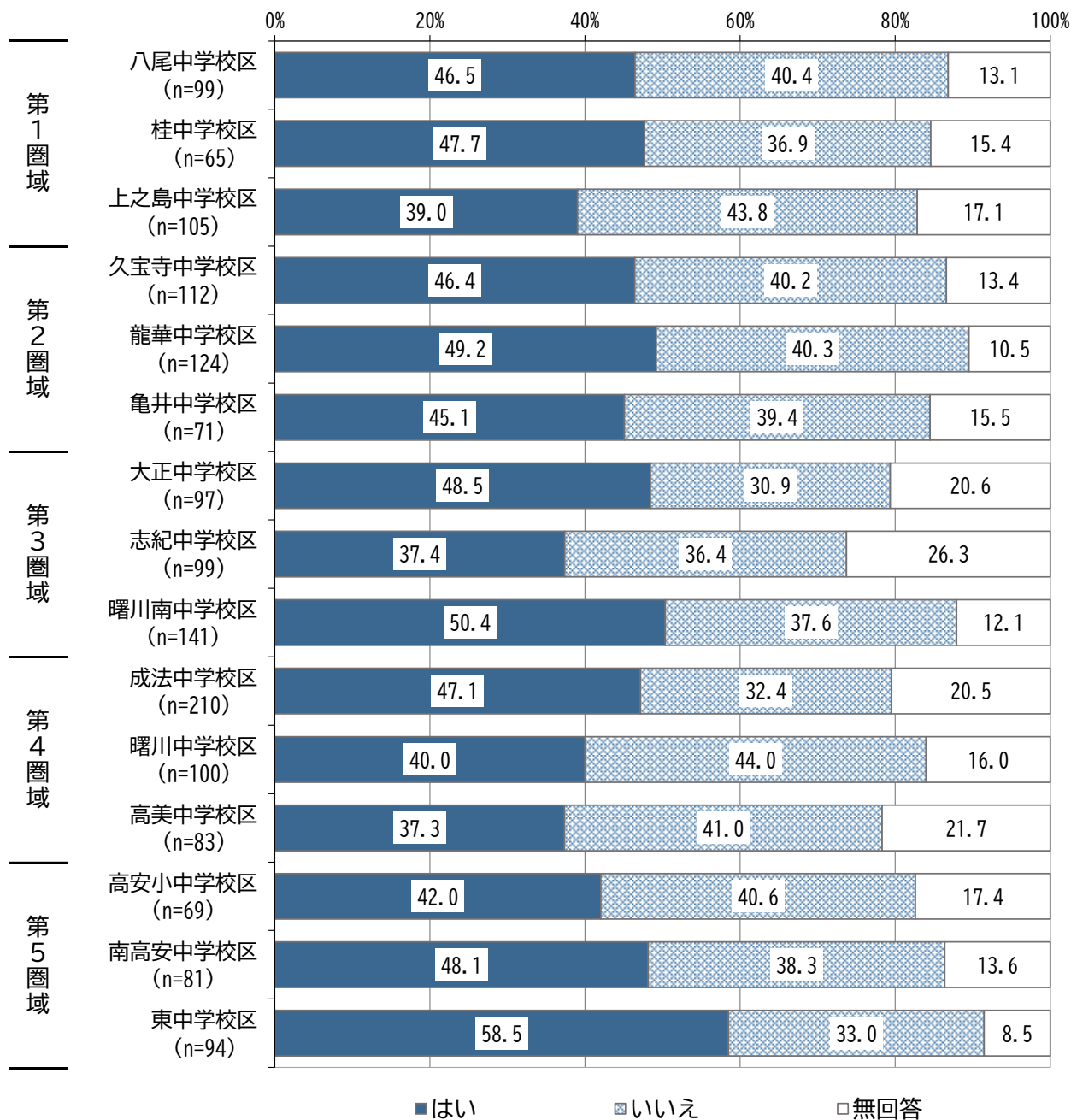
認定状況別でみると、「はい」では、要介護5が53.4%で最も高く、「いいえ」では、要介護1が41.6%で最も高くなっています。

図表 3-5-24 介護給付費通知を知っているか 認定状況別



中学校区別でみると、「はい」では、東中学校区が58.5%で最も高く、「いいえ」では、曙川中学校区が44.0%で最も高くなっています。

図表 3-5-25 介護給付費通知を知っているか 中学校区別



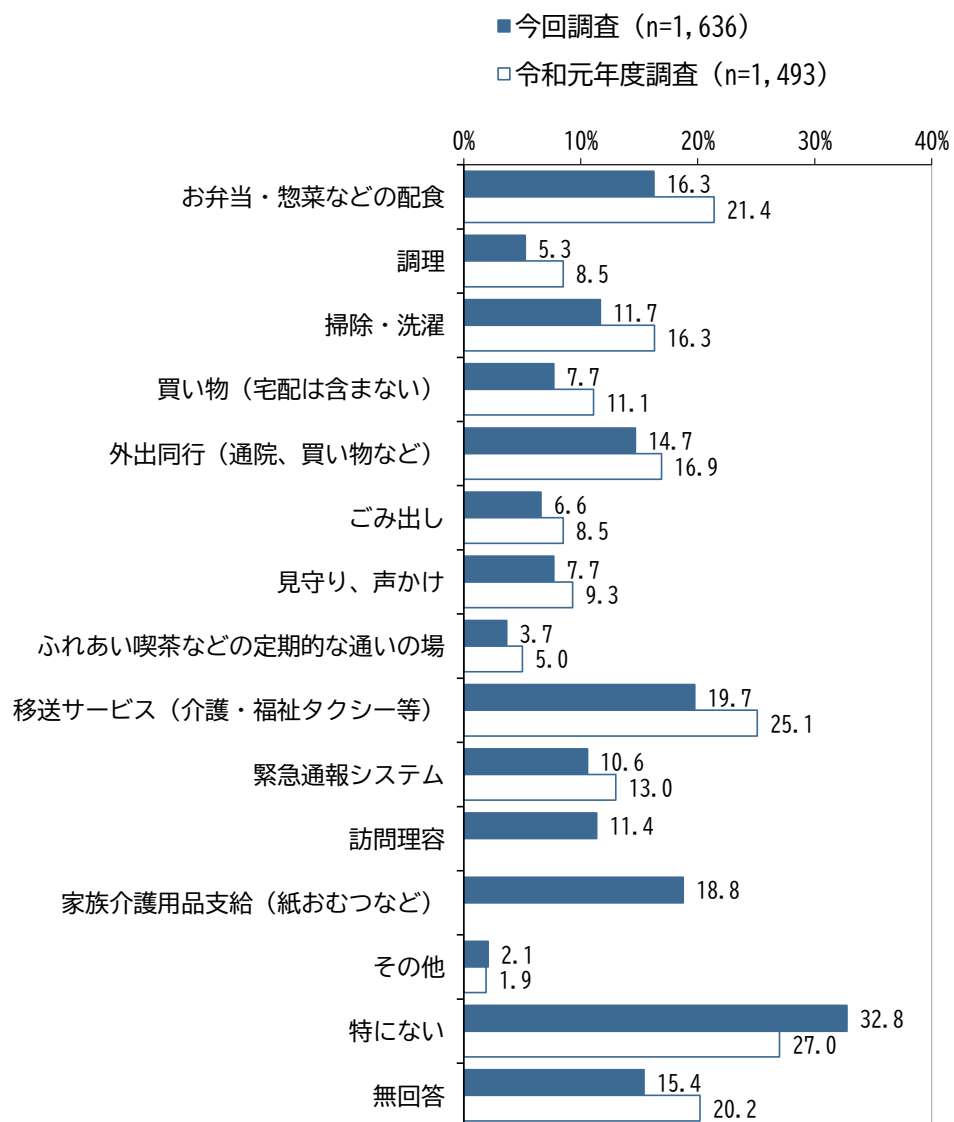
(8) 介護保険サービス以外で在宅生活のために利用したいサービス

問4-2 「介護保険サービス以外」で、今後の在宅生活のために利用したいサービスはありますか。(いくつでも)

介護保険サービス以外で在宅生活のために利用したいサービスについては、「特にない」が32.8%で最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が19.7%、「家族介護用品支給(紙おむつなど)」が18.8%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較できる項目で比較すると、「特にない」(32.8%)では、令和元(2019)年度調査(27.0%)より5.8ポイント増加しています。

図表 3-5-26 介護保険サービス以外で在宅生活のために利用したいサービス



※ 「訪問理容」、「家族介護用品支給(紙おむつなど)」は今回調査からの選択肢。

生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「特にない」の割合が最も高くなっています。
 年齢別でみると、全ての年齢層で「特にない」の割合が最も高くなっています。
 認定状況別でみると、全ての認定状況で「特にない」の割合が最も高くなっています。
 中学校区別でみると、東中学校区では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が最も高く、それ以外の中学校区では「特にない」の割合が最も高くなっています。

図表 3-5-27 介護保険サービス以外で在宅生活のために利用したいサービス 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	食お弁当・惣菜などの配	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	外出同行（通院、買い物など）	ごみ出し	見守り、声かけ	ふれあい喫茶などの定期的な通いの場	福祉サービス（介護・福祉タクシー等）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	緊急通報システム
全体		1,636	16.3	5.3	11.7	7.7	14.7	6.6	7.7	3.7	19.7	10.6	
生活の場所別	自宅	1,046	18.9	5.5	12.9	7.8	15.3	7.3	6.8	3.8	21.9	11.6	
	施設等	433	10.6	4.6	8.3	6.9	14.8	5.1	8.8	4.2	15.0	8.1	
年齢別	65～69歳	61	9.8	4.9	11.5	1.6	14.8	4.9	6.6	3.3	21.3	13.1	
	70～74歳	138	16.7	5.1	10.1	10.1	16.7	4.3	5.8	1.4	21.0	9.4	
	75～79歳	267	18.7	4.5	9.4	6.4	12.4	4.1	5.6	3.7	18.7	7.9	
	80～84歳	353	17.8	5.1	10.8	7.4	15.3	5.4	7.4	4.2	22.4	11.0	
	85歳以上	748	14.8	5.7	13.8	8.3	14.8	8.6	8.7	3.7	19.0	11.8	
認定状況別	要介護1	452	20.6	7.7	15.3	9.7	15.9	8.6	10.0	5.3	18.4	11.9	
	要介護2	370	15.9	4.3	13.2	9.2	16.2	7.6	5.9	3.5	18.1	9.2	
	要介護3	254	13.8	3.5	7.5	5.5	15.0	2.8	4.3	1.2	27.2	9.8	
	要介護4	254	11.8	5.1	9.4	5.5	15.7	6.3	8.3	4.7	20.1	10.6	
	要介護5	208	13.9	3.8	9.1	5.3	9.6	4.8	8.7	2.9	18.8	11.1	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	20.2	3.0	12.1	7.1	15.2	5.1	7.1	2.0	16.2	9.1
		桂中学校区	65	15.4	3.1	12.3	9.2	9.2	9.2	6.2	1.5	18.5	10.8
		上之島中学校区	105	18.1	2.9	8.6	2.9	9.5	3.8	7.6	1.0	24.8	9.5
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	10.7	4.5	10.7	7.1	10.7	9.8	7.1	3.6	22.3	9.8
		龍華中学校区	124	15.3	5.6	10.5	8.9	16.9	7.3	8.9	4.8	21.8	15.3
		亀井中学校区	71	14.1	8.5	9.9	8.5	14.1	7.0	5.6	5.6	22.5	11.3
	第3圏域	大正中学校区	97	22.7	3.1	13.4	7.2	14.4	8.2	6.2	3.1	26.8	12.4
		志紀中学校区	99	14.1	11.1	13.1	13.1	13.1	10.1	6.1	2.0	20.2	7.1
		曙川南中学校区	141	14.9	5.0	11.3	7.1	17.0	5.0	9.2	3.5	17.7	7.1
	第4圏域	成法中学校区	210	17.1	5.7	12.4	7.1	17.1	4.3	9.0	3.3	11.4	11.4
		曙川中学校区	100	17.0	4.0	13.0	6.0	15.0	5.0	8.0	5.0	20.0	13.0
		高美中学校区	83	20.5	4.8	12.0	3.6	14.5	4.8	8.4	4.8	15.7	9.6
	第5圏域	高安小中学校区	69	10.1	5.8	13.0	4.3	14.5	8.7	5.8	4.3	18.8	7.2
南高安中学校区		81	13.6	6.2	14.8	6.2	17.3	7.4	6.2	6.2	24.7	12.3	
東中学校区		94	23.4	5.3	11.7	12.8	19.1	6.4	7.4	4.3	29.8	6.4	

※網掛け■は最も割合が高いもの

		合計	訪問理容	家族介護用品支給(紙おむつなど)	その他	特にない	無回答	
全体		1,636	11.4	18.8	2.1	32.8	15.4	
生活の場所別	自宅	1,046	11.8	21.7	1.7	31.0	10.2	
	施設等	433	9.9	12.0	2.5	40.9	22.9	
年齢別	65～69歳	61	6.6	18.0	0.0	36.1	14.8	
	70～74歳	138	10.9	13.0	2.9	36.2	8.7	
	75～79歳	267	10.5	16.9	1.1	36.3	15.4	
	80～84歳	353	10.8	19.5	2.5	28.9	18.1	
	85歳以上	748	12.6	20.1	2.3	33.6	14.7	
認定状況別	要介護1	452	10.2	15.7	2.0	31.9	10.8	
	要介護2	370	12.7	20.3	2.4	35.7	12.7	
	要介護3	254	11.0	24.0	2.0	31.1	15.4	
	要介護4	254	11.8	20.9	1.2	29.1	18.9	
	要介護5	208	9.6	15.9	2.4	36.5	23.1	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	8.1	21.2	0.0	31.3	14.1
		桂中学校区	65	21.5	24.6	3.1	40.0	12.3
		上之島中学校区	105	11.4	23.8	1.9	27.6	19.0
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	14.3	18.8	1.8	37.5	11.6
		龍華中学校区	124	5.6	19.4	0.8	39.5	13.7
		亀井中学校区	71	4.2	15.5	1.4	36.6	15.5
	第3圏域	大正中学校区	97	15.5	21.6	3.1	28.9	10.3
		志紀中学校区	99	10.1	13.1	5.1	35.4	19.2
		曙川南中学校区	141	13.5	20.6	3.5	31.2	14.9
	第4圏域	成法中学校区	210	10.0	14.8	1.9	35.2	18.1
		曙川中学校区	100	9.0	16.0	0.0	31.0	15.0
		高美中学校区	83	8.4	10.8	2.4	26.5	20.5
	第5圏域	高安小中学校区	69	14.5	24.6	0.0	36.2	17.4
		南高安中学校区	81	12.3	22.2	0.0	32.1	12.3
		東中学校区	94	13.8	20.2	3.2	28.7	8.5

※網掛け■は最も割合が高いもの

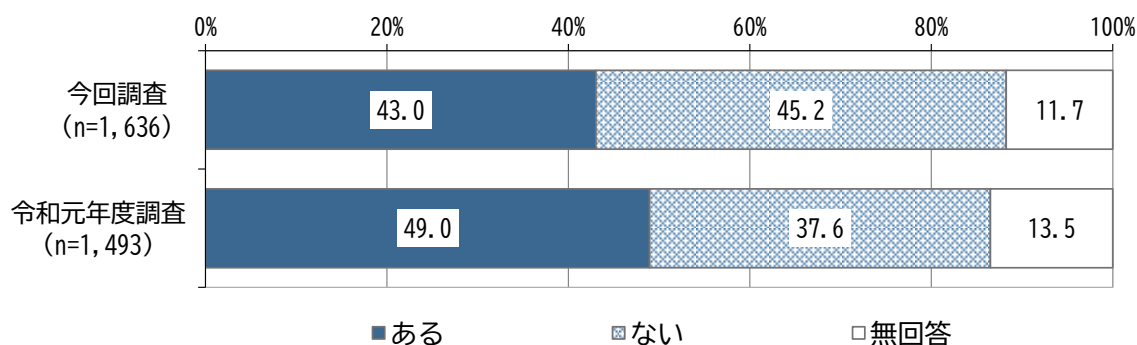
(9) 過去2年間に入院したことがあるか

問4-3 過去2年間に医療機関に入院したことがありますか。(1つだけ)

過去2年間に入院したことがあるかについては、「ある」が43.0%、「ない」が45.2%でとなっています。

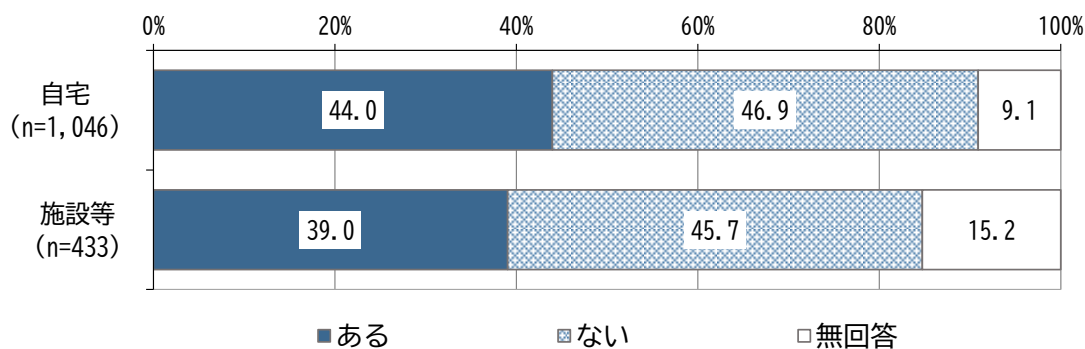
令和元(2019)年度調査と比較すると、「ない」(45.2%)では、令和元(2019)年度調査(37.6%)より7.6ポイント増加しています。

図表 3-5-28 過去2年間に入院したことがあるか



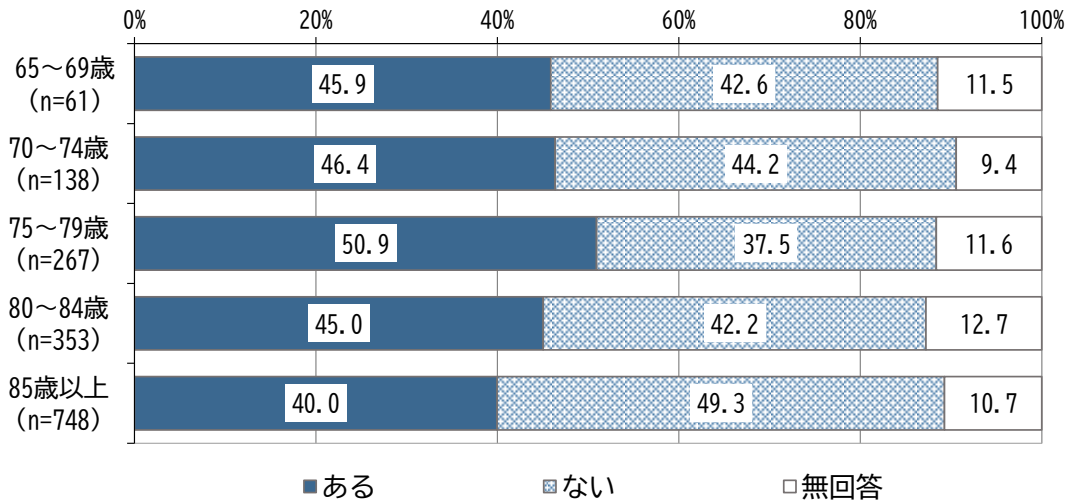
生活の場所別でみると、「ある」では、自宅が44.0%、施設等が39.0%となっています。

図表 3-5-29 過去2年間に入院したことがあるか 生活の場所別



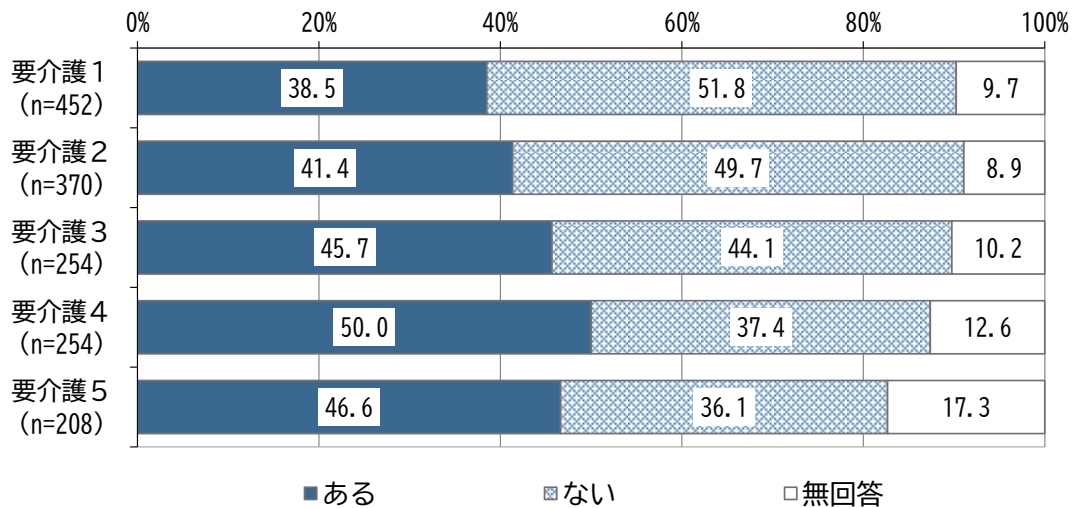
年齢別でみると、「ある」では、75～79歳が50.9%で最も高く、「ない」では、85歳以上が49.3%で最も高くなっています。

図表 3-5-30 過去2年間に入院したことがあるか 年齢別



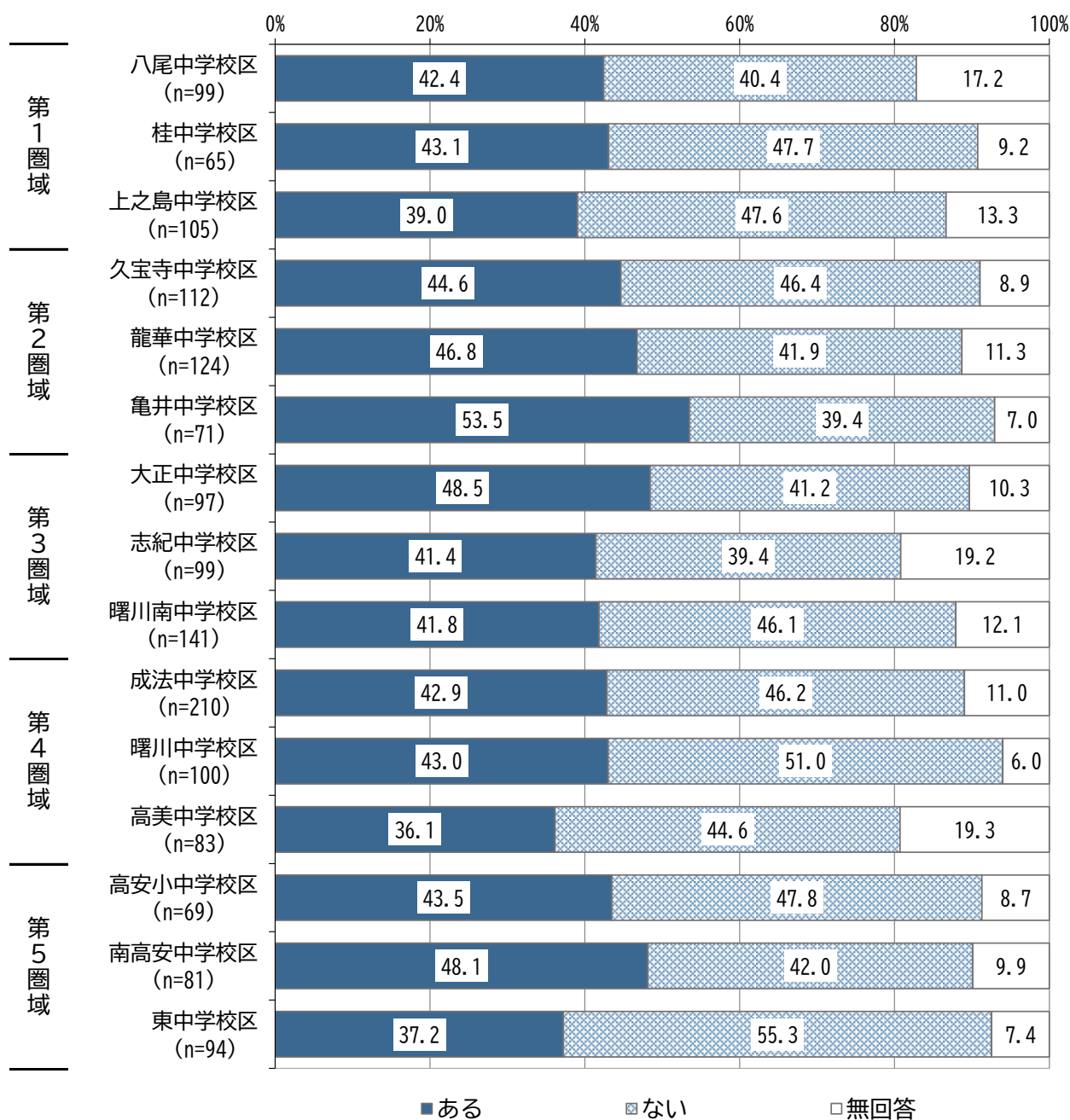
認定状況別でみると、「ある」では、要介護4が50.0%で最も高く、「ない」では、要介護1が51.8%で最も高くなっています。

図表 3-5-31 過去2年間に入院したことがあるか 認定状況別



中学校区別でみると、「ある」では、亀井中学校区が53.5%で最も高くなっています。

図表 3-5-32 過去2年間に入院したことがあるか 中学校区別



(10) 退院後介護保険サービスへの移行や連携で困ったこと

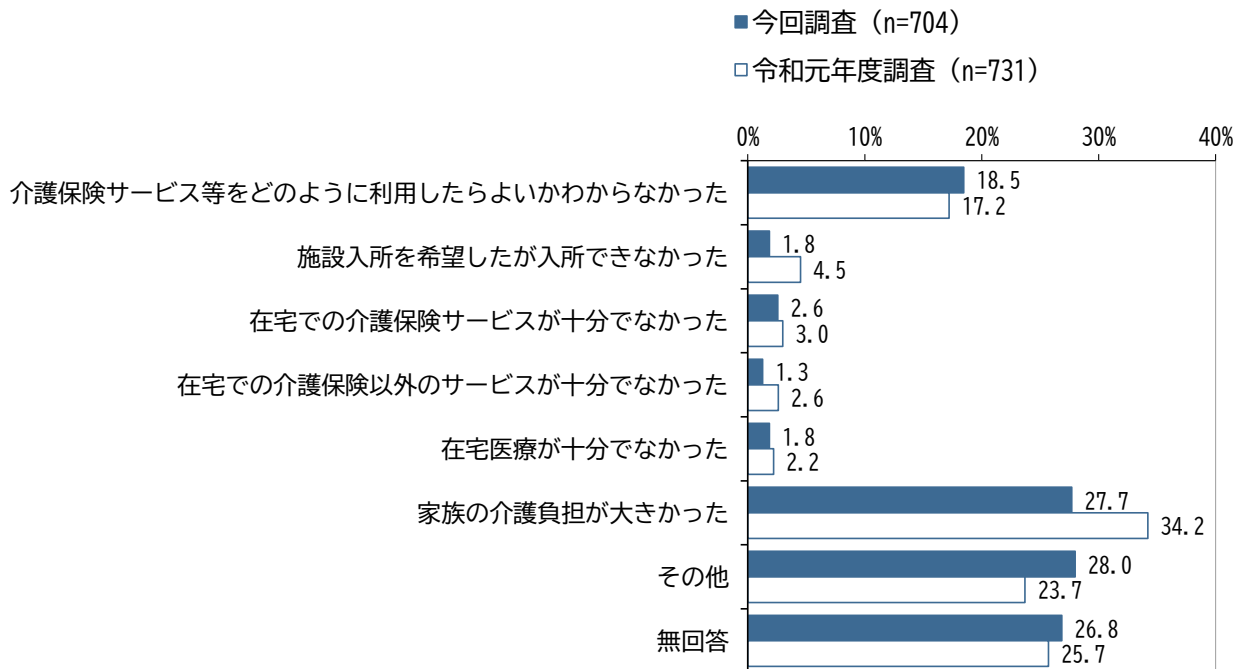
問4-3で「ある」と答えた人（入院したことがある人）のみ、お答えください。

問4-3-1 退院後、介護保険等サービスへの移行や連携で困ったことはありますか。
(いくつでも)

退院後介護保険サービスへの移行や連携で困ったことについては、「その他」が28.0%で最も高く、次いで「家族の介護負担が大きかった」が27.7%、「介護保険サービス等をどのように利用したらよいかわからなかった」が18.5%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「家族の介護負担が大きかった」（27.7%）では、令和元（2019）年度調査（34.2%）より6.5ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

図表 3-5-33 退院後介護保険サービスへの移行や連携で困ったこと



生活の場所別でみると、自宅では「家族の介護負担が大きかった」が30.2%で最も高く、施設等では「その他」が35.5%で最も高くなっています。

年齢別でみると、「家族の介護負担が大きかった」では、80～84歳が35.8%で最も高くなっています。

認定状況別でみると、「家族の介護負担が大きかった」では、要介護2が34.6%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、「介護保険サービス等をどのように利用したらよいかわからなかった」では、東中学校区が37.1%で最も高くなっています。

図表 3-5-34 退院後介護保険サービスへの移行や連携で困ったこと 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	介護保険サービス等 から利用した よいかわ らなかつた	施設入所を希望 したが入所 できなかつた	在宅での介護保 険サービス が十分でなかつた	在宅での介護保 険以外のサ ービスが十分 でなかつた	在宅医療が十分 でなかつた	家族の介護負担 が大きかつた	その他	無回答	
全体		704	18.5	1.8	2.6	1.3	1.8	27.7	28.0	26.8	
生活の場所別	自宅	460	20.2	0.9	2.4	1.5	1.3	30.2	24.3	26.5	
	施設等	169	14.8	4.1	2.4	0.6	3.0	22.5	35.5	28.4	
年齢別	65～69歳	28	21.4	3.6	0.0	0.0	0.0	21.4	28.6	28.6	
	70～74歳	64	21.9	1.6	1.6	1.6	1.6	23.4	15.6	39.1	
	75～79歳	136	18.4	2.2	0.7	1.5	0.7	28.7	27.9	28.7	
	80～84歳	159	19.5	1.3	5.7	2.5	1.3	35.8	22.0	22.6	
	85歳以上	299	17.1	2.0	2.3	0.7	3.0	24.7	33.1	25.4	
認定状況別	要介護1	174	21.3	0.6	3.4	1.7	1.7	24.7	24.7	27.6	
	要介護2	153	17.6	1.3	0.7	0.0	1.3	34.6	20.3	32.0	
	要介護3	116	19.0	2.6	2.6	0.0	1.7	32.8	33.6	19.0	
	要介護4	127	20.5	0.8	3.9	1.6	1.6	24.4	30.7	25.2	
	要介護5	97	13.4	6.2	2.1	3.1	3.1	25.8	35.1	21.6	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	42	28.6	7.1	2.4	2.4	2.4	26.2	28.6	16.7
		桂中学校区	28	10.7	7.1	0.0	3.6	0.0	35.7	21.4	28.6
		上之島中学校区	41	9.8	0.0	2.4	0.0	2.4	31.7	31.7	29.3
	第2圏域	久宝寺中学校区	50	18.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.0	26.0	28.0
		龍華中学校区	58	13.8	1.7	0.0	0.0	1.7	24.1	25.9	34.5
		亀井中学校区	38	23.7	0.0	0.0	2.6	0.0	23.7	21.1	39.5
	第3圏域	大正中学校区	47	21.3	2.1	2.1	0.0	0.0	36.2	23.4	25.5
		志紀中学校区	41	9.8	0.0	2.4	2.4	2.4	29.3	26.8	31.7
		曙川南中学校区	59	25.4	1.7	3.4	0.0	0.0	27.1	25.4	30.5
	第4圏域	成法中学校区	90	16.7	1.1	5.6	3.3	3.3	28.9	30.0	24.4
		曙川中学校区	43	20.9	0.0	2.3	2.3	0.0	25.6	27.9	25.6
		高美中学校区	30	3.3	0.0	6.7	0.0	0.0	26.7	26.7	46.7
	第5圏域	高安小中学校区	30	23.3	3.3	6.7	0.0	6.7	20.0	40.0	10.0
南高安中学校区		39	20.5	0.0	5.1	2.6	5.1	17.9	43.6	10.3	
東中学校区		35	37.1	5.7	0.0	0.0	0.0	25.7	22.9	17.1	

※網掛け■は最も割合が高いもの

6 お住まいの地域について

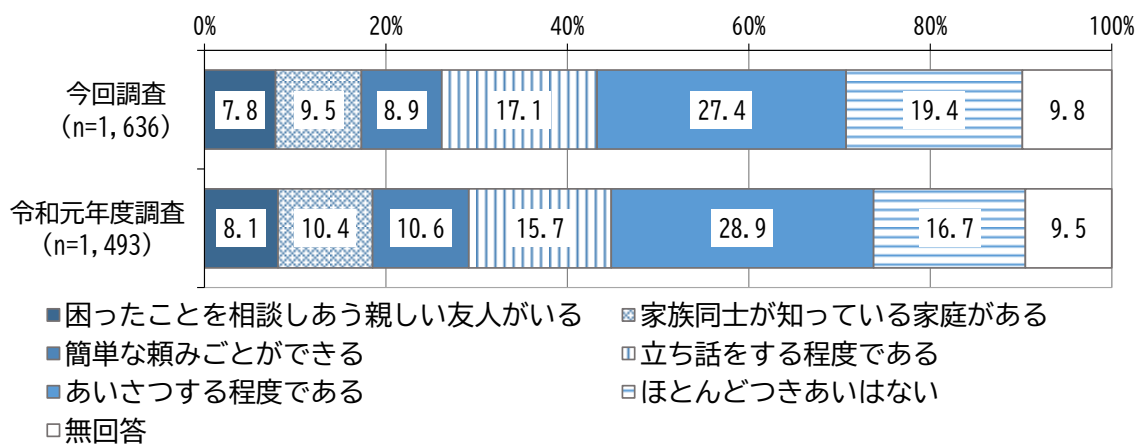
(1) 普段隣近所の人とどの程度の交流があるか

問5-1 普段隣近所の人とどの程度の交流がありますか。(1つだけ)

普段隣近所の人とどの程度の交流があるかについては、「あいさつする程度である」が27.4%で最も高く、次いで「ほとんどつきあいはない」が19.4%、「立ち話をする程度である」が17.1%と続いています。

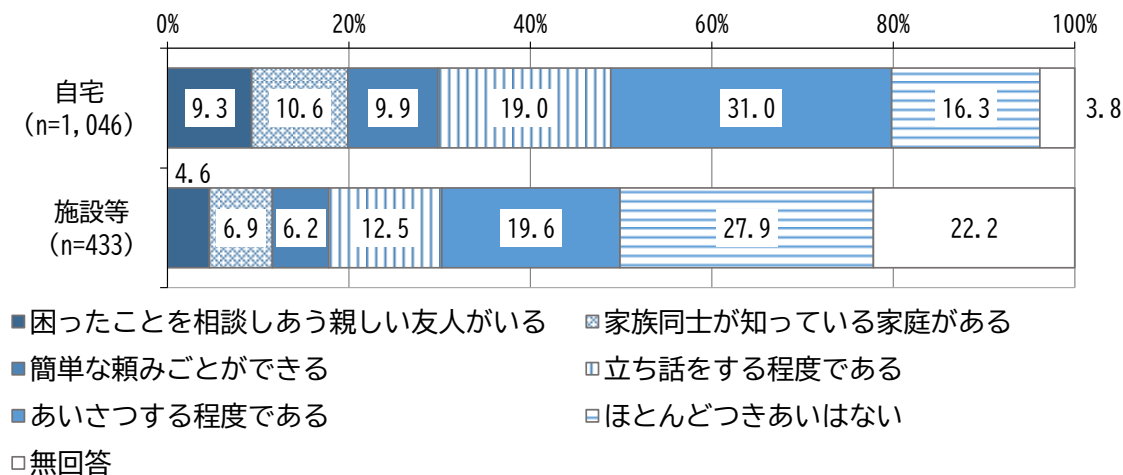
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 3-6-1 普段隣近所の人とどの程度の交流があるか



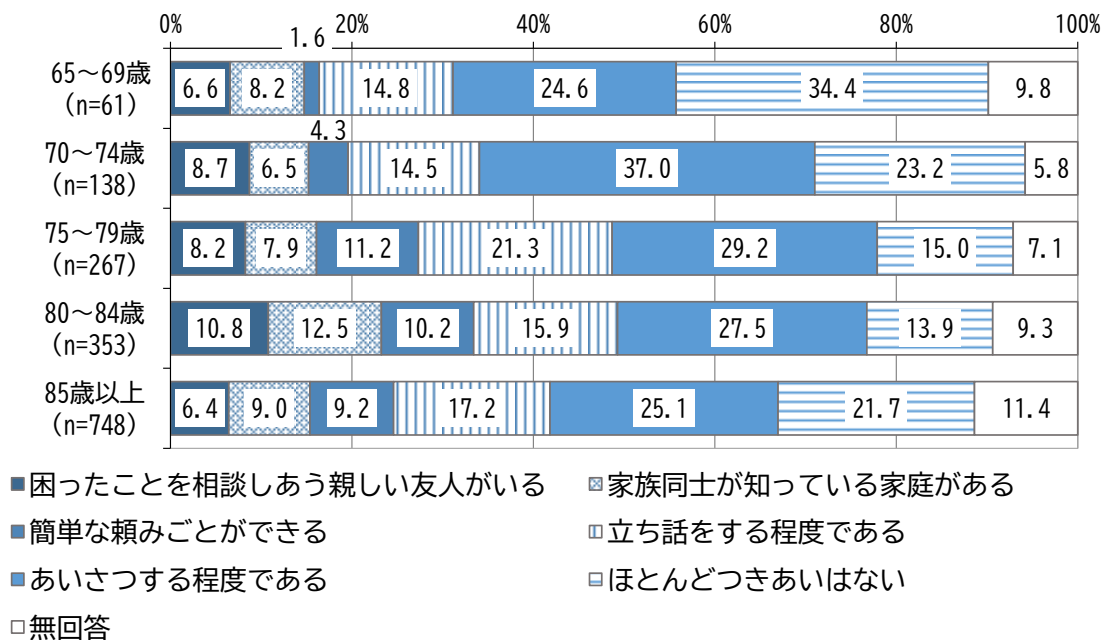
生活の場所別でみると、自宅では「あいさつする程度である」が31.0%で最も高く、施設等では「ほとんどつきあいはない」が27.9%で最も高くなっています。

図表 3-6-2 普段隣近所の人とどの程度の交流があるか 生活の場所別



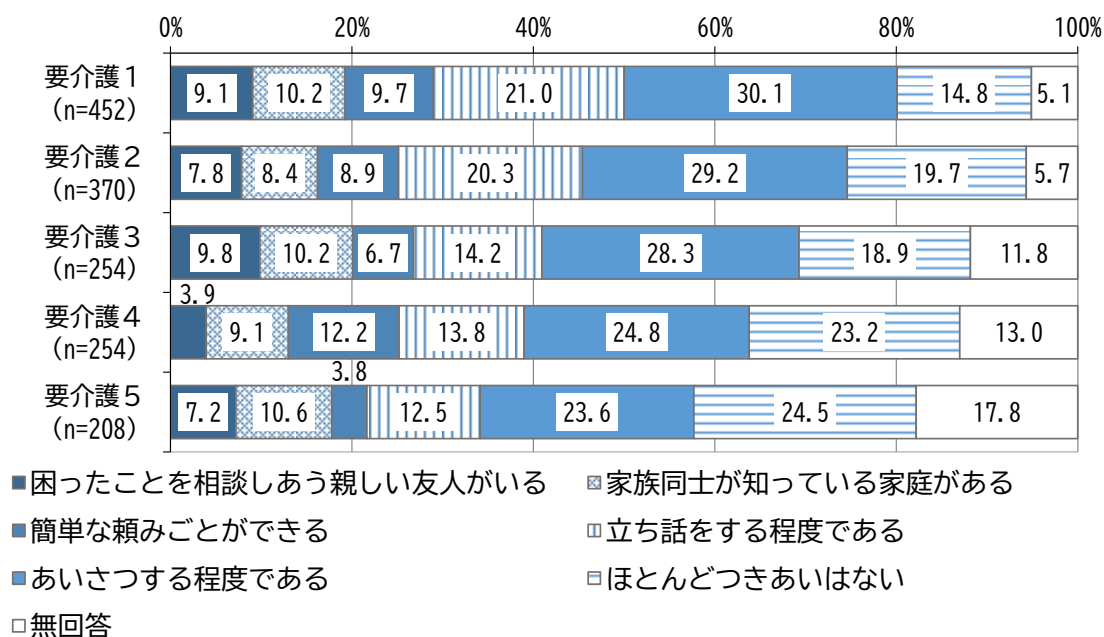
年齢別でみると、65～69歳では「ほとんどつきあいはない」の割合が最も高く、70歳以上では「あいさつする程度である」の割合が最も高くなっています。

図表 3-6-3 普段隣近所の人とどの程度の交流があるか 年齢別



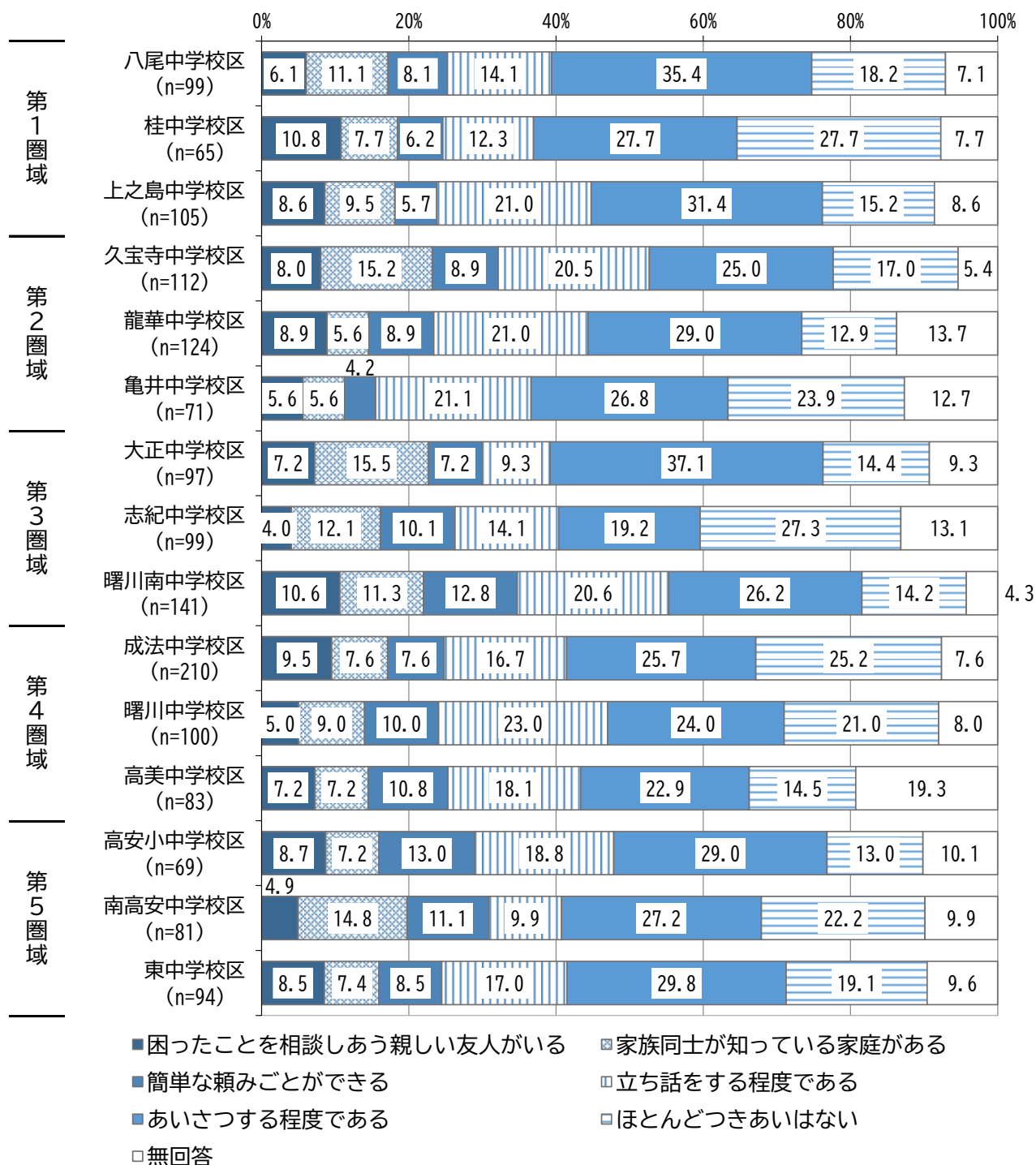
認定状況別でみると、「立ち話をする程度である」、「あいさつする程度である」では、要介護度が上がるにつれて割合が減少しており、「ほとんどつきあいはない」では、要介護度が上がるにつれて概ね割合が増加しています。

図表 3-6-4 普段隣近所の人とどの程度の交流があるか 認定状況別



中学校区別でみると、「ほとんどつきあいはない」では、桂中学校区が27.7%で最も高くなっています。

図表 3-6-5 普段隣近所の人との程度の交流があるか 中学校区別



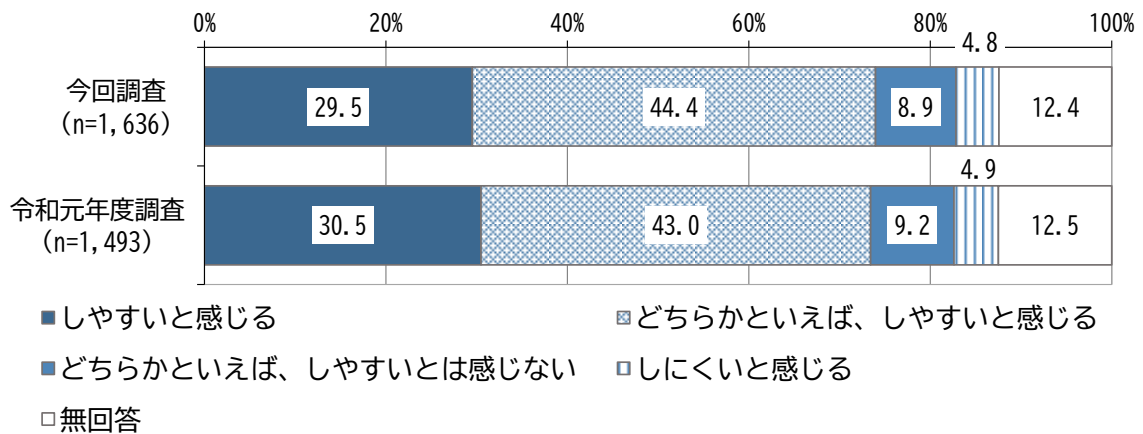
(2) 居住地域は自宅で生活しやすいと感じるか

問5-2 お住まいの地域では自宅で生活しやすいと感じますか。(1つだけ)

居住地域は自宅で生活しやすいと感じるかについては、「どちらかといえば、しやすいと感じる」が44.4%で最も高く、次いで「しやすいと感じる」が29.5%、「どちらかといえば、しやすいとは感じない」が8.9%と続いています。

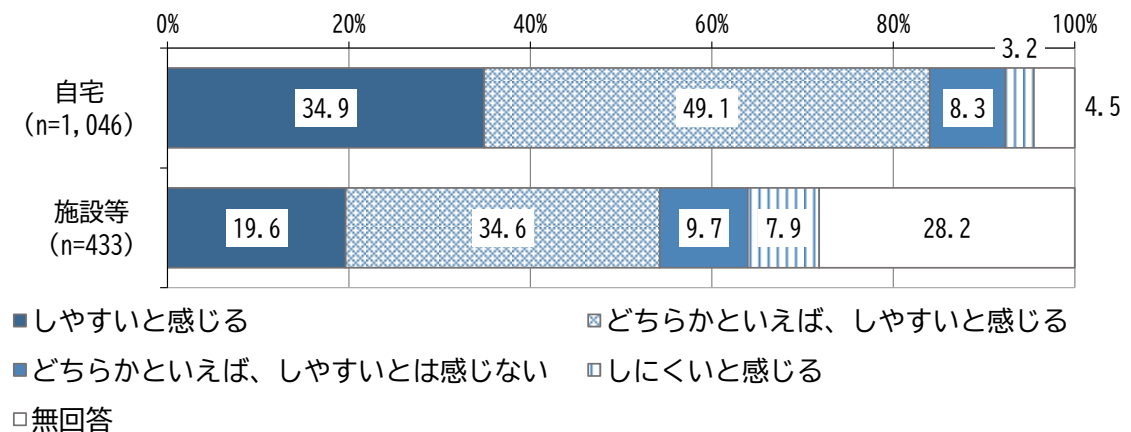
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 3-6-6 居住地域は自宅で生活しやすいと感じるか



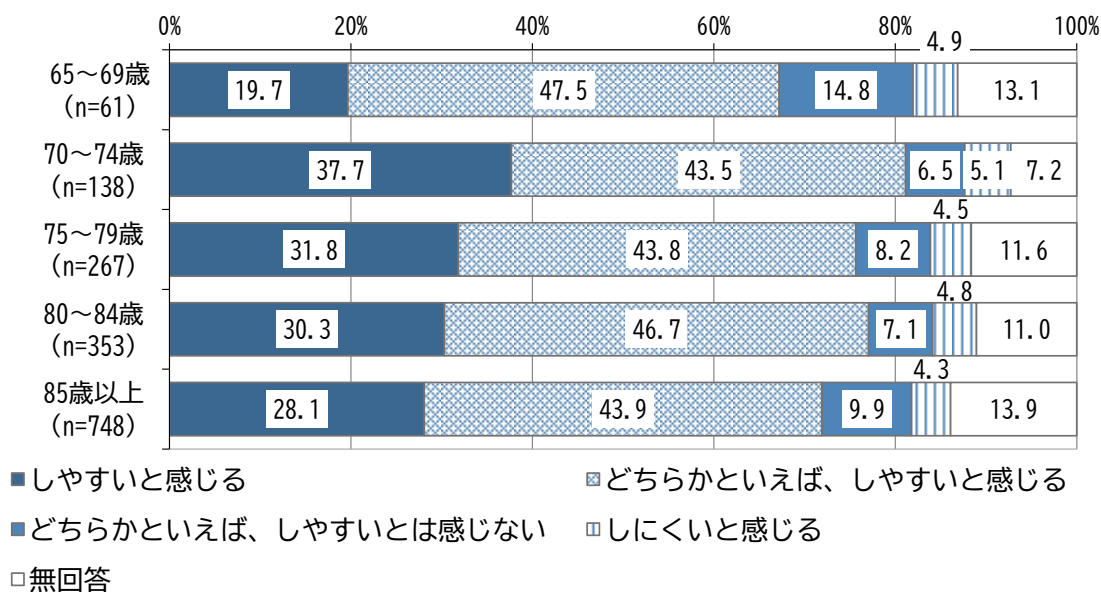
生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「どちらかといえば、しやすいと感じる」の割合が最も高くなっています。

図表 3-6-7 居住地域は自宅で生活しやすいと感じるか 生活の場所別



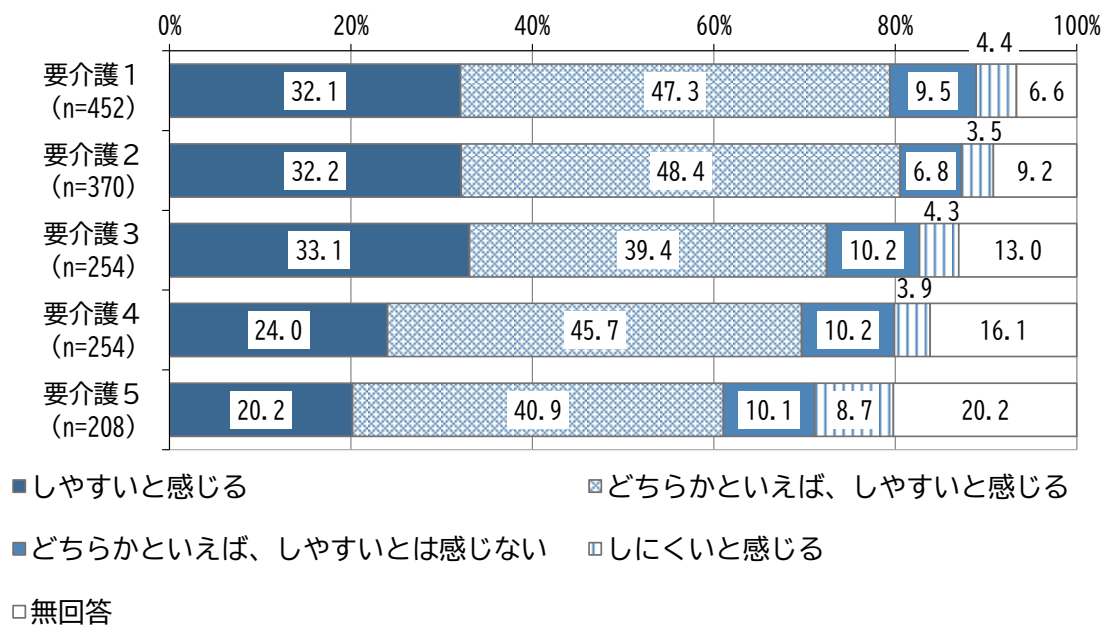
年齢別でみると、「しやすいと感じる」では、70～74歳が37.7%で最も高くなっています。

図表 3-6-8 居住地は自宅で生活しやすいと感じるか 年齢別



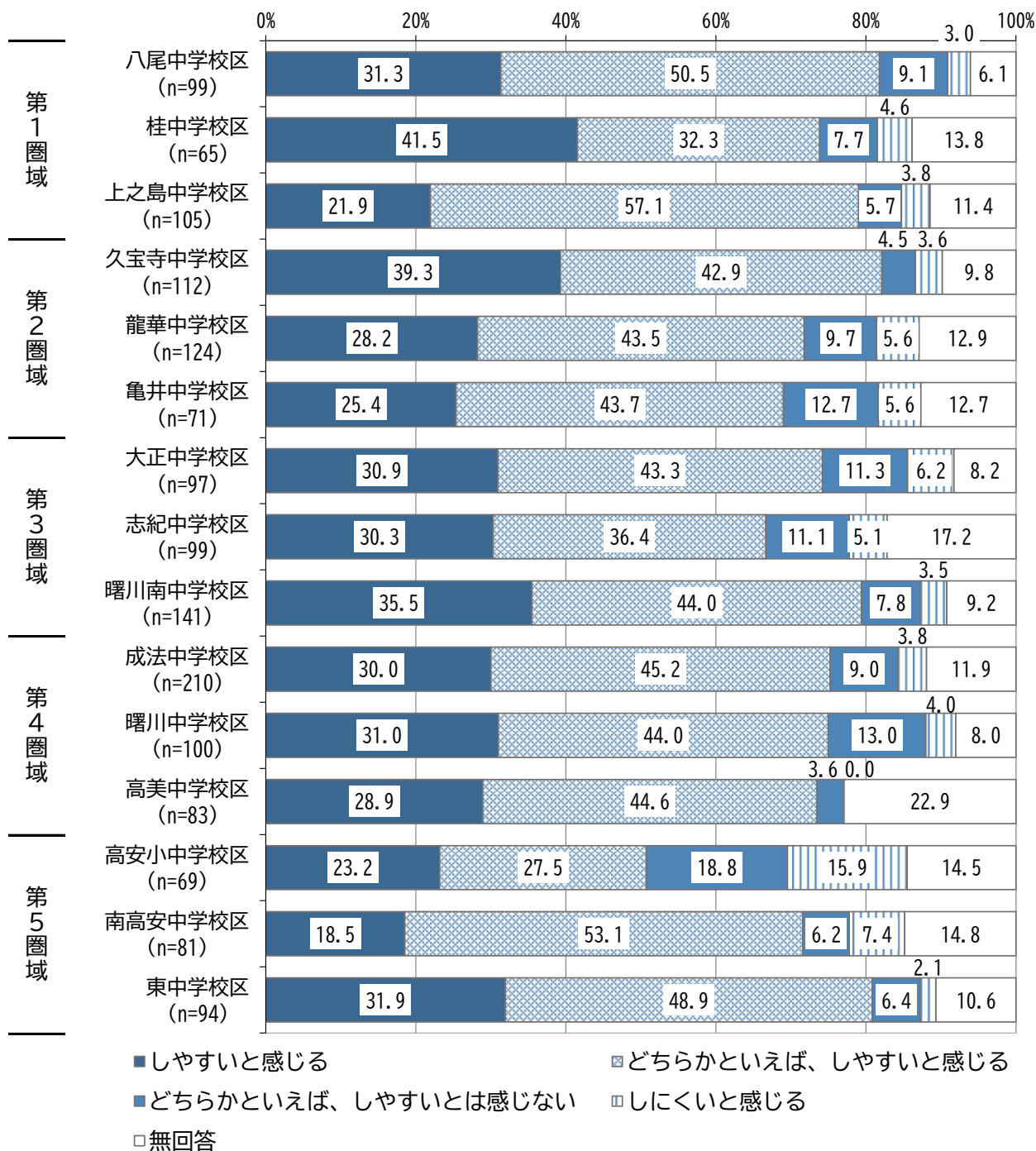
認定状況別でみると、「しやすいと感じる」では、要介護3が33.1%で最も高くなっています。

図表 3-6-9 居住地は自宅で生活しやすいと感じるか 認定状況別



中学校区別でみると、『しやすいと感じる』（「しやすいと感じる」と「どちらかといえば、しやすいと感じる」の合計）では、久宝寺中学校区が82.2%で最も高く、『しにくいと感じる』（「どちらかといえば、しやすいとは感じない」と「しにくいと感じる」の合計）では、高安小中学校区が34.7%で最も高くなっています。

図表 3-6-10 居住地は自宅で生活しやすいと感じるか 中学校区別



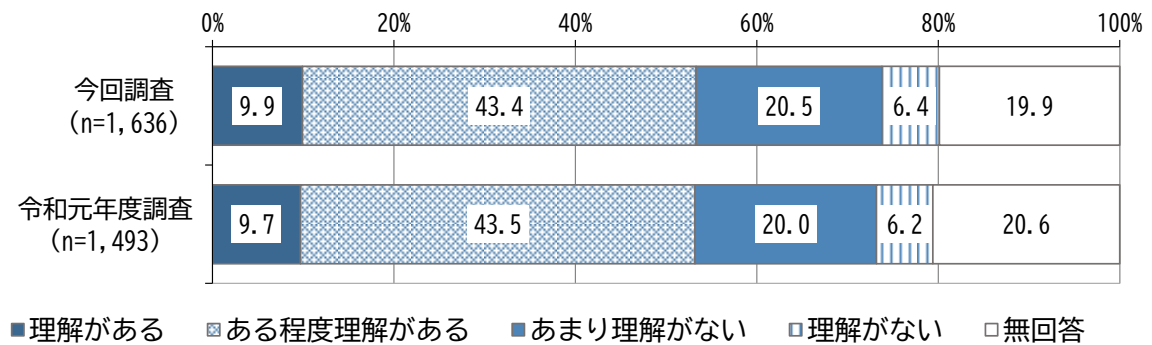
(3) 居住地域は認知症の高齢者に対して理解があると感じるか

問5-3 お住まいの地域は認知症の高齢者に対して理解があると感じますか。(1つだけ)

居住地域は認知症の高齢者に対して理解があると感じるかについては、「ある程度理解がある」が43.4%で最も高く、次いで「あまり理解がない」が20.5%、「理解がある」が9.9%と続いています。

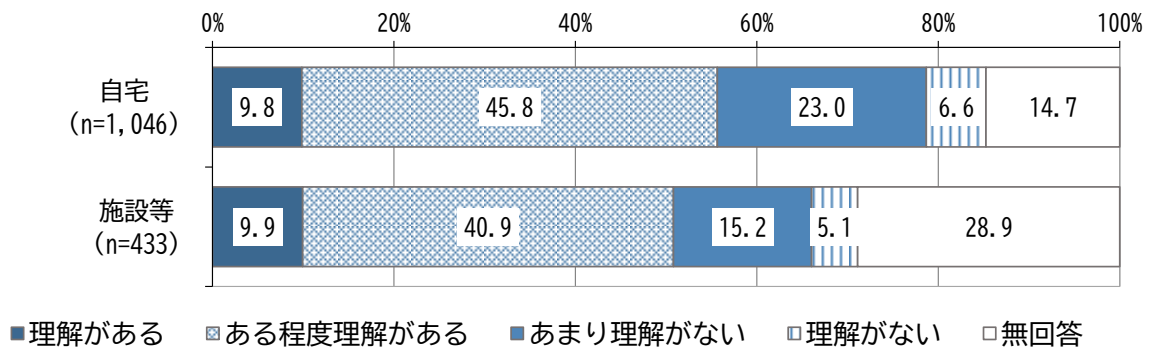
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 3-6-11 居住地域は認知症の高齢者に対して理解があると感じるか



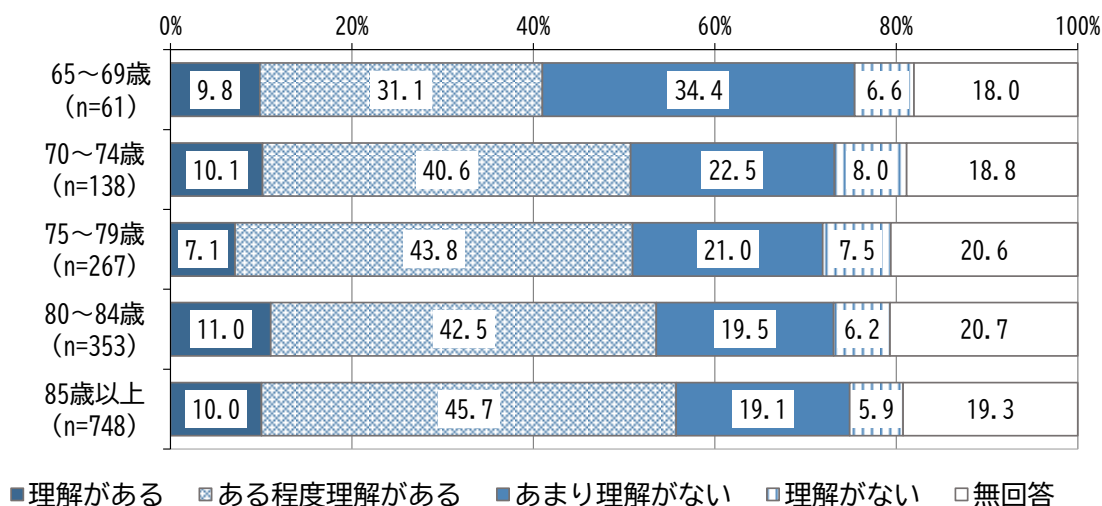
生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「ある程度理解がある」の割合が最も高くなっています。

図表 3-6-12 居住地域は認知症の高齢者に対して理解があると感じるか 生活の場所別



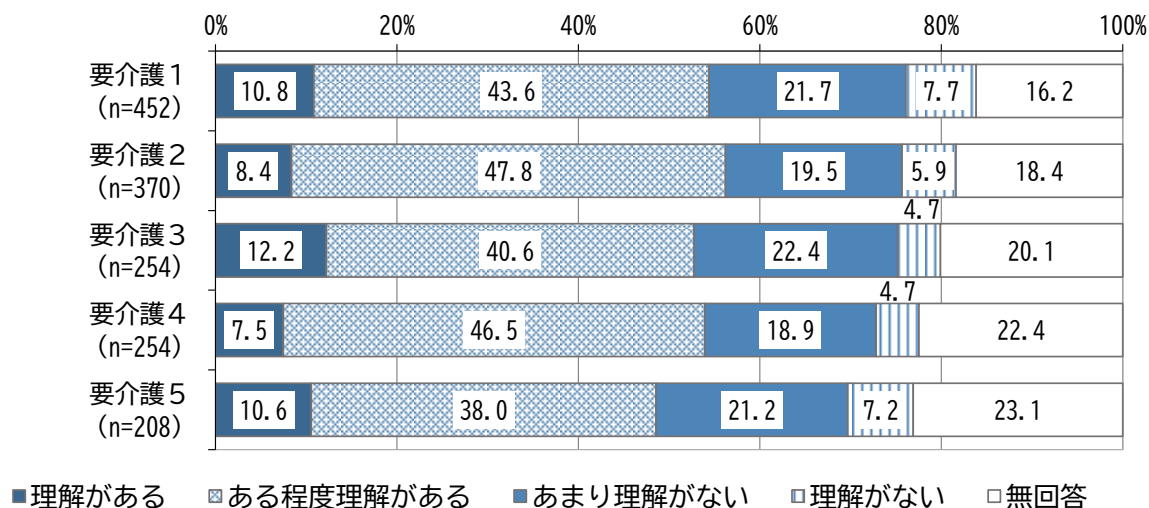
年齢別でみると、『理解がある』（「理解がある」と「ある程度理解がある」の合計）では、85歳以上が55.7%で最も高く、『理解がない』（「あまり理解がない」と「理解がない」の合計）では、65～69歳が41.0%で最も高くなっています。

図表 3-6-13 居住地は認知症の高齢者に対して理解があると感じるか 年齢別



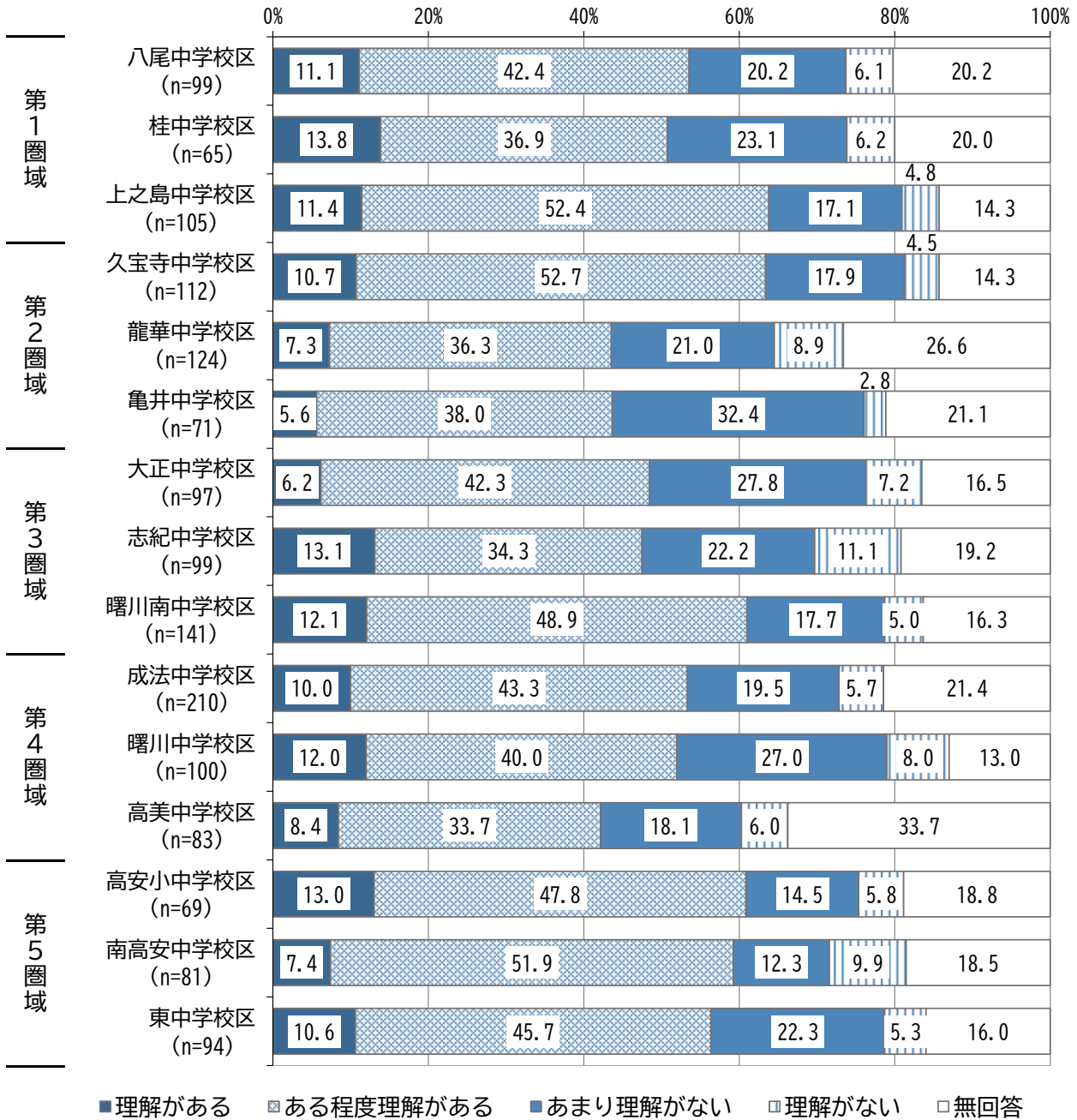
認定状況別でみると、『理解がある』では、要介護2が56.2%で最も高く、『理解がない』では、要介護1が29.4%で最も高くなっています。

図表 3-6-14 居住地は認知症の高齢者に対して理解があると感じるか 認定状況別



中学校区別でみると、『理解がある』では、上之島中学校区が63.8%で最も高く、『理解がない』では、亀井中学校区が35.2%で最も高くなっています。

図表 3-6-15 居住地は認知症の高齢者に対して理解があると感じるか 中学校区別

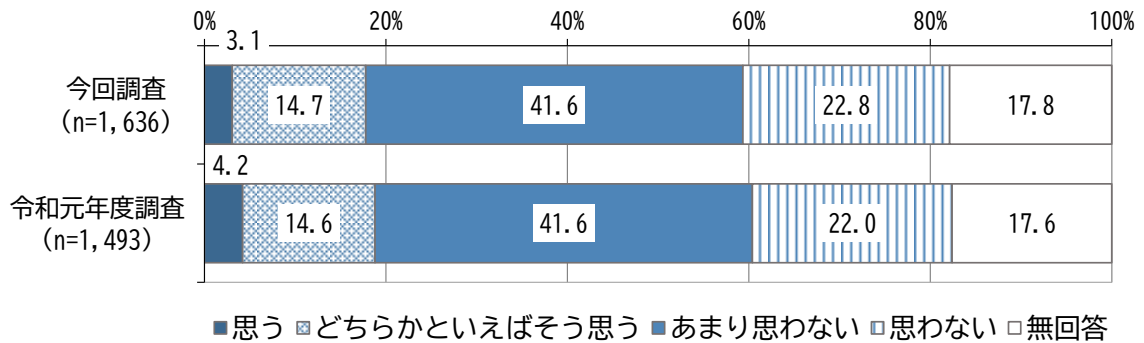


(4) 居住地域はボランティア活動が活発だと思うか

問5-4 お住まいの地域はボランティア活動が活発だと思いますか。(1つだけ)

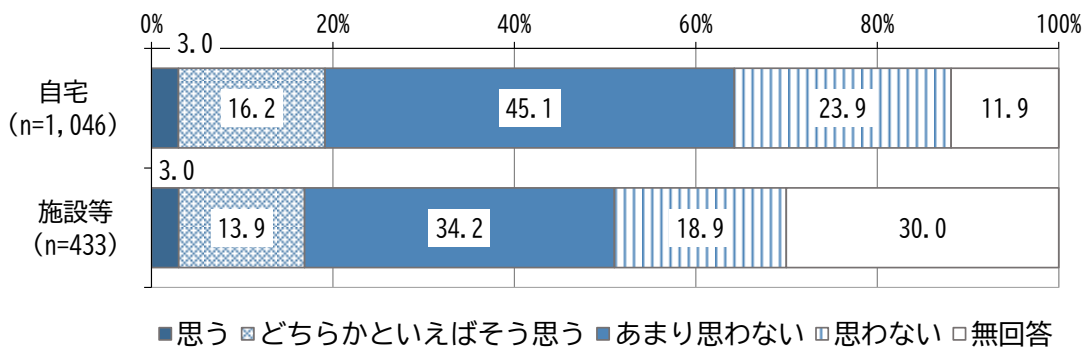
居住地域はボランティア活動が活発だと思うかについては、「あまり思わない」が41.6%で最も高く、次いで「思わない」が22.8%、「どちらかといえばそう思う」が14.7%と続いています。令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 3-6-16 居住地域はボランティア活動が活発だと思うか



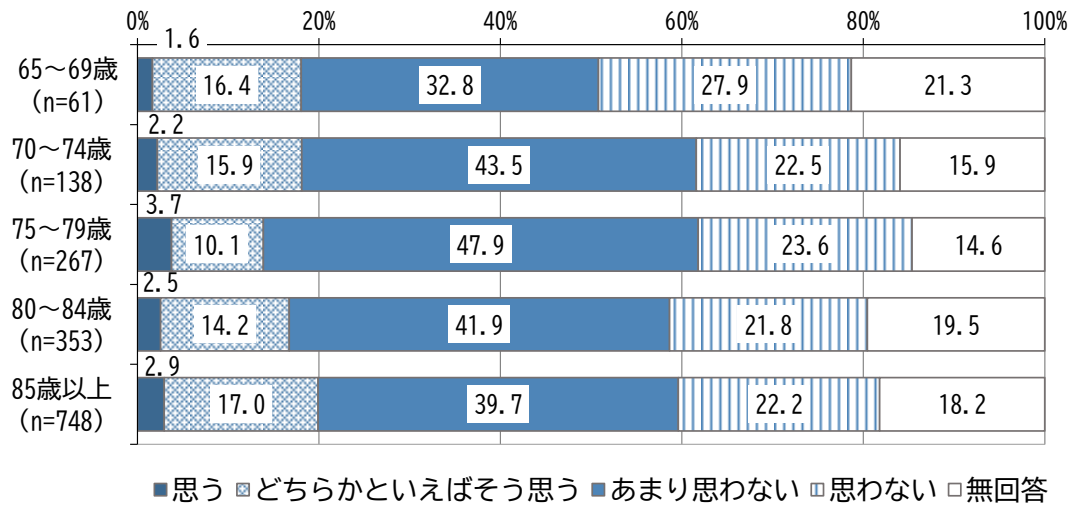
生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「あまり思わない」の割合が最も高くなっています。

図表 3-6-17 居住地域はボランティア活動が活発だと思うか 生活の場所別



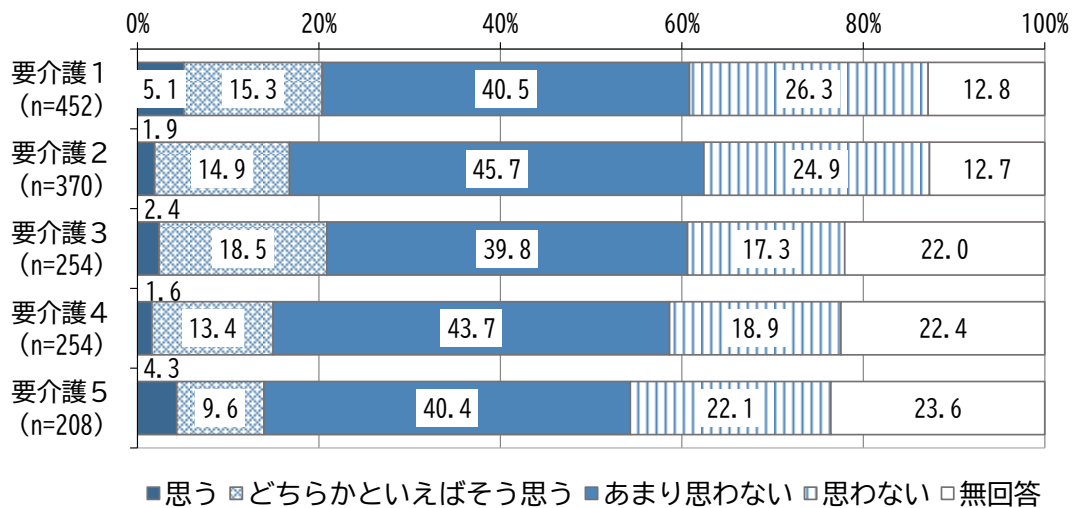
年齢別でみると、『思う』（「思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）では、85歳以上が19.9%で最も高く、『思わない』（「あまり思わない」と「思わない」の合計）では、75～79歳が71.5%で最も高くなっています。

図表 3-6-18 居住地はボランティア活動が活発だと思うか 年齢別



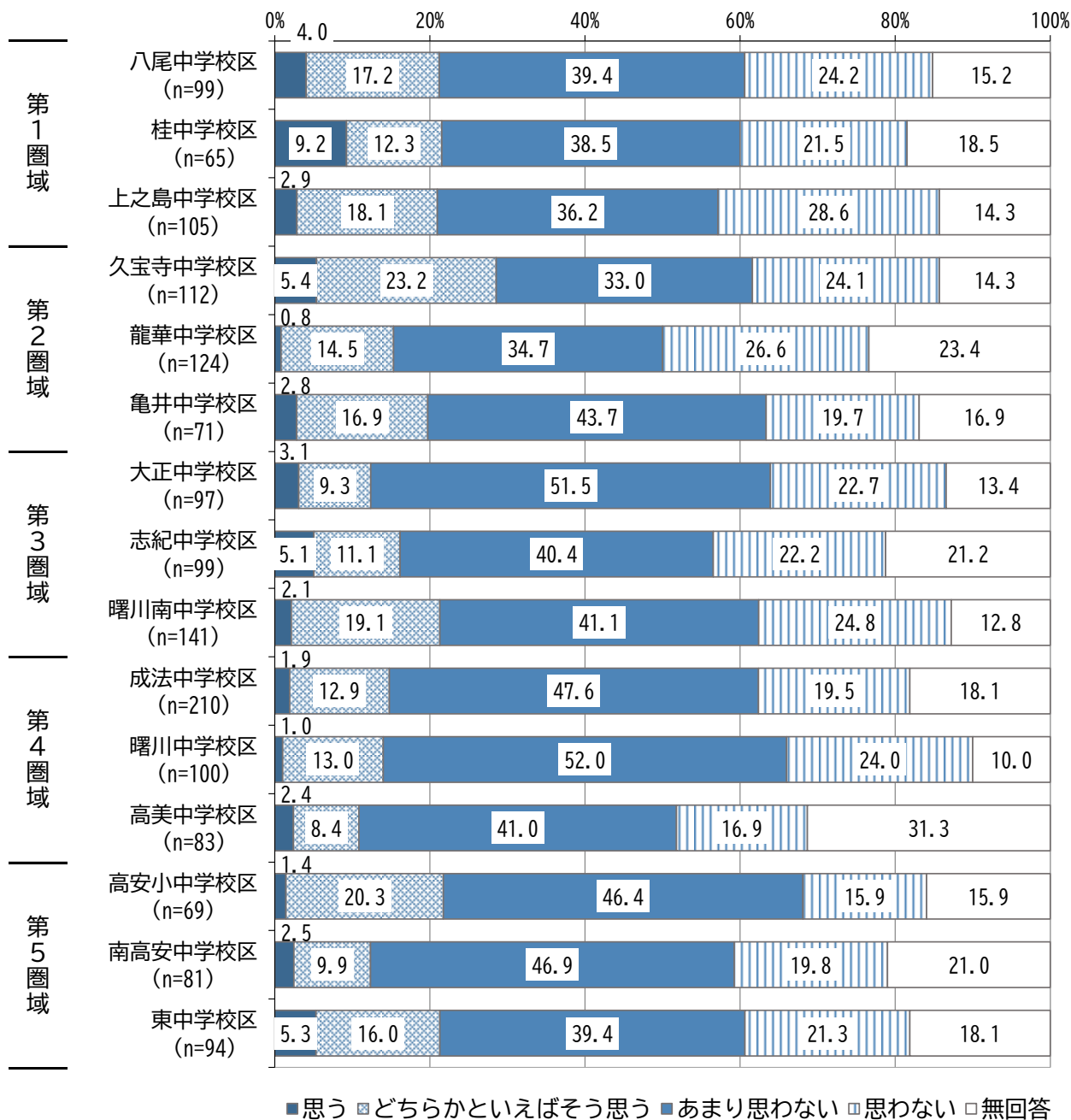
認定状況別でみると、『思う』では、要介護3が20.9%で最も高く、『思わない』では、要介護2が70.6%で最も高くなっています。

図表 3-6-19 居住地はボランティア活動が活発だと思うか 認定状況別



中学校区別でみると、『思う』では、久宝寺中学校区が28.6%で最も高く、『思わない』では、曙川中学校区が76.0%で最も高くなっています。

図表 3-6-20 居住地はボランティア活動が活発だと思うか 中学校区別



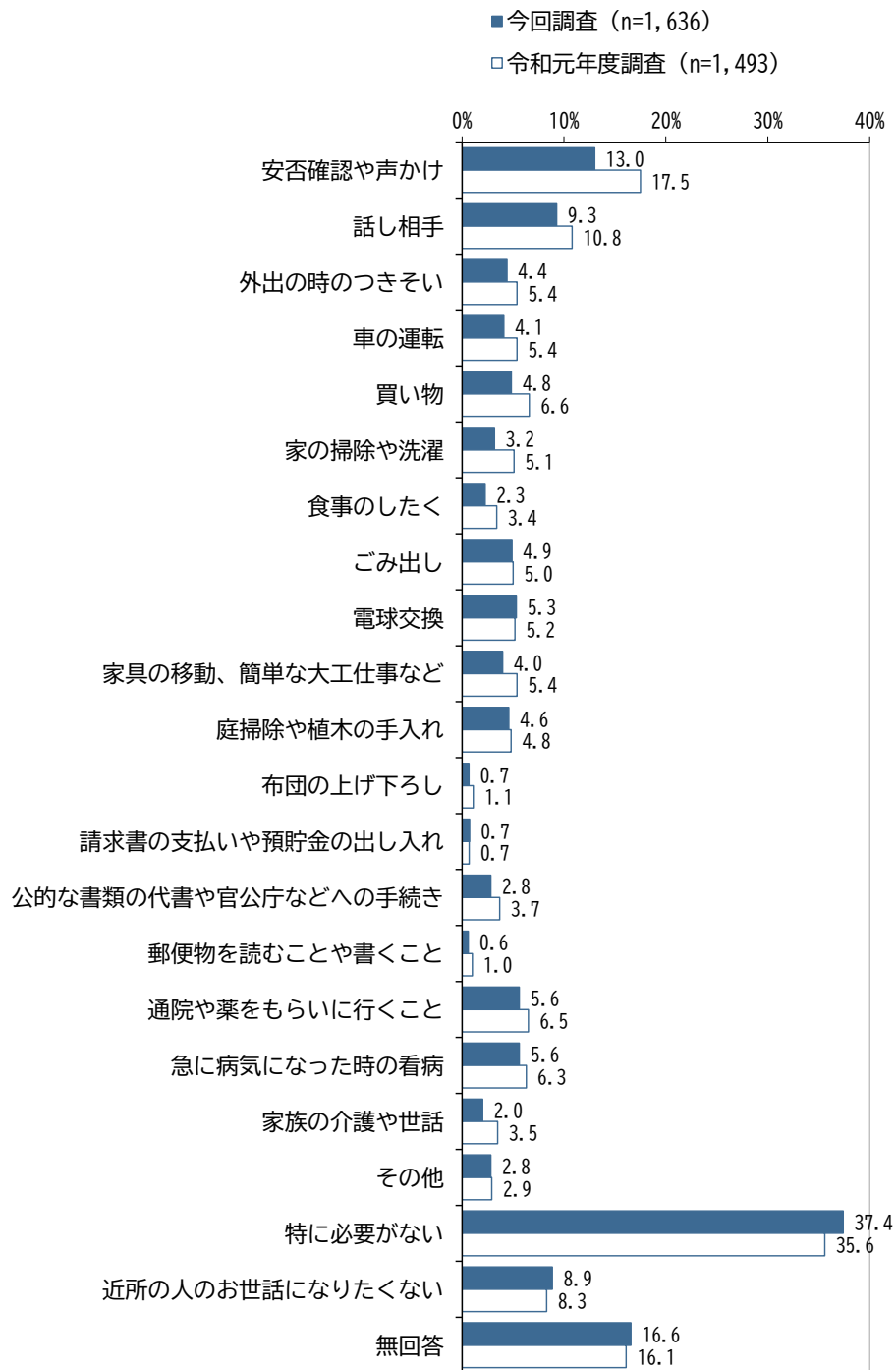
(5) 近所の人やボランティアに手助けしてほしいこと

問5-5 近所の人やボランティアに、手助けをしてもらいたいことはありますか。(いくつでも)

近所の人やボランティアに手助けしてほしいことについては、「特に必要がない」が37.4%で最も高く、次いで「安否確認や声かけ」が13.0%、「話し相手」が9.3%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「安否確認や声かけ」(13.0%)では、令和元(2019)年度調査(17.5%)より4.5ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

図表 3-6-21 近所の人やボランティアに手助けしてほしいこと



生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「特に必要がない」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「特に必要がない」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、全ての認定状況で「特に必要がない」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「近所の人のお世話になりたくない」では、東中学校区が12.8%で最も高くなっています。

図表 3-6-22 近所の人やボランティアに手助けしてほしいこと 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	安否確認や声かけ	話し相手	外出の時のつきそ	車の運転	買い物	家の掃除や洗濯	食事のしたく	ごみ出し	電球交換	家具の移動、簡単な大工仕事など	入庭掃除や植木の手	
全体		1,636	13.0	9.3	4.4	4.1	4.8	3.2	2.3	4.9	5.3	4.0	4.6	
生活の場所別	自宅	1,046	12.8	8.7	4.4	4.2	4.4	3.2	2.4	5.2	6.7	4.1	4.7	
	施設等	433	12.9	9.0	4.8	3.5	5.1	2.5	1.6	3.7	2.3	2.3	2.3	
年齢別	65～69歳	61	9.8	9.8	4.9	6.6	4.9	6.6	0.0	6.6	4.9	13.1	3.3	
	70～74歳	138	8.7	6.5	3.6	2.9	5.1	3.6	3.6	4.3	5.8	5.1	3.6	
	75～79歳	267	7.5	6.7	4.1	2.6	4.9	2.2	1.5	4.1	3.0	2.6	1.5	
	80～84歳	353	16.7	10.5	5.4	5.7	5.7	4.0	3.1	3.4	8.2	4.2	5.4	
	85歳以上	748	14.4	10.7	4.1	4.1	4.3	2.5	1.9	5.9	5.1	3.5	5.6	
認定状況別	要介護1	452	13.5	12.4	4.4	2.9	3.8	2.4	2.4	5.8	7.3	5.1	5.3	
	要介護2	370	9.7	6.2	4.6	3.2	4.9	3.8	1.6	5.7	4.9	1.6	3.0	
	要介護3	254	13.8	11.8	3.9	7.9	3.5	3.1	1.6	2.4	2.8	2.8	4.7	
	要介護4	254	15.0	7.5	5.5	4.7	5.1	2.0	1.6	2.8	3.1	3.1	3.5	
	要介護5	208	15.4	7.7	3.4	3.4	6.7	5.3	3.8	6.3	6.3	7.7	6.3	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	14.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	0.0	5.1	9.1	3.0	1.0
		桂中学校区	65	10.8	12.3	7.7	7.7	9.2	4.6	3.1	10.8	9.2	4.6	3.1
		上之島中学校区	105	16.2	5.7	2.9	5.7	2.9	1.0	2.9	0.0	5.7	1.0	6.7
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	14.3	13.4	4.5	3.6	2.7	4.5	3.6	8.0	3.6	3.6	7.1
		龍華中学校区	124	10.5	8.1	2.4	2.4	2.4	0.8	0.0	0.8	4.0	3.2	2.4
		亀井中学校区	71	8.5	8.5	5.6	2.8	2.8	1.4	2.8	4.2	5.6	8.5	2.8
	第3圏域	大正中学校区	97	13.4	7.2	4.1	5.2	4.1	4.1	3.1	9.3	8.2	7.2	5.2
		志紀中学校区	99	10.1	13.1	6.1	3.0	7.1	7.1	3.0	6.1	6.1	4.0	3.0
		曙川南中学校区	141	16.3	12.8	6.4	3.5	7.8	2.8	2.8	3.5	2.1	3.5	7.8
	第4圏域	成法中学校区	210	10.0	7.1	4.8	1.9	6.7	2.4	1.9	4.3	3.8	1.9	2.9
		曙川中学校区	100	17.0	6.0	4.0	4.0	5.0	2.0	2.0	5.0	7.0	4.0	8.0
		高美中学校区	83	7.2	8.4	2.4	6.0	3.6	0.0	2.4	2.4	4.8	4.8	4.8
	第5圏域	高安小中学校区	69	15.9	15.9	1.4	8.7	1.4	2.9	1.4	4.3	4.3	0.0	2.9
		南高安中学校区	81	18.5	12.3	6.2	8.6	4.9	3.7	3.7	6.2	6.2	3.7	3.7
		東中学校区	94	11.7	10.6	4.3	1.1	5.3	5.3	2.1	7.4	3.2	7.4	6.4

		合計	布団の上げ下ろし	請求書の支払いや預貯金の出し入れ	公的な書類の代書や官公庁などへの手続き	郵便物を読むことや書くこと	通院や薬をもらいにいくこと	急に病気になった時の看病	家族の介護や世話	その他	特に必要がない	近所の人の世話になりたくない	無回答	
全体		1,636	0.7	0.7	2.8	0.6	5.6	5.6	2.0	2.8	37.4	8.9	16.6	
生活の場所別	自宅	1,046	0.8	0.5	2.4	0.4	6.0	5.6	2.1	2.7	39.8	10.4	10.6	
	施設等	433	0.5	1.4	3.0	1.2	5.3	5.1	0.9	2.3	36.7	5.3	28.2	
年齢別	65～69歳	61	0.0	0.0	3.3	1.6	1.6	6.6	1.6	1.6	44.3	6.6	9.8	
	70～74歳	138	0.0	1.4	4.3	2.2	7.2	7.2	0.7	4.3	41.3	7.2	15.9	
	75～79歳	267	0.0	0.4	3.0	0.0	3.7	4.5	3.0	4.5	41.6	10.1	16.5	
	80～84歳	353	1.1	0.6	4.0	0.8	5.7	7.1	3.1	1.1	31.2	8.8	18.7	
	85歳以上	748	0.9	0.9	2.1	0.4	6.3	5.1	1.6	2.8	38.5	8.8	15.1	
認定状況別	要介護1	452	0.7	0.4	2.7	0.7	6.9	6.0	1.8	2.0	36.1	10.8	11.3	
	要介護2	370	1.4	0.8	1.9	0.3	4.6	3.2	1.1	4.9	40.8	11.6	12.2	
	要介護3	254	0.4	0.8	2.8	0.0	5.1	7.9	2.8	2.8	35.8	9.4	16.5	
	要介護4	254	0.4	0.8	3.5	1.2	5.1	4.3	3.1	2.4	40.6	5.1	19.3	
	要介護5	208	0.5	1.4	4.3	1.0	6.7	8.7	2.4	2.9	37.5	3.8	24.0	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	1.0	1.0	1.0	0.0	9.1	10.1	1.0	1.0	30.3	9.1	20.2
		桂中学校区	65	1.5	1.5	1.5	1.5	12.3	6.2	1.5	1.5	38.5	1.5	15.4
		上之島中学校区	105	0.0	0.0	1.9	0.0	3.8	7.6	2.9	3.8	38.1	4.8	19.0
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	0.0	0.9	3.6	0.9	3.6	4.5	0.9	4.5	42.0	6.3	8.9
		龍華中学校区	124	0.0	0.0	2.4	0.0	5.6	3.2	0.8	3.2	42.7	12.1	15.3
	第3圏域	亀井中学校区	71	0.0	0.0	0.0	1.4	8.5	9.9	2.8	4.2	42.3	11.3	16.9
		大正中学校区	97	1.0	2.1	4.1	1.0	5.2	5.2	3.1	2.1	36.1	9.3	15.5
		志紀中学校区	99	2.0	0.0	0.0	2.0	5.1	7.1	4.0	2.0	37.4	7.1	22.2
	第4圏域	曙川南中学校区	141	1.4	1.4	5.0	0.0	5.0	6.4	5.7	2.1	34.0	10.6	12.1
		成法中学校区	210	0.0	0.0	3.3	0.5	4.3	3.3	1.4	3.3	38.6	10.5	19.0
		曙川中学校区	100	0.0	3.0	5.0	1.0	4.0	8.0	1.0	3.0	38.0	10.0	12.0
	第5圏域	高美中学校区	83	0.0	0.0	1.2	0.0	4.8	1.2	0.0	0.0	39.8	6.0	21.7
		高安小中学校区	69	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	2.9	0.0	0.0	37.7	7.2	14.5
		南高安中学校区	81	2.5	0.0	4.9	1.2	9.9	4.9	3.7	3.7	39.5	7.4	12.3
		東中学校区	94	1.1	1.1	1.1	0.0	4.3	5.3	2.1	4.3	36.2	12.8	10.6

※網掛け■は最も割合が高いもの

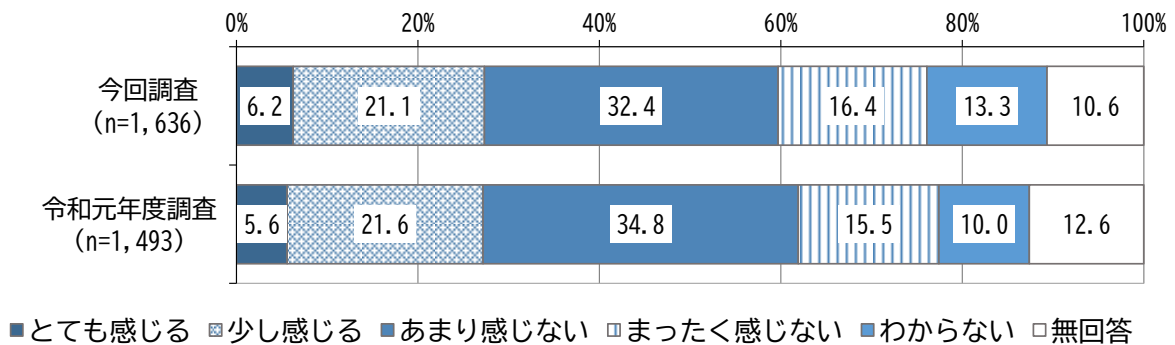
(6) 孤独を感じることもあるか

問5-6 あなたは、普段「孤独だ」と感じることはありませんか。(1つだけ)

孤独を感じることはないかについては、「あまり感じない」が32.4%で最も高く、次いで「少し感じる」が21.1%、「まったく感じない」が16.4%と続いています。

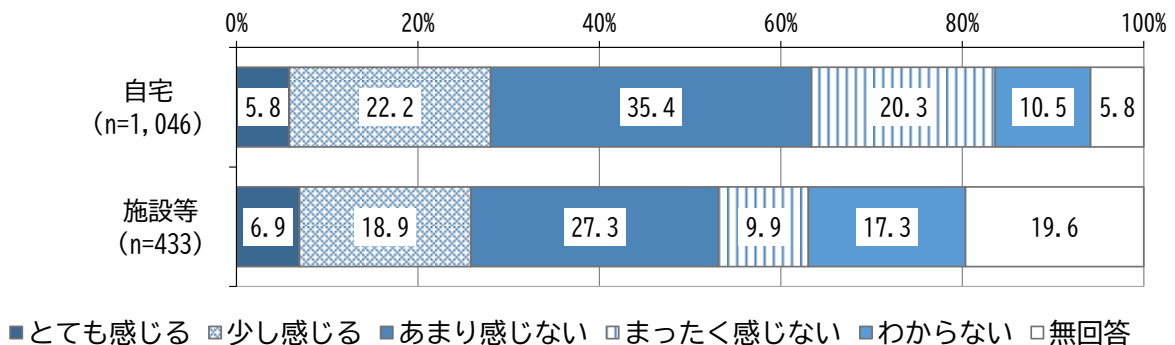
令和元(2019)年度調査と比較すると、「わからない」(13.3%)では、令和元(2019)年度調査(10.0%)より3.3ポイント増加しています。

図表 3-6-23 孤独を感じることもあるか



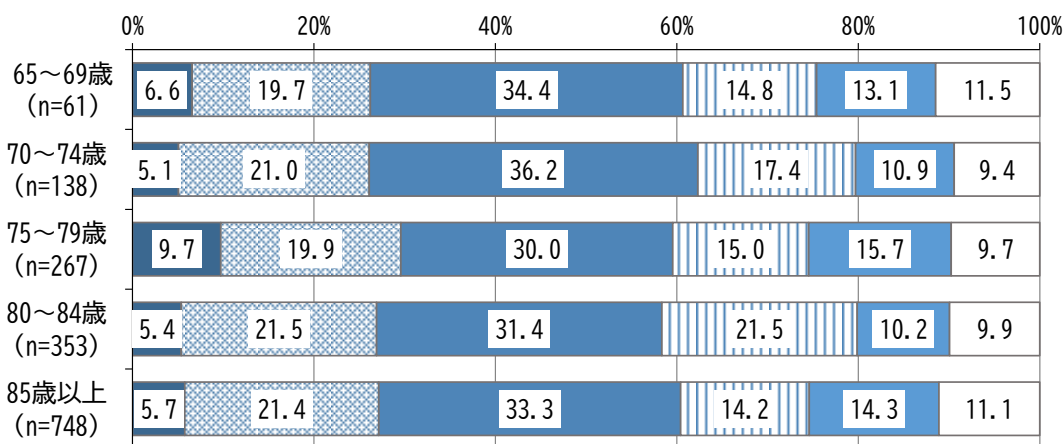
生活の場所別で見ると、自宅、施設等いずれも「あまり感じない」の割合が最も高くなっています。

図表 3-6-24 孤独を感じることもあるか 生活の場所別



年齢別でみると、『感じる』（「とても感じる」と「少し感じる」の合計）では、75～79歳が29.6%で最も高く、『感じない』（「あまり感じない」と「まったく感じない」の合計）では、70～74歳が53.6%で最も高くなっています。

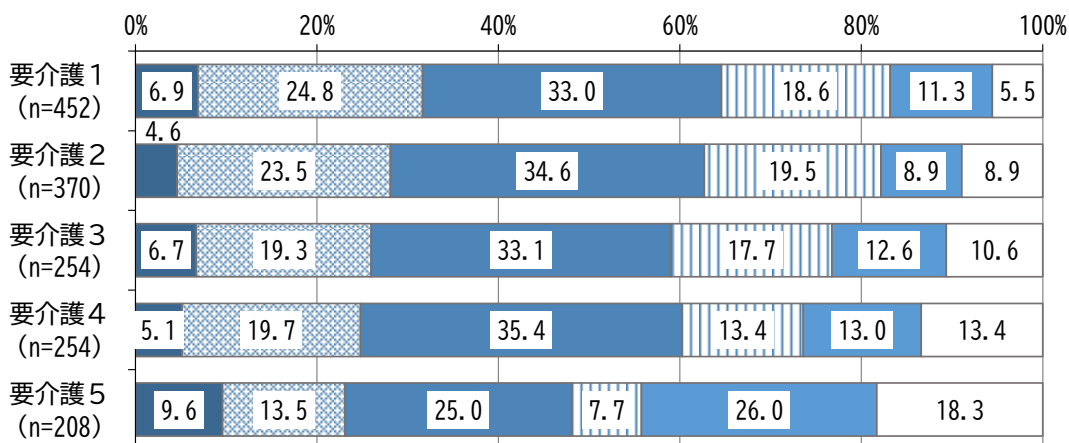
図表 3-6-25 孤独を感じることもあるか 年齢別



■とても感じる ■少し感じる ■あまり感じない ■まったく感じない ■わからない □無回答

認定状況別でみると、『感じる』では、要介護度が上がるにつれて割合が減少しており、要介護1が31.7%で最も高く、『感じない』では、要介護2が54.1%で最も高くなっています。

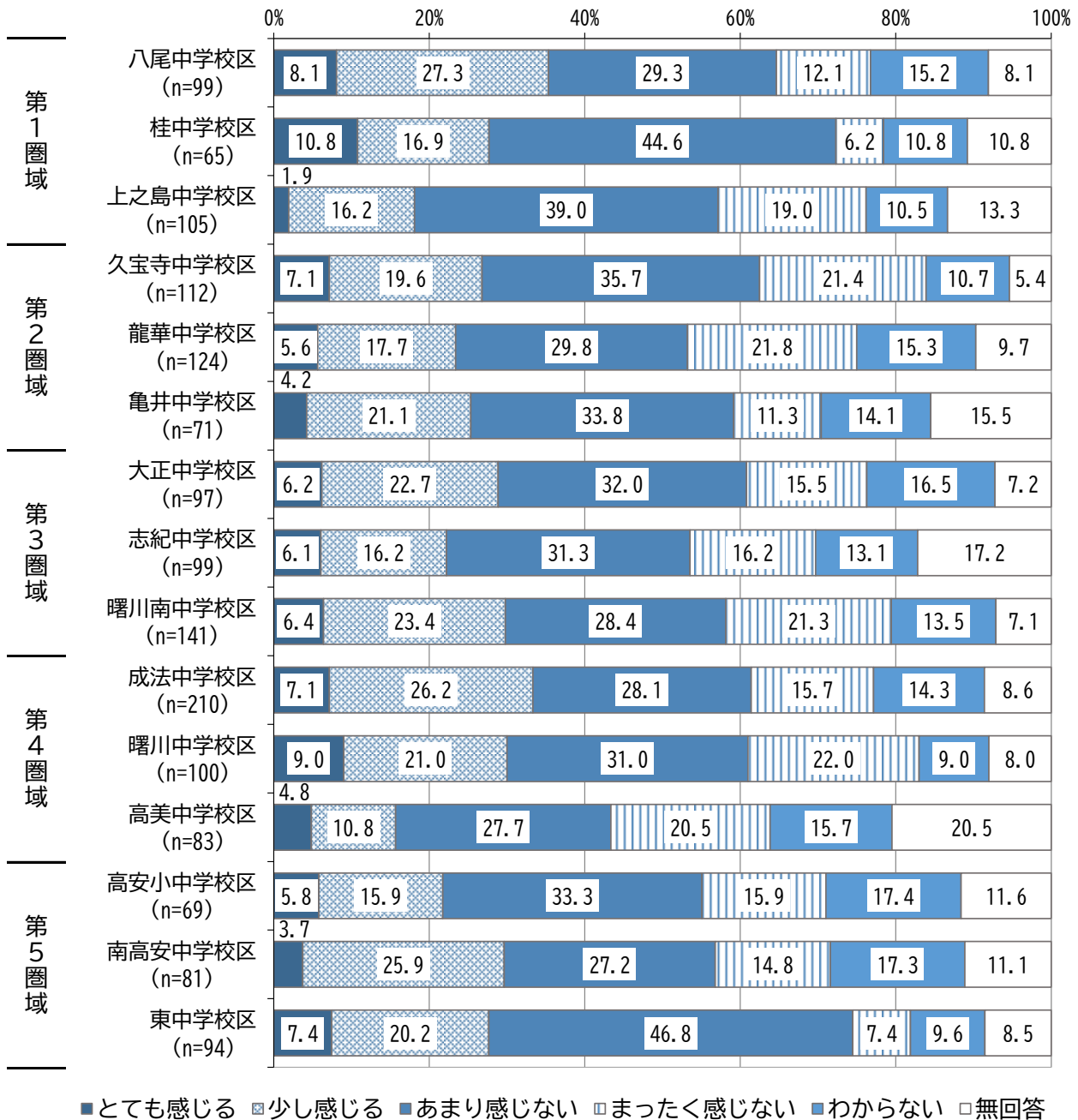
図表 3-6-26 孤独を感じることもあるか 認定状況別



■とても感じる ■少し感じる ■あまり感じない ■まったく感じない ■わからない □無回答

中学校区別でみると、『感じる』では、八尾中学校区が35.4%で最も高く、『感じない』では、上之島中学校区が58.0%で最も高くなっています。

図表 3-6-27 孤独を感じることもあるか 中学校区別



(7) 孤独だと感じる理由

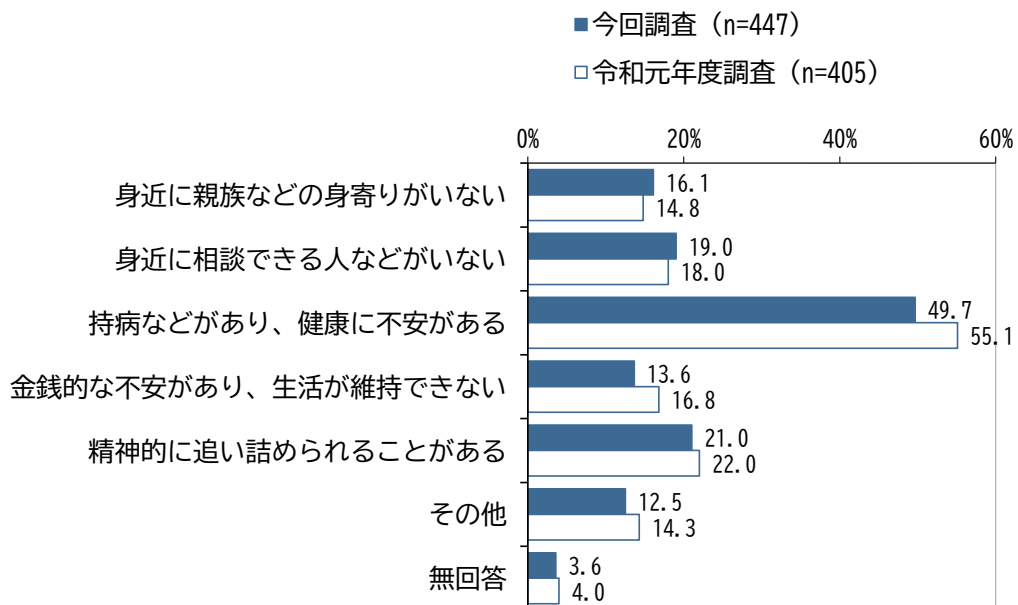
問5-6で「とても感じる」、「少し感じる」と答えた人（孤独だと感じることもある人）のみ、お答えください。

問5-6-1 普段「孤独だ」と感じる理由は何ですか。（いくつでも）

孤独だと感じる理由については、「持病などがあり、健康に不安がある」が49.7%で最も高く、次いで「精神的に追い詰められることがある」が21.0%、「身近に相談できる人などがいない」が19.0%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「持病などがあり、健康に不安がある」（49.7%）では、令和元（2019）年度調査（55.1%）より5.4ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

図表 3-6-28 孤独だと感じる理由



生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「持病などがあり、健康に不安がある」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「持病などがあり、健康に不安がある」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、全ての認定状況で「持病などがあり、健康に不安がある」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「身近に相談できる人などがいない」では、亀井中学校区が44.4%で最も高くなっています。

図表 3-6-29 孤独だと感じる理由 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	い 身 近 に 親 族 な ど の 身 寄 り が	い 身 近 に 相 談 で き る 人 な ど が	安 持 病 な ど が あ り 、 健 康 に 不	が 金 銭 的 な 不 安 が あ り 、 生 活	と 精 神 的 に 追 い 詰 め ら れ る こ	そ の 他	無 回 答	
全体		447	16.1	19.0	49.7	13.6	21.0	12.5	3.6	
生活の 場所別	自宅	293	14.7	17.4	53.2	13.0	20.1	10.9	4.1	
	施設等	112	18.8	19.6	43.8	16.1	23.2	16.1	2.7	
年 齢 別	65～69歳	16	6.3	12.5	75.0	43.8	31.3	0.0	6.3	
	70～74歳	36	16.7	22.2	52.8	11.1	33.3	8.3	0.0	
	75～79歳	79	11.4	20.3	62.0	19.0	20.3	13.9	1.3	
	80～84歳	95	17.9	23.2	47.4	15.8	30.5	5.3	5.3	
	85歳以上	203	18.2	15.8	45.3	9.4	13.8	16.7	3.4	
認 定 状 況 別	要介護1	143	14.0	21.7	47.6	13.3	16.8	13.3	5.6	
	要介護2	104	17.3	17.3	52.9	12.5	18.3	13.5	3.8	
	要介護3	66	12.1	7.6	48.5	10.6	22.7	16.7	1.5	
	要介護4	63	19.0	19.0	47.6	12.7	31.7	7.9	3.2	
	要介護5	48	12.5	22.9	52.1	22.9	20.8	12.5	0.0	
中 学 校 区 別	第1圏域	八尾中学校区	35	25.7	17.1	57.1	17.1	20.0	5.7	0.0
		桂中学校区	18	11.1	5.6	72.2	22.2	22.2	0.0	0.0
		上之島中学校区	19	10.5	5.3	57.9	15.8	10.5	0.0	15.8
	第2圏域	久宝寺中学校区	30	16.7	13.3	40.0	16.7	16.7	33.3	3.3
		龍華中学校区	29	20.7	20.7	44.8	13.8	41.4	13.8	0.0
		亀井中学校区	18	27.8	44.4	33.3	0.0	11.1	22.2	5.6
	第3圏域	大正中学校区	28	10.7	14.3	64.3	7.1	21.4	14.3	0.0
		志紀中学校区	22	13.6	18.2	63.6	13.6	27.3	9.1	0.0
		曙川南中学校区	42	19.0	28.6	50.0	11.9	19.0	7.1	7.1
	第4圏域	成法中学校区	70	12.9	18.6	44.3	18.6	18.6	14.3	4.3
		曙川中学校区	30	20.0	16.7	40.0	13.3	20.0	10.0	6.7
		高美中学校区	13	0.0	15.4	30.8	7.7	38.5	23.1	0.0
	第5圏域	高安小中学校区	15	13.3	6.7	60.0	26.7	26.7	0.0	6.7
南高安中学校区		24	20.8	12.5	45.8	8.3	8.3	12.5	4.2	
東中学校区		26	7.7	19.2	65.4	15.4	15.4	19.2	3.8	

※網掛け■は最も割合が高いもの

7 災害への対応について

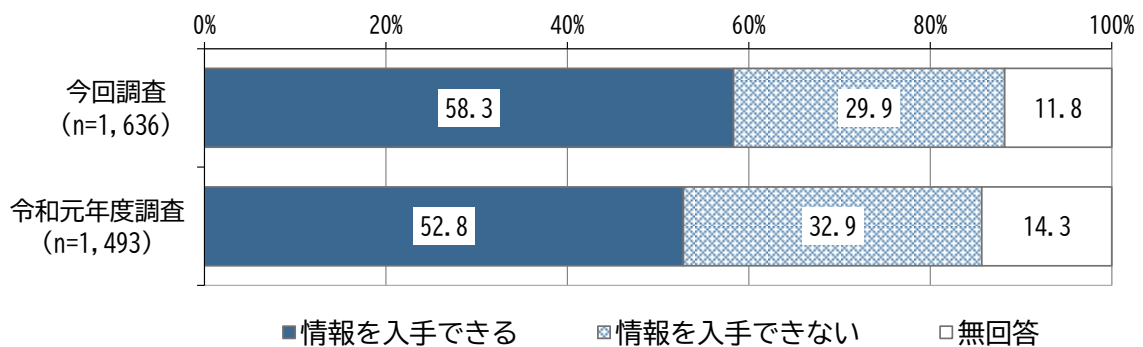
(1) 災害に関する避難情報や緊急情報を入手できるか

問6-1 あなたは、災害（台風や地震等）に関する避難情報や緊急情報を入手できますか。
（1つだけ）

災害に関する避難情報や緊急情報を入手できるかについては、「情報を入手できる」が58.3%、「情報を入手できない」が29.9%となっています。

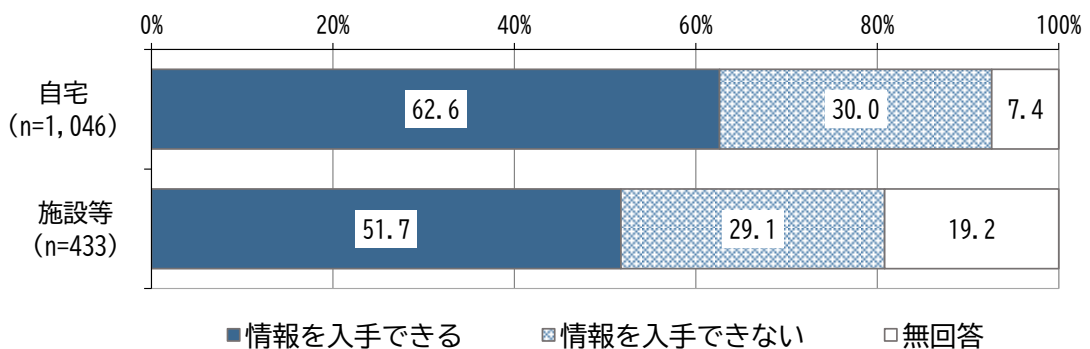
令和元（2019）年度調査と比較すると、「情報を入手できる」（58.3%）では、令和元（2019）年度調査（52.8%）より5.5ポイント増加しています。

図表 3-7-1 災害に関する避難情報や緊急情報を入手できるか



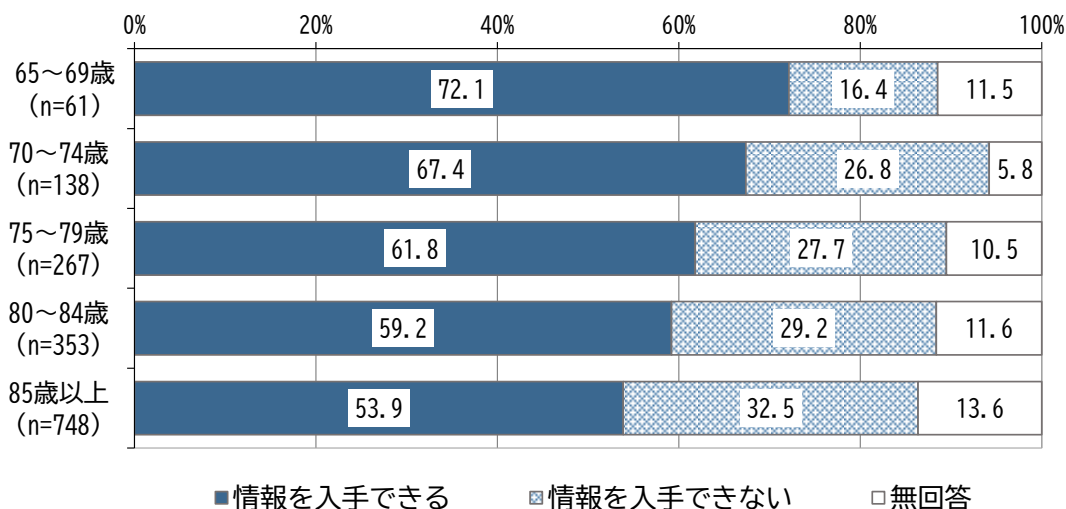
生活の場所別でみると、「情報を入手できる」では、自宅が62.6%、施設等が51.7%となっています。

図表 3-7-2 災害に関する避難情報や緊急情報を入手できるか 生活の場所別



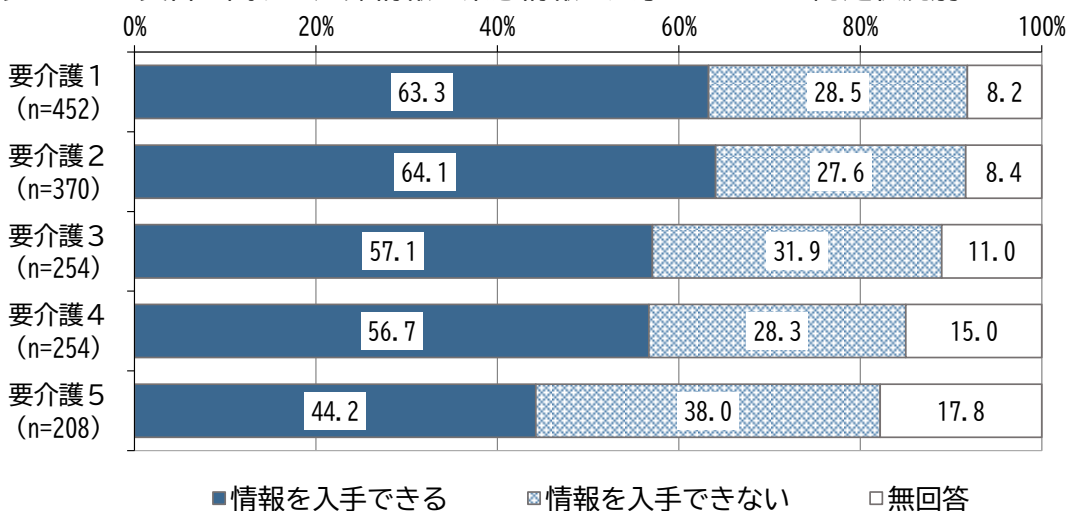
年齢別でみると、「情報を入手できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、要介護5が32.5%で最も高くなっています。

図表 3-7-3 災害に関する避難情報や緊急情報を入手できるか 年齢別



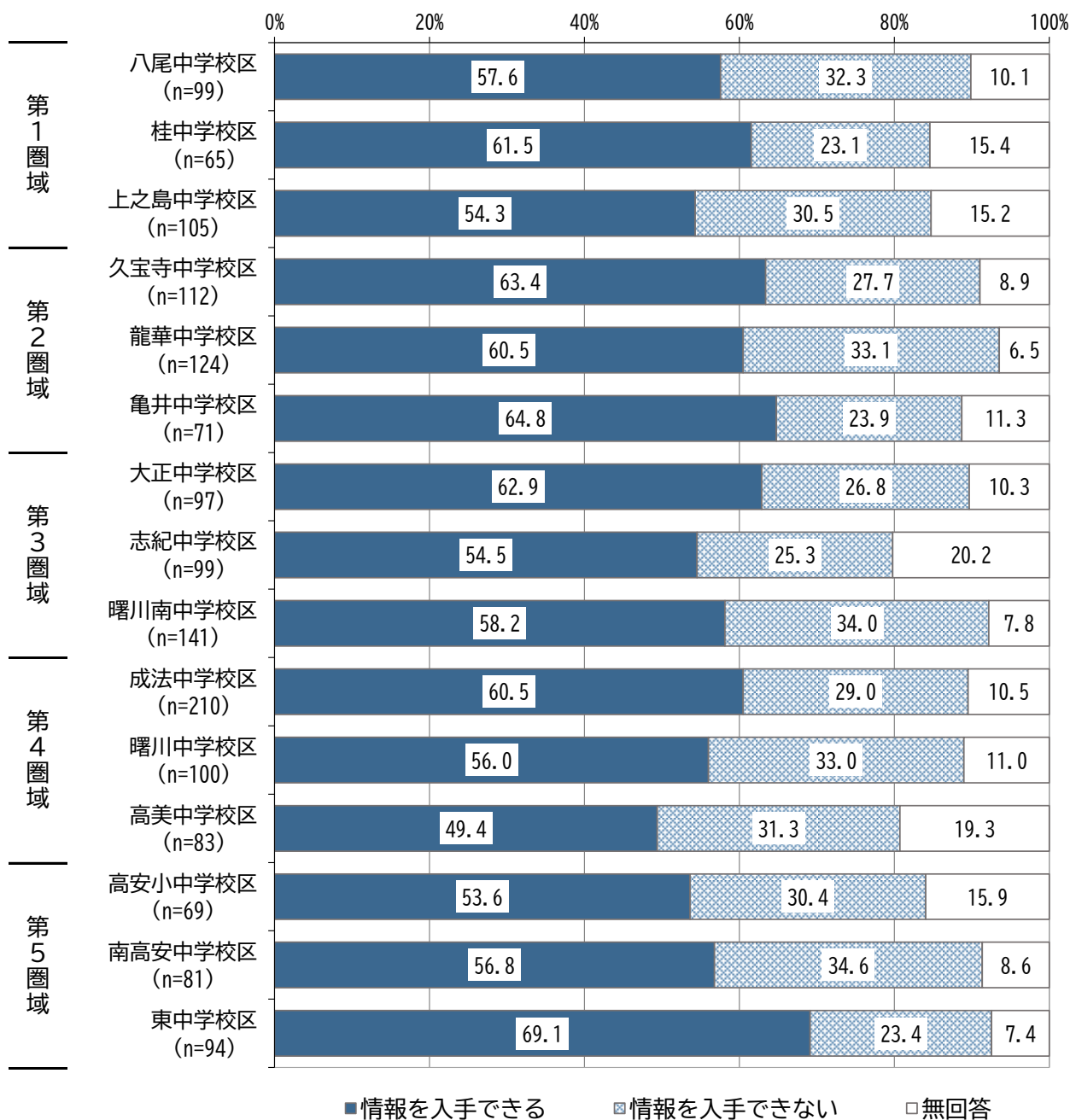
認定状況別でみると、「情報を入手できない」では、要介護5が38.0%で最も高くなっています。

図表 3-7-4 災害に関する避難情報や緊急情報を入手できるか 認定状況別



中学校区別でみると、「情報を入手できない」では、南高安中学校区が34.6%で最も高くなっています。

図表 3-7-5 災害に関する避難情報や緊急情報を入手できるか 中学校区別



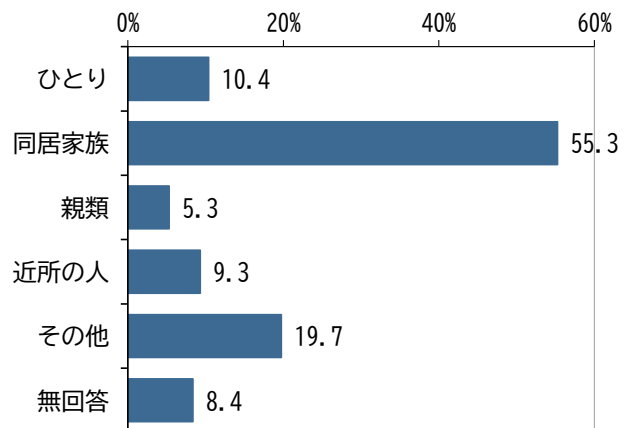
(2) 災害時に一緒に避難する相手

問6-2 災害（台風や地震等）が起こったとき、あなたは誰と避難しますか。（いくつでも）

災害時に一緒に避難する相手については、「同居家族」が55.3%で最も高く、次いで「その他」が19.7%、「ひとり」が10.4%と続いています。

図表 3-7-6 災害時に一緒に避難する相手

全体 (n=1,636)



生活の場所別でみると、自宅では「同居家族」が72.1%で最も高く、施設等では「その他」が50.1%で最も高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「同居家族」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、「その他」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要介護5が33.2%で最も高くなっています。

中学校区別でみると、「ひとり」では、南高安中学校区が16.0%で最も高くなっています。

図表 3-7-7 災害時に一緒に避難する相手 属性別

		合計	ひとり	同居家族	親類	近所の人	その他	無回答	
全体		1,636	10.4	55.3	5.3	9.3	19.7	8.4	
生活の場所別	自宅	1,046	10.8	72.1	6.0	10.5	7.6	3.3	
	施設等	433	8.1	18.0	3.7	6.0	50.1	17.8	
年齢別	65～69歳	61	6.6	50.8	4.9	3.3	27.9	11.5	
	70～74歳	138	11.6	65.2	5.1	5.8	14.5	4.3	
	75～79歳	267	9.0	64.8	4.5	7.5	12.7	7.9	
	80～84歳	353	10.2	63.5	5.7	14.7	11.0	7.6	
	85歳以上	748	10.6	47.2	5.9	8.4	26.3	9.4	
認定状況別	要介護1	452	15.9	55.8	6.2	13.7	12.8	5.1	
	要介護2	370	11.1	64.6	5.1	9.5	15.7	3.5	
	要介護3	254	3.9	66.1	5.5	8.3	17.3	7.5	
	要介護4	254	8.7	46.5	3.9	4.7	29.9	12.6	
	要介護5	208	7.7	37.0	5.8	3.4	33.2	17.3	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	15.2	49.5	7.1	11.1	18.2	6.1
		桂中学校区	65	12.3	36.9	15.4	13.8	27.7	6.2
		上之島中学校区	105	9.5	57.1	2.9	12.4	13.3	11.4
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	8.0	52.7	6.3	14.3	25.0	4.5
		龍華中学校区	124	8.9	60.5	4.8	9.7	19.4	7.3
		亀井中学校区	71	12.7	60.6	9.9	5.6	11.3	8.5
	第3圏域	大正中学校区	97	6.2	63.9	3.1	3.1	17.5	9.3
		志紀中学校区	99	13.1	41.4	4.0	6.1	28.3	13.1
		曙川南中学校区	141	7.1	61.7	7.1	9.2	18.4	5.7
	第4圏域	成法中学校区	210	12.4	53.8	4.3	7.6	21.9	7.6
		曙川中学校区	100	10.0	65.0	6.0	4.0	18.0	5.0
		高美中学校区	83	8.4	59.0	3.6	10.8	14.5	18.1
	第5圏域	高安小中学校区	69	5.8	56.5	1.4	13.0	23.2	8.7
南高安中学校区		81	16.0	58.0	3.7	12.3	11.1	9.9	
東中学校区		94	10.6	60.6	5.3	5.3	18.1	4.3	

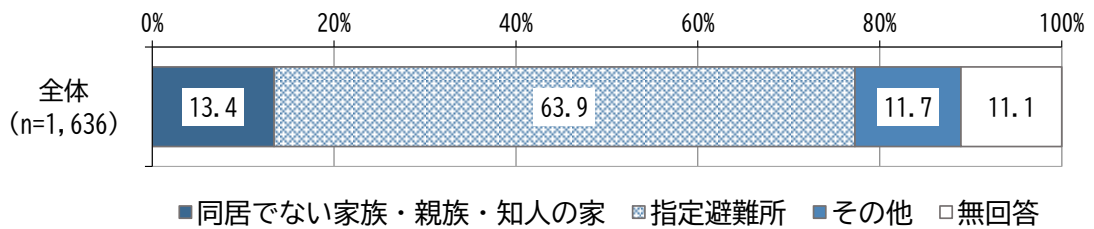
※網掛け■は最も割合が高いもの

(3) 災害時の避難場所

問6-3 災害（台風や地震等）が起こったとき、あなたはどこへ避難しますか。（1つだけ）

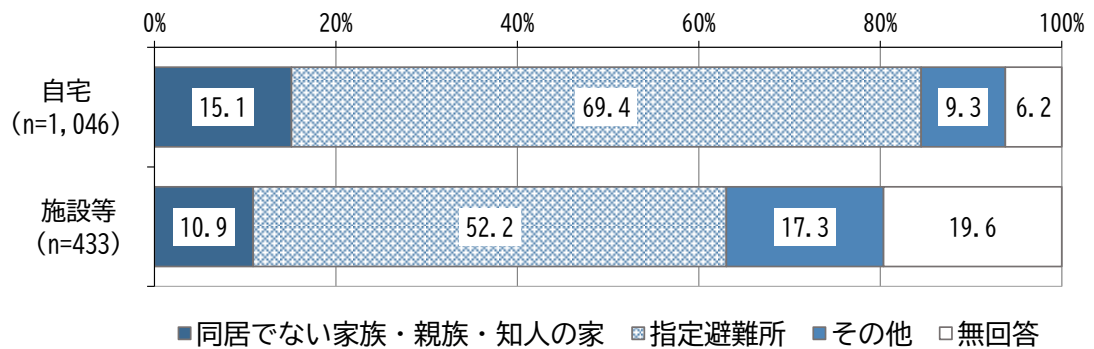
災害時の避難場所については、「指定避難所」が63.9%で最も高く、次いで「同居でない家族・親族・知人の家」が13.4%、「その他」が11.7%となっています。

図表 3-7-8 災害時の避難場所

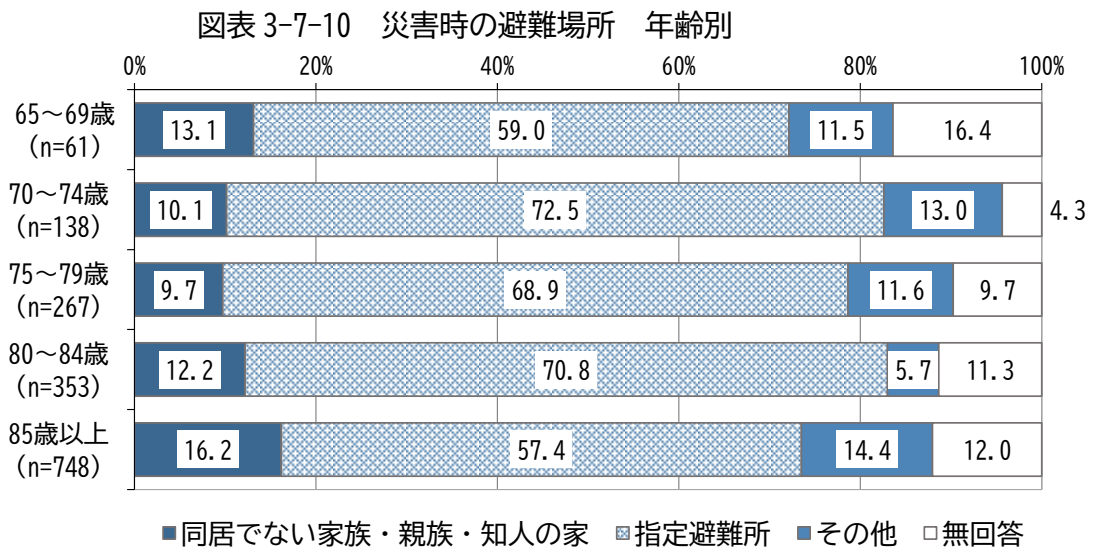


生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「指定避難所」の割合が最も高くなっています。

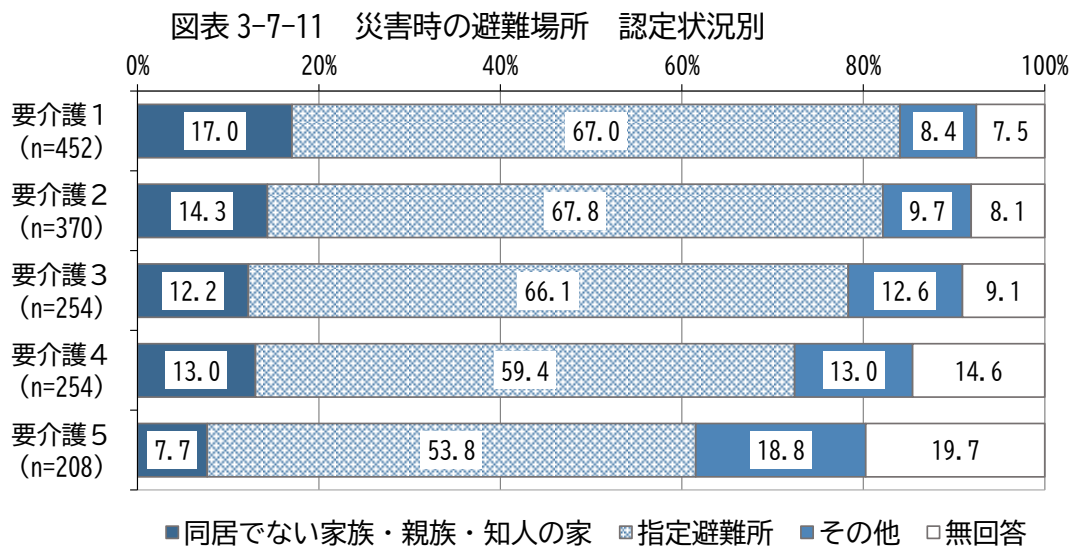
図表 3-7-9 災害時の避難場所 生活の場所別



年齢別でみると、「同居でない家族・親族・知人の家」では、85歳以上が16.2%で最も高くなっています。

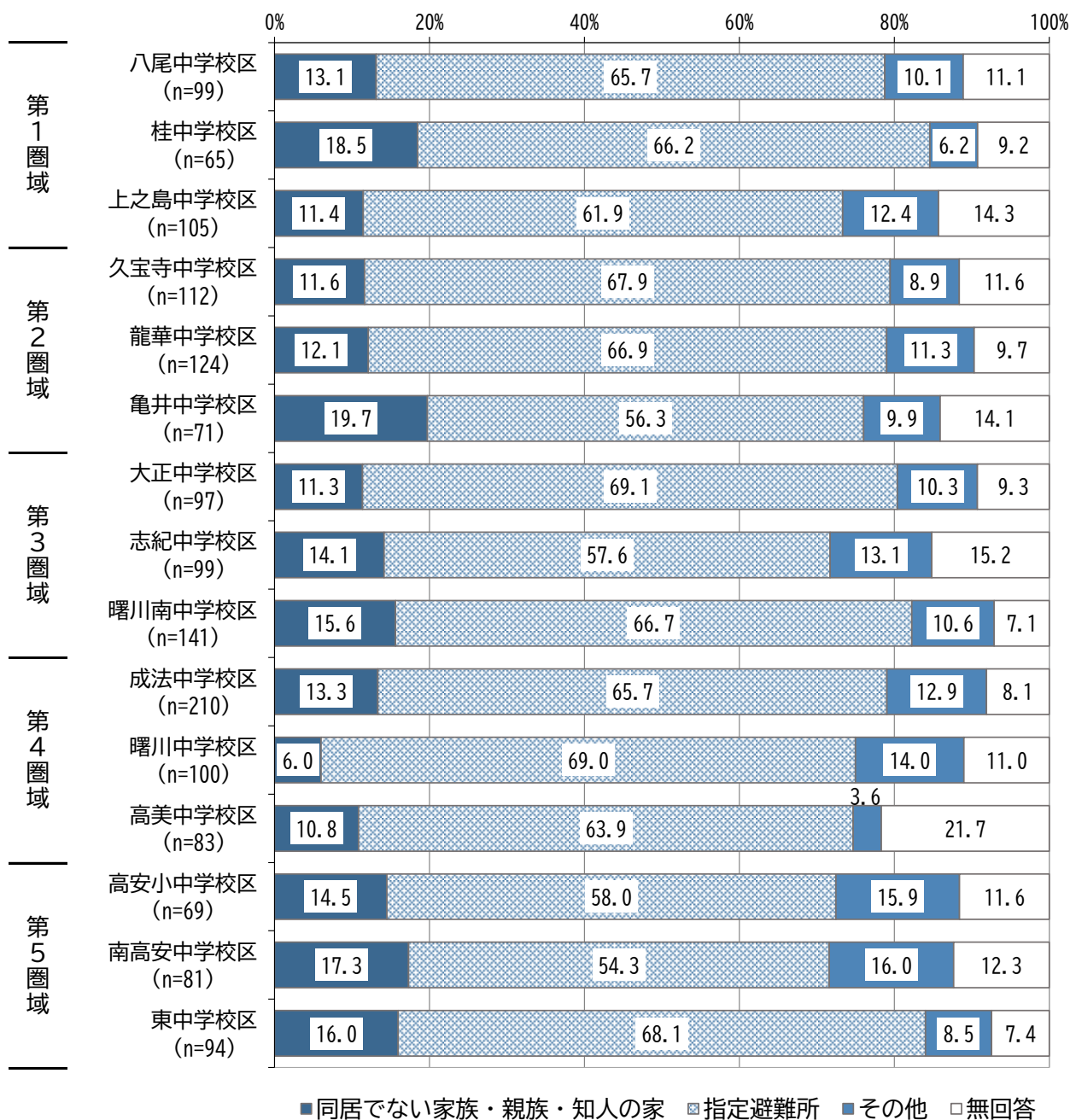


認定状況別でみると、「同居でない家族・親族・知人の家」では、要介護1が17.0%で最も高くなっています。



中学校区別でみると、「同居でない家族・親族・知人の家」では、亀井中学校区が19.7%で最も高くなっています。

図表 3-7-12 災害時の避難場所 中学校区別

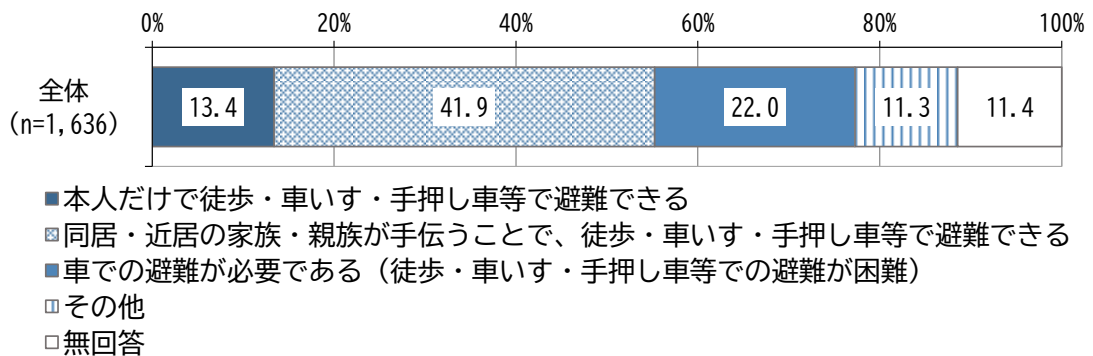


(4) 災害時の避難方法

問6-4 災害（台風や地震等）が起こったとき、あなたはどのようにして避難しますか。
（1つだけ）

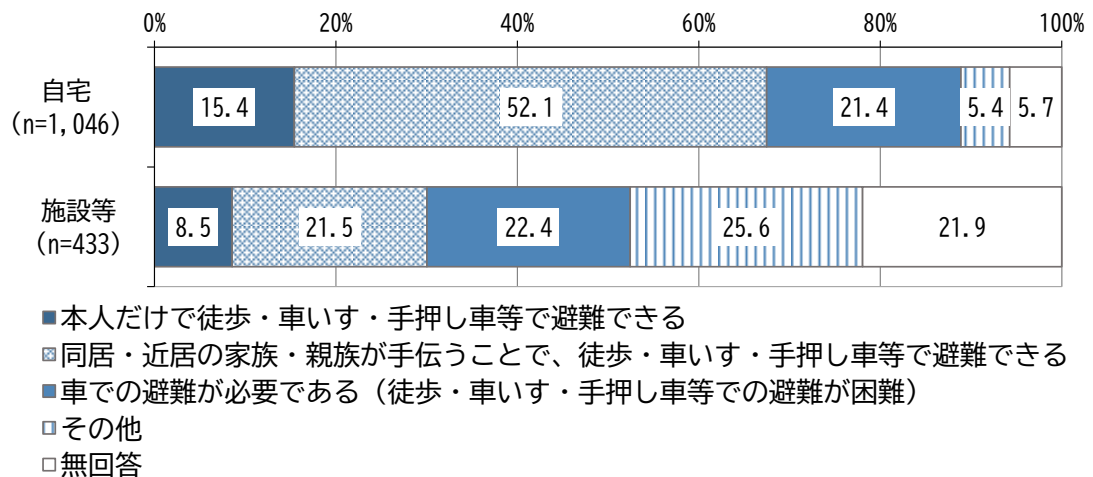
災害時の避難方法については、「同居・近居の家族・親族が手伝うことで、徒歩・車いす・手押し車等で避難できる」が41.9%で最も高く、次いで「車での避難が必要である（徒歩・車いす・手押し車等での避難が困難）」が22.0%、「本人だけで徒歩・車いす・手押し車等で避難できる」が13.4%と続いています。

図表 3-7-13 災害時の避難方法



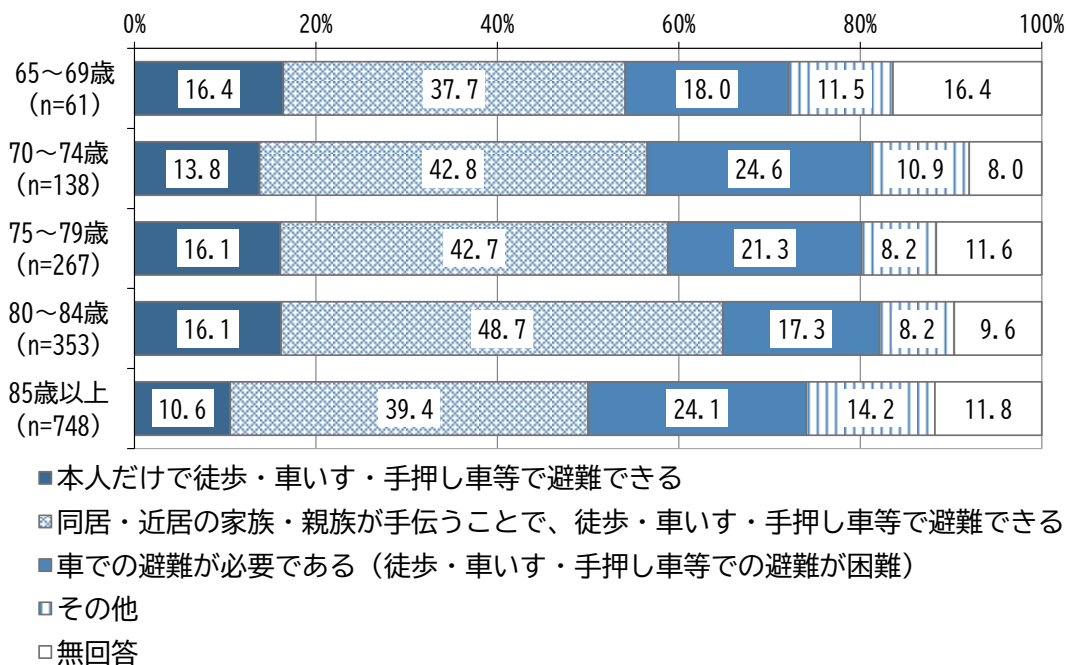
生活の場所別で見ると、自宅では「同居・近居の家族・親族が手伝うことで、徒歩・車いす・手押し車等で避難できる」が52.1%で最も高く、施設等では「その他」が25.6%で最も高くなっています。

図表 3-7-14 災害時の避難方法 生活の場所別



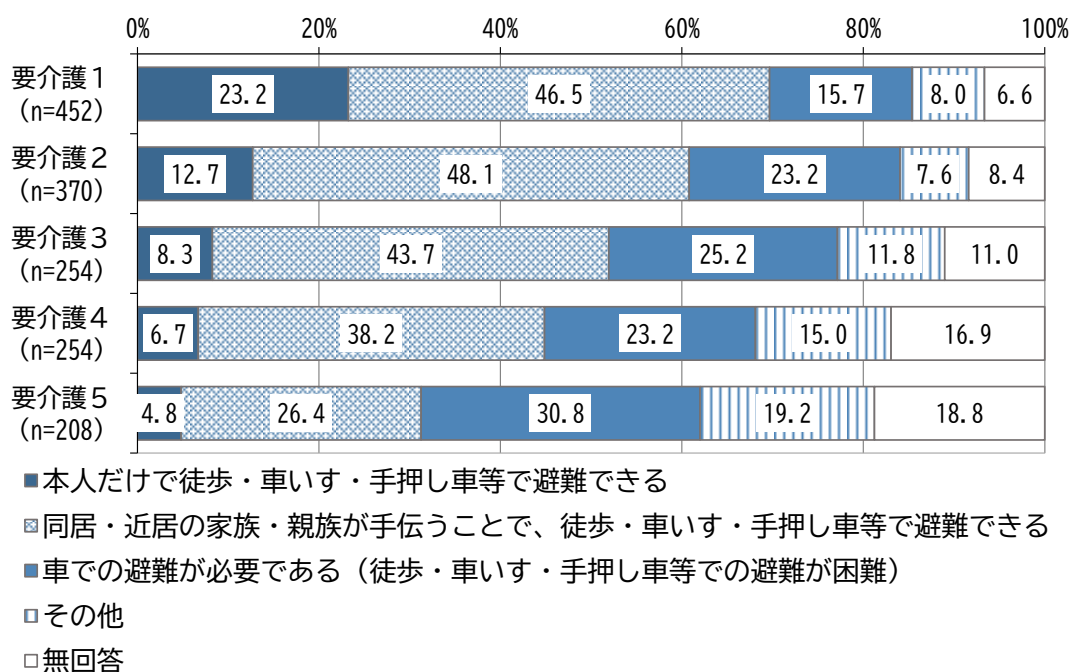
年齢別でみると、「車での避難が必要である（徒歩・車いす・手押し車等での避難が困難）」では、70～74歳が24.6%で最も高くなっています。

図表 3-7-15 災害時の避難方法 年齢別



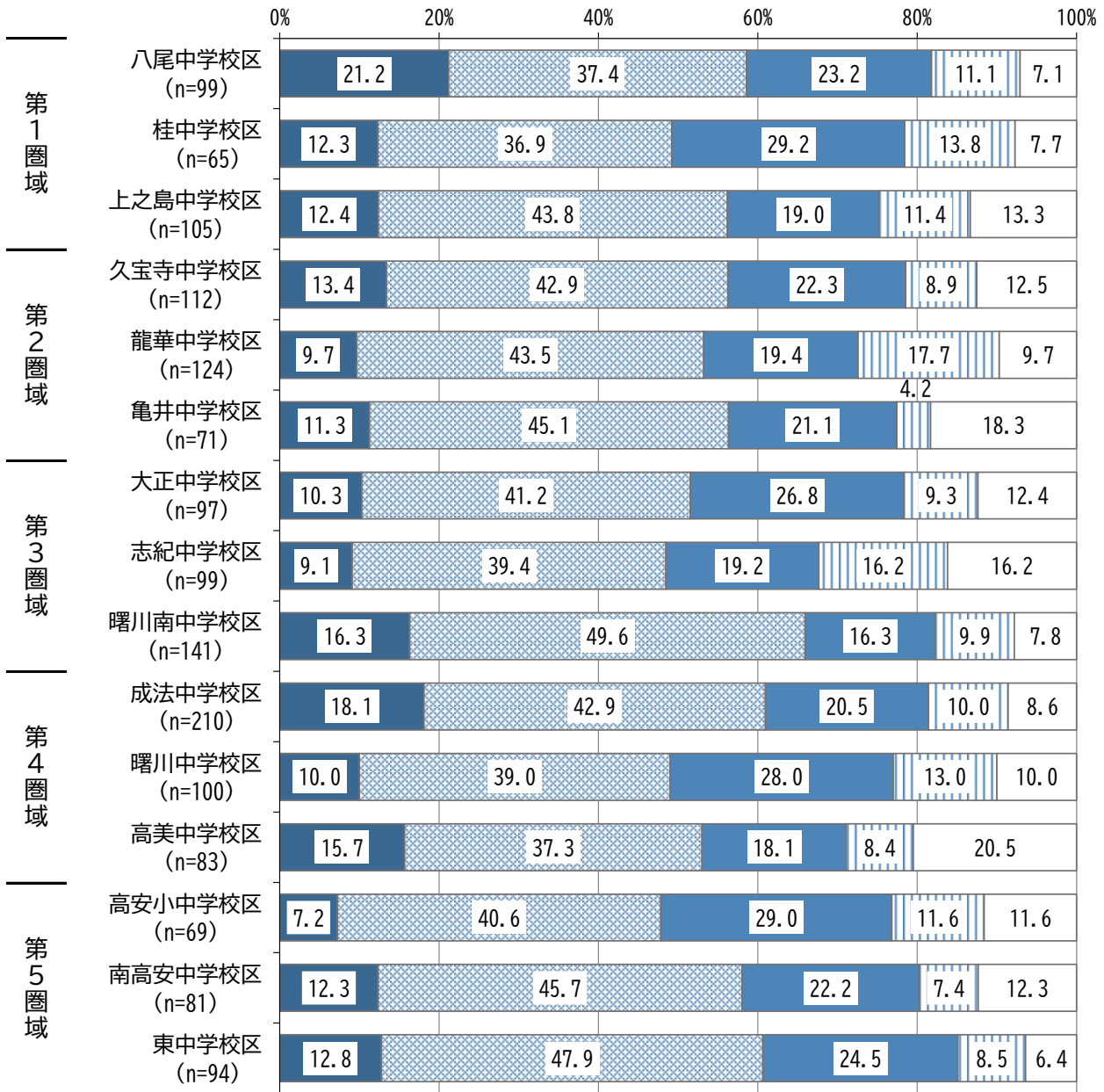
認定状況別でみると、「車での避難が必要である（徒歩・車いす・手押し車等での避難が困難）」では、要介護5が30.8%で最も高くなっています。

図表 3-7-16 災害時の避難方法 認定状況別



中学校区別でみると、「車での避難が必要である（徒歩・車いす・手押し車等での避難が困難）」では、桂中学校区が29.2%で最も高くなっています。

図表 3-7-17 災害時の避難方法 中学校区別



- 本人だけで徒歩・車いす・手押し車等で避難できる
- ▨ 同居・近居の家族・親族が手伝うことで、徒歩・車いす・手押し車等で避難できる
- 車での避難が必要である（徒歩・車いす・手押し車等での避難が困難）
- ▨ その他
- 無回答

8 高齢者施策全般について

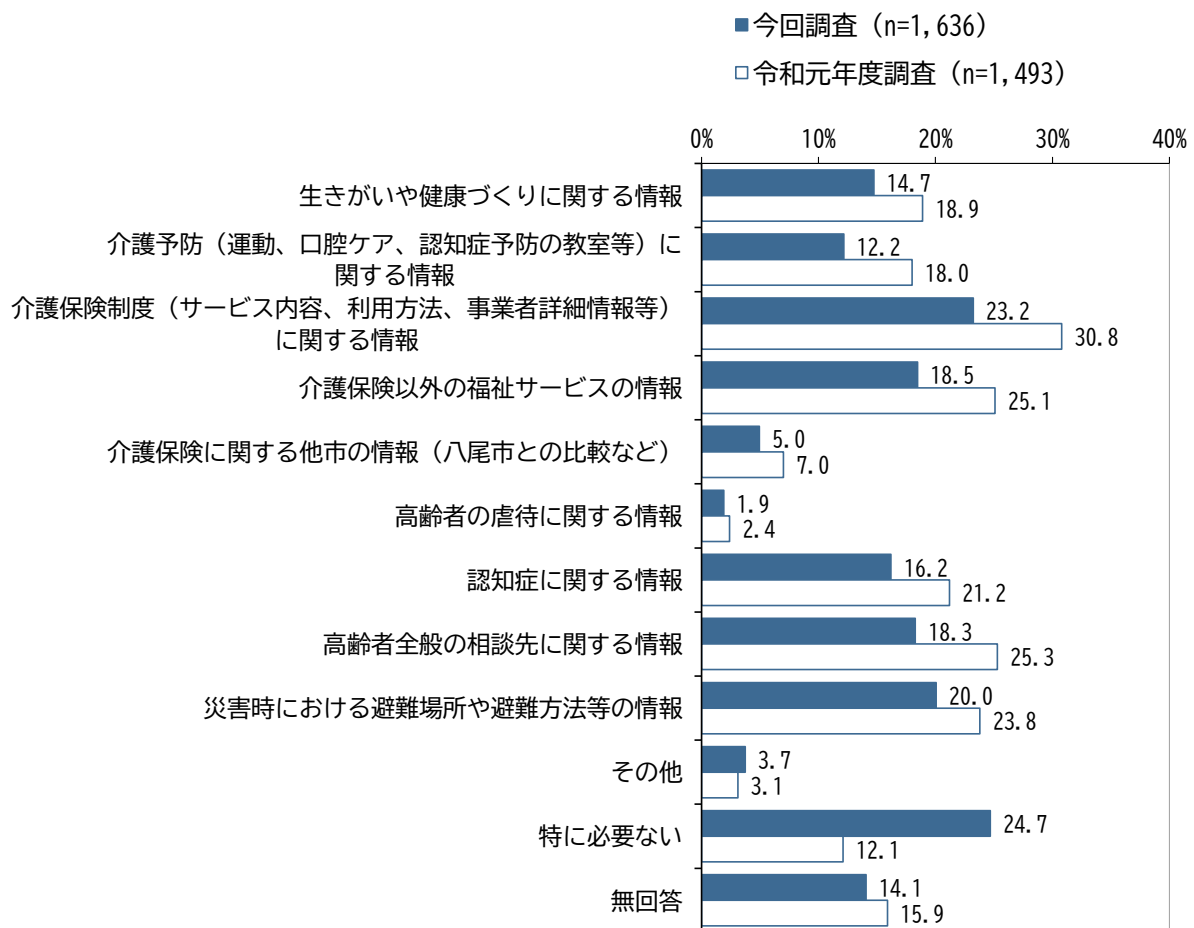
(1) 介護や福祉サービスでほしい情報

問7-1 あなたは、介護や福祉サービスなどについて、どのような情報がほしいと思いますか。
(いくつでも)

介護や福祉サービスでほしい情報については、「特に必要ない」が24.7%で最も高く、次いで「介護保険制度（サービス内容、利用方法、事業者詳細情報等）に関する情報」が23.2%、「災害時における避難場所や避難方法等の情報」が20.0%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「特に必要ない」（24.7%）では、令和元（2019）年度調査（12.1%）より12.6ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 3-8-1 介護や福祉サービスでほしい情報



生活の場所別でみると、自宅では「災害時における避難場所や避難方法等の情報」が25.1%で最も高く、施設等では「特に必要ない」が32.6%で最も高くなっています。

年齢別でみると、65～69歳では「介護保険以外の福祉サービスの情報」の割合が最も高く、80～84歳では「災害時における避難場所や避難方法等の情報」の割合が最も高く、それ以外の年齢層では「特に必要ない」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、要介護1では「災害時における避難場所や避難方法等の情報」の割合が最も高く、それ以外の認定状況では「特に必要ない」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「高齢者全般の相談先に関する情報」では、八尾中学校区が26.3%で最も高くなっています。

図表 3-8-2 介護や福祉サービスでほしい情報 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	生きがいや健康づくりに関する情報	介護予防（運動、口腔ケア、認知症予防に関する情報）	介護保険制度（サービス内容等）に関する情報	介護保険以外の福祉サービスの情報	介護保険に関する情報（八尾市との比較など）	高齢者の虐待に関する情報	認知症に関する情報	高齢者全般の相談先に関する情報	災害時における避難場所や避難方法等の情報	その他	
全体		1,636	14.7	12.2	23.2	18.5	5.0	1.9	16.2	18.3	20.0	3.7	
生活の場所別	自宅	1,046	16.1	13.0	24.4	20.9	4.8	1.4	17.4	19.8	25.1	3.5	
	施設等	433	12.7	10.2	20.1	12.2	4.6	2.8	14.5	13.4	10.2	3.7	
年齢別	65～69歳	61	16.4	16.4	23.0	27.9	9.8	3.3	9.8	14.8	19.7	1.6	
	70～74歳	138	17.4	12.3	23.9	18.8	6.5	0.0	11.6	13.0	23.9	6.5	
	75～79歳	267	12.7	9.4	21.0	15.7	6.7	2.2	12.4	15.7	16.1	4.5	
	80～84歳	353	14.7	13.9	22.9	20.7	4.5	2.0	22.7	16.4	25.2	2.5	
	85歳以上	748	14.6	12.0	23.9	17.5	4.0	1.9	15.8	22.3	18.7	4.0	
認定状況別	要介護1	452	19.2	13.3	22.8	18.8	3.3	1.1	21.9	18.6	24.3	3.5	
	要介護2	370	16.5	14.6	22.7	21.6	5.1	1.6	13.2	19.7	20.3	3.8	
	要介護3	254	13.0	8.7	21.7	15.4	3.5	2.0	18.5	15.0	18.9	4.3	
	要介護4	254	10.2	11.0	23.2	16.5	7.1	2.8	10.2	19.7	14.6	2.8	
	要介護5	208	8.2	10.1	22.6	18.3	6.3	1.9	13.0	17.3	17.3	5.3	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	11.1	15.2	22.2	20.2	6.1	3.0	13.1	26.3	20.2	4.0
		桂中学校区	65	12.3	10.8	26.2	20.0	3.1	1.5	13.8	9.2	10.8	9.2
		上之島中学校区	105	15.2	13.3	24.8	16.2	5.7	1.0	15.2	22.9	19.0	5.7
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	13.4	7.1	27.7	21.4	6.3	2.7	15.2	13.4	18.8	2.7
		龍華中学校区	124	15.3	14.5	23.4	20.2	7.3	1.6	14.5	22.6	25.0	4.8
		亀井中学校区	71	15.5	14.1	21.1	16.9	4.2	0.0	15.5	16.9	19.7	4.2
	第3圏域	大正中学校区	97	19.6	13.4	25.8	16.5	4.1	2.1	16.5	17.5	21.6	5.2
		志紀中学校区	99	7.1	11.1	20.2	17.2	6.1	3.0	14.1	12.1	20.2	5.1
		曙川南中学校区	141	12.1	11.3	28.4	19.9	4.3	0.7	21.3	22.7	19.9	2.8
	第4圏域	成法中学校区	210	18.1	15.2	18.1	14.3	3.3	2.4	14.8	19.5	18.1	2.9
		曙川中学校区	100	16.0	14.0	27.0	20.0	8.0	1.0	18.0	23.0	24.0	3.0
		高美中学校区	83	12.0	3.6	18.1	15.7	6.0	2.4	15.7	12.0	16.9	3.6
	第5圏域	高安小中学校区	69	21.7	8.7	18.8	17.4	2.9	4.3	23.2	14.5	21.7	1.4
南高安中学校区		81	18.5	17.3	21.0	22.2	6.2	0.0	22.2	17.3	19.8	0.0	
	東中学校区	94	14.9	8.5	20.2	21.3	3.2	2.1	13.8	9.6	24.5	3.2	

		合計	特に 必要ない	無 回答	
全体		1,636	24.7	14.1	
生活の 場所別	自宅	1,046	22.8	9.8	
	施設等	433	32.6	20.3	
年 齢 別	65～69歳	61	21.3	16.4	
	70～74歳	138	26.8	9.4	
	75～79歳	267	23.6	18.0	
	80～84歳	353	21.8	14.7	
	85歳以上	748	26.6	12.8	
認 定 状 況 別	要介護1	452	20.4	10.8	
	要介護2	370	25.7	10.5	
	要介護3	254	27.6	13.4	
	要介護4	254	29.5	18.9	
	要介護5	208	25.0	21.2	
中 学 校 区 別	第1圏域	八尾中学校区	99	18.2	12.1
		桂中学校区	65	24.6	18.5
		上之島中学校区	105	22.9	16.2
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	27.7	9.8
		龍華中学校区	124	25.0	12.9
		亀井中学校区	71	26.8	18.3
	第3圏域	大正中学校区	97	21.6	13.4
		志紀中学校区	99	30.3	18.2
		曙川南中学校区	141	17.7	13.5
	第4圏域	成法中学校区	210	26.7	11.0
		曙川中学校区	100	19.0	11.0
		高美中学校区	83	26.5	21.7
	第5圏域	高安小中学校区	69	26.1	11.6
		南高安中学校区	81	29.6	14.8
		東中学校区	94	34.0	10.6

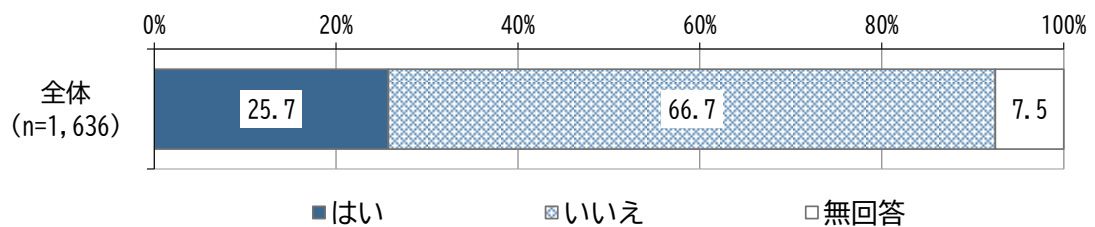
※網掛け■は最も割合が高いもの

(2) スマートフォンを利用しているか

問7-2 あなたは、スマートフォンを利用していますか。(1つだけ)

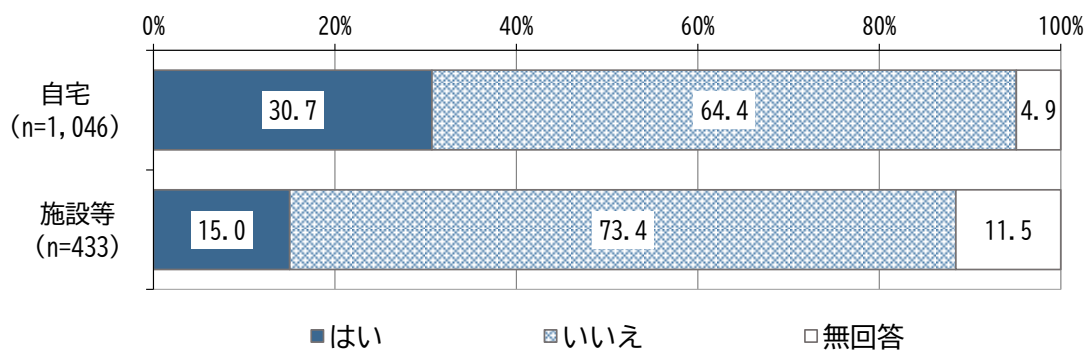
スマートフォンを利用しているかについては、「はい」が25.7%、「いいえ」が66.7%となっています。

図表 3-8-3 スマートフォンを利用しているか



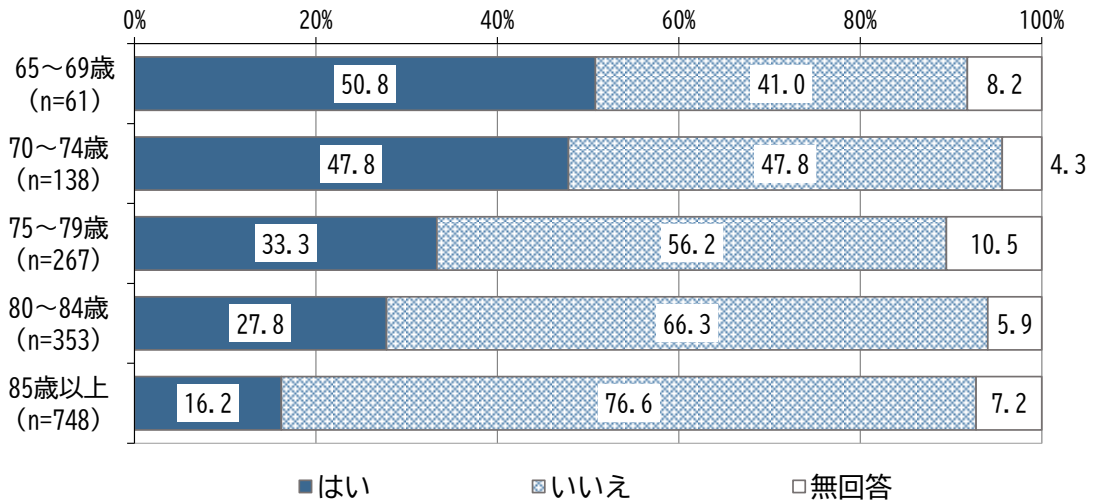
生活の場所別でみると、「はい」では、自宅が30.7%、施設等が15.0%となっています。

図表 3-8-4 スマートフォンを利用しているか 生活の場所別



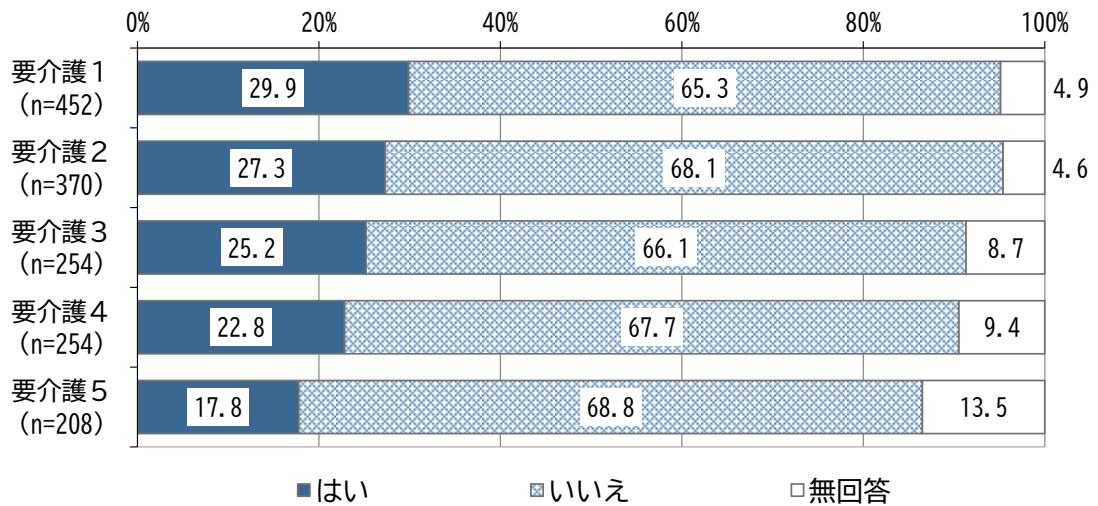
年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳が50.8%で最も高くなっています。

図表 3-8-5 スマートフォンを利用しているか 年齢別



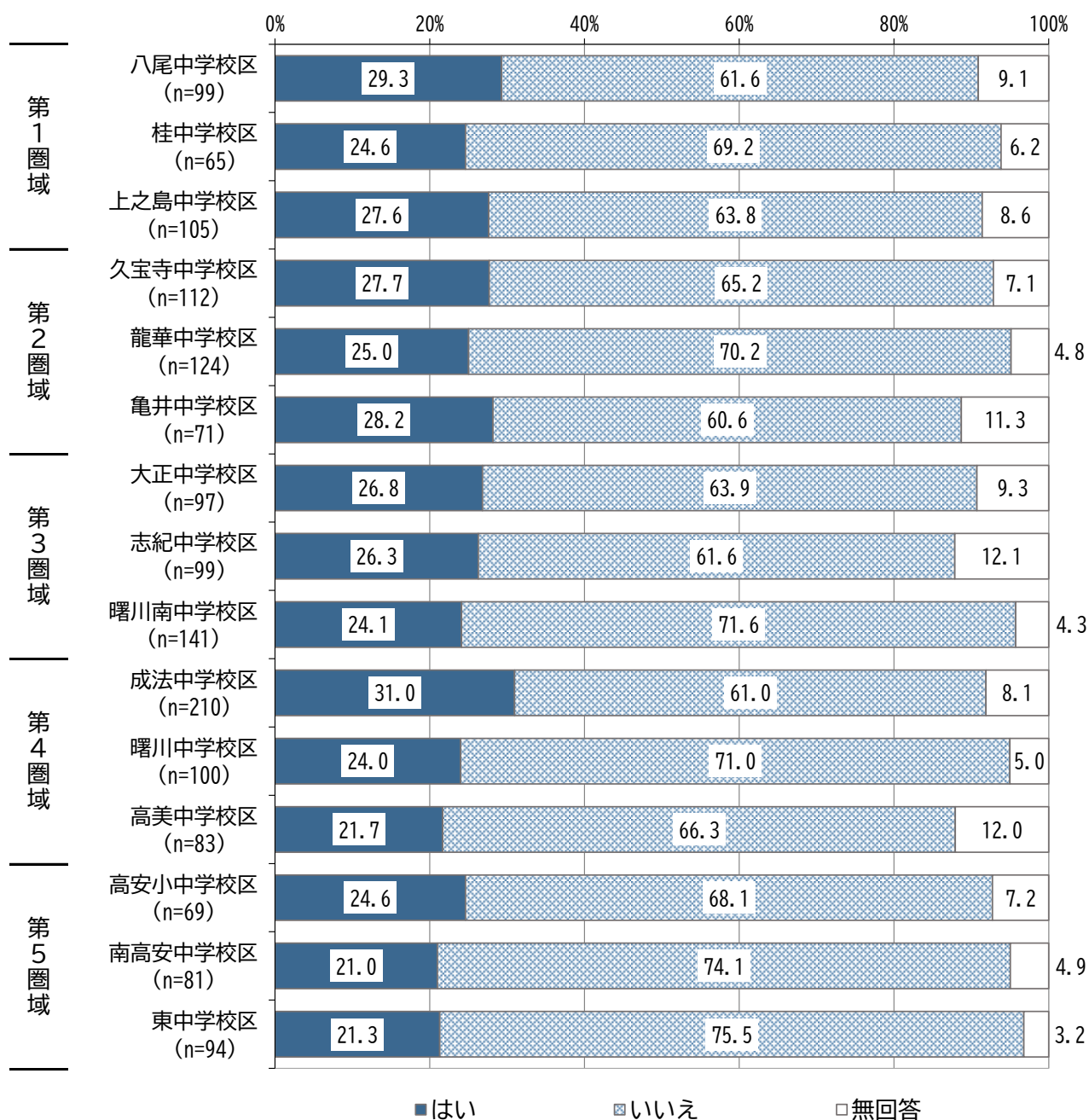
認定状況別でみると、「はい」では、要介護度が上がるにつれて割合が減少しており、要介護1が29.9%で最も高くなっています。

図表 3-8-6 スマートフォンを利用しているか 認定状況別



中学校区別でみると、「はい」では、成法中学校区が31.0%で最も高くなっています。

図表 3-8-7 スマートフォンを利用しているか 中学校区別



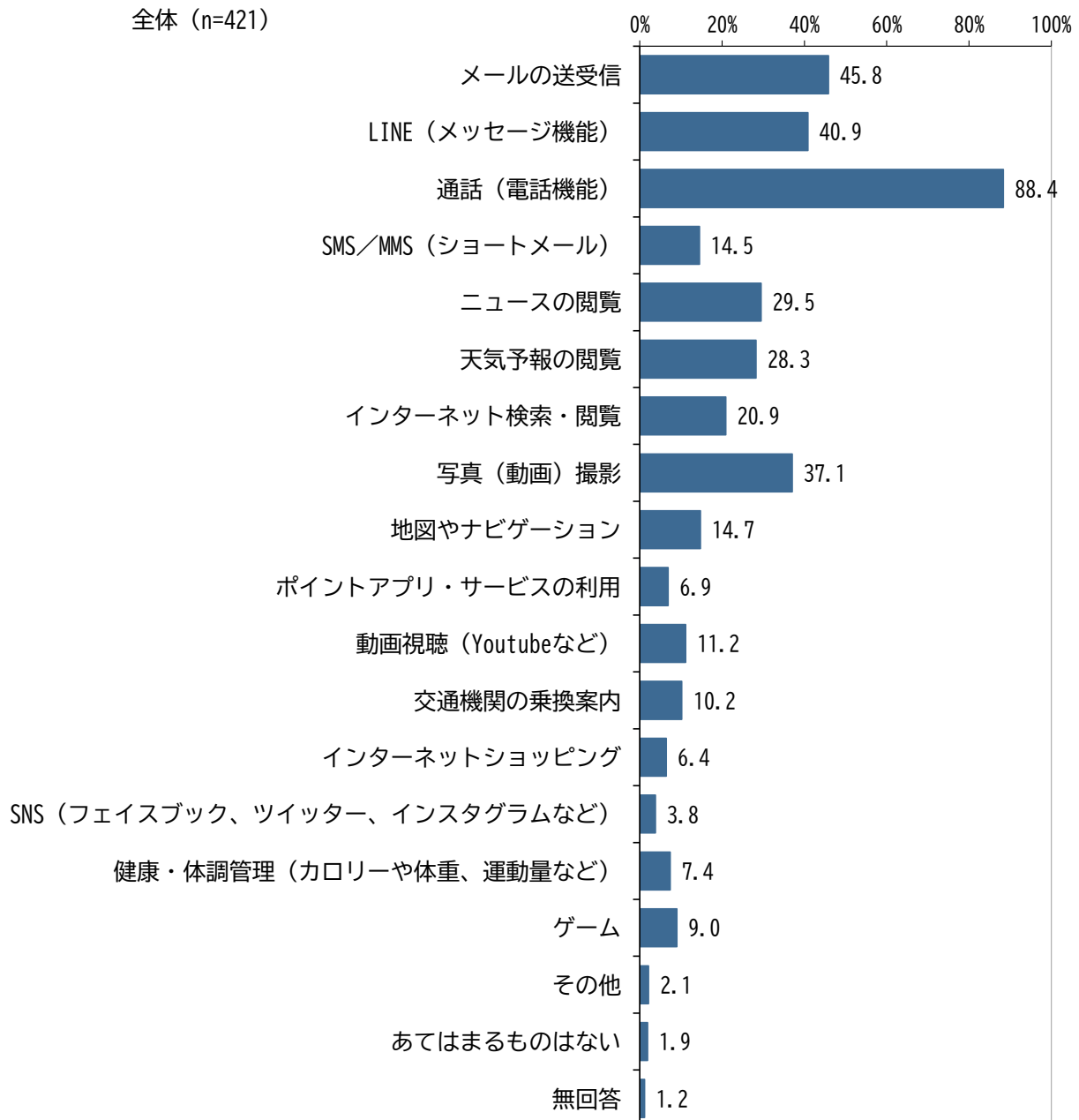
(3) スマートフォンの利用目的

問7-2で「はい」と答えた人（スマートフォンを利用している人）のみ、お答えください。

問7-2-1 スマートフォンをどういったことに利用していますか。（いくつでも）

スマートフォンの利用目的については、「通話（電話機能）」が88.4%で最も高く、次いで「メールの送受信」が45.8%、「LINE（メッセージ機能）」が40.9%と続いています。

図表 3-8-8 スマートデバイスの利用目的



生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「通話（電話機能）」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「通話（電話機能）」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、全ての認定状況で「通話（電話機能）」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、「健康・体調管理（カロリーや体重、運動量など）」では、南高安中学校区が17.6%で最も高くなっています。

図表 3-8-9 スマートフォンの利用目的 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	メールの送受信	LINE（メッセージ機能）	通話（電話機能）	SMS/MMS（ショートメール）	ニュースの閲覧	天気予報の閲覧	インターネット検索・閲覧	写真（動画）撮影	地図やナビゲーション	ポイントアプリ・サービスの利用	
全体		421	45.8	40.9	88.4	14.5	29.5	28.3	20.9	37.1	14.7	6.9	
生活の場所別	自宅	321	46.1	41.1	89.1	14.0	30.2	29.3	21.5	35.5	14.0	4.7	
	施設等	65	44.6	40.0	84.6	15.4	21.5	20.0	16.9	36.9	16.9	13.8	
年齢別	65～69歳	31	48.4	54.8	83.9	25.8	41.9	38.7	41.9	58.1	25.8	22.6	
	70～74歳	66	54.5	45.5	89.4	16.7	33.3	33.3	31.8	40.9	15.2	4.5	
	75～79歳	89	49.4	50.6	93.3	15.7	42.7	32.6	23.6	44.9	23.6	6.7	
	80～84歳	98	51.0	39.8	89.8	13.3	25.5	24.5	16.3	33.7	10.2	4.1	
	85歳以上	121	35.5	30.6	84.3	11.6	18.2	22.3	13.2	28.1	9.9	6.6	
認定状況別	要介護1	135	46.7	42.2	94.1	13.3	28.1	31.1	22.2	38.5	12.6	5.2	
	要介護2	101	43.6	44.6	84.2	11.9	32.7	32.7	18.8	38.6	14.9	2.0	
	要介護3	64	48.4	39.1	90.6	21.9	32.8	29.7	20.3	42.2	15.6	7.8	
	要介護4	58	46.6	32.8	82.8	8.6	20.7	19.0	17.2	36.2	17.2	10.3	
	要介護5	37	45.9	45.9	86.5	13.5	29.7	24.3	29.7	27.0	16.2	16.2	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	29	44.8	44.8	75.9	3.4	24.1	20.7	10.3	41.4	10.3	3.4
		桂中学校区	16	25.0	18.8	75.0	6.3	31.3	18.8	12.5	31.3	6.3	0.0
		上之島中学校区	29	44.8	27.6	96.6	13.8	24.1	31.0	17.2	34.5	6.9	0.0
	第2圏域	久宝寺中学校区	31	35.5	29.0	83.9	6.5	19.4	22.6	22.6	19.4	12.9	6.5
		龍華中学校区	31	54.8	45.2	93.5	19.4	58.1	41.9	29.0	48.4	41.9	9.7
		亀井中学校区	20	45.0	40.0	90.0	20.0	40.0	30.0	20.0	35.0	5.0	5.0
	第3圏域	大正中学校区	26	42.3	34.6	88.5	23.1	26.9	19.2	23.1	42.3	3.8	11.5
		志紀中学校区	26	30.8	50.0	73.1	11.5	15.4	26.9	19.2	26.9	11.5	19.2
		曙川南中学校区	34	41.2	47.1	97.1	17.6	26.5	29.4	26.5	38.2	17.6	14.7
	第4圏域	成法中学校区	65	50.8	41.5	89.2	12.3	23.1	23.1	12.3	32.3	9.2	6.2
		曙川中学校区	24	33.3	37.5	79.2	12.5	25.0	16.7	8.3	20.8	8.3	0.0
		高美中学校区	18	66.7	61.1	100.0	27.8	44.4	50.0	33.3	50.0	33.3	11.1
	第5圏域	高安小中学校区	17	35.3	41.2	94.1	11.8	23.5	29.4	29.4	35.3	17.6	11.8
		南高安中学校区	17	64.7	47.1	100.0	11.8	17.6	29.4	23.5	58.8	11.8	0.0
東中学校区		20	75.0	55.0	90.0	30.0	50.0	40.0	40.0	55.0	20.0	5.0	

		合計	動画視聴 (YouTube など)	交通機関の乗換案内	インターネットショッピング	SNS(フェイスブック、 ツイッター、インスタグラ ムなど)	健康・体調管理(カロリー や体重、運動量など)	ゲーム	その他	あてはまるものはない	無回答	
全体		421	11.2	10.2	6.4	3.8	7.4	9.0	2.1	1.9	1.2	
生活の 場所別	自宅	321	10.0	8.4	5.3	2.2	6.2	8.1	1.9	2.5	0.9	
	施設等	65	15.4	16.9	10.8	10.8	12.3	12.3	0.0	0.0	3.1	
年齢別	65～69歳	31	29.0	22.6	22.6	9.7	9.7	22.6	0.0	0.0	0.0	
	70～74歳	66	16.7	10.6	7.6	4.5	4.5	13.6	0.0	1.5	3.0	
	75～79歳	89	9.0	7.9	4.5	1.1	6.7	5.6	1.1	1.1	0.0	
	80～84歳	98	4.1	6.1	3.1	1.0	7.1	8.2	2.0	2.0	1.0	
	85歳以上	121	11.6	9.9	5.8	5.8	8.3	6.6	5.0	2.5	1.7	
認定 状況別	要介護1	135	10.4	11.1	5.9	3.7	5.2	9.6	3.0	0.0	0.7	
	要介護2	101	12.9	5.0	4.0	2.0	9.9	5.9	3.0	3.0	1.0	
	要介護3	64	7.8	12.5	9.4	4.7	10.9	9.4	0.0	3.1	0.0	
	要介護4	58	8.6	5.2	3.4	3.4	1.7	12.1	0.0	5.2	1.7	
	要介護5	37	16.2	21.6	10.8	8.1	13.5	13.5	2.7	0.0	2.7	
中学校 区別	第1圏域	八尾中学校区	29	0.0	0.0	3.4	0.0	10.3	3.4	3.4	6.9	0.0
		桂中学校区	16	6.3	0.0	0.0	6.3	6.3	12.5	0.0	6.3	0.0
		上之島中学校区	29	10.3	3.4	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	第2圏域	久宝寺中学校区	31	9.7	3.2	3.2	0.0	6.5	6.5	9.7	0.0	3.2
		龍華中学校区	31	6.5	12.9	3.2	0.0	6.5	16.1	0.0	0.0	0.0
		亀井中学校区	20	10.0	25.0	5.0	0.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0
	第3圏域	大正中学校区	26	15.4	7.7	7.7	3.8	11.5	7.7	3.8	7.7	0.0
		志紀中学校区	26	11.5	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	3.8	3.8	3.8
		曙川南中学校区	34	11.8	17.6	14.7	5.9	5.9	20.6	0.0	0.0	2.9
	第4圏域	成法中学校区	65	10.8	10.8	7.7	4.6	7.7	7.7	1.5	0.0	1.5
		曙川中学校区	24	16.7	8.3	4.2	0.0	16.7	4.2	4.2	0.0	4.2
		高美中学校区	18	27.8	16.7	5.6	5.6	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0
	第5圏域	高安小中学校区	17	17.6	11.8	17.6	17.6	5.9	23.5	0.0	0.0	0.0
南高安中学校区		17	0.0	5.9	0.0	0.0	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	
東中学校区		20	20.0	20.0	20.0	10.0	5.0	15.0	0.0	5.0	0.0	

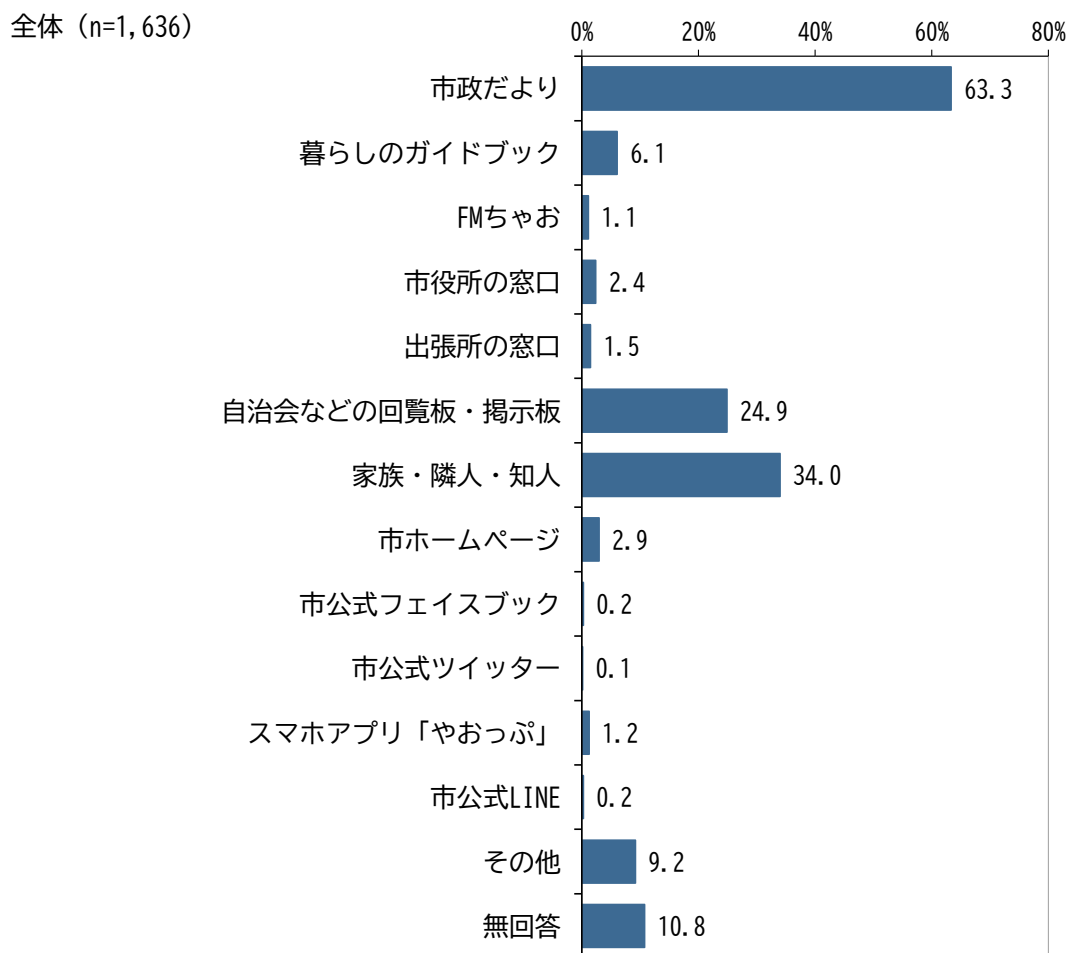
※網掛け■は最も割合が高いもの

(4) 市の情報の入手方法

問7-3 あなたは、市からの情報はどこから得ていますか。(いくつでも)

市の情報の入手方法については、「市政だより」が63.3%で最も高く、次いで「家族・隣人・知人」が34.0%、「自治会などの回覧板・掲示板」が24.9%と続いています。

図表 3-8-10 市の情報の入手方法



生活の場所別でみると、自宅、施設等いずれも「市政だより」の割合が最も高くなっています。
 年齢別でみると、全ての年齢層で「市政だより」の割合が最も高くなっています。

認定状況別でみると、全ての認定状況で「市政だより」の割合が最も高くなっています。

中学校区別でみると、全ての中学校区で「市政だより」の割合が最も高く、「自治会などの回覧板・掲示板」では、亀井中学校区が35.2%で最も高くなっています。

図表 3-8-11 市の情報の入手方法 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

		合計	市政だより	暮らしのガイドブック	F M ちゃお	市役所の窓口	出張所の窓口	自治会などの回覧板・掲示板	家族・隣人・知人	市ホームページ	市公式フェイスブック	市公式ツイッター	
全体		1,636	63.3	6.1	1.1	2.4	1.5	24.9	34.0	2.9	0.2	0.1	
生活の場所別	自宅	1,046	72.9	7.0	1.1	2.1	1.6	31.3	40.5	3.6	0.3	0.2	
	施設等	433	40.2	4.4	1.2	2.8	1.2	11.3	23.1	1.4	0.0	0.0	
年齢別	65～69歳	61	55.7	6.6	1.6	6.6	0.0	23.0	27.9	13.1	1.6	0.0	
	70～74歳	138	62.3	8.0	0.7	3.6	0.7	23.9	29.7	7.2	0.0	0.7	
	75～79歳	267	69.3	6.0	1.1	2.2	0.7	24.7	31.8	3.0	0.4	0.0	
	80～84歳	353	72.0	6.5	1.4	1.7	2.8	32.6	36.3	1.7	0.0	0.0	
	85歳以上	748	58.7	5.1	0.9	2.4	1.5	22.1	35.3	2.0	0.1	0.1	
認定状況別	要介護1	452	74.6	6.2	1.8	1.5	2.2	33.6	35.0	2.9	0.4	0.2	
	要介護2	370	67.6	5.4	1.4	2.7	0.3	24.6	36.5	3.2	0.3	0.0	
	要介護3	254	59.1	5.5	0.4	2.8	1.6	20.9	40.9	3.5	0.0	0.0	
	要介護4	254	54.3	6.3	0.8	2.0	1.6	19.7	28.7	2.0	0.4	0.4	
	要介護5	208	49.0	5.8	0.5	3.4	0.5	15.9	27.9	2.4	0.0	0.0	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	59.6	5.1	2.0	1.0	0.0	18.2	36.4	2.0	0.0	0.0
		桂中学校区	65	61.5	0.0	0.0	0.0	0.0	21.5	35.4	3.1	0.0	0.0
		上之島中学校区	105	58.1	10.5	2.9	4.8	1.9	31.4	36.2	4.8	1.0	0.0
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	70.5	8.9	0.0	3.6	0.9	30.4	33.9	3.6	0.0	0.0
		龍華中学校区	124	66.1	5.6	0.8	3.2	1.6	26.6	35.5	1.6	0.0	0.0
		亀井中学校区	71	70.4	8.5	0.0	4.2	5.6	35.2	33.8	4.2	0.0	0.0
	第3圏域	大正中学校区	97	61.9	2.1	1.0	0.0	1.0	28.9	29.9	3.1	0.0	0.0
		志紀中学校区	99	58.6	5.1	3.0	0.0	3.0	28.3	24.2	0.0	0.0	0.0
		曙川南中学校区	141	58.9	6.4	0.0	0.7	0.7	22.7	39.0	0.7	1.4	0.7
	第4圏域	成法中学校区	210	65.7	4.8	1.4	4.8	0.0	17.6	32.4	2.9	0.5	0.0
		曙川中学校区	100	67.0	5.0	0.0	1.0	3.0	24.0	32.0	2.0	0.0	0.0
		高美中学校区	83	62.7	7.2	0.0	1.2	1.2	16.9	36.1	0.0	0.0	0.0
	第5圏域	高安小中学校区	69	58.0	5.8	0.0	7.2	2.9	20.3	42.0	5.8	0.0	0.0
南高安中学校区		81	63.0	7.4	0.0	0.0	0.0	34.6	40.7	3.7	0.0	0.0	
	東中学校区	94	69.1	7.4	3.2	0.0	3.2	31.9	35.1	6.4	0.0	1.1	

		合計	スマホアプリ「やおっぴ」	市公式LINE	その他	無回答	
全体		1,636	1.2	0.2	9.2	10.8	
生活の場所別	自宅	1,046	1.1	0.2	4.2	4.8	
	施設等	433	1.2	0.2	20.3	24.0	
年齢別	65～69歳	61	4.9	1.6	11.5	13.1	
	70～74歳	138	2.2	0.7	11.6	9.4	
	75～79歳	267	2.2	0.0	7.1	10.5	
	80～84歳	353	0.6	0.0	4.2	8.2	
	85歳以上	748	0.8	0.3	12.2	11.6	
認定状況別	要介護1	452	0.9	0.7	4.4	5.5	
	要介護2	370	0.8	0.0	7.8	8.6	
	要介護3	254	1.2	0.4	9.8	12.6	
	要介護4	254	1.6	0.0	14.2	14.6	
	要介護5	208	1.9	0.0	14.9	18.3	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	99	0.0	1.0	10.1	8.1
		桂中学校区	65	1.5	0.0	15.4	6.2
		上之島中学校区	105	1.0	0.0	11.4	10.5
	第2圏域	久宝寺中学校区	112	2.7	0.0	8.0	7.1
		龍華中学校区	124	0.8	0.0	8.1	9.7
		亀井中学校区	71	2.8	0.0	8.5	9.9
	第3圏域	大正中学校区	97	1.0	0.0	8.2	12.4
		志紀中学校区	99	0.0	0.0	15.2	14.1
		曙川南中学校区	141	1.4	0.7	5.7	10.6
	第4圏域	成法中学校区	210	0.5	0.5	7.1	11.0
		曙川中学校区	100	0.0	0.0	8.0	10.0
	第5圏域	高美中学校区	83	1.2	0.0	4.8	20.5
		高安小中学校区	69	1.4	0.0	14.5	11.6
		南高安中学校区	81	1.2	0.0	8.6	9.9
		東中学校区	94	3.2	1.1	7.4	7.4

※網掛け■は最も割合が高いもの

9 主な介護者について

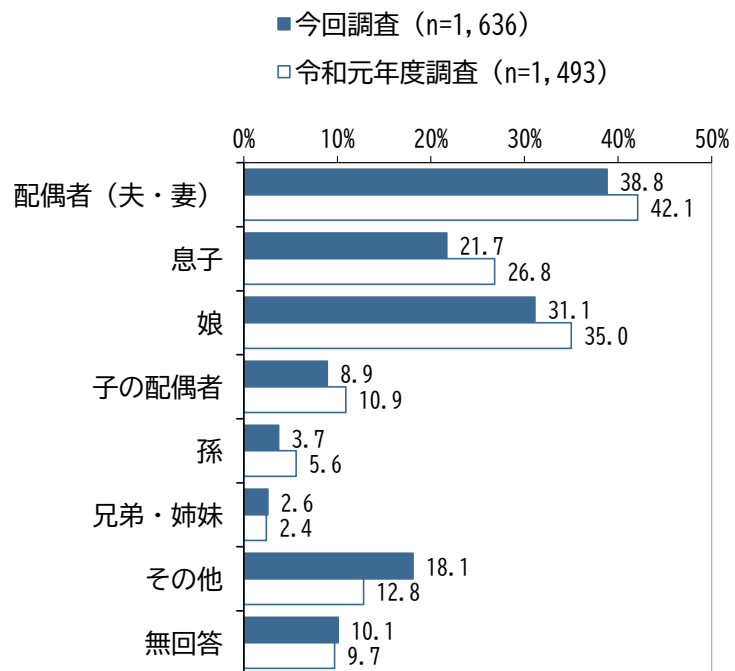
(1) 介護者

問8-1 介護に携わっているのはどなたですか。(いくつでも)

介護者については、「配偶者（夫・妻）」が38.8%で最も高く、次いで「娘」が31.1%、「息子」が21.7%と続いています。

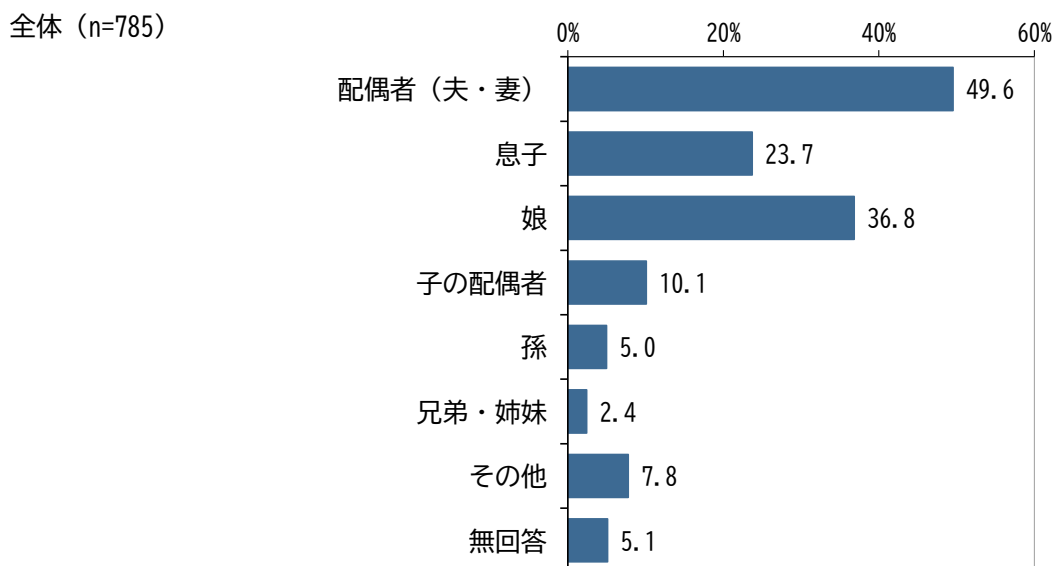
令和元（2019）年度調査と比較すると、「息子」（21.7%）では、令和元（2019）年度調査（26.8%）より5.1ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

図表 3-9-1 介護者



自宅で介護を受けている方のみで見ると、「配偶者（夫・妻）」が49.6%で最も高く、次いで「娘」が36.8%、「息子」が23.7%と続いています。

図表 3-9-2 介護者（自宅で介護を受けている方のみ）



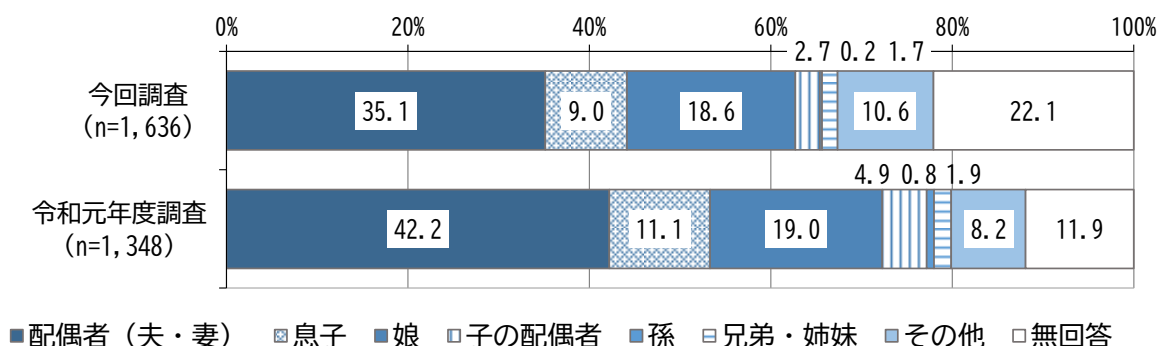
※ 「自宅で介護を受けている方」…生活の場所で「自宅（子どもの家を含む）」を回答し、かつ問1-5で「現在、何らかの介護を受けている」を回答した方で集計。

（2）主な介護者

問8-1-1 1のうち、主な介護者はどなたですか。（1つだけ）

主な介護者については、「配偶者（夫・妻）」が35.1%で最も高く、次いで「娘」が18.6%、「その他」が10.6%と続いています。

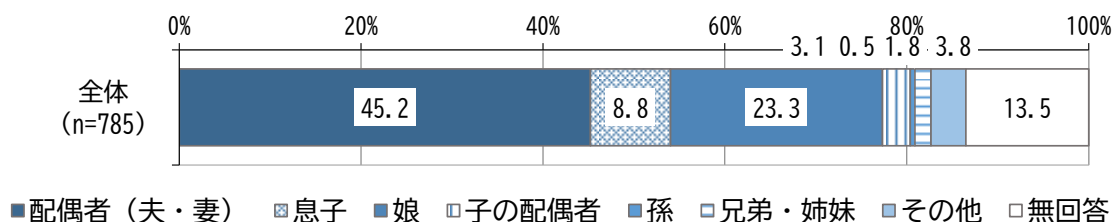
図表 3-9-3 主な介護者



※ 令和元（2019）年度調査の集計は、問8-1の介護者を回答した人のみ。

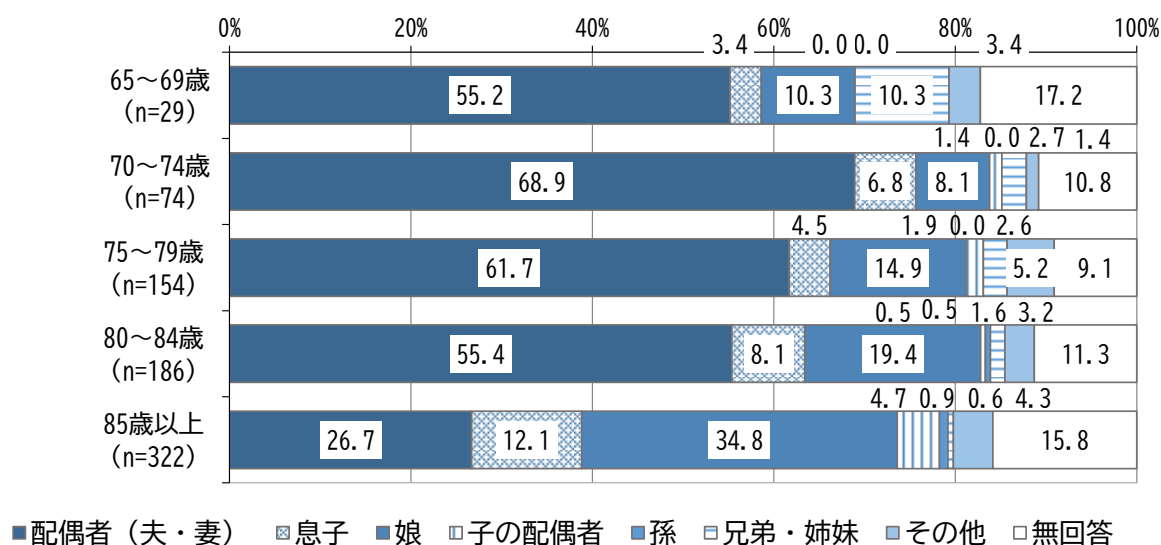
自宅で介護を受けている方のみで見ると、「配偶者（夫・妻）」が45.2%で最も高く、次いで「娘」が23.3%、「息子」が8.8%と続いています。

図表 3-9-4 主な介護者（自宅で介護を受けている方のみ）



自宅で介護を受けている方のみで要介護者の年齢別で見ると、「配偶者（夫・妻）」では、70～74歳が68.9%で最も高く、「娘」では、85歳以上が34.8%で最も高くなっています。

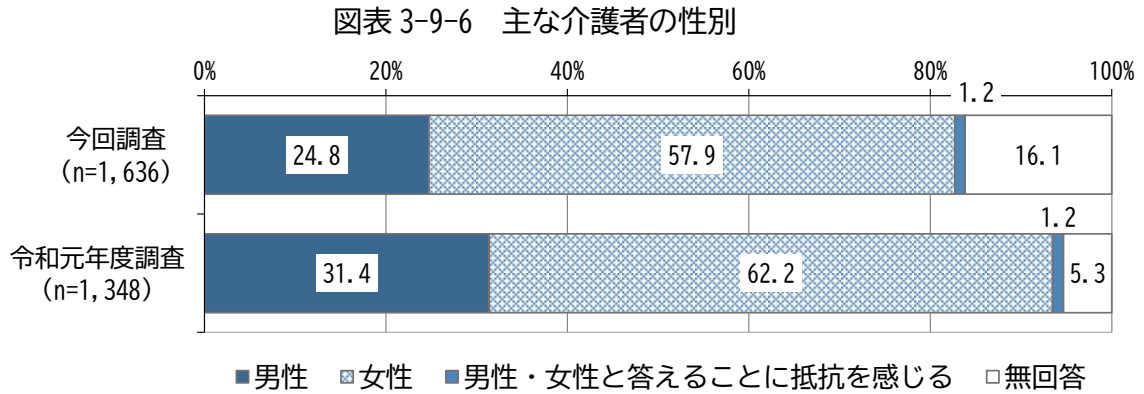
図表 3-9-5 主な介護者（自宅で介護を受けている方のみ） 要介護者の年齢別



(3) 主な介護者の性別

問8-2 主な介護者の性別について、ご回答ください。(1つだけ)

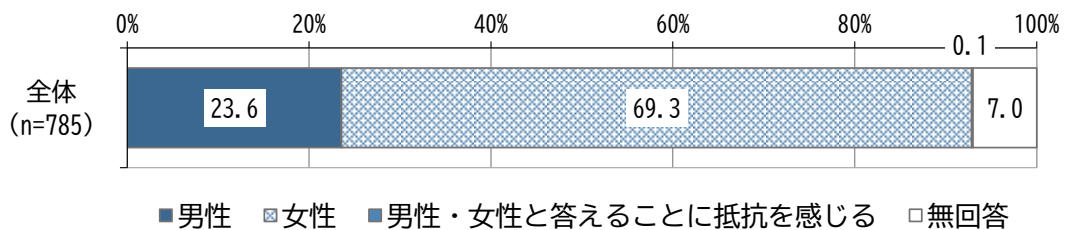
主な介護者の性別については、「女性」が57.9%で最も高く、次いで「男性」が24.8%、「男性・女性と答えることに抵抗を感じる」が1.2%となっています。



※ 令和元（2019）年度調査の集計は、問8-1の介護者を回答した人のみ。

自宅で介護を受けている方のみで見ると、「女性」が69.3%で最も高く、次いで「男性」が23.6%、「男性・女性と答えることに抵抗を感じる」が0.1%となっています。

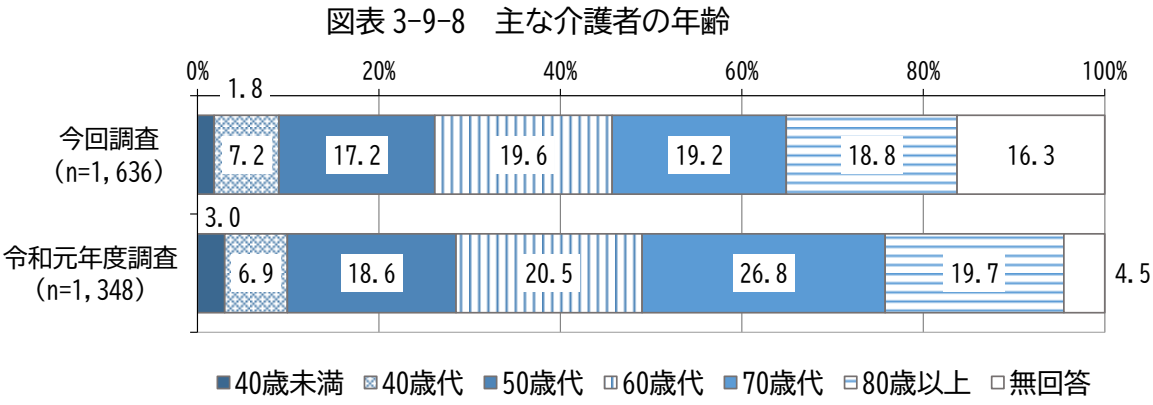
図表 3-9-7 主な介護者の性別（自宅で介護を受けている方のみ）



(4) 主な介護者の年齢

問8-3 主な介護者の年齢について、ご回答ください。(1つだけ)

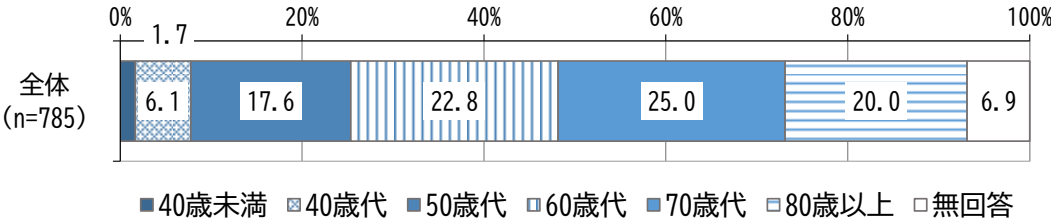
主な介護者の年齢については、「60歳代」が19.6%で最も高く、次いで「70歳代」が19.2%、「80歳以上」が18.8%と続いています。



※ 令和元（2019）年度調査の集計は、問8-1の介護者を回答した人のみ。

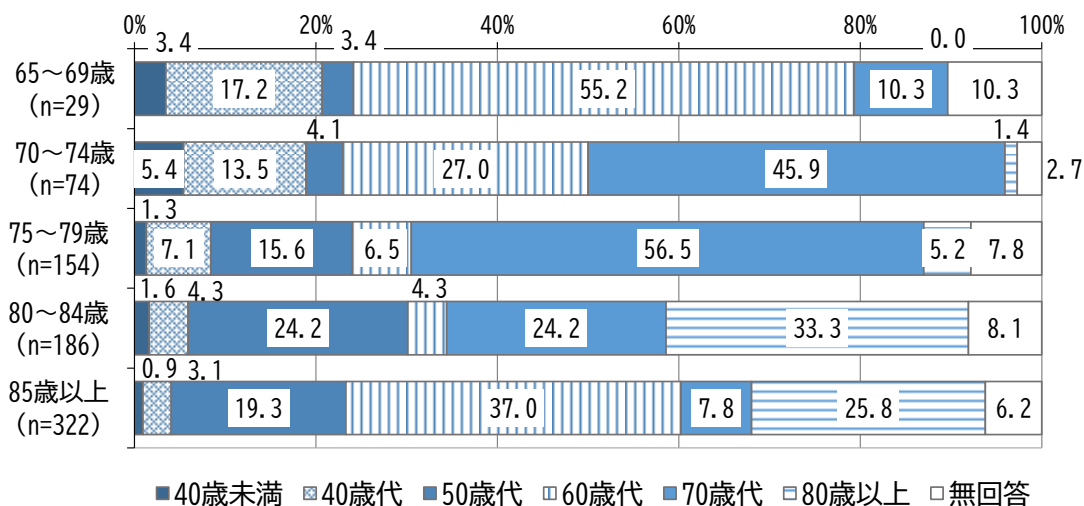
自宅で介護を受けている方のみで見ると、「70歳代」が25.0%で最も高く、次いで「60歳代」が22.8%、「80歳以上」が20.0%と続いています。

図表 3-9-9 主な介護者の年齢（自宅で介護を受けている方のみ）



自宅で介護を受けている方のみで要介護者の年齢別でみると、「80歳以上」では、要介護者の年齢が80～84歳が33.3%で最も高くなっています。

図表 3-9-10 主な介護者の年齢（自宅で介護を受けている方のみ） 要介護者の年齢別

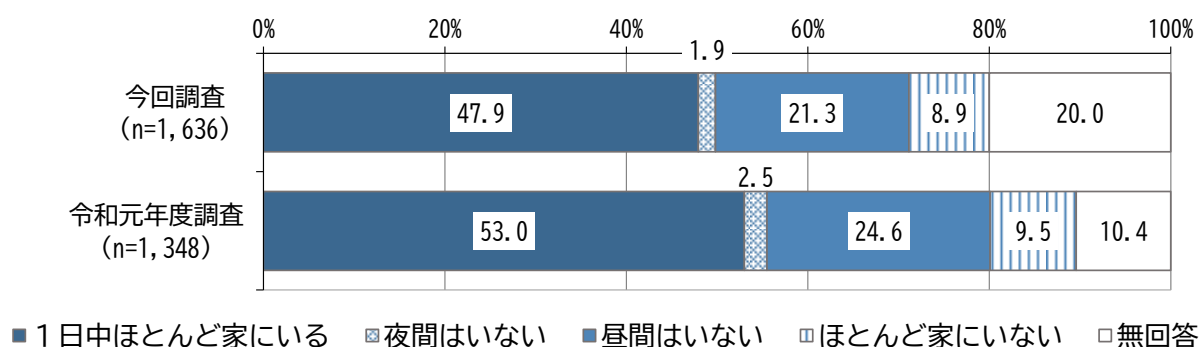


(5) 主な介護者の在宅状況

問8-4 主な介護者の在宅状況は、次のどれにあたりますか。(1つだけ)

主な介護者の在宅状況については、「1日中ほとんど家にいる」が47.9%で最も高く、次いで「昼間はいない」が21.3%、「ほとんど家にはいない」が8.9%と続いています。

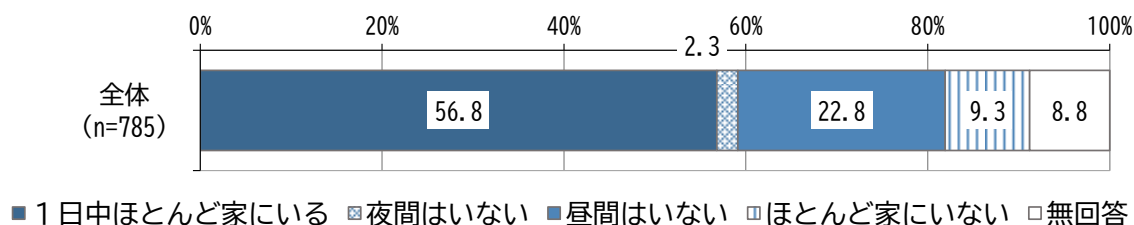
図表 3-9-11 主な介護者の在宅状況



※ 令和元（2019）年度調査の集計は、問8-1の介護者を回答した人のみ。

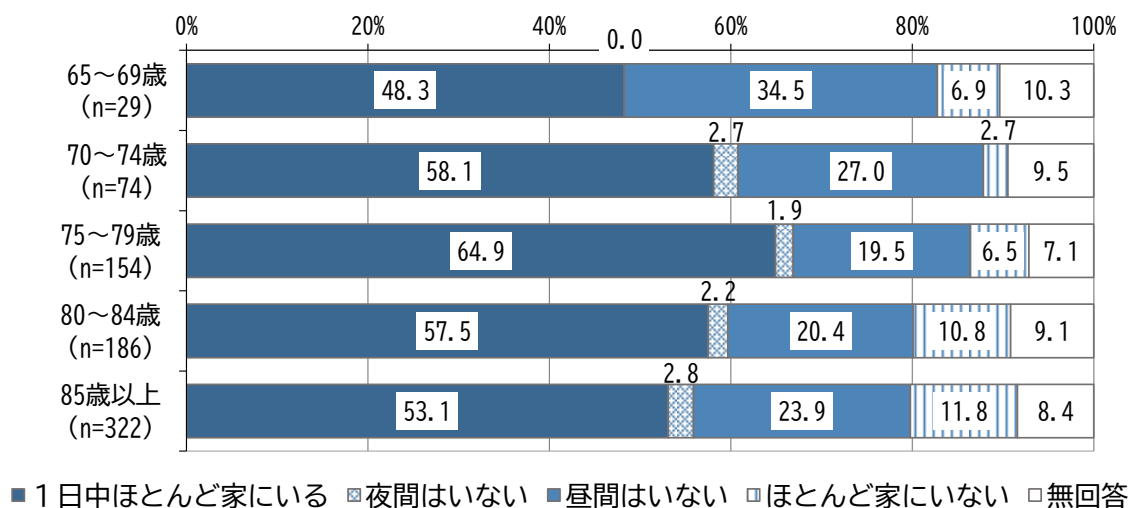
自宅で介護を受けている方のみでみると、「1日中ほとんど家にいる」が56.8%で最も高く、次いで「昼間はいない」が22.8%、「ほとんど家にはいない」が9.3%と続いています。

図表 3-9-12 主な介護者の在宅状況（自宅で介護を受けている方のみ）



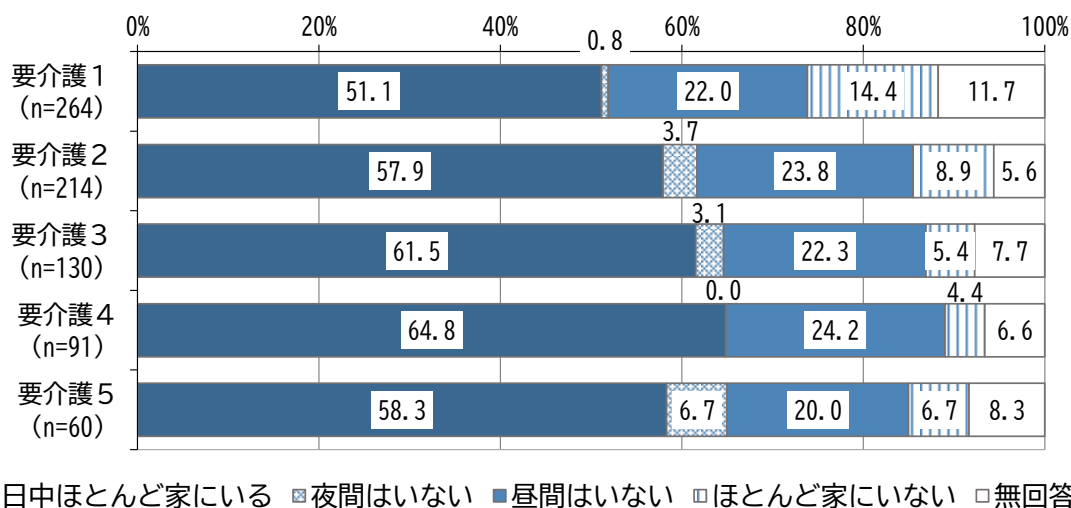
自宅で介護を受けている方のみで要介護者の年齢別でみると、全ての年齢層で「1日中ほとんど家にいる」の割合が最も高くなっています。

図表 3-9-13 主な介護者の在宅状況（自宅で介護を受けている方のみ） 要介護者の年齢別



自宅で介護を受けている方のみで認定状況別でみると、全ての認定状況で「1日中ほとんど家にいる」の割合が最も高くなっています。

図表 3-9-14 主な介護者の在宅状況（自宅で介護を受けている方のみ） 認定状況別

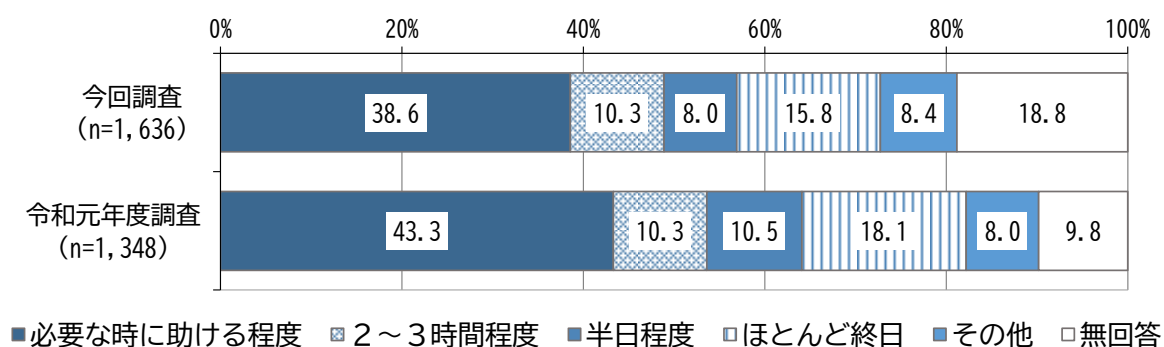


(6) 主な介護者が1日に介護に要する時間

問8-5 主な介護者が、1日に介護に要する時間はどれくらいですか。(1つだけ)

主な介護者が1日に介護に要する時間については、「必要な時に助ける程度」が38.6%で最も高く、次いで「ほとんど終日」が15.8%、「2～3時間程度」が10.3%と続いています。

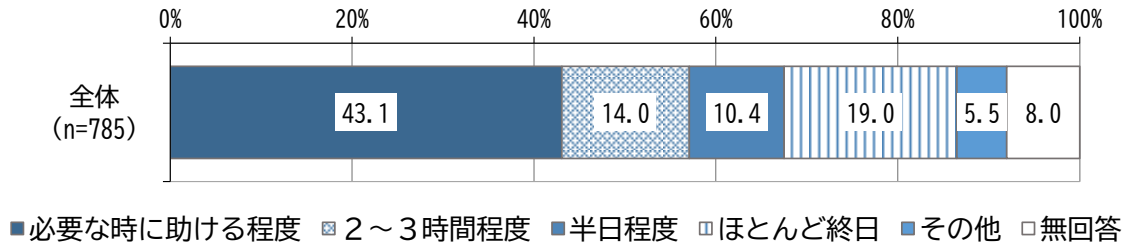
図表 3-9-15 主な介護者が1日に介護に要する時間



※ 令和元（2019）年度調査の集計は、問8-1の介護者を回答した人のみ。

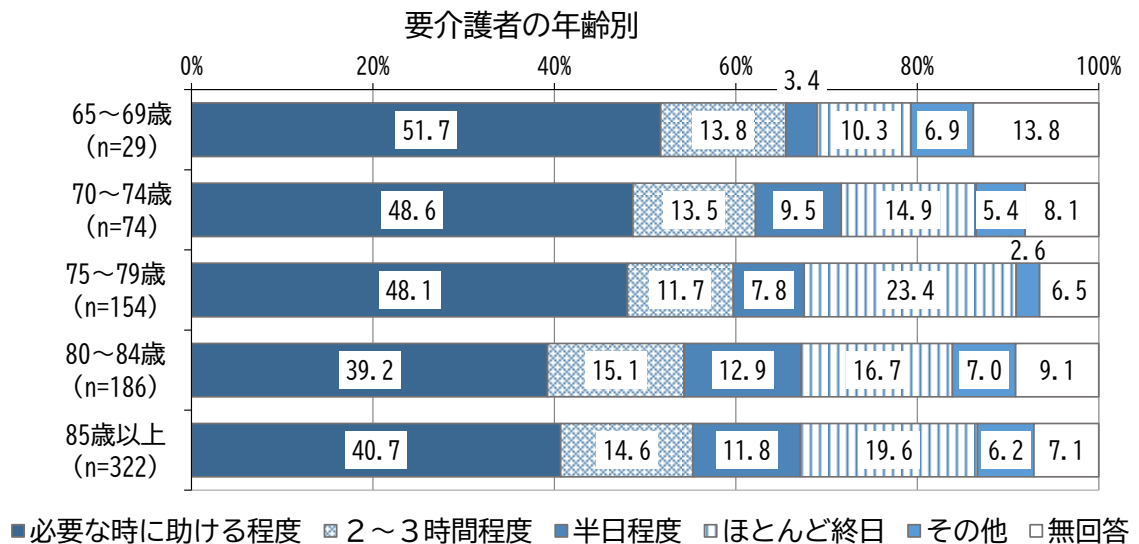
自宅で介護を受けている方のみで見ると、「必要な時に助ける程度」が43.1%で最も高く、次いで「ほとんど終日」が19.0%、「2～3時間程度」が14.0%と続いています。

図表 3-9-16 主な介護者が1日に介護に要する時間（自宅で介護を受けている方のみ）



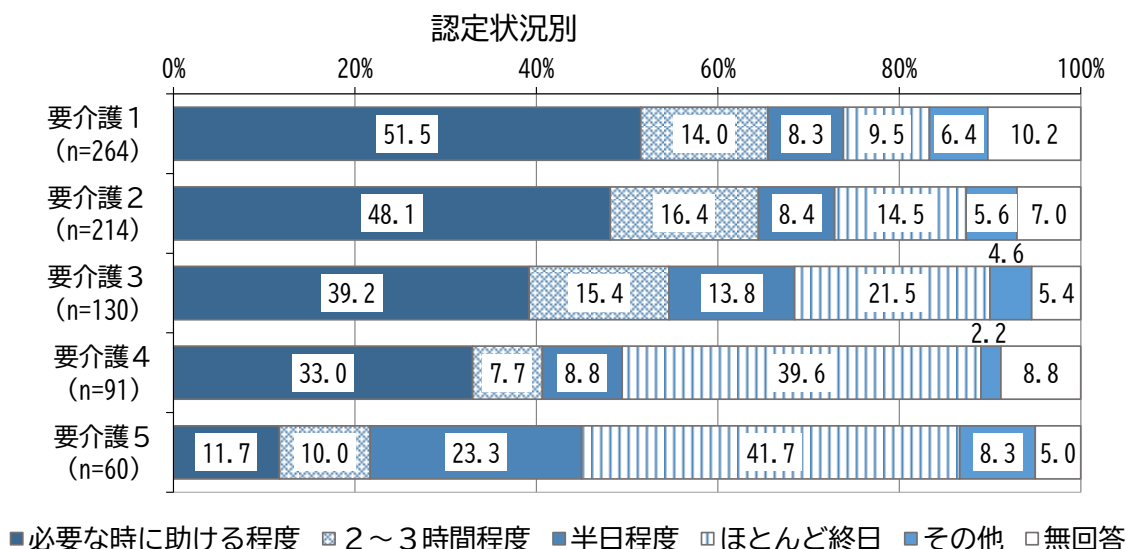
自宅で介護を受けている方のみで要介護者の年齢別で見ると、全ての年齢層で「必要な時に助ける程度」の割合が最も高くなっています。

図表 3-9-17 主な介護者が1日に介護に要する時間（自宅で介護を受けている方のみ）



自宅で介護を受けている方のみで認定状況別で見ると、要介護度が上がるにつれて「必要な時に助ける程度」の割合が減少し、「ほとんど終日」の割合が増加しています。

図表 3-9-18 主な介護者が1日に介護に要する時間（自宅で介護を受けている方のみ）

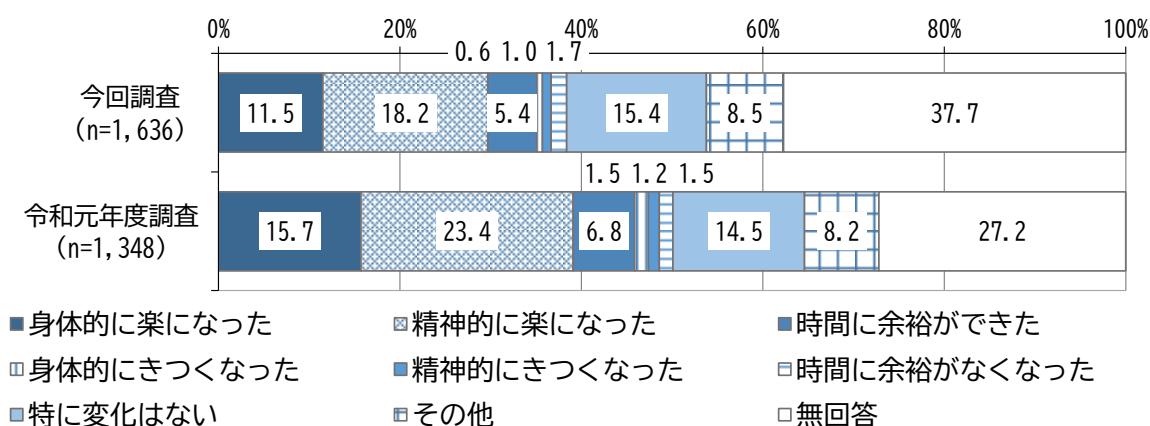


(7) 居宅サービスを利用したことによる主な介護者の生活の変化

問8-6 居宅サービスを利用することで、主な介護者の生活にどのような変化がありましたか。(1つだけ)

居宅サービスを利用したことによる主な介護者の生活の変化については、「精神的に楽になった」が18.2%で最も高く、次いで「特に変化はない」が15.4%、「身体的に楽になった」が11.5%と続いています。

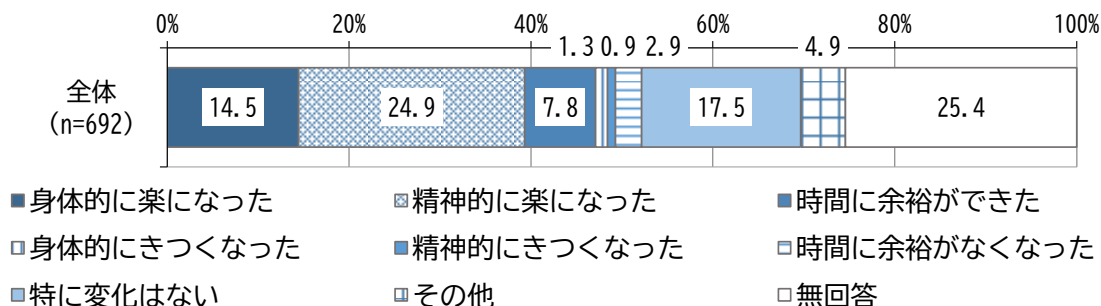
図表 3-9-19 居宅サービスを利用したことによる主な介護者の生活の変化



※ 令和元(2019)年度調査の集計は、問8-1の介護者を回答した人のみ。

自宅で介護を受け、居宅サービスを利用している方のみでみると、「精神的に楽になった」が24.9%で最も高く、次いで「特に変化はない」が17.5%、「身体的に楽になった」が14.5%と続いています。

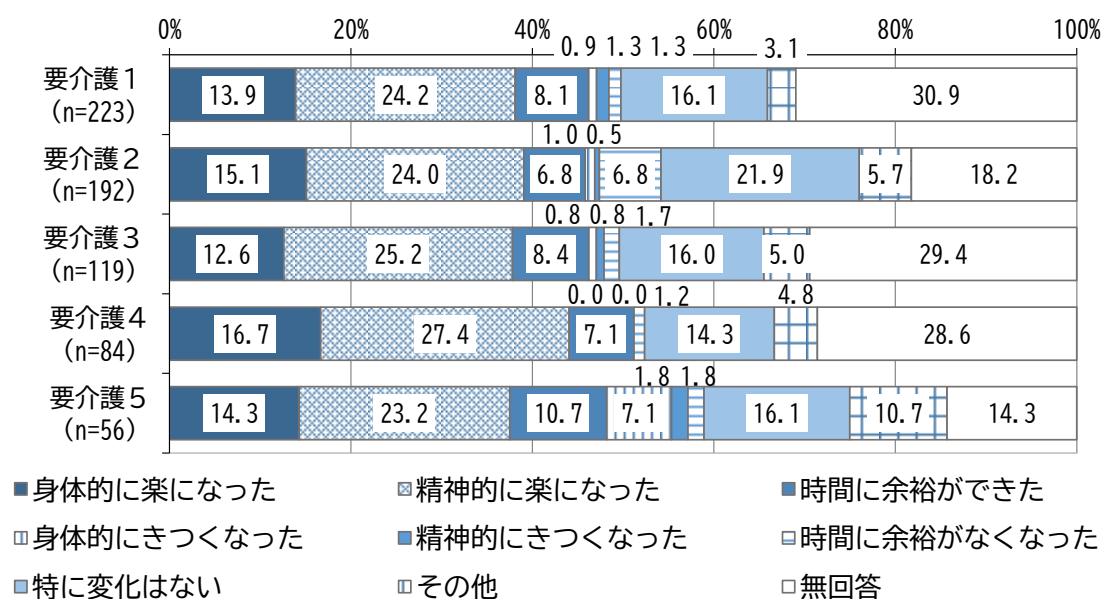
図表 3-9-20 居宅サービスを利用したことによる主な介護者の生活の変化
(自宅で介護を受け、居宅サービスを利用している方のみ)



※ 「自宅で介護を受け、居宅サービスを利用している方」…生活の場所で「自宅(子どもの家を含む)」を回答し、かつ問1-5で「現在、何らかの介護を受けている」を回答し、問4-1で居宅サービスを回答した方で集計。

自宅で介護を受け、居宅サービスを利用している方のみで認定状況別でみると、全ての認定状況で「精神的に楽になった」の割合が最も高くなっています。

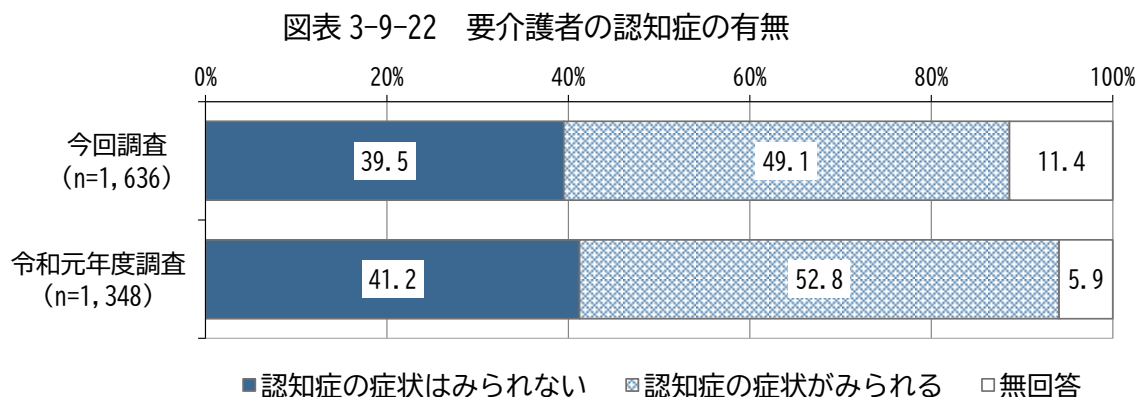
図表 3-9-21 居宅サービスを利用したことによる主な介護者の生活の変化
(自宅で介護を受け、居宅サービスを利用している方のみ) 認定状況別



(8) 要介護者の認知症の有無

問8-7 要介護認定を受けている高齢者ご本人（アンケート対象者）の認知症の有無についてお聞きします。（1つだけ）

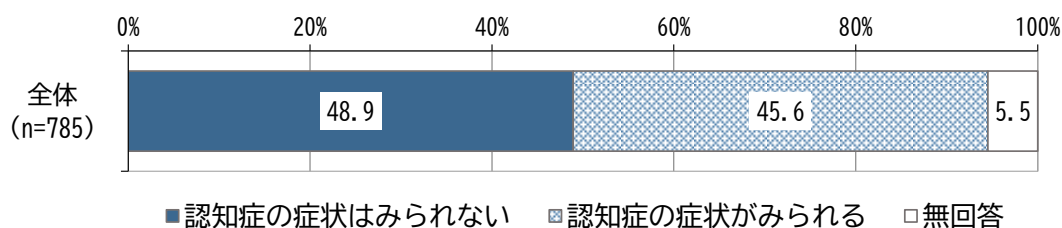
要介護者の認知症の有無については、「認知症の症状はみられない」が39.5%、「認知症の症状がみられる」が49.1%となっています。



※ 令和元（2019）年度調査の集計は、問8-1の介護者を回答した人のみ。

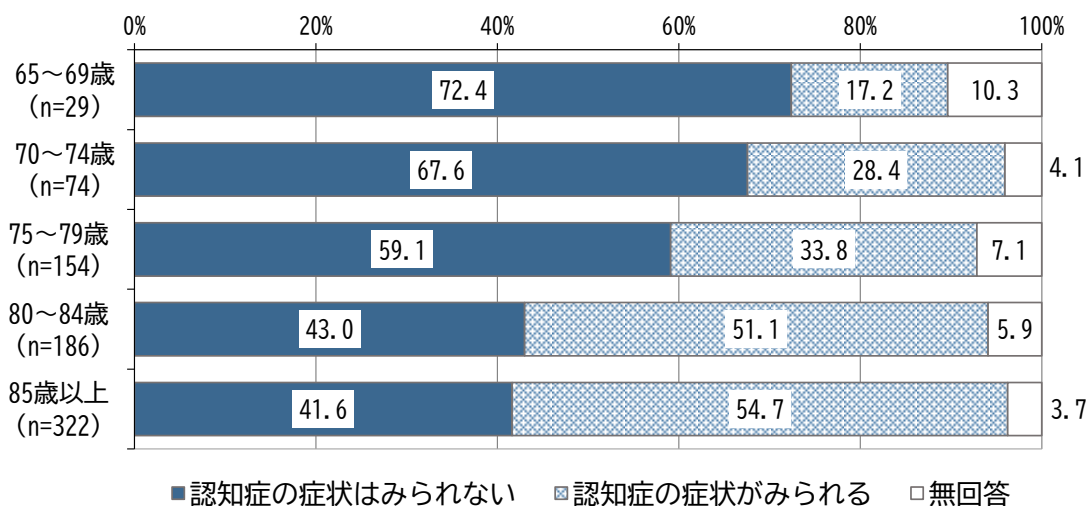
自宅で介護を受けている方のみで見ると、「認知症の症状はみられない」が48.9%、「認知症の症状がみられる」が45.6%となっています。

図表 3-9-23 要介護者の認知症の有無（自宅で介護を受けている方のみ）



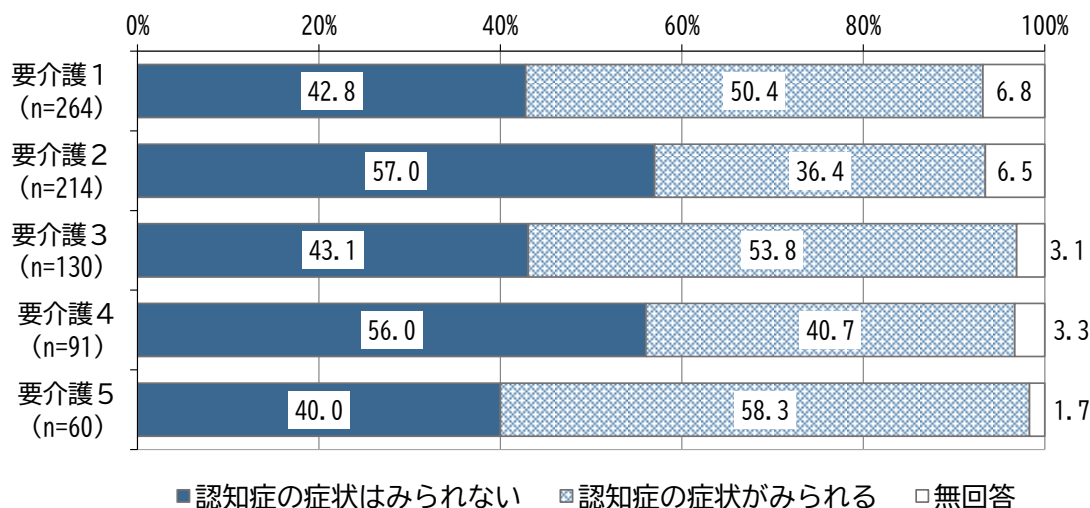
自宅で介護を受けている方のみで要介護者の年齢別でみると、「認知症の症状がみられる」では、要介護者の年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85歳以上が54.7%で最も高くなっています。

図表 3-9-24 要介護者の認知症の有無（自宅で介護を受けている方のみ） 要介護者の年齢別



自宅で介護を受けている方のみで認定状況別でみると、「認知症の症状がみられる」では、要介護5が58.3%で最も高くなっています。

図表 3-9-25 要介護者の認知症の有無（自宅で介護を受けている方のみ） 認定状況別

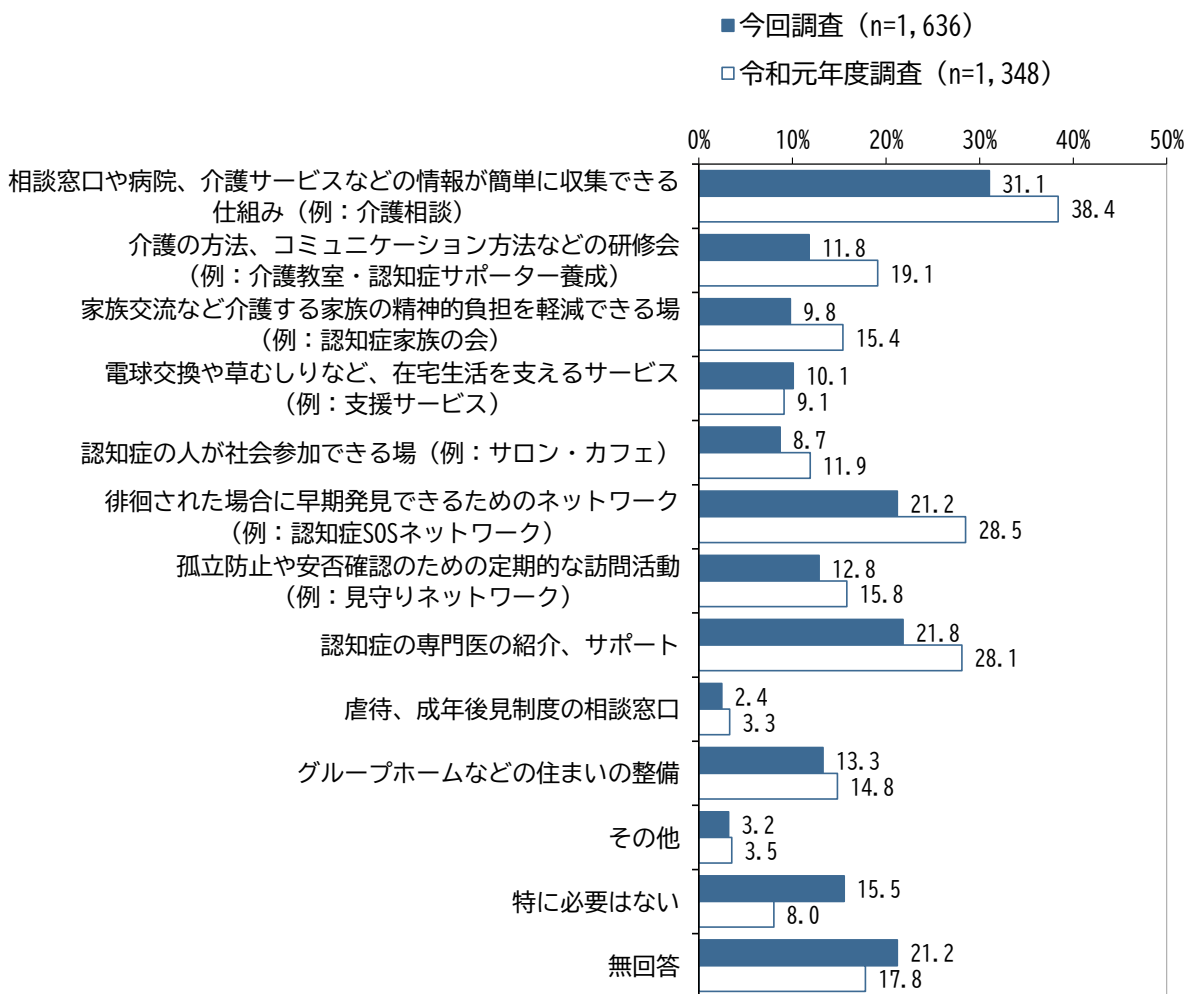


(9) 認知症についてあればよいと思う支援

問8-8 認知症について、どのような支援があればよいと思いますか。(いくつでも)

認知症についてあればよいと思う支援については、「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み(例:介護相談)」が31.1%で最も高く、次いで「認知症の専門医の紹介、サポート」が21.8%、「徘徊された場合に早期発見できるためのネットワーク(例:認知症SOSネットワーク)」が21.2%と続いています。

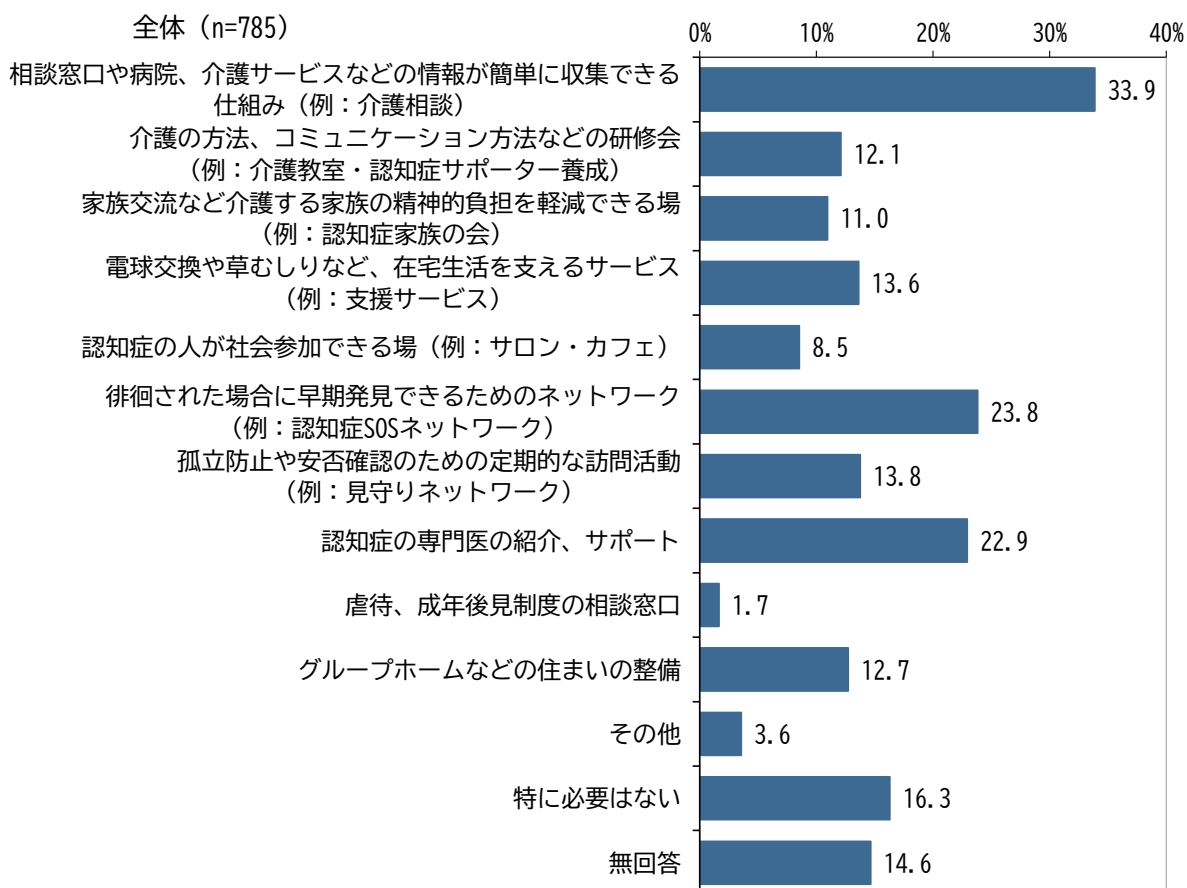
図表 3-9-26 認知症についてあればよいと思う支援



※ 令和元(2019)年度調査の集計は、問8-1の介護者を回答した人のみ。

自宅で介護を受けている方のみで見ると、「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み（例：介護相談）」が33.9%で最も高く、次いで「徘徊された場合に早期発見できるためのネットワーク（例：認知症SOSネットワーク）」が23.8%、「認知症の専門医の紹介、サポート」が22.9%と続いています。

図表 3-9-27 認知症についてあればよいと思う支援（自宅で介護を受けている方のみ）



自宅で介護を受けている方のみで年齢別でみると、全ての年齢層で「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み（例：介護相談）」の割合が最も高くなっています。

自宅で介護を受けている方のみで認定状況別でみると、全ての認定状況で「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み（例：介護相談）」の割合が最も高くなっています。

図表 3-9-28 認知症についてあればよいと思う支援（自宅で介護を受けている方のみ） 属性別

単位：実数（人）、構成比（％）

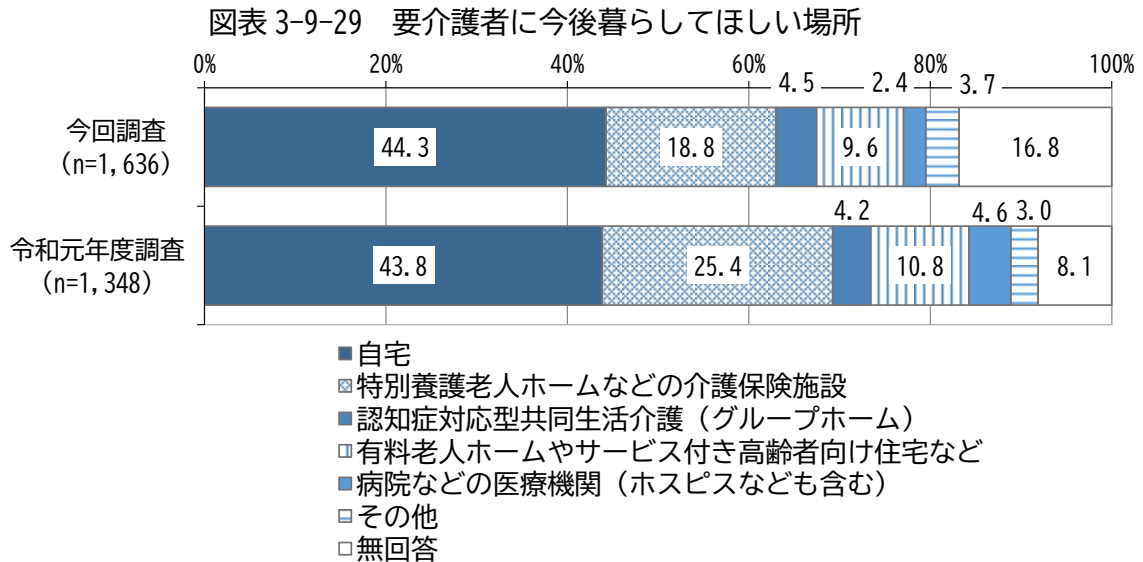
		合計	相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み（例：介護相談）	介護の方法、コミュニケーション方法などの研修会（例：介護教室・認知症サポート会）	家族交流など介護する家族の精神的負担を軽減できる場（例：認知症家族の会）	電球交換や草むしりなど、在宅生活を支えるサービス（例：支援サービス）	認知症の人が社会参加できる場（例：サロン・カフェ）	徘徊された場合に早期発見できるためのネットワーク（例：認知症SOSネットワーク）	孤立防止や安否確認のための定期的な訪問活動（例：見守りネットワーク）	認知症の専門医の紹介、サポート	虐待、成年後見制度の相談窓口	グループホームなどの住まいの整備
全体		785	33.9	12.1	11.0	13.6	8.5	23.8	13.8	22.9	1.7	12.7
要介護者の年齢別	65～69歳	29	62.1	27.6	10.3	13.8	6.9	20.7	10.3	27.6	10.3	27.6
	70～74歳	74	33.8	8.1	14.9	12.2	9.5	23.0	10.8	24.3	0.0	10.8
	75～79歳	154	28.6	9.7	10.4	9.1	9.1	18.8	12.3	23.4	1.3	11.0
	80～84歳	186	32.8	11.3	12.9	14.5	9.7	24.7	13.4	24.7	2.2	10.2
	85歳以上	322	35.7	13.4	9.9	16.5	7.8	26.7	16.1	21.4	1.2	14.9
認定状況別	要介護1	264	32.2	11.7	8.7	13.6	10.2	24.2	14.4	19.3	0.8	11.7
	要介護2	214	32.7	10.3	12.1	16.4	7.9	25.2	15.9	22.4	0.9	14.5
	要介護3	130	38.5	16.9	11.5	8.5	8.5	20.0	6.9	30.0	3.1	12.3
	要介護4	91	26.4	11.0	8.8	12.1	5.5	20.9	11.0	18.7	3.3	8.8
	要介護5	60	36.7	15.0	18.3	15.0	6.7	25.0	23.3	35.0	3.3	16.7
		合計	その他	特に必要はない	無回答							
全体		785	3.6	16.3	14.6							
要介護者の年齢別	65～69歳	29	3.4	3.4	10.3							
	70～74歳	74	9.5	24.3	8.1							
	75～79歳	154	5.2	18.8	21.4							
	80～84歳	186	2.2	15.1	16.1							
	85歳以上	322	2.5	14.9	10.6							
認定状況別	要介護1	264	2.3	15.2	16.7							
	要介護2	214	4.7	15.0	14.0							
	要介護3	130	2.3	20.0	7.7							
	要介護4	91	6.6	22.0	17.6							
	要介護5	60	5.0	15.0	15.0							

※網掛け■は最も割合が高いもの

(10) 要介護者に今後暮らしてほしい場所

問8-9 主な介護者は、ご本人に今後どこで暮らしてほしいとお考えですか。(1つだけ)

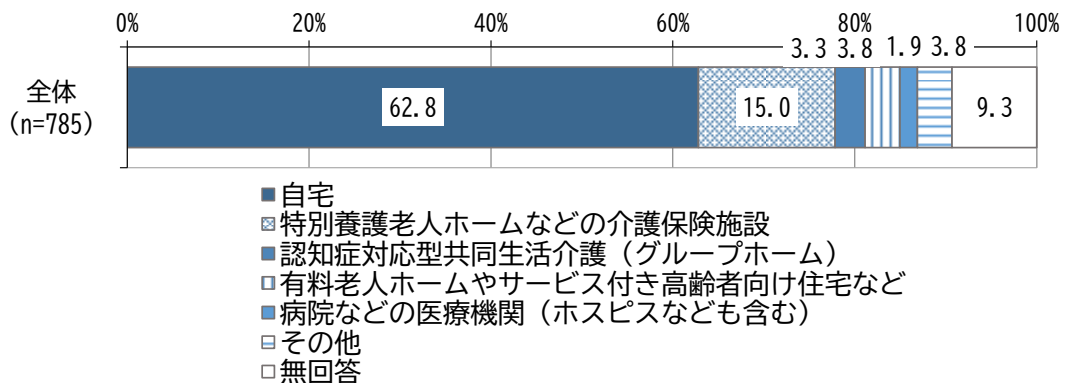
要介護者に今後暮らしてほしい場所については、「自宅」が44.3%で最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が18.8%、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅など」が9.6%と続いています。



※ 令和元（2019）年度調査の集計は、問8-1の介護者を回答した人のみ。

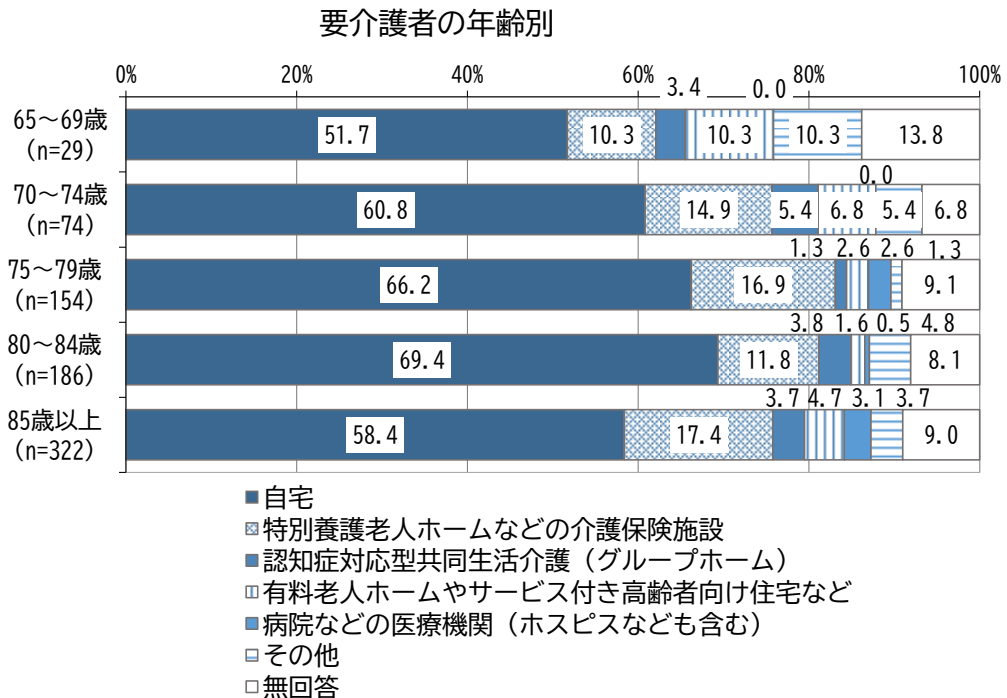
自宅で介護を受けている方のみでみると、「自宅」が62.8%で最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が15.0%、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅など」が3.8%と続いています。

図表 3-9-30 要介護者に今後暮らしてほしい場所（自宅で介護を受けている方のみ）



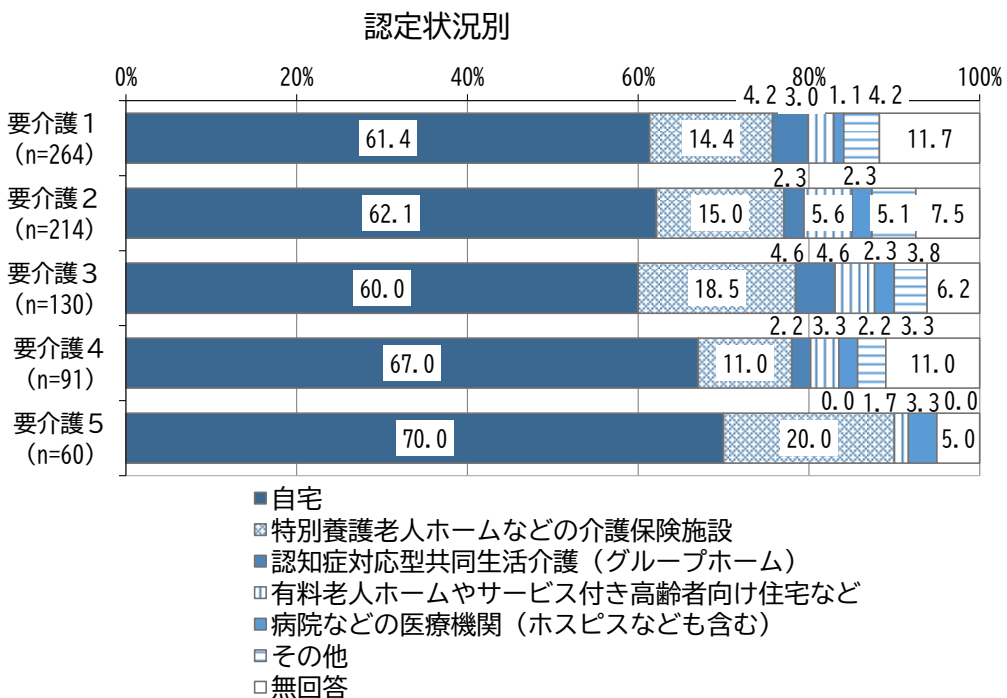
自宅で介護を受けている方のみで要介護者の年齢別でみると、「自宅」では、80～84歳が69.4%で最も高くなっています。

図表 3-9-31 要介護者に今後暮らしてほしい場所（自宅で介護を受けている方のみ）



自宅で介護を受けている方のみで認定状況別でみると、「自宅」では、要介護5が70.0%で最も高くなっています。

図表 3-9-32 要介護者に今後暮らしてほしい場所（自宅で介護を受けている方のみ）



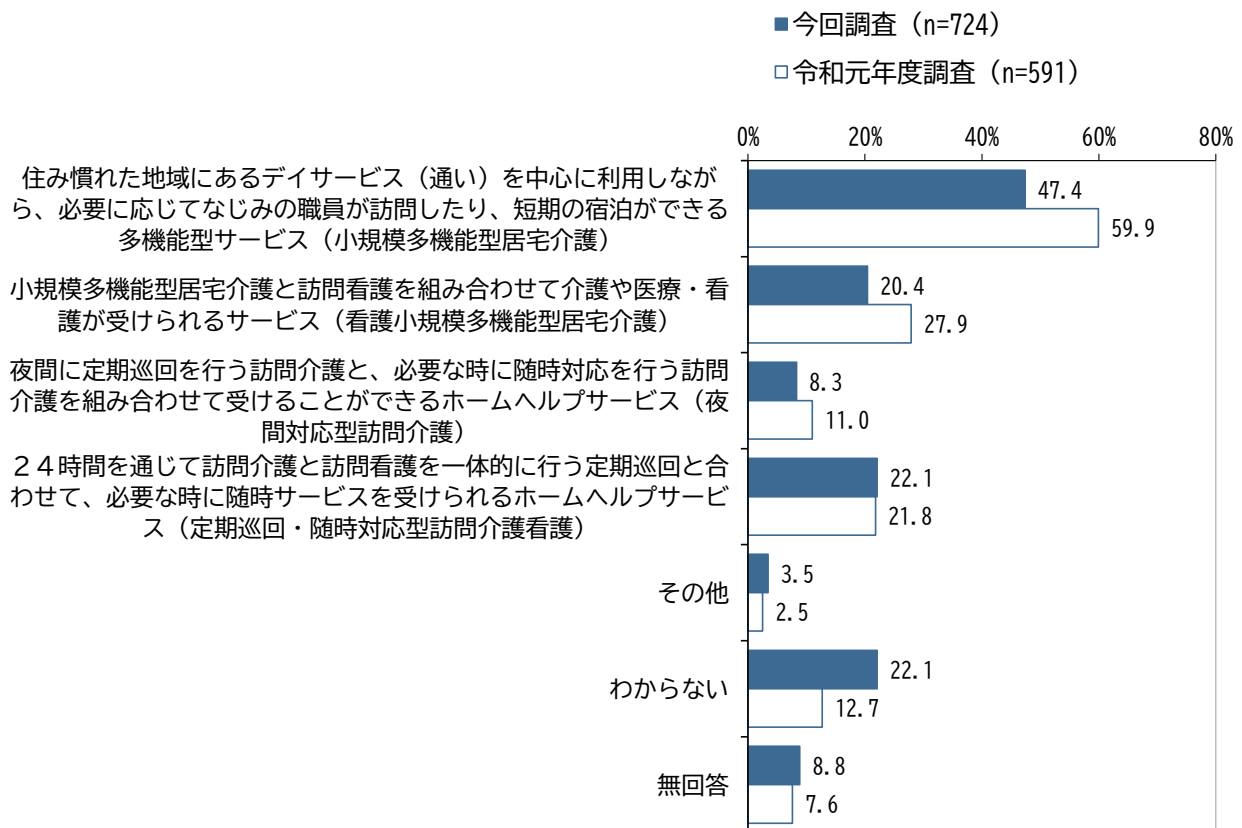
(11) 介護保険サービスで身近にあれば利用したいサービス

問8-9で「自宅」と答えた人のみ、お答えください。

問8-9-1「介護保険サービス」で、身近にあれば利用したいと思うサービスはありますか。
(いくつでも)

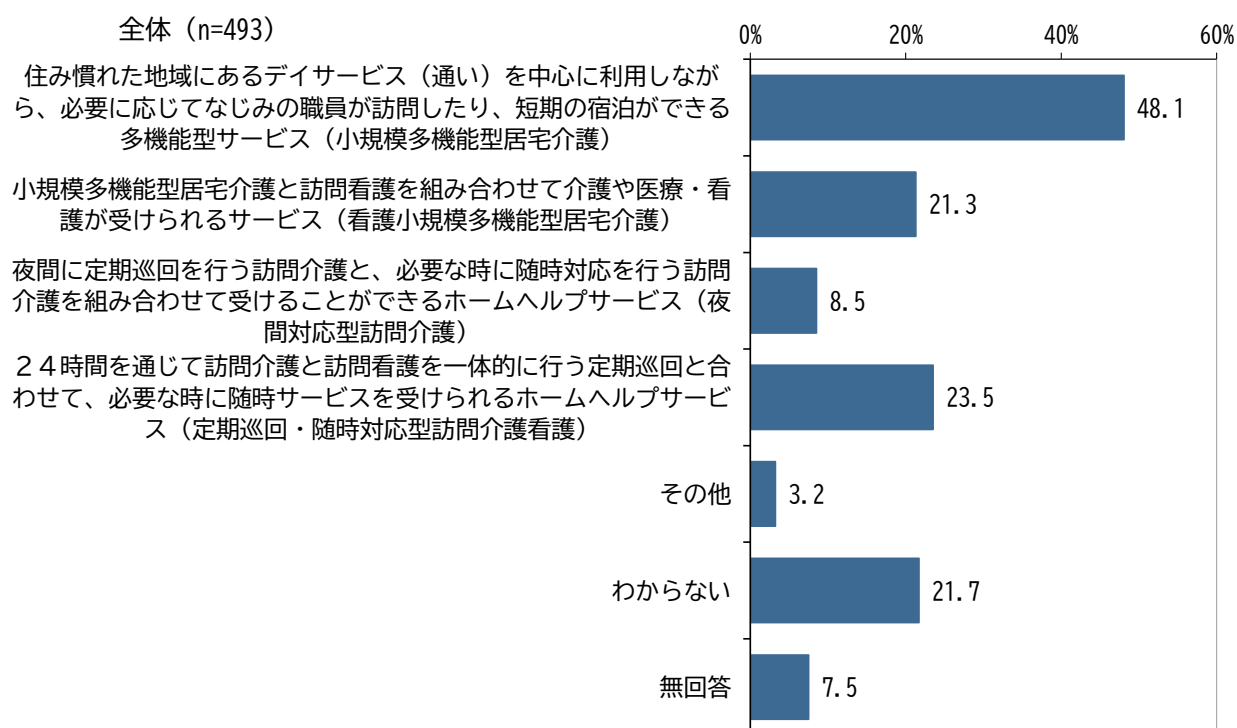
介護保険サービスで身近にあれば利用したいサービスについては、「住み慣れた地域にあるデイサービス（通い）を中心に利用しながら、必要に応じてなじみの職員が訪問したり、短期の宿泊ができる多機能型サービス（小規模多機能型居宅介護）」が47.4%で最も高く、次いで「24時間を通じて訪問介護と訪問看護を一体的に行う定期巡回と合わせて、必要な時に随時サービスを受けられるホームヘルプサービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）」、「わからない」がいずれも22.1%と続いています。

図表 3-9-33 介護保険サービスで身近にあれば利用したいサービス



自宅で介護を受けている方のみで見ると、「住み慣れた地域にあるデイサービス（通い）を中心に利用しながら、必要に応じてなじみの職員が訪問したり、短期の宿泊ができる多機能型サービス（小規模多機能型居宅介護）」が48.1%で最も高く、次いで「24時間を通じて訪問介護と訪問看護を一体的に行う定期巡回と合わせて、必要な時に随時サービスを受けられるホームヘルプサービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）」が23.5%、「わからない」が21.7%と続いています。

図表 3-9-34 介護保険サービスで身近にあれば利用したいサービス
（自宅で介護を受けている方のみ）



自宅で介護を受けている方のみで要介護者の年齢別でみると、全ての年齢層で「住み慣れた地域にあるデイサービス（通い）を中心に利用しながら、必要に応じてなじみの職員が訪問したり、短期の宿泊ができる多機能型サービス（小規模多機能型居宅介護）」の割合が最も高くなっています。

自宅で介護を受けている方のみで認定状況別でみると、要介護5では「24時間を通じて訪問介護と訪問看護を一体的に行う定期巡回と合わせて、必要な時に随時サービスを受けられるホームヘルプサービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）」の割合が最も高く、それ以外の認定状況では「住み慣れた地域にあるデイサービス（通い）を中心に利用しながら、必要に応じてなじみの職員が訪問したり、短期の宿泊ができる多機能型サービス（小規模多機能型居宅介護）」の割合が最も高くなっています。

図表 3-9-35 介護保険サービスで身近にあれば利用したいサービス
（自宅で介護を受けている方のみ） 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

	合計	サービス						
		できる多機能型サービス（小規模多機能型居宅介護）	住み慣れた地域にあるデイサービス（通い）	療・看護が受けられるサービス（看護小規模多機能型居宅介護）	訪問介護（夜間対応型訪問介護）	訪問看護（巡回）	24時間を通じて必要な時に随時対応型訪問介護看護	その他
全体	493	48.1	21.3	8.5	23.5	3.2	21.7	7.5
要介護者の年齢別	65～69歳	15	60.0	33.3	6.7	40.0	6.7	6.7
	70～74歳	45	37.8	24.4	4.4	17.8	0.0	31.1
	75～79歳	102	43.1	16.7	5.9	22.5	2.0	24.5
	80～84歳	129	55.0	17.8	7.0	20.9	3.9	19.4
	85歳以上	188	47.9	24.5	12.2	26.6	4.3	20.7
認定状況別	要介護1	162	52.5	18.5	5.6	21.6	3.7	20.4
	要介護2	133	51.9	21.1	7.5	22.6	3.0	22.6
	要介護3	78	47.4	25.6	11.5	28.2	3.8	15.4
	要介護4	61	44.3	16.4	11.5	19.7	0.0	29.5
	要介護5	42	33.3	28.6	9.5	35.7	7.1	14.3

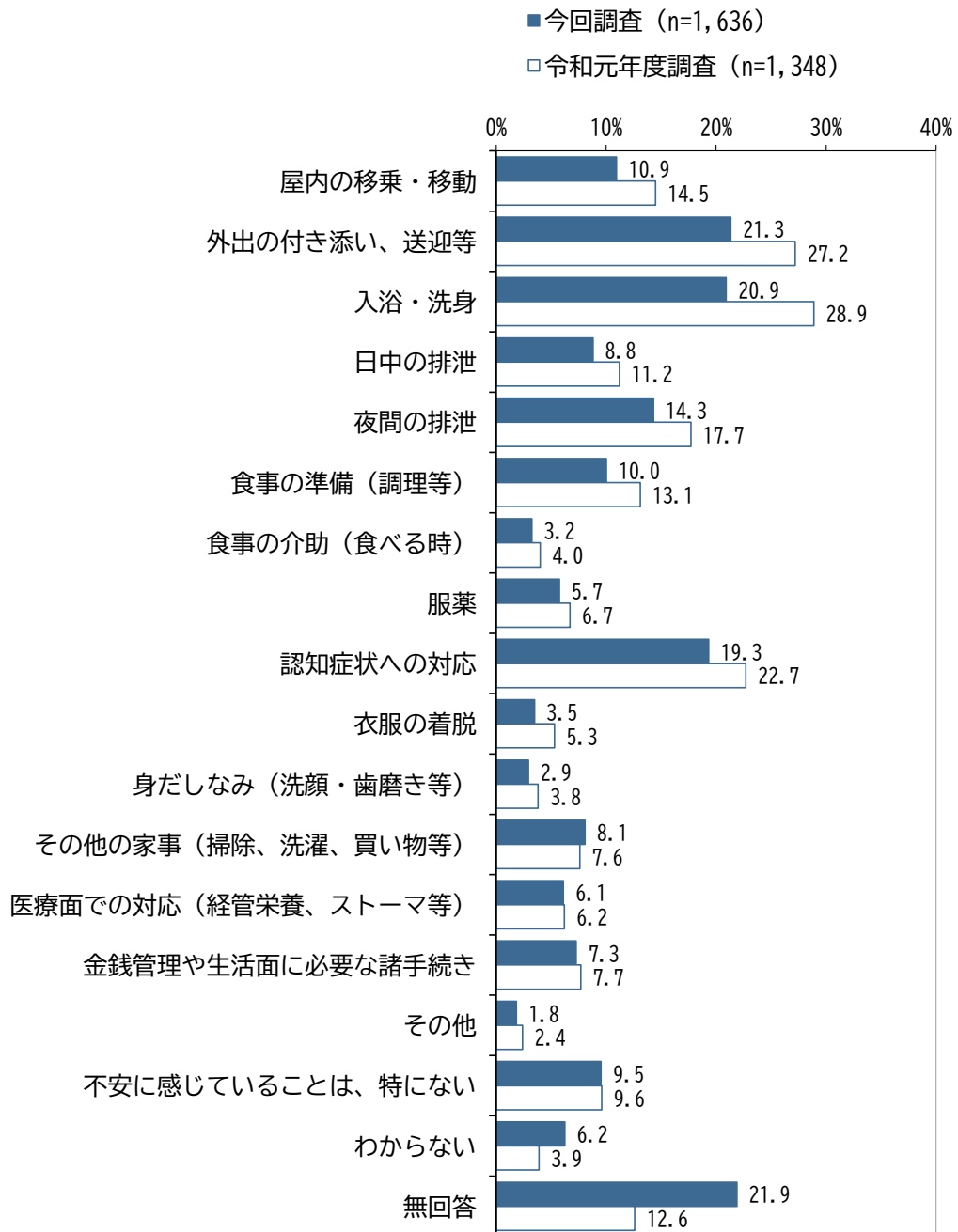
※網掛け■は最も割合が高いもの

(12) 現在の生活を継続するにあたって主な介護者が不安に感じる介護等

問8-10 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

現在の生活を継続するにあたって主な介護者が不安に感じる介護等については、「外出の付き添い、送迎等」が21.3%で最も高く、次いで「入浴・洗身」が20.9%、「認知症状への対応」が19.3%と続いています。

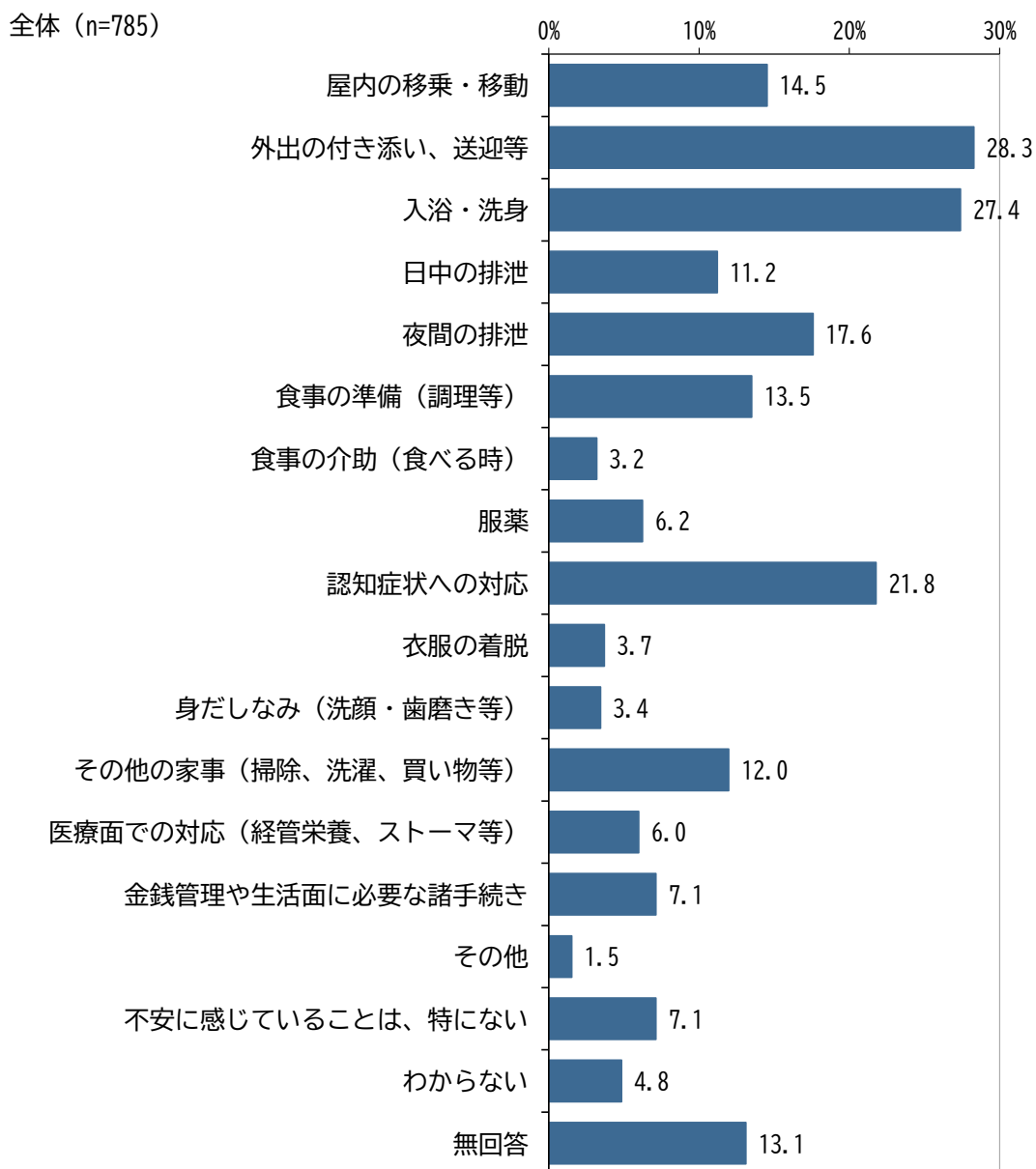
図表 3-9-36 現在の生活を継続するにあたって主な介護者が不安に感じる介護等



※ 令和元(2019)年度調査の集計は、問8-1の介護者を回答した人のみ。

自宅で介護を受けている方のみでみると、「外出の付き添い、送迎等」が28.3%で最も高く、次いで「入浴・洗身」が27.4%、「認知症状への対応」が21.8%と続いています。

図表 3-9-37 現在の生活を継続するにあたって主な介護者が不安を感じる介護等
(自宅で介護を受けている方のみ)



自宅で介護を受けている方のみで年齢別で見ると、70～74歳、85歳以上では「入浴・洗身」の割合が最も高く、それ以外の年齢層では「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高くなっています。

自宅で介護を受けている方のみで認定状況別で見ると、「日中の排泄」では、要介護度が上がるにつれて割合が増加しており、要介護5が21.7%で最も高くなっています。

図表 3-9-38 現在の生活を継続するにあたって主な介護者が不安に感じる介護等
(自宅で介護を受けている方のみ) 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	入浴・洗身	日中の排泄	夜間の排泄	食事の準備（調理等）	食事の介助（食べる時）	服薬	認知症状への対応	衣服の着脱
全体		785	14.5	28.3	27.4	11.2	17.6	13.5	3.2	6.2	21.8	3.7
要介護者の年齢別	65～69歳	29	13.8	31.0	27.6	10.3	17.2	20.7	3.4	0.0	20.7	6.9
	70～74歳	74	18.9	28.4	31.1	6.8	13.5	12.2	1.4	5.4	14.9	6.8
	75～79歳	154	14.9	31.2	26.6	10.4	16.2	12.3	3.2	3.9	14.3	3.2
	80～84歳	186	8.1	29.0	22.6	7.5	15.6	9.7	2.7	9.7	26.9	2.2
	85歳以上	322	17.7	27.0	30.4	14.6	21.4	15.8	4.0	6.2	23.9	4.0
認定状況別	要介護1	264	9.1	26.1	23.5	7.6	14.4	17.0	0.8	10.6	28.4	2.3
	要介護2	214	15.9	30.8	30.8	11.7	17.8	13.6	2.3	5.1	16.8	5.1
	要介護3	130	20.0	33.8	33.8	13.1	23.1	12.3	6.2	4.6	24.6	4.6
	要介護4	91	13.2	27.5	28.6	13.2	18.7	7.7	5.5	0.0	17.6	5.5
	要介護5	60	21.7	16.7	20.0	21.7	18.3	8.3	6.7	3.3	16.7	1.7
合計			等身たしなみ（洗顔・歯磨き）	濯その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	養医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	諸金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	特不安に感じていることはない	わからない	無回答		
全体		785	3.4	12.0	6.0	7.1	1.5	7.1	4.8	13.1		
要介護者の年齢別	65～69歳	29	6.9	10.3	0.0	10.3	3.4	0.0	0.0	17.2		
	70～74歳	74	2.7	14.9	9.5	6.8	1.4	4.1	10.8	8.1		
	75～79歳	154	3.9	11.7	6.5	10.4	0.0	7.8	7.8	9.7		
	80～84歳	186	2.7	11.3	4.3	7.0	1.1	11.8	3.2	16.7		
	85歳以上	322	3.7	12.4	6.5	5.6	2.2	5.6	3.4	12.1		
認定状況別	要介護1	264	2.7	16.3	3.4	8.3	1.5	6.4	4.5	14.8		
	要介護2	214	4.2	12.6	7.0	7.9	0.5	8.4	5.1	12.6		
	要介護3	130	3.1	10.0	6.9	3.8	1.5	4.6	2.3	8.5		
	要介護4	91	6.6	4.4	4.4	6.6	2.2	11.0	5.5	9.9		
	要介護5	60	0.0	8.3	15.0	5.0	5.0	3.3	6.7	18.3		

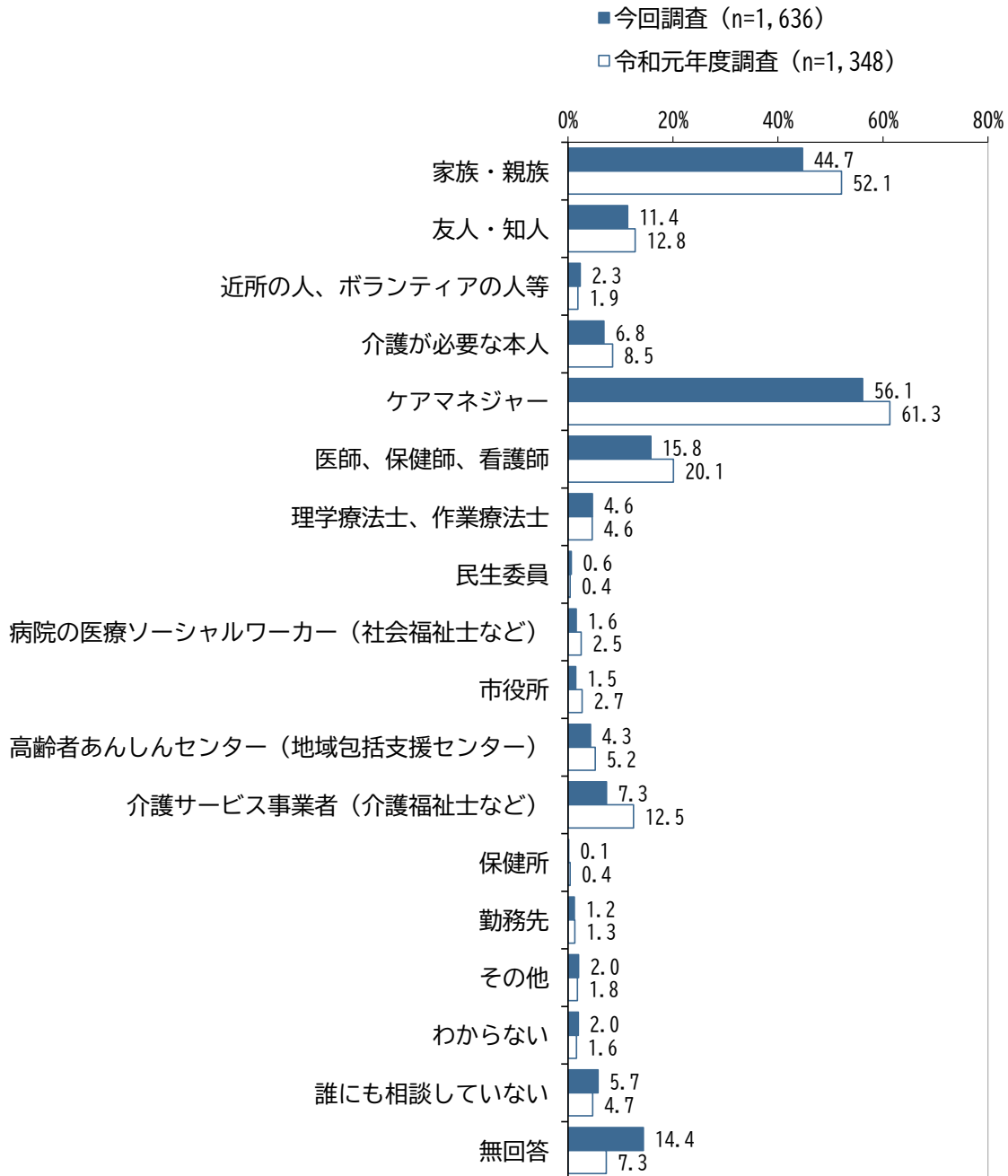
※網掛け■は最も割合が高いもの

(13) 主な介護者の介護についての相談相手

問8-11 主な介護者は、介護について誰かに相談していますか。(いくつでも)

主な介護者の介護についての相談相手については、「ケアマネジャー」が56.1%で最も高く、次いで「家族・親族」が44.7%、「医師、保健師、看護師」が15.8%と続いています。

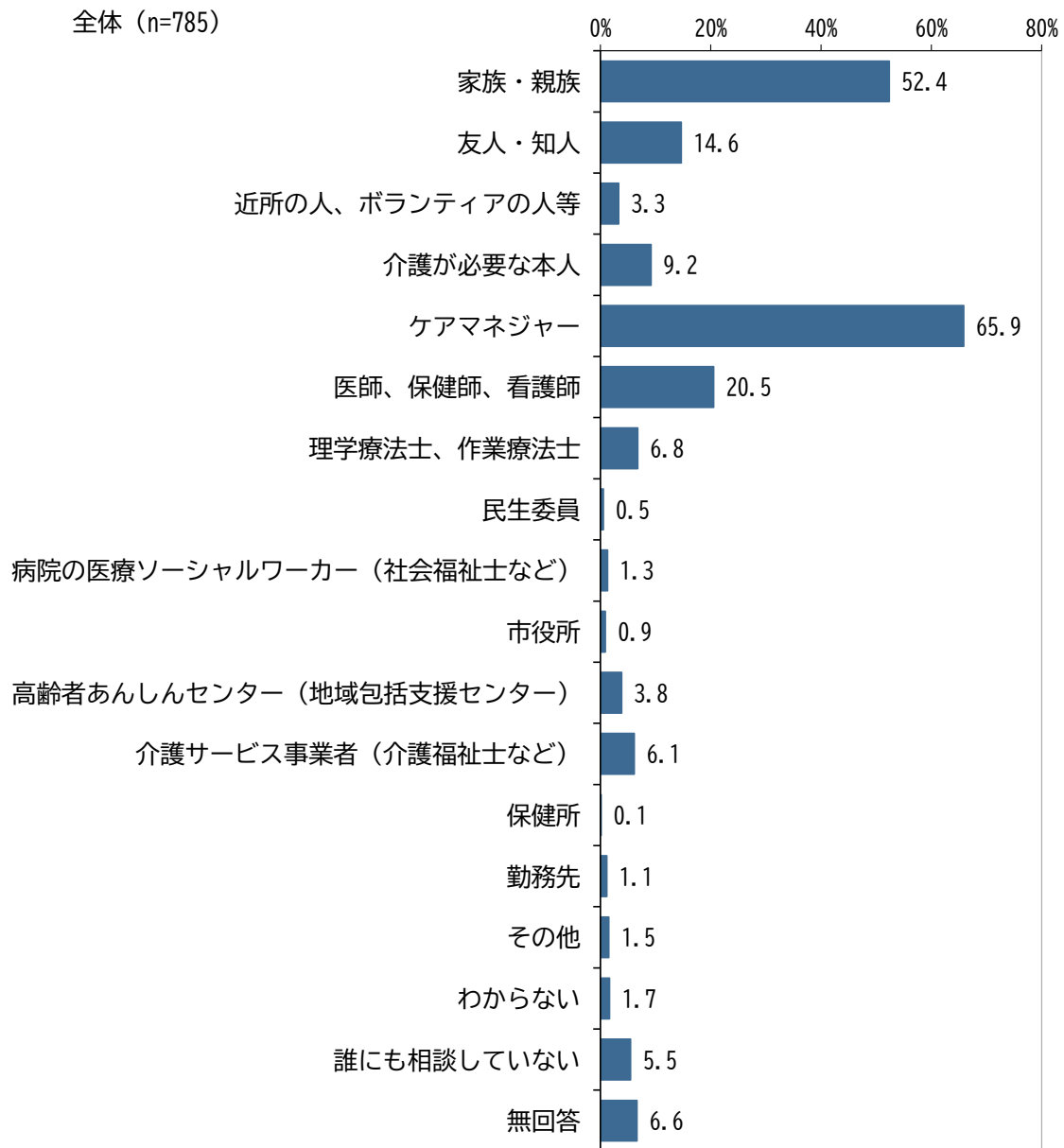
図表 3-9-39 主な介護者の介護についての相談相手



※ 令和元（2019）年度調査の集計は、問8-1の介護者を回答した人のみ。

自宅で介護を受けている方のみで見ると、「ケアマネジャー」が65.9%で最も高く、次いで「家族・親族」が52.4%、「医師、保健師、看護師」が20.5%と続いています。

図表 3-9-40 主な介護者の介護についての相談相手（自宅で介護を受けている方のみ）



自宅で介護を受けている方のみで認定状況別でみると、全ての認定状況で「ケアマネジャー」の割合が最も高くなっています。

自宅で介護を受けている方のみで中学校区別でみると、「誰にも相談していない」では、大正中学校区が11.4%で最も高くなっています。

図表 3-9-41 主な介護者の介護についての相談相手（自宅で介護を受けている方のみ） 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	家族・親族	友人・知人	近所の人、ボランティアの人等	介護が必要な本人	ケアマネジャー	医師、保健師、看護師	理学療法士、作業療法士	民生委員	病院の医療ソーシャルワーカー（社会福祉士など）	市役所	
全体		785	52.4	14.6	3.3	9.2	65.9	20.5	6.8	0.5	1.3	0.9	
認定状況別	要介護1	264	51.5	13.3	1.9	9.5	61.0	13.3	3.0	0.4	0.8	1.5	
	要介護2	214	50.0	16.4	2.8	10.7	61.2	22.0	6.1	0.9	1.9	0.0	
	要介護3	130	52.3	16.9	3.8	6.9	76.2	23.8	11.5	0.0	1.5	0.0	
	要介護4	91	59.3	9.9	4.4	9.9	74.7	17.6	8.8	0.0	1.1	0.0	
	要介護5	60	51.7	16.7	6.7	5.0	73.3	45.0	11.7	0.0	0.0	3.3	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	49	53.1	20.4	8.2	10.2	75.5	20.4	2.0	0.0	4.1	0.0
		桂中学校区	30	50.0	13.3	0.0	3.3	60.0	16.7	16.7	0.0	0.0	6.7
	第2圏域	上之島中学校区	56	50.0	19.6	1.8	3.6	64.3	23.2	8.9	0.0	0.0	0.0
		久宝寺中学校区	52	44.2	17.3	3.8	9.6	69.2	32.7	3.8	0.0	1.9	3.8
		龍華中学校区	71	53.5	14.1	1.4	5.6	66.2	12.7	7.0	0.0	1.4	1.4
	第3圏域	亀井中学校区	39	46.2	15.4	2.6	10.3	59.0	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0
		大正中学校区	44	52.3	20.5	6.8	11.4	52.3	18.2	4.5	4.5	0.0	0.0
		志紀中学校区	43	62.8	11.6	2.3	7.0	58.1	11.6	0.0	2.3	2.3	0.0
	第4圏域	曙川南中学校区	77	51.9	18.2	7.8	11.7	68.8	16.9	1.3	1.3	3.9	1.3
		成法中学校区	96	56.3	9.4	3.1	11.5	66.7	24.0	10.4	0.0	0.0	1.0
		曙川中学校区	49	53.1	14.3	0.0	14.3	61.2	32.7	16.3	0.0	2.0	0.0
	第5圏域	高美中学校区	37	54.1	10.8	5.4	2.7	75.7	13.5	2.7	0.0	0.0	0.0
		高安小中学校区	30	50.0	13.3	3.3	16.7	63.3	26.7	10.0	0.0	0.0	0.0
		南高安中学校区	43	44.2	14.0	0.0	7.0	65.1	18.6	4.7	0.0	0.0	0.0
		東中学校区	47	66.0	10.6	2.1	6.4	76.6	14.9	8.5	0.0	2.1	0.0

		合計	高齢者あんしんセンター (地域包括支援センター)	介護サービス事業者(介護 福祉士など)	保健所	勤務先	その他	わからない	誰にも相談していない	無回答	
全体		785	3.8	6.1	0.1	1.1	1.5	1.7	5.5	6.6	
認定 状況別	要介護1	264	4.2	4.2	0.0	0.8	1.5	1.9	4.9	8.7	
	要介護2	214	4.2	5.6	0.5	1.9	0.9	2.3	8.9	6.1	
	要介護3	130	3.1	4.6	0.0	0.0	0.8	0.8	3.1	4.6	
	要介護4	91	1.1	7.7	0.0	1.1	4.4	1.1	3.3	4.4	
	要介護5	60	5.0	15.0	0.0	1.7	1.7	0.0	1.7	6.7	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	49	2.0	6.1	0.0	0.0	2.0	0.0	4.1	4.1
		桂中学校区	30	0.0	10.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	20.0
		上之島中学校区	56	5.4	1.8	0.0	1.8	1.8	0.0	5.4	7.1
	第2圏域	久宝寺中学校区	52	7.7	9.6	0.0	0.0	1.9	1.9	3.8	3.8
		龍華中学校区	71	1.4	7.0	0.0	1.4	1.4	2.8	9.9	7.0
		亀井中学校区	39	7.7	10.3	0.0	2.6	0.0	2.6	7.7	10.3
	第3圏域	大正中学校区	44	2.3	6.8	0.0	2.3	0.0	0.0	11.4	2.3
		志紀中学校区	43	2.3	9.3	0.0	0.0	0.0	2.3	4.7	7.0
		曙川南中学校区	77	6.5	5.2	0.0	1.3	2.6	3.9	3.9	3.9
	第4圏域	成法中学校区	96	2.1	4.2	0.0	2.1	2.1	2.1	3.1	5.2
		曙川中学校区	49	2.0	6.1	0.0	0.0	0.0	4.1	8.2	6.1
		高美中学校区	37	5.4	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	5.4
	第5圏域	高安小中学校区	30	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	13.3
南高安中学校区		43	4.7	4.7	0.0	2.3	0.0	0.0	7.0	9.3	
	東中学校区	47	4.3	8.5	2.1	0.0	2.1	0.0	2.1	6.4	

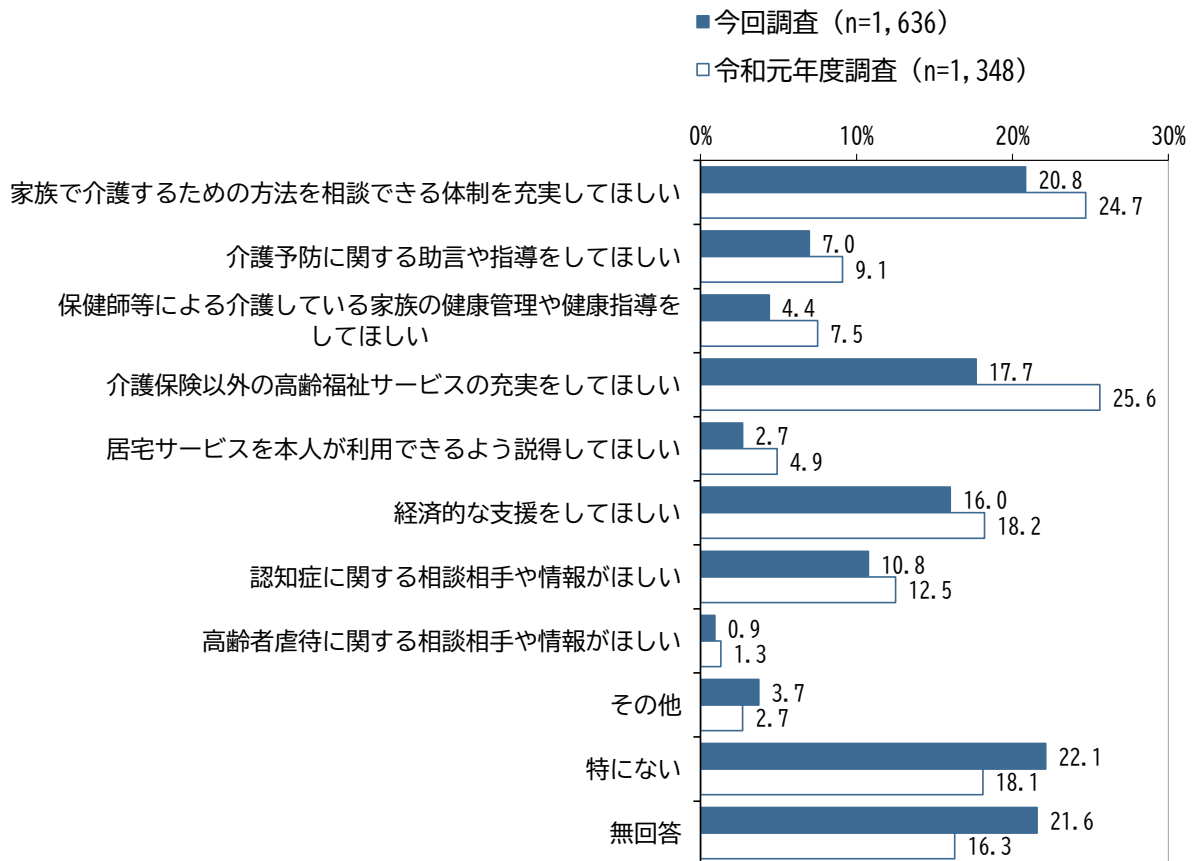
※網掛け■は最も割合が高いもの

(14) 介護に関して支援してほしいこと

問8-12 現状、介護に関して、どのようなことを支援してほしいとお考えですか。

介護に関して支援してほしいことについては、「特にない」が22.1%で最も高く、次いで「家族で介護するための方法を相談できる体制を充実してほしい」が20.8%、「介護保険以外の高齢福祉サービスの充実をしてほしい」が17.7%と続いています。

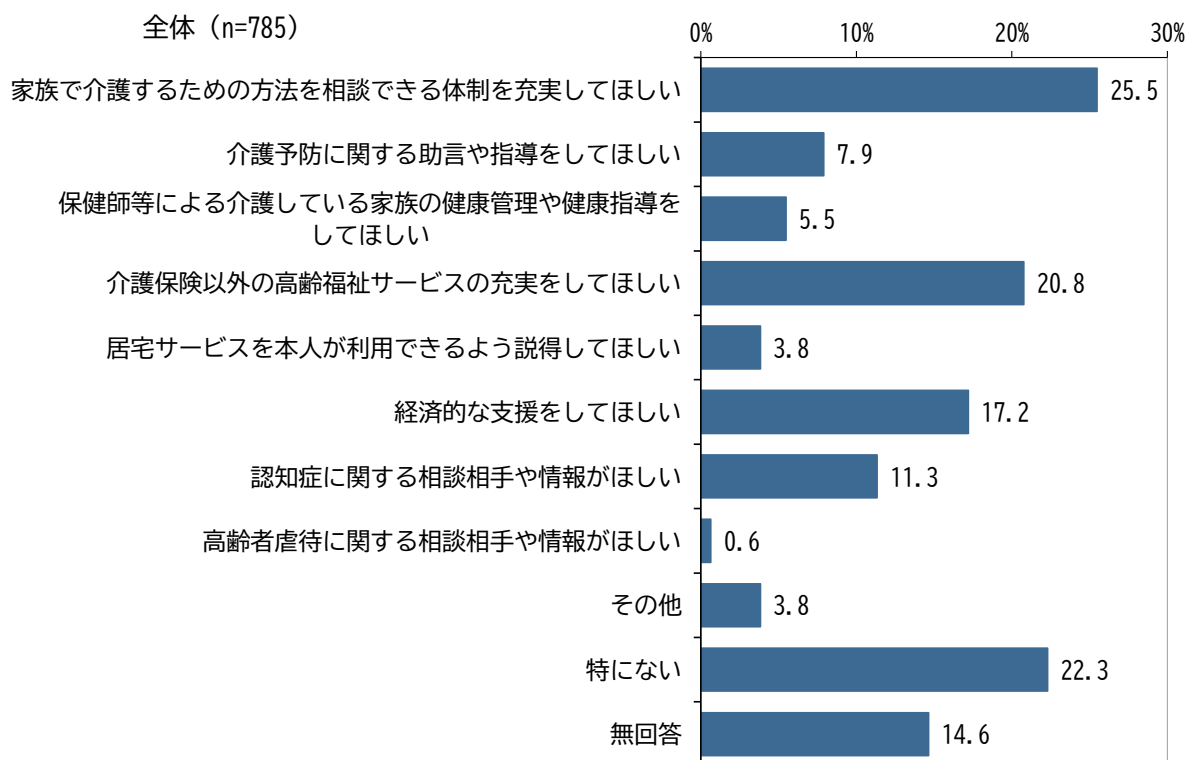
図表 3-9-42 介護に関して支援してほしいこと



※ 令和元（2019）年度調査の集計は、問8-1の介護者を回答した人のみ。

自宅で介護を受けている方のみでみると、「家族で介護するための方法を相談できる体制を充実してほしい」が25.5%で最も高く、次いで「特になし」が22.3%、「介護保険以外の高齢福祉サービスの充実をしてほしい」が20.8%と続いています。

図表 3-9-43 介護に関して支援してほしいこと（自宅で介護を受けている方のみ）



自宅で介護を受けている方のみで認定状況別でみると、要介護1、要介護2では「家族で介護するための方法を相談できる体制を充実してほしい」の割合が最も高く、要介護3、要介護4では「特になし」の割合が最も高く、要介護5では「経済的な支援をしてほしい」の割合が最も高くなっています。

自宅で介護を受けている方のみで中学校区別でみると、「家族で介護するための方法を相談できる体制を充実してほしい」では、曙川中学校区が36.7%で最も高くなっています。

図表 3-9-44 介護に関して支援してほしいこと（自宅で介護を受けている方のみ） 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	家族で介護するための方法を相談できる体制を充実してほしい	介護予防に関する助言や指導をしてほしい	保健師等による介護指導をしてほしい	介護保険以外の高齢福祉サービス等の充実してほしい	居宅サービスを利用できるよう説明してほしい	経済的な支援をしてほしい	認知症に関する相談相手や情報してほしい	高齢者虐待に関する相談相手や情報してほしい	その他	特になし	無回答	
全体		785	25.5	7.9	5.5	20.8	3.8	17.2	11.3	0.6	3.8	22.3	14.6	
認定状況別	要介護1	264	24.2	8.7	6.4	20.5	4.9	15.9	13.3	0.8	2.3	20.1	16.3	
	要介護2	214	29.9	8.9	3.7	22.0	2.8	14.5	10.7	0.9	5.1	22.0	13.1	
	要介護3	130	23.8	7.7	3.1	17.7	5.4	14.6	10.8	0.0	3.8	25.4	13.8	
	要介護4	91	23.1	6.6	7.7	16.5	3.3	22.0	8.8	1.1	3.3	27.5	17.6	
	要介護5	60	21.7	6.7	10.0	28.3	0.0	30.0	11.7	0.0	8.3	18.3	10.0	
中学校区別	第1圏域	八尾中学校区	49	30.6	6.1	6.1	24.5	4.1	12.2	4.1	0.0	4.1	18.4	12.2
		桂中学校区	30	23.3	10.0	0.0	20.0	0.0	23.3	6.7	3.3	10.0	6.7	26.7
		上之島中学校区	56	25.0	7.1	5.4	19.6	3.6	19.6	16.1	0.0	1.8	26.8	12.5
	第2圏域	久宝寺中学校区	52	25.0	7.7	3.8	17.3	3.8	13.5	7.7	1.9	3.8	28.8	19.2
		龍華中学校区	71	28.2	4.2	2.8	25.4	5.6	9.9	9.9	0.0	4.2	22.5	18.3
		亀井中学校区	39	10.3	2.6	2.6	23.1	2.6	23.1	10.3	0.0	2.6	33.3	15.4
	第3圏域	大正中学校区	44	22.7	13.6	9.1	22.7	4.5	9.1	13.6	2.3	4.5	20.5	15.9
		志紀中学校区	43	27.9	2.3	4.7	14.0	2.3	27.9	14.0	0.0	11.6	18.6	16.3
	第4圏域	曙川南中学校区	77	36.4	7.8	5.2	20.8	6.5	19.5	24.7	0.0	2.6	15.6	7.8
		成法中学校区	96	24.0	8.3	5.2	18.8	3.1	17.7	7.3	1.0	3.1	26.0	13.5
		曙川中学校区	49	36.7	12.2	10.2	26.5	2.0	22.4	6.1	0.0	2.0	20.4	10.2
	第5圏域	高美中学校区	37	21.6	18.9	2.7	16.2	5.4	8.1	16.2	2.7	5.4	35.1	8.1
		高安小中学校区	30	20.0	10.0	16.7	30.0	3.3	16.7	3.3	0.0	3.3	10.0	20.0
南高安中学校区		43	16.3	9.3	9.3	16.3	4.7	18.6	9.3	0.0	0.0	25.6	16.3	
東中学校区		47	25.5	6.4	4.3	19.1	2.1	19.1	10.6	0.0	2.1	23.4	12.8	

※網掛け■は最も割合が高いもの

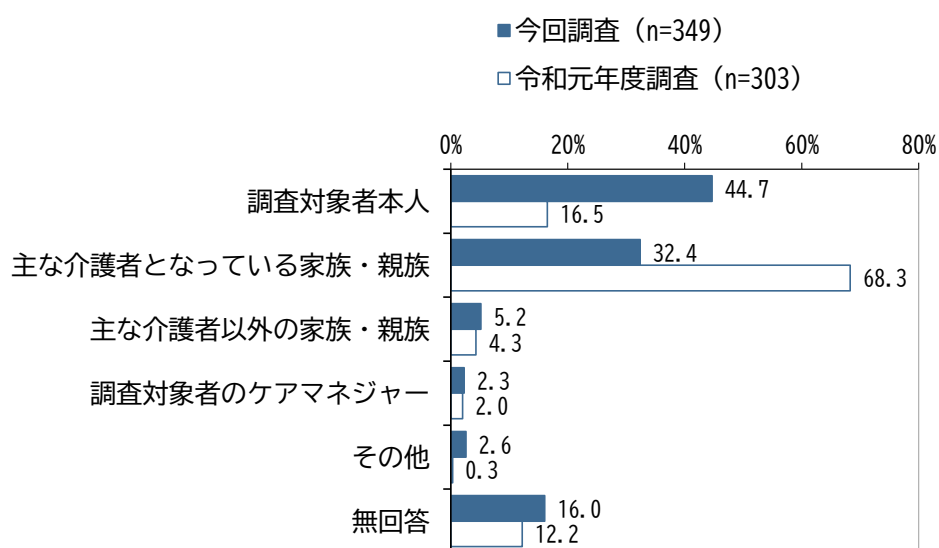
第4章 在宅介護実態調査

1 単純集計結果

(1) 調査票記入者

調査票記入者については、「調査対象者本人」が44.7%で最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が32.4%、「主な介護者以外の家族・親族」が5.2%と続いています。

図表 4-1-1 調査票記入者



(2) 基本調査項目 (A票)

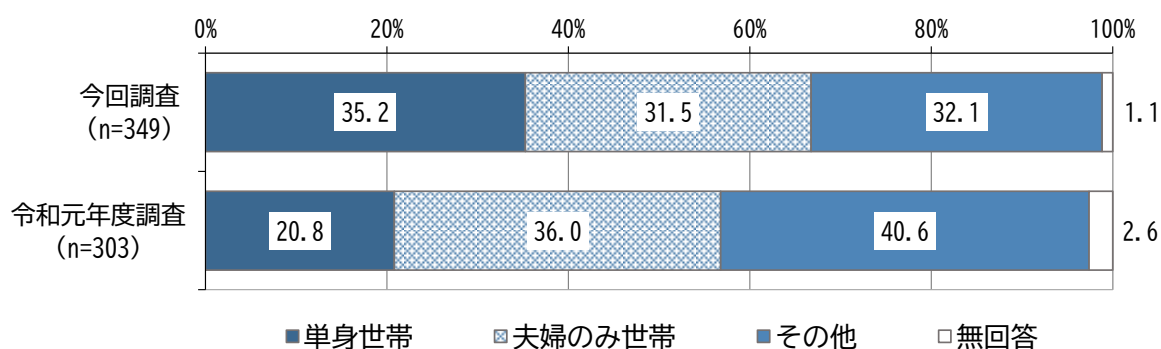
① 世帯類型

問1 世帯類型について、ご回答ください (1つを選択)

世帯類型については、「単身世帯」が35.2%で最も高く、次いで「その他」が32.1%、「夫婦のみ世帯」が31.5%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「単身世帯」(35.2%)では、令和元(2019)年度調査(20.8%)より14.4ポイント増加しています。

図表 4-1-2 世帯類型



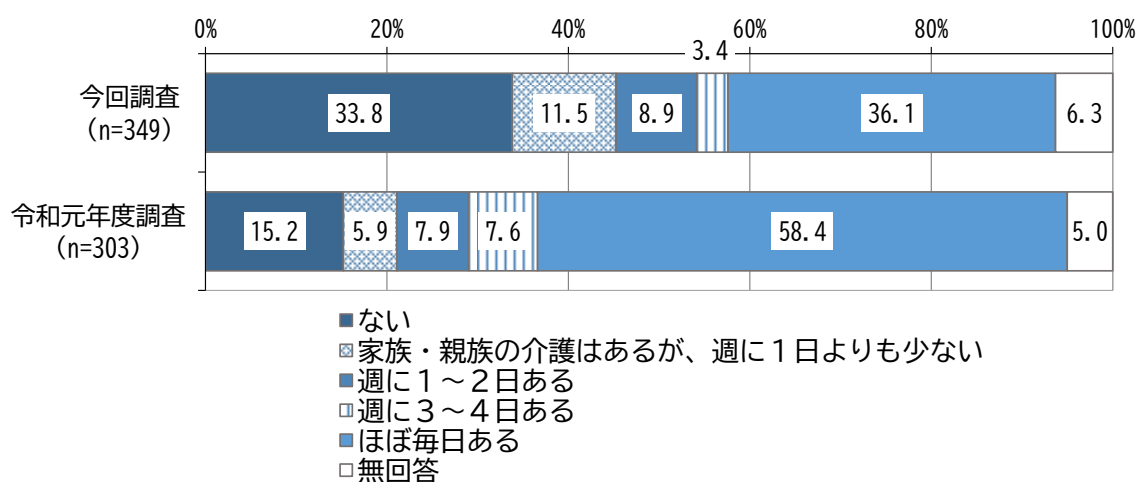
② 家族等による介護の頻度

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

家族等による介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が36.1%で最も高く、次いで「ない」が33.8%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が11.5%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「ない」（33.8%）では、令和元（2019）年度調査（15.2%）より18.6ポイント増加しています。

図表 4-1-3 家族等による介護の頻度



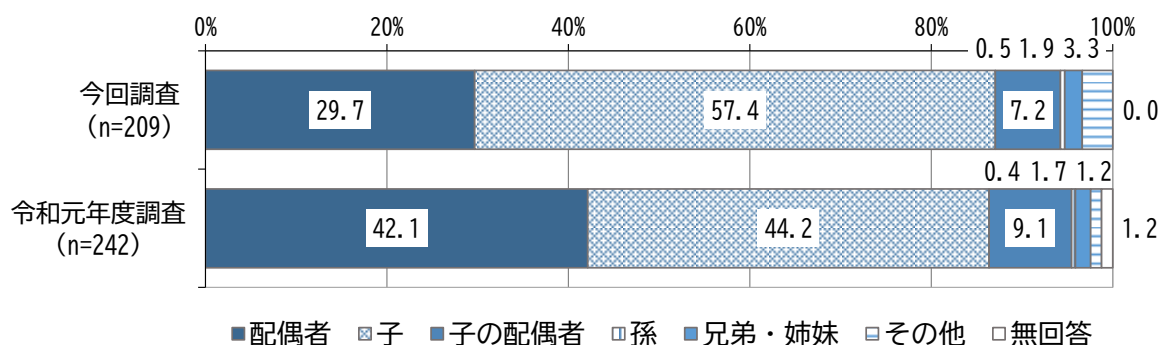
③ 主な介護者の本人との関係

問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

主な介護者の本人との関係については、「子」が57.4%で最も高く、次いで「配偶者」が29.7%、「子の配偶者」が7.2%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「子」（57.4%）では、令和元（2019）年度調査（44.2%）より13.2ポイント増加しています。

図表 4-1-4 主な介護者の本人との関係

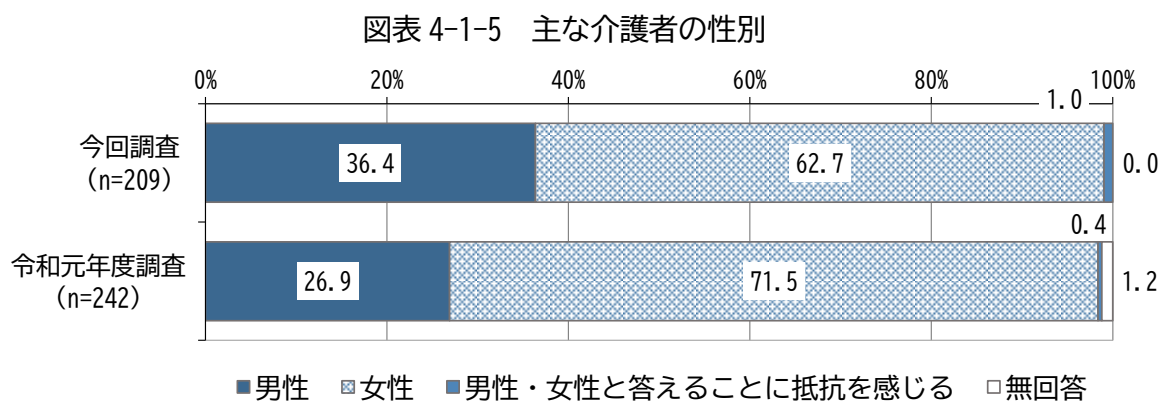


④ 主な介護者の性別

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の性別については、「女性」が62.7%で最も高く、次いで「男性」が36.4%、「男性・女性と答えることに抵抗を感じる」が1.0%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「男性」（36.4%）では、令和元（2019）年度調査（26.9%）より9.5ポイント増加しています。



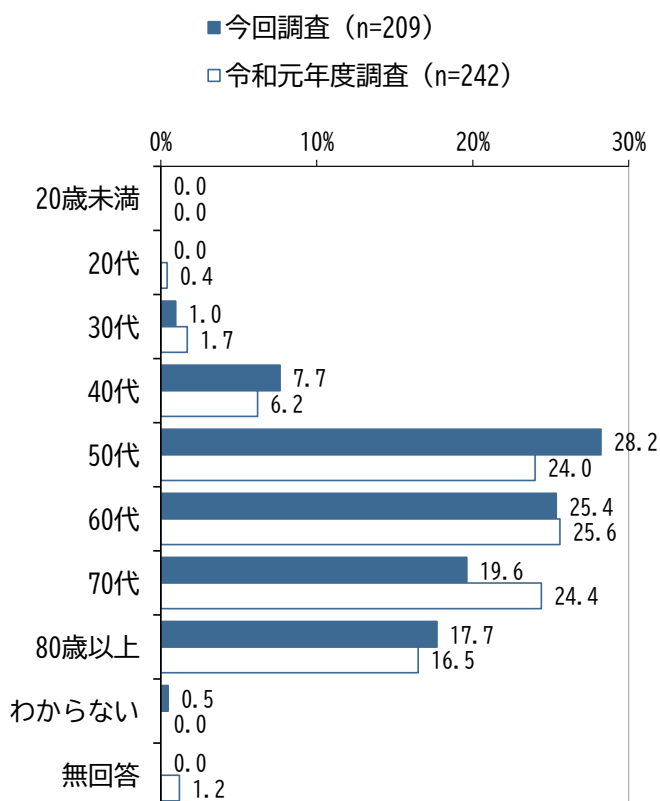
⑤ 主な介護者の年齢

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の年齢については、「50代」が28.2%で最も高く、次いで「60代」が25.4%、「70代」が19.6%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「50代」（28.2%）では、令和元（2019）年度調査（24.0%）より4.2ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 4-1-6 主な介護者の年齢



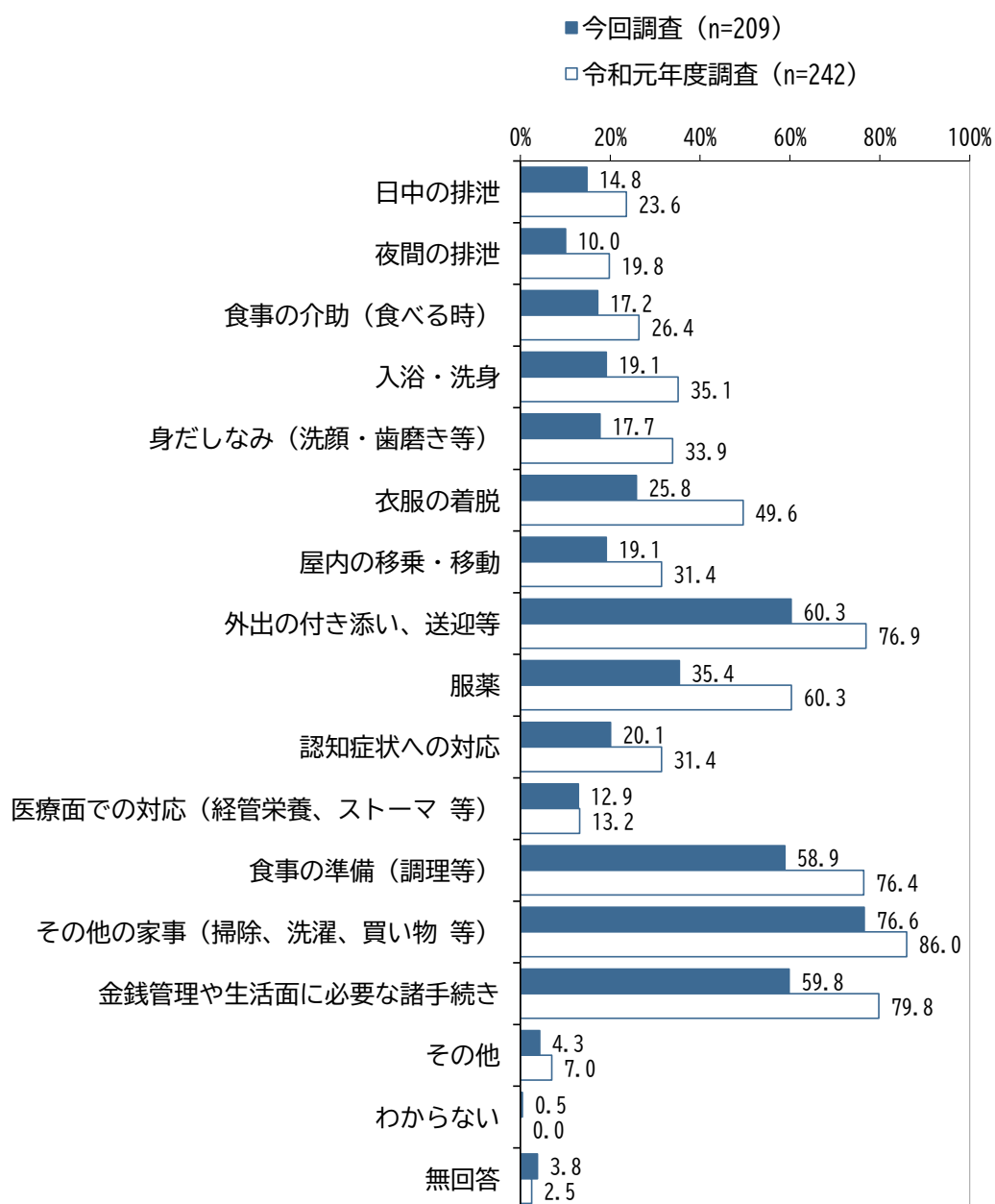
⑥ 主な介護者が行っている介護

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

主な介護者が行っている介護については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が76.6%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が60.3%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が59.8%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「わからない」を除く全ての項目で令和元（2019）年度調査より割合が減少しています。

図表 4-1-7 主な介護者が行っている介護



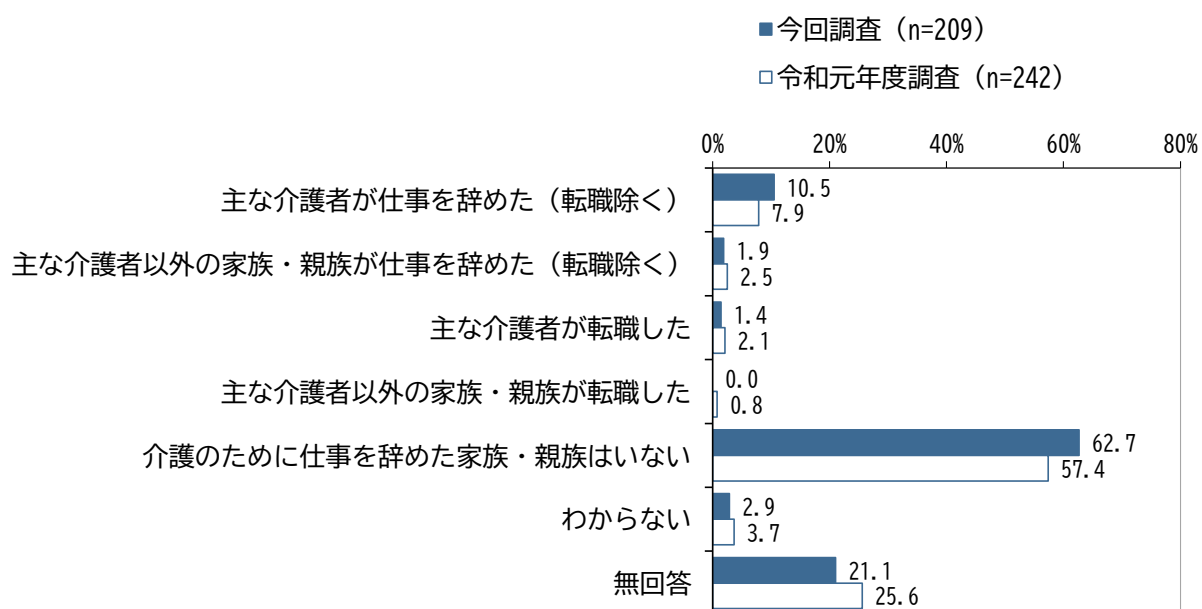
⑦ 介護のための離職の有無

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（要介護認定を受けている方）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

介護のための離職の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が62.7%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が10.5%、「わからない」が2.9%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」（62.7%）では、令和元（2019）年度調査（57.4%）より5.3ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 4-1-8 介護のための離職の有無



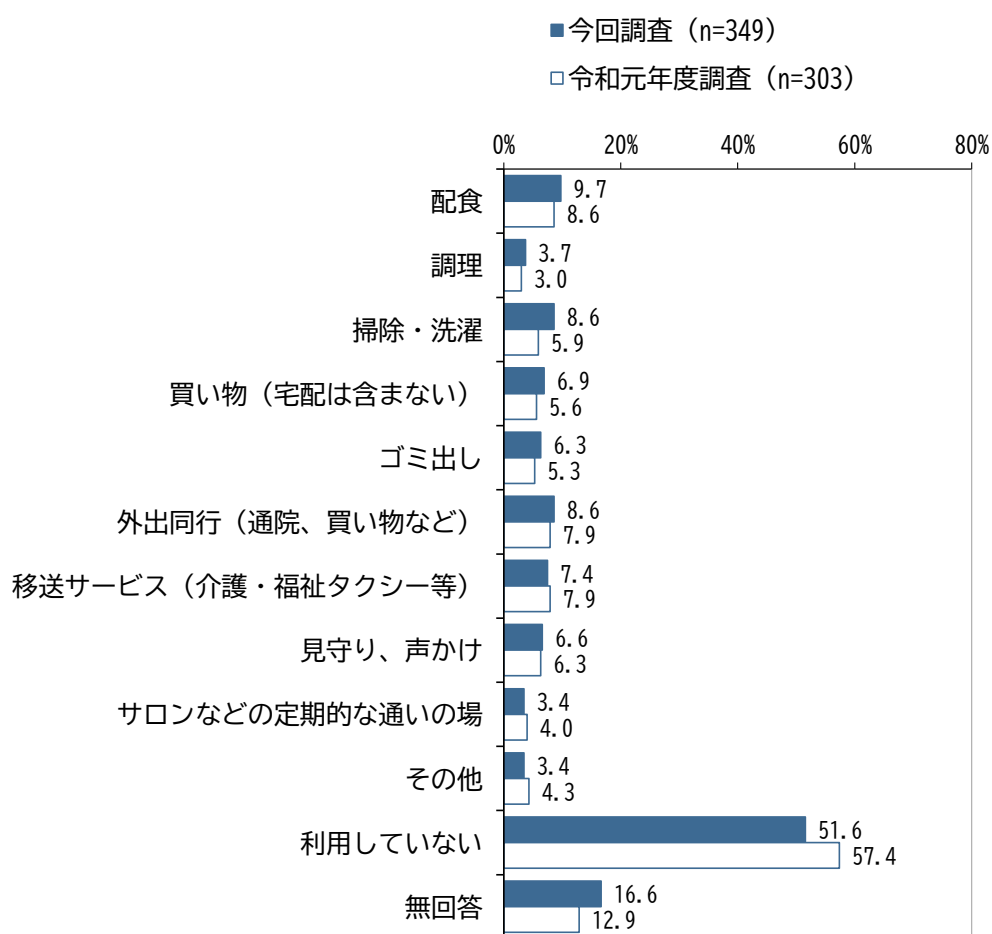
⑧ 保険外の支援・サービスの利用状況

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
(複数選択可)

保険外の支援・サービスの利用状況については、「利用していない」が51.6%で最も高く、次いで「配食」が9.7%、「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」がいずれも8.6%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「利用していない」（51.6%）では、令和元（2019）年度調査（57.4%）より5.8ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

図表 4-1-9 保険外の支援・サービスの利用状況



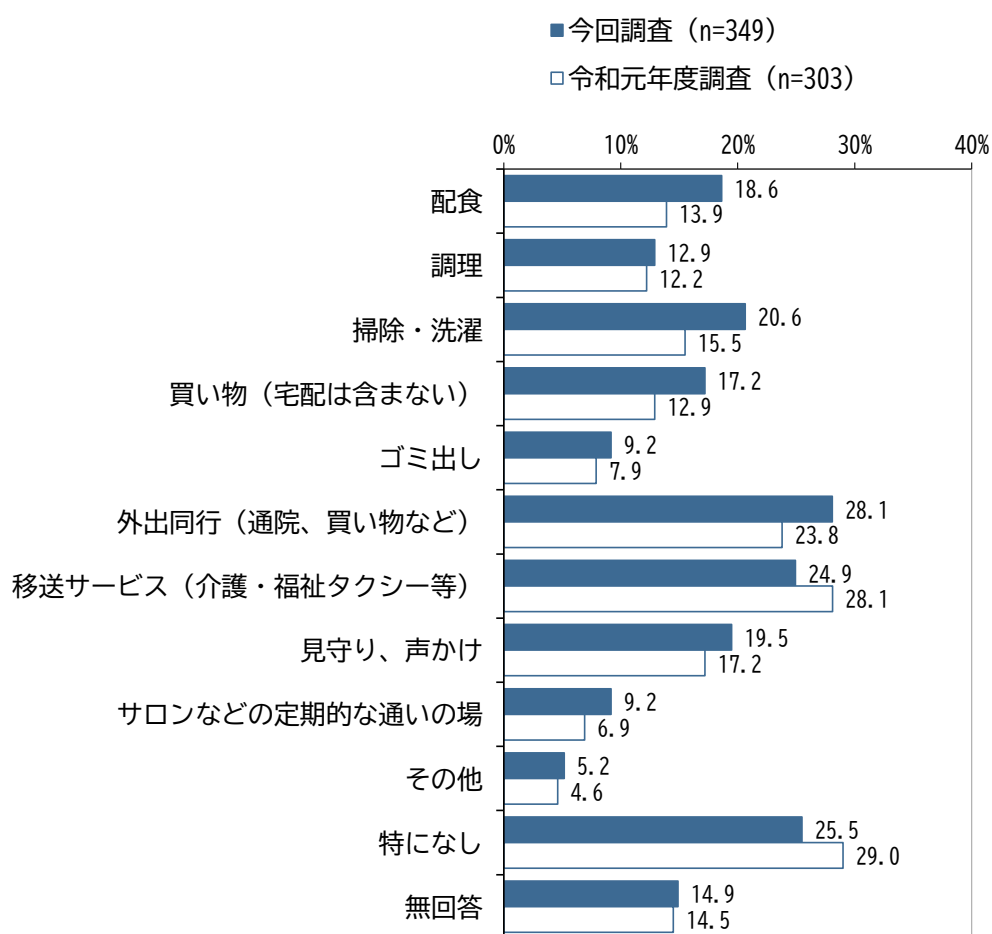
⑨ 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービスについては、「外出同行（通院、買い物など）」が28.1%で最も高く、次いで「特になし」が25.5%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が24.9%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「掃除・洗濯」（20.6%）では、令和元（2019）年度調査（15.5%）より5.1ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 4-1-10 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス



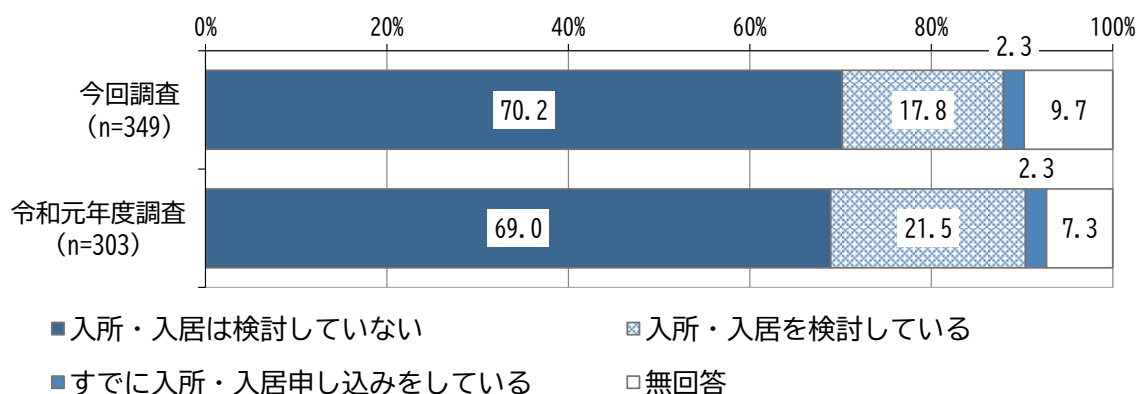
⑩ 施設等検討の状況

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

施設等検討の状況については、「入所・入居は検討していない」が70.2%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が17.8%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が2.3%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「入所・入居を検討している」(17.8%)では、令和元(2019)年度調査(21.5%)より3.7ポイント減少しています。

図表 4-1-11 施設等検討の状況



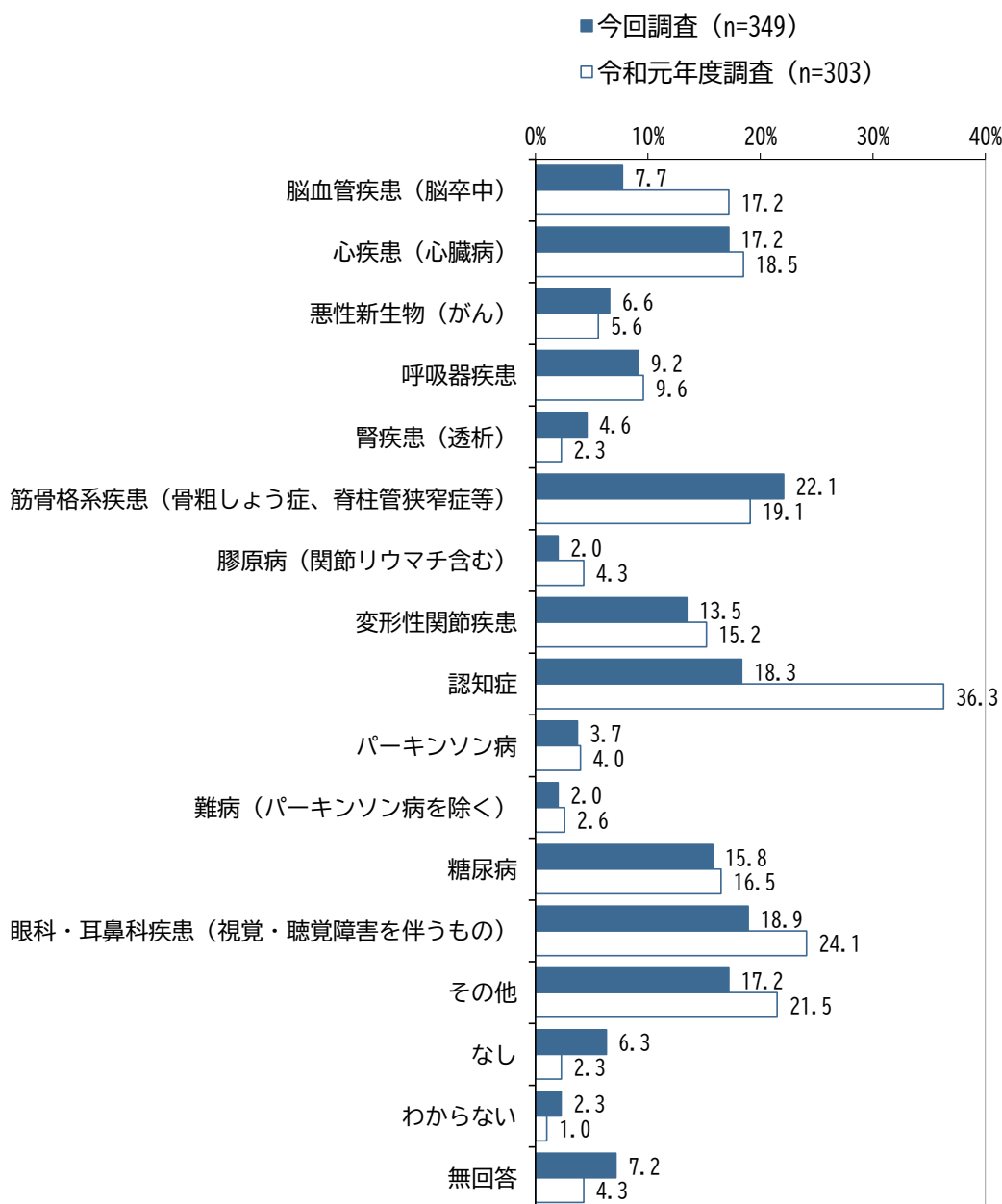
⑪ 本人が抱えている傷病

問11 ご本人（要介護認定を受けている方）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

本人が抱えている傷病については、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が22.1%で最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が18.9%、「認知症」が18.3%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「なし」（6.3%）では、令和元（2019）年度調査（2.3%）より4.0ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 4-1-12 本人が抱えている傷病



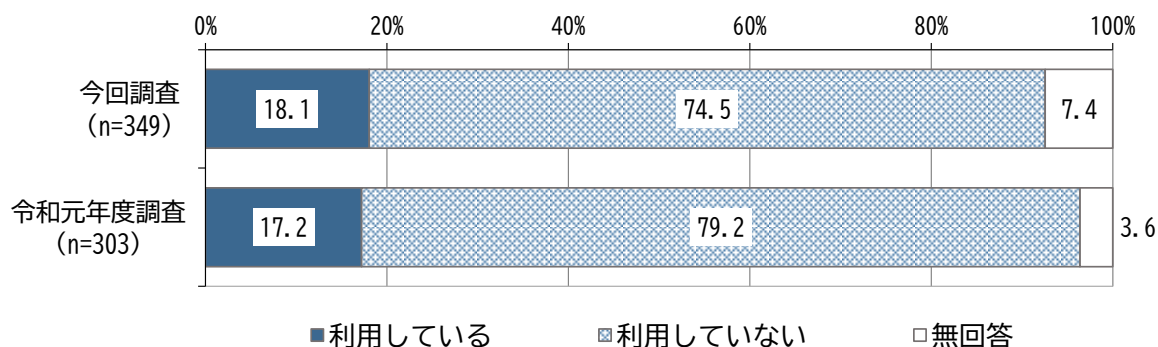
⑫ 訪問診療の利用の有無

問 12 ご本人（要介護認定を受けている方）は、現在、訪問診療を利用していますか
（1つを選択）

訪問診療の利用の有無については、「利用している」が 18.1%、「利用していない」が 74.5%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「利用している」では、大きな差はみられません。

図表 4-1-13 訪問診療の利用の有無



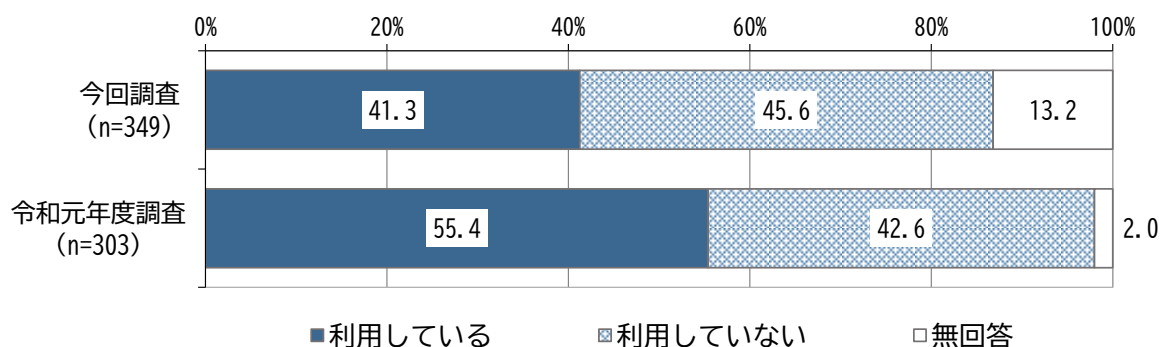
⑬ 介護保険サービスの利用の有無

問 13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか
（1つを選択）

介護保険サービスの利用の有無については、「利用している」が 41.3%、「利用していない」が 45.6%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「利用している」（41.3%）では、令和元（2019）年度調査（55.4%）より 14.1 ポイント減少しています。

図表 4-1-14 介護保険サービスの利用の有無



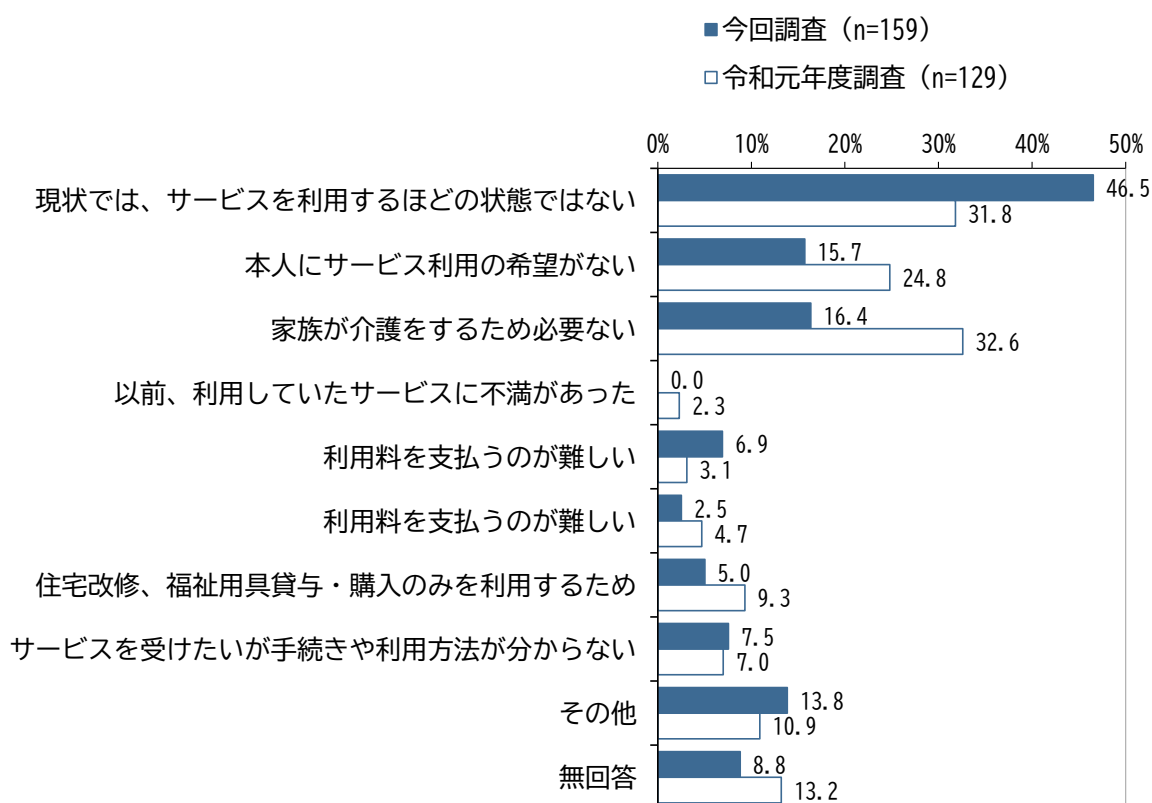
⑭ 介護保険サービス未利用の理由

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

介護保険サービス未利用の理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が46.5%で最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が16.4%、「本人にサービス利用の希望がない」が15.7%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」（46.5%）では、令和元（2019）年度調査（31.8%）より14.7ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 4-1-15 介護保険サービスの未利用の理由



(3) 主な介護者様用の調査項目（B票）

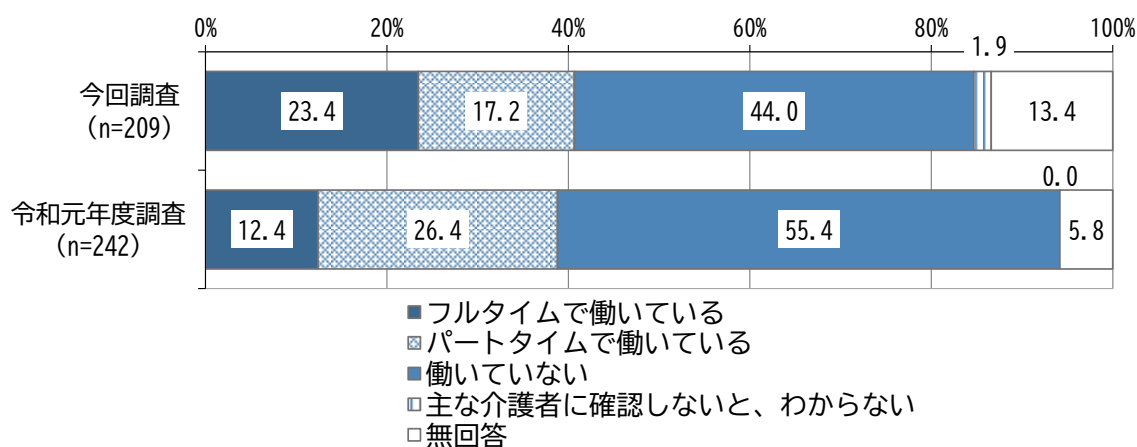
① 主な介護者の勤務形態

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の勤務形態については、「働いていない」が44.0%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が23.4%、「パートタイムで働いている」が17.2%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「フルタイムで働いている」（23.4%）では、令和元（2019）年度調査（12.4%）より11.0ポイント増加しています。

図表 4-1-16 主な介護者の勤務形態



② 主な介護者の方の働き方の調整の状況

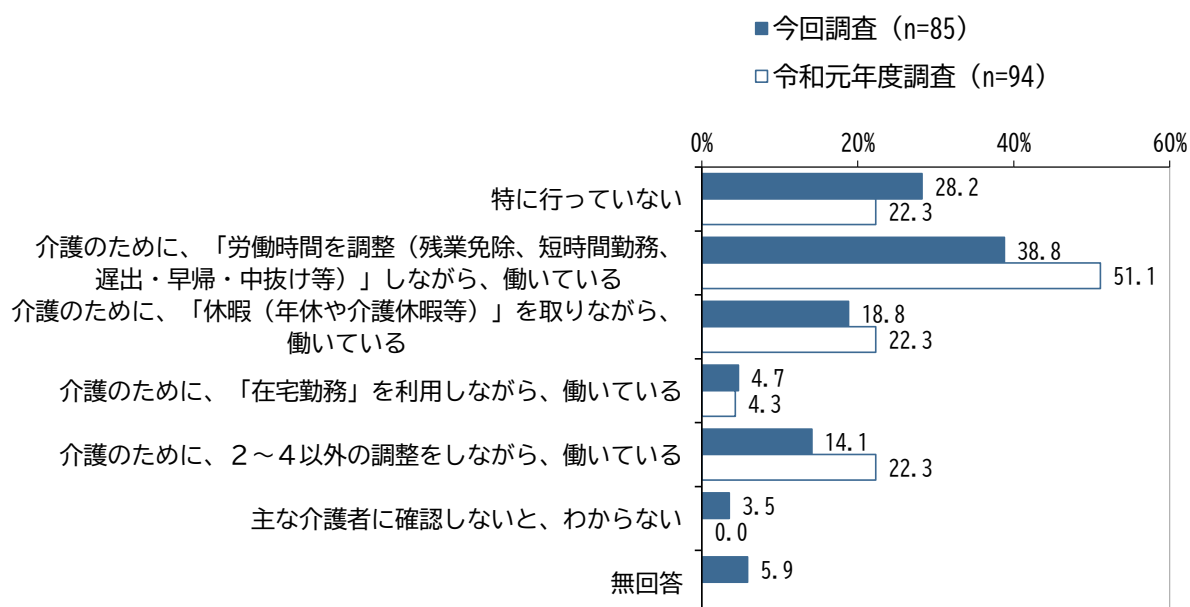
問1で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか
(複数選択可)

主な介護者の働き方の調整状況については、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が38.8%で最も高く、次いで「特に行っていない」が28.2%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が18.8%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「特に行っていない」（28.2%）では、令和元（2019）年度調査（22.3%）より5.9ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 4-1-17 主な介護者の働き方の調整状況



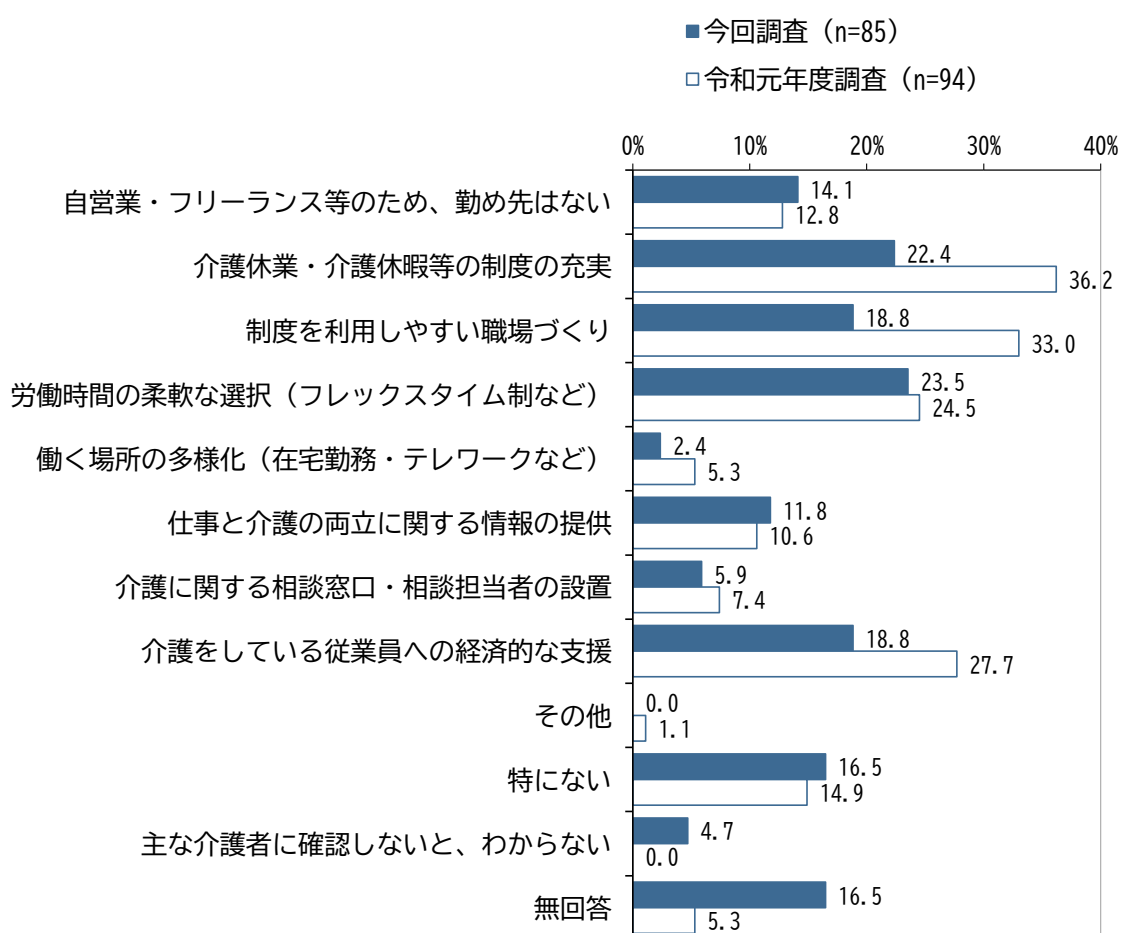
③ 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

問1で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。
 問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果がある
 と思いますか（3つまで選択可）

就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援については、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が23.5%で最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が22.4%、「制度を利用しやすい職場づくり」、「介護をしている従業員への経済的な支援」がいずれも18.8%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「主な介護者に確認しないと、わからない」（4.7%）では、令和元（2019）年度調査（0.0%）より4.7ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 4-1-18 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援



④ 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

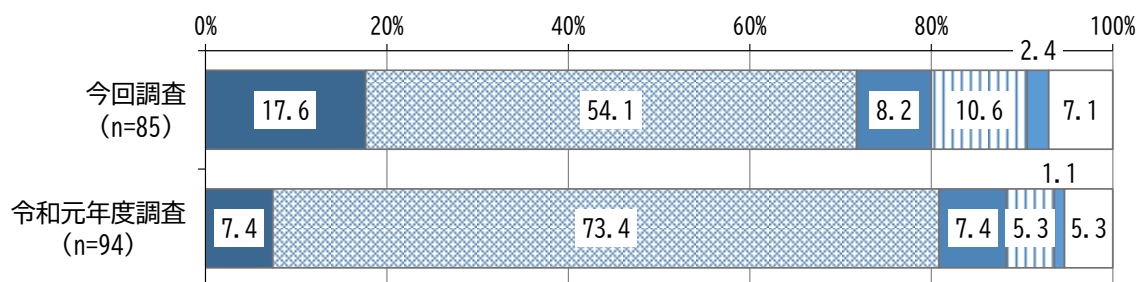
問1で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

主な介護者の就労継続の可否に係る意識については、「問題はあるが、何とか続けていける」が54.1%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が17.6%、「続けていくのは、かなり難しい」が10.6%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「問題なく、続けていける」（17.6%）では、令和元（2019）年度調査（7.4%）より10.2ポイント増加しています。

図表 4-1-19 主な介護者の就労継続の可否に係る意識



- 問題なく、続けていける
- 問題はあるが、何とか続けていける
- 続けていくのは、やや難しい
- 続けていくのは、かなり難しい
- 主な介護者に確認しないと、わからない
- 無回答

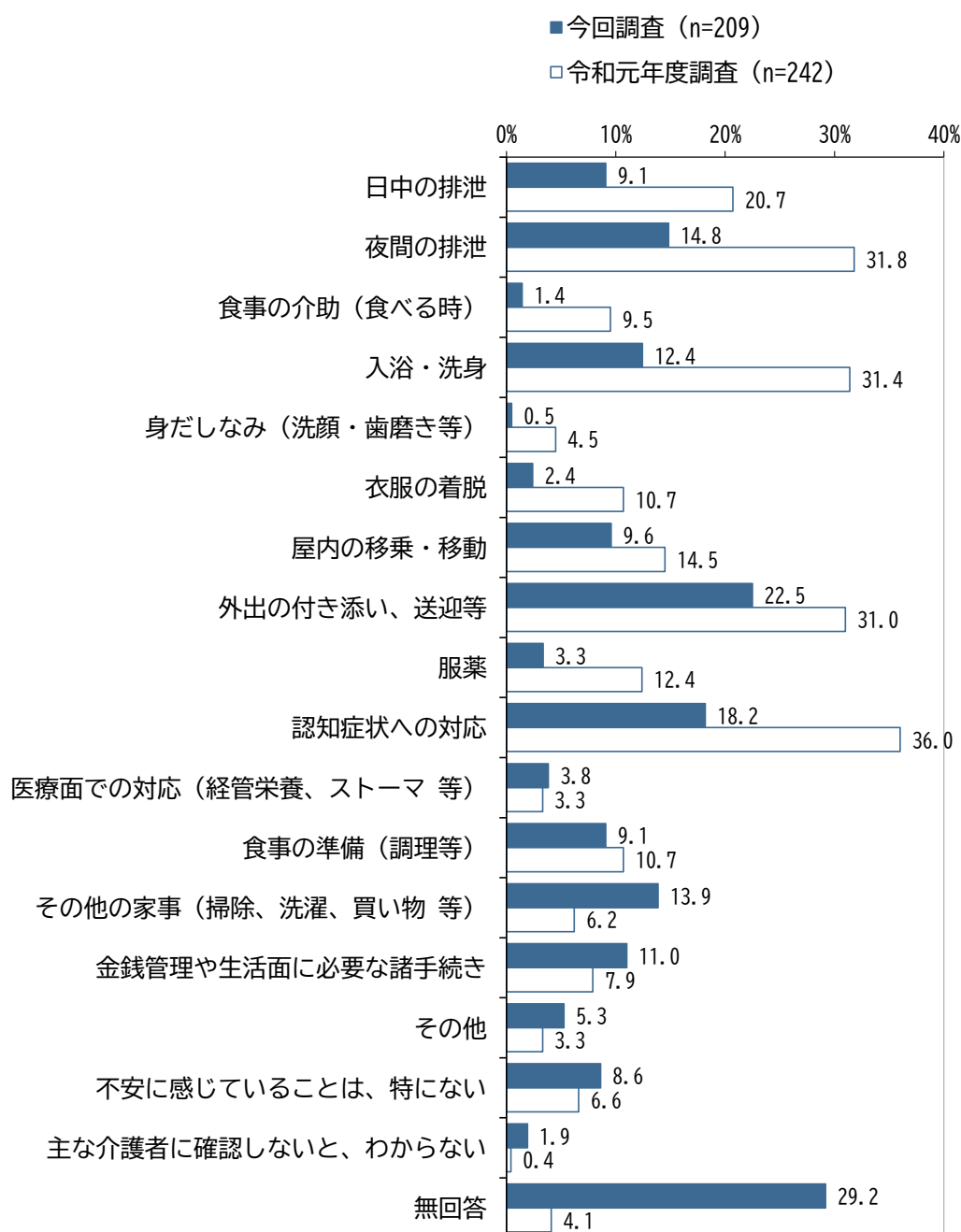
⑤ 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護については、「外出の付き添い、送迎等」が22.5%で最も高く、次いで「認知症状への対応」が18.2%、「夜間の排泄」が14.8%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（13.9%）では、令和元（2019）年度調査（6.2%）より7.7ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 4-1-20 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

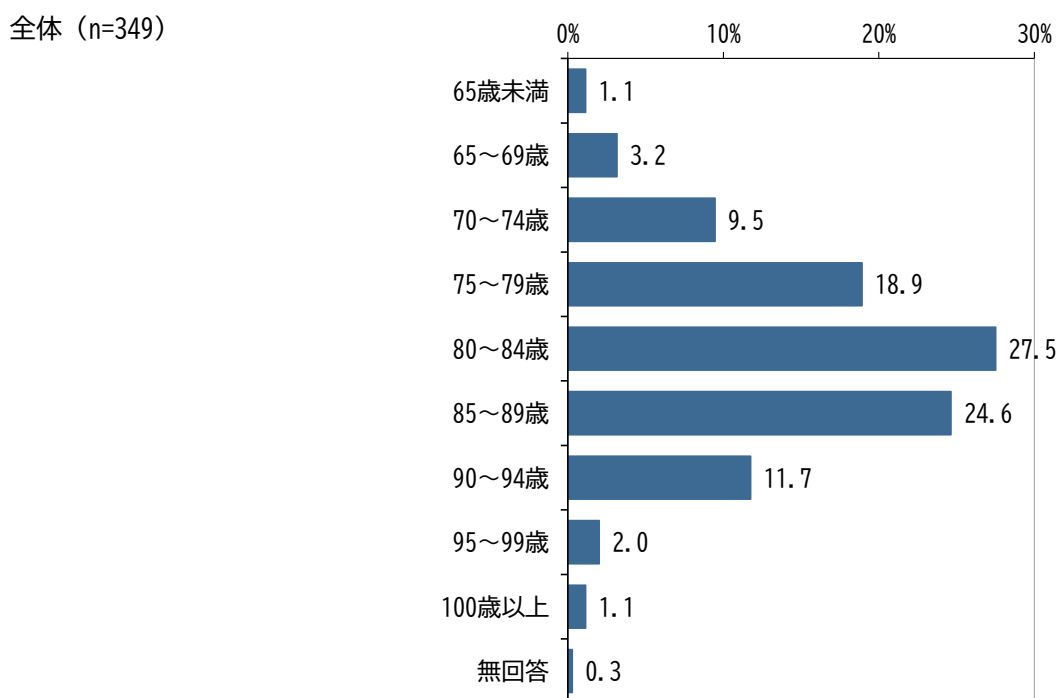


(4) 要介護認定データ

① 年齢

年齢については、「80～84歳」が27.5%で最も高く、次いで「85～89歳」が24.6%、「75～79歳」が18.9%と続いています。

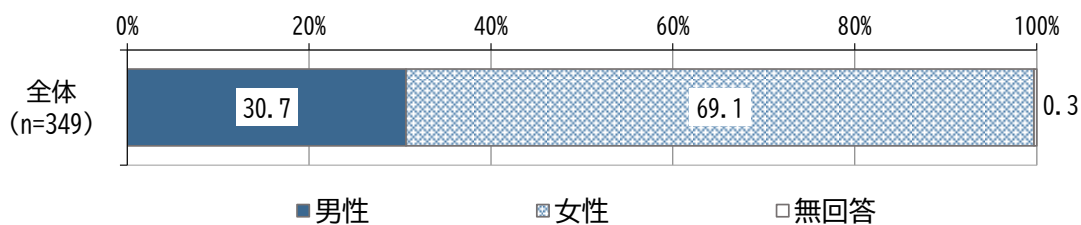
図表 4-1-21 年齢



② 性別

性別については、「男性」が30.7%、「女性」が69.1%となっています。

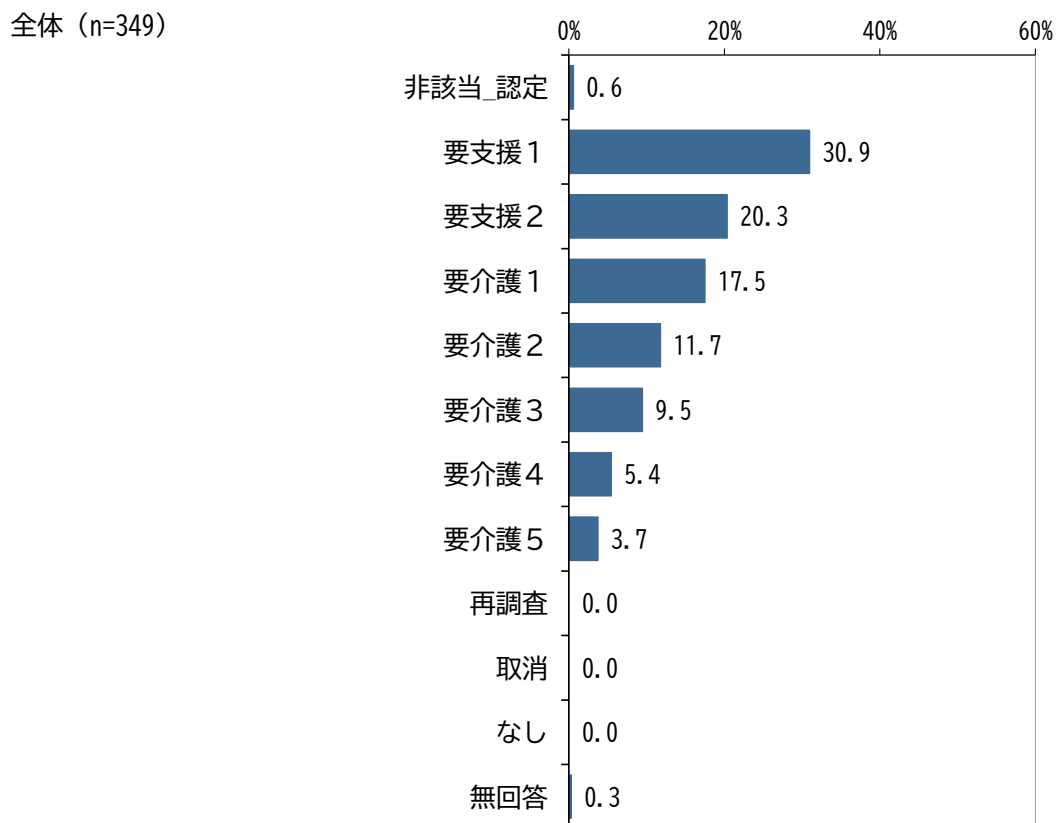
図表 4-1-22 性別



③ 二次判定結果（要介護度）

二次判定結果（要介護度）については、「要支援1」が30.9%で最も高く、次いで「要支援2」が20.3%、「要介護1」が17.5%と続いています。

図表 4-1-23 二次判定結果



④ サービス利用の組み合わせ

この章では、介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着眼した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計しています。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれます。

それぞれ、用語の定義は以下の通りです。

図表 4-1-24 サービス利用の分析に用いた用語の定義

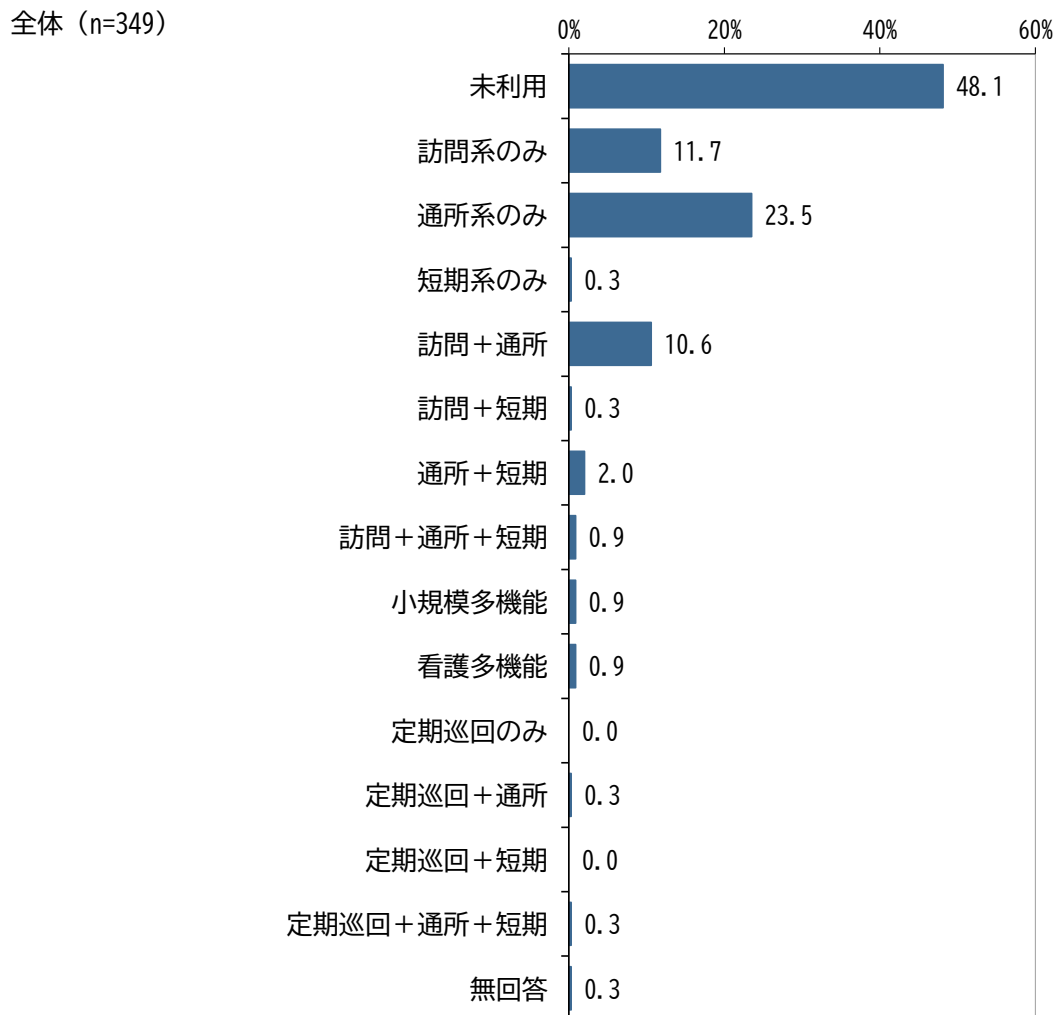
用語		定義
未利用		・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		・（介護予防）訪問介護、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		・（介護予防）通所介護、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

図表 4-1-25 サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義

用語	定義
未利用	・上表に同じ
訪問系のみ	・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ	・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」＋「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」＋「短期系」の利用を集計しています。

サービス利用の組み合わせについては、「未利用」が48.1%で最も高く、次いで「通所系のみ」が23.5%、「訪問系のみ」が11.7%と続いています。

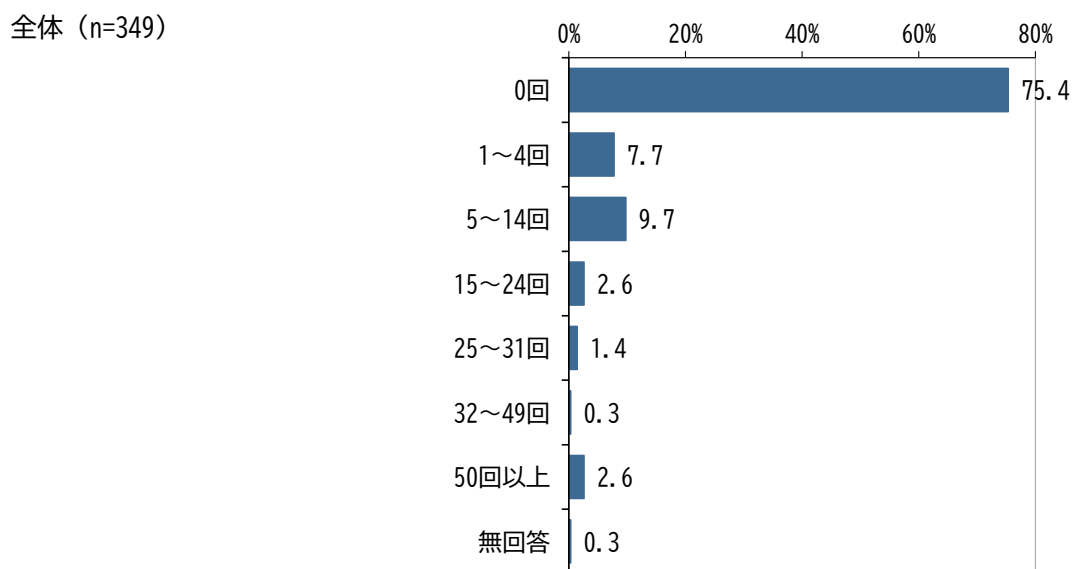
図表 4-1-26 サービス利用の組み合わせ



⑤ 訪問系サービスの合計利用回数

訪問系サービスの合計利用回数については、「0回」が75.4%で最も高く、次いで「5～14回」が9.7%、「1～4回」が7.7%と続いています。

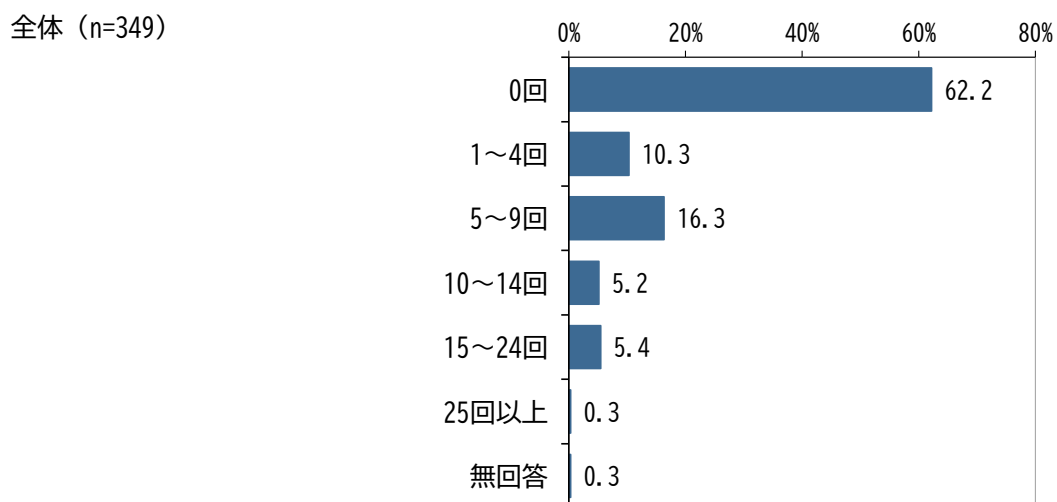
図表 4-1-27 サービスの利用回数（訪問系）



⑥ 通所系サービスの合計利用回数

通所系サービスの合計利用回数については、「0回」が62.2%で最も高く、次いで「5～9回」が16.3%、「1～4回」が10.3%と続いています。

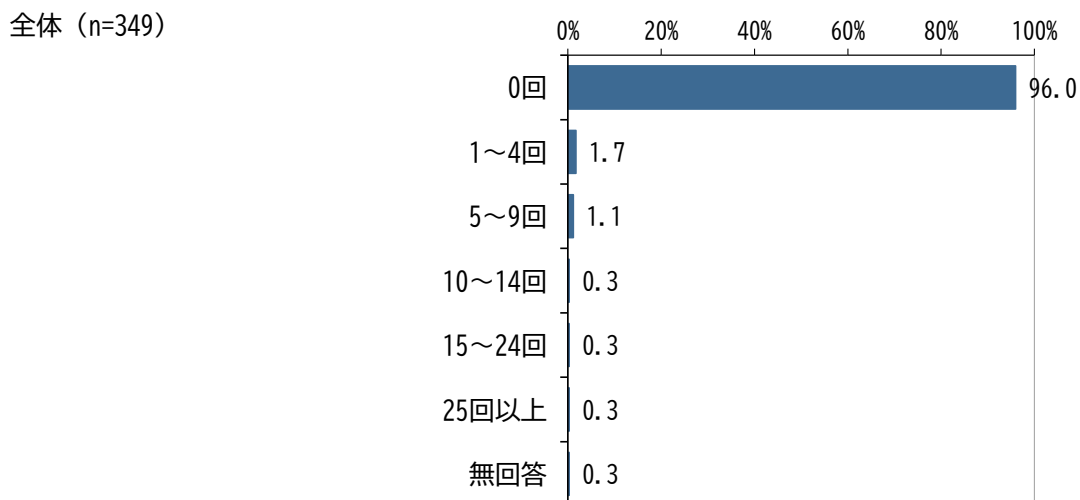
図表 4-1-28 サービスの利用回数（通所系）



⑦ 短期系サービスの合計利用回数

短期系サービスの合計利用回数については、「0回」が96.0%で最も高く、次いで「1～4回」が1.7%、「5～9回」が1.1%と続いています。

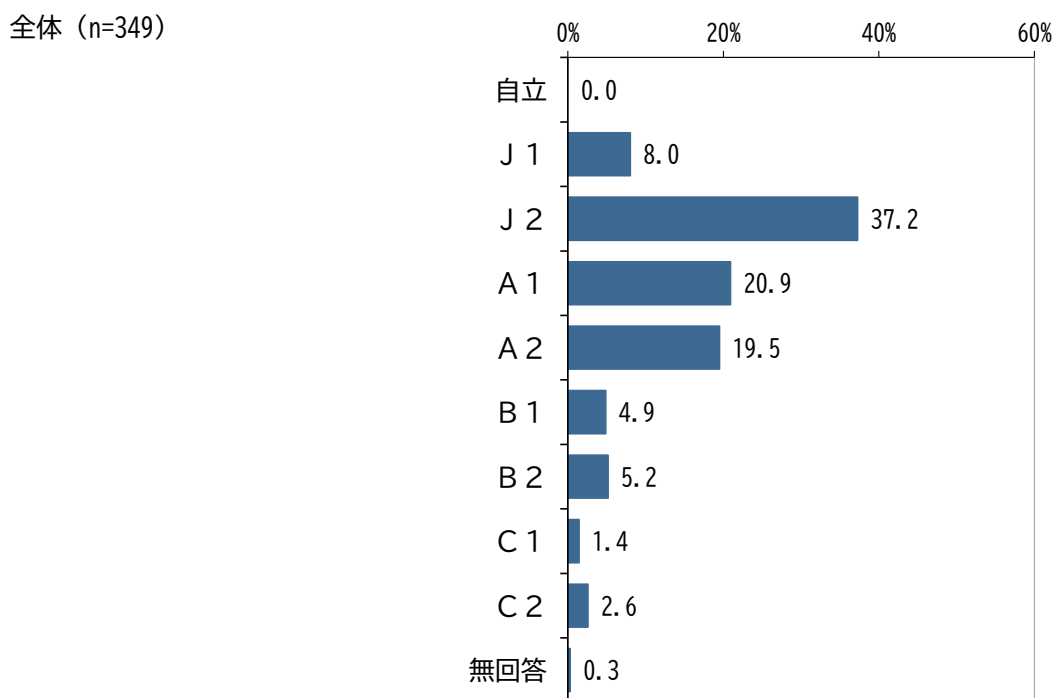
図表 4-1-29 サービスの利用回数（短期系）



⑧ 障がい高齢者の日常生活自立度

障がい高齢者の日常生活自立度については、「J 2」が37.2%で最も高く、次いで「A 1」が20.9%、「A 2」が19.5%と続いています。

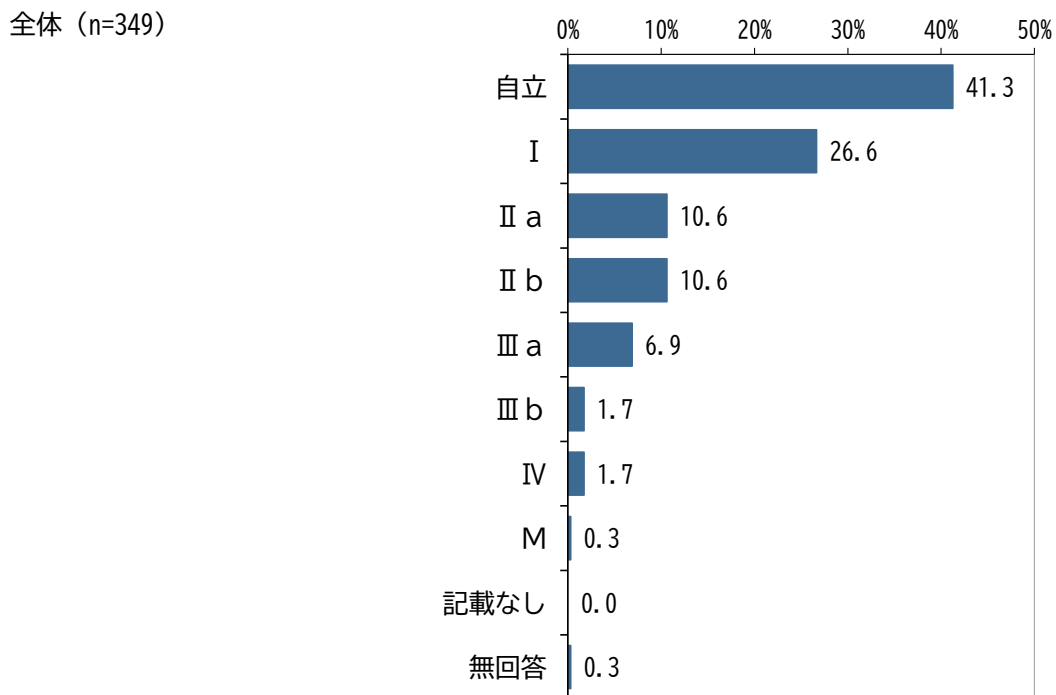
図表 4-1-30 障がい高齢者の日常生活自立度



⑨ 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度については、「自立」が41.3%で最も高く、次いで「I」が26.6%、「II a」が10.6%と続いています。

図表 4-1-31 認知症高齢者の日常生活自立度



※ 以下、認知症高齢者の日常生活自立度については、「認知症自立度」といいます。

2 クロス集計結果

ここでは、厚生労働省から配布された「在宅介護実態調査の自動集計分析ソフト」を使用し、調査結果と認定データを紐づけた上で分析を行っています。

(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

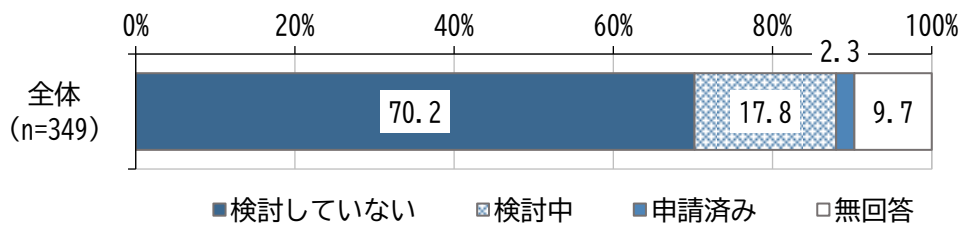
ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「在宅生活の継続」と「介護者不安の軽減」の2つの視点からの集計を行っています。

① 基礎集計

i) 施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く70.2%となっています。次いで、「検討中(17.8%)」、「申請済み(2.3%)」となっています。

図表 4-2-1 施設等検討の状況

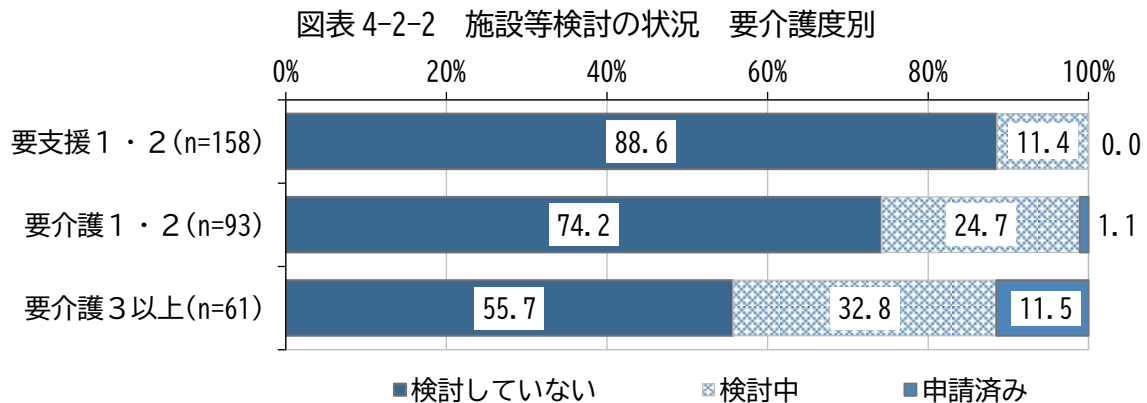


ii) 要介護度別でみる施設等検討の状況

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「検討していない」が88.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が11.4%となっています。

要介護1・2では「検討していない」が74.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が24.7%、「申請済み」が1.1%となっています。

要介護3以上では「検討していない」が55.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が32.8%、「申請済み」が11.5%となっています。

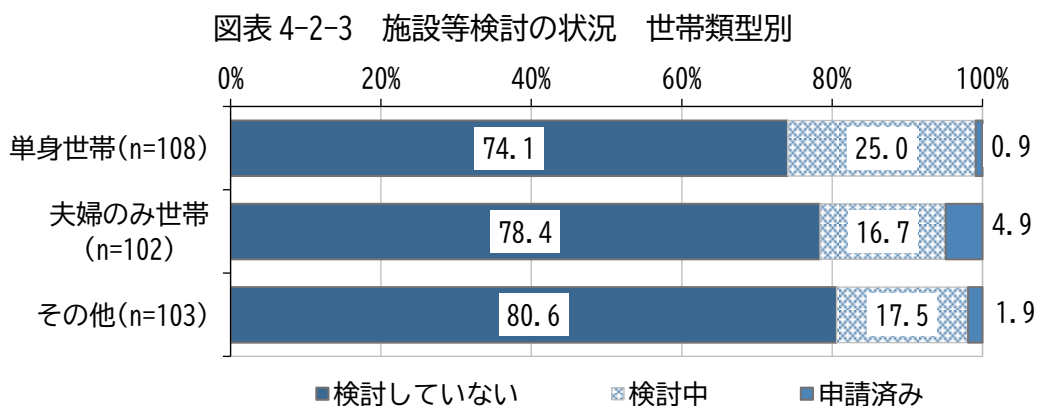


iii) 世帯類型別でみる施設等検討の状況

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、単身世帯では「検討していない」が74.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が25.0%、「申請済み」が0.9%となっています。

夫婦のみ世帯では「検討していない」が78.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が16.7%、「申請済み」が4.9%となっています。

その他世帯では「検討していない」が80.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が17.5%、「申請済み」が1.9%となっています。



② 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

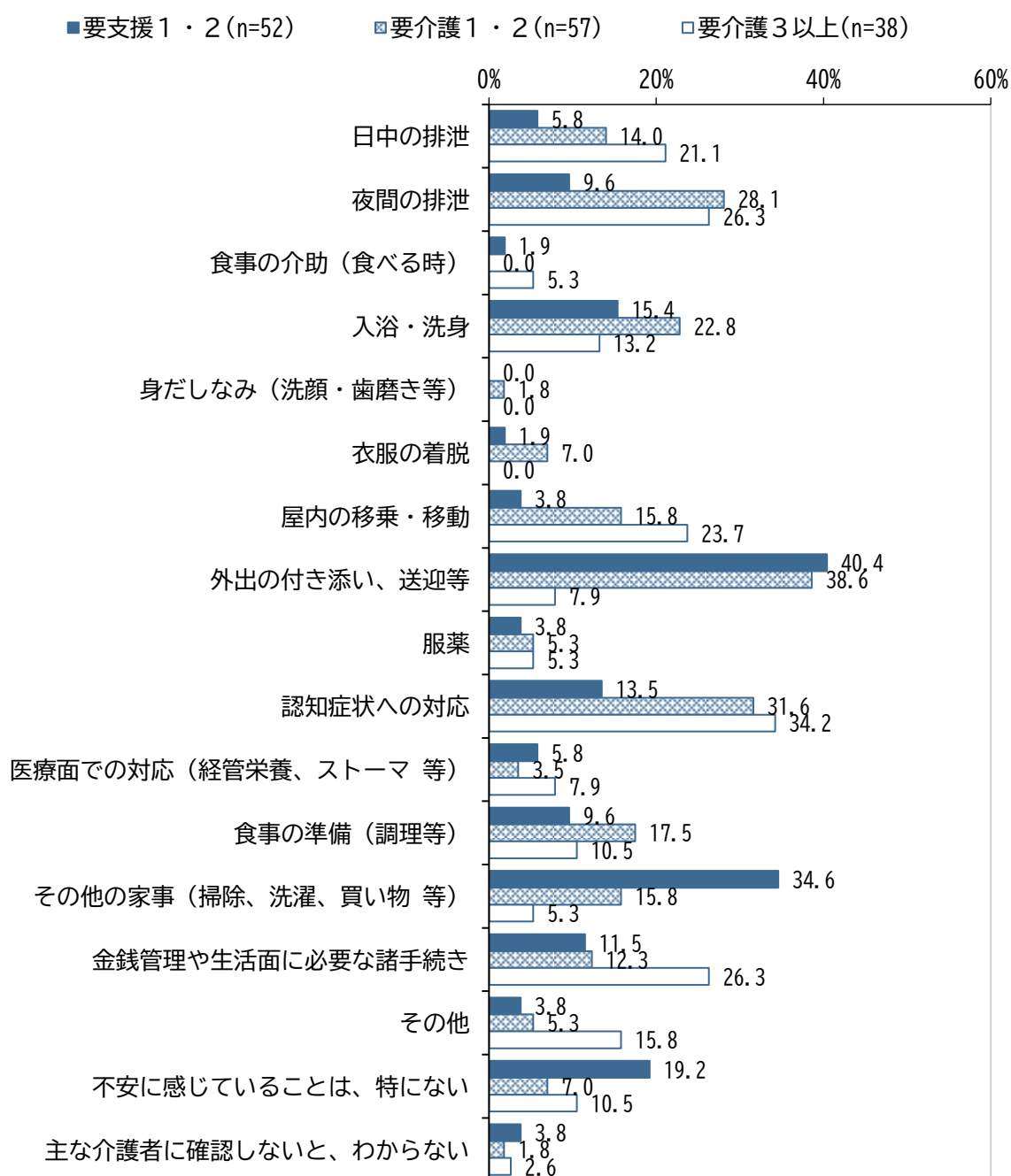
i) 要介護度別でみる介護者が不安に感じる介護

介護者が不安に感じる介護を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「外出の付き添い、送迎等」が40.4%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が34.6%、「不安に感じていることは、特にない」が19.2%となっています。

要介護1・2では「外出の付き添い、送迎等」が38.6%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が31.6%、「夜間の排泄」が28.1%となっています。

要介護3以上では「認知症状への対応」が34.2%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がいずれも26.3%となっています。

図表 4-2-4 介護者が不安に感じる介護 要介護度別



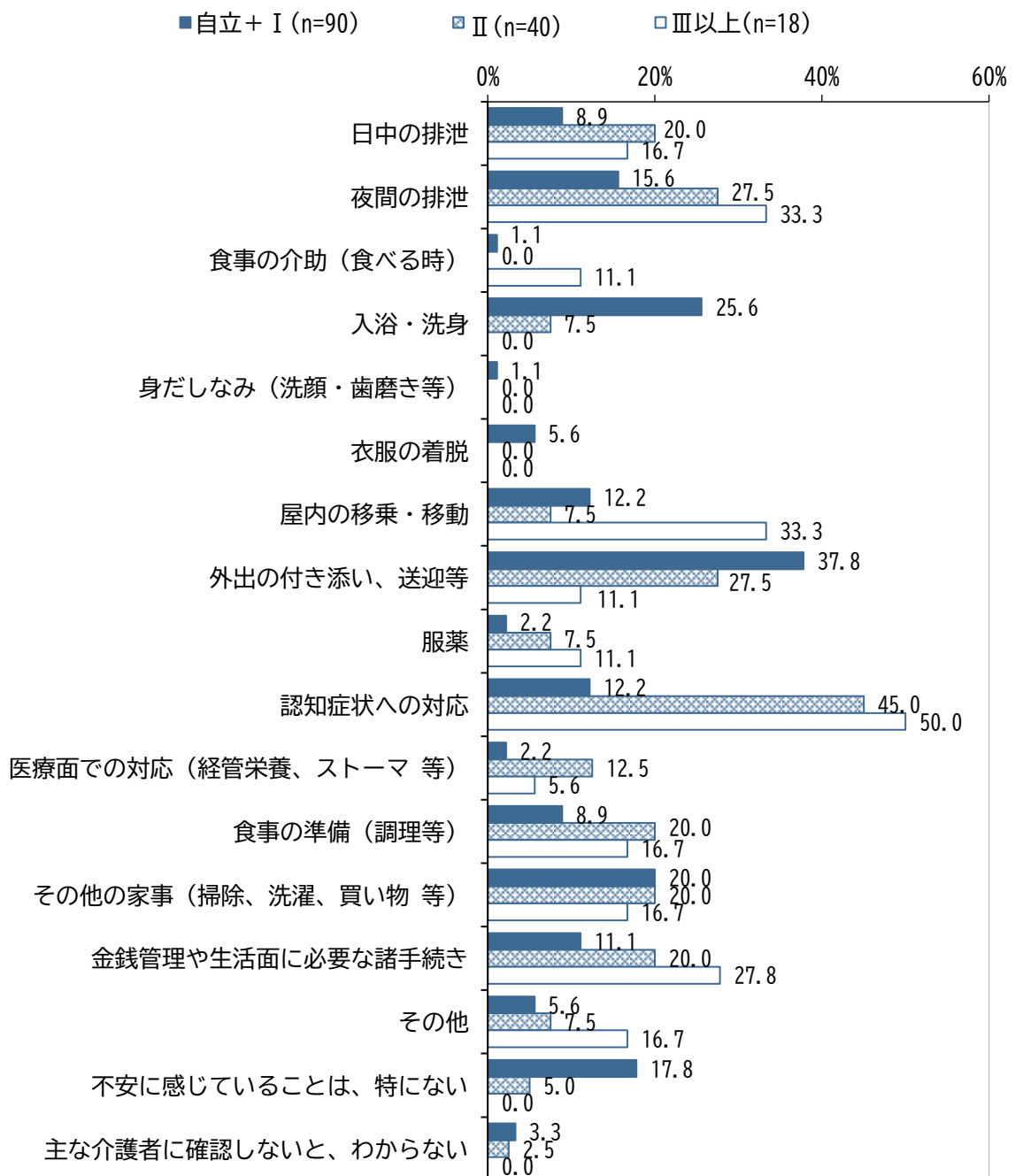
ii) 認知症自立度別でみる介護者が不安を感じる介護

介護者が不安を感じる介護を認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+ I では「外出の付き添い、送迎等」が37.8%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が25.6%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が20.0%となっています。

認知症自立度Ⅱでは「認知症状への対応」が45.0%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」がいずれも27.5%となっています。

認知症自立度Ⅲ以上では「認知症状への対応」が50.0%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」がいずれも33.3%となっています。

図表 4-2-5 介護者が不安を感じる介護 認知症自立度別



③ 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

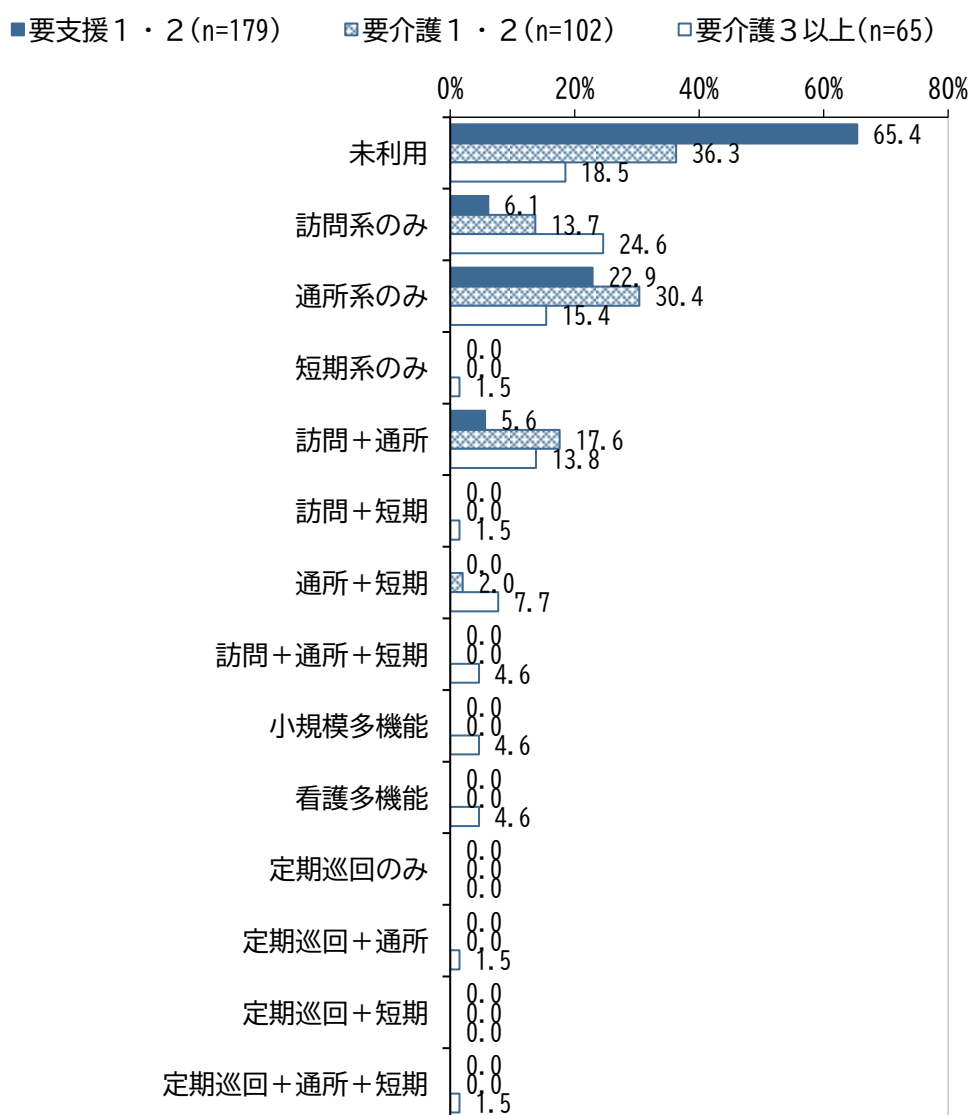
i) 要介護度別でみるサービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、要支援1・2では「未利用」が65.4%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が22.9%、「訪問系のみ」が6.1%となっています。

要介護1・2では「未利用」が36.3%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が30.4%、「訪問+通所」が17.6%となっています。

要介護3以上では「訪問系のみ」が24.6%と最も割合が高く、次いで「未利用」が18.5%、「通所系のみ」が15.4%となっています。

図表 4-2-6 サービス利用の組み合わせ 要介護度別



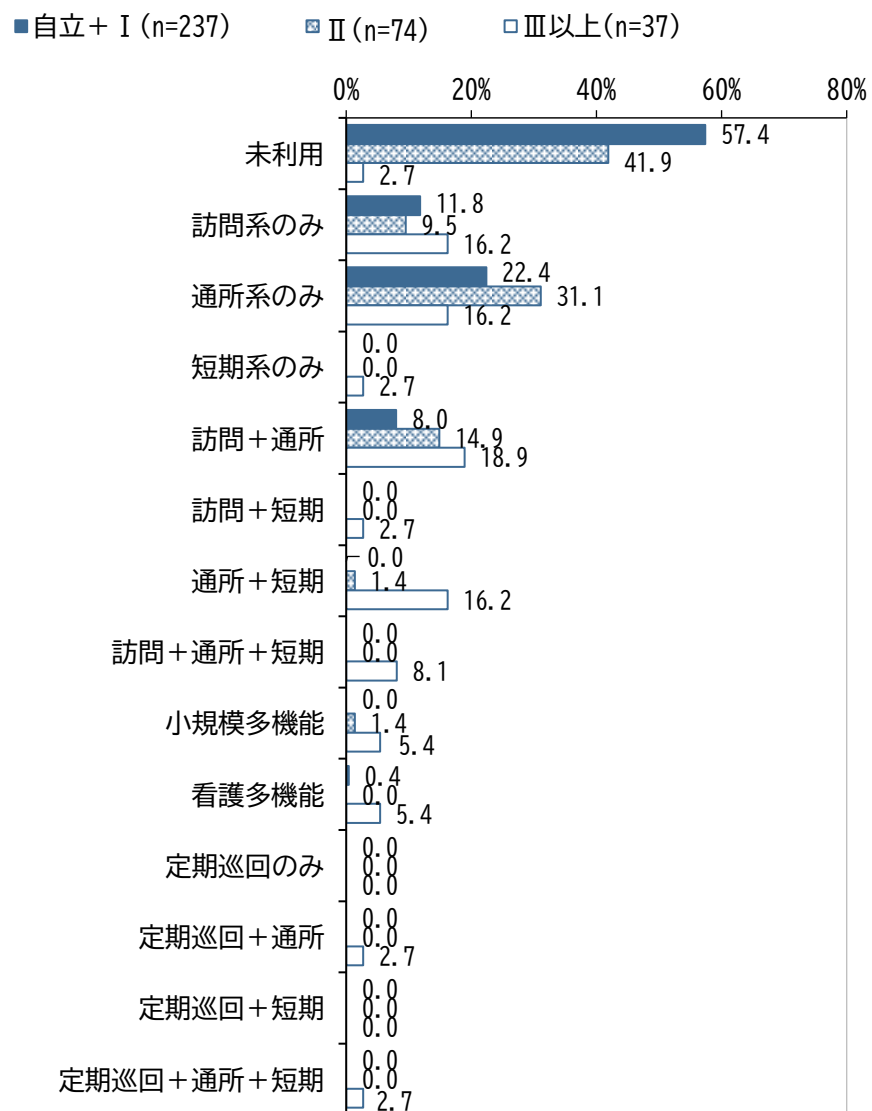
ii) 認知症自立度別でみるサービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+ I では「未利用」が57.4%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が22.4%、「訪問系のみ」が11.8%となっています。

認知症自立度Ⅱでは「未利用」が41.9%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が31.1%、「訪問+通所」が14.9%となっています。

認知症自立度Ⅲ以上では「訪問+通所」が18.9%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「通所系のみ」、「通所+短期」がいずれも16.2%となっています。

図表 4-2-7 サービス利用の組み合わせ 認知症自立度別



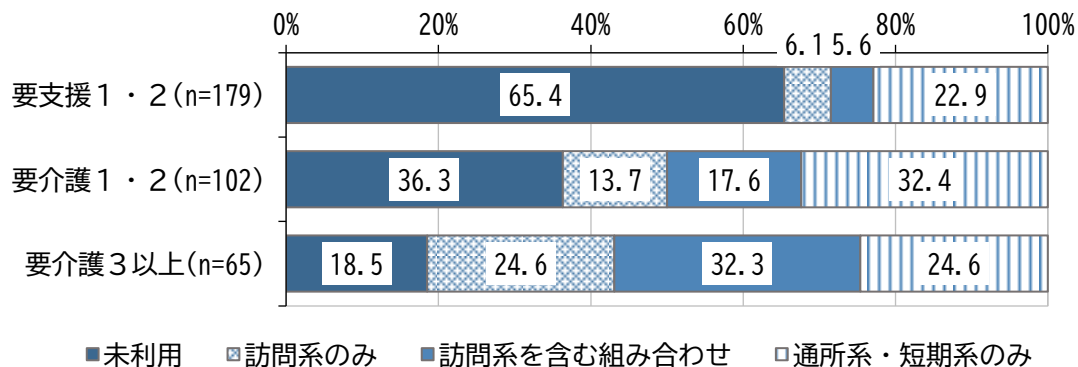
iii) 要介護度別でみるサービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、要支援1・2では「未利用」が65.4%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が22.9%、「訪問系のみ」が6.1%となっています。

要介護1・2では「未利用」が36.3%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が32.4%、「訪問系を含む組み合わせ」が17.6%となっています。

要介護3以上では「訪問系を含む組み合わせ」が32.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」がいずれも24.6%となっています。

図表 4-2-8 サービス利用の組み合わせ 要介護度別



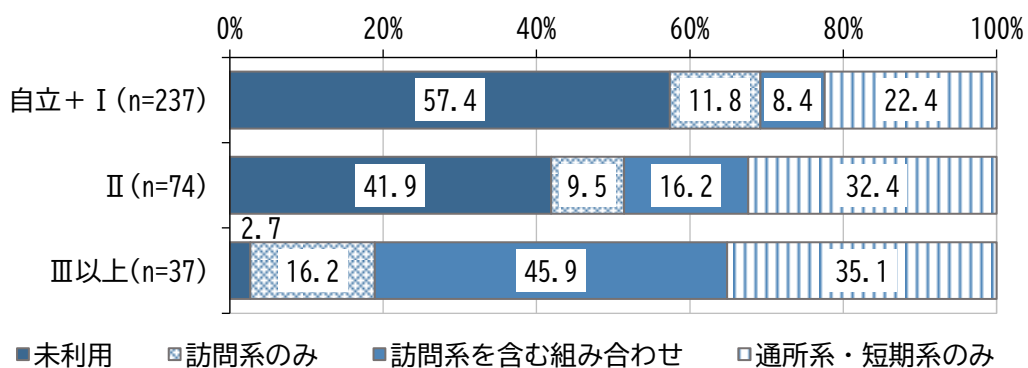
iv) 認知症自立度別でみるサービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+Ⅰでは「未利用」が57.4%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が22.4%、「訪問系のみ」が11.8%となっています。

認知症自立度Ⅱでは「未利用」が41.9%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が32.4%、「訪問系を含む組み合わせ」が16.2%となっています。

認知症自立度Ⅲ以上では「訪問系を含む組み合わせ」が45.9%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が35.1%、「訪問系のみ」が16.2%となっています。

図表 4-2-9 サービス利用の組み合わせ 認知症自立度別



④ 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

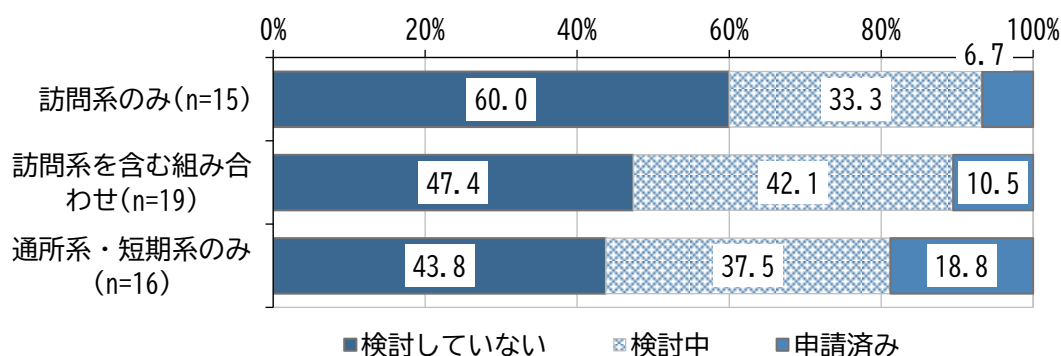
i) サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が60.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が6.7%となっています。

「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が47.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が42.1%、「申請済み」が10.5%となっています。

「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が43.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が37.5%、「申請済み」が18.8%となっています。

図表 4-2-10 施設等検討の状況（要介護3以上） サービス利用の組み合わせ別



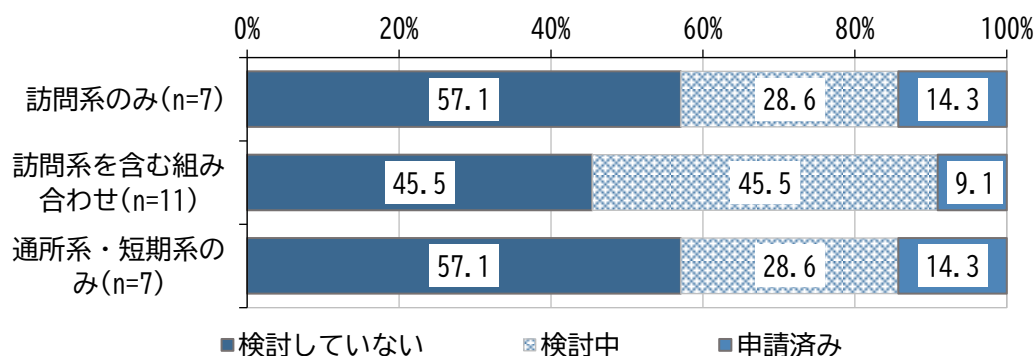
ii) サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が57.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が28.6%、「申請済み」が14.3%となっています。

「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」、「検討中」がいずれも45.5%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が9.1%となっています。

「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が57.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が28.6%、「申請済み」が14.3%となっています。

図表 4-2-11 施設等検討の状況（要介護4以上） サービス利用の組み合わせ別



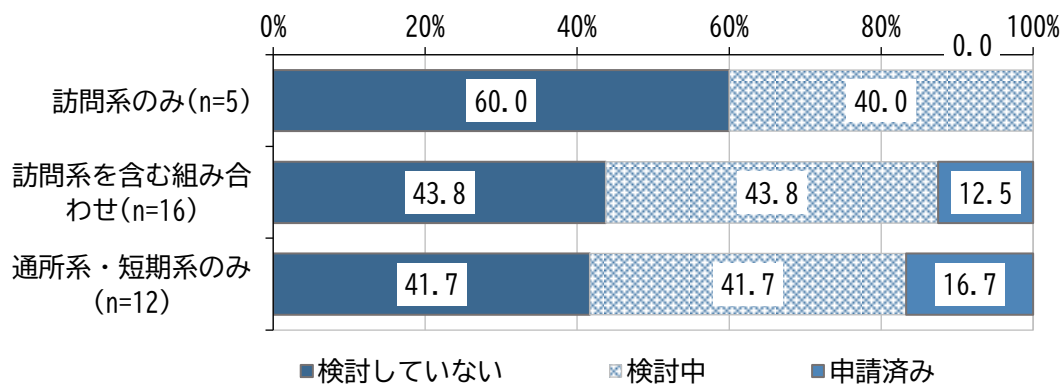
iii) サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上）

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が60.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が40.0%となっています。

「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」、「検討中」がいずれも43.8%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が12.5%となっています。

「通所系・短期系のみ」では「検討していない」、「検討中」がいずれも41.7%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が16.7%となっています。

図表 4-2-12 施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上） サービス利用の組み合わせ別



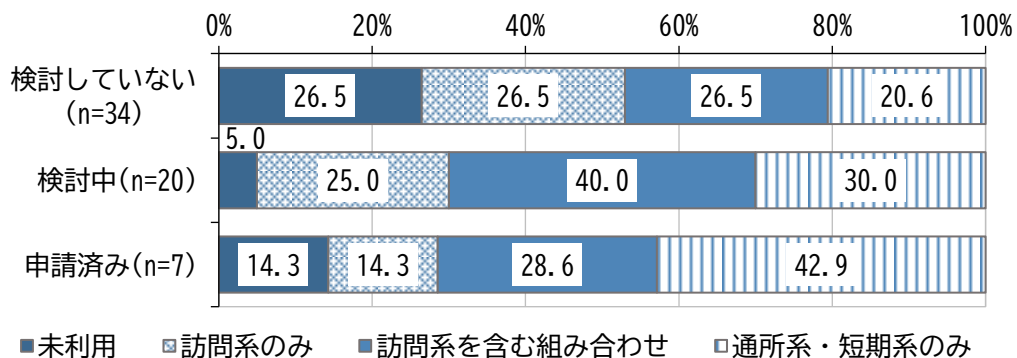
iv) サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「未利用」、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」がいずれも26.5%と最も割合が高くなっています。

「検討中」では「訪問系を含む組み合わせ」が40.0%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が30.0%、「訪問系のみ」が25.0%となっています。

「申請済み」では「通所系・短期系のみ」が42.9%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が28.6%、「未利用」、「訪問系のみ」がいずれも14.3%となっています。

図表 4-2-13 サービス利用の組み合わせ（要介護3以上） 施設等検討の状況別



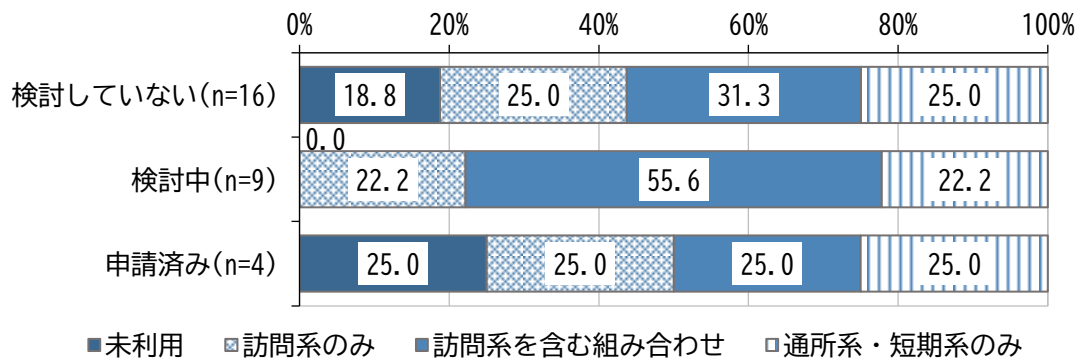
v) サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「訪問系を含む組み合わせ」が31.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」がいずれも25.0%となっています。

「検討中」では「訪問系を含む組み合わせ」が55.6%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」がいずれも22.2%となっています。

「申請済み」では「未利用」、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」、「通所系・短期系のみ」がいずれも25.0%となっています。

図表 4-2-14 サービス利用の組み合わせ（要介護4以上） 施設等検討の状況別



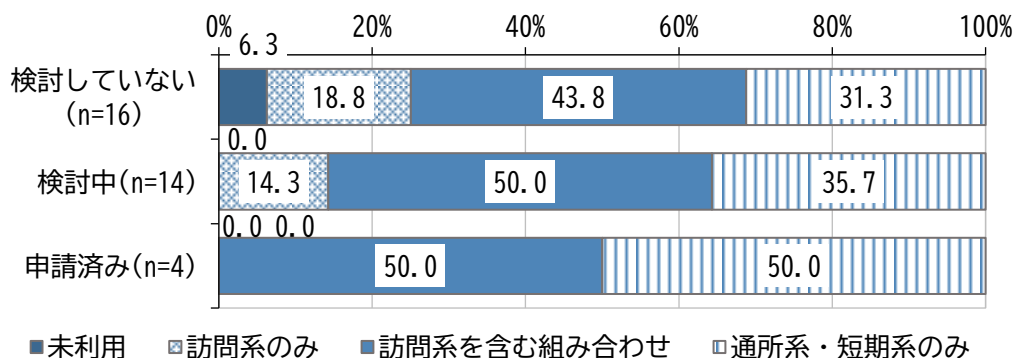
vi) サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上）

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「訪問系を含む組み合わせ」が43.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が31.3%、「訪問系のみ」が18.8%となっています。

「検討中」では「訪問系を含む組み合わせ」が50.0%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が35.7%、「訪問系のみ」が14.3%となっています。

「申請済み」では「訪問系を含む組み合わせ」、「通所系・短期系のみ」がいずれも50.0%となっています。

図表 4-2-15 サービス利用の組み合わせ（認知症自立度Ⅲ以上） 施設等検討の状況別



⑤ 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係

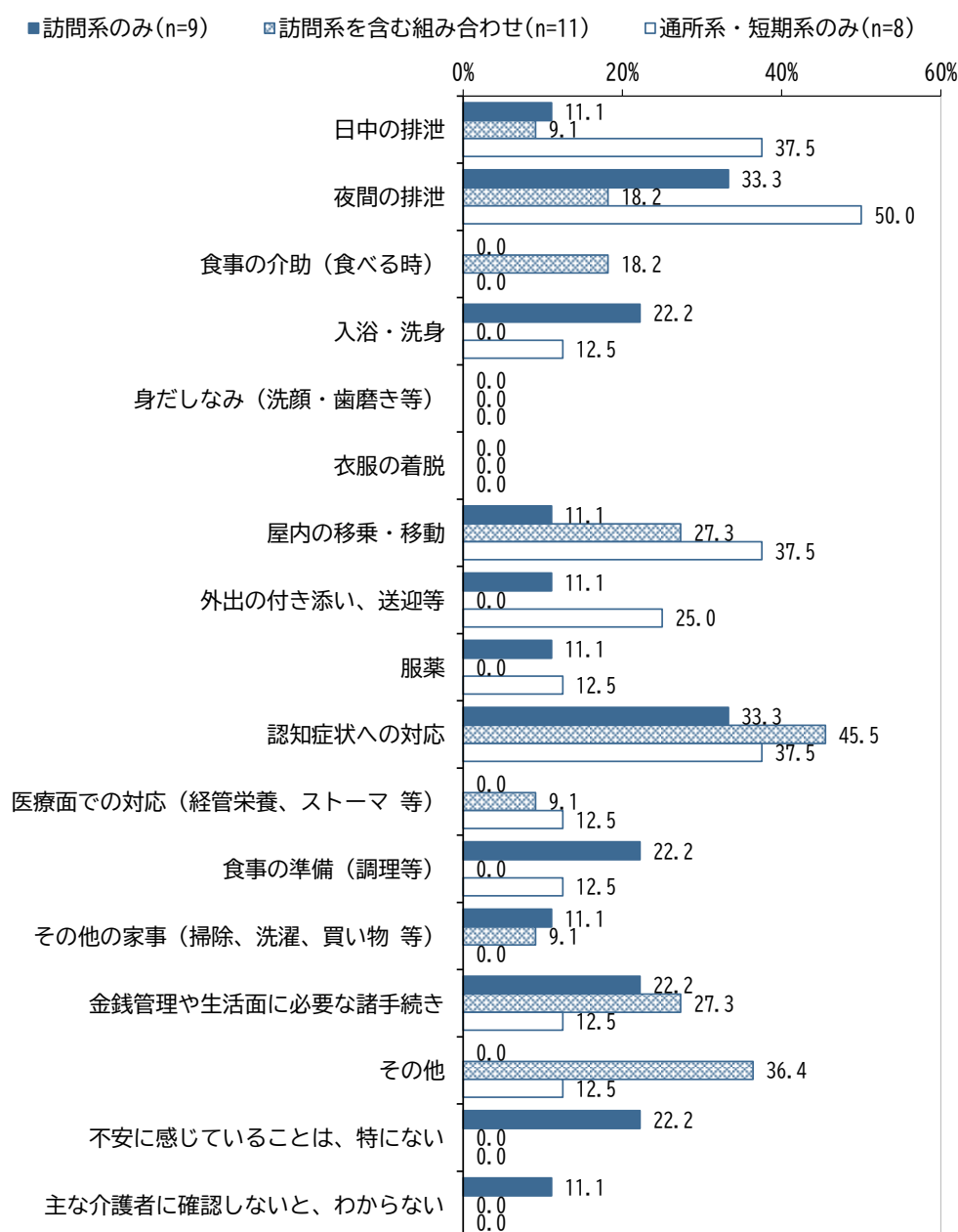
i) サービス利用の組み合わせ別でみる介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」がいずれも33.3%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「不安を感じていることは、特にない」がいずれも22.2%となっています。

「訪問系を含む組み合わせ」では「認知症状への対応」が45.5%と最も割合が高く、次いで「その他」が36.4%、「屋内の移乗・移動」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がいずれも27.3%となっています。

「通所系・短期系のみ」では「夜間の排泄」が50.0%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」がいずれも37.5%となっています。

図表 4-2-16 介護者が不安を感じる介護（要介護3以上） サービス利用の組み合わせ別



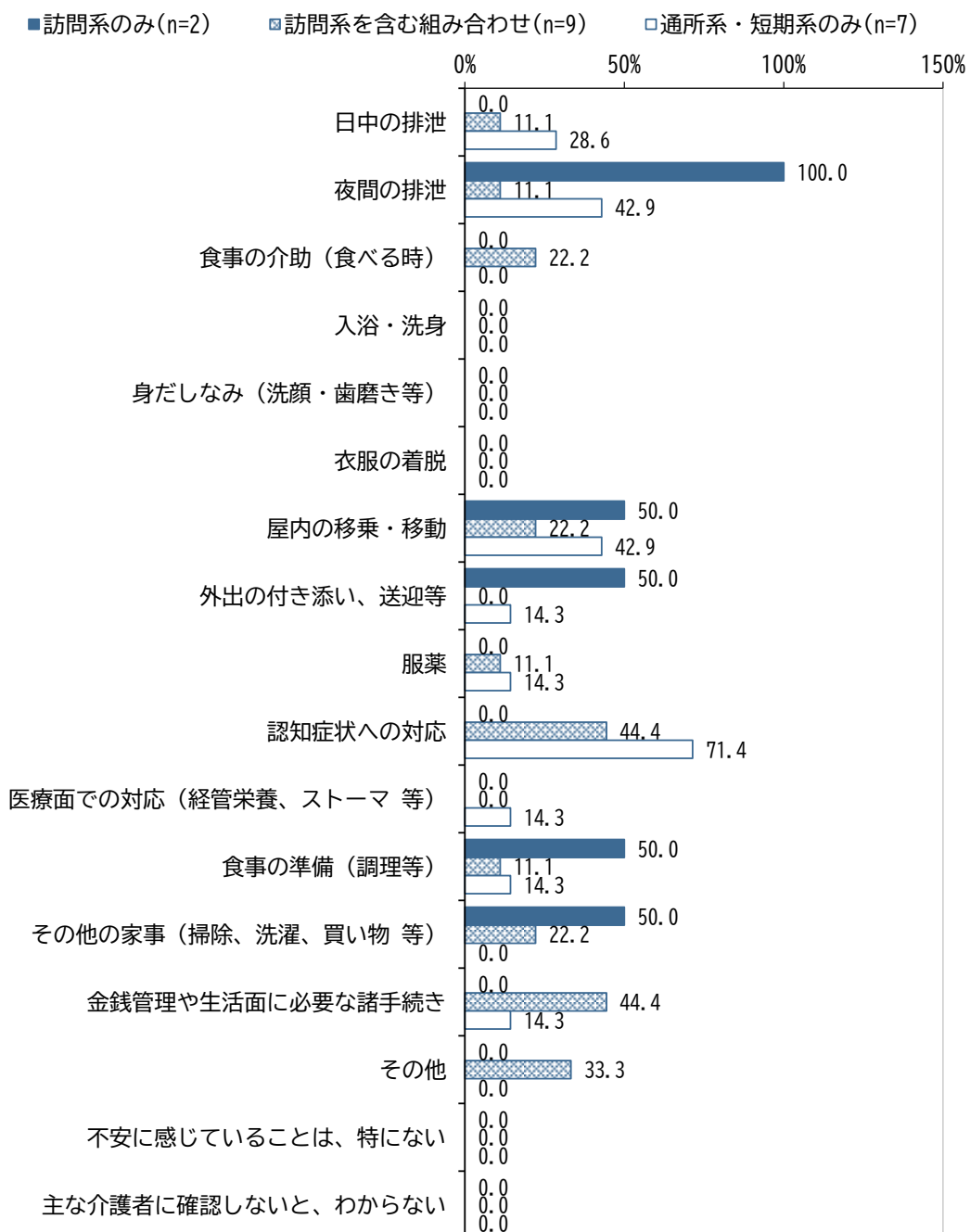
ii) サービス利用の組み合わせ別でみる介護者が不安を感じる介護（認知症自立度Ⅲ以上）

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「夜間の排泄」が100.0%と最も割合が高く、次いで「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」がいずれも50.0%となっています。

「訪問系を含む組み合わせ」では「認知症状への対応」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がいずれも44.4%と最も割合が高く、次いで「その他」が33.3%となっています。

「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が71.4%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」がいずれも42.9%となっています。

図表 4-2-17 介護者が不安を感じる介護（認知症自立度Ⅲ以上） サービス利用の組み合わせ別



⑥ 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

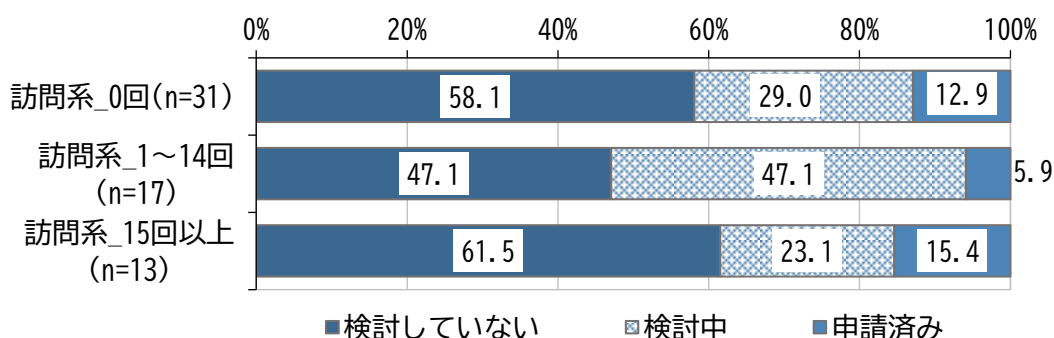
i) サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「検討していない」が58.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が29.0%、「申請済み」が12.9%となっています。

「訪問系_1～14回」では「検討していない」、「検討中」がいずれも47.1%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が5.9%となっています。

「訪問系_15回以上」では「検討していない」が61.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が23.1%、「申請済み」が15.4%となっています。

図表 4-2-18 施設等検討の状況（要介護3以上） 訪問系サービス利用回数別



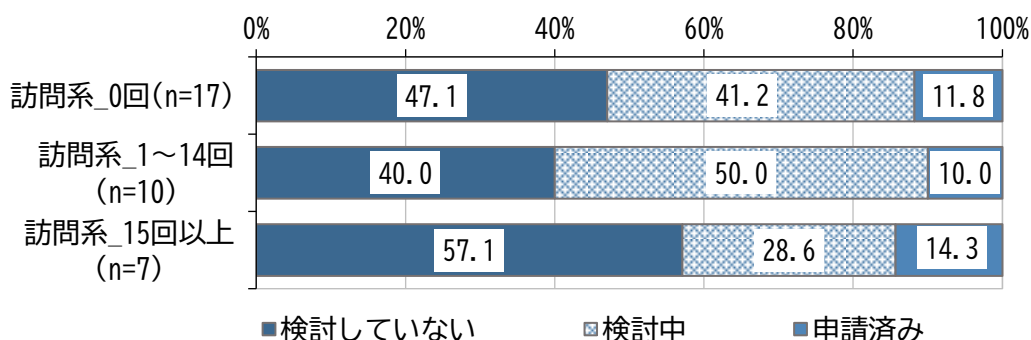
ii) サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症自立度Ⅲ以上）

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「検討していない」が47.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が41.2%、「申請済み」が11.8%となっています。

「訪問系_1～14回」では「検討中」が50.0%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が40.0%、「申請済み」が10.0%となっています。

「訪問系_15回以上」では「検討していない」が57.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が28.6%、「申請済み」が14.3%となっています。

図表 4-2-19 施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上） 訪問系サービス利用回数別



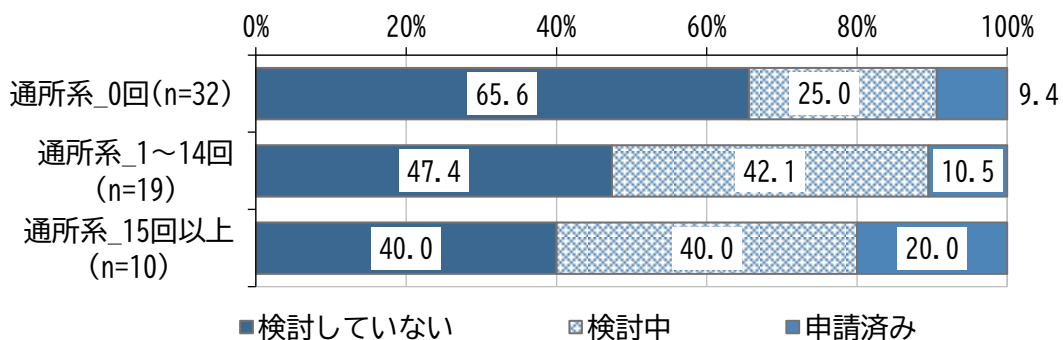
iii) サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「検討していない」が65.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が25.0%、「申請済み」が9.4%となっています。

「通所系_1～14回」では「検討していない」が47.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が42.1%、「申請済み」が10.5%となっています。

「通所系_15回以上」では「検討していない」、「検討中」がいずれも40.0%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が20.0%となっています。

図表 4-2-20 施設等検討の状況（要介護3以上） 通所系サービス利用回数別



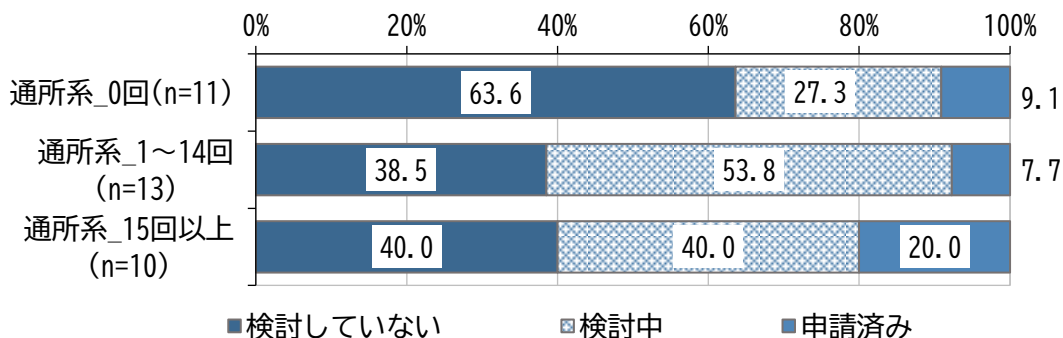
iv) サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症自立度Ⅲ以上）

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「検討していない」が63.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が27.3%、「申請済み」が9.1%となっています。

「通所系_1～14回」では「検討中」が53.8%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が38.5%、「申請済み」が7.7%となっています。

「通所系_15回以上」では「検討していない」、「検討中」がいずれも40.0%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が20.0%となっています。

図表 4-2-21 施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上） 通所系サービス利用回数別



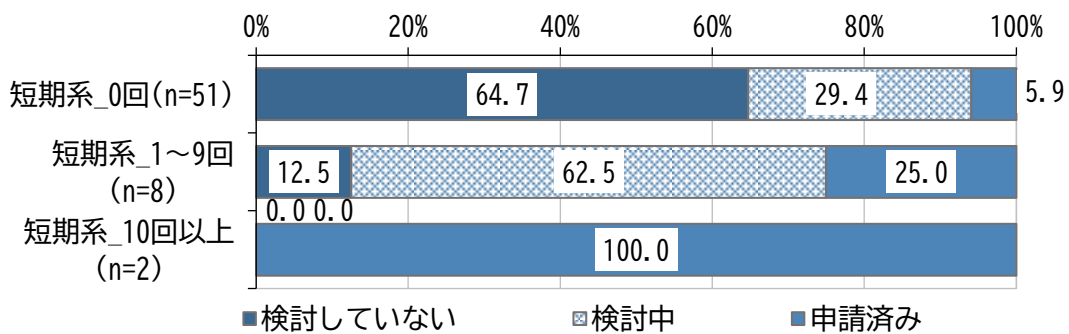
v) サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「検討していない」が64.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が29.4%、「申請済み」が5.9%となっています。

「短期系_1～9回」では「検討中」が62.5%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が25.0%、「検討していない」が12.5%となっています。

「短期系_10回以上」では「申請済み」が100.0%となっています。

図表 4-2-22 施設等検討の状況（要介護3以上） 短期系サービス利用回数別



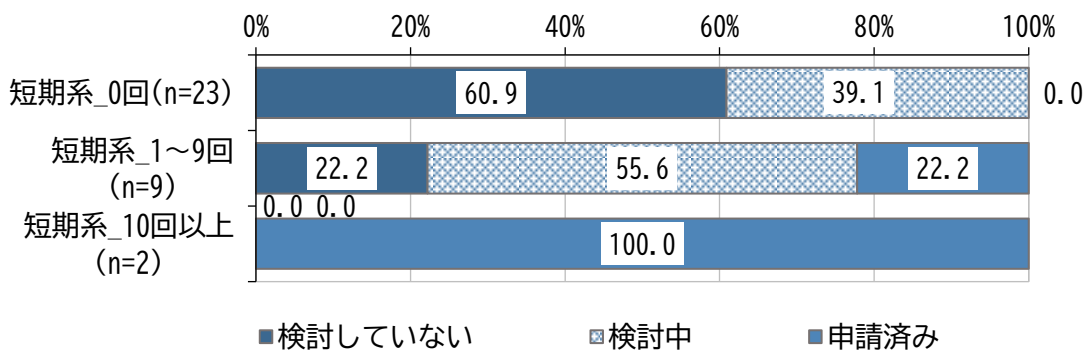
vi) サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症自立度Ⅲ以上）

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「検討していない」が60.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が39.1%となっています。

「短期系_1～9回」では「検討中」が55.6%と最も割合が高く、次いで「検討していない」、「申請済み」がいずれも22.2%となっています。

「短期系_10回以上」では「申請済み」が100.0%となっています。

図表 4-2-23 施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上） 短期系サービス利用回数別



⑦ 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係

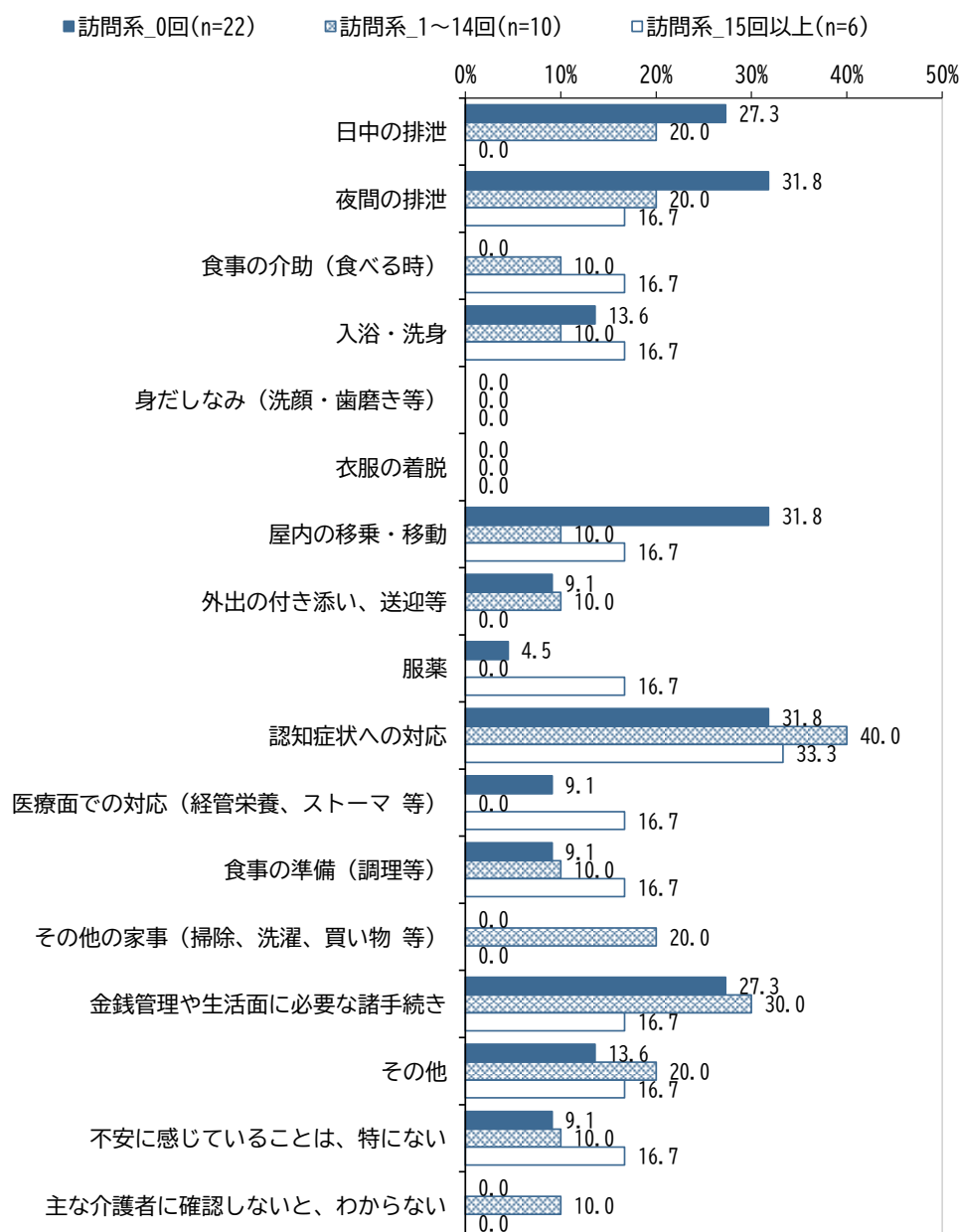
i) サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」がいずれも31.8%と最も割合が高くなっています。

「訪問系_1～14回」では「認知症状への対応」が40.0%と最も割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が30.0%、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「その他」がいずれも20.0%となっています。

「訪問系_15回以上」では「認知症状への対応」が33.3%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「屋内の移乗・移動」、「服薬」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」がいずれも16.7%、となっています。

図表 4-2-24 介護者が不安を感じる介護（要介護3以上） 訪問系サービス利用回数別



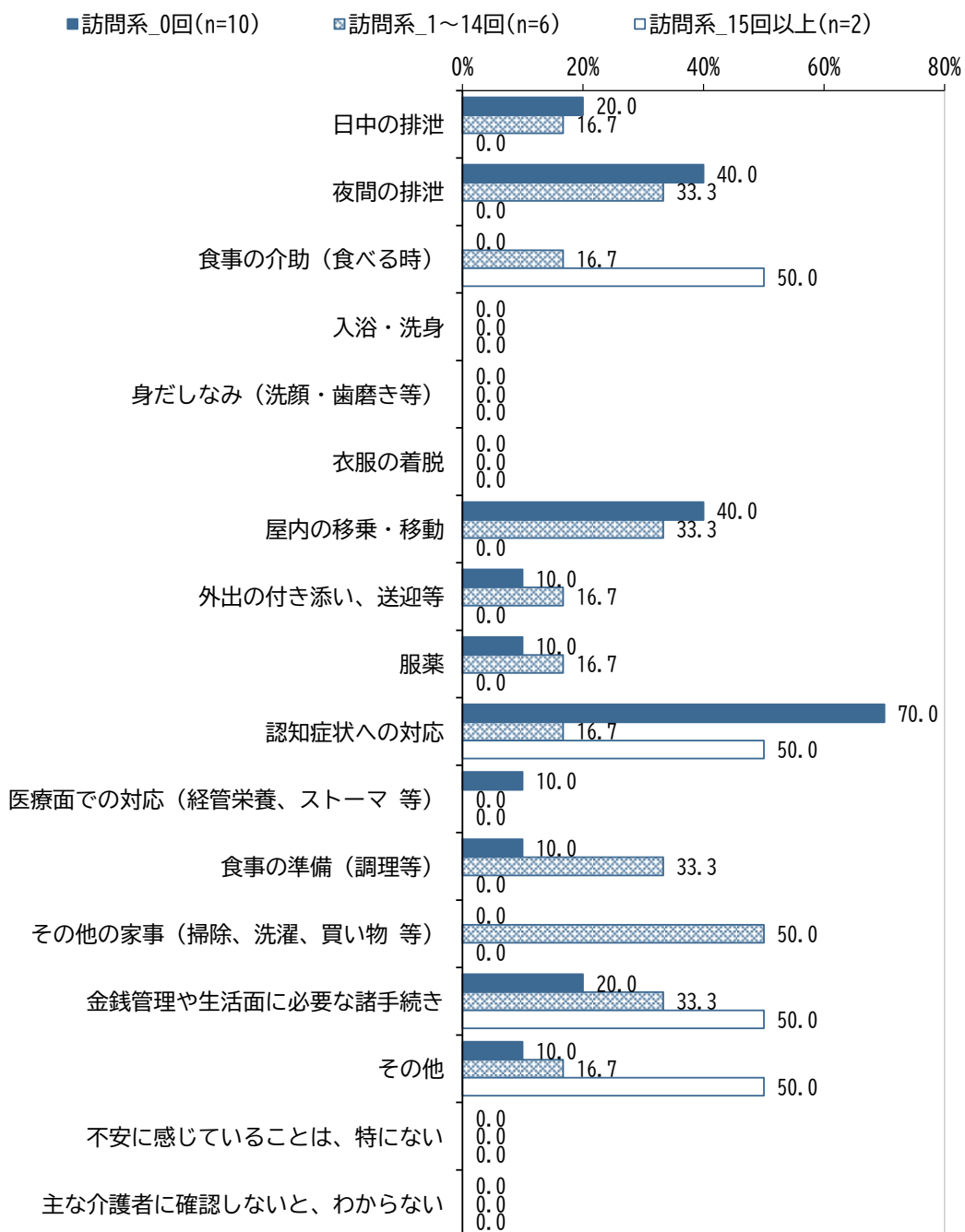
ii) サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症自立度Ⅲ以上）

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「認知症状への対応」が70.0%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」がいずれも40.0%となっています。

「訪問系_1～14回」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が50.0%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がいずれも33.3%となっています。

「訪問系_15回以上」では「食事の介助（食べる時）」、「認知症状への対応」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」がいずれも50.0%と最も割合が高くなっています。

図表 4-2-25 介護者が不安を感じる介護（認知症自立度Ⅲ以上） 訪問系サービス利用回数別



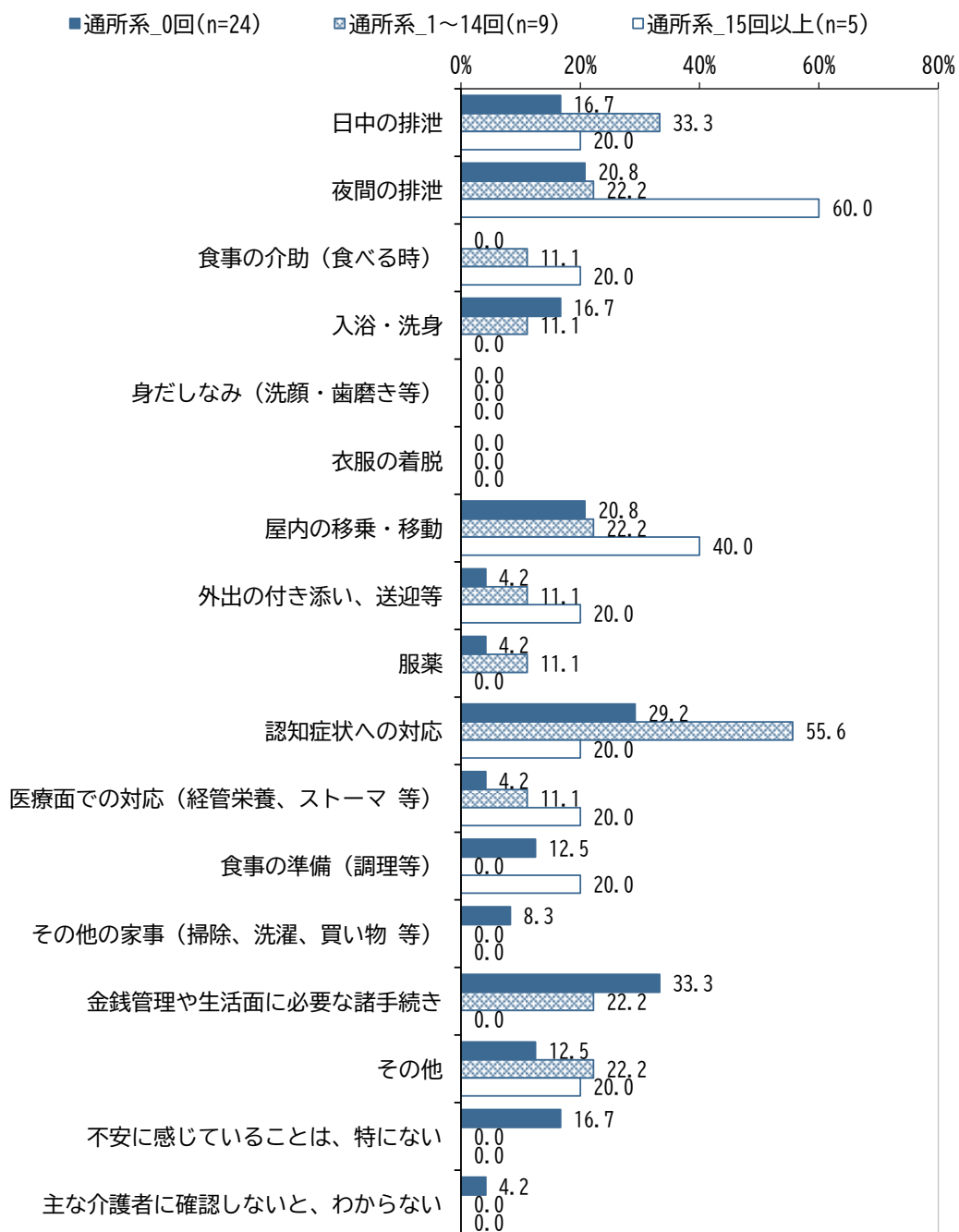
iii) サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が33.3%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が29.2%、「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」がいずれも20.8%となっています。

「通所系_1～14回」では「認知症状への対応」が55.6%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が33.3%、「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」がいずれも22.2%となっています。

「通所系_15回以上」では「夜間の排泄」が60.0%と最も割合が高く、次いで「屋内の移乗・移動」が40.0%となっています。

図表 4-2-26 介護者が不安を感じる介護（要介護3以上） 通所系サービス利用回数別



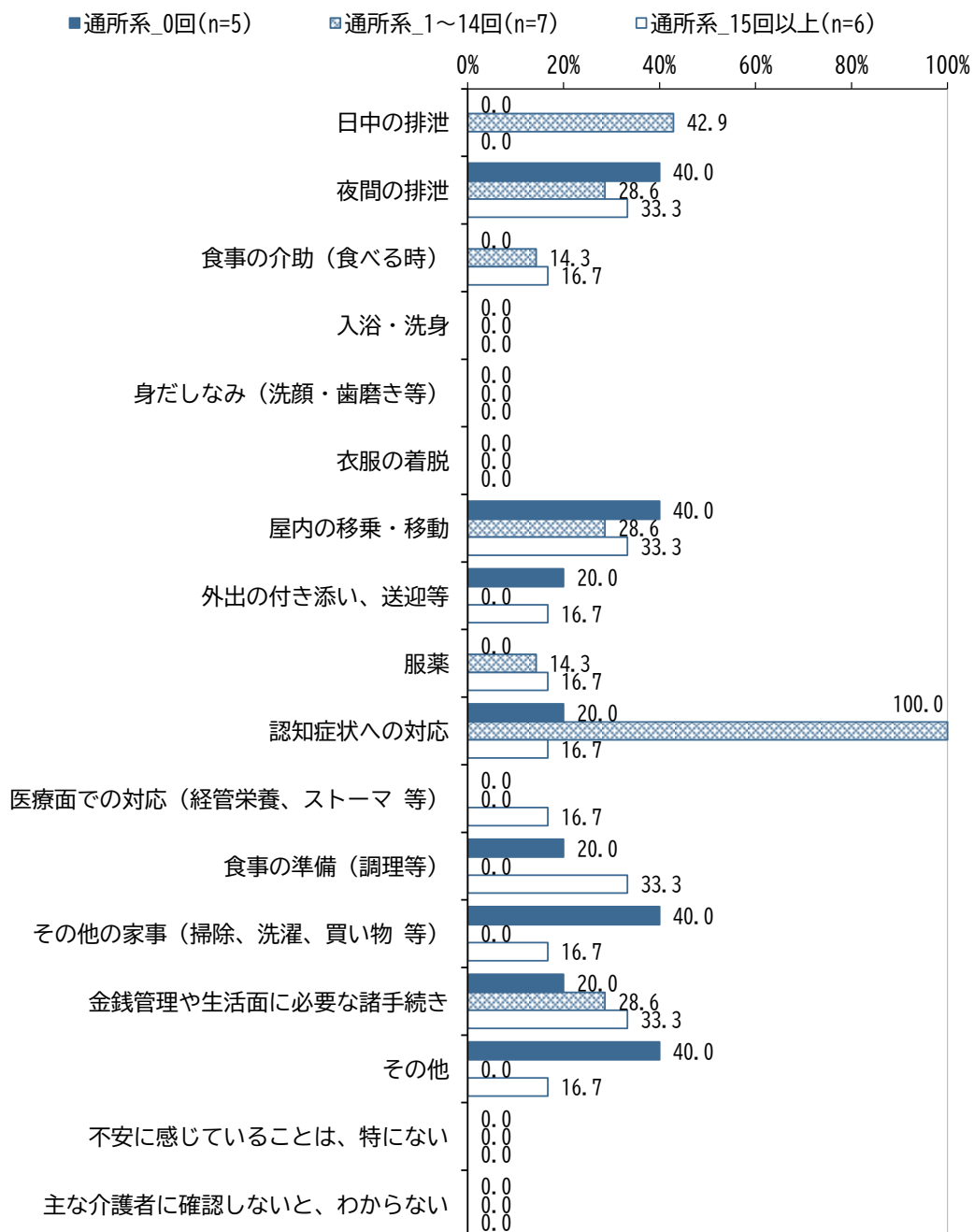
iv) サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症自立度Ⅲ以上）

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「その他」がいずれも40.0%と最も割合が高くなっています。

「通所系_1～14回」では「認知症状への対応」が100.0%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が42.9%、「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がいずれも28.6%となっています。

「通所系_15回以上」では「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がいずれも33.3%と最も割合が高くなっています。

図表 4-2-27 介護者が不安を感じる介護（認知症自立度Ⅲ以上） 通所系サービス利用回数別

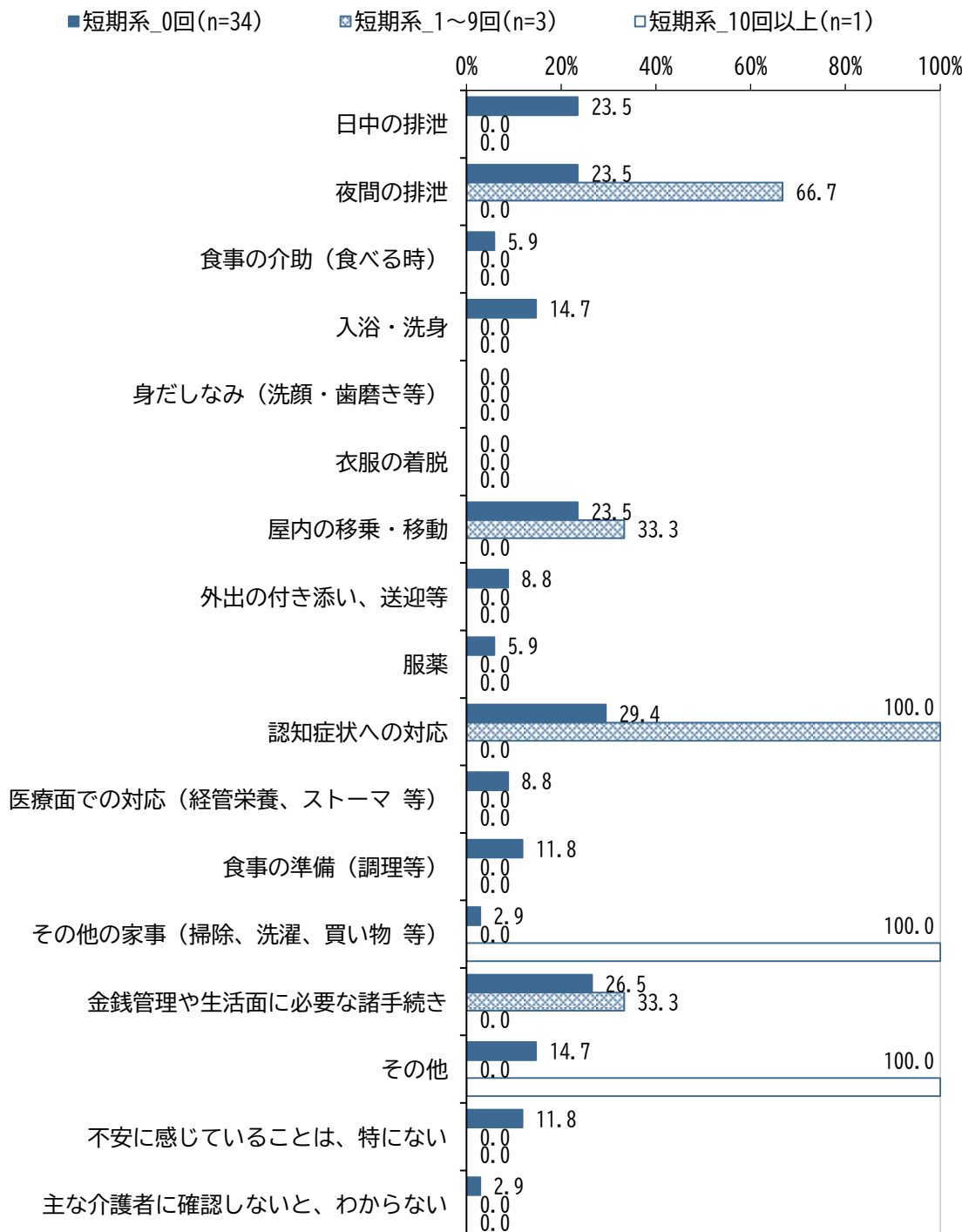


v) サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「認知症状への対応」が29.4%と最も割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が26.5%、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」がいずれも23.5%となっています。

「短期系_1～9回」では「認知症状への対応」が100.0%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が66.7%、「屋内の移乗・移動」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がいずれも33.3%となっています。

図表 4-2-28 介護者が不安を感じる介護（要介護3以上） 短期系サービス利用回数別

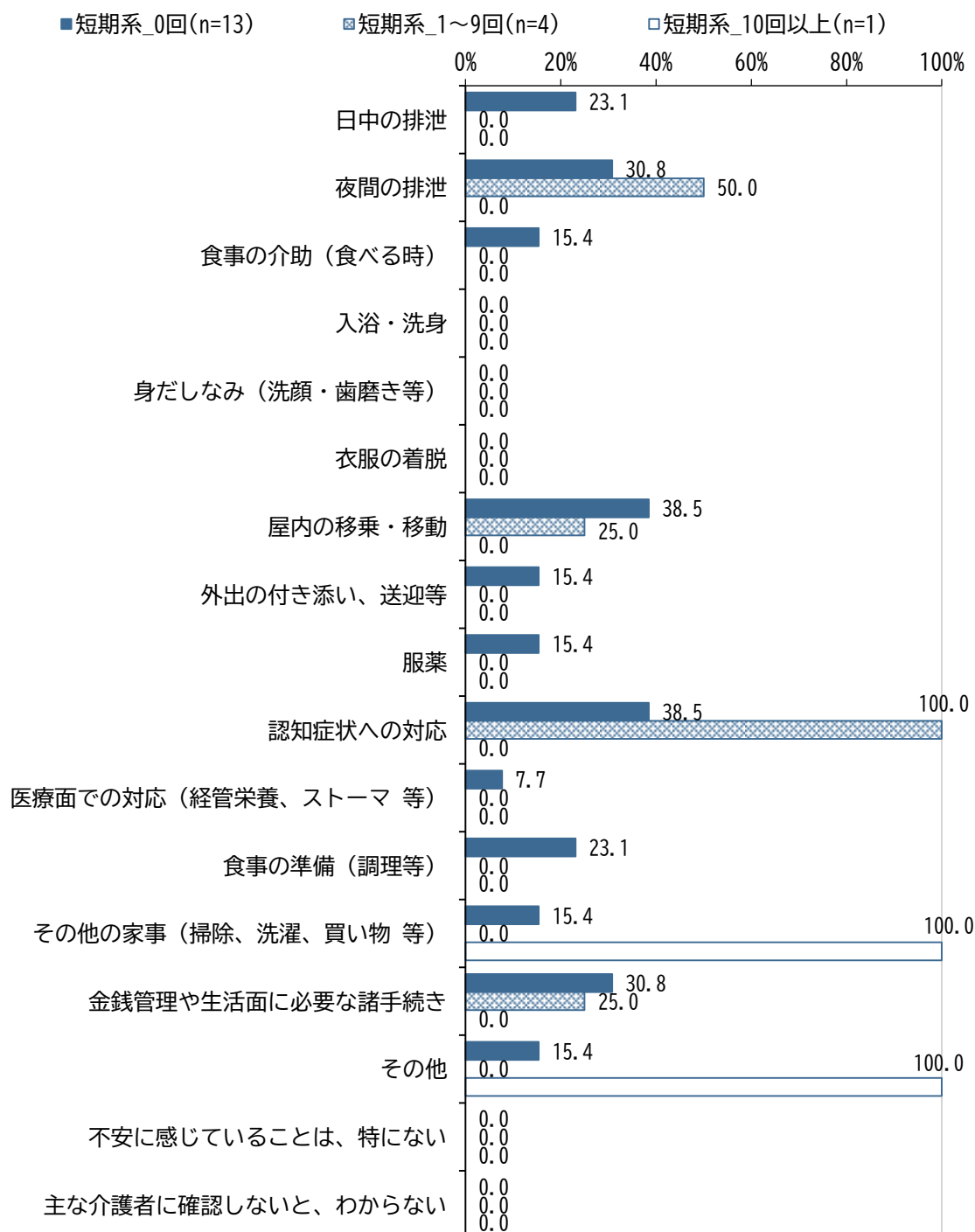


vi) サービス利用回数別でみる介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症自立度Ⅲ以上）

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」がいずれも38.5%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がいずれも30.8%となっています。

「短期系_1～9回」では「認知症状への対応」が100.0%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が50.0%、「屋内の移乗・移動」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がいずれも25.0%となっています。

図表 4-2-29 介護者が不安を感じる介護（認知症自立度Ⅲ以上） 短期系サービス利用回数別



(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

ここでは、介護者の就労継続見込みの向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「主な介護者の就労状況」と「主な介護者の就労継続見込み」の2つの視点からの集計を行います。

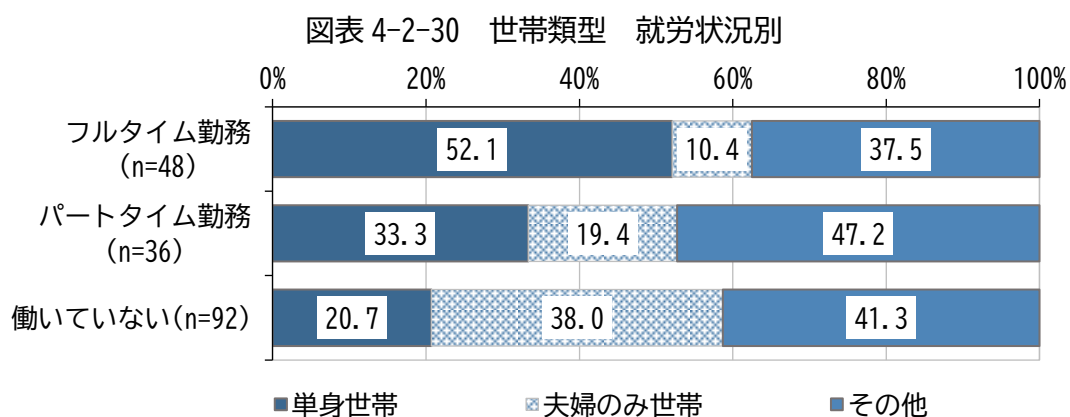
① 基礎集計

i) 就労状況別でみる世帯類型

世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務では「単身世帯」が52.1%と最も割合が高く、次いで「その他」が37.5%、「夫婦のみ世帯」が10.4%となっています。

パートタイム勤務では「その他」が47.2%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が33.3%、「夫婦のみ世帯」が19.4%となっています。

「働いていない」では「その他」が41.3%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が38.0%、「単身世帯」が20.7%となっています。



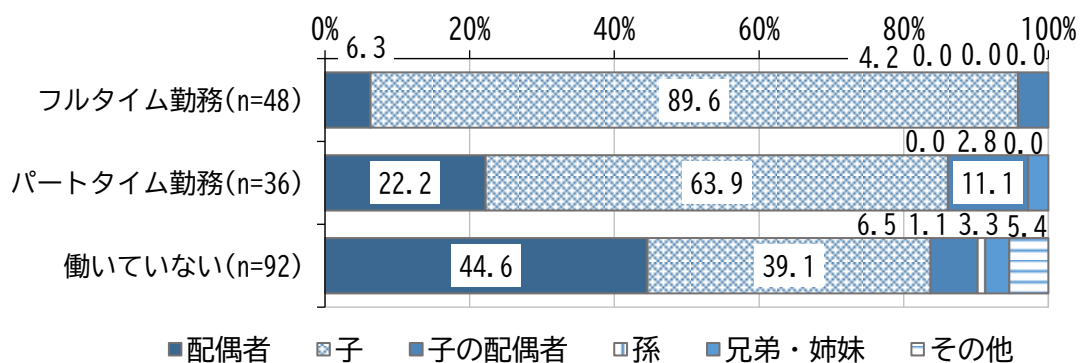
ii) 就労状況別でみる主な介護者の本人との関係

主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務では「子」が89.6%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が6.3%、「子の配偶者」が4.2%となっています。

パートタイム勤務では「子」が63.9%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が22.2%、「子の配偶者」が11.1%となっています。

「働いていない」では「配偶者」が44.6%と最も割合が高く、次いで「子」が39.1%、「子の配偶者」が6.5%となっています。

図表 4-2-31 主な介護者の本人との関係 就労状況別



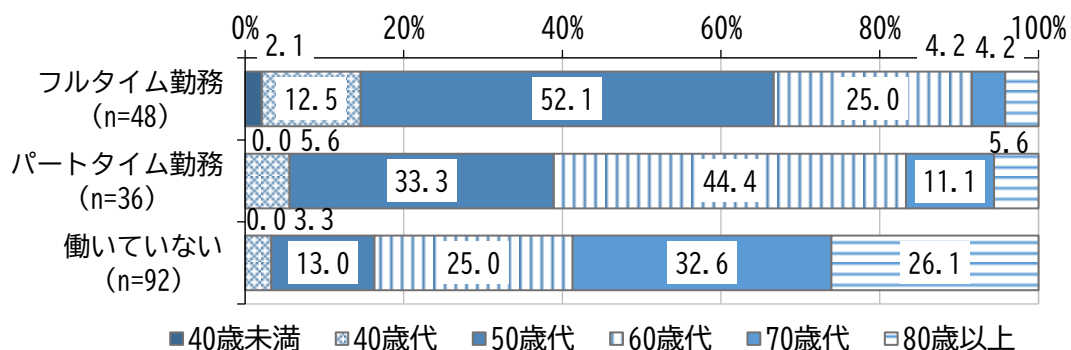
iii) 就労状況別でみる主な介護者の年齢

介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務では「50 歳代」が 52.1%と最も割合が高く、次いで「60 歳代」が 25.0%、「40 歳代」が 12.5%となっています。

パートタイム勤務では「60 歳代」が 44.4%と最も割合が高く、次いで「50 歳代」が 33.3%、「70 歳代」が 11.1%となっています。

「働いていない」では「70 歳代」が 32.6%と最も割合が高く、次いで「80 歳以上」が 26.1%、「60 歳代」が 25.0%となっています。

図表 4-2-32 主な介護者の年齢 就労状況別

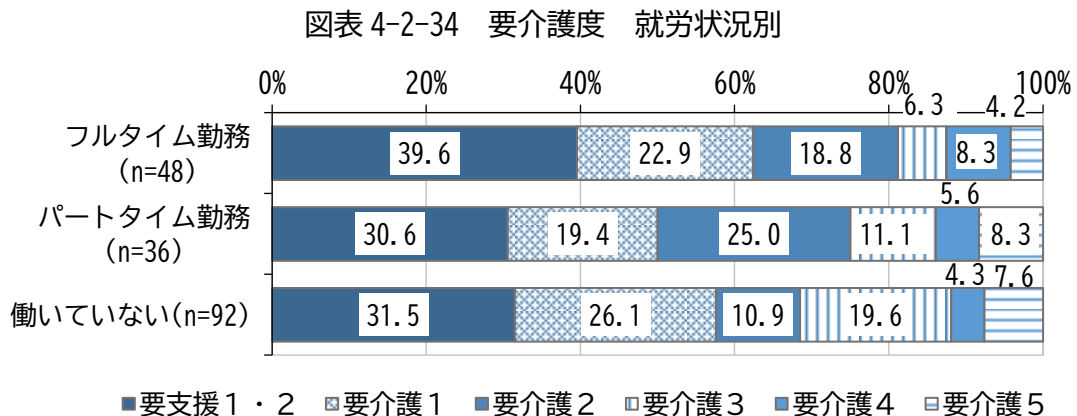


iv) 就労状況別でみる要介護度

二次判定結果を介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務では「要支援1・2」が39.6%と最も割合が高く、次いで「要介護1」が22.9%、「要介護2」が18.8%となっています。

パートタイム勤務では「要支援1・2」が30.6%と最も割合が高く、次いで「要介護2」が25.0%、「要介護1」が19.4%となっています。

働いていないでは「要支援1・2」が31.5%と最も割合が高く、次いで「要介護1」が26.1%、「要介護3」が19.6%となっています。

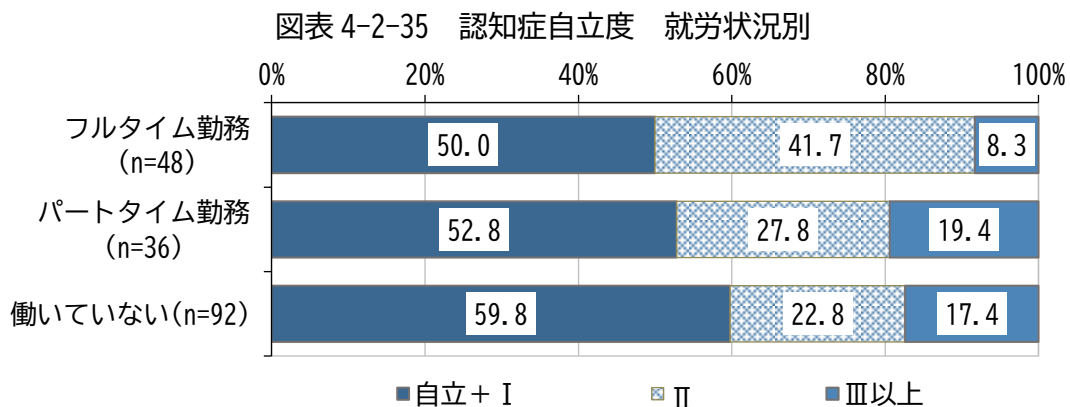


v) 就労状況別でみる認知症自立度

認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務では「自立+Ⅰ」が50.0%と最も割合が高く、次いで「Ⅱ」が41.7%、「Ⅲ以上」が8.3%となっています。

パートタイム勤務では「自立+Ⅰ」が52.8%と最も割合が高く、次いで「Ⅱ」が27.8%、「Ⅲ以上」が19.4%となっています。

「働いていない」では「自立+Ⅰ」が59.8%と最も割合が高く、次いで「Ⅱ」が22.8%、「Ⅲ以上」が17.4%となっています。



② 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

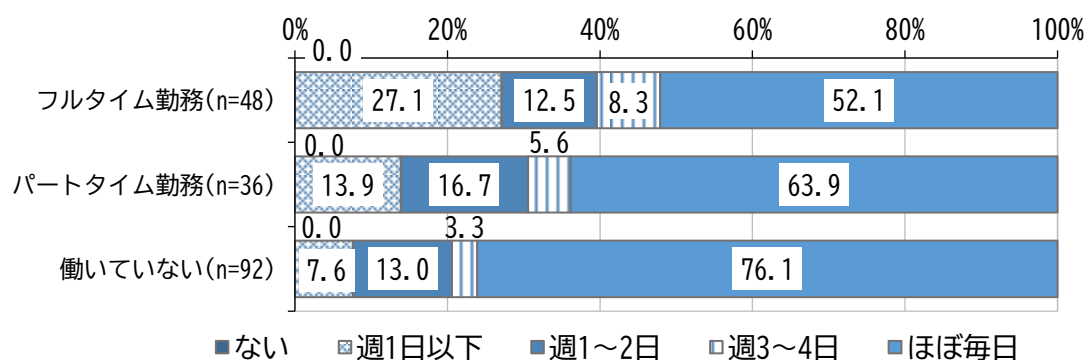
i) 就労状況別でみる家族等による介護の頻度

家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務では「ほぼ毎日」が52.1%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」が27.1%、「週1～2日」が12.5%となっています。

パートタイム勤務では「ほぼ毎日」が63.9%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が16.7%、「週1日以下」が13.9%となっています。

働いていないでは「ほぼ毎日」が76.1%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が13.0%、「週1日以下」が7.6%となっています。

図表 4-2-36 家族等による介護の頻度 就労状況別



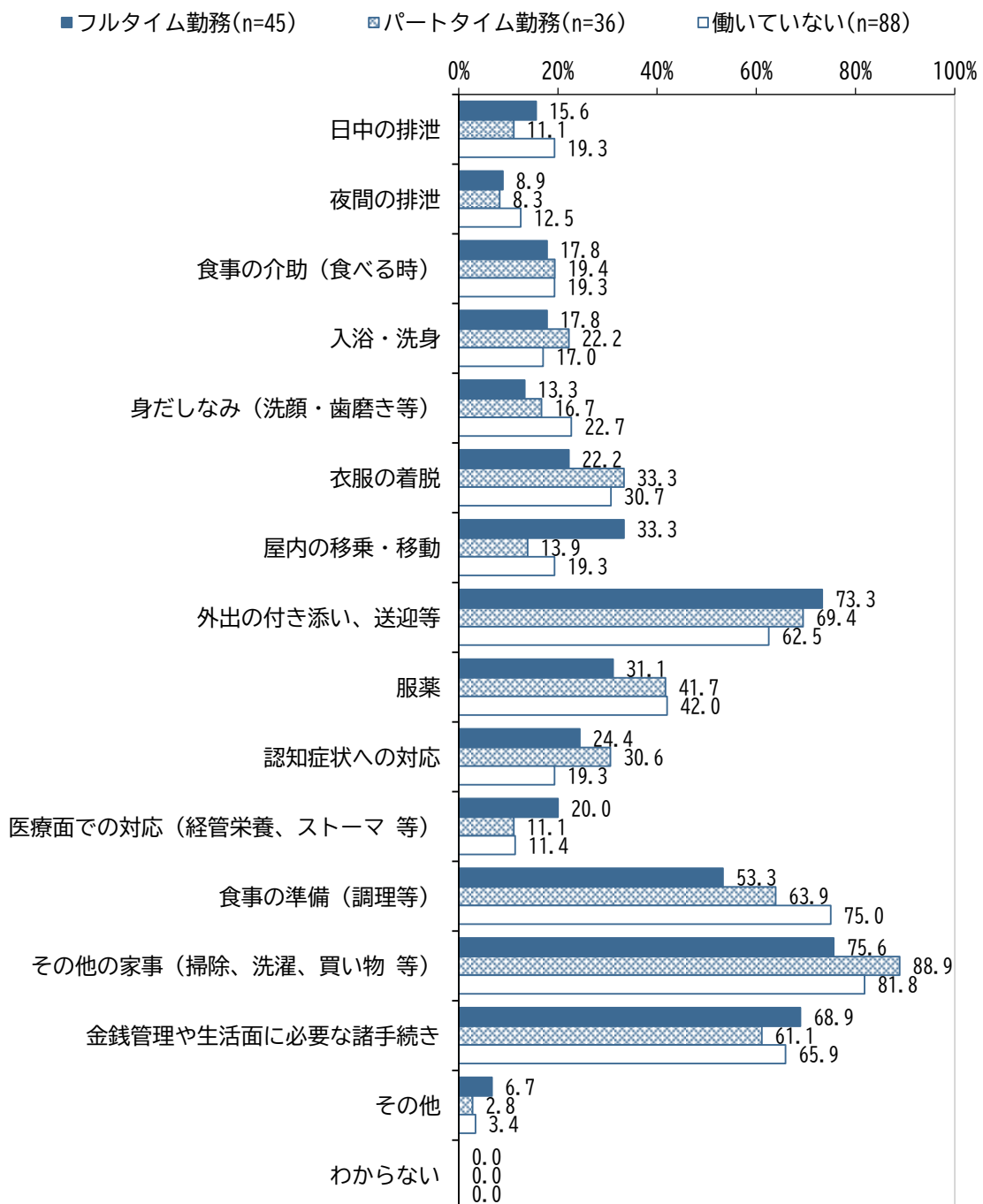
ii) 就労状況別でみる主な介護者が行っている介護

介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が75.6%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が73.3%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が68.9%となっています。

パートタイム勤務では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が88.9%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が69.4%、「食事の準備（調理等）」が63.9%となっています。

働いていないでは「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が81.8%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が75.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が65.9%となっています。

図表 4-2-37 主な介護者が行っている介護 就労状況別

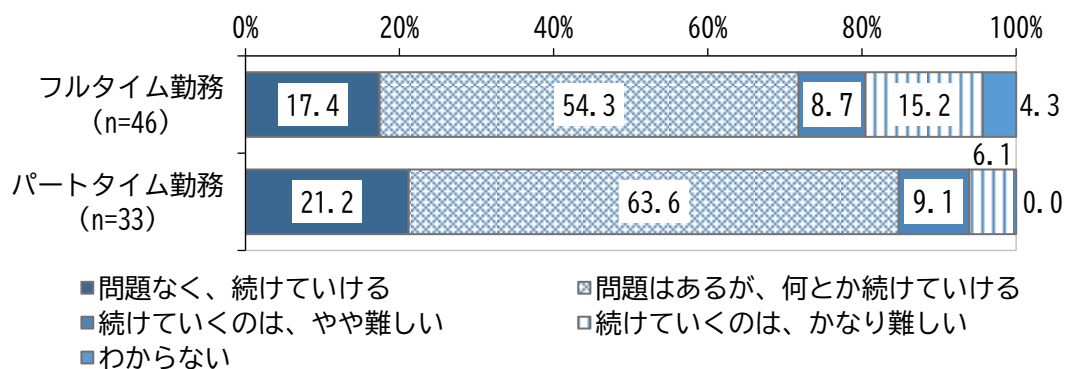


iii) 就労状況別でみる就労継続見込み

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務では「問題はあるが、何とか続けていける」が54.3%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が17.4%、「続けていくのは、かなり難しい」が15.2%となっています。

パートタイム勤務では「問題はあるが、何とか続けていける」が63.6%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が21.2%、「続けていくのは、やや難しい」が9.1%となっています。

図表 4-2-38 就労継続見込み 就労状況別

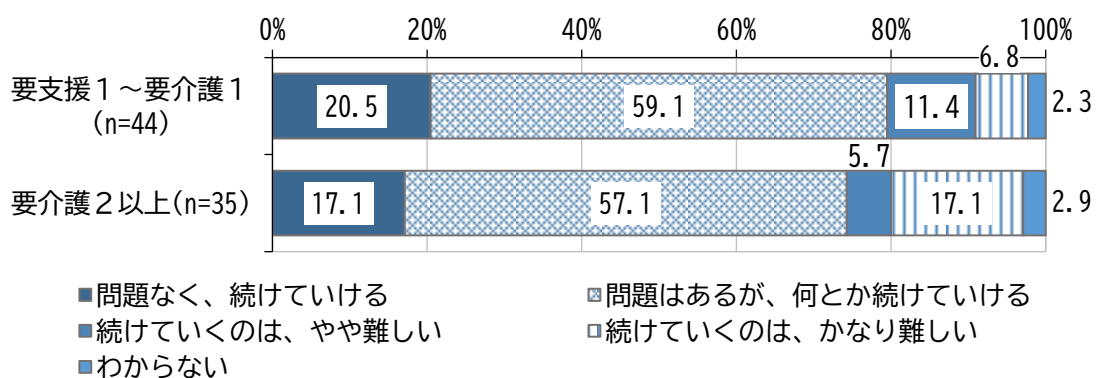


iv) 要介護度別でみる就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

介護者の就労継続の可否に係る意識を二次判定結果別にみると、要支援1～要介護1では「問題はあるが、何とか続けていける」が59.1%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が20.5%、「続けていくのは、やや難しい」が11.4%となっています。

要介護2以上では「問題はあるが、何とか続けていける」が57.1%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、かなり難しい」がいずれも17.1%となっています。

図表 4-2-39 就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務） 要介護度別

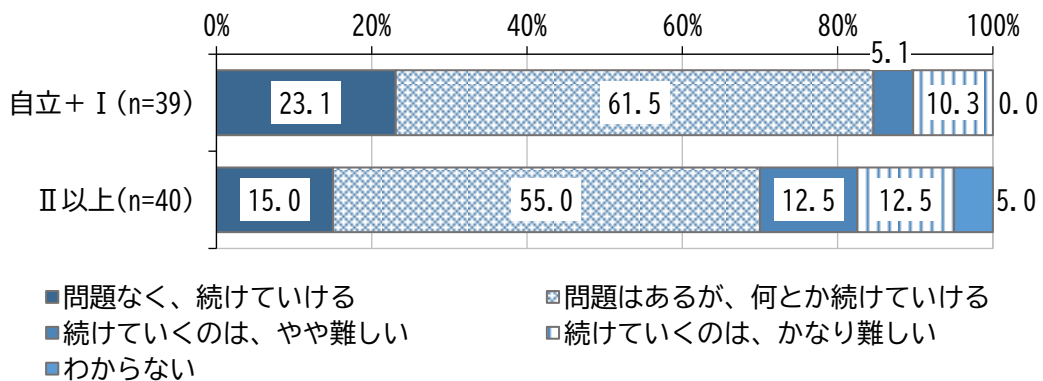


v) 認知症自立度別でみる就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+Iでは「問題はあるが、何とか続けていける」が61.5%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が23.1%、「続けていくのは、かなり難しい」が10.3%となっています。

認知症自立度II以上では「問題はあるが、何とか続けていける」が55.0%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が15.0%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」がいずれも12.5%となっています。

図表 4-2-40 就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務） 認知症自立度別



③ 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

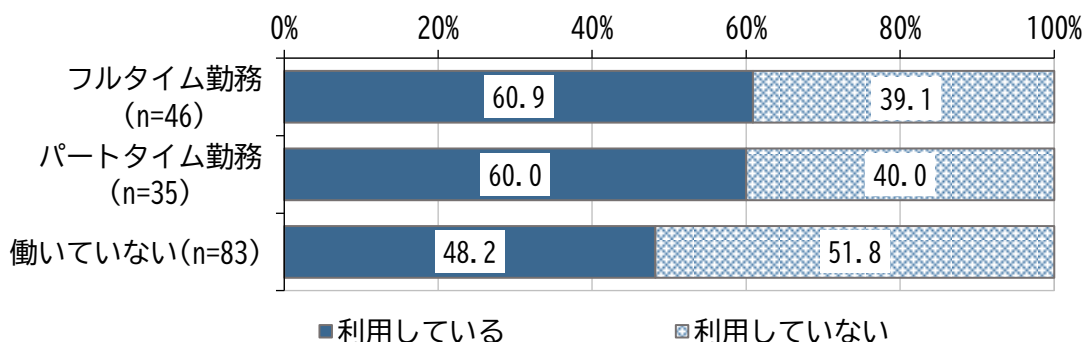
i) 就労状況別でみる介護保険サービス利用の有無

介護保険サービスの利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務では「利用している」が60.9%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が39.1%となっています。

パートタイム勤務では「利用している」が60.0%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が40.0%となっています。

働いていないでは「利用していない」が51.8%と最も割合が高く、次いで「利用している」が48.2%となっています。

図表 4-2-41 介護保険サービス利用の有無 就労状況別

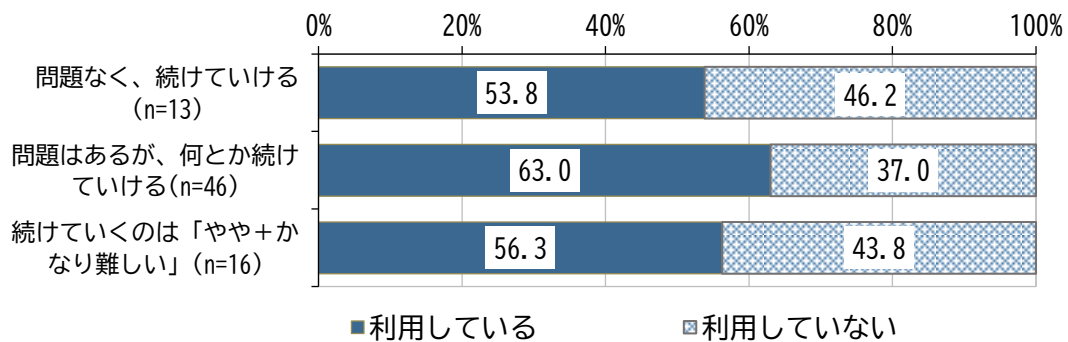


ii) 就労継続見込み別でみる介護保険サービス利用の有無(フルタイム勤務+パートタイム勤務)
 介護保険サービスの利用の有無を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、
 続けていける」では「利用している」が 53.8%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が
 46.2%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「利用している」が 63.0%と最も割合が高く、次い
 で「利用していない」が 37.0%となっています。

「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「利用している」が 56.3%と最も割合が高く、
 次いで「利用していない」が 43.8%となっています。

図表 4-2-42 介護保険サービス利用の有無(フルタイム勤務+パートタイム勤務)
 就労継続見込み別



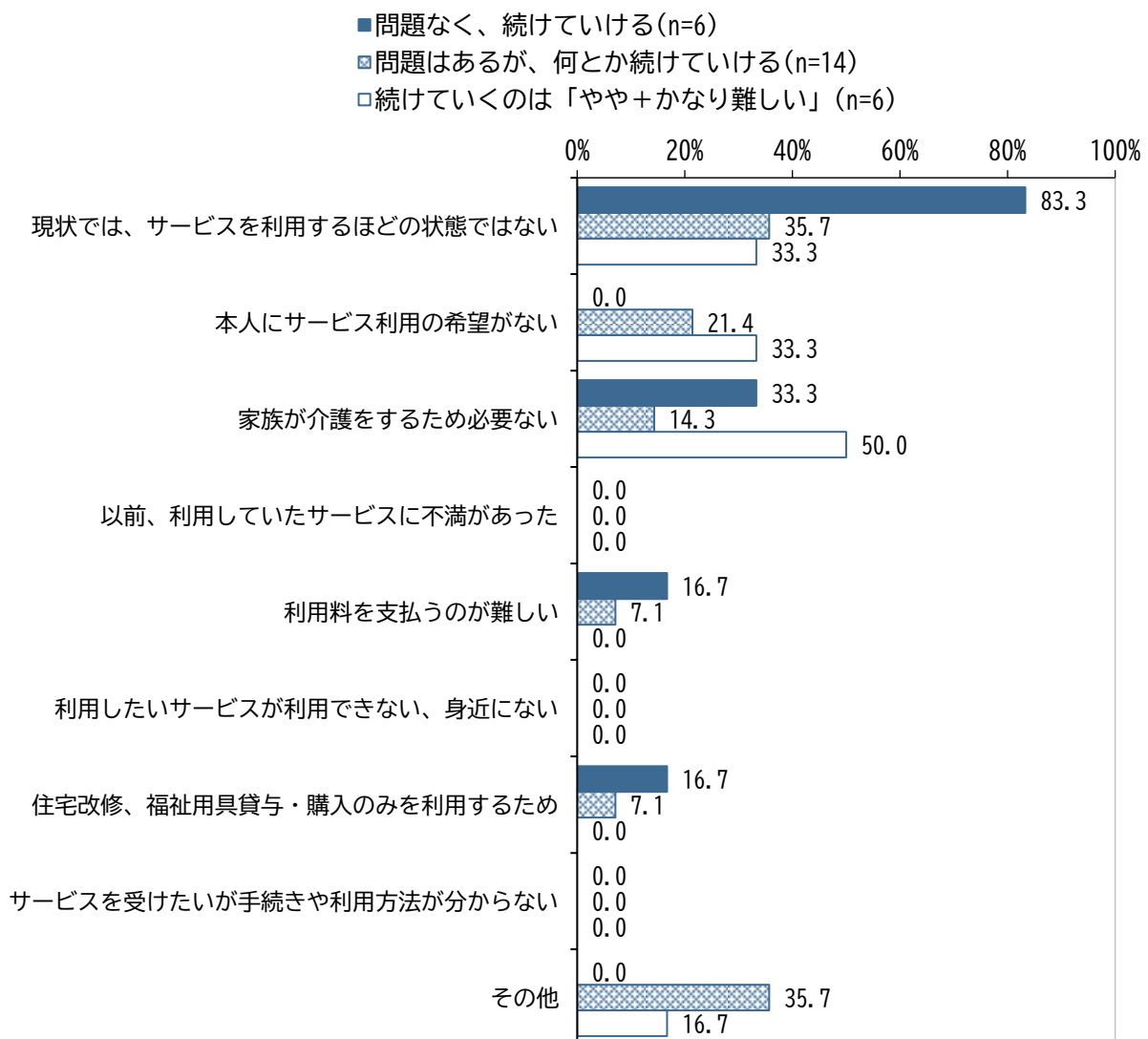
iii) 就労継続見込み別でみるサービス未利用の理由（フルタイム勤務+パート勤務）

未利用の理由を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が83.3%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が33.3%、「利用料を支払うのが難しい」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」がいずれも16.7%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「その他」がいずれも35.7%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が21.4%となっています。

「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「家族が介護をするため必要ない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」がいずれも33.3%となっています。

図表 4-2-43 サービス未利用の理由（フルタイム勤務+パート勤務） 就労継続見込み別

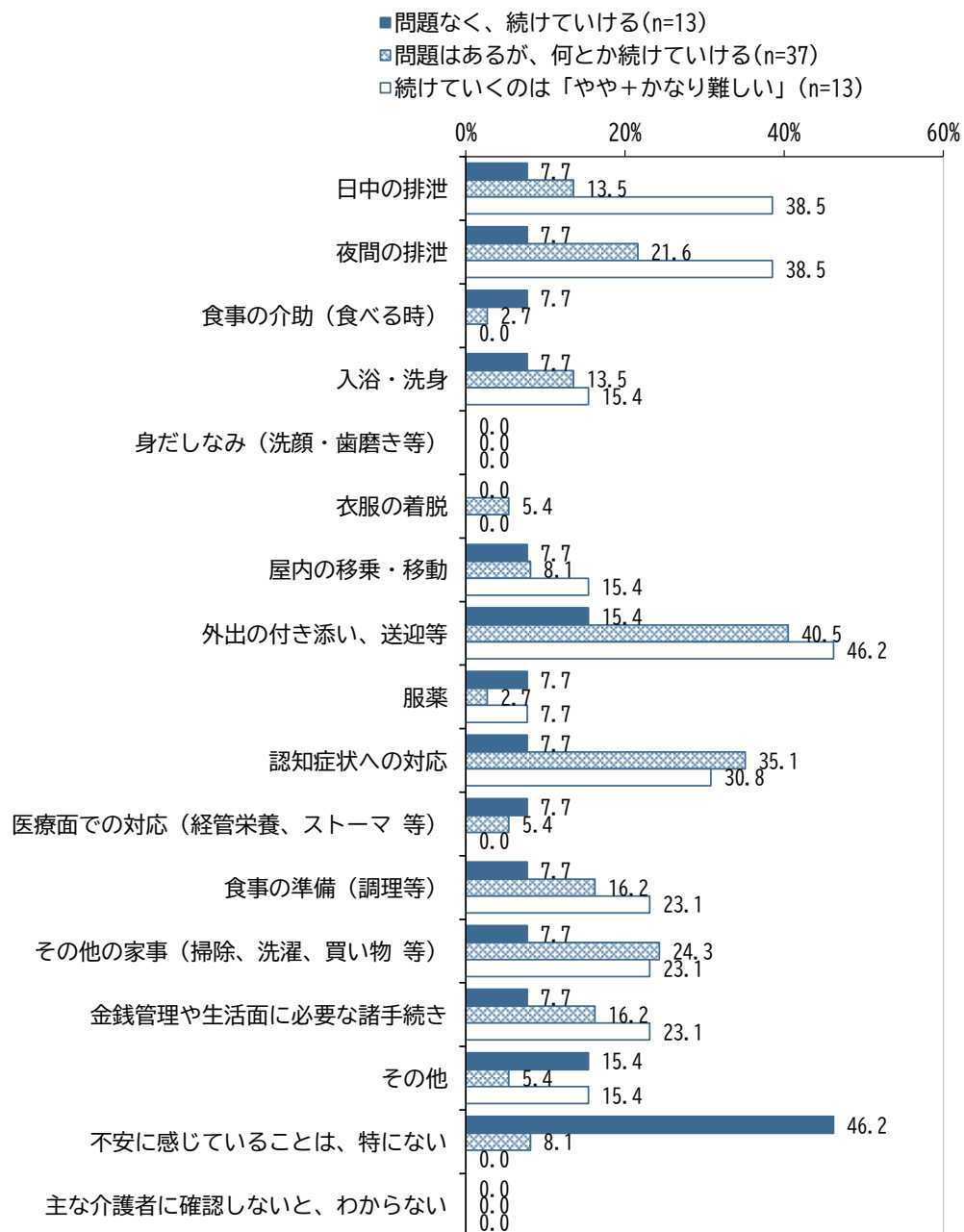


iv) 就労継続見込み別でみる介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）
 介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「不安に感じていることは、特にない」が46.2%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」、「その他」がいずれも15.4%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「外出の付き添い、送迎等」が40.5%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が35.1%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が24.3%となっています。

「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「外出の付き添い、送迎等」が46.2%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」がいずれも38.5%となっています。

図表 4-2-44 介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）
 就労継続見込み別



④ 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

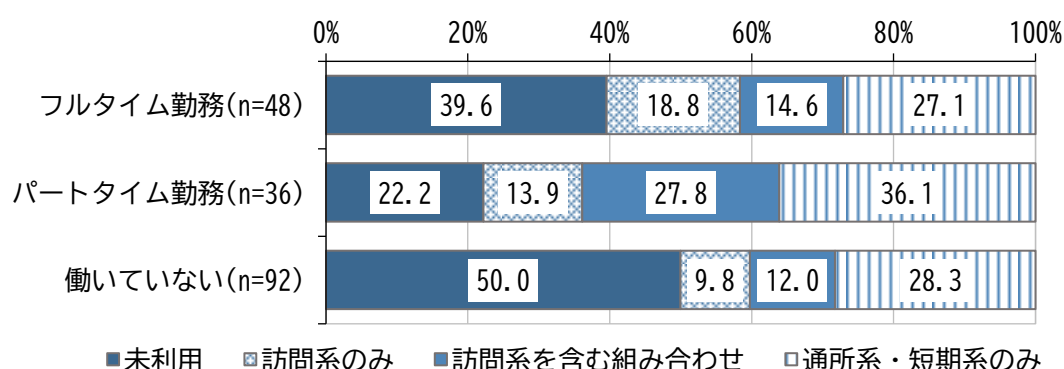
i) 就労状況別でみるサービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務では「未利用」が39.6%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が27.1%、「訪問系のみ」が18.8%となっています。

パートタイム勤務では「通所系・短期系のみ」が36.1%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が27.8%、「未利用」が22.2%となっています。

働いていないでは「未利用」が50.0%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が28.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が12.0%となっています。

図表 4-2-45 サービス利用の組み合わせ 就労状況別

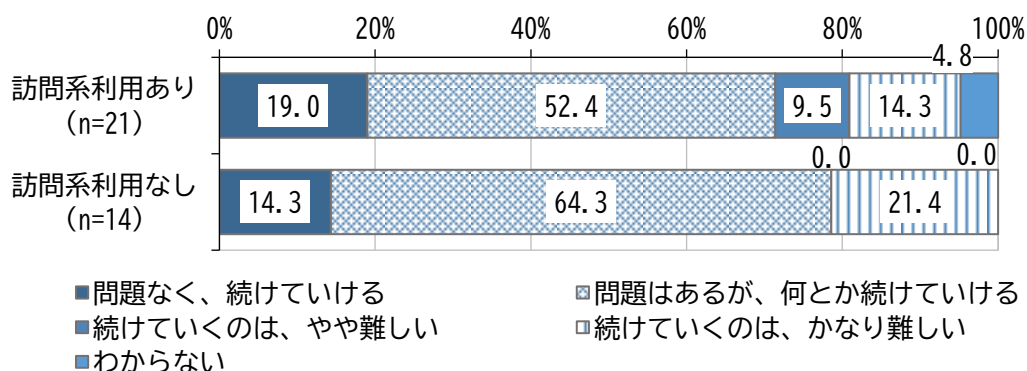


ii) サービス利用の組み合わせ別でみる就労継続見込み (要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が52.4%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が19.0%、「続けていくのは、かなり難しい」が14.3%となっています。

「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が64.3%と最も割合が高く、次いで「続けていくのは、かなり難しい」が21.4%、「問題なく、続けていける」が14.3%となっています。

図表 4-2-46 就労継続見込み 訪問系の利用の有無別 (要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)

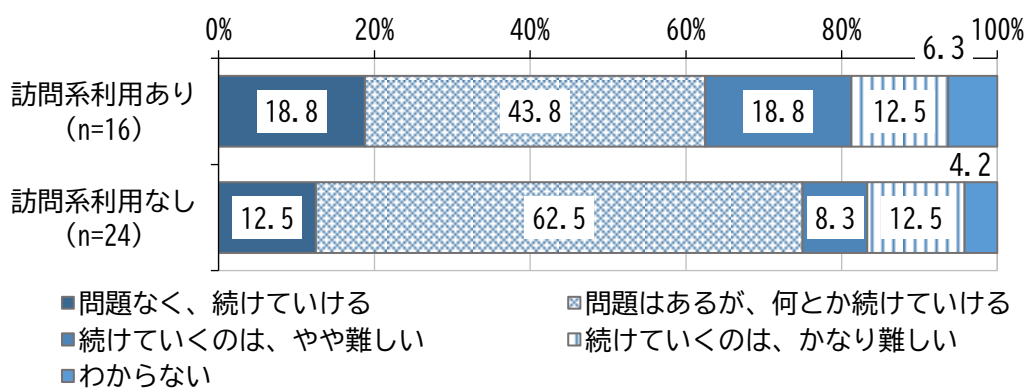


iii) サービス利用の組み合わせ別でみる就労継続見込み（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が43.8%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、やや難しい」がいずれも18.8%となっています。

「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が62.5%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、かなり難しい」がいずれも12.5%となっています。

図表 4-2-47 就労継続見込み 訪問系の利用の有無別
（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）

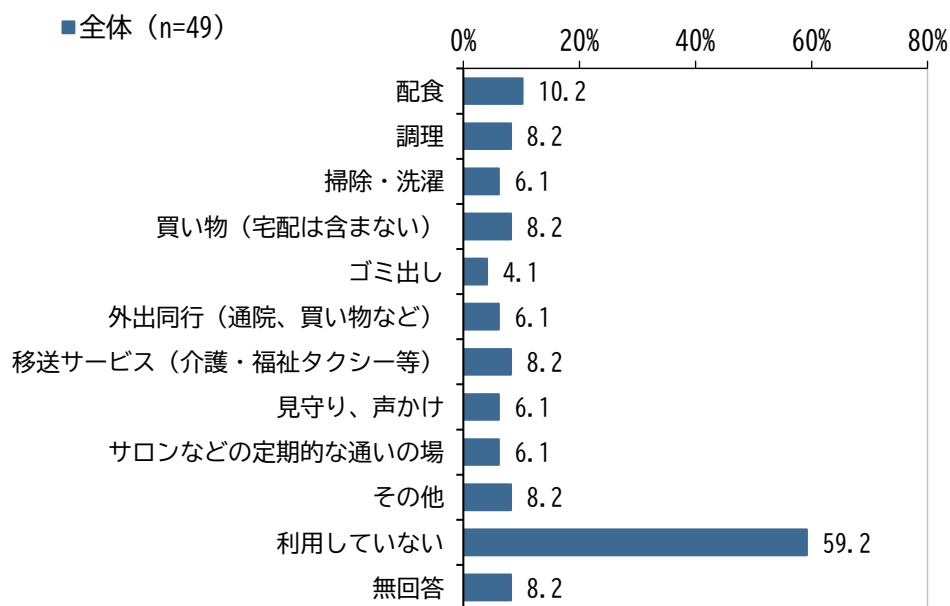


⑤ 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

i) 利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）

「利用していない」の割合が最も高く 59.2%となっています。次いで、「配食（10.2%）」、「調理（8.2%）」、「買い物（宅配は含まない）（8.2%）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（8.2%）」、「その他（8.2%）」となっています。

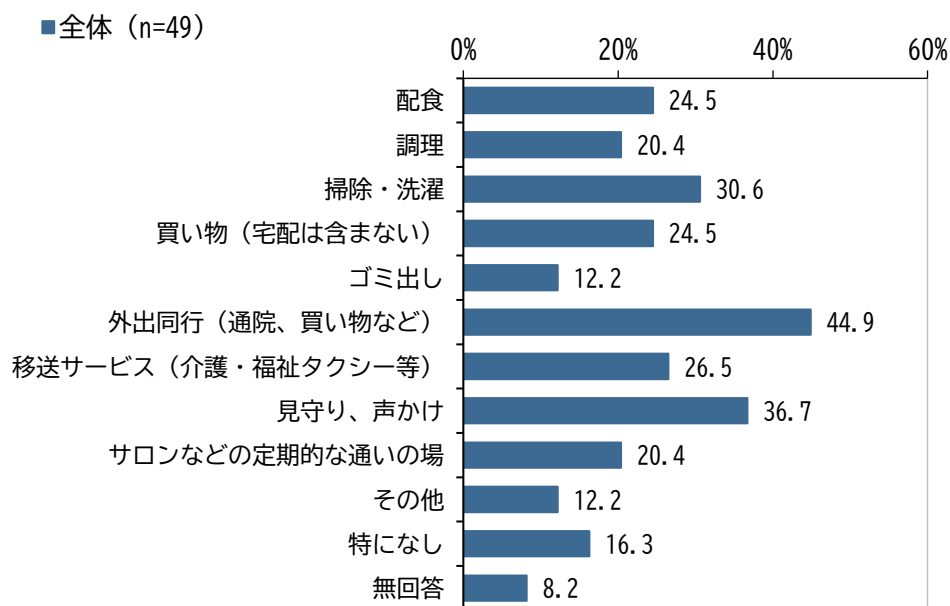
図表 4-2-48 利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）



ii) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）

「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く 44.9%となっています。次いで、「見守り、声かけ（36.7%）」、「掃除・洗濯（30.6%）」となっています。

図表 4-2-49 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）

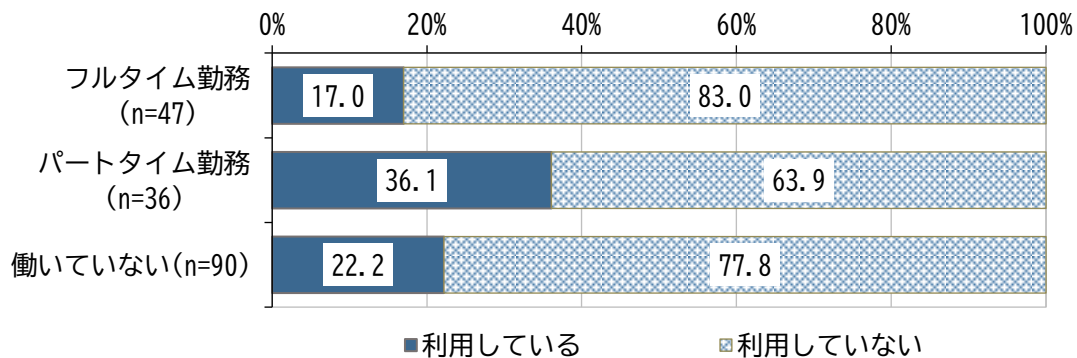


iii) 就労状況別でみる訪問診療の利用の有無

訪問診療の利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務では「利用している」が17.0%、「利用していない」が83.0%となっています。

パートタイム勤務では「利用している」が36.1%、「利用していない」が63.9%となっています。
働いていないでは「利用している」が22.2%、「利用していない」が77.8%となっています。

図表 4-2-50 訪問診療の利用の有無 就労状況別



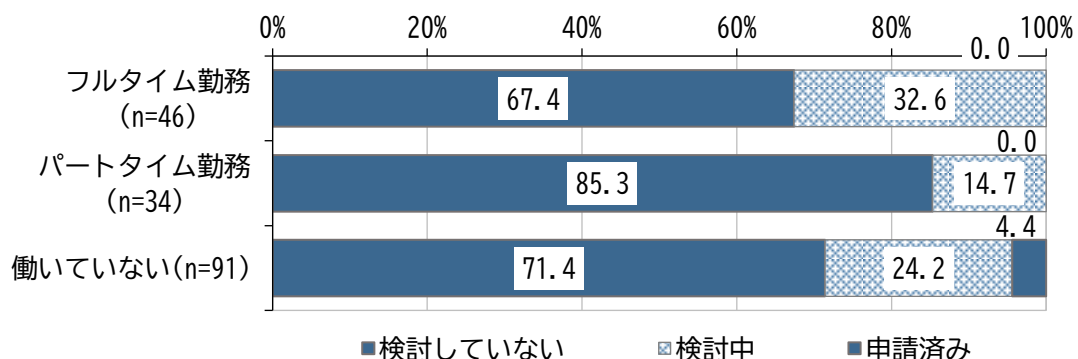
iv) 就労状況別・施設等検討の状況

施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務では「検討していない」が67.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が32.6%となっています。

パートタイム勤務では「検討していない」が85.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が14.7%となっています。

働いていないでは「検討していない」が71.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が24.2%、「申請済み」が4.4%となっています。

図表 4-2-51 施設等検討の状況 就労状況別



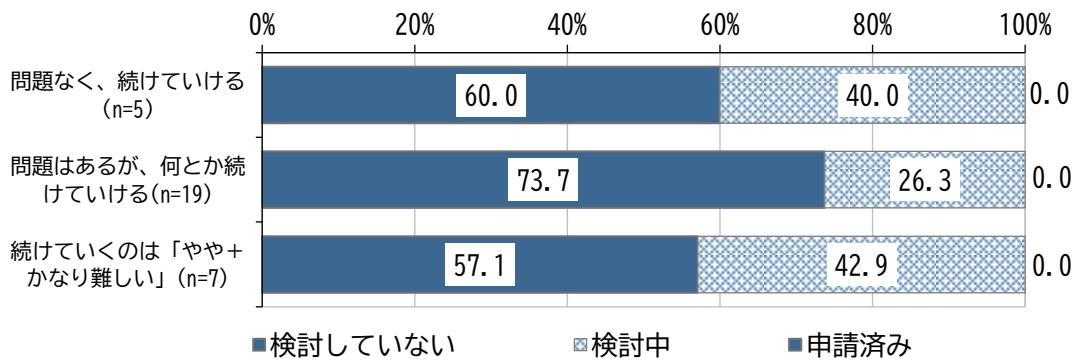
v) 就労継続見込み別でみる施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）

施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が60.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が40.0%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が73.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が26.3%となっています。

「続けていくのは「やや+かなり難しい」では「検討していない」が57.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が42.9%となっています。

図表 4-2-52 施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）
就労継続見込み別



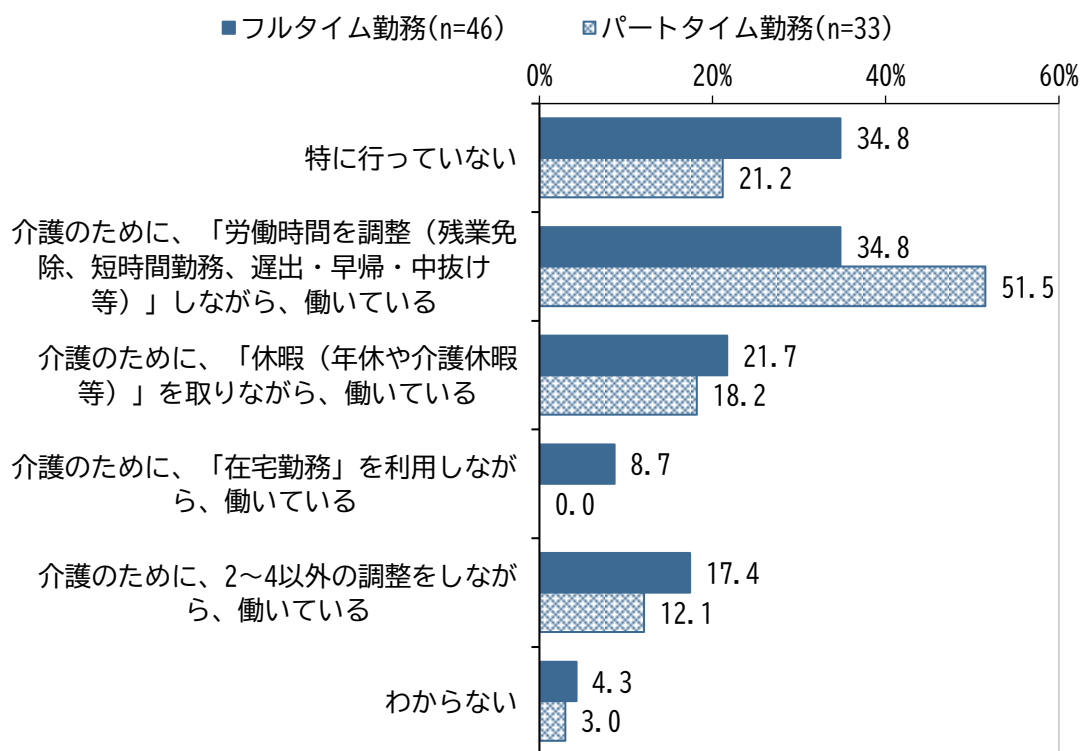
⑥ 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

i) 就労状況別でみる介護のための働き方の調整

介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務では「特に行っていない」、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」がいずれも34.8%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が21.7%となっています。

パートタイム勤務では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が51.5%と最も割合が高く、次いで「特に行っていない」が21.2%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が18.2%となっています。

図表 4-2-53 介護のための働き方の調整 就労状況別

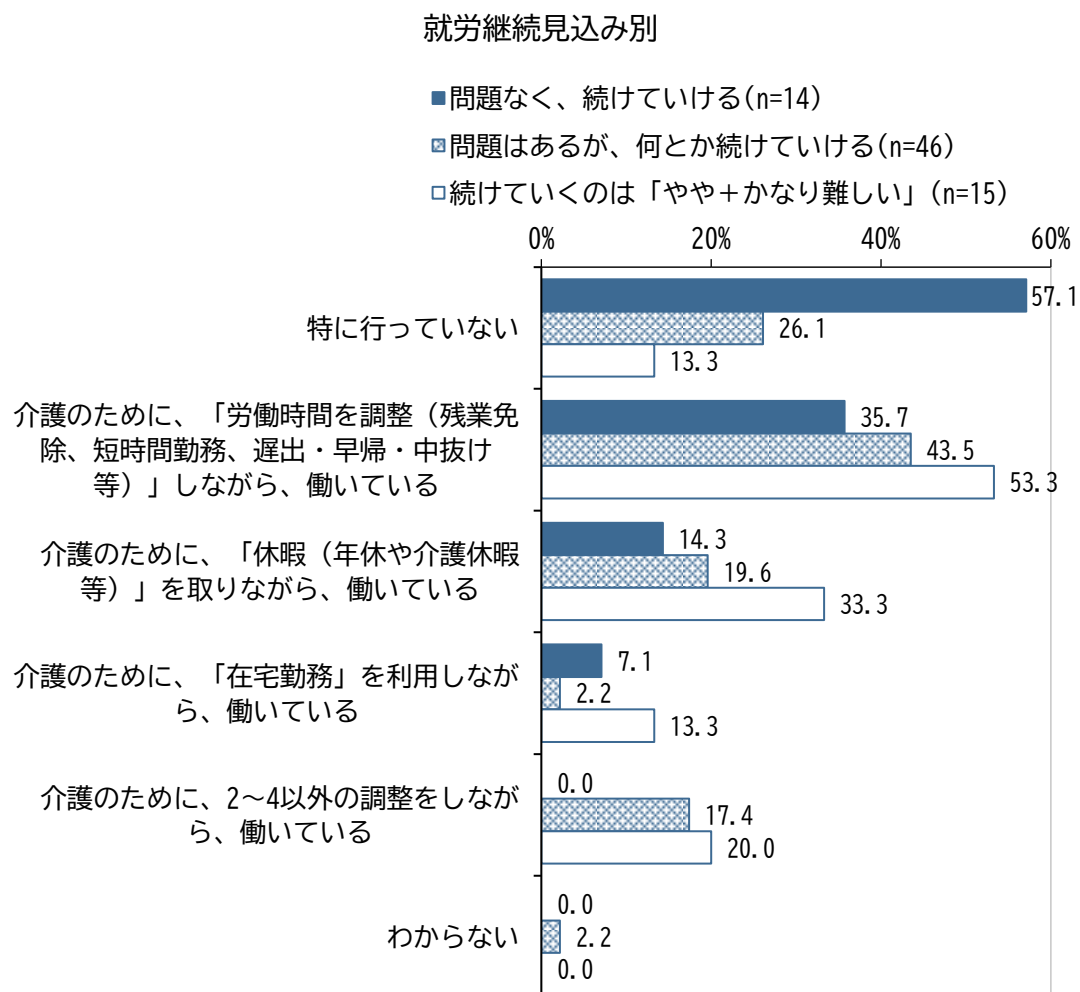


ii) 就労継続見込み別でみる介護のための働き方の調整（フルタイム勤務+パートタイム勤務）
 介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が57.1%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が35.7%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が14.3%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が43.5%と最も割合が高く、次いで「特に行っていない」が26.1%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が19.6%となっています。

「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が53.3%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が33.3%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が20.0%となっています。

図表 4-2-54 介護のための働き方の調整（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

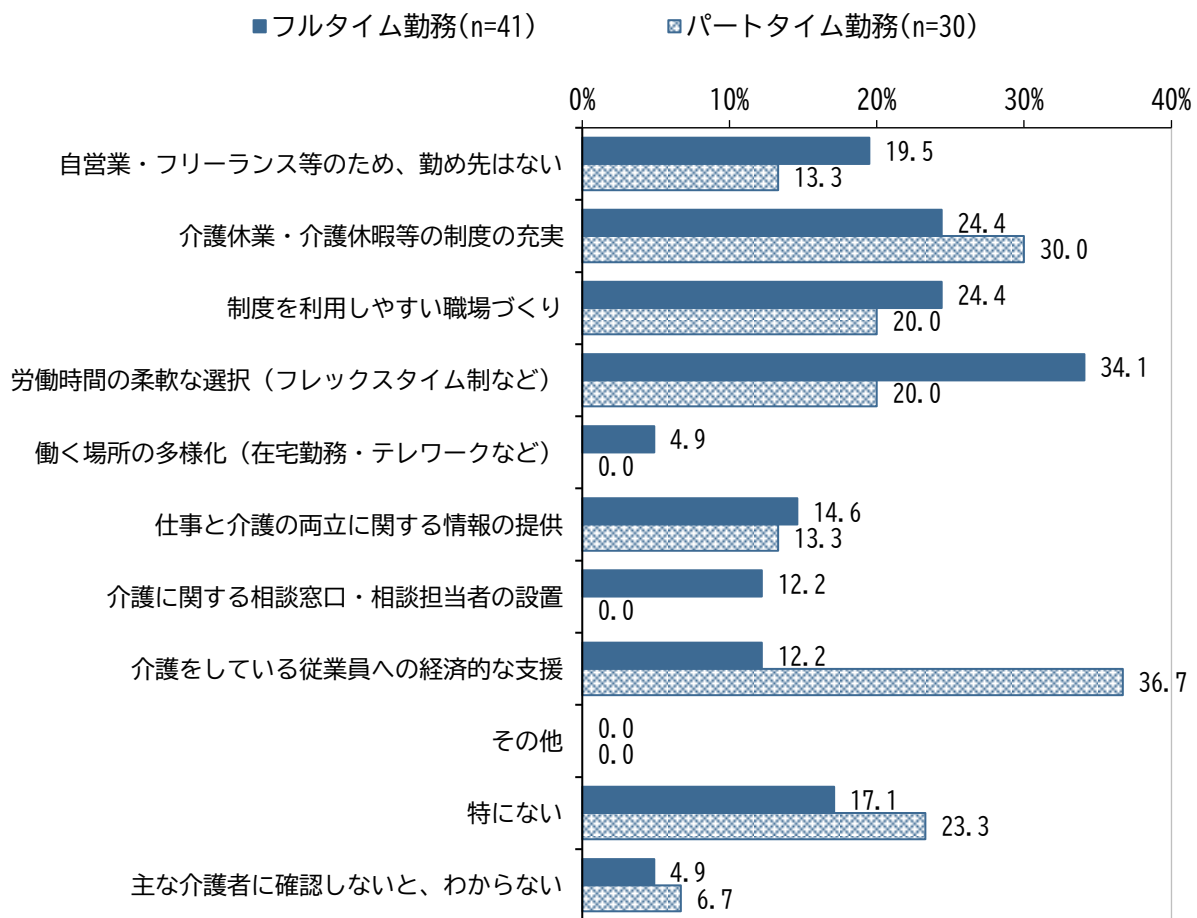


iii) 就労状況別でみる効果的な勤め先からの支援

効果的な勤め先からの支援を介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務では「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が34.1%と最も割合が高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」がいずれも24.4%となっています。

パートタイム勤務では「介護をしている従業員への経済的な支援」が36.7%と最も割合が高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が30.0%、「特にない」が23.3%となっています。

図表 4-2-55 効果的な勤め先からの支援 就労状況別

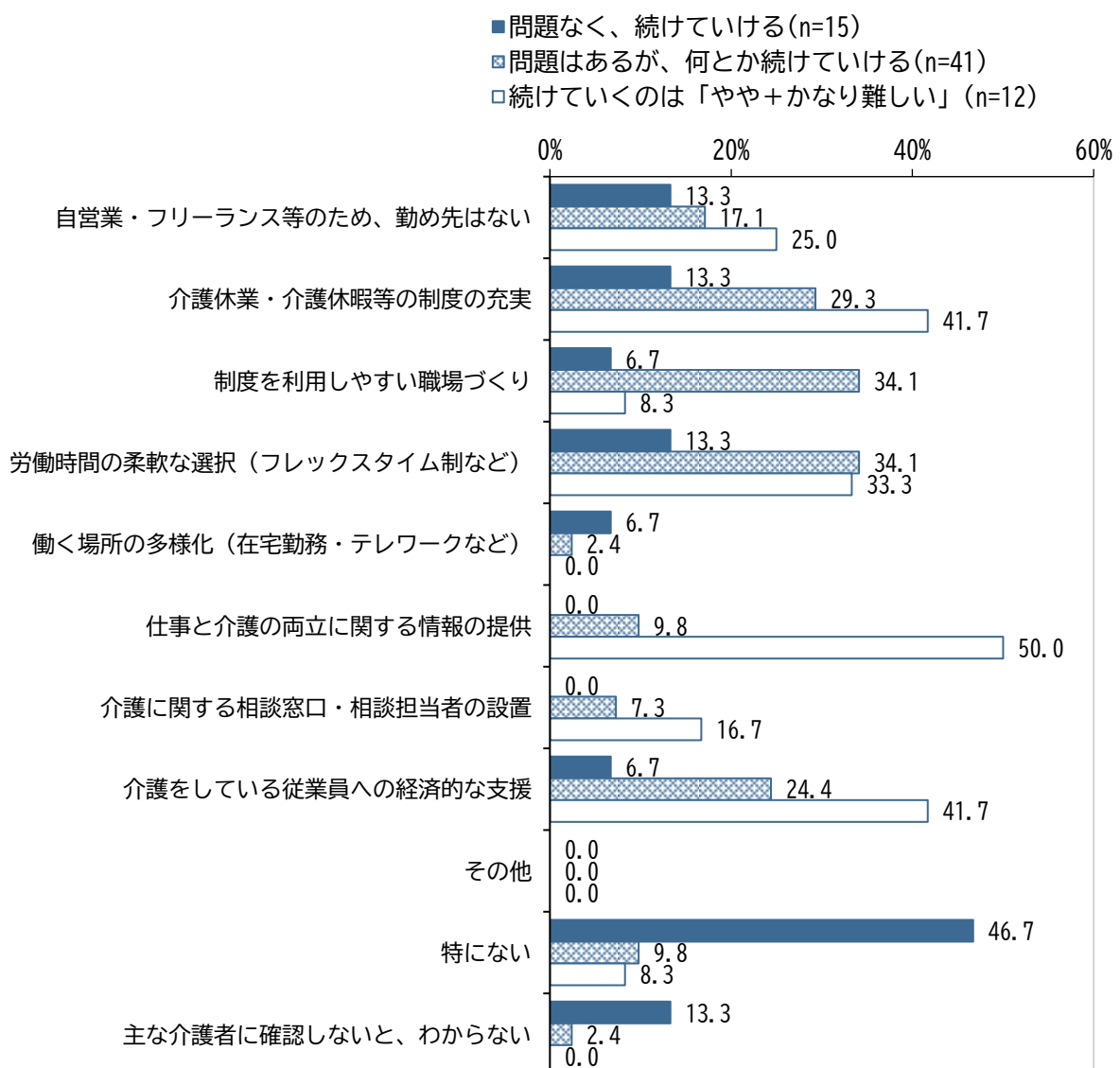


iv) 就労継続見込み別でみる効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務+パートタイム勤務）
 効果的な勤め先からの支援を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特にない」が46.7%と最も割合が高く、次いで「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「主な介護者に確認しないと、わからない」がいずれも13.3%となっています。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」がいずれも34.1%と最も割合が高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.3%となっています。

「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「仕事と介護の両立に関する情報の提供」が50.0%と最も割合が高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「介護をしている従業員への経済的な支援」がいずれも41.7%となっています。

図表 4-2-56 効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務+パートタイム勤務）
 就労継続見込み別



(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

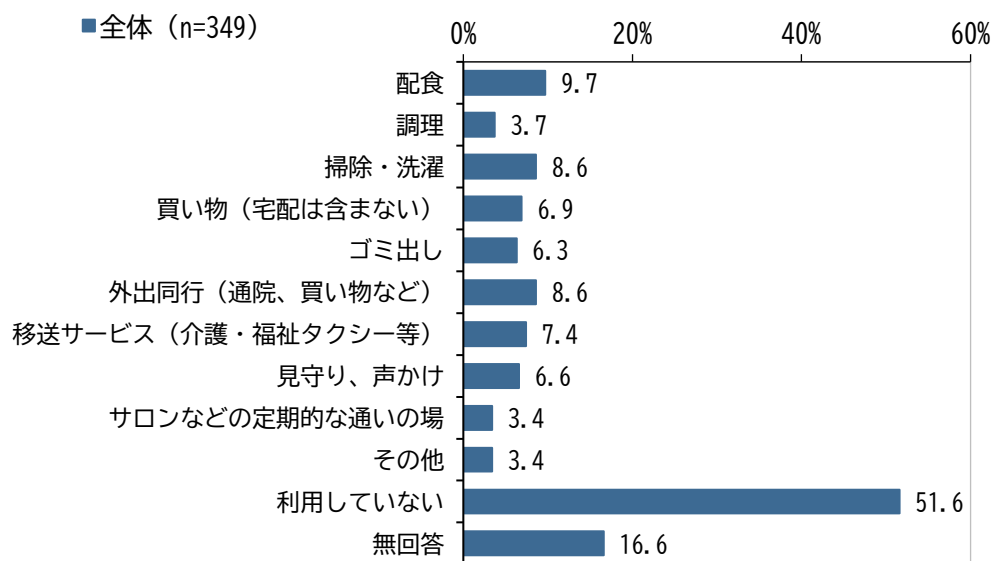
ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、特に「保険外の支援・サービス」に焦点を当てた集計を行っています。

① 基礎集計

i) 保険外の支援・サービスの利用状況

「利用していない」の割合が最も高く 51.6%となっています。次いで、「配食 (9.7%)」、「掃除・洗濯 (8.6%)」、「外出同行 (通院、買い物など) (8.6%)」となっています。

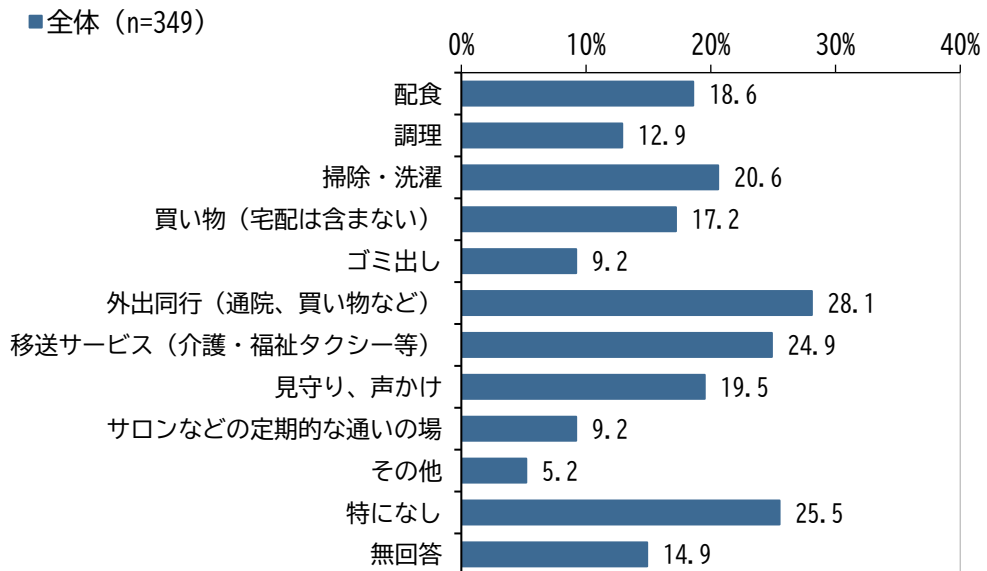
図表 4-2-57 保険外の支援・サービスの利用状況



ii) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く 28.1%となっています。次いで、「特になし（25.5%）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（24.9%）」となっています。

図表 4-2-58 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



② 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

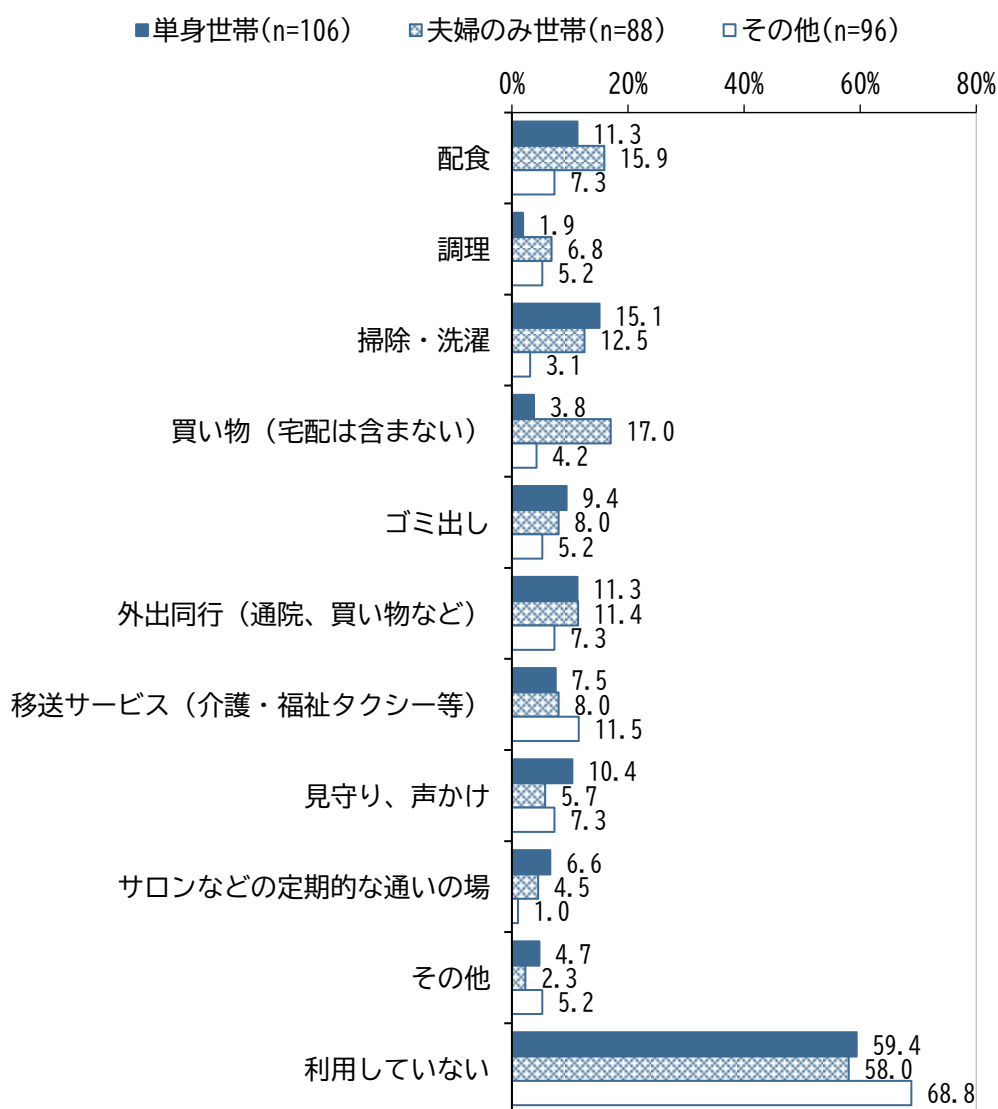
i) 世帯類型別でみる保険外の支援・サービスの利用状況

保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別にみると、単身世帯では「利用していない」が59.4%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が15.1%、「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」がいずれも11.3%となっています。

夫婦のみ世帯では「利用していない」が58.0%と最も割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が17.0%、「配食」が15.9%となっています。

その他世帯では「利用していない」が68.8%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が11.5%、「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」がいずれも7.3%となっています。

図表 4-2-59 保険外の支援・サービスの利用状況 世帯類型別



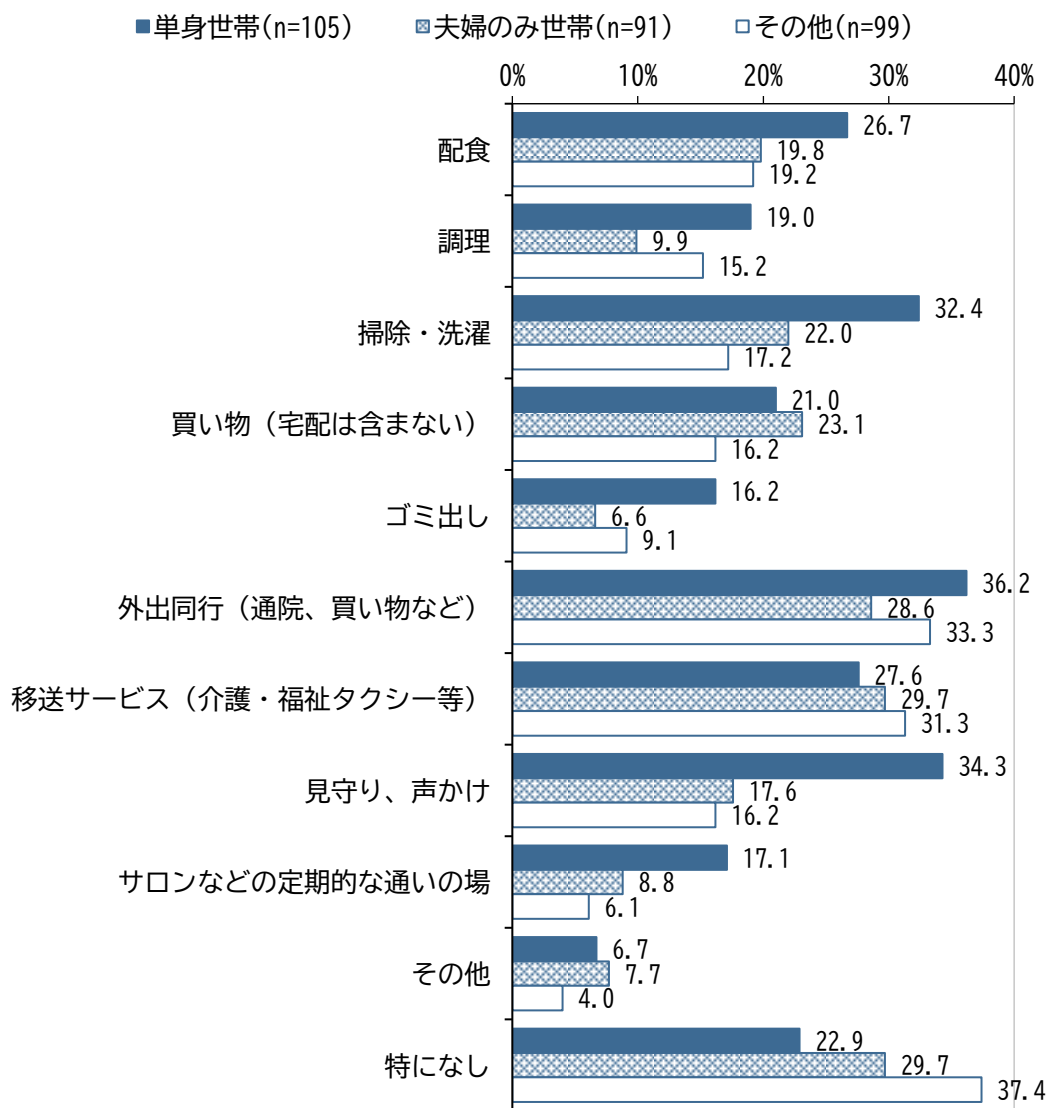
ii) 世帯類型別でみる在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

保険外の支援・サービスの必要性を世帯類型別にみると、単身世帯では「外出同行（通院、買い物など）」が36.2%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が34.3%、「掃除・洗濯」が32.4%となっています。

夫婦のみ世帯では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「特になし」がいずれも29.7%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が28.6%となっています。

その他世帯では「特になし」が37.4%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が33.3%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.3%となっています。

図表 4-2-60 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 世帯類型別



③ 「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」

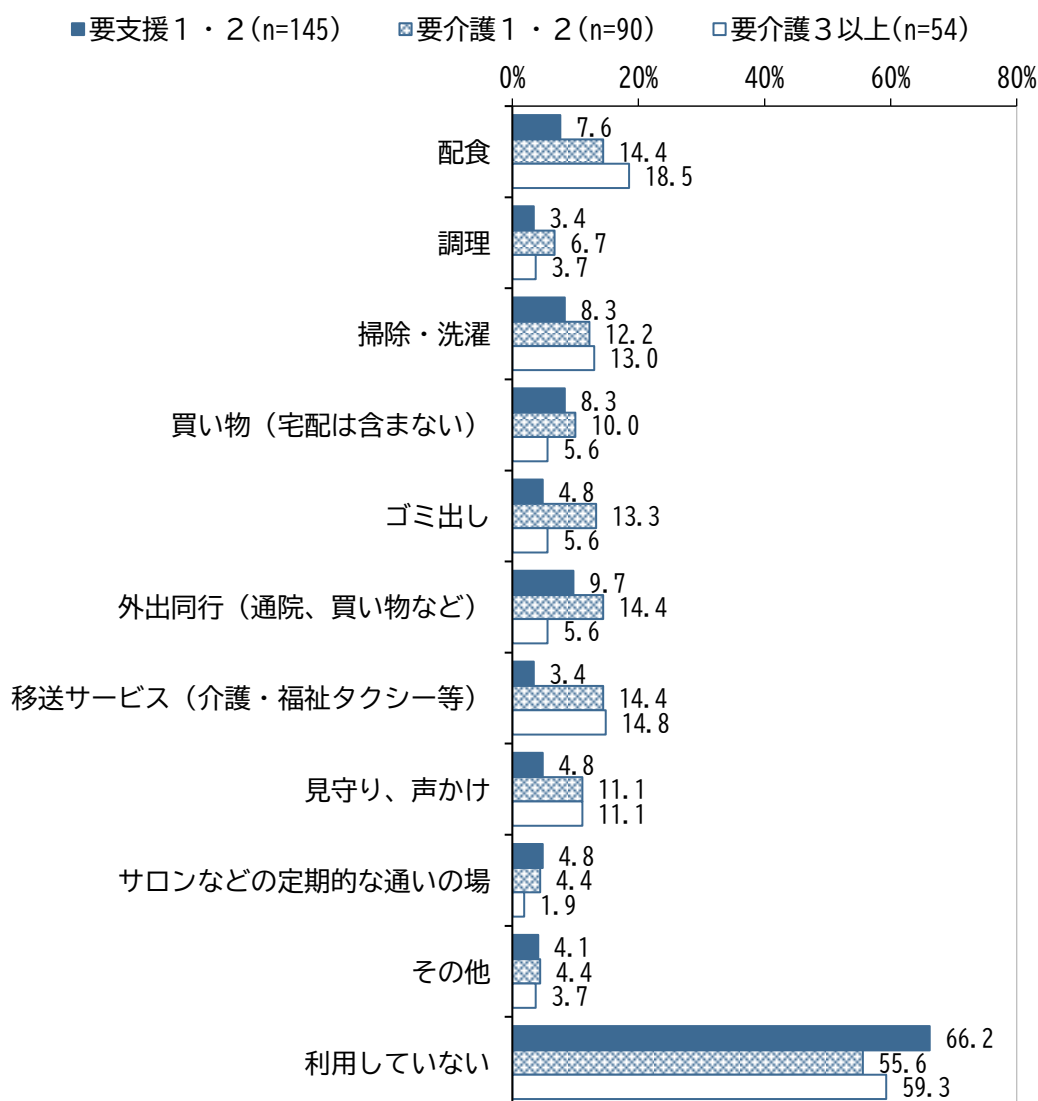
i) 要介護度別でみる保険外の支援・サービスの利用状況

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「利用していない」が66.2%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が9.7%、「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」がいずれも8.3%となっています。

要介護1・2では「利用していない」が55.6%と最も割合が高く、次いで「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がいずれも14.4%となっています。

要介護3以上では「利用していない」が59.3%と最も割合が高く、次いで「配食」が18.5%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が14.8%となっています。

図表 4-2-61 保険外の支援・サービスの利用状況 要介護度別



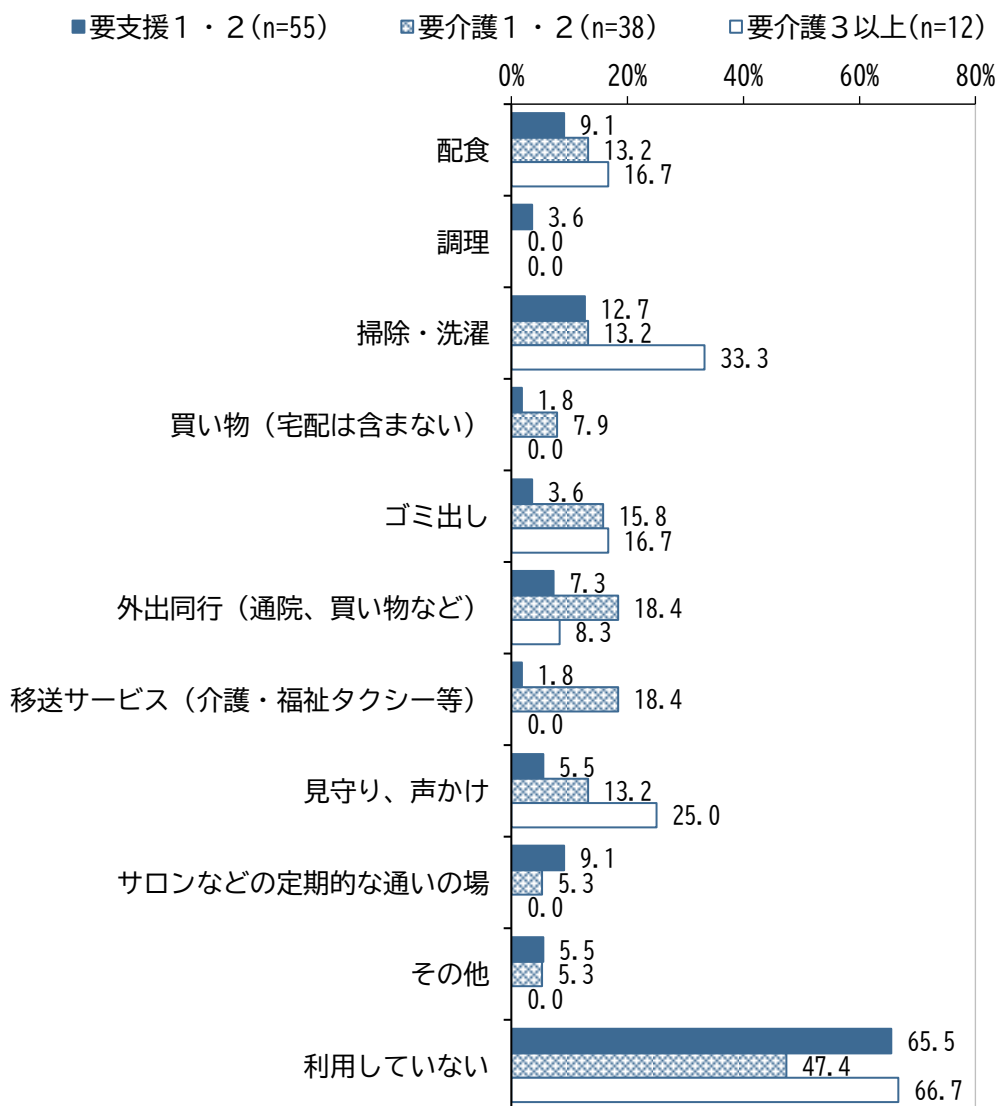
ii) 要介護度別でみる保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「利用していない」が65.5%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が12.7%、「配食」、「サロンなどの定期的な通いの場」がいずれも9.1%となっています。

要介護1・2では「利用していない」が47.4%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がいずれも18.4%となっています。

要介護3以上では「利用していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が33.3%、「見守り、声かけ」が25.0%となっています。

図表 4-2-62 保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯） 要介護度別



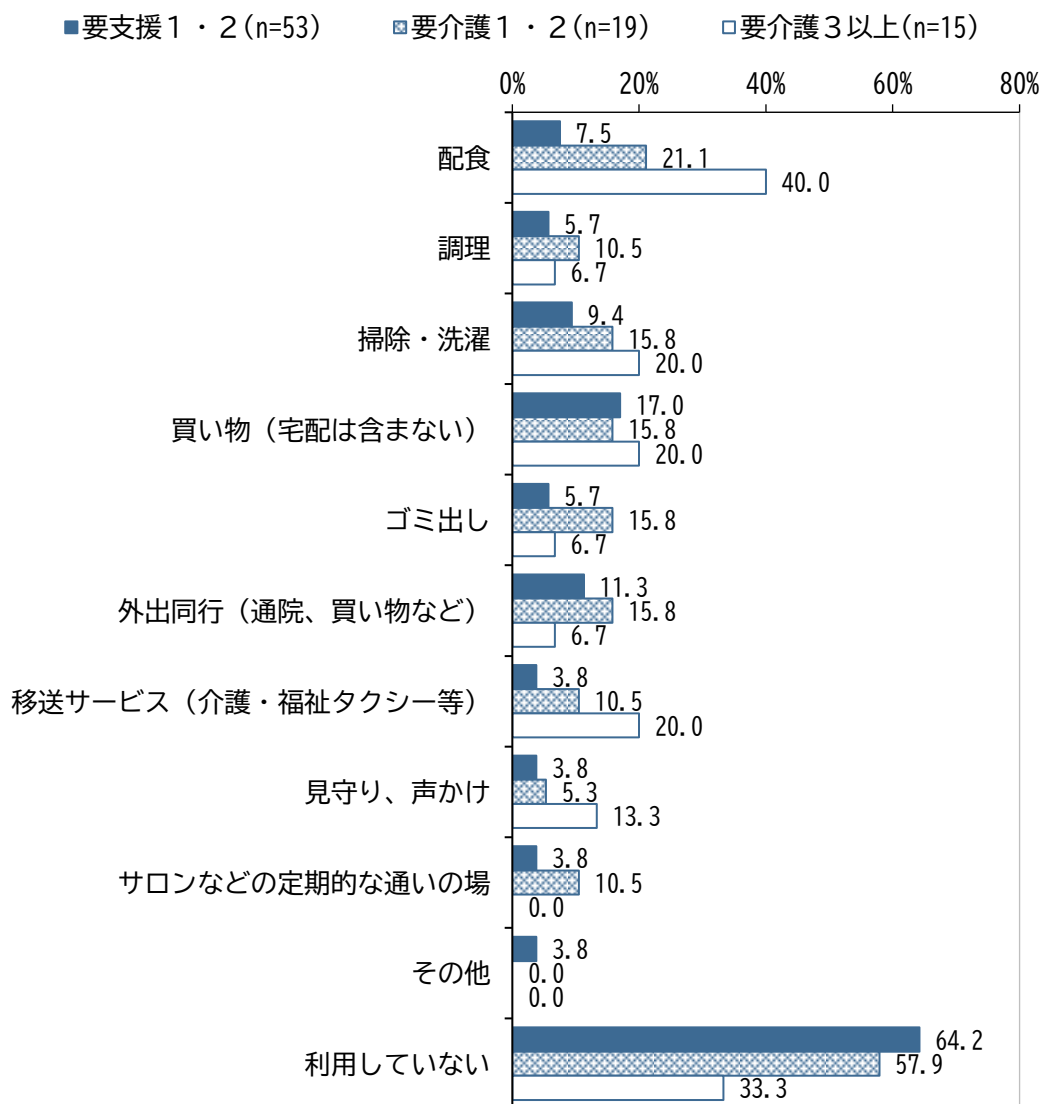
iii) 要介護度別でみる保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「利用していない」が64.2%と最も割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が17.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が11.3%となっています。

要介護1・2では「利用していない」が57.9%と最も割合が高く、次いで「配食」が21.1%、「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」、「外出同行（通院、買い物など）」がいずれも15.8%となっています。

要介護3以上では「配食」が40.0%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が33.3%、「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がいずれも20.0%となっています。

図表 4-2-63 保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯） 要介護度別



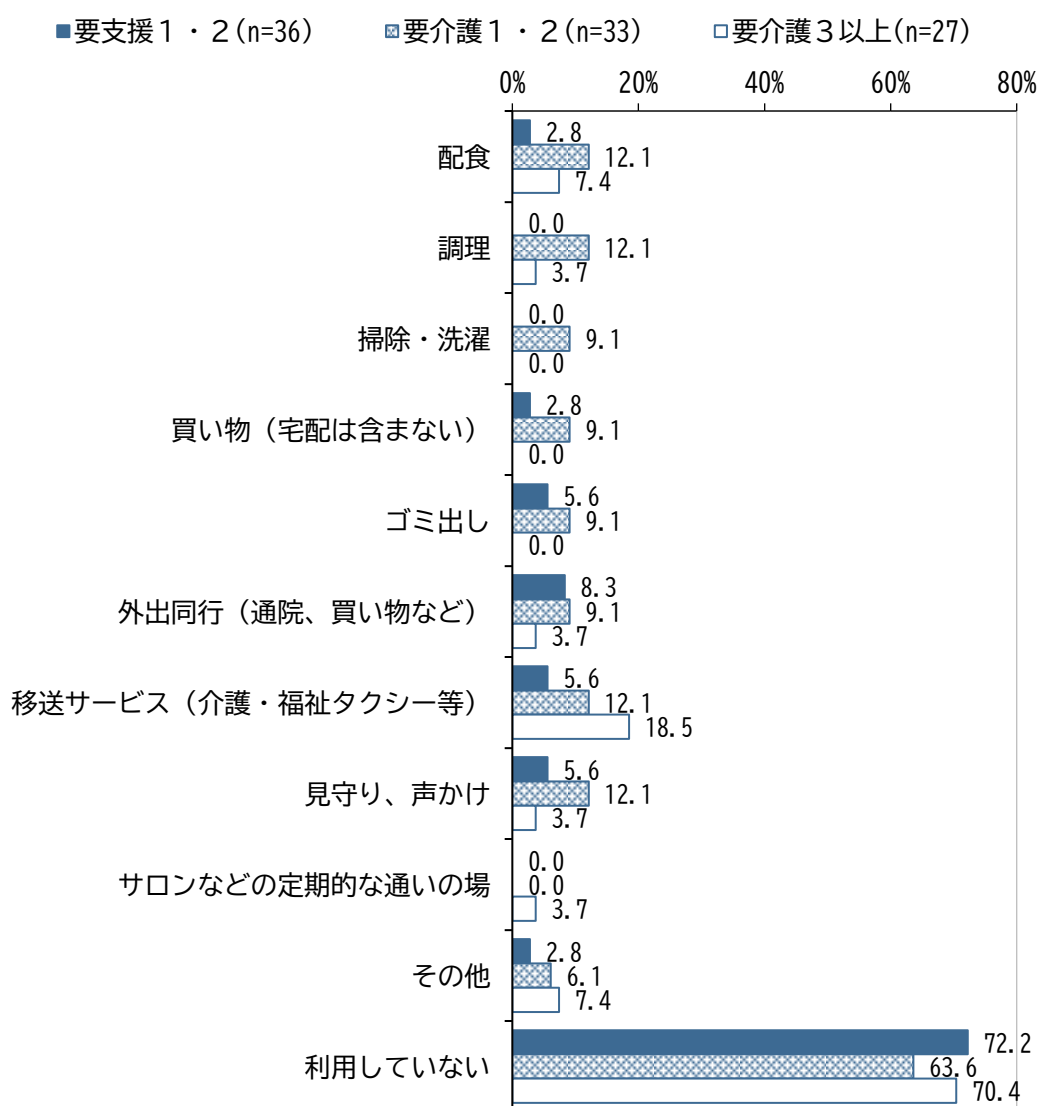
iv) 要介護度別でみる保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「利用していない」が72.2%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が8.3%、「ゴミ出し」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」がいずれも5.6%となっています。

要介護1・2では「利用していない」が63.6%と最も割合が高く、次いで「配食」、「調理」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」がいずれも12.1%となっています。

要介護3以上では「利用していない」が70.4%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が18.5%、「配食」、「その他」がいずれも7.4%となっています。

図表 4-2-64 保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯） 要介護度別



④ 「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」

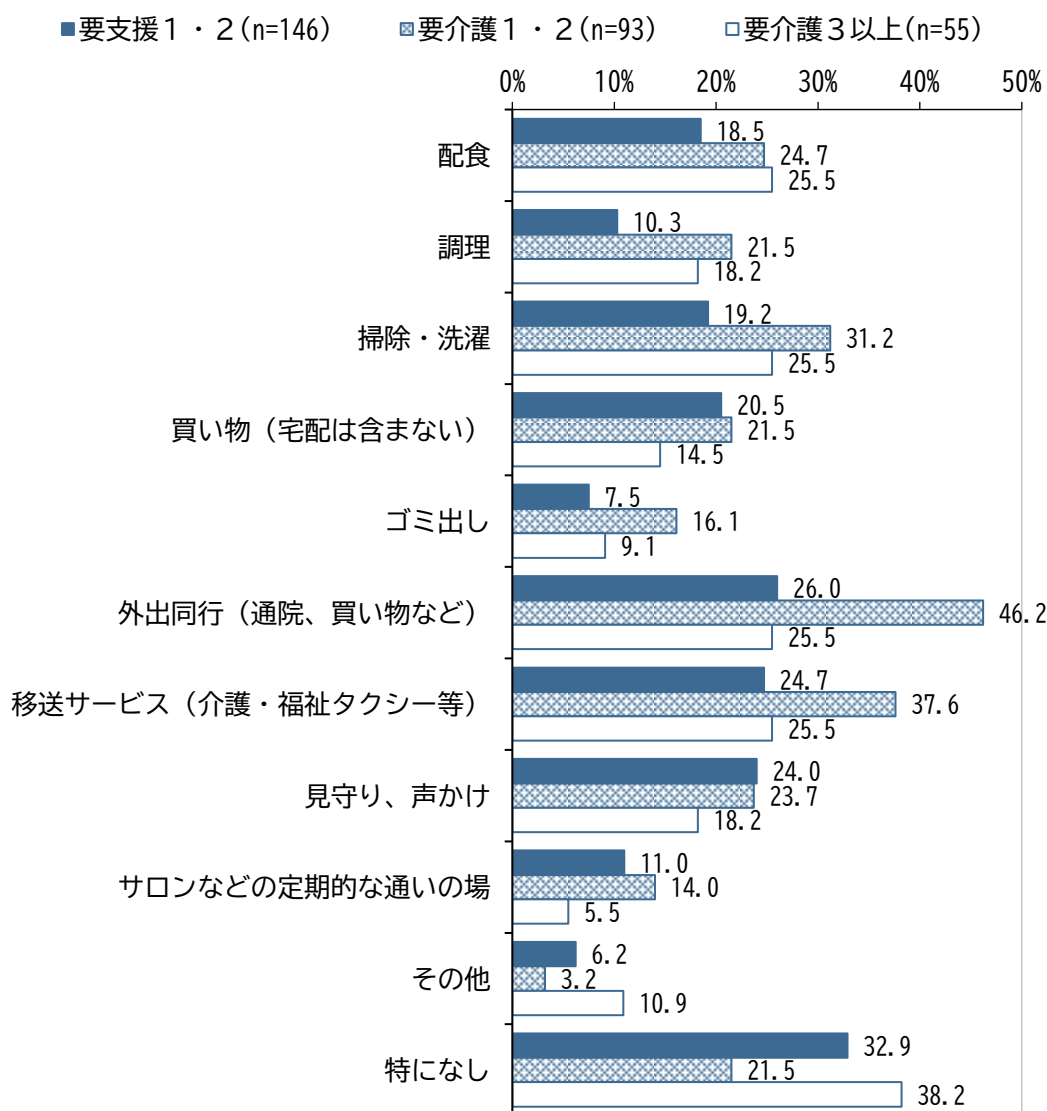
i) 要介護度別でみる在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「特になし」が32.9%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が26.0%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が24.7%となっています。

要介護1・2では「外出同行（通院、買い物など）」が46.2%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が37.6%、「掃除・洗濯」が31.2%となっています。

要介護3以上では「特になし」が38.2%と最も割合が高く、次いで「配食」、「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がいずれも25.5%となっています。

図表 4-2-65 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 要介護度別



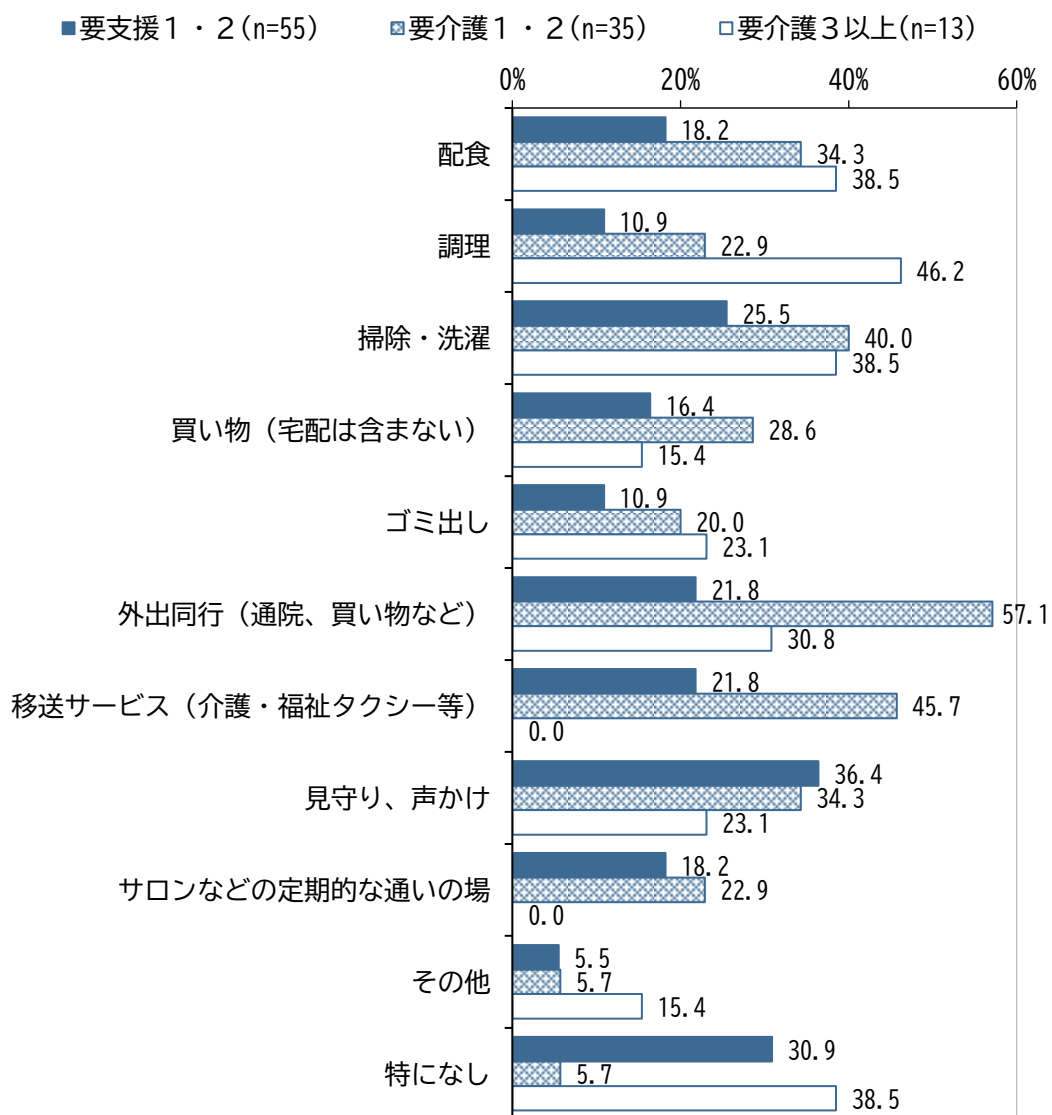
ii) 要介護度別でみる在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「見守り、声かけ」が36.4%と最も割合が高く、次いで「特になし」が30.9%、「掃除・洗濯」が25.5%となっています。

要介護1・2では「外出同行（通院、買い物など）」が57.1%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が45.7%、「掃除・洗濯」が40.0%となっています。

要介護3以上では「調理」が46.2%と最も割合が高く、次いで「配食」、「掃除・洗濯」、「特になし」がいずれも38.5%となっています。

図表 4-2-66 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯） 要介護度別



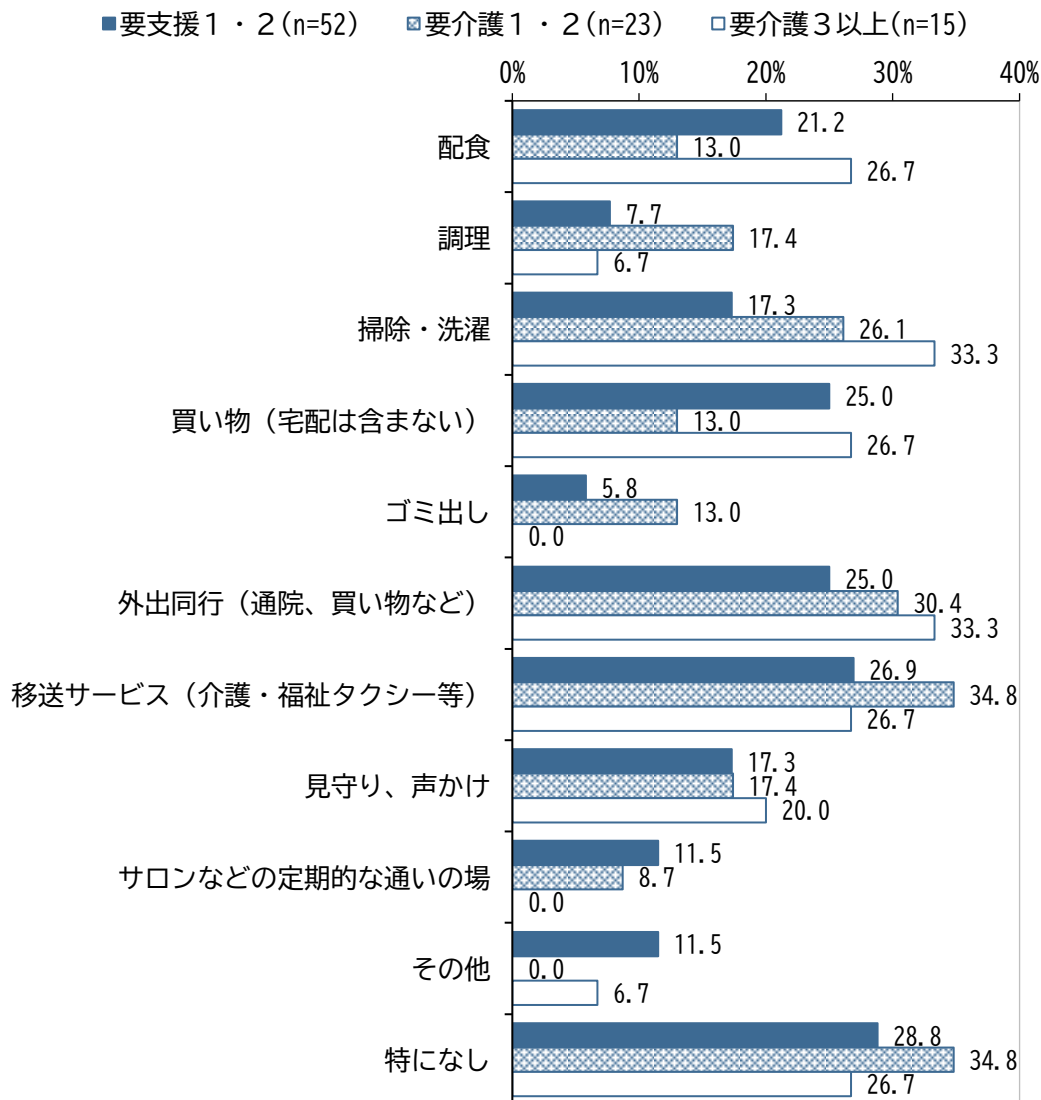
iii) 要介護度別でみる在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「特になし」が28.8%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が26.9%、「買い物（宅配は含まない）」、「外出同行（通院、買い物など）」がいずれも25.0%となっています。

要介護1・2では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「特になし」がいずれも34.8%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が30.4%となっています。

要介護3以上では「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」がいずれも33.3%と最も割合が高く、次いで「配食」、「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「特になし」がいずれも26.7%となっています。

図表 4-2-67 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯） 要介護度別



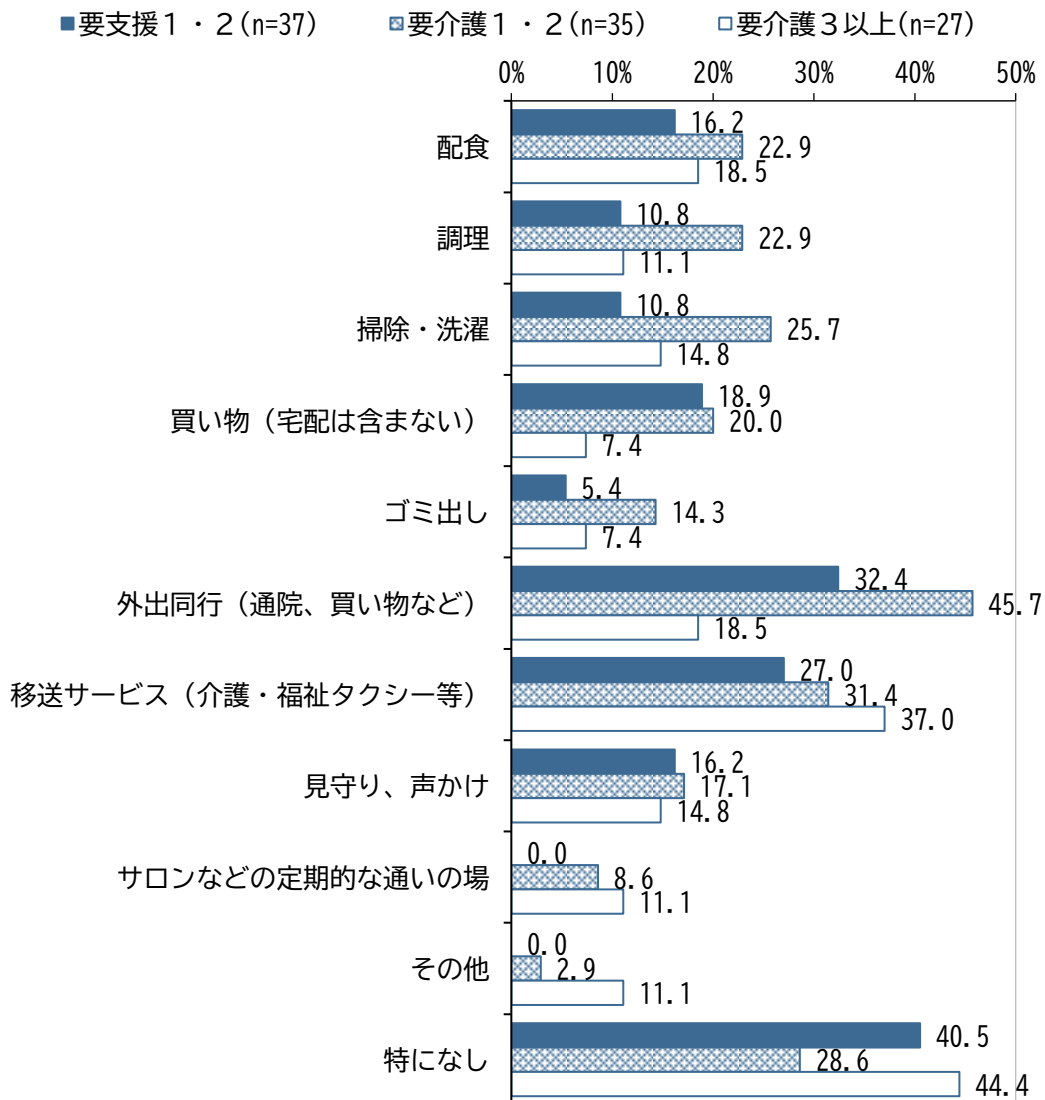
iv) 要介護度別でみる在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「特になし」が40.5%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が32.4%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.0%となっています。

要介護1・2では「外出同行（通院、買い物など）」が45.7%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.4%、「特になし」が28.6%となっています。

要介護3以上では「特になし」が44.4%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が37.0%、「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」がいずれも18.5%となっています。

図表 4-2-68 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯） 要介護度別



(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

ここでは、在宅限界点の向上のための、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、特に世帯類型別の「サービス利用の特徴」や「施設等検討の状況」に焦点を当てた集計を行っています。

① 基礎集計

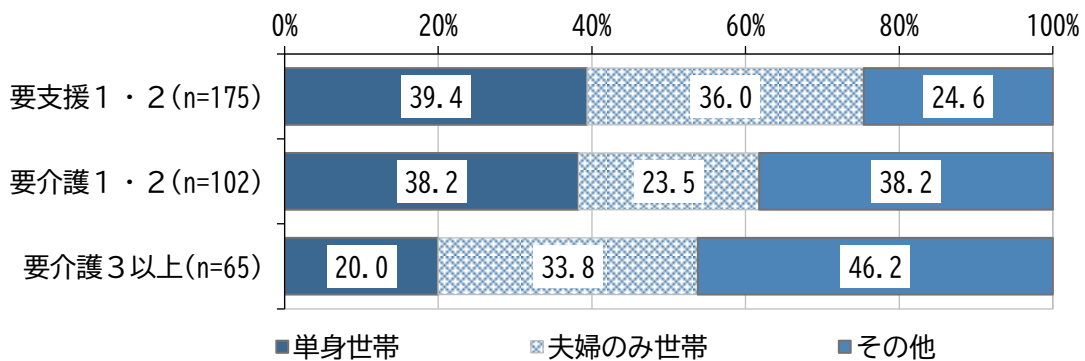
i) 要介護度別でみる世帯類型

世帯類型を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「単身世帯」が39.4%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が36.0%、「その他」が24.6%となっています。

要介護1・2では「単身世帯」、「その他」がいずれも38.2%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が23.5%となっています。

要介護3以上では「その他」が46.2%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が33.8%、「単身世帯」が20.0%となっています。

図表 4-2-69 世帯類型 要介護度別



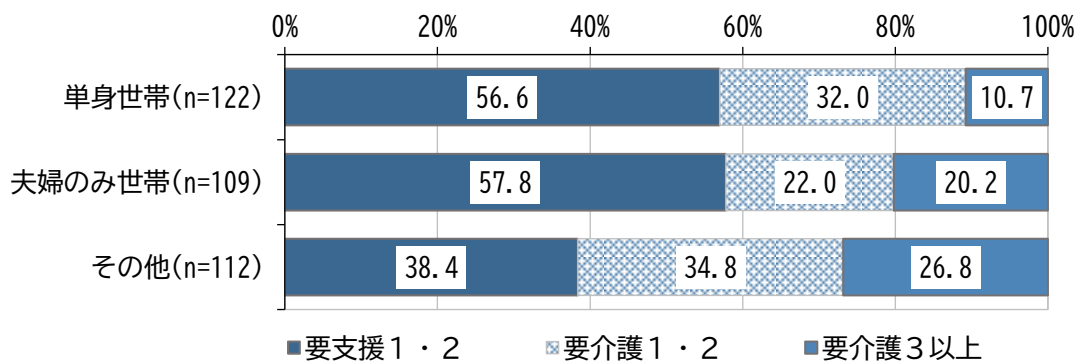
ii) 世帯類型別でみる要介護度

二次判定結果を世帯類型別にみると、単身世帯では「要支援1・2」が56.6%と最も割合が高く、次いで「要介護1・2」が32.0%、「要介護3以上」が10.7%となっています。

夫婦のみ世帯では「要支援1・2」が57.8%と最も割合が高く、次いで「要介護1・2」が22.0%、「要介護3以上」が20.2%となっています。

その他世帯では「要支援1・2」が38.4%と最も割合が高く、次いで「要介護1・2」が34.8%、「要介護3以上」が26.8%となっています。

図表 4-2-70 要介護度 世帯類型別



② 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

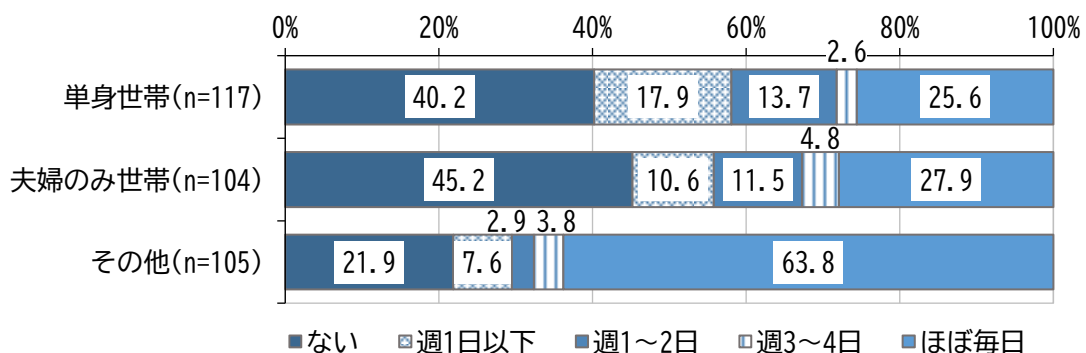
i) 世帯類型別でみる家族等による介護の頻度

家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、単身世帯では「ない」が40.2%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が25.6%、「週1日以下」が17.9%となっています。

夫婦のみ世帯では「ない」が45.2%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が27.9%、「週1～2日」が11.5%となっています。

その他世帯では「ほぼ毎日」が63.8%と最も割合が高く、次いで「ない」が21.9%、「週1日以下」が7.6%となっています。

図表 4-2-71 家族等による介護の頻度 世帯類型別

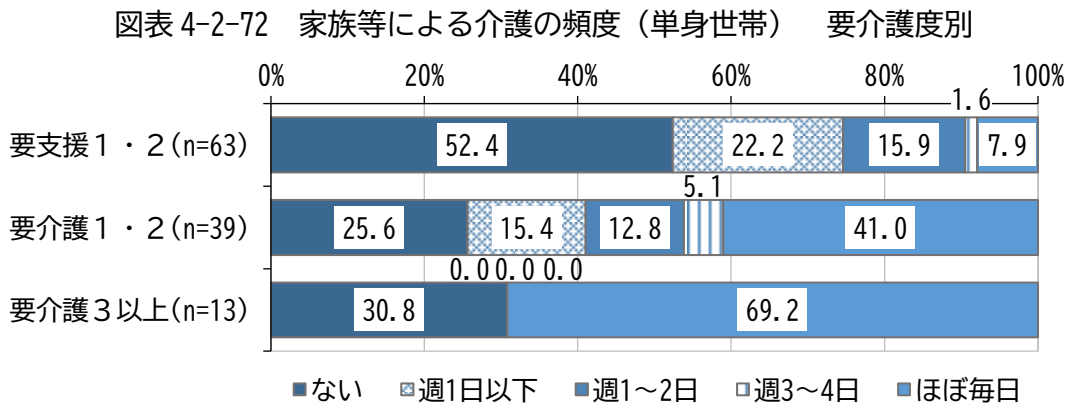


ii) 要介護度別でみる家族等による介護の頻度（単身世帯）

家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「ない」が52.4%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」が22.2%、「週1～2日」が15.9%となっています。

要介護1・2では「ほぼ毎日」が41.0%と最も割合が高く、次いで「ない」が25.6%、「週1日以下」が15.4%となっています。

要介護3以上では「ほぼ毎日」が69.2%と最も割合が高く、次いで「ない」が30.8%となっています。

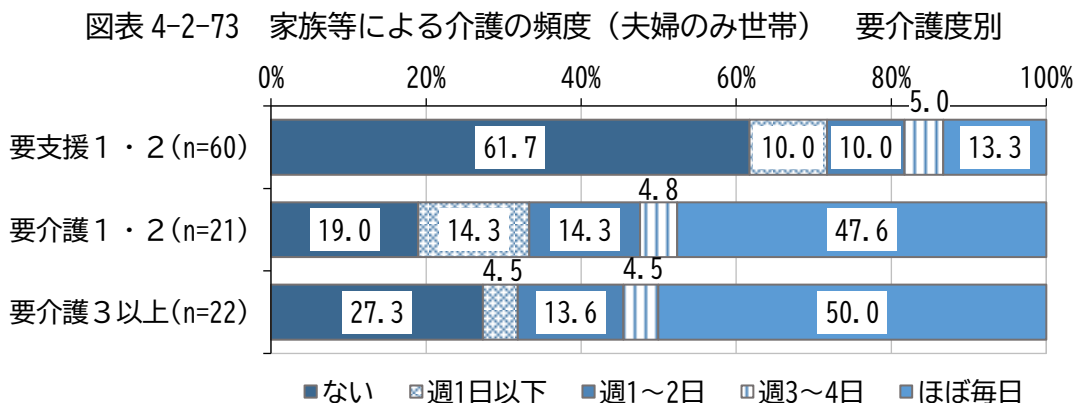


iii) 要介護度別でみる家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）

家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「ない」が61.7%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が13.3%、「週1日以下」、「週1～2日」がいずれも10.0%となっています。

要介護1・2では「ほぼ毎日」が47.6%と最も割合が高く、次いで「ない」が19.0%、「週1日以下」、「週1～2日」がいずれも14.3%となっています。

要介護3以上では「ほぼ毎日」が50.0%と最も割合が高く、次いで「ない」が27.3%、「週1～2日」が13.6%となっています。

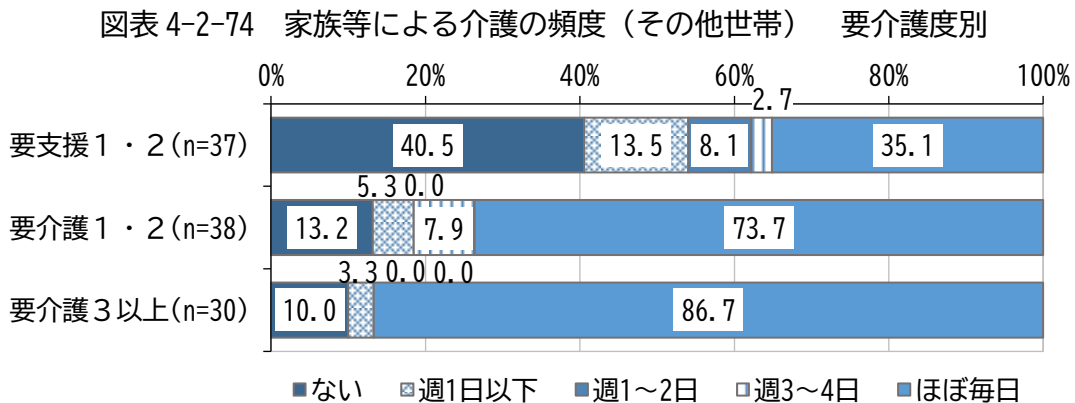


iv) 要介護度別でみる家族等による介護の頻度（その他世帯）

家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「ない」が40.5%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が35.1%、「週1日以下」が13.5%となっています。

要介護1・2では「ほぼ毎日」が73.7%と最も割合が高く、次いで「ない」が13.2%、「週3～4日」が7.9%となっています。

要介護3以上では「ほぼ毎日」が86.7%と最も割合が高く、次いで「ない」が10.0%、「週1日以下」が3.3%となっています。



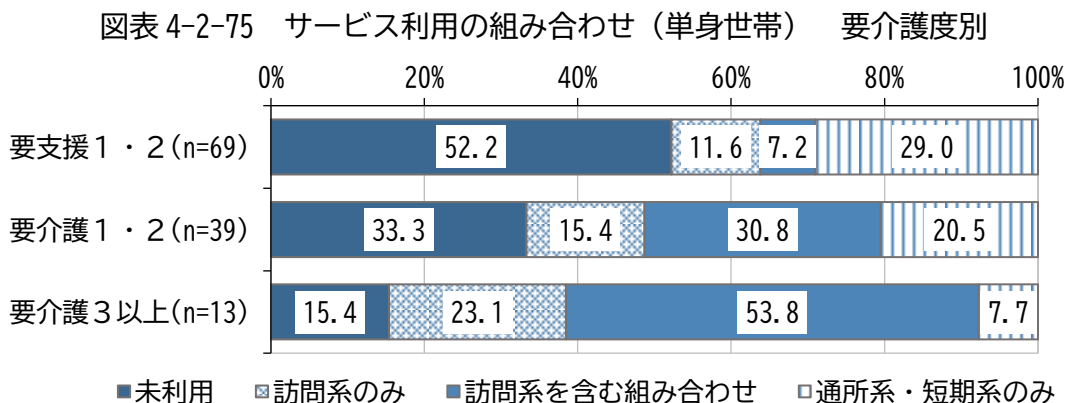
③ 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

i) 要介護度別でみるサービス利用の組み合わせ（単身世帯）

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、要支援1・2では「未利用」が52.2%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が29.0%、「訪問系のみ」が11.6%となっています。

要介護1・2では「未利用」が33.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が30.8%、「通所系・短期系のみ」が20.5%となっています。

要介護3以上では「訪問系を含む組み合わせ」が53.8%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が23.1%、「未利用」が15.4%となっています。

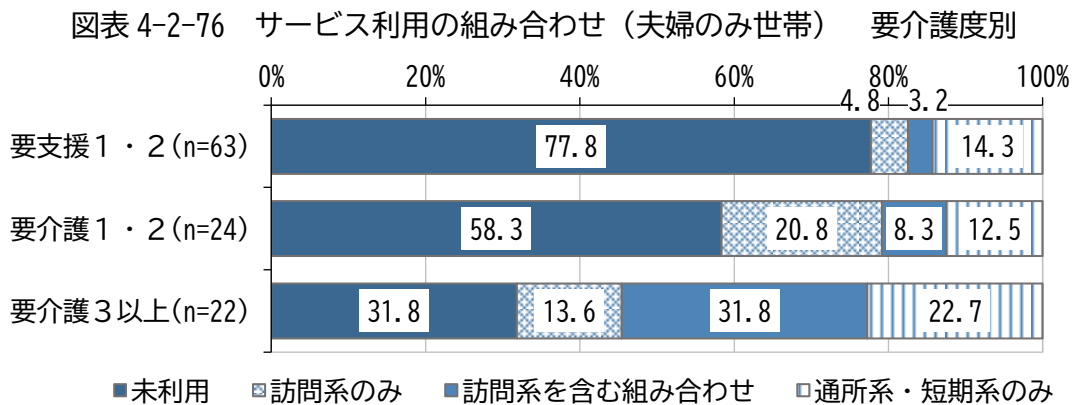


ii) 要介護度別でみるサービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、要支援1・2では「未利用」が77.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が14.3%、「訪問系のみ」が4.8%となっています。

要介護1・2では「未利用」が58.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が20.8%、「通所系・短期系のみ」が12.5%となっています。

要介護3以上では「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」がいずれも31.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が22.7%となっています。

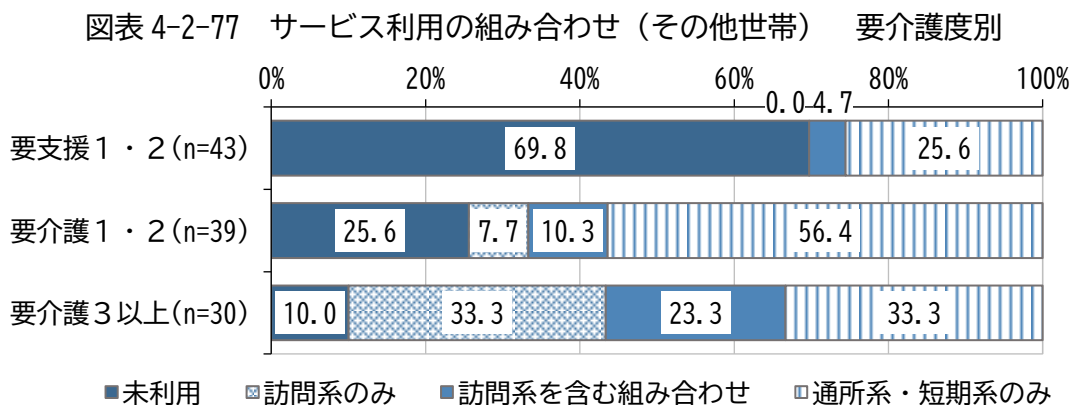


iii) 要介護度別でみるサービス利用の組み合わせ（その他世帯）

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、要支援1・2では「未利用」が69.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が25.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が4.7%となっています。

要介護1・2では「通所系・短期系のみ」が56.4%と最も割合が高く、次いで「未利用」が25.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が10.3%となっています。

要介護3以上では「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」がいずれも33.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.3%となっています。

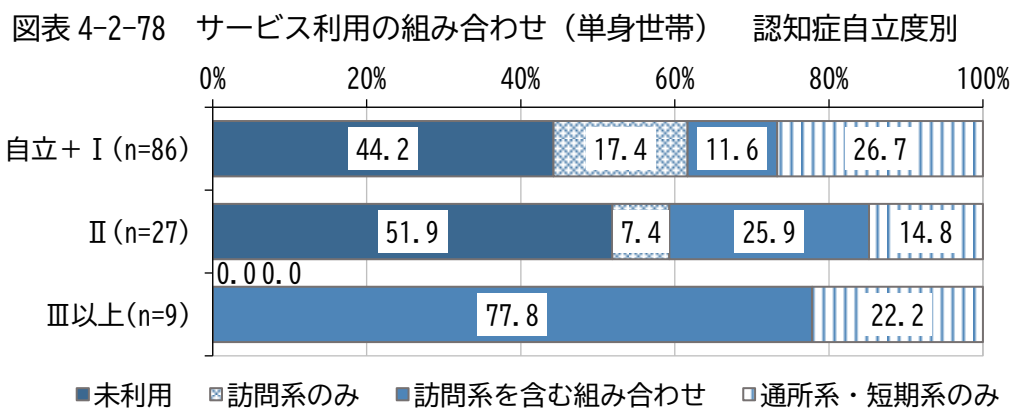


iv) 認知症自立度別でみるサービス利用の組み合わせ（単身世帯）

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+ I では「未利用」が44.2%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が26.7%、「訪問系のみ」が17.4%となっています。

認知症自立度IIでは「未利用」が51.9%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が25.9%、「通所系・短期系のみ」が14.8%となっています。

認知症自立度III以上では「訪問系を含む組み合わせ」が77.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が22.2%となっています。

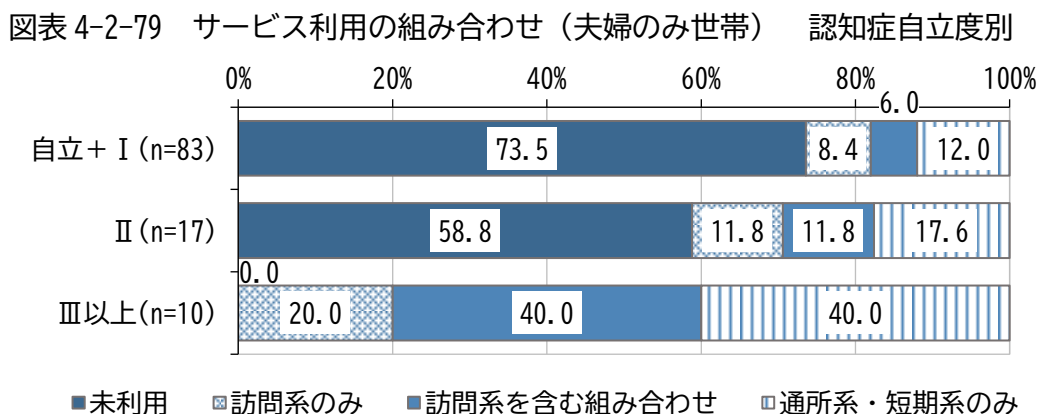


v) 認知症自立度別でみるサービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+ I では「未利用」が73.5%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が12.0%、「訪問系のみ」が8.4%となっています。

認知症自立度IIでは「未利用」が58.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が17.6%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」がいずれも11.8%となっています。

認知症自立度III以上では「訪問系を含む組み合わせ」、「通所系・短期系のみ」が40.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が20.0%となっています。

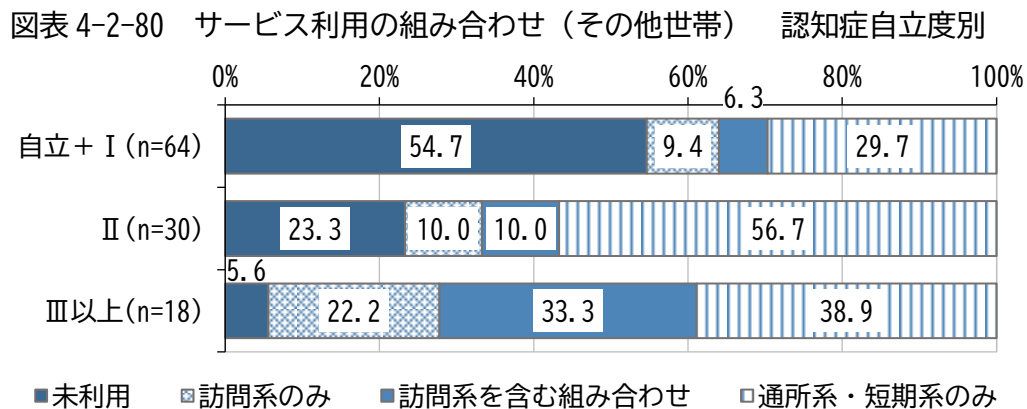


vi) 認知症自立度別でみるサービス利用の組み合わせ（その他世帯）

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+ I では「未利用」が54.7%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が29.7%、「訪問系のみ」が9.4%となっています。

認知症自立度Ⅱでは「通所系・短期系のみ」が56.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」が23.3%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」がいずれも10.0%となっています。

認知症自立度Ⅲ以上では「通所系・短期系のみ」が38.9%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が33.3%、「訪問系のみ」が22.2%となっています。



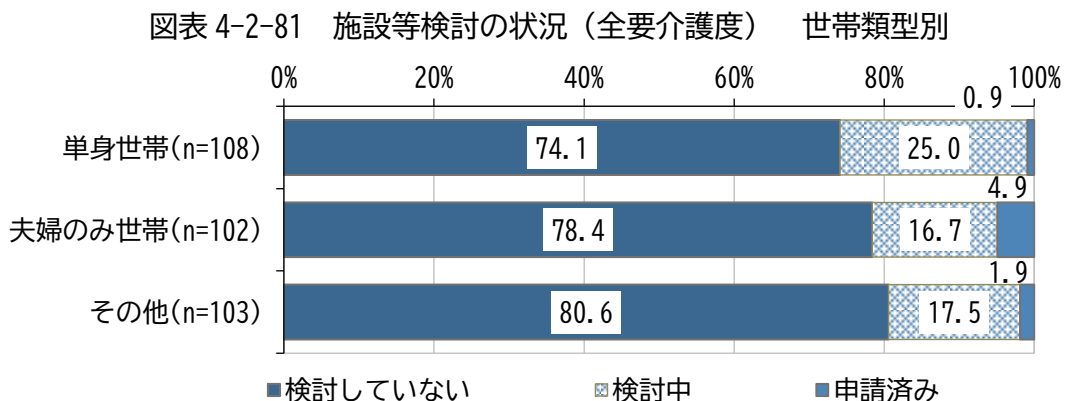
④ 「要介護度別・認知症自立度別別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

i) 世帯類型別でみる施設等検討の状況（全要介護度）

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、単身世帯では「検討していない」が74.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が25.0%、「申請済み」が0.9%となっています。

夫婦のみ世帯では「検討していない」が78.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が16.7%、「申請済み」が4.9%となっています。

その他世帯では「検討していない」が80.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が17.5%、「申請済み」が1.9%となっています。

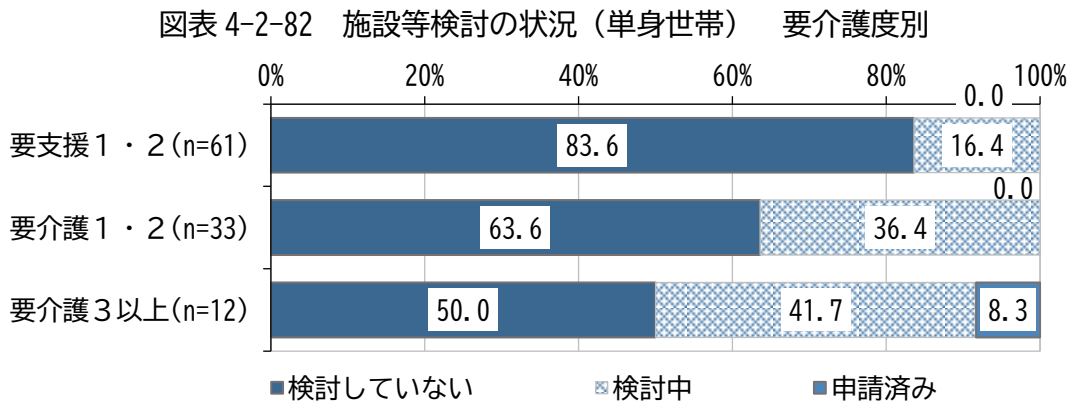


ii) 要介護度別でみる施設等検討の状況（単身世帯）

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「検討していない」が83.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が16.4%となっています。

要介護1・2では「検討していない」が63.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が36.4%となっています。

要介護3以上では「検討していない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が41.7%、「申請済み」が8.3%となっています。

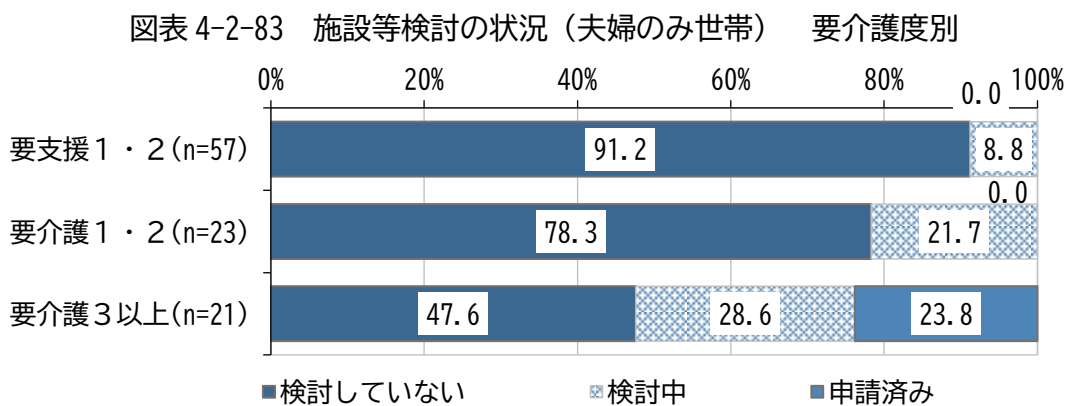


iii) 要介護度別でみる施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「検討していない」が91.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が8.8%となっています。

要介護1・2では「検討していない」が78.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が21.7%となっています。

要介護3以上では「検討していない」が47.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が28.6%、「申請済み」が23.8%となっています。

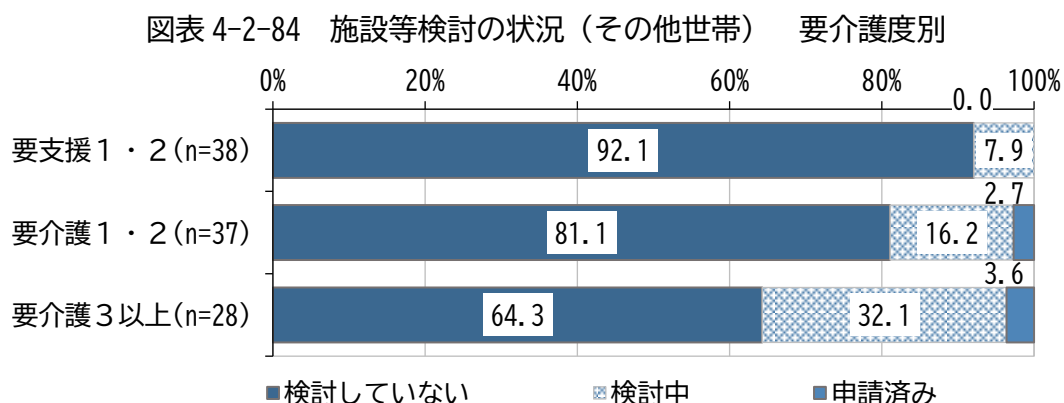


iv) 要介護度別でみる施設等検討の状況（その他世帯）

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「検討していない」が92.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が7.9%となっています。

要介護1・2では「検討していない」が81.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が16.2%、「申請済み」が2.7%となっています。

要介護3以上では「検討していない」が64.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が32.1%、「申請済み」が3.6%となっています。

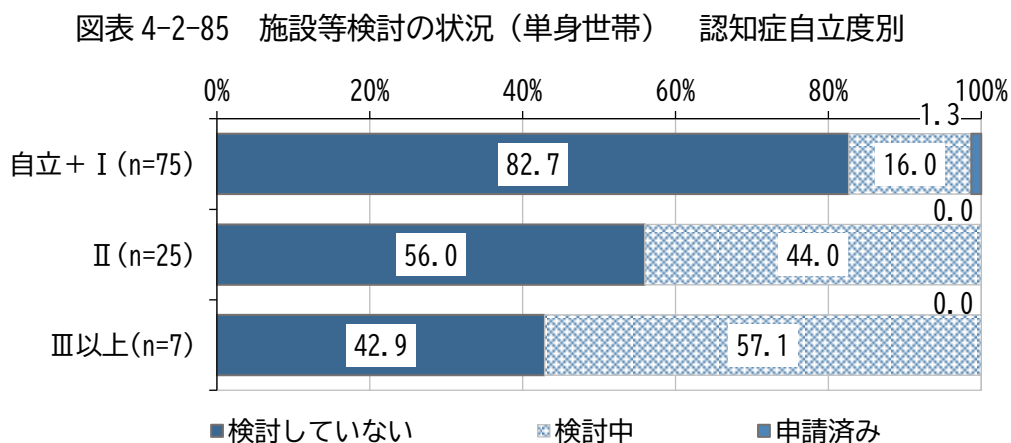


v) 認知症自立度別でみる施設等検討の状況（単身世帯）

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+Ⅰでは「検討していない」が82.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が16.0%、「申請済み」が1.3%となっています。

認知症自立度Ⅱでは「検討していない」が56.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が44.0%となっています。

認知症自立度Ⅲ以上では「検討中」が57.1%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が42.9%となっています。

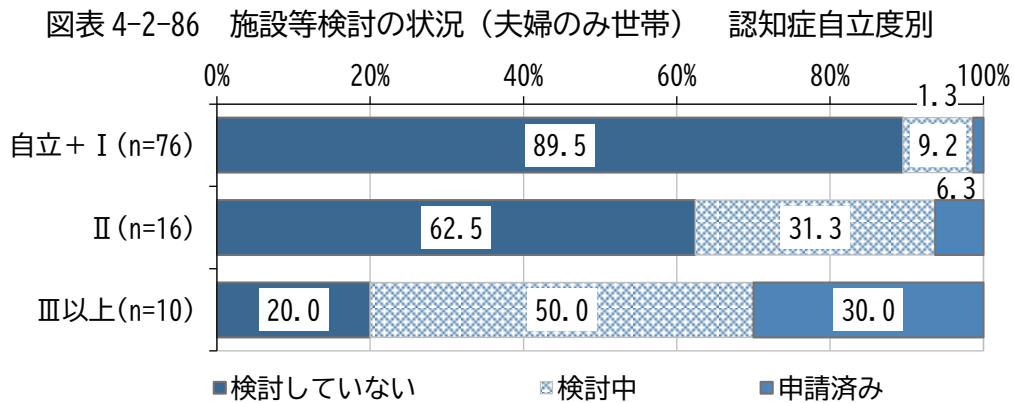


vi) 認知症自立度別でみる施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+ I では「検討していない」が89.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が9.2%、「申請済み」が1.3%となっています。

認知症自立度Ⅱでは「検討していない」が62.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が31.3%、「申請済み」が6.3%となっています。

認知症自立度Ⅲ以上では「検討中」が50.0%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が30.0%、「検討していない」が20.0%となっています。

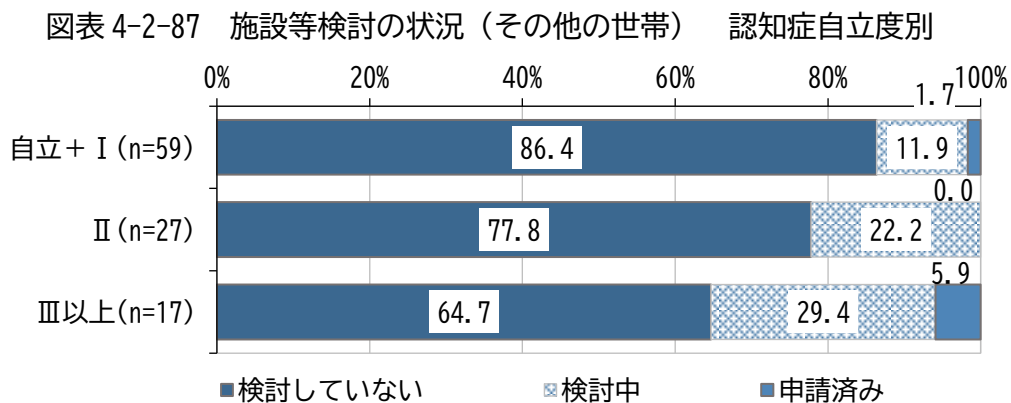


vii) 認知症自立度別でみる施設等検討の状況（その他の世帯）

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+ I では「検討していない」が86.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が11.9%、「申請済み」が1.7%となっています。

認知症自立度Ⅱでは「検討していない」が77.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が22.2%となっています。

認知症自立度Ⅲ以上では「検討していない」が64.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が29.4%、「申請済み」が5.9%となっています。



(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

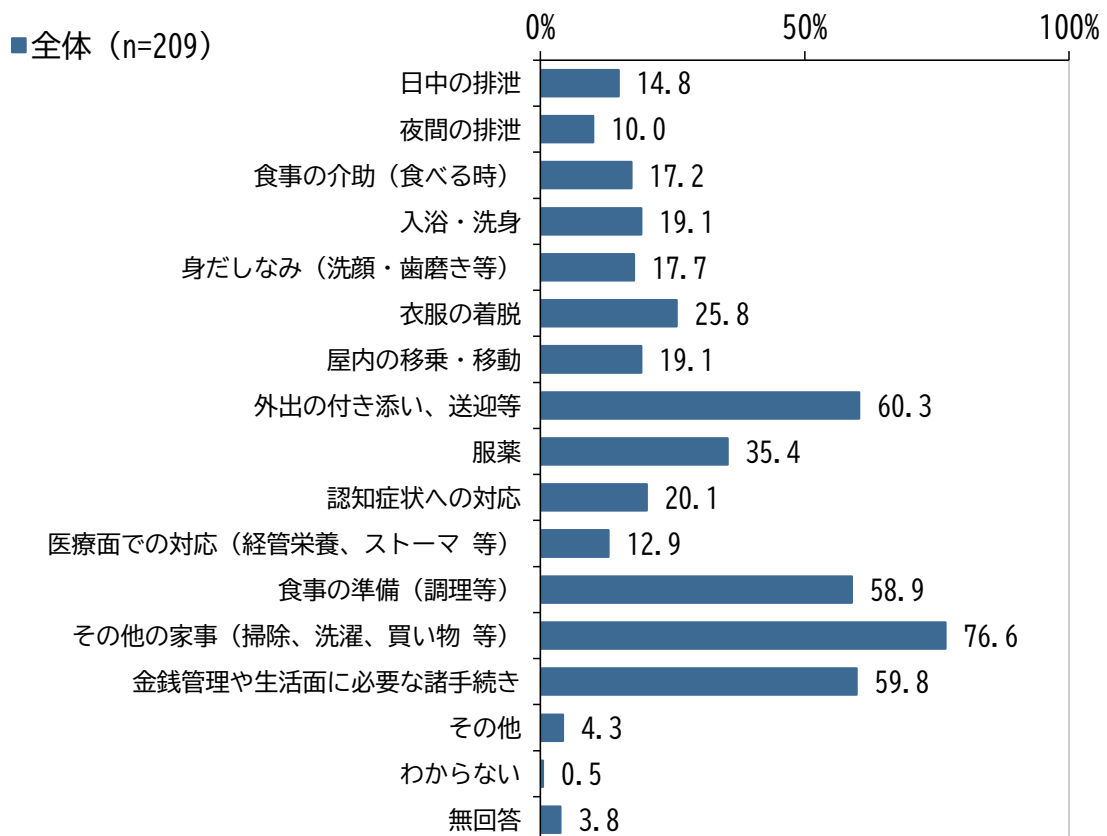
ここでは、医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの検討につなげるための集計を行います。

① 基礎集計

i) 主な介護者が行っている介護

「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」は 12.9%となっています。

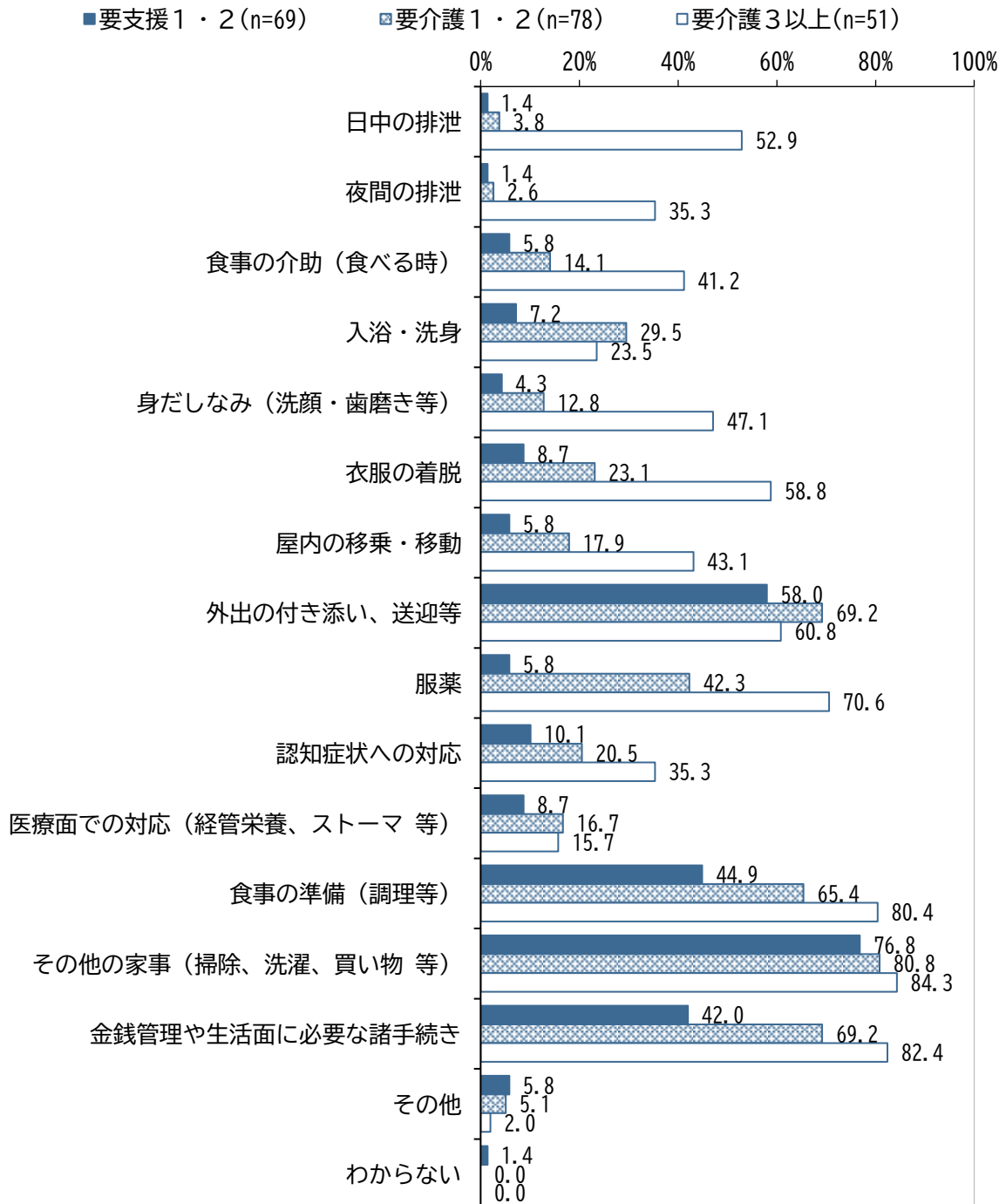
図表 4-2-88 主な介護者が行っている介護



ii) 要介護度別でみる主な介護者が行っている介護

介護者が行っている介護を二次判定結果別にみると、「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」では、要支援1・2が8.7%、要介護1・2が16.7%、要介護3以上が15.7%となっています。

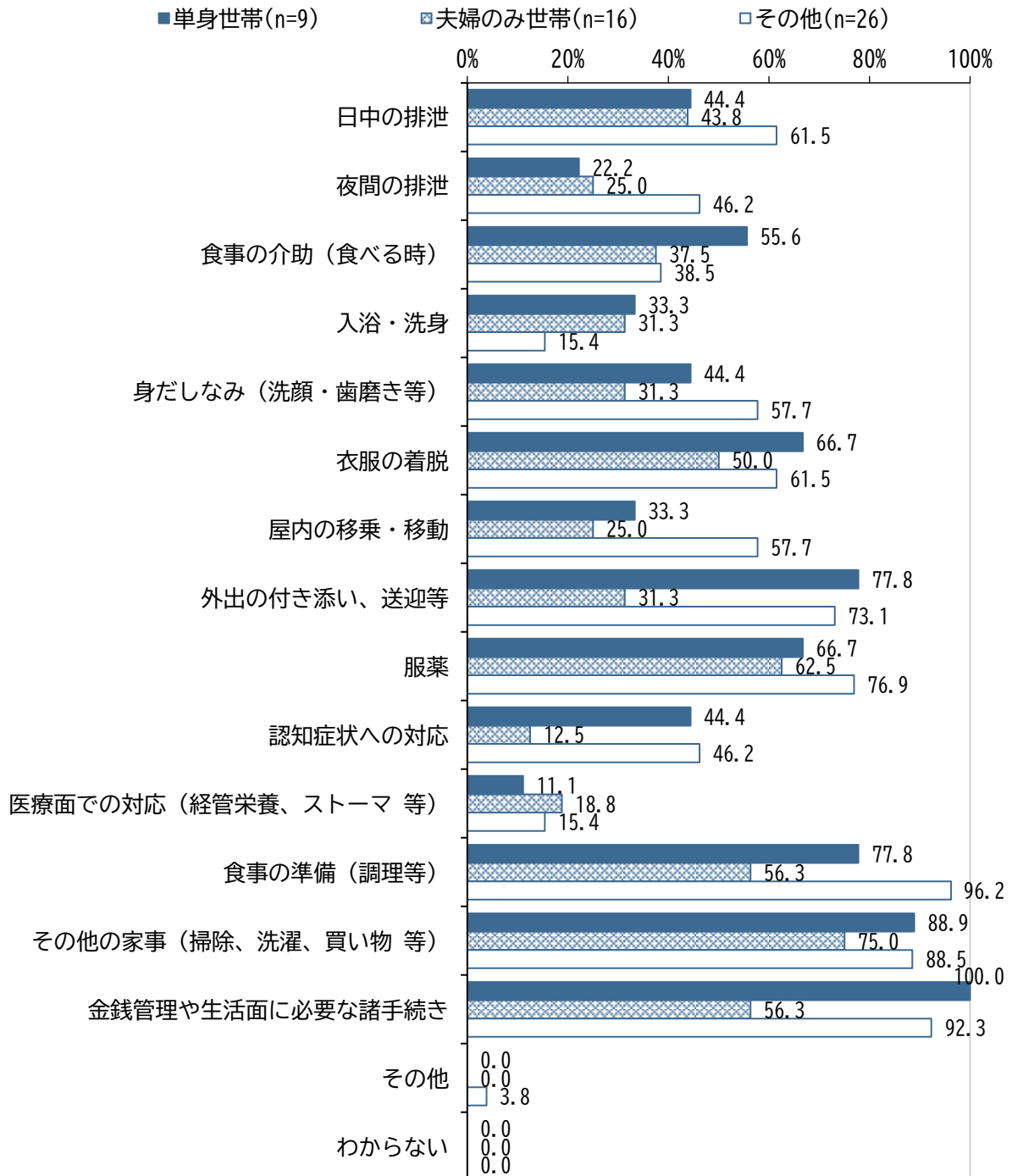
図表 4-2-89 主な介護者が行っている介護 要介護度別



iii) 世帯類型別でみる主な介護者が行っている介護（要介護3以上）

介護者が行っている介護を世帯類型別にみると、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」では、単身世帯が11.1%、夫婦のみ世帯が18.8%、その他世帯が15.4%となっています。

図表 4-2-90 主な介護者が行っている介護（要介護3以上） 世帯類型別

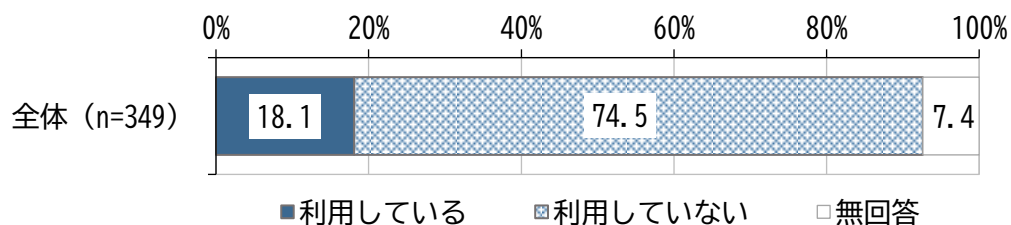


② 訪問診療の利用割合

i) 訪問診療の利用の有無

「利用していない」の割合が最も高く74.5%となっています。次いで、「利用している(18.1%)」となっています。

図表 4-2-91 訪問診療の利用の有無



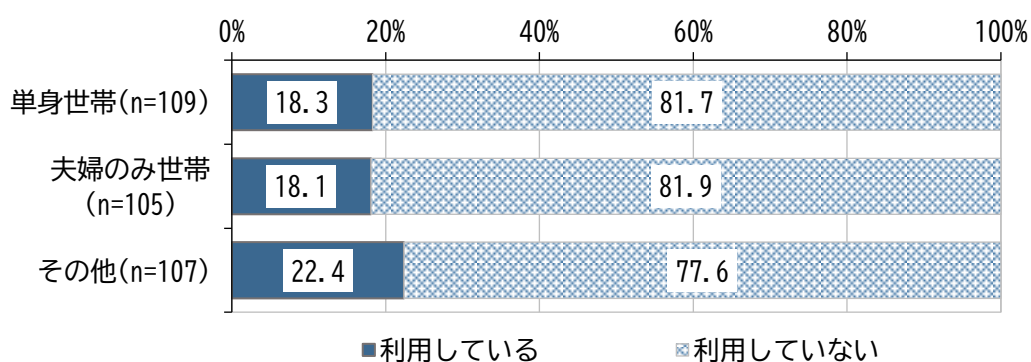
ii) 世帯類型別でみる訪問診療の利用割合

訪問診療の利用の有無を世帯類型別にみると、単身世帯では「利用していない」が81.7%と最も割合が高く、次いで「利用している」が18.3%となっています。

夫婦のみ世帯では「利用していない」が81.9%と最も割合が高く、次いで「利用している」が18.1%となっています。

その他世帯では「利用していない」が77.6%と最も割合が高く、次いで「利用している」が22.4%となっています。

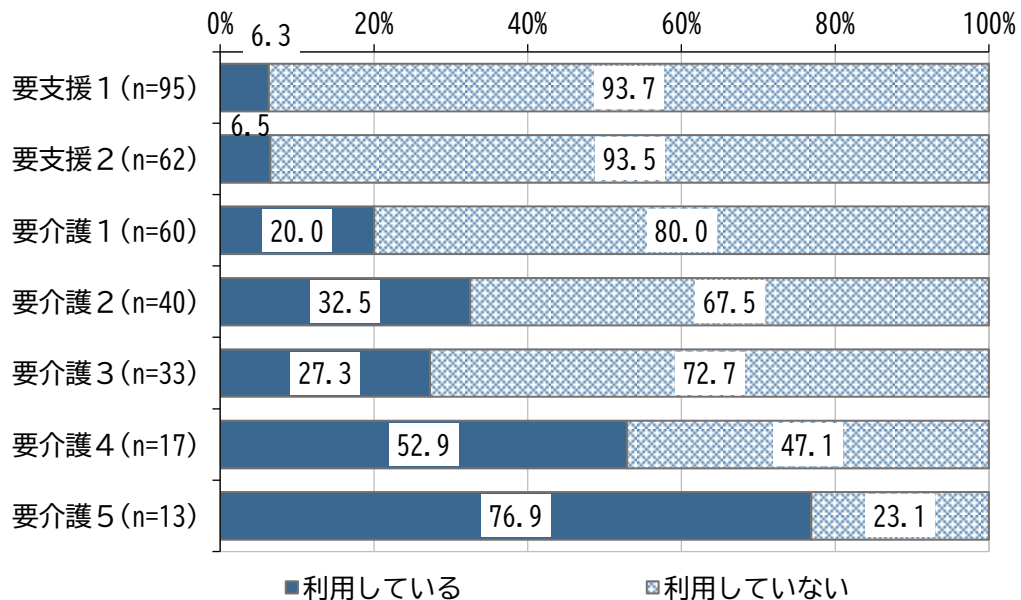
図表 4-2-92 訪問診療の利用割合 世帯類型別



iii) 要介護度別でみる訪問診療の利用割合

訪問診療の利用の有無を二次判定結果別にみると、「利用している」では、要介護度が上がるにつれて概ね割合が増加しており、要介護5が76.9%で最も高くなっています。

図表 4-2-93 訪問診療の利用割合 要介護度別



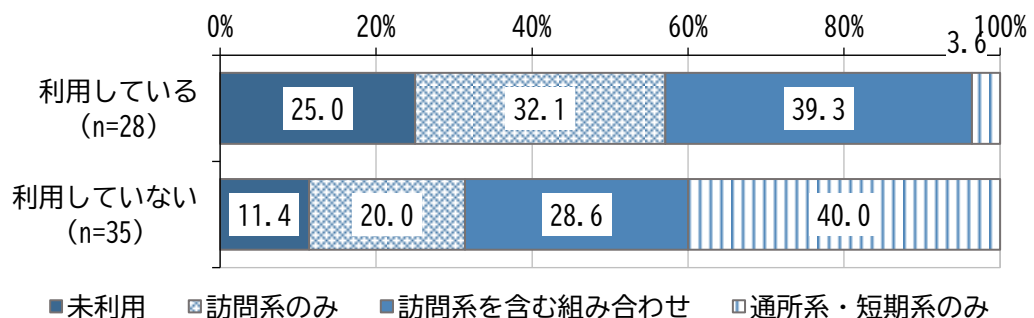
③ 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ

i) 訪問診療の利用の有無別でみるサービス利用の組み合わせ (要介護3以上)

サービス利用の組み合わせを訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系を含む組み合わせ」が39.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が32.1%、「未利用」が25.0%となっています。

「利用していない」では「通所系・短期系のみ」が40.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が28.6%、「訪問系のみ」が20.0%となっています。

図表 4-2-94 サービス利用の組み合わせ (要介護3以上) 訪問診療の利用の有無別



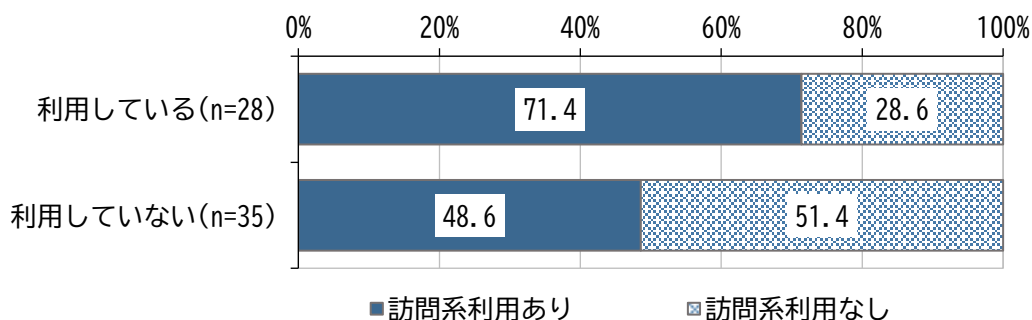
④ 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無

i) 訪問診療の利用の有無別でみるサービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）

訪問系の利用の有無を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系利用あり」が71.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系利用なし」が28.6%となっています。

「利用していない」では「訪問系利用なし」が51.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系利用あり」が48.6%となっています。

図表 4-2-95 訪問系サービスの利用の有無（要介護3以上） 訪問診療の利用の有無別

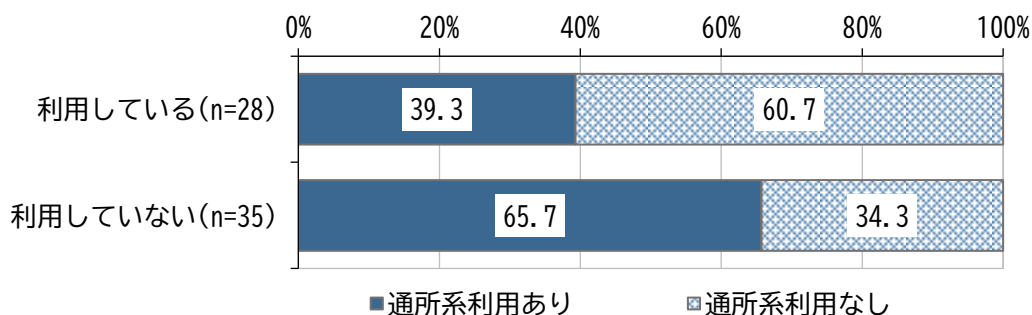


ii) 訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）

通所系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「通所系利用なし」が60.7%と最も割合が高く、次いで「通所系利用あり」が39.3%となっています。

「利用していない」では「通所系利用あり」が65.7%と最も割合が高く、次いで「通所系利用なし」が34.3%となっています。

図表 4-2-96 通所系サービスの利用の有無（要介護3以上） 訪問診療の利用の有無別

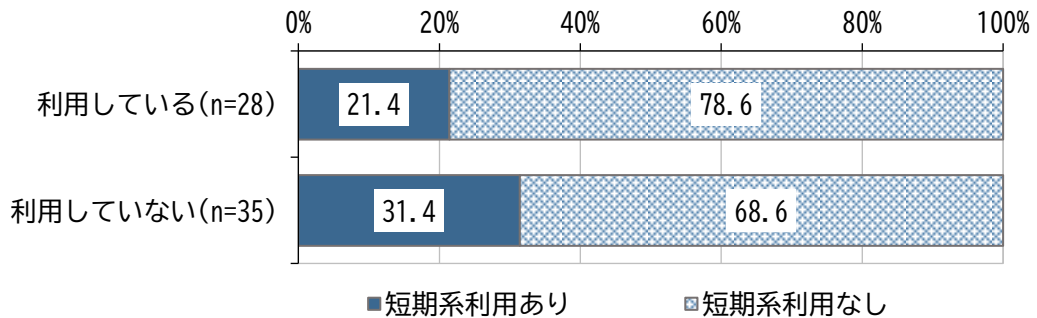


iii) 訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）

短期系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「短期系利用なし」が78.6%と最も割合が高く、次いで「短期系利用あり」が21.4%となっています。

「利用していない」では「短期系利用なし」が68.6%と最も割合が高く、次いで「短期系利用あり」が31.4%となっています。

図表 4-2-97 短期系サービス利用の有無（要介護3以上） 訪問診療の利用の有無別



(6) サービス未利用の理由など

ここでは、支援・サービスの提供体制の構築を含む各種の取組を検討する際に、参考になると考えられるいくつかの集計結果を整理しています。

① 要介護度別でみる世帯類型別のサービス未利用の理由

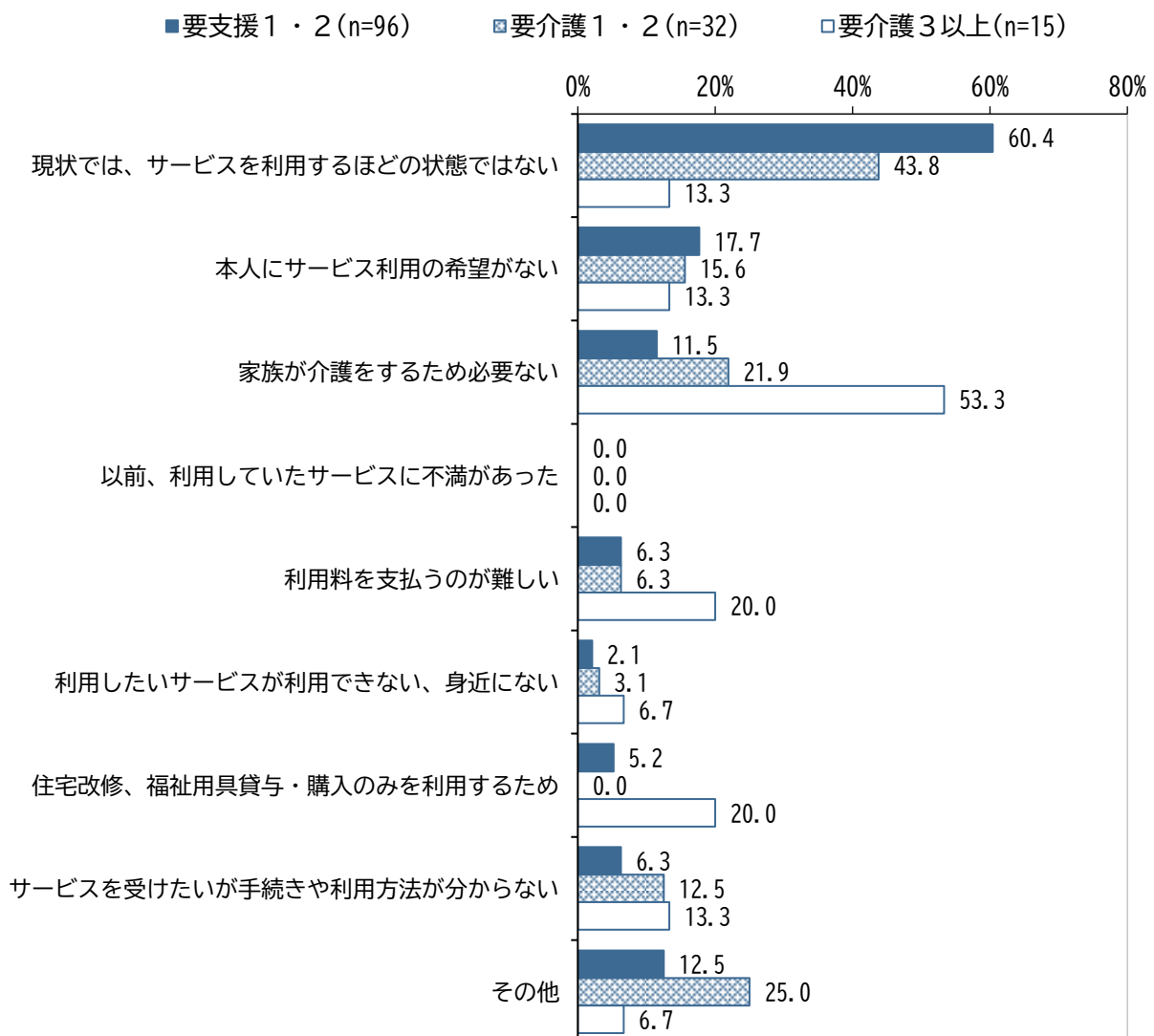
i) 要介護度別のサービス未利用の理由

未利用の理由を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が60.4%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が17.7%、「その他」が12.5%となっています。

要介護1・2では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が43.8%と最も割合が高く、次いで「その他」が25.0%、「家族が介護をするため必要ない」が21.9%となっています。

要介護3以上では「家族が介護をするため必要ない」が53.3%と最も割合が高く、次いで「利用料を支払うのが難しい」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」がいずれも20.0%となっています。

図表 4-2-98 サービス未利用の理由 要介護度別



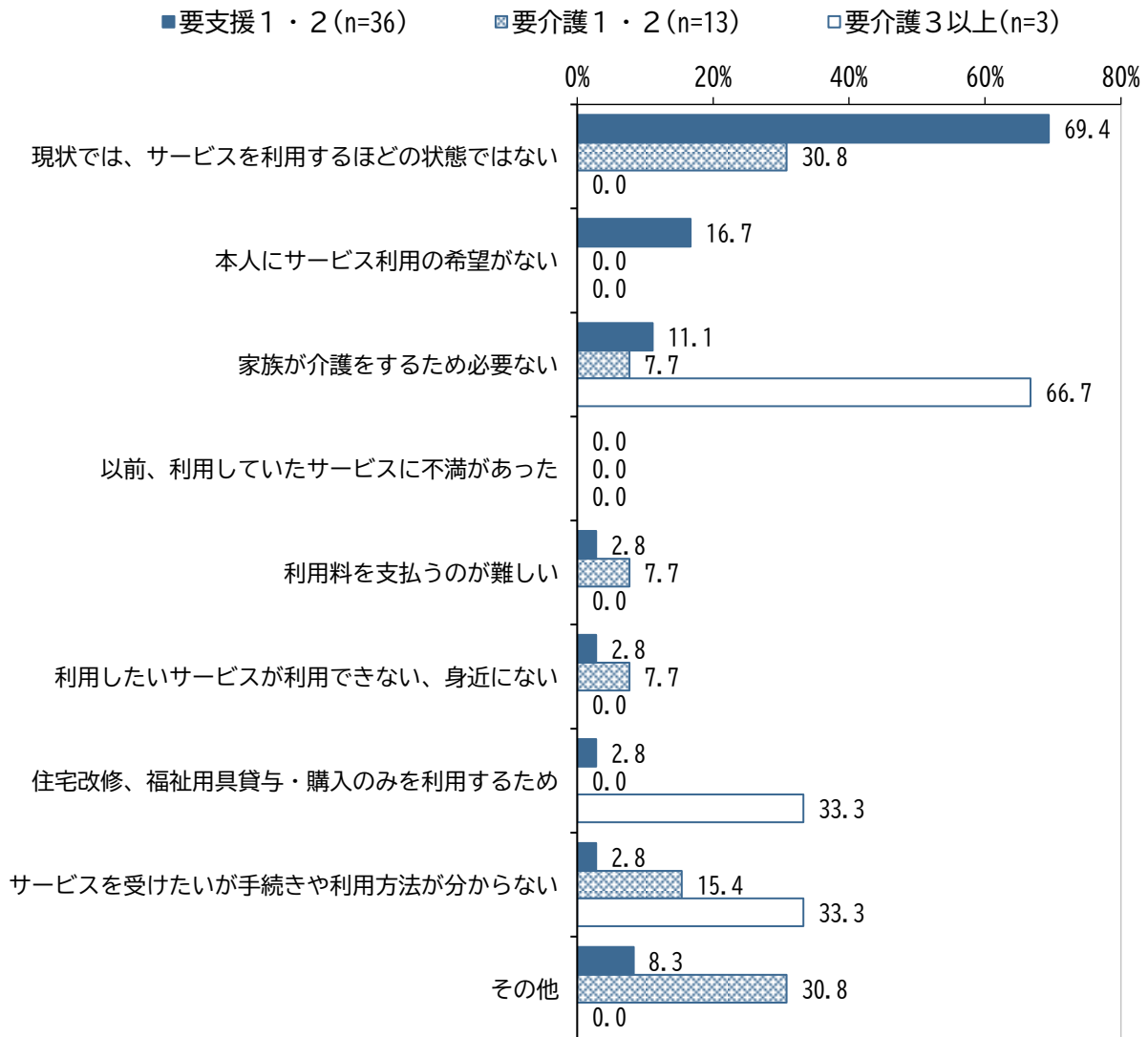
ii) 要介護度別のサービス未利用の理由（単身世帯）

未利用の理由を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が69.4%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が16.7%、「家族が介護をするため必要ない」が11.1%となっています。

要介護1・2では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「その他」がいずれも30.8%と最も割合が高く、次いで「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が15.4%となっています。

要介護3以上では「家族が介護をするため必要ない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」がいずれも33.3%となっています。

図表 4-2-99 サービス未利用の理由（単身世帯） 要介護度別



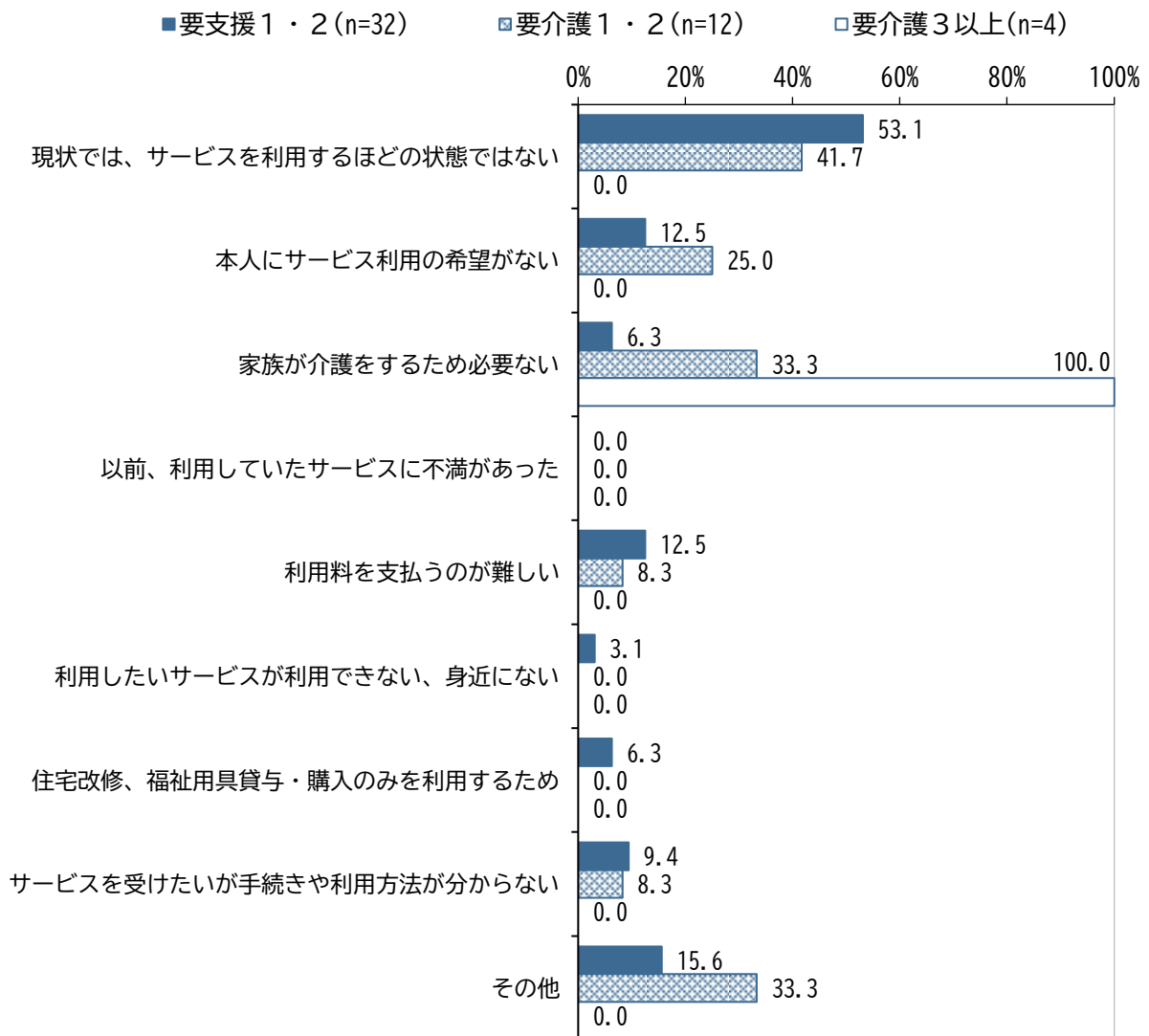
iii) 要介護度別のサービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）

未利用の理由を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が53.1%と最も割合が高く、次いで「その他」が15.6%、「本人にサービス利用の希望がない」、「利用料を支払うのが難しい」がいずれも12.5%となっています。

要介護1・2では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が41.7%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」、「その他」がいずれも33.3%となっています。

要介護3以上では「家族が介護をするため必要ない」が100.0%と最も割合が高くなっています。

図表 4-2-100 サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯） 要介護度別



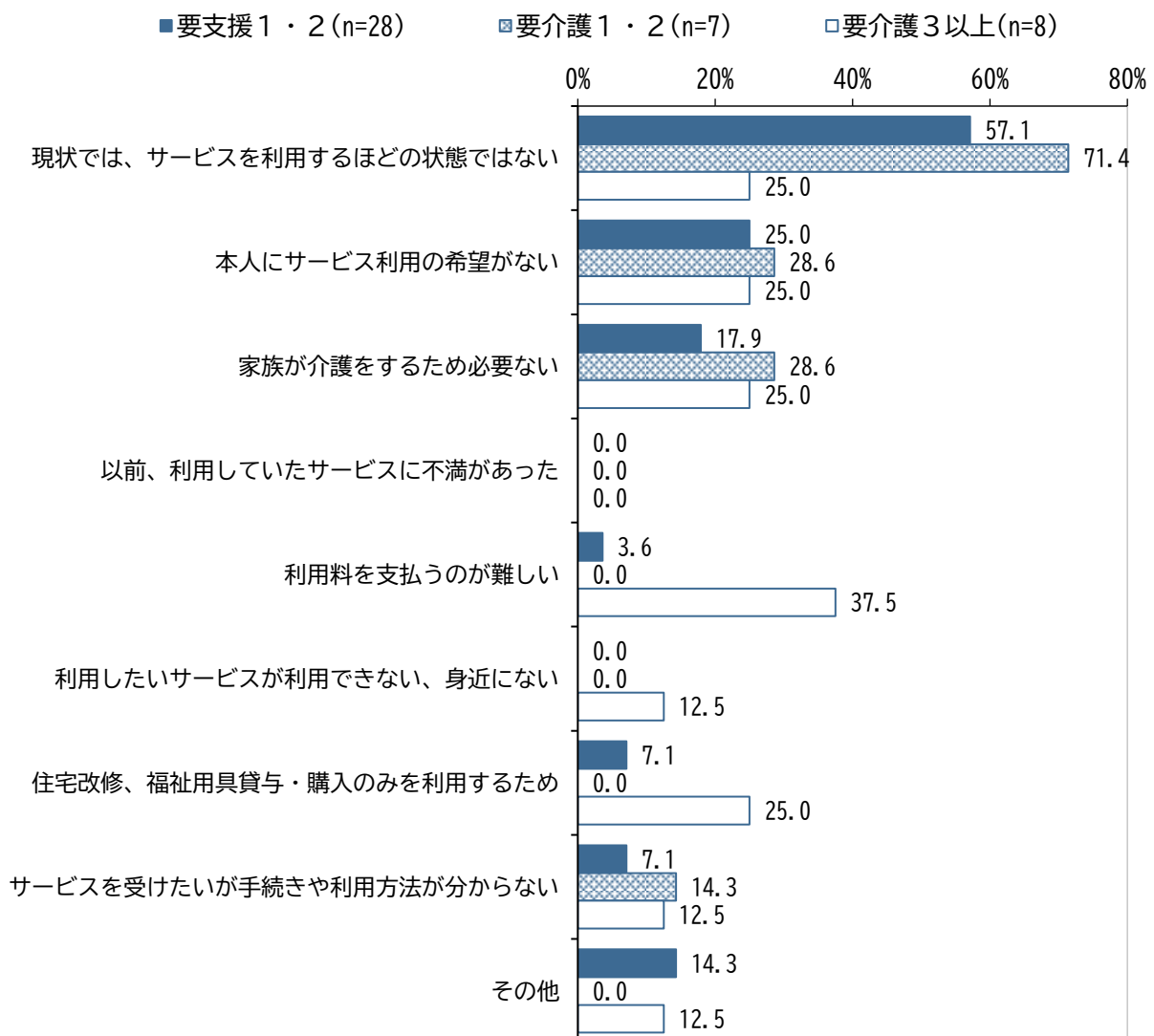
iv) 要介護度別のサービス未利用の理由（その他世帯）

未利用の理由を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が57.1%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が25.0%、「家族が介護をするため必要ない」が17.9%となっています。

要介護1・2では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が71.4%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」がいずれも28.6%となっています。

要介護3以上では「利用料を支払うのが難しい」が37.5%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」がいずれも25.0%となっています。

図表 4-2-101 サービス未利用の理由（その他世帯） 要介護度別



② 認知症自立度別でみる世帯類型別のサービス未利用の理由

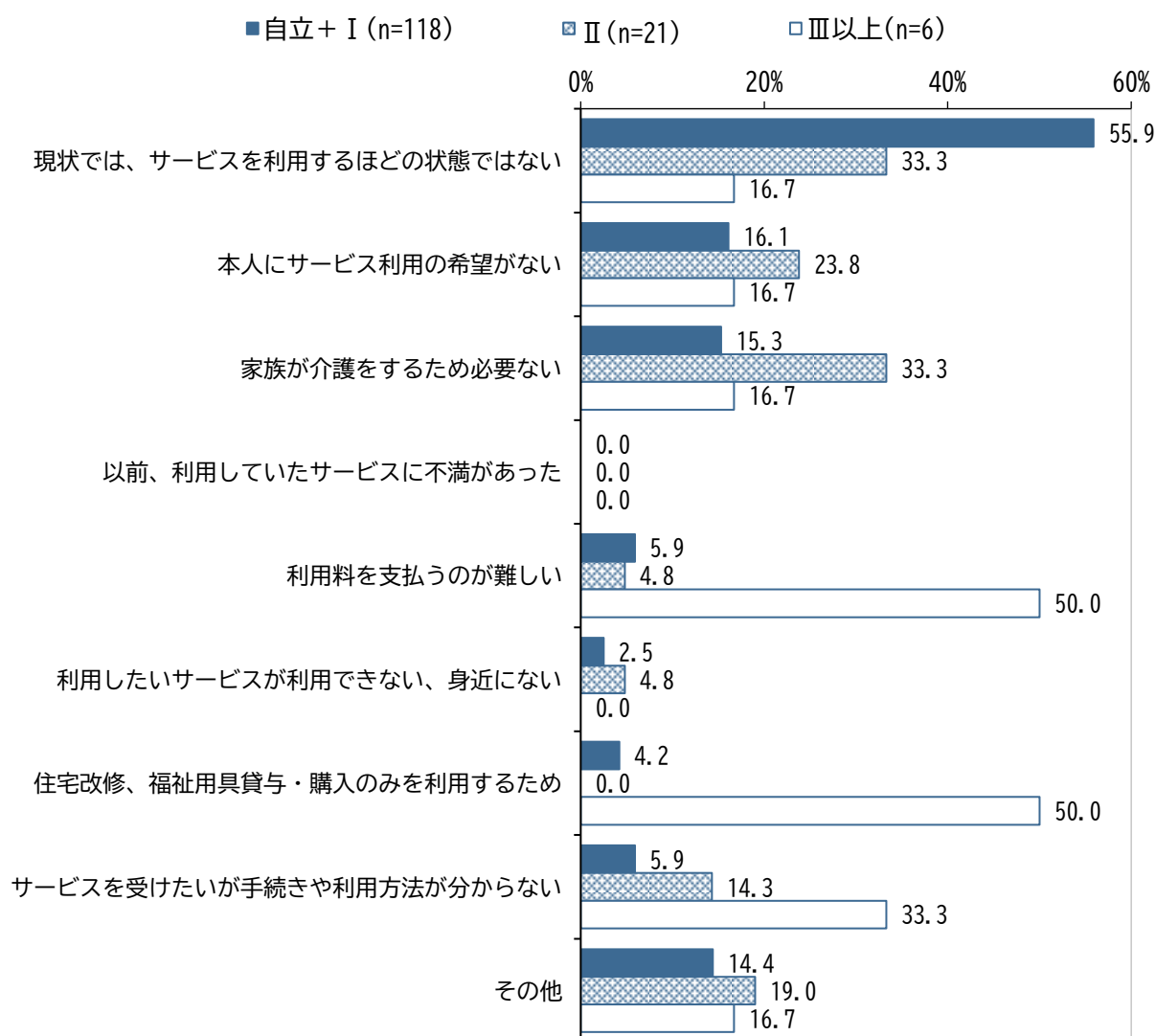
i) 認知症自立度別のサービス未利用の理由

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+Ⅰでは「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が55.9%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が16.1%、「家族が介護をするため必要ない」が15.3%となっています。

認知症自立度Ⅱでは「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」がいずれも33.3%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が23.8%となっています。

認知症自立度Ⅲ以上では「利用料を支払うのが難しい」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」がいずれも50.0%と最も割合が高く、次いで「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が33.3%となっています。

図表 4-2-102 サービス未利用の理由 認知症自立度別

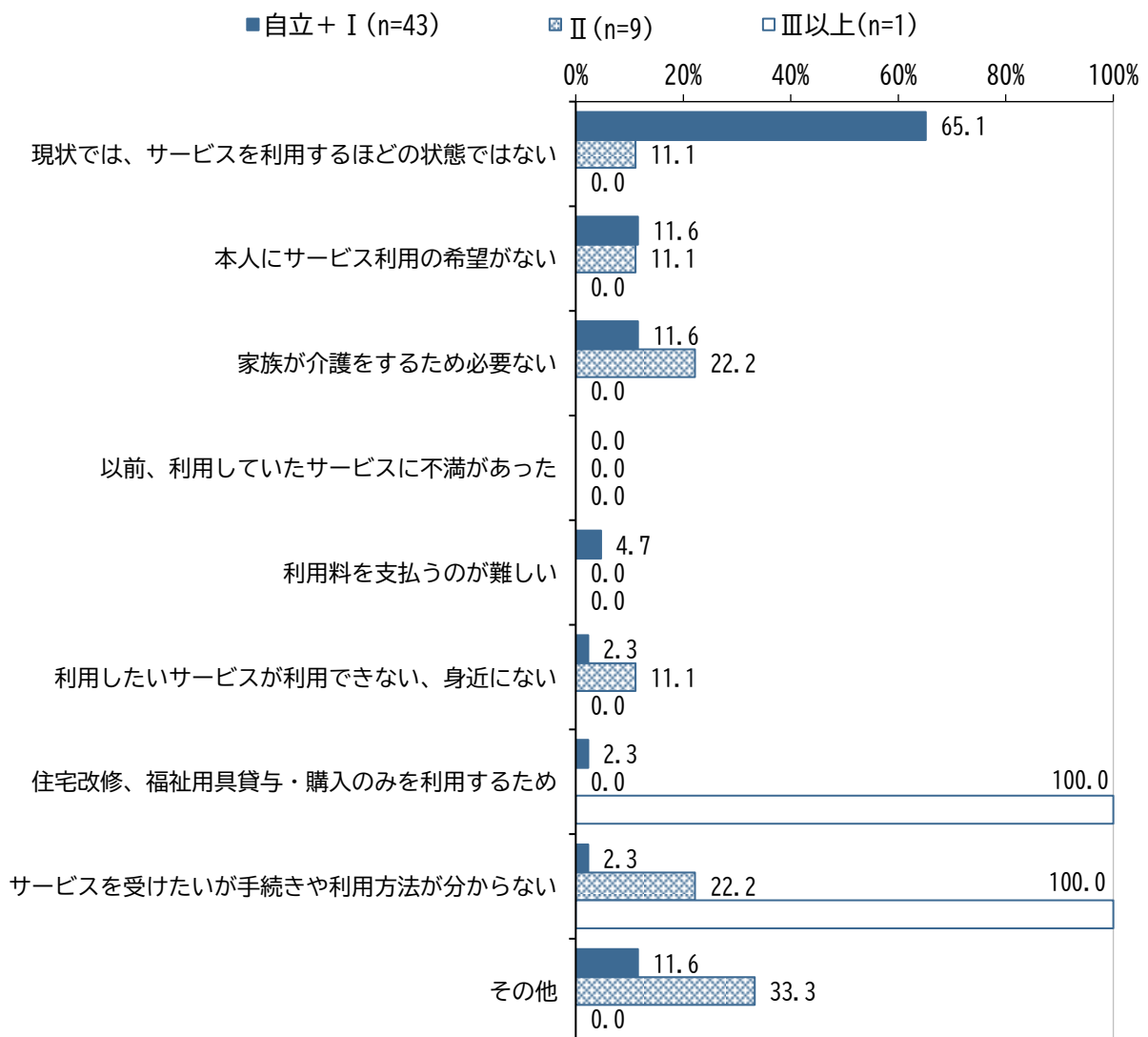


ii) 認知症自立度別のサービス未利用の理由（単身世帯）

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+ I では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 65.1%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」、「その他」がいずれも 11.6%となっています。

認知症自立度Ⅱでは「その他」が 33.3%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」がいずれも 22.2%となっています。

図表 4-2-103 サービス未利用の理由（単身世帯） 認知症自立度別

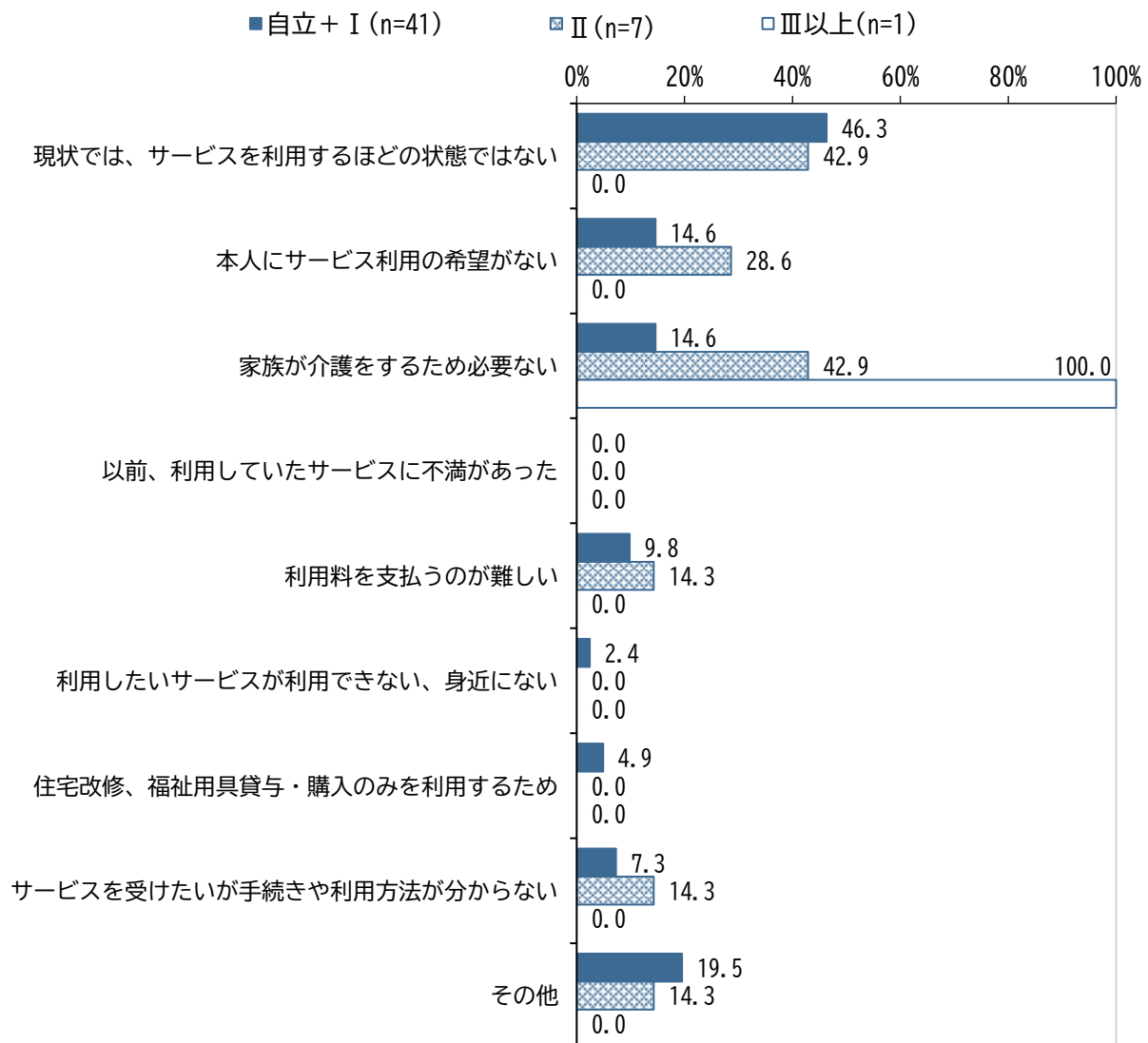


iii) 認知症自立度別のサービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+Ⅰでは「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が46.3%と最も割合が高く、次いで「その他」が19.5%、「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」がいずれも14.6%となっています。

認知症自立度Ⅱでは「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」がいずれも42.9%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が28.6%となっています。

図表 4-2-104 サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯） 認知症自立度別



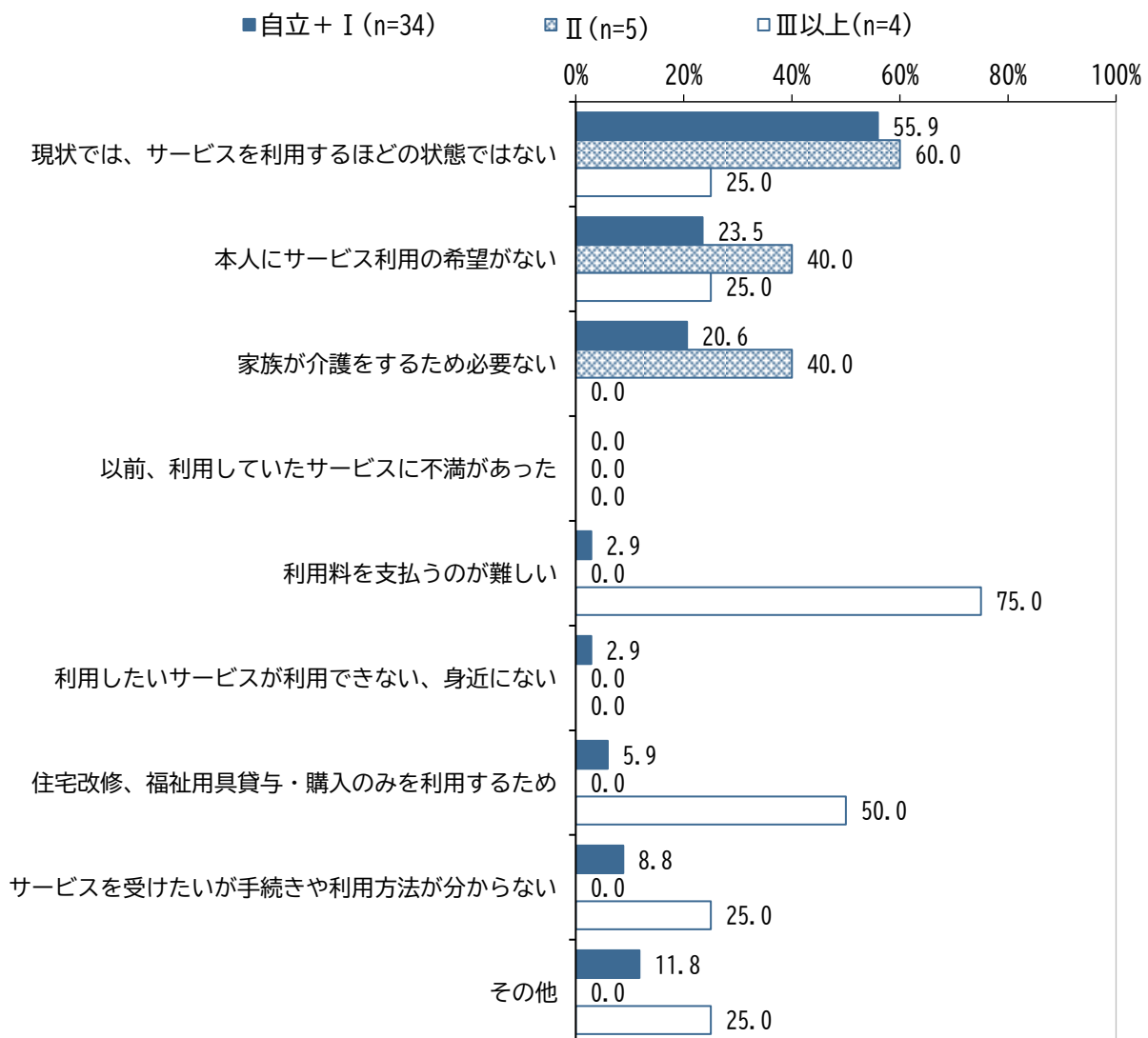
iv) 認知症自立度別のサービス未利用の理由（その他世帯）

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+ I では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 55.9%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 23.5%、「家族が介護をするため必要ない」が 20.6%となっています。

認知症自立度「II」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 60.0%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」がいずれも 40.0%となっています。

認知症自立度III以上では「利用料を支払うのが難しい」が 75.0%と最も割合が高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 50.0%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」がいずれも 25.0%となっています。

図表 4-2-105 サービス未利用の理由（その他世帯） 認知症自立度別



③ 認知症自立度別でみる今後の在宅生活に必要なと感じる支援・サービス

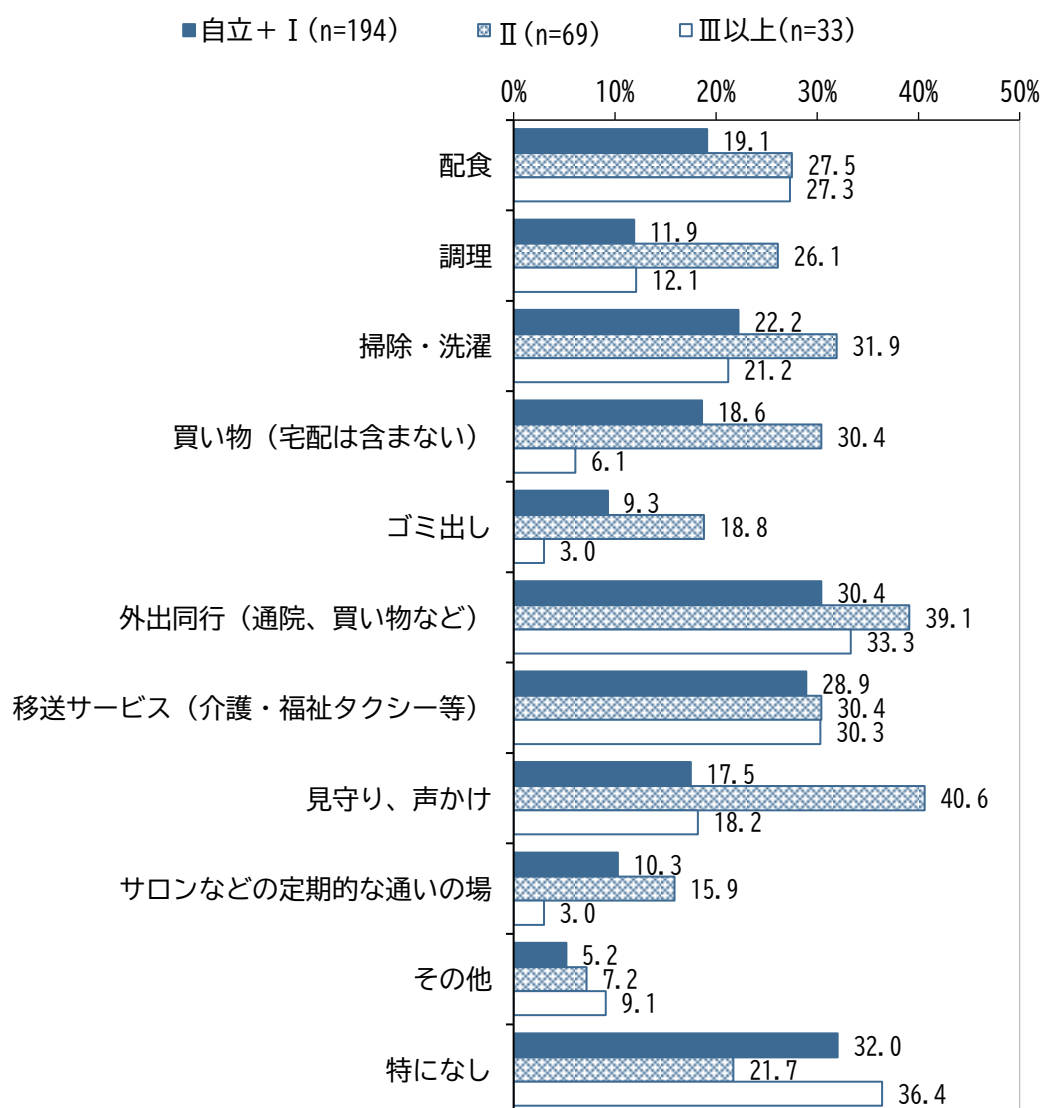
i) 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+Ⅰでは「特になし」が32.0%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が30.4%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.9%となっています。

認知症自立度Ⅱでは「見守り、声かけ」が40.6%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が39.1%、「掃除・洗濯」が31.9%となっています。

認知症自立度Ⅲ以上では「特になし」が36.4%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が33.3%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.3%となっています。

図表 4-2-106 在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス 認知症自立度別



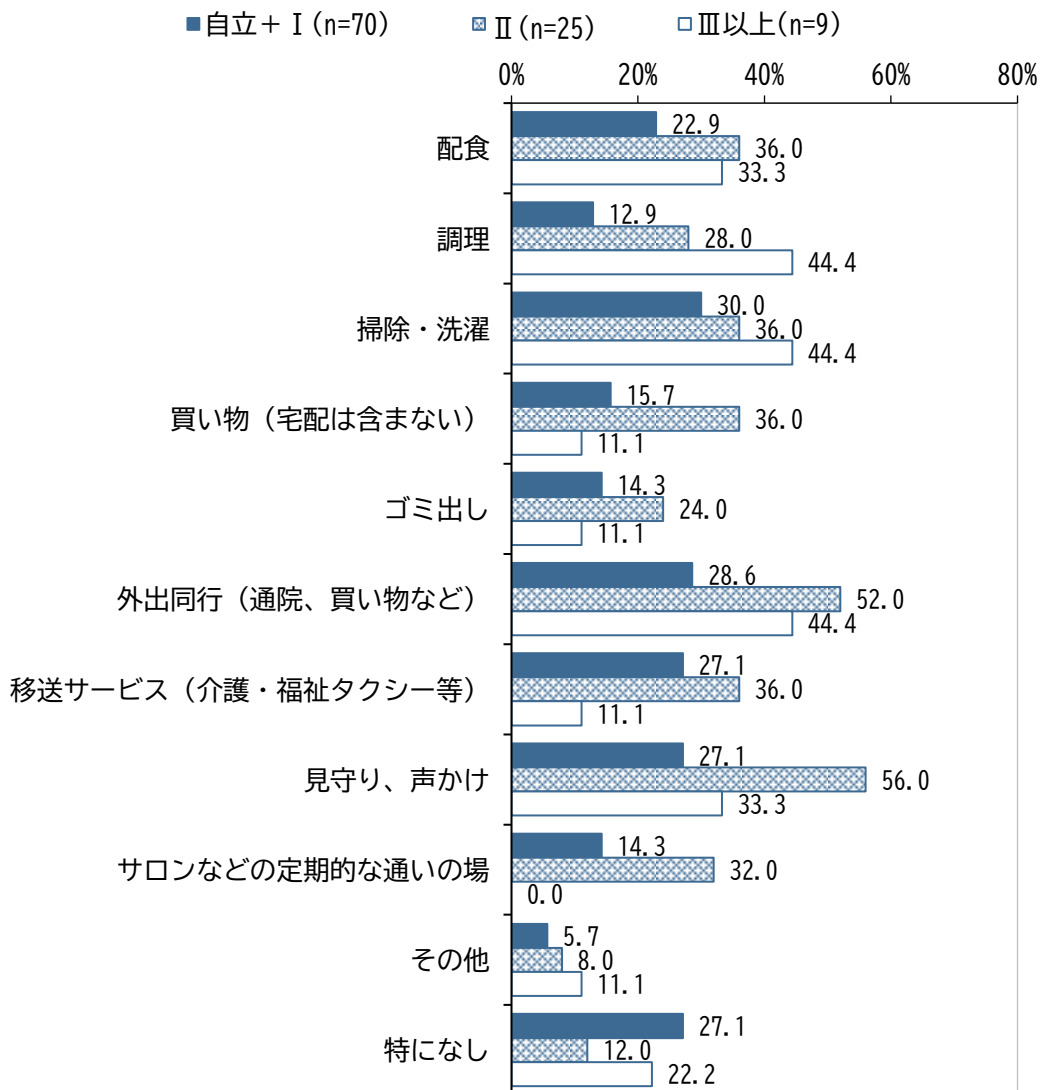
ii) 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+ Iでは「掃除・洗濯」が30.0%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が28.6%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」、「特になし」がいずれも27.1%となっています。

認知症自立度Ⅱでは「見守り、声かけ」が56.0%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が52.0%、「配食」、「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がいずれも36.0%となっています。

認知症自立度Ⅲ以上では「調理」、「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」がいずれも44.4%と最も割合が高くなっています。

図表 4-2-107 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯） 認知症自立度別



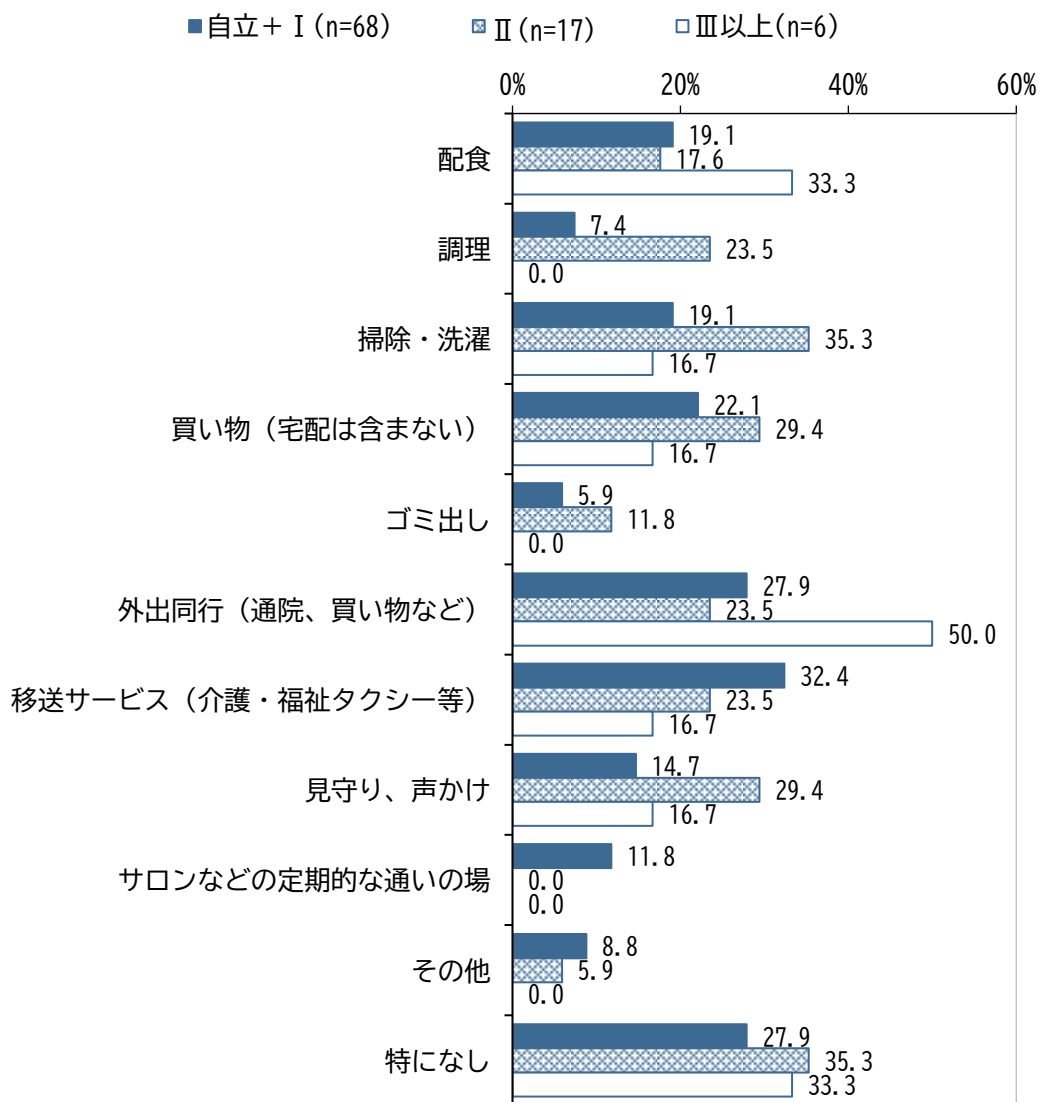
iii) 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+ Iでは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が32.4%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」、「特になし」がいずれも27.9%となっています。

認知症自立度「II」では「掃除・洗濯」、「特になし」がいずれも35.3%と最も割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」、「見守り、声かけ」がいずれも29.4%となっています。

認知症自立度「III以上」では「外出同行（通院、買い物など）」が50.0%と最も割合が高く、次いで「配食」、「特になし」がいずれも33.3%となっています。

図表 4-2-108 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯） 認知症自立度別



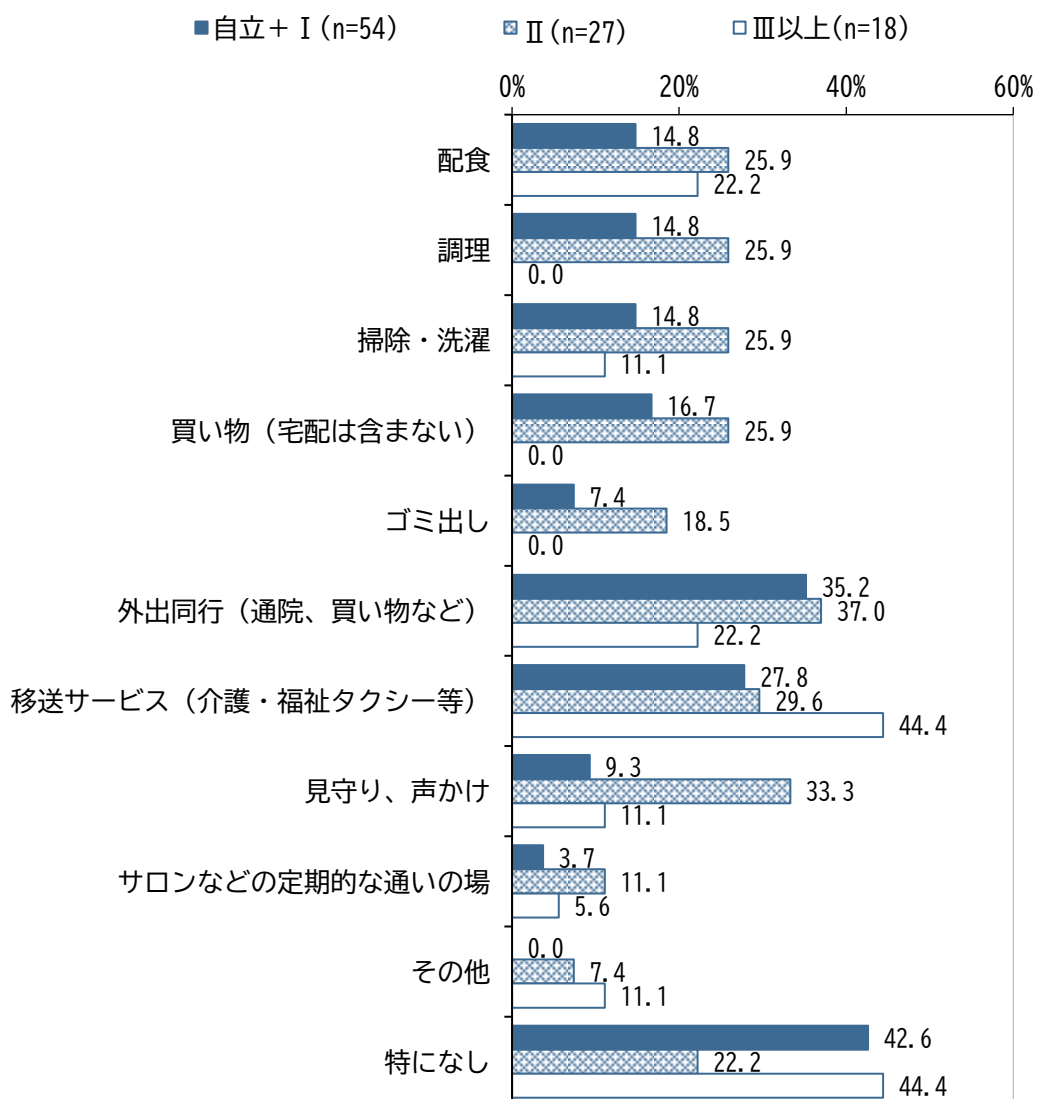
iv) 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、認知症自立度自立+ Iでは「特になし」が42.6%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が35.2%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.8%となっています。

認知症自立度Ⅱでは「外出同行（通院、買い物など）」が37.0%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が33.3%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.6%となっています。

認知症自立度Ⅲ以上では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「特になし」がいずれも44.4%と最も割合が高く、次いで「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」がいずれも22.2%となっています。

図表 4-2-109 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯） 認知症自立度別



④ 本人の年齢別でみる主な介護者の年齢

i) 本人の年齢別でみる主な介護者の年齢

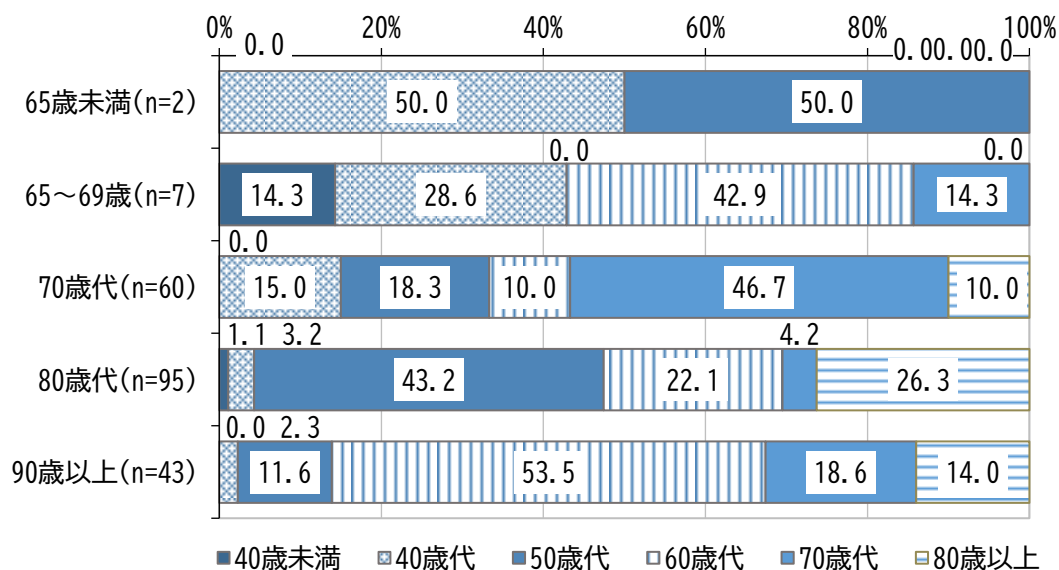
介護者の年齢を本人年齢別にみると、本人の年齢が65～69歳では「60歳代」が42.9%と最も割合が高く、次いで「40歳代」が28.6%、「40歳未満」、「70歳代」がいずれも14.3%となっています。

本人の年齢が70歳代では「70歳代」が46.7%と最も割合が高く、次いで「50歳代」が18.3%、「40歳代」が15.0%となっています。

本人の年齢が80歳代では「50歳代」が43.2%と最も割合が高く、次いで「80歳以上」が26.3%、「60歳代」が22.1%となっています。

本人の年齢が90歳以上では「60歳代」が53.5%と最も割合が高く、次いで「70歳代」が18.6%、「80歳以上」が14.0%となっています。

図表 4-2-110 主な介護者の年齢 本人の年齢別



⑤ 要介護度別の抱えている傷病

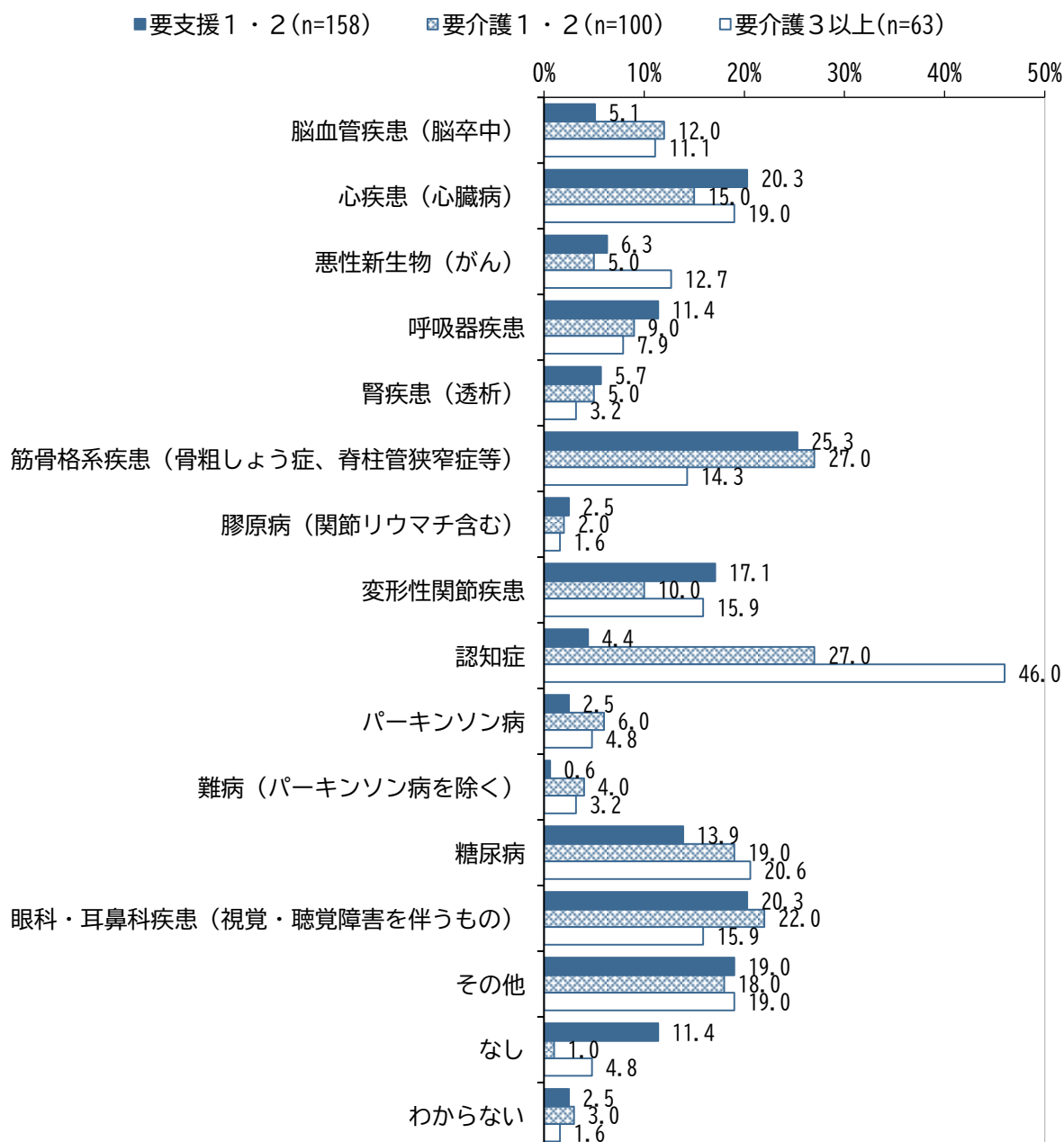
i) 要介護度別でみる抱えている傷病

抱えている傷病を二次判定結果別にみると、要支援1・2では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が25.3%と最も割合が高く、次いで「心疾患（心臓病）」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」がいずれも20.3%となっています。

要介護1・2では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、「認知症」がいずれも27.0%と最も割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が22.0%となっています。

要介護3以上では「認知症」が46.0%と最も割合が高く、次いで「糖尿病」が20.6%、「心疾患（心臓病）」、「その他」がいずれも19.0%となっています。

図表 4-2-111 抱えている傷病 要介護度別



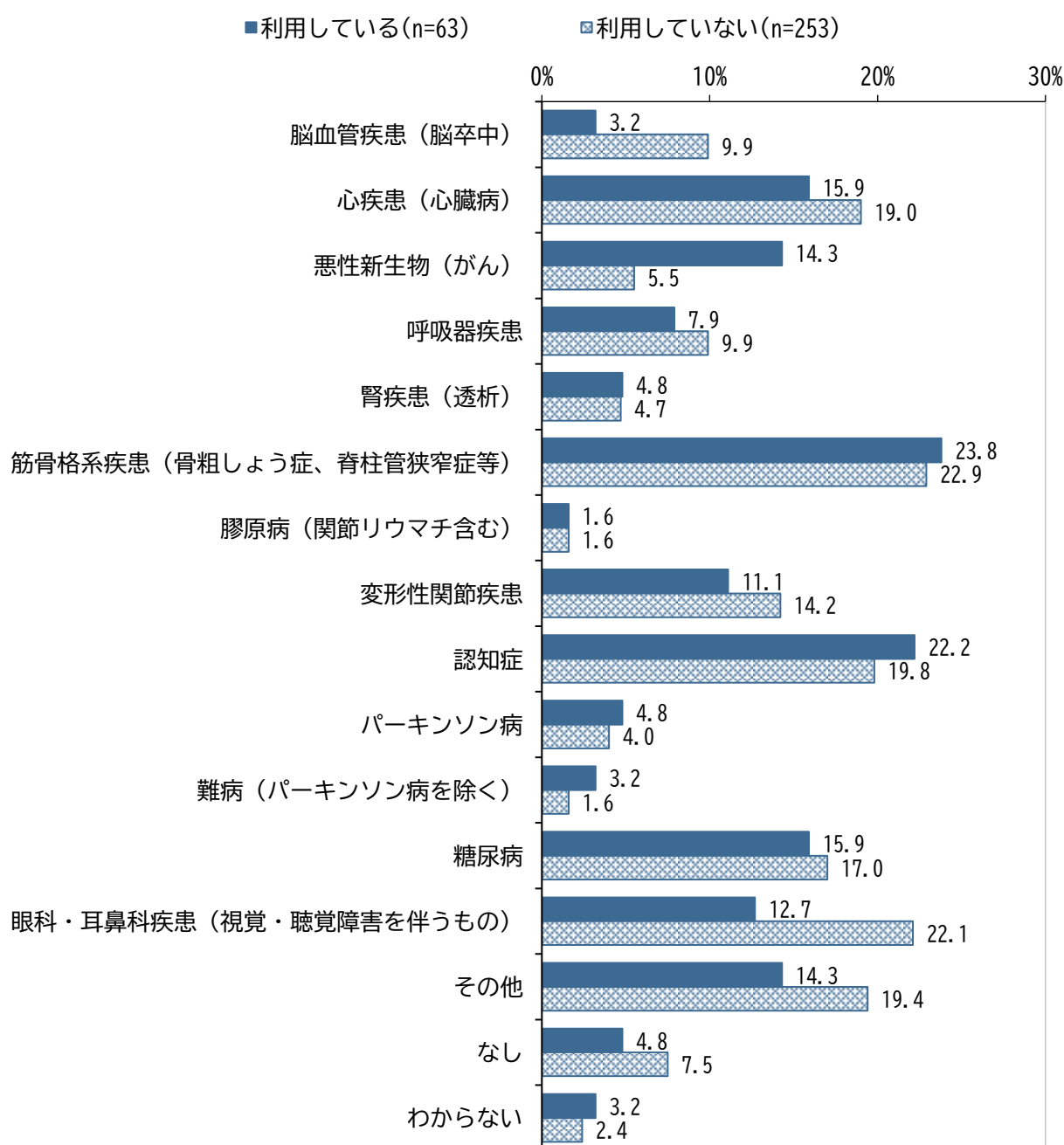
⑥ 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病

i) 訪問診療の利用の有無別でみる抱えている傷病

抱えている傷病を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 23.8%と最も割合が高く、次いで「認知症」が 22.2%、「心疾患（心臓病）」、「糖尿病」がいずれも 15.9%となっています。

「利用していない」では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 22.9%と最も割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 22.1%、「認知症」が 19.8%となっています。

図表 4-2-112 抱えている傷病 訪問診療の利用の有無別

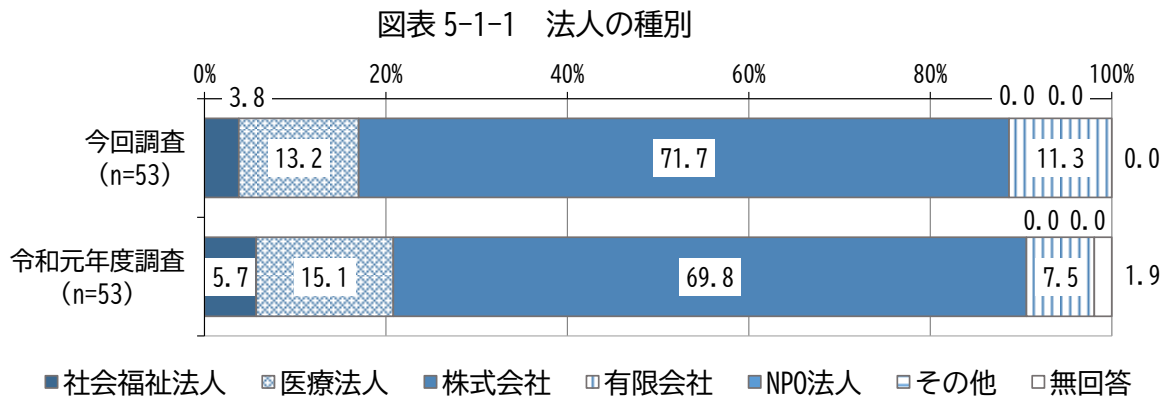


第5章 サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホームの運営事業者に対する実態調査

1 回答者の属性

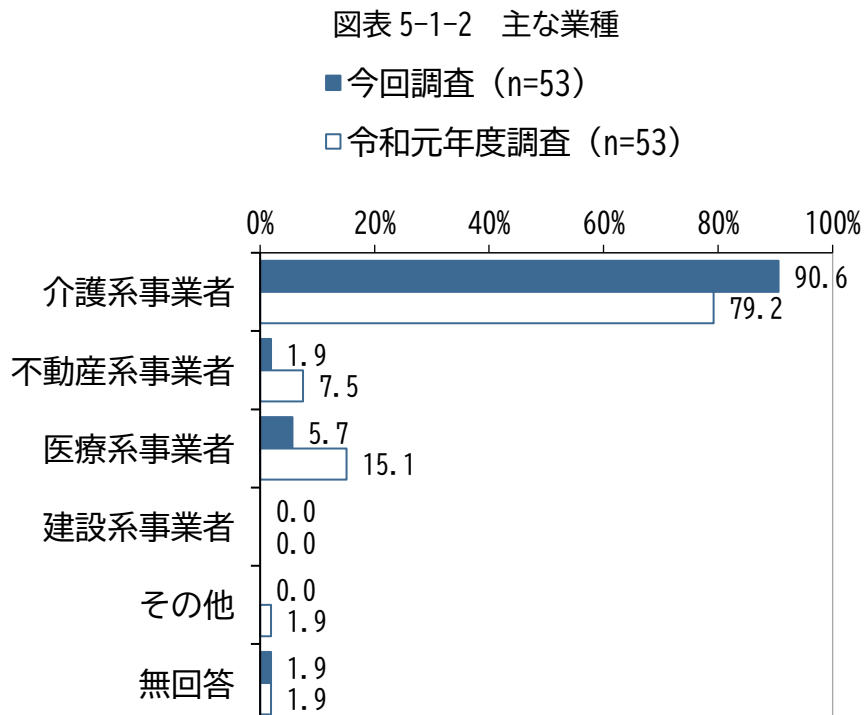
(1) 法人の種別

法人の種別については、「株式会社」が71.7%で最も高く、次いで「医療法人」が13.2%、「有限会社」が11.3%と続いています。



(2) 主な業種

主な業種については、「介護系事業者」が90.6%で最も高く、次いで「医療系事業者」が5.7%、「不動産系事業者」が1.9%となっています。



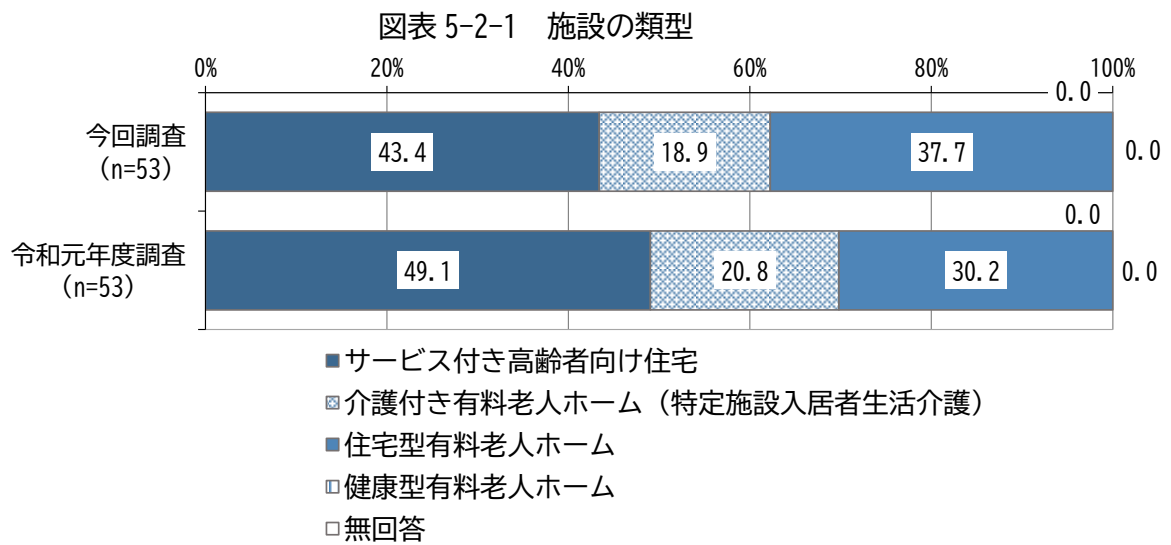
2 住宅の情報

(1) 施設の類型

問1 施設の類型をお答えください。

施設の類型については、「サービス付き高齢者向け住宅」が43.4%で最も高く、次いで「住宅型有料老人ホーム」が37.7%、「介護付き有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）」が18.9%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「住宅型有料老人ホーム」（37.7%）では、令和元（2019）年度調査（30.2%）より7.5ポイント増加しています。

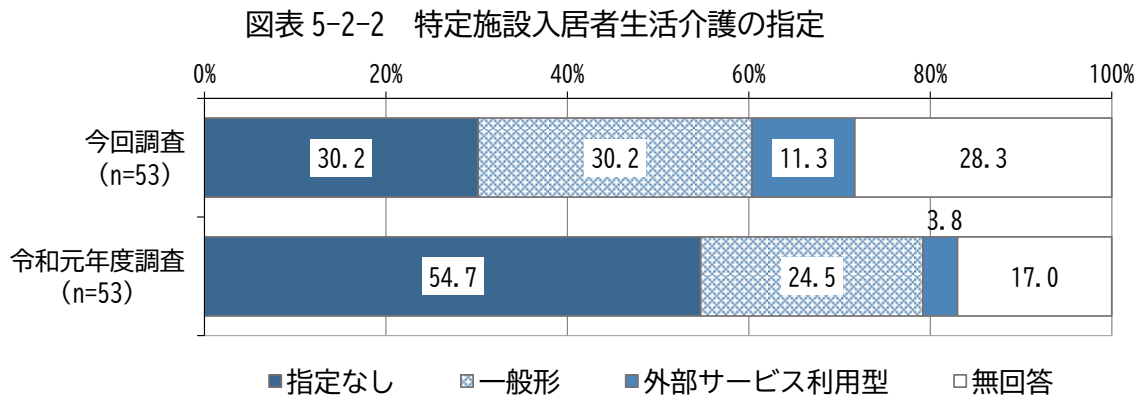


(2) 特定施設入居者生活介護の指定

問2 施設の指定についてお答えください。

特定施設入居者生活介護の指定については、「指定なし」、「一般形」がいずれも 30.2%で最も高く、次いで「外部サービス利用型」が 11.3%となっています。

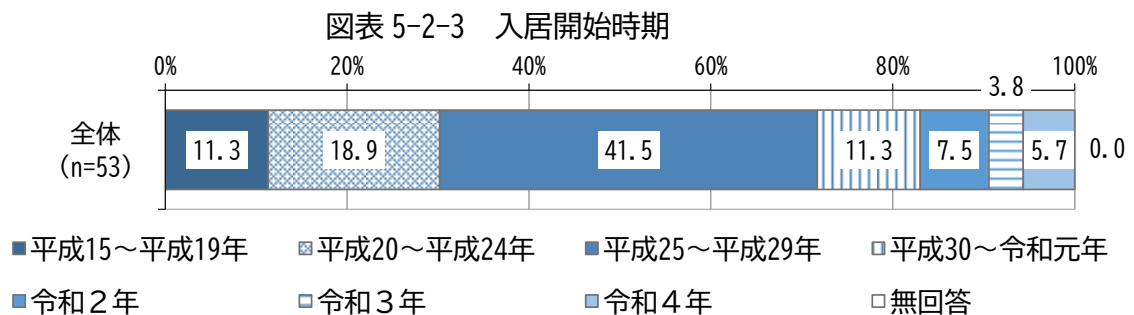
令和元(2019)年度調査と比較すると、「一般形」(30.2%)では、令和元(2019)年度調査(24.5%)より 5.7ポイント増加し、「外部サービス利用型」(11.3%)では、令和元(2019)年度調査(3.8%)より 7.5ポイント増加しています。



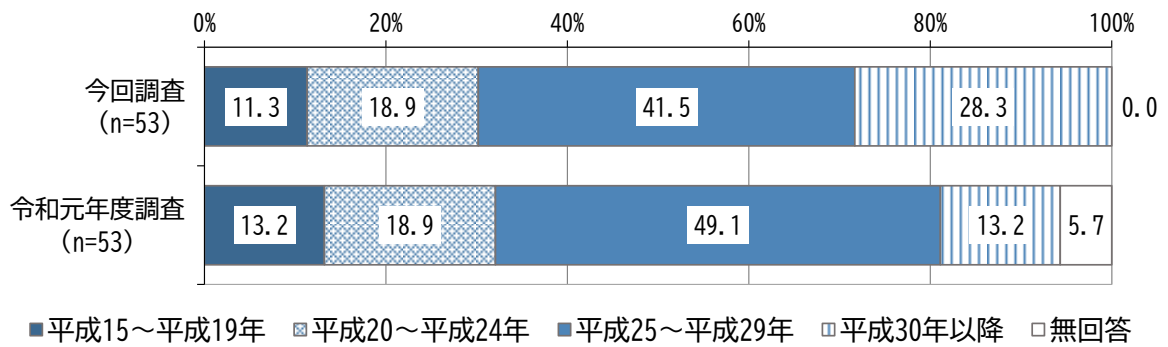
(3) 入居開始時期

問3 サ高住・有料老人ホームの入居開始時期をご記入ください。なお、高齢者専用賃貸住宅などからサ高住・有料老人ホームに登録した場合は、サ高住・有料老人ホームの登録年月を記入してください。

入居開始時期については、「平成 25～平成 29 年」が 41.5%で最も高く、次いで「平成 20～平成 24 年」が 18.9%、「平成 15～平成 19 年」が 11.3%と続いています。



図表 5-2-4 入居開始時期 令和元年度調査比較



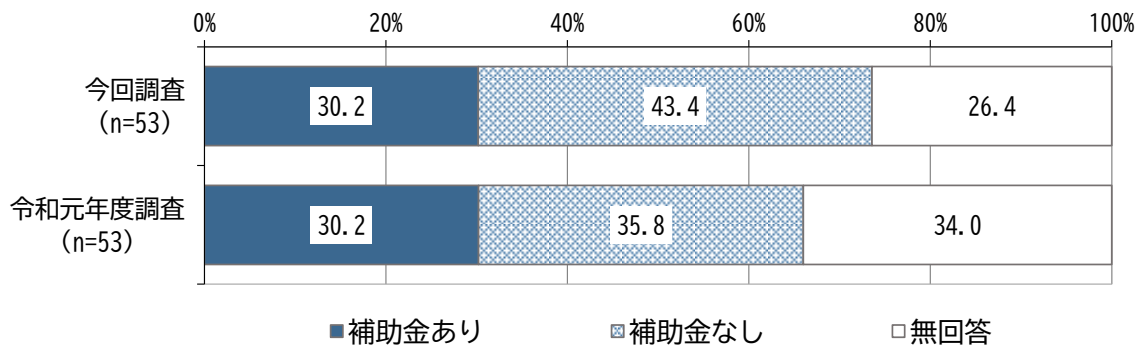
(4) 国からの「建設・改修に係る補助金」の利用状況

問4 サ高住・有料老人ホームの補助制度の利用状況についてお聞きします。
国からの「建設・改修に係る補助金」を利用されましたか。

国からの「建設・改修に係る補助金」の利用状況については、「補助金あり」が30.2%、「補助金なし」が43.4%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「補助金あり」では、大きな差はみられません。

図表 5-2-5 国からの「建設・改修に係る補助金」の利用状況



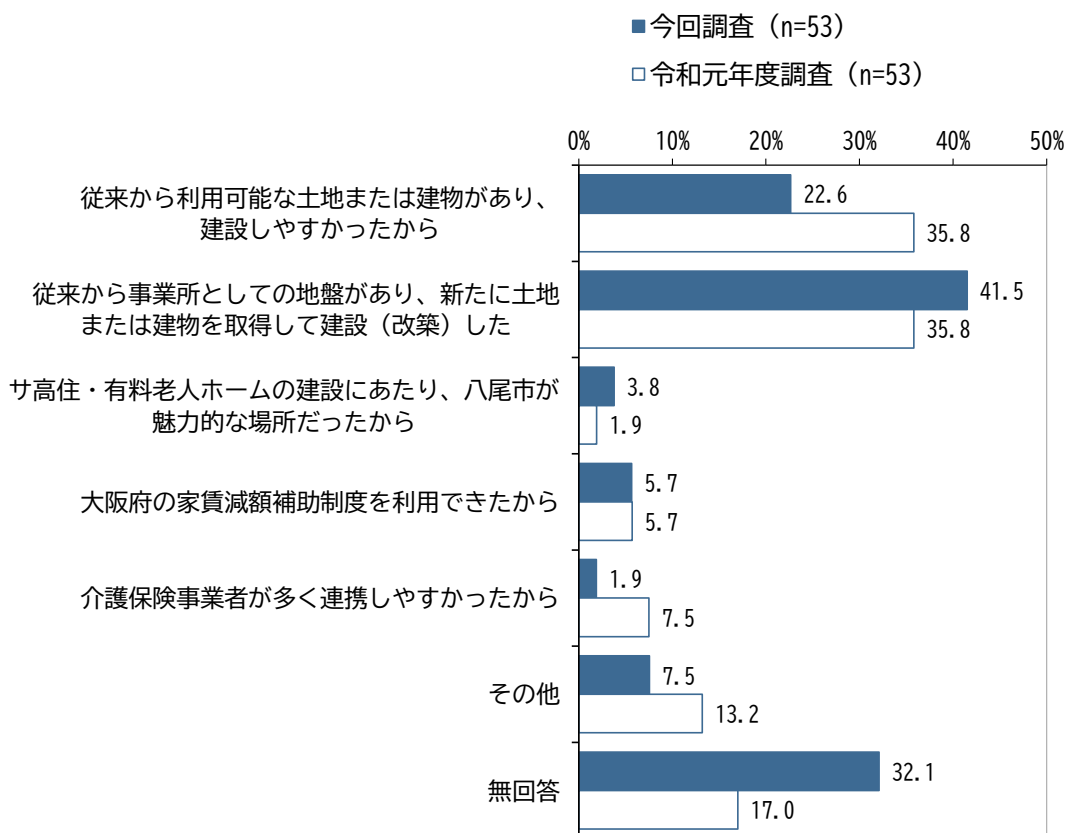
(5) 八尾市内に建設された理由

問5 八尾市内に建設された理由について該当するものすべてに○をつけてください。

八尾市内に建設された理由については、「従来から事業所としての地盤があり、新たに土地または建物を取得して建設（改築）した」が41.5%で最も高く、次いで「従来から利用可能な土地または建物があり、建設しやすかったから」が22.6%、「その他」が7.5%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「従来から事業所としての地盤があり、新たに土地または建物を取得して建設（改築）した」（41.5%）では、令和元（2019）年度調査（35.8%）より5.7ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 5-2-6 八尾市内に建設された理由



(6) 介護サービスの設置形態と提供主体

問6 下記介護サービス事業所のうち、併設または連携している場合についてお答えください。
 ※特定施設入居者生活介護の指定を受けている事業者は記入不要です。

特定施設入居者生活介護の指定を受けていない事業所（問1で「介護付き有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）」以外を回答し、かつ問2で「指定なし」を回答した16事業所）の介護サービスの設置形態について、併設または連携しているサービスは、訪問介護が11事業所で最も多くなっています。

また、介護サービスの提供主体については、多くのサービスで「住宅運営者と同一法人」が多くなっています。

図表 5-2-7 介護サービスの設置形態

単位：実数（事業所）

	訪問介護	訪問入浴介護	訪問リハビリテーション	訪問看護	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	小規模多機能型居宅介護	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問看護介護	看護小規模多機能型居宅介護	その他
併設する事業所 (入居者以外も利用あり)	4	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1
併設する事業所 (入居者以外は利用なし)	6	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
その他の連携する事業所	1	0	1	4	2	2	2	0	0	0	0	0
併設及び連携なし	0	8	4	2	4	3	3	5	5	5	5	1
無回答	5	8	11	9	10	7	11	11	11	11	11	14

図表 5-2-8 介護サービスの提供主体

単位：実数（事業所）

	訪問介護	訪問入浴介護	訪問リハビリテーション	訪問看護	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	小規模多機能型居宅介護	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問看護介護	看護小規模多機能型居宅介護	その他
住宅運営者と同一法人	12	0	3	3	3	6	3	3	3	3	3	1
住宅事業者の関連法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の法人(協定書あり)	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0
その他の法人(協定書なし)	0	0	1	3	0	2	2	0	0	0	0	0
無回答	4	16	12	9	11	8	11	13	13	13	13	15

3 入居者の状況

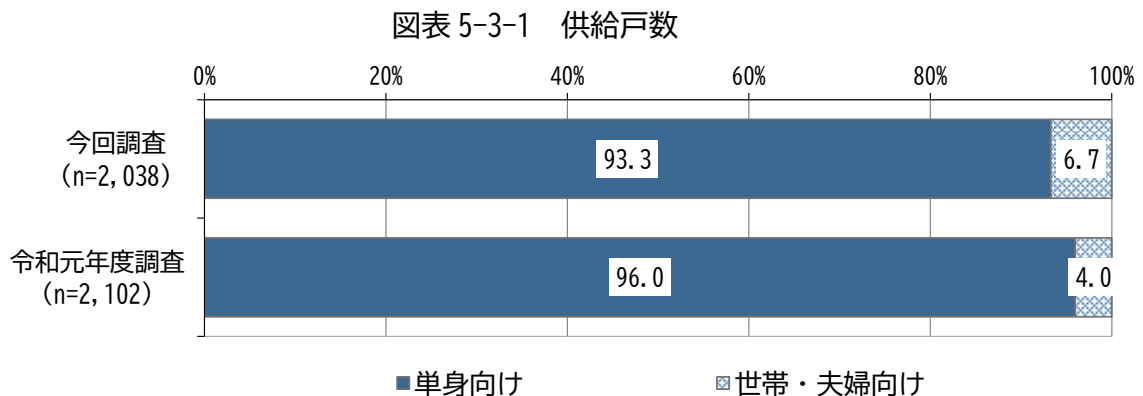
(1) 住戸数・入居者数等

問7 入居者の状況についてお聞きします。

① 供給戸数

供給戸数は全体で2,038戸で、「単身向け」が93.3%、「世帯・夫婦向け」が6.7%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

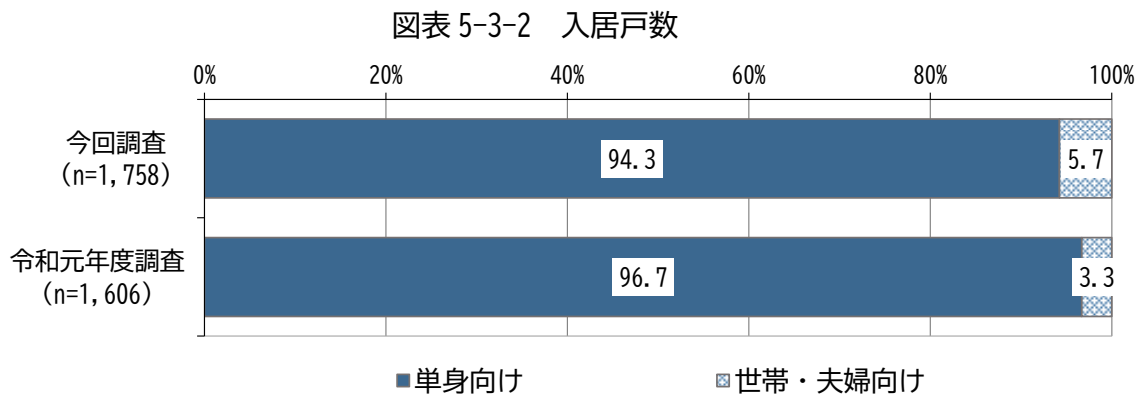


② 入居戸数

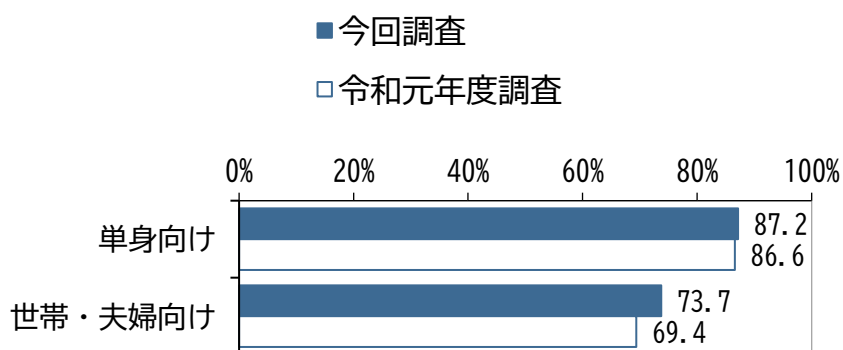
入居戸数は全体で1,758戸で、「単身向け」が94.3%、「世帯・夫婦向け」が5.7%となっています。

また、戸数でみる入居率は、「単身向け」が87.2%、「世帯・夫婦向け」が73.7%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「世帯・夫婦向け」の入居率（73.7%）では、令和元（2019）年度調査（69.4%）より4.3ポイント増加しています。



図表 5-3-3 戸数でみる入居率

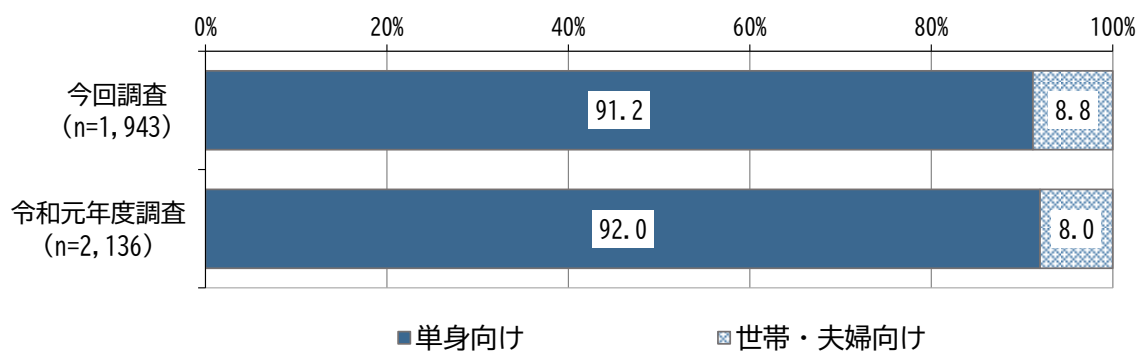


③ 入居定員数

入居定員数は全体で 1,943 人で、「单身向け」が 91.2%、「世帯・夫婦向け」が 8.8%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 5-3-4 入居定員数

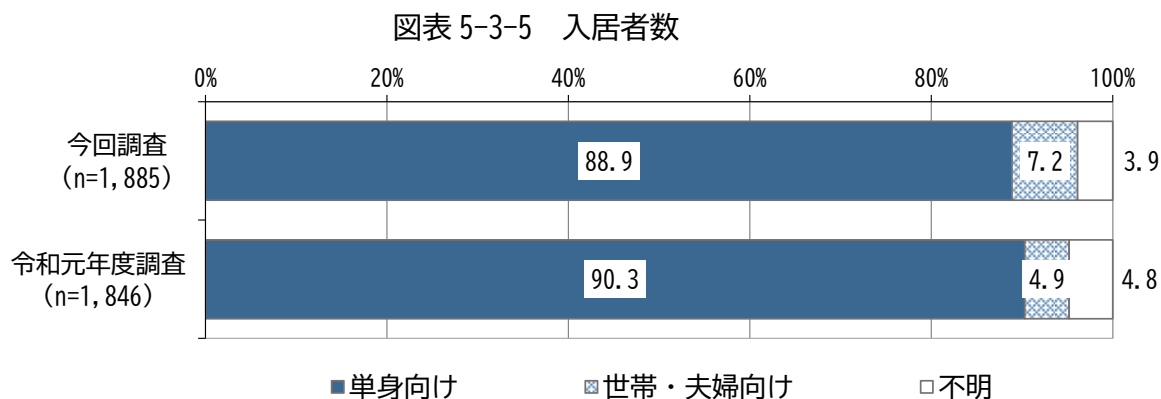


④ 入居者数

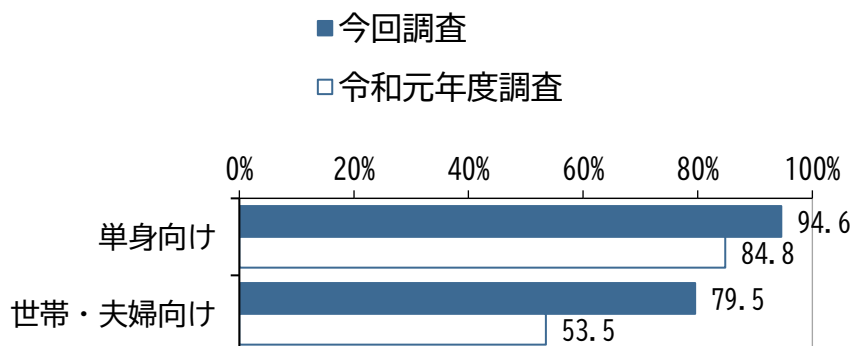
入居者数は全体で1,885人で、「単身向け」が88.9%、「世帯・夫婦向け」が7.2%となっています。

また、定員数でみる入居率は、「単身向け」が94.6%、「世帯・夫婦向け」が79.5%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「世帯・夫婦向け」の入居率(79.5%)では、令和元(2019)年度調査(53.5%)より26.0ポイント増加しています。



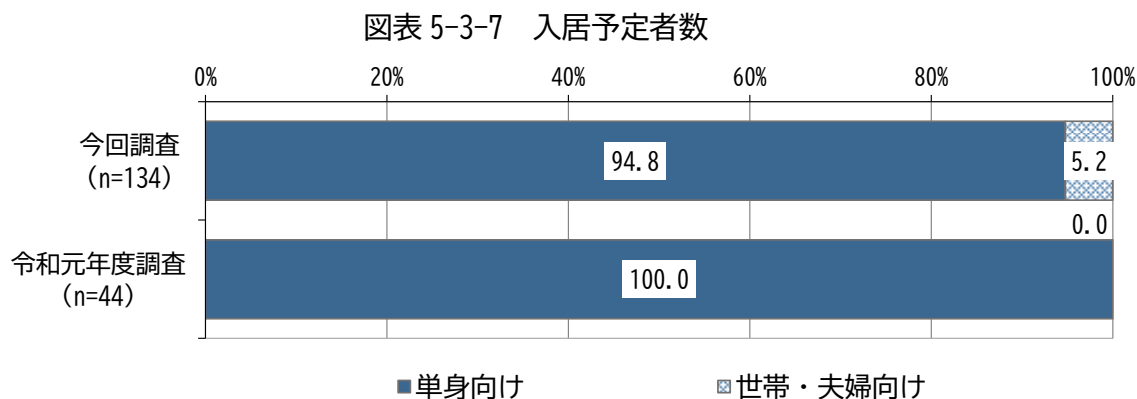
図表 5-3-6 定員数でみる入居率



⑤ 入居予定者数

入居予定者数は全体で 134 人で、「単身向け」が 94.8%、「世帯・夫婦向け」が 5.2%となっています。

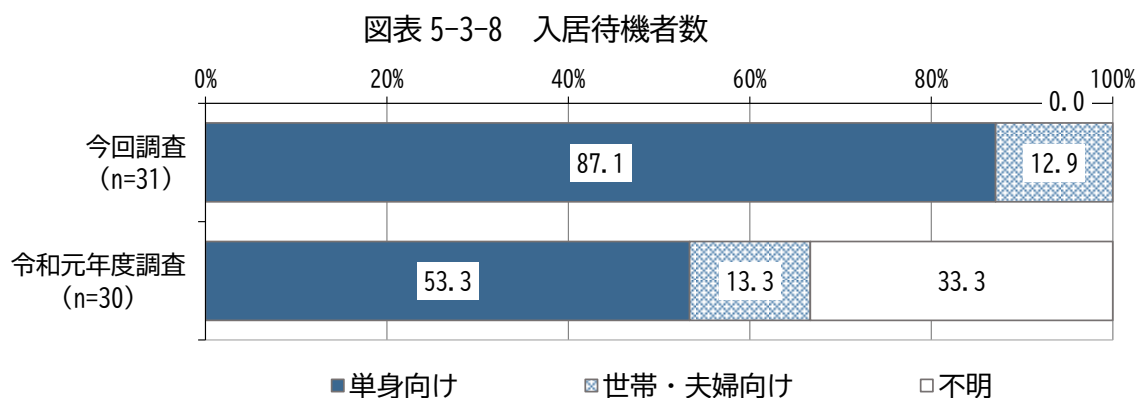
令和元（2019）年度調査と比較すると、「世帯・夫婦向け」（5.2%）では、令和元（2019）年度調査（0.0%）より 5.2 ポイント増加しています。



⑥ 入居待機者数

入居待機者数は全体で 31 人で、「単身向け」が 87.1%、「世帯・夫婦向け」が 12.9%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「単身向け」（87.1%）では、令和元（2019）年度調査（53.3%）より 33.8 ポイント増加しています。



(2) 入居者の年齢

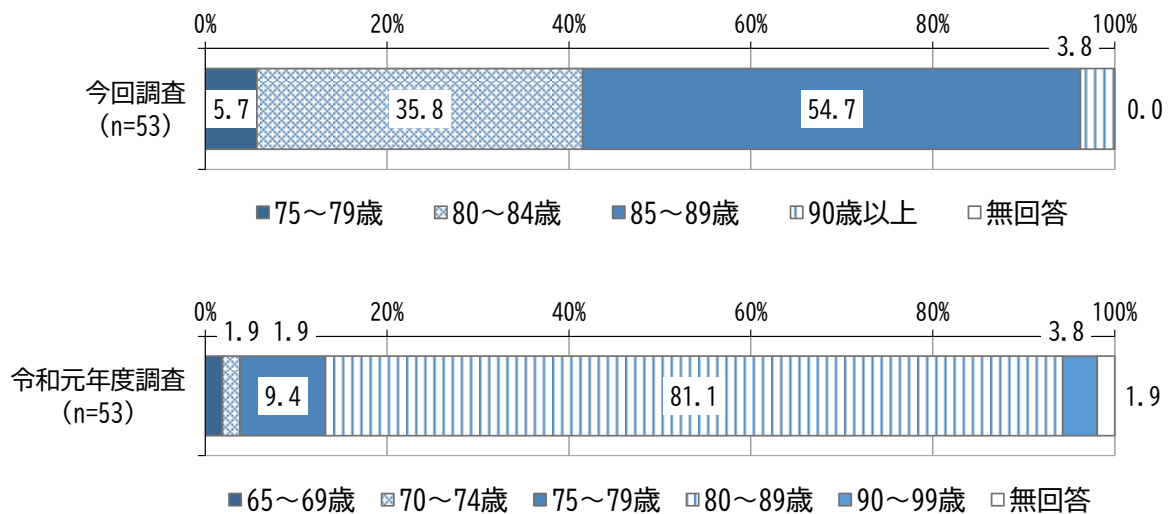
問8 入居者の年齢（令和4年12月1日時点）をお答えください。

① 入居者全員の平均年齢

入居者全員の平均年齢は、「85～89歳」が54.7%で最も高く、次いで「80～84歳」が35.8%、「75～79歳」が5.7%と続いており、全体で84.5歳となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、『79歳以下』(5.7%)では、令和元(2019)年度調査(13.2%)より7.5ポイント減少しています。

図表 5-3-9 入居者全員の平均年齢

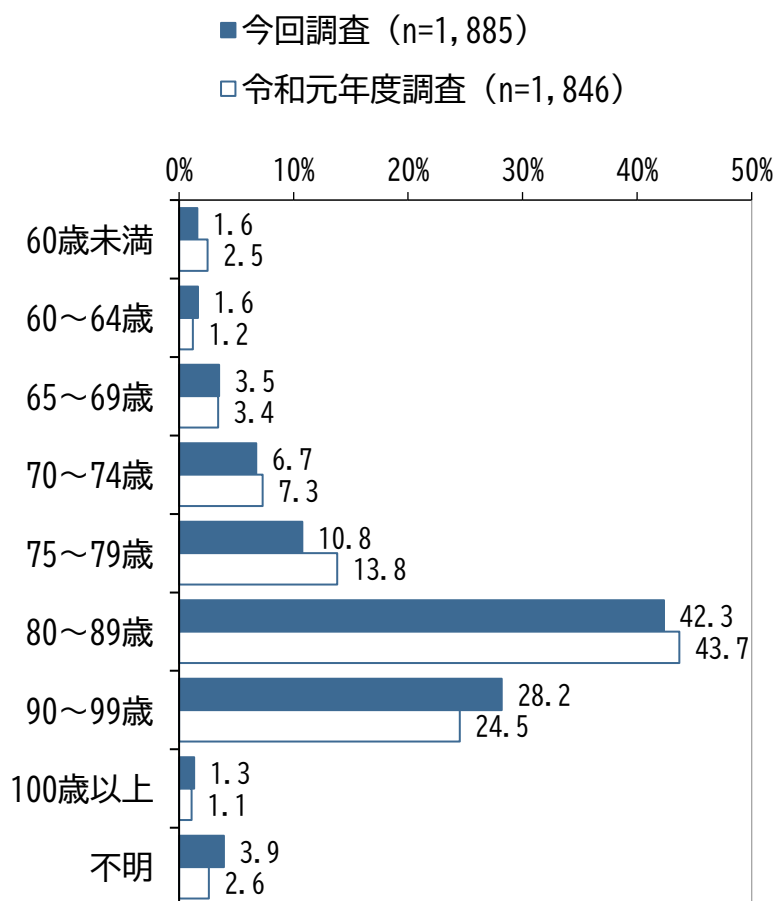


② 入居者の年齢

入居者の年齢については、「80～89歳」が42.3%で最も高く、次いで「90～99歳」が28.2%、「75～79歳」が10.8%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、『90歳以上』（29.5%）では、令和元（2019）年度調査（25.6%）より3.9ポイント増加しています。

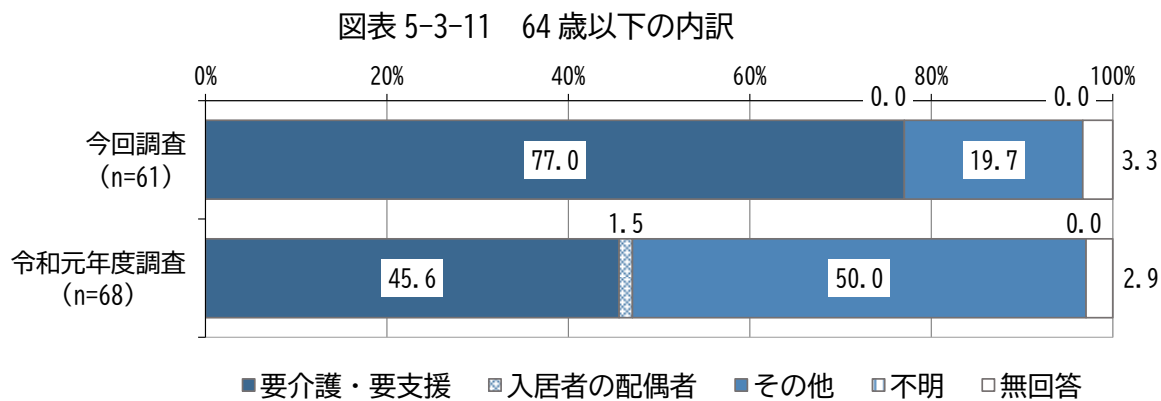
図表 5-3-10 入居者の年齢



③ 64歳以下の内訳

64歳以下の内訳については、「要介護・要支援」が77.0%、「その他」が19.7%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「要介護・要支援」（77.0%）では、令和元（2019）年度調査（45.6%）より31.4ポイント増加しています。



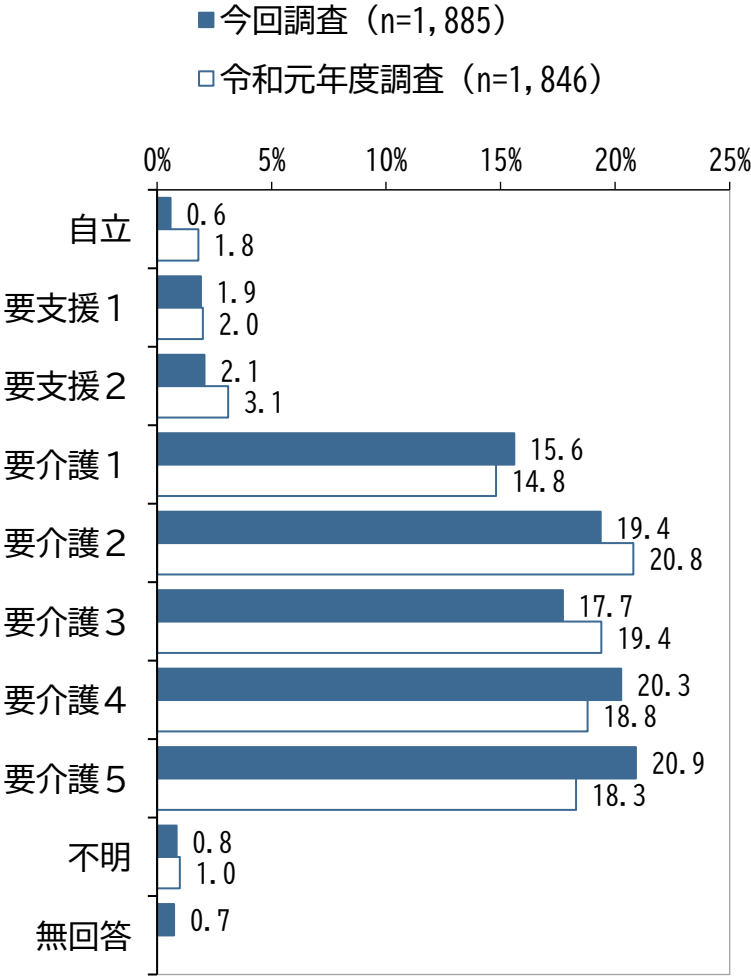
(3) 入居者の要介護度

問9 入居者の要介護度（令和4年12月1日時点）をお答えください。

入居者の要介護度については、「要介護5」が20.9%で最も高く、次いで「要介護4」が20.3%、「要介護2」が19.4%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、『要介護4・要介護5』（41.2%）では、令和元（2019）年度調査（37.1%）より4.1ポイント増加しています。

図表 5-3-12 入居者の要介護度



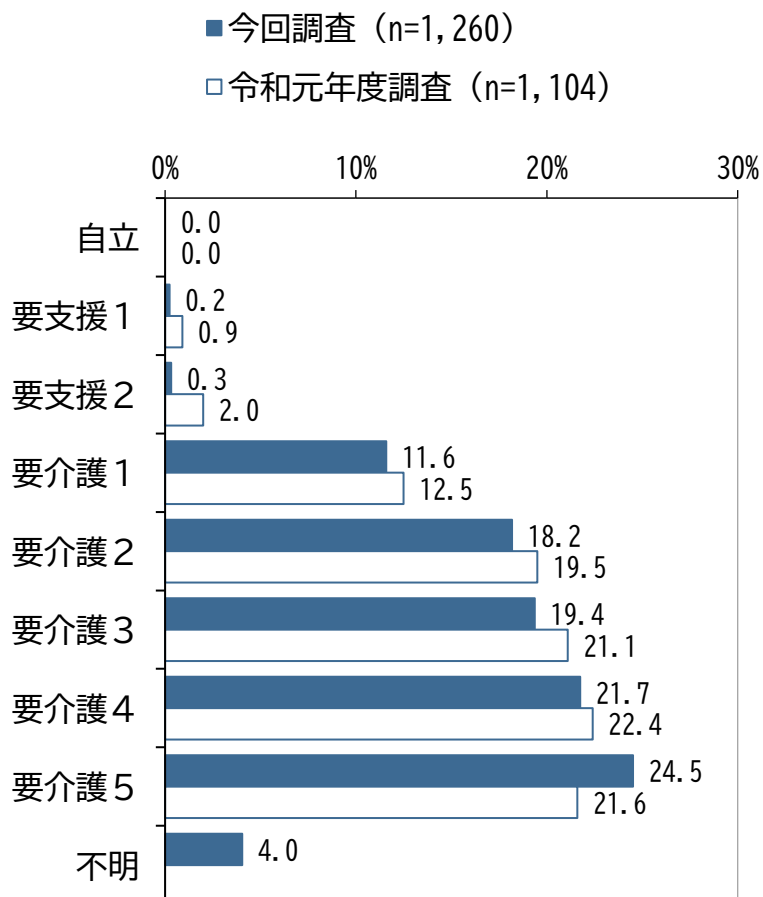
(4) 入居者で認知症がみられる方の要介護度

問10 問7で答えた入居者のうち、認知症がみられる方についてお答えください。

入居者で認知症がみられる方の要介護度については、「要介護5」が24.5%で最も高く、次いで「要介護4」が21.7%、「要介護3」が19.4%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

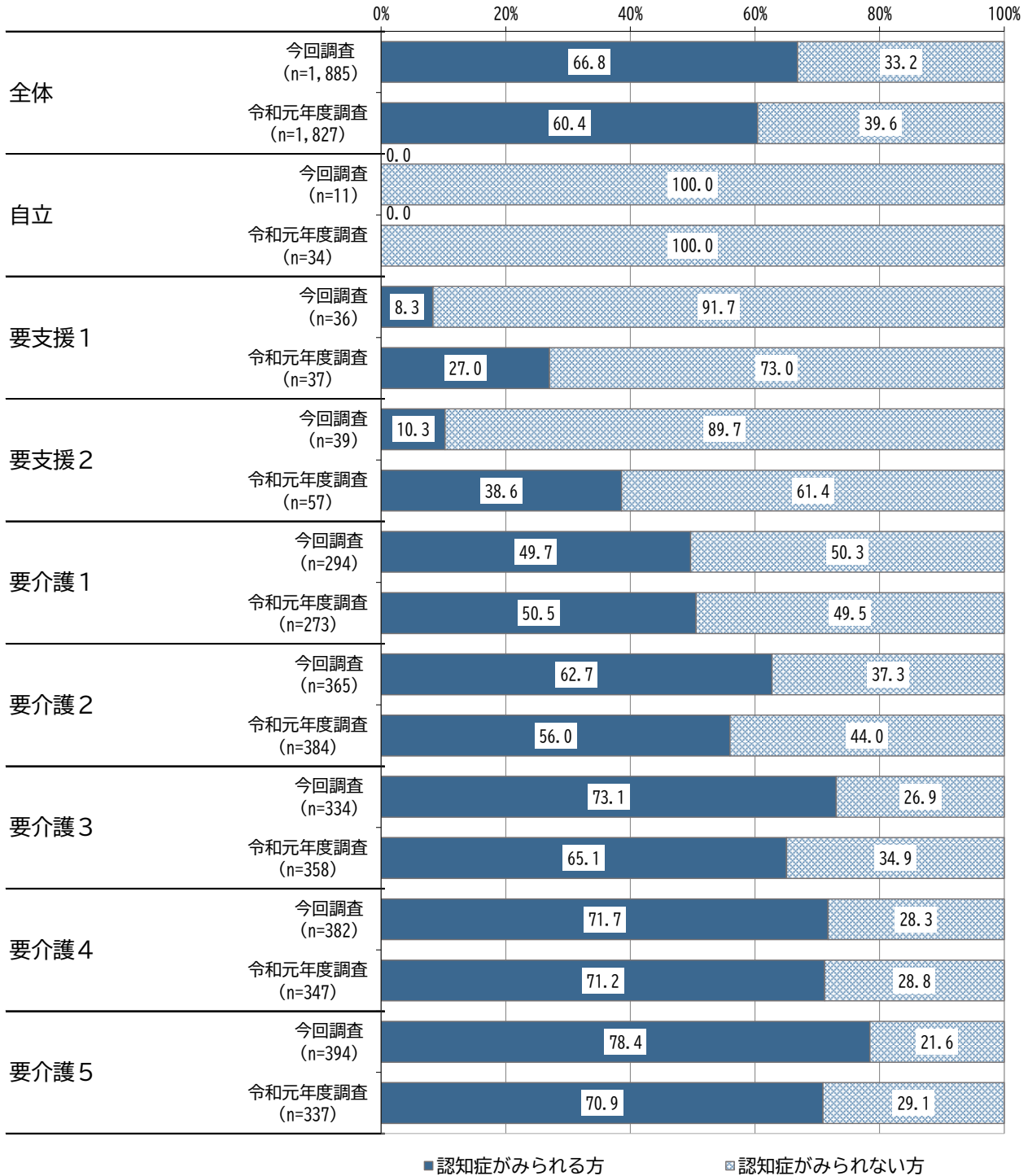
図表 5-3-13 入居者で認知症がみられる方の要介護度



認知症がみられる方の割合については、全体で 66.8%となっており、令和元（2019）年度調査（60.4%）より 6.4 ポイント増加しています。

要介護度別でみると、認知症がみられる方は、要介護度が上がるにつれて概ね割合が増加しており、要介護5が78.4%で最も高くなっています。

図表 5-3-14 認知症がみられる方の割合 要介護度別



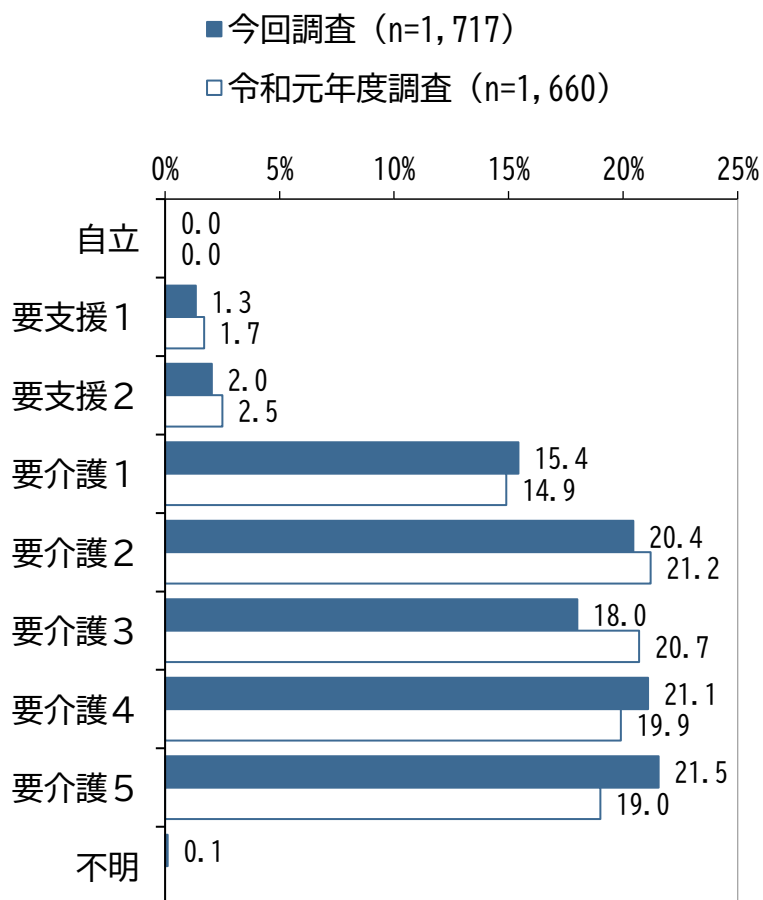
(5) 入居者の介護サービス利用者の要介護度

問11 問7で答えた入居者のうち、介護サービスの利用人数についてお答えください。

入居者の介護サービス利用者の要介護度については、「要介護5」が21.5%で最も高く、次いで「要介護4」が21.1%、「要介護2」が20.4%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、『要介護4・要介護5』（42.6%）では、令和元（2019）年度調査（38.9%）より3.7ポイント増加しています。

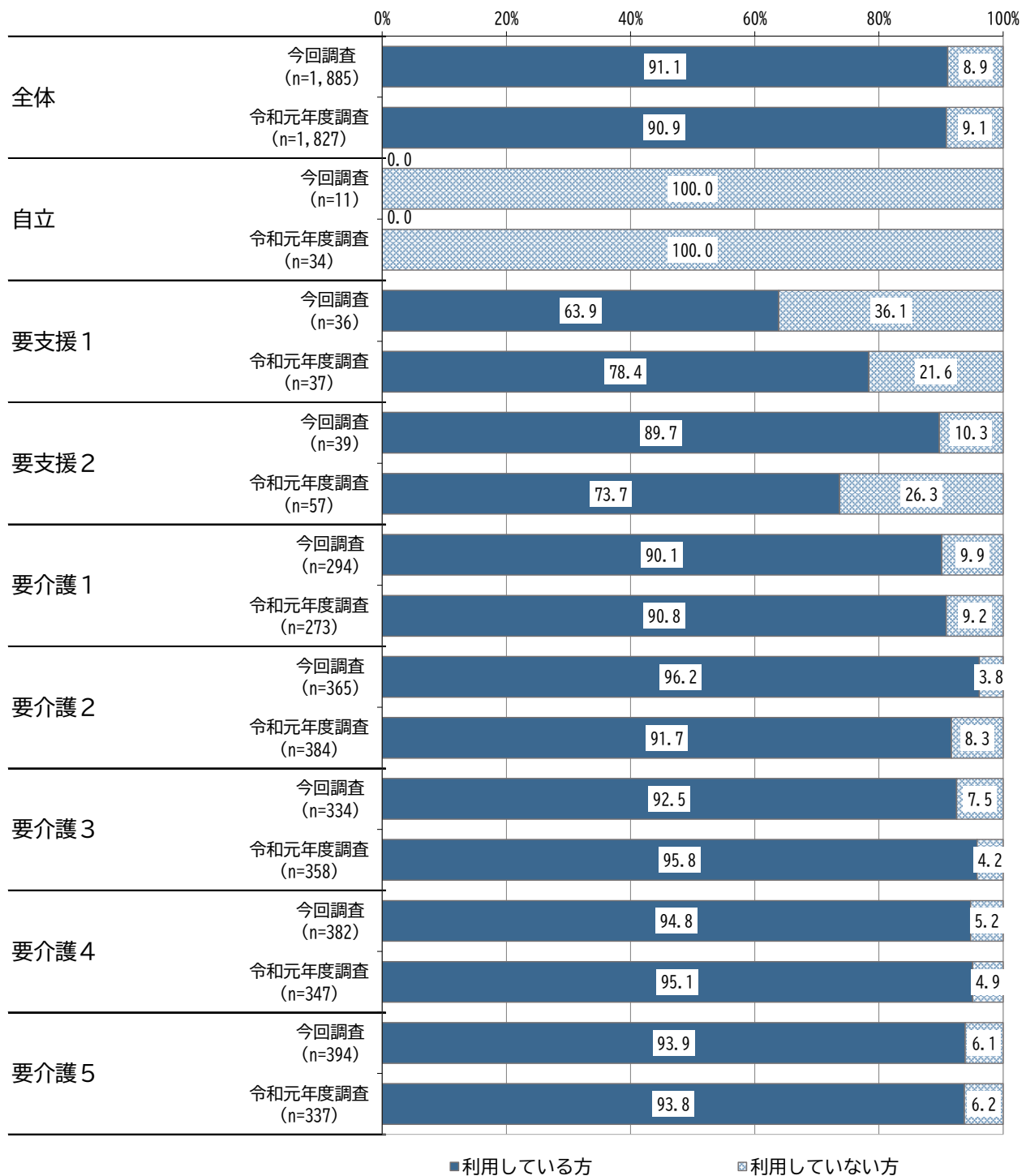
図表 5-3-15 入居者の介護サービス利用者の要介護度



介護サービス利用の割合については、全体で91.1%となっており、令和元(2019)年度調査(90.9%)と大きな差はみられません。

要介護度別でみると、介護サービス利用の割合は、要介護2が96.2%で最も高くなっています。

図表 5-3-16 介護サービス利用の割合 要介護度別



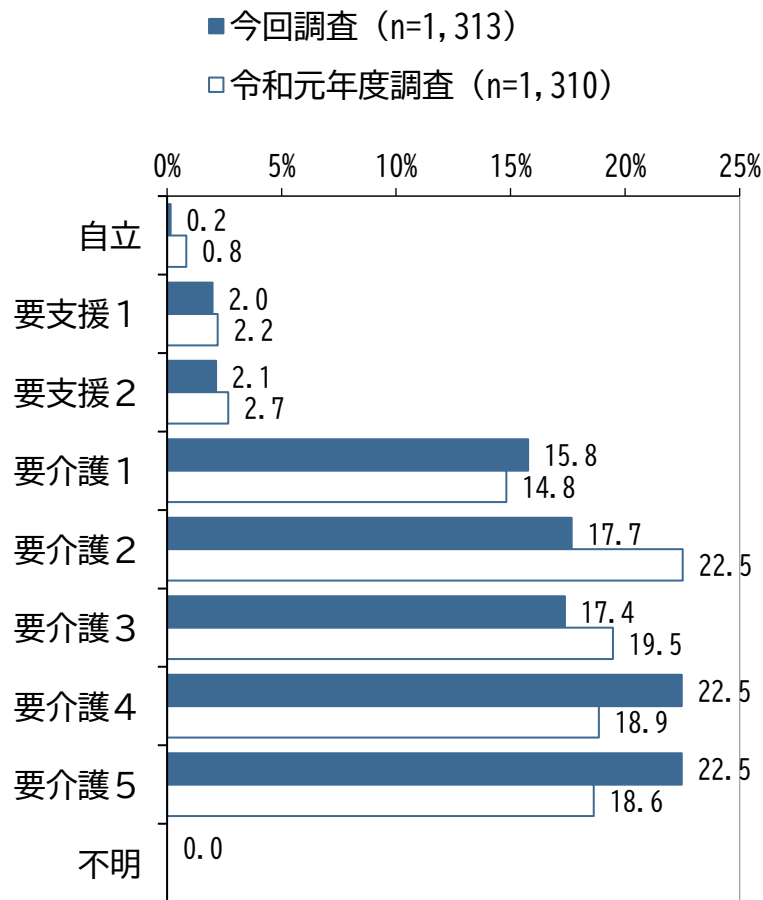
(6) 入居者の八尾市の介護保険被保険者の要介護度

問12 問7で答えた入居者のうち、八尾市の介護保険の被保険者の人数についてお答えください。

入居者の八尾市の介護保険被保険者の要介護度については、「要介護4」、「要介護5」がいずれも22.5%で最も高く、次いで「要介護2」が17.7%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「要介護5」(22.5%)では、令和元(2019)年度調査(18.6%)より3.9ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

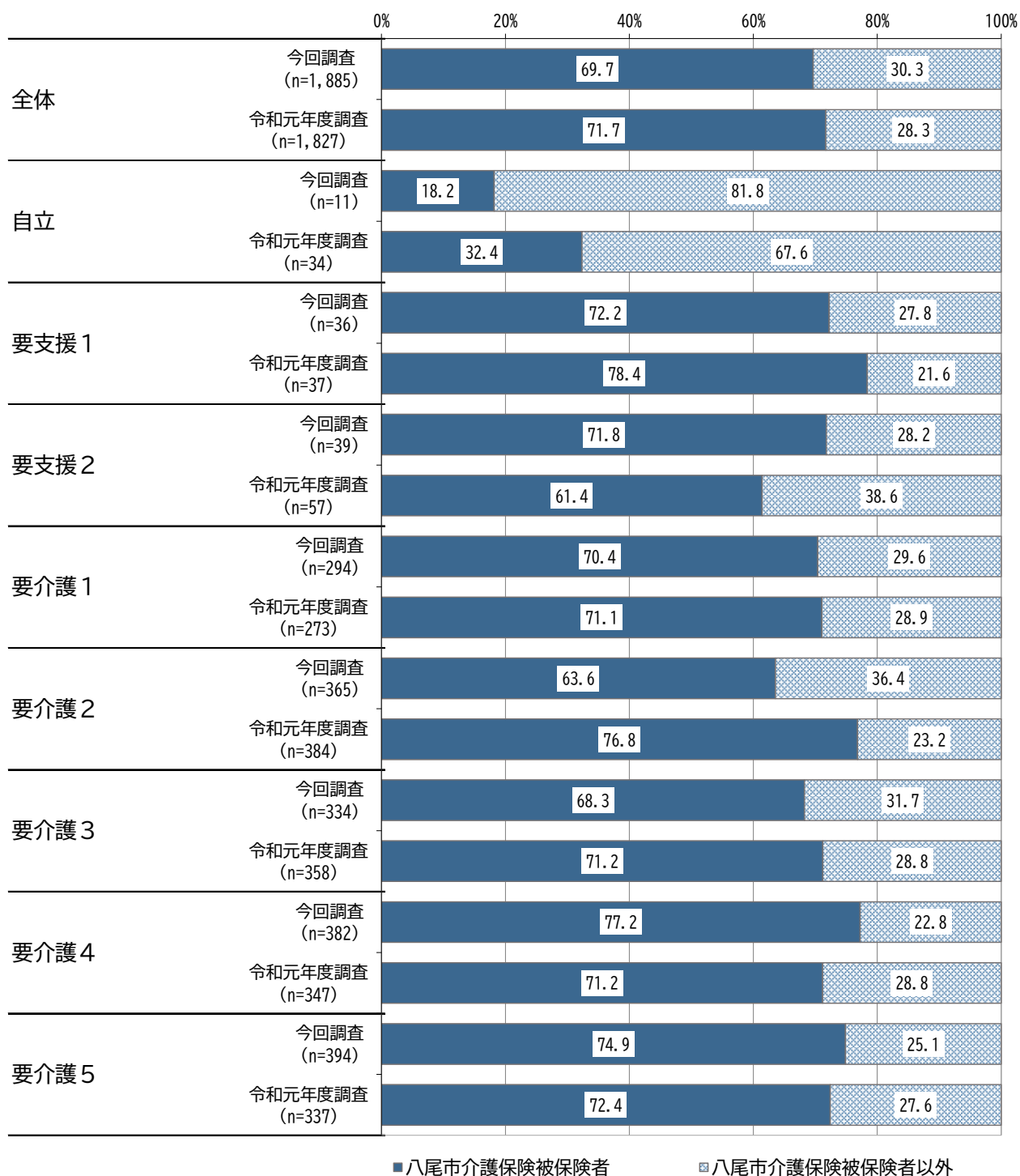
図表 5-3-17 入居者の八尾市の介護保険被保険者の要介護度



八尾市介護保険の被保険者の割合については、全体で 69.7%となっており、令和元（2019）年度調査（71.7%）と大きな差はみられません。

要介護度別でみると、八尾市介護保険の被保険者の割合は、要介護4が77.2%で最も高くなっています。

図表 5-3-18 八尾市介護保険の被保険者の割合 要介護度別



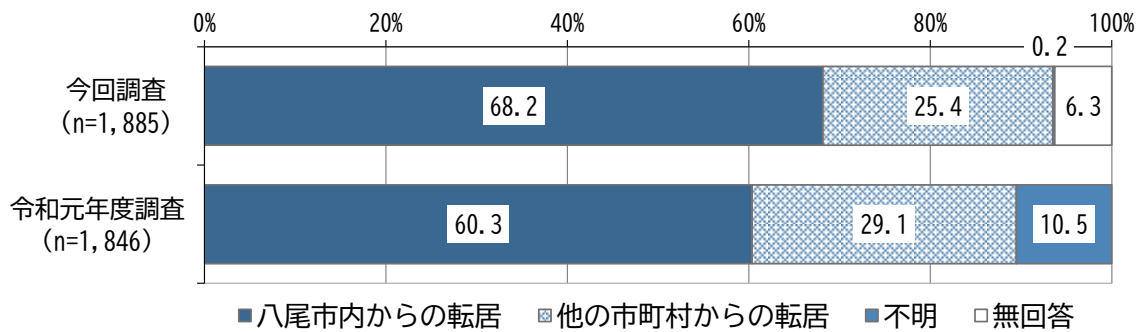
(7) 入居者の前居住地

問 13 入居者がサ高住・有料老人ホームに入居される前の居住地（住所）をお答えください。

入居者の前居住地については、「八尾市内からの転居」が68.2%で最も高く、次いで「他の市町村からの転居」が25.4%、「不明」が0.2%となっています。

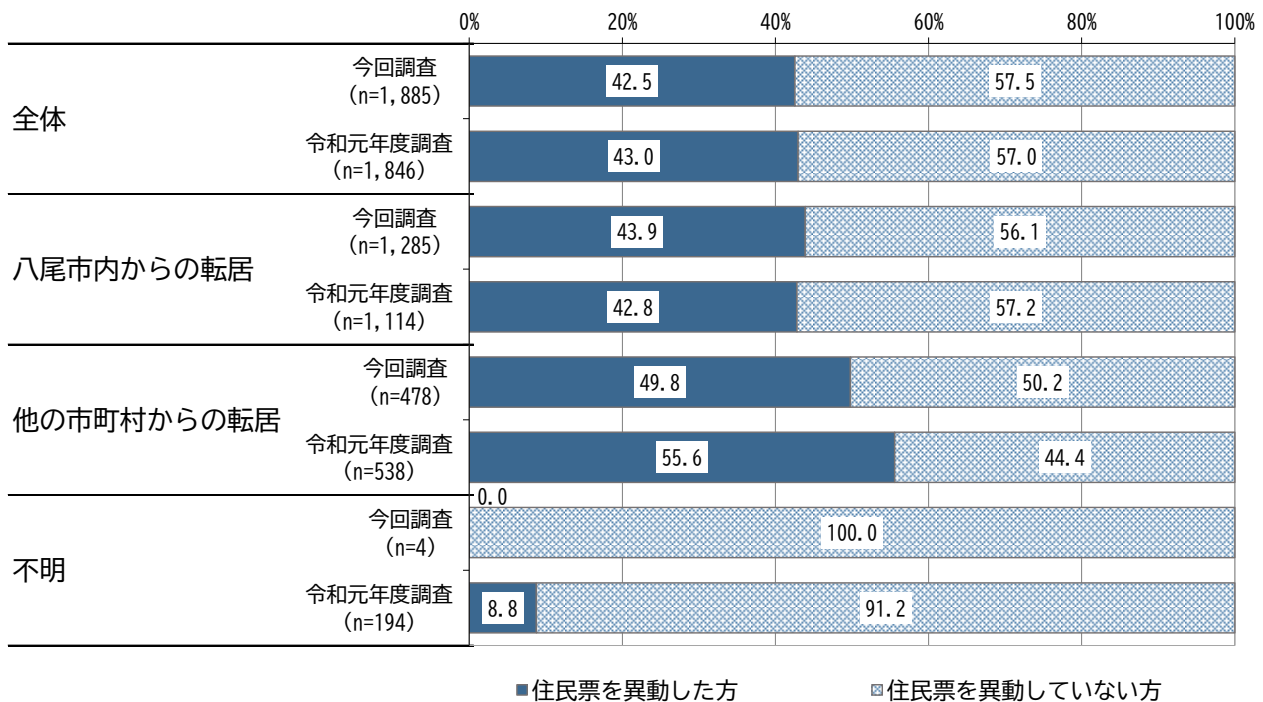
令和元（2019）年度調査と比較すると、「八尾市内からの転居」（68.2%）では、令和元（2019）年度調査（60.3%）より7.9ポイント増加しています。

図表 5-3-19 入居者の前居住地



また、上記のうち住民票を移動した方は全体で42.5%となっています。

図表 5-3-20 上記のうち住民票を移動した方の割合



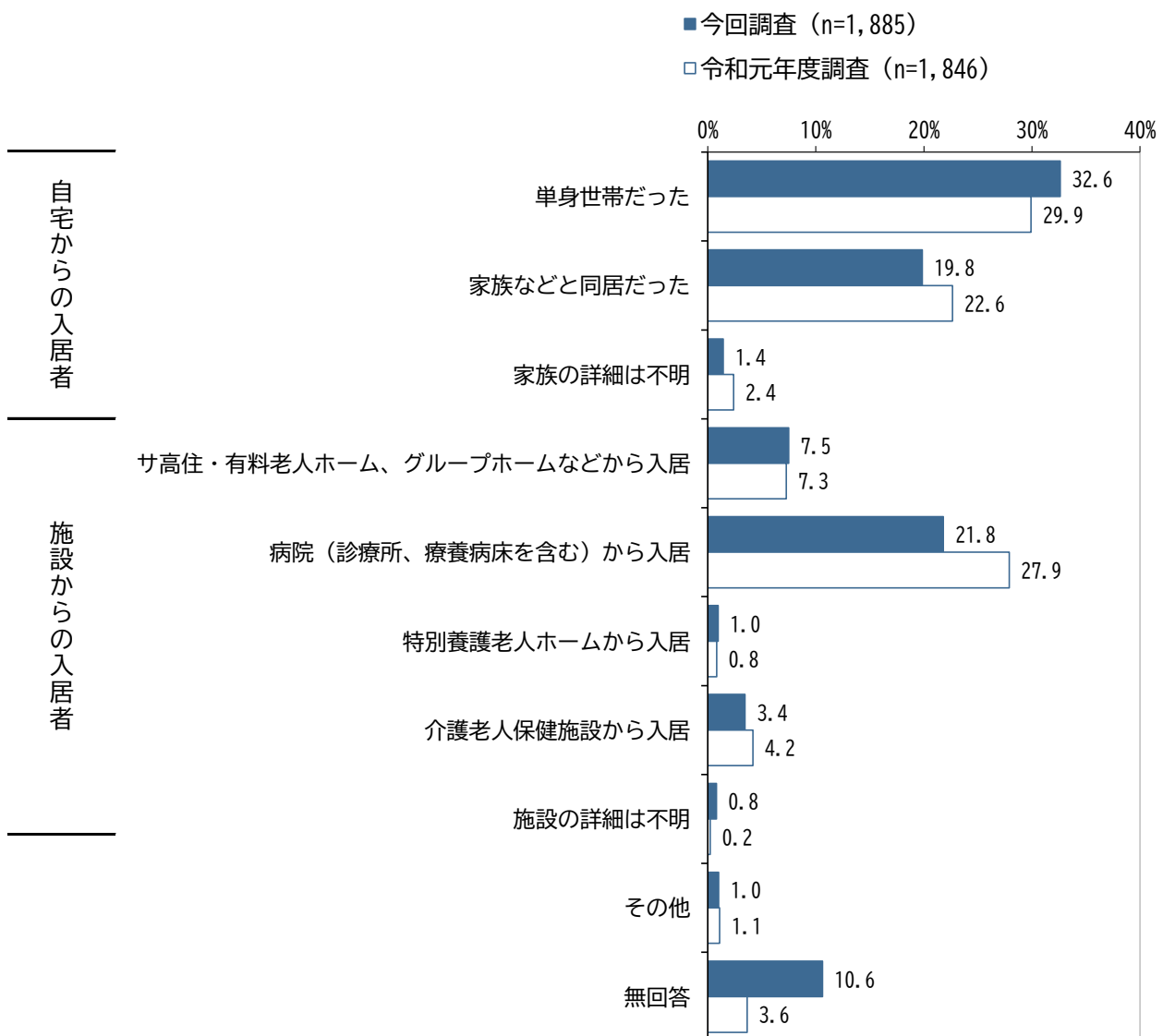
(8) 入居者の前居住場所の種類

問 14 入居者の前居住場所の種類（自宅・施設など）や世帯の状況をお答えください。

入居者の前居住場所の種類については、「単身世帯だった」が32.6%で最も高く、次いで「病院（診療所、療養病床を含む）から入居」が21.8%、「家族など同居だった」が19.8%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「病院（診療所、療養病床を含む）から入居」（21.8%）では、令和元（2019）年度調査（27.9%）より6.1ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

図表 5-3-21 入居者の前居住場所の種類



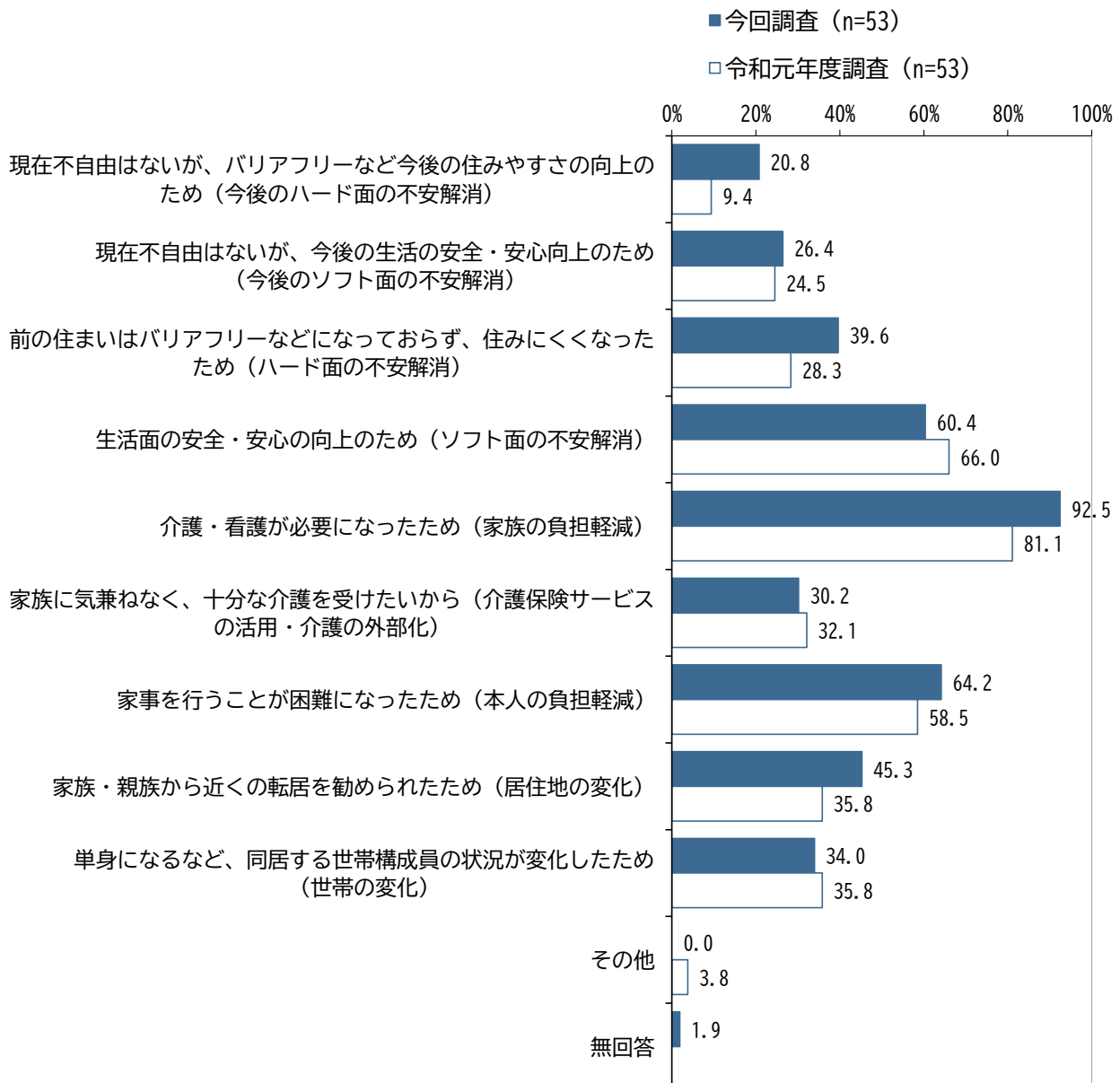
(9) 入居者が住み替えを行ったと思われる理由

問 15 入居者が住み替えを行った理由として、該当するものすべてに○をつけてください。

入居者が住み替えを行ったと思われる理由については、「介護・看護が必要になったため（家族の負担軽減）」が92.5%で最も高く、次いで「家事を行うことが困難になったため（本人の負担軽減）」が64.2%、「生活面の安全・安心の向上のため（ソフト面の不安解消）」が60.4%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「介護・看護が必要になったため（家族の負担軽減）」(92.5%)では、令和元(2019)年度調査(81.1%)より11.4ポイント増加し、「現在不自由はないが、バリアフリーなど今後の住みやすさの向上のため（今後のハード面の不安解消）」(20.8%)では、令和元(2019)年度調査(9.4%)より11.4ポイント増加し、いずれも最も増加した項目となっています。

図表 5-3-22 入居者が住み替えを行ったと思われる理由



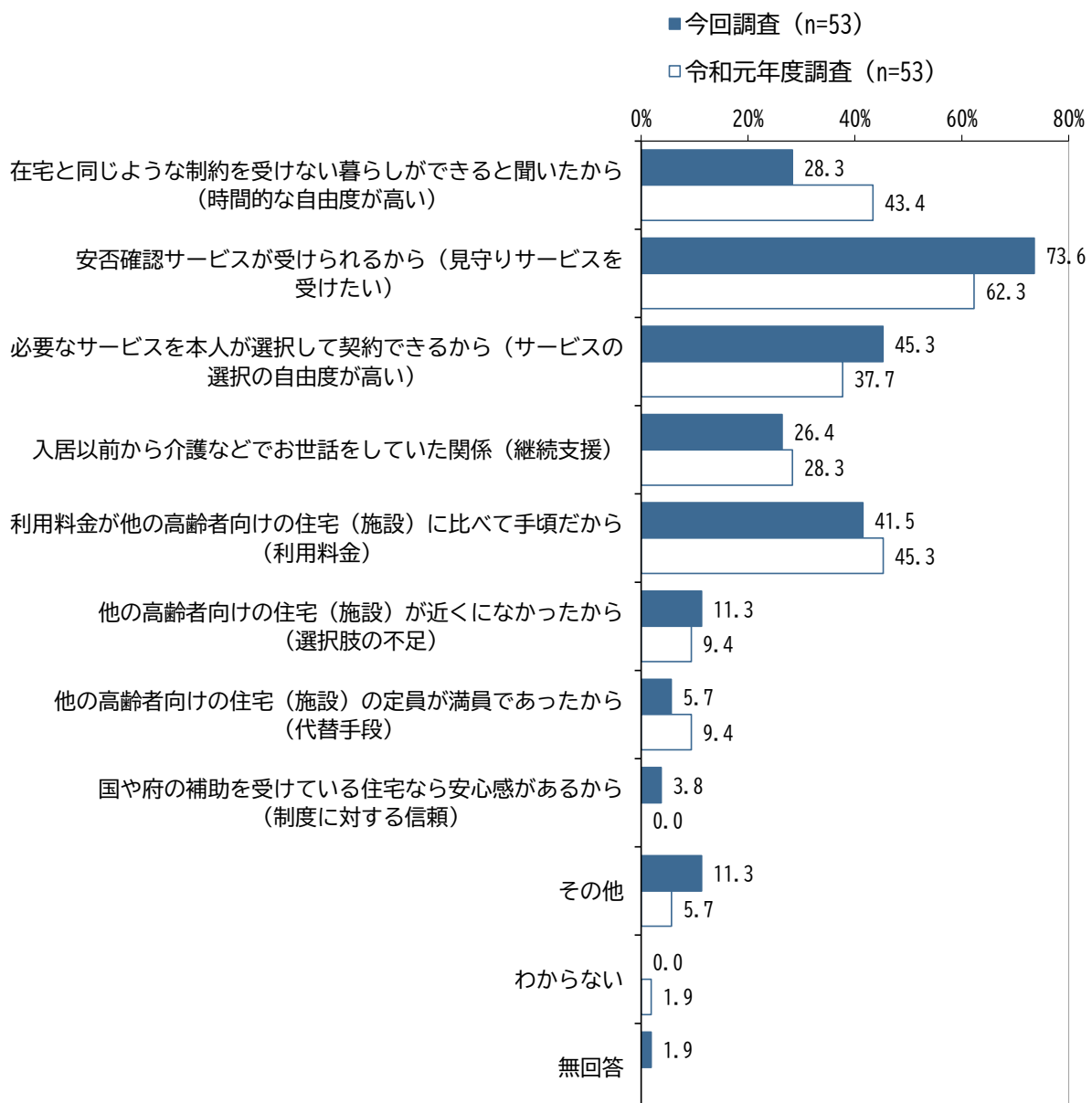
(10) 入居者がサ高住・有料老人ホームを選んだと思われる理由

問 16 高齢者向けの住宅（施設）は、サ高住・有料老人ホーム以外にもありますが、その中から入居者がサ高住・有料老人ホームを選んだ理由として、該当するものすべてに○をつけてください。

入居者がサ高住・有料老人ホームを選んだと思われる理由については、「安否確認サービスが受けられるから（見守りサービスを受けたい）」が73.6%で最も高く、次いで「必要なサービスを本人が選択して契約できるから（サービスの選択の自由度が高い）」が45.3%、「利用料金が他の高齢者向けの住宅（施設）に比べて手頃だから（利用料金）」が41.5%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「安否確認サービスが受けられるから（見守りサービスを受けたい）」（73.6%）では、令和元（2019）年度調査（62.3%）より11.3ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 5-3-23 入居者がサ高住・有料老人ホームを選んだと思われる理由



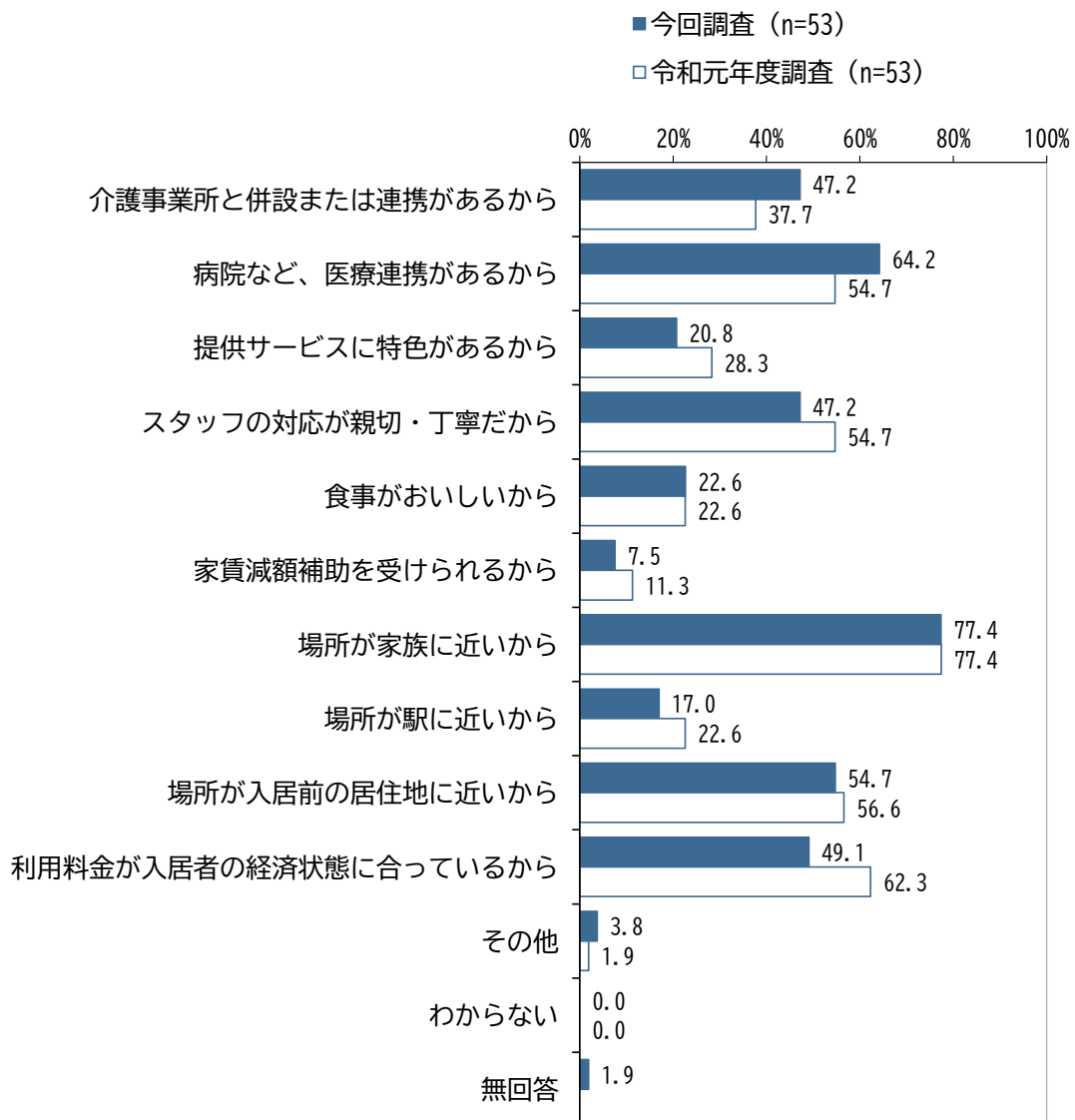
(11) 入居者が回答者の施設を選択した（と思われる）理由

問 17 数あるサ高住・有料老人ホームの中でも、入居者が貴施設を選択した（と思われる）理由として、多いと思われるものすべてに○をつけてください。

入居者が回答者の施設を選択した（と思われる）理由については、「場所が家族に近いから」が77.4%で最も高く、次いで「病院など、医療連携があるから」が64.2%、「場所が入居前の居住地に近いから」が54.7%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「病院など、医療連携があるから」（64.2%）では、令和元（2019）年度調査（54.7%）より9.5ポイント増加し、「介護事業所と併設または連携があるから」（47.2%）では、令和元（2019）年度調査（37.7%）より9.5ポイント増加し、いずれも最も増加した項目となっています。

図表 5-3-24 入居者が回答者の施設を選択した（と思われる）理由



4 退去者について

(1) 退去者の退去理由と退去先別の人数

問 18 退去者の退去理由と退去先別の人数

令和3年12月1日から令和4年11月30日までの退去者の退去理由と退去先をご記入ください。

令和3（2021）年12月1日から令和4（2022）年11月30日までの間に退去された方は400人（延べ人数で419人）となっています。

退去先は「病院」が30.3%で最も高く、退去理由は「死亡」が61.3%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、退去理由が「その他」（4.8%）では、令和元（2019）年度調査（8.1%）より3.3ポイント減少しています。

図表 5-4-1 退去者の退去理由と退去先別の人数

退去先 理由		■今回調査				■令和元年度調査			
		自宅	有料その他老人ホーム等	介護保険施設	病院	その他	自宅	有料その他老人ホーム等	介護保険施設
要介護度の進行	実数（人）	0	23	2	0	0	18	3	3
	構成比（%）	0.0	5.5	0.5	0.0	0.0	5.0	0.8	0.8
認知症の進行	実数（人）	0	9	5	0	0	16	1	1
	構成比（%）	0.0	2.1	1.2	0.0	0.0	4.5	0.3	0.3
医療の必要性	実数（人）	0	22	120	5	2	10	102	2
	構成比（%）	0.0	5.3	28.6	1.2	0.6	2.8	28.5	0.6
家族との同居	実数（人）	15	3	0	0	14	1	0	0
	構成比（%）	3.6	0.7	0.0	0.0	3.9	0.3	0.0	0.0
死亡	実数（人）	257				229			
	構成比（%）	61.3				64.0			
その他	実数（人）	20				29			
	構成比（%）	4.8				8.1			
合計（延べ人数）	実数（人）	419				358			
	構成比（%）	100.0				100.0			
合計（実人数）	実数（人）	400				339			

(2) 退去者の入居期間

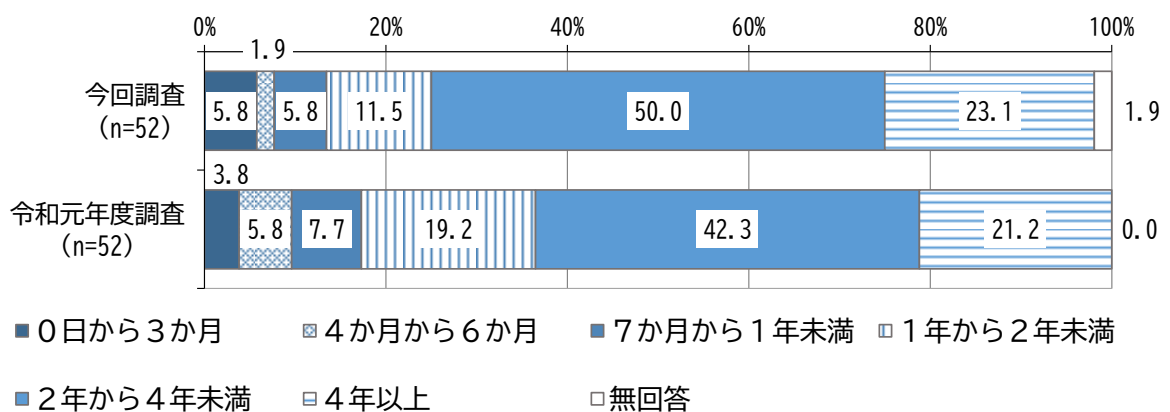
問 19 退去者の入居期間

令和3年12月1日から令和4年11月30日までの退去者のおおよその入居期間について、最も多いものに○をつけてください。

退去者の入居期間については、「2年から4年未満」が50.0%で最も高く、次いで「4年以上」が23.1%、「1年から2年未満」が11.5%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「2年から4年未満」(50.0%)では、令和元(2019)年度調査(42.3%)より7.7ポイント増加しています。

図表 5-4-2 退去者の入居期間



※ 退去者なしの事業所を除く。

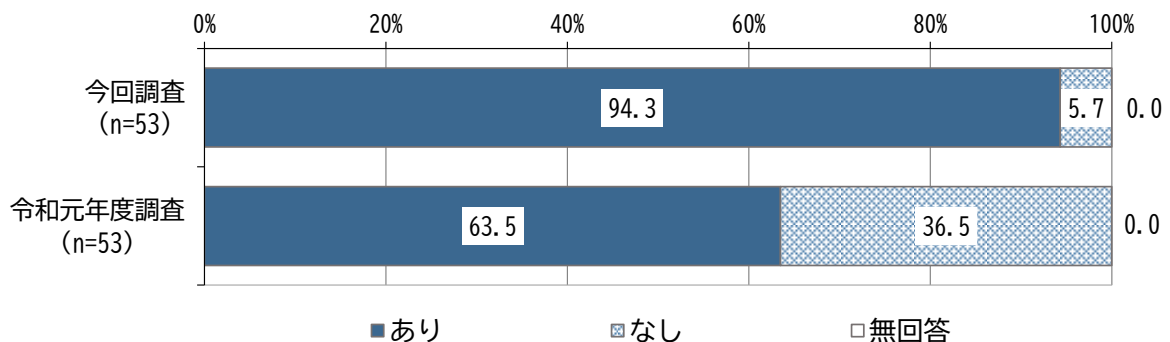
(3) 看取りを行う体制整備

問 20 看取りを行う体制の整備についてお答えください。

看取りを行う体制整備については、「あり」が94.3%、「なし」が5.7%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「あり」(94.3%)では、令和元(2019)年度調査(63.5%)より30.8ポイント増加しています。

図表 5-4-3 看取りを行う体制整備



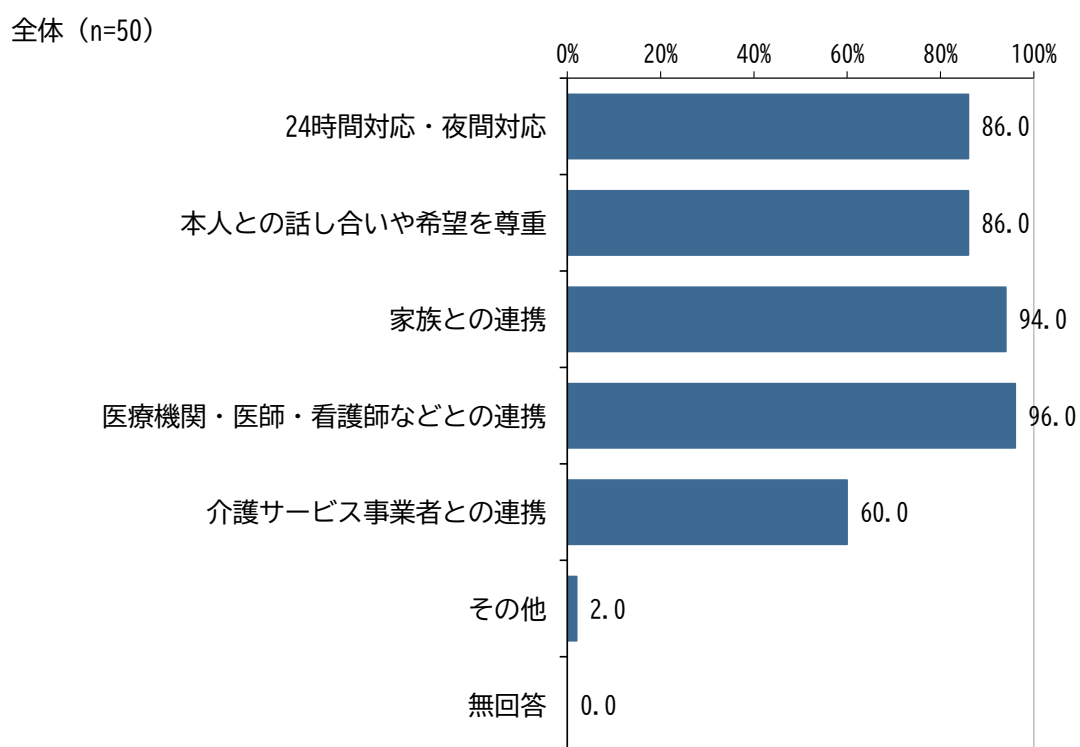
(4) 看取りの体制

問 20 で「あり」を回答した事業所の方が対象

問 21 看取りの体制について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

看取りの体制については、「医療機関・医師・看護師などとの連携」が 96.0%で最も高く、次いで「家族との連携」が 94.0%、「24 時間対応・夜間対応」、「本人との話し合いや希望を尊重」がいずれも 86.0%と続いています。

図表 5-4-4 看取りの体制



5 今後の事業展開

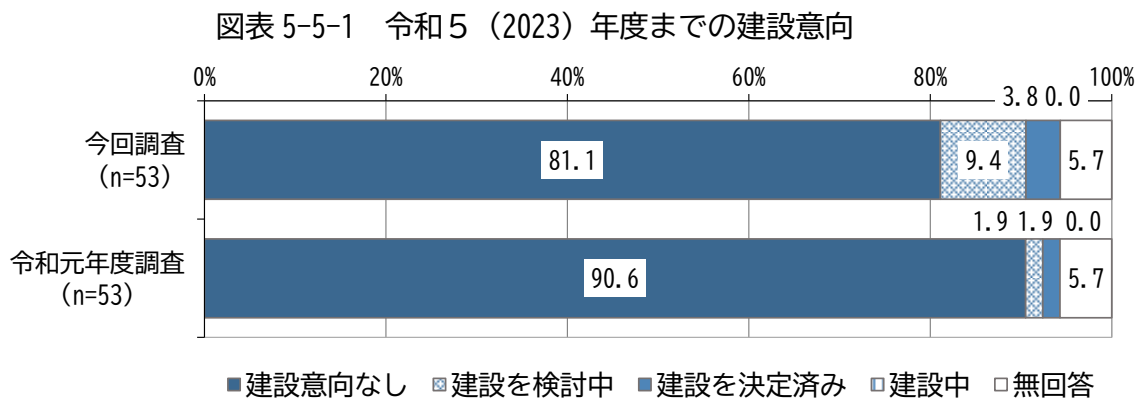
(1) 令和5（2023）年度までの建設意向

問 22 今後の事業展開についてお答えください。

① 令和5年度までの八尾市内におけるサ高住・有料老人ホームの建設意向

令和5（2023）年度までの建設意向については、「建設意向なし」が81.1%で最も高く、次いで「建設を検討中」が9.4%、「建設を決定済み」が3.8%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「建設を検討中」（9.4%）では、令和元（2019）年度調査（1.9%）より7.5ポイント増加しています。



※ 令和元（2019）年度調査は令和元（2019）年度までの建設意向

(2) 令和6（2024）年度以降の建設意向

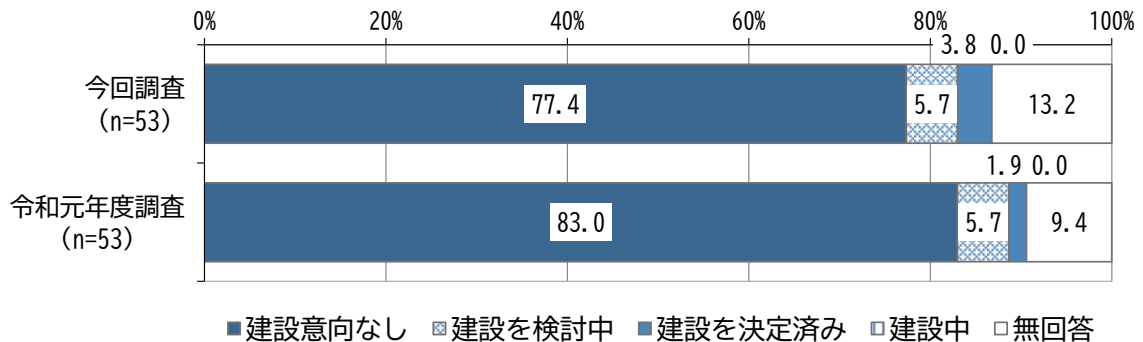
問 22 今後の事業展開についてお答えください。

②令和6年度以降の八尾市内におけるサ高住・有料老人ホームの建設意向

令和6（2024）年度以降の建設意向については、「建設意向なし」が77.4%で最も高く、次いで「建設を検討中」が5.7%、「建設を決定済み」が3.8%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「建設意向なし」（77.4%）では、令和元（2019）年度調査（83.0%）より5.6ポイント減少しています。

図表 5-5-2 令和6（2024）年度以降の建設意向



※ 令和元（2019）年度調査は令和2（2020）年度以降の建設意向

(3) 事業展開の状況

③ 建設を検討中、決定済み、建設中を選んだ方は状況をご記入ください。

図表 5-5-3 事業展開の状況

事業展開の状況
・土地を探している
・検討中
・土地選定、図面作成中
・建築費用が高騰しており、設計図の再検討中
・法人として5施設目指している

(4) 建設予定地域

④ 建設予定地域をお答えください。

図表 5-5-4 建設予定地域

建設予定地域
・八尾市（2件）
・近鉄八尾駅より自転車圏内
・老原地区
・既存の施設の裏を予定している

(5) 併設を検討・決定しているサービス

⑤ 併設を検討・決定されているサービスをお答えください。

図表 5-5-5 併設を検討・決定しているサービス

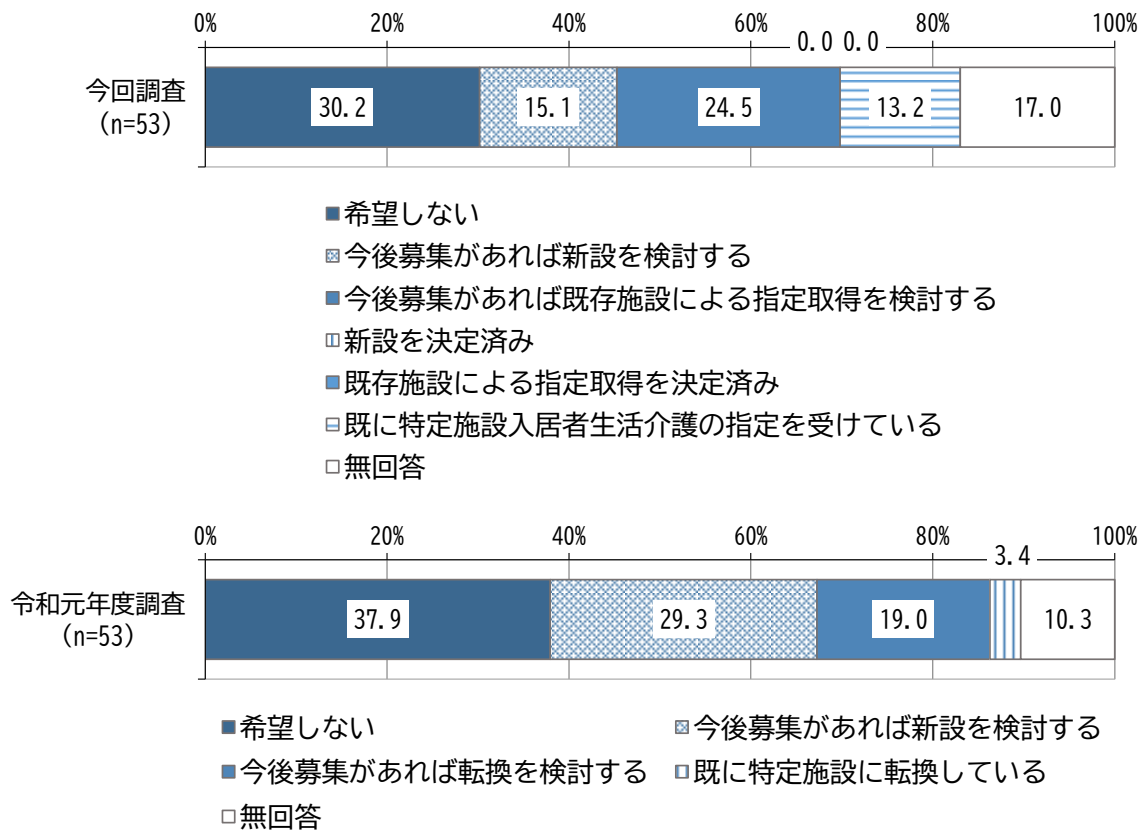
併設を検討・決定しているサービス
・訪問介護（2件）
・通所介護
・地域密着型、特定施設入居者生活介護

(6) 特定施設への新設等の意向

⑥ 八尾市ではサ高住・有料老人ホームの特定施設入居者生活介護への指定を進めています。新たに施設整備の募集があった場合、特定施設入居者生活介護の指定取得を希望されますか。

特定施設への新設等の意向については、「希望しない」が30.2%で最も高く、次いで「今後募集があれば既存施設による指定取得を検討する」が24.5%、「今後募集があれば新設を検討する」が15.1%と続いています。

図表 5-5-6 特定施設への新設等の意向



6 運営・建設上の課題

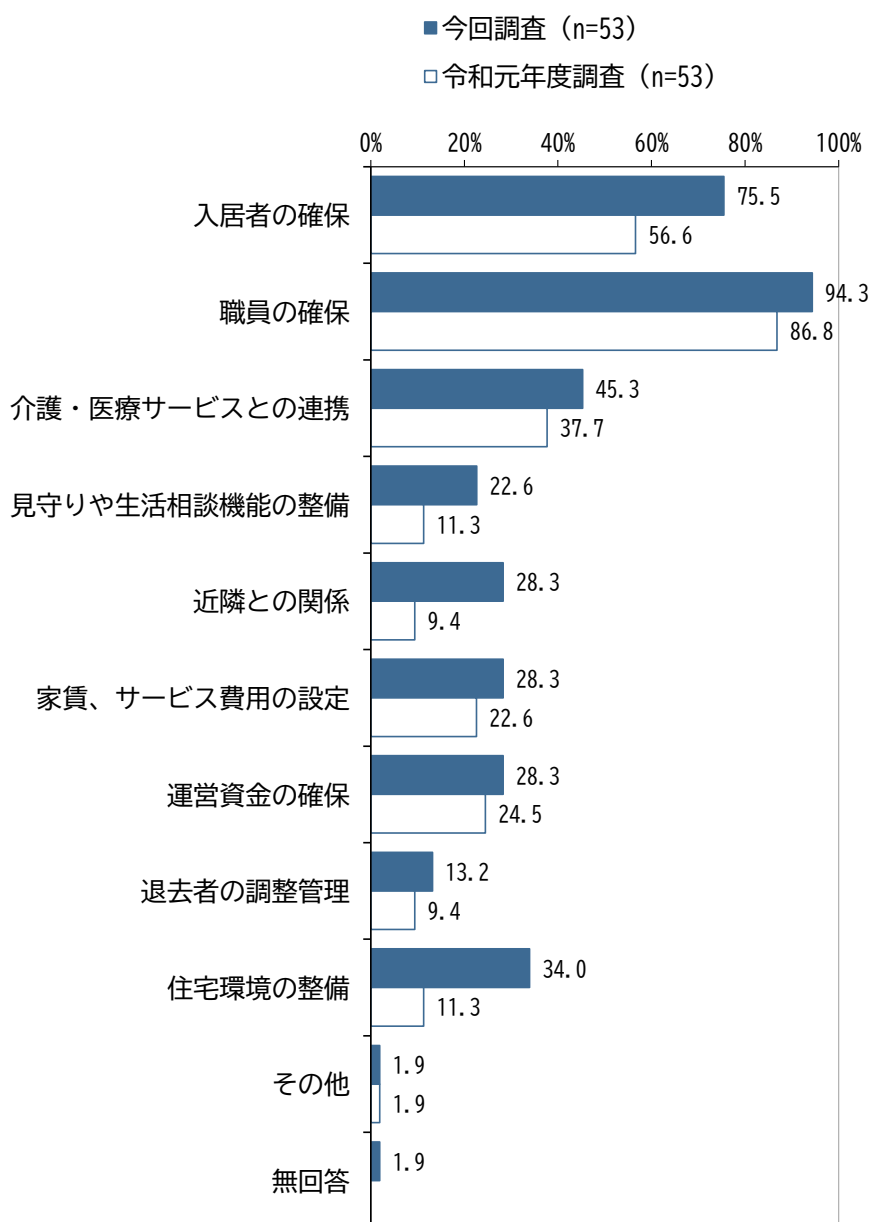
(1) サ高住・有料老人ホームを運営するうえでの課題

問 23 サ高住・有料老人ホームを運営するうえでの課題について、該当するものすべてに○をつけてください。

サ高住・有料老人ホームを運営するうえでの課題については、「職員の確保」が94.3%で最も高く、次いで「入居者の確保」が75.5%、「介護・医療サービスとの連携」が45.3%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「その他」を除く全ての項目で割合が増加しており、「住宅環境の整備」（34.0%）では、令和元（2019）年度調査（11.3%）より22.7ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 5-6-1 サ高住・有料老人ホームを運営するうえでの課題



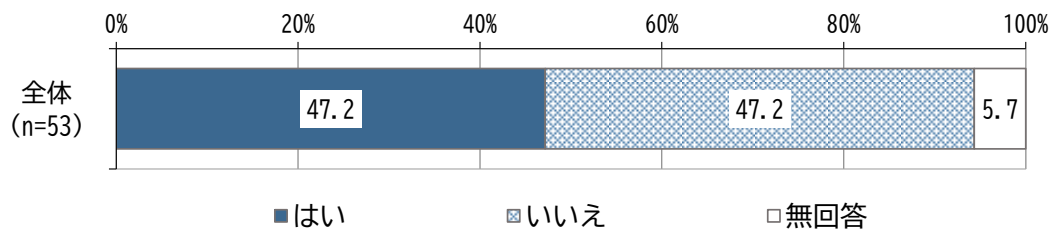
7 介護保険サービスの提供について

(1) 「居宅介護支援事業所単位で抽出するケアプラン検証等について」の認知度

問 24 「居宅介護支援事業所単位で抽出するケアプラン検証等について（周知）」（令和3年9月22日付厚生労働省老健局高齢者支援課、認知症施策・地域介護推進課 事務連絡）の内容を知っていますか。

「居宅介護支援事業所単位で抽出するケアプラン検証等について」の認知度については、「はい」が47.2%、「いいえ」が47.2%となっています。

図表 5-7-1 「居宅介護支援事業所単位で抽出するケアプラン検証等について」の認知度

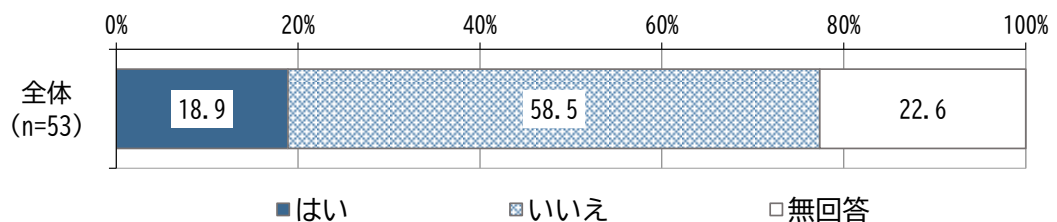


(2) 「居宅介護支援事業所単位で抽出するケアプラン検証等について」の対象者の有無

問 24-1 貴施設の入居者に、問 24 の通知に該当する対象者はいますか。

「居宅介護支援事業所単位で抽出するケアプラン検証等について」の対象者の有無については、「はい」が18.9%、「いいえ」が58.5%となっています。

図表 5-7-2 「居宅介護支援事業所単位で抽出するケアプラン検証等について」の対象者の有無

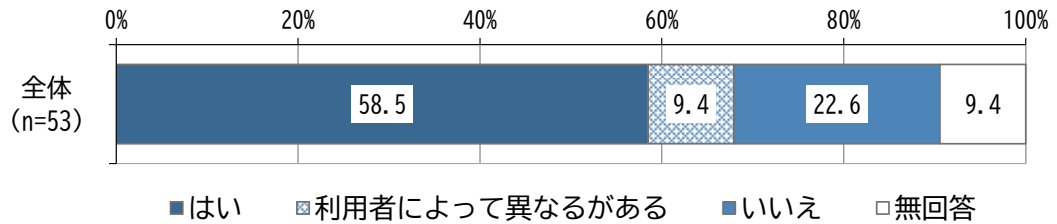


(3) 入居者へ介護保険サービスを提供する事業所に同法人の事業所はあるか

問 25 貴施設の入居者へ介護保険サービスを提供する事業所に同法人の事業所はありますか。

入居者へ介護保険サービスを提供する事業所に同法人の事業所はあるかについては、「はい」が58.5%で最も高く、次いで「いいえ」が22.6%、「利用者によって異なるがある」が9.4%となっています。

図表 5-7-3 入居者へ介護保険サービスを提供する事業所に同法人の事業所はあるか



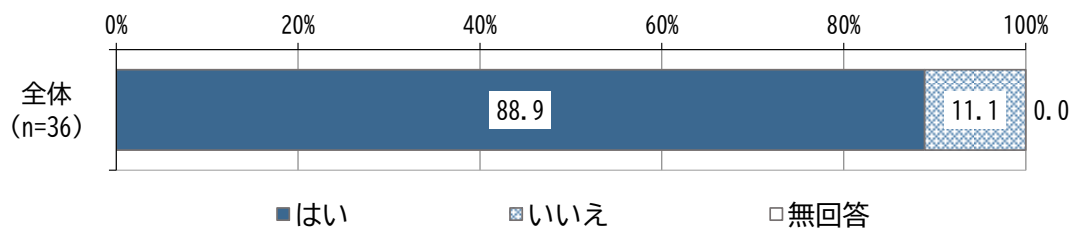
(4) 入居者へ介護保険サービスを提供する事業所に同法人の八尾市に所在する事業所はあるか

問 25 で「はい」、「利用者によって異なるがある」を回答した事業所の方が対象

問 25-1 問 25 の事業所に八尾市に所在する事業所はありますか。

入居者へ介護保険サービスを提供する事業所に同法人の八尾市に所在する事業所はあるかについては、「はい」が88.9%、「いいえ」が11.1%となっています。

図表 5-7-4 入居者へ介護保険サービスを提供する事業所に同法人の八尾市に所在する事業所はあるか

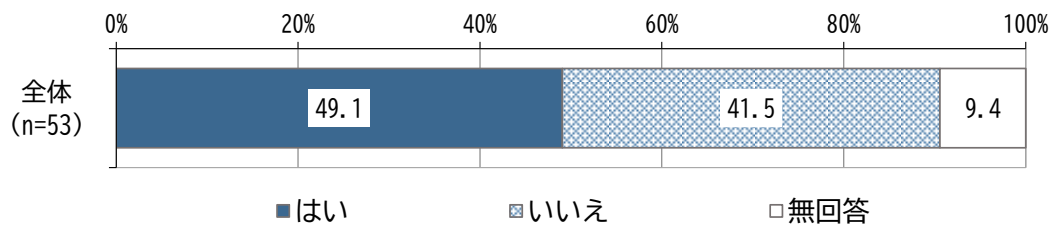


(5) フォーマルサービスとインフォーマルサービスの提供区分をルール化しているか

問 26 貴施設では、介護保険のサービスのような公的なもの（フォーマルサービス）と見守りやボランティアなど地域の住民による支援（インフォーマルサービス）の提供区分について、ルール化されていますか。

フォーマルサービスとインフォーマルサービスの提供区分をルール化しているかについては、「はい」が49.1%、「いいえ」が41.5%となっています。

図表 5-7-5 フォーマルサービスとインフォーマルサービスの提供区分をルール化しているか



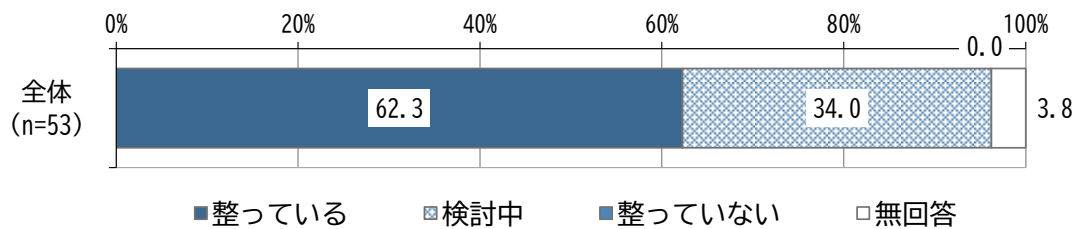
8 災害発生時について

(1) 災害時における避難方法や体制が整っているか

問 27 災害（台風や地震等）が起こったとき、貴施設内での避難方法や体制などは整っていますか。

災害時における避難方法や体制が整っているかについては、「整っている」が62.3%で最も高く、次いで「検討中」が34.0%となっています。

図表 5-8-1 災害時における避難方法や体制が整っているか



(2) 避難確保計画やその作成方法についての疑問点

問 28 避難確保計画やその作成方法について、疑問点等があればお答えください。

図表 5-8-2 避難確保計画やその作成方法についての疑問点

避難確保計画やその作成方法についての疑問点
・とりあえず、水は確保できているがその他のものについてはいまだ段取りできていない。ただし1月中には作成予定。
・避難場所は把握できているが、近くに河川もなく住宅内にとどまって問題ないか。
・BCP避難確保計画、避難訓練（消防法）等、あまりに訓練が重複しているため一本化した計画に変更してほしい。
・現在BCP作成中。実際に起きた場合、スタッフの確保が厳しい。
・BCP策定のため会社でCD-ROMを購入し、入力し作成いたしました。